岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第652集

千苅（せんがり）遺跡発掘調査報告書

北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）関連遺跡発掘調査

＜第１分冊　本文＞

２０１６

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
（公財）岩手県文化振興事業団

千苅遺跡発掘調査報告書

北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）関連遺跡発掘調査

＜第１分冊　本文＞

遺跡空撮（平成24年度 北東上空から）

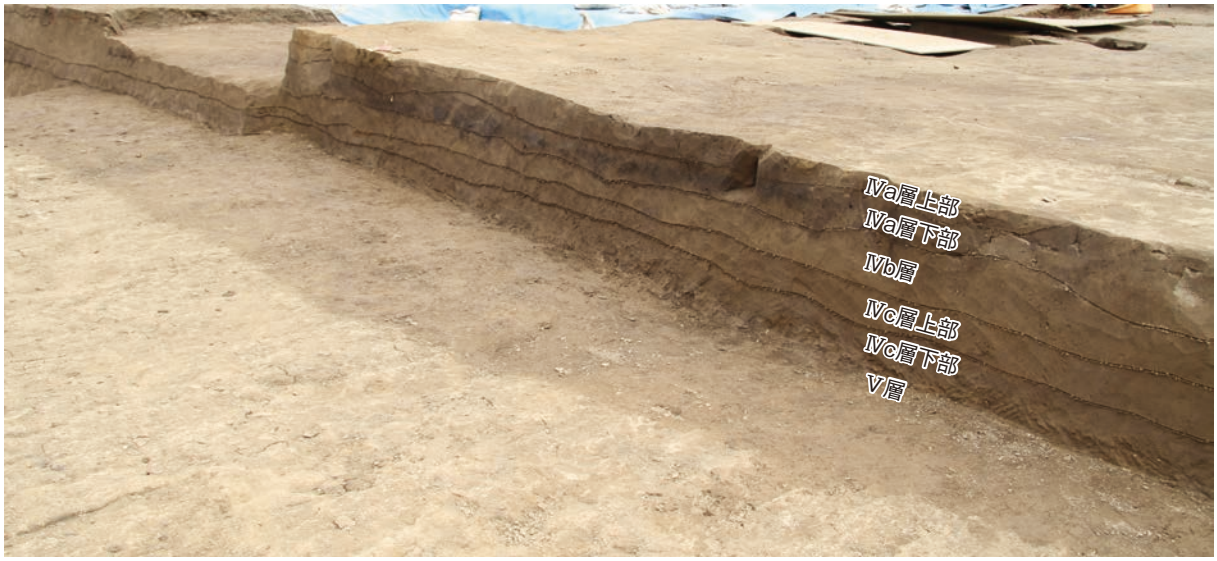
遺跡空撮（平成25年度 西上空から）

調査区（平成24年度 C区古代面）

調査区（平成25年度 D区古代面）

Ｂ区南端 土層断面

Ｄ区包含層 東壁 土層断面 上部黒色土層：Ⅳa層　下部黒色土層：Ⅳc層



Ｄ区包含層 中央部 南北土層断面

大型の住居跡・床溝検出状況（SI07）

小型の住居跡（SI15）

住居跡検出面の砂層分布状況（SI16）

砂層堆積状況（SI06）

斜交ラミナを呈する砂層（SI13）

住居跡内洪水堆積層

カマド（SI25）

カマド（SI59）

カマド（SI54）

カマド（SI51）

カマド煙道（SI78）

長方形の柱痕（SI07 pit1）

空洞の柱痕（SI59 pit1）

古代の竪穴住居跡付属施設

弥生時代土壙墓（SK99）

土壙墓顔料検出状況（SK100）

焼成遺構（SX54･55）

焼成遺構（SX58）

12世紀後半の溝群

a622

a724

彩色のある弥生土器

b701

b991

赤彩球胴甕

弥生時代の石製品

序

本県には、旧石器時代をはじめとする１万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されております。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行ない、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）に関連して、平成 23 年度から平成 25 年度にかけて実施した千苅遺跡の発掘調査成果をまとめたものであります。

今回の調査では、縄文時代の住居跡、弥生時代の遺物包含層、古代の竪穴住居跡や焼成遺構など各種の遺構が多数検出され、北上川に面した土地利用の変遷を明らかにすることができました。本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び本報告書作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所、北上市教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

平成 28 年３月

公益財団法人　岩手県文化振興事業団
理事長　菅　野　洋　樹

例　　言

1　本報告書は、岩手県北上市二子町字千苅に所在する千苅遺跡発掘調査の成果を収録したものである。

2　岩手県遺跡登録台帳における遺跡番号・調査略号は次の通りである。

千苅遺跡　遺跡番号：ME56－2343

遺跡略号：SG－11・SG－12・SG－13

3　本遺跡の発掘調査は北上川中流部緊急治水対策事業に伴い、岩手県教育委員会の調整を経て、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所の委託を受けた（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが、記録保存を目的として実施した緊急発掘調査である。

4　野外調査（調査面積）及び室内整理期間、担当者は次の通りである。なお調査、整理に従事した期間は個々で異なる。第Ⅲ章第３表に一覧を示した。

＜野外調査＞　合計面積27,368㎡

平成23年８月１日～12月19日（ 4,274㎡）	中村絵美　北村忠昭　須原拓
平成24年４月11日～12月13日（11,829㎡）	中村絵美　金子昭彦　高木晃　丸山浩治 伊藤みどり　菅野梢　佐藤あゆみ　髙橋麻依子
平成25年５月２日～12月20日（11,265㎡）	村上(中村)絵美　佐々木清文　高木晃　溜浩二郎 村田淳　巴亜子　藤本玲子　伊東格　髙橋麻依子 乙戸崇　佐藤奈津季　中嶋優太

＜室内整理＞

平成23年12月１日～平成24年３月31日	中村絵美　北村忠昭
平成24年11月１日～平成25年３月31日	中村絵美　金子昭彦　丸山浩治　佐藤あゆみ 髙橋麻依子
平成25年５月16日～平成26年３月31日	村上(中村)絵美　金子昭彦　高木晃　溜浩二郎 丸山直美　伊東格　乙戸崇　佐藤奈津季 中嶋優太
平成26年４月１日～平成27年３月31日	村上絵美

5　本報告書の執筆分担は以下の通り。

第Ⅰ章：国土交通省岩手河川国道事務所　　第Ⅱ章：伊東　　第Ⅲ章：村上

第Ⅳ章２遺構：各担当調査員（第５表参照）の草稿を元に村上・高木が加筆修正、編集

第Ⅳ章３遺物（１）～（５）：高木　第Ⅳ章３遺物（６）～（８）：丸山直美　第Ⅵ章：高木

6　各種委託業務は次の機関に依頼した（順不同・敬称略）。

基準点測量	：(株)キタテック
航空写真	：東邦航空
出土石器・石製品の石質肉眼同定	：花崗岩研究会
出土炭化材の樹種肉眼同定	：阿部利吉（前岩手県木炭協会）
出土イネ種子遺存体ＤＮＡ分析	：田中克典（弘前大学）
炭化物の放射性炭素年代測定	：株式会社加速器分析研究所
出土品の自然科学的分析	：パリノ・サーヴェイ株式会社
出土金属製品の保存処理	：岩手県立博物館

7　野外調査、及び室内整理にあたり、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所、北上市教育委員会、遺跡周辺住民の方々、ならびに以下の方々より多大なるご協力を得た（五十音順･敬称略）。

安藤邦彦、岩田貴之、小田嶋知世、君島武史、酒井宗孝、佐藤祐輔、佐藤由紀男、菅原祥夫、杉本良、関根達人、高橋文明、沼山源喜治、羽柴直人、廣瀬時習、八木勝枝

8　これまでに、調査成果の一部を現地説明会資料、調査概報、遺跡報告会等において公表しているが、本書の記載内容を正式なものとする。

9　本遺跡の出土遺物及び諸記録類は岩手県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。

凡　　例

1　本書では国土地理院発行２万５千分の１地形図「口内」、５万分の１地形図「北上」を使用した。

2　遺構図中で記載した座標値は平面直角座標第Ⅹ系（世界測地系）に基づく。

3　遺構図等の方位は真北を表示している。

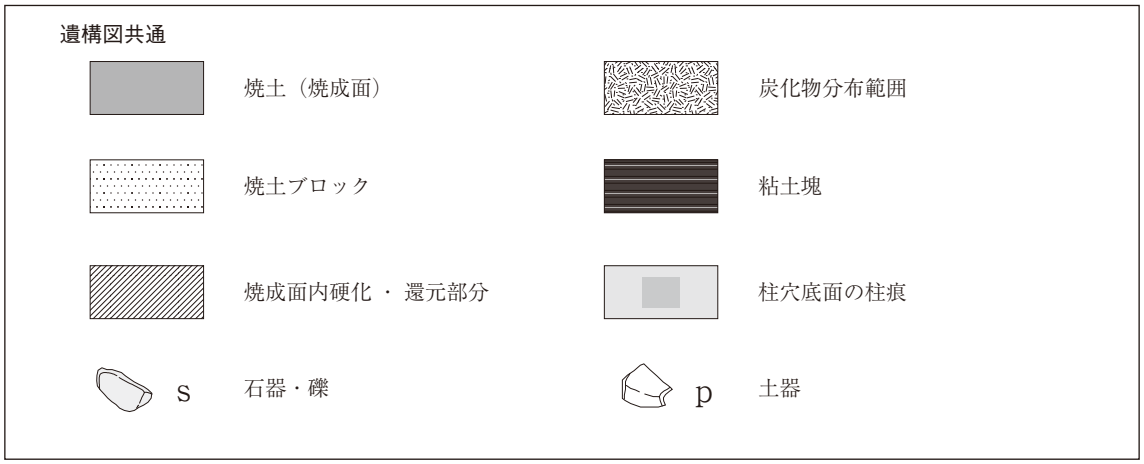
4　挿図の縮尺は各図毎にスケールを付した。

5　土層の記載には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』を使用した。

6　断面図土層注記中、混入物の量について、極微量：１％以下、微量：１～５％、少量：５～10%、中量:10～15%、やや多量:15～30%、多量:30～50%、大量:50%程度として記載している。

7　遺構図で使用したアミは下に凡例を示した。

8　遺構規模数値は第６～17表各遺構一覧表に記している。



目　　次

分冊構成

第１分冊　本文・遺構図版
第２分冊　遺物実測図版・遺物観察表
第３分冊　遺構写真図版・遺物写真図版

（第　１　分　冊）

本 文 目 次

Ⅰ　調査に至る経過 …… 1

Ⅱ　遺跡の立地と環境 …… 1

1　地 理 的 環 境 …… 1

（1） 遺跡の位置と立地 …… 1
（2） 遺跡周辺の地形 …… 3

2　周 辺 の 遺 跡 …… 5

Ⅲ　調査と整理の方法 …… 9

1　野　外　調　査 …… 9

（1） 調査区・調査年度 …… 9
（2） グリッドの設定 …… 9
（3） 粗掘り・遺構検出 …… 9
（4） 遺構名の登録 …… 9
（5） 遺構精査・遺物の取り上げ …… 13
（6） 実　　測 …… 13
（7） 写 真 撮 影 …… 13

2　室 内 整 理 …… 13

（1） 遺 物 整 理 …… 13
（2） 遺 構 整 理 …… 14
（3） 図 版 作 成 …… 14

Ⅳ　調　査　内　容 …… 27

1　基本層序・概要 …… 27

（1） 基 本 層 序 …… 27
（2） 各調査区の概要 …… 27

2　遺　　構 …… 33

（1） 竪 穴 住 居 跡 …… 33
（2） 住 居 状 遺 構 …… 193
（3） 掘立柱建物跡 …… 197
（4） 焼土遺構・炉跡 …… 202
（5） 土　　坑 …… 208
（6） 焼 成 遺 構 …… 226
（7） 埋 設 土 器 …… 251
（8） 性格不明遺構 …… 252
（9） 溝　　跡 …… 254
(10) 畝 間 状 遺 構 …… 271
(11) 柱 穴 状 土 坑 …… 271
(12) 遺 物 集 中 …… 271
(13) 遺 物 包 含 層 …… 279

3　遺　　物 …… 373

（1） 縄文・弥生土器 …… 373
（2） 土師器・須恵器 …… 389
（3） 陶 磁 器 …… 400
（4） 土 製 品 …… 400
（5） 石器・石製品 …… 403
（6） 金 属 製 品 …… 419
（7） 鉄　　滓 …… 424
（8） 古　　銭 …… 424

Ⅴ　自然科学的分析 …… 425

1　千苅遺跡における放射性炭素年代（ＡＭＳ測定） …… 425

2　千苅遺跡出土イネ種子遺存体ＤＮＡ分析報告 …… 434

3　千苅遺跡における自然科学分析 … 441

Ⅵ　遺構・遺物の検討 …… 547

1　縄文時代晩期末～
弥生時代の状況 …… 547

（1）住　居　跡 …… 547
（2）土　壙　墓 …… 547
（3）遺物包含層の形成 …… 548
（4）石　斧　生　産 …… 549

2　古代の遺構と遺物 …… 550

（1）古代の土器 …… 550
（2）遺構の時期判断 …… 555
（3）竪穴住居跡 …… 557
（4）土器焼成遺構 …… 558
（5）区　画　溝 …… 558

3　12世紀の遺構群 …… 559

4　総　　括 …… 560

報告書抄録 …… 563

表　目　次

第１表　周辺遺跡一覧…… 6
第２表　基準点・区画割付杭一覧……12
第３表　担当調査員一覧……12
第４表　検出遺構数……33
第５表　遺構一覧……34
第６表　縄文時代竪穴住居跡一覧…… 315
第７表　古代竪穴住居跡一覧…… 315
第８表　住居状遺構一覧…… 322
第９表　掘立柱建物跡一覧…… 322
第10表　焼土遺構一覧…… 323
第11表　土坑一覧…… 326
第12表　焼成遺構一覧…… 334
第13表　埋設土器・性格不明遺構一覧…… 345
第14表　溝跡一覧…… 346
第15表　畝間状遺構一覧…… 349
第16表　遺物集中遺構一覧…… 350
第17表　柱穴状土坑一覧…… 351
第18表　出土地点別土器類重量集計…… 362
第19表　縄文・弥生土器分類別掲載点数…… 378
第20表　縄文晩期末～弥生中期土器出土傾向…… 378
第21表　遺構別古代土器組成…… 394
第22表　赤彩土器出土地点別重量…… 398
第23表　線刻土器集計…… 399
第24表　陶磁器出土状況…… 400
第25表　土製品集計…… 401
第26表　石器・石製品類集計…… 406
第27表　石器器種別集計…… 406
第28表　出土地点別剥片集計…… 415
第29表　弥生時代土壙墓一覧…… 547
第30表　古代土器組成…… 554

挿　図　目　次

第１図　遺跡位置…… 2
第２図　千苅遺跡周辺の地形分類図…… 4
第３図　周辺遺跡分布図…… 6
第４図　調査区位置図……10
第５図　グリッド配置・区割図……11
第６図　遺構分布図……15
第７図　遺構分布図部分（１）……17
第８図　遺構分布図部分（２）……18
第９図　遺構分布図部分（３）……19
第10図　遺構分布図部分（４）……20
第11図　遺構分布図部分（５）……21
第12図　遺構分布図部分（６）……22
第13図　遺構分布図部分（７）……23
第14図　遺構分布図部分（８）……24
第15図　遺構分布図部分（９）……25
第16図　遺構分布図部分（10）……26
第17図　各区基本土層・落ち込み・旧河道（１）…28
第18図　各区基本土層・落ち込み・旧河道（２）…29
第19図　各区基本土層・落ち込み・旧河道（３）…30
第20図　SI01住居跡……36
第21図　SI02住居跡……37
第22図　SI03住居跡……38

第23図　SI04住居跡……40
第24図　SI05住居跡……41
第25図　SI38住居跡……42
第26図　SI06住居跡（１）……44
第27図　SI06住居跡（２）……45
第28図　SI07住居跡（１）……46
第29図　SI07住居跡（２）……47
第30図　SI07住居跡（３）……48
第31図　SI08住居跡（１）……50
第32図　SI08住居跡（２）……51
第33図　SI08住居跡（３）……52
第34図　SI09住居跡（１）……53
第35図　SI09住居跡（２）……54
第36図　SI10住居跡（１）……55
第37図　SI10住居跡（２）……56
第38図　SI10住居跡（３）……57
第39図　SI11住居跡……58
第40図　SI12住居跡……59
第41図　SI13住居跡（１）……60
第42図　SI13住居跡（２）……61
第43図　SI13住居跡（３）……62
第44図　SI14住居跡……64
第45図　SI15住居跡……66
第46図　SI16住居跡（１）……67
第47図　SI16住居跡（２）……68
第48図　SI16住居跡（３）……69
第49図　SI17住居跡……71
第50図　SI18住居跡……72
第51図　SI19住居跡（１）……73
第52図　SI19住居跡（２）……74
第53図　SI19住居跡（３）……75
第54図　SI20住居跡……76
第55図　SI21住居跡……77
第56図　SI22住居跡（１）……78
第57図　SI22住居跡（２）……79
第58図　SI23住居跡……80
第59図　SI24住居跡（１）……81
第60図　SI24住居跡（２）……82
第61図　SI24住居跡（３）……83
第62図　SI25住居跡……84
第63図　SI26住居跡……86
第64図　SI27住居跡……87
第65図　SI28住居跡……88
第66図　SI29住居跡……90
第67図　SI30住居跡……91
第68図　SI31住居跡……93
第69図　SI32住居跡……94
第70図　SI33住居跡……95
第71図　SI34住居跡……97
第72図　SI35住居跡……98
第73図　SI36住居跡……99
第74図　SI37住居跡（１）…… 100
第75図　SI37住居跡（２）…… 101
第76図　SI39住居跡（１）…… 102
第77図　SI39住居跡（２）…… 103
第78図　SI40住居跡（１）…… 105
第79図　SI40住居跡（２）…… 106
第80図　SI40住居跡（３）…… 107
第81図　SI41住居跡…… 109
第82図　SI42住居跡…… 110
第83図　SI43住居跡（１）…… 111
第84図　SI43住居跡（２）…… 112
第85図　SI44住居跡（１）…… 114
第86図　SI44住居跡（２）…… 115
第87図　SI45住居跡…… 117
第88図　SI47住居跡（１）…… 118
第89図　SI47住居跡（２）…… 119
第90図　SI49住居跡…… 120
第91図　SI50住居跡…… 122
第92図　SI51住居跡…… 123
第93図　SI52住居跡…… 125
第94図　SI53住居跡…… 126
第95図　SI54住居跡…… 128
第96図　SI55住居跡…… 129
第97図　SI56住居跡（１）…… 130
第98図　SI56住居跡（２）…… 131
第99図　SI57住居跡…… 133
第100図　SI58住居跡 …… 134
第101図　SI59住居跡（１）…… 136
第102図　SI59住居跡（２）…… 137
第103図　SI59住居跡（３）…… 138
第104図　SI60住居跡 …… 139
第105図　SI61住居跡 …… 140
第106図　SI62住居跡（１）…… 141
第107図　SI62住居跡（２）…… 142
第108図　SI63住居跡 …… 143
第109図　SI64住居跡（１）…… 145
第110図　SI64住居跡（２）…… 146
第111図　SI64住居跡（３）…… 147
第112図　SI65住居跡 …… 148

第113図　SI66住居跡 …… 149
第114図　SI67住居跡 …… 151
第115図　SI68住居跡 …… 152
第116図　SI69・70住居跡（１） …… 153
第117図　SI69・70住居跡（２） …… 154
第118図　SI71住居跡（１）…… 155
第119図　SI71住居跡（２）…… 156
第120図　SI72住居跡 …… 157
第121図　SI73住居跡（１）…… 159
第122図　SI73住居跡（２）…… 160
第123図　SI74住居跡 …… 161
第124図　SI75住居跡 …… 162
第125図　SI76住居跡 …… 164
第126図　SI77住居跡（１）…… 165
第127図　SI77住居跡（２）…… 166
第128図　SI78住居跡（１）…… 168
第129図　SI78住居跡（２）…… 169
第130図　SI79住居跡 …… 170
第131図　SI80住居跡 …… 172
第132図　SI81住居跡（１）…… 173
第133図　SI81住居跡（２）…… 174
第134図　SI81住居跡（３）…… 175
第135図　SI82住居跡 …… 176
第136図　SI83住居跡 …… 177
第137図　SI84住居跡 …… 178
第138図　SI85住居跡 …… 179
第139図　SI86住居跡 …… 180
第140図　SI87住居跡 …… 181
第141図　SI88住居跡 …… 183
第142図　SI89住居跡 …… 184
第143図　SI90住居跡 …… 185
第144図　SI91住居跡 …… 186
第145図　SI93住居跡 …… 188
第146図　SI94住居跡 …… 188
第147図　SI95住居跡 …… 189
第148図　SI96住居跡 …… 189
第149図　SI97住居跡 …… 191
第150図　SI98住居跡 …… 192
第151図　SKI01・02・04住居状遺構 …… 194
第152図　SKI05・06・09住居状遺構 …… 195
第153図　SKI10・11住居状遺構 …… 196
第154図　SB01・02掘立柱建物跡 …… 198
第155図　SB03～05掘立柱建物跡 …… 199
第156図　SB07掘立柱建物跡 …… 200
第157図　SB08～10掘立柱建物跡 …… 201
第158図　SN02・04～09焼土遺構 …… 203
第159図　SN10・11・13～16焼土遺構 …… 204
第160図　SN17～19焼土遺構 …… 205
第161図　SN20～23・25・27・28焼土遺構 …… 206
第162図　SN29・30・33・34・36焼土遺構 …… 207
第163図　SN37・38・41～43焼土遺構 …… 208
第164図　SK04～06・08・10～13土坑 …… 211
第165図　SK14～21土坑 …… 212
第166図　SK22～29土坑 …… 213
第167図　SK30～38土坑 …… 214
第168図　SK39・41・42・44～47土坑 …… 215
第169図　SK48～57土坑 …… 216
第170図　SK58～62・64～66土坑 …… 217
第171図　SK67～75・77・83土坑 …… 218
第172図　SK89～92・94～96土坑・SN26焼土遺構… 219
第173図　SK97・99～102・104・105土坑 …… 220
第174図　SK106・107・109・110～112土坑 …… 221
第175図　SK113・116～119・121・122・126・127土坑… 222
第176図　SK128・130・131・133～136土坑 …… 223
第177図　SK137・138・141～147土坑 …… 224
第178図　SK148～150土坑 …… 225
第179図　SX01・02焼成遺構 …… 227
第180図　SX04・06・07・09・10焼成遺構 …… 228
第181図　SX11～14焼成遺構 …… 229
第182図　SX15・16・18～20焼成遺構 …… 230
第183図　SX21～24焼成遺構 …… 231
第184図　SX25～28・30焼成遺構 …… 232
第185図　SX31・32・34・35・37焼成遺構 …… 233
第186図　SX38～42焼成遺構 …… 234
第187図　SX43～45・47・48焼成遺構 …… 235
第188図　SX50～53焼成遺構 …… 236
第189図　SX54・55・57・58焼成遺構 …… 237
第190図　SX59～64・67焼成遺構 …… 238
第191図　SX68～71焼成遺構 …… 239
第192図　SX72～76焼成遺構 …… 240
第193図　SX77～83焼成遺構 …… 241
第194図　SX84～91焼成遺構 …… 242
第195図　SX93～97焼成遺構 …… 243
第196図　SX98～100焼成遺構 …… 244
第197図　SX101～106焼成遺構 …… 245
第198図　SX107・109・111～113焼成遺構 …… 246
第199図　SX114・115・118～122焼成遺構 …… 247
第200図　SX123・124・127・128焼成遺構 …… 248
第201図　SX129・131～134・136焼成遺構 …… 249
第202図　SX137～140焼成遺構 …… 250

第203図　SX141～143焼成遺構 …… 251
第204図　SX36･46･08･17 …… 253
第205図　SX56･108 …… 254
第206図　SD01～03溝跡 …… 257
第207図　SD02溝跡 …… 258
第208図　SD02･03溝跡 …… 259
第209図　SD04～09溝跡 …… 260
第210図　SD10～12溝跡 …… 261
第211図　SD13～15溝跡 …… 262
第212図　SD16～18･25･26溝跡 …… 263
第213図　SD19･21･22溝跡 …… 264
第214図　SD27溝跡 …… 265
第215図　SD28～30溝跡 …… 266
第216図　SD31～34･46溝跡 …… 267
第217図　SD35～39･42･43･47･49･51溝跡（１）… 268
第218図　SD35～39･42･43･47･49･51溝跡（２）… 269
第219図　SD35～39･42･43･47･49･51溝跡（３）… 270
第220図　1UM畝間状遺構 …… 272
第221図　2～4UM畝間状遺構 …… 273
第222図　5･6UM畝間状遺構 …… 274
第223図　7～9UM畝間状遺構 …… 275
第224図　10･11UM畝間状遺構 …… 276
第225図　14･16･17UM畝間状遺構 …… 277
第226図　SU01遺物集中 …… 280
第227図　SU02遺物集中 …… 281
第228図　SU03遺物集中 …… 282
第229図　SU04･05遺物集中 …… 283
第230図　SU06～09遺物集中 …… 284
第231図　Ｄ区包含層（１）…… 287
第232図　Ｄ区包含層（２）…… 288
第233図　柱穴状土坑分布図（１）…… 289
第234図　柱穴状土坑分布図（２）…… 290
第235図　柱穴状土坑分布図（３）…… 291
第236図　柱穴状土坑分布図（４）…… 292
第237図　柱穴状土坑分布図（５）…… 293
第238図　柱穴状土坑分布図（６）…… 294
第239図　柱穴状土坑分布図（７）…… 295
第240図　柱穴状土坑分布図（８）…… 296
第241図　柱穴状土坑分布図（９）…… 297
第242図　柱穴状土坑分布図（10）…… 298
第243図　柱穴状土坑分布図（11）…… 299
第244図　柱穴状土坑分布図（12）…… 300
第245図　柱穴状土坑分布図（13）…… 301
第246図　柱穴状土坑分布図（14）…… 302
第247図　柱穴状土坑分布図（15）…… 303
第248図　柱穴状土坑分布図（16）…… 304
第249図　柱穴状土坑分布図（17）…… 305
第250図　柱穴状土坑分布図（18）…… 306
第251図　柱穴状土坑分布図（19）…… 307
第252図　柱穴状土坑分布図（20）…… 308
第253図　柱穴状土坑分布図（21）…… 309
第254図　柱穴状土坑分布図（22）…… 310
第255図　柱穴状土坑分布図（23）…… 311
第256図　柱穴状土坑分布図（24）…… 312
第257図　柱穴状土坑分布図（25）…… 313
第258図　柱穴状土坑分布図（26）…… 314
第259図　Ｄ区包含層内土器出土傾向 …… 378
第260図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（１）… 379
第261図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（２）… 380
第262図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（３）… 381
第263図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（４）… 382
第264図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（５）… 383
第265図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（６）… 384
第266図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（７）… 385
第267図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（８）… 386
第268図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（９）… 387
第269図　第Ⅰ～Ⅴ群土器のD区包含層内分布状況… 388
第270図　土師器・須恵器分類図（１）…… 390
第271図　土師器・須恵器分類図（２）…… 391
第272図　赤彩土器集成 …… 397
第273図　穿孔・故意破損土器集成 …… 398
第274図　線刻・墨書土器集成 …… 399
第275図　石器器種別出土地点割合 …… 406
第276図　古代の鉄製品集成図（１）…… 422
第277図　古代の鉄製品集成図（２）…… 423
第278図　弥生時代土壙墓 …… 547
第279図　縄文晩期末～弥生遺構分布 …… 548
第280図　磨製石斧製作工程 …… 549
第281図　古代土器の各段階資料（１）…… 552
第282図　古代土器の各段階資料（２）…… 553
第283図　古代遺構分布状況 …… 556
第284図　井桁状溝群を持つ住居跡 …… 557
第285図　12世紀代の遺構群 …… 559

Ⅰ　調査に至る経過

千苅遺跡は、北上川中流部緊急治水対策事業二子地区築堤工事の施工に伴って、その事業区域内に存在することから発掘調査を実施することになったものである。

北上川は、岩手県岩手町御堂にその源を発し、大小支川を合わせて岩手県を南に縦断し、岩手・宮城県境の狭窄部を経て宮城県石巻市で太平洋に注ぐ、幹線流路延長249㎞の一級河川である。

事業対象地域である「二子地区」は、北上川上流右岸79㎞付近に位置し、平成14年７月洪水及び平成19年９月洪水により、５年間で２度にわたる甚大な浸水被害が発生している。後背地には住家等の資産が集中していることから、災害防止対策として緊急的な治水対策が必要となっているため、平成22年度に事業着手したものである。

千苅遺跡は、岩手県教育委員会作成の県遺跡台帳登録済、周知の遺跡である。当事業の施工に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、岩手河川国道事務所から岩手県教育委員会に対し、平成22年11月18日付け国東整岩一工第62号「北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）における埋蔵文化財の試掘調査について（依頼）」により試掘調査の依頼を行った。

依頼を受けた岩手県教育委員会が平成22年12月14～15日に試掘調査を実施した結果、事業用地全域において遺構、遺物の検出が確認され、工事着手に先だって用地内全域についての発掘調査が必要となる旨、平成22年12月20日付教生第1147号「埋蔵文化財の試掘調査について（回答）」により当事務所へ回答がなされた。

その結果を踏まえて当事務所は岩手県教育委員会と協議を行い、発掘調査を公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化センターの受託事業とすることとした。これにより平成23年７月19日付けで岩手河川国道事務所長と公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長との間で委託契約を締結し、千苅遺跡の発掘調査を実施することとなった。

（国土交通省東北地方整備局　岩手河川国道事務所）

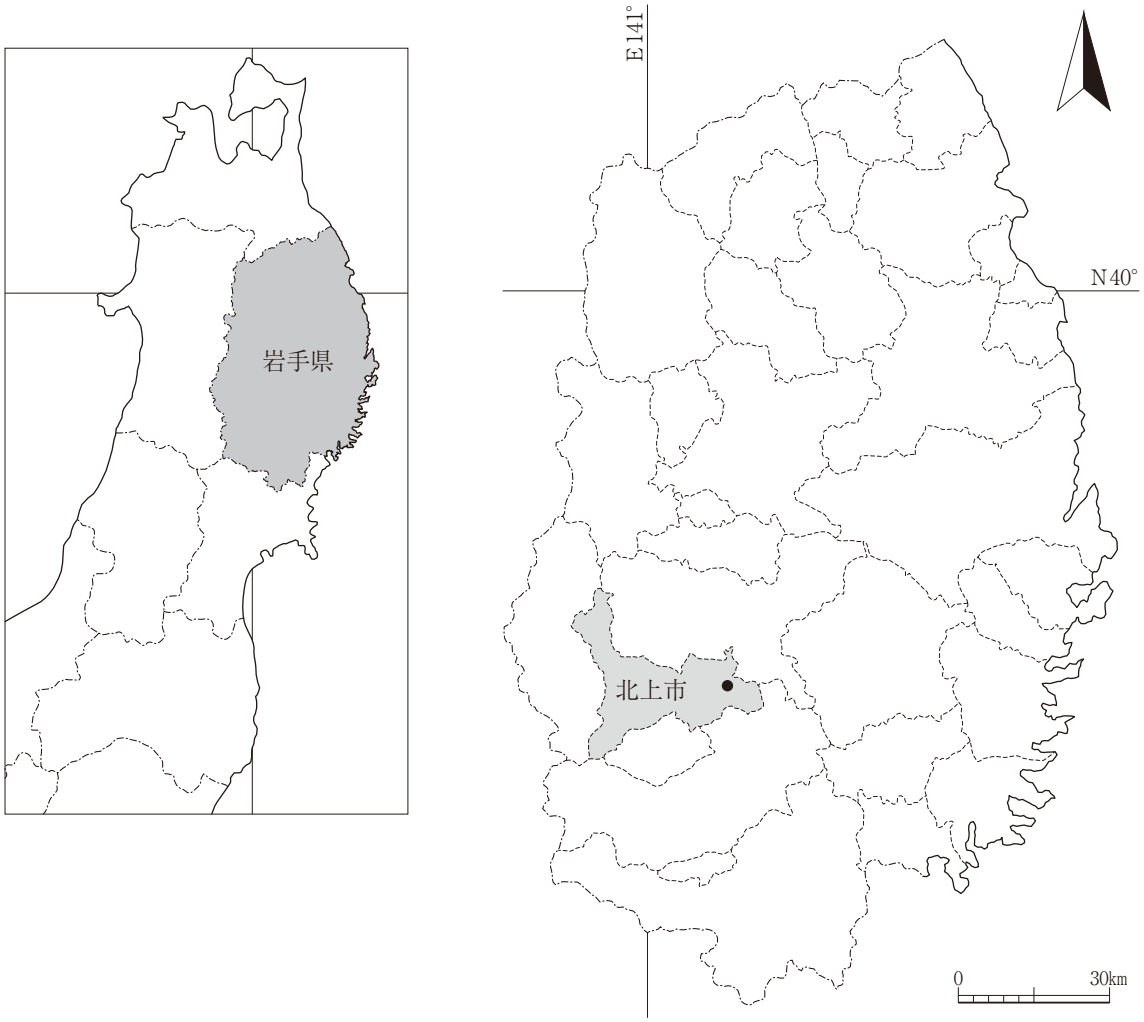
Ⅱ　遺跡の立地と環境

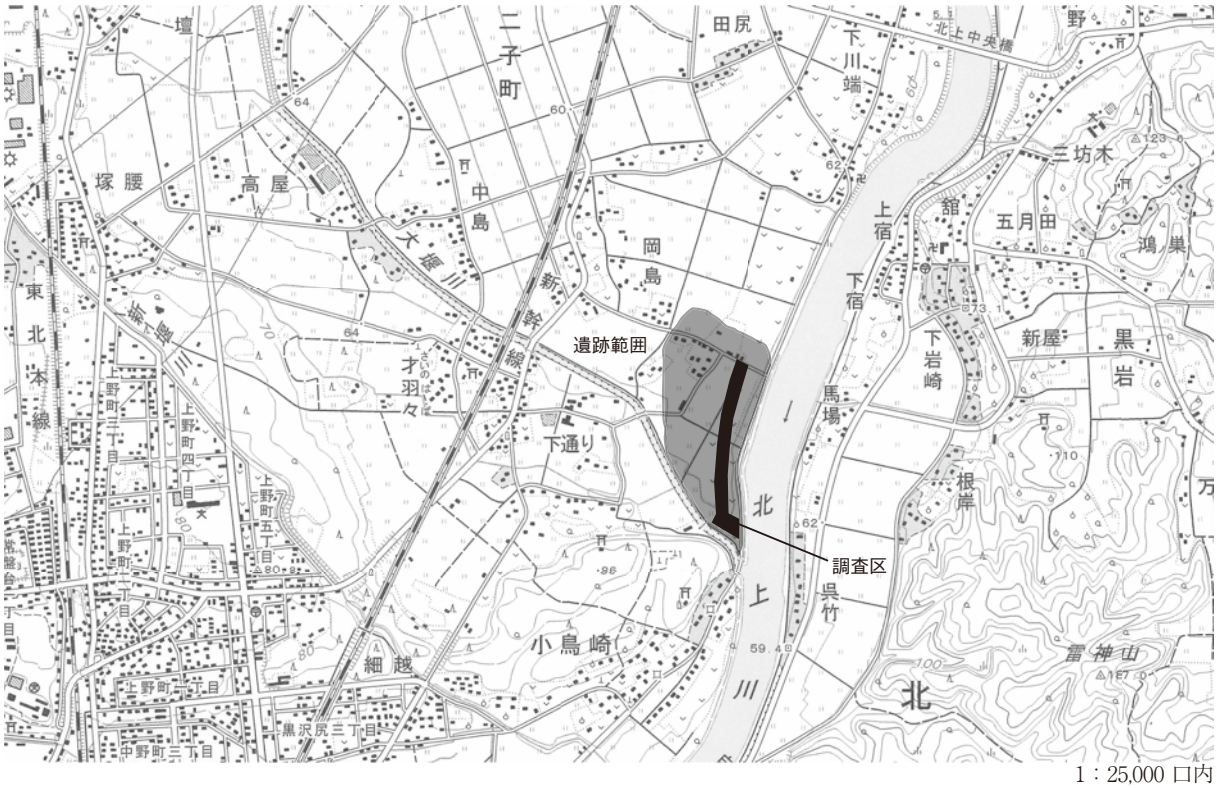
１　地 理 的 環 境

（１）　遺跡の位置と立地（第１・４図）

千苅遺跡は岩手県北上市二子町千苅224ほかに所在する。北上市は岩手県内陸の北上川に沿って南北に広がる北上盆地のほぼ中央に位置する。北は花巻市、東は奥州市江刺区・花巻市東和町、南は胆沢郡金ケ崎町、西は和賀郡西和賀町と接し、面積は43,755㎢、人口は平成25（2013）年12月現在で93,929人を数える。交通の要衝に位置し県南部の商工業、流通の拠点として発展してきた都市である。北上市は昭和29（1954）年に黒沢尻町、飯豊村、二子村、更木村、鬼柳村、相去村、福岡村が合併して成立した。平成３（1991）年には和賀町、江釣子村と合併し、現在の市域となっている。

遺跡はＪＲ東北本線村崎野駅の南東約３㎞、同北上駅の北東3.6㎞に位置する。国土地理院発行５万分の１地形図「北上」、２万５千分の１地形図「口内」の図幅に含まれ、北緯39度18分14秒、東経141度8分46秒付近に位置する。調査区は調査原因となった堤防用地内の幅約40～45m、延長約620mの細長い範囲で、面積は27,548㎡、標高は59～60mである。調査前の現況は主に畑地であり、他に水田、





1：25,000 口内

第１図　遺跡位置

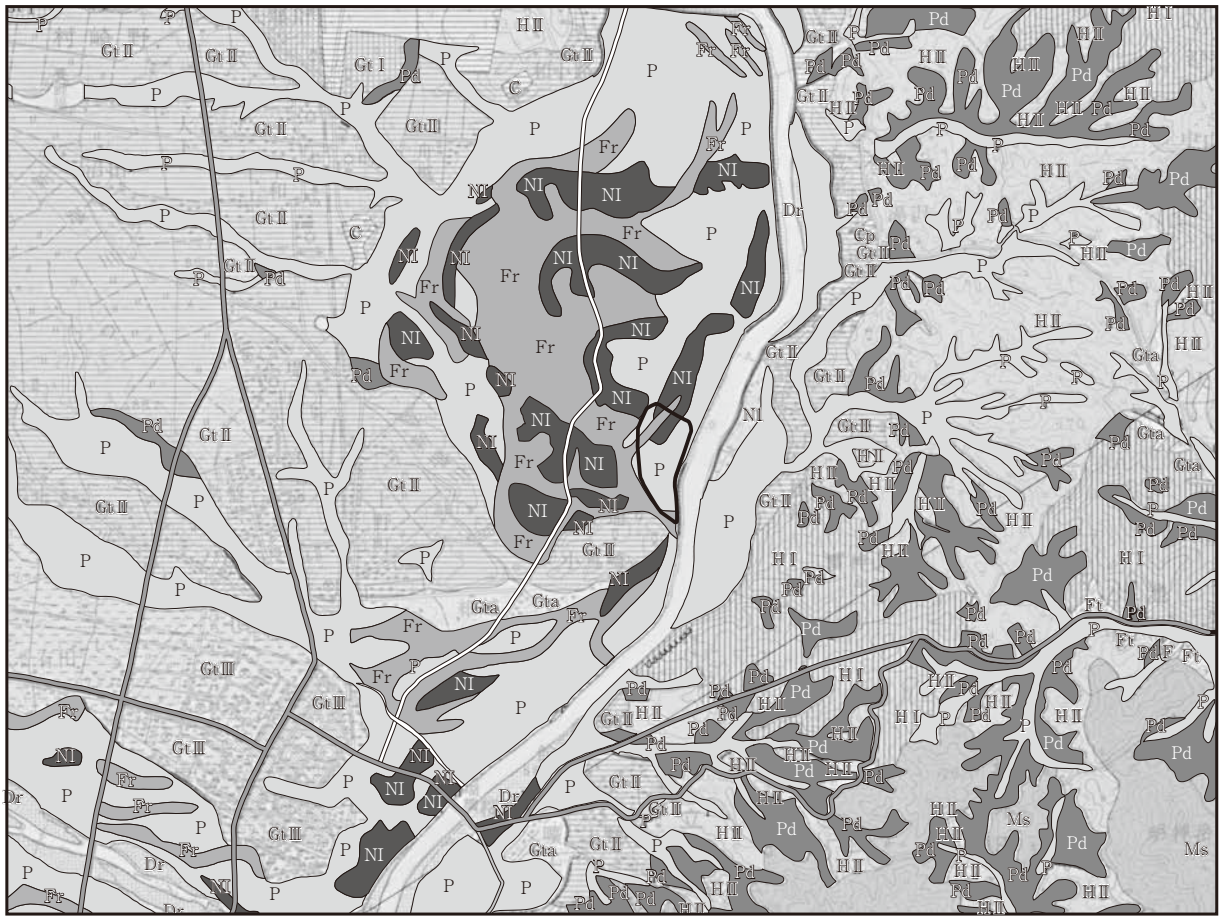
及び道路の地点が含まれる。なお、調査区南端の大堰川排水樋門の南には小鳥崎館跡が隣接しており、本事業に係る発掘調査が平成24年度に千苅遺跡と並行して2,100㎡を対象に実施されている。調査内容は『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第620集』内に収録されている。中世城館小鳥崎館跡の一画にあたる調査区であるが、館跡に確実に伴う遺構は確認されていない。また、調査区北端にある市道岡島線以北には中村遺跡が隣接しており、本事業に係る調査については、平成26・27年度に21,870㎡を対象として（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターにより実施されている。

（２）　遺跡周辺の地形（第２図）

千苅遺跡は北上川中流域の右岸に形成された自然堤防上に立地する。北上川は流路延長249㎞、流域面積10,150㎢、東北地方一の大河である。源流は岩手郡岩手町御堂にあり、奥羽山脈及び北上山地に源を発する支流を合わせながら岩手県内を南流し、宮城県の平野部を経て河口に至る。流域には平野が広く発達するが、盛岡市北部と一関市南東の２箇所で狭窄部を流れる。この２箇所によって北上川は上・中・下流に分けられる。北上川は中流域において、壮年期の急峻な地形を呈している奥羽山脈と、それとは対照的に老年期に入り緩慢な地形となっている北上高地の間を流れる。北上盆地は北上川とその支流の土砂運搬作用および開析作用によって形成されたものであるが、奥羽山脈に源をもつ支流による流出土砂が北上高地からに比べて圧倒的に多いので、北上川は盆地の東側に偏った流れとなっており、西側には奥羽山脈沿いに複合扇状地と河岸段丘が、東側は準平原である北上高地の残丘の丘陵が発達している。

北上市周辺においてもこうした地形上の特徴は明瞭に見受けられる。北上市周辺の地形は北上川を境として、西部の扇状地性の台地群と東部の小起伏山地を含む丘陵地帯の二つに区分される。西部の台地群は奥羽山脈から東流する河川が洪水と流路の変遷を繰り返して形成した扇状地や、北上川の旧河床が段丘化したもので、段丘群は高位のものから順に西根段丘・村崎野段丘・金ケ崎段丘に区分されるが、地域によっては村崎野・金ケ崎段丘はさらに細分される。現在はこれらの台地群を刻んで、和賀川およびその支流の夏油川の両岸に幅１～２㎞の谷底平野がみられる。東部では一部に台地が発達する地域はあるものの大部分は標高200m～300m内外の丘陵地で、その中に小起伏山地が散在する。北上川沿いでは幅１～４kmの平野が開けており、北上川の流路変遷をうかがうことのできる旧河道と自然堤防地形が残存する。本遺跡のある二子地区は、北及び東は北上川を境とし、西は旧奥州街道、南は江戸時代初期に和賀川から引かれた用水路である新堰川を境界とし、更木地区、飯豊地区、黒沢尻地区と接している。北西部に標高112mの一つ森と、これに次ぐ二子の地名の元となった「八幡山」「秋葉山」の二つの小山がある。これに続いて西部から南端までの境界に沿った幅数百m以内の台地は村崎野段丘に区分される。それ以外の二子地区の大部分は標高約60～70mの平坦地で、旧河道と自然堤防、氾濫原が複雑に入り組んだ地形となっている。

千苅遺跡の立地する自然堤防は現況では幅100m程度と捉えられる。調査区は自然堤防地形の中央を縦断する形である。北上川の平均河床面は標高約55mであり、調査区現地表標高約60mとは５m程度の比高差がある。なお、周辺住民の方からの情報では、昭和20年代に行われた耕地整理以前には遺跡の西端には明瞭な旧河道が存在し、周辺の水田面との比高差は２～３m程はあったという。現在は遺跡の西側は平坦な水田に造成されているが、今回の調査区が立地する畑地とは１m未満の段差が残っている。



山　地　MOUNTAINS

- Ms　小起伏山地（起伏量200m未満）　Low relief mountain (relief energy〈200m)
- Pd　山麓地及び他の緩斜面　Piedmont low land and other gentle slope

丘陵地　HILLY LANDS

- HⅠ　丘陵地 Ⅰ（起伏量200～100m）　Hilly land Ⅰ(relief energy 200～100m)
- HⅡ　丘陵地 Ⅱ（起伏量100m未満）　Hilly land Ⅱ(relief energy〈100m)

台　地　TABLE LANDS

- GtⅡ　砂礫段丘 Ⅱ　Gravelly terrace Ⅱ
- GtⅢ　砂礫段丘 Ⅲ　Gravelly terrace Ⅲ
- Gta　沖積段丘　Alluival terrace

低　地　PLAINS

- F　扇状地　Fan
- Ft　崖錐性扇状地　Talus like fan
- P　谷底平野及び氾濫平野　Valley plain flood plain
- NI　自然堤防　Natural levee
- Fr　旧河道　Former river course
- Dr　河　原　Dry river bed

その他　MISCELLANEOUS

- C　人工改変地　Cut and rolled surface
- 崖　Cliff
- 遷起点　Knick point
- 崖 錐　Talus
- 壁　岩　Precipice rock
- 国　道
- 県　道
- 主要水系流域界
- １級河川
- ２級河川

第２図　千苅遺跡周辺の地形分類図

2　周 辺 の 遺 跡(第3図　第1表)

岩手県遺跡登録台帳によると、平成24年12月現在で北上市には登録遺跡が534箇所あり、二子地区には34遺跡が分布している。このうち、まず二子地区に所在する遺跡で発掘調査が行われその内容が知られているものについて記載する。続いて、本遺跡で中心となる縄文時代晩期～弥生時代、及び奈良時代～平安時代と関連する、北上市域における同時代の状況について概観する。(以下、遺跡名に続き第３図中の番号)

【二子地区の遺跡】

二子城跡 (29) は中世の和賀地方を支配した和賀氏の居城である。村崎野段丘にある標高100ｍを超える残丘および周囲の段丘上に立地する。飛勢公園 (二子城詰丸比定地) を中心とした地域からは、縄文時代の土器片、石器、平安時代の土師器や須恵器の破片などが採集されており、各時代にわたる複合遺跡として注目されている。二子城跡に包含される物見崎遺跡からは縄文時代前期から弥生時代にかけての竪穴住居跡18棟、土坑１基、炭窯跡５基、溝跡４条が検出された。竪穴住居跡は縄文時代前期のものが14棟、縄文時代後期が２棟、弥生時代２棟である。ただし、物見崎遺跡は第三北上中部工業用水道事業による工業用水道施設の建設に伴いその多くが消滅している。二子城跡坊館遺跡および二子城跡白鳥館跡遺跡からは縄文時代早期の遺物が出土しているが、どちらの遺跡からも居住域は検出されていない。

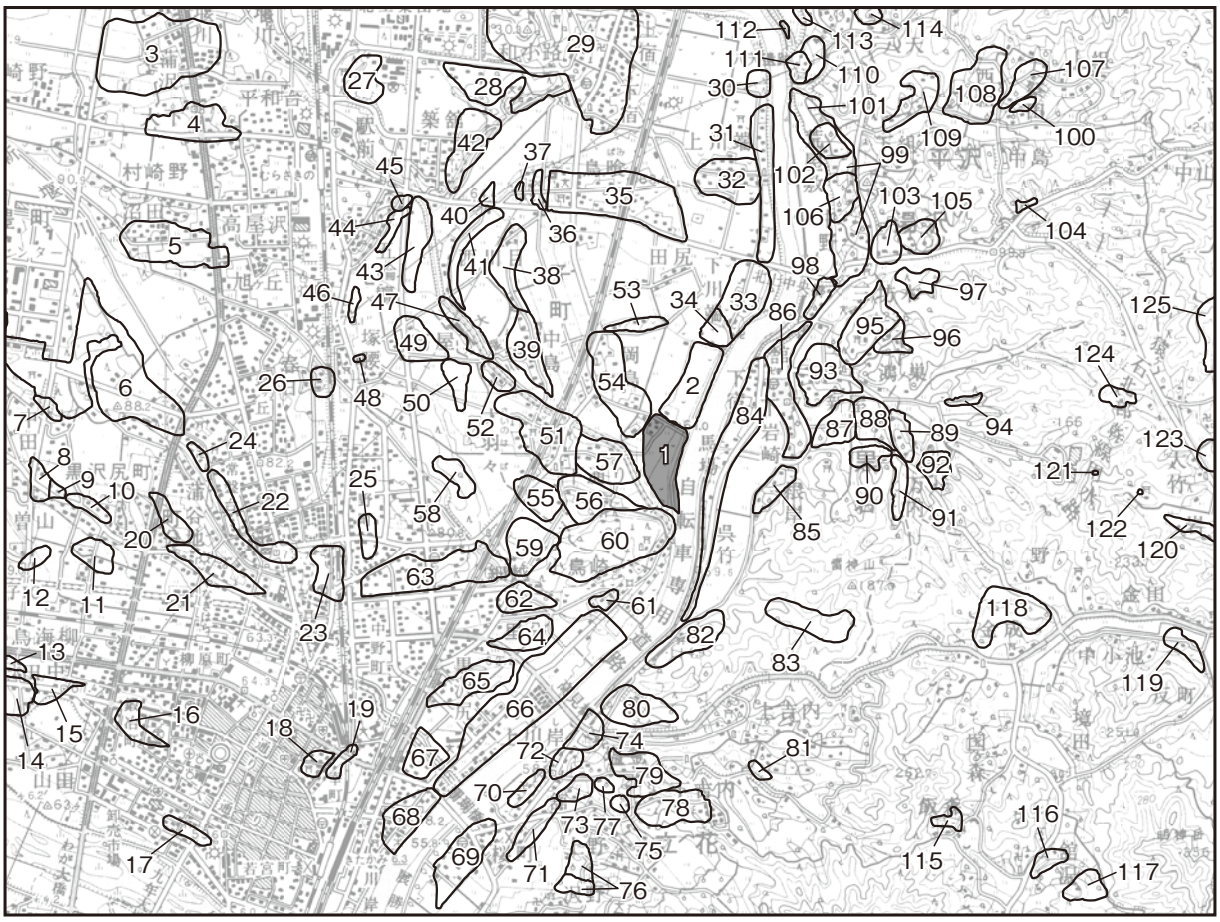
秋子沢遺跡 (28) は北上北中学校のグランドの西側の段丘にひろがる９～10世紀にかけての集落跡で、部分調査で16棟の竪穴住居跡が見つかっている。竪穴住居跡からは土器とともに緑釉陶器が出土しており、地域の有力者に関連した遺跡と考えられる。二子地区の南端にある中居俵Ⅱ遺跡 (56) では９世紀後半の竪穴住居跡６棟が検出された。縄文時代前期から晩期にかけての土器や石器も出土しているが遺構外からの出土である。

北上川からやや離れた平坦地の西側の地域には、旧河道によって形成された自然堤防上に西川目・堰向・南田・野田Ⅰなどの遺跡が立地する。西川目遺跡 (38) と堰向Ⅱ遺跡 (41) は旧河道をはさんで向かいあう自然堤防上にあり、西川目遺跡では平安時代の竪穴住居跡９棟、掘立柱建物跡６棟などのほか、江戸時代中期の掘立柱建物跡１棟、墓坑10基など、堰向Ⅱ遺跡では平安時代の竪穴住居跡46棟、掘立柱建物跡２棟、江戸時代の掘立柱建物跡１棟が発見されている。両遺跡で検出された平安時代の掘立柱建物跡には廂付、総柱式のものがあること、また、硯・緑釉陶器などの特殊な遺物が出土していることなどから、秋子沢遺跡と同様に一般的な集落とは異なる性格が想定されている。野田Ⅰ遺跡 (51) も自然堤防上にある９～10世紀にかけての集落跡で、竪穴住居跡が５棟確認されている。

一方、二子地区の東端にあたる北上川右岸の自然堤防上には上川端塚群・上川端Ⅰ・尻引・中村・千苅の各遺跡が分布する。上川端塚群 (30) は大小8基以上の塚が分布する土葬墓群で、そのうちの１基からは人骨が出土した。中世末期から江戸時代初期のものと考えられている。尻引遺跡 (34) は奈良時代から平安時代中期にかけての集落跡で、竪穴住居跡７棟、集落を区切る大溝１条がある。特に尻引遺跡は千苅遺跡・中村遺跡と続く自然堤防上の遺跡群に含まれる立地であり、遺跡の時代・内容も深い関連を有する調査結果が得られていることから注目すべき遺跡である。

【北上市内の縄文～弥生時代遺跡】

これまで二子地区では奈良・平安時代の遺跡が集中しているのに比較し、縄文時代から古墳時代にかけての遺跡の密度は薄いとされてきた。しかし今回の調査によって、千苅遺跡では縄文時代晩期か



第３図　周辺遺跡分布図

第１表　周辺遺跡一覧

No.	遺跡名	時　代
1	千苅	平安
2	中村	平安
3	蒲沢	縄文
4	大下	縄文
5	旭ヶ岡西	縄文
6	藤沢	縄文･弥生･奈良･平安
7	中田	平安
8	清水端	奈良・平安
9	曽山Ⅰ	平安
10	曽山Ⅱ	平安
11	柳田	平安・縄文
12	萩島	平安
13	高橋	平安
14	八幡	奈良･平安･縄文
15	鳥海柳	奈良・平安
16	大曲西	平安
17	九年橋	縄文
18	諏訪神社境内	平安
19	和野	縄文
20	蒲谷地Ⅰ	
21	蒲谷地Ⅱ	縄文･奈良～平安
22	常盤台	平安
23	黒沢尻北高ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	平安
24	藤沢窯跡群	平安
25	黒沢尻上野町住宅	平安
26	下春木場	縄文
27	伊勢	近世
28	秋子沢	平安
29	二子城	中世・縄文
30	上川端塚群	中世
31	上川端Ⅰ	平安
32	上川端Ⅱ	古代

No.	遺跡名	時　代
33	下川端	平安
34	尻引	平安
35	鳥喰Ⅰ	古代
36	鳥喰Ⅱ	古代
37	鳥喰Ⅲ	古代
38	西川目	平安
39	中島	古代
40	堰向Ⅰ	縄文・古代
41	堰向Ⅱ	平安・近世
42	築館	平安
43	南田Ⅰ	縄文・平安
44	南田Ⅱ	縄文
45	五輪壇	中世
46	明神Ⅰ	古代
47	明神Ⅱ	古代
48	二子一里塚	近世
49	高屋Ⅰ	古代
50	高屋Ⅱ	古代
51	野田Ⅰ	弥生･縄文･古代
52	野田Ⅱ	縄文
53	相野野	古代
54	岡島	古代
55	中居俵Ⅰ	
56	中居俵Ⅱ	縄文・古代
57	中居俵Ⅲ	古代
58	上野	
59	蟹沢	縄文・平安
60	小鳥崎館（館山）	中世
61	小鳥崎	縄文
62	細越	縄文
63	梨子山	縄文
64	幅下	縄文･弥生･平安

No.	遺跡名	時　代
65	里分	平安
66	牡丹畑	縄文･弥生･奈良･平安
67	方八丁館	平安
68	川岸	平安･中世･近世･縄文
69	立花南	縄文･弥生･奈良･平安
70	立花館（館）	平安
71	館Ⅰ	縄文
72	館Ⅱ	縄文
73	館Ⅲ	縄文
74	館Ⅳ	縄文･平安･中世･近世
75	館Ⅴ	縄文
76	沢野	縄文
77	立花小学校下	縄文
78	高館	縄文・中世
79	塩釜	縄文・平安
80	横町	縄文･奈良･平安･中世
81	橘内七ツ森	中世
82	岩渓	縄文
83	法勝坊	中世・近世
84	黒岩宿	縄文･弥生･平安
85	根岸	縄文
86	黒岩城	縄文･平安･中世
87	菅田	縄文・平安
88	四十九里Ⅰ	縄文・平安
89	四十九里Ⅱ	縄文
90	四十九里Ⅲ	縄文・中世
91	大平沢	縄文
92	万内	縄文
93	白山廃寺	平安
94	大畑	縄文・古代
95	鴻巣Ⅰ	縄文・平安
96	鴻巣Ⅱ	古代

No.	遺跡名	時　代
97	神行田	縄文
98	三坊木館	中世・縄文
99	三坊木	縄文・平安
100	小田島館	中世
101	烏森	縄文・平安
102	平沢堀ノ内	中世
103	湯沢Ⅰ	古代
104	湯沢Ⅱ	縄文
105	湯沢館	縄文・中世
106	小田嶋館	中世
107	祭田	縄文
108	長洞	縄文
109	沢目	縄文
110	八天	縄文
111	下欠野館	中世
112	八天北	平安
113	羽久保館	中世
114	天王館	中世
115	飯森	平安・縄文
116	柧ノ木田城	中世
117	柧ノ木田古館（大和館）	中世
118	金成	縄文・平安
119	一本杉	平安
120	ミミトリⅠ	平安
121	水押西Ⅰ	平安
122	水押西Ⅱ	平安
123	中屋敷古館	中世
124	中山館	中世
125	鹿の子	平安・縄文

ら弥生時代にかけての竪穴住居跡と遺物包含層が確認された。また、奈良・平安時代の竪穴住居跡も多数確認されるに至った。そこで北上市内の遺跡のうち、まず縄文時代晩期末から弥生時代にかけての遺跡、続いて奈良・平安時代の遺跡について概観する。

前述の物見崎遺跡では弥生時代初頭の竪穴住居跡２棟が検出され、遺構埋土から変形工字文を文様の主体とし、一部磨消縄文を伴う蓋型土器、鉢形土器、口縁部まで縄文を施文するかあるいはヘラ削り状の調整がみられる甕形土器、器表面が無文でミガキ調整された壺形土器、高坏の脚部などの弥生時代の土器が出土している。これと隣接する馬場野遺跡では、土坑７基のうち５基から縄文時代晩期（大洞C_2式～Ａ式期）の土器片が出土しており、中位段丘である村崎野段丘上に遺跡が分布することがわかる。和賀川右岸の下位・中位段丘上には規模は小さいが当該時期の遺跡が連続する。上鬼柳Ⅰ遺跡では弥生時代初頭前期の竪穴住居跡３棟、土壙墓１基、東に隣接する上鬼柳Ⅱ遺跡でも竪穴住居跡１棟が検出されている。兵庫館跡では弥生時代の土壙墓１基と埋設土器３基がみつかっている。土壙墓は再葬墓で、鉢と壺、蓋を伴う壺の３点が並んで埋納されていた。壺は遠賀川系土器の大型のものである。東に隣接する梅ノ木台地Ⅱ遺跡でも埋設土器が出土している。土器棺で前期～中期の時期と推測される。和賀川左岸にある本宿遺跡にも土壙墓があり、埋土下部および底面から合計４個体分の甕が出土している。弥生時代後期天王山式段階に比定される。また土壙墓底面出土の甕胴部内面には籾痕が認められた。北上川左岸の金附遺跡は縄文時代晩期から弥生時代中期にかけての遺跡である。谷地形に形成された遺物包含層から出土した大量の土器は、縄文時代晩期末から徐々に増え始めて、弥生時代前期段階のものが最も多い。また、多量の磨製石斧未成品をはじめとして製作に関係した石器が出土している点から、豊富な河川礫を素材とした石器製作が盛行していたと考えられる。北上川右岸の自然堤防上に立地する牡丹畑遺跡（66）、北上川と和賀川の合流点から３㎞西に遡った地点にある大橋遺跡では縄文晩期の土器が大量に出土している。大橋遺跡は縄文時代晩期中葉を中心時期とする遺跡で、大規模な遺物包含層２箇所、掘立柱建物跡のほか、盛土遺構、配石遺構などが検出された。和賀川左岸の九年橋遺跡（17）も晩期後半の遺物を大量に出土している遺跡である。700点に及ぶ土偶をはじめとする多種多様な出土品からは、単なる破損品の廃棄に留まらない、祭祀的な遺跡の性格が類推される。

【北上市内の奈良～平安時代遺跡】

次に奈良・平安時代の遺跡について見ると、村崎野段丘上に位置する藤沢遺跡（６）では竪穴住居跡、土坑、製銅遺構などが検出されている。竪穴住居跡は８世紀後半から９世紀代の、製銅遺構は出土遺物から８世紀末の年代が与えられている。竪穴住居跡にはいわゆるロクロピットが確認されたものや緑釉・灰釉陶器が出土している竪穴住居跡を含む。北上川右岸の自然堤防上に立地する上川岸Ⅱ遺跡は９世紀から10世紀にかけての集落跡とされ、竪穴住居跡25棟が見つかっている。これに隣接する牡丹畑遺跡（66）では竪穴住居７棟、竪穴状遺構５基、土坑12基などがある。竪穴住居跡は８世紀後半から10世紀代に位置付けられている。北上川左岸の台地上に立地する横町遺跡（80）では奈良・平安時代の集落が確認されている。横町遺跡では竪穴住居跡77棟、掘立柱建物跡３棟、仏堂と考えられる礎石建物跡１棟が検出され、竪穴住居跡は大半が９世紀後半のものである。立花南遺跡(69)では、８世紀後半から９世紀前半の竪穴住居跡６棟が調査された。

北上川東岸下流の国見山南麓一帯に展開する国見山廃寺は９世紀中葉から造営が開始された山岳寺院で、10世紀には五重塔を備える大寺院となり隆盛を極める。千苅遺跡の対岸に位置する白山廃寺(93)、更木地区の大竹廃寺も含め、平安時代の仏教関連遺跡が集中する地域となっている。

和賀川右岸の下位・中位段丘の北側縁辺上には規模は多様であるが、平安時代の遺跡が連続してお

り、当該期の竪穴住居跡の総数は202棟にも及ぶ。なかでも岩崎台地遺跡群は竪穴住居跡140棟が集中している、９世紀初頭から11世紀代までの変遷を追うこのできる県内では例を見ない遺跡である。また、墨書・刻書土器合計85点もの出土が注目される。上鬼柳Ⅲ遺跡は９世紀末から10世紀代の集落跡であるが、竪穴住居跡22棟に加えて５段階の変遷が想定される掘立柱建物跡12棟が確認されている。二彩・緑釉・灰釉陶器が発見されているが、他にも「寿」「寺」と墨書された土師器坏や「佛」と刻まれた土師器坏が出土している。施釉陶器が出土し掘立柱建物跡が検出されている前述の二子地区の秋子沢遺跡、西川目遺跡、堰向遺跡や藤沢遺跡とあわせて、古代和我郡の支配のあり方を示唆する遺跡として興味深い。

第Ⅱ章引用・参考文献

北上市1968『北上市史第一巻原始・古代（1）』
北上市1970『北上市史第二巻古代（2）・中世』
北上市立博物館1974『北上市の原始・古代の遺跡』
杉本良2007「奥六郡安倍氏の諸寺院」『紀要』第4号　北上市立埋蔵文化財センター
二子史誌編纂委員会2010『二子史誌』二子町振興協議会
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター発行発掘調査報告書
1991『上川岸Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第153集
1992『上鬼柳Ⅱ・Ⅲ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第161集
1992『上鬼柳Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第179集
1993『兵庫館跡・梅ノ木台地Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第180集
1995『岩崎台地遺跡群発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第214集
2005『西川目・堰向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第464集
2006『大橋遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第481集
2006『金附遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第482集
2007『野田Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第506集
2014『立花南遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第621集
北上市教育委員会発行発掘調査報告書
1972『北上市極楽寺跡』北上市文化財調査報告第11集
1977『二子城跡坊館遺跡調査報告書』北上市文化財調査報告第21集
1977『尻引遺跡調査報告書』北上市文化財調査報告第17集
1989『藤沢遺跡（1988年度）』北上市文化財調査報告第54集
1989『牡丹畑遺跡（1988年度）』北上市文化財調査報告第55集
1990『藤沢遺跡（Ⅱ）（1989年度）』北上市文化財調査報告第58集
1991『二子地区遺跡詳細分布調査報告書』北上市文化財調査報告第65集
1992『馬場野遺跡』北上市埋蔵文化財調査報告第２集
1993『藤沢遺跡Ⅲ』北上市埋蔵文化財調査報告第13集
1999『藤沢遺跡Ⅴ（1997・98年度遺構編）』北上市埋蔵文化財調査報告第37集
1999『横町遺跡（古代・中世編）』北上市埋蔵文化財調査報告第38集
2002『立花南遺跡』北上市埋蔵文化財調査報告第49集
2003『国見山廃寺跡』北上市埋蔵文化財調査報告第55集
2003『牡丹畑遺跡（2002年度）』北上市埋蔵文化財調査報告第58集
2004『立花南遺跡（2003年度）』北上市埋蔵文化財調査報告第63集
2004『二子城跡』北上市埋蔵文化財調査報告第65集
2006『西川目遺跡』北上市埋蔵文化財調査報告第75集
2007『立花南遺跡（2005年度）』北上市埋蔵文化財調査報告第82集

Ⅲ　調査と整理の方法

１　野　外　調　査

（１）　調査区・調査年度（第５図）

調査区が南北に細長く、調査自体も複数年度に渡っているため調査区全体をＡ～Ｆに区割りした。各区の境界は調査区内の現道（市道）とした。この道路は調査時点で農作業等に使用されていたため、隣接する調査区と同時に掘削することが不可能で時間差が生じた場合があり、その際は道路部分をＡＢ区・ＢＣ区・Ｆ区２次と命名している。各区の調査年度は、平成23年度がＡ区、平成24年度がＡＢ区・Ｂ区・ＢＣ区・Ｃ区、平成25年度がＤ区・Ｅ区・Ｆ区１次・Ｆ区２次である。

調査面積は、平成23年度4,274㎡、平成24年度11,829㎡、平成25年度11,265㎡、合計27,368㎡の調査終了面積となる。

（２）　グリッドの設定（第５図）

グリッドの設定については、平面直角座標第Ｘ系（世界測地系）を用いた。千苅遺跡のみではなく本事業に係る３遺跡（小鳥崎館跡・千苅遺跡・中村遺跡）の調査対象範囲全体を覆うように設けている。小鳥崎館跡の南西端、Ｘ＝－77,600、Ｙ＝27,000を原点とし、ここから１辺100ｍの大グリッドを設定し、さらにこれを１辺５ｍの小グリッドに区割りした。

大グリッドは原点から東へローマ数字のⅠ・Ⅱ…、北へアルファベット大文字のＡ・Ｂ・Ｃ…として「ⅠＡ」、「ⅡＢ」と表した。小グリッドは、西から東へ算用数字の１～20、南から北へアルファベット小文字のａ～ｔとして「ⅠA1b」、「ⅡB2c」と大グリッドと組み合わせて表現した。

実際の区画設定には、基準点６点、区画割付杭を14点打設しこれを用いた（第２表）。

（３）　粗掘り・遺構検出

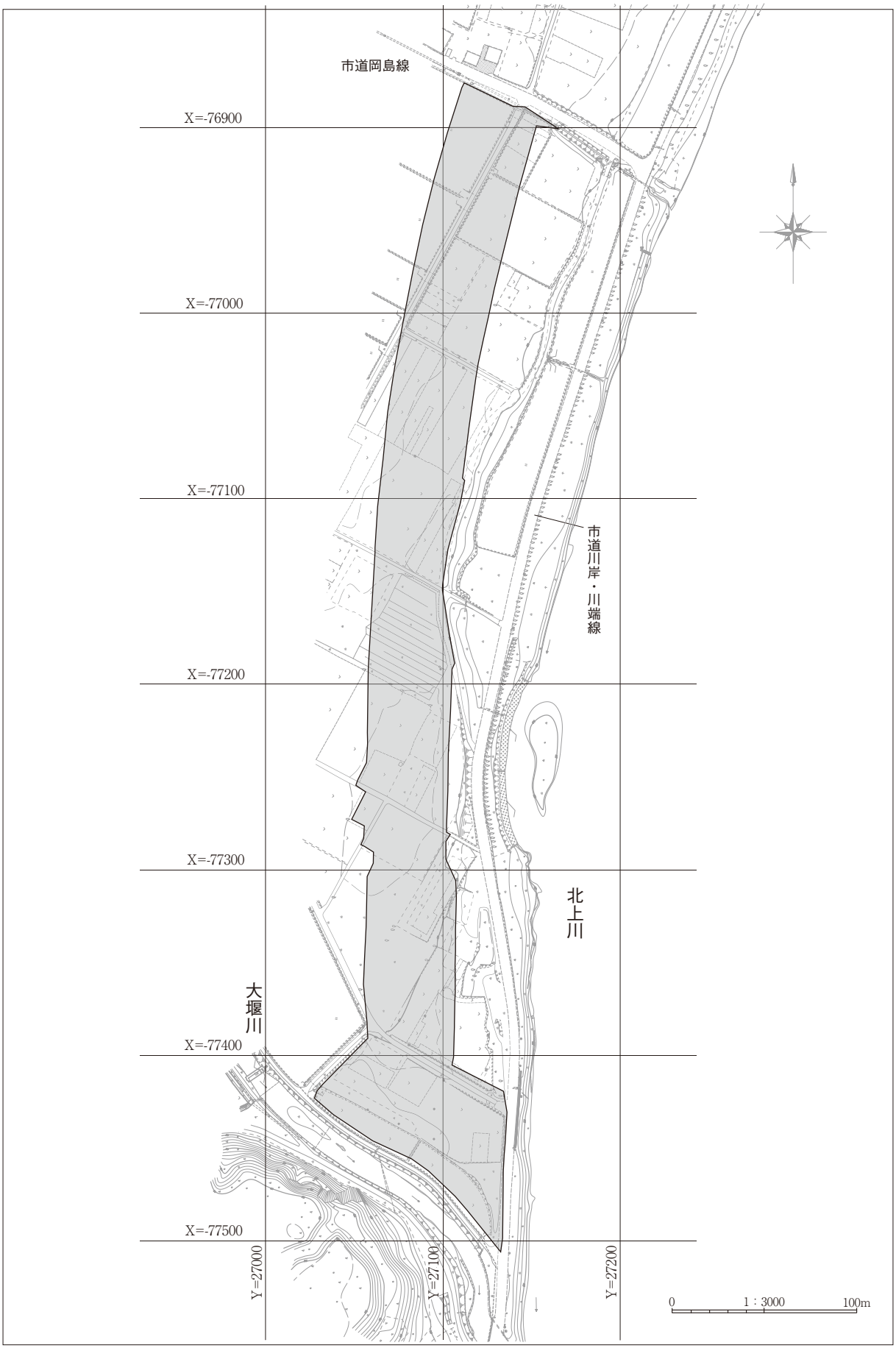
調査区内に任意の試掘トレンチを設定し土層の堆積状況と遺構検出面を観察した。平成24年度以降は前年度の隣接地において、ある程度基本層序が把握できたため、重機でトレンチ掘削して確認する場合もあった。その後遺構確認面まで重機で掘り下げ、鋤簾・両刃鎌等を用いて遺構検出作業を行っている。本遺跡は縄文～弥生・古代・中世の複合遺跡であり、各時代の検出面の間には洪水砂層が厚く堆積する地点が広く分布していたため、上記の作業を検出面毎に複数回繰り返して行っている。これらの詳細な作業手順については第Ⅳ章で地点別に記載する。

（４）　遺構名の登録

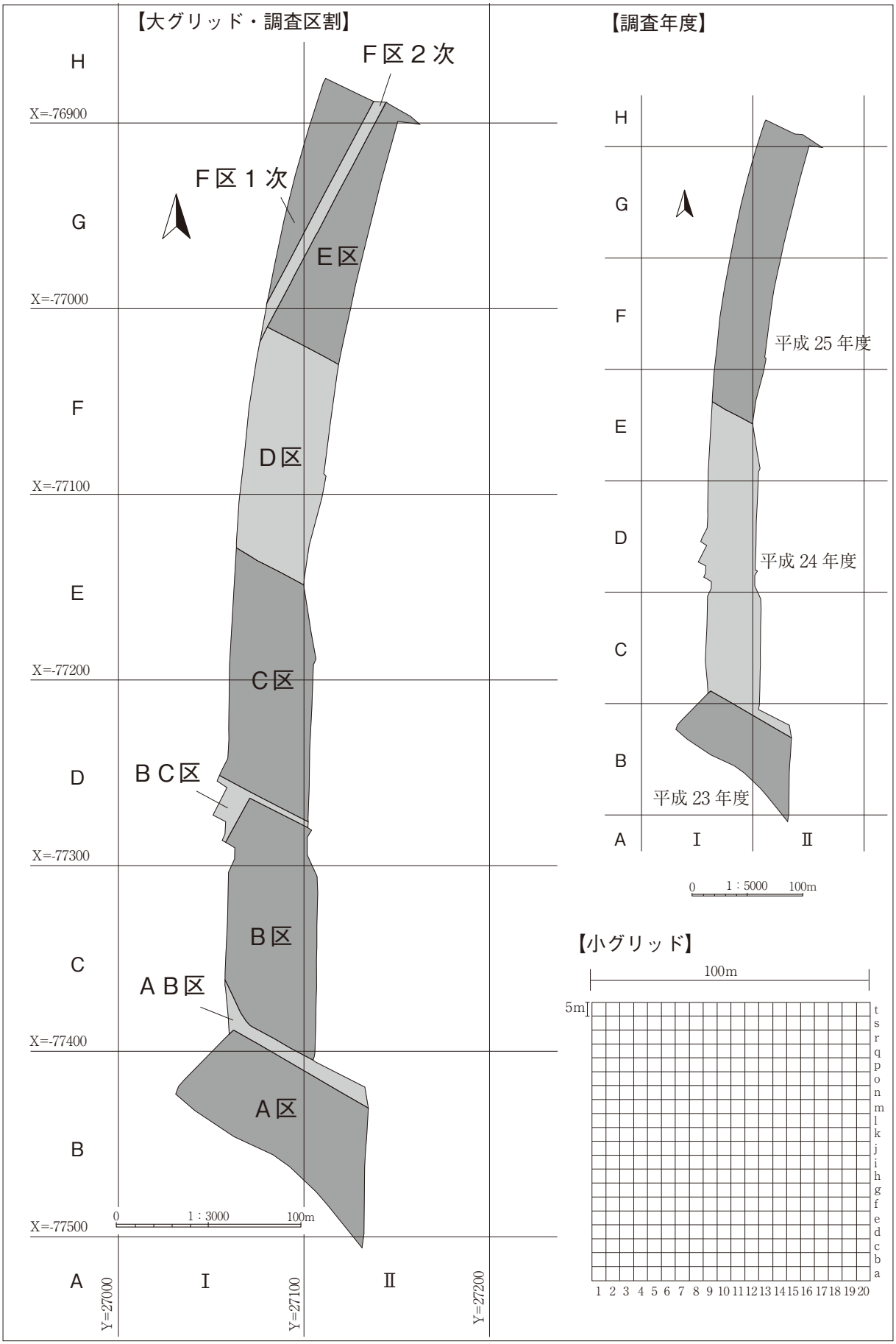
①　野外調査

遺構種別ごとに略号を用い、竪穴住居跡「SI01」～、土坑「SK01」などど命名した。遺構略号は以下の通りである。

竪穴住居跡…SI　　住居状遺構…SKI　　掘立柱建物跡…SB　　炉・焼土遺構…SN
土坑…SK　　焼成遺構・土器埋設遺構・性格不明遺構…SX　　溝跡…SD　　畝間状遺構…UM
遺物集中…SU　　柱穴状小土坑…P　　遺構内柱穴…pit


市道岡島線
X=-76900
X=-77000
X=-77100
X=-77200
X=-77300
X=-77400
X=-77500
市道川岸・川端線
北上川
大堰川
Y=-27000
Y=-27100
Y=-27200
0
1：3000
100m

第４図　調査区位置図



第５図　グリッド配置･区割図

第２表　基準点・区画割付杭一覧

杭名	X	Y	H	グリッド
301	-77408.182	27010.623	59.575	−
302	-77432.339	27135.384	59.695	−
A56	-77425.000	27060.000	58.414	Ⅰ B13s
A66	-77425.000	27110.000	59.034	Ⅱ B3p
A114	-77450.000	27110.000	58.888	Ⅱ B3k
A116	-77450.000	27120.000	58.875	Ⅱ B5k
H24-B301	-77219.534	26982.134	60.439	−
H24-B302	-77275.925	27102.794	60.375	−
B99	-77250.000	27060.000	60.106	Ⅰ C13k
B105	-77250.000	27090.000	60.132	Ⅰ C19k
C24	-77280.000	27080.000	60.168	Ⅰ C17e
C99	-77320.000	27080.000	59.866	Ⅰ B17q
H25-301	-76868.460	27122.116	60.393	−
H25-302	-77127.168	27065.137	60.526	−
A33	-76945.000	27095.000	60.353	Ⅰ G20l
A100	-76910.000	27110.000	59.746	Ⅱ G3s
A183	-76910.000	27125.000	58.631	Ⅱ G6s
B120	-77065.000	27090.000	59.873	Ⅰ F19h
B124	-77045.000	27090.000	59.903	Ⅰ F19l
B216	-77045.000	27110.000	59.961	Ⅱ F3l

第３表　担当調査員一覧

※担当時の最終職名	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
	調査	整理	調査	整理	調査	整理	整理
文化財専門員　村上絵美	8/1 ～ 12/19	12/20 ～ 3/31	4/11 ～ 12/13	12/14 ～ 3/31	5/2 ～ 12/20	12/23 ～ 3/31	4/1 ～ 3/31
文化財専門員　北村忠昭	8/1 ～ 12/19	12/20 ～ 12/31					
文化財専門員　須原　拓	11/1 ～ 11/30						
主任文化財専門員　金子昭彦			7/1 ～ 10/15	1/16 ～ 3/31		5/16 ～ 7/31	
主任文化財専門員　高木　晃			10/16 ～ 12/13		6/1 ～ 12/20	12/23 ～ 3/31	
文化財専門員　丸山浩治			4/11 ～ 12/13	12/14 ～ 3/31			
文化財調査員　高橋麻依子			4/11 ～ 12/13	12/14 ～ 3/31	8/1 ～ 8/31		
期限付調査員　伊藤みどり			11/1 ～ 12/13				
期限付調査員　菅野　梢			7/1 ～ 12/13				
期限付調査員　佐藤あゆみ			6/1 ～ 10/31	12/1 ～ 3/31			
特命文化財専門員　佐々木清文					5/2 ～ 6/15 8/16 ～ 11/30		
文化財専門員　溜　浩二郎					7/16 ～ 12/20	3/1 ～ 3/31	
文化財専門員　丸山直美						8/1 ～ 3/31	
文化財調査員　村田　淳					6/16 ～ 6/30		
文化財調査員　巴　亜子					7/1 ～ 8/15		
文化財調査員　藤本玲子					5/16 ～ 7/31 10/16 ～ 11/30		
期限付調査員　伊東　格					9/1 ～ 12/20	12/23 ～ 3/31	
期限付調査員　乙戸　崇					8/16 ～ 12/20	3/1 ～ 3/31	
期限付調査員　佐藤奈津季					7/16 ～ 12/20	12/23 ～ 3/31	
期限付調査員　中嶋優太					5/2 ～ 7/31	8/1 ～ 9/30	

② **報告書掲載**

野外調査時に使用していた遺構名を基本的にはそのまま使用したが、検討の結果、遺構種類を変更したものに関しては室内整理段階で新規に掲載名称を登録した（第５表）。名称を変更した遺構の旧遺構名、および検出段階で遺構登録を行ったものの、精査の結果、遺構と判断されなかったものに関しては欠番扱いとしている。

各遺構の番号は初年度の調査から続く通し番号を付した。複数年度の調査区にまたがり明らかに同一遺構と判断された場合は、過年度のものと同一遺構名としている。野外調査終了後に同一遺構であることが判明した場合は前年度の遺構名に統合し、後から付したものは欠番としている。

なお、柱穴状小ピット（P）は野外調査時の番号をそのまま使用しているが、遺構内柱穴は野外調査時の命名の重複、またはP・pit・Kなど略号の混在が発生したため、室内整理時に略号を統一し新たな番号を付している。

（５）　遺構精査・遺物の取り上げ

精査は、遺構の規模に応じて２分法・４分法を用いて断面を残し埋土の堆積状況を記録した。遺構内遺物の大半は埋土の層別取り上げが行えず、上層・下層・埋土一括と区分した遺構が大半である。遺構外の遺物については出土グリッド、層序を記録した。

（６）　実　　測

遺構の平面実測は、光波トランシットを用いた電子平板による実測を主とし、遺物出土状況・カマドなどの微細図は１ｍ方眼を基準にした簡易遣り方測量と写真実測を補助的に使用した。断面実測は手取り実測による。断面図の土層注記は、調査年度が複数年にわたり多くの調査員が関わったこともあって、表現の統一が果たせていない。

（７）　写　真　撮　影

写真撮影は、中判カメラ（モノクロフィルム使用）と35㎜判デジタルカメラを併用した。これらのカメラでは、各遺構の全景・断面・遺物出土状況を中心に撮影を行い、遺跡全体は空撮による俯瞰写真を撮影した。なお銀塩写真は記録保存用、デジタル写真は報告書の写真図版原版に使用している。

２　室　内　整　理

（１）　遺　物　整　理

土器類は接合後に器形を復元できる個体を中心に遺構ごとの器種組成を把握できるように努め、掲載遺物を選択した。中世以前の陶磁器は全点登録した。近世陶磁器・石器・土製品・石製品・金属製品は遺構（遺物包含層も含む）に伴う個体を中心に登録・図化している。なお、平成25年度出土石器・石製品については外部委託による実測図を掲載している。土製品・金属製品・自然遺物では一部図化せずに写真・表のみ掲載した個体も存在する。

遺物は登録時に土器・石器など、遺物の種類ごとに仮番号を付した。室内整理中は仮番号のまま作業を行い、その後編集段階で全ての遺物に改めて掲載順の番号を付し、これを掲載番号とした。掲載番号もそれぞれ種類ごとに１から番号を付しており、先頭に以下の小文字アルファベットをつけて区別している。

a…縄文・弥生土器　　b…古代土器　　c…陶磁器　　d…土製品　　e…石器・石製品
f…金属製品　　g…自然遺物

遺物整理担当者は以下のように分担した。

縄文・弥生土器：金子・村上　　古代土器・陶磁器：村上　　土製品・石器・石製品：高木
金属製品：丸山直美・村上　　自然遺物：丸山直美・村上

（2）遺　構　整　理

遺構の平面図はドローイングソフト上で編集作業を行った。断面図は原図をスキャナーで読み込み、パソコン上で平面図との整合性を点検しこれをデジタルトレースした。

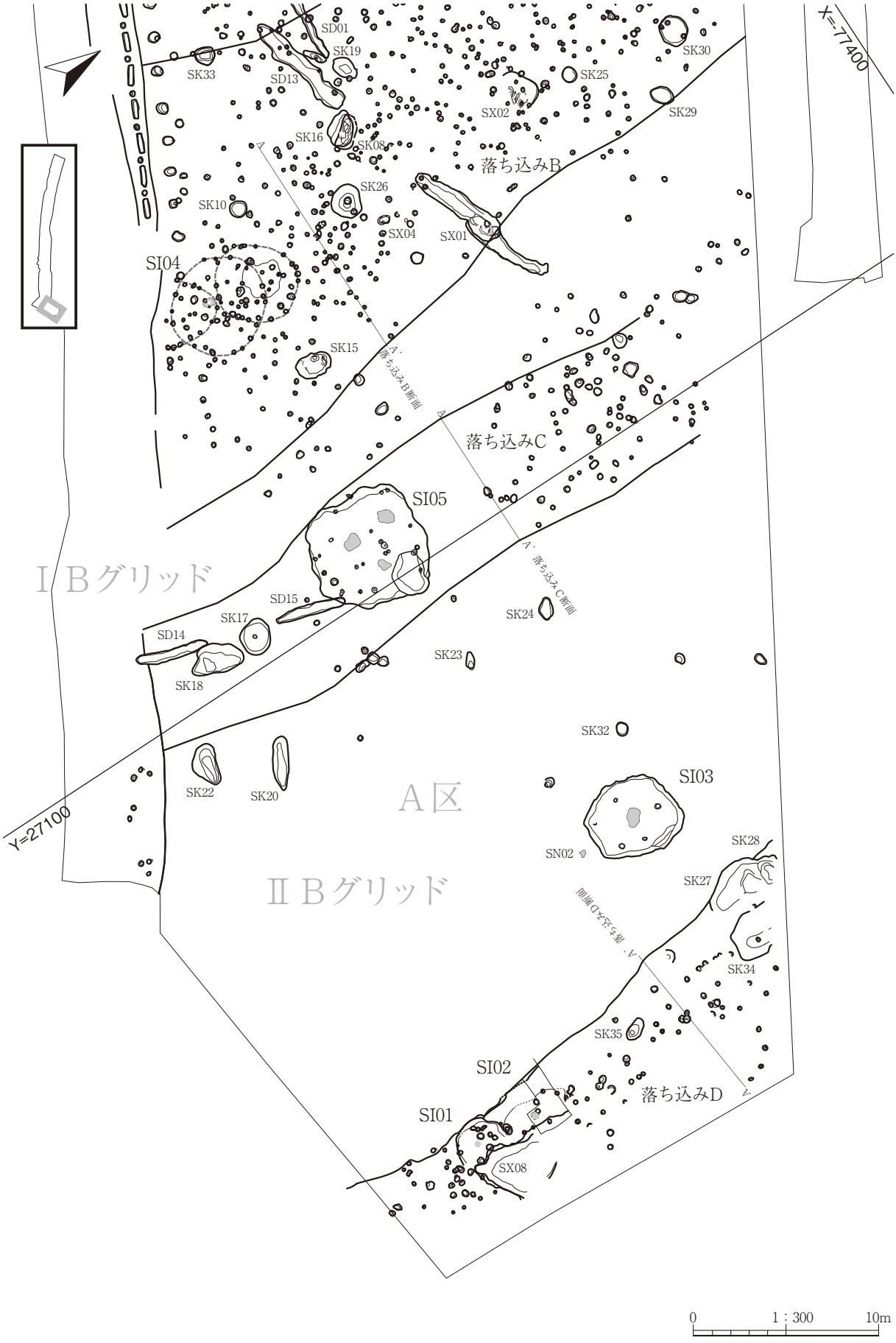
遺構図編集基礎作業は調査時の担当調査員、作業員が行い、最終的に村上・高木が編集した。

（3）図　版　作　成

遺構ごとに平面・断面図を作成し掲載した。縮尺は、竪穴住居跡：1/60・1/80、住居状遺構：1/60、掘立柱建物跡：1/60・1/80、焼土・炉跡：1/40、土坑：1/60、焼成遺構：1/40を基本とし、微細図等は適宜縮尺を変更している。また溝跡、畝間状遺構、遺物集中、その他の遺構については規模に応じた縮尺を採用した。図版には縮尺率を表すスケールと方位を付している。

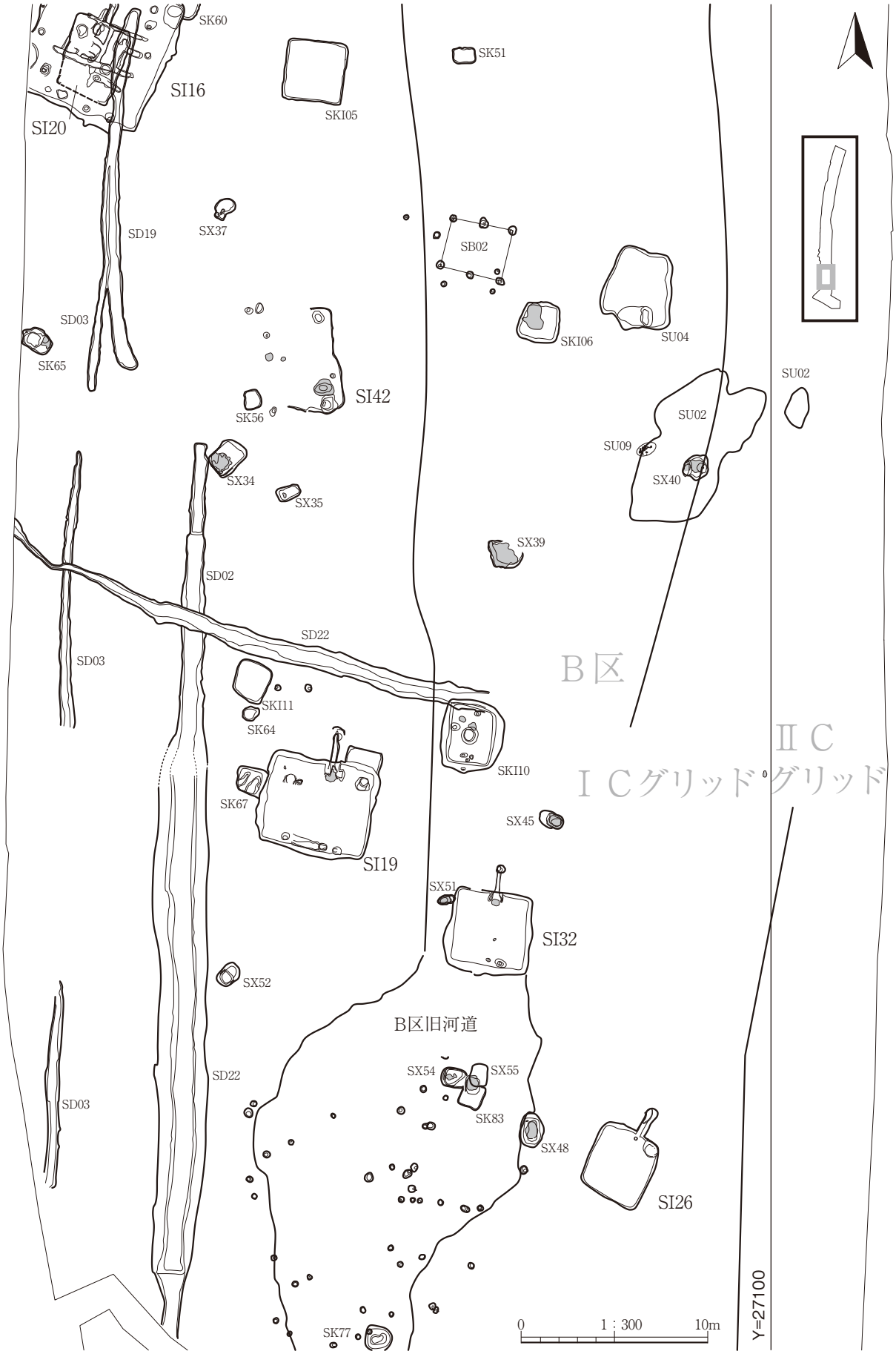
遺物の縮尺は、縄文･弥生土器･陶磁器:1/3、古代土器:1/4、土製品･金属製品:1/2、石器･石製品:2/3・1/3、銭貨：1/1を原則としているが、適宜縮尺を変更している個体もある。図版には縮尺率を表すスケールを付している。

なお遺物写真図版の掲載番号は遺物図版と同一である。

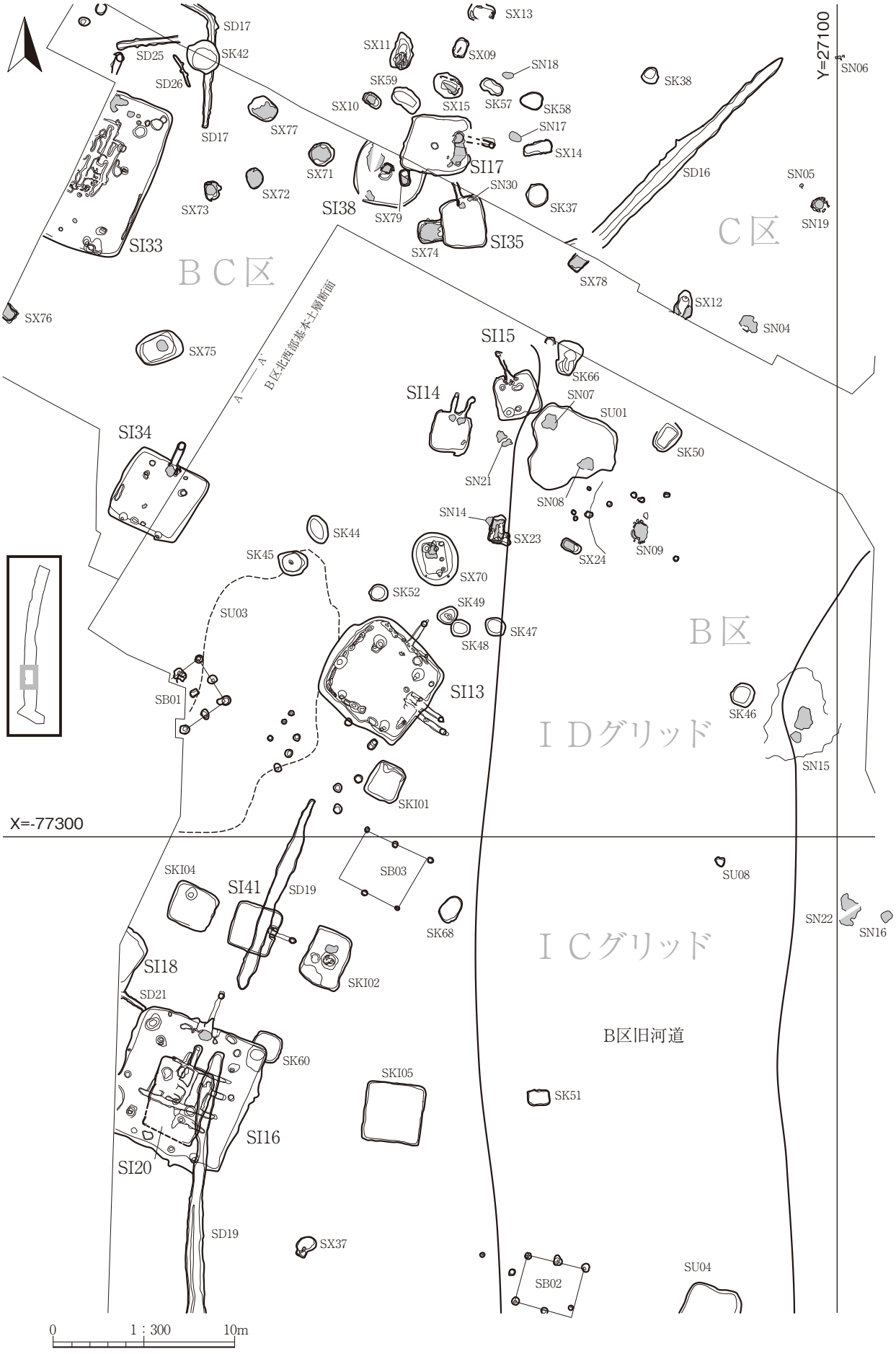


第７図　遺構分布図部分（１）

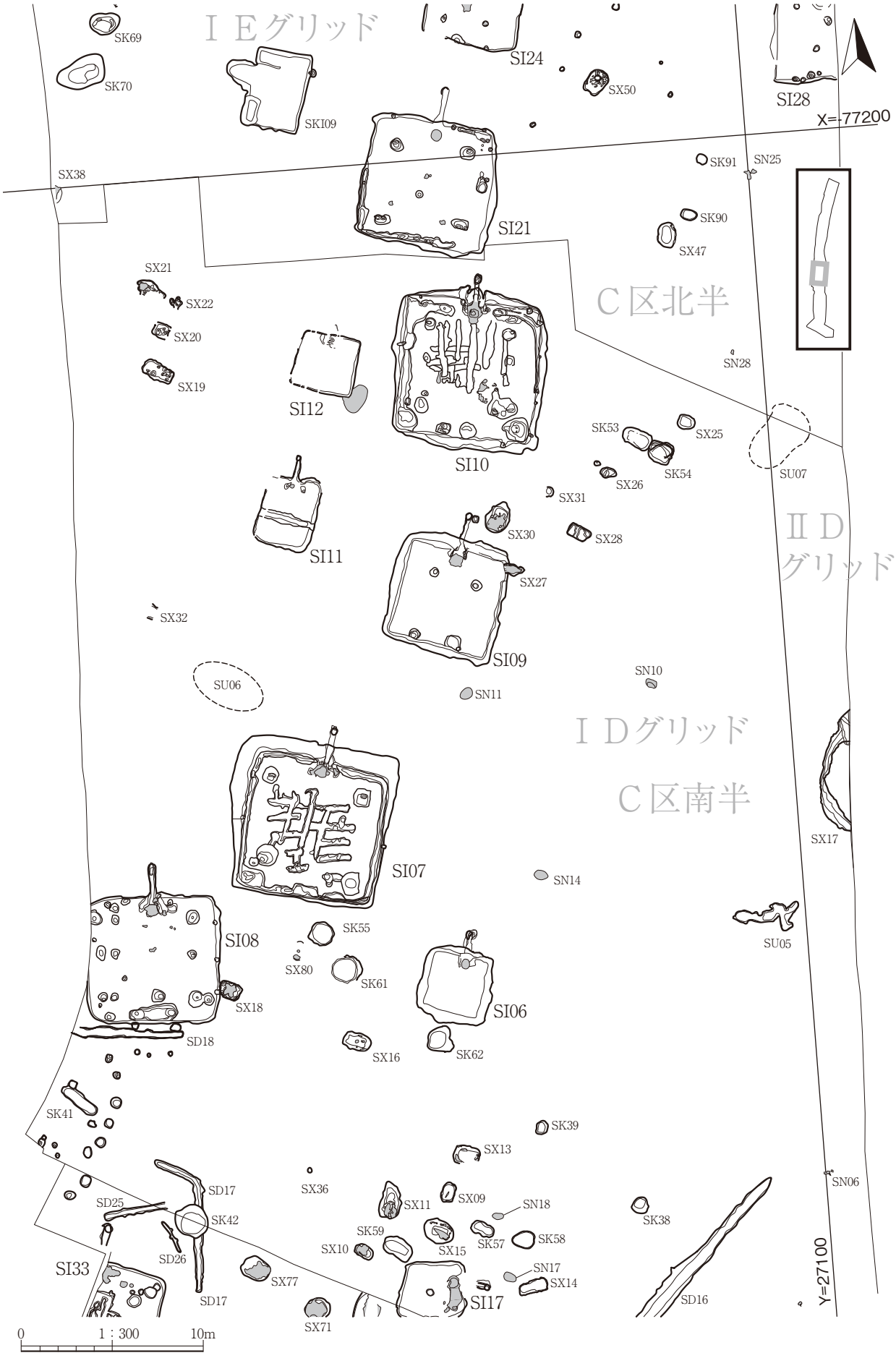
第８図　遺構分布図部分（２）



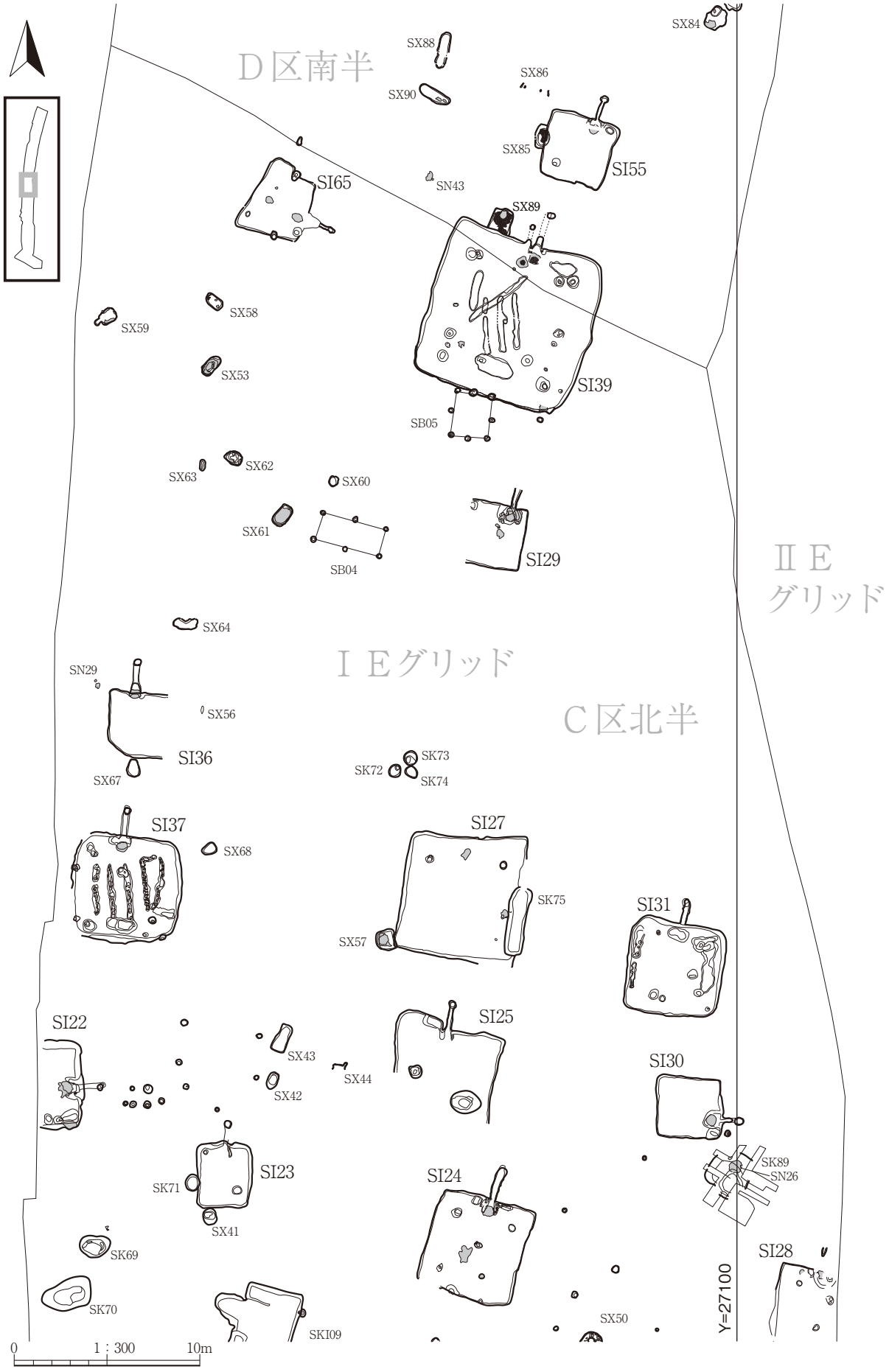
第９図　遺構分布図部分（３）



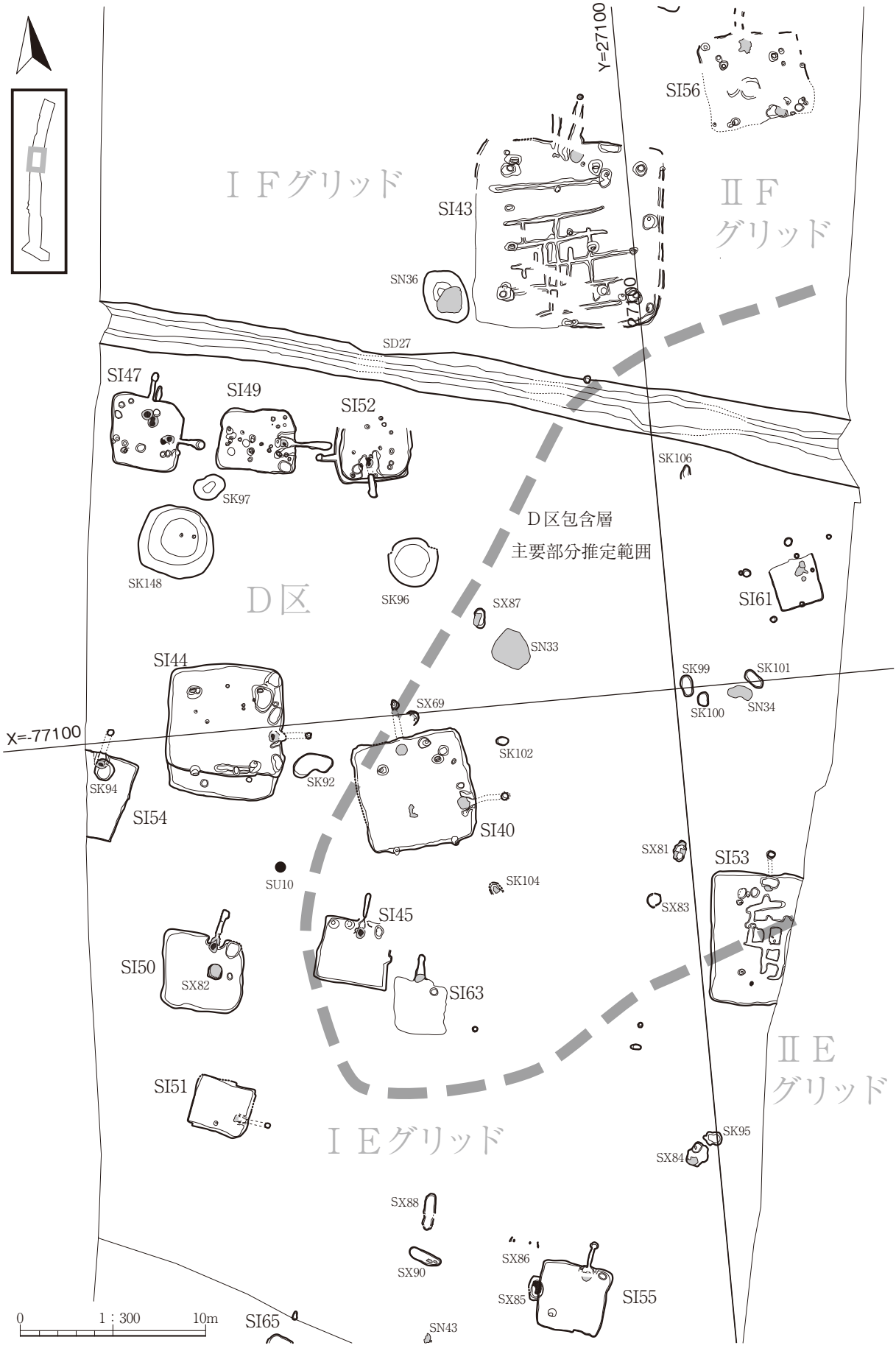
第10図　遺構分布図部分（4）



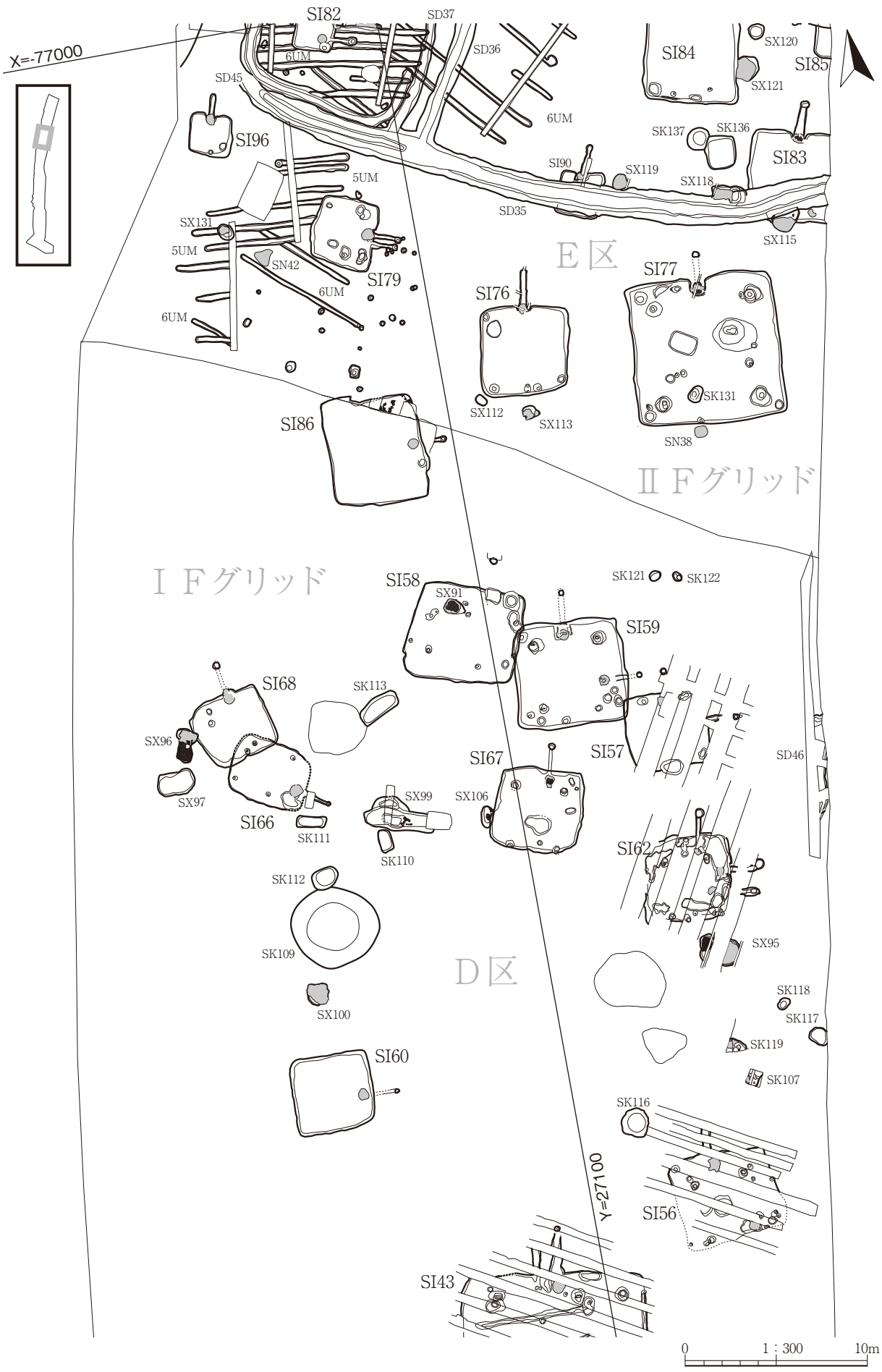
第11図　遺構分布図部分（5）



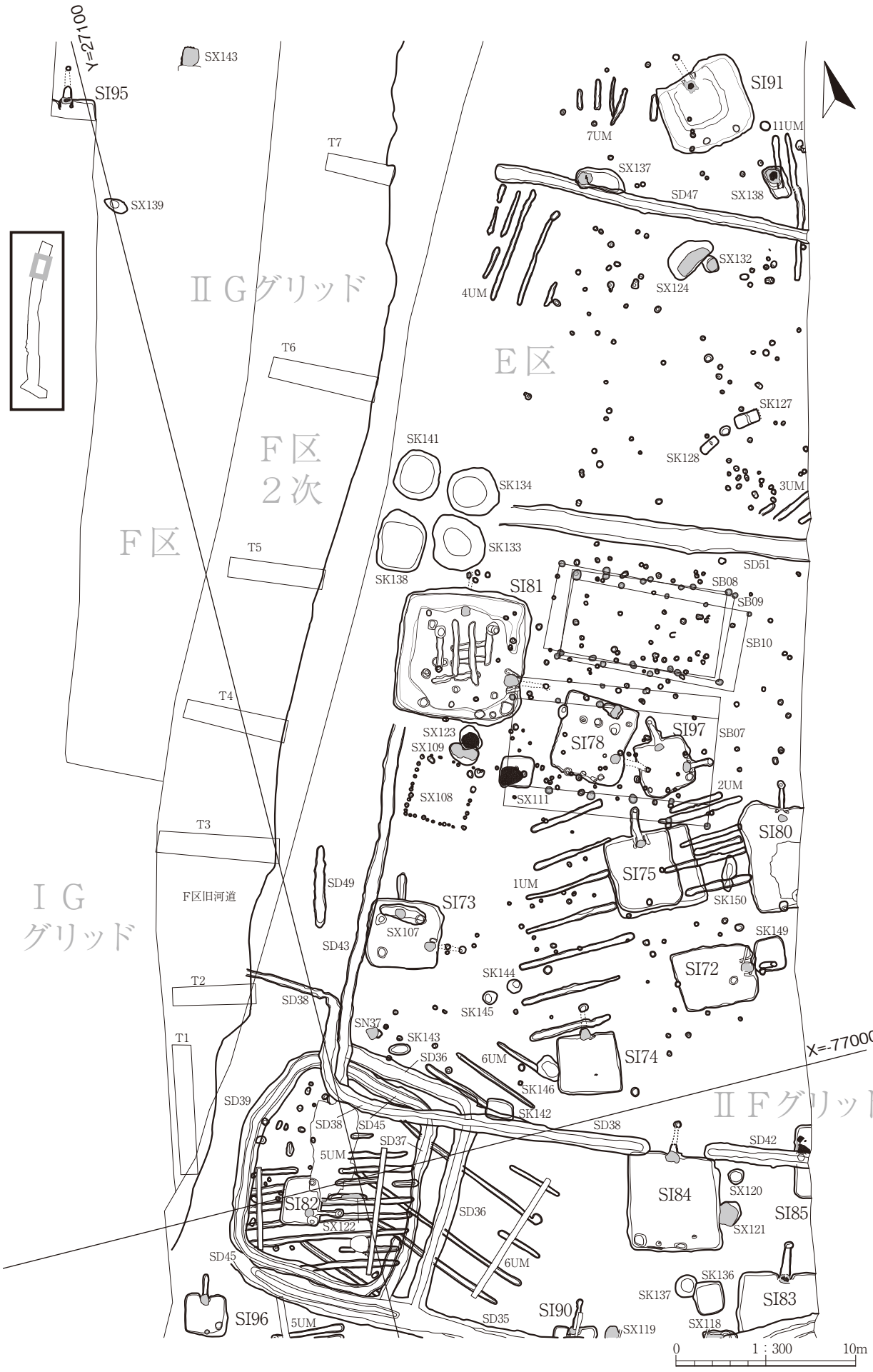
第12図　遺構分布図部分（6）



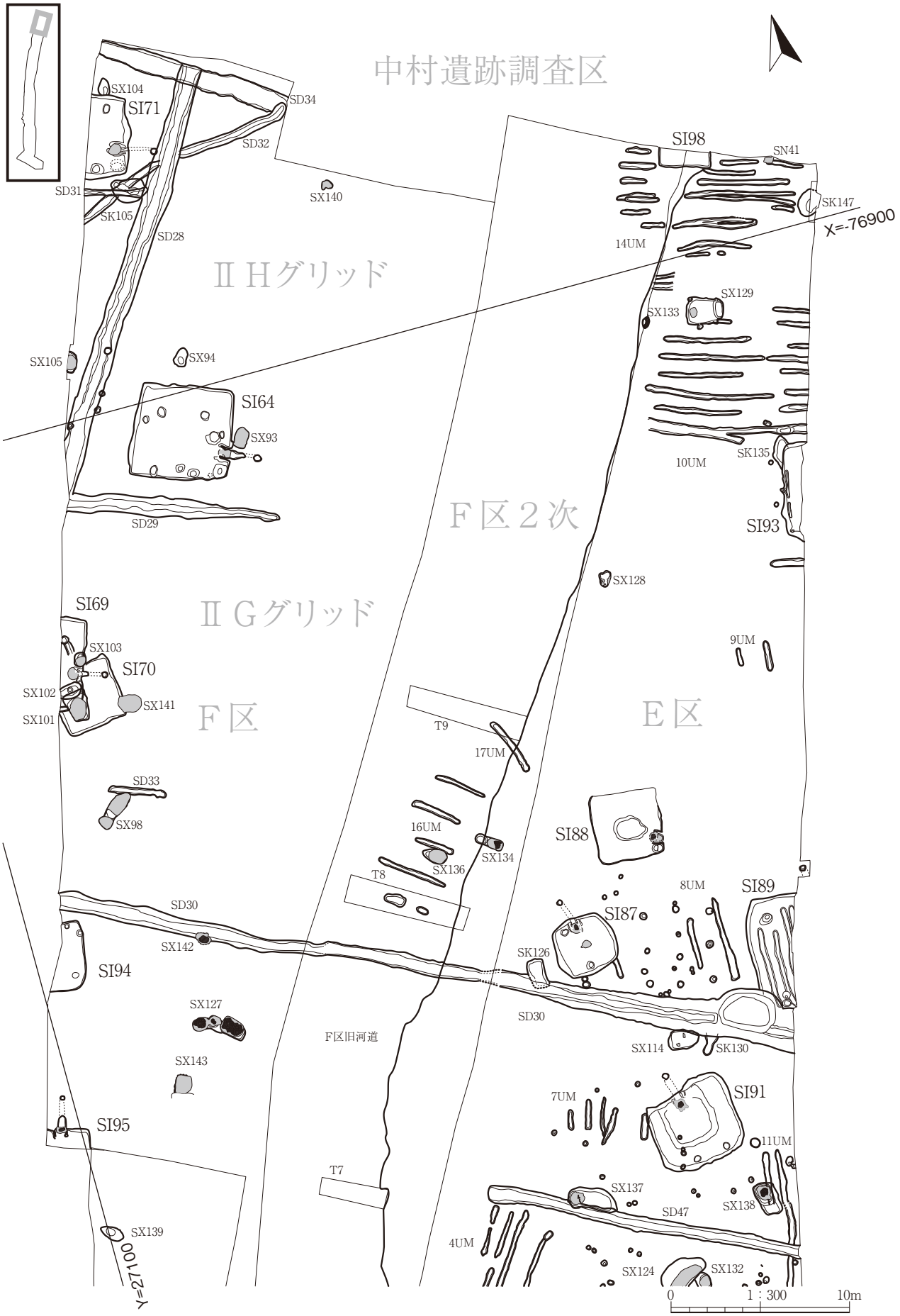
第13図　遺構分布図部分（7）



第14図　遺構分布図部分（8）



第15図　遺構分布図部分（９）



第16図　遺構分布図部分（10）

Ⅳ 調 査 内 容

1 基本層序・概要

（1） 基 本 層 序（第17～19図）

南北に細長い調査区であり、かつ隣接部を順次調査するのではなく飛び飛びに区域ごとに調査を進める工程を取らざるを得なかった地点もあったため、野外作業中は調査区、または地点ごとに暫定基本層序を定め、全体の整合性を検討した後に共通した基本層序名を使用した。この基本層序は平成24年度のＢ・Ｃ区を調査している途中で確定したため、平成23年度に実施したＡ区については調査終了後に基本層序を当てはめる形となった。また落ち込みなど低い部分は特定地点ごとに異なる層序が見られるため、個別に細分を行っている。同様に同一基本層序でも地点による色調・土質の差があることから、各区の詳しい層序の説明は（2）各調査区の概要に記載し、ここでは遺跡全体における基本層序の概要と帰属時期を述べる。

Ⅰ層　黒褐色～ 暗褐色　シルト～砂層　現・旧耕作土。

Ⅱ層　黒褐色～ 暗褐色　シルト～砂層　弥生時代～古代。

Ｂ区～Ｃ区南側に堆積する。上面が古代遺構の検出面。どの地点も薄層で分層不可能であったが、上部に古代の遺物を含む地点があり、厳密には上下で弥生時代の層と古代の層と分かれる可能性が高い。旧河道内では褐色土も存在し複数に細分される。

Ⅲ層　褐色　砂質シルト～砂層　弥生時代。

Ｂ区～Ｄ区に堆積する。上面が古代・弥生時代遺構の検出面。比較的遺跡内の広範囲に分布し層厚があったため、本層を鍵層として各地点の基本層序を対応させた。

Ⅳ層　黒褐色～暗褐色・褐色　シルト層　縄文時代晩期～弥生時代の遺物包含層。

Ｂ～Ｄ区とＡ区落ち込み内に堆積する。薄い場所では暗褐色層のみ、厚い場所（落ち込み・旧河道内・Ｄ区包含層等）では黒褐色～暗褐色層と褐色層の互層となる。Ｄ区の遺物包含層ではⅣa～Ⅳc層に細分している。

Ⅴa層　暗褐色～褐色　粘土層。

調査区全体に堆積する。上面が縄文時代中期遺構の検出面だが、Ａ区・Ｅ区～Ｆ区では本層上面が古代遺構検出面となる。Ⅴa層とⅤb層の区別がつかない場合はⅤ層と表記している。

Ⅴb層　暗褐色～褐色　砂質シルト層　無遺物層。

Ⅴa層への移行は漸移的で明瞭な層界が観察されず、下位は徐々に粘土層～シルト層～砂質シルト層に変化する。

Ⅵ層　砂礫層　無遺物層。

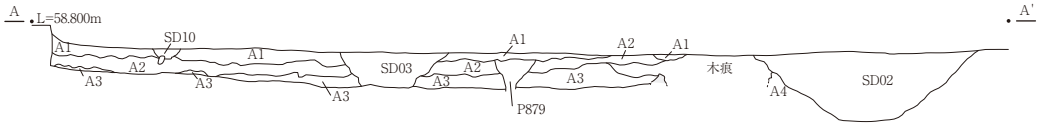
確認用の深掘りを行った地点でのみ確認。Ⅴb～Ⅵ層境界付近で湧水しこれ以上の掘削は不可能。

（2） 各調査区の概要

① Ａ区の概要

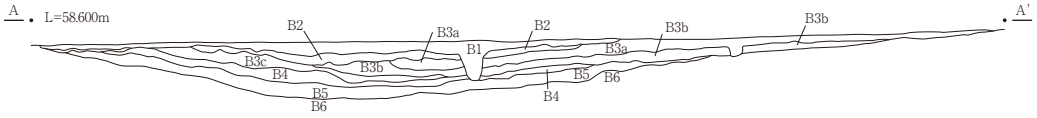
調査区全体は遺跡南端の大堰川へ向かって緩やかな下り勾配となり（比高差80㎝程度）、ⅠB8qグリッドからⅡB2iグリッドを結ぶラインより南は後世の削平を受け、遺構が消失している。南北方向に４本後背湿地が入り（落ち込みＡ～Ｄ）それらの間が微高地となる。

落ち込みA（ⅠB11－ⅠB15t内ライン・西→東）（SD02・03・10断面図ライン）



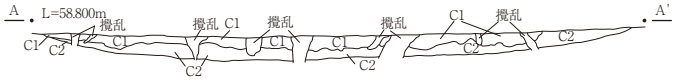
落ち込み A (A-A’)
A1 層　10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しまり中 粘性ややなし 白色の粒子全体に入る
A2 層　10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり中 粘性ややあり
A3 層　10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり中 粘性ややあり
A4 層　10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまり・粘性ややあり 基本層序Ⅴ層

落ち込みB（ⅠB15o－ⅠB18oグリッドライン・西→東）



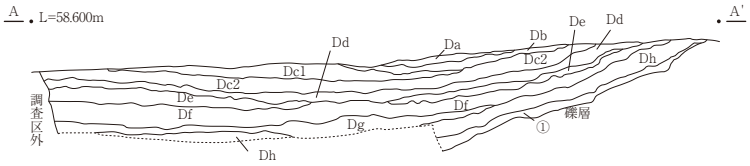
落ち込み B (A-A’)
B1 層　10YR3/4 暗褐色 シルト しまりややあり 粘性中 炭化物粒 1 ～ 2% 黄褐色細粒 7 ～ 10%
B2 層　10YR3/2 黒褐色 シルト しまり中 粘性ややなし 炭化物（径 5 ～ 10 ㎜）2 ～ 3% 褐色砂質土細粒 5 ～ 10%
B3a 層 10YR3.5/4 褐～暗褐色 砂質シルト しまりなし 粘性中 10YR4/6 褐色砂質土ブロック 15 ～ 20%
B3b 層 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまりややなし 粘性中 褐色砂質土小ブロック 3 ～ 5%
B3c 層 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまりややなし 粘性ややなし 黄褐色砂質土ブロック 20 ～ 25%
B4 層　10YR3/3 暗褐色 シルト しまり・粘性中 にぶい黄褐色シルトブロック 7 ～ 10% 褐色シルトブロック 3 ～ 5%
　炭化物 (5 ～ 10 ㎜)5 ～ 7%
B5 層　10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまりあり 粘性ややあり 黄褐色粘土質シルトブロック 5 ～ 7% 炭化物 2 ～ 3%
　（16・17ｐｑ周辺…7.5YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりややあり 粘性あり 黄褐色粘土質シルトブロック
　3 ～ 5% 炭化物 7 ～ 10%）
B6 層　10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト しまりあり 粘性ややあり 基本層序Ⅴ層

落ち込みC（ⅠB19o－ⅡB1oグリッドライン・西→東）

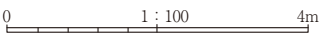


落ち込み C (A-A’)
C1 層　10YR3/2 黒褐色 シルト しまりあり 粘性ややなし 黄褐色粘土ブロック 10% 炭化物 5%
　層下部から局所的に土器出土
C2 層　10YR3/4 暗褐色 シルト しまり・粘性あり 黄褐色粘土ブロック 30% 炭化物 5% 土器少量含む

落ち込みD（ⅡB5m－ⅡB7m内ライン・東→西）

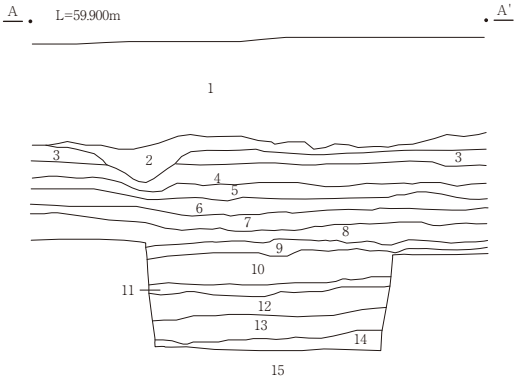


落ち込み D (A-A’)
Da 層　10YR4/4 褐色 黄褐色地山砂 しまり・粘性ややなし 本層上面一回目の検出面
Db 層　10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しまり・粘性ややなし 黄褐色地山砂少量全体に含む
Dc1 層 10YR3/4 暗褐色 細砂～砂質シルト しまりは c2 層より強い
Dc2 層 10YR4/4 褐色 砂～粗砂 色調は c1 層に比べ暗色
Dd 層　10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しまり・粘性ややなし 黄褐色地山砂微量全体に含む
De 層　黄褐色地山砂層 (Da 層より暗色) しまり・粘性ややなし
Df 層　Dd 層と同相 やや粘性強くシルト質で明るい 下面に 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり・粘性ややあり
　黄褐色地山粘土斑状に少量 (径 1 ～ 2 ㎝)
Dg 層　10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しまり・粘性ややなし
Dh 層　10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 14 層より粘性あり 炭化物粒微量 (径～ 5 ㎜)
①層　10YR3/3 暗褐色 シルト Dh 層より暗色 しまりややあり 粘性中



第17図　各区基本土層・落ち込み・旧河道（1）

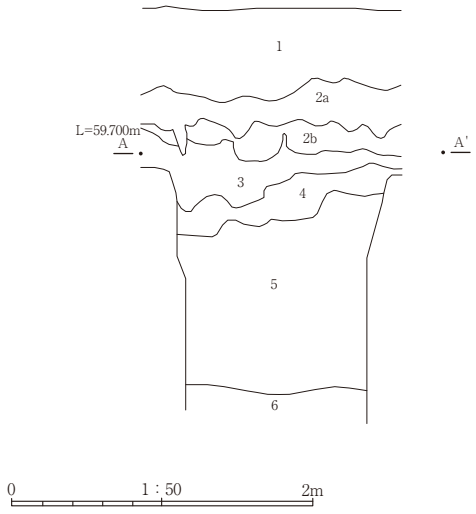
B区南端基本土層（ⅠC16c内・東→西）



B区南壁 A-A'

1　10YR3/2 黒褐色 砂質シルト しまり中 粘性ややなし 炭極微量
　表土東側は撹乱の礫入る
2　10YR4/4 褐色 砂 10YR2/3 黒褐色シルト混じる しまり中 粘性なし
　b・c 層界に古代の遺物多く含む b 層は住居上部に入る 洪水堆積層か
3　10YR2/3 黒褐色 シルト 古代遺物包含 旧河道内に分布
　※古代遺構埋土に類似し本来は全体に分布した可能性あり
4　10YR2/1 黒褐色 シルト (やや粘質)
　※Ⅱ層河道内では複数に分層可能
5　10YR3/3 暗褐色 シルト (やや粘質) ～砂質シルト
6　10YR4/4 褐色 砂 しまり・粘質ややなし
7　10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまり・粘質ややなし 炭極微量
8　6 層と同相
9　7 層と同相
10　10YR4/4 褐色 砂 北側層厚あり 河道内では下部ほど粒径大きく粗砂
11　10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 炭 (径～ 2 ㎜) 極微量
12　10YR3/4 暗褐色 シルト しまり・粘性ややあり 下部ほど粘土質
　※他地点では上下に分層可能
13　10YR2/3 黒褐色 粘土 炭 (径～ 2 ㎜) 微量 集中箇所あり
14　10YR3/4 暗褐色 粘土
15　10YR3/4 暗褐色 砂質シルト n 層より赤味強い
　※1 層：Ⅰ層　2・3 層：Ⅰ' 層　4 ～ 9 層：Ⅱ層　10 層：Ⅲ層
　11 ～ 13 層：Ⅳ層　14 層：Va 層　15 層：Vb 層

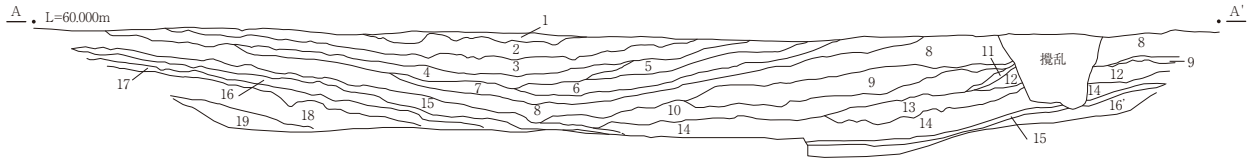
B区北西部基本土層（ⅠD14e内・南→北）



B 区北側 基本層序 A-A'

1　10YR3/1 黒褐色 シルト しまりややあり 粘性ややなし 下位に土師器片
2a　10YR2/3 黒褐色 シルト しまり・粘性ややあり 炭化物極少量
　黄褐色土ブロック状少量 土師器片・縄文土器片含む
2b　10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり・粘性なし
3　10YR4/6 褐色 砂 しまり・粘性なし
4　10YR3/4 暗褐色 シルト しまりややあり 粘性ややなし
　暗褐色土ブロック状に混入 砂含む
5　上部：10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまりややあり 粘性なし
　Ⅳ層より砂質感強い 下位ほど粒径大 細砂に漸変 金雲母多くなる
　下部：粗砂＋砂質シルト (径 0.5 ～ 1 ㎜) の粗砂層 部分的に褐色砂と粗砂の互層状堆積 (5 ～ 6 層の層界付近に顕著)
6　10YR4/3 にぶい黄褐色 砂礫 しまりなし 粘性なし 径 0.5 ～ 1 ㎜の粗砂に径 1 ～ 15 ㎝礫多量 5 層下位にある粗砂と同相
　※1 層：Ⅰ層　2a・2b 層：Ⅱ層　3 層：Ⅲ層　4 層：Ⅳ層　5 層：Vab 層
　6 層：Ⅵ層

B区旧河道（ⅠC17s－ⅠC20sグリッドライン・西→東）



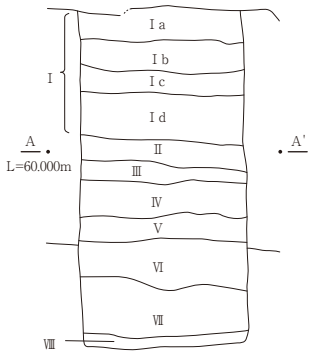
B 区落ち込み (A-A')

1　10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 粘性ややあり
　(古代住居に主体として入る土か)
2　10YR2/2 黒褐色 シルト (やや 10YR2/1 黒色に近い) しまり中
　粘性ややあり (B・C 区Ⅱ層相当 ?)
3　10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 粘性ややあり
4　10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質)
5　10YR4/4 褐色 砂 10YR2/3 黒褐色シルト少量（やや層状に入る）
6　10YR4/4 褐色 砂
7　10YR3/4 暗褐色 砂質シルト
8　10YR4/4 褐色 砂 6 層よりやや暗く粒径粗い（B・C 区Ⅲ層相当 ?）
9　10YR4/4 褐色 粗砂 8 層より明色 10YR2/2 黒褐色粗砂層状に含む
10　8 層と同相 やや明るく細粒
11　13 層と同相
12　10 層と同相
13　10YR5/3 にぶい黄褐色と 10YR2/2 黒褐色の粗砂互層状堆積
14　10YR4/3 にぶい黄褐色 砂 8・10 層より粗粒 13 層より細粒
15　10YR4/4 褐色～ 10YR2/2 黒褐色砂質シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトが全体に混入（中心深い所には混じらず主体土暗色）
16　10YR4/4 褐色 シルト
16'　16 層より砂質
17　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト
18　10YR4/4 褐色 粘土質シルト 16 層より暗色
19　10YR4/6 褐色 砂質シルト
　※1 ～ 7 層：Ⅱ層　8 ～ 14 層：Ⅲ層　15 ～ 19 層：Ⅳ層

0　1：100　4m

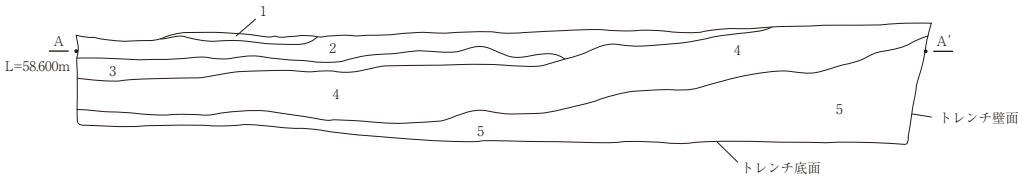
第18図　各区基本土層・落ち込み・旧河道（2）

F区1次基本土層（ⅡG4o内・北→南）



F区基本土層 A-A'
Ⅰa 10YR5/1 褐灰色 砂質シルト しまり中 粘性なし 酸化鉄50%含む
Ⅰb 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト しまり中 粘性なし
Ⅰc 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり中 粘性なし
Ⅰd 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト しまり中 粘性なし 酸化鉄３～５%
Ⅱ　10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまりややなし 粘性なし
Ⅲ　10YR4/4 褐色 砂質シルト しまりややなし 粘性なし
Ⅳ　10YR4/2 灰黄褐色 シルト しまり・粘性中
Ⅴ　10YR5/2 灰黄褐色 シルト しまり・粘性中 酸化鉄３～５%
Ⅵ　10YR3/3 暗褐色 シルト しまり中 粘性ややあり
Ⅶ　10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまり・粘性あり 炭化物片（径10㎜程）
古代土器片混入 焼土粒（径５～10㎜）1%以下
Ⅷ　10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり・粘性あり（湧水による変色のため本来の土色は不明）
※Ⅰa～d：基本層序Ⅰ層　Ⅱ～Ⅷ層：基本層序Ⅱ層
Ⅷ層：基本層序Ⅴ層

F区２次旧河道(ⅠG2f－ⅡG1f内・西→東)



F区２次旧河道（A-A'）
1　10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト しまり・粘性なし。
2　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり・粘性中 均質 古代遺物少量含む Ⅱ層相当か
3　10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト しまり・粘性中 均質 上下層界漸変 Ⅱ層相当か
4　10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト しまり・粘性中 斑鉄顕著 上半に古代遺物含む Ⅲ層相当か
5　10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまり中～あり 粘性中 Ⅳ層下部かⅤ層相当か不明

0　1：50　2m

第19図　各区基本土層・落ち込み・旧河道（３）

微高地の遺構検出面はⅤ層上面。表土直下落ち込みCより西はⅤ層粘土層上面、東側はⅤ層砂層～砂質シルト層上面となる。微高地部分同士のA－B区検出面の高低差は20～30㎝近くあり、A区の方が低い。

低い部分の落ち込みA～D内にはⅣ層より上位の層が残存する。B区南側では、B区以北での主な検出面であるⅢ層（褐色砂層）が厚さを減じて非常に薄くなったことにより、Ⅱ・Ⅳ層の互層となって入る褐色砂層との識別が困難になったこと、またA区調査時点では基本層序が未確定だったため、落ち込み内にはⅡ～Ⅳ層が存在すると思われるものの、その識別ができていなかった。

【落ち込みA】B区南端基本土層を写真･注記で比較するとA1層－3層(Ⅰ'層相当)、A2層･3－4･5層(Ⅱ層相当)、A4層－14層（Ⅴ層相当）と推定される。

【落ち込みB】Ⅴ層シルト質粘土を切って堆積。B1～6層までに分層。B3c層とB5層に遺物の包含が目立つ。B区東側を南北に走る旧河道へと続いており、同一の性質のものであるが、年度で呼び名を変えてしまっており、遺物の取り上げなどとの整合性から、それぞれの名称をそのまま使用している。B区南端基本土層の写真・注記と比較すると、B1～3b層がⅡ層、B3c層がⅢ層、B4・5層がⅣ層、B6層がⅤ層（粘土層）に相当すると推定される。

【落ち込みC】落ち込みBC間の高い部分でⅤ層より上位層が削平されており連続して堆積を確認できなかったが、C1層がB5層、C2層がB6層相当と判断される。

【落ち込みD】Ⅴ層砂質シルトを切って堆積。褐色砂～砂質シルト層と暗褐色砂質シルト層が薄い互

層となって堆積する（Da～h層）。Ⅳ層相当と推定される。上部はⅡ～Ⅲ層に相当する可能性もあるが、上述の理由ではっきりしない。しかし落ち込み内出土遺物が縄文時代晩期に限られることからⅣ層のみの可能性が高い。

遺構の分布は調査区西側に古代の溝群、縄文時代の住居跡は微高地上の１棟を除き落ち込み内に立地している。また、調査区東側を中心に縄文時代・古代～中世にかけての柱穴状土坑が多数検出された。

②　Ｂ区の概要

調査区東寄りで旧河道が南北方向に伸びる。上記の通りＡ区の「落ち込みＢ」と連続するものである。旧河道を挟んだ東側と西側は表土直下がⅢ層となる範囲が大半で、Ⅲ層上面が遺構検出面となる。一部北西側SU03遺物集中より北側ではⅡ層が残存する。Ⅲ層は北側ではある程度の層厚を保っているが（Ｂ区北西部基本土層参照）、南側ほど薄くなりⅣ層中の褐色土と区別がつかなくなる（Ｂ区南端基本土層参照）。そのためＢ区南側はⅢ層ではなくⅣ層上面で遺構検出した地点もある。SD22溝跡以南では古代遺構検出面がⅤ層上面となり、南東端部では一部Ⅴｂ層が露出する。表土直下の検出面は南ほど低く、比高差は60～70㎝程度である。

旧河道内にはⅡ～Ⅳ層相当層が残存し、それぞれ複数層存在する（Ｂ区旧河道参照）。遺物はⅡ層相当層に多く包含され、Ⅲ～Ⅳ層相当層にも若干含まれる。

遺構の分布は、旧河道の東側微高地に古代遺構が多く、南側は河道内や河道東側でも検出された。縄文晩期末～弥生時代の遺構は河道の落ち際、特に北端に多い。

遺構検出作業の手順は以下の通りである。Ｂ区全体について表土直下層上面を第１面目として遺構検出を行った。旧河道内はⅡ層上面で検出後これを重機で取り除き、Ⅲ層上面で再度遺構検出・精査を行った。その後旧河道とその東側を含め５～10ｍおきにⅤ層上面まで重機でトレンチを入れ遺構・遺物の有無を確認した。旧河道より西側のⅢ～Ⅳ層の残存する範囲では、Ⅳ層とⅤ層の上面までそれぞれ重機で掘り下げ後遺構検出を行い、部分的にトレンチを入れⅥ層まで確認した。

ＡＢ区は現道下で大きく削平されており（Ｂ区との高低差50㎝程度）、遺構の残存状態は不良であった。Ｂ区とＡ区との間で一部調査不可能であった範囲が存在するが、これらの区域に連続している溝跡以外の遺構は残存していないものと考えられる。

③　Ｃ区の概要

表土直下はSI06～ SI10住居跡付近ではⅡ層が残存し、それ以外ではⅢ層上面が第１面目の遺構検出面となる。（SI06カマド断面b-b'、SI22断面B-B'参照）。調査区内での高低差は10～20㎝とほとんどなく平坦である。Ｂ区から続く旧河道はSD16より東側の調査区外へと延びていくようだが平面記録を欠落する。

遺構の分布はSI33住居跡からSI27住居跡まで直線上に大型の古代竪穴住居跡が並び、周囲にはこれらより小型の住居跡、焼成遺構等の古代の遺構が分布する。縄文～弥生の遺構は調査区西側に多い。

排土置き場の都合上SI10住居跡とSI21住居跡付近を境界に南側を最初に着手し、調査終了後北側を調査した。南側はⅢ層調査終了後、Ⅲ～Ⅳ層中に遺物が包含されていることと、Ⅲ～Ⅳ層境界で石囲炉が検出されたことから、人力でⅣ層下部まで掘り下げを行った。しかし、SD17溝跡付近では縄文時代中期末、その他の地点で縄文時代晩期～弥生初頭の遺物を包含するものの、Ⅲ層以下で遺構は検出されなかった。そのため北側では、重機でⅤ層上面まで掘り下げ遺構・遺物の有無を確認している。

ＢＣ区はＣ区南側調査終了後に着手した。そのため両区域にまたがる遺構の中で、当初Ｃ区南側の

調査時では把握できずに削平してしまったものも存在する。東端ではⅣ層中に比較的多くの遺物を包含する。

④　D区の概要

SI43住居跡付近より南ではⅢ層上面、北ではⅣ層上面が第１面目の遺構検出面となる。調査区内での高低差は10～20cmとほとんどなく平坦であるが、SD27溝跡より北側のSI43・56住居跡付近から東側及び、調査区北東端のSI66住居跡付近から北東は後世の耕作がより深く入っており周囲より更に20～30cm程度検出面が下がる。

多少の粗密はあるものの調査区全体に古代の遺構が分布するが、Ｃ区のような列状に並ぶ竪穴住居跡の配置は見られない。Ⅲ～Ⅳ層中には縄文時代晩期末～弥生中期の包含層が形成されている。この詳細については第Ⅳ章(13)で記載する。

調査手順は、第１面検出面での遺構精査終了後に弥生時代包含層の精査に着手した。包含層は小グリッド単位でⅣ層の細分層（Ⅳａ～ｃ層）をトレンチで把握し、細分層ごとの掘り下げとしている。また細分層界面での遺構検出、精査を順次繰り返した。Ⅳ層の掘り下げを完全に終了した段階で、下位Ⅴ層上面での遺構検出を行い、上層で検出漏れと見られる遺構複数を精査した。なお、この終了後に部分的にⅤ層を重機で掘削し下位砂礫層までの確認を行ったが、遺構、遺物の検出は見られない。

⑤　E区の概要

表土直下、南端にはⅢ～Ⅳ層が残るものの調査区のほとんどがⅤ層を検出面とする（SI85・89・93住居跡断面A-A'参照）。調査区内での南北の高低差は北側へ向かって20～30cm程低くなる。調査区西端には、Ｆ区東側までを川幅とする旧河道が南北に走っており、東西方向も西へ向かって低く、若干傾斜する。

旧河道内ではⅡ～Ⅳ層内に部分的に遺物包含の見られる地点があったことから、遺物出土箇所を中心に手掘りで広げたが､遺物分布の途切れた区域についてはトレンチで断面記録を取るに留めている。（Ｆ区２次旧河道参照）

古代の遺構はＥ区同様、粗密があるものの調査区全体に分布するが、北側ほど竪穴住居跡のない空白範囲が目立ってくる。縄文末～弥生時代の遺構・遺物包含層は南端部に限られる。これらの時代の遺構に加え、調査区中央SD35溝跡からSD30溝跡の間では掘立柱建物跡、溝跡群、その他多くの柱穴等12世紀後半に属すると推定される遺構群が分布している。

調査手順は表土直下での検出・精査後、南端及び旧河道内は包含層掘削と下位層での遺構検出を行い、北側は部分的にトレンチを入れ遺構・遺物の有無を確認した。

⑥　Ｆ区の概要

水田分のＦ区１次を先行し、現道分Ｆ区２次を１次調査後に着手した。調査区の南側と北側の東半に旧河道跡があり、北西部の微高地と河道落ち際に古代の遺構が分布する。微高地部分は表土直下Ⅴ層が検出面で河道内にはⅡ層が堆積する（Ｆ区１次基本土層参照）。調査区北西部と対岸Ｅ区との表土直下の高低差は10cm程度で、本調査区の方が若干高い。

調査手順はⅤ層面での遺構検出・精査後、重機で下位層を掘り下げたが、遺構・遺物ともに確認されていない。

２　遺　　構

今回の千苅遺跡の遺構報告にあたっては、遺構種別ごと、また野外調査段階で登録命名した遺構名順に記載している。遺構所属時期は縄文時代から近世まで幅の広いものであるが、必ずしも時代順の記載とはなっていないことに留意されたい。なお竪穴住居跡についてのみ、縄文時代、古代の区別を行っている。

全体の遺構数は第４表の通りである。また遺構記載順及び遺構名の変更、精査主担当者氏名を第５表に記した。

第４表　検出遺構数

種類	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合計
竪穴住居跡（縄文）	5	1	0	6
竪穴住居跡（古代）	0	34	55	89
住居状遺構	0	8	0	8
掘立柱建物跡	0	5	4	9
焼土遺構・炉跡	1	25	8	34
土坑	30	42	45	117
焼成遺構	5	62	55	122
溝跡	15	8	19	42
畝間状遺構	0	0	14	14
埋設土器	0	2	0	2
遺物集中・包含層	4 ヶ所	9 ヶ所	約 2,000 ㎡	−
性格不明遺構	1	2	1	4
柱穴状土坑	-	-	-	1844

（1）竪 穴 住 居 跡（ＳＩ）

①　縄文時代

縄文時代の所産と判断される竪穴住居跡は合計６棟である。時代はSI03・SI05が縄文中期、SI01・SI02・SI04・SI38が縄文晩期に帰属する。分布はSI01～05がＡ区にまとまり、SI38の１棟のみＢＣ区に離れている。いずれも竪穴のプラン、床面、壁面は不明瞭であり、図示した輪郭以外の可能性も含まれる。燃焼施設としてはいずれも中央部に地床炉、石囲炉を伴う。

ＳＩ０１住居跡（第20図　写真図版９）

検出状況　落ち込みＤの傾斜に沿って東西にトレンチを入れたところSI02の石囲炉を検出した。その後この住居のプランを確認するため、南北に直交する形でトレンチを追加した結果、本遺構の石囲炉を確認した。落ち込みＤ内に５層が堆積した後作られたようで、本遺構埋没後ｄ1層より上位層が堆積している。**形状**　半円形。炉より南側の床面がd1層の堆積により消失しているように見えるが、落ち込み内の遺構が形成されない箇所の堆積状況を見ると、大きく傾斜が変わることなく浅皿状に緩やかに埋没していることから、斜面地を利用して建てられていた可能性もある。**床面・壁**　床面は、硬化する範囲や遺物・炭化物の分布などは確認できず、炉の形成面を追っている。壁は外傾して立ち上がる。南北壁は壁外側と主体土が同じで境界がはっきりしなかったが、外側がきれいな暗褐色砂質シルト層に対して、堆積土は混入物（褐色砂土）の影響でやや砂っぽく、ぼやけた色調をしていた。西壁は褐色砂層を壁としていたため堆積土との識別は比較的容易である。**堆積土**　暗褐色土を主体と

第５表　遺構一覧（１）　※仮名称は現地での仮登録名

遺構名	仮名称	担当	遺構名	仮名称	担当	遺構名	仮名称	担当	遺構名	仮名称	担当
SI01		村上	SI72		高木	SN33		高木	SK70		佐藤(あ)
SI02		村上	SI73		溜	SN34		高木	SK71		佐藤(あ)
SI03		村上	SI74		伊東	SN36		高木	SK72		佐藤(あ)
SI04	SN01	村上	SI75		佐藤(奈)	SN37		溜	SK73		佐藤(あ)
SI05		村上	SI76		乙戸	SN38		高木	SK74		佐藤(あ)
SI38		高木	SI77		高木	SN41		村上	SK75		高橋
SI06		村上･佐藤(あ)	SI78		伊東	SN42		高木	SK77		村上
SI07		丸山	SI79		高木	SN43	SX92	高木	SK83		村上
SI08		村上･佐藤(あ)	SI80		佐藤(奈)	SK04		村上	SK89		菅野
SI09		高橋	SI81		溜	SK05		村上	SK90	SX49	菅野
SI10		丸山	SI82		高木	SK06		村上	SK91	SN24	菅野
SI11		丸山	SI83		高木	SK08		村上	SK92		村上
SI12		丸山	SI84		高木	SK10		村上	SK94		村上
SI13		佐藤(あ)	SI85		高木	SK11		村上	SK95		村上
SI14		村上	SI86		高木	SK12		村上	SK96		高木
SI15		村上	SI87		村上	SK13		村上	SK97		村上
SI16		村上	SI88		村上	SK14		村上	SK99		高木
SI17		高橋	SI89		村上	SK15		村上	SK100		高木
SI18		村上	SI90		高木	SK16		村上	SK101		高木
SI19		高橋	SI91		村上	SK17		村上	SK102		高木
SI20		村上	SI93		村上	SK18		村上	SK104		高木
SI21		菅野	SI94		高木	SK19		村上	SK105		伊東
SI22		丸山･佐藤(あ)	SI95		高木	SK20		村上	SK106		高木
SI23		丸山･佐藤(あ)	SI96		高木	SK21		村上	SK107		高木
SI24		高橋	SI97		佐藤(奈)	SK22		村上	SK109		高木
SI25		丸山	SI98		村上	SK23		村上	SK110		高木
SI26		村上	SKI01		佐藤(あ)	SK24		村上	SK111		高木
SI27		高橋	SKI02		佐藤(あ)	SK25		村上	SK112		高木
SI28		菅野	SKI04		佐藤(あ)	SK26		村上	SK113		高木
SI29		丸山	SKI05		村上	SK27		村上	SK116		乙戸
SI30		菅野	SKI06		丸山	SK28		村上	SK117		高木
SI31		丸山	SKI09		高橋	SK29		村上	SK118		高木
SI32		村上	SKI10		村上	SK30		村上	SK119		高木
SI33		高木	SKI11	SK63	丸山	SK31		村上	SK121		乙戸
SI34		高木	SB01		村上	SK32		村上	SK122		乙戸
SI35		高木	SB02		丸山	SK33		村上	SK126		村上
SI36		丸山	SB03		村上	SK34		村上	SK127		村上
SI37		丸山	SB04		高橋	SK35		村上	SK128		村上
SI39		村上	SB05		高橋	SK36		高橋	SK130		村上
SI40		村上	SB07	－	村上	SK37		高橋	SK131		高木
SI41	SKI03	村上･佐藤(あ)	SB08	－	村上	SK38		丸山	SK133		溜
SI42	SKI07	丸山	SB09	－	村上	SK39		丸山	SK134		溜
SI43		村上	SB10	－	村上	SK41		高橋	SK135		村上
SI44		村上	SN02		村上	SK42		高橋	SK136		高木
SI45		高木	SN04		丸山	SK44		佐藤(あ)	SK137		高木
SI47		村上	SN05		丸山	SK45		佐藤(あ)	SK138		伊東
SI49		村上	SN06		丸山	SK46		村上	SK141		伊東
SI50		高木	SN07		村上	SK47		佐藤(あ)	SK142		高木
SI51		高木	SN08		村上	SK48		佐藤(あ)	SK143		高木
SI52		村上	SN09		村上	SK49		佐藤(あ)	SK144		高木
SI53		村上	SN10		丸山	SK50		村上	SK145		高木
SI54		高木	SN11		菅野	SK51		村上	SK146		高木
SI55		村上	SN13		村上	SK52		佐藤(あ)	SK147		村上
SI56		村上	SN14		菅野	SK53		佐藤(あ)	SK148	SI46	村上
SI57		村上	SN15		村上	SK54		佐藤(あ)	SK149	SX116	佐藤(奈)
SI58		村上	SN16		丸山	SK55		菅野	SK150	SD50	佐藤(奈)
SI59		村上	SN17		菅野	SK56		丸山	SX01		村上
SI60		村上	SN18		菅野	SK57		佐藤(あ)	SX02		村上
SI61		高木	SN19		菅野	SK58		佐藤(あ)	SX04		村上
SI62		村上	SN20		佐藤(あ)	SK59		佐藤(あ)	SX06		村上
SI63		高木	SN21		村上	SK60		村上	SX07	SK07	村上
SI64		佐藤(奈)	SN22		村上	SK61		菅野	SX09		丸山
SI65		高木	SN23		村上	SK62		菅野	SX10		丸山
SI66		村上	SN25		菅野	SK64		丸山	SX11		丸山
SI67		村上	SN26		菅野	SK65		村上	SX12		丸山
SI68		村上	SN27		村上	SK66		村上	SX13		丸山
SI69		溜	SN28		丸山	SK67		高橋	SX14		丸山
SI70		溜	SN29	SX65	高橋	SK68		村上	SX15		丸山
SI71		佐藤(奈)	SN30	SI35内	村上	SK69		佐藤(あ)	SX16		丸山

第５表　遺構一覧（２）　※仮名称は現地での仮登録名

遺構名	仮名称	担当	掲載名	仮名称	担当	掲載名	仮名称	担当	掲載名	仮名称	担当
SX18		村上	SX96		村上	SD27		高木	欠番	SK108	－
SX19		丸山	SX97		村上	SD28		佐藤（奈）	欠番	SK114	－
SX20		丸山	SX98		溜	SD29		佐藤（奈）	欠番	SK115	－
SX21		丸山	SX99		村上	SD30		佐藤（奈）	欠番	SK120	－
SX22		丸山	SX100		村上	SD31		伊東	SI57pit4	SK123	－
SX23		村上	SX101		溜	SD32		伊東	欠番	SK124	－
SX24		村上	SX102		溜	SD33		溜	SD48と同一	SK125	－
SX25		丸山	SX103		溜	SD34		溜	欠番	SK139	－
SX26		丸山	SX104		佐藤（奈）	SD35		村上	欠番	SK140	－
SX27		高橋	SX105		溜	SD36		村上	SI78焼土	SX110	－
SX28		高橋	SX106		高木	SD37		村上	SI77pit20	SX117	－
SX30		高橋	SX107		溜	SD38		村上	欠番	SX125	－
SX31		高橋	SX109		溜	SD39		村上	欠番	SX126	－
SX32		菅野	SX111		溜	SD42		村上	欠番	SX130	－
SX34		丸山	SX112		乙戸	SD43		村上	欠番	SX135	－
SX35		丸山	SX113		乙戸	SD46		高木	SD36と同一	SD40	－
SX37		丸山	SX114		村上	SD47		村上	SD38と同一	SD41	－
SX38		菅野	SX115		高木	SD49		佐藤（奈）	SD38と同一	SD44	－
SX39		村上	SX118		高木	SD51		溜	SD39と同一	SD45	－
SX40		村上	SX119		高木	01UM		溜	SD30と同一	SD48	－
SX41		高橋	SX120		高木	02UM		溜	5UMと同一	12UM	－
SX42		高橋	SX121		高木	03UM		村上	6UMと同一	13UM	－
SX43		高橋	SX122		高木	04UM		村上	6UMと同一	15UM	－
SX44		高橋	SX123		溜	05UM		高木	欠番	SB06	－
SX45		村上	SX124		溜	06UM		高木			
SX47		菅野	SX127		高木	07UM		村上			
SX48		村上	SX128		村上	08UM		村上			
SX50		菅野	SX129		村上	09UM		村上			
SX51		村上	SX131		高木	10UM		村上			
SX52		村上	SX132		溜	11UM		村上			
SX53		丸山	SX133		村上	14UM		村上			
SX54		村上	SX134		伊東	16UM		伊東			
SX55		村上	SX136		溜	17UM		伊東			
SX57		高橋	SX137	SK129	村上	A区落ち込みA	落ち込みA	村上			
SX58		高橋	SX138	SK132	村上	A区落ち込みB	落ち込みB	村上			
SX59		高橋	SX139	SN31	佐藤（奈）	A区落ち込みC	落ち込みC	村上			
SX60		高橋	SX140	SN32	溜	A区落ち込みD	落ち込みD	村上			
SX61		高橋	SX141	SN35	溜	SU01	1号土器	村上			
SX62		高橋	SX142	SN39	高木	SU02	2号土器	丸山			
SX63		高橋	SX143	SN40	高木	SU03	3号土器	丸山			
SX64		高橋	SX36		菅野	SU04	SKI08	丸山			
SX67		高橋	SX46		村上	SU05	SK40	丸山			
SX68		高橋	SX08		村上	SU06	ＩD14ｏ	菅野			
SX69		高橋	SX17		丸山	SU07	風倒木痕内	菅野			
SX70	SK43	佐藤（あ）	SX56		丸山	SU08	1号デポ	丸山			
SX71	SK78	高木	SX108		溜	SU09	1号礫集中	村上			
SX72	SK79	高木	SD01		村上	SU10		高木			
SX73	SK80	高木	SD02		村上	D区包含層	D区南包含層	高木			
SX74	SK81	高木	SD03		村上	欠番	SI04	－			
SX75	SK82	高木	SD04		村上	欠番	SK01	－			
SX76	SK85	高木	SD05		村上	欠番	SK02	－			
SX77	SK86	高木	SD06		村上	欠番	SK03	－			
SX78	SK87	高木	SD07		村上	欠番	SK09	－			
SX79	SK88	高木	SD08		村上	SI04埋設	SX03	－			
SX80	SN12	菅野	SD09		村上	欠番	SX05	－			
SX81		村上	SD10		村上	欠番	SX07	－			
SX82		高木	SD11		村上	欠番	SK76	－			
SX83		村上	SD12		村上	SI17と同一	SK84	－			
SX84		村上	SD13		村上	SK54と同一	SX29	－			
SX85		村上	SD14		村上	欠番	SX33	－			
SX86		村上	SD15		村上	欠番	SX66	－			
SX87		高木	SD16		高橋	SD03と同一	SD20	－			
SX88		高木	SD17		高橋	SD02と同一	SD23	－			
SX89		村上	SD18		村上	SD17と同一	SD24	－			
SX90		高木	SD19		村上	SI44と同一	SI48	－			
SX91		佐藤（奈）	SD21		村上	SI75b	SI92	－			
SX93		佐藤（奈）	SD22		丸山	欠番	SK93	－			
SX94		佐藤（奈）	SD25		高木	欠番	SK98	－			
SX95		村上	SD26		高木	欠番	SK103	－			

SI01 (A-A'・B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山砂質シルトブロック微量 (径～5㎜) 全体に混入。炭化物極微量 (径～1㎜)。周囲の土に比べ黄褐色砂質シルト多く含み砂質。
2　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山砂質シルト中量 (径～5㎜) 全体に混入。炭化物極微量 (径～1㎜)。周囲の層序より砂質。
3　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山砂質シルト少量 (径～5㎜) 全体に混入。
4　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山砂質シルト微量。
5　2層より黄褐色ブロック多い。
※　上記以外の注記は落ち込みD断面参照

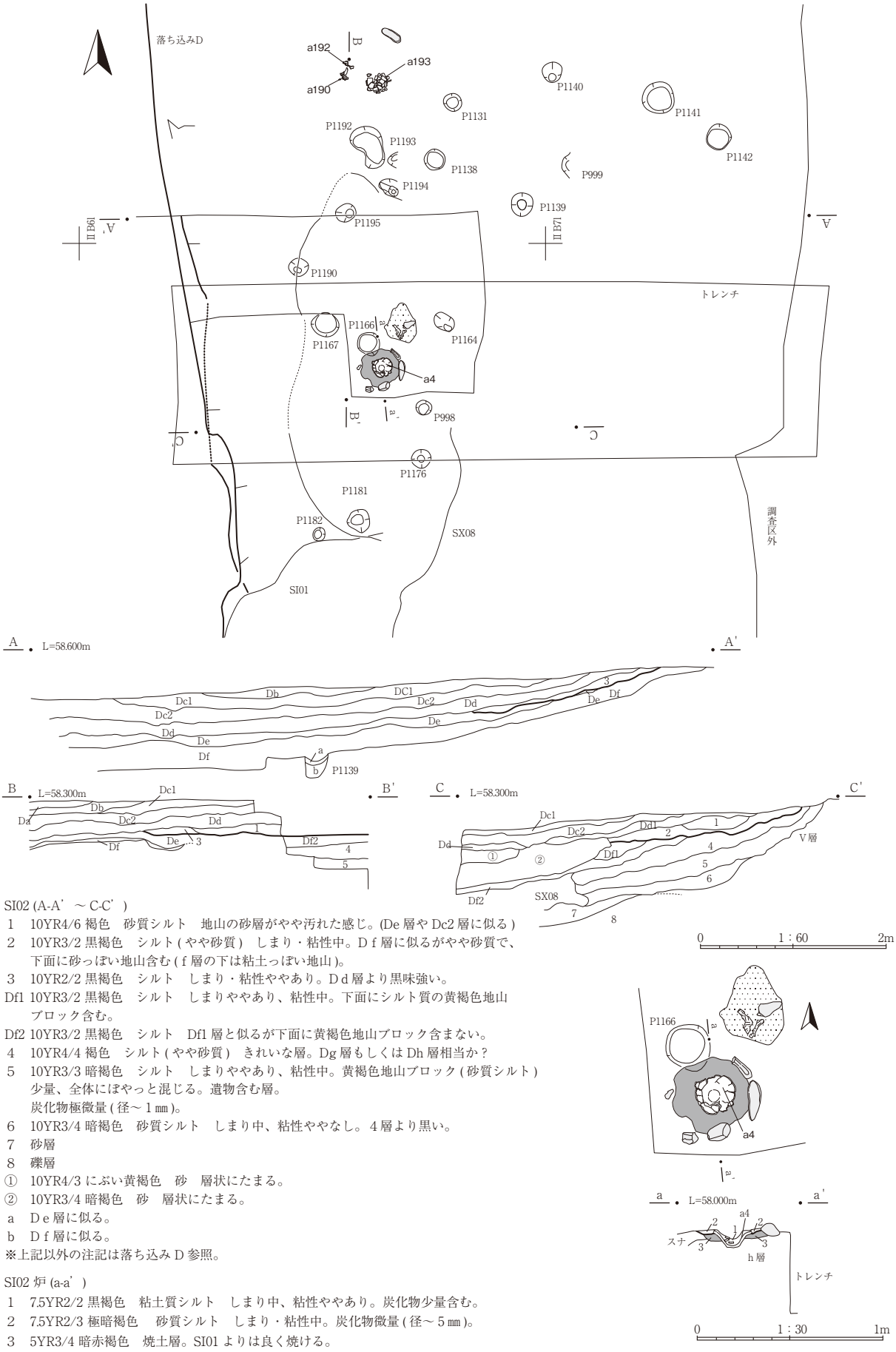
SI01 炉 (a-a')
1　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。被熱弱い焼土。
2　7.5YR3/2 黒褐色　砂質シルト　1層よりさらに被熱弱い。焼土。
3　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。炉石掘り方。
※被熱弱いが焼土厚い。

第20図　SI01住居跡

しており、落ち込みD内の自然堆積層と非常に似るが、上述の通り褐色砂の混入の有無で識別した。**炉**　石囲炉を1基検出。暗褐色土中の焼成であり発色は悪いが、深くまで被熱が及んでいる。**柱穴**　床面上では確認できず、褐色土層まで掘り下げたところ遺構内に柱穴を11基確認した。しかし、本遺構外でも同様の柱穴が分布するため、住居跡に伴うものの特定はできない。**遺物出土状況**　埋土中に数点含まれるのみで、床面からの出土はない。(遺物図版1　写真図版181)

ＳＩ０２住居跡 (第21図　写真図版10)

検出状況　落ち込みDの傾斜に沿って東西にトレンチを入れたところ本遺構の石囲炉を検出した。落ち込みD内にf1層が堆積した後作られ、本遺構埋没後d1層より上位層が堆積している。**形状**　半円形。SI01同様、後世に炉より南が削平された、もしくは落ち込みD埋没過程に斜面地を利用して建てられていた可能性もある。**床面・壁**　床面は、硬化範囲は確認できず、炉の形成面と炭化物・焼土ブロックが広がる面を追っている。A-A'より南側でL字を横にした範囲でのみ床面を追うことができた。炉の南側は最初に入れたトレンチにより床面下まで掘り下げてしまった。壁は西壁を平面形で、北壁の一部を断面により検出した。確認できた箇所から判断すると、底面から浅皿状に緩やかに立ち上がるようである。**堆積土**　上部が褐色砂質シルト、下部が黒褐色シルト層で落ち込み内の自然堆積層と傾斜をほとんど変えることなく緩やかに堆積する (1～3層)。自然堆積層と比べ色調や混入物の量がわずかに異なる。本来あった傾斜を浅く掘り窪め水平に均し、その後自然にd層より上が堆積し落ち込み全体が埋没していったようである。**炉**　石囲炉を1基検出。礫は西～北側には検出されず、南～東側に隙間がある状態で並ぶ。中央部には深鉢の底部～胴部下半 (a4) が正位で埋設され、その周囲から礫で囲われた部分まで被熱する。焼土はSI01に比べ発色が良く赤味が強いが、被熱深度は浅い。土器内には周囲の堆積土と類似した土、炭化物、同埋設土器の破片などが流入しており、使用時は開



SI02 (A-A' ～ C-C')

1　10YR4/6 褐色　砂質シルト　地山の砂層がやや汚れた感じ。(De 層や Dc2 層に似る)

2　10YR3/2 黒褐色　シルト (やや砂質)　しまり・粘性中。D f 層に似るがやや砂質で、下面に砂っぽい地山含む (f 層の下は粘土っぽい地山)。

3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。D d 層より黒味強い。

Df1 10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。下面にシルト質の黄褐色地山ブロック含む。

Df2 10YR3/2 黒褐色　シルト　Df1 層と似るが下面に黄褐色地山ブロック含まない。

4　10YR4/4 褐色　シルト (やや砂質)　きれいな層。Dg 層もしくは Dh 層相当か？

5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。黄褐色地山ブロック (砂質シルト) 少量、全体にぼやっと混じる。遺物含む層。炭化物極微量 (径～ 1 ㎜)。

6　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。4 層より黒い。

7　砂層

8　礫層

①　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　層状にたまる。

②　10YR3/4 暗褐色　砂　層状にたまる。

a　D e 層に似る。

b　D f 層に似る。

※上記以外の注記は落ち込み D 参照。

SI02 炉 (a-a')

1　7.5YR2/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物少量含む。

2　7.5YR2/3 極暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。炭化物微量 (径～ 5 ㎜)。

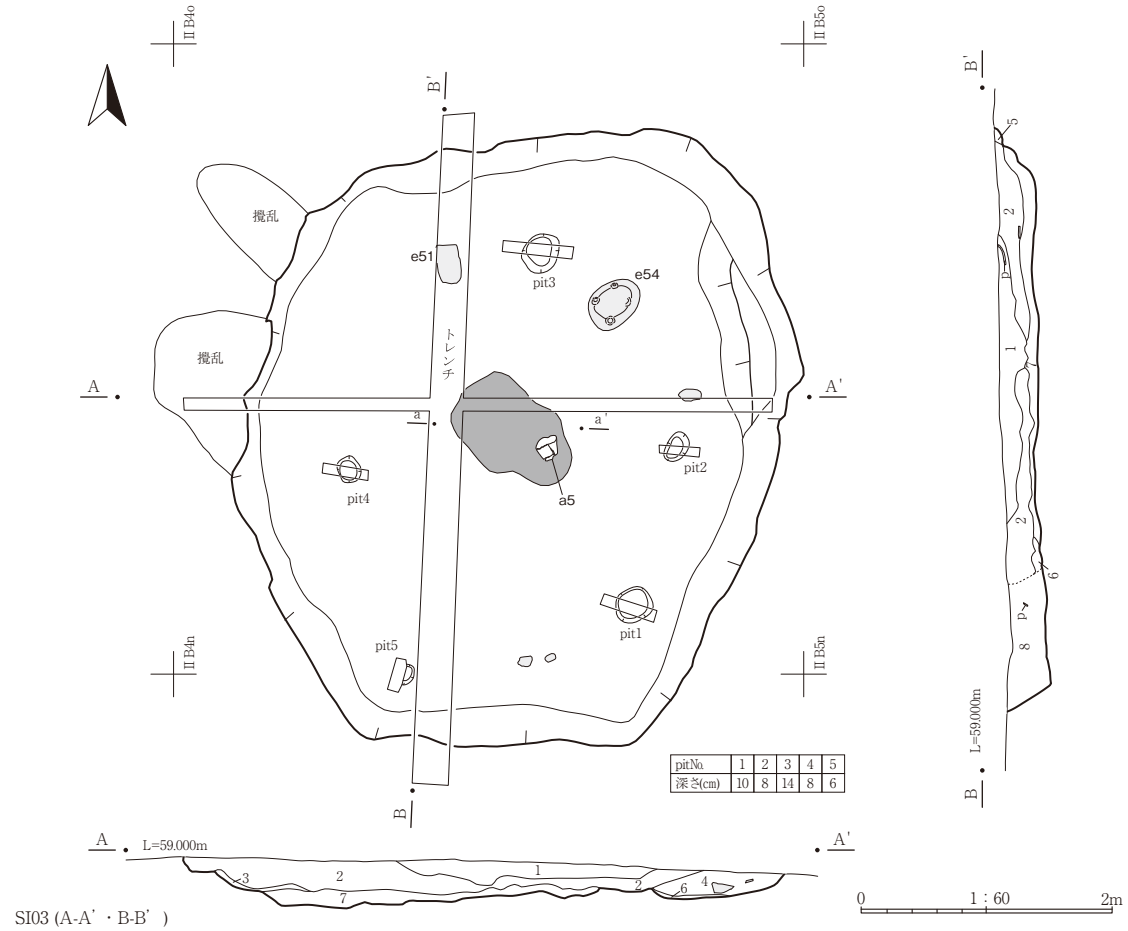
3　5YR3/4 暗赤褐色　焼土層。SI01 よりは良く焼ける。

第21図　SI02住居跡

口していたものと推定される。**柱穴**　本遺構に確実に伴うと判断されたものはない。**遺物出土状況**　炉内埋設土器１点（a4）の他、a190・192・193は本遺構のプラン外であるが、遺構掘り込み面で出土していることから本遺構の時期に近いものと判断し掲載している。また最初の東西トレンチ掘削時にも炉周辺～西側にかけて遺物が出土しているが、本遺構堆積土中、ないしはその上・下部層のものかどうか区別できなかったため本遺構帰属としていない。（遺物図版1･139　写真図版181）

ＳＩ０３住居跡（第22図　写真図版11）

検出状況　Ⅴ層上面の検出作業中に、褐色砂層中で遺物を含み炭化物も混入する円形の範囲が認められたため、十字にベルトを設定しベルトに沿ってトレンチで掘り下げた。トレンチ内も堆積土は基本土層との相違が認められず遺構の存在を疑っていたところ、焼成面を確認したため住居跡の炉跡の可



SI03 (A-A'・B-B')
1　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性なし。炭化物（中～大）２％。
2　10YR4/4 褐色　砂質シルト　１層より暗い。しまり・粘性なし。炭化物（中～大）２％。壁際ほど炭化物が少ない。
3　10YR4/4 褐色　砂　粘性・しまりなし。砂質シルトブロック（径～５㎝大）30％含む。
4　10YR4/4 褐色　砂質シルト　１層と同じくらいの明るさ。しまり・粘性なし。炭化物（小～極大）２％、下層ほど多い。
5　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト
6　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性なし。混入物なし。
7　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややあり。炭化物（小～極大）２％、中央付近に焼土全体に含む。
8　壁の地山土と似る。断面実測時は地山と誤認した範囲。

SI03 炉 (a-a')
1　5YR4/6 赤褐色　砂　焼土層。

0　1：30　1m

第22図　SI03住居跡

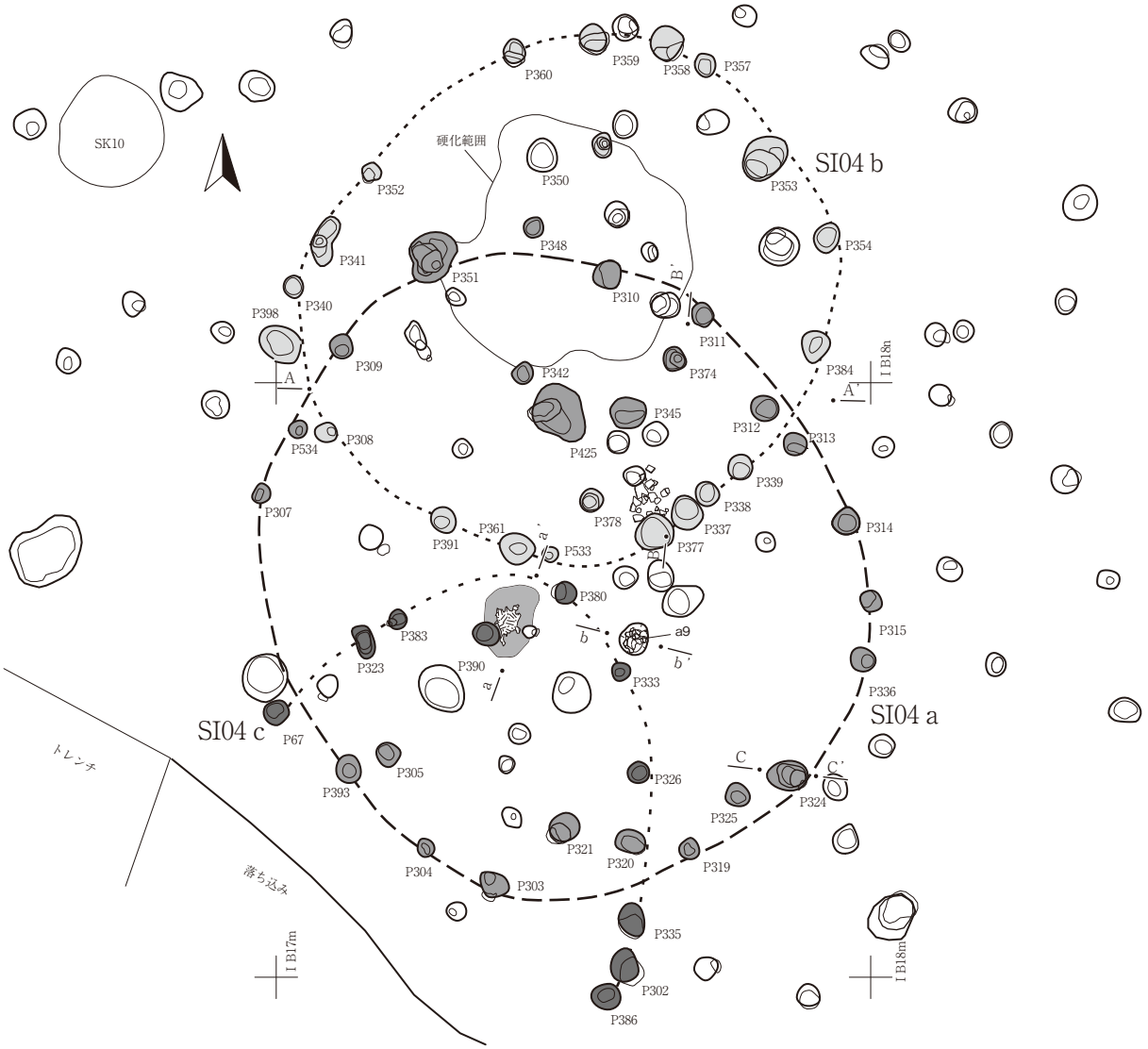
能性があると判断しこの面で広げ住居跡の把握に至った。**形状**　不整な円形。南北方向にやや長い。**床面・壁**　Ⅴ層（砂層）を床とする。中央付近のみ若干硬化しており、大半は締まりのない砂層で崩れやすい。壁はやや内湾気味に立ち上がる。北東壁付近はステップ状になっている。壁の基本土層と堆積土の差は不明瞭で締まり具合で識別して掘り進めた。**堆積土**　Ⅴ層由来の褐色砂質シルト層が主体で、西側壁際に一部砂層が介在する。遺構を覆う砂質シルト層は炭化物や焼土を少量含み若干濁っているが、壁に近づくほど自然層と見分けるのが難しくなる。南北方向は断面観察時には２層と８層壁を境界としたが、ベルト除去時に８層土とⅤ層の締まり具合が若干異なることから、８層も堆積土と判断した。**炉**　住居跡のほぼ中央に地床炉が形成される。被熱深度は浅く最大６㎝。長軸線上の南東側に中央に口縁部を向けた深鉢が斜位に据えられている（a5）。**柱穴**　５基検出されたがいずれも深さ10㎝前後と浅い。**遺物出土状況**　炉焼成面上に土器（a5）、床面から石皿（e54・e51）が出土している。その他、遺物は床面より堆積土中に多い。（遺物図版1･2･144･145　写真図版181）

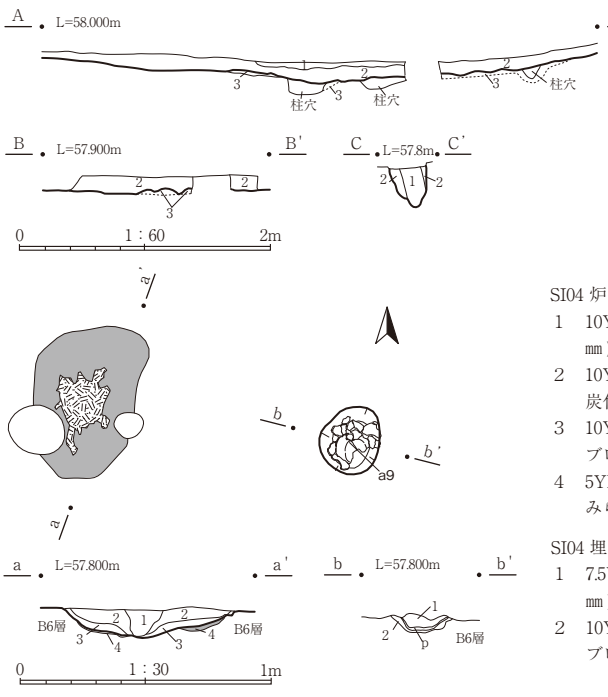
ＳＩ０４住居跡（第23図　写真図版12）

検出状況　落ち込みＢ6層（Ⅴ層）まで掘り下げていたところ、焼土の広がりと土器を検出した。それぞれ炉跡（SN01）、埋設土器（SX03）として調査を開始したが、その周囲から両者と同じ面で遺物が出土し周囲の柱配置などから住居跡と判断した。**堆積土**　炉跡・埋設土器が出土した時点で、堆積土が残っていると思われる箇所にベルトを設定した。しかし壁の立ち上がりは確認できず、住居内堆積土も周囲の自然堆積層と差異がなかった。落ち込み内の窪地を利用して住居跡を作り、その後B5層より上位層が堆積した可能性が考えられる。**形状**　柱穴の配置から円形と推定（SI04a）。SI04aと重複して北側にも同様の円形柱穴列が並んでおり（SI04b）、柱穴列で囲まれた範囲には硬化面も認められた。同様にSI04aの南側には半円状の柱穴列が並ぶ（SI04c）。これらも住居跡の可能性があるが、炉が検出されず断定できない。**床面・壁**　B6層（シルト質粘土層）を床とし周囲から中心へ向かって浅皿状となる。壁は確認できなかった。　**炉**　地床炉を１基検出。浅い土坑状に掘りくぼめられた範囲にドーナツ状に焼成面が広がる。被熱は弱く深度も浅い。中央部分は炉内堆積土を除去しても被熱範囲が不明瞭である。**埋設土器**　炉西側に深鉢形土器の底部～胴部下半が埋設される。土器内の土は焼土粒を含み赤味を帯びるが、周囲に被熱した痕跡は確認されない。**柱穴**　炉の位置を本遺構の中央と仮定すると、P303・P304・P307・P309・P310・P311・P312・P313・P314・P315・P319・P324・P336・P393・P351・P534が壁柱穴となる可能性がある（SI04a）。**遺物出土状況**　埋設土器の他、遺構範囲内と推定される範囲のＢ４～５層相当層で出土している。（遺物図版1　写真図版181）

ＳＩ０５住居跡（第24図　写真図版13）

検出状況　落ち込みC2層中（Ⅴ層）をグリッドごとに掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する作業中に、遺物の密度が濃くなる範囲が認められた。そのため､その範囲にベルトを残し掘り下げていったところ、焼土・埋設土器等を検出し住居跡と認識した。**形状**　円形。やや隅丸方形に近い。**床面・壁**　床面か壁まで緩い傾斜を持ち浅皿状に立ち上がる。**堆積土**　基本土層（Ⅴ層）と色調・土質ともに非常に似るが、締まりが弱く炭化物を混入する。**炉**　地床炉を２基検出した。**埋設土器**　深鉢胴下～底部が埋設され周囲が被熱していた（a11）。土器埋設炉の可能性があるが、土器と焼成面が接しておらず一連のものとは断定できない。また、調査終了後この土器の接合を行ったところ、周辺から出土した破片と接合し胴部上半まで復元された。この状態で埋設されていたとすると床面からかなり突出してしまい無理がある。周辺から出土した土器の出土状況を把握できていないが、埋設ではなく地床炉周辺のわ





SI04 (A-A’・B-B’)

1　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。黄褐色小ブロック 10 ～ 15%、炭化物 1 ～ 2%。(B4 層相当層？)

2　10YR3.5/4 暗褐～褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。黄褐色ブロック 5 ～ 7%、炭化物 2 ～ 3%。(B5 層)

3　10YR5/6 黄褐色　粘土質シルト　しまりあり、粘性ややあり。(B6 層)

P324 (C-C’)

1　10YR4/6 褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。

2　10YR3.5/4 暗褐～褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 2 ～ 3%。

SI04 炉 (a-a’)

1　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径 10 ～ 30 ㎜)5%、焼土粒～小ブロック 3 ～ 7%。

2　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり･粘性ややあり。褐色小ブロック 2 ～ 3%、炭化物 (径 5 ～ 10 ㎜)3 ～ 5%、焼土小ブロック (径 5 ～ 10 ㎜)10 ～ 15%。

3　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック 20 ～ 25%。ブロック焼土層。

4　5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。焼土層。炭化物が全体的にみられる。

SI04 埋設土器 (b-b’)

1　7.5YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径 2 ～ 5 ㎜)、焼土粒 1 ～ 2%。

2　10YR3.5/3 暗褐～にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。褐色小ブロック 3%、炭化物 1%。

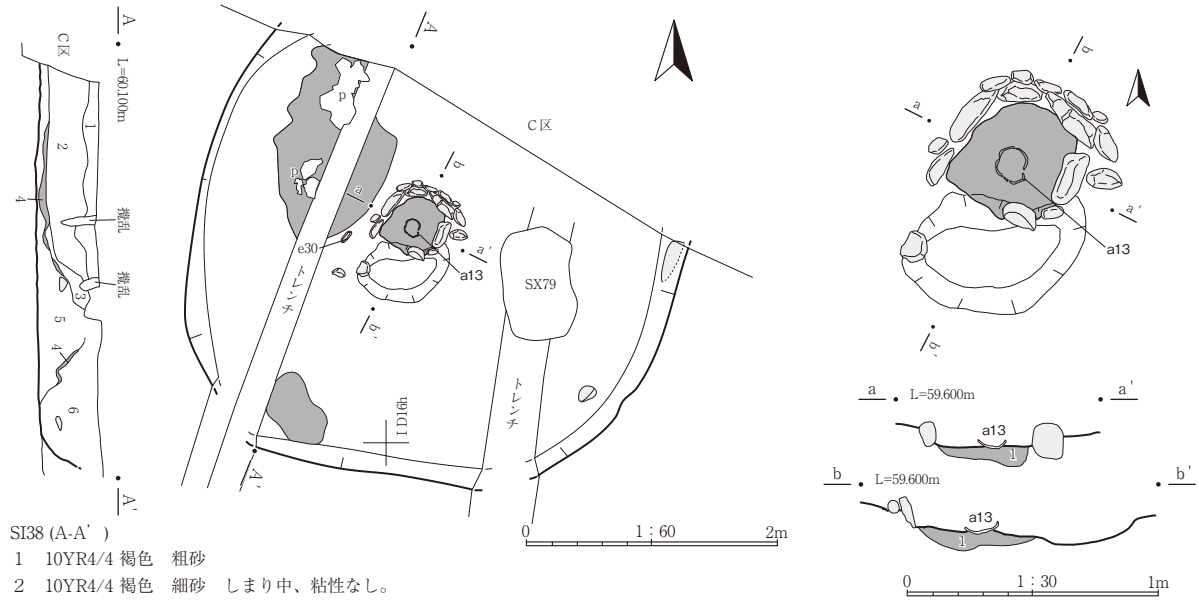
第23図　SI04住居跡

第24図　SI05住居跡

ずかな窪みに置かれたものであった可能性も考えられる。**柱穴**　合計23基検出しており壁際に多い。**遺物出土状況**　住居北西壁際から土器がまとまって出土している。その他、埋土中～床面にも土器片が含まれる。（遺物図版２・３　写真図版181･182）

ＳＩ３８住居跡（第25図　写真図版14）

検出状況　北側約４分の１はＣ区精査段階においてはその存在を把握できず、Ｃ区終了後にＢＣ区境断面において水平に分布する炭化物や焼土の集積層を発見し遺構床面と認識したものである。Ⅲ層上面ではプラン確定できず、床面で炭化物分布が途切れた地点を立ち上がりと判断した。壁面の確認状況等から、本遺構の掘り込み面はⅢ層下面、本遺構埋没後に周囲を含めてⅢ層砂層が堆積したものと考えられる。**形状**　不確実なプランだがやや歪な円形を想定。**堆積土**　本遺構堆積土として確実なのは床面直上に分布するやや粘性のある褐色砂質シルト層である。上部Ⅲ層が本遺構中央で変化するのは窪地の堆積状況に起因すると思われる。**床面・壁面**　床面はⅣ層上部中の構築である。前述のように床面上に炭化物の集中が見られたため、これが途切れた面を床面と認識した。西側の炉に隣接した部分では焼成を受けて赤化、硬化した面が広がる。一方、南東側は炭化物の混在が少なく、床面下位に広がる締まりの弱いⅣ層砂質シルト層との区別がつかないため、西側の焼成面と同一レベルまで掘り下げた段階で暫定的に床面露出とした。概ね平坦でやや東側に下る緩い傾斜がある。壁面は急傾斜で立ち上がると考えられるが確実ではない。また壁面の残存状況も不明である。**炉**　竪穴中央部のやや西寄りに埋設土器を伴う石囲炉を検出した。亜円礫、亜角礫を主体として方形に近い石組が構築される。南辺の石組は途切れており全体としてはＣ字形に近い。また北辺では礫が二重に配置される。石組内部は外側の床面より10㎝前後掘りくぼめられ、ほぼ全体が被熱により赤化する。中央の焼土上面には壺形土器底部がある（a13）。土器下面が焼成面に密着していることから、炉施設の一部として設置されたと判断される。底部が北側に傾くやや斜位の状態である。土器内部は炉埋土と同様の黒褐色土が堆積しており、特別な内容物は確認できない。石組の南側には最大深10㎝程の土坑が隣接する。石組南辺東側を構成する礫が土坑内部に落ち込む点、焼成面が土坑側壁北側の上部に広がる点から、石組と一体となった炉の施設と考えられる。**その他の施設**　柱穴、周溝等は検出していない。**遺物出土状況**　堆積土上部のⅢ層砂層、及び下部の砂質シルト層の遺物出土は少量である。床面では炉の東側で高坏小片（a12）等がある。（遺物図版3･139　写真図版182）



SI38 (A-A')
1　10YR4/4 褐色　粗砂
2　10YR4/4 褐色　細砂　しまり中、粘性なし。
3　10YR4/4 褐色　細砂　しまり中、粘性なし。炭化物含む。
4　5YR4/6 赤褐色　焼土。
5　10YR4/6 褐色～10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。
6　10YR4/6 褐色～10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。

SI38　炉 (a-a'・b-b')
1　2.5YR4/6 赤褐色　焼土。

第25図　SI38住居跡

② **奈良・平安時代**

奈良・平安時代の竪穴住居跡は合計89棟を検出した。調査区南端のＩＢ・ⅡＢグリッドを除き、ほぼ全域に分布する。東西両側の調査区境にかかる遺構も多数あるため、分布範囲は調査区両側に更に広がるものと考えられる。89棟のうち、複数の遺構において明らかな建て替えの痕跡が認められるものも含まれており、実数は更に増加する状態である。

全体を通じた特徴として、埋土中に見られる洪水堆積層の存在、カマドの強い被熱痕跡、長く刳り抜きかれたトンネル型のカマド煙道、更に大型住居跡床面で検出された井桁状溝群が挙げられる。

洪水堆積層が観察された住居跡は18棟である。主に調査区南半のＢ・Ｃ区に分布する。洪水堆積層は褐色～黄褐色のシルト層、細砂層、粗砂層等、その層相は一様ではない。廃絶直後に流入した状況、埋没途中の窪地に流入した遺構等、確認層位も個々で異なる。また明瞭なラミナ構造が見られるものとブロック状に含まれる遺構がある。これらが同一の洪水に起因するものかどうかは確証を得ない。

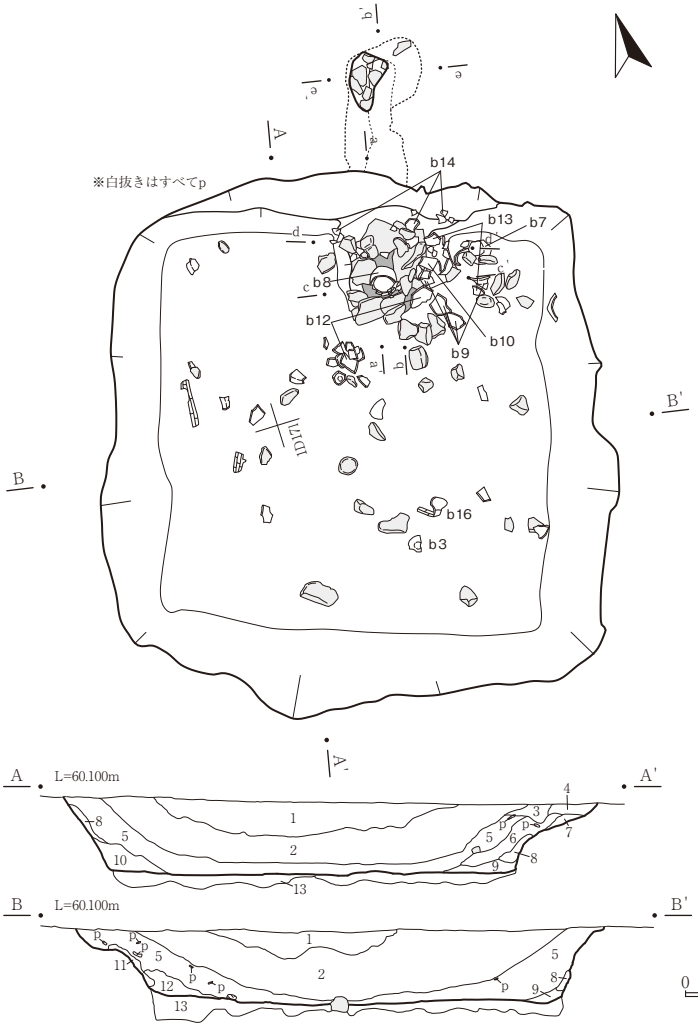
カマド燃焼部の被熱痕跡は、ほぼ全ての住居跡において非常に明瞭に観察され、燃焼面上部に硬化還元面が生じているものが多い。遺構堆積土と地山基本土層との区別が難しい住居跡についても、カマド燃焼部の確認面を床面として遺構全体の把握に至ったものが含まれる。また、１辺が６ｍを超す大型の住居跡内部では、床面に複数の直交する溝群が検出されたものが見られる。名称として「井桁状溝群」と呼称する。個々の遺構で埋没状態が異なり、住居使用時点で開口していたものと埋没していたものの両者があり、その性格については断定し難い。

ＳＩ０６住居跡（第26・27図　写真図版15）

形状　方形基調である。上端は壁の崩落のため緩く湾曲する。**床面・壁面**　図化していないが、床面は住居中心から半径１ｍ程度の範囲が硬化している。壁際は柔らかく、床面と堆積土との境界がやや不明瞭であったが、遺物の出土する面を追うと、中心の硬化面より若干低くなる。壁は下半が直立気味、上半は壁が崩落し緩やかに立ち上がる。北西側下半の壁コーナーはほぼ直角に角度を変えており、壁の崩落がなく使用時に近い形状を留めていると思われる。**堆積土**　壁崩落を伴いながら黒褐色土がレンズ状に薄く堆積した後（３～12層）、洪水堆積砂層に覆われる（２層）。黒褐色土中には礫や土器が多量に含まれることから、埋没過程でこれらが投棄された、もしくは上屋の石などが倒壊・崩落した可能性がある。洪水砂層は間に黒褐色土を挟む互層となっており、砂の粒径は上部が粗く下部は細かくなる。**カマド**　北壁ほぼ中央に位置する。カマドは土師器甕（b8）が据えられた原位置の状態で検出された。袖は複数の礫を芯材とし、天井や東袖には板状の礫を使用していた。天井の板状の礫は掛け口を挟んで手前と奥に２枚置かれている。甕の下には二重の坏が伏せ置かれた状態で出土し、支脚となっていたと考えられる（b5・b6）。燃焼面は強く硬化し中央が橙色に変化する。煙道は刳り抜き式で、煙出し孔の底面はⅢ層に由来すると考えられる締まりのない砂質土が崩落し堆積する。検出時には煙出し孔部に伸びる黒褐色のプランを確認していたが、これは土層観察から煙道の天井崩落により生じたⅢ層の窪みに堆積したⅡ層土の分布である。煙出し孔部の上部には、投げ込まれた大量の礫、下部には土師器片が出土し、人為的に埋め戻された状況と考えられる。**柱穴**　検出されていない。**遺物出土状況**　床面及び５層からの出土が多い。特にカマドと北東壁際にまとまり西～南壁へ向かって減少することから、北東方向から投棄された可能性がある。洪水砂層内には遺物はほとんど含まれない。（遺物図版73　写真図版234）

ＳＩ０７住居跡（第28～30図　写真図版16）

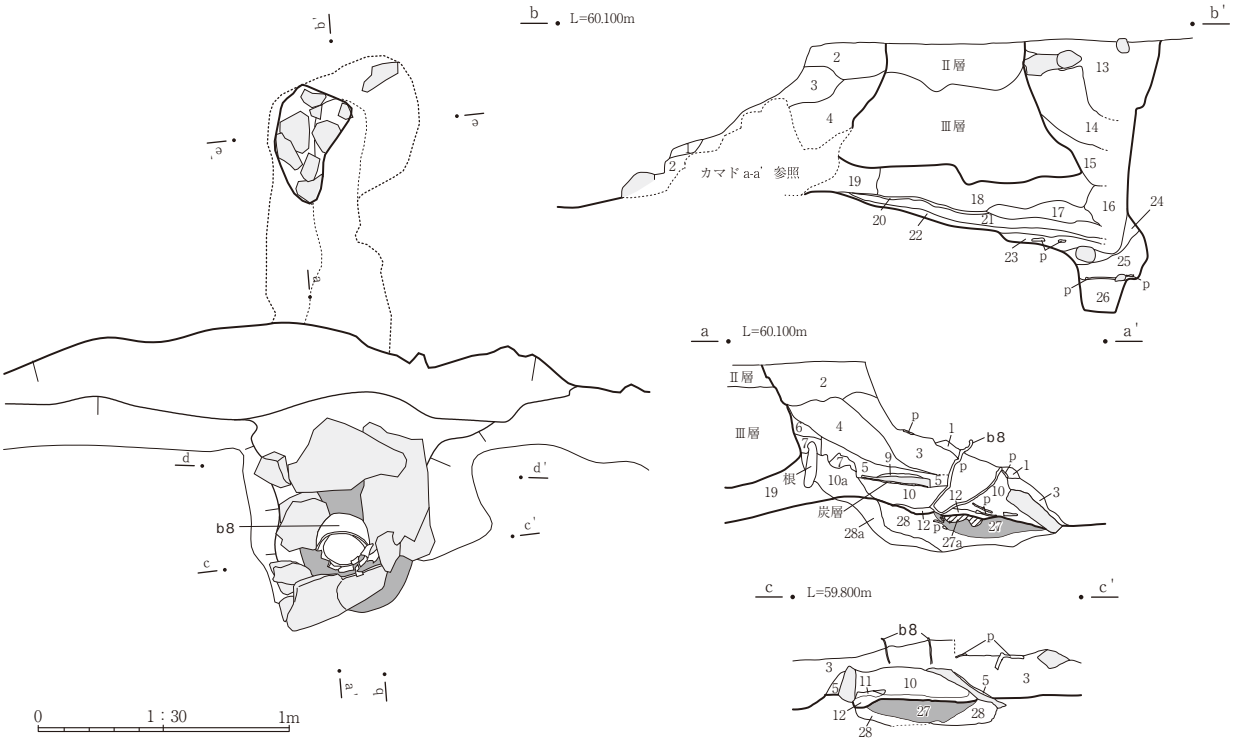
形状　大型の方形基調。北壁と西壁北半に棚状施設を有しておりこれを含めた規模は8.9ｍを測る。



SI06 (A-A'・B-B')

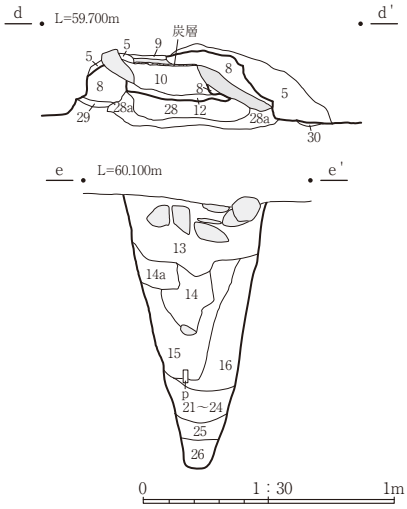
1　10YR2/3 黒褐色シルト、10YR3/4 暗褐色シルト、10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト、10YR4/4 褐色砂が径 1 ～ 3 ㎝くらいで斑状に混じる。しまりややあり、粘性ややなし。
2　10YR4/4 褐色砂層に 10YR3/2 黒褐色砂質シルト層が互層何枚も入る (6 ～ 7 回繰り返すか？)。下部には炭 (径～ 1 ㎝) 微量含む。中心部下面に酸化している、洪水で埋まったもの。
3　10YR3/2 黒褐色　砂　しまりあり、粘性なし。
4　3 層と 6 層の主体土が斑状 (径～ 3 ㎝) に混じる　しまりやあり、粘性ややなし。
5　10YR2/2 黒褐色 (やや 10YR3/2 黒褐色より) 粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR3/4 暗褐色地山砂質シルト細かく (径～ 5 ㎜) 少量、床面と接する付近に炭化物多い (特に南東側)、ややグライ化している。
6　10YR2/1 黒褐色 (やや 10YR2/2 黒褐色より) 粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR3/4 暗褐色地山砂質シルト少量、小さい粒径から大きいものまで様々。
7　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト。
8　10YR4/4 褐色　砂質シルト。
9　6 層に似るが、炭 (径～ 2 ㎜) 微量。
10　10YR4/4 褐色砂質シルトと、10YR2/1 黒褐全体にぼやっと混じる。(10YR2/1 黒褐色は 10YR2/2 黒褐色より)
11　8 層に似るが、10YR2/1 黒褐色 シルト少量含む。(10YR2/1 黒褐色は 10YR2/2 黒褐色より)
12　10YR2/1 黒褐色 (やや 10YR2/2 黒褐色より) しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂質シルト大きく (径～ 5 ㎝) 斑状にやや多量。
13　10YR3/3 暗褐色シルト、10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト、10YR3/1 黒褐色シルトの混土 (ブロック。4 : 2 : 2 : 2)　しまりあり、粘性ややあり。床面中央グライ化。

0　1 : 60　2m



0　1 : 30　1m

第26図　SI06住居跡（1）

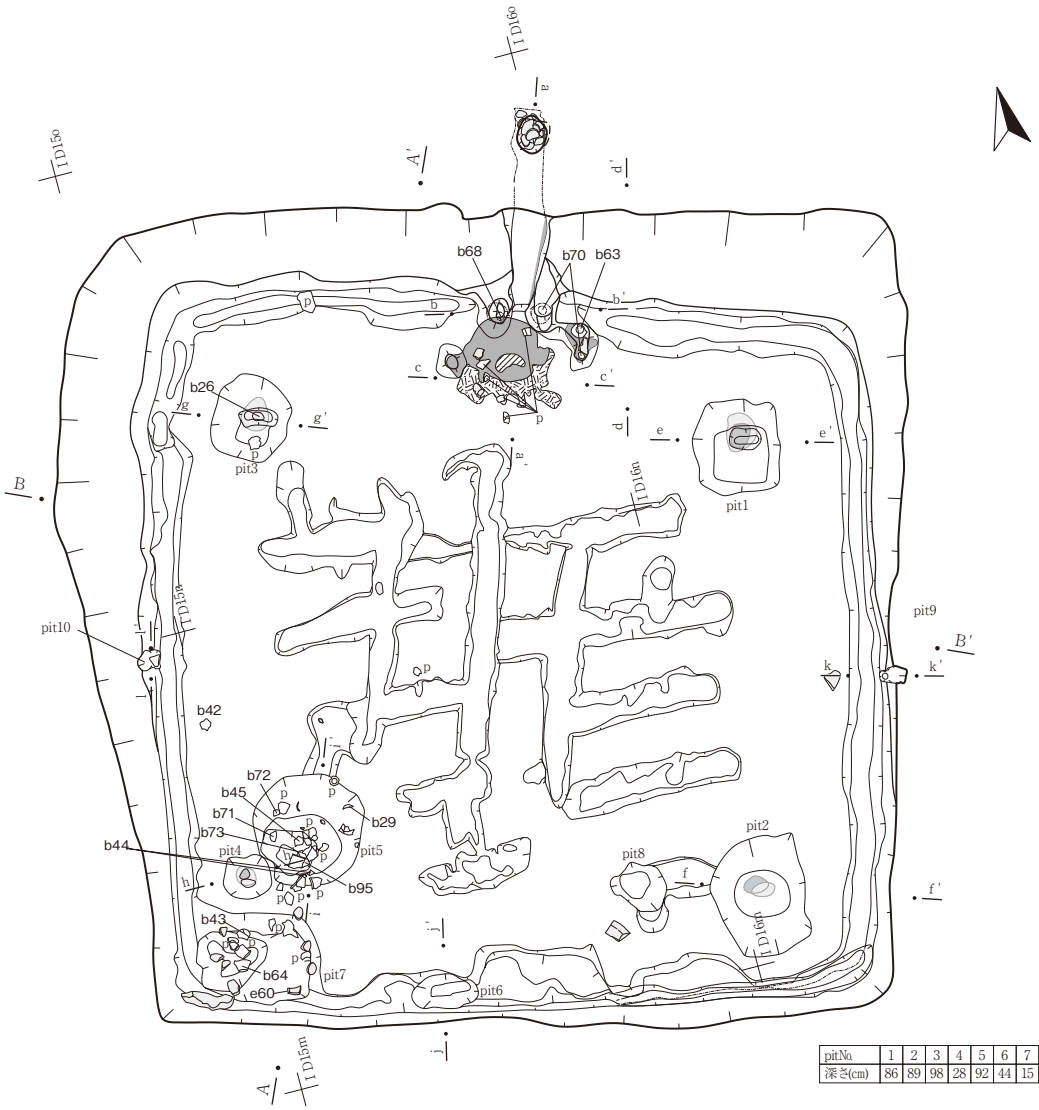


SI06 カマド (a-a'　～ e-e')

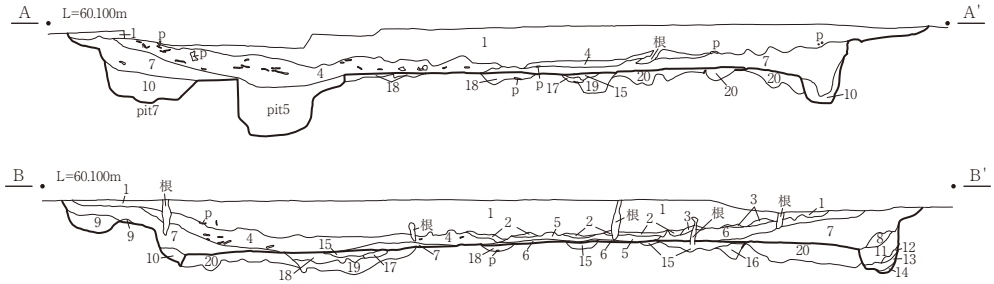
1　住居２層の砂。
2　10YR3/3 暗褐色砂大量。しまり中、粘性なし。住居２・３層の主体土が斑状(径～1cm)少量、住居１層に似るか?
3　10YR3/3　暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR2/3　黒褐色シルト少量、10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロック(径～1cm)斑状に少量含む。
4　10YR2/3　黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/3　にぶい黄褐色地山シルトブロック(径～3cm)微量大きく入る。
5　10YR2/2　黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/4　褐色シルトブロック(径～5cm)10%、5YR4/8 赤褐色焼土粒(径～5cm)。袖土崩落。
6　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性なし。
7　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりややあり、粘性なし。６層10%。
8　10YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。袖構築土。
9　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。
10　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土粒少量、下位に炭化材含む。
10a　10YR3/2　黒褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性なし。10YR3/1　黒褐色シルトブロック(径～1cm)10%。
11　5YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。
12　5YR4/4　にぶい赤褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。橙色焼土ブロック(径5～10㎜)中量、炭化材少量含む。
13　10YR2/3 黒褐色　礫多く含む。
14　10YR2/3 黒褐色　しまりややあり、粘性ややなし。(径～25cm)礫含む。
14a　10YR3/2 黒褐色　しまりやや り、粘性ややなし。黄褐色砂少量含む。
15　10YR2/2 黒褐色　しまりややなし、粘性ややなし。下部に土器。
16　10YR2/3 黒褐色　しまりややなし、粘性ややあり。暗褐色土(焼土？)ブロック少量。
17　10YR2/2 黒褐色　しまりややなし、粘性ややあり。暗褐色(焼土？)ブロック中量、土器含む。
18　10YR4/2 灰黄褐色　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色砂質シルトブロック少量含む、炭化材少量散在。
19　10YR4/3 にぶい黄褐色　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂質シルトブロック中量含む。
20　10YR2/1 黒褐色　しまりややなし、粘性ややあり。炭化材・焼土が混じる、煙道に付着した煤が剥落したものか？。
21　10YR4/4 褐色　しまり・粘性ややなし。均質な砂質土。
22　10YR2/1 黒褐色　しまりややなし、粘性ややあり。20層より被熱痕跡明瞭。
23　10YR3/2 黒褐色　しまりややなし、粘性ややあり。土器含む。
24　10YR4/4 褐色　しまり・粘性ややなし。砂質土、21層に似る。
25　10YR2/1 黒褐　しまりややなし、粘性ややあり。炭化材・焼土混　20層に似る、軟質、土器片中(径～15cm)礫３個。
26　10YR2/3 黒褐色　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂質土中量。
27　5YR4/8 赤褐色　焼土　しまりあり、粘性ややあり。上面の硬化顕著。
27a　27層より白色化した焼土。硬化面。
28　7.5YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。焼土粒少量、黄褐色土中量含む。
28a　10YR4/4 褐色。28層から焼土を除いた土。
29　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。袖構築土。
30　10YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。炭化材(径～1.5cm)、焼土ブロック(径～1cm)含む。

第27図　SI06住居跡（２）

床面・掘り方　中央付近が高く東・西・南壁周辺が低い。中央付近は硬化する。同箇所には井桁状溝群が構築されている。壁周辺は構築時の掘削（掘り方）が大規模で、貼床が厚く床面の硬化は弱い。**堆積土**　上～中位は暗褐色シルトの自然堆積層、下位は遺物を大量に含む黒褐色シルトの人為堆積層である。後者は南西側に顕著で、他の遺構構築時あるいは使用時の廃棄と考えられる。**カマド**　北壁中央に設置されている。袖は芯材にほぼ完形の土師器長胴甕を逆位に立て（b68～ b70・b63)、にぶい黄褐色シルトを貼り付けて構築しており、残存状態は良好である。袖の高さは棚状施設とほぼ同高である。煙道は刳り抜き式で、底部は棚状施設付近で一段高くなり、煙出し孔に向かって下降し、煙出し孔部分は柱穴状に掘り込まれる。なお煙出し孔の平面形は円形ではなく方形基調である。燃焼部は強く被熱しており、燃焼面中央には硬化還元面が生じている。煙出し孔は人為的に埋め戻されており、直径５～18cmの円礫が60個含まれていた。**柱穴・ピット**　pit １～４の４基が主柱穴と考えられる。pit ５もその可能性があるが、柱痕が確認されなかった。掘り方は方形基調で規模が大きく、その形状はpit １に顕著である。柱穴底面に観察される柱痕は南北に長い楕円形で、柱脚が長方形もしくは楕円形を呈していたと判断される。東・西壁の中央には壁柱穴が確認された（pit ９・10)。南西



pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
深さ(cm)	86	89	98	28	92	44	15	32	40	44



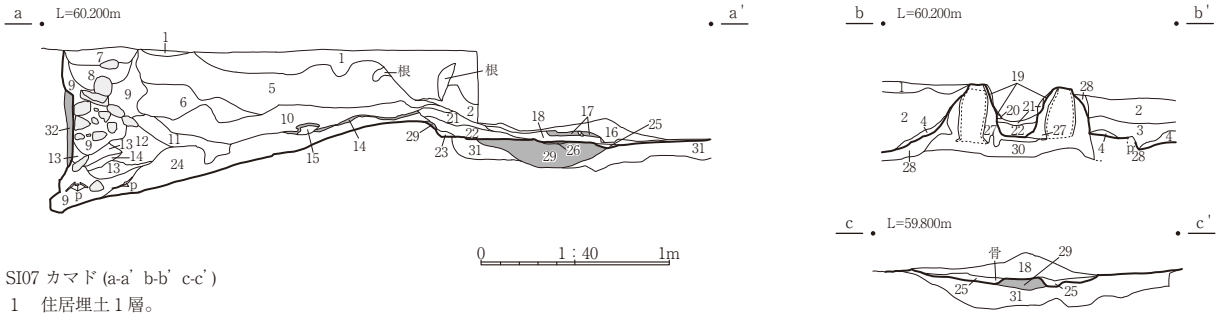
SI07 (A-A'・B-B')

0　1：80　2m

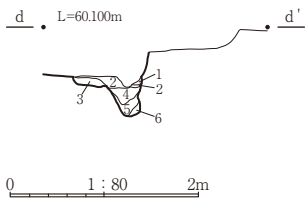
1　10YR3/3　暗褐色　しまりあり、粘性なし。下位３分の１は単層、上位３分の２はラミナ顕著。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中､粘性ややあり｡10YR4/4褐色シルトブロック(径～5cm)5%､炭化物粒･焼土粒(径～1cm)各10%。人為堆積(廃棄)。
5　10YR3/1 ～ 10YR4/1 黒褐色～褐灰色　シルト　しまり中、粘性ややあり。一部グライ化、酸化鉄集中あり。
6　10YR 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
7　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 cm)5%。
8　10YR2/1 黒色　シルト　しまり中、粘性あり。東壁中央付近にのみ存在。
9　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 1 cm)10%。
10　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトの混合土 (5：5)。しまりなし、粘性ややあり。炭化物粒・焼土粒 (径～ 5 mm) 各 30%。
11　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 cm)10%。
12　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

第28図　SI07住居跡（１）

13　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)5%。
14　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3　にぶい黄褐色砂 50%。
15　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色　砂ブロック 10%。床溝埋土。
16　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルトブロック (径～ 1 ㎝)10%　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂 10%。貼床。
17　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)30%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5%。床溝埋土。
18　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性あり。10YR4/3 にぶい黄褐色　シルトブロック (径～ 2 ㎝)30%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5%、焼土粒 (径～ 5 ㎜) 10%。床溝埋土。
19　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性あり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。
20　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色　シルトブロック (径～ 2 ㎝)20%。　所々に焼土ブロック・炭化物粒。貼床。

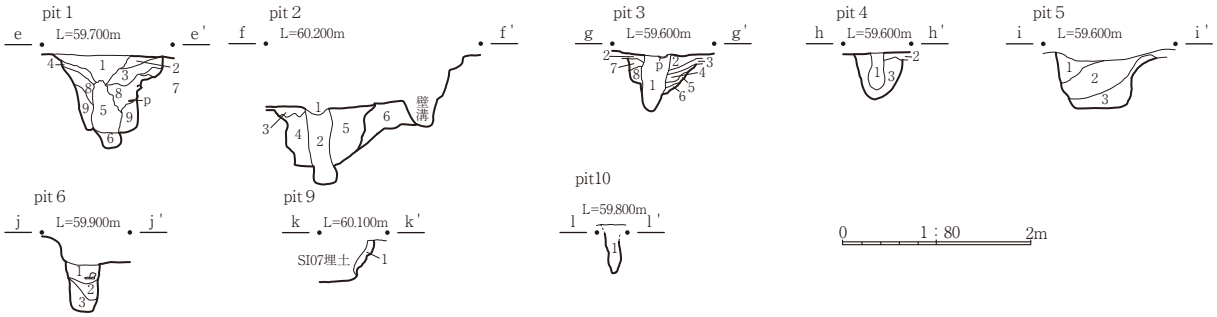


SI07 カマド (a-a' b-b' c-c')
1　住居埋土 1 層。
2　住居埋土 4 層。
3　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり にぶい黄褐色シルトブロック 20%、焼土ブロック 5%。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。崩落したカマド構築土。
5　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり
6　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり 暗褐色シルトブロック 10%。
7　10YR4/2 灰黄褐色　砂　しまり中、粘性ややあり。黒褐色シルトブロック 40%。
8　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり弱、粘性ややあり。にぶい黄褐色シルトブロック 10%。
9　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり弱、粘性ややあり。にぶい黄褐色シルトブロック 10%。円礫多量。
10　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。にぶい黄褐色シルトブロック 10%。
11　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。暗赤褐色焼土ブロック 20%。
12　10YR5/4 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。煙道天井部。
13　5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりなし、粘性なし。煙道部内側焼土。
14　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。煙道部内側焼土。
15　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。
16　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。にぶい黄褐色シルトブロック 7%、焼土ブロック 5%、炭化物粒 1%。
17　2.5YR4/8 赤褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。黒褐色シルトブロック 20%。
18　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりなし、粘性中。明褐色焼土ブロック 10%。
19　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黒褐色シルトブロック 5%、カマド構築土崩落、炭化物粒 5%。
20　5YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。崩落したカマド構築土の表面？。
21　5YR3/4 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性中。黒褐色シルトブロック 20%、明赤褐色焼土ブロック 10%。
22　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。赤褐色焼土ブロック 20%、炭化物粒 5%。
23　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性なし。明赤褐色焼土ブロック 5%。
24　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。壁・天井部焼土ブロック 60%。
25　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。29 層焼土ブロック 10%、炭化物粒 10%。
26　7.5YR5/6 明褐色　シルト　しまり非常にあり、粘性なし。焼土 (強い) 硬化。
27　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土ブロック 10%。袖構築土 (被熱)。
28　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土ブロック 5%、黒褐色シルトブロック 10%。
29　5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。
30　28 層と同じで焼土ブロックなし。黒褐色シルトブロック 5%。
31　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黒褐色シルトブロック 10%。貼床。
32　5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。



SI07 壁溝カマド東側 (d-d')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。壁崩落土。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色　シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性中。10YR3/1 黒褐色　シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%、10YR4/3 にぶい黄褐色砂 10%。貼床。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)10%、炭化物粒 (径～ 1 ㎝) 1%。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。
6　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。壁崩落土。

第29図　SI07住居跡（2）



SI07 pit1 (e-e')
1　10YR3/2 黒褐色シルト しまり中 粘性ややあり にぶい黄褐色シルトブロック 5%
2　10YR3/2 黒褐色シルト しまり中 粘性ややあり にぶい黄褐色シルトブロック 10%
3　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト しまり中 粘性ややあり 黒褐色シルトブロック 10% 褐色砂ブロック 10%
4　10YR3/2 黒褐色シルト しまり中 粘性ややあり にぶい黄褐色シルトブロック 30% 炭化物粒 3%
5　10YR3/2 黒褐色シルト しまりなし 粘性ややあり 柱当たり空洞あり
6　10YR3/3 暗褐色砂 しまりなし 粘性なし 黒褐色シルトブロック 3% 炭化物粒 3%
7　10YR4/3 にぶい黄褐色シルト しまり中 粘性ややあり 黒褐色シルトブロック 5%
8　10YR3/1 黒褐色シルト しまり中 粘性ややあり 褐色シルトブロック 50% 焼土粒 1%
9　10YR3/1 黒褐色シルト しまり中 粘性ややあり 褐色シルトブロック 5%

SI 07 pit2 (f-f')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。酸化鉄斑状に 5%。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色砂 10%。柱当たり。
3　10YR4/4 褐色　シルトと 10YR3/1 黒褐色　の混合土 (7：3)　しまりあり、粘性ややあり。貼床。
4　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。掘り方埋土。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中､粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 3 ㎝)20%､10YR3/1 黒褐色　シルトブロック (径～ 3 ㎝)10%。掘り方埋土。
6　住居埋土 20 層。

SI 07 pit 3 (g-g')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし､粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)､10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎝) 10%。柱当たり。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝) 各 20%。貼床。
3　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)、10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝) 各 20%。貼床。
4　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。掘り方埋土。
5　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂 20%。掘り方埋土。
6　4 層と同じ。
7　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR5/3 にぶい黄褐色シルト、10YR4/4 褐色砂各 30%。掘り方埋土。
8　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)10%。掘り方埋土。

SI 07 pit 4 (h-h')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。酸化鉄斑状に 5%。
2　10YR4/4 褐色シルトと 10YR3/1 黒褐色の混合土 (7：3)　しまりあり、粘性ややあり。貼床。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりなし、粘性なし。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。掘り方埋土。

SI 07 pit 5 (i-i')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 10%。壁溝。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝) 各 20%。貼床。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。

SI 07 pit 6 (j-j')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)30%。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややありと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロックの混合土 30%。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルトブロック (径～ 2 ㎝)5%、炭化物粒 (径～ 1 ㎝)1%。

SI 07 pit 9 (k-k')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。

SI 07 pit 10 (l-l')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)20%。

第30図　SI07住居跡（3）

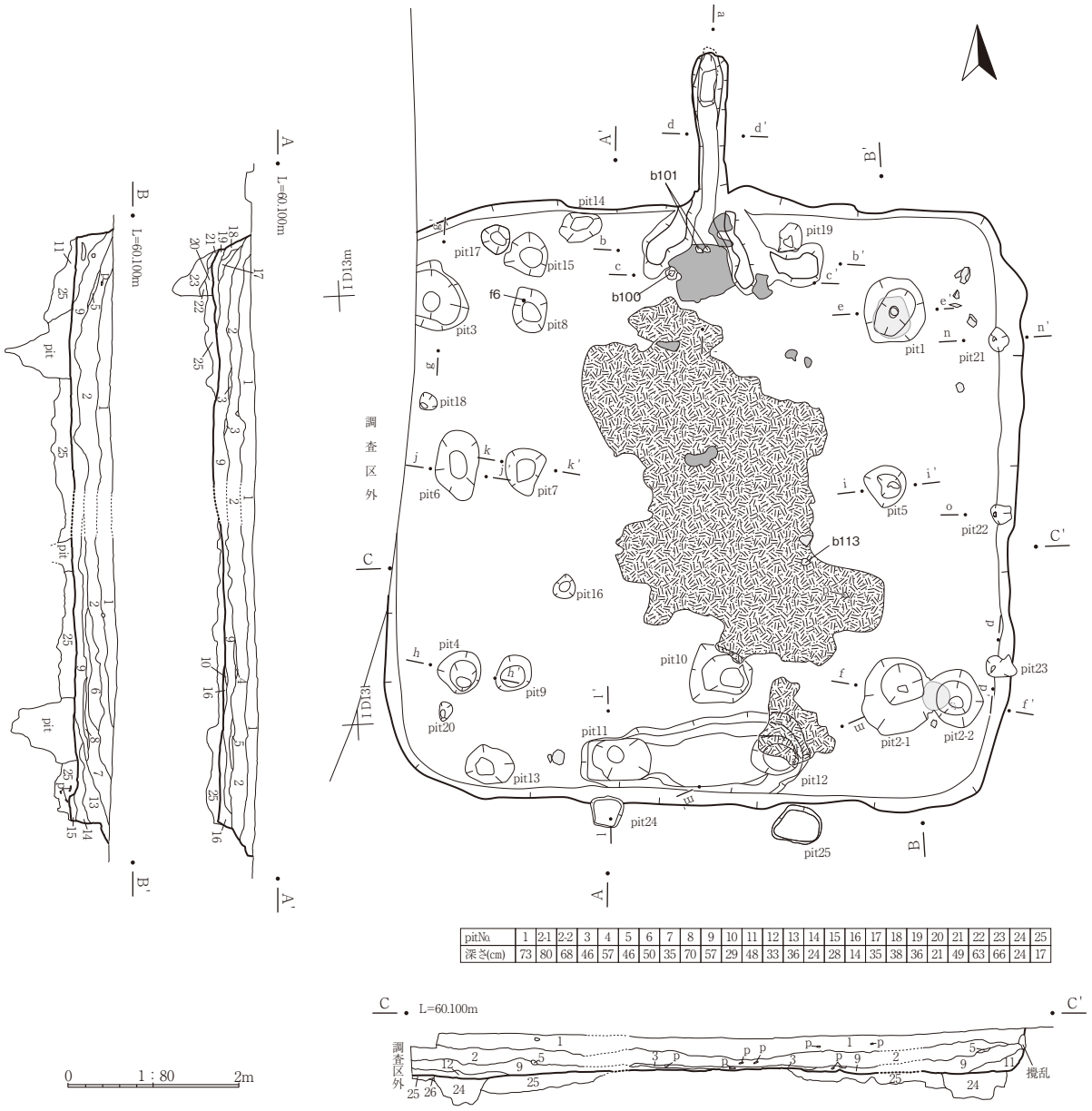
隅に位置するpit７は多量の遺物を包含している。廃絶後に流入した遺物も含まれるようだが、このピットは住居使用時に開口していたものと考えられる。**周溝**　カマド以外に全周する。南側東半では重複が確認され、少なくとも２時期の変遷があったようである。また南側中央は部分的に幅広で、pit６など長楕円形のピットも確認される。出入り口に関係する構造の可能性がある。**井桁状溝群**　床面中央に東・西壁と平行する並列溝群とこれにほぼ直交する同様の溝群を検出した。pit１～４に囲まれた区域に限定され、竪穴外周からは一定の間隔を開ける。同溝群の堆積土は竪穴本体のものと異なり、また貼床とも異なる。よって住居使用時は閉口しており、しかもあえて貼床とは異なる土で埋められていたようである。一部、南北方向の溝が東西のものを切っている状況が確認されたが、この構造物自体に時期差があるか否かは不明である。用途は排水が第一に考えられるが、推定の域を出ない。**遺物出土状況**　カマド内、床面、柱穴底面から出土した他、南西側を中心として遺構外から流入した遺物が多量に確認された。土器79点（b18～96）、土製品７点（d67～69・101・102・104・135）、金属製品４点（f2・3・5・150）、石器１点（e60）を掲載した。またフローテーションの結果、カマド燃焼部直上からモモ、４層からイネ、オニグルミの炭化種実が検出されている。（遺物図版74～77･134･135･146･187　写真図版281･282･234～237）

ＳＩ０８住居跡（第31～33図　写真図版17）

形状　方形基調。西壁の一部は調査区外となる。**床面**　床面は中央付近が硬化する。掘り方土が深くなる壁際は柔らかくなり、中央付近より若干低くなる。**堆積土**　８層上面に焼土を含む炭化物層が広がる。炭化物層は柱材や板材のような木材が炭化した様子は確認できず、細かい炭化物が散在する状態である。焼土の被熱範囲は把握できないが、断面では部分的に被熱していると判断できる箇所もあることから、住居自体が焼失したというよりも廃絶後の窪地で被熱が発生したか、もしくは近接するSX18焼成土坑から廃棄された可能性がある。また範囲の特定はできなかったが、同様の炭化物層が10層にも観察されることから、同様の行為が複数回行われていたようである。８層の上位は焼土粒を含む遺物が８層以下よりも多く混入することから人為堆積と判断される。**カマド**　北壁ほぼ中央に位置する。住居の壁際は全体的に掘り方が深くなるため、カマド部分も深い掘り方の上に21・22層である暗褐色～褐色シルトが敷かれ、カマド専用の貼り土の様相を呈する。その上に芯材を用いず土器片や細礫を混ぜた粘性の弱い褐色シルトによって袖が構築される。東袖は低く外側に張り出す。袖上面と燃焼面の高低差が小さいことから、燃焼部本体は大きく破壊されたものと考えられる。燃焼面はにぶい赤褐色の焼土で強く被熱し硬化している。また焚口付近には骨片が散在する。**柱穴**　カマドの東側に位置するpit１・５・２と西側のpit８・７・９が対になり主柱穴と考えられる。西側には更に壁側にpit３・６・４が並んでおり、柱の建て替えが行われた可能性がある。また東壁には壁柱穴も確認された（pit21・22・23）。西壁は調査区外へと延びるため壁柱穴の有無は不明だが、pit23に対応する位置に柱穴は確認されていない。カマドの対面となる南壁際には、壁に沿って長さ３ｍ弱の楕円形の落ち込みがあり東西両端が深くなっている（pit11・12）。住居外にはこの２つの柱穴に対応するようにpit24・25が並んでおり、構造は不明であるが出入り口施設に関係する可能性が考えられる。**遺物出土状況**　遺物は床面からの出土が少なく、堆積土中に多い。（遺物図版77･134･135･188　写真図版237･238･282）

ＳＩ０９住居跡（第34・35図　写真図版18）

形状　方形基調である。**重複**　住居精査中に北東隅で炭化物と焼土層を検出し、SX27とした。住居

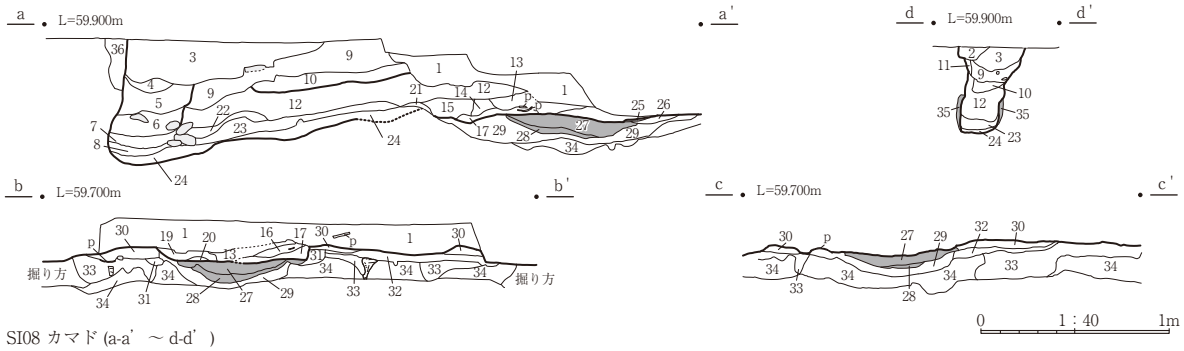


pit№	1	2-1	2-2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
深さ(cm)	73	80	68	46	57	46	50	35	70	57	29	48	33	36	24	28	14	35	38	36	21	49	63	66	24	17

SI08 (A-A’～C-C’)

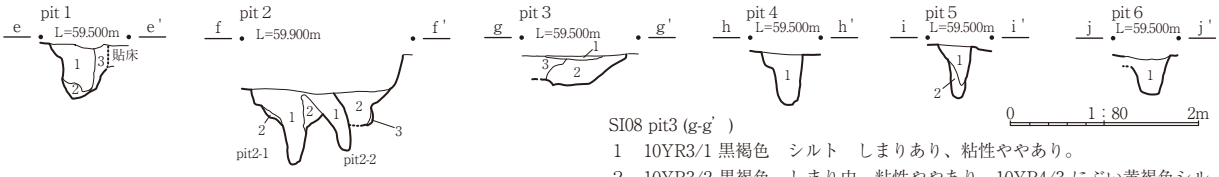
1　2層と似るが、炭・焼土の混入量が微量になる、粒径も小さくなる。遺物も少量ない。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロック(径2～3cm)少量、炭(径～1cm)、焼土ブロック(径～1cm)少量。住居中心部ほど混入量多く遺物も多い。
3　2層の下面に所々層状に入る層 (平面図あり)。炭化物 (材としてはなく炭片)と焼土の塊。被熱土が多く含まれる。
4　3層に似る。
5　10YR4/3 にぶい黄褐色　地山シルトブロック層　しまりややあり、粘性ややなし。10YR2/3 黒褐色シルト(径～5㎜)微量。
6　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロック(径～1cm)少量、炭(径～5㎜)極微量。
7　9層に似るが地山ブロックの混入量多い。
8　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト層　しまり中、粘性なし。
9　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロックやや多く比較的細かく入る。
10　4層に似る。
11　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロックやや多く大きくぼやっと混じる。
12　11層に似るが地山ブロック少量。
13　7層と似る。
14　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロック(径～5㎜)微量。
15　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロックやや多くこなれている。
16　12層に似るが地山ブロック斑状。
17　10YR2/2　黒褐色　しまり・粘性中。地山シルトブロック微量(径～2㎜)、炭極微量(径～5㎜)。
18　10YR2/2 黒褐色　砂質シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト地山の混合土、全体に混じる。
19　17層に似るが炭は含まない。
20　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色地山シルトブロックやや細長く入る(25層と同じ土か？)
21　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土質シルト　地山ブロック層。
22　10YR4/4 褐色　砂質シルト　地山ブロック層。
23　10YR2/3 黒褐色と 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトが斑状に混じる。しまりなし、粘性ややあり。
24　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色粘土の混合土 (7：3) ブロック状にしまりあり、粘性中。炭化物粒(径～5㎜)少量。
25　24層に 10YR4/3　にぶい黄褐色　砂混 (6：3：1)　しまりあり、粘性中。炭化物粒(径～5㎜)少量。
26　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性中。

第31図　SI08住居跡（1）



SI08 カマド (a-a' ～ d-d')

1　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。住居９層相当層に焼土ブロック(径～1cm)少量。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)10%、炭化物粒(径～1cm)5%。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
5　7.5YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)10%、2.5YR2/1赤黒色壁焼土ブロック(径～1cm)10%。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。壁焼土ブロック(硬い・径～1cm)20%、10YR4/3にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)20%。
7　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。壁焼土ブロック(硬い・径～1cm)20%
8　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。壁焼土ブロック(硬い・径～1cm)30%。
9　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。焼土灰極微量(径～1㎜)。
10　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。10YR4/3 にぶい黄褐色　地山シルトブロック多量と7.5YR2/1　黒色被熱土少量が斑状に入る。天井崩落。
11　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。
12　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。住居 10 層相当層に焼土ブロック(径～5㎜)微量。
13　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/3 にぶい黄褐色地山砂大きく斑状にやや多量(径～5cm大)、焼土も少量大きく混じる(径～5cm)。
14　10YR4/3　にぶい黄褐色　しまり・粘性ややなし。地山シルトに焼土ブロック大きく。天井崩落土？
15　10YR2/2 黒褐色シルト、10YR3/2 黒褐色、10YR4/3 にぶい黄褐色　地山シルトが大きく斑状に(径～5cm大)。
16　10YR4/3　にぶい黄褐色　地山砂層　焼土斑状に入る (径～ 1.5 ㎜)。袖・天井崩落。
17　10YR3/2　黒褐色シルト、10YR4/3　にぶい黄褐色　地山シルト・焼土ブロック全体に混じる(径～1cm)。
18　10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色 地山シルト (灰層のようなものか)(地山粘土質)が薄い層上に入る、これに焼土が細かく混じる(径2～3㎜)。
19　7.5YR5/6 明褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。被熱した地山崩落土、焼土斑状(径～1cm)多量。
20　5YR4/4 にぶい赤褐色　シルト　やや粘質　灰層か？
21　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。7.5YR3/3暗褐色被熱土少量量ぽやっと混じる。
22　10YR4/4　褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。5YR3/3　暗赤褐色焼土ブロック(径～3cm)10%。
23　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。炭化物粒(径～1cm)5%。
24　5YR2/2　黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。弱い焼土。上位に炭化物粒10%、煙道壁面崩落土含む。
25　5YR3/6 暗赤褐色　焼土層。
26　10YR4/6 褐色　地山ブロック層　しまりややあり、粘性ややなし。
27　5YR4/4　にぶい赤褐色　焼土　しまりややあり、粘性ややなし。上面硬化。
28　7.5YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。18 層が被熱した層。
29　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。
30　10YR4/6 褐色　シルトしまりややあり、粘性ややなし。砂混じり。
31　10YR4/4　褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。砂混じり。18 層に焼土粒混じる。
32　10YR3/3　暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色土が水平に混じる。
33　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。粘性の地山に黒褐色土少量層。
34　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。地山に似る。
35　2.5YR2/3 極暗赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。煙道壁面焼土。
36　10YR4/6 褐色　しまりあり、粘性ややあり。(煙道貼土か？)



SI08 pit1 (e-e')

1　10YR3/1　黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 シルト(径～5cm)10%、炭(径～5㎜)3%。
2　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややあり。
3　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトの混土 (5：5)　しまり中、粘性ややあり。炭(径～5㎜)3%。掘り方埋土。

SI08 pit2 (f-f')

1　10YR3/3　暗褐色　しまり中、粘性ややあり。10YR3/1　黒褐色シルトブロック、10YR4/4　　褐色シルトブロック(径～3cm)各10%、炭化物粒・焼土粒3%。
2　１層と同じで 10YR4/4 褐色主体、他２種各 10%。
3　10YR5/1　褐灰色　シルト　しまり中、粘性ややあり。グライ化、酸化鉄顕著。

SI08 pit3 (g-g')

1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。
2　10YR3/2 黒褐色　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～2cm)20%。人為堆積。
3　10YR3/2 黒褐色　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～2cm)10%。人為堆積。

SI08 pit4 (h-h')

1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)5%、焼土・炭化物粒(径～5㎜)5%。

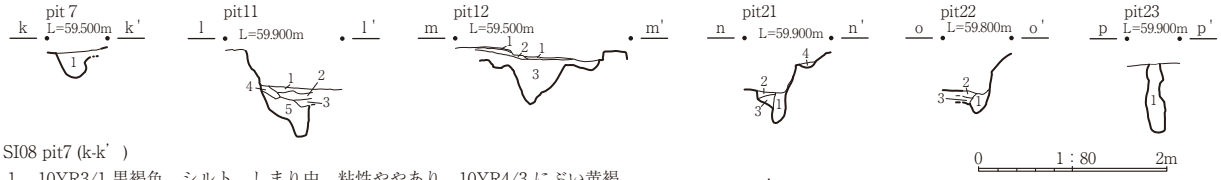
SI08 pit5 (i-i')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭 (径～ 1 cm)7%、10YR4/3シルト(径～1cm)3%、焼土(径～5㎜)1%。
2　19YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

SI08 pit6 (j-j')

1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)5%、焼土・炭化物粒(径～5㎜)5%。

第32図　SI08住居跡（２）



SI08 pit7 (k-k')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)5%、焼土・炭化物粒(径～5mm)5%。

SI08 pit11 (l-l')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1cm)5%。
2　1層と同じでブロック(径～2㎝)10%。
3　10YR4/6 褐色　砂　しまり中、粘性なし。10YR3/2 黒褐色シルトブロック(径～1cm)5%。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック(径～1cm)5%。
5　10YR3/1　黒褐色シルトと 10YR4/3　にぶい黄褐色の混合土(5：5)　しまり中、粘性ややあり。

SI08 pit12 (m-m')
1　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色　砂の混土(5：5)　しまりあり、粘性ややあり。貼床。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトの混土(8：2)　しまりあり、粘性ややあり。貼床。
3　2と同じで(5：5)　しまりなし、粘性ややあり。

SI08 pit21 (n-n')
1　10YR2/1 黒褐色　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1㎝)5%。
2　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土(5：5)。
3　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR2/2 黒褐色シルトの混合土(5：5)。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。

SI08 pit22 (o-o')
1　10YR2/1 黒褐色　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1㎝)5%。
2　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土(5：5)。
3　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR2/2 黒褐色シルトの混合土(5：5)。

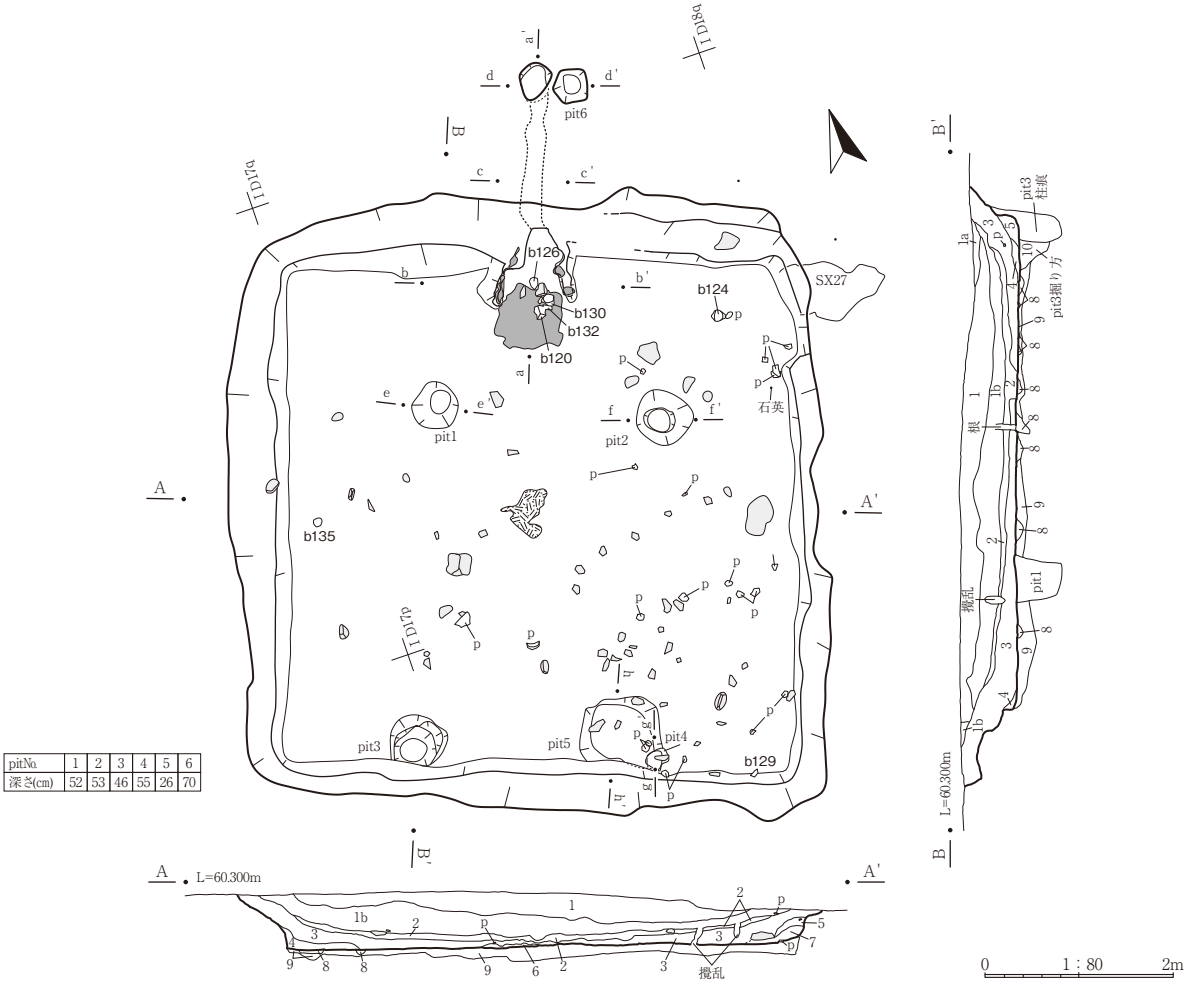
SI08 pit23 (p-p')
1　10YR2/1 黒褐色　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1㎝)5%。

第33図　SI08住居跡（3）

よりも新しく埋没過程で作られた遺構と思われる。**床面・壁**　概ね平坦であり、全体的に硬化が進んでいる。壁は床からほぼ垂直に立ち上がり、上半は開いて外傾する。**堆積土**　上位の砂（洪水堆積層）と下位のシルト層に大別できる。洪水堆積層（砂）の直下はグライ化している。**カマド**　北壁中央に位置する。崩落のため両袖の残存状況はやや不良である。芯材はなく褐色シルトで構築されている。煙道は刳り抜き式である。平面ではプランを確認できなかったが、煙出し孔を東西方向に断ち割ったところ東隣にpit６を確認した。規模は煙出し孔とほぼ同一であるが、埋土の様相は異なり焼土・炭化物を含まない。pit６に伴う煙道もない。断定はできないが、当初煙出し孔として掘り下げたが燃焼部よりやや東へずれていたため、刳り抜く前に西側へと変更した可能性も考えられる。**柱穴**　深さ・配置から北側のpit１・２と南壁際のpit３・４の４基が主柱穴と考えられる。pit４とpit５は別の柱穴と考え精査を進めたが、pit５が浅いことからpit４の掘り方の可能性も考えられる。壁際に小規模な柱穴状のプランをいくつか確認したが、半裁したところどれも浅く、壁柱穴ではないと判断した。**遺物出土状況**　埋土中（２～３層）に礫を多く含む。（遺物図版77･78･134･146　写真図版238･281）

ＳＩ１０住居跡（第36～38図　写真図版19）

検出状況　人力による試掘トレンチが本遺構のカマド付近にあたり住居跡の検出に至った。**形状**　方形基調である。１辺が８m弱ある大型で、北壁中央のカマド両脇が棚状に張り出す。この張り出しを含めた規模は8.7mを測る。**床面・掘り方**　中央付近が高く東・西壁周辺が低い。中央付近は硬化する。同箇所には井桁状溝群が構築されている。北壁側は構築時の掘削（掘り方）が大規模に行われている。総じて壁周辺の床面強度は低い。**堆積土**　上位に洪水堆積の砂層があり２層に分かれる。その直下にはグライ化層が発達することから、一定期間浸水状態にあったと推測される。中～下位は黒褐色シルト層で焼土・炭化物粒を多く含む。人為堆積の可能性がある。**カマド**　北壁中央に設置されている。大型で偏平な円礫を立てて袖芯材としている。残存状態は良好で、焼土が芯材外部までＵ字形に発達



pitNo.	1	2	3	4	5	6
深さ(cm)	52	53	46	55	26	70

SI09 (A-A'・B-B')

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR3/4 暗褐色の砂が混ざる。

1a　1層と同じ。1との境に 10YR3/3 暗褐色の砂の層が1㎝堆積する。砂の層は上が暗め、下が明るめ。炭ブロックや土器・石が流れ込んでいる(一部)。

1b　1a層と同じ。

2　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性なし。7.5YR3/4 暗褐色サビが混ざる。※グライ化した土。

3　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～1㎝)10%、焼土・炭(径～1㎜)2%。

4　10YR2/3　黒褐色　シルト　しまり・粘性中。褐色シルトブロック(径～5㎜)5%。

5　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR2/2 黒褐色シルトブロック・褐色シルトブロック(径～5㎜)3%。

6　3層と同じ。炭化物ブロック(径～5㎜)3%、焼土(径～1㎜)1%。

7　10YR2/3　黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。褐色シルト粒(径～2㎜)3%、焼土(径～1㎜)2%。

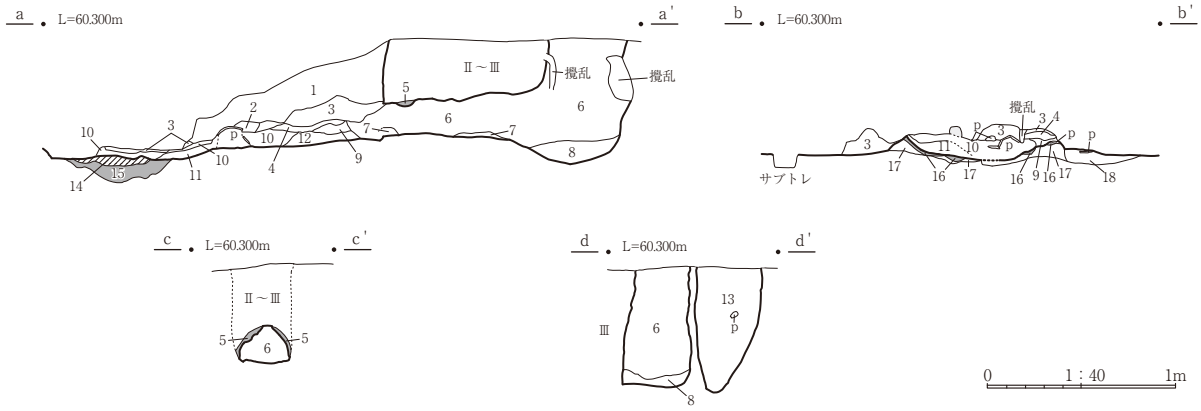
8　10YR4/4 褐色　しまりややあり、粘性中。10YR3/1 黒褐色シルト。炭化物・焼土(径～1㎜)1%。

9　10YR4/3 にぶい黄褐色　しまりあり、粘性中。10YR5/3 にぶい黄褐色シルト粒(径2～5㎜)1～2%。

10　10YR4/4 褐色　粘土質シルト　しまりあり、粘性ややあり。
10YR5/4　にぶい黄褐色粘土質シルトブロック(径～5㎜)1～2%、
10YR3/1　黒褐色シルト少量。(※pit3の掘り方)

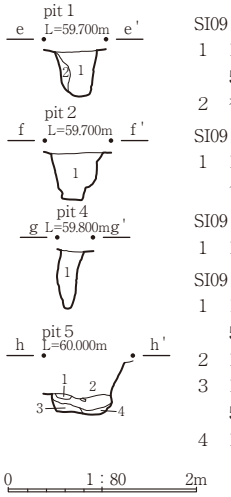
※1～1b層は砂層。上が暗め、下が明るめ。一部に炭ブロックや土器・石が流れ込んでいる。

※2、3、5、7層に焼土(径～1㎜)1～2%、炭化物(径～1㎜)1%。



第34図　SI09住居跡（1）

SI09 カマド煙道 (a-a’ ～ d-d’)
1　住居内堆積土
2　暗褐色　シルト　しまり・粘性中。褐色シルト (径～ 5 ㎜)1％、5YR4/6 赤褐色焼土 (径 2 ～ 5 ㎜)1％、粒 (径 2 ～ 5 ㎜)3％。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色シルトとの混合土。炭化物・焼土粒 (径～ 1 ㎜)1％。5YR2/2　黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1％。上位一部に 7.5YR3/3　焼土を含む。天井崩落土。
4　5YR3/4 暗赤褐色　焼土。褐色シルト粒 (径～ 5 ㎜) と 5YR4/6 赤褐色の焼土粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2％。5YR2/2 黒褐色シルトを少量。
5　5YR3/2 暗赤褐色　焼土。カマド壁の被熱層。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト粒 (径 2 ～ 5 ㎜)5 ～ 7％、炭化物 (径 2 ～ 5 ㎜)1％、5YR3/2 暗赤褐色　焼土 (径 2 ～ 5 ㎜)2 ～ 3％、10YR5/2 灰黄褐色シルト粒 (径 2 ～ 5 ㎜)5 ～ 7％。10YR2/1 黒色シルトブロック (径～ 5 ㎜)2 ～ 3％。
7　５層崩落層。
8　10YR3/4 暗褐色　シルト、焼土、10YR4/4 褐色シルトブロック (径 2 ～ 5 ㎜) が混ざる。
9　天井崩落土。
10　暗褐色シルトに炭化物ブロック (径 1 ～ 5 ㎜)2 ～ 3％、5YR4/8　赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)2 ～ 3％、5YR5/8　明赤褐色焼土粒 (径～ 2 ㎜) 2％。一部 5YR3/4 暗赤褐色　焼土がまざる。
11　5YR4/8　赤褐色焼土と暗褐色シルトとの混合土。炭化物ブロック (径～ 2 ㎜)1％、10YR5/6 黄褐色焼土ブロックと 10YR 4/8 赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)5 ～ 7％。
12　暗褐色シルト　しまり・粘性中。褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1％、5YR5/8 明赤褐色焼土粒 (径～ 2 ㎜)2 ～ 3％。
13　10YR3/4 暗褐色　しまり・粘性ややなし。10YR2/1 黒色ブロック (径～ 5 ㎜)1 ～ 2％。
14　7.5YR5/6 明褐色　焼土。硬化顕著。
15　5YR3/6 暗赤褐色　焼土　しまりなし、粘性ややなし。
16　5YR4/6 赤褐色　焼土。
17　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性中。袖。
18　10YR2/2　黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。10YR4/6　褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2％。



SI09 pit1 (e-e’)
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまりややなし、粘性あり。褐色シルトブロック (径 5 ～ 10 ㎜)3 ～ 5％、炭化物 (径～ 5 ㎜)1％。
2　褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性あり。１層のにぶい黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)3％。

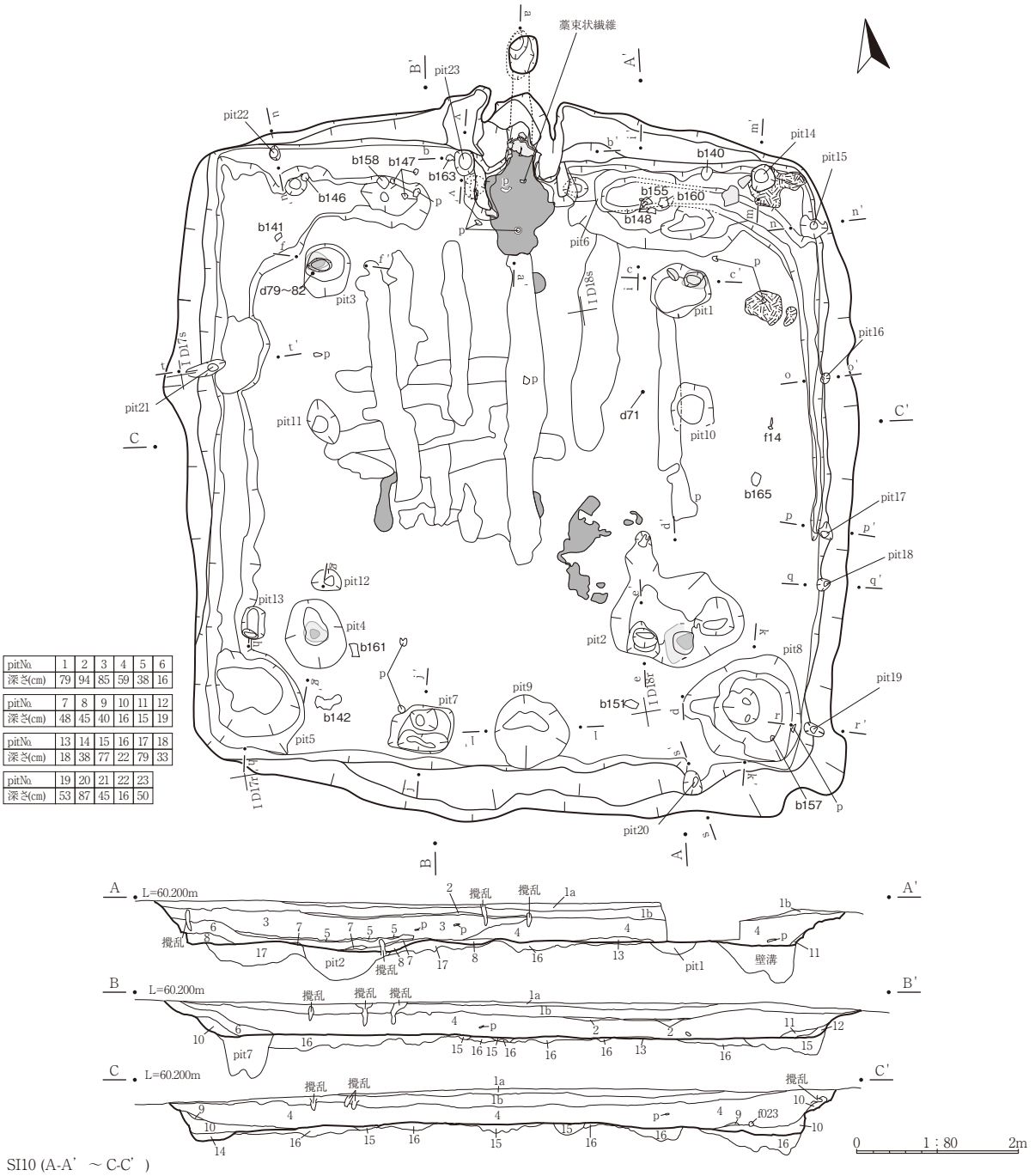
SI09 pit2 (f-f’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。10YR4/4 褐色粘土質シルトブロック (径～ 1 ㎝)5 ～ 7％。10YR5/1 褐灰色粘土質シルトブロック (径～ 5 ㎜)、7.5YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)、炭化物 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2％。

SI09 pit4 (g-g’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)5 ～ 7％、炭化物 (径～ 1 ㎜)1％。

SI09 pit5 (h-h’)
1　10YR5/2灰黄褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR6/4にぶい黄橙色シルト粒 (径～ 1 ㎜)3 ～ 5％、炭化物ブロック (径～ 2 ㎜)1％、5YR4/8 赤褐色サビ 2％。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色シルト粒 (径～ 5 ㎜)3 ～ 5％、焼土・炭化物 (径～ 1 ㎜)1％。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎝)3 ～ 5％、焼土 (径～ 1 ㎜)1％、炭化物 (径～ 5 ㎜)1％。
4　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。焼土 (径～ 1 ㎜)1％、炭化物 (径～ 5 ㎜)1％。

第35図　SI09住居跡（２）

した状況も確認される。煙道は刳り抜き式で、底部は煙出し孔に向かって下降し、煙出し孔部分は柱穴状に掘り込まれる。燃焼部は強く被熱しており、中央部に硬化還元面が生じている。煙出し孔のみ砂や砂質シルトで満たされており、特異な状況を示す。洪水砂の自然流入とは考えにくく、人為的な埋め戻しの可能性が高い。**柱穴・ピット**　主柱穴はpit１～４の４基である。いずれも柱痕が確認され、pit３の底面柱痕の形状から柱脚は長方形もしくは楕円形を呈していたと考えられる。pit１・２間、pit３・４間には補助柱穴pit10・11がある。壁際にはpit14～23の壁柱穴を検出した。南東・南西壁にはそれぞれ直径1.2m程度のpit８･pit５があり、少なくともpit５は住居使用時に開口していたと考えられる。カマド両袖下からも柱穴状ピットが検出されている点から、本住居跡の上屋構造は建て替えられている可能性がある。**周溝**　南壁際及び東壁際南半を除き幅の広い周溝が巡る。本来は１周していた可能性もある。なお西壁際では掘り方との区別が極めて困難であった。**井桁状溝群**　床面中央に東・西壁と平行する並列溝群とこれにほぼ直交する同様の溝群を検出した。平面図には上端輪郭を図示した。分布は主柱穴のpit１～４に囲まれた区域に限定され、竪穴外周からは一定の間隔を開ける。同溝群の堆積土は竪穴本体を覆うものと異なり、また床下の掘り方堆積土とも異なる。よって住居使用時は閉口しており、しかもあえて床とは異なる土で埋め戻していたようである。なお南北方向の溝が東西の溝を切る状況が確認されたが、この構造物自体に時期差があるか否かは不明である。**焼土**　床面中央付近と



pitNo.	1	2	3	4	5	6
深さ(cm)	79	94	85	59	38	16

pitNo.	7	8	9	10	11	12
深さ(cm)	48	45	40	16	15	19

pitNo.	13	14	15	16	17	18
深さ(cm)	18	38	77	22	79	33

pitNo.	19	20	21	22	23
深さ(cm)	53	87	45	16	50

SI10 (A-A’～C-C’)

1 a 10YR3/3 暗褐色砂と 10YR3/2 黒褐色砂の互層　しまりあり、粘性なし。洪水層上位。

1 b 10YR3/3 暗褐色　砂　しまりあり、粘性なし。洪水層下位。

2　10YR3.5/1 黒褐色～褐灰色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。グライ化。

3　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～2㎝)7%、焼土・炭化物粒 (径～5㎜) 各30%。

4　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～2㎝)3%、焼土・炭化物粒 (径～5㎜) 各30%。

5　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりなし、粘性なし。

6　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～2㎝)5%、炭化物粒 (径～1㎝)2%、焼土粒 (径～5㎜)1%。

7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

8　10YR2/1 黒色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～2㎝)7%、炭化物粒 (径～5㎜)5%。10YR4/1 褐灰色　一部グライ化。

9　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

10　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～1㎝)5%。

11　10YR2/1 黒色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR5/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～2㎝)10%、焼土・炭化物粒 (径～5㎜)3%。

12　10YR2/1 黒色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR5/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～2㎝)12%。

13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

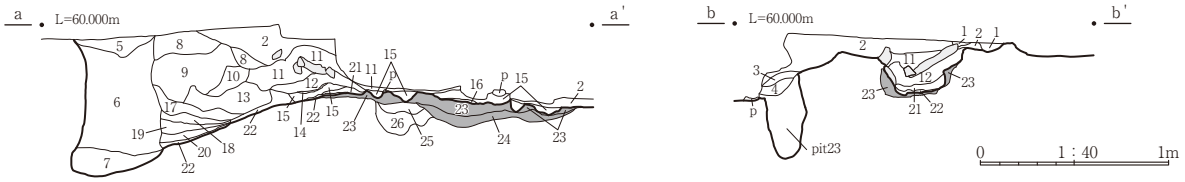
14　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～2㎝)30%。

15　10YR3/2 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/2 灰黄褐色シルト 10%。床溝埋土。

16　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR3/1～2 黒褐色シルトブロック (径～2㎝)10%。掘り方土。

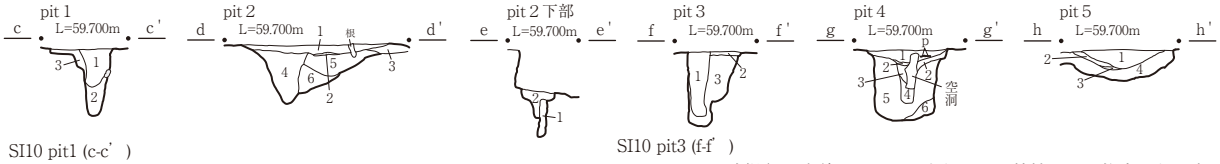
17　16 層と同じで、ブロック (径～10㎝)50%。(混合土)。掘り方土。

第36図　SI10住居跡（1）



SI10 カマド (a-a' ～ b-b')

1　10YR3/1 黒褐色　シルト
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%、焼土・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 3%。
3　10YR4/4 褐色　シルトと 10YR3/3 暗褐色シルトの混合土 (5 ： 5) しまり中、粘性ややあり。
4　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 cm)5%。
5　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 3 cm)10%。
6　10YR3/3 暗褐色　砂　しまりなし、粘性なし。
7　20 層と同じ。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　しまりあり、粘性なし。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 cm)40%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。
9　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
10　5YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。天井焼土崩落土、一部硬化。
11　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 1 cm)10%。
12　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。焼土粒 (径～ 5 ㎜)5%。
13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10 層ブロック (径～ 2 cm)10%。
14　10YR3/2 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。炭化物 20%。
15　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。2.5YR4/8 赤褐色焼土ブロック (径～ 1 cm)5%。
16　2.5YR5/4 にぶい赤褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。破砕礫 (径～ 1 cm)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5%。
17　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 1 cm)10%。
18　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。地山崩落土。
19　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。5YR3/2 暗赤褐色焼土・炭化物粒 (径～ 1 cm) 各 20%。
20　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 1 cm)20%。
21　5YR3/2 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性なし。焼土崩落層。
22　5YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。焼土起源。
23　2.5YR4/8 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。
24　5YR3/4 暗赤褐色　砂　しまり・粘性なし。焼土 (弱い)。
25　7.5YR3/1 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。焼土・炭化物各 20%。
26　10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。焼土・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 5%。掘り方土。



SI10 pit1 (c-c')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。柱当たり。
2　10YR3/4 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 1 cm)5%。
3　1 層と 2 層の混合土 (5：5)　しまり中、粘性ややあり。

SI10 pit2 (d-d')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)7%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
2　10YR4/4 褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
3　10YR3/1 黒褐色と 10YR4/4 褐色シルトの混合土 (5：5)　しまりあり、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
4　10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトの混合土 (6：4)　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 1 cm)5%。人為堆積。
5　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。アミ状にグライ化。
6　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5%。

SI10 pit2 下部 (e-e')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性あり。柱痕、空隙有り。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 2 cm)40%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。

SI10 pit3 (f-f')

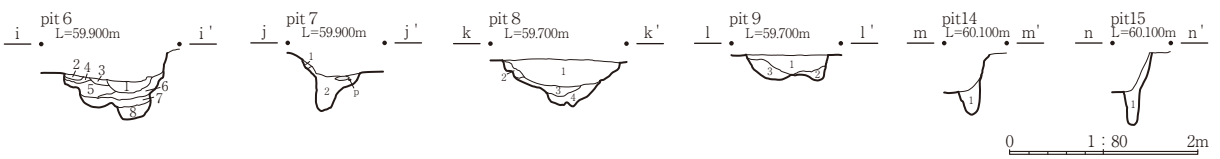
1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性なし。柱当たり、空洞有り。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 cm)5%。住居床土。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 30%。掘り方埋土。

SI10 pit4 (g-g')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR2/1 黒色シルトブロック (径～ 1 ㎜)5%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　10YR3/2 黒褐色シルトの混合土 (5：5)。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR3/4 暗褐色シルトブロック (径～ 1 cm)10%。柱痕。
4　10YR3/2 黒褐色　しまりなし、粘性ややあり。柱痕。
5　10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/4 褐色シルトの混合土 (7：3)　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。
6　5 層と同じで 9：1。

SI10 pit5 (h-h')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 1 cm)7%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 1 cm)7%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト・砂ブロック (径～ 3 cm)40%、焼土・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 1%。



第37図　SI10住居跡（2）

SI10 pit6 (i-i’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%、炭 (径～ 5 ㎜)1%。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。掘り方土。
3　10YR3/2 黒褐色　シルトしまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。一部グライ化、掘り方土。
4　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。
5　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト・砂ブロック (径～ 5 ㎝)30%。
6　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
7　1 層と同じ
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)10%。

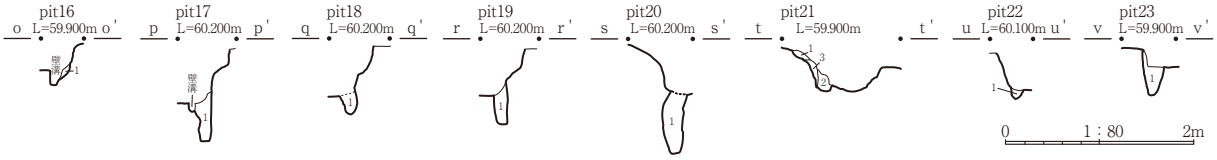
SI10 pit7 (j-j’)
1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 3 ㎝)5%、炭化物粒 (径～ 2 ㎝)5%。

SI10 pit8 (k-k’)
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)20%。
2　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 3%。
3　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 3%。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。10YR4/3 にぶい黄褐色　砂 (径～ 2 ㎜)20%、焼土粒 (径～ 5 ㎜)1%。

SI10 pit9 (l-l’)
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)20%、焼土・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 5%。
2　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 3%。
3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性あり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 (径～ 2 ㎜)20%、焼土粒 (径～ 5 ㎜)1%。

SI10 pit14 (m-m’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。一部空洞。

SI10 pit15 (n-n’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。一部空洞。



SI10 pit16 (o-o’)
1　10YR3/1 黒褐色シルトと 10YR5/4 にぶい黄褐色シルトの混合土 (5：5) しまりあり、粘性やああり。掘り方埋土？。

SI10 pit17 (p-p’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。

SI10 pit18 (q-q)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中､粘性ややあり。10YR4/3 シルト (径～ 1 ㎝)5%、炭 (径～ 1 ㎝)3%、焼土 (径～ 5 ㎜)1%。

SI10 pit19 (r-r’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。一部空洞。

SI10 pit20 (s-s’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中､粘性ややあり。10YR4/3 シルト (径～ 1 ㎝)5%、炭 (径～ 1 ㎝)3%、焼土 (径～ 5 ㎜)1%。

SI10 pit21 (t-t’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～2 ㎜)1%。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/2 灰黄褐色砂ブロック (径～ 3 ㎝)10%。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色　砂 40%。

SI10 pit22 (u-u’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)5%。

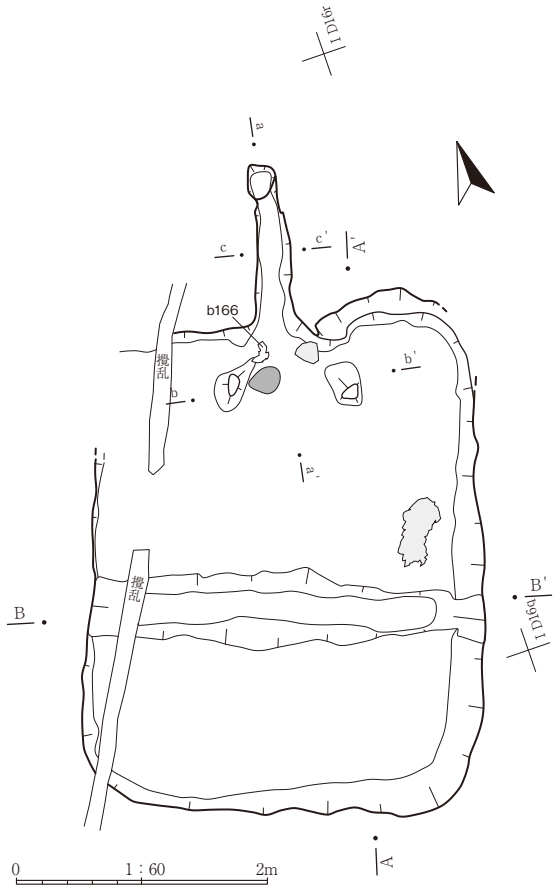
SI10 pit23 (v-v’)
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。焼土・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 1%。柱痕、空隙有り。

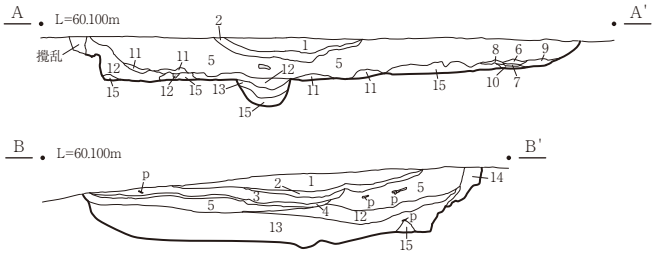
第38図　SI10住居跡（３）

北半で焼土を検出した。何らかの作業痕跡と考えられる。井桁状溝群と重複する部分では溝に焼土が切られることから、本住居跡は構造的に変遷があったものと推定される。**遺物出土状況**　古代土器30点（b136～165）、土製品10点（d71・79～87）、金属製品４点（f13～ f16）を掲載した。カマド東側床面からロクロ不使用の土師器坏（b140）が出土しており、当住居使用年代の上限推定資料となる。この他は土製玉類の出土が特筆され､床面北東部から勾玉（d71）が､pit ３掘り方埋土上位などから丸玉（d79～ d82）が出土している。また、埋土中からモモ、住居掘り方内からオニグルミの炭化種実が検出されている。（遺物図版3･78･79･134･187　写真図版182･238･239･281）

ＳＩ１１住居跡（第39図　写真図版20）

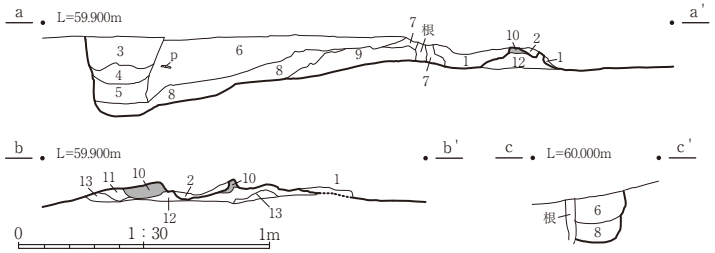
形状　東壁４ｍ、南壁３ｍと小型で隅丸長方形を呈する。**床面・掘り方**　硬化している箇所はない。東西方向の溝状掘削痕を床面で検出した。人為的に埋め戻されている。この溝の性格は不明である。この他に掘り方は確認されない。**堆積土**　暗褐色シルト層主体で一部グライ化している。南側下位に





SI11（A-A'・B-B'）

1　10YR3/2　暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。酸化鉄粒(径～5㎜)3%。
2　10YR3/2 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。酸化鉄粒帯状に沈着。一部グライ化。
3　10YR3/2　暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒(径～5㎜)3%。
4　10YR3/2 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。5YR2/1 黒褐色シルトと焼土ブロック(径～1㎝)が中央に堆積、炭化物粒(径～1㎝)7%。
5　10YR3/2 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～5㎜)5%、炭化物粒(径～5㎜)1%。
6　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR5/4 にぶい黄褐色シルトブロック(径～1㎝)10%、炭化物粒・焼土粒(径～2㎜)3%。カマド構築土？一部グライ化。
7　10YR2/1 黒色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。
8　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。5YR5/8 明赤褐色焼土粒(径～1㎝)20%。カマド構築土？
9　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～1㎝)10%。カマド構築土？
10　6層と同じ(非グライ化)。
11　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。10YR3/1 黒褐色シルトブロック(径～1㎝)20%。



12　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～1㎝)10%。人為堆積。
13　12層と同じで、10YR4/4 褐色シルトブロック(径～5㎝)40%。人為堆積。
14　12層と同じ。
15　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色シルトブロック(径～1㎝)7%。

SI11 カマド(a-a'～c-c')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～2㎝)20%。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～2㎝)20%、炭化物(径～1㎝)10%。
3　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒(径～5㎜)1%。
4　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック(径～2㎝)10%。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色シルトブロック(径～1㎝)10%。
6　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック(径～3㎝)10%。
7　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。2.5YR3/3 暗赤褐色焼土ブロック(径～2㎝)5%。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。2.5YR3/3 暗赤褐色焼土ブロック(径～1㎝)、炭化物粒(径～1㎝)各5%。
9　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。2.5YR3/3 暗赤褐色焼土が全体的に混入 40%、炭化物粒(径～1㎝)5%。
10　2.5YR3/2 暗赤褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック(径～5㎝)5%。
11　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
12　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック(径～2㎝)20%。
13　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。地山？

第39図　SI11住居跡

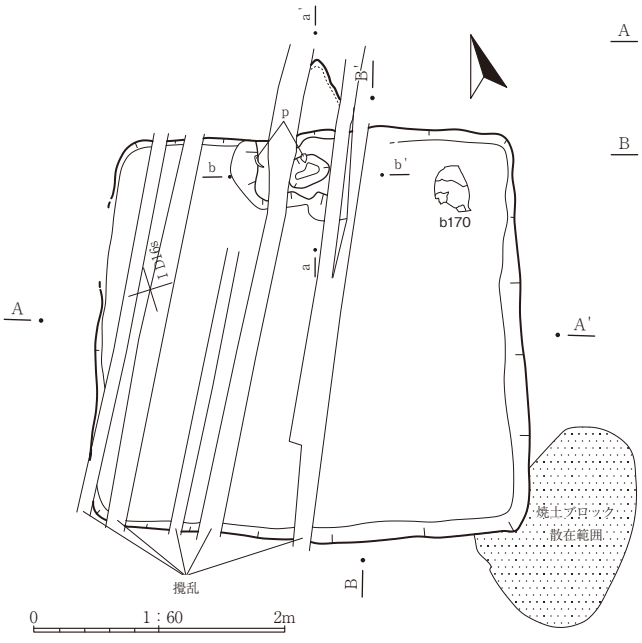
は人為堆積層が存在する。**カマド**　残存状況は悪く袖、燃焼部とも断片的に残るのみであり、焼土ブロックが散在する状況から人為的に破壊された可能性が高い。煙道底部は先端に向かって下降し、煙出し孔部分は柱穴状に掘り込まれる。**柱穴・周溝**　なし。**遺物出土状況**　カマド底面から出土したb166ほか、古代土器４点を掲載した（b166～ b169）。（遺物図版79　写真図版239）

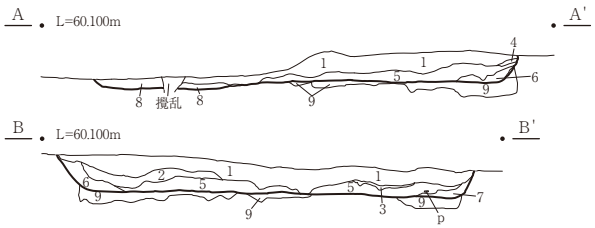
ＳＩ１２住居跡（第40図　写真図版21）

形状　方形基調である。**床面・掘り方**　硬化している箇所はない。壁周辺を中心に掘り方・貼床が確認される。**堆積土**　黒褐色シルト主体の自然堆積である。**カマド**　残存状態が悪く、形態、構築方法、構築材いずれも不明である。焼土ブロックの散在状況から人為的に破壊された可能性が高い。**柱穴・ピット・周溝**　なし。**遺物出土状況**　北半部の堆積土中からロクロ不使用の長胴甕（b170）が押しつぶされた状態で出土した。（遺物図版79　写真図版239）

ＳＩ１３住居跡（第41～43図　写真図版22）

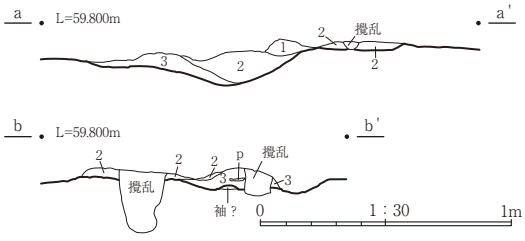
検出状況　Ⅱ層上面で、中央部に黄褐色砂層、その周りに暗褐色シルト層の輪郭を伴う方形のプランを検出した。**形状**　方形基調である。北西コーナーは丸みを帯びる。**床面・壁**　床面は概ね平坦で中心部がより硬く締まる。掘り方は壁際80cm程の範囲で、より深く一周し中央が高くなる。また壁際は床面を貼り換えており、19層上面がカマド②または③時期の床面、18層上面がカマド①の時期と推





SI12 (A-A'・B-B')

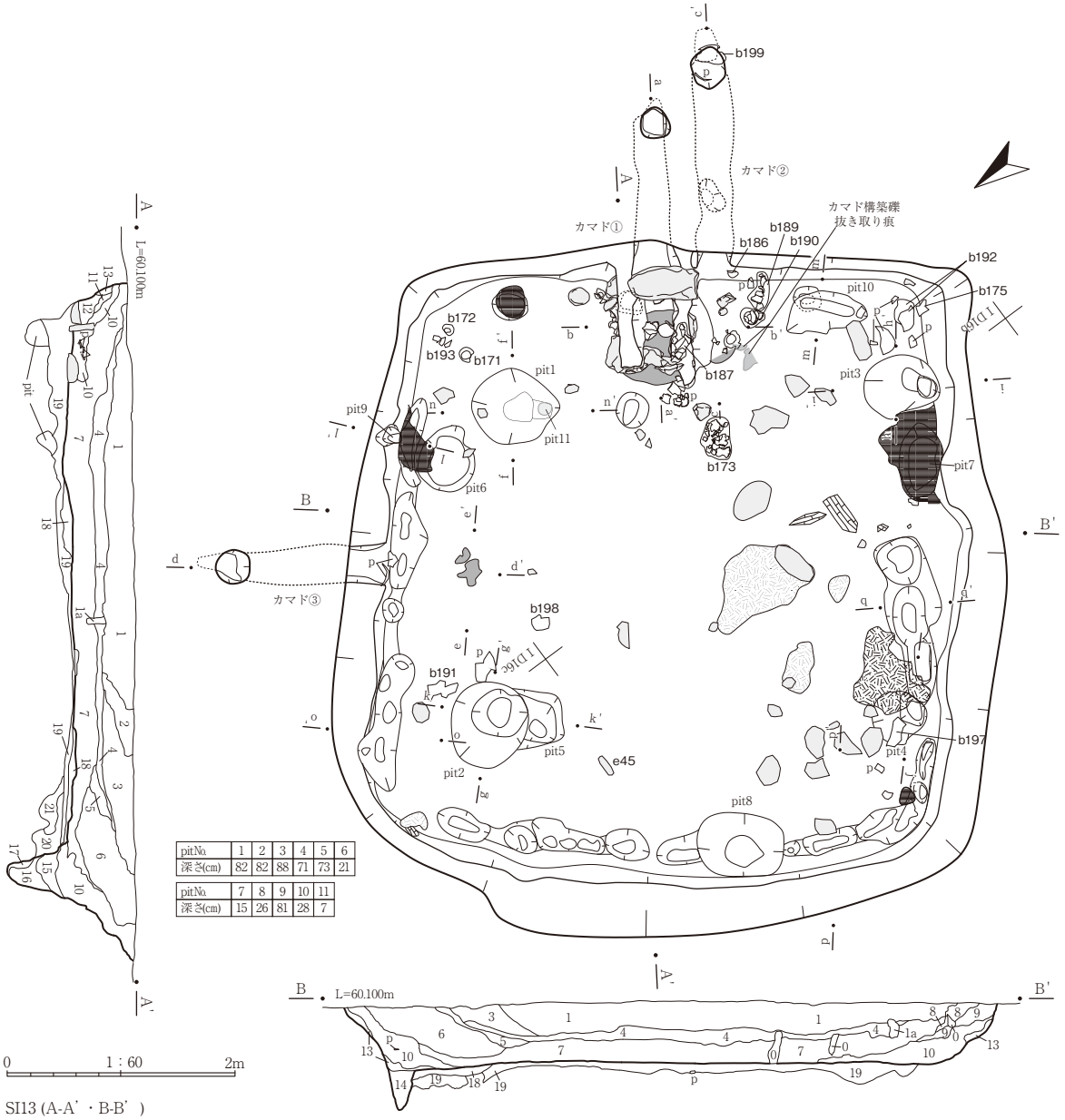
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～1㎝)5%、炭化物粒 (径～5㎜) 1%。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎝)20%。
3　10YR3/1 黒褐色　シルトしまり中、粘性ややあり。5YR5/8 明赤褐色焼土・炭化物粒 20%。
4　10YR3/1 黒褐色　シルトしまり中、粘性ややあり。
5　10YR3/1 黒褐色　シルトしまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～1㎝)1%、炭化物粒 (径～5㎜)1%。
6　10YR2/1 黒色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～ 3 ㎝)5%。
8　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
9　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR3/1 黒褐色シルトの混合土 (ブロック・6：4)　しまりあり、粘性ややあり。掘り方。



SI12 カマド (a-a'～b-b')

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性中。2.5YR4/4 にぶい赤褐色・5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎝)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%、10YR4/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)10%。カマド構築土の残骸。
3　２層と同じで焼土ブロック (径～２㎝)5%。

第40図　SI12住居跡



SI13 (A-A'・B-B')

0　攪乱。

1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。暗褐色粘土と黄褐色粘土が混ざる。撹拌ブロック (人為的にも見える) と粗砂が混じる。丸い少礫 (径 1 ～ 2 ㎝) 極少量。

1a 10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。1 層より砂が多い。

2　2.5YR5/4 にぶい赤褐色　粗砂 (径 0.5 ～ 1 ㎜)　しまりややなし、粘性なし。分級の悪い砂。非常に乾きやすい。埋土西部にのみ堆積。

3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。1 層の撹拌ブロックと 2 層に類似する砂が部分的にラミナ堆積する。4 層付近ではラミナ堆積が消滅する。

4　10YR4/4 褐色　中砂 (径 0.25 ～ 0.5 ㎜)　しまりややなし、粘性なし。分級の良い砂。7 層と比べると少々粗い。

5　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。1 層の撹拌ブロック少量。炭化材が極少量散在。

6　10YR4/2 灰黄褐色　細砂～中砂　しまり・粘性ややなし。黒褐色土と灰黄褐色砂のラミナ層。埋土北～西部にのみ堆積。砂の中にキラキラしている砂。

7　10YR4/2 灰黄褐色　砂 (径 0.125 ～ 0.25 ㎜)　しまりややなし、粘性なし。分級の良い砂。4 層と比べると細い。

8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量。

9　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材・焼土粒極少量散在。黄褐色土ブロック少量。

10　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量。炭化材極少量散在。砂混じり。住居廃絶後に堆積し、壁溝に入っている。

11　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。

12　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量。下位に焼土粒極少量散在。(1 号カマドの袖構築土)

13　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色土砂混じり。

14　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂質土ブロック少量、焼土粒少量。周溝。

15　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂質土多量。

16　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土中量。

17　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土少量。(旧床掘り方)

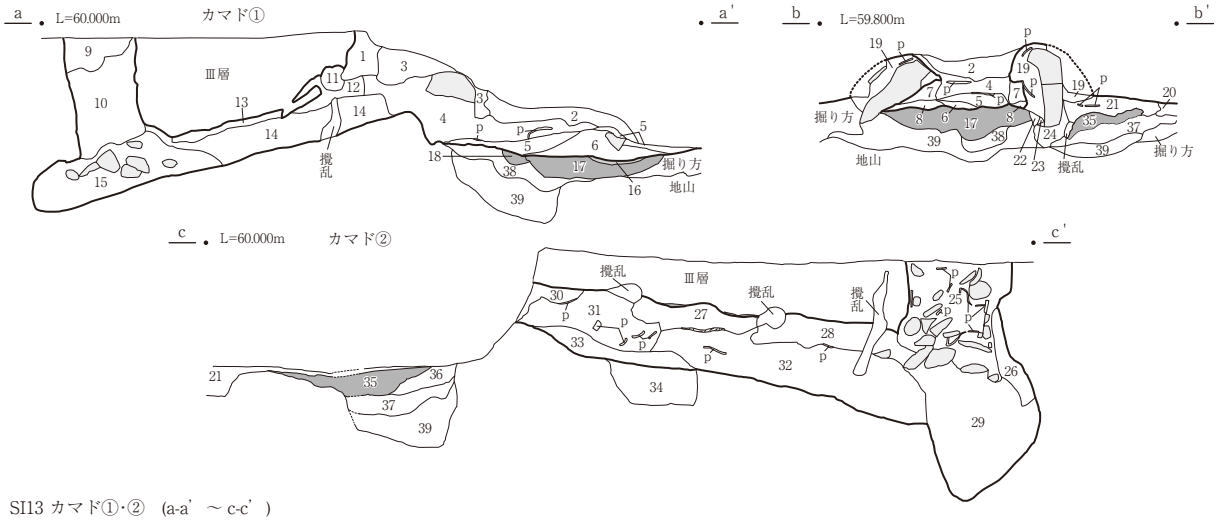
18　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。黄褐色土ブロック中量。炭化材極少量散在。(新床掘り方)

19　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量。炭化材極少量散在。(旧床掘り方)

20　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量。ブロックの大きさが大きくなる。(旧床掘り方)

21　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。(旧床掘り方)

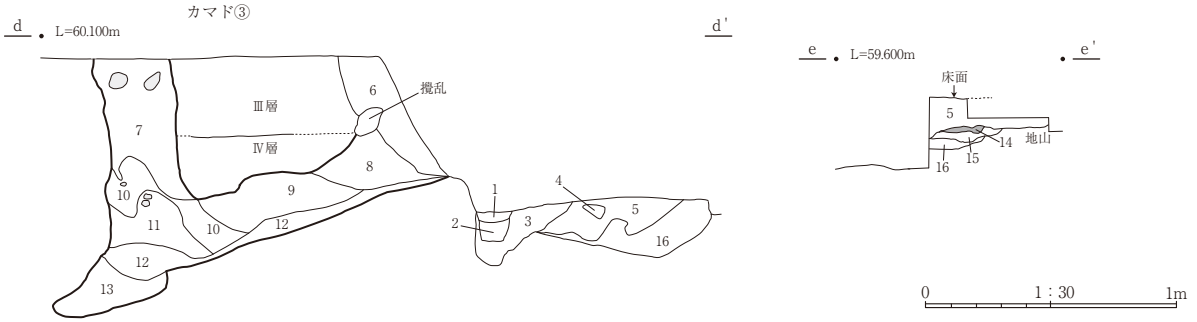
第41図　SI13住居跡（1）



SI13 カマド①・② (a-a' ～ c-c')

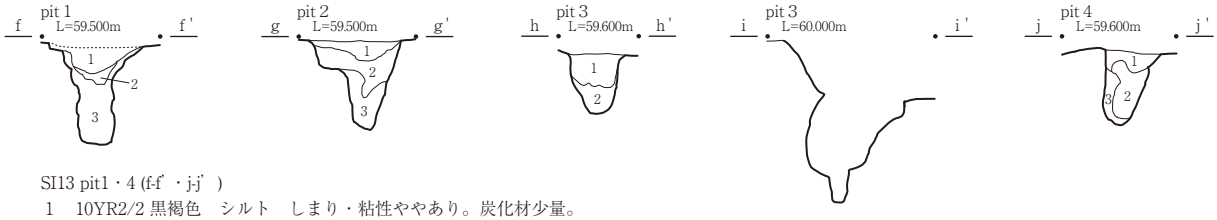
1　住居埋土１層。
2　住居埋土７層
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭化材極少量散在。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭化材・焼土粒少量散在。(カマド天井構築土が崩れた土)
5　5YR3/6 暗赤褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。焼土粒中量含む。
6　7.5YR4/4 褐色　シルト　しまり･粘性ややあり。硬い焼土粒少量含む。
7　19 層 (構築土) に砂多く含む。よりしまりなし。(袖崩落土)
8　19 層 (構築土) に骨多く含む。よりしまりなし。(袖崩落土)
9　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。砂混じり。
10　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量含む。
11　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色土ブロック中量含む。
12　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。
13　10YR4/4 褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。地山層が崩落したか。
14　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性ややなし。炭化材極少量散在。砂混じり。
15　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややあり。径５～ 15 cm礫多量含む。
16　5YR5/8 明赤褐色　焼土　しまりあり、粘性ややなし。燃焼面。(被熱により硬い)
17　5YR4/8 赤褐色　焼土　　しまり・粘性ややあり。
18　5YR4/4 にぶい赤褐色　焼土　　しまり・粘性ややあり。
19　10YR3/4 暗褐色　シルト　しあまりあり、粘性ややあり。焼土粒少量含む。表面締まる。(袖構築土)
20　10YR4/6 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。焼土粒少量含む。黄褐色土ブロック中量含む。(石抜き取り痕か)
21　7.5YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。焼土粒中量、炭化材含む。砂混じり。表面非常に硬い。(上面床面)
22　7.5YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。径１～２cm焼土粒中量含む。
23　7.5YR4/6 褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。径 1 ～ 2 cm 焼土粒中量含む。
24　7.5YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。焼土粒少量含む。炭化材極少量散在。
25　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。径　10 ～ 25 cm礫多量含む。瓶の上半部出土。
26　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂質土中量含む。崩落土。
27　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材少量含む。焼土粒・ブロック少量含む。砂混じり。
28　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭化材少量含む。砂混じり。
29　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。炭化材中量含む。フカフカする。
30　10YR4/6 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。径　0.5　mm砂多量含む。炭化材極少量含む。
31　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。焼土粒、炭化材少量含む。
32　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。炭化材中量含む。焼土ブロック中量含む。
33　10YR4/6 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。地山に似る。
34　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし粘性ややあり.32 層に似る。
35　5YR4/8 赤褐色　焼土　　しまりややあり、粘性ややなし。(現地性。燃焼面は削られているか) 下部は砂質土混じりになる。炭化材極少量含む。
36　7.5YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。1 層より細かな焼土粒含む。砂混じり。
37　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂中量含む。
38　7.5YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややあり。上面が赤変気味。砂混じり。
39　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。黄褐色粘土に黒色砂質土が混じる。(旧周溝か)

※22、23 層に含まれる焼土ブロックは他のカマドでは見られない。カマド②からカマド①へ作り替え時に混入か？　煙道上部は被熱による赤変が著しいが、下部はそれほどでもない。また、11 層付近では上部が崩落し埋まったような状態。



第42図　SI13住居跡（２）

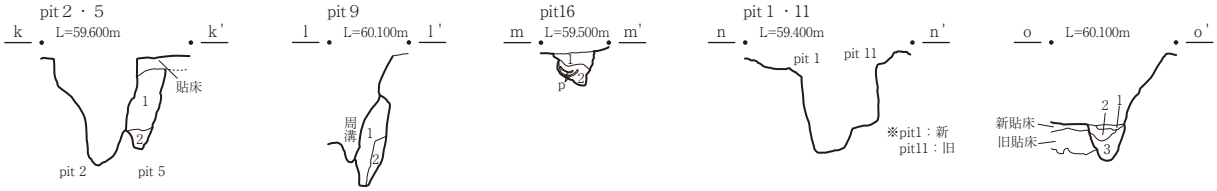
SI13 カマド③(d-d’・e-e’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材極少量散在。砂混じり。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂多量。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂質土ブロック少量。
4　10YR4/6 褐色　粘土　しまりややあり、粘性あり。焼土粒少量。
5　10YR3/4 暗褐色　乱されたような砂質土　しまり・粘性ややあり。硬い粒土粒少量、5YR3/4 暗赤褐色焼土大きく混じる。炭化材極少量。
6　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂少量。
7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材 (径～ 2 ㎝大) 少量。上部に大礫 (径 10 ～ 20 ㎝)。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂中量。
9　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。炭化材少量散在。
10　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色砂中量、約 5 ㎝礫。
11　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色砂中量、約 5 ㎝礫少量。炭化材少量散在。
12　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。被熱による赤変気味のスス多量。
13　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。被熱による赤変気味のスス多量、焼土ブロック少量。
14　5YR3/6 暗赤褐色　シルト　しまりややなし、粘性あり。部分的に表面がしまる。
15　7.5YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。焼土ブロック少量、砂混じり。
16　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性なし。径～ 1 ㎜の砂。分級悪い。床掘り方土や地山には無い砂。(B 区Ⅴ層に似る)



SI13 pit1・4 (f-f’・j-j’)
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材少量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。灰褐色土ブロック少量。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。灰褐色土ブロック中量。

SI13 pit2 (g-g’)
1　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性なし。住居の埋土 7 層に似るが、よくしまる。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂少量。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂中量。

SI13 pit 3 (h-h’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土中量。貼り床に似る。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂質土多量。

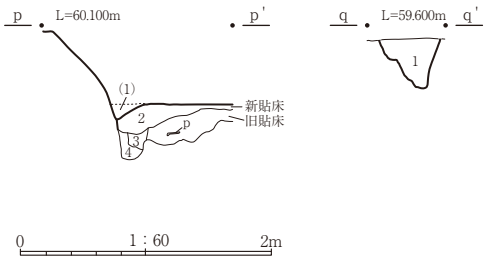


SI13 pit2・5 (k-k’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土中量、床掘り方土に似る。
2　10YR3/2 黒褐色　しまり・粘性ややなし。黄褐色砂質土多量。

SI13 pit9 (l-l’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。

SI13 pit16 (m-m’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材極少量散在。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。炭化材・焼土粒少量散在。

SI13 周溝 (o-o’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材極少量微在。砂礫混じり。(住居埋土 10 層に似る)
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂質土多量。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土中量、約 5 ㎝大の粘土ブロック。



SI13 周溝 (p-p’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材極少量微在。砂礫混じり。(住居埋土 10 層に似る)
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。黄褐色砂質土多量。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土中量、約 5 ㎝大の粘土ブロック。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土少量。(崩落土？)

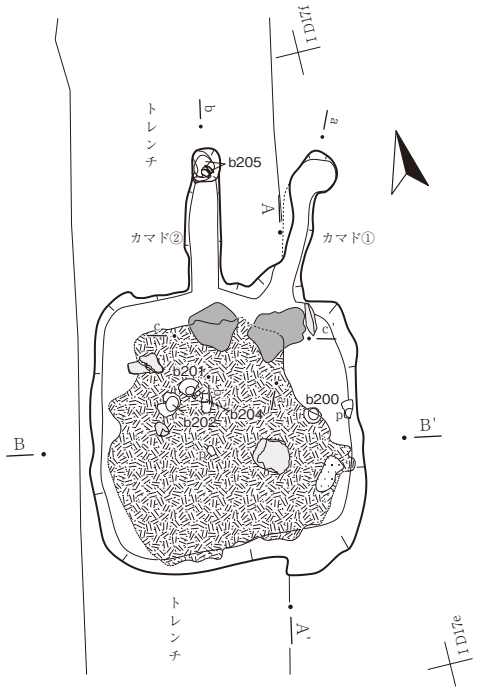
SI13 周溝 (q-q’)
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。炭化材極少量散在。砂混じり、非常に硬い。周溝ではなく柱穴か？

第43図　SI13住居跡（3）

定される。壁面は外傾気味に立ち上がる。**炭化材**　西側床面には径30cm程の自然礫と炭化材が散乱する。床一面に広がってはいないが、上屋が焼失し構築材の一部が崩壊したものと考えられる。**堆積土**　竪穴廃絶後の１次堆積土は壁際に分布する黒褐色シルト層（10層）であり流入した自然堆積の様相を呈す。この上位に分級の良い細砂層（７層）が堆積する。７層は中央部では床面直上を覆う。そのため床面は酸化鉄を多く含みグライ化が著しい。上位に堆積する砂層は細砂～粗砂へと徐々に粒径を大きくする。途中、６層や３層で斜交ラミナが出現するが、これは北西部にのみ確認された。ラミナの傾斜方向により、本層の堆積時に北西部から南東部へ向かう流水が発生していたと推測される。なおラミナは平面的には明瞭に指摘できず、断面からのみ確認できた。最上部の１層はシルトブロックと粗砂が撹拌されたような堆積土で、20cmほどの層厚が残存する。隣接する遺構に類似する堆積土は認められなかった。**柱穴**　pit １～４の４基が主柱穴と判断される。カマド③を軸線として線対称に配置され、pit １・２の最上部１層は床面を覆う住居埋土７層と同相であり廃絶時には上部が開口していたと考えられる。pit ３・４は南西壁に向かって斜位に掘り込まれる。北東壁際のpit ６、南西壁際のpit ７は床面直上に検出された粘土塊下に位置する。堆積土には炭化物が含まれる。北西壁際のpit ８は周溝を切るように掘り込まれる。**周溝**　周溝は南東壁際を除いて巡る。土層観察によれば新期貼床により埋め戻された痕跡が残る部分が見られる。**カマド**　３基設置される。燃焼部の残存状況、焼成面のレベルから北東壁のカマド③→南東壁のカマド②→カマド①の順に作り替えられているものと考えられる。**カマド①**　燃焼部周辺を竪穴掘り方底面よりも深く掘削し、袖芯材として礫を埋め込み、その周りに暗褐色シルトを貼り付けている。掛け口の奥の天井部には板状の礫が乗せられている。燃焼部内部堆積土には土器片や焼骨片が多量に含まれる。燃焼面は硬化が進み中央部には還元面が広がる。煙道は刳り抜き式で、煙出し孔には礫の投げ込みが確認できた。**カマド②**　カマド①の南側に隣接して検出された。壁に残る煙道入口付近には土師器甕（b186）が壁面に貼り付けたような状態で出土した。天井部芯材の一部と考えられる。袖は残存しないが芯材として設置された礫の抜き取り痕が確認できる。煙道は刳り抜き式で、カマド①同様に煙出し孔部には礫や須恵器片の投げ込みが確認できた。**カマド③**　北壁ほぼ中央に検出されたが、本体の残存状態は悪く、燃焼面の広がりも小範囲に残る状況である。カマド③廃絶後に床面壁際が再掘削され（カマドe-e’５層、または住居18層相当）その際に燃焼部が削平されたと考えられる。**遺物出土状況**　カマド①付近を中心にまとまって出土した。特に坏は完形に近いものが複数出土した。北東部貼床除去時に出土したb171は口縁が外に大きく外湾し捲れる特異な形状の高台皿である。西側床面には径30cm程の自然礫が多数検出された。付近には炭化材が散在するが床一面には広がりを見せず、上屋を構築していた材料の一部（礫や材）が崩壊したことを示唆する。（遺物図版79･80･143　写真図版239･240）

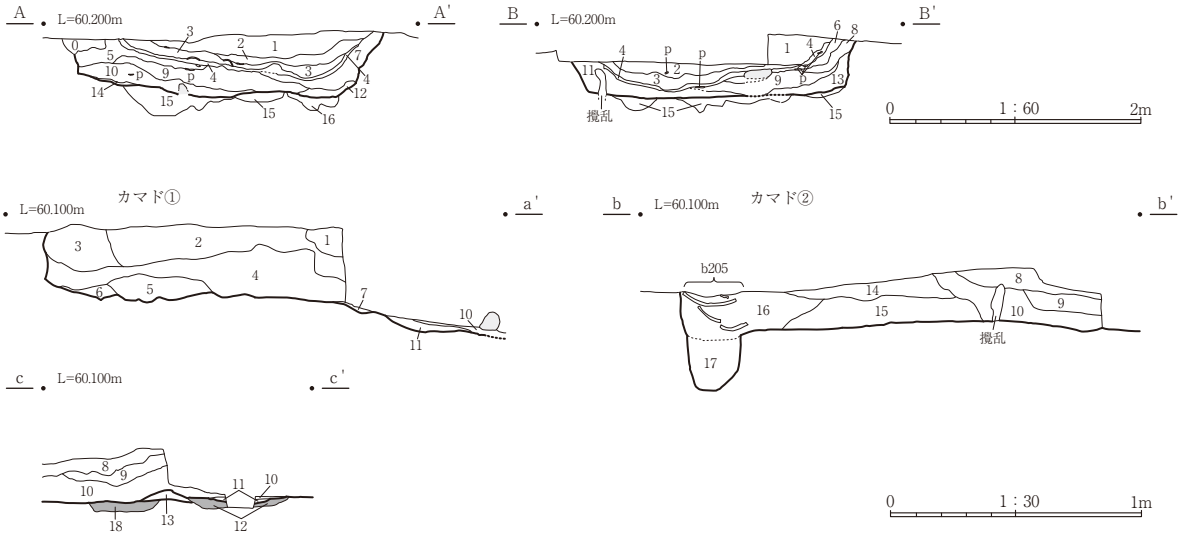
ＳＩ１４住居跡（第44図　写真図版23）

検出状況　表土除去前に検出面を確認するため、重機でトレンチ掘削中にカマド②の煙道部を検出した。そのため本遺構西側トレンチ内ではⅢ層、東側はⅡ層で検出している。**形状**　方形基調である。**床面・壁面**　床面は概ね平坦であるが中央より壁際の方がやや高くなる。硬化した範囲は確認できなかった。掘り方土は褐色砂と黒褐色シルトの混合土で、中央部が深く壁際には存在しない。壁際ではⅢ層砂層が床面となる。壁面は直立気味に立ち上がる。**堆積土**　床面上に黒褐色シルト層（10層以下）が自然堆積した後、９層の褐色砂層が流入している。この砂層は洪水堆積層の可能性があるが、至近距離にあるSI13の洪水堆積層のような褐色砂のみではなく、周辺の基本土層（Ⅱ層か？）と思われる黒褐色シルトが混入している。再び周囲から土が流入後（６～７層）炭化物・焼土ブロックを多く含



SI14 (A-A'・B-B')

0　10YR2/2 黒褐色 (やや黒味)　シルト　しまり・粘性ややなし。植栽痕？。
1　10YR2/2 黒褐色 (やや 10YR2/3 より)　砂質シルト　しまり・粘性中。10YR4/6 褐色地山砂質シルト細かく (径 1 ～ 2 ㎝) 微量、炭 (径～ 5 ㎜) 微量。
2　1 層に 10YR4/6 褐色　地山砂質シルト (径～ 5 ㎜) やや多量。
3　1 層に似るが、炭・焼土多くなる。10YR4/6 褐色もこなれて混じるためか、より砂質。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。5YR4/4 ～ 7.5YR2/3 にぶい赤褐色～極暗褐色炭・焼土ブロック (良く焼けたブロックと被熱あり) が大量に混じる層。
5　10YR2/3黒褐色　砂質シルト　しまり･粘性中。6 層の砂全体にこなれて混じる。
6　9 層の砂層大量と、10YR2/3 黒褐色シルトやや多量。
7　11 層に似るがやや明るい。
8　11 層に似る。
9　10YR4/4 褐色　砂層　しまり中、粘性なし。10YR3/2 黒褐色シルト少量やや細長く。(洪水砂層か？ 10YR3/2 黒褐色の混入が多い。)
10　10YR2/3 黒褐色　5 層に似るがやや明るい (10YR4/4 褐色地山砂量が多い)。
11　10YR2/2 黒褐色　シルト　10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径～ 5 ㎜) 極微量。
12　10YR4/4 褐色　砂質シルト大量と、10YR2/3 黒褐色シルトやや多量に混じる。壁崩落。
13　11 層に似る。
14　炭化物・焼土ブロック層。カマド①堆積土。
15　10YR4/4 褐色砂層に 10YR2/3 黒褐色シルト斑状に少量～中量　しまり・粘性ややなし。
16　10YR4/4 褐色砂層に 10YR2/3 黒褐色シルト斑状に多量　しまり･粘性ややなし。



SI14 カマド①② (a-a' ～ c-c')

1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂少量全体に混じる。
2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂やや多量全体に混じる。
3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂 (径～ 2 ㎜) 微量。炭化物微量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
4　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂少量やや斑状に混じる。
5　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂多量全体にこなれて混じる。
6　3 層に似るが炭含まない。
7　＝住居 14 層。
8　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂 (径 1 ～ 2 ㎜) 細かく全体に混じる。
9　＝住居 6 層。
10　1 層より黒味強く、地山ブロックの径大きくなる。炭微量 (径～ 1 ㎜)。
11　10YR5/4 にぶい黄褐色　灰層に？焼土ブロック多量細かく混じる。
12　5YR3/4 暗赤褐色　焼土。
13　10YR4/4 褐色　地山砂層　炭微量。上面にカマド①燃焼部が形成。
14　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　10 層より地山ブロック多く砂質土増す。炭 (径 2 ～ 3 ㎜) 極微量。
15　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト (砂に近い)、10YR4/4 褐色地山砂全体に混じる。
16　10YR2/3 黒褐色　14 層に比べシルト質。10YR4/4 褐色地山砂少量全体に混じる。炭 (径～ 5 ㎜) 極微量。
17　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト地山ブロック (径～ 5 ㎜) 微量、炭 (径 1 ～ 2 ㎜) 微量。
18　7.5YR2/3 極暗褐色　焼土。

第44図　SI14住居跡

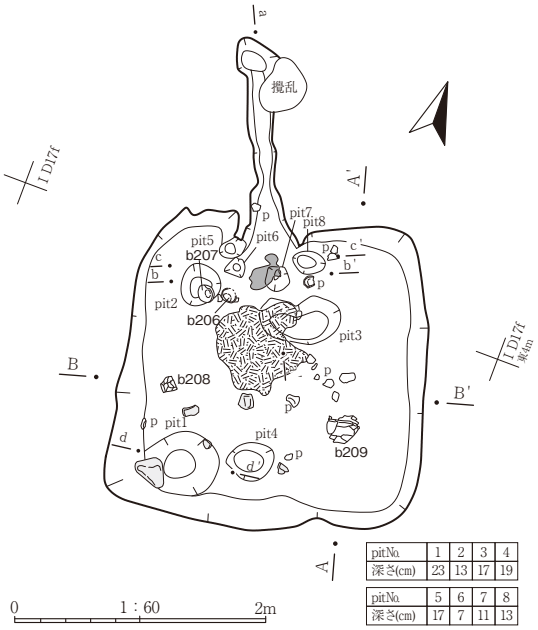
む層（４層）が堆積する。４層は被熱した土が広がるものの、明瞭な焼成面は確認できず、炭化物も上屋構造材のようなしっかりした炭材ではなくて細かい炭化物片である。SI08同様に、窪地内で何らかの燃焼を伴う行為がなされたか、もしくは周囲の焼成土坑等から出た排土を投げ込んだものと考えられる。**カマド**　北壁に２基設置されている。検出時に確認したのはカマド②のみで、この部分を残して床面まで掘り下げたところA-A'断面にて床面付近に炭化物・焼土ブロック層を確認した（14層）。断面観察用のベルトを除去していくとこの炭・焼土層が面的に広がり、礫が北壁に接して直交する形で立てられていたことからカマド２基が隣接していることが判明した。この時点で残存する堆積土にベルトをかけたところ、カマド②よりもカマド①の燃焼面が上位層に形成されていることが観察できた。袖石と思われる礫が残存することも合わせて考えるとカマド①が新しくカマド②が古いものと判断される。カマド①は東側の袖石が残存するが、西側はc-c'断面の13層が袖の一部の可能性があるものの範囲の把握はできていない。カマド②の袖は残存していない。燃焼面の残存状態はカマド①の方が良いが、両者とも焼成は弱く硬化面は認められない。これは使用頻度によるものではなく、Ⅲ層の砂層に形成されていることに起因する可能性がある。煙道部は住居床面（燃焼部焼成面）から水平もしくはわずかに高くなる。カマド②の煙出し孔は、小穴状で煙道部よりも一段低くなる。須恵器甕（b205）が投げ込まれており人為的に埋め戻されているものと考えられる。**柱穴**　検出されていない。**遺物出土状況**　床面と４層中に遺物が目立つ。４層中には礫も混入する。（遺物図版81　写真図版240･241）

ＳＩ１５住居跡（第45図　写真図版24）

形状　方形基調である。北壁がカマドを境に東側より西側の方がやや張り出している。**床面・壁面**　床面は概ね平坦である。黒褐色シルトと褐色砂が混在した土を均して床面としているため締まりがなく、硬化範囲は認められない。壁面は直立気味である。**堆積土**　褐色砂を含む黒褐色シルトが堆積する。上部（１層）には炭化物・焼土ブロック、礫・遺物が混入し人為堆積と推定される。**カマド**　北壁に設置されている。燃焼部は両袖部分に礫を立て、それを土台にして天井石を渡している。袖芯材の礫は使用時のまま残存していたが、天井石は崩落した状態である。両者とも板状の礫が使用される。焼成範囲は不整形でSI14同様に焼土厚は薄いが、袖石内側の被熱痕跡は強い。煙道部は燃焼面から緩やかに上がり、煙出し孔部底面は小穴状に一段低くなる。**柱穴**　８基検出した。pit ３は底面に被熱土が堆積し（16層）その上に床面に広がる炭化物層が流れ込んでいる。カマドの構成礫も入り込んでいることから廃絶時には開口していたと判断される。その後炭化物を含む黒褐色シルト（14層）で埋没しているが、pit １・２・４内にも同様の土が堆積する。これら３基については住居使用時の開閉の状態は不明であるが、いずれも深さ10～20cm程度と浅いため主柱穴とは考えられない。pit ５～８はカマド除去後に検出した。深さ10cm前後と浅くカマド構築時の掘り方の可能性がある。**遺物出土状況**　床面からの出土が少なく、器形を復元できる個体は全て堆積土中からの出土である。特に２層上面（１層中）に土器・礫が多い。またpit ３内底面付近からは砥石（e62）が出土している。上述の通り住居使用時にはpit ３は開口状態と見られることから、カマド付近の穴に置かれていたものと推定される。（遺物図版81･146　写真図版241）

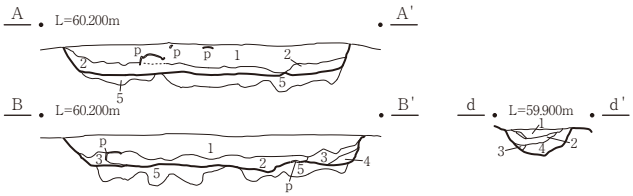
ＳＩ１６住居跡（第46～48図　写真図版25）

形状　方形基調である。南西コーナーは調査区外へと延びる。**床面・壁面**　床面は概ね平坦で、全体的によく締まり硬化する。中央部に井桁状の溝跡が検出された。掘り方土は他の住居跡同様、褐色土



pitNo.	1	2	3	4
深さ(cm)	23	13	17	19

pitNo.	5	6	7	8
深さ(cm)	17	7	11	13

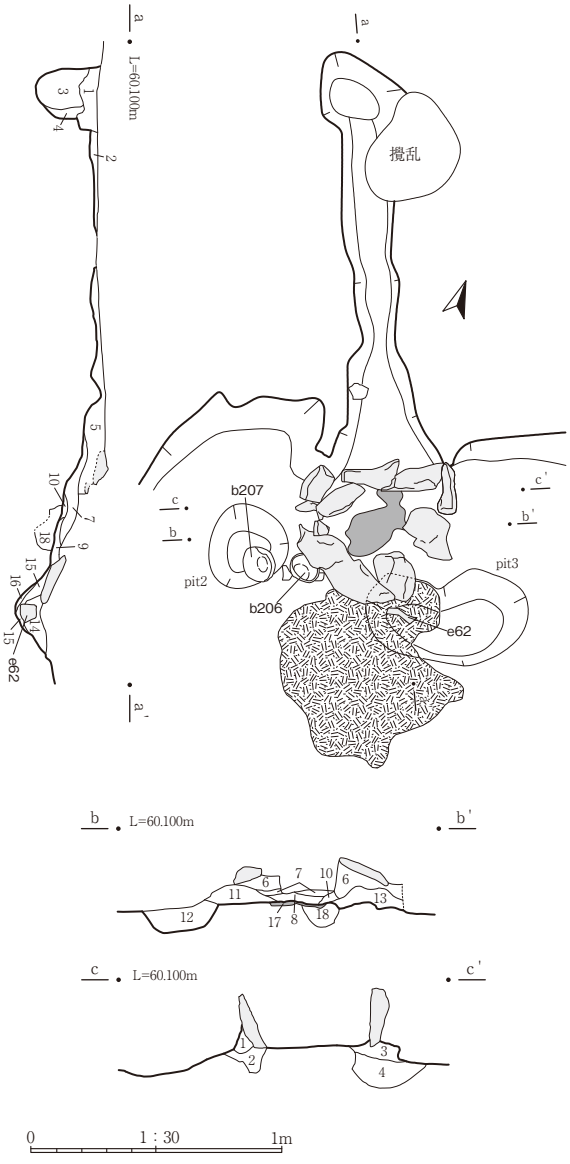


SI15 (A-A'・B-B')

1　10YR2/3 黒褐色 シルト　しまり中、粘性ややあり。炭少量、焼土微量 (径～1㎝)ブロック全体に斑状。10YR4/4 褐色地山砂質シルト(径～1㎝)微量。
2　10YR2/3 黒褐色 シルト　しまりあり、粘性中。1 層よりしまるが砂質。10YR4/4 褐色地山砂質シルト少量混じる。
3　10YR2/2 黒褐色 シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山砂質シルト少量ぼやっと混じる。
4　10YR2/2 黒褐色 シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山砂質シルトやや多量。
5　10YR2/3 黒褐色シルトやや多量と 10YR4/4 褐色砂多量斑状。しまり・粘性ややなし。

SI 15 pit1 (d-d')

1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭粒 (径～ 5 ㎜) 微量、10YR4/4 褐色　地山シルト微量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。礫の下あたりに焼土ブロック、10YR4/4 褐色地山シルト少量。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山シルト多量。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色砂質シルト少量、炭極微量。



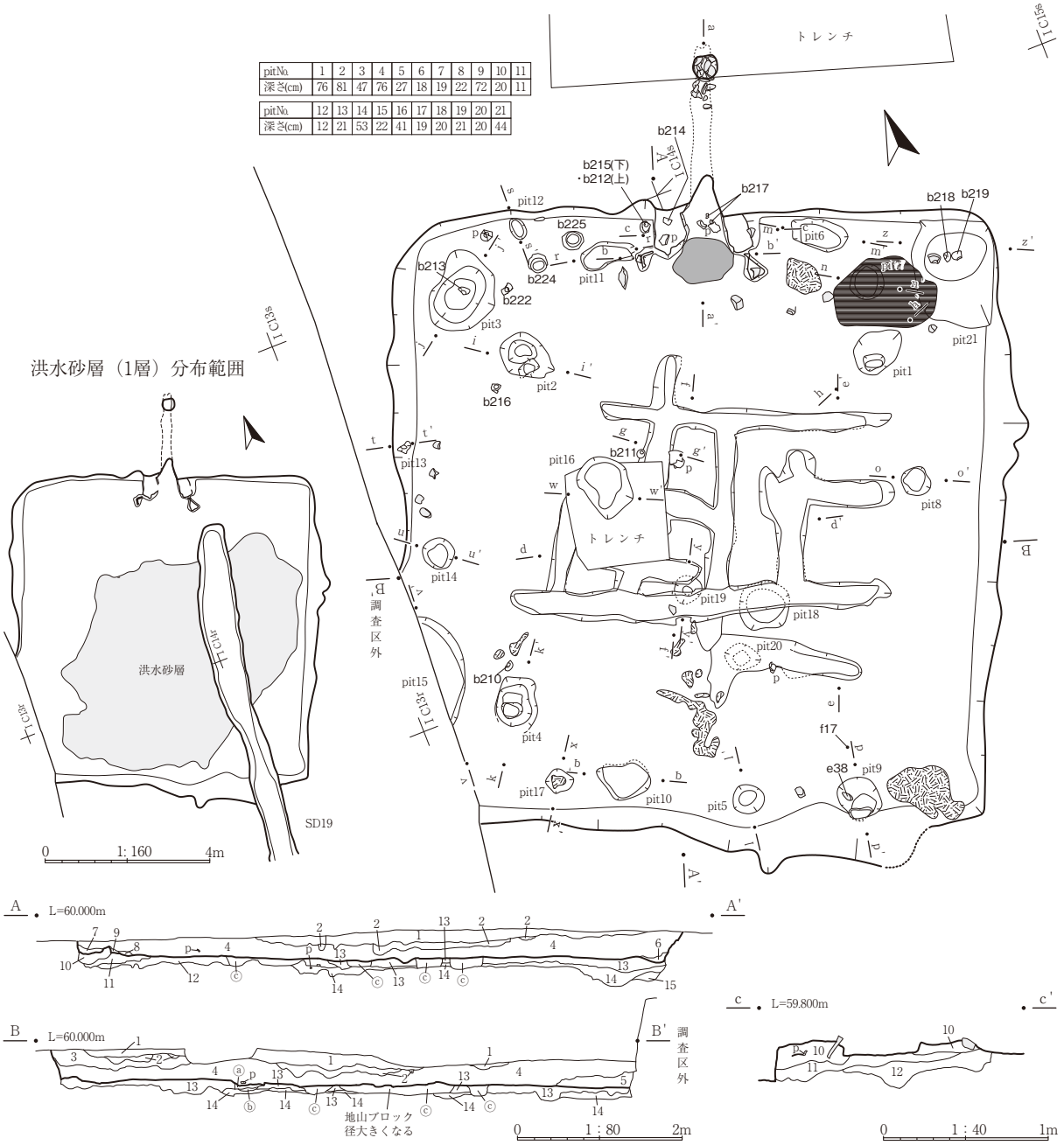
SI15 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂質シルト少量混じる。
2　5 層に似るが焼土ブロック含まない。
3　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山ブロック少量全体に混じる。
4　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山ブロック大量、主体砂。
5　10YR2/3 黒褐色 シルト　しまり中､粘性ややなし。炭･焼土(径～5㎜)少量。10YR4/4 褐色地山砂質シルト微量。
6　11 層に似る。
7　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややなし､粘性中。天井崩落？､白っぽい。焼土ブロック (径～ 5 ㎜) 微量。
8　7 層より白っぽい、被熱土も多く入る。
9　7.5YR2/3 極暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。炭 (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。土やや被熱する。
10　7.5YR3/4 暗褐色　砂質シルト　被熱土ブロック層。
11　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト微量、炭 (径～ 3 ㎜) 極微量。
12　14 層に似るが、しまり弱く炭多くなる。
13　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂少量全体に混じる。
14　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭 (径～ 1 ㎝) 少量。
15　7.5YR2/3 極暗褐色　シルト　しまりややなし､粘性なし。炭と白色(炭層？) 薄く層状に入る。
16　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまり非常になし、粘性中。被熱土。
17　5YR3/4 暗赤褐色　シルト、5YR4/4 にぶい赤褐色　地山砂と 18 層が被熱。焼土層。
18　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト微量。石埋める掘り方か？

SI15 カマド (c-c')

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂微量、炭・焼土 (径 2 ～ 3 ㎜) 極微量。
2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂少量、こなれて混じる。
3　2 層に似るがやや明るい。
4　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂少量。

第45図　SI15住居跡



SI16 (A-A'・B-B'・カマド c-c')

1　10YR4/4 褐色　砂　しまりあり、粘性なし。一気に埋まった砂。

2　10YR2/2 黒褐色　シルト　3・4層がグライ化したもの、酸化鉄が集積する。

3　4層に似るが、黒味強く地山ブロックの粒径がやや大きい。

4　10YR2/3 黒褐色　シルトしまりややあり、粘性中。10YR4/4 褐色～10YR4/6 褐色地山粘土質シル中量全体に混じる。粒径まちまち (径～ 3cm)。炭 (径 1 ～ 2 cm) 極微量。中心部の下がる所はより粒の大きいものが混じる。10YR4/4 褐色地山砂は全体にこなれて混じる。

5　10YR2/2 黒褐色シルトと 10YR3/2 黒褐色シルト、10YR4/4 褐色～10YR4/6 褐色地山粘土質シルト。10YR4/4 褐色砂が全体に斑状に混じる。10YR3/2　黒褐色土が多量、あとは同じくらいの量比。炭化粒 (径～ 1 ㎜) 極微量。

6　10YR2/3 黒褐色　シルトしまりややあり、粘性中。10YR4/4 褐色～10YR4/6 褐色地山粘土質シルト極微量 (径～ 1 ㎜)。4 層より明るい。

7　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/6 褐色地山シルトブロック大きく入る (径～ 2 cm) やや多量。

8　10 層の被熱土入らない層。

9　7 層の地山入らない層。

10　10YR3/4　暗褐色　地山粘土質シルトブロック層　袖。被熱ブロック少量。

11　10YR2/3　黒褐色　シルト多量と 10YR4/4　褐色砂と粘土 (径～ 2 cm) 少しずつ斑状。

12　13 層に似る。

13　10YR4/4 褐色　粘土大量、10YR4/4 褐色砂少量、10YR2/3 黒褐色粘土少量 (径～ 2 cm) 斑状。12 層とともに床面良くしまる。

14　11 層と似るが、10YR2/2 黒褐色も少量。10YR4/4 褐色粘土砂少なくなり (径～ 1 cm) 粒小さくなる。炭・焼土ブロック (径～ 1 cm) 微量。

15　10YR4/4 褐色　砂やや多量、粘土やや多量。10YR3/3 暗褐色シルト (径～ 1 cm) 中量斑状に入る。

16　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。　10YR4/6 褐色粘土質シルト (径～ 5 ㎜) 微量、炭 (径～ 5 ㎜) 極微量。

ⓐ　床溝。10YR4/4 褐色　砂　10YR4/4 褐色～ 10YR4/6 褐色粘土質シルト 10YR3/2 黒褐色　ブロック斑状。

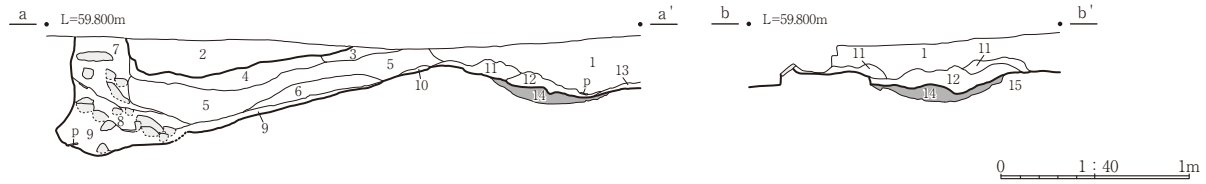
ⓑ　床溝。10YR2/3 黒褐色　シルト。

ⓒ　床溝。

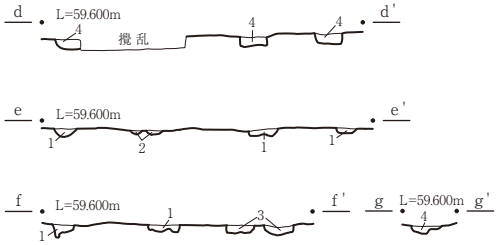
※ 2 ～ 5 層人為。1 層洪水砂層。7 ～ 10 層カマド関係？

※　(P)9・10 は 10 層または 11 層中、カマド構築前に埋めたか？

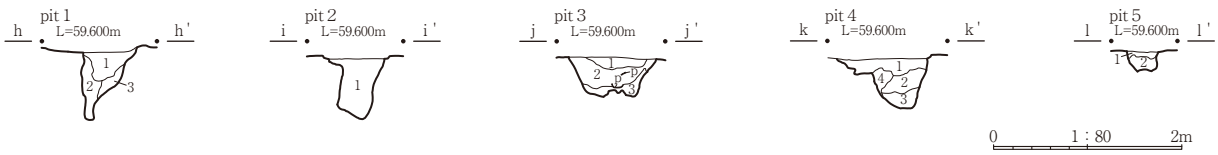
第46図　SI16住居跡（1）



SI 16 カマド (a-a'・b-b')
1　住居埋土４層と同じ。
2　10YR4/4 褐色 地山　砂層。
3　10YR4/4 褐色　地山砂、ブロックに 10YR2/3 黒褐色シルト少量。下面が被熱した土多く、天井崩落？
4　５層と同じだが、下面に天井崩落の被熱土入る左の分層。
5　10YR2/2 黒褐色 (10YR2/1 黒褐色に近い)　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂 (径～１cm) 少量斑状に入る、炭 (径～５mm) 微量。煙道北半はしまり弱くなる。
6　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂 (径２～３mm) 微量細かく入る。
7　９層と似る。
8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし。基本９層と同じだが主体土が明るくなる。
9　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし (６層よりない)、粘性ややあり。煙道側は被熱土多量、煙出し部に炭 (径～３cm) も多くなる。層中に礫が大量に入る。
10　7.5YR3/2 黒褐色　シルト　被熱土。
11　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山砂 (径１～２mm) 極微量。
12　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土ブロック (径～２mm) 少量斑状に入る。
13　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土ブロック微量細かく入る、10YR4/4 褐色地山砂 (径～１mm) 微量。
14　5YR4/8 赤褐色　焼土。中央部硬化面あり。
15　住居掘り方。



SI16 床溝 (d-d'～g-g')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト斑状 (径～２cm) 中量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト斑状 (径～２cm) 微量。
3　１層に炭・焼土ブロック (径～５mm) 極微量。
4　１層に比べ黒く、10YR4/4 褐色　粘土質シルトと砂 (径～１cm) が中量混じる。
※南北下斑状弱い。東西斑状強い。中心部貼床に焼土ブロック含み、その影響で炭入る。



SI16 pit1 (h-h')
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～５mm) 微量、炭 (径～５mm) 極微量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし (下方はなし)、粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～５cm) 多量に大きく斑状 (輪郭不明瞭)。
3　10YR2/3 黒褐色　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト大量、混ざり方２層に似る。

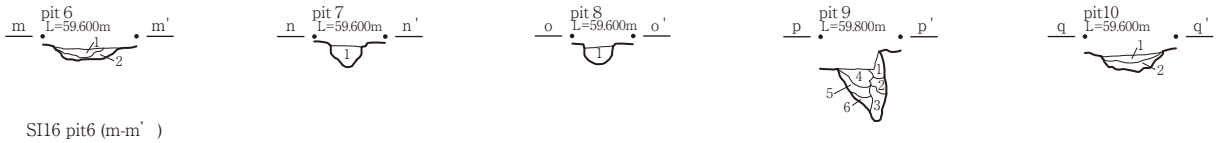
SI16 pit2 (i-i')
1　10YR2/1 黒褐色シルト微量、10YR2/3 黒褐色シルト大量、10YR4/4 褐色地山砂やや大量 (径～１cm) 全体に細かく斑状に入る。

SI16 pit3 (j-j')
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中　10YR2/1 黒褐色シルト微量、10YR4/4 褐色粘土質シルトやや多量斑状に (径～１cm) 全体に入る。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中　10YR2/1 黒褐色シルト微量、10YR4/4 褐色粘土質シルトやや多量斑状に (径～２cm) 全体に入る。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～３cm) 多量斑状に入る。

SI16 pit4 (k-k')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～５mm) 少量斑状に入る。
2　１層より黒く 10YR4/4 褐色　ブロック (径１～２cm) 大きくなる。しまりややなし。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～５cm) 大きく斑状多量。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～５cm) 大きく斑状多量、３層より多い。
※１～３層、下層ほどしまり弱くなる。

SI16 pit5 (l-l')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト微量、炭 (径～５mm) 極微量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト多量大きく斑状に入る。

第47図　SI16住居跡（２）



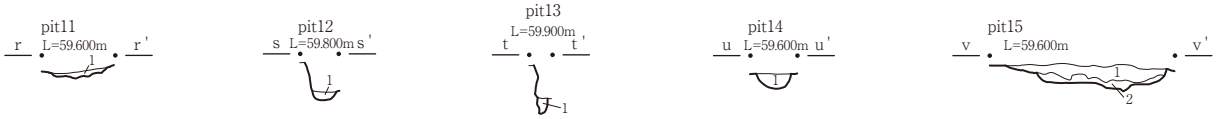
SI16 pit6 (m-m’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径 2 ～ 3 ㎜) 中量細かく全体に混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～ 1 ㎝) 少量。

SI16 pit7 (n-n’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト少量、10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト多量、10YR4/3 にぶい黄褐色粘土質シルト多量斑状に混じる。(径 2 ～ 3 ㎜)

SI16 pit8 (o-o’)
1　pit7 と似るが 10YR2/3 黒褐色やや多い。

SI16 pit9 (p-p’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～ 2 ㎝) 大量大きく斑状に入る。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト全体に少量ぼやっと混じる。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～ 5 ㎜) やや多量全体に斑状に細かい。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト中量全体にぼやっと混じる。
6　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～ 5 ㎜) 微量。
※ 1 ～ 3 層柱痕、 4 ～ 6 層掘り方。

SI16 pit10 (q-q’)
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～ 1 ㎝) やや多量斑状に入る。下面には斑状だがはく層溜まる。炭 (径～ 5 ㎜) 少量目立つ、焼土 (径～ 5 ㎜) 微量。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト (径～ 5 ㎜) 少量斑状に入る。炭 (径 2 ～ 3 ㎜) 微量。



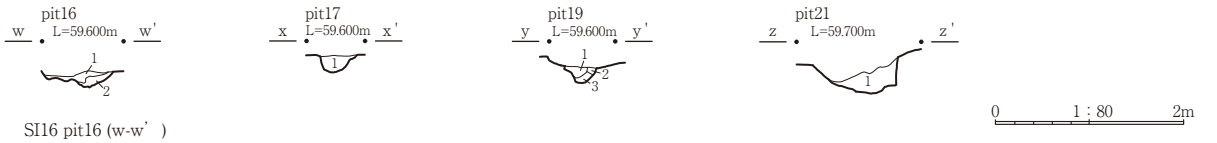
SI16 pit11 (r-r’)
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂少量斑状に入る。

SI16 pit12 (s-s’)
1　pit8 と同じ。

SI16 pit13 (t-t’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。混入物なし。

SI16 pit14 (u-u’)
1　pit8 と同じ。

SI16 pit15 (v-v’)
1　10YR2/2 黒褐色シルト少量、10YR3/2 黒褐色シルトやや多量、10YR4/4 褐色砂・粘土質シルトやや多量、斑状に混じる (径～ 3 ㎝)。しまり・粘性中。
2　10YR3/2 黒褐色シルト少量、10YR4/4 褐色粘土質シルト大量、斑状に混じる (径～ 3 ㎝)。しまり・粘性ややあり。



SI16 pit16 (w-w’)
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 3 ㎝) 中量斑状、炭・焼土少量。
2　10YR2/2 黒褐色 (やや暗い 10YR2/1 黒褐色に近い)　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト極微量。

SI16 pit17 (x-x’)
1　pit8 と同じ。下面に炭化物。

SI16 pit18 (注記のみ)
1　10YR3/2 黒褐色シルト少量、10YR4/4 褐色粘土質シルト多量、焼土ブロック少量、炭化物微量、斑状に入る。

SI16 pit19 (y-y’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色焼土 (径～ 1 ㎝) 斑状に少量、砂全体に少量こなれて入る。下面に炭化物。
2　1 層に似るが、炭・焼土含まない。
3　5YR4/8 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。焼土大量。5YR2/3 極暗赤褐色シルト斑状に入る。

SI16 pit20 (注記のみ)
1　10YR3/2 黒褐色シルト大量、10YR4/4 褐色粘土質シルト少量、斑状に入る。

SI16 pit21 (z-z’)
1　10YR2/2 黒褐色極微量、10YR2/3 黒褐色多量、10YR4/4 褐色 粘土質シルト多量 (径 1 ～ 2 ㎝) 斑状に入る。

第48図　SI16住居跡（3）

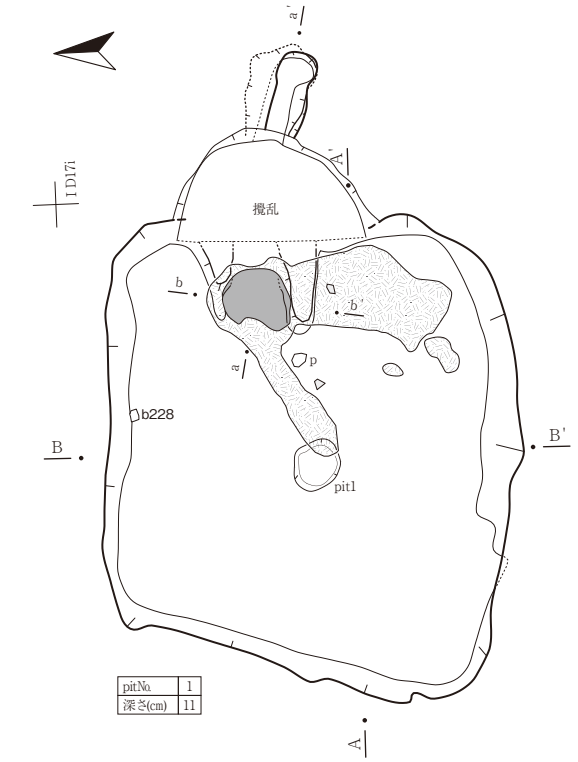
と黒褐色土の混土で構成されるが、下部には焼土ブロックや炭化物が含まれる（14層）。これは、重複するSI20を壊して床面を形成したことに起因すると思われる（重複関係はSI20参照）。壁はほぼ直立する。**堆積土**　上部の洪水砂層（１層）と下部の黒褐色シルト～粘土質シルト層（２～５層）に大別される。下部は地山褐色ブロックを斑状に含み、人為堆積と推定される。７～10層はカマド構築土である。**カマド**　北壁中央に１基設置される。袖は暗褐色の粘土で構築されており、西袖の内側（燃焼部内）には板状の礫を立てて芯材としている。残存状態が悪いため断定はできないが、焚口側の袖は住居壁側より外側に開き燃焼部内が広くなるようである。燃焼部底面の被熱痕跡は強く、燃焼面中央は硬化する。煙道部は刳り抜き式で住居壁から緩やかに下り煙出し孔へと続く。煙出し孔部には多量の礫が含まれており、カマド廃絶時に人為的に埋め戻されたようである。その後燃焼部側から天井崩落を伴いながら黒褐色土が流入している。**柱穴**　20基検出した。位置・深さからpit１・２・３が主柱穴と推定される。pit９もこれら３基と同様の深さであるがやや位置がずれる。pit１・９は柱痕を確認した。pit18～20は井桁状溝の底面より検出している。**井桁状溝群**　床面中央部に東西壁と平行する並列溝群と、これに直交して連結する溝群を検出した。主柱穴であるpit１・２・４に囲まれた区域に限定され、住居外周からは一定の間隔を開ける。一部不規則な配置になるものの、全体としては井桁状に配置された溝群と捉えられる。検出時の平面観、重複部の断面で観察を行ったところ、東西方向と南北方向で新旧関係が把握できる箇所もあるが、東西方向→南北方向のような規則正しい重複関係ではない。堆積土は住居全体の埋土と類似しており、両者を一連で観察できた箇所（住居断面ⓐ・ⓑ層）では、住居堆積土が一部溝内にも入り込む。ⓒ層とした箇所は住居堆積土除去後に溝跡を掘り下げ、図面を付け足した範囲である。溝跡上面の床面には周囲の床面と異なり硬化しておらず、開口していた、または溝内に何か（腐食する材質のもの）が埋め込まれていた可能性が考えられる。**遺物出土状況**　カマドが設置されている北壁床面からの出土が多い。カマド西側の袖土～床掘り方土内から坏が２点出土している。b215の須恵器の坏が正位で置かれ、b212の土師器坏が倒位で須恵器坏に蓋をするように重ねらていた。両坏の間に何か入れている可能性があると考え内部土壌を観察したが、肉眼では特には確認できていない。坏自体は袖～掘り方内に意図的に埋められたものと推定される。b224・b225の須恵器甕口縁～肩部が正位で置かれていた。長胴甕等の置台として利用されていた可能性がある。（遺物図版3･81･82･135･141･187　写真図版182･241･282）

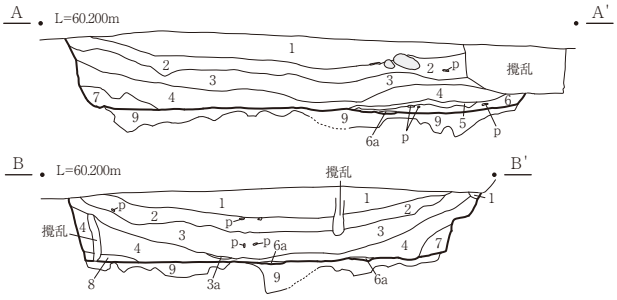
ＳＩ１７住居跡（第49図　写真図版26）

形状　方形基調だが、南壁が内湾し南西コーナーが西側に広がっている。東壁中央は攪乱により削平される。**床面**　床面は全体に硬化が進んでおり概ね平坦である。東半カマド周辺には床面直上に炭化物・焼土ブロック層が広がる。**堆積土**　上部の洪水砂層（１層）と下部の黒褐色シルト～砂質シルト層（２層以下）に大別される。**カマド**　東壁に位置するが、攪乱により住居壁側の袖・煙道部が消失している。煙道部は下部が上部よりも外側に広がり、煙出し孔底面がやや低くなる。**柱穴**　掘り方内より住居中央にpit１を確認。**遺物出土状況**　１層下位～２層中に礫を含む。全体的に遺物の出土量は少ない。（遺物図版82･132　写真図版241･280）

ＳＩ１８住居跡（第50図　写真図版26）

形状　北壁と東壁の一部以外は調査区外へと延びるが、方形基調と推定される。**床面･壁面**　暗褐色・褐色・黒褐色土の混土（11層）の上に部分的に暗褐色地山粘土層（10層）を貼って床としている。床面は比較的締まる。床面直上には一部炭化物が広がる。壁は、下部は直立するが上部は外傾する。**堆積**





SI17 (A-A'・B-B')

1　10YR4/6　褐色　砂　炭化物 (径～ 2 ㎜)1%、黒褐色シルト (径～ 2 ㎜) 極少量。

2　10YR2/3　黒褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/6 褐色砂粒 (径 1 ～ 2 ㎜)2 ～ 3%、炭化物 (径～ 2 ㎜)2%、焼土 (径～ 1 ㎜)1%。

3　10YR2/3　黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。褐色砂粒 (径 1 ～ 10 ㎜)10 ～ 15%、炭化物 (径～ 2 ㎜)・焼土 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%。※黒ベースに黄。

3a　10YR2/3　黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。炭化物が薄く層になって入る(厚さ1～2㎜)。

4　10YR4/3　にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜前後)2 ～ 3%、褐色シルト粒 (径～ 5 ㎜) 5 ～ 7%、炭化物・焼土 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。※黄ベースに黒

5　4 層ベースに炭化物層 (厚さ 2 ㎜) の下に、5YR4/4 にぶい赤褐色　焼土層 (厚さ 2 ～ 5 ㎜)。

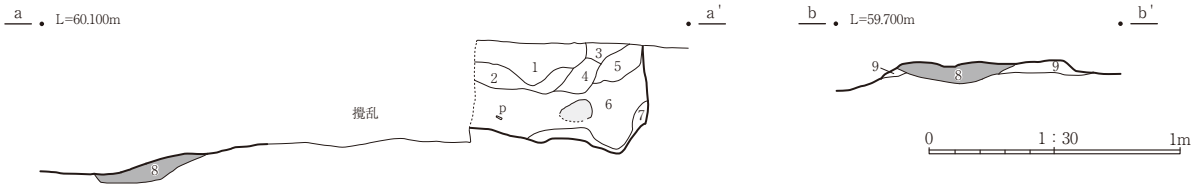
6　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。褐色シルトブロック (径 5 ～ 10 ㎜)3 ～ 5%、焼土・炭化物 (径 2 ～ 5 ㎜)1 ～ 2%。

6a　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。炭化物・焼土粒 (径～ 1 ㎜以下)7 ～ 10%。※層の厚さでは 3 ㎜程度、極薄く床面直上に部分的に見られる。

7　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%、焼土 (径～ 1 ㎜)1%、炭化物 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。

8　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。褐色シルトブロック (径 5 ～ 10 ㎜)5 ～ 7%。

9　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/6 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)10 ～ 15%、10YR2/3 黒褐色シルト粒 (径 1 ～ 5 ㎜)3 ～ 7%、2.5YR5/2 灰赤色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%、A-A' ベルト西側には焼土 (径～ 5 ㎜程度) が 1%、東側には炭化物、焼土 (径 1 ～ 2 ㎜) が 1% 混ざる。



SI17 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色砂質シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。

2　10YR3/4 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR2/3 黒褐色シルト少量。

3　10YR3/4　暗褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR2/3　黒褐色シルトと 10YR4/4　褐色砂質シルト粒 (径～ 1 ㎜)2 ～ 3%、焼土 (径～ 5 ㎜)1%。(7.5YR5/6 明褐色、5YR3/4 暗赤褐色)

4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂質シルト粒 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%、2.5YR2/1 赤黒色焼土 (径～ 5 ㎜)1%。

5　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。10YR4/4　褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)2 ～ 3%、7.5YR5/6　明褐色焼土粒 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%、5YR3/3 暗赤褐色ブロック (径～ 1 ㎝)3 ～ 5%。

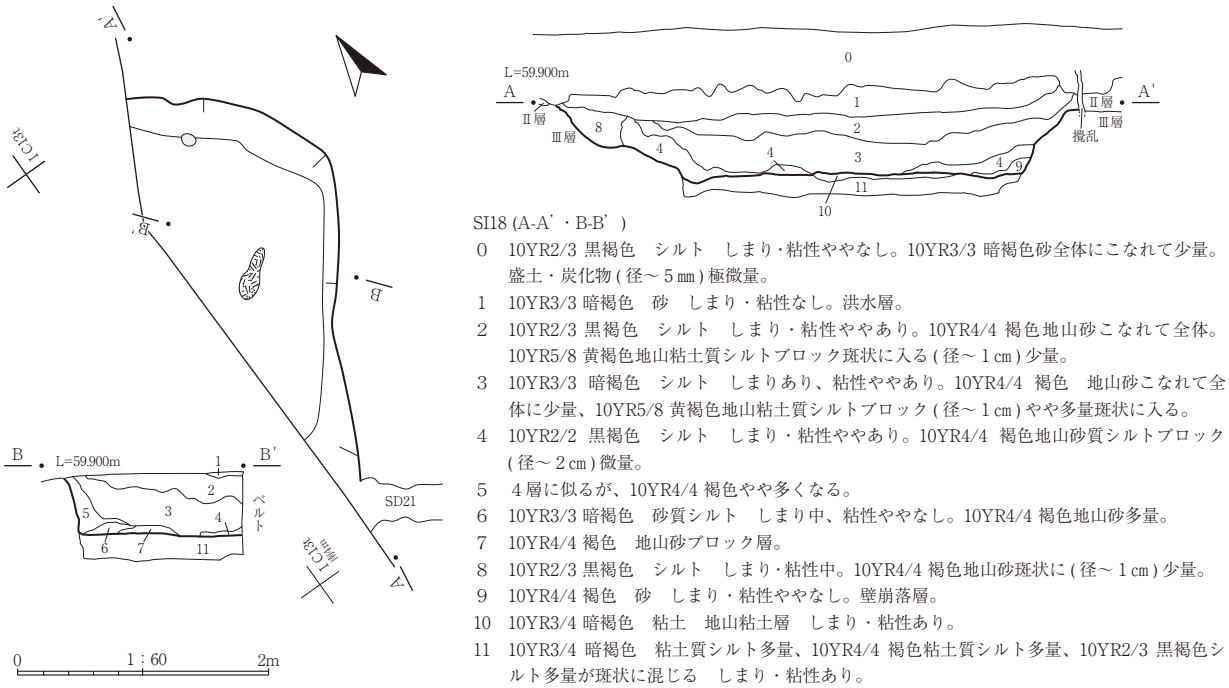
6　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性中。焼土粒 (径～ 2 ㎜)2 ～ 3%、ブロック (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%、10YR4/4 褐色砂粒 (径～ 5 ㎜) 3 ～ 5%。

7　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂粒 (径～ 1 ㎜)1%。

8　5YR4/8 赤褐色　焼土。

9　10YR4/4 褐色　砂　右袖 (南側) には焼土が少量混じる。※袖

第49図　SI17住居跡



SI18 (A-A'・B-B')

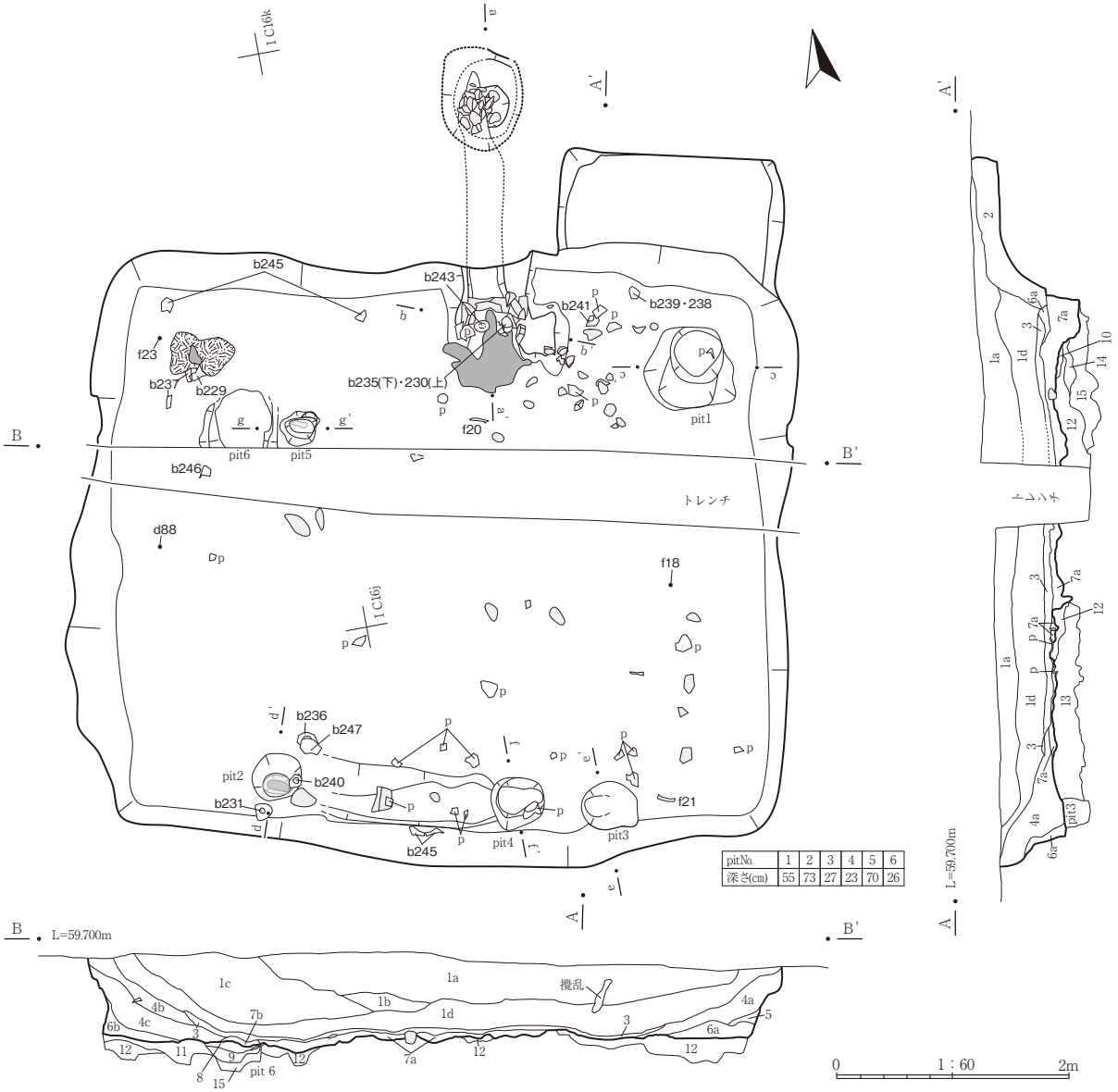
0　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR3/3 暗褐色砂全体にこなれて少量。盛土・炭化物 (径～ 5 ㎜) 極微量。
1　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。洪水層。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山砂こなれて全体。10YR5/8 黄褐色地山粘土質シルトブロック斑状に入る (径～ 1 ㎝) 少量。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/4 褐色　地山砂こなれて全体に少量、10YR5/8 黄褐色地山粘土質シルトブロック (径～ 1 ㎝) やや多量斑状に入る。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山砂質シルトブロック (径～ 2 ㎝) 微量。
5　4 層に似るが、10YR4/4 褐色やや多くなる。
6　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂多量。
7　10YR4/4 褐色　地山砂ブロック層。
8　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色地山砂斑状に (径～ 1 ㎝) 少量。
9　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性ややなし。壁崩落層。
10　10YR3/4 暗褐色　粘土　地山粘土層　しまり・粘性あり。
11　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト多量、10YR4/4 褐色粘土質シルト多量、10YR2/3 黒褐色シルト多量が斑状に混じる　しまり・粘性あり。

第50図　SI18住居跡

土　地山褐色土の崩落を伴いながら壁際から床面付近に黒褐色土が自然堆積後（４～７層）、褐色～黄褐色ブロックが斑状に混入した黒褐色土（２・３層）で人為的に埋め戻され、更に洪水砂層で覆われる（１層）。**カマド**　検出されていない。調査区外に位置すると推定される。**柱穴**　検出していない。**遺物出土状況**　堆積土中から古代土器片が出土するが、図化可能な個体は含まれていない。

ＳＩ１９住居跡（第51～53図　写真図版27）

検出状況　遺構検出面の確認のため重機により東西方向にトレンチで掘り下げていたところ、褐色砂層の面に南北筋状に黒褐色シルトの範囲が検出された。旧河道跡などの落ち込みが形成されている可能性が高いと考えサブトレンチ（平面図中央の東西トレンチ）を入れ深さを確認したところ、古代の遺物を多く含み壁が立ち上がったことから住居跡であることが判明した。筋状の黒褐色土は４層に起因するものである。**形状**　方形基調だが、北東部が一部張り出す。**床面・壁**　顕著な硬化面はなく、床掘り方土と住居堆積土の最下部の境界が不明瞭であったため、遺物が出土する面を追って床面とした。壁は下部が直立し上部はやや外傾する。**堆積土**　他の住居と同様に上位は洪水により堆積した砂で埋まる。砂直下の層はグライ化している。壁際には黒褐色シルトが堆積する。**カマド**　北壁のやや東寄りに位置する。天井部・袖は板状の礫を複数使用し芯材としており、その周囲に褐色シルトを貼り付け構築されていたと思われるが、袖礫の内側（燃焼部内側）や天井部は崩落していた。燃焼面直上に土師器非ロクロ甕（b243）の底部が伏せた状態で出土した（西側）。同じく伏せた状態で土師器非ロクロ甕底部が土師器坏（b230）の上に重なった状態で出土した（東側）。両者とも支脚と考えられる。煙道は刳り抜き式である。煙出し孔堆積土中には、カマド廃絶時に投げ込まれたものと思われる拳大の礫を多く含む。平面実測を行う前に煙道を断ち割ったため、記録が不十分なものとなっている。**柱穴**　６基検出した。pit ２・５は柱痕跡も確認でき、その深さ・位置から主柱穴と推定される。



SI19 (A-A’ ～ B-B’)

1a 10YR4/4　褐色　砂　しまり･粘性なし。炭化物ブロック(径～5㎜)1%が混ざる。※横方向にラミナが見える。(きめ細かい)

1b 10YR3/4 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。(きめ細かい)

1c 10YR3/2 黒褐色　砂　しまり･粘性なし。(粗い、西側にのみ堆積)

1d 10YR4/6 褐色　砂　しまり・粘性なし。(きめ細かい)

2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。※棚状施設の埋土、所々に10YR3/4 暗褐色砂が混ざる、自然堆積？。

3　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。※5YR4/8 赤褐色サビが混ざる、グライ化。

4a 10YR2/3　黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4　褐色砂粒・10YR2/1 黒褐色シルト粒・炭化物(径～1㎜)1%。

4b 10YR2/3 黒褐色シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂ブロック(径5～10㎜)1～2%。

4c 4b層と同じ。10YR4/4　褐色シルトブロック(径1～5㎜)5～7%、10YR2/1 黒褐色シルト粒(径1～2㎜)1～2%、焼土(径～1㎜)1%。

5　10YR3/4 暗褐色　砂しまり・粘性なし。

6a 10YR2/2　黒褐色　シルト　しまり・粘性中(4a層より少し色が暗い)。焼土(径～1㎜)1%、炭化物(径1～2㎜)1～2%。

6b 10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり(4c層より少し色が暗い)。10YR4/4　褐色シルトブロック(径～1cm)1～2%、10YR4/4 褐色　砂(径1～5㎜)1～2%。

7a 2.5YR4/2 灰赤色　シルト　しまり・粘性中。5YR4/8 赤褐色　サビが混ざる。※グライ化、西隅の方には炭化物(径～1㎜)1%。床面。

7b 10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色シルトブロック(径～5㎜)3～5%。※グライ化。

8　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～5㎜)2～3%、10YR2/1 黒色シルト粒(径～2㎜)1%。炭化物・焼土(径～1㎜)1%。

9　8層と似るが10YR4/4 褐色シルトブロックと炭化物・焼土多くなる。

10　2.5YR4/2 灰赤色　砂質シルト　しまりややあり、粘性あり。サビが混ざる。※グライ化。貼床。

11　2.5YR4/1 赤灰色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルトブロック(径～1cm)7～10%、炭化物(径～5㎜)1%、10YR3/1 黒褐色シルトブロック(径～5㎜)1%、焼土(径～1㎜)1%。

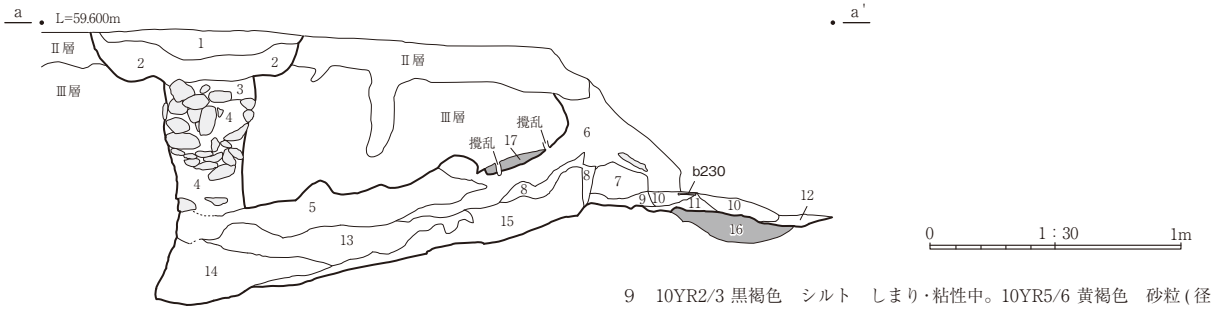
12　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂ブロック(径～1cm)7～10%、10YR2/1 黒褐色シルト粒(径～5㎜)3～5%、炭化物(径～1㎜)1%、焼土(径～2㎜)3～5%。

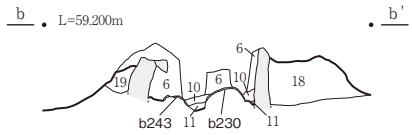
13　10YR4/6 褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR2/1 黒褐色シルトブロック(径～5㎜)1～5%、10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト粒(径～5㎜)1～2%、炭化物(径～2㎜)1%、10YR3/2　黒褐色シルトブロック(径～5㎜)3～5%、白い砂粒少量。横方向にラミナが見える。

14　12層に似る。10YR4/6　褐色　砂ブロック(径～5㎜)3～5%、炭化物(径～5㎜)1～2%、10YR2/1 黒褐色シルト3～5%。

15　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中・粘性ややあり。10YR4/4 褐色　粘土質シルトブロック(径5～10㎜)5～7%・同砂ブロック(径～5㎜)5%、10YR2/1 黒褐色シルト粒(径1～2㎜)1～2%、焼土(径～2㎜)2～3%。

第51図　SI19住居跡（1）





SI19 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR5/4 にぶい黄褐色砂・焼土・炭 (径～ 1 ㎜)1%。

2　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR4/4 褐色砂 (Ⅲ層)(径 2 ～ 5 ㎜)2%、10YR2/1 黒褐色シルト (径～ 1 ～ 10 ㎜)2 ～ 3%。

3　10YR2/3 黒褐色　シルト しまり・粘性中。焼土粒 (赤黒い・径～ 2 ㎜) 1 ～ 2%、10YR2/1 黒褐色シルト (径～ 2 ㎜前後)1 ～ 2%。

4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂粒 (径～ 2 ～ 5 ㎜)3%、炭化物 (径～ 2 ㎜)2 ～ 3%、10YR2/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%。

5　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性なし。10YR3/4 暗褐色シルト混ざる。10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。炭化物 (径～ 2 ㎜前後)1 ～ 2%。焼土 (赤黒い・径 2 ～ 5 ㎜)1 ～ 2%。

6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色　砂質シルトが混ざる。炭化物 (径～ 2 ㎜)1%、10YR3/1 黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。10YR5/6　黄褐色砂質シルト粒 (径 1 ～ 5 ㎜)2%。5YR3/4 暗赤褐色焼土を少量。※崩落土。

7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物・焼土 (径～ 1 ㎜)2 ～ 3%、10YR4/4 褐色砂粒 (径 1 ～ 5 ㎜)3 ～ 5%、10YR3/1 黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。

8　10YR4/3　にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂質シルトブロック (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%。10YR2/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)2%。5YR2/2　黒褐色焼土ブロック (径～5 ㎜)3 ～ 5%。

9　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/6 黄褐色　砂粒 (径 1 ～ 2 ㎜)2 ～ 5%、10YR2/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%、5YR2/2 黒褐色　焼土ブロック (径～ 5 ㎜)2%。5YR5/8 明赤褐色焼土 (径～ 5 ㎜)2%。5YR3/4 暗赤褐色の焼土との混合土。

10　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまり・粘性中。5YR4/8　赤褐色　焼土・7.5YR5/6 明褐色焼土 (径～ 2 ㎜)5 ～ 7%。

11　5YR4/6 赤褐色　焼土　しまりややなし、粘性中。7.5YR8/4 浅黄橙色焼土ブロック (径～ 2 ㎜)2%、5YR2/2 黒褐色焼土粒 (径～ 5 ㎜)1%。

12　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径～ 2 ㎜) 3%、5YR4/8 赤褐色焼土 (径～ 1 ㎜)5%。

13　10YR4/4　褐色　砂　しまり・粘性なし。1 a 層の焼土 (径 2 ～ 5 ㎜)1 ～ 2%。10YR2/1　黒褐色シルト粒 (径 2 ～ 5 ㎜)1%。間に炭化物 (径 ～ 2 ㎜)1%、10YR2/3　黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1%の層。

14　10YR4/3　にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4　褐色粘土質シルト粒 (径 1 ～ 2 ㎜)3 ～ 5%。炭化物と赤黒い焼土の層 (厚さ 1 ～ 2 ㎜) が交互にはいる。

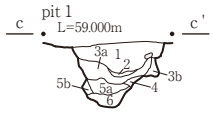
15　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂と 7.5YR2/2 黒褐色シルトが混ざる。5YR2/2 黒褐色焼土ブロック (径 ～ 5 ㎜)3%。5YR3/3 暗赤褐色焼土 (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%。10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径 1 ～ 2 ㎜)1%。

16　5YR4/6 赤褐色　焼土　しまりややなし、粘性中。焼成面。

17　2.5YR3/3 ～ 2.5YR1.7/1　暗赤褐色～赤黒色　焼土。

18　1 層 (10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色　砂粒 (径～ 1 ㎜)1%、10YR2/1　黒褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1%、炭化物 (径～ 1 ㎜)1%、5YR2/2 黒褐色焼土 (径～ 5 ㎜)1%、10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト混ざる。※袖。

19　10YR5/4 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。5YR8/4 淡橙色　焼土少量。※袖。



SI19 pit1 (c-c')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物 (径～ 5 ㎜以下)2%、10YR4/6 褐色砂粒 (径～ 2 ㎜前後)2 ～ 3%。

2　1 層と同じ。炭化物・焼土 (径～ 5 ㎜)1%、10YR4/6 褐色砂粒 (径～ 5 ㎜)1%。

3 a　1 層と同じ。焼土・炭化物 (径～ 1 ㎜)1%、10YR4/6 褐色砂ブロック (径～ 5 ㎜) 7 ～ 10%、10YR2/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%。

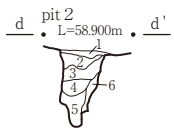
3 b　1 層と同じ。炭化物 (径～ 1 ㎜)1%、10YR4/6 褐色砂ブロック (径～ 5 ㎜以下)3 ～ 5%、10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜前後)1%。

4　10YR4/6 褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径～ 5 ㎜)1%、1 層の 10YR3/3 暗褐色シルトとの混合土。

5 a　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物・焼土 (径 1 ～ 5 ㎜)2%、10YR4/6 褐色砂ブロック (径～ 5 ㎜以下)3 ～ 5%。

5 b　10YR4/6 褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR3/3 暗褐色シルトとの混合土。炭化物 (径～ 2 ㎜)1%。

6　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性あり。焼土 (径～ 5 ㎜)1%、10YR4/6 褐色　粘土質シルトブロック (径～ 5 ㎜)5 ～ 7%、10YR2/1 黒褐色粘土質シルト粒 (径 2 ～ 5 ㎜)1%。



SI19 pit2 (d-d')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/6 黄褐色シルト粒 (径 1 ～ 2 ㎜)1 ～ 2%、10YR2/2 黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)3 ～ 5%。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色シルト粒 (径 1 ～ 2 ㎜)2 ～ 30%、10YR2/2 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%。

3　10YR3/2　黒褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR5/6　黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%、10YR2/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%。

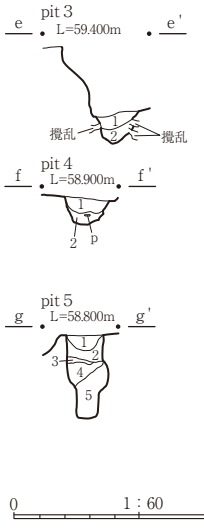
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。炭化物 1%・10YR5/6 黄褐色シルトブロック 2%(径～ 5 ㎜)。

5　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。7.5YR6/8 橙色粘土ブロック (径～ 5 ㎜)1%、10YR4/4 褐色粘土質シルトブロック (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%と粒 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%、10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)2%。

6　5 層と同じ。10YR4/4 褐色粘土質シルトブロック (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%、粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。

0　1：60　2m

第52図　SI19住居跡（2）



SI19 pit3 (e-e')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/6 黄褐色砂質シルト粒 (径～ 2 ㎜)3 ～ 5%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまり中､粘性ややなし。10YR5/6 黄褐色砂質シルトブロック (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%、10YR2/1 黒褐シルト粒 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%。

SI19 pit4 (f-f')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色砂粒 (径～ 2㎜)2%､10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径 1 ～ 5㎜)1%、焼土・炭化物 (径～ 1 ㎜)1%。
2　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1%、1 層の 10YR2/3 黒褐色シルトブロック (径 5 ～ 10 ㎜)1 ～ 2%。

SI19 pit5 (g-g')
1　2.5YR4/1 赤灰色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%、焼土 (径～ 2 ㎜)1%、10YR4/6 褐色粘土質シルトブロック (径～ 5 ㎜)5 ～ 7%、10YR2/1 黒褐色シルト (径 1 ～ 2 ㎜)2 ～ 3%。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり･粘性中。炭化物･焼土 (径～ 1 ㎜)1%､10YR4/6 褐色シルト粒 (径 2 ～ 5 ㎜)3 ～ 5%。
3　2 層と同じ。炭化物が厚さ 2 ～ 5 ㎜の板状に入る。
4　2 層と同じ。焼土 (径～ 2 ㎜)1%、10YR4/6 褐色粘土質シルトブロック (径 1 ～ 2 ㎝)2 ～ 3%。
5　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり･粘性あり。10YR2/1 黒褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)、焼土 (径～ 2 ㎜) が混ざる。

第53図　SI19住居跡（３）

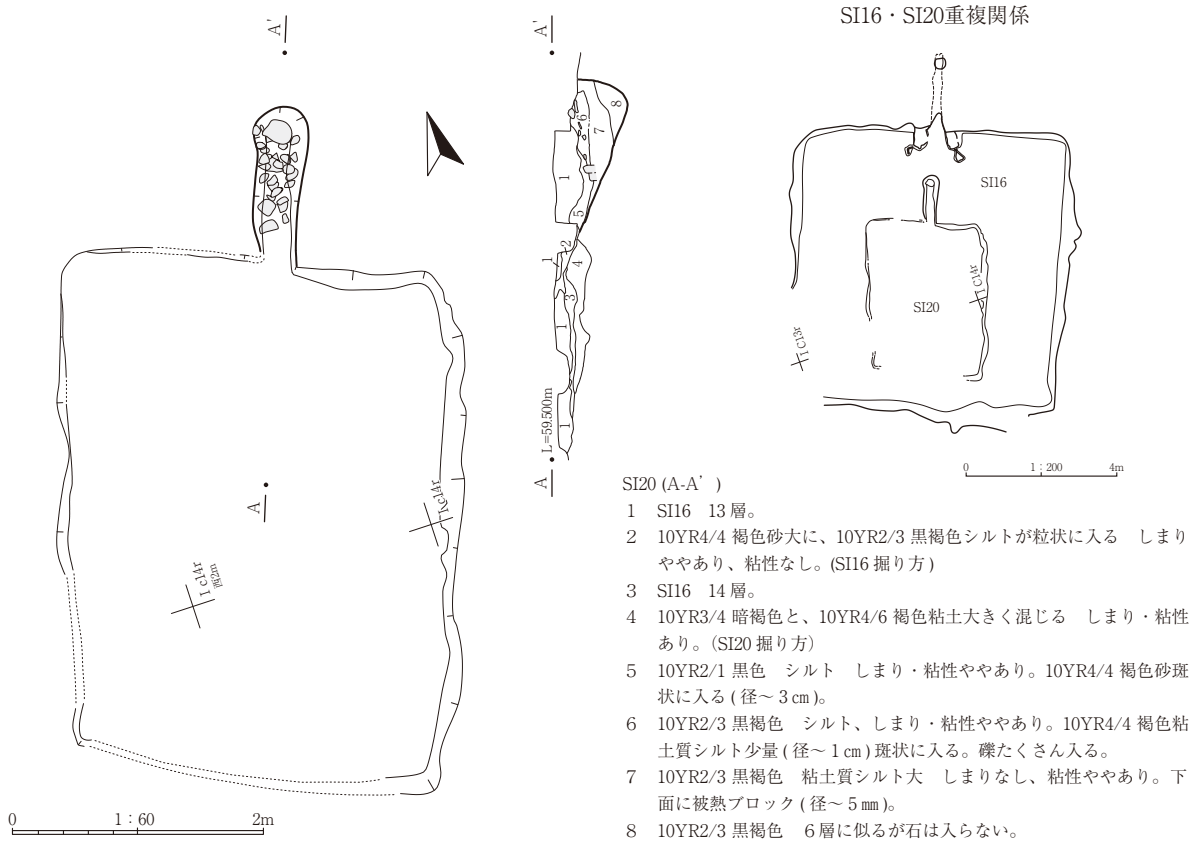
一方で東側の対応する位置にはpit ３が検出されているが西側の２基よりも浅い。深さが対応するものはpit １であるが、位置が少しずれており、東側には西側の柱穴と明確に対応するものが検出されなかった。なおpit １の検出面は周囲の床面より硬く締まっていた。pit ５は掘り方で確認した。pit ２・５の底面に検出された柱痕跡は平面形が長方形を呈しており、柱脚が長方形の材を使用したものと推定される。**その他の施設**　カマドの東側に棚状施設を有する。**遺物出土状況**　刀子４点 (f19～f22) と貼床より釵子状の足金具と思われるものが１点 (f18) 出土した。また、床面に土師器坏 (b231) が伏せた状態で出土した。この他、北東隅貼床内より比較的まとまって土器が出土した。(遺物図版82･134･187　写真図版241･242･281)

ＳＩ２０住居跡 (第54図　写真図版28)

検出状況　SI16の掘り方土除去時に礫の集合する溝状範囲が検出された。その周囲の堆積土が掘り方土と比べ黒褐色土を多く含んでいたことからSI16の床面施設と考え半截した。底面まで掘り下げその形状と堆積土に被熱した土が含まれること、礫の混入状態から、カマド煙道の可能性があると判断した。この作業と同時にSI16の掘り方土を除去していたところ、入れ子状に一段低くなる範囲が上記の煙道南側に認められたことから、住居跡が重複していることが判明した。**形状**　掘り方の範囲であるが、方形基調で南北方向にやや長い。**床面・壁面**　掘り方部分しか残っていない。床面・壁はSI16構築時に壊されているものと推定される。**堆積土**　残存していない。**カマド**　煙道部のみ検出した。住居壁から下り勾配で煙出し孔へと続く。堆積土中には礫を多く含んでおり、人為的に埋め戻されたようである。**柱穴**　検出していない。**遺物出土状況**　煙道内より土器小片が出土しているが、器形が復元できる個体は含まれない。

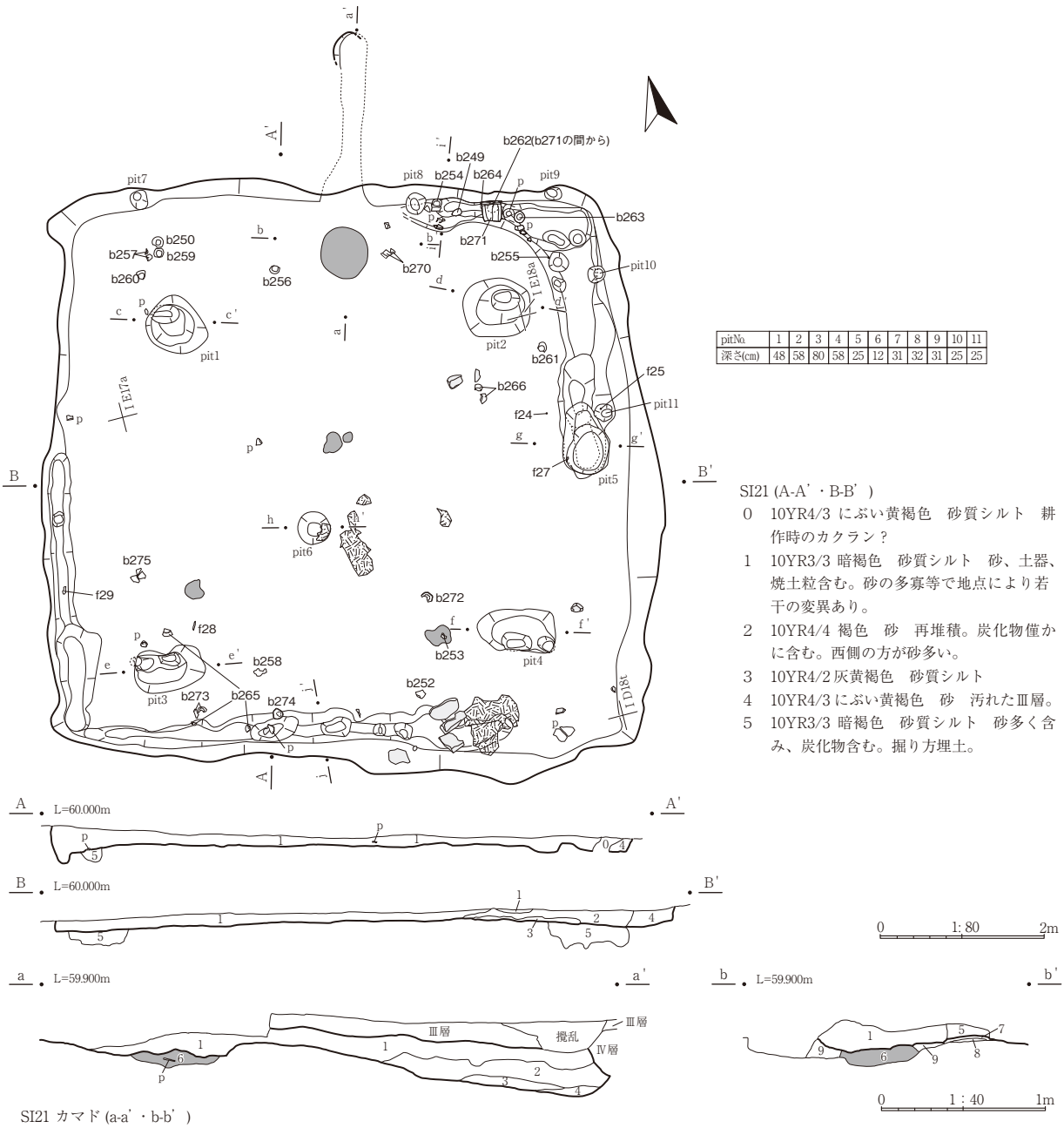
ＳＩ２１住居跡 (第55図　写真図版29)

検出状況　Ⅱ層中での検出であるが、耕作による攪乱が多数重複し当初は全体のプランを明瞭に検出することができなかった。攪乱は床面までは達しない程度の深さである。**形状**　方形基調。図示した東壁



第54図　SI20住居跡

と南壁東半の膨らみは掘り過ぎの恐れがある。東壁においては断面の観察で壁の立ち上がりが確認できたことから、本来は直線的であったと考えられる。**床面**　床面と判断できる様な顕著な硬化面は見られない。また床面の中央から四方の壁面へ向かって緩やかに傾斜しながら下がる。**堆積土**　全体に砂質の暗褐色～褐色シルトの堆積層で、混入物や全体の色調により細分される。**カマド**　北壁中央に設置される。燃焼部周辺の残存状況が悪くわずかな東袖の痕跡と燃焼部焼土と思われる焼土範囲のみの検出である。前述の攪乱によるものか、あるいは住居廃絶時に破壊されているのかは不明である。煙道は刳り抜き式で、煙出し孔上部にⅣ層起源の土が混入しているため、崩落を伴いながら埋没した状況である。**柱穴**　pit 1～4の4基で主柱穴を構成すると考えられる。いずれも底面に柱痕跡と思われる一段下がる部分が認められた。また、pit 3・4底面では柱痕跡が2箇所ずつ検出された。いずれも外側から内側に柱をずらして建て替えた痕跡と考えられる。また掘り方の精査中に確認した北・東壁際のpit 7～11は径が小さいものの比較的深い。**周溝**　西壁の南半と南壁、対角線上の北壁東側と東壁北半で検出した。幅10～20cm、深さ15～20cmである。なお北壁の周溝については、精査時の手順ミスで途中から掘り方も同時に掘り下げたため、全容は不明である。**床面焼土群**　本遺構の中央部、pit 3の北側で検出した。いずれも不整形である。本遺構は炭化物の検出が少なく、焼失家屋とは言い難い状態であるため、これらの焼土群の性格はわからない。**遺物出土状況**　カマド東脇の周溝周辺から比較的まとまって出土している。b271の土師器甕の破片に上下を挟まれた状態でb262の完形須恵器坏が出土した。また埋土上位からの出土であるが、f24・f25の金属製品が2点出土する。形状から見て蕨手刀の座金具と考えられる。(遺物図版83･134･187　写真図版242･243･281)



pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
深さ(cm)	48	58	80	58	25	12	31	32	31	25	25

SI21 (A-A'・B-B')

0　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　耕作時のカクラン？

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　砂、土器、焼土粒含む。砂の多寡等で地点により若干の変異あり。

2　10YR4/4 褐色　砂　再堆積。炭化物僅かに含む。西側の方が砂多い。

3　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト

4　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　汚れたⅢ層。

5　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　砂多く含み、炭化物含む。掘り方埋土。

SI21 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR4/2 灰黄褐色地に 2.5YR4/6 赤褐色のブロック　砂質シルト　焼土ブロック多く含む。

2　10YR3/2 黒褐色　砂　もろい。黒っぽい焼土ブロックと砂再堆積の集合体。

3　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　非常にもろい。砂再堆積。

4　10YR3/2 黒褐色　砂　非常にもろい。黒っぽい焼土。

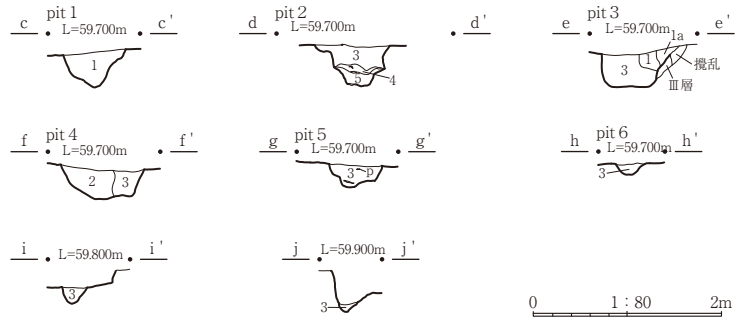
5　10YR4/3 にぶい黄褐色地に 2.5YR4/6 赤褐色のブロック砂　硬く締まる。カマド袖土（砂起源土）に焼土粒混じったもの。

6　2.5YR4/6 赤褐色　砂質シルト　焼土。耕作時のカクランを受けていて地点により様相異なる。

7　10YR4/4 褐色　砂　硬く締まる。カマド袖残骸。

8　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　カマド（住居）掘り方埋土。

9　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　Ⅳ層に炭化物、焼土粒僅かに含む。カマド掘り方の可能性あり。



SI21 pit1 ～ 6・周溝 (c-c' ～ j-j')

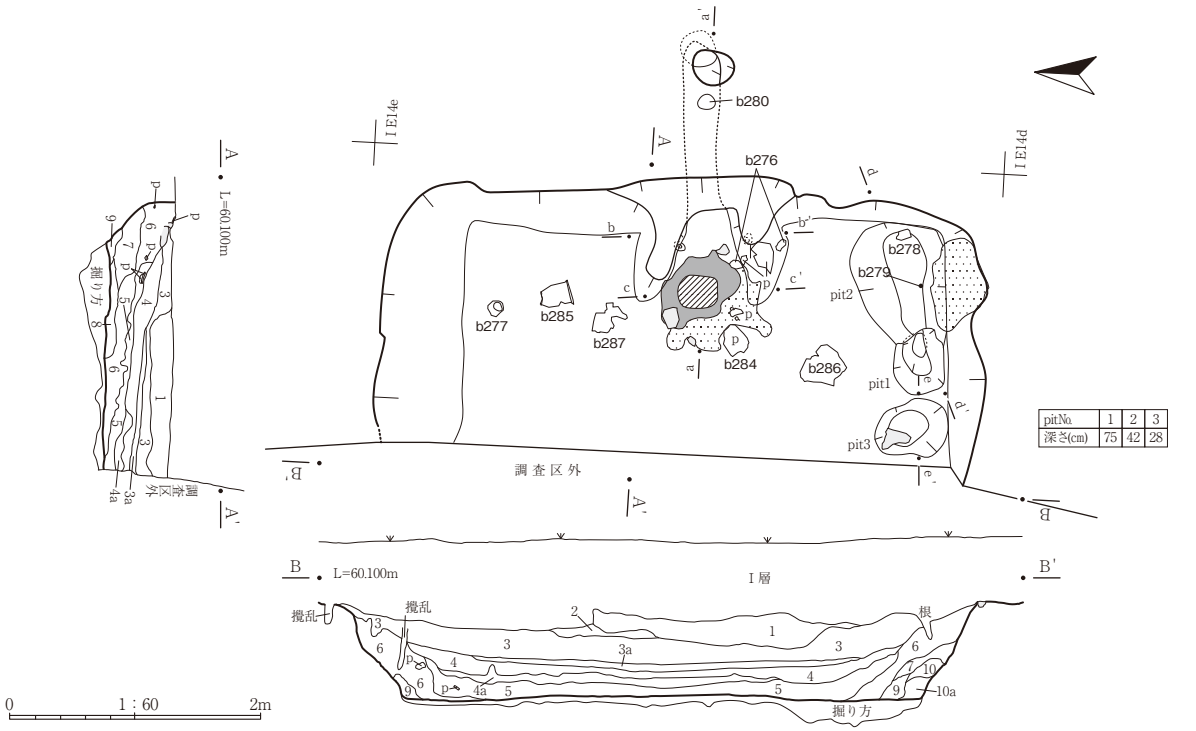
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　硬く締まる。1㎝大以下の炭化物、焼土ブロック含む。

1a　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　非常に硬く締まる。焼土粒多い。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　砂多く、焼土ブロック含み、炭化物少ない。

3　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　砂多く含み、炭化物僅かに含む。

第55図　SI21住居跡



pitNo.	1	2	3
深さ(cm)	75	42	28

SI22 (A-A'・B-B')

1　10YR3/2黒褐色　砂質シルト　しまり･粘性ややなし。炭化材(径～1㎝)少量。(炭は減るが２層に似る自然堆積)

2　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。３層の砂多量に混じる。

3　10YR3/4 暗褐色　砂　しまりややなし、粘性なし。

3a 10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。３層に土が混じる。

4　10YR3/4 暗褐色　砂　しまりややなし、粘性なし。３層に似る。

4a 10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりややなし、粘性なし。５層の影響で酸化鉄著しい。

5　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。酸化鉄。グライ化土。下位に遺物。

6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。炭化材極少量散在。

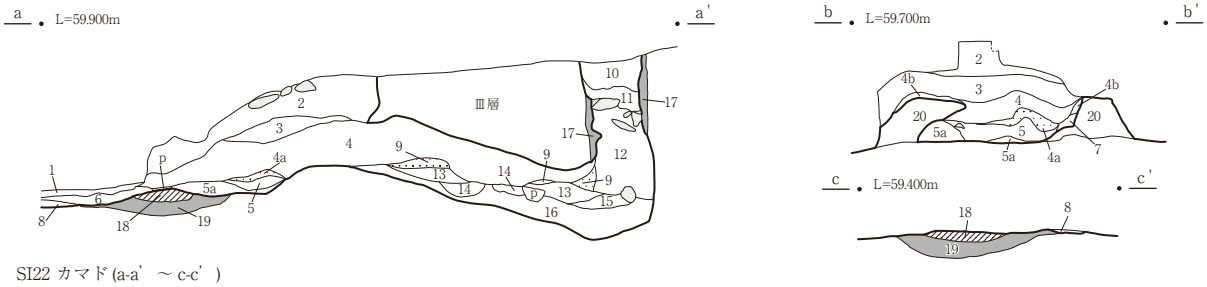
7　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。

8　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。炭化材・焼土粒少量。

9　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土少量。

10　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。壁崩落土 (他の壁にはない)。

10a 10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。壁崩落土 (他の壁にはない)。



SI22 カマド (a-a' ～ c-c')

1　住居埋土８層。

2　住居埋土７層。

3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。上位に焼土粒少量。

4　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂混じる。

4a 5YR3/2 暗赤褐色　シルト　被熱土ブロック。

4b 4 層に炭化材混じる。

5　5YR3/1 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。焼土・炭化材まだらに混じる。

5a 5 層に黄褐色土が細かいブロックで含まれる。

6　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。砂混じり。

7　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。砂混じり。下面に焼土粒含む。

8　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。19 層ブロック (径～ 1 ㎝)、炭化物粒 (径～ 1 ㎝) 各 20%。

9　5YR3/4暗赤褐色　シルト　しまりなし､粘性中。焼土ブロック。崩落層。

10　10YR3/3 暗褐色　砂　しまりあり、粘性なし。

11　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10 層 5%、炭 1%。

12　11 層に 10 層混じらず。炭 10%、礫 (径～ 10 ㎝)10%。

13　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりなし、粘性中。炭化物 20%。

14　10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと 5YR3/4 暗赤褐色シルト (焼土) の混合土 (5：5)　しまりなし、粘性中。

15　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性中。

16　5YR3/3 暗赤褐色　シルト (焼土)　しまりなし、粘性中。炭化物、10YR3/3 暗褐色シルトの混合土 (3：5：2)。

17　煙出し縁の焼土、内側 5YR2/2 黒褐色、外側 5YR3/3 暗赤褐色。

18　7.5YR6/8 橙色　シルト　しまり極あり､粘性なし。焼土かなり硬化。

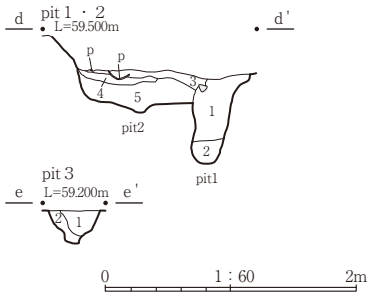
19　2.5YR5/8 明赤褐色 (内側) ～ 2.5YR4/4 にぶい赤褐色 (外側) グラデーション　シルト　しまりあり～中、粘性なし。焼土。

20　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂混じる。土器片や礫が構築材に使われる (袖構築土)。

※８層、袖構築土と思われる。

0　1：30　1m

第56図　SI22住居跡（１）



SI22 pit1・2 (d-d')
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。砂混じり。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭・焼土粒中量。
4　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。砂多く混じる。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂質土ブロック少量。

SI22 pit3 (e-e')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。炭少量。
2　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。砂混じり。

第57図　SI22住居跡（２）

ＳＩ２２住居跡（第56・57図　写真図版30）

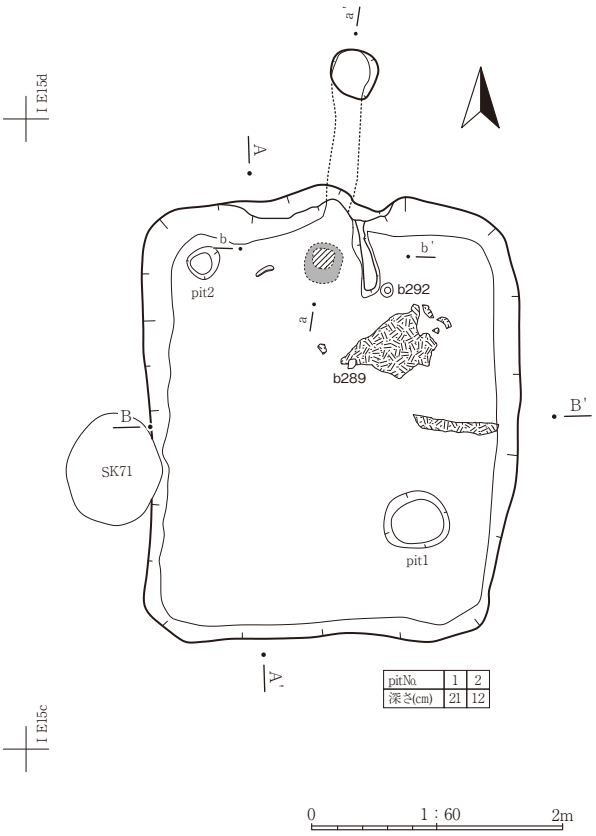
検出状況　Ⅱ層上面、調査区西際に黄褐色砂の方形プランを検出した。**形状**　全体は不明であるが、方形基調と考えられる。**床面・壁**　床は概ね平坦で、酸化鉄を多く含みグライ化が著しい。壁は外傾気味に立ち上がる。**堆積土**　暗褐色のシルト・砂を主体とする。床面直上に堆積するのは、締まり・粘性の強い灰黄褐色シルトで、グライ化が著しい。壁際には黄褐色～褐色シルトが堆積し、壁崩落土の様相を示す。５層より上位では、洪水によって堆積したと考えられるレンズ状の砂層を確認した。**柱穴**　南壁際に３基検出するが、主柱穴かどうかは不明である。なおpit１はpit３を切る。**カマド**　東壁中央に１基検出した。袖は砂が混在する粘性の弱い褐色シルトで構築される。南側の袖は手前が低く、付近に袖構築土と同様の砂質土がブロック状に散乱することから、燃焼部の破壊が行われたと考えられる。燃焼面は橙色を呈し上面の硬化が著しい。燃焼面奥には20cm大の礫が置かれ、支脚として使用されたと考えられる。煙出し孔の側壁にも顕著な熱変色部分が認められる。**遺物出土状況**　床面からの出土が多い。pit2には須恵器坏（b278・b279）が略完形で、掘り方土内からは小型の甕（b288）が出土した。（遺物図版84　写真図版243）

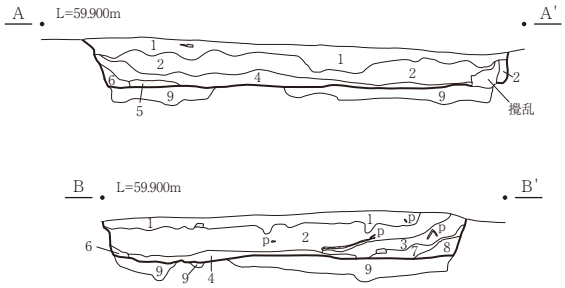
ＳＩ２３住居跡（第58図　写真図版31）

形状　方形基調で南北にやや長い。**床面・掘り方**　床は概ね平坦で硬く締まる。中央一部を除き掘り方が確認され、縁辺部がより深い。**堆積土**　暗褐色シルトを主体とし締まっている。床面直上を灰黄褐色シルト層が覆う。東壁際にのみ炭化材が混在する褐色～灰黄褐色シルト層（８層）の堆積を確認した。レンズ状の堆積を示し、グライ化土がブロック状に混じる。炭化材を含む２層はこの上位に堆積しており、一部の焼失に伴い東壁付近を人為的に埋め戻し廃絶に至った可能性がある。２層は全体に炭化材が散在するが、材の規模がわかるものは北東部のみに集まる。**カマド**　東袖の状態から、Ⅲ層を掘り残しその上に暗褐色粘土質シルトを貼り付けて構築していたと思われる。煙道は刳り抜き式で、底部は燃焼部から北壁に向かい若干上昇した後、煙出し孔に向かって急激に下降する。燃焼部は強く被熱しており、中央部が硬化し白色化している。**柱穴**　２基検出された。性格不明である。**遺物出土状況**　古代土器５点（b289～ b293）・金属製品１点（f32）を掲載した。b292はカマド東袖前から、b289・b291は床面・床面直上から出土したものである。（遺物図版84　写真図版243）

ＳＩ２４住居跡（第59～61図　写真図版32）

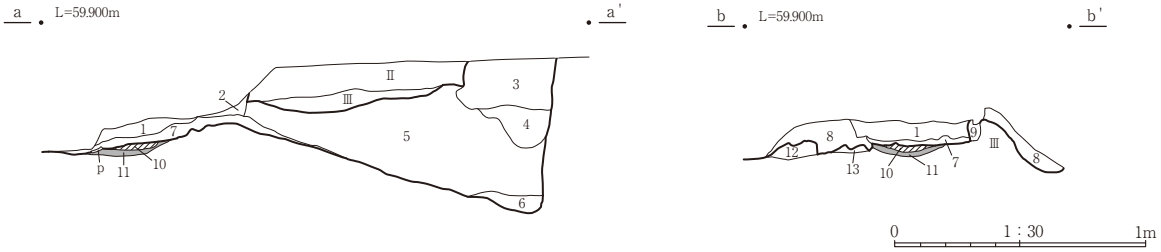
検出状況　基本土層と遺構堆積土が非常に似ており、カマド燃焼部付近を重機で掘り下げた際に袖石や焼土ブロックが検出され本遺構の存在に気付いた。そのためカマド付近より先に表土除去を行っていた住居本体の上部は、本来残存する範囲を削平している。また住居の存在がはっきりしていてもな





SI23 (A-A'・B-B')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材少量。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。焼土粒少量。砂混じり。東部には多量の炭化材。
3　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭化材少量、黄褐色砂多量。東壁だけ。
4　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。黄褐色土ブロック少量。
5　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。焼土粒少量。
6　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色土ブロック少量。炭化材極少量散在。
7　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材少量。東壁だけ。
8　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材少量、グライ化土ブロック状に。東壁だけ。
9　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂ブロック (径～ 5 ㎝)10%。掘り方。



SI23 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
2　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりなし、粘性中。5YR5/6 明赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 5%。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。5YR3/1 黒褐色焼土ブロック (径～ 1 ㎜)5%。
4　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりなし、粘性中。
5　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりなし、粘性中。炭化物 (径～ 2 ㎝)1%。基本層序Ⅱ～Ⅲ層上位の崩落。
6　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎝)30%。
7　5YR5/6 明赤褐色・5YR3/3 暗赤褐色　焼土ブロックと 10YR4/2 灰黄褐色砂質シルトブロック (いずれも径～ 1 ㎝) の混合土。
8　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。炭化物粒 (径～ 1 ㎝)5%、焼土粒 (径～ 5 ㎜)3%。
9　5YR5/6 明赤褐色～ 5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまり中、粘性なし。被熱土。
10　5YR3/6 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土硬化。
11　5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土。
12　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。10YR5/4 にぶい黄褐色粘土ブロック (径～ 5 ㎜)5%。袖構築土。
13　12 層に似る。

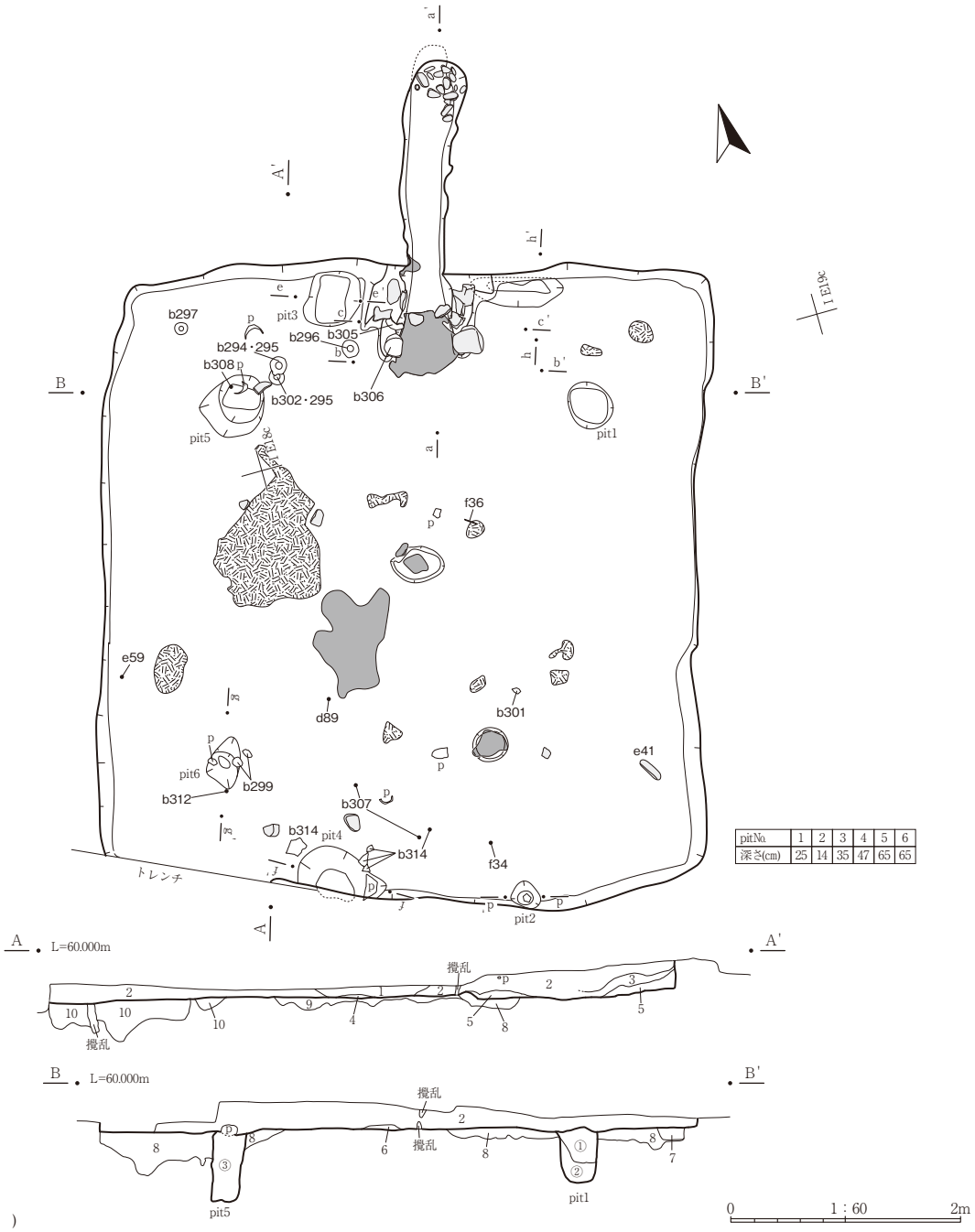
SI23 pit1（注記のみ）

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)10%。

SI23 pit2（注記のみ）

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。

第58図　SI23住居跡



SI24 (A-A'・B-B')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。褐色砂少量、炭化物・焼土 (径～ 1 ㎜前後)1%。

2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。炭化物・焼土 (径～ 2 ㎜以下)2%、グライ化した土少量、10YR3/1 黒褐色　シルトブロック (径～ 2 ㎜以下)1 ～ 3%、10YR5/6 黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎜以下)3 ～ 5%。

3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。焼土 (径～ 1 ㎜以下) 極少量、10YR5/6 黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎜以下) 下位に多量。

4　炭化物層。

5　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。炭化物 (径～ 1 ㎜以下) 極少量。

6　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。炭化物 (径～ 5 ㎜以下)1%、焼土 (径～ 1 ㎜以下)1%。

7　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎜以下)1%、5YR5/6 明赤褐色　焼土ブロック (径～ 2 ㎜以下)1%、褐色砂極少量。

8　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。地山の褐色砂少量、焼土 (径～ 1 ㎜)1%、10YR4/1 褐灰色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%。

9　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。地山の褐色砂やや多い。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%。

10　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。焼土 (径～ 5 ㎜)1%、地山の砂少量。

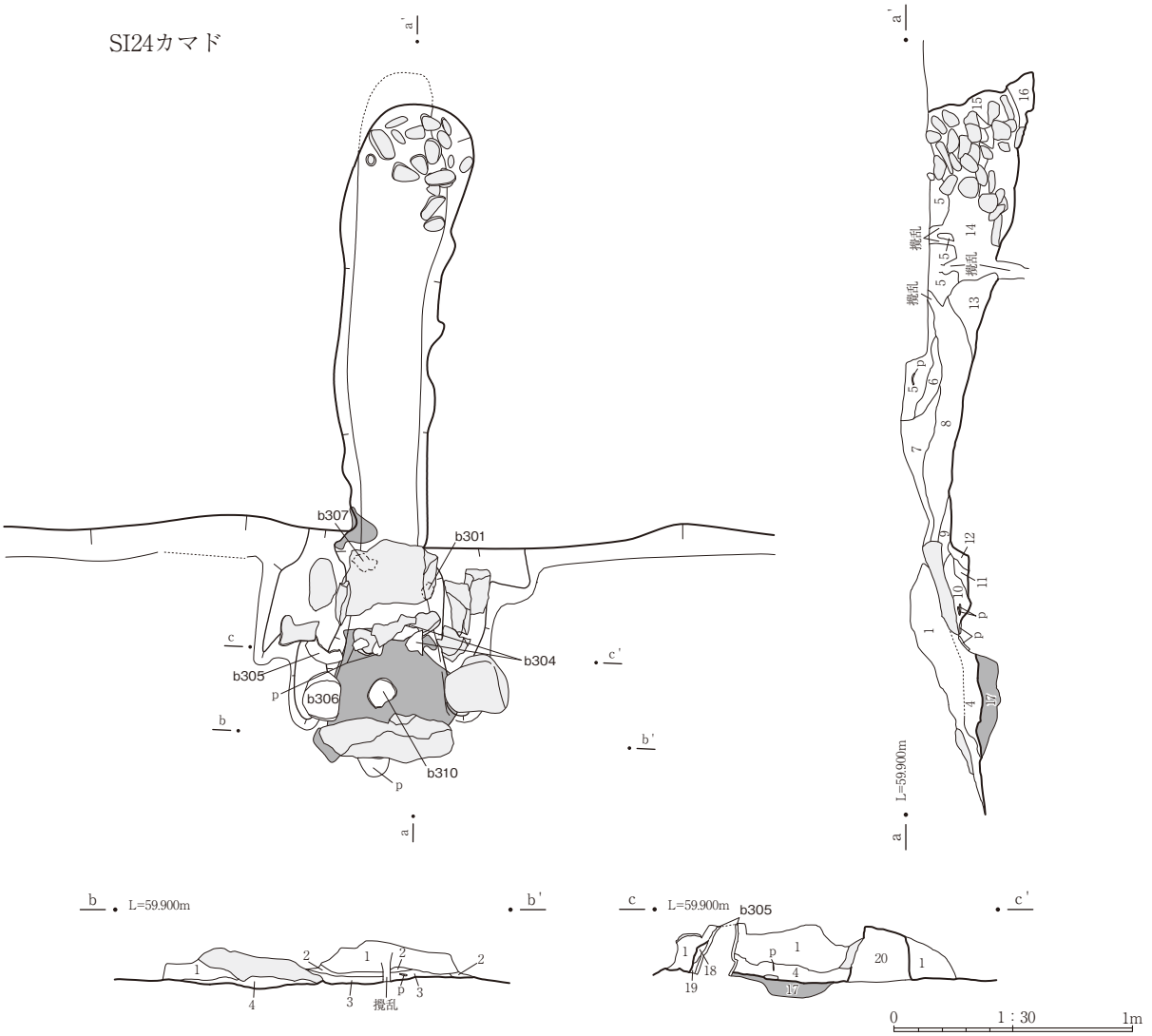
※ 8 ～ 10 層、掘り方。

①　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。褐色砂やや多く、炭化物 (径～ 5 ㎜以下)1%、10YR2/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎜前後) 1%。pit1。

②　10YR4/4 褐色砂　　10YR3/3 暗褐色シルト少量。掘り過ぎ？。pit1。

③　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。地山の褐色砂多量。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1%、10YR5/8 黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1%。※主柱穴、pit 6 の埋土とほぼ同じ。pit5。

第59図　SI24住居跡（1）



SI24 カマド (a-a’ ～ c-c’)

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/6 褐色　砂多量、炭化物 (径 1 ～ 2 ㎜)1%、10YR3/4　暗褐色シルト粒 (径～ 2㎜以下)1 ～ 2%、10YR5/6　　黄褐色シルト粒 (径～ 2㎜以下)2 ～ 3%、10YR4/6 褐色シルト粒 (径～ 5 ㎜以下)2 ～ 3%、焼土 (径～ 5 ㎜以下)2 ～ 3%。

2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色焼土が板状に薄く入る。炭化物 (径～ 1 ㎜以下)1%。天井崩落土。

3　1 層と似る。

4　5YR4/4 にぶい赤褐　シルト、5YR5/6 明赤褐色シルトを含む。

5　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR3/1 黒褐色シルト粒 (径～ 5 ㎜以下)1 ～ 2%、焼土・炭化物 (径～ 2 ㎜以下)1%、地山の褐色砂少量。

6　5 層と同じだが、炭化物が層になっている (厚さ 5 ㎜前後)。

7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径～ 5 ㎜以下)1%、2.5YR3/2 暗赤褐色　焼土 (径～ 5 ㎜以下)1%、10YR6/8 明黄褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜前後)1%、10YR5/8 黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1 ～ 2%。5 層と似ているが、5 層よりも若干色が明るく、砂をごく少量しか含まない。

8　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物 (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%、2.5YR3/2 暗赤褐色 (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%、10YR5/8 黄褐色　シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)5 ～ 7%。

9　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土 (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%。11 層上位にも薄く入る。

10　10YR4/4　褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土粒 (径 2 ～ 5 ㎜)2 ～ 7%。弱く焼けている。

11　2.5YR2/1　赤黒色　シルト　しまり中、粘性あり。焼土ブロック (径～ 1 cm)1 ～ 2%。

12　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。11 層の 10YR4/4　褐色シルト少量、焼土 (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%、炭化物 (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%。

13　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物 (径～ 5 ㎜以下) 1 ～ 2%、10YR5/8 黄褐色シルトブロック (径 5 ～ 20 ㎜)3 ～ 5%。2.5YR3/2 暗赤褐色　焼土 (径～ 15 ㎜以下)1%。

14　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径～ 2 ㎜以下)1%、2.5YR3/2 暗赤褐色焼土 (径～ 5 ㎜以下)2 ～ 3%、10YR5/8 黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)2%。

15　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物 (径～ 1 cm以下)3 ～ 5%、10YR5/8 黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下) 3%、2.5YR3/2 暗赤褐色焼土 (径～ 5 ㎜以下)5 ～ 7%。※径～ 10 ～ 20 cm程の礫多量。下面に断片的に炭化物層入る。

16　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性ややなし。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1%、炭化物極少量。

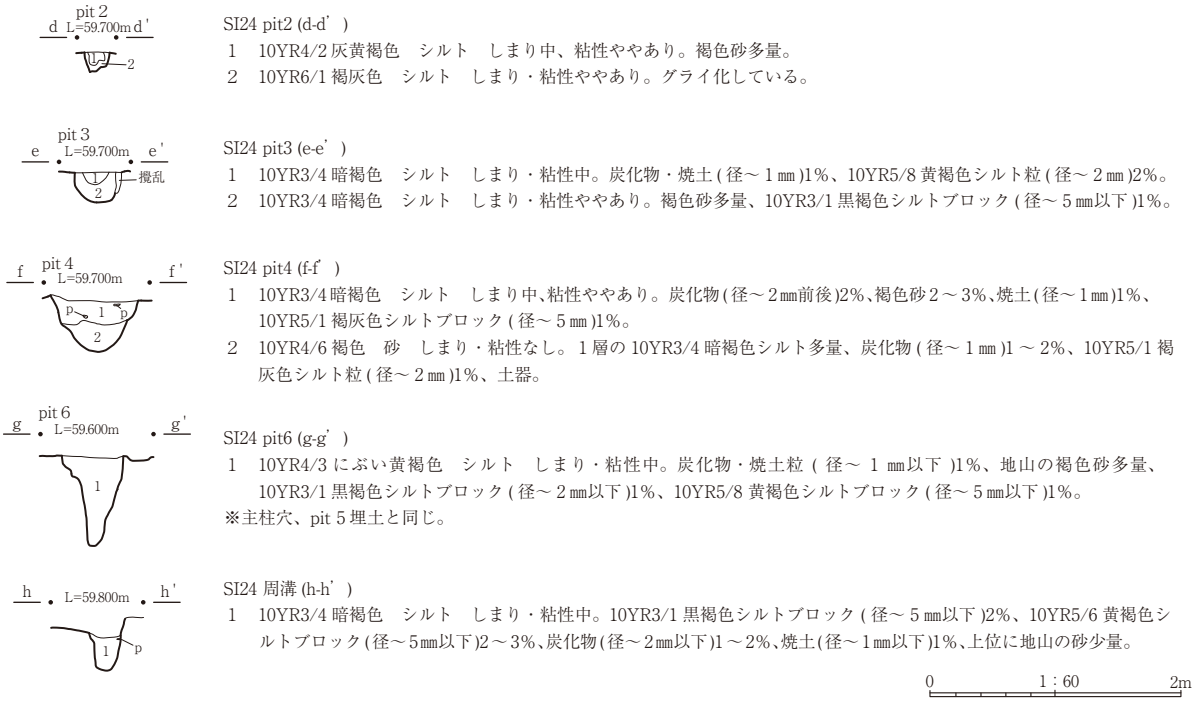
17　2.5YR4/6 赤褐色　焼土　しまりややなし、粘性中。※燃焼部。

18　10YR5/6 黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性なし。焼土少量。※袖。

19　18 層と同じ。10YR3/4 暗褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜前後)2%。※袖。

20　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土 (径～ 2 ㎜前後)2 ～ 3%、褐色砂少量。

第60図　SI24住居跡（2）



SI24 pit2 (d-d’)
1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。褐色砂多量。
2　10YR6/1 褐灰色　シルト　しまり・粘性ややあり。グライ化している。

SI24 pit3 (e-e’)
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物・焼土 (径～ 1 ㎜)1%、10YR5/8 黄褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)2%。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。褐色砂多量、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1%。

SI24 pit4 (f-f’)
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径～ 2 ㎜前後)2%、褐色砂 2 ～ 3%、焼土 (径～ 1 ㎜)1%、10YR5/1 褐灰色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%。
2　10YR4/6 褐色　砂　しまり・粘性なし。1 層の 10YR3/4 暗褐色シルト多量、炭化物 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%、10YR5/1 褐灰色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1%、土器。

SI24 pit6 (g-g’)
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物・焼土粒 (径～ 1 ㎜以下)1%、地山の褐色砂多量、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎜以下)1%、10YR5/8 黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)1%。
※主柱穴、pit 5 埋土と同じ。

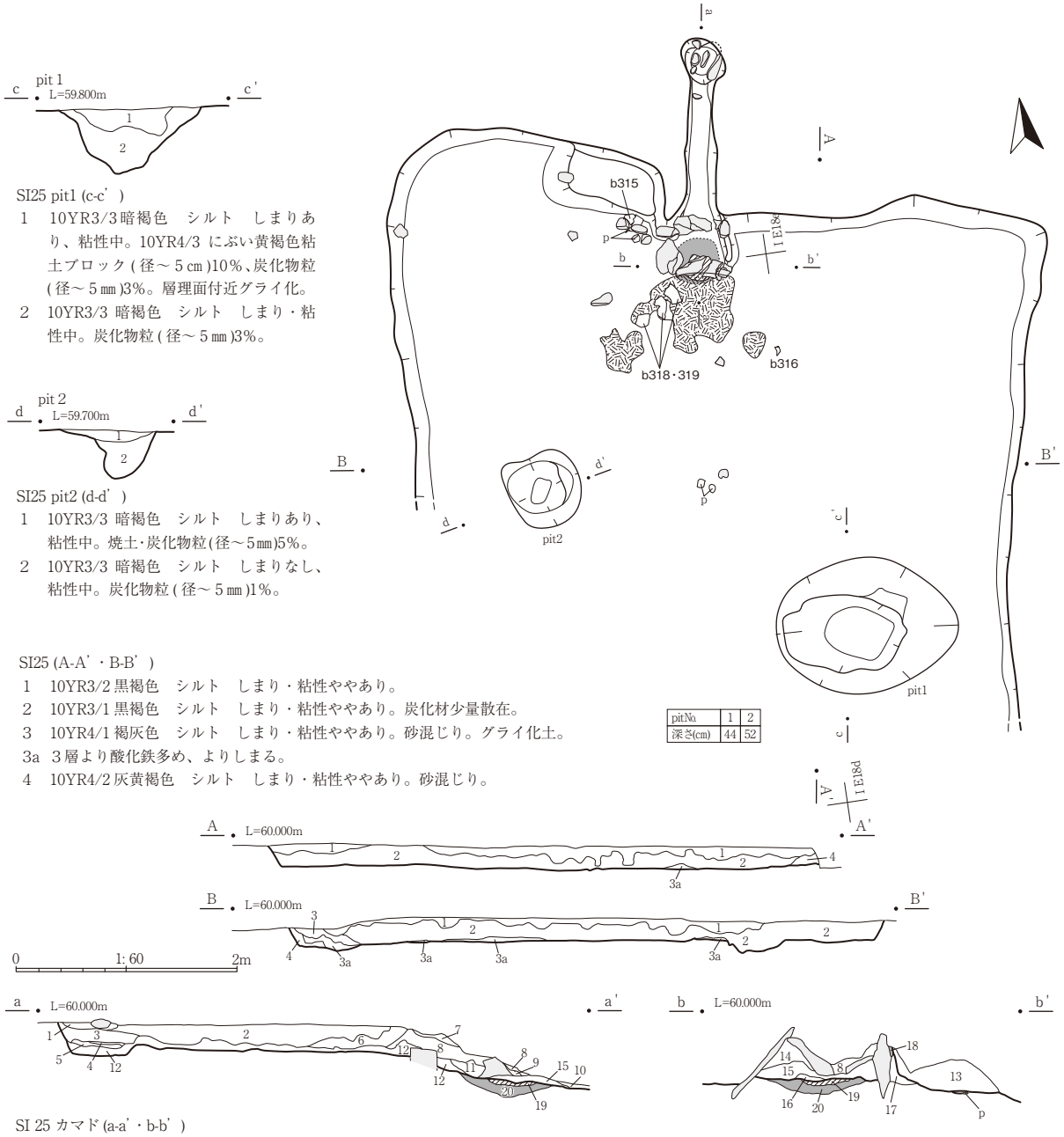
SI24 周溝 (h-h’)
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)2%、10YR5/6 黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜以下)2 ～ 3%、炭化物 (径～ 2 ㎜以下)1 ～ 2%、焼土 (径～ 1 ㎜以下)1%、上位に地山の砂少量。

第61図　SI24住居跡（３）

お、プランが不明瞭で、南西隅は確認トレンチで削平してしまった。**形状**　方形基調である。**床面・壁面**　顕著な硬化面は見られず、遺物の出土と焼土の検出により床面と判断した。中心部より壁際が緩やかに低くなる。**カマド**　北壁中央に設置される。崩落しているが、天井部や袖に芯材として複数の礫や土器が使われている。西袖の芯材に使用されていた土師器の非ロクロ甕（b305・b306）は倒立の状態で設置されており、底部が抜け落ちていた。燃焼面には礫が２点支脚として設置される。煙道は住居壁から緩やかに下り煙出し孔へと続く。煙出し孔堆積土中にはカマド廃絶時に投げ込まれたものだと思われる５㎝程の礫を多く含む。**柱穴**　pit ５・６は床面で検出できず、掘り方で確認した。位置と深さ（65㎝程度）から主柱穴と考えられる。pit ５と位置が対応するpit １は深さ25㎝と西側の２基と比べ浅い。南東部ではpit ６に対応する位置に柱穴は検出されず、壁際にpit ２がある。**床面焼土**　中央付近の床面に３箇所の焼土を検出した。うち２箇所では周囲の床面より一段低い円～楕円形の窪み内で被熱する。焼土はカマド燃焼部に比較し硬化が進んでおらず、弱い被熱と考えられる。焼土の周辺には炭化物がまとまるが、いずれも床面より若干高い位置にあり堆積土に含まれるものと判断した。**遺物出土状況**　床面から石製品（e59）・刀子（f34）が出土した。北西隅からは完形に近い坏類がまとまって出土した。（遺物図版84･85･134･142･146･188　写真図版243･244･281）

ＳＩ２５住居跡（第62図　写真図版33）

検出状況　南側は検出が困難で、重機による粗掘りで消失している。**形状**　隅丸方形基調で北壁西側に張り出しを持つ。カマド隣接部が棚状に高まるが、これ以外は床面と同レベルである。**床面・掘り方**　概ね平坦で堅く締まる。掘り方・貼床は確認されない。**堆積土**　黒褐色シルト主体で、最下位にグライ化したシルト層が薄く堆積している。西壁付近に顕著で、同方向から流入した可能性が高い。**カマド**　残存状態良好である。袖芯材には主に板状の角礫を整形して用い、立位に据えて周囲をにぶい黄褐色シルトなどで覆っている。板状礫は掛け口にも「二」字状に渡されていた。煙道底面は傾斜



SI25 pit1 (c-c')

1　10YR3/3暗褐色　シルト　しまりあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色粘土ブロック (径～ 5 cm)10％、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3％。層理面付近グライ化。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3％。

SI25 pit2 (d-d')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性中。焼土･炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5％。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1％。

SI25 (A-A'・B-B')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。

2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化材少量散在。

3　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり・粘性ややあり。砂混じり。グライ化土。

3a　3 層より酸化鉄多め、よりしまる。

4　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。砂混じり。

SI 25 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。円礫 (径～ 20 cm) 人為混入。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色焼土ブロック (径～ 1 cm)5％。

3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色焼土ブロック (径～ 5 cm)10％。

4　2.5YR3/1 暗赤灰色　シルト　しまりなし、粘性中。焼土・煙出し壁からの崩落か。

5　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまりなし、粘性中。焼土・煙出し壁からの崩落か。

6　2 層と同じで、2.5YR3/1 暗赤灰色・2.5YR3/3 暗赤褐色　焼土ブロック (径～ 2 cm) 各 10％。

7　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR5/6 明赤褐色焼土粒 (径～ 5 ㎜)3％。

8　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色・2.5YR3/3 暗赤褐色・2.5YR5/6 明赤褐色焼土ブロック (径～ 1 cm) 各5％。

9　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土・天井内側の崩落土。

10　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。炭化物 (径～ 1 cm) 40％、2.5YR5/6 明赤褐色焼土ブロック (径～ 1 cm)10％。

11　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性中。2.5YR3/3 暗赤褐色・2.5YR5/6 明赤褐色焼土ブロック (径～ 1 cm) 各 20％。天井部と燃焼部の間層。

12　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色・2.5YR3/3 暗赤褐色焼土全体に各 20％、炭化物粒 (径 1 ～ 5 ㎜)5％。

13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3％。

14　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR4/6 赤褐色　焼土粒 (径～ 5 ㎜)5％。

15　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR5/8 明赤褐色・2.5YR4/6 赤褐色・2.5YR3/2 暗赤褐色焼土ブロック (径～ 1 cm) 各 20％、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5％。

16　10YR6/4 にぶい黄橙色　シルト　しまりなし、粘性中。燃焼部上堆積物。

17　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。カマド袖構築土。

18　5YR3/4 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土。

19　5YR5/6 明赤褐色　シルト　しまり非常にあり、粘性中。焼土硬化。

20　2.5YR3/4 暗赤褐色　シルト　しまりあり、粘性中。焼土硬化。

第62図　SI25住居跡

せずほぼ平坦である。煙出し孔付近のみ柱穴状に幾分窪む。燃焼部は強く被熱しており、中央部が硬化し白色化している。煙出し孔上位には10～20㎝台の円礫２個が人為的に置かれていた。**柱穴**　２基検出したが、いずれも性格不明である。**遺物出土状況**　古代土器６点（a17・b315～ b319）、金属製品２点（f37・f152）を掲載した。b315～ b319はカマド付近床面等から出土したものである。（遺物図版3･85　写真図版182･244）

ＳＩ２６住居跡（第63図　写真図版34）

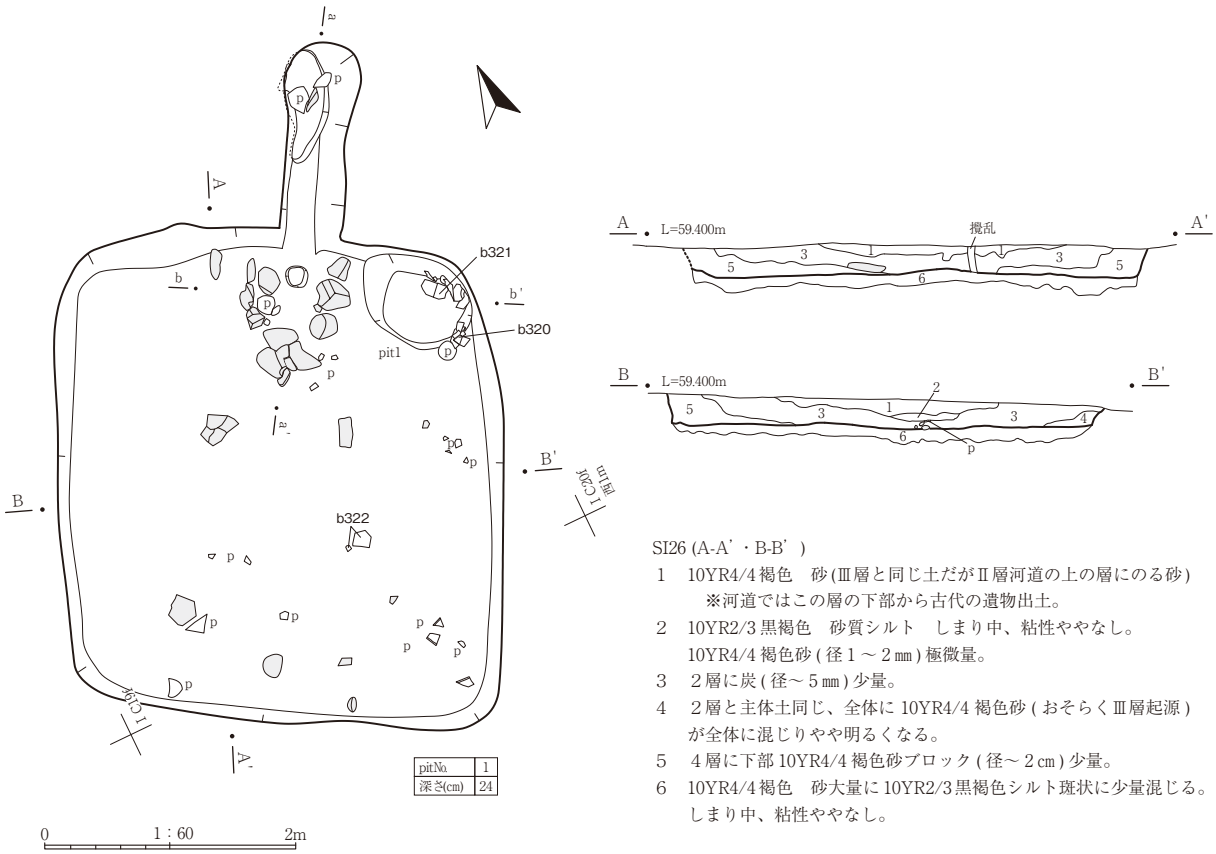
位置　今回検出した古代の竪穴住居跡では最南端に位置する。**形状**　方形基調である。**床面・壁面**　褐色砂に黒褐色シルトを混入する掘り方土を均して床面とする。概ね平坦で、砂質度の高い面を床としているため硬化する範囲は認められない。壁はほぼ直立する。**堆積土**　上部の洪水砂層と下部の黒褐色シルト層に大別される。中央部がレンズ状に下がる自然堆積の様相を示す。**カマド**　北壁ほぼ中央に設置されている。袖～天井部は礫を組んで芯材としており、燃焼部を囲むように崩落した礫が散在している。本来は礫の周りに褐色砂を貼り付けていたようで断面で残存部を確認できた。燃焼部内には焼土が形成されていないが、堆積土中には被熱土が含まれることから（７層）、全く使われていなかったのではなく、使用頻度が少なかったか、もしくは床面が砂質のため焼成が進まなかったのではないかと推測される。燃焼部奥（住居壁側）には小穴が検出されており、その位置から支脚設置痕の可能性がある。煙道部は住居壁から急勾配で下がり煙出し孔へと続く。煙出し孔内には礫や須恵器大甕片が混入していることから、煙出し孔を人為的に埋めたのち（５～８層）、煙道部内に天井崩落を伴いながら土が流入（３･４層）したようである。**柱穴･土坑**　カマド脇東側にpit１がある。内部に住居全体の堆積土が流入しており、廃絶時には開口していたようである。その位置もあわせて考えると貯蔵穴と推定される。上屋を支える主柱穴類は検出されていない。**遺物出土状況**　pit１の壁際床面よりやや低い位置に遺物が集中している。b320･b321ともカマド燃焼部内･煙道・床面など他の位置から出土した破片と接合する。（遺物図版86　写真図版244）

ＳＩ２７住居跡（第64図　写真図版35）

形状　掘り過ぎのため南～東壁の一部平面記録を欠くが、方形基調である。**重複**　SK75は本遺構精査後にプランを検出したもので新旧関係は不明である。**床面**　概ね平坦であるが、硬化が顕著な面は見られなかった。**堆積土**　西半に炭化物層（②・⑥層）が堆積する。上部の炭化物層（②層）の下は一部で焼土層（④層）が堆積し、次いでシルト層、更に下に炭化物層（⑥層）が堆積する。いずれも人為的に投げ込まれたものと思われる。一方で、SK75の西側に位置する焼土はB-B'断面10層に相当するもので、堆積土から床面にかけて被熱している。埋没途中に焼成が行われていたようである。**柱穴**　配置からpit１・２・３が主柱穴と考えられる。南西部では主柱穴を構成する柱穴は確認できなかった。pit１の断面では柱の痕跡と思われる空洞を確認した。**カマド**　燃焼部・煙出し孔ともに検出されなかった。前述したSK75西側の焼土に加え北壁付近の焼土も堆積土中に形成されたものである。**遺物出土状況**　３層以下～床面までの出土が多い。西半の炭化物層の土壌サンプルを採取した結果、炭化種子が多量に含まれていた（第Ⅴ章３－３（１））。（遺物図版86･188　写真図版245）

ＳＩ２８住居跡（第65図　写真図版36）

形状　東側が調査区外のため全容は不明であるが方形基調である。西側と北側の一部を攪乱で消失している。**床面**　中心部で硬く締まり、その周りは床面の判別が明瞭でない。そのため中央部のレベルを手がかりにして、周りの床面の検出を進めた。東側の床面が若干高い。**堆積土**　主体土は黒褐色～暗褐色



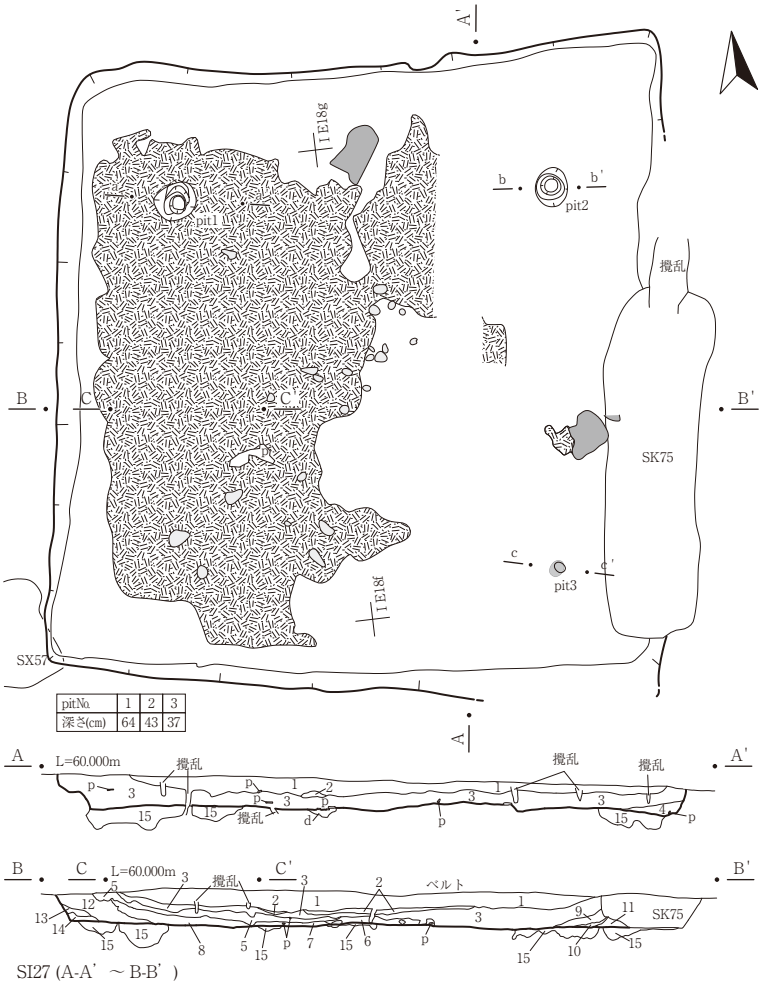
SI26 (A-A'・B-B')

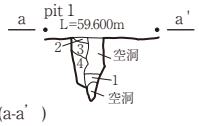
1　10YR4/4 褐色　砂(Ⅲ層と同じ土だがⅡ層河道の上の層にのる砂)
　※河道ではこの層の下部から古代の遺物出土。
2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。
　10YR4/4 褐色砂 (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。
3　2 層に炭 (径～ 5 ㎜) 少量。
4　2 層と主体土同じ、全体に 10YR4/4 褐色砂 (おそらくⅢ層起源) が全体に混じりやや明るくなる。
5　4 層に下部 10YR4/4 褐色砂ブロック (径～ 2 ㎝) 少量。
6　10YR4/4 褐色　砂大量に 10YR2/3 黒褐色シルト斑状に少量混じる。しまり中、粘性ややなし。

SI26 カマド (a-a'・b-b')

1　住居埋土 3 層。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂やや多量全体に混じる。
3　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂大量全体にこなれて混じる。(天井崩落土)
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂少量全体に混じる。
5　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂多量全体に混じる、炭 (径～ 1 ㎝) 少量。
6　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂 (径～ 2 ㎝) 少量、炭 (径 2 ～ 3 ㎜) 微量。
7　7.5YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。主体土やや被熱。炭・焼土ブロック (径～ 1 ㎜) 極微量。
8　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。
9　10YR4/4 褐色　砂質シルト。
10　10YR4/4 褐色砂大量に 10YR2/3 黒褐色シルト少量。しまり中、粘性ややなし。袖土。
11　10YR4/4 褐色　砂　崩落していない層。

第63図　SI26住居跡





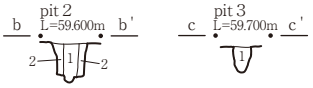
SI27 pit1 (a-a')

1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。炭化物掘り方埋土よりやや多く、褐色砂少量。上下空洞。柱痕

2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。褐色砂少量、炭化物 (径～ 2 ㎜前後)1%、10YR5/2 灰黄褐色シルト (グライ化) 少量。

3　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物 (径～ 1 ㎜以下)1%、10YR4/1 褐灰色シルト粒 (径 2 ～ 5 ㎜)1%、褐色砂少量。

4　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物 (径～ 2 ㎜以下)1%、10YR4/2 灰黄褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜以下)1%、褐色砂少量。３層に似るが、砂の割合が３層より多い。



SI27 pit2 (b-b')

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。褐色砂 (地山) 少量。焼土 (径～ 1 ㎜) 極少量。※柱痕跡。２層よりしまりなし。

2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。褐色砂少量。炭化物 (径～ 2 ㎜)1%。10YR6/1R 褐灰色シルトブロック (グライ化・径～ 5 ㎜)1%。※掘方。１層よりしまる。

SI27 pit3 (c-c')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎜以下)1%、地山砂極少量。中位の縁にさび。10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%。柱痕。掘り方は不明。

0　1：80　2m

SI27 (A-A' ～ B-B')

1　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性なし。焼土・炭化物 (径～ 2㎜)1 ～ 2%。

2　10YR5/1 褐灰色　シルト　しまりややあり、粘性中。グライ化層。炭化物 (径～ 2 ㎜前後)2 ～ 3%、焼土 (径～ 2 ㎜前後)1 ～ 2%。

3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。炭化物 (径～ 2 ㎜)3%、焼土 (径～ 2 ㎜)2 ～ 3%、１層の砂少量。間に厚さ１～２㎜の炭化層挟む。

4　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物 (径～ 1 ㎜) 1%、地山の砂少量。10YR4/1 褐灰色シルトブロック (径～ 5 ㎝)1%。

5　7.5YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR3/4 暗褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)7%、炭化物 (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%、5YR6/8 橙色　焼土ブロック (径～ 2 ㎜)2 ～ 3%、5YR4/4 にぶい赤褐色　焼土ブロック (径～ 1 ㎝)2%。※炭と混ざって、黒っぽい色をしている土。

6　10YR4/2　灰黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。炭化物・焼土・10YR3/1　黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%、褐色砂ブロック (径～1 ㎝)3 ～ 5%、10YR7/2 にぶい黄橙色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1%。

7　7.5YR3/1　黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。焼土 (径～ 5 ㎜) 2%、炭化物 (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%、褐色砂ブロック (地山・径～ 1 ㎝)3%、７層の 10YR6/3 にぶい黄橙色シルトブロック (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。

8　C-C'①～⑦層。

9　10YR4/4　褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR6/6　明黄褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1%。焼土 (径～ 5 ㎜)2 ～ 3%。炭化物 (径～ 2 ㎜)1%。下面に炭化物・焼土ブロック多い薄層が堆積する。

10　2.5YR5/8 明赤褐色　焼土　しまり・粘性中。

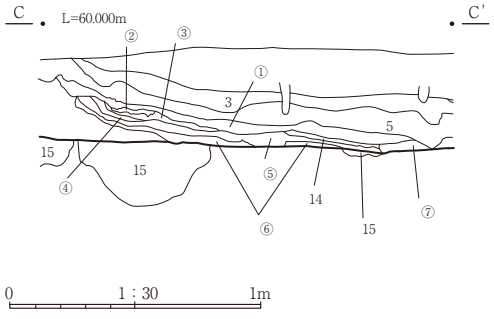
11　１層と同じ。しまり・粘性ややなし。10YR6/6 明黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%。炭化物 (径～ 1 ㎜)1%。焼土 (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%。

12　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎜前後)1 ～ 2%、10YR3/1　黒褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1%。下位はグライ化している。

13　10YR4/2　灰黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。炭化物・10YR3/1 黒褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1%、10YR3/4　暗褐色シルト粒 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%。

14　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎜)1%、10YR3/1 黒褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1%、地山の褐色砂極少量。

15　10YR3/3　暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR5/6　黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)3 ～ 5%、焼土 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%、炭化物 (径～ 5 ㎜)1%、10YR3/1　黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)2%、10YR5/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1%、地山褐色砂少量。



SI27 (C-C')　※①～⑦以外は B-B' 注記に同じ

①　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。焼土 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%、10YR4/4 褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)5 ～ 10%、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%、炭化物 (径～ 2 ㎜前後)3 ～ 5%。

②　炭化物層。①層にある 10YR4/4 褐色シルト少量。

③　10YR7/2 にぶい黄橙色　シルト　しまり・粘性なし。10YR4/4 褐色シルト少量。灰？

④　2.5YR3/2 暗赤褐色　焼土　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色シルト少量。上部に薄く炭化物が混ざる。

⑤　③層と似る。2.5YR3/2 暗赤褐色　焼土ブロック (径～ 5 ㎜)1%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト少量、炭化物 (径～ 5 ㎜)1 ～ 2%。

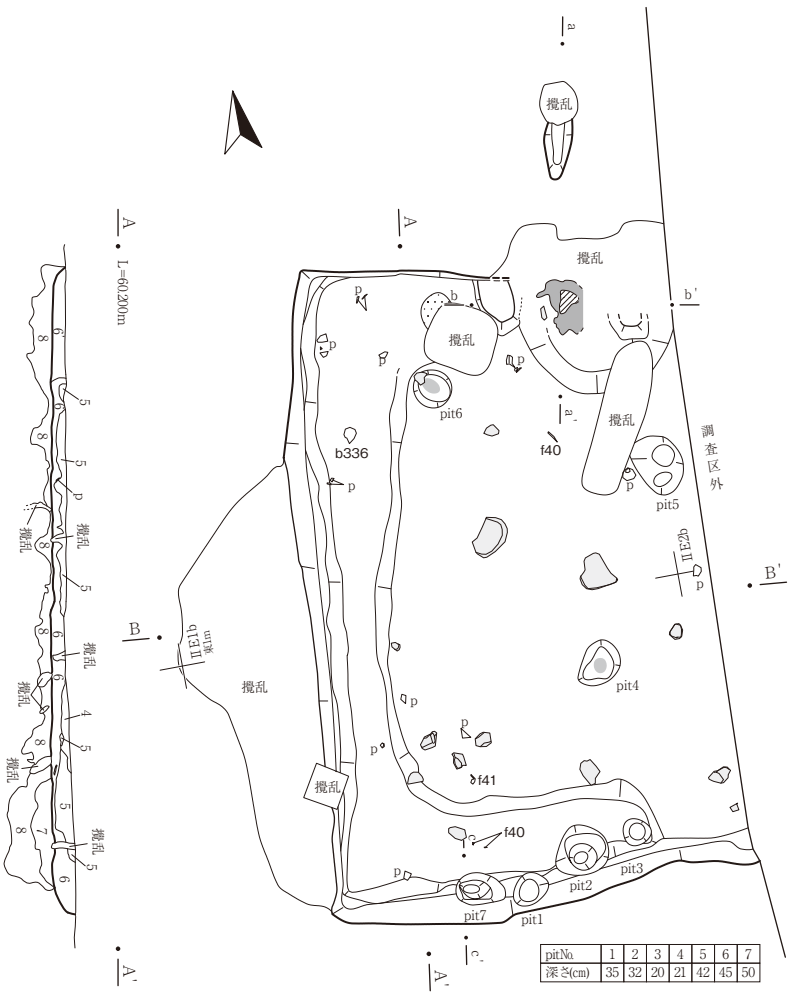
⑥　炭化物層。下位に 2.5YR3/2 暗赤褐色　焼土が薄く入る。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト少量。

⑦　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。焼土 (径～ 2 ㎜)1 ～ 2%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト粒 (径～ 1 ㎜)1 ～ 2%。炭と焼土と土が混在。

第64図　SI27住居跡

SI28 (A-A’・B-B’)

1　10YR3/3 暗褐色　砂　しまりあり、粘性なし。10YR3/4 暗褐色シルトブロック (径 5 ～ 10 ㎜)10%、炭化物 (径 2 ～ 5 ㎜)3%。攪乱。
2　1 層と同じ主体土。10YR3/4 暗褐色シルトブロック (径 1 ～ 2 ㎝)1%、炭化物 (径～ 1 ㎜) 3%。攪乱。
3　10YR3/4　暗褐色　砂　しまり・粘性なし。炭化物 (径～ 1 ㎜)1%。攪乱。
4　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややなし。
5　10YR4/3　にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。炭化物(径1～2㎜)1%。
6　10YR3/2　黒褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性ややなし。焼土 (径 2 ～ 5 ㎜)1%、炭化物 (径 5 ～ 10 ㎜)2%。全体的にグライ化している。
6’10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややなし。全体的にグライ化している。A-A’の 6 層の部分のみ分けられるように見えるが、中央部分では 6’ 層と分層不能。
7　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性あり。Ⅲ層ブロック (径 1 ～ 2 ㎜)7%、炭化物 (径 5 ～ 10 ㎜)10%、焼土ブロック (径～ 2 ㎜)1%。
8　10YR3/3　暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭化物 (径～ 5 ㎜)1%、Ⅲ層ブロック (径 5 ～ 10 ㎜)20%。
9　8 層と同じ主体土。しまりあり、粘性ややなし。炭化物 (径～ 5 ㎜)7%、Ⅲ層ブロック (径～ 1 ㎝)30%。



pitNo.	1	2	3	4	5	6	7
深さ(cm)	35	32	20	21	42	45	50

pit 7

SI28 pit7 (c-c’)

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性あり。
2　10YR3/3 暗褐色と 10YR4/4 褐色の混合土　しまり・粘性あり。1 層の縁はグライ化している。

0　1：60　2m

SI28 カマド (a-a’・b-b’)

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。焼土粒 (径 1 ～ 2 ㎜)1%。1 ～ 4 層攪乱。
2　1 層と同じ主体土。しまりややなし、粘性あり。黄褐色ブロック (径 1 ～ 2 ㎜)3%。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性あり。
4　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。焼土粒 (径 2 ～ 5 ㎜)3%。
5　5YR2/3 極暗赤褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。暗褐色ブロック (径 2 ～ 5 ㎜)25%。
6　2.5YR4/6 赤褐色　焼土　しまり極めてあり、粘性なし。燃焼部焼土、硬化。
7　2.5YR3/6 暗赤褐色　焼土　しまりあり、粘性なし。燃焼部焼土。
8　10YR3/4　暗褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややなし。褐色ブロック (径 5 ～ 10 ㎜)20%。カマド掘り方？袖？。
9　10YR3/3 暗褐色～ 10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。住居床掘り方？

0　1：30　1m

第65図　SI28住居跡

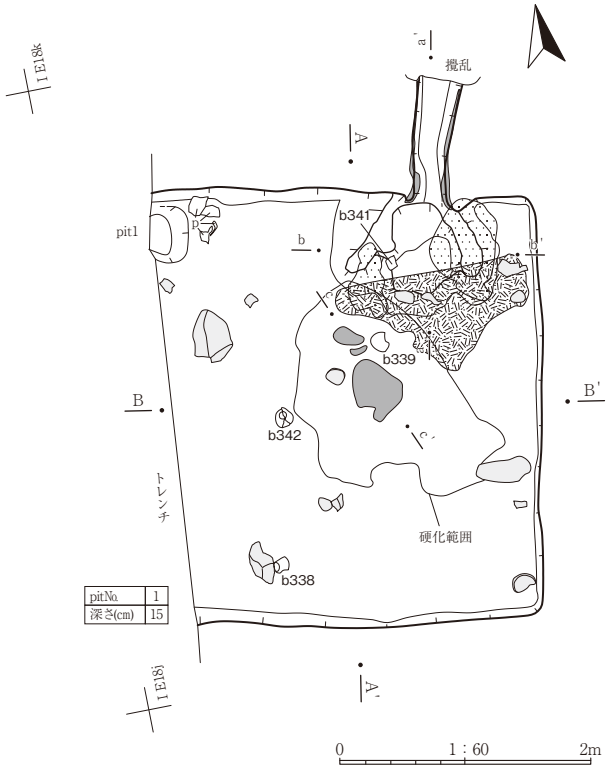
砂質シルトの堆積層で、中央部がレンズ状に下がる自然堆積の様相を示している。**カマド**　本遺構は後世の削平によりほぼ表土直下での検出であり更に攪乱を受けていることから、カマドの残存状態は不良であった。精査できたのは煙道部・燃焼部の焼成面の一部、袖の痕跡らしいものだけである。燃焼部の手前（南）側は、半円状に焚口側へ向かって若干窪んでいる。煙道部の構造は前述の理由のため不明である。**柱穴**　pit１～７の７基を確認した。pit７は掘り方の精査中に、それ以外は床面で確認した。pit６・７はその位置と柱痕が確認できたことから主柱穴と考えられる。その他は前述の通り周辺に攪乱が多いため、本遺構に伴うものと特定できなかった。**掘り方内焼土**　カマドの西脇の掘り方内で確認した。攪乱に切られており、被熱したというより焼土ブロックの範囲といった様相で現地性のものではないようである。**遺物出土状況**　出土量は少なく、ほとんどが堆積土中での出土である。（遺物図版87･188　写真図版245）

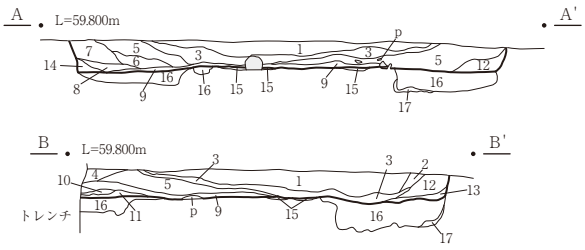
ＳＩ２９住居跡（第66図　写真図版37）

検出状況　土層確認と遺構・遺物確認を兼ねたトレンチ（重機による）に本遺構東壁付近がかかったことで検出した。全体の検出面は攪乱直下（Ⅰ層）のⅡ層中である。**形状**　方形基調である。**床面・掘り方**　住居中央のみ床面レベルで掘削を止め、周囲はカマド部分も含め深く掘り下げて均して床としている。この掘り方は整った「ロ」字状で、中央未掘削部は方形を呈する。床面は中央がやや高くかつ硬く、周囲が低くかつ柔らかい。硬化範囲を図化した。**堆積土**　上位に洪水砂層が堆積し、直下に酸化鉄の集積多量なグライ化層があることから、住居廃絶後に洪水に見舞われ、一定期間水漬状態であったことがわかる。これ以下は暗褐色シルト主体である。**カマド**　北壁東寄りに設置されている。本体は暗褐色及び灰黄褐色シルト主体で構築されていた。なお、断面観察から同位置で一度作り替えがあったと推定される。底面は燃焼部から壁付近に向けて高くなり、煙道部は外部へ向けて下降する。なお、煙出し孔部は攪乱のため残存しない。**柱穴**　北西隅で１基検出したが、性格不明である（pit１）。**遺物出土状況**　古代土器６点（b337～ b342）、金属製品２点（f44･f45）を掲載した。掲載遺物はいずれもカマド周辺、床面、貼床内等から出土したものである。（遺物図版87･188　写真図版245）

ＳＩ３０住居跡（第67図　写真図版38）

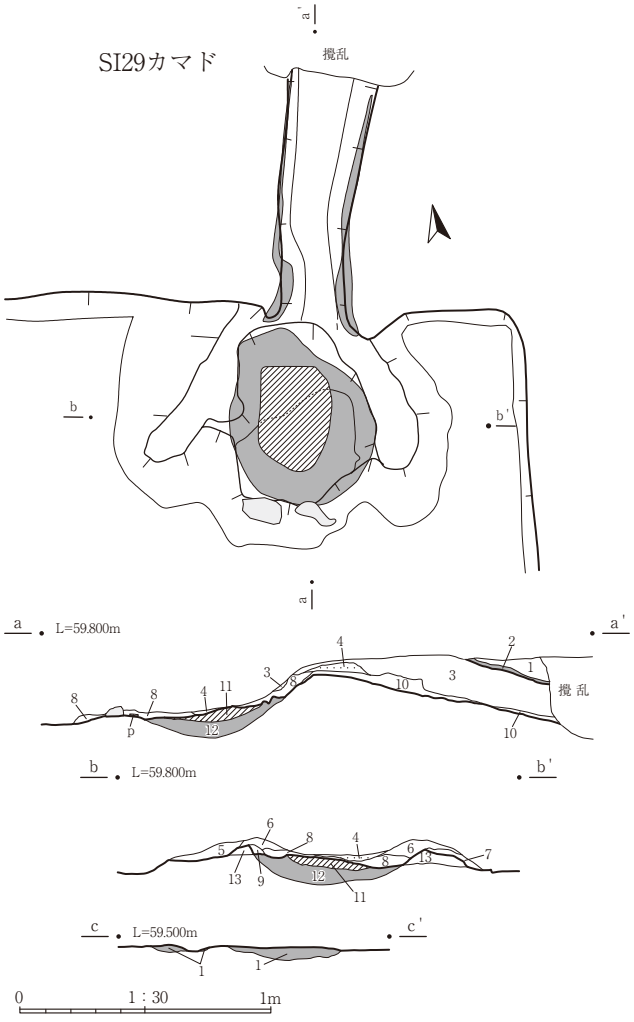
検出状況　本遺構周辺は基本土層と遺構堆積土の差がなく、表土直下での遺構確認ができなかった。そのため、遺構の有無がはっきりしない範囲を面的に掘り下げていたところ、カマド周辺で遺物が出土し住居跡を認識した。本遺構煙道部より北側は面的に掘り下げる以前に遺構の存在に気付いたが、住居本体の上部は遺構確認時に削平してしまっている。**床面・壁面**　どちらも堆積土か否かの判断が難しく、明瞭な判別は困難であった。床面は精査中に確認した床面直上の４・７層下位のグライ化した部分や炭化物を多量に含んだ３層の下面が水平になった部分のレベルを、壁面は検出時のプランをそれぞれ目安とし精査を進めた。しかしカマドが設置されている北壁中央では、断面観察でも壁の立ち上がりが断定できず推定に留まっている。床面は概ね平坦である。**堆積土**　主体土は暗褐色粘土質シルトの堆積層で、３層上面で炭化物と焼土ブロックの広がりを確認している。焼土形成過程は不明である。堆積層は中央部がレンズ状に下がる自然堆積の様相を示す。**カマド**　本遺構は前述したような検出状況であるため、燃焼部の両袖の残存状況は不良で、芯材として設置された板状の礫が露出した状態であった。燃焼部は床面よりも５㎝ほど高く、径50㎝程の焼成面が形成される。焼成面奥側に板状の礫が埋め込まれていて支脚と考えられる。煙道は刳り抜き式で、住居壁側から緩やかな下り勾配となり煙出し孔は一段低い。煙道堆積土６層に炭化物と共に煙道壁面のものと思われる黒っぽい焼土ブロックが見られるが、検出面ではⅡ層が削平されずに残存しているのを確認していたことから、大規模な崩落はしていないと思われる。**柱**





SI29 (A-A’・B-B’)

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。洪水堆積。
2　1 層と 12 層の混合土 (5：5)　しまり・粘性中。
3　2.5YR4/2　灰赤色　シルト　しまりあり、粘性中。1 層下のグライ化層。酸化鉄集積多量。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性中。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/2 黒褐色シルト 30%、炭化物・焼土粒 (径～ 5 ㎜) 各 1%。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR4/8 赤褐色焼土ブロック (径～ 2 ㎜)1%、炭化物粒 (径～ 1 ㎝)1%。
7　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 1 ㎝)3%。
8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
9　10YR4/1　褐灰色～ 10YR4/2　灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。グライ化、酸化鉄集積多量。
10　10YR5/4 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。
11　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/4 にぶい黄褐色砂ブロック (径～ 1 ㎝)5%。
12　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/4 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。
13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
14　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。炭化物・焼土粒 (径～ 5 ㎜) 各 5%。
15　10YR4/2　　灰黄褐色　シルト　しまり極あり、粘性中。貼り床硬化部。グライ化。
16　10YR3/3 暗褐色　シルトと 10YR4/2 灰黄褐色シルトの混合土 (6：4)。しまりあり、粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。掘り方。
17　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。掘り方。



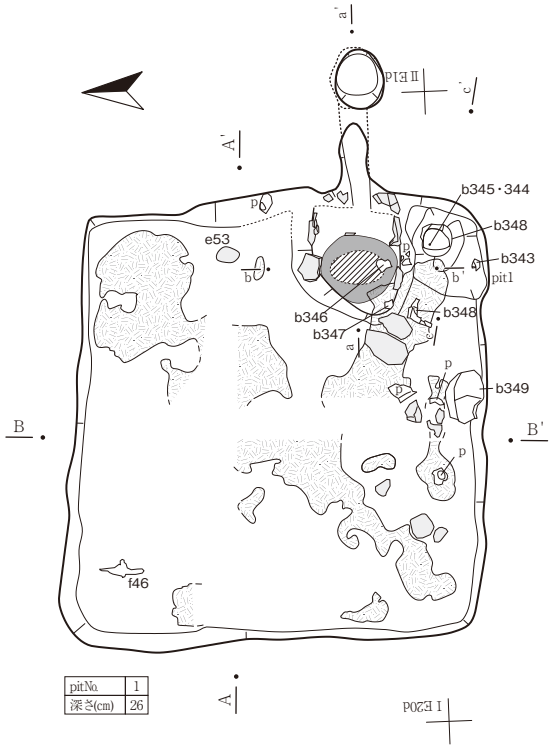
SI29 カマド (a-a’・b-b’)

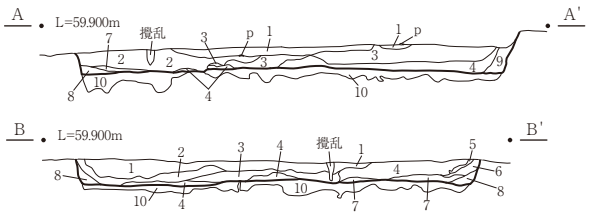
1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。Ⅲ層。
2　2.5YR3/3 暗赤褐色～ 2.5YR3/1 暗赤灰色　シルト　しまりあり、粘性中。焼土・煙道天井内側。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2 層焼土ブロック (径～ 1 ㎝)5%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。
4　2.5YR3/4 暗赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR4/6 赤褐色　焼土ブロック (径～ 2 ㎝)、炭化物粒 (径～ 4 ㎜) 各 5%。
6　10YR3/3 暗褐色、10YR4/2 灰黄褐色シルトの混合土 (4：6)　しまり・粘性中。2.5YR4/6 赤褐色　焼土粒 (径～ 5 ㎜)3%。
7　2.5YR4/6 赤褐色、2.5YR3/3 暗赤褐色シルト (焼土)、10YR4/2 灰黄褐色シルトの混合土 (4：3：3)　しまりあり、粘性中。
8　2.5YR5/6 明赤褐色、2.5YR3/3 暗赤褐色、2.5YR3/1 暗赤灰色シルト (焼土),10YR3/2　黒褐色シルトの混合土 (2:2:2:4)　しまりなし、粘性中。焼土は全てブロック状 (径～ 1 ㎝)。
9　2.5YR3/4 暗赤褐色、2.5YR4/6 赤褐色シルト (焼土) と 10YR3/2 黒褐色シルトの混合土 (4:4:2)　しまり・粘性中。全てブロック状 (径～ 1 ㎝)。
10　2.5YR3/2 暗赤褐色、2.5YR4/6 赤褐色シルト (焼土)、3 層の混合土 (5：3：2)　しまり・粘性中。全てブロック状 (径～ 1 ㎝)。
11　5YR4/6 赤褐色　シルト　しまり極めてなし、粘性なし。硬化焼土。
12　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土。
13　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。

SI29 床面焼土 (c-c’)

1　2.5YR4/4　にぶい赤褐色 (中央) ～ 2.5YR3/4 暗赤褐色 (周縁)　シルト　しまりあり (中央)、しまり中 (周縁)、粘性中。焼土。

第66図　SI29住居跡

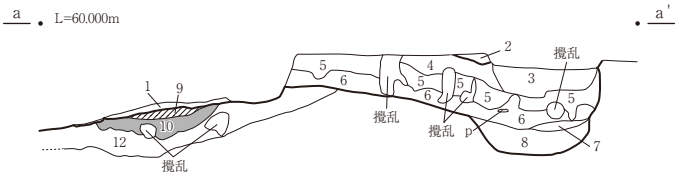




SI30 (A-A'・B-B')

1　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまりあり、粘性あり。
2　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。焼土粒(径1～2㎜)1%、炭(径～5㎜)1%。一部グライ化。
3　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまりややなし、粘性あり。炭と焼土多量に層。この上面で平面図化。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。炭(径1～2㎜)1%。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。
6　10YR3/3 暗褐色～ 10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土粒・炭(径～1㎜)3%。
7　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。炭(径1～2㎜)。
8　6層と同じ。
9　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。
10　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。炭(径～1㎜)1%、10YR4/6 褐色砂ブロック(径5～10㎜)10%。掘り方。

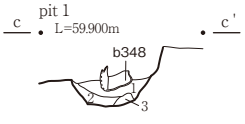
0　1：60　2m



SI30 カマド(a-a'・b-b')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。焼土(径～5㎜程度)20%、炭(径2～5㎜)1%。9層と接する付近には灰層はさむ。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性なし。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。被熱した壁の崩落した 10YR2/1 黒褐色焼土(径5～10㎜)10%。
4　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。3層と同じ赤黒い焼土(径～5㎜程度)3%、炭(径2～5㎜)1%。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性あり。3層と同じ赤黒い焼土(径2～5㎜)、土器片(径～5㎜)。
6　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし､粘性あり。10YR2/2 黒褐色炭主体の土と赤黒い焼土が混在。土器片･焼土粒(径1～2㎝)1%。
7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。
8　10YR3/3 暗褐色～ 10YR3/4 暗褐色　シルトとⅢ層の混合土　しまりややあり、粘性あり。炭(径～5㎜)3%、グライ化ブロック(径5～10㎜)10%。
9　2.5YR4/6 赤褐色　焼土　しまり極めてあり、粘性なし。硬化する。
10　2.5YR3/4 暗赤褐色　焼土　しまりあり、粘性なし。
11　10YR4/4 褐色と 10YR3/4 暗褐色の混合土(5：5)　シルト　しまりあり、粘性ややあり。袖と構築材である礫の掘り方。
12　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり･粘性あり。Ⅲ層ブロック(径5～10㎜)10%､骨片(径2～5㎜)1%､焼土ブロック(径2～5㎜)1%。カマド掘り方。

0　1：30　1m



SI30 pit1 (c-c')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。土器片混入。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭(径～5㎜)10%、土器片・焼土(径～2㎜)1%。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性あり。酸化鉄混入。

0　1：60　2m

第67図　SI30住居跡

穴・土坑　pit１を確認した。カマドの南袖脇での検出であり、貯蔵穴と推定される。**遺物出土状況**　pit１に半分埋もれた形でb348の球胴甕が正位で、北西側の床面からはf46の鉄製紡錘車が、５～６層中から須恵器大甕の破片（b349）が出土した。（遺物図版87･145･188　写真図版245･246）

ＳＩ３１住居跡（第68図　写真図版39）

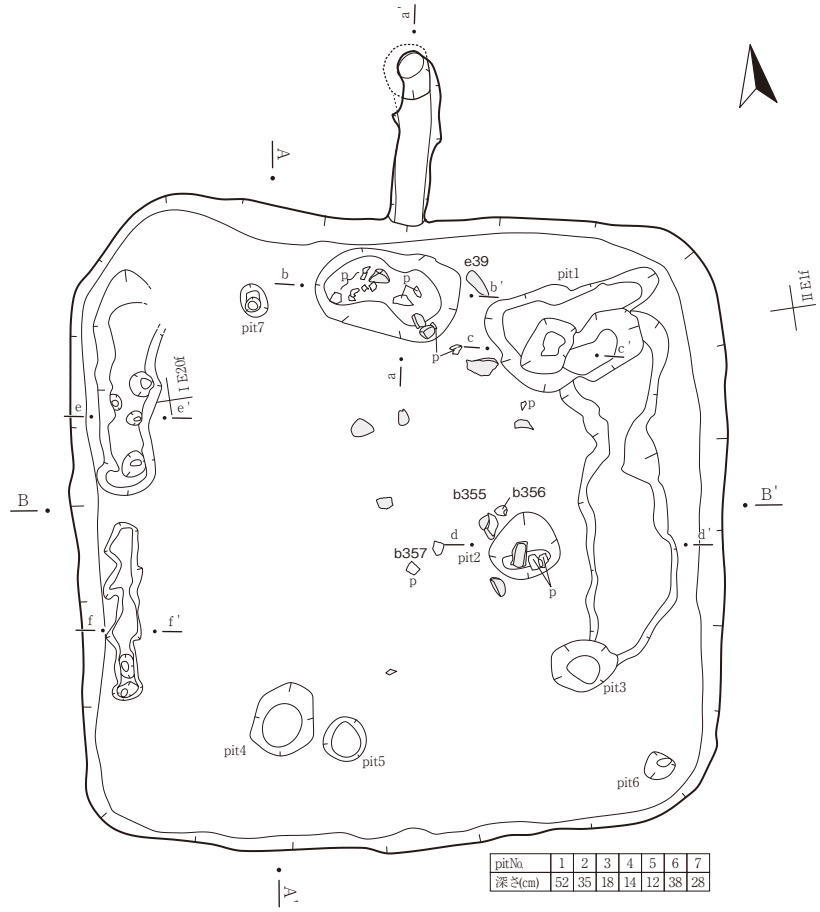
形状　方形基調である。北西隅がやや丸みを帯び北側へ張り出す。**床面・掘り方**　中央付近が高く、東・西・南壁周辺が低い。掘り方は全体に及ぶが、カマド東側と東壁周辺が深い。床面はあまり締まらず、検出が困難であった。**堆積土**　上位に洪水砂層が堆積する。最低２回流入しており、１回目は１b層のあり方から地面を掘り込むほど水流が強かったようである。これ以前の堆積は基本的に暗褐色シルト主体の自然堆積であるが、その途中に多量の遺物と炭化物、焼土を伴う黒褐色シルトが投げ込まれている。**カマド**　北壁中央に設置されている。燃焼部は破壊されピット状に掘り込まれており、袖も焼成面も残存しない。煙道底面は竪穴壁付近で急激に立ち上がり、煙出し孔に向かい下降する。**柱穴**　柱穴と判断できるものは北東部にあるpit１のみで、他は不明である。pit２からは遺物がまとまって出土した。**周溝**　西壁際で検出された。底面の凹凸が激しい。東壁際にも存在した可能性があるが､掘り方との区別がつかなかった。**遺物出土状況**　古代土器53点（b350～b402）､土製品１点（d93）､金属製品３点（f49～f51）、石器１点（e39）を掲載した。このうちb355～b357、e39は床面出土である。その他、多くは２～３層中に大量廃棄されたものである。この２～３層中からは炭化種実（モモ、スモモ）も検出されている。（遺物図版87～89･134･141･188　写真図版246～248･281）

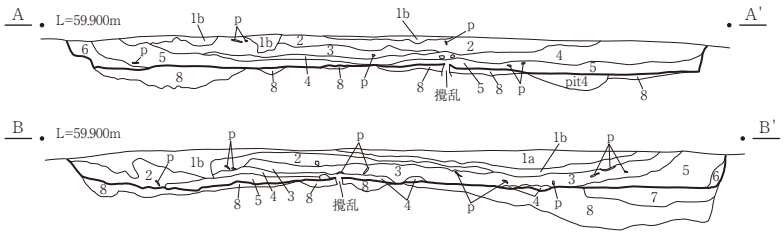
ＳＩ３２住居跡（第69図　写真図版40）

検出状況　旧河道内Ⅱ～Ⅲ層相当で検出した。北壁カマド周辺は本遺構より古い風倒木痕が重複している。**形状**　方形基調であるが、北壁以外の上端がやや丸みを帯び広がる。**床面・壁面**　床面は中央部が硬く、壁周辺は柔らかく中心部よりやや低い。掘り方は壁際の方が深くなる。壁面は直立するが、上部が崩落により外傾する。南側A-A’断面では一段高い棚状の平場を設けているようにも観察できたが、平面的にこの面を追うことはできない。**堆積土**　上部の洪水砂層（１・２層）と下部の黒褐色砂質シルト層（３～10層）に大別される。中央部がレンズ状に下がり壁際には褐色砂を多く含んでおり、壁崩落を伴いながら自然に埋没したようである。**カマド**　北壁ほぼ中央に設置される。袖は褐色砂質シルトで構築し芯材は使用していない。住居壁側には両袖間を渡すように板状の礫が出土する。西側は堆積土中に崩落するが東側は袖上に端がかかっており、天井部に利用されたようである。燃焼部底面の焼成は強いが硬化面は確認できなかった。煙道は住居壁側から下り勾配で煙出し孔へと続く。煙出し孔奥側は底面付近が大きくオーバーハングしており、堆積土中に壁崩落土（褐色砂層）がほとんど含まれないことから、掘削段階の形状と考えられる。また煙出し孔内には多量の礫を含み、煙道から煙出し孔にかけて締まりのない土層が堆積することから、これらは人為的に埋め戻されたものと判断される。**柱穴**　南壁際に２基検出した。その位置から出入り口施設等の可能性があるが、上述の南壁の平場とは位置が対応しない。その他、主柱穴類は確認できなかった。**遺物出土状況**　床面から堆積土下部の出土が多い。カマド南西側床面には100個近い多量の礫がまとまっている。カマドに近いところは床面よりやや高く堆積土中に位置するため、廃絶後に人為的に投げ込まれたようである。（遺物図版90　写真図版248）

ＳＩ３３住居跡（第70図　写真図版41）

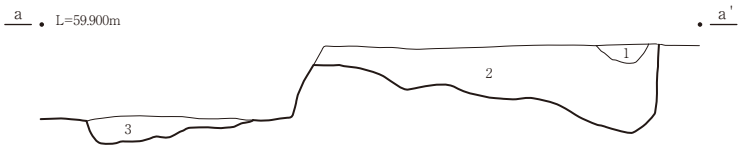
検出状況　西側調査区境で検出。カマド本体は調査区外に位置するため精査していない。**形状**　方形基





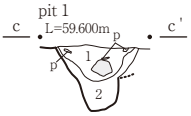
SI31 (A-A'・B-B')

1a 10YR4/2 灰黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。
1b 10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。
2　4層と同じ。
3　7.5YR3/1 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/3 暗褐色シルトブロック、焼土ブロック (径～ 2 ㎝)、炭化物粒 (径～ 1 ㎝)。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性中。焼土粒・炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5%。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土粒・炭化物粒 (径～ 5 ㎜)2%。
6　10YR3/3.5 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/6 黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)3%。
7　壁溝埋土。
8　5層と 10YR4/3 にぶい黄褐色　砂の混合土 (5：5)　しまり・粘性中。掘り方。



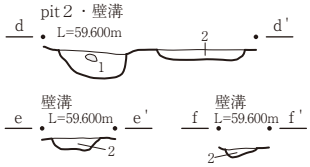
SI 31 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR4/2 灰黄褐色　砂　しまり中、粘性弱。10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)10%。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)5%。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR3/2 ～ 4/8 焼土 (径～ 1 ㎝)10%。



SI31 pit1 (c-c')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色　砂 30%、焼土ブロック・炭化物 (径～ 2 ㎝) 各10%、土器。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。



SI31 pit 2・壁溝 (d-d' ～ f-f')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土粒・炭化物粒 (径～ 5 ㎜)2%。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色砂ブロック (径～ 2 ㎝)10%。

SI31 pit3（注記のみ）

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)10%。

SI 31 pit4（注記のみ）

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。

SI 31 pit5（注記のみ）

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。

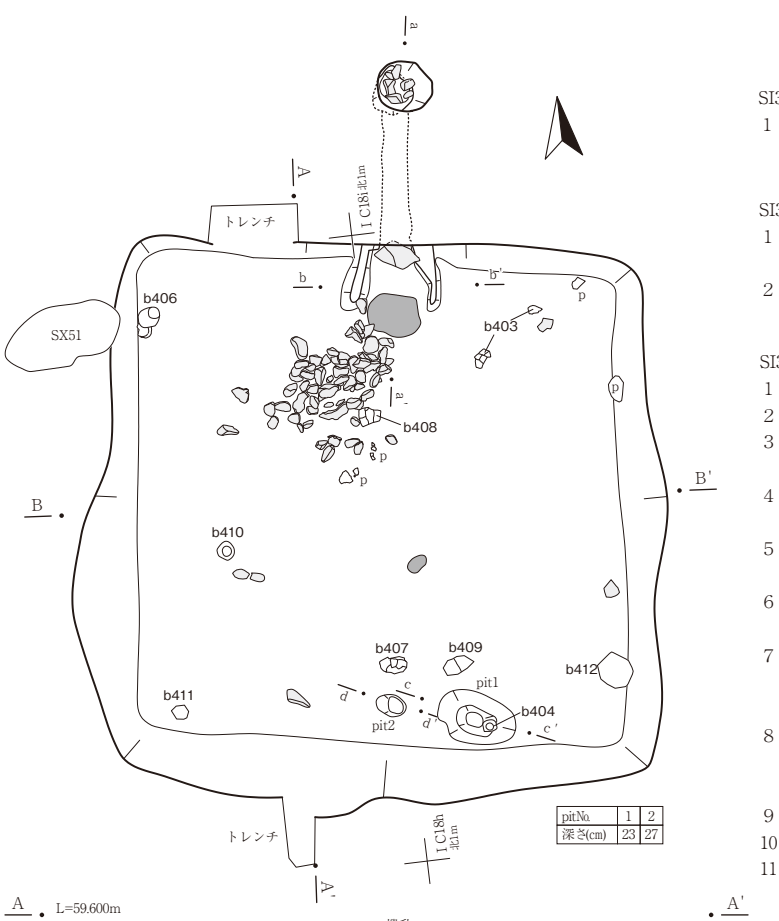
SI 31 pit7（注記のみ）

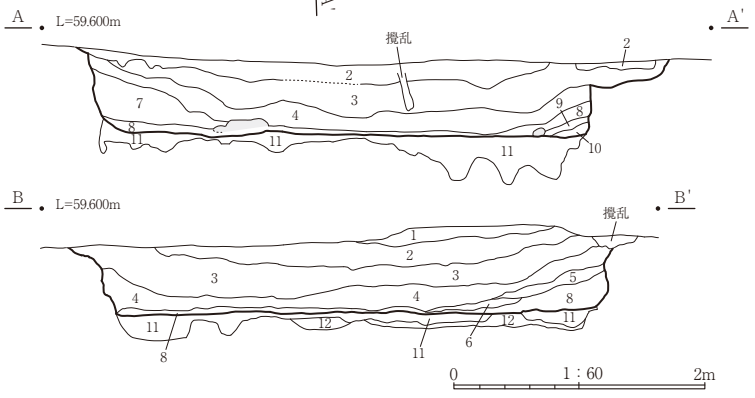
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。

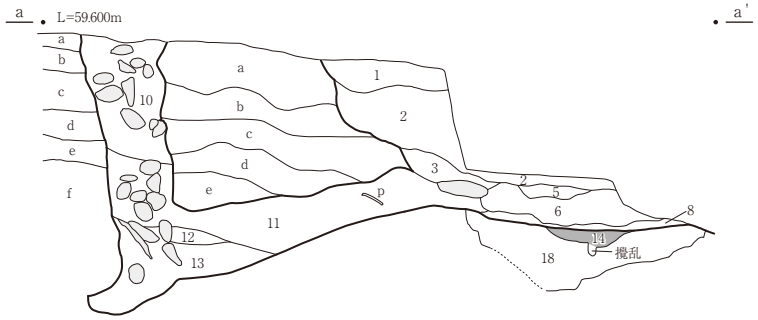
0　1：60　2m

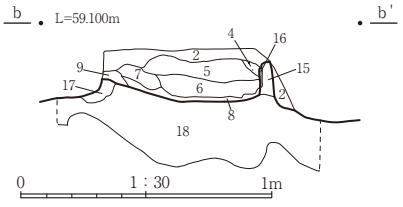
0　1：30　1m

第68図　SI31住居跡

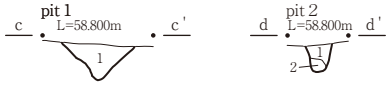








a　10YR2/2 黒褐色　シルト
b　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト
c　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト
d　10YR2/3 黒褐色　砂
e　10YR3/3 暗褐色　砂
f　10YR4/4 褐色　砂
※ a：Ⅱ層、b ～ f：Ⅲ～Ⅳ層



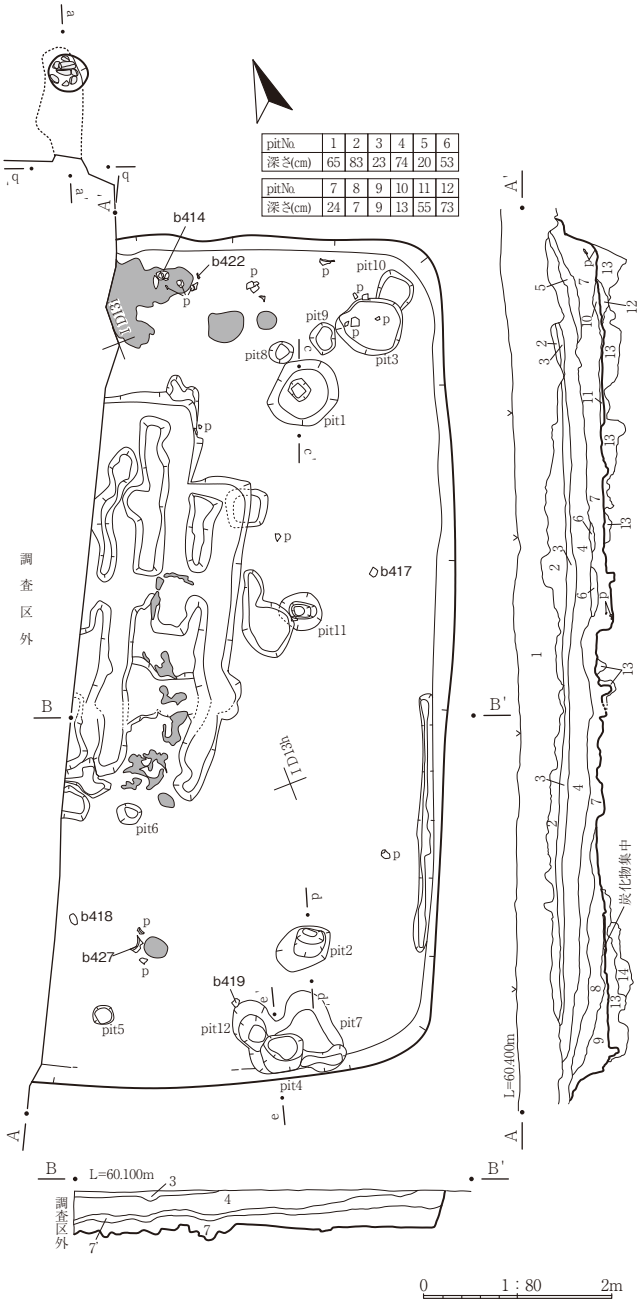
SI32 pit1 (c-c')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂 (径～ 2 ㎝) 少量斑状に混じる。炭 (径 2 ～ 3 ㎜) 微量。

SI32 pit2 (d-d')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂 (径～ 2 ㎝) 少量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂極微量。

SI32 (A-A'・B-B')
1　10YR3/4 暗褐色　砂　しまり中、粘性なし。
2　10YR4/4 褐色　砂　しまり中、粘性なし。
3　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂微量全体に混じる。
4　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂中量全体に混じる。
5　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト (3 層より黒い) しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂微量。
6　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂やや多量。
7　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂 (径～ 5 ㎜) 極微量。木根の土流入？。住居内他に無い堆積。
8　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂・炭 (径～ 5 ㎜) 極微量。やや黒味 10YR2/2 黒褐色に近い。
9　5 層と同じ。
10　6 層と同じ。
11　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂やや多量、10YR2/2 黒褐色シルト (径～ 3 ㎝) 微量斑状。南側は斑状大きくなる。
12　10YR4/4 褐色　砂大量、10YR2/3 黒褐色　砂質シルト (径～ 3 ㎝) 少量斑状に混じる。

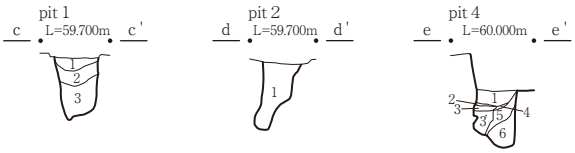
SI32 カマド (a-a'・b-b')
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂 (径～ 3 ㎝) 全体に斑状やや多量。
2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂極微量全体にこなれて混じる。
3　2 層に似るが、10YR4/4 褐色　砂少なく下部に焼土ブロック。
4　5YR2/4 極暗赤褐色　砂質シルト　袖被熱土。崩落土。
5　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色砂斑状に少量。
6　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色砂・10YR3/3 暗褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 斑状に少量、炭・焼土 (径～ 1 ㎜) 極微量。
7　10YR4/6 褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。下半は 5YR3/6 暗赤褐色で被熱 (天井崩落層)。
8　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。焼土ブロック細かく全体に入る (多量)、炭 (径～ 1 ㎜) 極微量。
9　2 層と似る。
10　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂こなれて全体に少量混じる。
11　10 層よりしまりなくボロボロ。土は同じ。
12　11 層に、10YR4/4 褐色　砂大量。
13　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂こなれて少量。
14　5YR3/6 暗赤褐色　焼土。18 層が被熱、良く焼ける。
15　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややなし。カマド袖。
16　5YR4/6 赤褐色　15 層が被熱。

第69図　SI32住居跡



pitNo.	1	2	3	4	5	6
深さ(cm)	65	83	23	74	20	53

pitNo.	7	8	9	10	11	12
深さ(cm)	24	7	9	13	55	73

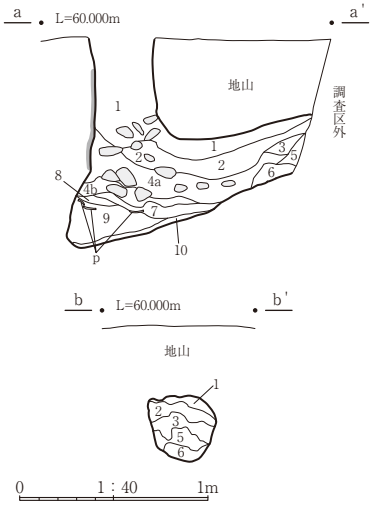


SI33 pit1 (c-c')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。褐色土 5%。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。
3　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。

SI33 pit2 (d-d')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中､粘性なし。褐色土3～5%。

SI33 pit4 (e-e')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性ややあり。地山砂層が層状。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややない、粘性ややあり。炭・焼土。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややない。地山小粒多量。
3'　3層のしまりがない層。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややない､粘性ややあり。炭化物。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性あまりない。
6　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性あまりない。

SI33 (A-A'・B-B')
1　7.5YR3/2 黒褐色　砂～砂質シルト　しまり中～なし、粘性なし。現耕作土。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　粗砂　しまり中、粘性なし。均質。
3　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。黒色は褐色土ブロック。攪乱を受けたような層相。
4　10YR4/4 褐色　粗砂～砂　しまり中、粘性なし。上部ほど粗粒。
5　7.5YR2/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性なし～中。暗褐色土ブロック 30%。
6　7.5YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中～あり、粘性なし。ブロック状下部に焼土ブロック混入。
7　7.5YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり中～あり、粘性中。褐色土ブロック、炭化物・焼土粒 3 ～ 5%。
7'　7 層の斑鉄が発達したもの。A-A' 断面では薄く分層していない。
8　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり中～あり、粘性中。褐色土ブロック (7 層より多量・5 ～ 10%)。
9　7.5YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性中。褐色土ブロック (8 層より少量・2 ～ 3%)、炭化物。
10　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性中。下半に焼土ブロック・炭化物。カマド天井部の崩落土か。
11　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。焼土ブロック・炭化物。カマド前の整地層と思われる。
12　5YR4/6 赤褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性なし。13 層上部でカマド燃焼部焼成面の一部、上面に炭化物層薄く介在。
13　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルトをベースに、10YR4/4 褐色　粘土ブロック 40 ～ 60%　しまり中～あり、粘性中。掘り方埋土。
14　10YR4/6 褐色　粘土質シルトをベースに、10YR3/3 暗褐色　粘土質シルトブロック 10 ～ 20%　しまり中～あり、粘性中。掘り方埋土。



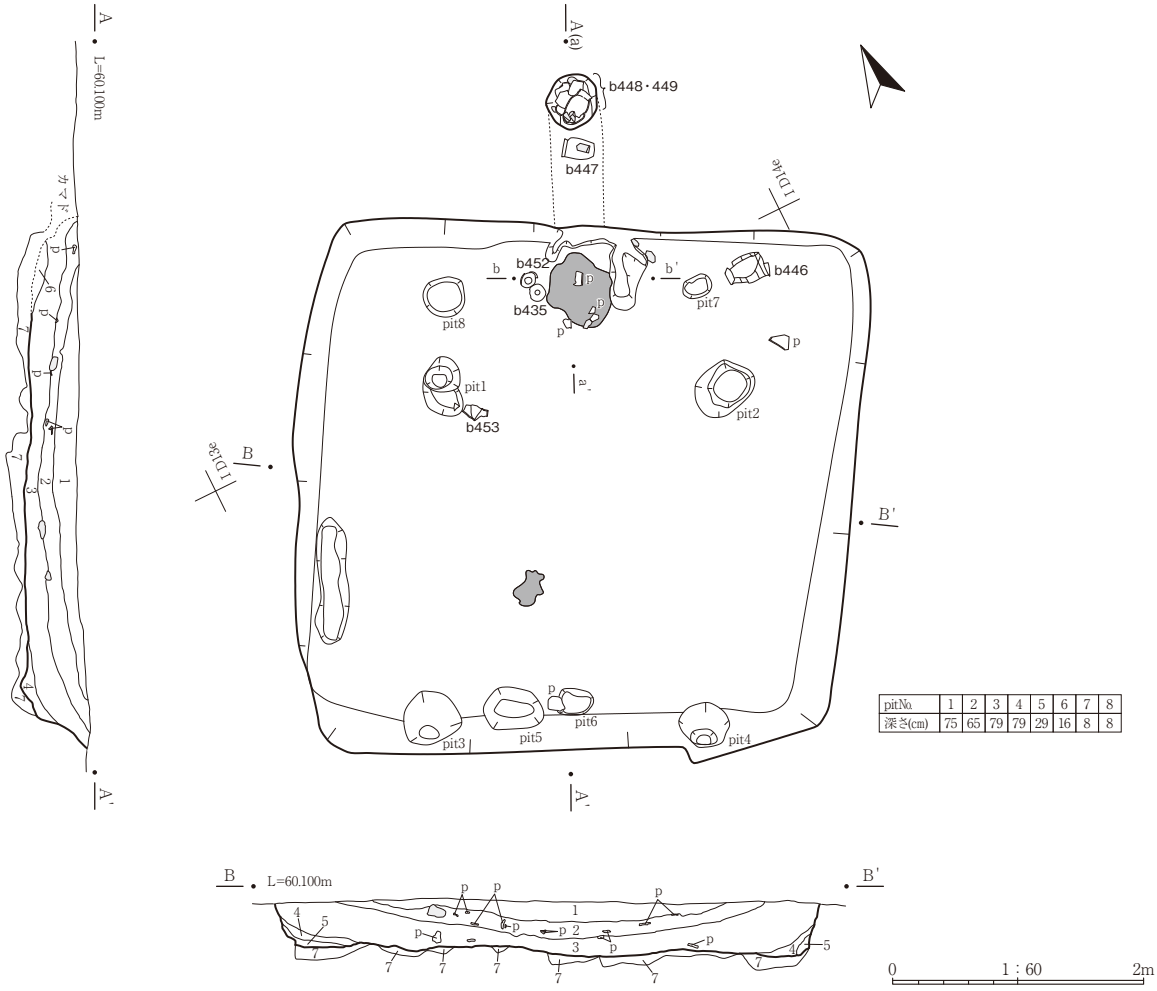
SI33 カマド煙道 (a-a'・b-b')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト、10YR2/2 黒褐色ブロック　しまり・粘性ややあり。炭少量。1・2・4 a 層の煙出し側は礫を大量に含む。
2　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。炭化物少量。
3　10YR4/6 褐色　赤色。10YR4/6 褐色の地山シルトが焼け焦げた焼土塊。煙道・もしくはカマド天井部の崩落土。
4a　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。炭・焼土ブロックやや多く。下面に炭層あり。
4b　4a 層と似るが炭化物が微量。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。暗褐色砂ブロック少量、炭・焼土粒微量。
6　炭が厚く堆積。
7　10YR1.7/1 黒色　炭層　しまり・粘性なし。
8　10YR5/6 黄褐色　地山シルト　しまり・粘性なし。焼土・炭混じる。
9　6 層 (炭層) に地山シルト・焼土が層状に入る。
10　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。地山・炭・焼土の粒が少量。

第70図　SI33住居跡

調で南東コーナーがやや丸みを帯び、南壁は緩く湾曲するが東壁はほぼ直線的である。**床面・壁面**　全体に硬化が進んでおり堆積土と明瞭に区別可能である。特に中央部の井桁状溝群の周囲は硬く締まる。概ね平坦であるが北半が若干低い。**堆積土**　上部の砂層と下部のシルト～粘土質シルト層に大別される。中央部がレンズ状に下がる自然堆積の様相を示す。**カマド**　東側の袖に隣接すると見られる焼土の広がりと煙道の先端側を精査した。煙道は刳り抜き式で、煙道堆積土には被熱した天井の崩落による赤色土ブロック（４層）が含まれるが、大規模な崩落は起こしていないようである。煙出し孔は中間がやや狭く下部は広がる。堆積土中には拳大～25cm長程度の礫が多量に含まれており、カマド廃絶時に投げ込まれたものと見られる。燃焼部の東側に広がる焼土はカマド構築材や燃焼部が散乱したものを含む可能性があるが、カマドの遺存状況が不明であるため確実ではない。**柱穴**　pit１・11・２・４が東壁と平行に並ぶ。いずれも底面に柱痕跡と思われる一段下がる部分が認められ、pit１ではこれがほぼ正方形を呈する。pit４はpit７・12と重複しており、同一地点で建て替えられたものと見られる。pit６も比較的深く、上屋構造に関連するものと考えられる。北東隅のpit３・８・９・10は10cm程度の深さしかなく、柱穴以外の用途と見られる。**周溝**　東壁南半にあり、深さ10cm前後である。**井桁状溝群**　床面中央部に東壁と平行する並列溝群とこれに直交して連結する溝群を検出した。pit１・６・13に囲まれた区域に限定され、竪穴外周からは一定の間隔を開ける。一部不規則な配置になるものの全体としては井桁状に配置された溝群と捉えられる。溝群上面では貼床は確認できず開口していた可能性が高い。**床面焼土群**　北壁際のカマド脇、中央部の井桁状溝群に囲まれた内部、及び南壁際で検出した。中央部の焼土は不規則な形状で、壁際のものは円形を呈する。本遺構は焼失家屋とは言い難い状態であり、少なくとも両壁際の焼土は意図的に火を使用した場所と考えられる。中央部の焼土については形成過程が不明である。**遺物出土状況**　堆積土中の遺物は遺構規模のわりに少量である。床面では北壁際の床面及び小ピット群の内部に比較的まとまった土器片の出土を見る。（遺物図版90･91･188　写真図版248･249）

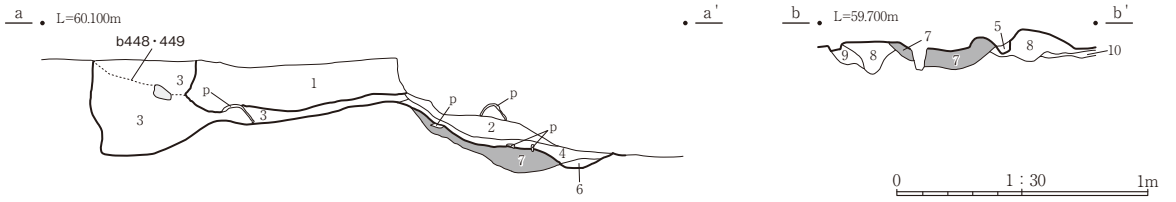
ＳＩ３４住居跡（第71図　写真図版42）

形状　方形基調である。床面　床面は全体に硬化が進んでおり概ね平坦である。**堆積土**　上部１層の砂層と下部２･３層の粘土質シルト層に大別される。中央部がレンズ状に下がる自然堆積の様相を示す。壁際の下部には夾雑物の少ない均質な４層黒褐色シルト層、２層中には遺物が多量に含まれる。**カマド**　両袖の残存状況はやや不良で、いずれも芯材を持たないシルト質の積み上げによるものである。燃焼面上位を焼土粒が含まれる暗褐色シルト層（４層）が覆うが、これはカマド天井部崩落土の可能性がある。煙道は刳り抜き式で、断面の観察では煙道天井部が崩落していると見られ、残存高は５cm程に圧縮されている。また先端側から土師器甕大破片（b447）が出土する。煙出し孔上部には土師器甕大破片（b448・b449）と礫が集中しており、カマド廃絶時に投げ込まれたものと見られる。**柱穴**　北側のpit１・２、及び南壁際のpit３・４の４基で主柱穴を構成すると考えられる。pit３・４は一部壁面を抉り込むように開口し、柱穴の軸は上方が内側に向かってやや傾く。カマドの両外側にあるpit７・８は、主柱穴を結ぶ延長線上に位置することから補助的な柱の痕跡と考えられる。この他、南壁際のpit５・６はカマドの対面にあり出入り口施設に関連するものの可能性がある。**周溝**　西壁の南半に検出した。堆積土は竪穴下部と変わらない黒褐色土である。**床面焼土**　南壁近くで小範囲の不整形な焼成面を確認した。焼土は薄く、長時間の強い火を受けたとは思えない状態である。**遺物出土状況**　北壁際東側の床面から略完形の土師器長胴甕１個体（b446）が横転状態で出土する。また堆積土２層中には前述のように土師器、須恵器大破片が集中している。（遺物図版91･92･135　写真図版249･250･282）



SI34 (A-A'・B-B')

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　粗砂　しまり中、粘性なし。均質、狭堆積物ほぼなし。ラミナ構造見られず。
2　10YR2/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり中粘性中～なし。褐色ブロック 3 ～ 10%、遺物多量、炭化物 5%。
3　10YR2/3 黒褐色　粘土質シルト　しまり中、粘質中～なし。褐色土ブロック 10 ～ 20%。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。均質、狭堆積物なし～少量。
5　10YR2/3 黒褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性なし。褐色土ブロック 10%。
6　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中～なし、粘性なし。カマド内堆積土。
7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性中。地山・10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (50%) との混ざり。掘り方土。



SI34 カマド (a-a'・b-b')

1　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。均質で炭化物含まず。煙道天井部の崩落または凹地に再堆積した部分。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。褐色土ブロック 5 ～ 10%、炭化物。カマド燃焼部上の堆積土。
3　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。褐色土ブロック 5%。煙道～煙出し孔埋土。
4　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性なし。焼土粒。燃焼部上堆積土。天井崩落部の可能性あり。
5　10YR3/2 黒褐色　シルトと５層の混合土　しまりなし、粘性中。５層が何らかの影響で落ち込み。
6　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物多量。燃焼部手前の落ち込み堆積土。
7　5YR4/4 にぶい赤褐色　シルト　燃焼部焼土、現地性。
8　10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/1 褐灰色シルトの混合土 (8：2)。しまりあり、粘性中。炭化物 (径～５㎜)5%。袖構築土。
9　10YR2/2 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土 (5：5)　しまり・粘性中。袖構築土。
10　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック 10%。掘り方土。

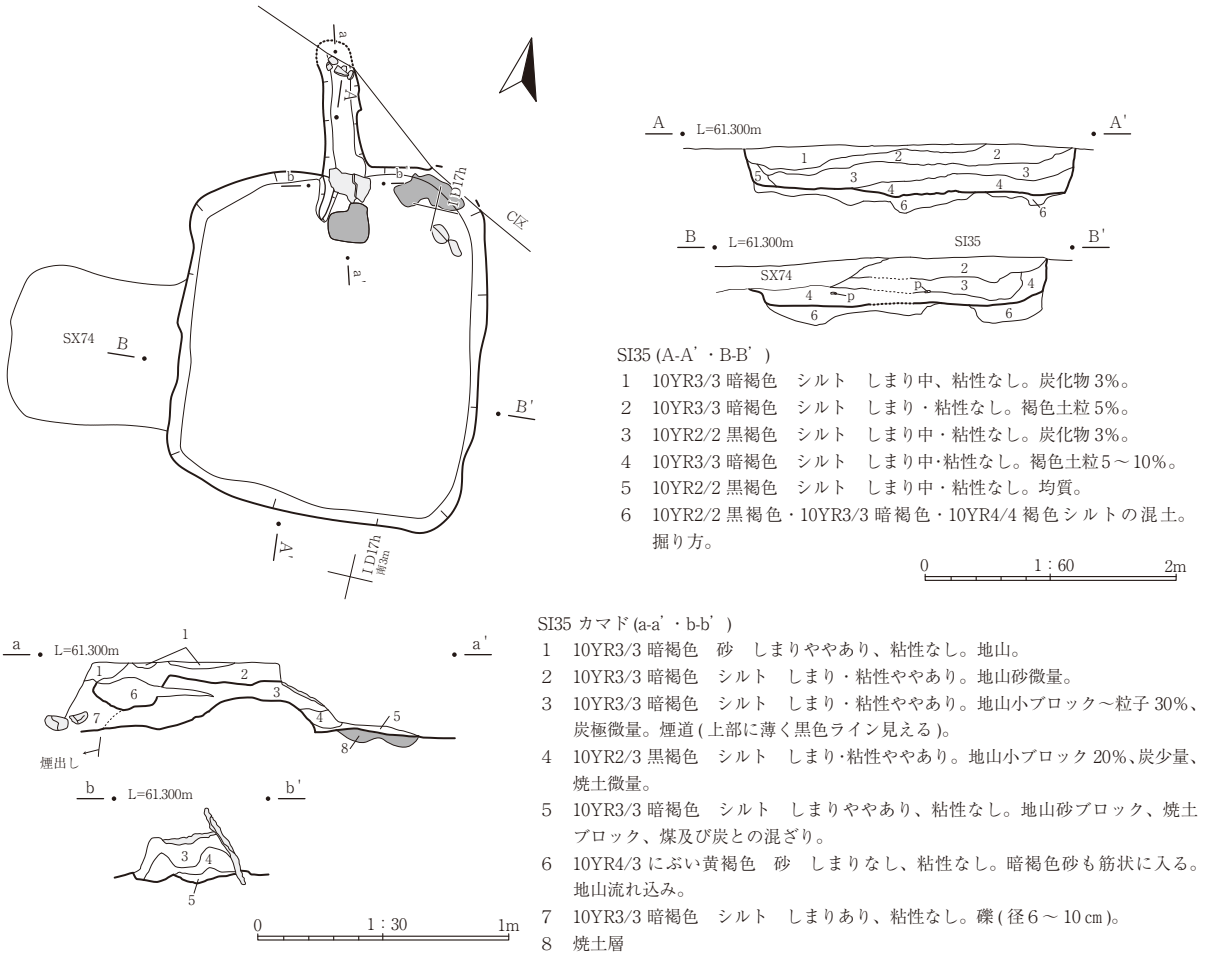
第71図　SI34住居跡

ＳＩ３５住居跡（第72図　写真図版43）

重複　SX74との新旧が判断できなかったため両者を同時に掘り下げ、断面でSX74に切られることを確認した。**形状**　方形基調である。**床面**　床面は概ね平坦である。顕著な硬化面は見られない。**堆積土**　全体にシルト質の暗褐色～黒褐色土の堆積層で、褐色土粒の混入度や全体の色調により区分される。**カマド**　煙道の接続部に西袖の基部がわずかに残存する。東側の袖では芯材として設置された板状の礫があり、上部が内側に傾斜した状態で出土した。西側の袖では芯材の礫は見られずシルト質の土積み上げによるものである。また両袖間には天井部分に渡した板状の礫が残存する。礫下面側は被熱により赤化する。煙道は刳り抜き式である。煙出し孔の先端側は記録を欠くが、内部からはカマド廃絶時に投げ込まれたと見られる礫が密集して出土している。**柱穴**　一切検出されなかった。**遺物出土状況**　堆積土中に遺物が含まれるが、床面出土のものはない。（遺物図版92　写真図版250）

ＳＩ３６住居跡（第73図　写真図版44）

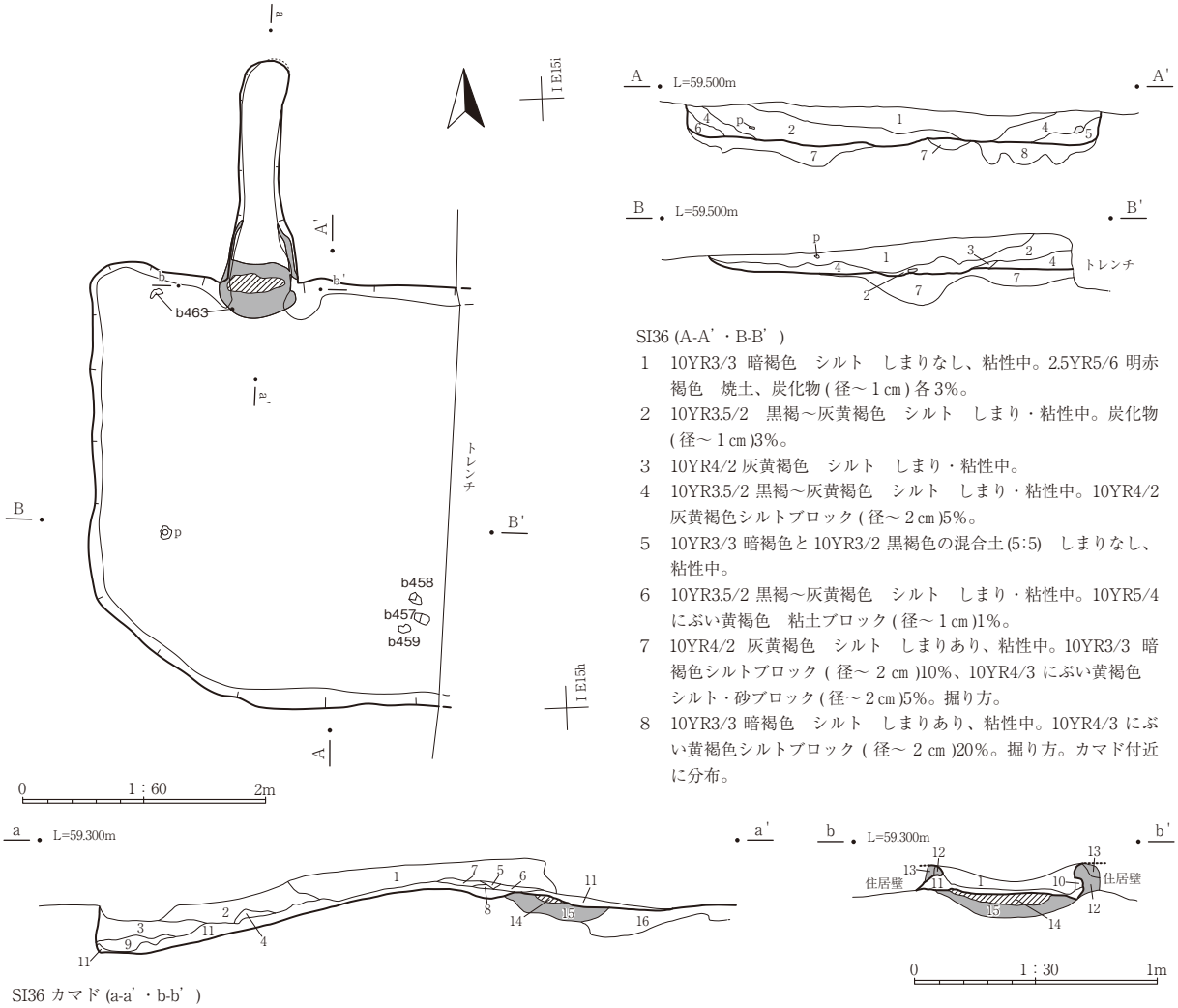
検出状況　土層・遺構確認のトレンチ断面で検出した。**形状**　東壁はトレンチ掘削で消失している。方形基調で、南西隅は丸みが強い。**床面・掘り方**　掘り方は東側が深い。床面はほぼ平坦で、全体的にあまり締まらず柔らかい。**堆積土**　下位は黒褐～灰黄褐色シルト主体、上位は暗褐色シルト主体である。後者には焼土粒・炭化物粒が混じり、人為堆積の可能性がある。**カマド**　北壁やや西寄りに設置されている。袖は基部が残存しており、芯材は確認されない。燃焼部は住居壁よりも外側（北側）へ張り出す。強く被熱しており焼成範囲は側壁まで及び燃焼面中央には硬化還元面が生じている。被



SI35 (A-A'・B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物 3%。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性なし。褐色土粒 5%。
3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中・粘性なし。炭化物 3%。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中･粘性なし。褐色土粒 5～10%。
5　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中・粘性なし。均質。
6　10YR2/2 黒褐色・10YR3/3 暗褐色・10YR4/4 褐色シルトの混土。掘り方。

SI35 カマド (a-a'・b-b')
1　10YR3/3 暗褐色　砂　しまりややあり、粘性なし。地山。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。地山砂微量。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。地山小ブロック～粒子 30%、炭極微量。煙道 (上部に薄く黒色ライン見える)。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性ややあり。地山小ブロック 20%、炭少量、焼土微量。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性なし。地山砂ブロック、焼土ブロック、煤及び炭との混ざり。
6　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりなし、粘性なし。暗褐色砂も筋状に入る。地山流れ込み。
7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。礫 (径 6～10 ㎝)。
8　焼土層

第72図　SI35住居跡



SI36 (A-A'・B-B')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性中。2.5YR5/6 明赤褐色　焼土、炭化物 (径～ 1 ㎝) 各 3%。
2　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎝)3%。
3　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。
4　10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)5%。
5　10YR3/3 暗褐色と 10YR3/2 黒褐色の混合土 (5:5)　しまりなし、粘性中。
6　10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR5/4 にぶい黄褐色　粘土ブロック (径～ 1 ㎝)1%。
7　10YR4/2　灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。10YR3/3 暗褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)10%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト・砂ブロック (径～ 2 ㎝)5%。掘り方。
8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)20%。掘り方。カマド付近に分布。

SI36 カマド (a-a'・b-b')

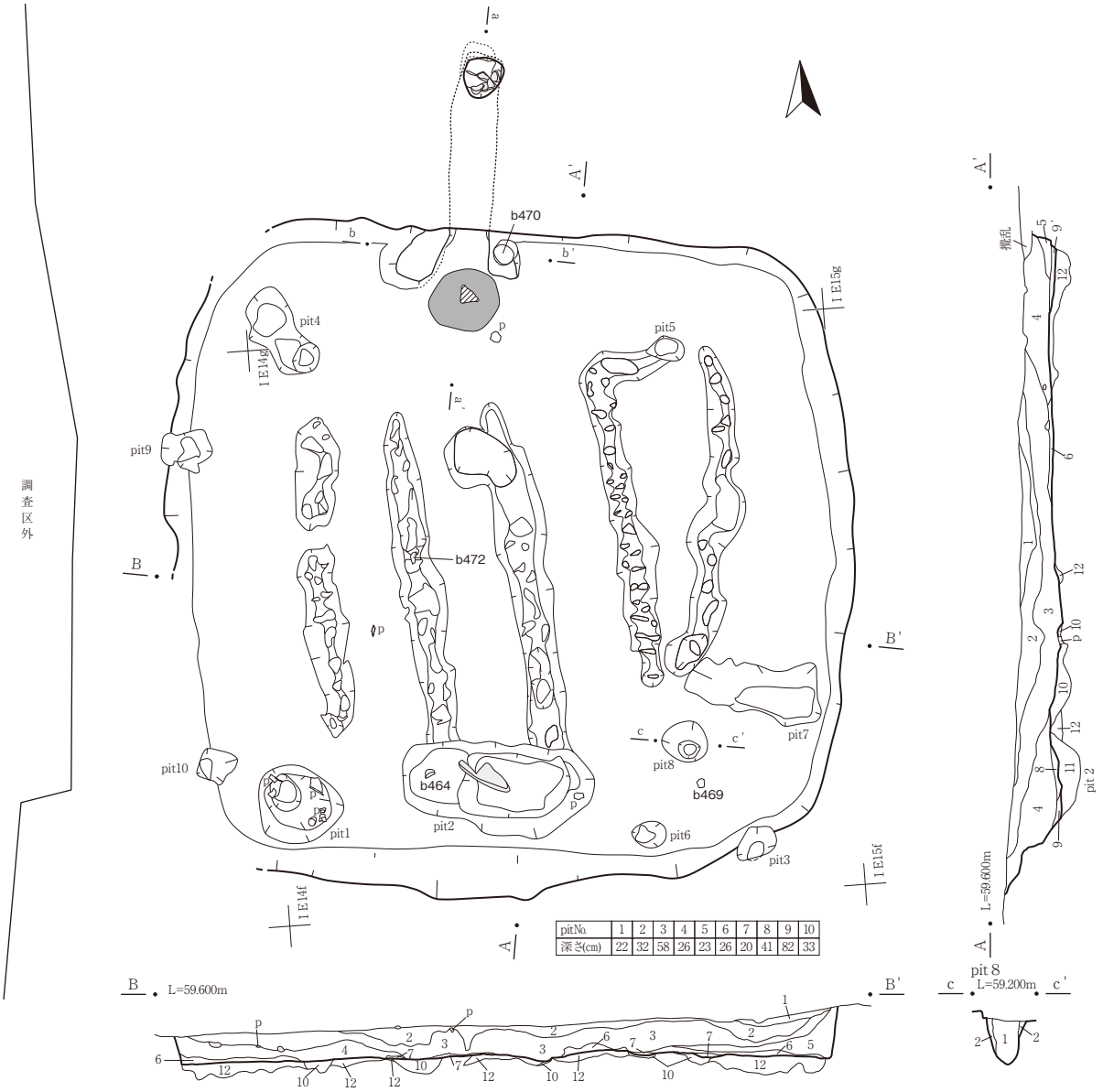
1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)5%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。
2　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色焼土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。
3　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりなし、粘性中。2.5YR3/1 暗赤灰色　焼土ブロック (径～ 2 ㎝)10%。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。上位に弱い焼土の薄層。天井崩落土
5　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR3/4 暗赤褐色焼土ブロック (径～ 1 ㎝)10%。
7　10YR3/4 暗褐色～ 10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土ブロック層。天井崩落土。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。
9　10YR2/1 黒褐色　炭化物と 10YR3/1 黒褐色シルト (焼土) の混合土 (8：2)　しまり・粘性中。
10　6 層と同じ。
11　2.5YR4/8 赤褐色シルト (焼土) ブロック (径～ 1 ㎝)、5YR6/8 橙色シルト (焼土) ブロック (径～ 1 ㎝)、10YR3/3　暗褐色シルトの混合土 (4：1：5)。しまり・粘性中。
12　2.5YR4/8 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。
13　2.5YR3/2 暗赤褐色　シルト　しまり中、粘性なし。焼土。
14　7.5YR6/6 橙色　シルト　しまり極めてあり、粘性なし。焼土硬化。
15　2.5YR4/8 赤褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土。
16　住居 7 層。

第73図　SI36住居跡

熱深度も厚い。煙道は刳り抜き式と推定される。底面は燃焼部から壁際にかけて上がり、煙出し孔に向かって下がる断面形状を呈する。**柱穴**　検出されていない。**遺物出土状況**　古代土器 7 点 (b457～b463)、土製品 1 点 (d96) を掲載した。b457・b458・b459・b463は床面、d96は貼床内出土である。(遺物図版92・134　写真図版250・281)

ＳＩ３７住居跡 (第74・75図　写真図版45)

形状　方形基調で四隅が丸みを帯びる。**床面・掘り方**　住居中央のみ床面レベルで掘削を止め、周囲



SI37 (A-A'・B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性あり。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性あり。所々グライ化。酸化鉄集積。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性あり。10YR4/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 3 ㎝)5%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
4　10YR3/2.5 黒褐～暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR5/6 明赤褐色焼土、炭化物粒 (径～ 3 ㎝) 各 3%。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色シルトブロック (径～ 3 ㎝)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色砂ブロック (径～ 3 ㎝)5%、2.5YR5/6 明赤褐色焼土、炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 3%。
7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/2 灰黄褐色砂ブロック (径～ 3 ㎝)10%。
8　10YR6/1 褐灰色　粘土　しまり・粘性あり。下面に酸化鉄集積。
9　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)、炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 3%。
10　10YR3/3 暗褐色　シルト、10YR4/3 にぶい黄褐色　砂の混合土 (5：5)　しまり・粘性中。床溝埋土。
11　10YR3/ 3 暗褐色　シルト、10YR5/3 にぶい黄褐色シルトの混合土 (7：3)　しまり・粘性中。2.5YR5/6 明赤褐色焼土・炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 3%。
12　10YR3/3 暗褐色　シルト、10YR3/2 黒褐色シルト、10YR4/3 にぶい黄褐色砂の混合土 (6：2：2)　しまりあり、粘性中。掘り方。

SI37 pit 8 (c-c')
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。10YR3/2 黒褐色シルトブロック (径～ 1 ㎝)10%。柱痕。
2　10YR3/2 黒褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色砂の混合土 (7：3)。しまり・粘性中。掘り方埋土。

SI37 pit1 （注記のみ）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR5/6 焼土・炭 (径～ 5 ㎜) 各 3%。

SI37 pit3 （注記のみ）
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。

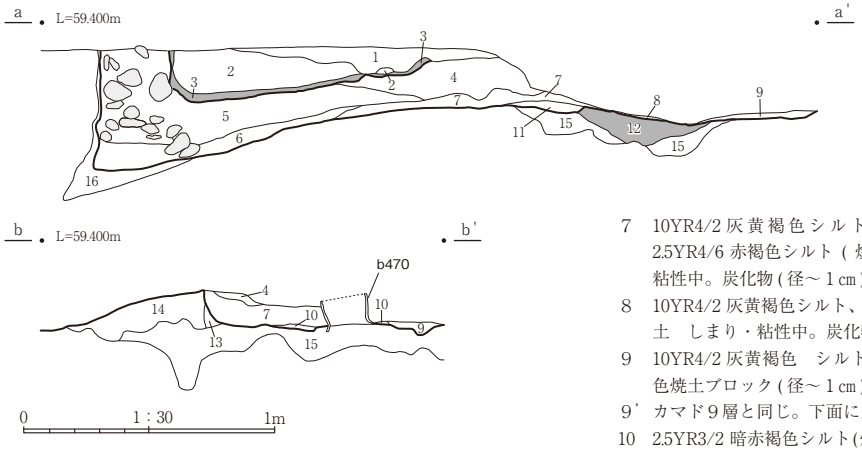
SI37 pit4・6（注記のみ）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。

SI37 pit5（注記のみ）
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。

SI37 床溝 （注記のみ）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。

0　1：60　2m

第74図　SI37住居跡（1）



SI37 カマド (a-a'・b-b')

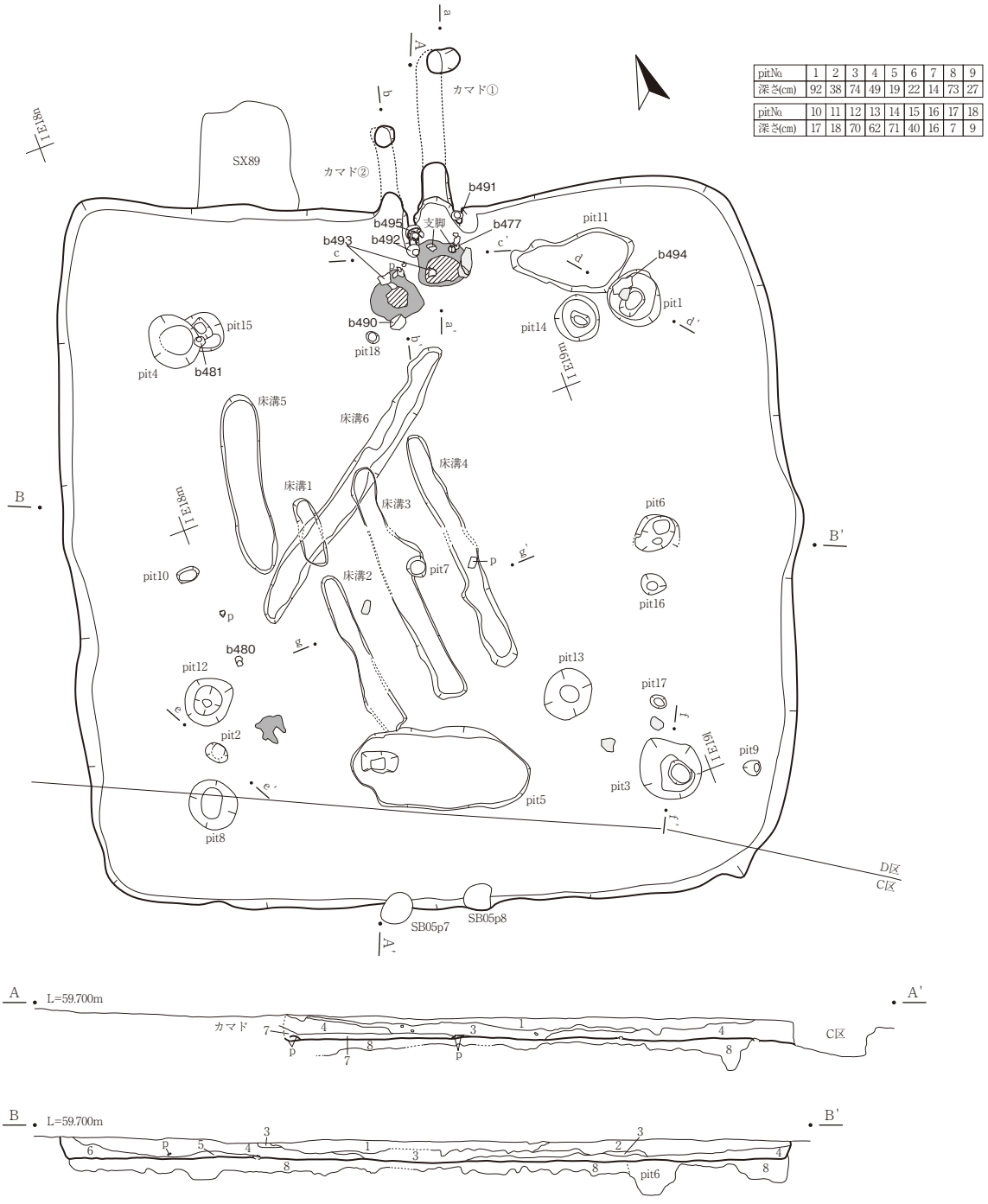
1　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。地山。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。地山。
3　上・2.5YR3/2 暗赤褐色シルト、下・2.5YR3/1 暗赤灰色シルト　しまりあり、粘性中。煙道天井部焼土。
4　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR3/2 暗赤褐色・2.5YR4/6 赤褐色焼土ブロック (径～ 1 ㎝)、炭化物 (径～ 1 ㎝) 各 5%。
5　10YR4/2 灰黄褐色シルト、2.5YR3/2 暗赤褐色シルト (焼土)、2.5YR3/1 暗赤灰色シルト (焼土) の混合土 (5：3：2)。しまりなし、粘性中。
6　7.5YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性中。2.5YR3/2 暗赤褐色・2.5YR3/1 暗赤灰色焼土ブロック、炭化物 (各径～ 1 ㎝) 各 10%。
7　10YR4/2 灰黄褐色シルト、2.5YR3/2 暗赤褐色シルト (焼土)、2.5YR4/6 赤褐色シルト (焼土) の混合土 (4：5：1)。しまりなし、粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎝)5%。
8　10YR4/2 灰黄褐色シルト、2.5YR3/2 暗赤褐色シルト (焼土) の混合土　しまり・粘性中。炭化物 (径～ 1 ㎝)3%。
9　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック (径～ 1 ㎝)、炭化物 (径～ 1 ㎝) 各 10%。
9'　カマド 9 層と同じ。下面に炭化物層。
10　2.5YR3/2 暗赤褐色シルト (焼土) と炭化物の混合土 (4:6)。しまり中、粘性なし。
11　10YR4/2 灰黄褐色シルト、2.5YR5/8 明赤褐色シルト (焼土) の混合土 (2：8)。しまりなし、粘性中。
12　10YR5/8 黄褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。焼土。
13　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。カマド袖。
14　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性中。2.5YR4/6 赤褐色焼土粒 (径～ 5 ㎜)、炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 1%。カマド袖。
15　10YR4/2 灰黄褐色シルトと 10YR4/3 にぶい黄褐色砂の混合土 (7：3)。しまり中、粘性なし。2.5YR3/2 暗赤褐色、2.5YR4/6 赤褐色焼土ブロック (径～ 2 ㎝)3%。掘り方。
16　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭化物 (径～ 1 ㎝)5%。煙出しは掘り方埋土。

第75図　SI37住居跡（２）

はカマド部分も含め深く掘り下げてから均して床としている。床面レベルは西半部及び周縁部が低い。堆積土暗褐色シルト主体である。灰黄褐色シルト・砂がブロック状に混在しているが、自然堆積と考えられる。**カマド**　北壁やや西寄りに設置されている。袖下部が残存しており、東袖には芯材として土師器長胴甕 (b470) が逆位で設置されている。一方、西袖は土壌のみで構築され、土器芯材は持たない。燃焼面は強く被熱し、中央部に硬化還元面が生じている。焼土は煙道～煙出し孔でも発達している。煙道は刳り抜き式である。断面観察から、煙道→煙出し孔の順に掘削したことがうかがえ、掘り過ぎた煙道先端部は埋め戻されている。なお煙出し孔の平面形は方形基調で、角が明確に残存する。底面は燃焼部から壁際にかけて上がり、煙出し孔に向かって下がる形状を呈する。カマド廃絶時、煙出し孔は直径10㎝前後の円礫と土壌によって人為的に埋め戻されていた。**柱穴**　pit４・８の２基は主柱穴で、pit８には柱痕が残る。おそらく４本柱だったと推定されるが、北東及び南西からは検出されなかった。pit６・９・10は壁柱穴である。pit１は遺物を比較的多く含む。住居使用時に開口していたと考えられる。南壁際にある横長のpit２は出入り口施設に伴うものである。**井桁状溝群**　北―南方向に平行して伸びる溝を５条検出した。底面は掘削痕が残存し凸凹が顕著である。本溝群の埋土は、床面掘り方土とも竪穴堆積土とも異なる。そのため、床構築後に本溝群を掘削し、住居使用時は閉口していたと考えられる。**遺物出土状況**　古代土器９点 (b464～ b472)、鉄製品１点 (f53) を掲載した。b470はカマド芯材、b465・b469・b472は床面もしくは床面直上出土である。(遺物図版92・188　写真図版250)

ＳＩ３９住居跡 (第76図　写真図版46)

検出状況　本遺構南壁際は平成24年度の調査範囲であるＣ区に位置し、形状から住居跡と判断した。遺構の大部分は次年度以降の調査範囲内 (Ｄ区) に含まれていることは明確であったが、発掘調査後の工事

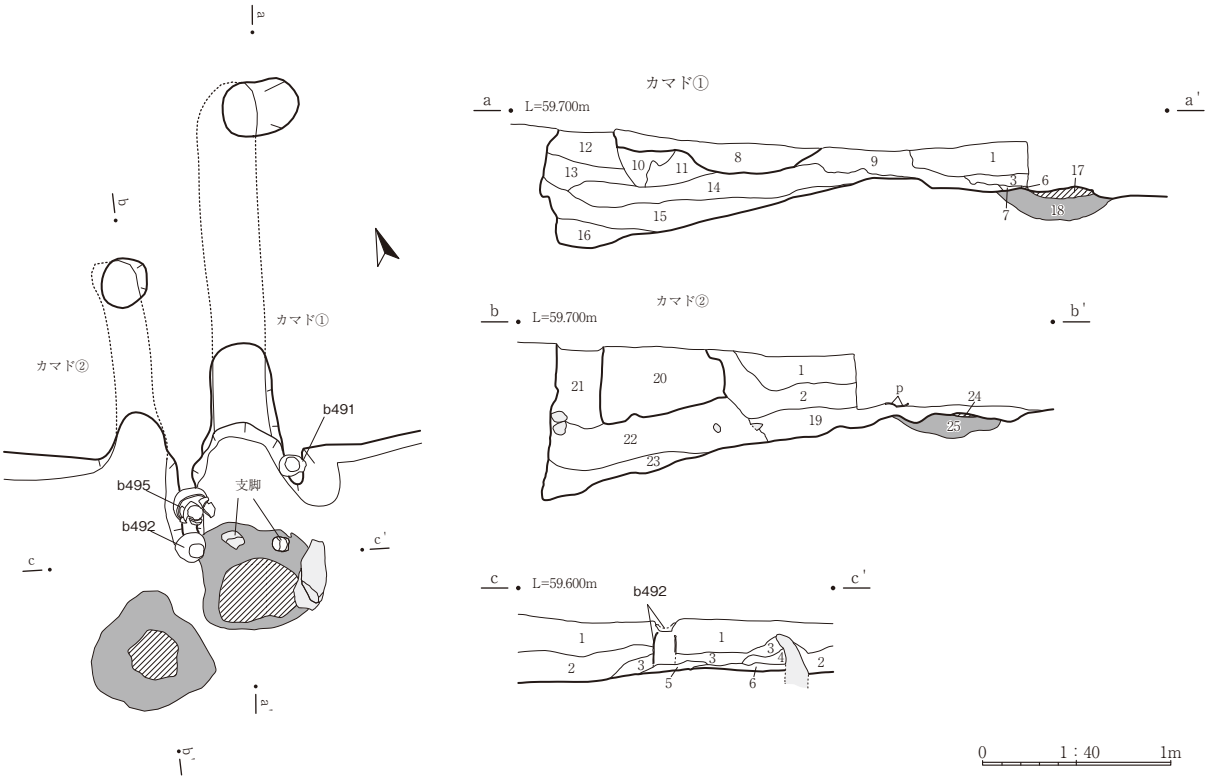


SI39 (A-A'・B-B')

1　10YR5/4 にぶい黄褐色　しまりあり、粘性ややあり。洪水砂ににぶい黄褐色粘土ブロック 10%、炭 (径 1 ～ 5 ㎜)5%、焼土 2% 含む。
2　10YR5/3 にぶい黄褐色　しまり・粘性あり。礫をやや多量 (30%) 含む。
3　10YR6/1 褐灰色　粘土　しまり・粘性あり。酸化鉄含む粘土層。小礫 2%、1 層の砂 20% 含む。
4　10YR5/3 にぶい黄褐色　しまり・粘性あり。炭・焼土 (径 1 ～ 5 ㎜) 各 10% 含む。1 ・ 2 層土も少量混じる。
5　10YR5/4 にぶい黄褐色　しまり・粘性あり。10YR6/1 褐灰色粘土 20% 含む。
6　10YR5/4 にぶい黄褐色　しまり中、粘性ややあり。やや砂質。炭 (径 1 ～ 3 ㎜)2% 以下。
7　10YR5/3 にぶい黄褐色　しまり・粘性あり。炭と焼土 (径 2 ～ 10 ㎜) 各 15%。4 層土より炭と焼土粒大きい。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　しまり・粘性あり。10YR4/4 褐色粘土全体に少し混じる。ややグライ化。

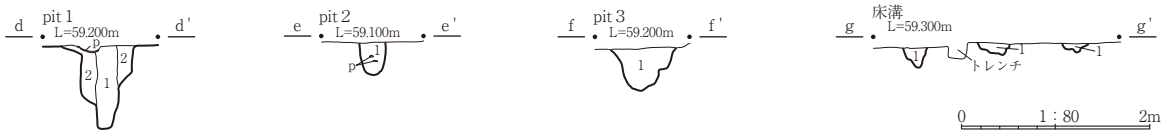
0　1 : 80　2m

第76図　SI39住居跡（1）



SI39 カマド①② (a-a' ～ c-c')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。炭 (径～ 2 ㎜) 極微量全体に混じる。10YR4/4 褐色砂極微量全体に混じる。
2　1 層と似るが、10YR4/4 褐色砂多くなる。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。焼土ブロック (径～ 3 ㎜) 少量。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。焼土ブロックと 6 層土が斑状に入る。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。焼土ブロック (径～ 1 ㎝) 多量。
6　10YR5/4 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。灰層？
7　5 YR3/6 暗赤褐色　焼土ブロック層。
8　10YR3/4 暗褐色　シルト　天井 (基本土層Ⅳ下～Ⅴ層)。
9　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。
10　8 層崩落土。しまり 8 層よりなし。
11　10YR3/4 暗褐色シルト大量と 10YR4/4 褐色シルト少量の混土。下部に天井崩落の被熱土斑状に大きく入る。
12　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト微量細かく入る。
13　10YR3/4 暗褐色シルトと壁被熱土が大きく混じる。
14　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト少量全体に混じる。下面に天井崩落の被熱土層状に入る。
15　14 層と同じ。
16　14 層と同じで被熱土が入らない。
17　5 YR5/6 明赤褐色　焼土硬化面。カチカチ。
18　5 YR3/6 暗赤褐色　焼土層。
19　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。奥壁部分には下面に天井崩落の被熱あり。10YR4/4 褐色シルトやや多量全体に混じる。焼土ブロック微量 (径～ 1 ㎝)、上面がカマド 2 の床面。
20　10YR3/4 暗褐色 (やや 10YR4/6 褐色より)　粘土質シルト　地山。
21　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。
22　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、ボロボロ、粘性中。21 層と似るがしまりない。23 層との境には被熱土薄く層状に堆積。
23　22 層と同じだが被熱土なし。
24　5 YR5/6 明赤褐色　焼土硬化面。固い。17 層ほどではない。
25　5 YR3/6 暗赤褐色　焼土層。
※ 1 ～ 18 層　カマド①、19 層　カマド①貼床、20 ～ 25 層　カマド②。



SI39 pit1 (d-d')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。柱痕。所々空洞。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂 (径～ 1 ㎝) 全体に少量斑状に含む。

SI39 pit2 (e-e')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。

SI39 pit3 (f-f')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂少量全体に混じる。

SI39 床溝 (g-g')

1　床掘り方（A-A' 8 層）と同じ土だがグライ化して灰色味強い。

SI39 pit4 (注記のみ)

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト全体に少量、下部には砂も少し混ざる。炭化物極微量。

SI39 pit5 (注記のみ)

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルトブロックやや多量斑状に大きく入る。炭化物微量、大きめ (径～ 2 ㎝)

SI39 pit11 (注記のみ)

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。　10YR4/4 褐色粘土質シルト・炭化物・焼土ブロック斑状に微量 (径～ 5 ㎜)。

SI39 pit12 ～ 15 (注記のみ)

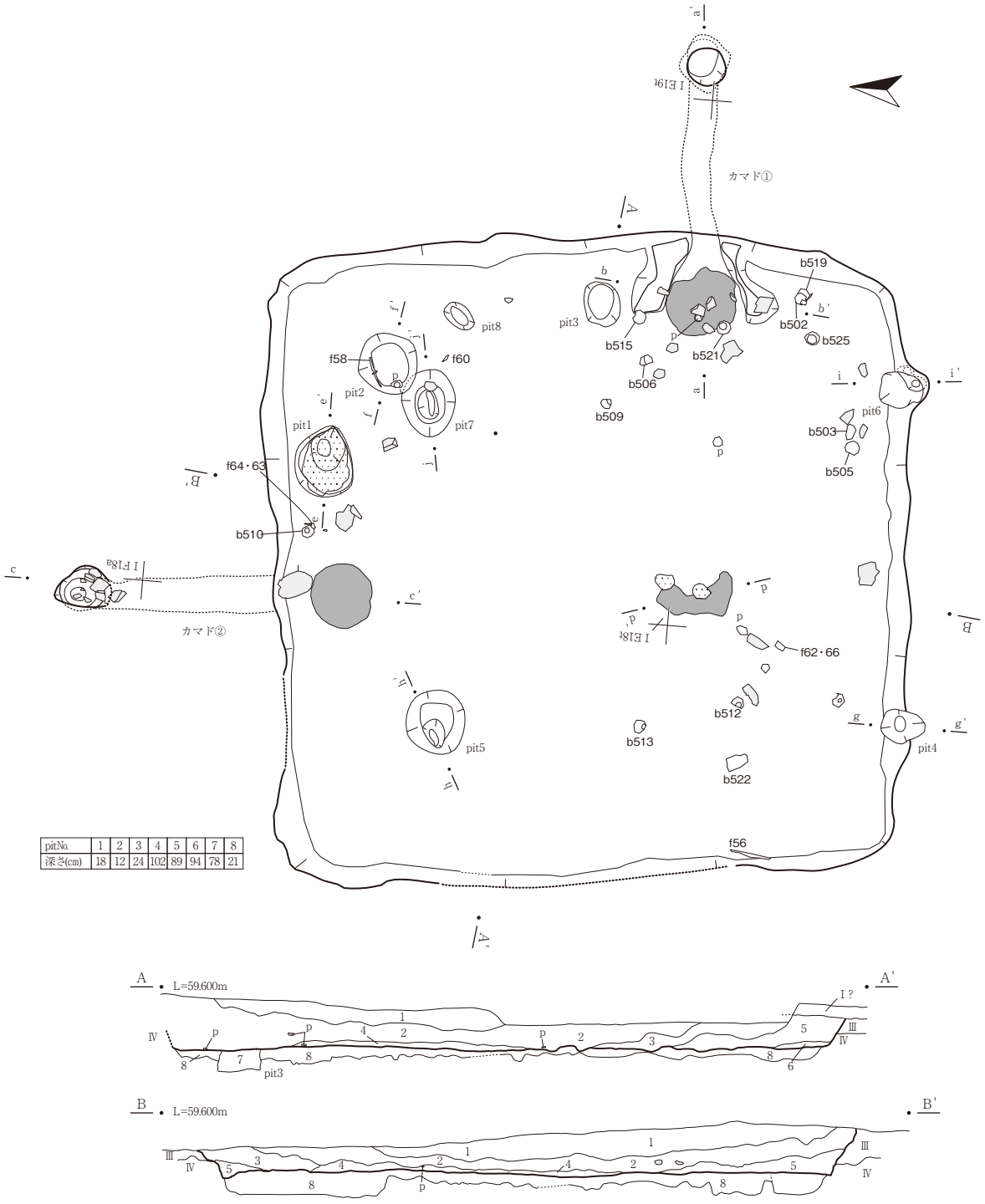
1　10YR3/4 暗褐色　10YR4/4 褐色砂とシルトブロックが斑状に入る。しまり上部なく下部あり。

第77図　SI39住居跡（2）

が順次行われていたため、C区検出分のみ平成24年度に精査を終了し、D区分は25年度の調査となった。**形状**　方形基調である。北東・南東コーナーが丸みを帯び、東壁がやや外側へ膨らむ。カマド・柱穴の項目で後述するが、カマドの作り替えに伴い住居自体の拡張が行われたようである。**床面・壁面**　床面は比較的硬く締まるものの、堆積土にも同様の締まりがあり、明確に識別できなかった。礫や遺物の広がる面を追い、一部断面際にサブトレンチを入れ掘り方土とあわせて観察を行った。断面記録部分は概ね平坦であるが、中心部より壁際がやや低くなり、特に南壁側が下がる。壁は外傾して立ち上がる。**堆積土**　にぶい黄褐色土が堆積する。人為・自然のいずれかははっきりしないが、炭化物・焼土ブロックが全体に混入し、礫・土器が多く含まれることから、人為堆積の可能性がある。**カマド**　北壁中央に２基検出した。住居検出時点から煙出し孔を２個確認しており、それぞれのカマドの長軸と両者共通で短軸にベルトをかけた。掘り下げた結果c-c'より南側の長軸断面は短軸で観察できた層序がそのまま続くことがわかり、記録前に除去している。カマド①よりもカマド②の方が住居内側に位置している、焼成面が低い、袖が残存していないという点から、カマド①の方が新しいと判断した。**カマド①**　土師器甕を倒位で置き（西側に２個･東側に１個)芯材としており､その周りに褐色土を貼り付け袖としている。袖は壁側にのみ残っており、焼土の形成される周辺は残存していない。焼土の東縁に礫が２個体出土しており、手前側（住居内側）は芯材に礫が使われていたようである。燃焼部内の被熱は強く､中央部に硬化面が生じている。焼成範囲奥(北縁）には西側に礫、東側に土師器甕底部が倒位で置かれ、２連の支脚として利用されていた。煙道は刳り抜き式で、住居壁側から下り勾配で煙出し孔へと続く。煙道内は被熱した天井や壁の崩落を繰り返しながら自然に埋没している。そのため、煙出し孔壁はオーバーハングし煙道天井部は煙出し孔側が広がる。**カマド②**　袖は上述の通り残存しない。カマド①同様に被熱は強く硬化面が生じている。この焼土上面に貼土され､カマド①使用時の床面が作られている(19層)。カマド②自体の底面は焼成範囲の北側がすぐ下がっており、煙道部はこの位置から始まっていたものと推定される。つまり、カマド②使用時には住居北壁はカマド①使用時よりも南側に位置していたようである。カマド②からカマド①作り替え時にカマド②の煙道部を埋め、壁を北側に広げ、住居自体を拡張している。カマド②の煙道～煙出し孔は廃絶後すぐに埋め戻されたためか、壁や天井部が崩れず被熱した状態で残存している。**柱穴**　17基検出した。pit１・３・４・８がカマド①に伴う主柱穴と推定される。pit１は断面で、pit１・３・８では底面で柱痕跡を確認した。pit８の柱痕跡は平面記録を欠くが、底面で隅丸長方形の一段下がる窪みがある。これら４本を結ぶ線上に位置するpit２・６・10・16・17は上屋を支える補助的な柱穴の可能性がある。一方でpit12～15は底面に柱痕跡が確認されるものの、断面観察時にはその痕跡が見られず、４基とも同様の土で埋め戻されていることからカマド②に伴う主柱穴と考えられる。古い主柱穴に対し新しいものは東と南で外側へ作り替えられており、住居の拡張は北側のみでなく、南壁と東壁でも行われた可能性がある。その他pit５はカマド②の住居に伴う出入り口施設、pit11は貯蔵穴とも考えられるが、断定はできない。**井桁状溝群**　床面で並列する溝３条（床溝１～４）を、掘り方掘削中に残りの２条を検出した。堆積土は、床掘り方土と同じだが、グライ化している。住居廃絶後の堆積土とは異なるため使用時に閉口していた可能性が高い。**遺物出土状況**　床面からの出土はカマド付近が多く、その他器形が復元できる個体は堆積土中に含まれる。b491・b492・b495はカマド芯材である。支脚の土器は室内整理作業時にその出土地点の把握ができておらず不掲載としたが土師器甕底部である。（遺物図版93･94･129･130･181･189　写真図版250･251･279）

ＳＩ４０住居跡（第78～80図　写真図版47）

検出状況　平成24年度の調査で検出しベルトを残して床面まで掘り下げ堆積状況を記録、平成25年度の調査でその後の精査を行っている。**形状**　方形基調。住居壁がわかりづらく、上端が破線の部分は一部



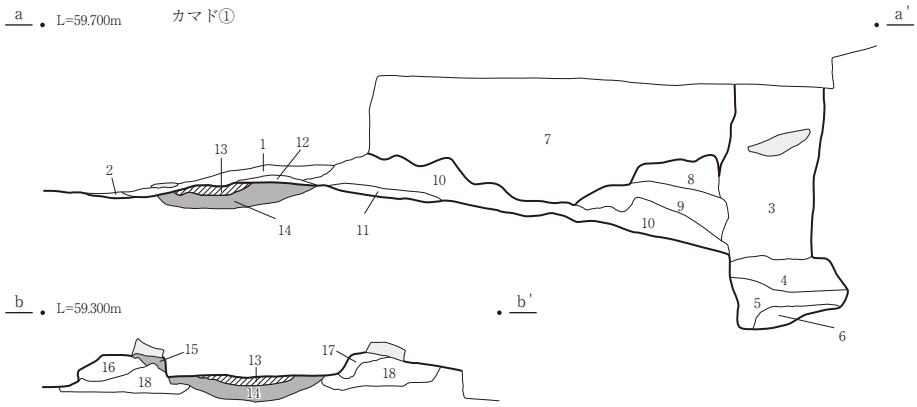
pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8
深さ(cm)	18	12	24	102	89	94	78	21

SI40 (A-A'・B-B')

1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。均質。炭化物少量。
2　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。均質。炭化物少量。１層より２層の粒径小さくシルトに近い。１層は細砂に近く暗色。
3　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭化物 5%。南西側に分層、南北ベルトでは確認できず。
4　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中～なし、粘性なし。ベースに炭化物集中ブロック、焼土粒、遺物が混在する。床面を覆う層。南東側に主に分布。北西側途切れるか？。
5　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。均質。堆積物なし。東側以外の四周壁際に分布。
6　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中～なし、粘性なし。４層に類似するが炭化物はない。
7　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　10YR3/4 暗褐色砂質シルト少量斑状に含む。炭・焼土 (径～１cm) 極微量。
8　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　10YR2/3 黒褐色砂質シルト (Ⅳ層包含層土) 微量斑状に含む。しまり中、粘性ややなし。

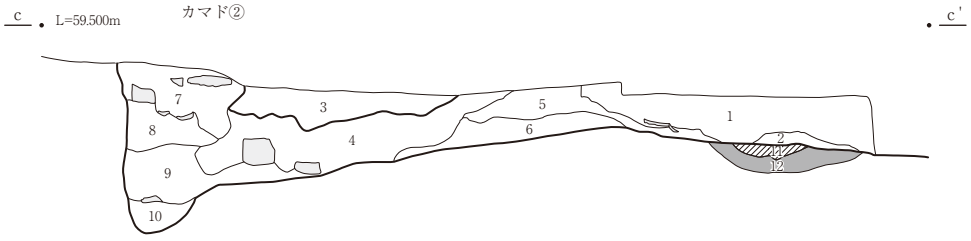
0　1：60　2m

第78図　SI40住居跡（１）



SI40 カマド① (a-a'・b-b')

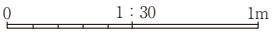
1　カマド②1層と同じ。住居埋土。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂少量、炭 (径～5㎜) 微量。
3　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト大量、しまり中、粘性ややなし。10YR2/3 黒褐色ブロック (径～1㎝微量) 微量ぼやっと混じる。人為堆積。礫含む。
4　主体土3層に似るが、ややシルト質でしまりなし。やや被熱した黒色土層入る。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。崩落？
6　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。崩落？
7　10YR4/4 褐色　(Ⅲ層？)
8　7層大量に、10YR2/3 黒褐色シルトやや多量全体的に混じる。しまり中、粘性ややなし。下面が被熱する。(天井崩落)
9　7層崩落層。しまり中、粘性ややなし。
10　7層に 7.5YR2/2 黒褐色～3/4 暗褐色の煙道壁の被熱したブロックが大量に入る。しまり中、粘性ややなし。
11　10YR3/4 暗褐色　シルトと 10YR4/4 褐色砂の混土。全体的に混じる。
12　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　焼土ブロック (径～1㎝) やや多量。しまり中、粘性ややなし。
13　7.5YR5/8 明褐色　被熱強く硬化還元色。
14　5YR4/8 赤褐色　焼土層。被熱強い。
15　7.5YR4/6 褐色　16・18 層が被熱したもの。
16　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。袖土。
17　16 層に似るが、被熱土混じる。袖土。
18　SI40 掘り方土 (8 層) と同じ。



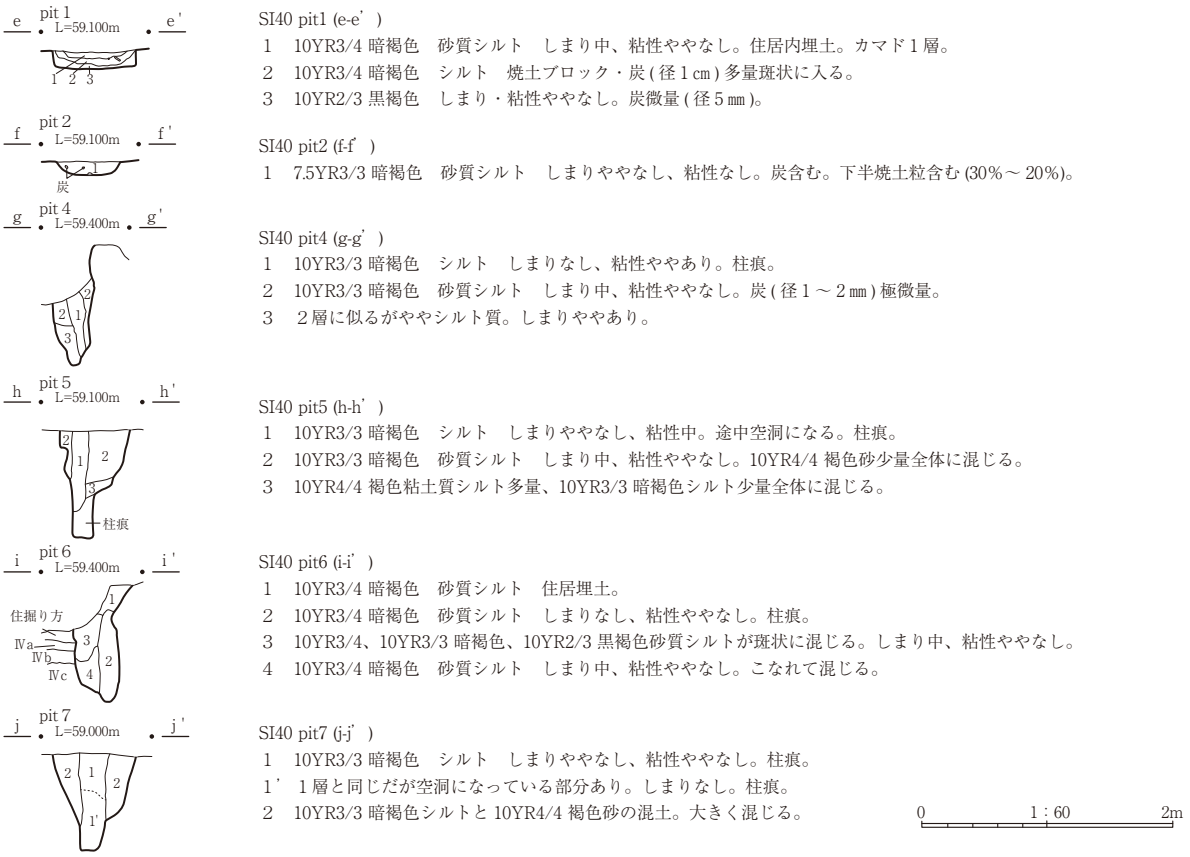
SI40 カマド② (c-c')

1　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。炭 (径～2㎜) 極微量。住居埋土。
2　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。1層より砂の粒子粗い。炭、焼土 (径～1㎜) 極微量。
3　10YR4/4 褐色　砂　地山層 (ⅢorⅣ層？)。下面断続的に被熱する。
4　3層崩落層。3層よりシルト質。南側傾斜あり。部分的に下面被熱する。
5　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。焼土ブロック (径～5㎜) 極微量、10YR3/4 暗褐色土少量全体的に混じる。
6　3層崩落層。
7　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。礫多く含む。
8　7層と同じだがしまりなし。
9　10YR4/4 褐色　しまり・粘性なし。砂層に 7.5YR2/2 黒褐色 (やや被熱する) シルトが薄く横縞状に互層に入る。
10　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。混入物なし。
11　7.5YR5/8 明褐色　被熱強く硬化還元色。
12　5YR3/6 暗赤褐色　焼土。被熱強い。

SI40 焼土1 (d-d')
1　5YR3/4 暗赤褐色　焼土層。



第79図　SI40住居跡（2）



SI40 pit1 (e-e')
1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。住居内埋土。カマド１層。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　焼土ブロック・炭 (径１cm) 多量斑状に入る。
3　10YR2/3 黒褐色　しまり・粘性ややなし。炭微量 (径５mm)。

SI40 pit2 (f-f')
1　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。炭含む。下半焼土粒含む (30%～ 20%)。

SI40 pit4 (g-g')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性ややあり。柱痕。
2　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。炭 (径１～２mm) 極微量。
3　２層に似るがややシルト質。しまりややあり。

SI40 pit5 (h-h')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。途中空洞になる。柱痕。
2　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂少量全体に混じる。
3　10YR4/4 褐色粘土質シルト多量、10YR3/3 暗褐色シルト少量全体に混じる。

SI40 pit6 (i-i')
1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　住居埋土。
2　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性ややなし。柱痕。
3　10YR3/4、10YR3/3 暗褐色、10YR2/3 黒褐色砂質シルトが斑状に混じる。しまり中、粘性ややなし。
4　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。こなれて混じる。

SI40 pit7 (j-j')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややなし。柱痕。
1'　１層と同じだが空洞になっている部分あり。しまりなし。柱痕。
2　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/4 褐色砂の混土。大きく混じる。

第80図　SI40住居跡（３）

掘り過ぎた可能性が高い。**床面・壁面**　床面は中心部が硬化するが、壁際が柔らかく中心に比べ低くなる。掘り方土も壁際の方が深い。壁は堆積土との境界が非常に不明瞭で、断面でも確認できない箇所があった。比較的明瞭な部分から追いかけて掘り進めていった。**堆積土**　床面直上には炭化物・焼土ブロック・遺物を多く含む層、全体には褐色～暗褐色の均質な砂質シルトが堆積する。**カマド**　北壁中央と東壁南寄りに設置される。住居検出時には北側のカマド（カマド②）のみ把握しており、床面まで掘り下げたところ、焼土ブロックが散在する範囲を確認したため、煙出し孔を再検出し、東カマド（カマド①）の存在に気が付いた。燃焼部の残存状況からカマド①の方が新しいと判断される。**カマド①**　褐色砂質シルトを積み上げ袖としている。板状の礫が北袖土内に残り、その他周囲にも出土していることから芯材や天井にこれらが使われていたと推測される。袖土自体は床面から10cmほどの高さしか残存していないが、前述の通り床面までの精査中にその存在に気が付いたこと、堆積土も褐色土（住居断面２層）であることから、一部袖の存在に気付かず掘り下げてしまった可能性もある。燃焼部底面の被熱は強く中心部が硬化する。煙道部は住居壁からやや下り勾配煙出し孔へと続き、煙出し孔で一段低くなる。煙出し孔壁下部は外側（東側）がオーバーハングするが、下部の堆積土中に壁崩落土が含まれることから、当初の壁は直立していたものと思われる。上部は礫を含む単一層で埋め戻されており（３層）、その後煙道部は天井崩落を伴いないがら、住居側から土が流入し自然に埋没していったと考えられる。**カマド②**　燃焼部は袖が残存せず焼土のみ検出した。焼成はカマド①同様に非常に強く中心部は硬化する。煙道部もカマド①と同じような角度で下り、煙出し孔で一段下がる。煙出し孔と煙道北側には礫が大量に含まれており、人為的に埋め戻されたようである（７～10層）。煙道内には天井・壁が崩落した褐色土や被熱土が多く含まれており（４～６層）、燃焼部奥（壁側）には大きな礫が出土していることから、煙出し孔側から埋め戻し、住居壁側に

は礫で蓋をし煙道部は完全には埋め戻していなかった可能性も考えられる。**柱穴**　８基検出した。pit１・２は床面で、それ以外は掘り方土内で確認した。主柱穴はpit４～７である。pit４・６は住居壁から突出する。いずれも断面観察の結果柱痕を残しており、pit４以外は柱部分が底面で一段下がり、pit５・７はその形が隅丸長方形を呈している。pit１は堆積土中に焼土ブロックを含み、上部に住居堆積土と同じ土が入っていることから開口していたと判断される。pit２も壁際に遺物が出土しており開口していた可能性が高い。**床面焼土**　カマド①の西側、長軸延長線上に形成されている。平面形は不整形で、被熱深度は浅く硬化面は認められないが、その範囲は明瞭でしっかりと被熱している。用途は不明である。**遺物出土状況**　土器は床面～下部にかけて出土し、カマド①周辺に多い。坏類に比べ甕類は少なく、全形を復元できた個体はない。南西壁際で小刀（f56）、pit２底面で紡錘車（f58）、堆積土下部から鍋・刀子（f62・f60）等金属製品の出土も多い。（遺物図版3･94･95･174･189　写真図版182･251･252）

ＳＩ４１住居跡（第81図　写真図版48）

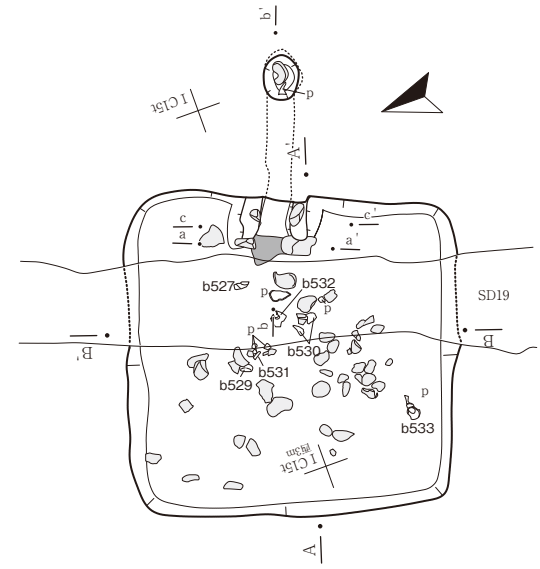
検出　SKI02と04に挟まれ、規模・形状が似ており煙出し孔も検出できなったため、住居状遺構を想定し精査に着手したが、床面で焼土が検出されカマドの存在を確認したことから住居跡と判断した。**形状**　方形基調である。**床面・壁**　床は概ね平坦で、壁は直立気味に外傾する。**堆積土**　床面直上ほぼ全体に堆積するのは黄褐色砂が混じるシルト層で、壁際に確認できる３層は崩落土と考えられる。西側のみに確認できた４層はカマド袖の構築土である。１層には多量の礫（径５～20㎝）が含まれ、人為的な堆積を示す。**カマド**　東壁やや北寄りに設置されている。袖は礫を芯材として使用し、褐色砂を貼り付け構築している。住居掘り方土には黒褐色～暗褐色シルトが混入するが、袖土は褐色砂のみの使用で、まず床面を平坦に均してからカマドを構築したようである。燃焼部底面には焼土が形成されており、袖土・芯材の礫も内側が被熱している。煙道は刳り抜き式で底面は住居壁から外側へわずかに下り、煙出し孔部で一段低くなる。堆積土は煙出し孔側から入り燃焼部内まで流入している。煙出し孔内に礫が含まれるものの、上部に数点のみで人的な埋め戻しか自然堆積か判断できなかった。**柱穴**　検出されていない。**遺物出土状況**　遺物の出土量は礫を多く含む堆積土上部（１層）からが多い。（遺物図版95　写真図版252）

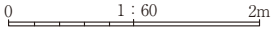
ＳＩ４２住居跡（第82図　写真図版49）

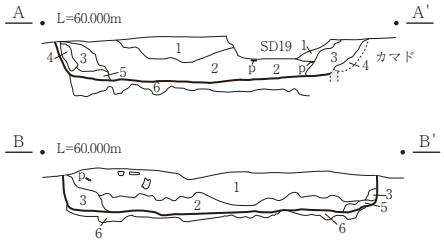
検出状況　カマド上位堆積物の検出により認識した。**形状**　方形基調である。遺構上部がかなり消失しており、東壁と北・南壁の一部が残存するのみである。**床面・掘り方**　床面は締まらずはっきりしない。竪穴中央付近に焼土が２基形成されている。カマド周辺で検出された皿状の窪みは、掘り方と推定される。**堆積土**　黒褐色シルト主体である。カマド周辺の床面から粘土の堆積が３箇所で確認された。性格不明である。**カマド**　東壁南寄りに設置されている。ただし本体上部、煙道、煙出し孔のいずれも残存せず、燃焼部と袖等の残骸と思われる堆積が残るのみである。**柱穴・土坑**　７基検出された。上屋を支える柱穴と判断できるものはない。pit１はカマド南脇にあり、遺物を多く含む。住居使用時に開口していたピットと考えられる。**遺物出土状況**　古代土器７点を掲載した。b535・b536は床面、b537・b538はpit１内出土である。（遺物図版95　写真図版252）

ＳＩ４３住居跡（第83・84図　写真図版50）

検出状況　本遺構周辺は農作物トレンチャーによる攪乱が多数並列しており、検出段階ではカマドの周辺に焼土ブロックが広がることは確認できたものの住居跡のカマドであると認識できなかった。焼土ブロックが遺構に伴うものか判断するため攪乱を除去したところ、焼土が形成されていることが判明しカマ

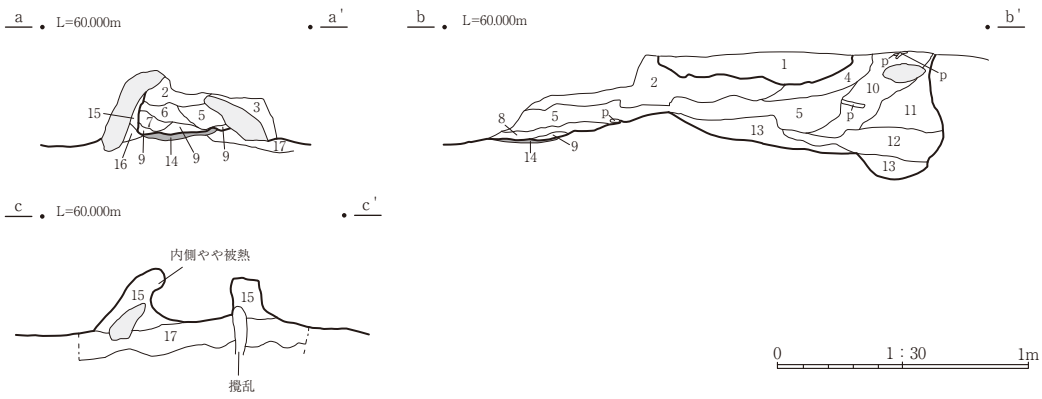






SI41 (A-A'・B-B')

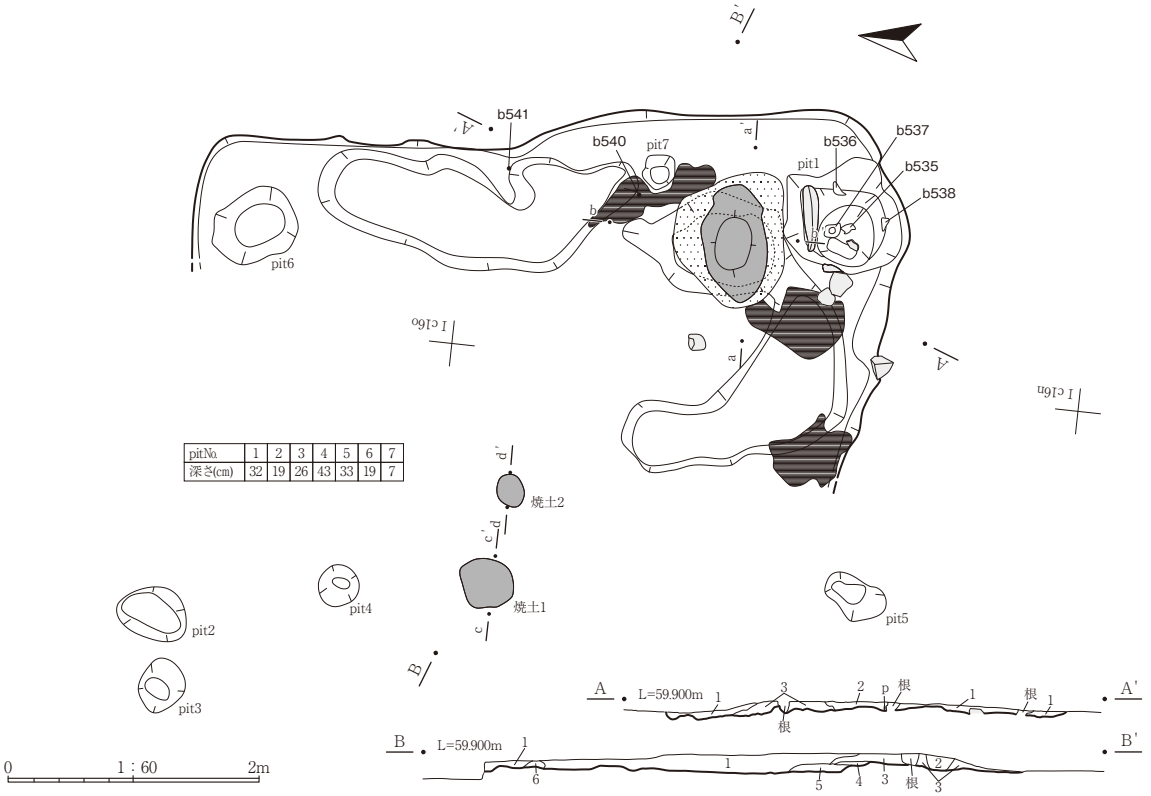
1　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂中量。(径 5 ～ 20 ㎝) 礫。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色砂少量、炭化材極少量散在。
3　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり･粘性ややあり。黄褐色砂中量、砂混じり。
4　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。
5　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。黄褐色砂少量。
6　10YR2/3 黒褐色シルト少量、10YR3/3 暗褐色粘土質シルトやや多量、10YR4/4 褐色　砂大量斑状　しまり・粘性中。掘り方。



SI41 カマド (a-a' ～ c-c')

1　10YR3/4 暗褐色～ 10YR4/4 褐色　砂　地山Ⅲ層。
2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR3/4 暗褐色地山砂やや多量、全体にぼやっと混じる。
3　10YR3/4 暗褐色　砂層　袖崩落。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR3/4 暗褐色地山砂微量 (径 2 ～ 3 ㎜)。
5　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR3/4 暗褐色地山砂少量、全体にぼやっと混じる。
6　10YR3/4 暗褐色砂大量に、10YR2/3 黒褐色砂質シルト少量、ぼやっと混じる。しまり中、粘性ややなし。
7　5層に似る。
8　2層に似るが、焼土ブロック極微量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
9　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。焼土ブロック (硬くなく被熱土に近い) 多量、全体に含む。
10　10YR3/4 暗褐色地山砂ブロック大量、10YR2/3 黒褐色少量。しまり中、粘性ややなし。
11　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。10YR3/4 暗褐色地山砂微量 (径 2 ～ 3 ㎜)。
12　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂少量。
13　10YR2/3 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色地山粘土質シルト少量。
14　5YR3/4 暗赤褐色　焼土層。10YR3/4 暗褐色砂が被熱。
15　10YR4/4 褐色砂に、10YR2/3 黒褐色シルト微量食い込む、ほとんど地山と変わらない。
16　15 層に 10YR2/3 黒褐色シルト極微量。
17　住居６層と同じ。

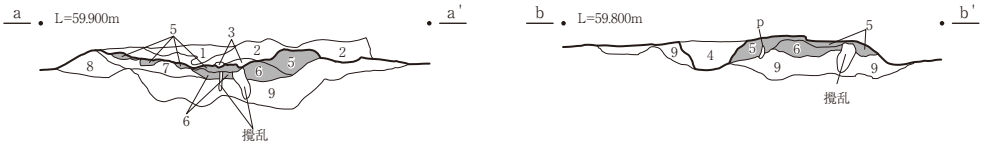
第81図　SI41住居跡



pitNo.	1	2	3	4	5	6	7
深さ(cm)	32	19	26	43	33	19	7

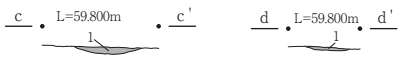
SI42 (A-A'・B-B')

1　10YR3/1.5 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。5YR4/8 赤褐色焼土粒 (径～ 5 ㎜)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)10%。
3　10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。5YR4/8 赤褐色焼土粒 (径～ 5 ㎜)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)10%。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)5%。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
6　7.5YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。5YR4/8 赤褐色焼土ブロック (径～ 3 ㎝)20%。



SI42 カマド (a-a'・b-b')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)、炭化物粒 (径～ 5 ㎜) 各 7%。
2　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)10%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)7%。
3　7.5YR3/4 暗褐色　シルト　しまり中､粘性ややあり。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)10%､3 層ブロック (径～ 1 ㎝)10%。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。2.5YR5/8 明赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎜)3%、炭化物粒 (径～ 5 ㎜)2%、10YR5/4 にぶい黄褐色　粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。
5　5YR3/4 暗赤褐色　砂　しまり中、粘性なし。焼土 (弱い)。
6　5YR4/4 にぶい赤褐色　砂　しまり中、粘性なし。焼土。
7　10YR3/2 黒褐色　砂　しまり中、粘性なし。7 層ブロック (径～ 1 ㎝)5%。
8　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり中、粘性なし。
9　10YR3/2 黒褐色　砂　しまり中、粘性なし。※ 9 層は遺構内凹部に広く堆積。



SI42 焼土 1 (c-c')

1　3.75YR4/8 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土。

SI42 焼土 2 (d-d')

1　5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土。

0　1：30　1m

SI42 pit2・3 （注記のみ）

1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭 (径～ 2 ㎜)1%。

SI42 pit4・5 （注記のみ）

1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 砂質シルト (径～ 2 ㎝)5%。

SI42 pit6 （注記のみ）

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭 (径～ 2 ㎜)1%。

SI42 pit7 （注記のみ）

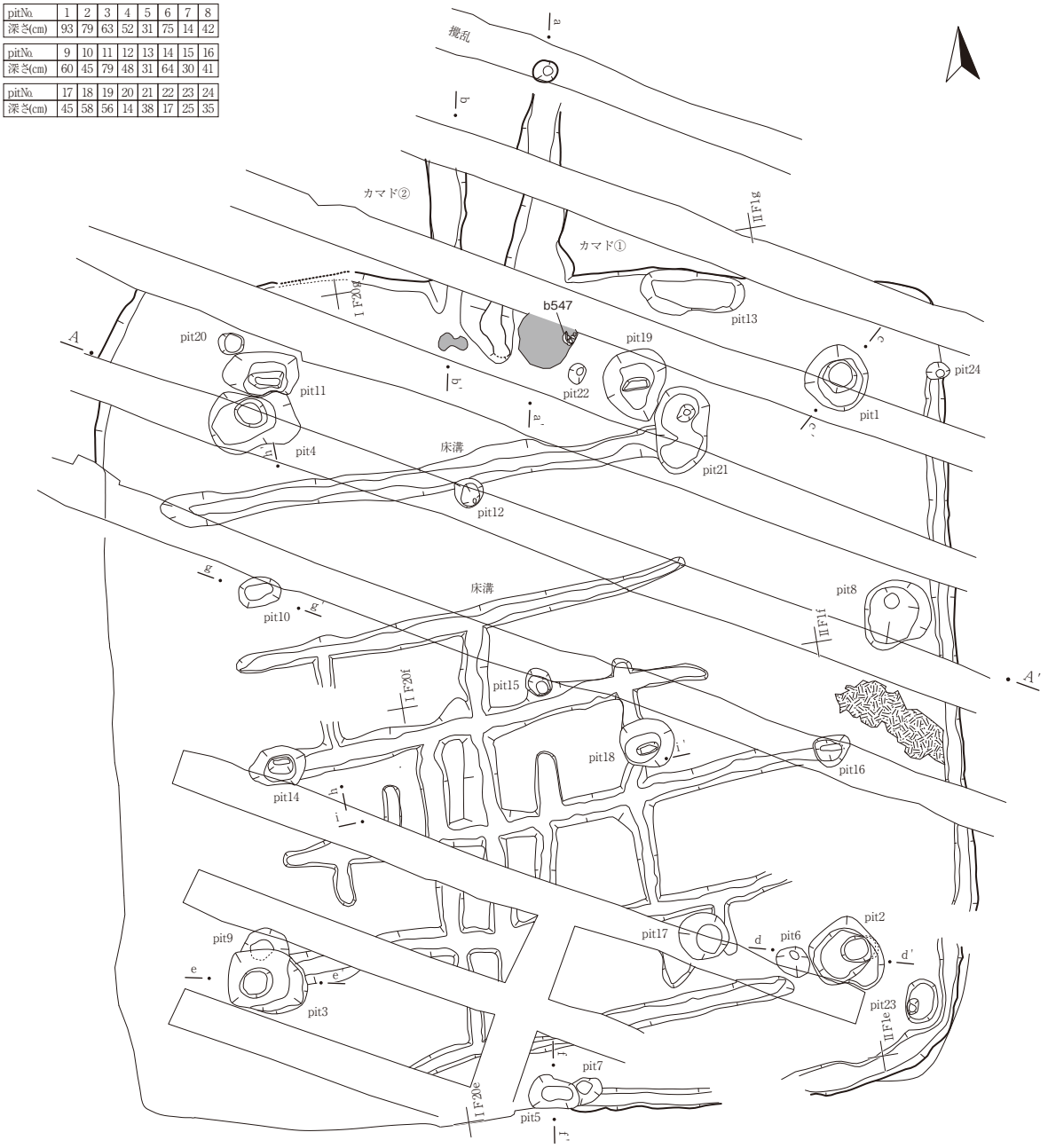
1　10YR5/3 ～ 7/6 にぶい黄褐色～明黄褐色粘土と 10YR3/3 暗褐色シルトの混土 (5：5)。しまり・粘性強。

第82図　SI42住居跡

pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8
深さ(cm)	93	79	63	52	31	75	14	42

pitNo.	9	10	11	12	13	14	15	16
深さ(cm)	60	45	79	48	31	64	30	41

pitNo.	17	18	19	20	21	22	23	24
深さ(cm)	45	58	56	14	38	17	25	35

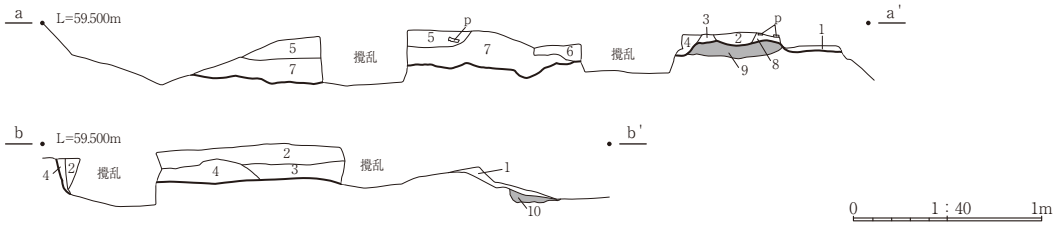


SI43 (A-A’)

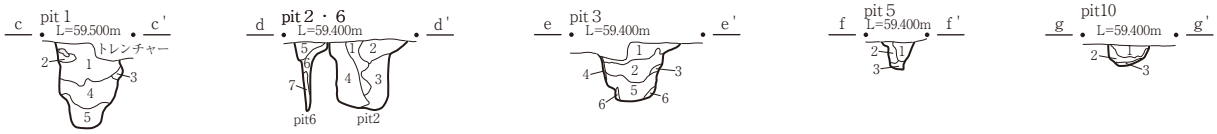
1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややあり。焼土粒大～小。カマド周辺に 3%含む。炭粒小 1%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂層　しまりあり、粘性なし。
3　10YR3/3 暗褐色　シルトと砂ブロック (こぶし大) の斑状の混入土　しまり・粘性あり。炭粒小 3%含む。掘り方。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。炭粒小 3%。以下 pit 4
5　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり・粘性なし。炭小～中 7%。
6　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりあり、粘性なし。炭小 2%。
7　10YR4/4 褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。炭小粒 2%。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまり・粘性あり。
9　10YR3/4 暗褐色　シルト質砂　しまりあり、粘性ややあり。炭小粒 2%。
10　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性あり。底面還元色。その上褐鉄層。柱痕。

0　1：80　2m

第83図　SI43住居跡（1）



SI43 カマド①·② (a-a'・b-b')
1　7.5YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。炭中 2%。
2　7.5YR4/3 褐色　しまりなし、粘性あり。焼土粒小～大 10%。骨片小 3%。
3　7.5YR4/2 灰褐色　しまりあり、粘性なし。焼土を全体に含む。焼土粒小～大 20%。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　しまりややあり、粘性あり。
5　10YR3/3 暗褐色　しまりなし、粘性あり。炭小～極大 15%。焼土粒小～中 3%。
6　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性なし。炭小～中 5%。
7　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまりなし､粘性なし。砂ブロック小 (径 2 ㎝)10%。炭小～大 5%。
8　10YR6/4 にぶい黄橙色　砂質粘土　しまりややあり、粘性あり。焼土粒小～大 20%。骨片含む。
落ちた天井構築土。
9　5 YR3/6 暗赤褐色　焼土　被熱強い。
10　5 YR3/4 暗赤褐色　焼土　下面のみ。



SI43 pit1 (c-c')
1　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。
2　10YR4/2 灰黄褐色　砂　しまり・粘性なし。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなし、粘性あり。
4　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。砂ブロックとシルトブロック斑状に含む。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性あり。砂ブロック 10%含む。

SI43 pit2・6 (d-d')
1　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性なし。白色粒小～極小 10%。炭小粒 3%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややあり。砂質ブロック (径 2 ～ 3 ㎝)10%。白色粒中 2%。炭小粒 5%。焼土小～大粒 10%。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまり・粘性なし。炭小粒 2%。底面褐鉄。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまりあり、粘性なし。砂ブロックとシルトが斑に混入。炭中粒 5%。
5　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性あり。炭中粒 2%。
6　10YR4/4 褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。炭粒 2%。
7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりなし、粘性あり。

SI43 pit3 (e-e')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまりあり、粘性なし。炭小粒 3%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまりあり、粘性ややあり。炭中粒 3%。砂ブロック（径 3 ㎝）含む。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。壁崩壊土。
4　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性あり。壁崩壊土。
5　10YR4/4 褐色　砂　しまり・粘性なし。褐鉄砂ブロック (径 1 ～ 3 ㎝)、還元砂ブロック (径 10 ～ 5 ㎝) 含む。
6　10YR5/4 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。外側還元層、内側褐鉄層。

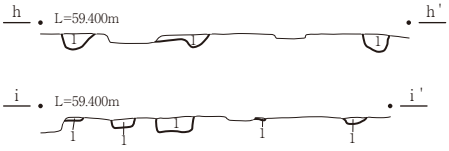
SI43 pit5 (f-f')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性あり。炭粒小～中 2%。砂粒 3%。
2　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまり・粘性あり。砂粒 (径 0.5 ～ 1 ㎝) 斑に含む。
3　10YR4/2 灰黄褐色　粘土　しまりややあり、粘性あり。暗褐色土 (径 0.5 ～ 1 ㎝) を 10%含む。

SI43 pit10 (g-g')
1　10YR4/4 褐色　砂　しまりあり、粘性なし。炭粒中～大 3%
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややあり。砂小 2%。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性あり。底面が還元。上面褐鉄。

SI43 pit13　(注記のみ)
1　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　10YR4/4 褐色シルト微量斑状炭微量 (径～ 1 ㎝)。

SI43 pit17　(注記のみ)
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　上面に 10YR4/4 褐色粘土質シルト薄くのる。(床溝の方が新)

SI43 pit18　(注記のみ)
1　10YR3/3 暗褐色砂質シルト、10YR4/4 褐色粘土質シルト斑状に大きく混じる。(床溝との新旧不明)



SI43 床溝 (h-h'・i-i')
1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。
10YR4/4 褐色粘土微量全体に混じる。

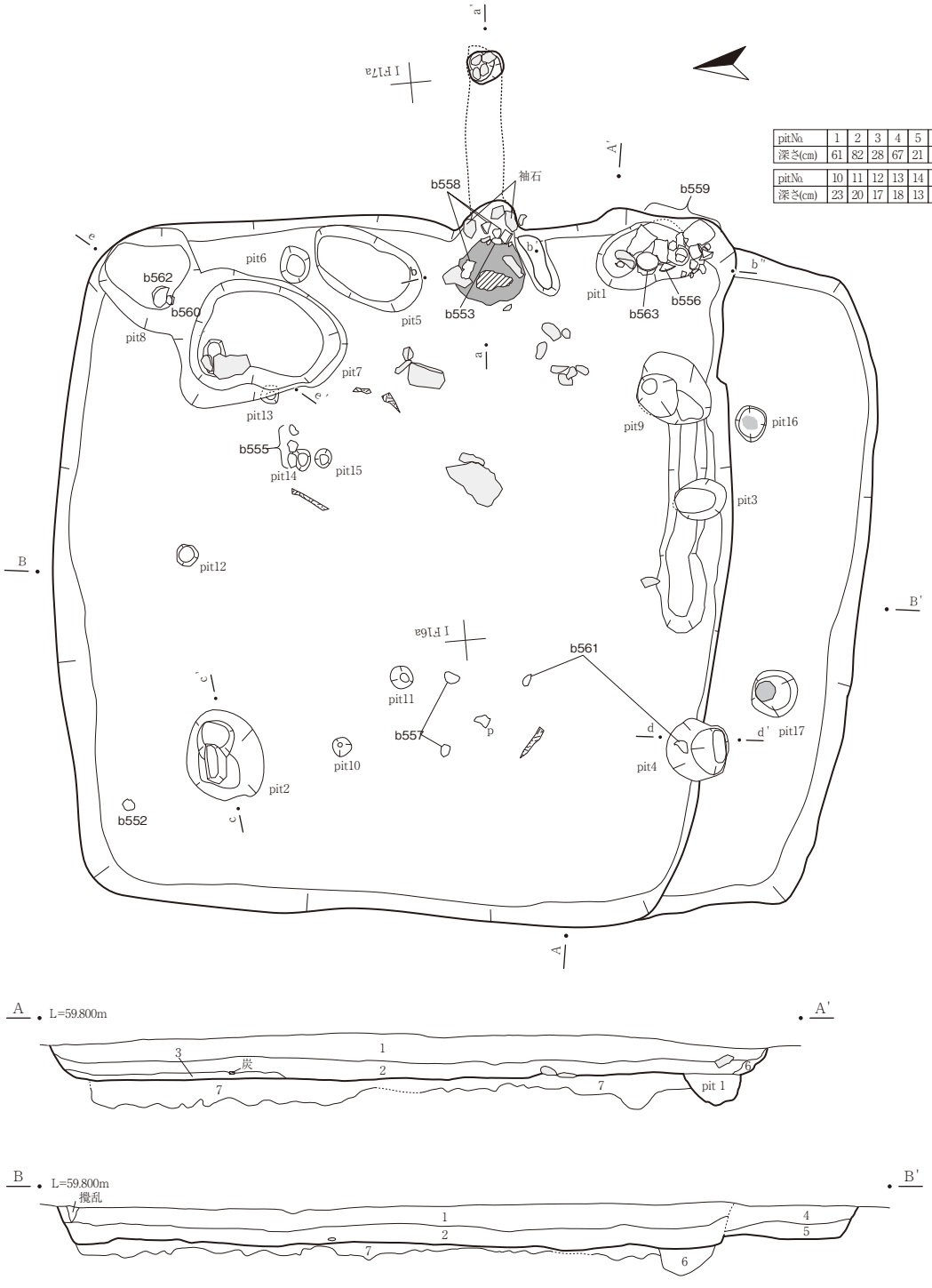
0　1：80　2m

第84図　SI43住居跡（2）

ドの可能性があると考えた。引き続き攪乱を取り除いていくと北東コーナーで壁の立ち上がりが確認でき、ここから大凡の遺構規模を想定し再検出したところ、大型の住居跡であることが判明した。遺構の残存状態は非常に悪くＡ－Ａ'断面より北側は薄く堆積土が残るが、それより南側では床面～掘り方土での検出である。**形状**　南半は壁が残存していないが方形基調で、１辺が10m近い千苅遺跡では最大の住居跡である。**床面・壁面**　床の硬化面は確認できなかった。上述の通り南半は床面が削られてしまっており、壁も南壁から西壁にかけて消失している。**堆積土**　北側にのみ暗褐色シルトの堆積土が残存する。**カマド**　北壁ほぼ中央に２基並ぶ。焼土の残存状況、遺物の出土状況からカマド①の方が新しいと判断した。いずれも残存状態が不良で、燃焼部袖は両カマド間に10㎝ほどの高さのみ検出された。焼土はカマド①は焼成面が確認でき硬化面はないものの被熱状態は強い。カマド②はわずかに被熱範囲が残るのみである。煙道は住居壁から水平に伸びる。煙出し孔が検出できたのはカマド①のみで攪乱底面が円形にわずかに窪んでいた。カマド煙道の天井構造や埋没状況などは不明である。**柱穴**　24基検出した。pit１～12は床面で、pit13以降は掘り方除去時に確認している。床面で検出できたことと、柱穴自体の規模・住居の規模からpit１～４が主柱穴と判断される（主柱穴①）。これよりも柱間が狭く、底面の柱根が隅丸長方形を呈するpit11･14･18･19も別時期の主柱穴と考えられる（主柱穴③）。またこれらの中間の柱間でpit４・９・17・21（pit４は主柱穴①と共通）という配置も見られる（主柱穴②）。柱穴同士の切り合いは確認できていないが、床面～掘り方での検出状況・規模から考えると主柱穴③→②→①と拡張されたのではないかと推定される。**周溝**　東壁から北壁北側にかけて検出した。床面の残る北壁には作られていないようだが、深さ15㎝程度のため、南壁西半～西壁にかけては消失してしまっている可能性がある。**井桁状溝群**　床面中央部に南北壁と平行する並列溝群とこれに直交して連結する溝群を検出した。堆積土は暗褐色土の量比が床掘り方土より多く、住居埋土より少ないが、開口・閉口のどちらかは不明である。また直交する溝同士の新旧関係も確認できなかった。**遺物出土状況**　床面が残存しているのが北半に限られるので遺物出土も北半に限定される。攪乱内にも遺物が多く含まれており、本遺構に帰属する可能性が高いため計量しているが図化はしていない。（遺物図版95･149･152　写真図版252）

ＳＩ４４住居跡（第85・86図　写真図版51）

形状　方形基調。南側の床面が若干高くなり張り出しているが本遺構に伴うものかはっきりしなかった（詳細は後述）。**床面・壁面**　床面中央は比較的締まるが明確な硬化範囲は認められない。壁際は床面が柔らかく堆積土と区別しづらい。壁面は外傾して立ち上がる。南側部分は掘り方がなく地山土を床としている。**堆積土・張出部の解釈**　上部に褐色土、下部に暗褐色土が堆積する。南側の一段高くなる範囲は堆積土断面観察時に北側よりも古い住居跡と判断した（当初SI48と命名）。しかし後に写真で観察すると、１層＝４層、２層＝５層とも見え、また地山壁と堆積土の境界も明瞭でない。更に古いとした南側の住居の堆積土中には遺物が含まれておらず、床面の掘り方土はない。これは千苅遺跡住居跡の特徴としてはやや異例である。以上のことから、①南側の住居廃絶後、一段低く床面を掘り下げ北側に住居を新たに作った、②南側に一段高い床面を持つ住居、③南側は基本土層の一部で遺構ではない（この場合pit16・17は別の掘立柱建物等か？）、と三つの可能性が考えられたが、いずれかに断定することができなかった。**カマド**　東壁に位置する。上述の①または③と解釈すればやや南側に寄り、②であればほぼ中央の設置となる。袖は南側のみ残存し、褐色土を積み上げ構築している。周囲に礫が散在していることから、芯材や天井に使用されていたものと推定され、燃焼部奥（住居壁際）と煙道部との境界にも礫が南北両壁に埋め込まれており、礫側面（煙道・燃焼部側）が被熱する。燃焼部底面の被熱は強く、中心部が硬化する。煙道は刳り抜き式で、底面は住居壁側から一度立ち上がり、中ほどで一段下がり、煙出し孔で更にもう一段低くなる。

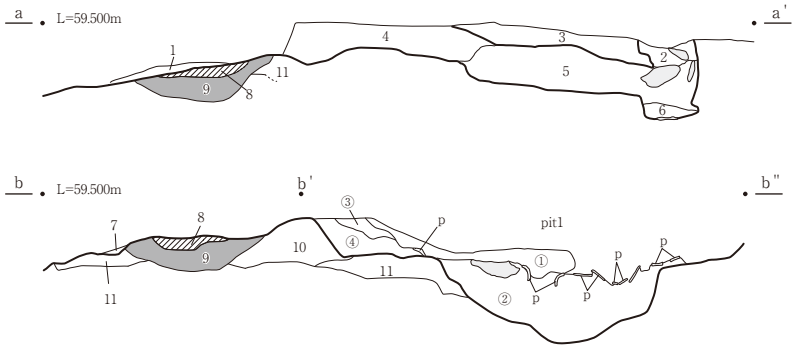


SI44 (A-A'・B-B')

1　10YR4/4 褐色土　しまり・粘性なし。炭化物まばらに混入。
2　10YR3/4 暗褐色土　しまり・粘性なし。炭化物まばらに混入。
3　10YR3/3 暗褐色土　しまりややなし、粘性なし。炭化物・焼土混入。
4　10YR4/4 褐色土　しまり・粘性なし。炭化物まばらに混入。
5　10YR3/4 暗褐色土　しまり・粘性なし。炭化物まばらに混入。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中､粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト(径～2㎝)斑状に少量。周溝。
7　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/4 褐色粘土質シルトの混土斑状に大きく混じる。

0　1：60　2m

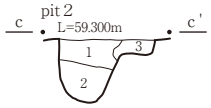
第85図　SI44住居跡（1）



SI44 カマド・pit1 (a-a'・b-b'-b'')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物・焼土ブロックやや多量。
2　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。礫含む。
3　10YR4/4 褐色　Ⅲ層。
4　10YR4/4 褐色　砂質シルト　Ⅲ層の天井崩壊土。下面に被熱土斑状に含む。３層よりやや黒味あり。
5　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中・粘性ややなし。被熱土斑状極微量。10YR4/4 褐色砂全体に少量混じる。煙出し部礫含む。
6　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。煙出し部礫含む。
7　7.5YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。焼土ブロック斑状微量 (径～ 1 ㎝)。礫の抜け跡か？
8　7.5YR5/8 明褐色　硬化した焼土。
9　５YR3/6 暗赤褐色　よく焼けた焼土。
10　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐砂全体に細かく少量含む。袖土。
11　10YR3/3 暗褐色粘土質シルトと 10YR4/4 褐色砂の混土斑状に混じる。掘り方。
①　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト斑状に入る。炭極微量。
②　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂細かく少量。炭極微量。
③　10YR3/3 暗褐色砂質シルトと 10YR4/4 褐色砂質シルト斑状に混じる。①層と接する所、被熱する。
④　２層に似るが、やや 10YR4/4 褐色砂の混土斑状に混じる。

0　1：30　1m

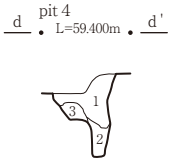


SI44 pit2 (c-c')

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径 1 ～ 2 ㎝) 斑状に混じる。
2　１層に似るが、10YR4/4 褐色粘土質シルトの粒径小さくなり微量。
3　10YR3/3 暗褐色砂質シルトと 10YR4/4 褐色砂質シルトの混土斑状に混じる。

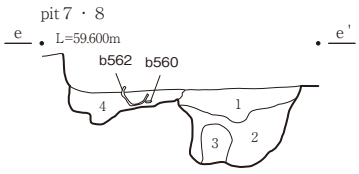
SI44 pit4 (d-d')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト少量全体に混じる。炭 (径 1 ㎝) 微量。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。柱痕。やわらかい。
3　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/4 褐色粘土質シルトの混土斑状に混じる。



SI44 pit7・8 (e-e')

1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂全体に少量こなれて混じる。
2　１層に 10YR4/4 褐色　粘土質シルト微量含む。粘性ややあり。色黒い。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　10YR4/4 褐色粘土質シルトブロック (径～ 2 ㎝) 斑状に少量含む。柱痕の端。
4　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/4 褐色砂質シルトの混土斑状に混じる。炭極微量。
※1 ～３層　pit7 埋土。４層　pit8 埋土。



SI44 pit3 (注記のみ)

1　10YR3/3 暗褐色シルト大量と 10YR4/4 褐色粘土質シルト少量の混土。炭化物微量 (径 1 ～ 2 ㎜)

SI44 pit16 (注記のみ)

1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。側面・底面に酸化鉄集積。底面ややグライ化。底面に柱痕あり。

SI44 pit17 (注記のみ)

1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂全体に微量こなれて混じる。底面に柱痕あり。

0　1：60　2m

第86図　SI44住居跡（２）

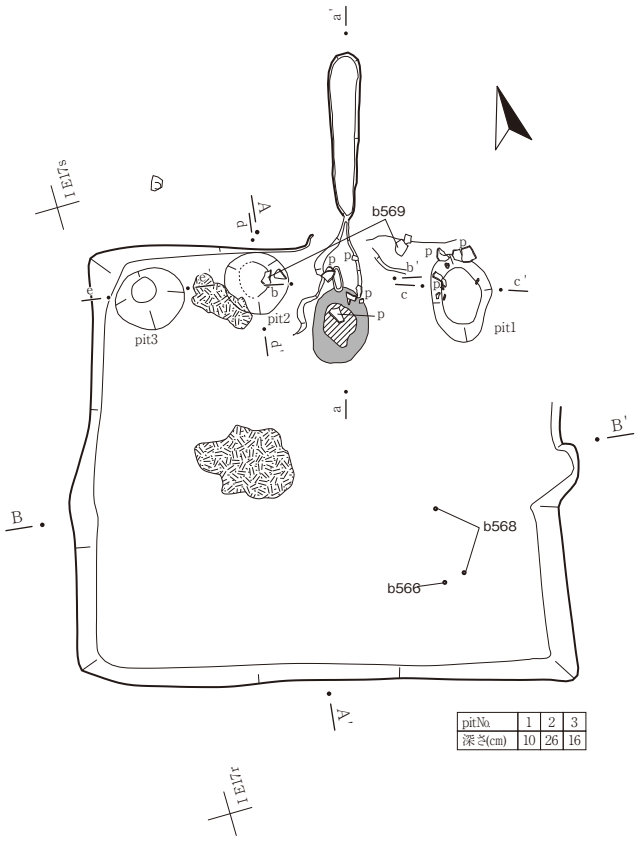
煙出し孔内には礫が多量に含まれており、煙出し孔側から煙道中ほどまで人為的に埋め戻され、その後住居側の煙道天井部が崩落したようである。**柱穴**　17基検出した。pit１～９は床面で確認し、pit２・４・９・７が主柱穴と考えられる。いずれも柱痕部分の底面が一段低くなっており、pit２・４・７は長方形を呈する。またpit 7は掘り方内に礫を含む。カマド南側に位置するpit１は、②層上面に多量の遺物が出土しており、②層が掘り方で上面を底面として浅く窪んだ状態で使用していたものと推測される。カマド北側には同様の規模のpit５が存在するが、こちらからは遺物がほとんど出土しなかった。いずれも位置からは貯蔵穴のような役割が考えられる。pit10～15は掘り方内で検出した。堆積土は床掘り方土よりわずかに黒味が強い。検出面からの深さは10～20㎝程度であるが、床面から掘り込んでいたと仮定すると深さは30㎝ほどである。pit16・17は南側拡張部で検出した。調査当時は旧住居の柱穴と判断した（堆積土①案）。pit16は12㎝、pit17は22㎝と比較的浅く、北側の住居内に位置するであろう対応する柱穴は新期住居構築時に消失したものと判断される。堆積土②案の場合、pit16・17とその他の柱穴の堆積土の色調・土質が違うことに疑問が残る。堆積土③案の場合は上述の通り別遺構の柱穴の可能性が高い（堆積土の色調から住居よりも新しいと思われる）。**周溝**　南壁中央、掘り方内で検出された。掘り方土より黒味が強くpit10～15のものと似る。**遺物出土状況**　pit１内からほぼ完形の須恵器坏(b556)、土師器甕(b559)と口縁～頸部の甕（b563）が出土した。須恵器甕は頸部が下に口縁を上に置台となるように置かれ、土師器甕も底部が正位で、胴～口縁部は土器内側を上にして、この底部の周縁に開くように広がることから、本来はpit内に設置されていたものと推定される。（遺物図版96･185･189　写真図版252･253）

ＳＩ４５住居跡（第87図　写真図版52）

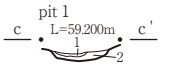
検出状況　Ⅲ層を重機で掘削し更にⅣ層を人力で掘り下げていた段階で堆積土にわずかな差異を確認した。北東側は遺構の存在を認識できず重機の掘り下げが過ぎたため一部床面まで削平した部分がある。**形状**　方形基調でやや南壁が開く台形気味となる。**床面・壁面**　床面は若干硬化し南西側にやや凹凸が見られる。壁面は土質の違いにより概ね正確に捉えられる。北壁東半、東壁北半については前述のように検出過程での手違いにより確認できない。**堆積土**　褐色～暗褐色砂質シルト主体である。下部４層には炭化物と焼土粒の含有が目立つ。また南東コーナー付近に炭化材がやや集中して分布する。**カマド**　北壁ほぼ中央に１基。燃焼部底面の被熱状態は強く中央に明瞭な硬化面が形成されている。奥側中央に偏平円礫を縦に埋め込んだ支脚が設置される。袖の残存状況は不良で範囲を明示できない。煙道は下部のみの残存だが堆積土中に天井部の崩落ブロックが見られることから刳り抜き式と判断される。**土坑**　北壁際カマド両側にpit １～３の３基を検出した。いずれも円形ないし楕円形で、浅い貯蔵穴様のものである。このうちpit ３には強く変色した焼土ブロックが含まれる。柱穴は確認していない。**遺物出土状況**　カマド周辺、及び南東コーナー付近堆積土中位に土器片が散在する。須恵器短頸壺（b569）はカマド両側床面に散乱する。（遺物図版96　写真図版253）

ＳＩ４７住居跡（第88・89図　写真図版53）

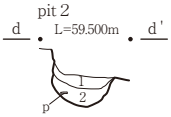
形状　方形基調。四隅は丸みを帯び、西壁は南側から北側へ向かって外側へ開く。カマドの項目で詳細は記載するが、カマド設置に伴い拡張された可能性が高い。**床面・壁面**　床面は中央に比べ壁際がやや低くなる。硬化面は認められない。壁は直立する。**堆積土**　上部に褐色、下部に暗褐色砂質シルトが堆積する。**カマド**　西壁に１基（カマド①）、北壁に２基（カマド②・③）の計３基が設置される。燃焼部の焼成面の位置と礫・遺物の残存状況から、カマド③→②→①の順に移設されていると判断した。**カマド①**　袖土は残存していないが、礫が埋め込まれ周りにも散在していることから、これらを芯材・天井石と



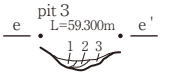
pitNo.	1	2	3
深さ(cm)	10	26	16



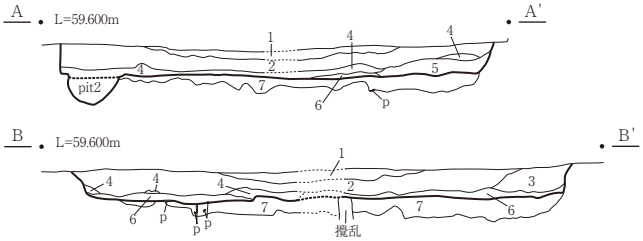
SI45 pit1 (c-c')
1　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　焼土粒、炭化物含む。
2　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。(基本土層より明色で掘り上がる。)



SI45 pit2 (d-d')
1　5YR3/3 暗赤褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。焼土粒・炭化物 5%。
2　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。均質。古代遺物含む。

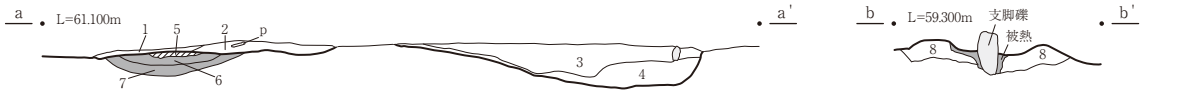


SI45 pit3 (e-e')
1　5YR3/3 暗赤褐色　シルト　しまりなし、粘性ややなし。炭化物含む。
2　5YR4/6 赤褐色　砂質シルト　焼土ブロック。
3　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。炭化物含む。



SI45 (A-A'・B-B')
1　10YR4/6 褐色　砂層　しまり・粘性ややなし。
2　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/6 褐色砂 (径 1 ～ 2 ㎜) 微量細かく混じる。
3　10YR4/4 褐色　砂質シルト　Ⅲ層崩落層か？しまり中、粘性ややなし。
4　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。炭・被熱土多く含む (底面～ 6 層上面に広がる)。
5　2 層に似るが、炭含まない。
6　4 層に似るが、炭含まない。
7　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂やや多量全体に斑状に入る。

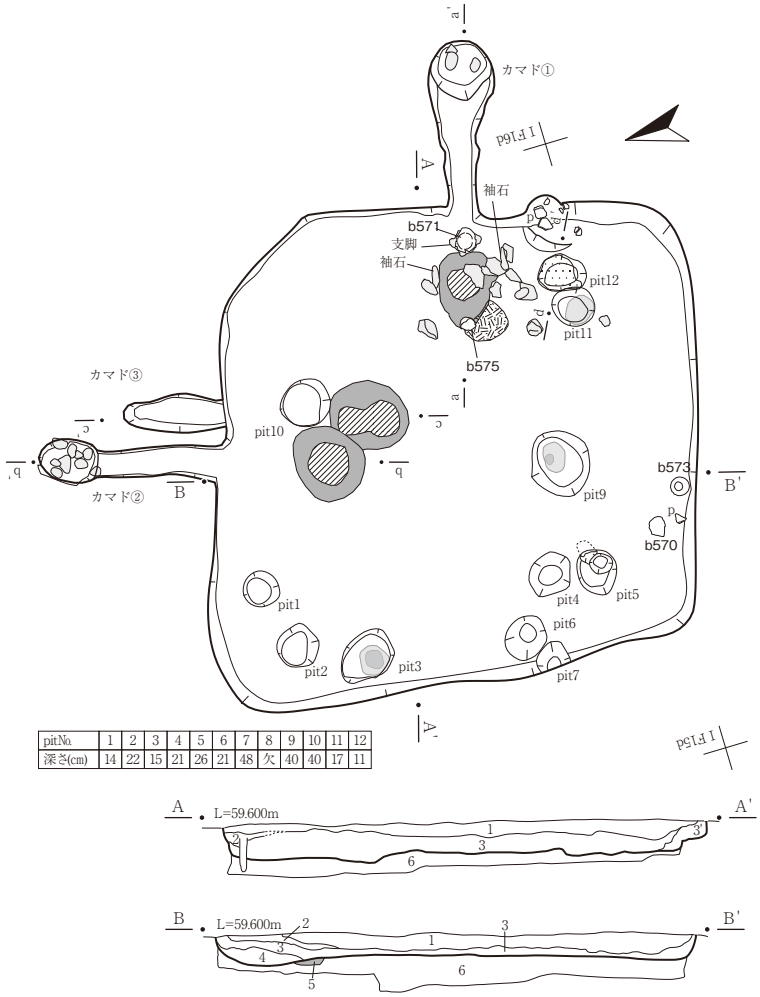
0　1：60　2m



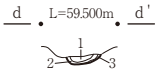
SI45 カマド (a-a'・b-b')
1　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。燃焼部焼土上の堆積土。炭化物と焼土粒集中。
2　5YR3/3 暗赤褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。焼土粒・炭化物含む。
3　10YR4/4 褐色　細砂　しまり中、粘性なし。天井部崩落土下面。カマドより若干焼成受ける。
4　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性なし。炭化物含む。
5　5YR5/8 明赤褐色　硬化。カマド燃焼部焼土。
6　5YR4/6 赤褐色　カマド燃焼部焼土。
7　5YR3/4 暗赤褐色　カマド燃焼部焼土。
8　10YR4/4 褐色砂（Ⅳ層上部）　地山ケズリ出しの袖。10YR3/3 暗褐色。

0　1：30　1m

第87図　SI45住居跡



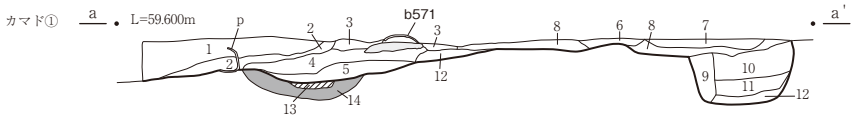
pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
深さ(cm)	14	22	15	21	26	21	48	欠	40	40	17	11



SI47 pit12 (d-d')
1　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物(径1～30㎜)20%。5YR4/8 赤褐色土(径1～10㎜)10%。5YR8/4 淡橙色土(径1～20㎜)20%。
2　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまり、粘性なし。5YR8/4 淡橙色土(径1～20㎜)30%。炭化物(径1～20㎜)5%。
3　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまり、粘性なし。

SI47 (A-A'・B-B')
1　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中､粘性なし。炭化物(径1～3㎜)2%微量。焼土ブロック(径1～5㎜)2%微量。3層土斑状5%少量。
2　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。1層土斑状10%やや多量。
3　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　炭化物(径1～5㎜)3%微量。焼土ブロック(径1～100㎜)5%微量。1層土斑状10%やや多量。
3'　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。1層土ブロック(径1～50㎜)40%多量。
4　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　炭化物・焼土ブロック含む。
5　10R5/8 赤色　シルト　しまり、粘性なし。カマド②焼土。
6　10YR3/4 暗褐色　シルト　炭化物(径1～5㎜)5%。掘り方。

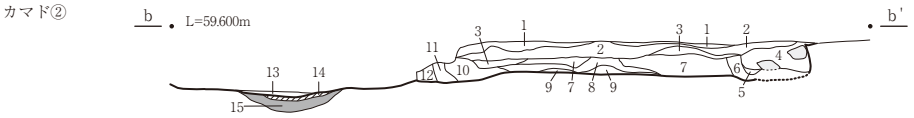
0　1：60　2m



SI47 カマド① (a-a')
1　住居埋土1層。
2　住居内埋土5層。
3　2.5YR2/4 極暗赤褐色　シルト　しまり、粘性なし。2.5YR5/8 明赤褐色土(径1～10㎜)10%やや多量。2.5YR4/8 赤褐色土(径1～10㎜)20%やや多量。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり､粘性なし。2.5YR5/8 明赤褐色土(径1～10㎜)10%やや多量。2.5YR4/8 赤褐色土(径1～10㎜)20%やや多量。
5　3層と同じ。
6　10YR4/4 褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物(径1～3㎜)2%。
7　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり､粘性なし。炭化物(径1～3㎜)1%。2.5YR2/4 極暗赤褐色土斑状2%。
8　2.5YR2/4 極暗赤褐色　シルト　しまり、粘性なし。7層土斑状10%。6層土斑状5%。煙道壁崩落土。
9　2.5YR2/2 極暗赤褐色　シルト　しまり中、粘性なし。10R5/8 赤色ブロック(径1～5㎜)5%。10YR3/3 暗褐色土(径1～10㎜)20%。
10　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中､粘性なし。礫(径20㎝)2個。
11　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。10YR3/3 暗褐色土斑状40%。
12　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性なし。
13　還元硬化面。
14　燃焼部。

0　1：30　1m

第88図　SI47住居跡（1）



SI 47 カマド②（b-b'）

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)10%。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)3%。
2　10YR4/4 褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 20 ㎜)30%。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)5%。
3　10YR4/4 褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜) 5%。2.5YR2/4 極暗赤褐色土 (径 1 ～ 5 ㎜)3%。
4　10YR4/4 褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 20 ㎜)20%。炭化物 (径 1 ～ 2 ㎜)1%。
5　10YR5/8 黄褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR3/4 暗褐色土斑状 30%。
6　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜)2%。
7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。2.5YR2/4 極暗赤褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)20%。
8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)20%。10YR2/2 黒褐色土斑状 10%。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)10%。2.5YR2/4 極暗赤褐色土筋状 5%。
9　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 30 ㎜)20%。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜)3%。
10　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 20 ㎜)40%。
11　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり、粘性なし。2.5YR2/4 極暗赤褐色土筋状 20%。
12　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR5/8 黄褐色土斑状 5%。
13　10YR4/4 褐色　シルト　しまり、粘性なし。焼土ブロック (径 1 ～ 3 ㎜)。
14　10R4/4 赤色　シルト　しまり、粘性なし。還元硬化面。
15　10R4/6 赤色　シルト　しまり、粘性なし。

SI47 カマド③（c-c'）

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR2/3 黒褐色土 (径 1 ～ 20 ㎜)20%。10YR1.7/1 黒色土 (径 1 ～ 20 ㎜)10%。2.5YR2/4 極暗赤褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)5%。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)5%。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR3/2 黒褐色土 (径 1 ～ 20 ㎜)30%。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)5%。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR3/4 暗褐色土斑状 30%。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)2%。
5　カマド②13 層と同じ。
6　カマド②14 層と同じ。
7　カマド②15 層と同じ。

0　1 : 30　1m

第89図　SI47住居跡（２）

して使用していたようである。燃焼部底面は強く被熱し中央が硬化する。焼成範囲東縁（住居壁際）の床面に礫が出土している（土器b571の下、断面に図化した礫よりも更に下）。礫は被熱しており支脚と判断される。煙道は燃焼部底面からわずかに上り煙出し孔で深くなる。煙道上部が消失しているため構造は不明である。煙出し孔内に礫が含まれることから人為的に埋め戻された可能性がある。**カマド②・③**　両者とも袖や芯材は残存していない。カマド②13層、カマド③５層上面がカマド①使用時の床面で、両層を取り除くと燃焼面が検出された。いずれも強く被熱し中央が硬化する。カマド①の焼成範囲と住居壁からの距離と比べるとカマド②の方が離れており、更にカマド③は内側に位置する。カマド設置に伴い住居を拡大した可能性がある。カマド②の煙道は住居壁からほぼ水平に煙出し孔まで続く。煙道内に地山土である褐色土が多く堆積することから刳り抜き式であった可能性がある。煙出し孔内には多量の礫が含まれ人為的に埋め戻されたようである。カマド③は煙出し孔手前で一度立ち上がり、煙出し孔で再び元の深さに戻る。煙道部の構造は不明である。**柱穴**　11基検出された（pit８は欠番）。柱痕が確認できたものもあるが、主柱穴と判断される配置は確認できなかった。**遺物出土状況**　カマド①周辺からの出土が多い。埋土下部からは双耳坏把手部（b574）が出土している。（遺物図版96　写真図版253）

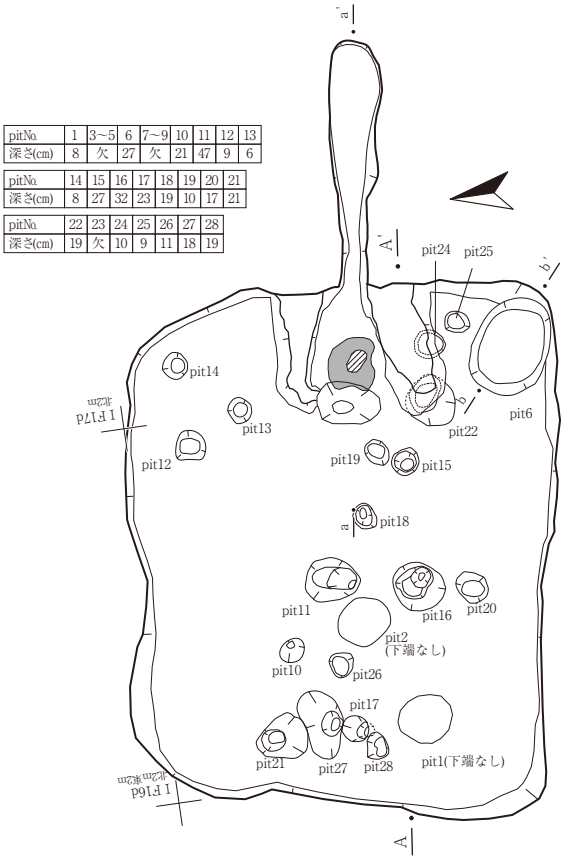
ＳＩ４９住居跡（第90図　写真図版54）

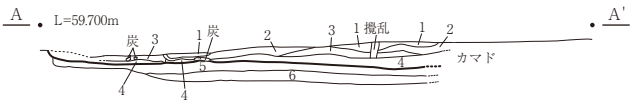
検出状況　SI47東隣で検出した。住居壁の角度が類似し、本遺構カマドとSI47カマド①の煙道長軸が線上で揃っており、設置には関連があるものと推定される。**形状**　方形基調。床面付近まで後世の削平が

pitNo.	1	3～5	6	7～9	10	11	12	13
深さ(cm)	8	欠	27	欠	21	47	9	6

pitNo.	14	15	16	17	18	19	20	21
深さ(cm)	8	27	32	23	19	10	17	21

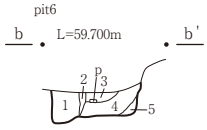
pitNo.	22	23	24	25	26	27	28
深さ(cm)	19	欠	10	9	11	18	19





SI49 (A-A’)

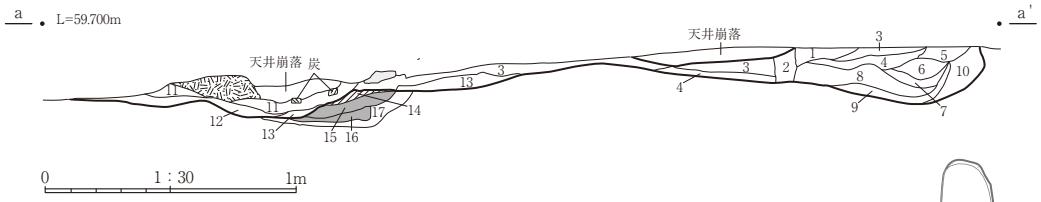
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり､粘性なし。炭化物(径1～5㎜)5%。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 20 ㎜) 10%。
3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 30 ㎜) 20%。焼土塊 (径 1 ～ 5 ㎜)5%。炭化材 10%。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。1 層土斑状 10%。
5　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。10YR3/3 暗褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)10%。
6　10YR4/6 褐色　シルト　しまり､粘性なし。炭化物(径1～10㎜)5%。1 層土 (径 1 ～ 20 ㎜)20%。



SI49 pit6 (b-b’)

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり･粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 2 ㎜) 1%未満。
2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性なし。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性なし。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性なし。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。

0　1：60　2m



0　1：30　1m

SI49 カマド (a-a’)

1　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜)2%。
2　天井部土に同じ。(10YR4/3 にぶい黄褐色) しまり・粘性なし。10YR4/3 にぶい黄褐色土ブロック (径 1 ～ 20 ㎜) 1 個。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜)3%。10YR3/3 暗褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)20%。天井部土 (径 1 ～ 30 ㎜)20%。暗赤褐色焼土 (径 20 ㎜)1%。
4　10YR4/4 褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 2 ㎜)2%。
5　10YR3/1 黒褐色　シルト　4 層土斑状 10%。
6　10YR3/2 黒褐色　シルト　4 層土 (径 1 ～ 10 ㎜)10%。
7　4 層土に同じ。
8　6 層土に同じ。
9　10YR4/2 灰黄褐色　8 層土(径1～2㎜)3%。炭化物(径1～3㎜)10%。
10　10YR2/3 黒褐色　炭化物 (径 1 ～ 2 ㎜)5%。
11　B-B’ 2 層に同じ。
12　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり･粘性なし。天井部土 (径 1 ～ 20 ㎜) 10%。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜)2%。焼土 (径 1 ～ 5 ㎜)2%。
13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性なし。炭化物(径1～5㎜)2%。
14　2.5YR6/8 橙色　シルト　しまりあり、粘性なし。(硬化面)
15　2.5YR4/8 赤褐色　シルト　しまりややあり、粘性なし。
16　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまり・粘性なし。14 層土斑状 30%。
17　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性なし。

炭化材・遺物出土状況

0　1：60　2m

第90図　SI49住居跡

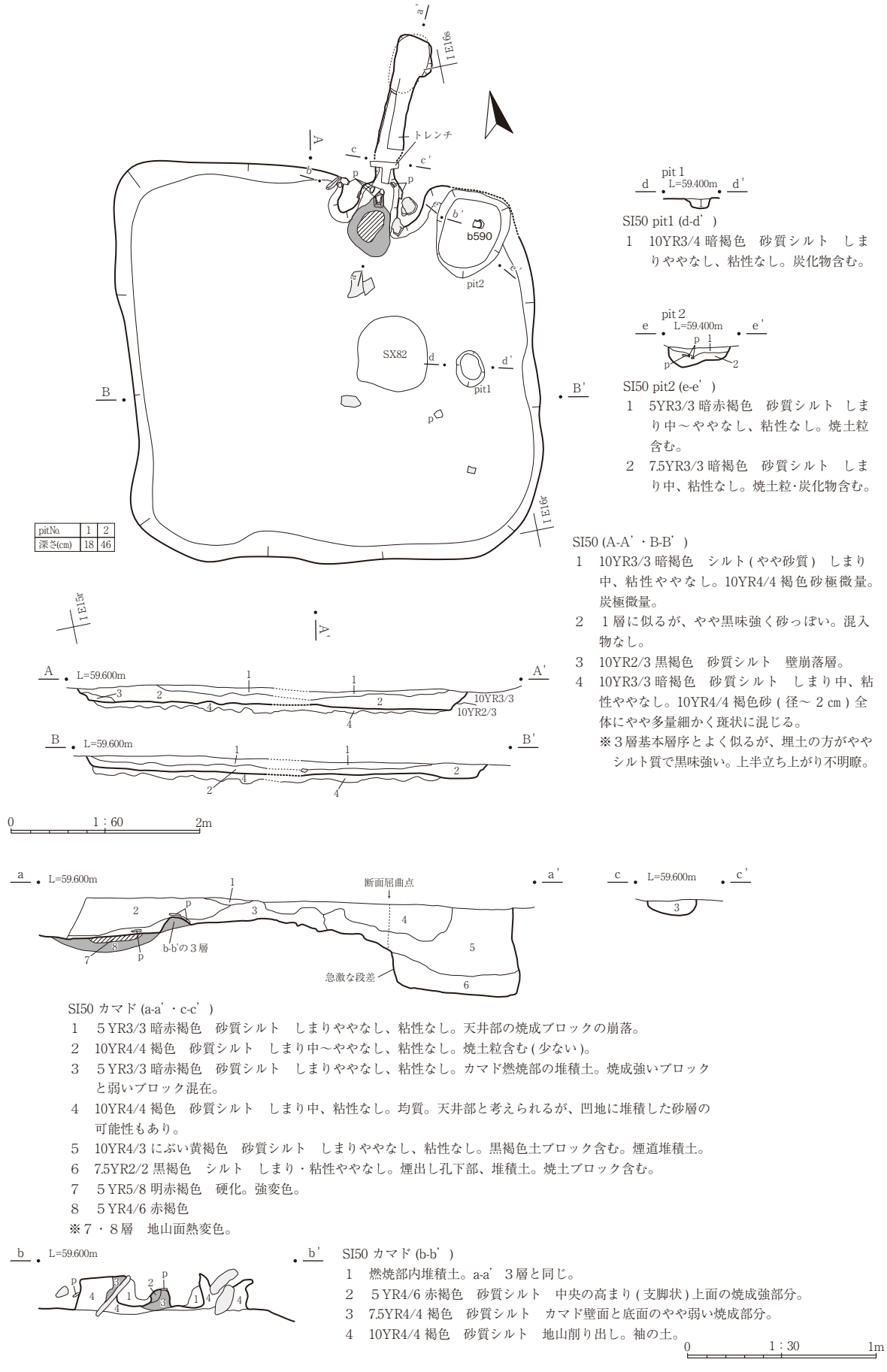
及んでいたことにより、北辺の形状は本来の状況と異なると考えられる。**床面・壁面**　床面は概ね平坦で、はっきりとした硬化面は認められない。壁は北半より南半の方が残存する。最も残っている南東コーナーは高さ20㎝程度、北西コーナーは検出面と床面の差がほとんどない。**炭化材出土状況**　床面に炭化材・焼土ブロックが散在する。東壁～南壁にかけては材の形状が把握でき、それ以外は細かい炭片が広がる。材の出土位置から上屋の構造を推定することはできなかったが、炭化物や焼土ブロックの量から、焼失・倒壊した住居と判断される。木材を鑑定したところクリが多くトチやクルミも含まれていた。**堆積土**　褐色土を主体とする。堆積土中に炭片が多く混入している。**カマド**　東壁ほぼ中央に設置されている。袖は褐色シルトで構築される。燃焼部底面は強く被熱し中央部が硬化する。燃焼部焚口側（西側）には楕円形の窪みがあり、焼土はこの窪み底面に沿って被熱するため、使用時に開口していたようである。煙道は中ほどが一番高くなり、これを起点に燃焼部側煙出し孔側へと緩やかに下る。褐色の天井崩落土が存在し刳り抜き式と判断される。**柱穴**　21基検出した（pit１・２・６・10・11・12～22・24～28。これ以外は欠番）。pit６は位置・規模から貯蔵穴の可能性がある。その他の柱穴の性格は不明である。**遺物出土状況**　カマド周辺から北東部床面に遺物が集中する。（遺物図版97･135･185･190　写真図版253･254･282）

ＳＩ５０住居跡（第91図　写真図版43）

検出状況　Ⅲ層中でカマド部分の焼土ブロック、袖芯材を確認し竪穴プランを検出した。床面中央で検出した焼成土坑は、東西ベルト北面での観察から本住居跡埋没後に構築された別遺構と判断した（SX82）。**形状**　やや北西コーナーが突出し歪みのある方形基調。**床面・壁面**　床面はほぼ平坦でカマド周辺が若干硬化する。壁面は４辺とも緩く立ち上がる。**堆積土**　ほぼ暗褐色の砂質シルト主体である。層界は水平に伸び自然堆積の状態を示す。**カマド**　北壁やや東寄りに１基。燃焼部の両袖は地山褐色土を削り残し内部に偏平礫を複数埋め込んで芯材としている。燃焼部底面の被熱状態は強く中央に明瞭な硬化面が形成される。奥側中央に偏平円礫を縦に埋め込んだ支脚が設置される。袖の残存状況は不良で範囲を明示できない。煙道は下部のみの残存だが堆積土中に天井部の崩落ブロックが見られることから刳り抜き式と判断される。煙出し孔部分は煙道から急な段差を持って一段深く掘り込まれる。**柱穴・土坑**　北壁際カマド両側にpit１～３の３基を検出した。いずれも円形ないし楕円形で浅い貯蔵穴様のものである。このうちpit３には強く変色した焼土ブロックが含まれる。柱穴は確認していない。**遺物出土状況**　カマド両側床面、及び南東コーナー付近堆積土中位に土器片が散在する。pit２内堆積土中位から土師器小型甕（b590）が出土した。（遺物図版97･135･185･190　写真図版254･282）

ＳＩ５１住居跡（第92図　写真図版56）

検出状況　当初はⅢ層上面に設定した東西方向のトレンチ内で堆積土中の炭化物が複数検出された。竪穴の可能性が大きいと見て更に縦横のトレンチとブロック単位での掘り下げを行い壁面、床面を探索した結果、辛うじて底面からの立ち上がりを確認し小規模な竪穴プランを認識した。**形状**　やや東西方向が長い方形基調である。**床面・壁面**　床面はほぼ平坦である。カマド周辺が若干硬化する。壁面は掘り下げの過程で北・西壁を大きく破壊しながら精査したため本来の状況はわからない。東・南壁に関しては急傾斜のまま上部まで立ち上がる。**堆積土・炭化材出土状況**　下部の主体を占める４層は均質な暗褐色砂質シルトで炭化物が多量に含まれる。その上位にやや暗色で遺物、礫を多く含む３層、２層と続き全体としてレンズ状の自然堆積の状況と見られる。堆積土下部４層には炭化材の残存が顕著である。北側を中心に分布し、中央から壁面に向かいやや斜めになるものが目立つ。炭化材の大半は幅５～10㎝程度、厚さ１㎝前後で非常に薄いのが特徴である。樹種同定の結果は長大な材がクリ・クルミ、壁際の小型丸木材にトチが利



pit 1

SI50 pit1 (d-d')

1　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。炭化物含む。

pit 2

SI50 pit2 (e-e')

1　5YR3/3 暗赤褐色　砂質シルト　しまり中～ややなし、粘性なし。焼土粒含む。

2　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。焼土粒・炭化物含む。

SI50 (A-A'・B-B')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質)　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂極微量。炭極微量。

2　１層に似るが、やや黒味強く砂っぽい。混入物なし。

3　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　壁崩落層。

4　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂 (径～ 2 ㎝) 全体にやや多量細かく斑状に混じる。

※３層基本層序とよく似るが、埋土の方がややシルト質で黒味強い。上半立ち上がり不明瞭。

SI50 カマド (a-a'・c-c')

1　5YR3/3 暗赤褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。天井部の焼成ブロックの崩落。

2　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中～ややなし、粘性なし。焼土粒含む (少ない)。

3　5YR3/3 暗赤褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。カマド燃焼部の堆積土。焼成強いブロックと弱いブロック混在。

4　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。均質。天井部と考えられるが、凹地に堆積した砂層の可能性もあり。

5　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりややなし、粘性なし。黒褐色土ブロック含む。煙道堆積土。

6　7.5YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。煙出し孔下部、堆積土。焼土ブロック含む。

7　5YR5/8 明赤褐色　硬化。強変色。

8　5YR4/6 赤褐色

※7・8層　地山面熱変色。

SI50 カマド (b-b')

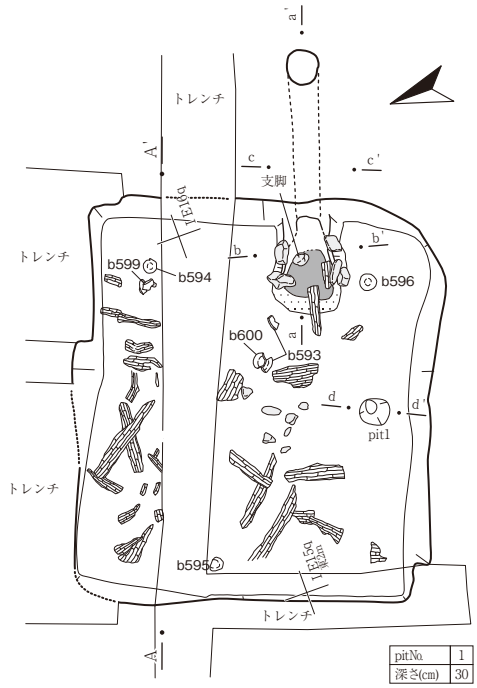
1　燃焼部内堆積土。a-a'　3層と同じ。

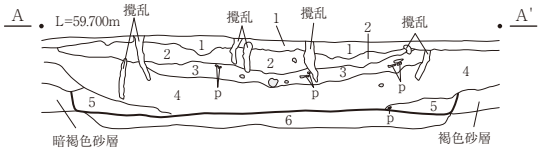
2　5YR4/6 赤褐色　砂質シルト　中央の高まり (支脚状) 上面の焼成強部分。

3　7.5YR4/4 褐色　砂質シルト　カマド壁面と底面のやや弱い焼成部分。

4　10YR4/4 褐色　砂質シルト　地山削り出し。袖の土。

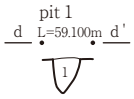
第91図　SI50住居跡





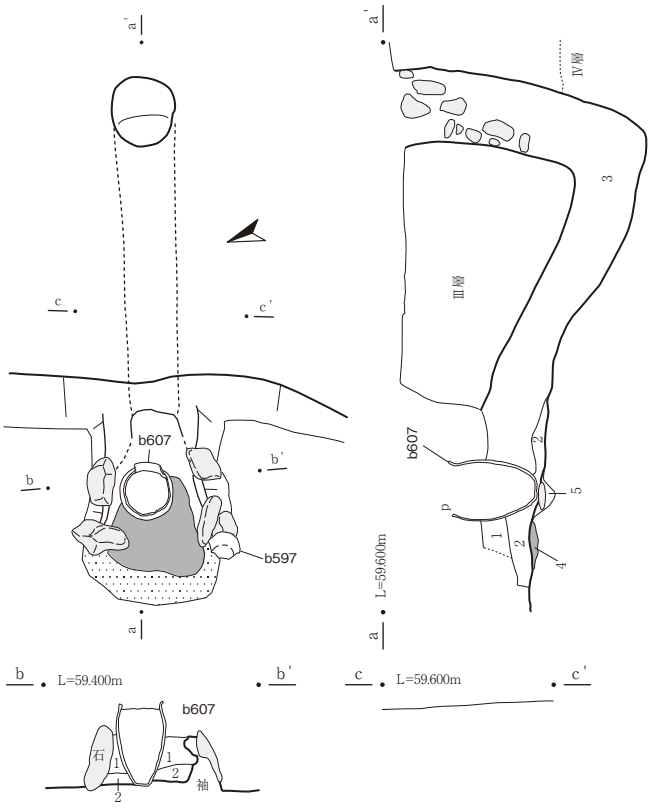
SI51 (A-A’)

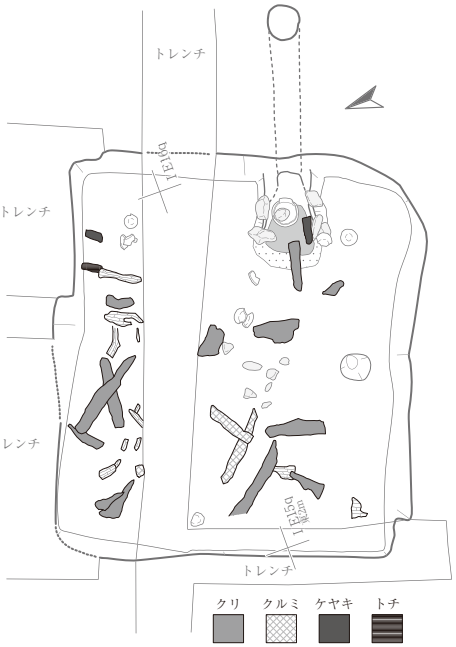
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中､粘性なし。炭含む。Ⅱ層の残存か。
2　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。均質。
3　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。遺物集中。炭化物 5～10%。酸化鉄斑鉄。
4　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。炭化物集中。
5　10YR4/4 褐色　細砂　しまり中、粘性なし。地山との差異は極微妙。
6　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。５層よりわずかに硬い。



SI51 pit1 (d-d’)

1　7.5YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまりなし、粘性中。炭化物含む。





3

0　1：60　2m

SI51 (a-a’～c-c’)

1　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。均質。燃焼部内堆積土。
2　7.5YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性ややなし。焼土粒・炭化物含む。(上半炭集中、下半焼土粒)
3　10YR4/4 褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。Ⅳ層より硬い。均質。炭化物含む。
4　焼土層。
5　支脚石設置掘り方。（２層＋炭・焼土堆積）

0　1：30　1m

第92図　SI51住居跡

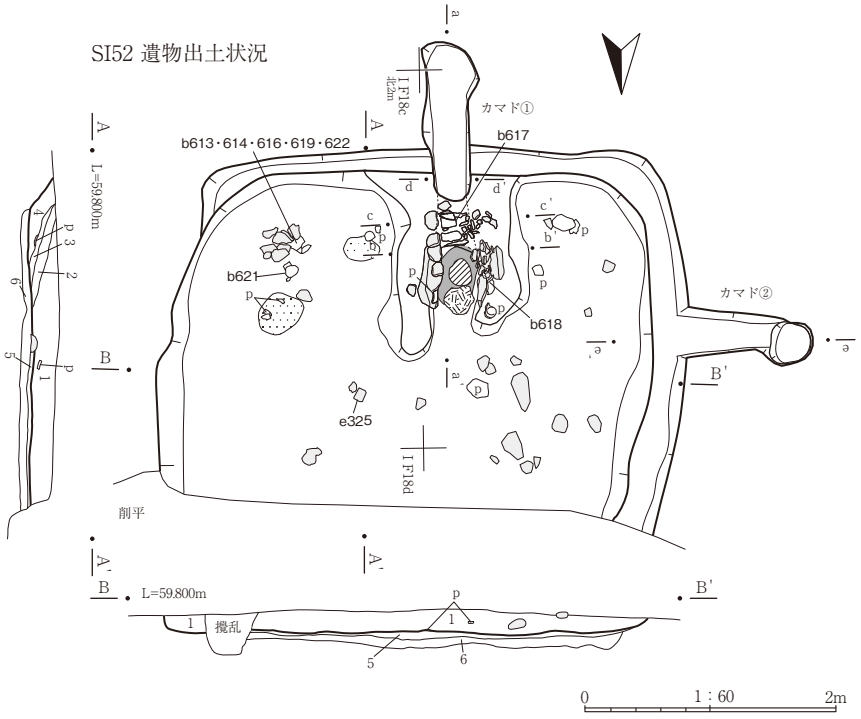
用されている。**カマド**　東壁やや南寄りに１基設置される。残存状況は極めて良好で、燃焼部内に土師器甕（b607）が設置されたままの状態で出土した。燃焼部両袖は地山削り出しの基部に大型の偏平礫を複数立てて芯材とし、更に褐色土を貼り付けて構成される。燃焼部底面には比較的小規模な焼成面が形成され、その奥側に掘り方を伴い設置された偏平礫が支脚となる。土師器甕は支脚礫に接してほぼ直立状態である。土器内部土壌について水洗選別を行ったが土壌以外の固形物は検出していない。刳り抜き式の煙道は崩落が見られず当初の横穴形状を保っており、一定傾斜で下降し煙出し孔に至る。煙道の横断面形状はほぼ円形である。煙出し孔上部からは礫が複数投げ込まれた状態で出土した。**土坑**　南壁際中央に小径のpit１がある。底部が細く掘り込まれた土坑で、柱穴かどうかは断定不能。**遺物出土状況**　堆積土下部に完形、略完形の坏類が複数ある。また土錘が合計12点出土している。うち５点を掲載した。土錘の大半は堆積土掘り下げ中に出土しており、原位置の状態は未確認である。（遺物図版97･98･135　写真図版254･282）

ＳＩ５２住居跡（第93図　写真図版57）

検出状況　後世の掘削が高低差を持って入り組んでいる範囲で明確な検出面まで重機で掘り下げた。その後の検出作業で本遺構を確認したが北半が消失していた。後世の掘削による削平、または重機で掘り過ぎてしまった可能性がある。**重複遺構**　本住居掘り方調査中に、南壁と東壁が一回り広がることが判明した。煙道を有していたことから古い住居跡が重複している可能性が高いが、掘り方土と同時に掘り広げてしまい詳細は不明のため、当初検出した新しい住居をＳＩ５２ａ、古い住居をＳＩ５２ｂとして、１遺構として登録・掲載することとした（以下ａ住居跡・ｂ住居跡と表記）。**形状**　ａ・ｂとも残存範囲は方形基調である。ａ住居跡のコーナーは丸みを帯びる。**床面・壁面**　ａ・ｂともに平坦で、高さも両者で差がない。壁はやや外傾して立ち上がる。**堆積土**　ａ住居跡でのみ観察した。暗褐色土が全体を覆い、壁際には褐色土が堆積する。**カマド**　ａ住居跡カマド（カマド①）は、千苅遺跡では唯一南壁に設置される。褐色土で袖を構築し、内側は、板状の礫を並べ芯材とする。両袖の上に土師器甕を横たわらせ天井としている（c-c'参照）。燃焼部内焼土の焼成は強く中心部が硬化する。煙道底面は燃焼部側からわずかに窪み煙出し孔へと続く。煙道構造は刳り抜き式である。ｂ住居跡カマド（カマド②）は西壁に設置される。燃焼部は残存しておらず煙道のみ確認できた。底面は住居側がやや窪み、煙出し孔で一段低くなる。煙道構造は不明、煙出し孔内に礫が含まれることから人為的に埋め戻された可能性がある。**柱穴**　15基検出した。個々の柱穴がａ・ｂいずれに伴うものかは不明である。**遺物出土状況**　カマドの天井部・袖の芯材として土師器甕（b617・b618）が使用されている。南東部の礫群の下に土器がまとまっているが（b613・b614・b616・b619・b622）、出土状況の詳細は把握できていない。（遺物図版98　写真図版255）

ＳＩ５３住居跡（第94図　写真図版58）

形状　方形基調。東側は調査区外に位置する。**床面･壁面**　床面は中央がやや硬化する。壁際は柔らかく、中央に比べわずかに低くなる。壁は外傾して立ち上がる。**堆積土**　上部の洪水砂層と下部の暗褐色シルト層に大別される。中央部がレンズ状に下がる自然堆積の様相を示す。**カマド**　北壁に設置される。袖は残存しておらず､燃焼部焼土も楕円形の窪み(pit５)によって北側が壊されている。残存範囲の被熱は強い。煙道は刳り抜き式で、底面は住居壁から下り勾配、煙出し孔で一段下がる。煙出し孔内には多量の礫が含まれ、煙出し孔上部と煙道内には天井や側壁が被熱した土と共に地山である褐色土が堆積していることから、煙出し孔下部を埋めた段階で煙道天井部を壊したものと推定される。燃焼部のpit５も同時期に掘られたものと考えられ、焼成面を壊したため焼土ブロックが大量に含まれる。袖も残存していないことから、廃絶時にカマド全体の破壊が行われたようである。**柱穴**　７基検出した。柱痕が確認できたことから



SI52 (A-A'・B-B')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜)5%。土器片含む。焼土ブロック (径 1 ～ 3 ㎜)5%。10YR5/6 黄褐色土斑状 30%。

2　10YR3/4 暗褐色　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 30 ㎜)20%。10YR5/6 黄褐色土斑状 20%。炭化物斑状 10%。

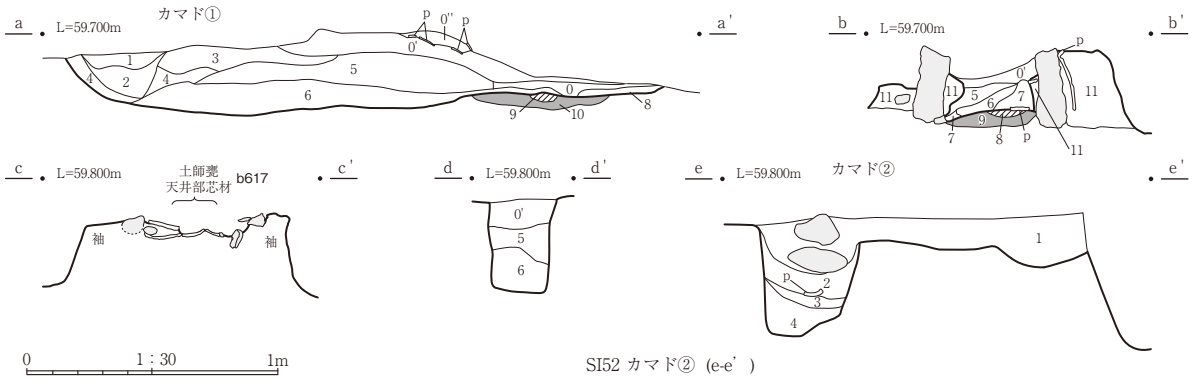
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜)10%。土器片数点含む。

4　10YR4/6 褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜)3%。10YR5/6 黄褐色土斑状 20%。焼土ブロック (径 1 ～ 3 ㎜)3%。

5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜) 3%。焼土ブロック (径 1 ～ 3 ㎜)2%。

6　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜) 3%。10YR4/3 にぶい黄褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)2%。

0　1 : 60　2m



0　1 : 30　1m

SI52 カマド① (a-a'・b-b'・d-d')

0　天井崩壊土

0'　黄褐色シルト

0''　黄褐色シルト

1　5YR2/1 黒褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物 (径 1～ 3 ㎜)3%。5 YR2/3　極暗赤褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)10%。黄褐色土 (径 1 ～ 10 ㎜)20%。

2　2.5YR1.7/1　赤黒色　シルト　しまり、粘性なし。黄褐色土(径1 ～ 20 ㎜)5%。オレンジ焼土斑状 10%。炭化物 (径 1 ～ 3 ㎜) 2%。

3　10YR3/4　暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜)20%。黄褐色土斑状 20%。

4　10YR3/3　暗褐色　シルト　炭化物 (径 1 ～ 4 ㎜)5%。黄褐色土斑状 10%。

5　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり、粘性なし。黄褐色土 (径1 ～ 20 ㎜)10%。

6　10YR4/4 褐色　シルト　しまり、粘性なし。5 層土斑状 30%。

7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。カマド袖崩落土。

8　炭化物層。

9　硬化。焼土層。

10　焼土層。

11　黄褐色シルト。カマド袖。

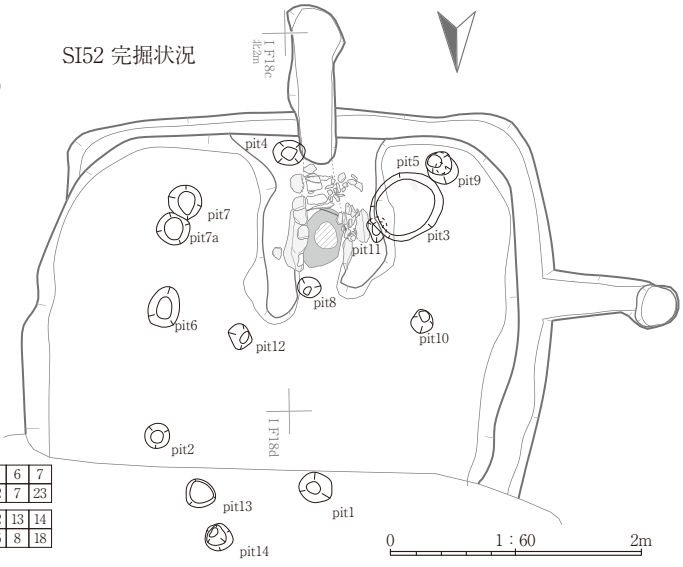
SI52 カマド② (e-e')

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性なし。炭化物 (径 1 ～ 5 ㎜)2%。

2　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまし・粘性なし。10YR5/8 黄褐色土 (径 1 ～ 20 ㎜) 2 %。炭化物 (径 1 ～ 2 ㎜)10%。

3　10Y5/1 灰色　粘土　しまり・粘性あり。7.5YR6/8 橙色土 10%。

4　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性なし。5 層土 (径 1 ～ 10 ㎜)10%。

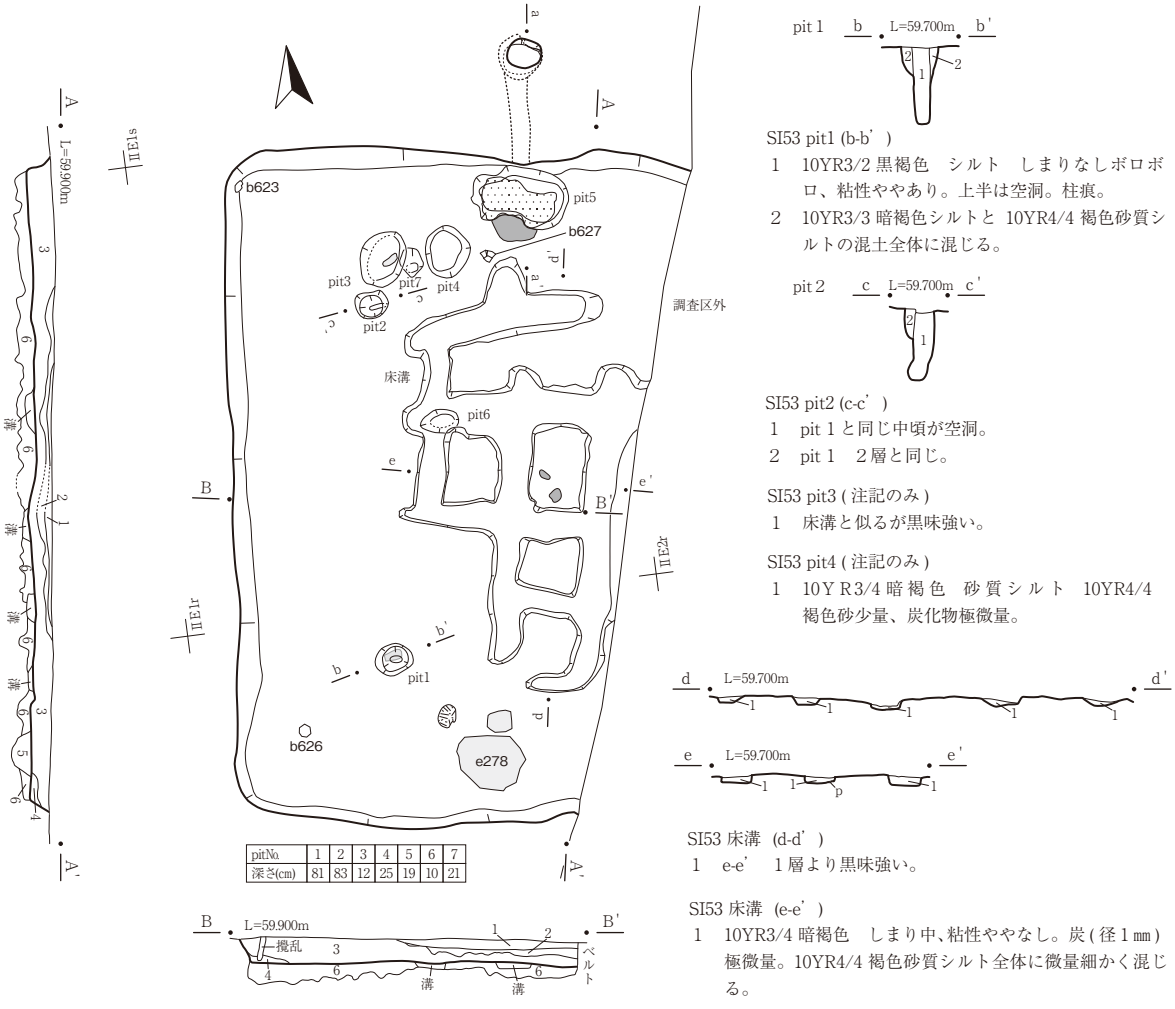


0　1 : 60　2m

pitNo.	1	2	3	4	5	6	7
深さ(cm)	22	29	12	22	22	7	23

pitNo.	8	9	10	11	12	13	14
深さ(cm)	30	24	17	10	35	8	18

第93図　SI52住居跡



SI53 pit1 (b-b')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりなしボロボロ、粘性ややあり。上半は空洞。柱痕。
2　10YR3/3 暗褐色シルトと 10YR4/4 褐色砂質シルトの混土全体に混じる。

SI53 pit2 (c-c')
1　pit 1 と同じ中頃が空洞。
2　pit 1　2層と同じ。

SI53 pit3 (注記のみ)
1　床溝と似るが黒味強い。

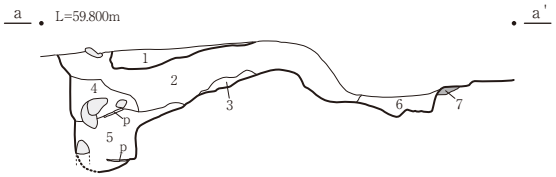
SI53 pit4 (注記のみ)
1　10ＹＲ3/4 暗褐色　砂質シルト　10YR4/4 褐色砂少量、炭化物極微量。

SI53 床溝　(d-d')
1　e-e'　1層より黒味強い。

SI53 床溝　(e-e')
1　10YR3/4 暗褐色　しまり中、粘性ややなし。炭 (径 1 ㎜) 極微量。10YR4/4 褐色砂質シルト全体に微量細かく混じる。

SI53　(A-A'・B-B')
1　10YR4/4 褐色　砂　洪水堆積層の砂。
2　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。グライ化し、酸化鉄集積。砂層の下に堆積。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。
4　3層に似るが、上面に 10YR4/4 褐色　砂質シルトブロック多く含む。全体土の色調もやや暗い。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。炭 (径～ 5 ㎜) 極微量。
6　10YR3/2 黒褐色と 10YR4/4 褐色の混土斑状に混じる。量比は下の包含層土によって変化。同様の理由で炭混じる所あり。

0　1：80　2m



SI53 カマド (a-a')
1　10YR4/4 褐色　砂質シルト　Ⅲ層。部分的に下面被熱 (7.5YR2/3 極暗褐色)。天井部。
2　10YR4/4 褐色砂質シルト大量、10YR3/3 暗褐色砂質シルト少量全体に混じる。炭 (径～ 1 ㎝) 極微量。被熱土ブロック極微量。天井崩落流入土。しまり中、粘性ややなし。※煙出し部礫多く含む。
3　5YR3/4 暗赤褐色　天井崩落の被熱土。
4　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂質シルト少量全体に混じる。炭 (径～ 2 ㎜) 極微量。
5　4層に似るが、しまり弱くなる。色もやや暗い。
6　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。5YR4/8 赤褐色焼土ブロック (径～ 5 ㎝) 大きく斑状にやや多く入る。7層を壊したものか？
7　5YR4/8 赤褐色　焼土層。

0　1：40　1m

第94図　SI53住居跡

pit１・２を主柱穴と判断した。柱痕の上部は空洞になっており、pit１は床面で長方形の柱痕跡が検出された。少なくとも柱穴底面から床面までの間は断面形が長方形の柱材を使用していたようである。pit２も底面は長方形を呈する。**井桁状溝群**　床面中央部に西壁と平行する並列溝群とこれに直交して連結する溝群を検出した。pit１・２より中央に位置し、竪穴外周からは一定の間隔を開ける。一部不規則な配置になるものの全体としては井桁状に配置された溝群と捉えられる。床面で検出したため、住居全体の堆積土との関係性は確認できなかった。そのため使用時の開口･閉口のいずれかは不明である。**床面焼土群**　床面、井桁状溝群内に焼成範囲を２箇所検出した。**遺物出土状況**　器形を復元できる個体は坏類が多く、甕類は少ない。e278は使用面を上にする。（遺物図版98･131･176・181･185･190　写真図版255･280）

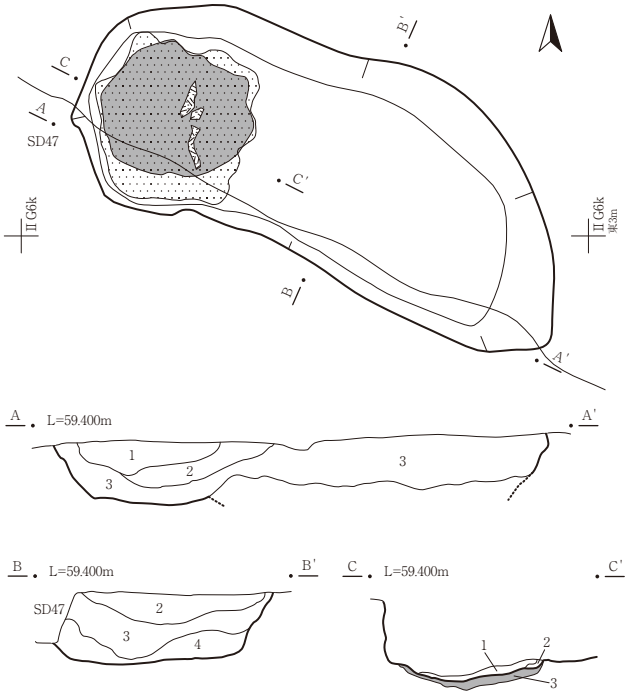
ＳＩ５４住居跡（第95図　写真図版59）

検出状況　調査区境の検出作業でカマド部分の焼土の集積を検出し住居跡の認識に至った。堆積土内カマド手前部分で埋没後にSK94が掘り込まれる。本住居跡はこれより古い。**形状**　方形基調。西側は調査区外に位置する。**床面・壁面**　床面は平坦で中央がやや硬化する。壁面は明瞭に検出され直立気味に立ち上がる。**堆積土**　単純な褐色の砂質シルトで構成される堆積土で地山より明色である。**カマド**　北壁に設置される。両袖の残存状況は良好で比較的小径の亜円礫、亜角礫が上部に埋め込まれる。袖の先端には棒状礫が床面に埋め込まれ門状の芯材となっている。燃焼部焼土はちょうどこの棒状礫に挟まれた位置に中心がある。被熱は強く中央に硬化還元面が形成される。また燃焼面奥側から土師器甕底部破片が出土した。底面からやや浮いているが支脚の可能性がある。煙道は刳り抜き式でほぼ水平に煙出し孔に向かって伸びる。天井部が部分的に落下している状態が認められた。煙出し孔内には上部から下部にかけて礫が含まれる。**柱穴**　柱穴、土坑は検出されていない。**遺物出土状況**　遺物は全体に少量である。カマド前床面に鉄鏃（f79）、北東コーナー床面に刀子小片（f80）がある。（遺物図版99･190　写真図版255）

ＳＩ５５住居跡（第96図　写真図版60）

検出状況　帯状のトレンチャーによる攪乱が東西方向に伸び並列する範囲で検出した。攪乱は床面下まで達しているものの、幸い南北壁は残存しており、東西壁も攪乱部分を除いたラインを結べば復元可能であったため、攪乱の範囲は必要最低限のみ記録した。**形状**　方形基調である。北壁が南壁よりやや狭まる。**床面・壁面**　地山（褐色シルト）を床とする。南側より北側の方がやや低くなる。壁の高さは10～15㎝と、床面近くまで後世の削平が及んでいる。**堆積土**　上部に洪水砂層、下部に砂質シルト層が堆積する。下部の砂質シルト層は水漬状態であったためかグライ化する。また床面と洪水砂層の間は数㎝程度であり、廃絶後早い段階で洪水にあったものと推測される。**カマド**　北壁東寄りに設置される。燃焼部焼土と袖の一部が上記の攪乱によって消失している。袖は地山褐色砂質シルトで構築される。燃焼部の被熱は強く、断面では硬化面が確認できた。焼土の北縁に礫が置かれ、更に北側に羽口（d131）が立てられており、支脚として利用していた可能性が高い。煙道は住居壁から浅皿状に窪み煙出し孔へと続く。構築方法は不明である。煙道側壁は熱変色を受けるが､煙出し孔は被熱していない。**柱穴**　２基検出した。pit１は直径44㎝、深さ67㎝、混入物のない砂質シルト層が堆積する。本遺構の主柱穴とするには、直径、深さとも大きく、対応する柱穴が見つからなかった。また堆積土も他の住居跡の柱穴と比較すると異質である。そのため別遺構（新期の掘立柱建物）の可能性を考え周囲を検出したが、対応する遺構が確認できなかったため、暫定的に本遺構に伴うものと取り扱っている。pit２は深さ７㎝と浅く、位置から貯蔵穴の可能性がある。**遺物出土状況**　床面近くまで全体が削平され、更に攪乱が床面を並走するため遺物量は少ない。器形を復元できた個体は坏類のみである。（遺物図版99　写真図版255）

SX137



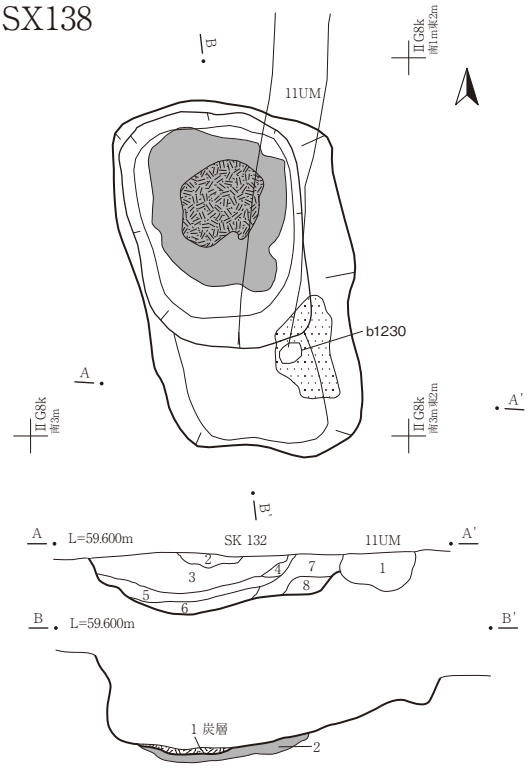
SX137 (A-A'・B-B')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト多量全体に混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～ 5 ㎜) 少量細かく斑状に入る。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト少量全体に混在。炭極微量。
4　10YR4/4 褐色　基本層序よりやや暗く炭混じる。白色粘土斑状に含む。

SX137 (C-C')

1　7.5YR4/3 褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。焼土ブロック多量、炭少量。上面に炭層あり。
2　7.5YR2/3 極暗褐色　焦土。周囲からの崩落か？
3　5YR3/6 暗赤褐色　焼土　被熱強。

SX138



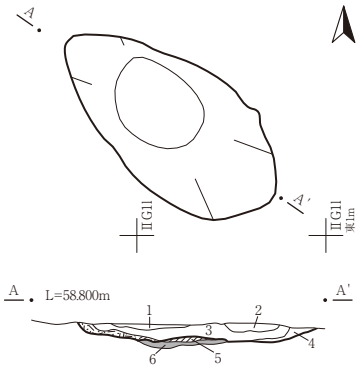
SX138・11UM (A-A')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土全体にやや多く混じる。
2　3 層に似るが、やや褐色粘土多い。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭、焼土、褐色土極微量。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土ブロック (径～ 5 ㎜) 細かく多い。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭、焼土微量。炭 (径～ 1 ㎝) 3 層より大きい。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。ややグライ化し、上下面に酸化鉄集積。
7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土少ない。
8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土多い。

SX138 (B-B')

1　10YR4/6 褐色　上面炭層　しまりややなし、粘性ややあり。炭層か？
2　5YR4/8 赤褐色　焼土層。

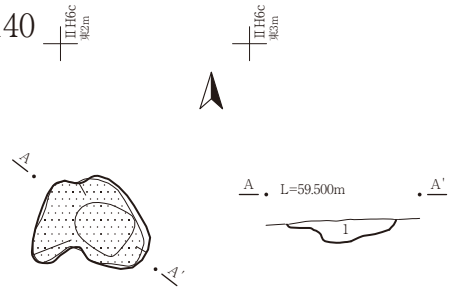
SX139



SX139 (A-A')

1　10YR4/4 褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径 2 ㎜)、5 YR5/8 明赤褐色焼土粒 (径 1 ㎜) 極少量混入。
2　1 層に同じ。
3　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜)、5 YR4/8 赤褐色焼土 (径 2 ～ 10 ㎜) 大量混入。
4　10YR4/6 褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。
5　7.5YR7/8 黄橙色　しまりあり、粘性なし。
6　5YR3/6 暗赤褐色　しまりややなし、粘性なし。

SX140

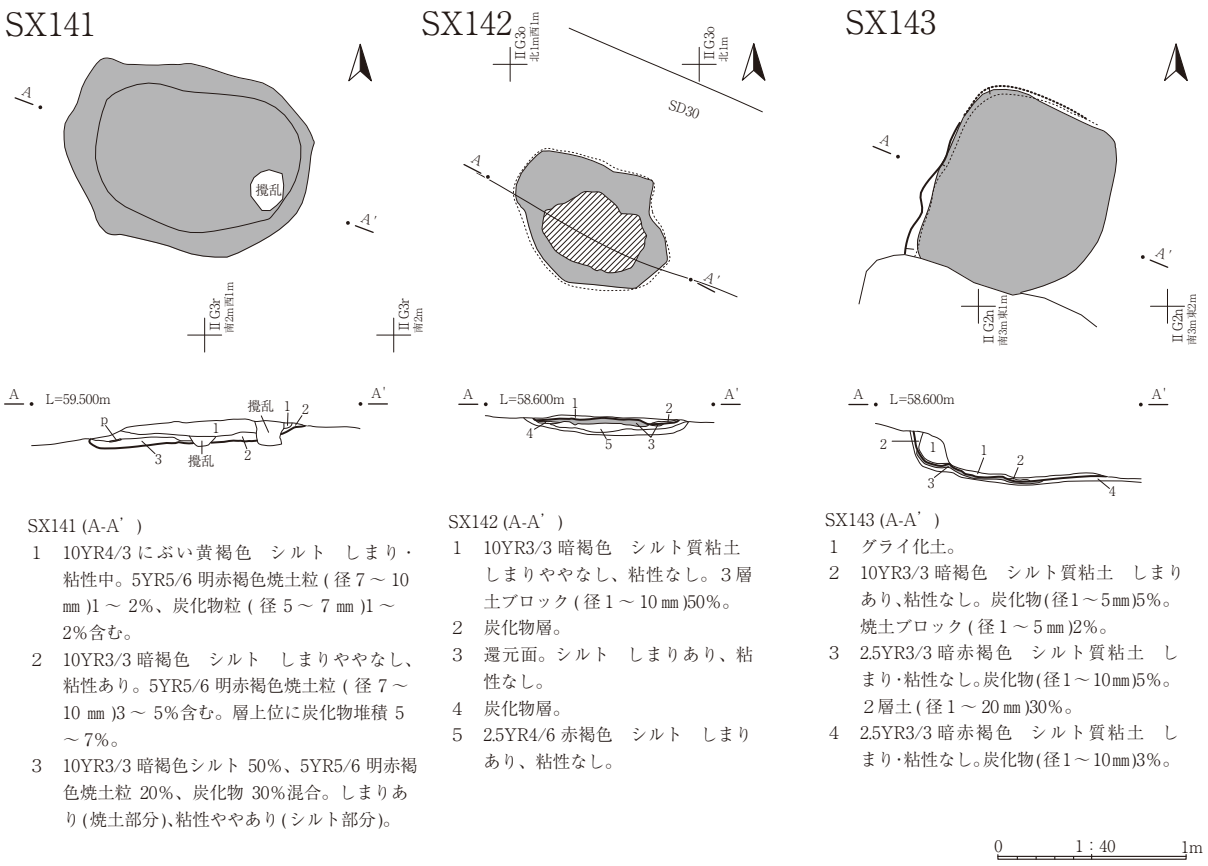


SX140 (A-A')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。7.5YR6/8 橙色焼土粒 (径 7 ～ 10 ㎜)5 ～ 7%。炭化物 (径 10 ㎜)1% 含む。

0　1 : 40　1m

第202図　SX137～140焼成遺構



SX141 (A-A’)
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。5YR5/6 明赤褐色焼土粒 (径 7 ～ 10 ㎜)1 ～ 2%、炭化物粒 (径 5 ～ 7 ㎜)1 ～ 2%含む。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性あり。5YR5/6 明赤褐色焼土粒 (径 7 ～ 10 ㎜)3 ～ 5%含む。層上位に炭化物堆積 5 ～ 7%。
3　10YR3/3 暗褐色シルト 50%、5YR5/6 明赤褐色焼土粒 20%、炭化物 30%混合。しまりあり (焼土部分)、粘性ややあり (シルト部分)。

SX142 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト質粘土　しまりややなし、粘性なし。3 層土ブロック (径 1 ～ 10 ㎜)50%。
2　炭化物層。
3　還元面。シルト　しまりあり、粘性なし。
4　炭化物層。
5　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。

SX143 (A-A’)
1　グライ化土。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト質粘土　しまりあり、粘性なし。炭化物(径1～5㎜)5%。焼土ブロック (径 1 ～ 5 ㎜)2%。
3　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト質粘土　しまり・粘性なし。炭化物(径1～10㎜)5%。2 層土 (径 1 ～ 20 ㎜)30%。
4　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト質粘土　しまり・粘性なし。炭化物(径1～10㎜)3%。

第203図　SX141～143焼成遺構

ＳＸ７０焼成遺構（第191図　写真図版147）

底面・壁　床面は掘り方土を均して平坦となっている。壁は外傾して立ち上がり、上部の方が傾斜が緩い。**堆積土**　暗褐色土を主体とする。中央が窪むレンズ状で壁崩落を伴いながら自然に埋没したものと推測される。**焼土・炭化物**　北西部底面直上の焼成面（第１面・７層）と、間に褐色～黄褐色土を挟みほぼ同じ位置の焼成面（第２面･３層）の、２面の焼成面が形成されている。いずれも強く被熱する。第２面焼成面の南側には炭化物層が広がる。**柱穴**　10基検出した。底面に掘られたものに対し壁に作られるピット（pit ６・７）は径が小さい。深さはpit ９・10がそれぞれ66cm、55cmと深く、それ以外は10～20cm程度と浅い。pit10の上面に第１面焼土が形成されており、pit １・２は第１面焼土形成後、第２面焼土形成前に作られており、時期差がある。pit ９の１層は柱痕と見られる。このことから、本遺構では柱材を立て上部構造が設置されていた可能性がある。ただし、底面で検出されたpit群は焼土と近接しており、焼成作業との関係を考慮すると焼失の恐れがある点でやや疑問が残る。

（7）　埋　設　土　器（ＳＸ）

２基の確認である。SX36は縄文晩期、SX46は平安時代の所産。他に遺物集中遺構、包含層中で略完形個体が複数出土しているが、明らかに埋設設置したと認められるもののみ取り上げている。

ＳＸ３６埋設土器（第204図　写真図版160）

検出状況　Ｃ区南端のⅢ層上面で検出した。略完形土器が倒立状態で確認され、埋設痕跡を確認する

ため下部にトレンチを設定、わずかに窪む掘り込みに設置されているものと判断した。**埋設状況**　倒位でほぼ直立状態である。上部にあたる土器下半は検出作業過程で破片が散乱したが接合の結果略完形に復元された。土器内の充填土はⅢ層と同相の暗褐色砂質シルト層で、周囲との差はあまりない。（遺物図版7　写真図版185）

ＳＸ４６埋設土器（第204図　写真図版160）

検出状況　Ｂ区南旧河道内で検出した。検出時は土師器甕口縁部の一部のみだったため、包含層内に含まれる遺物と判断し取り上げ作業を行った。その後口縁部がほぼ全周することがわかりトレンチを入れ出土状況を把握することとした。この時点で、甕の上面に坏(b1231)が正位で入れ子状になって収まっていたが、出土状況記録以前に取り上げたため正確な関連は把握していない。**埋設状況**　掘り方底面に板状礫が敷かれ、その上に土師器甕（b1232）が正位で埋設される。土器は底部が意図的に穿孔されている。礫は土器の中心よりもやや南西にずれているが、土器穿孔部分の下に礫が位置する状態である。**掘り方堆積土**　土器内、掘り方ともに旧河道内のｂ層土を主体として褐色砂が混入する。土器内土壌は締まりが弱い。検出時に坏が上面に乗っていたこともあわせて考えると、掘り方、土器内ともに土壌で充填された状態で埋設されていたものと判断される。**土器内土壌**　埋設の目的を調査するため土器内に充填された土壌約600ccを採取、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託し、土壌内の種実遺体等の洗い出し分析を実施した。その結果は微細な炭化材片が21点採取されるに留まり、周辺土壌に含まれた炭化物の流入と判断された。土器内土壌からは遺構の性格を検討する材料は得られていない。**出土位置**　調査区内に限るが、本遺構より南側では古代の竪穴住居が検出されていない。そのため、集落の南限という位置と何らかの関連があるものと考えられる。（遺物図版124　写真図版275）

（８）性格不明遺構（ＳＸ）

ＳＸ０８性格不明遺構（第204図　写真図版160・161）

SI01・02精査中に炉より南に大きく砂層が広がる範囲が確認され、これを除去したところ本遺構が確認された。当初は土坑ないし住居状の遺構である可能性を考慮して精査を行っている。SI01・02と重複すると思われるが、新旧関係は確認できない。埋土下部は黒褐色～暗褐色土を主体とする。上部は砂層に覆われるが（SI02C-C'参照）、これを本遺構の埋土と考えると住居は砂層上面に形成されていたことになる。含まないとｆ層上面に住居が形成されておりその後砂層によって削平されたものと解釈されるが、いずれかの判断はできなかった。また本遺構自体も底面の凸凹が顕著で、東側の立ち上がりも確認できない。これらの点から見て、本遺構は人為的なものではなく、河川の浸食作用によって生じた窪地の可能性が考えられる。（遺物図版7　写真図版185）

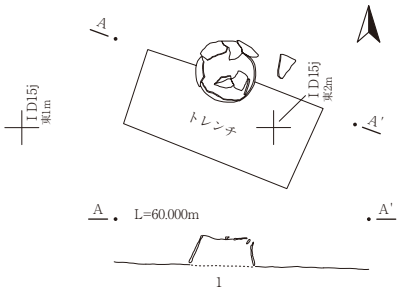
ＳＸ１７円形周溝状遺構（第204図　写真図版161）

Ⅲ層上面で検出した弧状の溝である。東半が調査区外に伸びており全体形状は不明。円弧の一部と見られることから、円形周溝の可能性が高い。溝の断面はＵ字状を呈し、黒褐色シルト層を主体とする土層が堆積する。遺物が多く含まれていること、褐色土ブロックが混在すること等から、人為堆積と考えられる。（遺物図版7･124　写真図版185･275）

ＳＸ５６性格不明遺構（第205図　写真図版161）

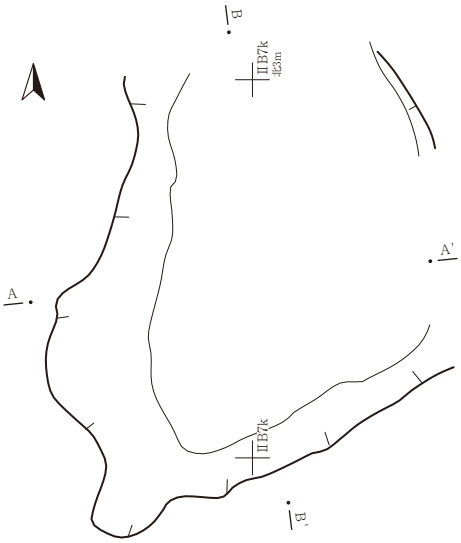
皿形の落ち込みの一部に古代土器片が集中した状態で検出された。遺構上部が相当規模削平によっ

SX36埋設土器

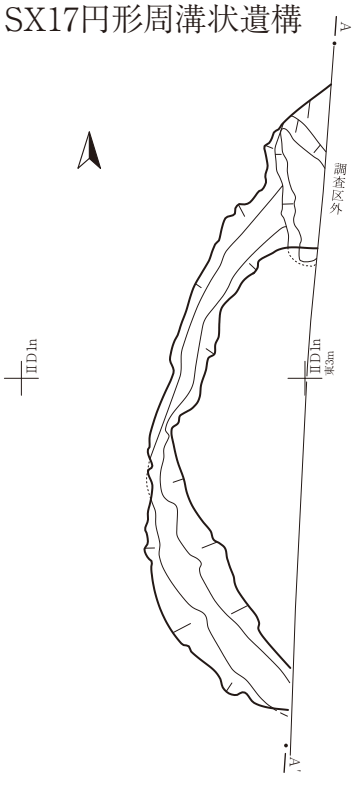


SX36 (A-A’)
1　10YR3/4 暗褐色 砂質シルト
炭化物含む。Ⅲ層の一部？

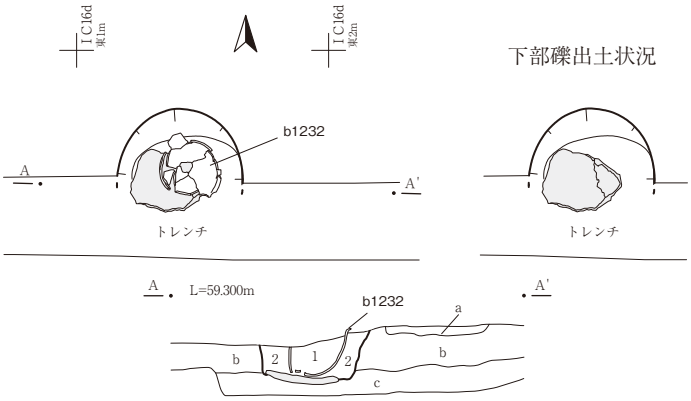
SX08性格不明遺構



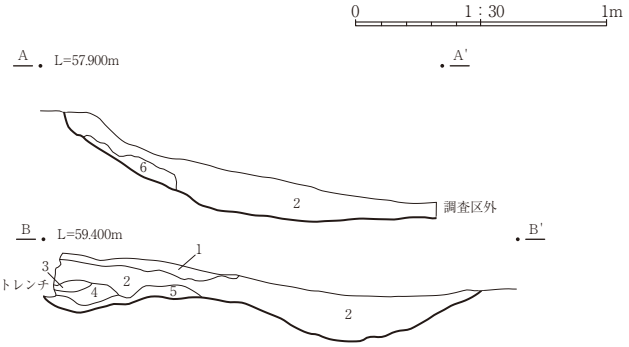
SX17円形周溝状遺構



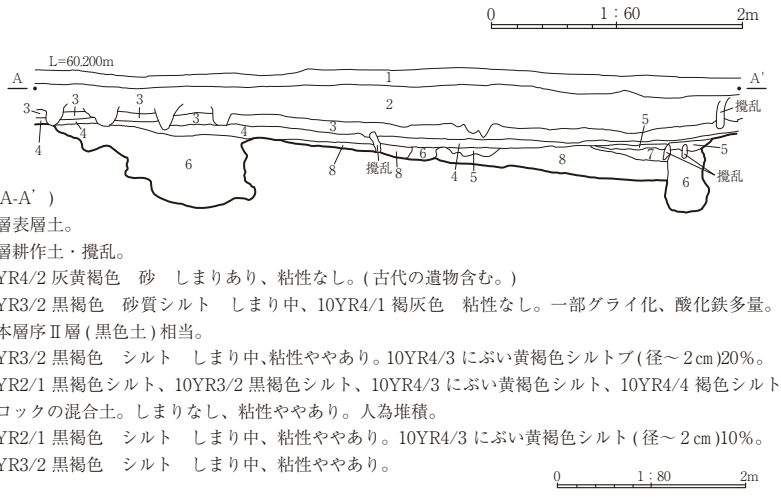
SX46埋設土器



SX46 (A-A’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。２層より粗質。
褐色砂粒全体に微量混。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。Ⅱ層よりしまり弱。
10YR4/4 褐色砂ブロック (径～２㎜) 細かく入る。
a　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　古代の遺物含む
b　10YR2/2 黒褐色　シルト　Ⅱ層相当。
c　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　Ⅱ層相当。



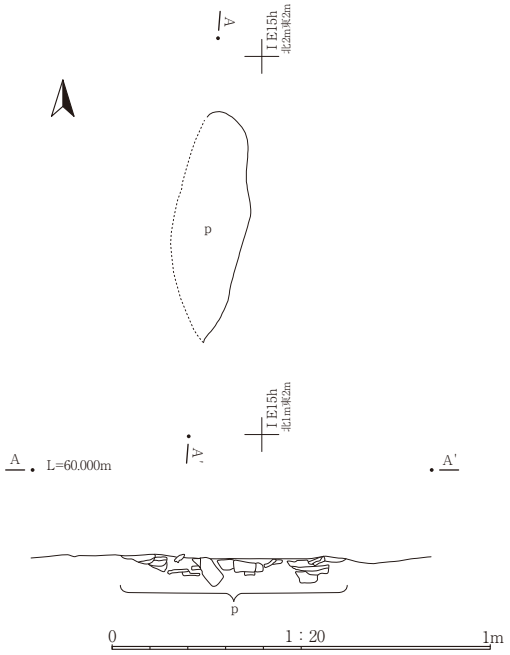
SX08 (A-A’・B-B’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質) しまり・粘性中。黄褐色地山砂質シルトやや多量、大きく斑状に混じる。２層との層界に粗砂、礫分布。
2　１層と同相。下面に粗砂層・礫層はない。
3　10YR3/4 暗褐色　砂層。(SI02C-C’７層起源)
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　黄褐色地山ブロック少量、炭化物極微量。
5　SI02C-C’７層の砂層に黒褐色シルト少量混じる。しまり・粘性ややなし。
6　黄褐色地山シルト層に 10YR3/2 黒褐色シルト少量。しまりややあり、粘性中。



SX 17 (A-A’)
1　Ⅰ層表層土。
2　Ⅰ層耕作土・撹乱。
3　10YR4/2 灰黄褐色　砂　しまりあり、粘性なし。(古代の遺物含む。)
4　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、10YR4/1 褐灰色　粘性なし。一部グライ化、酸化鉄多量。基本層序Ⅱ層 (黒色土) 相当。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブ (径～２㎝)20%。
6　10YR2/1 黒褐色シルト、10YR3/2 黒褐色シルト、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト、10YR4/4 褐色シルトブロックの混合土。しまりなし、粘性ややあり。人為堆積。
7　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト (径～２㎝)10%。
8　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

第204図　SX36･46･08･17

SX56性格不明遺構



SX108性格不明遺構

pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
深さ(cm)	26	21	42	14	12	32	53	16	31	61	24	41	26	38	30	11	12	40	24	29

pitNo.	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
深さ(cm)	73	11	50	8	60	13	40	35	15	19	25	69

第205図　SX56·108

て消失しており、本来的な形態がどのようなものであったのかは不明である。落ち込みの内部には黒褐色シルト層が堆積し、土師器坏が集中的に出土している。うちb1233～1236の４点を掲載した。遺構の性格は不明である。（遺物図版123　写真図版275）

ＳＸ１０８性格不明遺構（第205図　写真図版161）

形状　Ｅ区Ⅴ層上面で検出した方形の柱穴列である。約3.5m四方のほぼ正方形に柱穴32基が配列する。柱穴以外には内部の掘り込みや硬化面は確認されていない。柱穴間隔は一定せず10cm未満から50cm以上まで幅がある。また西側で狭く東側で広い。本数も異なり、コーナーの柱穴を含めると南西辺で11基、北西辺で12基、北東辺で６基、南東辺で７基と偏りが見られる。コーナーに位置するpit10・21・32はいずれも60cmを超す深さとなっているが、東コーナーのpit26のみ13cmと浅い。この位置に深さ57cmのP1828があり、若干、柱穴列とずれがあることから本遺構と関連しないと判断したが、これが東コーナーの柱穴に該当したかも知れない。**時期・性格**　柱穴出土遺物がないため遺構の時期は不明とせざるを得ない。ただし、東側にあるSB07建物跡、南側の溝群と軸線が比較的近いことを考慮すると、12世紀後半に位置づけられる可能性がある。遺構の性格は柵列的な施設を想定しているが、上部構造の実態は不明である。

（9）　溝　　跡（ＳＤ）

合計42条を検出、登録した。出土遺物または灰白色火山灰（To-a）が堆積土中に含まれることからSD02・03・27・29の４条は平安時代前半期の溝跡と判断される。SD02・03はＡ区西側に並走し、SD27はＤ区ほぼ中央、SD29はＦ区北端を東西に区切る位置にある。SD30・35～39・42・43・47・51

の10条は出土遺物や方向・位置から12世紀後半頃と推定され、Ｅ区中央付近から北側にまとまっている。SD34は出土遺物から近代以降の可能性が高い。これ以外の27条は古代以降ではあるが詳細な時期は不明である。以下、特筆すべき遺構について記載する。

ＳＤ０２・０３溝跡（第206～208図　写真図版162・163）

検出状況　Ａ区とＢ区の南側で検出した。Ａ・Ｂ区間で調査不能範囲と調査区外に位置する範囲があるが、連続する遺構と判断した。南端は新期落ち込みによって途切れる。、北端はSD02が深さを減じ、SD03が重複するSD19に切られ消失する。**形状**　２条が平行して南北に直線的に伸びる。両者の間隔は５ｍ程度と一定距離を保つ。SD02は南へ向かって低く、差は90㎝程度であるが、途中高くなる地点が２箇所あり（D-D'・F-F'間とA-A'付近）、低い地点との差は35～90㎝ほどある。SD03も南へ向かって低くなり、その差は120㎝程度である。**堆積土**　黒褐色土を主体とし、褐色土ブロックを混入する。SD02の深い部分では埋土中部に褐色土ブロックを多く含む層が堆積する。**遺構の性格**　両者とも南側の落ち込みへ向かって低くなっているため、排水機能を備えていたものと推測されるが、SD02は意図的に深浅があり、何らかの用途があったものと考えられる。両溝が一定幅で平行していることから道路側溝の可能性もあるが、確実な根拠はない。（遺物図版7･124･136･192　写真図版185･275）

ＳＤ２２溝跡（第213図　写真図版167）

検出状況　Ⅲ層上面で検出した。**形状**　北西から南東方向へほぼ直線的に伸びる。西側は調査区外へ続く。東側も更に延びていたと考えられるが、検出されなかった。長さは27ｍ以上、幅は22～126㎝を測る。**堆積土**　灰黄褐色粘土主体である。最下部には砂を多量に含む。水成の自然堆積と考えられる。**遺物出土状況**　古代土器が233ｇ、縄文土器が138ｇ出土し、堆積土中から出土したb1253・b1254を掲載した。（遺物図版124　写真図版275）

ＳＤ２７溝跡（第214図　写真図版168）

検出状況　Ⅳ層上面で検出したが、調査区境の断面観察ではⅢ層上面から掘り込まれている。**形状**　西北西から東南東方向へほぼ直線的に伸びる。東西両端は調査区外へ続き総延長は不明である。調査区内では長さ41.4m、幅は最大3.4m、深さは最大1.9mに達する。**底面・壁**　底面は比較的平坦で東側に低い傾斜を持つ。**堆積土**　暗褐色シルトを主体として、下部には主に北側から崩落したと見られる黄褐色粘土ブロックが互層状に含まれる。**遺物出土状況**　古代土器、縄文～弥生土器ともに多量に出土している。特に後者が合計43kg以上と際だって多くなるのは、Ｄ区包含層を掘り込んで溝が掘られたこと、また両岸に残る包含層から転落した遺物が多いことに起因すると考えられる。（遺物図版7･124･152･177･192　写真図版185･275）

ＳＤ３０溝跡（第215図　写真図版169）

形状　東端に楕円形の一段深くなる範囲を持つ。調査当初は別の土坑が重複していると判断したがD-D'断面で新旧を確認できず、そのため土坑が新しい可能性を考えD-D'からC-C'断面へ北半を掘り下げところ、溝と堆積土が連続していることが判明した。土坑部分と溝とは別個の遺構ではなく、溝の施設の一部で水溜のような役割を果たしたものと推定される。**出土遺物**　常滑の甕胴部片が２点（c7・8）出土しているのが注目される。（遺物図版7･125･126　写真図版185･275･276）

ＳＤ３５～３９・４２・４３溝跡群（第217～218図　写真図版171・172）

検出時に複数条の重複が確認できたため、重複していると想定される箇所にトレンチを入れ新旧関係を把握してから全体を掘り下げていった。その結果大きく４時期に分かれることが判明した。古い時期から、①ＳＤ３９　→　②ＳＤ３６　→　③ＳＤ３５・３７・４３　→　④ＳＤ３８・４２と新しい時期へ移行するものと判断される。各時期の溝の位置は概ね平行しており、深さも全時期を通して若干の差はあるが大きく変化しないため、ほぼ同位置で作り替えられたものと推測される。

ＳＤ３９溝跡（①）

溝群の中で最も古い。Ｃ字状を呈する。北東部のSD37との合流部がSD38に切られ、両者が同一遺構か、時期差があるのか当初は不明瞭であった。また、双方の堆積土は合流部付近では非常に類似していたが、断面E-E'部分の観察により同一遺構ではなくSD39が古い新旧関係にあることを確認した。堆積土はレンズ状に窪み、地山ブロックの混入量が少ないことから、人為的な堆積の様相とは捉えられない。旧河道と接する西側はグライ化し酸化鉄が集積する。溝に囲まれた空間内西側には柱穴が存在するが、溝調査後に確認したため新旧関係は不明である。

ＳＤ３６溝跡（②）

Ｌ字状を呈する。①のSD39の北東、一回り外側に位置する。堆積土はレンズ状に窪み、地山ブロックの混入量が少ないことからSD36と同様に人為堆積とは捉えられない。①の時期の溝は北東部、②は南側と西側で突然途切れるが、これは新期溝に作り替えられている可能性がある。

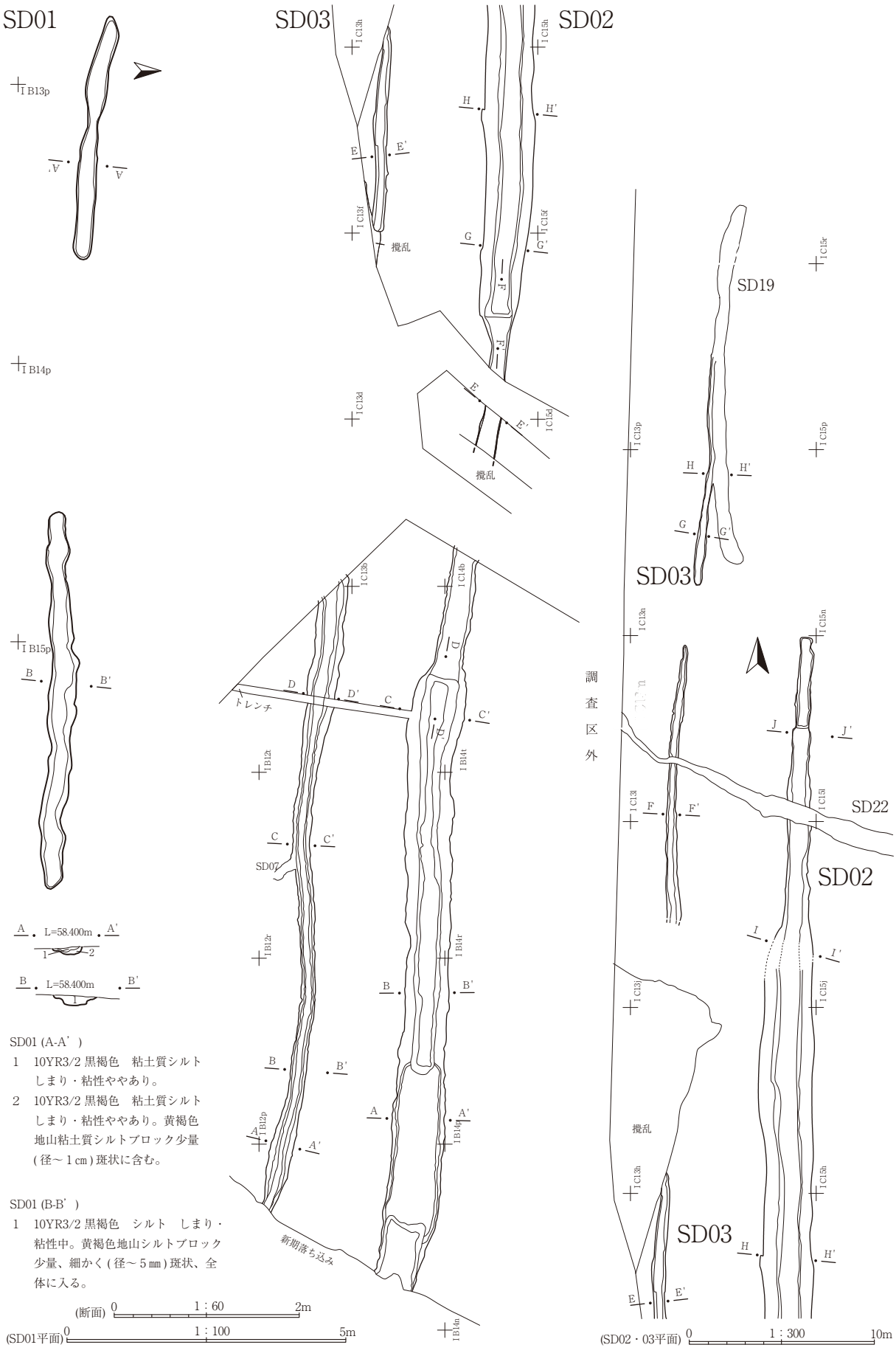
ＳＤ３５・３７・４３溝跡（③）

SD35は東西、その他２条は南北に走る。SD35と37は、断面観察により同時期と判断される。SD43は②の溝より新しく④の溝より古いため、この時期とした。SD37と43の間が分断されているが、本来は繋がっていて④の時期の溝に作り替えられたものと推定される。SD35の西側は深さを減じて消失しているものの、わずかに北へ向かって屈曲しており、SD39の外側を巡っていた可能性がある。また南西部の底面中央が一段下がっている部分は、断面観察（D-D'）の結果、溝全体と同時に埋没しているためSD35としたが、②SD36の時期の底面痕跡で、そのまま③の時期にも利用されていたとも考えられる。SD43の北端も深さを減じて消失する。この延長線上がSD51の西側の延長上と直交するため、これらの溝によって区画されていた可能性がある。区画内にはSB07～10の掘立柱建物跡を含む、多くの柱穴群が分布する。堆積土はSD35の東側が地山ブロックの混入量・粒径が大きく、溝群の中では最も人為的な要素が強い堆積状況である。

ＳＤ３８・４２溝跡（④）

溝群の中で最も新しい時期である。東西方向に走り、西側でクランク状に屈曲し、西端は旧河道内で深さを減じて消失する。SD38と42の間には３ｍ程度空間があり、ここに土橋が設置されていた可能性がある。

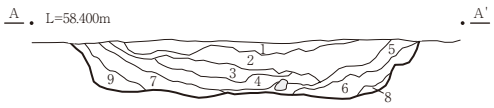
SD35～39・42・43溝跡群内からは12世紀後半のかわらけ、12世紀後半以降の陶器が出土しているため（SD35・38・42・43、c9～18）、該期の遺構と推測される。SD30・51でも同様の遺物が出土しているため同時期の遺構と判断され、これらの溝群の間にある掘立柱建物跡・柱穴群を囲う、区画溝としての役割を果たしているものと考えられる。また同じ時期の遺物の出土しているSK133・134・138・141土壙群や、遺物の出土はないものの溝方向・規模が類似するSD47、軸方位が類似するSX108なども含めて、一連の遺構群である可能性が高い。（遺物図版126･152　写真図版277）



SD01 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルトしまり・粘性ややあり。
2　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルトしまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量(径～1㎝)斑状に含む。

SD01 (B-B’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山シルトブロック少量、細かく(径～5㎜)斑状、全体に入る。

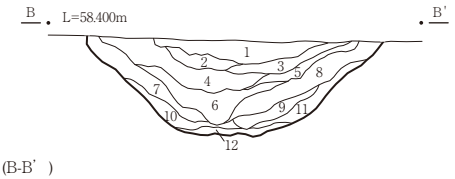
第206図　SD01～03溝跡



SD02 (A-A’)

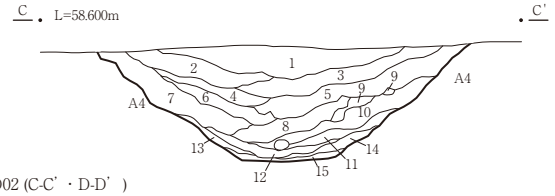
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。主体土少量、10YR3/2 黒褐色シルト大量、黄褐色地山砂質シルトやや多量、全体に混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルト全体に多量、こなれて混じる。
3　10YR4/4 褐色地山粘土質シルト～砂質シルト多量、10YR3/3 暗褐色シルト細かく少量 (径～ 5 ㎜)。しまりあり・粘性ややあり。
4　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山砂質シルト細かく (径～ 5 ㎜) 少量。
5　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。黄褐色地山砂質シルト細かく (径 2 ～ 3 ㎜) 微量、酸化鉄混じる。灰色味あり。
6　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山砂質シルト少量 (径～ 1 ㎝) やや斑状に混じる。
7　6 層に似るが黄褐色地山砂質シルトブロックの粒径が小さくなる (径 2 ～ 3 ㎜)。遺物多く含む層。
8　10YR4/4 褐色粘土質シルトブロックやや多量、10YR3/2 黒褐色粘土質シルトブロック少量細かく (径～ 5 ㎜) 入る。しまり・粘性ややあり。
9　10YR4/4 褐色粘土質シルトブロック大量、10YR3/2 黒褐色粘土質シルトブロック少量、シミ状に入る。

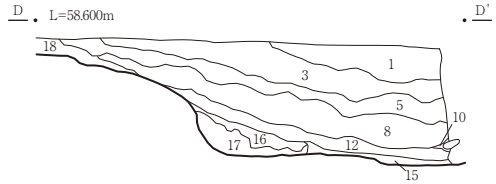
※壁は地山砂質シルト層で埋土 9 層には地山粘土質シルトが入る。



SD02 (B-B’)

1　A-A’ 1 層に似る。やや黄褐色地山ブロック多いか。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、全体に細かく混じる (径～ 5 ㎜)。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック多量、全体に細かく混じる (径～ 5 ㎜)。
4　10YR4/4 褐色黄褐色地山粘土質シルトブロックに 10YR3/2 黒褐色シルトやや多量、比較的細かく混じる (径～ 1 ㎝)。しまり・粘性ややあり。
5　3 層に混じり方似るが黄褐色地山粘土質シルト大量、10YR3/2 黒褐色多量。
6　黄褐色地山シルトと黄褐色地山粘土質シルトに 10YR3/1 黒褐色シルト大きくブロックで少量混じる。しまり・粘性ややあり。
7　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック全体に斑状に混じる (径 1 ～ 2 ㎝)。
8　7 層に似る。
9　4 層に似る。
10　10YR3/2 黒褐色 (やや灰色味)　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、細かく混じる (径～ 5 ㎜)。
11　10 層に似るがやや黄褐色地山ブロック多い。
12　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。黄褐色地山シルトブロック少量、全体に細かく入る (径～ 2 ㎜)。

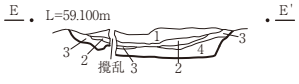




SD02 (C-C’・D-D’)

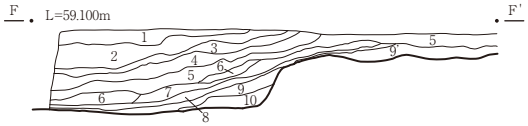
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック少量、細かく全体に含む (径～ 1 ㎜)、白色粒子も全体にあり。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、やや細かく全体 (径～ 5 ㎜)、炭化物極微量。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山ブロック少量、斑状に含む (径～ 1 ㎝)。
4　2 層に似るが炭化物なし。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、全体に斑状 (径～ 3 ㎝)。
6　黄褐色地山ブロック大量に 10YR3/2 黒褐色シルトブロック少量全体に混じる (径～ 1 ㎝)。
7　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、上部に比べるとこなれた感じ。
8　黄褐色地山粘土質シルトブロックに 10YR3/2 黒褐色シルトブロックやや多量、しまり中、粘性あり。
9　落ち込み A 4 層崩落層。
10　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、全体に含む (径～ 1 ㎝)。
11　黄褐色地山粘土質シルト層に 10YR3/2 黒褐色シルト微量、こなれて混じる。しまり中、粘性ややあり。下面に酸化鉄集中。
12　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。上面と下面に酸化鉄集中。
13　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまりややなし、粘性ややあり。やや灰色味強い。黄褐色地山ブロック少量細かく混じる (径～ 1 ㎜)。
14　13 層に似る。
15　10YR4/3 にぶい黄褐色　黄褐色地山粘土質シルトに 10YR3/2 黒褐色シルト細かく全体に混じる (径 1 ～ 2 ㎜)。
16　10YR3/2 黒褐色シルト少量、黄褐色地山砂質シルト大量。しまりややあり、粘性ややなし。
17　10YR2/2 黒褐色　シルト (やや砂質)　しまり・粘性中。黄褐色地山ブロックやや多量、ややこなれて混じる (径～ 1 ㎝)。黒味強い層。
18　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック少量、細かく (径～ 1 ㎝) 斑状に入る。

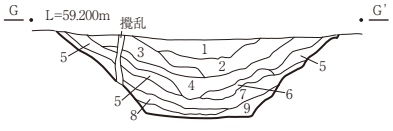
※北端の浅い部分の埋土は 18 層。



SD02 (E-E’)

1　10YR2/3 黒褐色　シルト　褐色の地山砂粒子微量。しまり・粘性中。下層は砂っぽい。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト、10YR4/2 灰黄褐色　シルト筋状に入る (水性)。しまりややあり、粘性中。グライ化。酸化鉄集中。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。地山砂粒～少ブロック。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　褐色土地山ブロック。

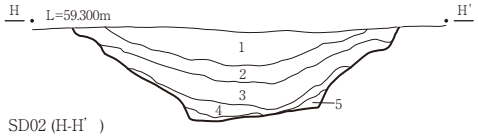




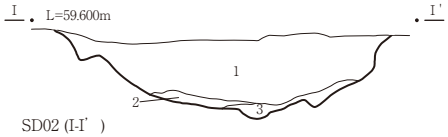
(断面) 0　1：60　2m

第207図　SD02溝跡

SD02 (F-F'・G-G')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂微量 (径～ 1 ㎜)。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂と粘土質シルト中量、斑状に混じる (径～ 1 ㎝)。
3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂含む (径 1 ～ 2 ㎝)。
4　2 層と同じ。
5　3 層に似るが、混入物が 10YR4/4 褐色 粘土質シルト。
6　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色粘土質シルト微量。
7　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト極微量。
8　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト極微量。層全体がグライ化し、上面に酸化鉄集積する。
9　10YR4/4 褐色　粘土質シルト大量と、10YR3/4 暗褐色　粘土質シルトやや多量の混合土しまり・粘性ややあり。
9'　9 層に似るが、底面を掘り返しそのまま埋めたような土が斑状に大きく入る。
10　10YR4/4 褐色粘土質シルト少量と、10YR3/4 暗褐色シルト大量、10YR3/2 黒褐色シルト少量の混合土、細かく混じる。

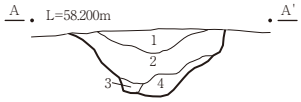


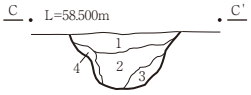
SD02 (H-H')
1　G-G' の 1 層と同じ。
2　G-G' の 2・4 層と同じ。やや地山ブロック少ない。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂と粘土少量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
4　G-G' の 8 層と同じ。
5　10YR2/3 黒褐色　シルトやや多量と、10YR4/4 褐色　粘土質シルト大量が細かく混じる (径 2 ～ 3 ㎜)。



SD02 (I-I')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。
2　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 30%(全体に)。

SD02 (J-J')
1　10YR4/4 褐色　粘土　しまりあり、粘性あり。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト (径～ 2 ㎝)20%。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土　しまりあり、粘性あり。10YR2/2 黒褐色シルト (径～ 1 ㎝)5%。

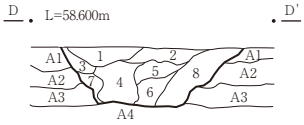


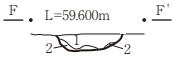


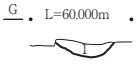
SD03 (A-A')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック微量 (径～ 1 ㎜)。炭化物極微量
2　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック・炭化物極微量 (径～ 1 ㎜)。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック微量、細かく全体に入る (径～ 1 ㎜)。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック少量全体にやや多量 (径～ 5 ㎜)。

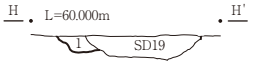
SD03 (B-B')
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック (径～ 1 ㎜) 微量、炭化物極微量 (径～ 1 ㎜)。
2　1 層に似るが黄褐色地山ブロック極微量。
3　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロックやや多量。全体に斑状に入る (径～ 3 ㎝)。

SD03 (C-C')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径～ 1 ㎜) 微量。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径～ 1 ㎝) 少量。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径 2 ～ 3 ㎜) やや多量。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径～ 1 ㎝) 多量。









SD03 (D-D')
1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　A 1 層に似るがやや黒味強い。しまりも A 1 層よりしまる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。黄褐色地山シルト細かく (径 2 ～ 3 ㎜) 少量、全体に混じる。
3　2 層に似る。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。黄褐色地山シルトブロック少量 (径～ 2 ㎝)
5　2 層に似るが､10YR2/2 黒褐色シルトブロック少量含む。黄褐色地山ブロックの混入量はやや多量。
6　10YR2/2 黒褐色シルトを含まない 5 層。
7　A2 層崩落層。土質も良く似る。しまりややなし、粘性ややあり。
8　A2 層の崩落層だがやや A1 層混じる。砂質　しまり・粘性あり。

SD03 (E-E')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～ 2 ㎜) 極微量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径 2 ～ 3 ㎜) 少量。
3　10YR4/4 褐色　粘土質シルト大量、10YR2/3 黒褐色　シルト微量。

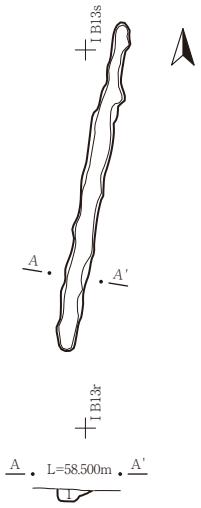
SD03 (F-F')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)20%。

SD03・19 (G-G'・H-H')
1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト少量。

(断面) 0　1：60　2m

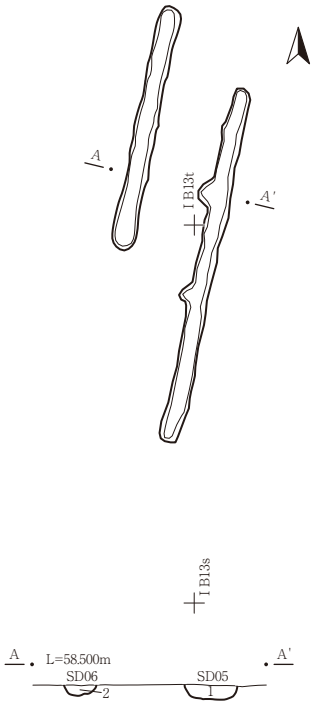
第208図　SD02･03溝跡

SD04



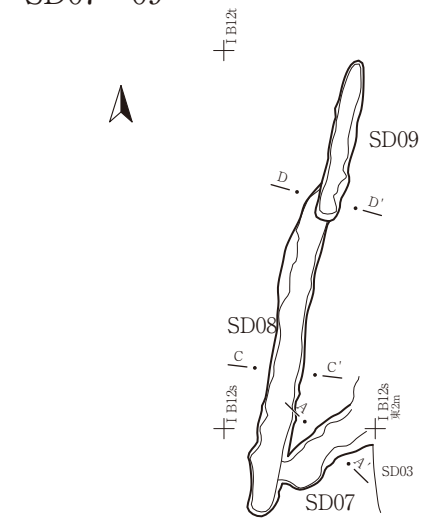
SD04 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量、こなれて混じる。

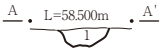
SD05・06



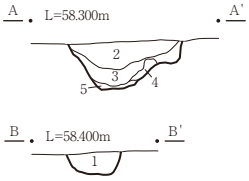
SD05・06 (A-A’)
1　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR2/2 黒褐色シルト (落ち込み A 埋土起源) 微量 (径～ 5 ㎜)。
2　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量含む。

SD07～09



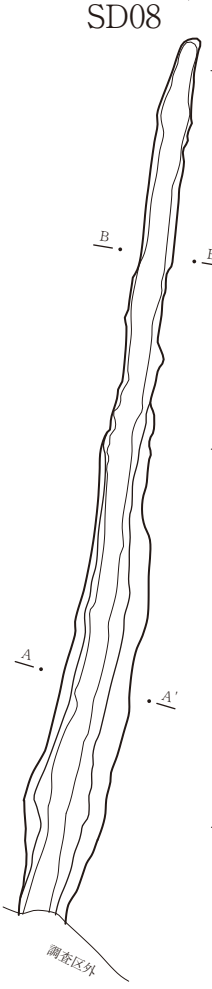


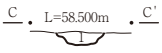
SD07 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック微量、こなれて混じる。



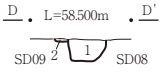
SD08 (A-A’・B-B’)
1　10YR2/3 黒褐色 (やや 10YR3/3 暗褐色より) シルト　しまり中、粘性ややなし。黄褐色地山砂質シルトブロック少量、細かく (径～ 2 ㎜) 全体に入る。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山シルトブロック微量、細かく入る (径～ 2 ㎜)。
3　1 層と似るが、粘性 1 層よりあり。
4　10YR4/6 褐色　黄褐色地山シルト～砂質シルトの崩落層。しまり・粘性中。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色地山砂質シルトブロック多量。
※ 1 層と 3 層は同一層、地山砂・シルトの混入量の違いで粘性が異なる。

SD08

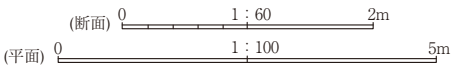




SD08 (C-C’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量、こなれて混じる。(SD04 の 1 層に似る)

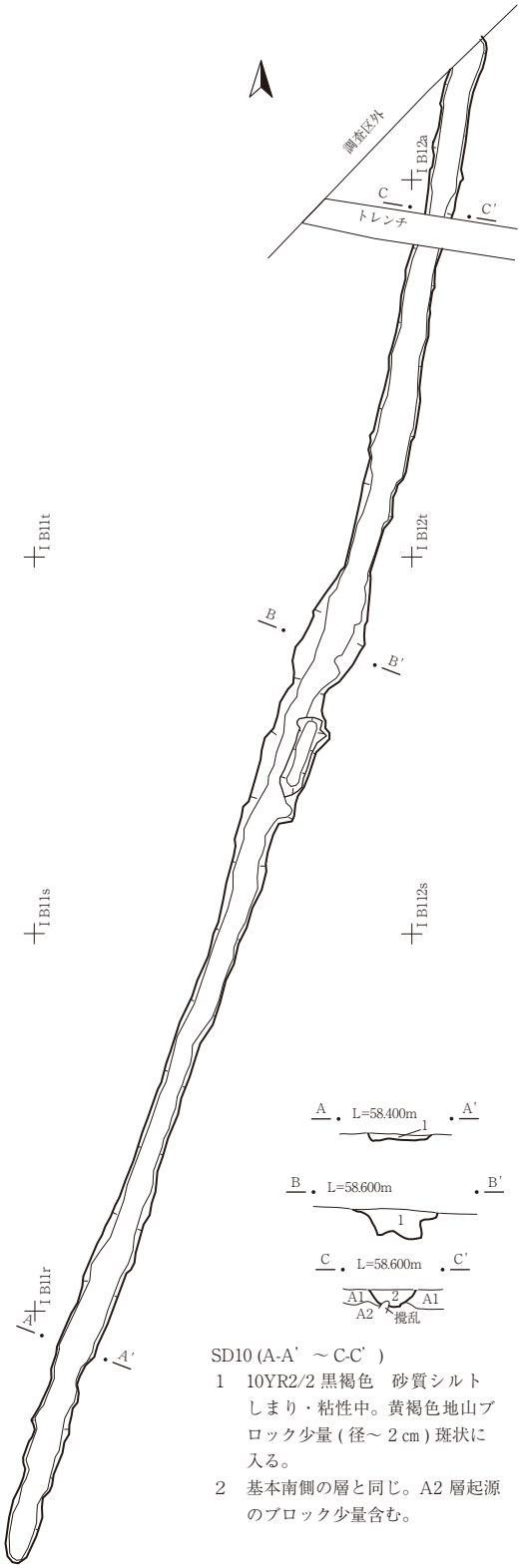


SD08・09 (D-D’)
1　10YR3/2 黒褐色 (やや 10YR4/2 灰黄褐色に近い) 砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。黄褐色地山粘土質シルトブロック微量 (径～ 1 ㎝)
2　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック多量。



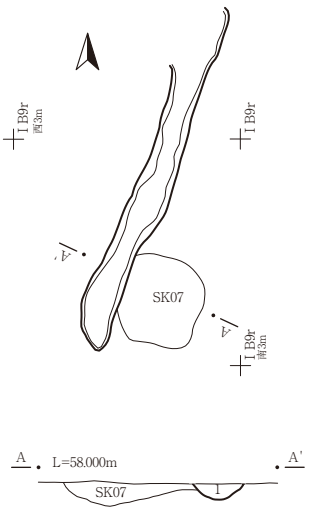
第209図　SD04～09溝跡

SD10



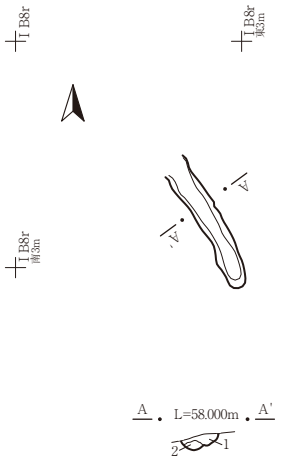
SD10 (A-A’～C-C’)
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山ブロック少量 (径～ 2 ㎝) 斑状に入る。
2　基本南側の層と同じ。A2 層起源のブロック少量含む。

SD11



SD11 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山シルトブロック少量混じる。

SD12

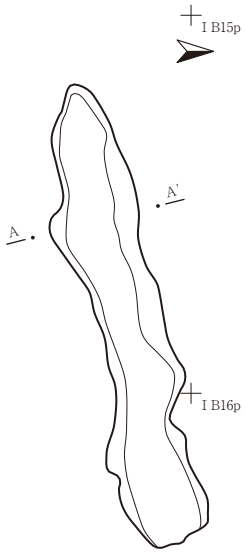


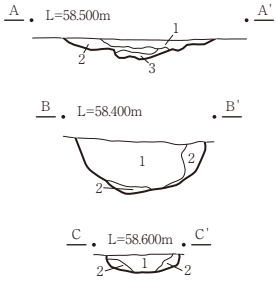
SD12 (A-A’)
1　10YR2/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック微量。
2　黄褐色地山粘土質シルトブロック大量、10YR3/2 黒褐色粘土質シルト少量。しまり・粘性ややあり。

(断面) 0　1：60　2m
(平面) 0　1：100　5m

第210図　SD10～12溝跡

SD13

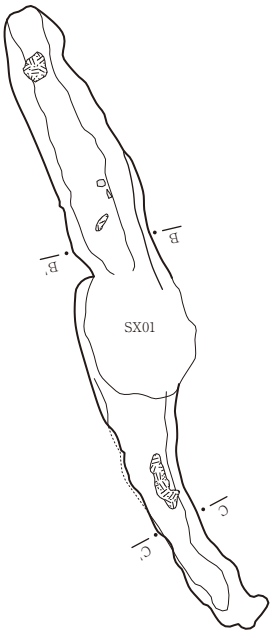




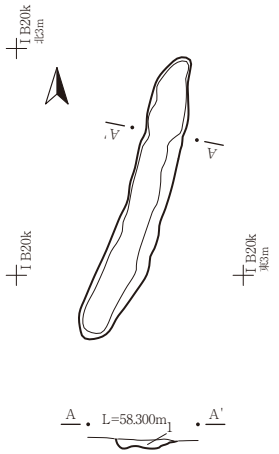
SD13 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック極微量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量 (径 ～ 5 ㎜)、炭化物少量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック微量 (径 ～ 5 ㎜)、炭化物少量 (径 1 ㎜～ 1 ㎝)。
※底面に炭化物散在、3 層には部分的に焼土ブロック入る。底面は起伏あり中心部が細く深くなる。

SD13 (B-B’)
1　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり炭化物 (粒)5 ～ 7%。
2　10YR4/6 褐色　粘土質シルト　しまりあり、粘性ややあり。1 層ブロック 7 ～ 10%。

SD13 (C-C’)
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり (乾燥)、粘性中。炭化物 (粒)3 ～ 5%(径 3 ～ 5 ㎜)。

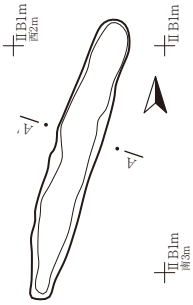


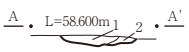
SD14



SD14 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルトしまりややない、粘性なし。黄褐色粘土ブロック 20%、炭化物 5%含む。

SD15



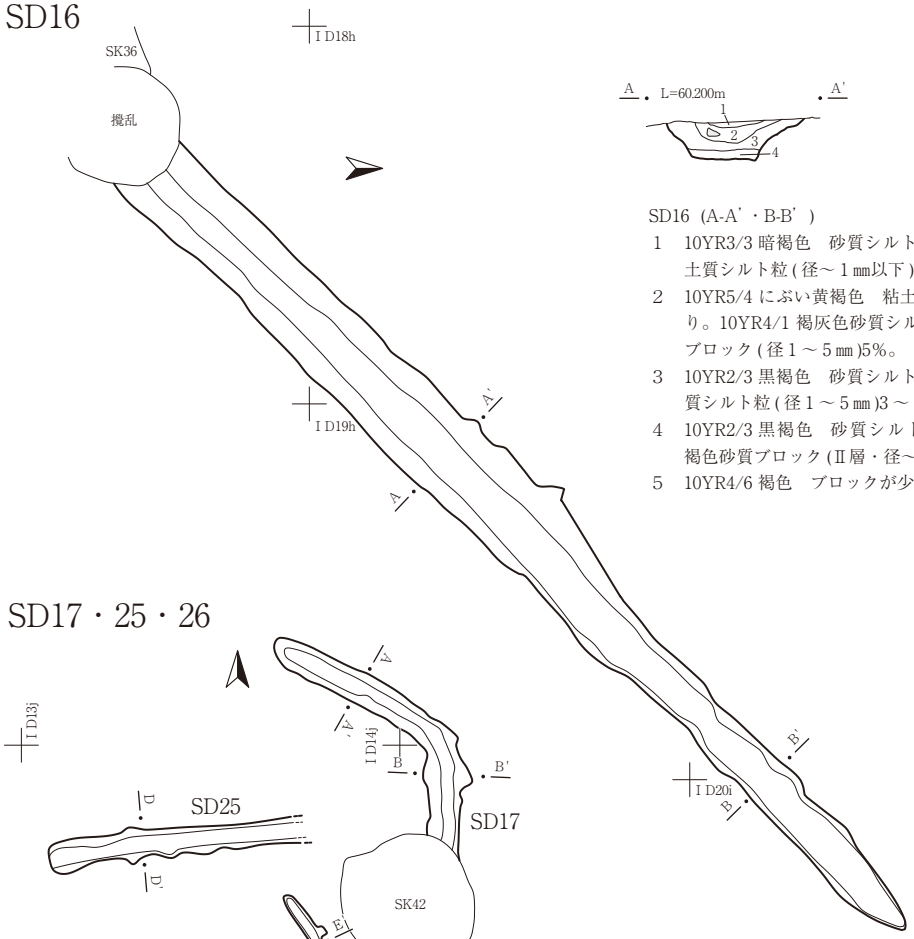


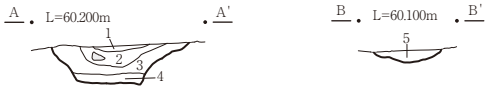
SD15 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルトしまりあり、粘性なし。黄褐色粘土ブロック 10%、炭化物 1%。
2　10YR3/3 暗褐色　シルトしまりあり、粘性ややあり。黄褐色粘土ブロック 40%、炭化物 1%。

(断面) 0　1 : 60　2m
(平面) 0　1 : 100　5m

第211図　SD13～15溝跡

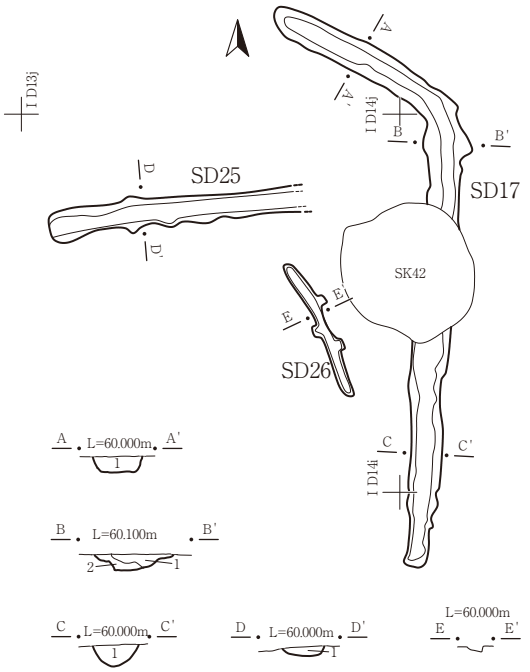
SD16





SD16（A-A'・B-B'）
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。2 層の粘土質シルト粒（径～ 1 ㎜以下）3 ～ 5%。
2　10YR5/4 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/1 褐灰色砂質シルト・5YR4/8 赤褐色砂質シルトブロック（径 1 ～ 5 ㎜）5%。
3　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。2 層の砂質シルト粒（径 1 ～ 5 ㎜）3 ～ 5%。
4　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。10YR4/6 褐色砂質ブロック（Ⅱ層・径～ 5 ㎜）10 ～ 15%。
5　10YR4/6 褐色　ブロックが少ない（3 層か？）。

SD17・25・26



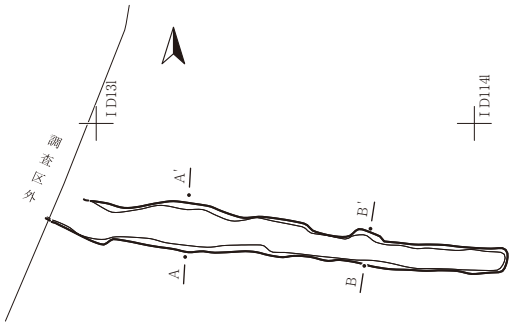
SD17（A-A'）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色シルトブロック（径 1 ～ 5 ㎜）7%。

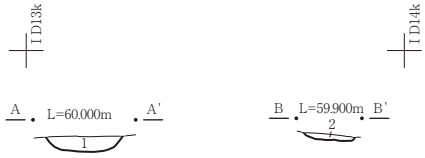
SD17（B-B'）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色シルトブロック（径 1 ～ 5 ㎜）7%、炭化物ブロック（径～ 1 ㎜）1%。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト、10YR5/6 黄褐色シルトブロック（径 5 ～ 10 ㎜）7%。

SD17（C-C'）
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。下半褐色砂 20%。

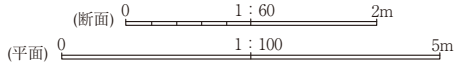
SD25（D-D'）
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。

SD18



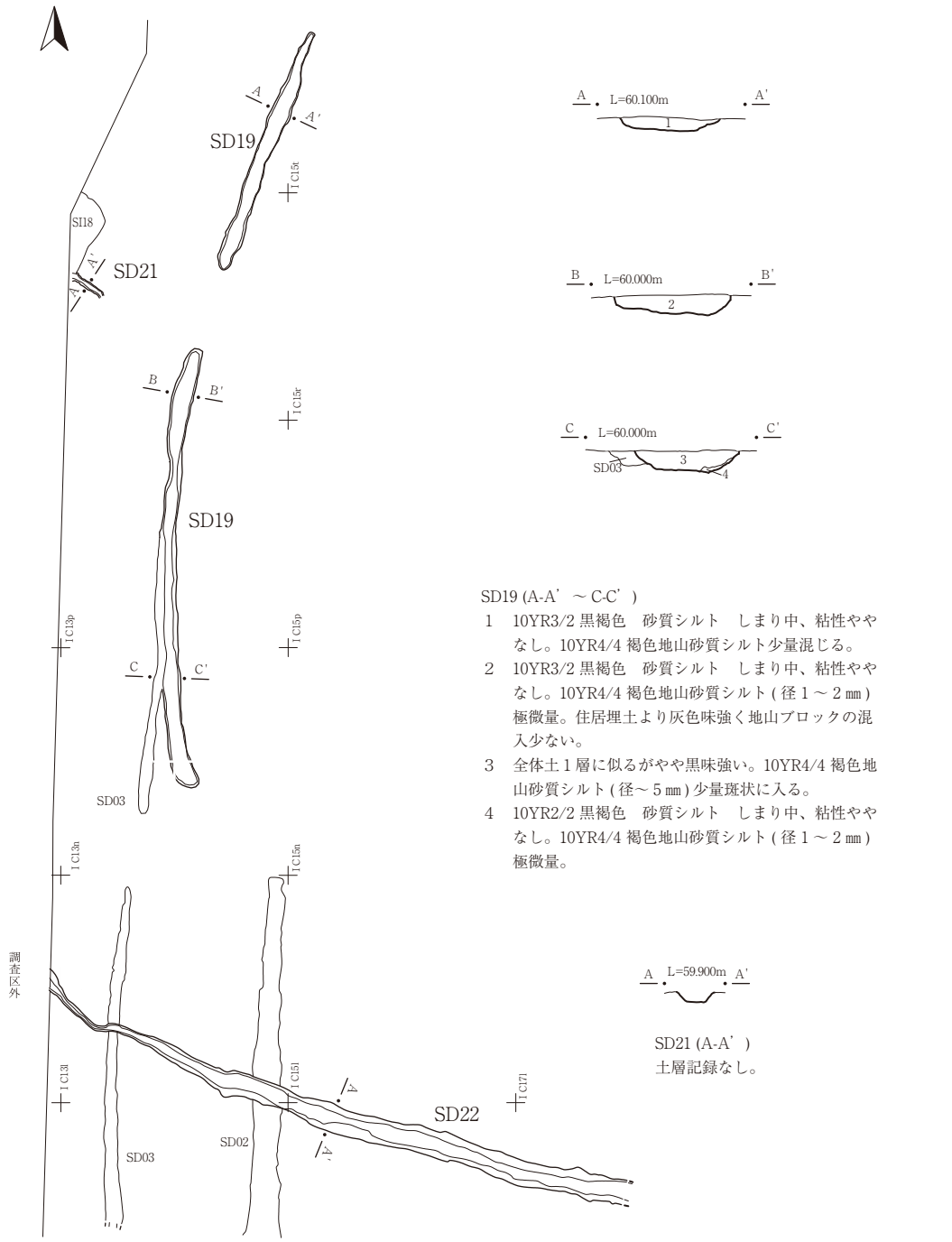


SD18（A-A'・B-B'）
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色砂質シルト　地山ブロック（径～ 1 ㎝）・炭（径～ 1 ㎜）極微量。
2　1 層より 10YR4/4 褐色　砂質シルト　地山ブロック大きく入る、炭は含まない。



第212図　SD16～18･25･26溝跡

SD19・21・22



SD19 (A-A’～C-C’)

1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト少量混じる。

2　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。住居埋土より灰色味強く地山ブロックの混入少ない。

3　全体土 1 層に似るがやや黒味強い。10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径～ 5 ㎜) 少量斑状に入る。

4　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。

SD21 (A-A’)

土層記録なし。

SD22 (A-A’)

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。

2　10YR4/2 灰黄褐色　粘土　しまり中、粘性あり。10YR4/4 褐色粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。上面グライ化。

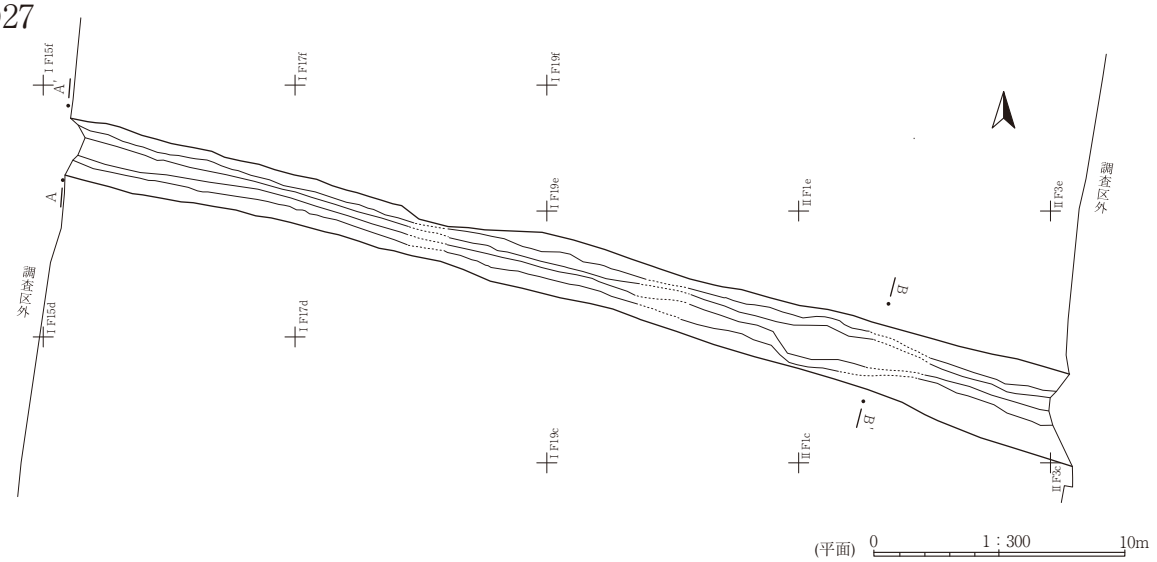
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 30%(全体に混じる)。

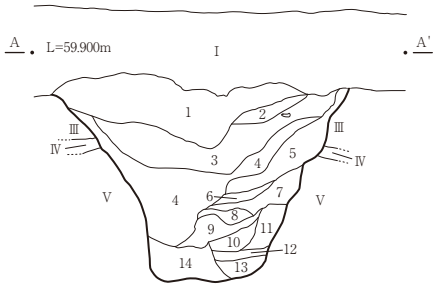
(断面) 0　1：60　2m

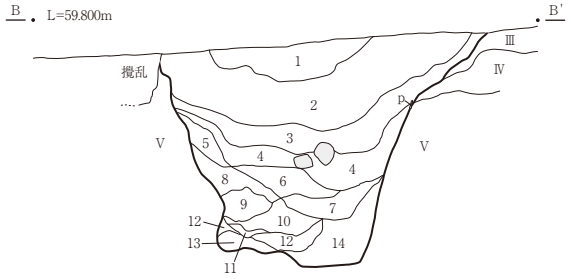
(平面) 0　1：300　10m

第213図　SD19･21･22溝跡

SD27







SD27 (A-A’)

Ⅰ　10YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。小礫 (径 5 ㎝) 微量。10YR8/3 浅橙色 (径 1 ㎜弱) 微量。

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR8/3 浅橙色砂 (径 1 ㎜弱) 微量。３層との層境にグライ化有。

2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性ややなし。10YR3/3 暗褐色土 (３層由来) 斑状に少量。10YR8/3 浅橙色砂 (径 1 ㎜弱) 少量。

3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/4 褐色土斑状微量。中央下面にグライ化有。

4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性中。炭化物粒 (径 3 ㎜) 少量。南側にグライ化有。暗褐色土微量 (5 層由来)。

5　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまり中、粘性ややなし。10YR8/3 浅橙色火山灰 (径 3 ㎜弱) 微量。

6　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまりあり、粘性ややなし。10YR6/4 にぶい黄橙色火山灰ブロック (径 10 ㎝弱) 少量。

7　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性中。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝弱) 微量。※11 層地山土由来。

8　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ～ 3 ㎝)15%。下面にグライ化有。

9　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝強) 少量。

10　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝) 微量。

11　10YR4/4 褐色　粘土　しまり･粘性ややあり。10YR3/4 暗褐色土少量。(7 層由来)

12　10YR3/4 暗褐色　粘土　しまりややなし、粘性あり。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝) 微量。

13　10YR3/4 暗褐色　粘土　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 5 ㎝) 少量。下面にグライ化有。

14　10YR4/4 褐色　粘土　しまりややなし、粘性あり。10YR3/4 暗褐色土ブロック (径 5 ㎝) 微量。

SD27 (B-B’)

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。２層土 (10YR3/3 暗褐色) ブロック 5%。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり､粘性中。小礫 (径 3㎝) 1%。10YR6/6 明黄褐色ブロック (径 20 ㎜)5%。下面グライ化。

3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR6/6 明黄褐色土 (径 1 ㎝)10%。下面グライ化。

4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR6/6 明黄褐色土 (径 1 ㎝)3%。下面グライ化。

5　10YR6/6 明黄褐　砂シルト　しまりややあり、粘性ややなし。４層土 3%。崩落したⅢ層土である。

6　10YR5/6 黄褐色　砂シルト　しまりややあり、粘性ややなし。10YR2/1 黒色土帯状に 10%。

7　2.5Y3/1 黒褐色　砂シルト　しまりあり、粘性ややなし。グライ化した土。

8　2.5Y2/1 黒色　砂シルト　しまり中､粘性ややなし。炭化物粒 (径 1 ㎝)15%。崩落したⅣ層土。

9　10YR4/2 灰黄褐色　砂シルト　しまり中、粘性ややなし。炭化物 (径 1 ㎝)3%。崩落したⅤ層土である。

10　10YR5/8 黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR3/2 黒褐色土 10%。

11　2.5Y2/1 黒色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR5/8 黄褐色土 3%(10 層由来)。

12　10YR4/6 褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。10YR3/1 黒褐色土 10%。

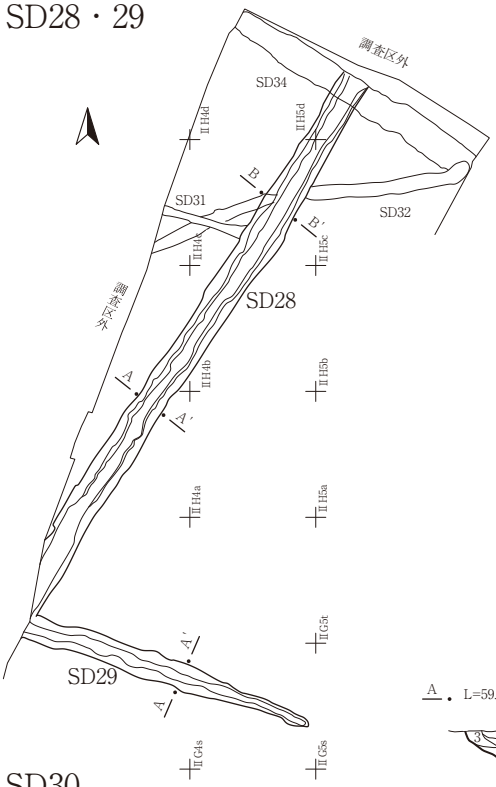
13　10YR5/6 黄褐色　粘土質シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色土 5%。

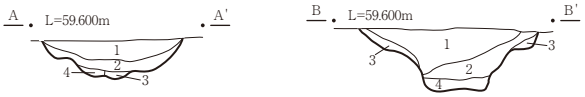
14　10YR5/8 黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性ややあり。混入なし。

(断面) 0 1：60 2m

第214図　SD27溝跡

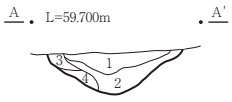
SD28・29





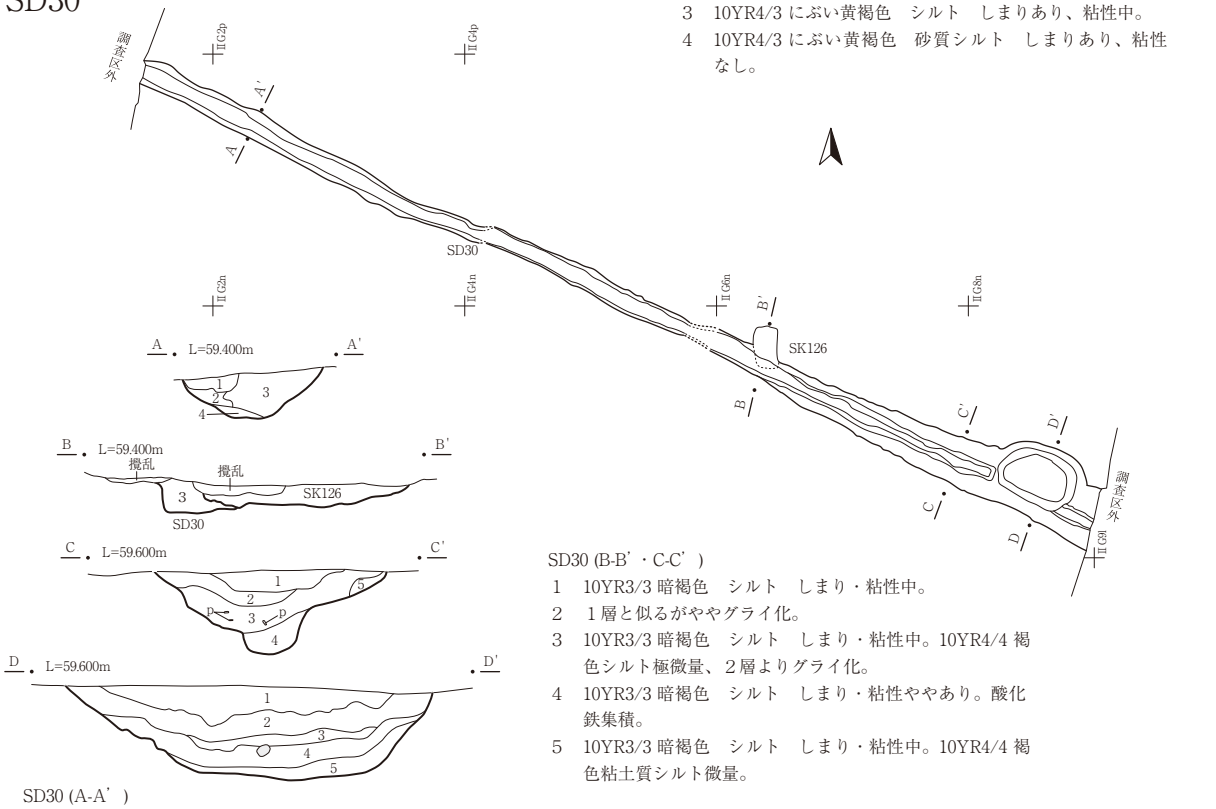
SD28 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト粒 (径 5 ～ 7 ㎜)3 ～ 5%、径 5 ㎜の炭化物粒 1%以下含む。
2　10YR3/3 暗褐色シルト 70%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 30%混合土層。しまりあり、粘性中。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR3/3 暗褐色シルト 10 ～ 15%混合。

SD28 (B-B’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 1 ～ 2%含む。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径 5 ㎜)1%以下含む。
3　10YR3/3 暗褐色シルト 60%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 40%混合。しまりややなし、粘性中。
4　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト 3 ～ 5%含む。



SD29 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭化物粒 (径 2 ～ 3 ㎜)1%含む。10YR8/2 灰白色火山灰？ 2 ～ 3%含む。
2　10YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。

SD30



SD30 (A-A’)
1　10YR4/1 褐灰色　粘土質シルト　しまり・粘性中。酸化鉄多量含む。
2　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性中。酸化鉄多量含む。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/4 褐色土粒 (径 10 ～ 15 ㎜)1 ～ 2%含む。
4　10YR4/4 褐色シルト 40%、10YR3/4 暗褐色シルト 60%混合。しまり中、粘性ややあり。

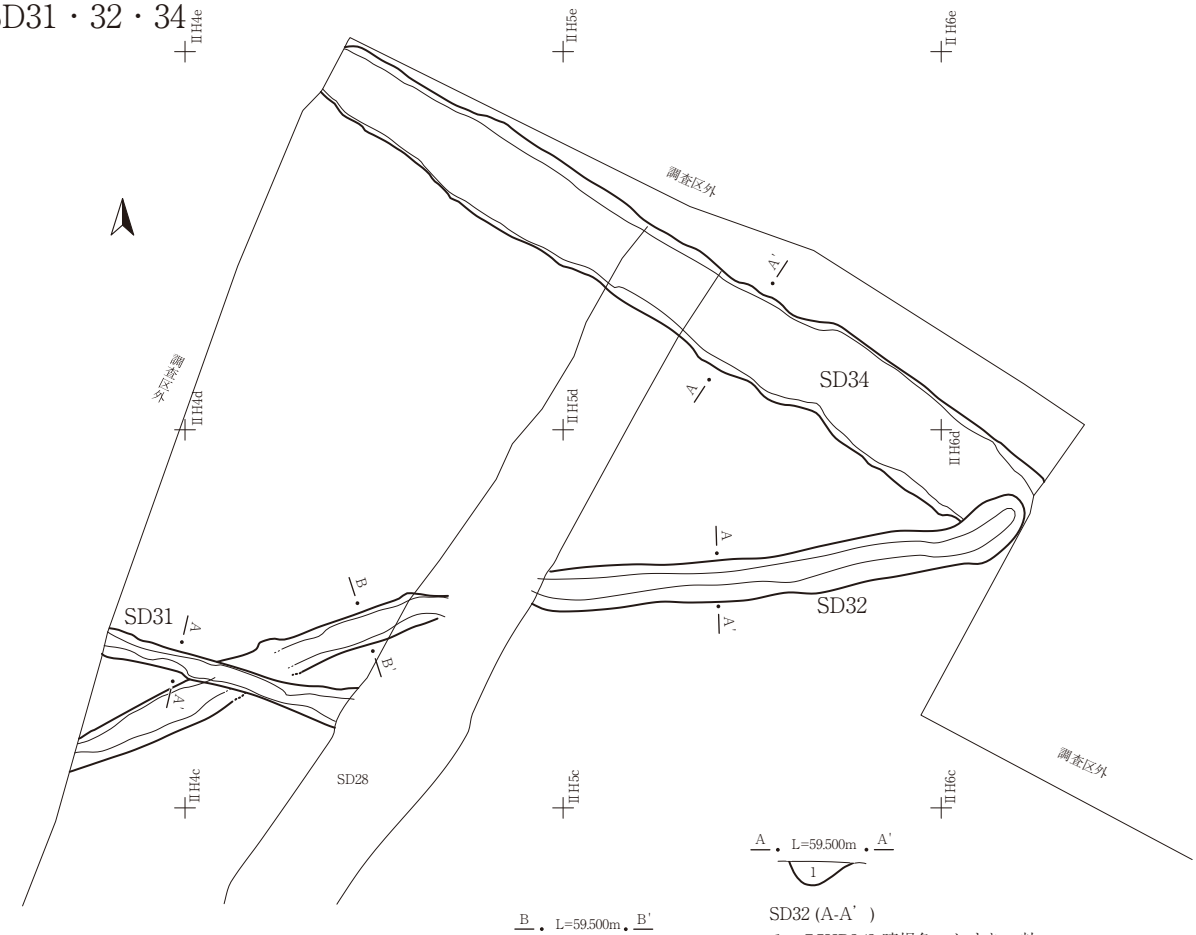
SD30 (B-B’・C-C’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
2　1 層と似るがややグライ化。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色シルト極微量、2 層よりグライ化。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。酸化鉄集積。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト微量。

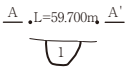
SD30 (D-D’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。グライ化。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。グライ化。
10YR4/4 褐色粘土質シルトこなれて混じり、2 層より明るい。
4　色調は 2 層だが粘性強くなる。
5　4 層より粘性強くグライ化。下面に酸化鉄集積。

(断面) 0　1：60　2m　(平面) 0　1：300　10m

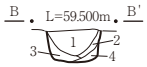
第215図　SD28～30溝跡

SD31・32・34



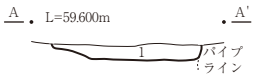


SD31 (A-A')
1　7.5YR3/3 暗褐色
粘性あり。



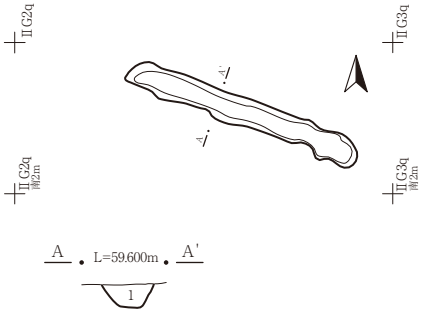
SD32 (B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。5YR5/8 明赤褐色焼土 (径 1 ～ 3 ㎜以下) 極少量混入。
2　10YR4/4 褐色　粘土　しまりややあり、粘性ややなし。1 層土少量混入。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　粘土　しまりややあり、粘性中。
4　10YR4/4 褐色　粘土　しまり・粘性ややあり。5YR5/8 明赤褐色焼土 (径 5 ㎜以下) 極少量混入。

SD32 (A-A')
1　7.5YR3/3 暗褐色　しまり・粘性あり。微量の炭化物含む。



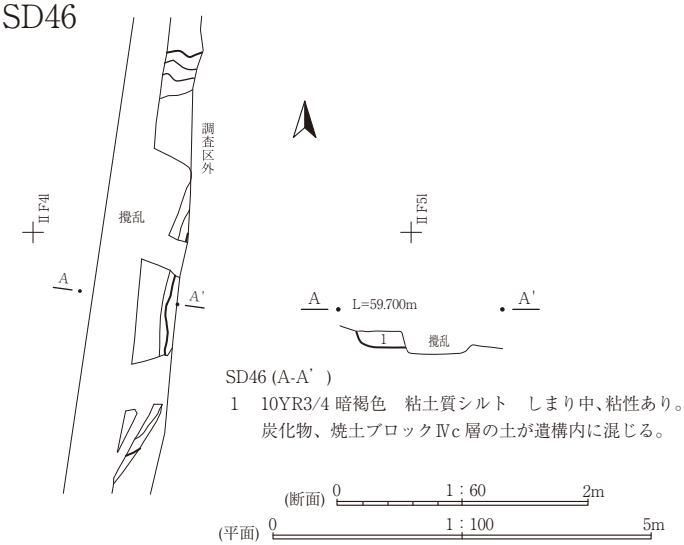
SD34 (A-A')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。

SD33



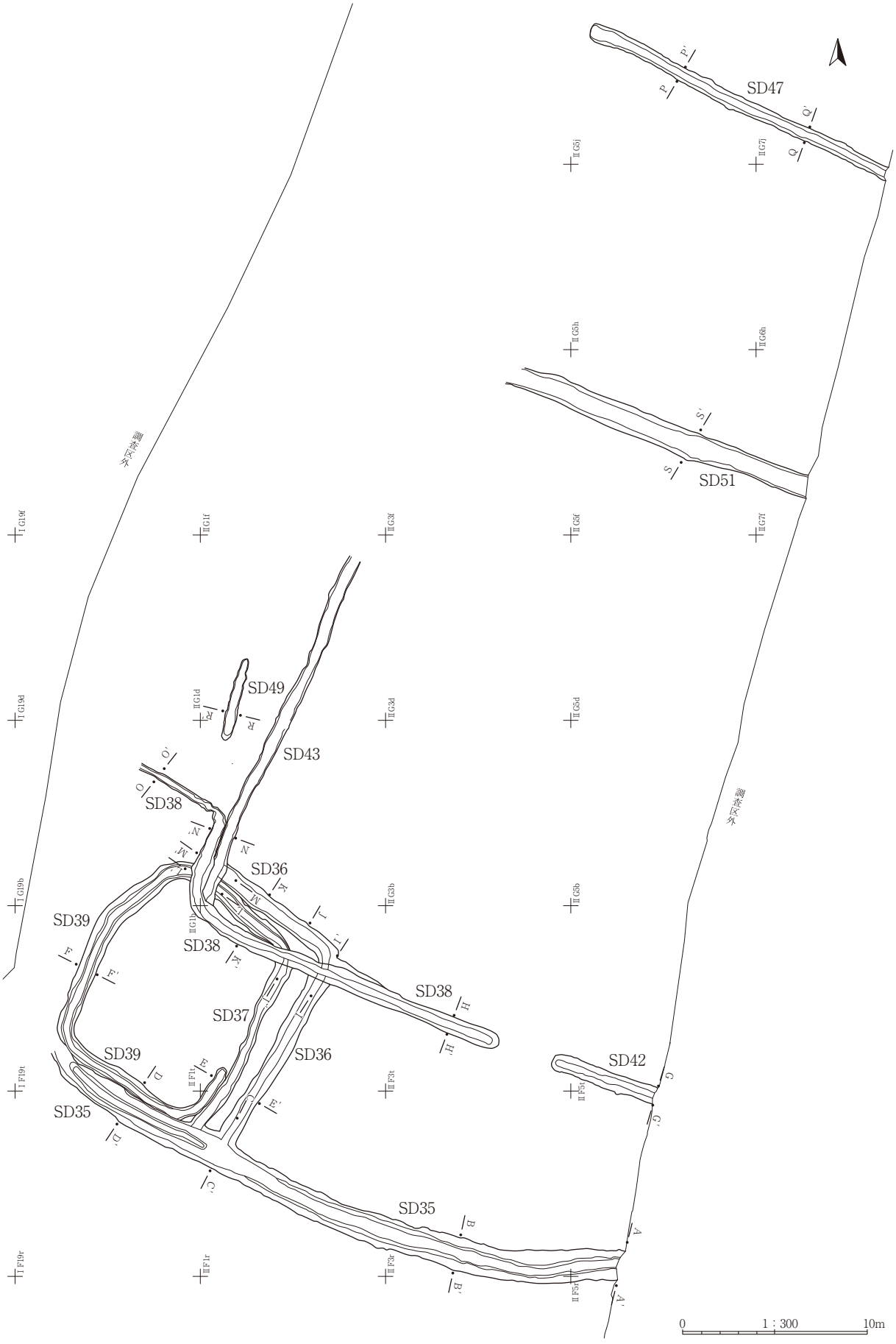
SD33 (A-A')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。5YR5/8 明赤褐色焼土粒 (径 5 ～ 7 ㎜)1%、炭化物粒 (径 5 ～ 10 ㎜)1％含む。

SD46

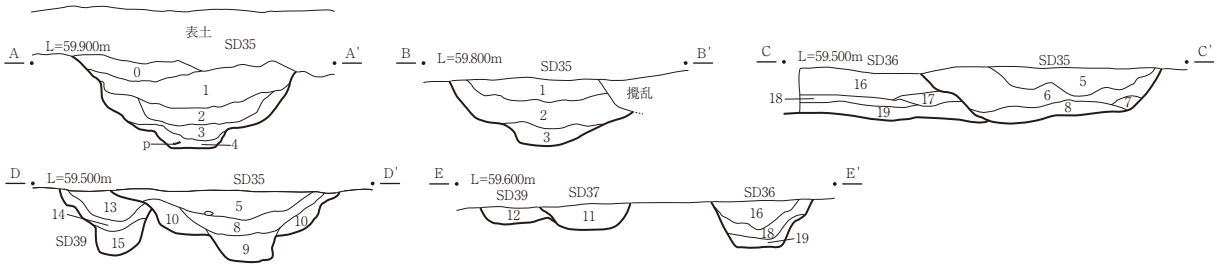


SD46 (A-A')
1　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性あり。炭化物、焼土ブロックⅣc 層の土が遺構内に混じる。

第216図　SD31～34･46溝跡

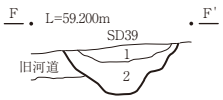


第217図　SD35～39·42·43·47·49·51溝跡（1）



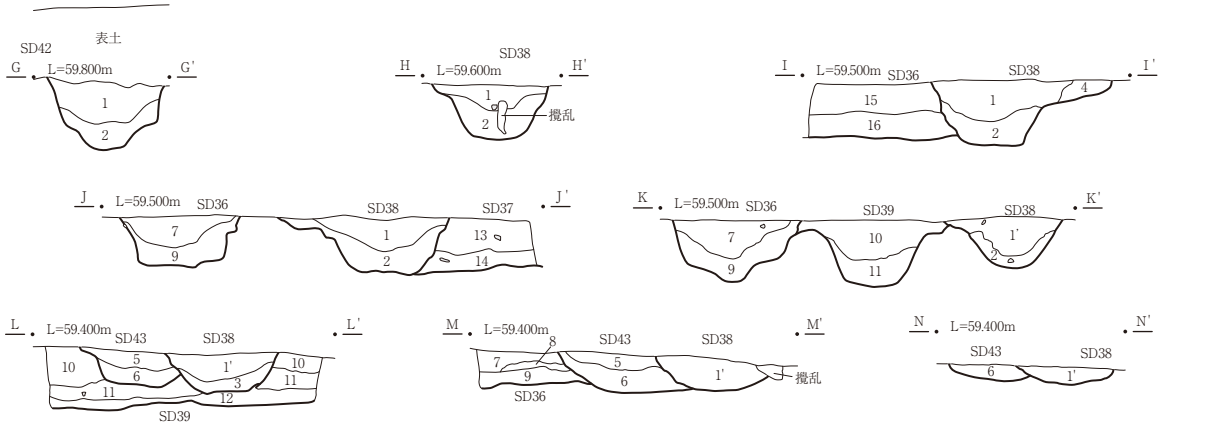
SD35 ～ 37・39 (A-A' ～ E-E')

0　1層に似るがしまり弱く、10YR4/4 褐色土ブロック少ない。
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/3 暗褐色シルト多量、10YR4/4 褐色粘土質シルト、全体に大きく混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土少量、全体に細かく混じる。下面グライ化し酸化鉄集積。
3　グライ化しない2層。やや 10YR4/4 褐色多い。
4　3層より 10YR4/4 褐色多くなる。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 1 ㎝) 微量斑状。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。
7　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。10YR3/3 暗褐色シルト大量。
8　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。グライ化酸化鉄。
9　8層より地山ブロック多く、グライ化も進む。(10 層がグライ化した状態)
10　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径 2 ～ 3 ㎜) 微量細かく斑状。
11　10YR2/3 黒褐色シルト微量、10YR3/3 暗褐色シルト大量、10YR4/4 褐色粘土微量。　しまり・粘性中。
12　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。
13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 3 ㎜) 微量。
14　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 3 ㎜) 微量。
15　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 少量。
16　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。
17　10YR4/4 褐色　砂質シルト層。
18　19 層がグライ化。
19　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 少量斑状。
※1 ～ 10 層 SD35 埋土。11 層 SD37 埋土。12 ～ 15 層 SD39 埋土。16 ～ 19 層 SD36 埋土。



SD39 (F-F')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土極微量。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土極微量。1・2層ともグライ化、酸化鉄集積。

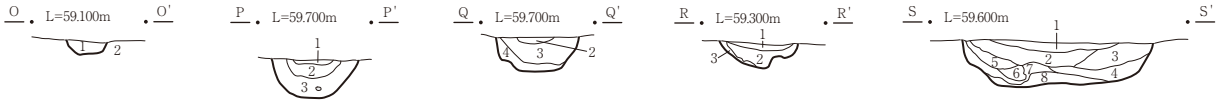


SD36 ～ 39・42・43 (G-G' ～ N-N')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土極微量、全体に細かく混じる。炭極微量。
1'　1層に似るが、やや 10YR4/4 褐色　粘土多く、グライ化する。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 少量、小さく斑状に混じる。ややグライ化。
3　1層に似るが、上面に炭層入る。
4　1層に 10YR4/4 褐色粘土少量。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質)　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土極微量。グライ化し、酸化鉄集積。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質)　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土少量。グライ化し、酸化鉄集積。
7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭極微量。(SD38・39 より明るい)
8　10YR4/4 褐色砂大量に、10YR3/4 暗褐色シルト少量、全体に混じる。
9　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。グライ化酸化鉄集積。10YR4/4 褐色粘土少量斑状に入る。
10　10YR3/3 暗褐色 (やや暗め)　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 2 ㎝) 斑状に少量入る。
11　10YR3/3 暗褐色 (やや暗め)　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 斑状に少量入る。グライ化酸化鉄集積。
12　10YR3/3 暗褐色 (やや暗め)　シルト (やや粘質)　10YR4/4 褐色粘土斑状に入る。11 層よりやや多い。グライ化しない。
13　10 層と似る。
14　11 層と似る。
15　＝E-E' 16 層
16　＝E-E' 19 層
※1～4層　SD 38埋土。5･6層　SD 43埋土。7～9･15･16層　SD 36埋土。10 ～ 12 層　SD 39 埋土。13・14 層　SD37 埋土。

(断面) 0　1 : 60　2m

第218図　SD35～39･42･43･47･49･51溝跡（2）



SD38 (O-O’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　グライ化して酸化鉄集積。
2　10YR2/3 黒褐色（やや 10YR3/3 暗褐色より）　シルト　ややグライ化して酸化鉄集積。

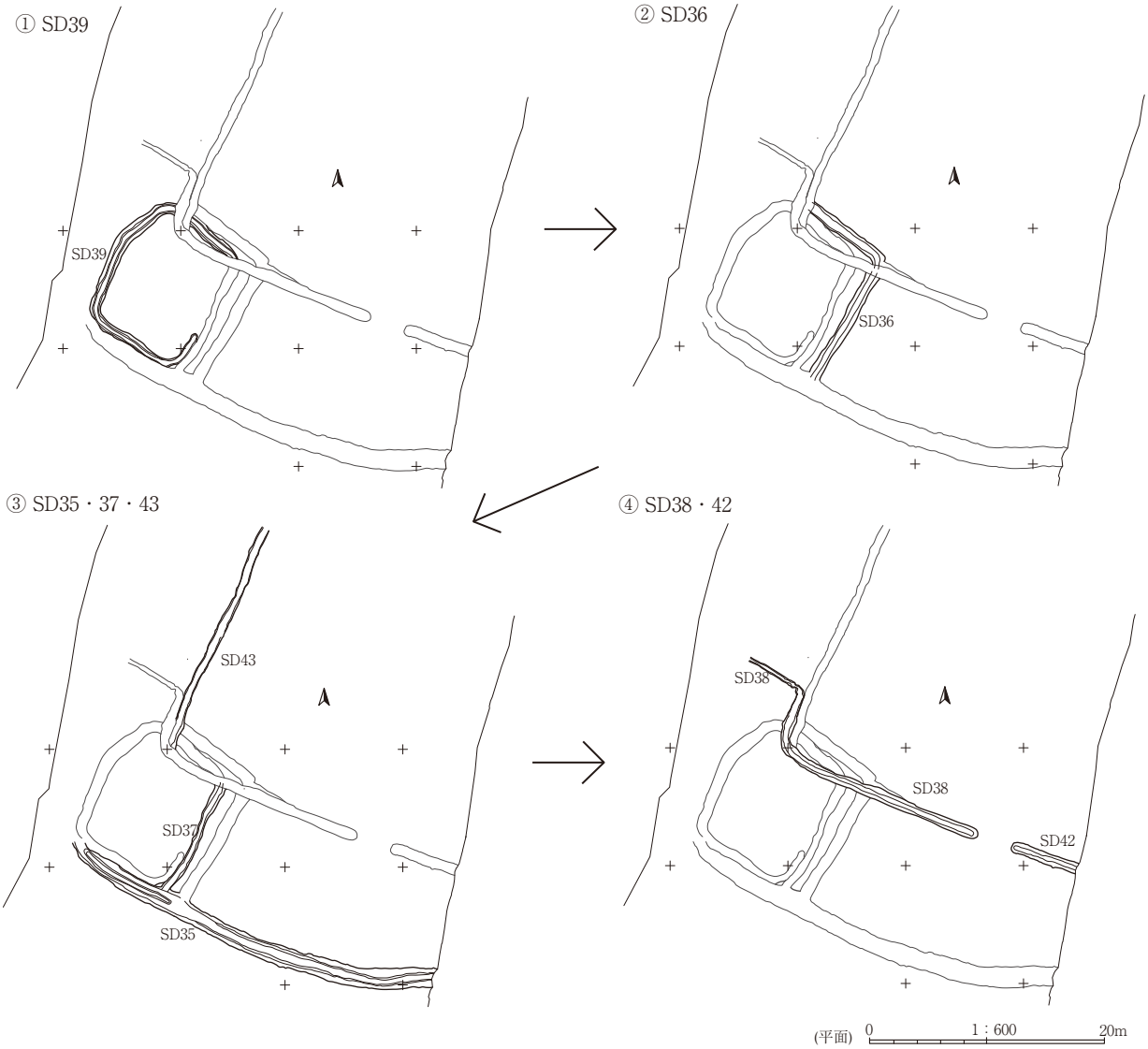
SD47 (P-P’・Q-Q’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～５㎜) 全体に微量細かく斑状に入る。炭極微量。
2　10YR4/4 褐色粘土質シルト大量に 10YR2/3 黒褐色シルト少量こなれて混じる。しまり・粘性ややあり。
3　１層に似るが、10YR4/4 褐色粘土質シルト多い。
4　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト微量細かく斑状に混じる (径５㎜)。
※本来の溝埋土は１～３層。４層の重複住居からの崩落土か？

SD49 (R-R’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。
2　7.5YR4/2 灰褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。炭化物 (径３㎜) 極少量混入。
3　10YR5/4 にぶい黄褐色　しまり中、粘性ややあり。

SD51 (S-S’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。5YR5/3 にぶい黄褐色シルト７～ 10%混入。
2　10YR4/1 褐灰色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややなし。10YR6/3 にぶい黄橙色シルト 2%含む。
3　10YR4/4 褐色粘土質シルト 70%、10YR4/1 褐灰色砂質シルト 30%混合。しまり・粘性中。
4　10YR4/1 褐灰色砂質シルト 80%、10YR4/4 褐色粘土質シルト 20%混合。しまりややあり、粘性ややなし。
5　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり中、粘性なし。5 YR5/3 にぶい黄褐色シルト１～ 2%含む。
6　10YR5/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。
7　10YR5/3 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性中。
8　10YR4/1 褐灰色　シルト　やや砂質　しまり・粘性中。

(断面) 0　1：60　2m

溝群変遷推定



(平面) 0　1：600　20m

第219図　SD35～39・42・43・47・49・51溝跡（３）

（10）畝間状遺構（ＵＭ）

調査区北半のＥ区からＦ区２次調査区で合計14箇所を検出した。いずれも畠の畝間と考えられる溝が複数条並列した状態である。一定間隔で溝が並列する一群を一単位として、名称は番号＋アルファベット大文字のＵＭを組み合わせて登録した。個々の溝はアルファベット小文字のｕｍ＋番号で区別している。

堆積土は周辺のＶ層よりやや暗色の黒褐色～暗褐色シルト層が主体である。明瞭に検出された畝間溝に直交するトレンチを設定し分布範囲の把握につとめたが、差異がわずかしかない溝も含まれており、検出漏れが多数あり得るものと推測される。14UMでは堆積土上部に十和田ａ降下火山灰と考えられる灰白色のテフラブロックが検出された。

畝間溝の方向は東西方向基調となるもの（1･２･３･５･10･14UM）、南北方向基調となるもの（４･７･８・９・11UM）、北西～南東方向基調となるもの（６・16・17UM）の３種が見られる。５・６UMの重複関係により、これらが時期差によって異なっていた可能性が含まれる。

年代については、竪穴住居より古い畝間状遺構があること、堆積土に含まれるテフラブロックといった点から、大部分は奈良～平安時代に属するものと判断される。ただし、１UMのum1では常滑産陶器（c24）が出土しているが、柱穴群が多く重複している範囲にあたり、これに気が付かず掘り下げてしまった可能性がある。遺構の性格としては命名した通り畠の畝間を想定していたが、自然科学分析ではその根拠となる結果は得られていない。

（11）柱穴状土坑（Ｐ）

竪穴住居跡や住居状遺構、土坑等の遺構に伴わない柱穴状土坑を一括した。Ｐ１からP2018まで、途中欠番も生じており合計1844基の検出である。同様の柱穴状土坑で検出時に掘立柱建物跡を構成することが把握できた５棟（SB01～05）については、SB○○pit1～と遺構ごとに番号を付し、調査後に掘立柱建物跡の柱穴と認識できたものは、Ｐ○○という命名をそのまま使用している（SB07～10）。

分布状況はＡ区～Ｂ区南側にかけては落ち込み内に多く、Ｂ区北～Ｄ区にかけては、十数基程度のまとまりが散在する。Ｅ区は南端が西側に多く、SD38～30溝跡付近では調査区全体で検出されている。

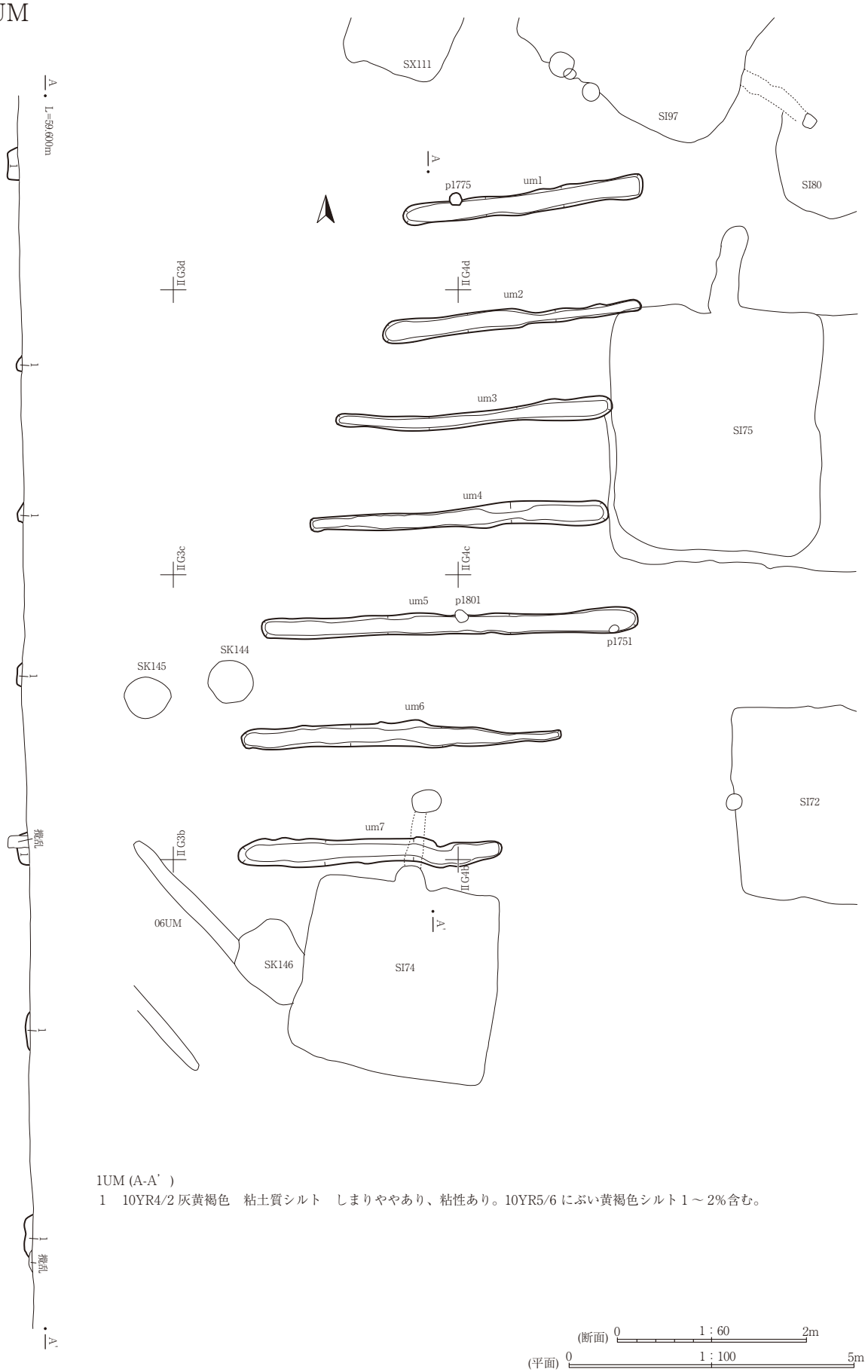
これらの柱穴状土坑は縄文～弥生時代、古代、中・近世以降と様々な時代の遺構を含んでいると考えられるが、出土遺物が少ないことも加わり、堆積土の土質などで時期区分をするのは困難であった。大多数は時代不明とせざるを得ない。

ただしその中でも、Ｅ区のSD38～30溝跡周辺に分布する柱穴群については、古代の竪穴住居跡よりも新しく、また庇を有する建物をはじめとする掘立柱建物跡群を構成しており、周囲の溝跡や土坑出土遺物からの類推により12世紀後半頃の年代が推定される。また、Ｄ区南端に位置するSI65に重複するP1602とP1603では、P1603内よりほぼ完形の土師器坏が出土する（b1263）。坏は柱穴内中位まで埋没した状態の上に正位で出土した。土器内部には焼土が入れられた状態である。何らかの意図をもって埋納された可能性がある。

（12）遺　物　集　中（ＳＵ）

明瞭な掘り込みを伴わないものの、周囲と比較して明らかに一定範囲に遺物、礫が集中していると捉えられる地点が主にＢ・Ｃ区で複数認められた。形成過程には以下の３種が想定されるが、ここでは一括して「遺物集中」として取り扱っている。

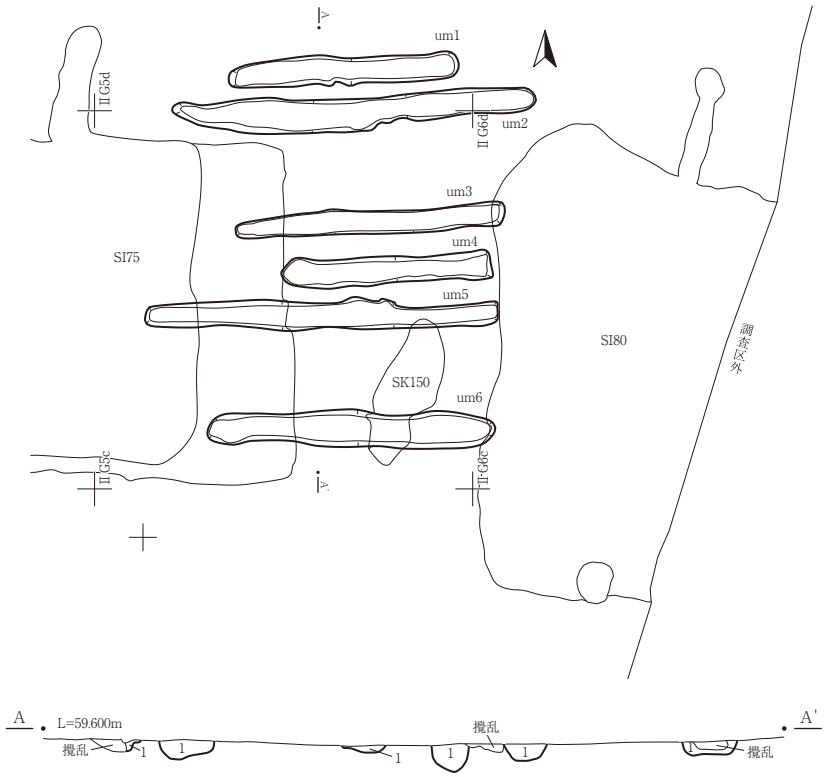
1UM



1UM (A-A’)
1　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。10YR5/6 にぶい黄褐色シルト 1 ～ 2%含む。

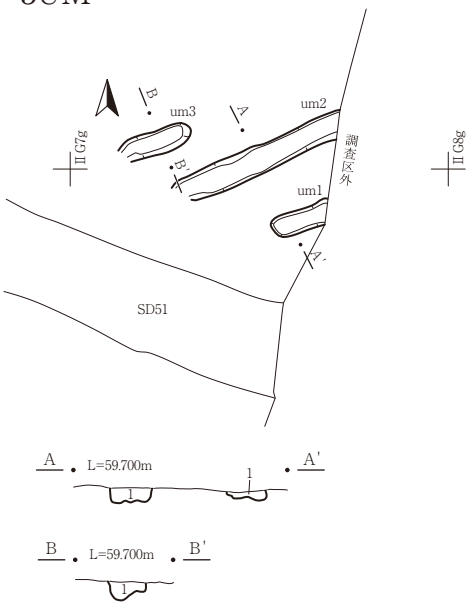
第220図　1UM畝間状遺構

2UM



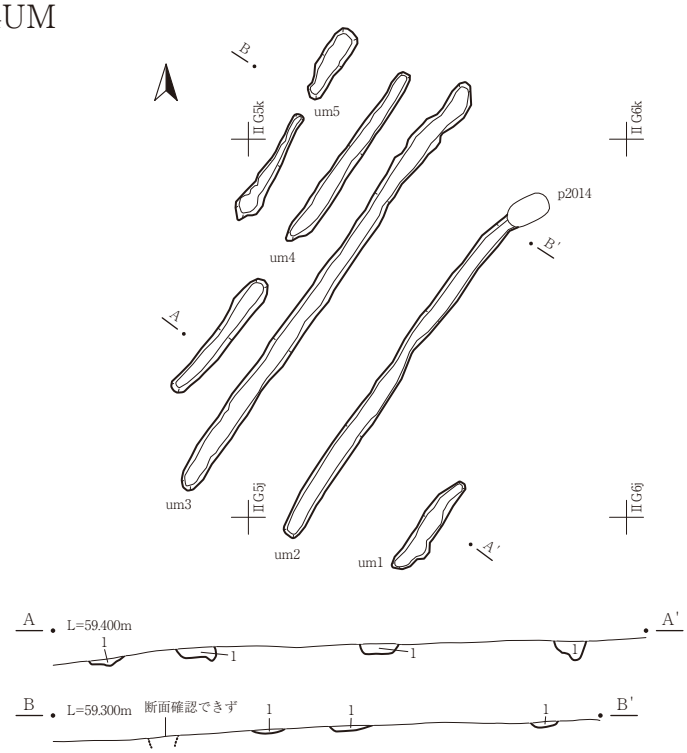
2UM (A-A’)
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土　しまり中、粘性ややあり。

3UM



3 UM (A-A’・B-B’)
1　7.5YR3/2 黒褐色　粘土質シルト
　　しまり・粘性中。炭化物含む。

4UM

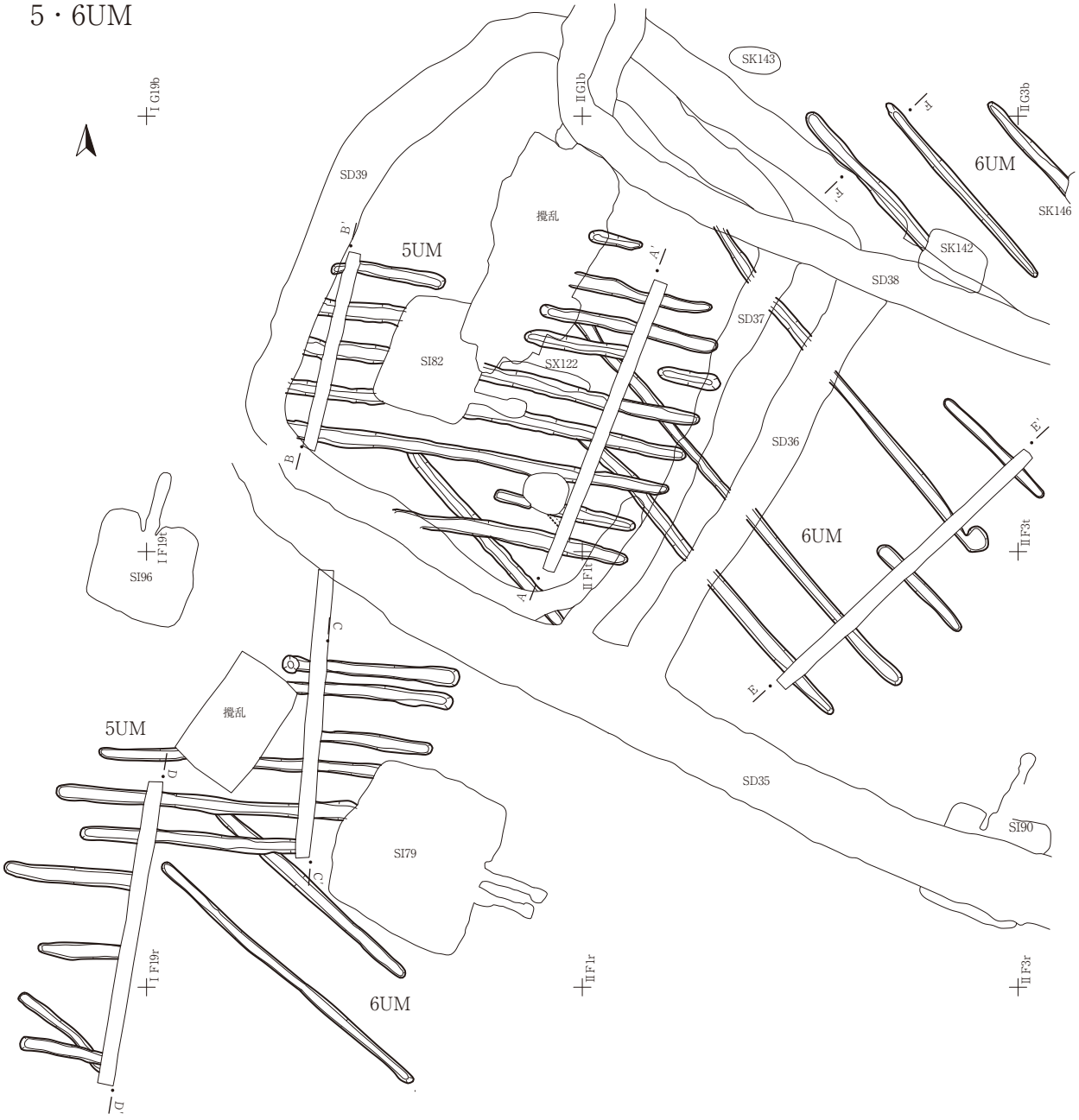


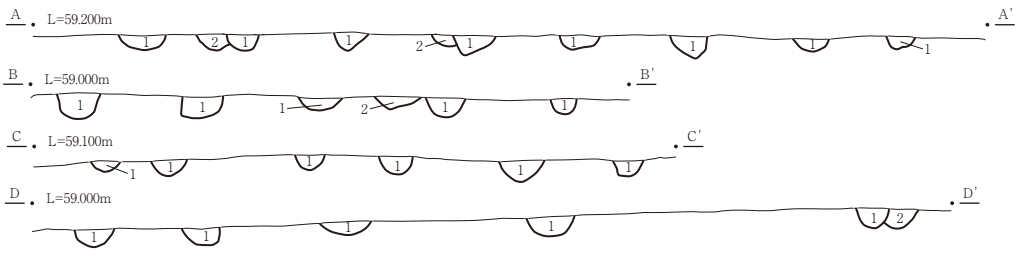
4 UM (A-A’・B-B’)
1　10YR2/3 黒褐色シルト少量、10YR4/4 褐色粘土大量、全体に混じり、基本層序
　　よりやや汚れる程度。

(断面) 0　1：60　2m
(平面) 0　1：100　5m

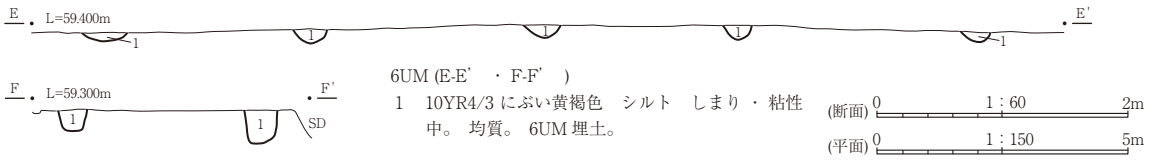
第221図　2～4UM畝間状遺構

5・6UM





5・6UM (A-A' ～ D-D')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。 均質。 混入物少。 (5UM 埋土)
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。 均質。 1 層よりやや明色。 (6UM 埋土)

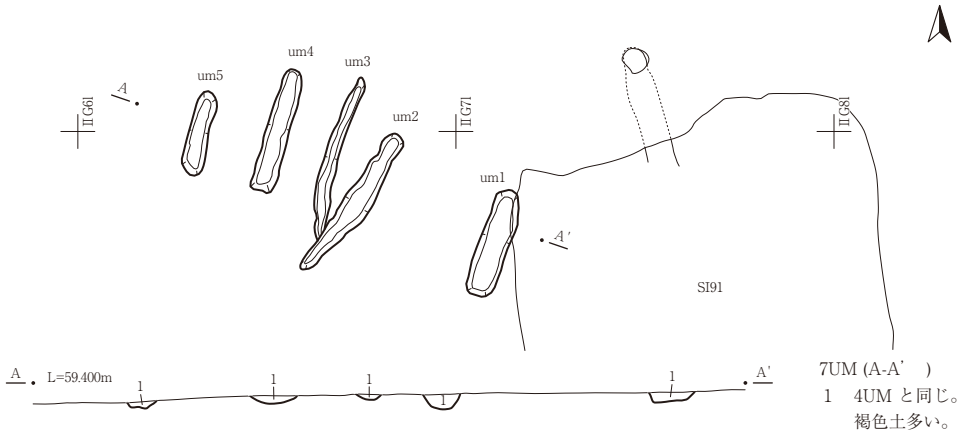


6UM (E-E' ・ F-F')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。 均質。 6UM 埋土。

(断面) 0　1：60　2m
(平面) 0　1：150　5m

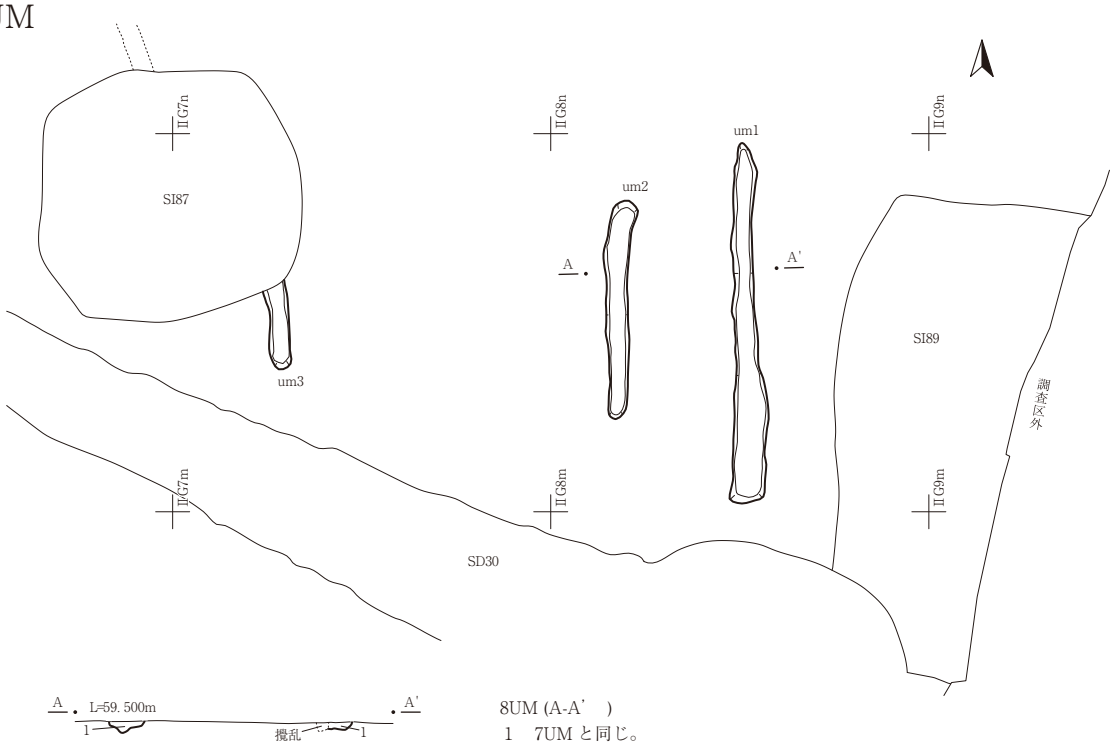
第222図　5･6UM畝間状遺構

7UM



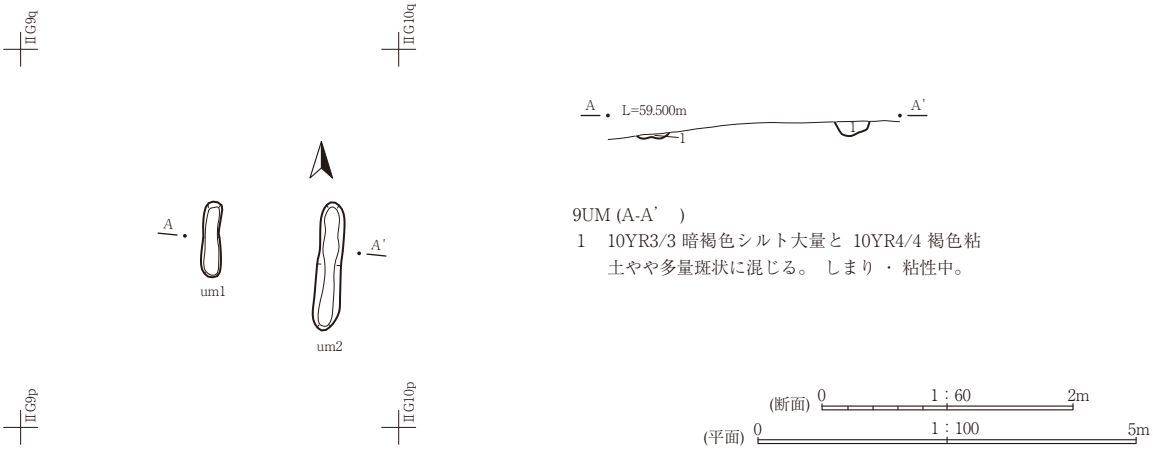
7UM (A-A’　)
1　4UM と同じ。 やや 10YR3/3 暗褐色土多い。

8UM



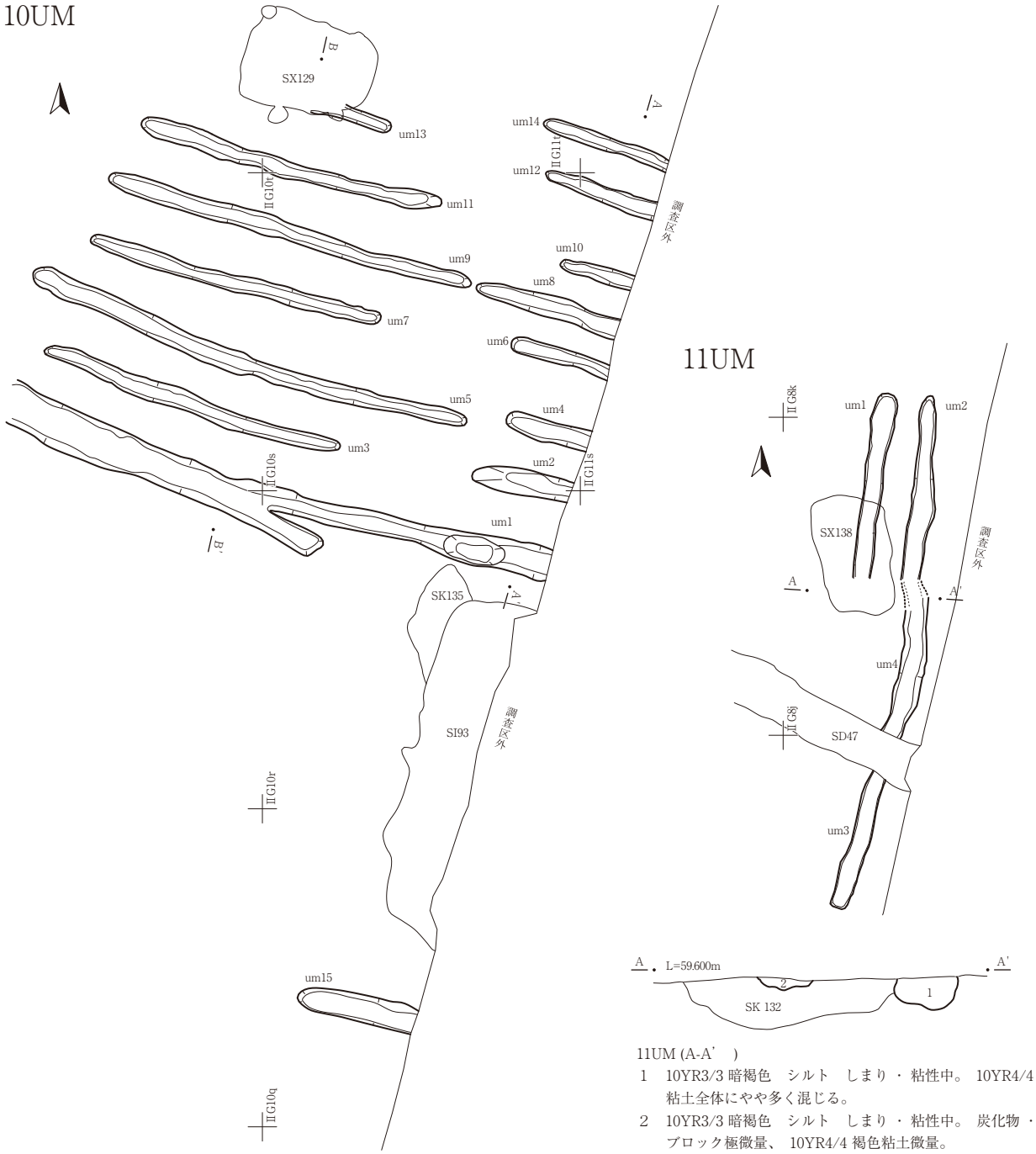
8UM (A-A’　)
1　7UM と同じ。

9UM



9UM (A-A’　)
1　10YR3/3 暗褐色シルト大量と 10YR4/4 褐色粘土やや多量斑状に混じる。 しまり ・ 粘性中。

第223図　7～9UM畝間状遺構

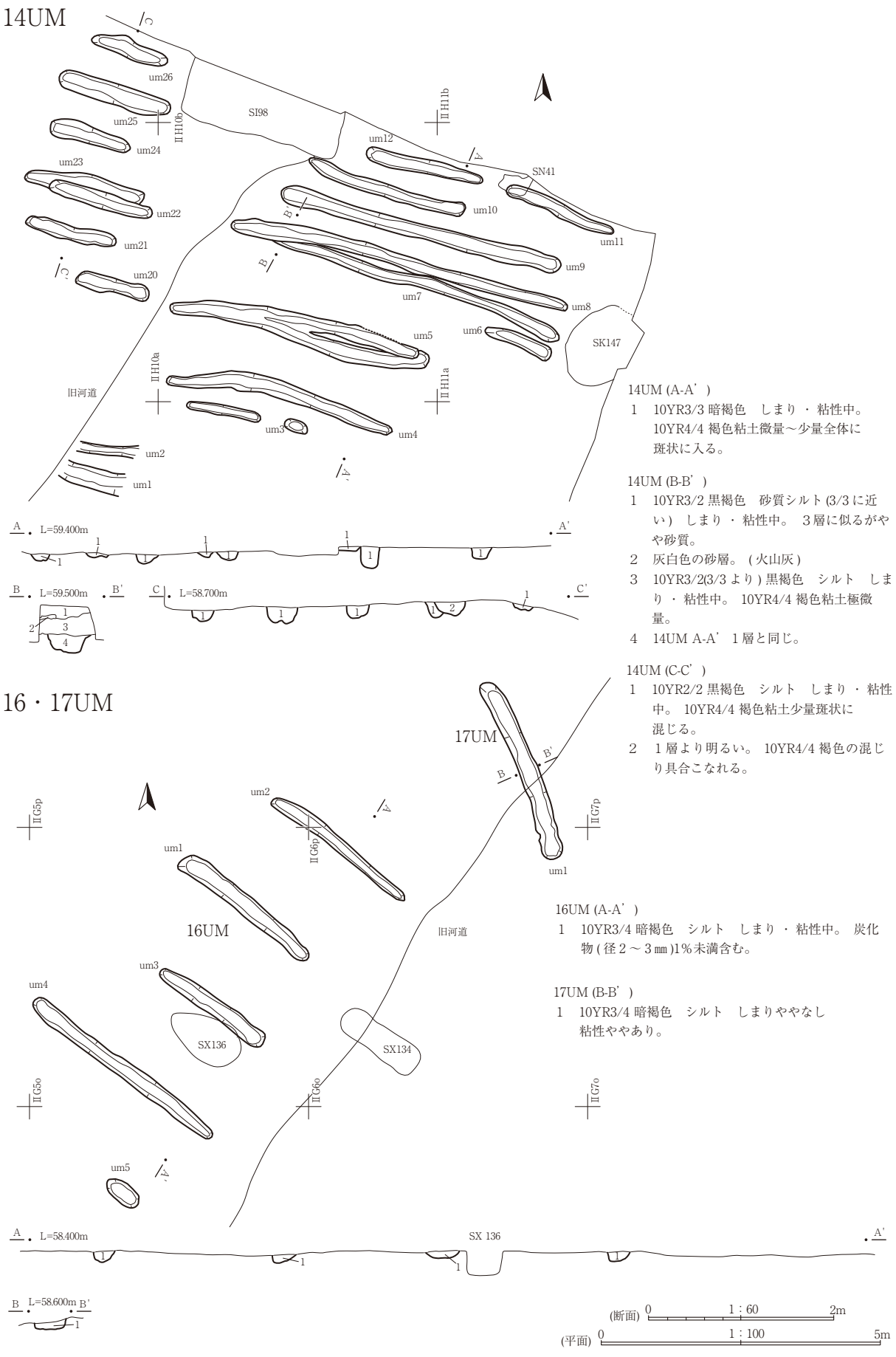


11UM (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり ・ 粘性中。 10YR4/4 褐色粘土全体にやや多く混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり ・ 粘性中。 炭化物 ・ 焼土ブロック極微量、 10YR4/4 褐色粘土微量。

10UM (A-A’ ・ B-B’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり ・ 粘性中。 10YR4/4 褐色粘土質シルト多量斑状に混じる。
2　1 層より、 10YR4/4 褐色粘土多くなる。

(断面) 0　1 : 60　2m
(平面) 0　1 : 100　5m

第224図　10·11UM畝間状遺構



14UM (A-A')
1　10YR3/3 暗褐色　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量～少量全体に斑状に入る。

14UM (B-B')
1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト (3/3 に近い)　しまり・粘性中。 3層に似るがやや砂質。
2　灰白色の砂層。 (火山灰)
3　10YR3/2(3/3 より) 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。 10YR4/4 褐色粘土極微量。
4　14UM A-A' 1層と同じ。

14UM (C-C')
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。 10YR4/4 褐色粘土少量斑状に混じる。
2　1層より明るい。 10YR4/4 褐色の混じり具合こなれる。

16UM (A-A')
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。 炭化物 (径２～３㎜)1％未満含む。

17UM (B-B')
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし　粘性ややあり。

第225図　14･16･17UM畝間状遺構

①：意図的な遺棄・廃棄が行われた状況、または石器製作等の作業状況を残す遺構
（SU01・02・04・09・10）
②：人為的な形成が想定され完形土器等が出土するが、風倒木等後世の影響により不明瞭なもの
（SU06・07）
③：窪地に遺物や礫が偶然集中した状況等、自然現象による可能性が高いもの
（SU03・05・08）
年代はほぼ縄文時代晩期末～弥生時代前期に限定されると考えられる。以下、個別に記載する。

ＳＵ０１遺物集中（第226図　写真図版177）
検出状況　SN07・08の焼土被熱深度確認用にトレンチを入れたところ、黒褐色の層があり遺物が多数出土したことから、下位に遺構が存在する可能性を考えベルトに沿うトレンチを設定した。トレンチ内では遺物が出土するものの遺構の有無は把握できなかったたため、面的に周囲を下げたところ、一定範囲での遺物・炭化物の集中状態を検出した。**形状・堆積状況・遺物出土状況**　４層中に遺物が多く包含される。基本土層の黒褐色土よりも暗色で炭化物の混入量が多い。平面範囲は不整形で、断面形は浅く窪む程度である。Ⅳ層形成中にできた窪地（５～６層上面）に本遺構が形成され、再びⅣ層が堆積（３層より上位）したようである。遺物は周囲の基本土層内にも含まれるが、当該地点の４層中に明らかに多く、かつ４層中位から上面にかけて顕著である。完形の土器等は少ないが、小型の土器（a85･90･93）、土版（d38）や土玉（d46）が含まれており、意図的に投棄されたものと判断している。（遺物図版8･9･132･136･142　写真図版185･186･280･281）

ＳＵ０２遺物集中（第227図　写真図版177）
検出状況　Ｂ区Ⅲ層上面において黒色土と遺物分布の広がりとして検出した。**立地**　調査区東端の自然堤防西縁から西側の旧河道にかけて南西方向に下る緩い斜面に立地する。**形状**　掘り込みは伴わず平坦面に遺物が集中的に分布する状況である。遺物分布は北東―南西方向に長軸を持つ。集中区は２箇所あり、それぞれ約9.3×4.9m、2.1×1.2mの規模である。**層相**　包含層の主体は黒色砂質シルトで炭化物を含み、遺物とともに人為堆積によって形成されたものと見られる。**遺物出土状況**　高坏など破損しやすい器種でも完形に近いものが含まれることから、単純な廃棄とは異なり黒色土と一括の意図的な廃棄（遺棄）行為によるものと考えられる。出土遺物の総量は、縄文･弥生土器40,335ｇ、石器･石製品42点、炭化種子（トチノキ）等である。このうち土器a103～ a141、石器e2･36を掲載している。（遺物図版9～14･136･141、写真図版187～191）

ＳＵ０３遺物集中（第228図　写真図版178）
検出状況　Ⅲ層上面で古代遺構の検出作業中に、遺物が集中するⅡ層黒褐色土が広がる範囲を検出した。**形状**　本遺構は掘り込みを伴わない。遺物分布範囲は南北方向に長く全体では15.4×4.7mの規模である。本遺構固有の堆積土は確認されず、Ⅱ層が厚くなる部分と捉えられる。遺物は全てⅡ層中に包含されている。**遺物出土状況**　縄文･弥生土器4,319ｇ、土偶頭部（d25）、石器22点が出土した。（遺物図版14･130･136･143　写真図版191･280）

ＳＵ０４遺物集中（第229図　写真図版178）
検出状況　Ⅲ層上面で検出した。**立地**　調査区東端の自然堤防西縁に立地し、南西側は急激に落ち込

む。**形状**　隅丸台形状の落ち込み内に遺物が分布する。ただしこの落ち込みは人為的な掘削とは考えにくく、自然地形の窪地であろうと推測される。**堆積土**　遺物は窪地底部に堆積した黒褐色シルト層に包含されている。砂ブロックや炭化物を含んでおり、同層は人為堆積の可能性が高い。**遺物出土状況**　縄文・弥生土器3,852ｇ、石器30点が出土した。（遺物図版14･136･139･140　写真図版191）

ＳＵ０５遺物集中（第229図　写真図版178）
検出状況　Ⅲ層上面で検出した。**形状**　枝状に伸びる不整形の掘り込みである。**堆積土**　炭化物粒やブロック状の撹拌土を多く含む。**遺物出土状況**　堆積土中から古代土器11ｇ、縄文土器715ｇ、石器25点が出土した。a145を掲載した。また､堆積土下位からは炭化したクヌギの子葉が検出されている。**小結**　形状が極端に不整形であるため、明確な遺構とは断定し難い。木根等の攪乱に上層の遺物が巻き込まれて、見かけ上の遺物集中となっている可能性もあり得る。（遺物図版15　写真図版191）

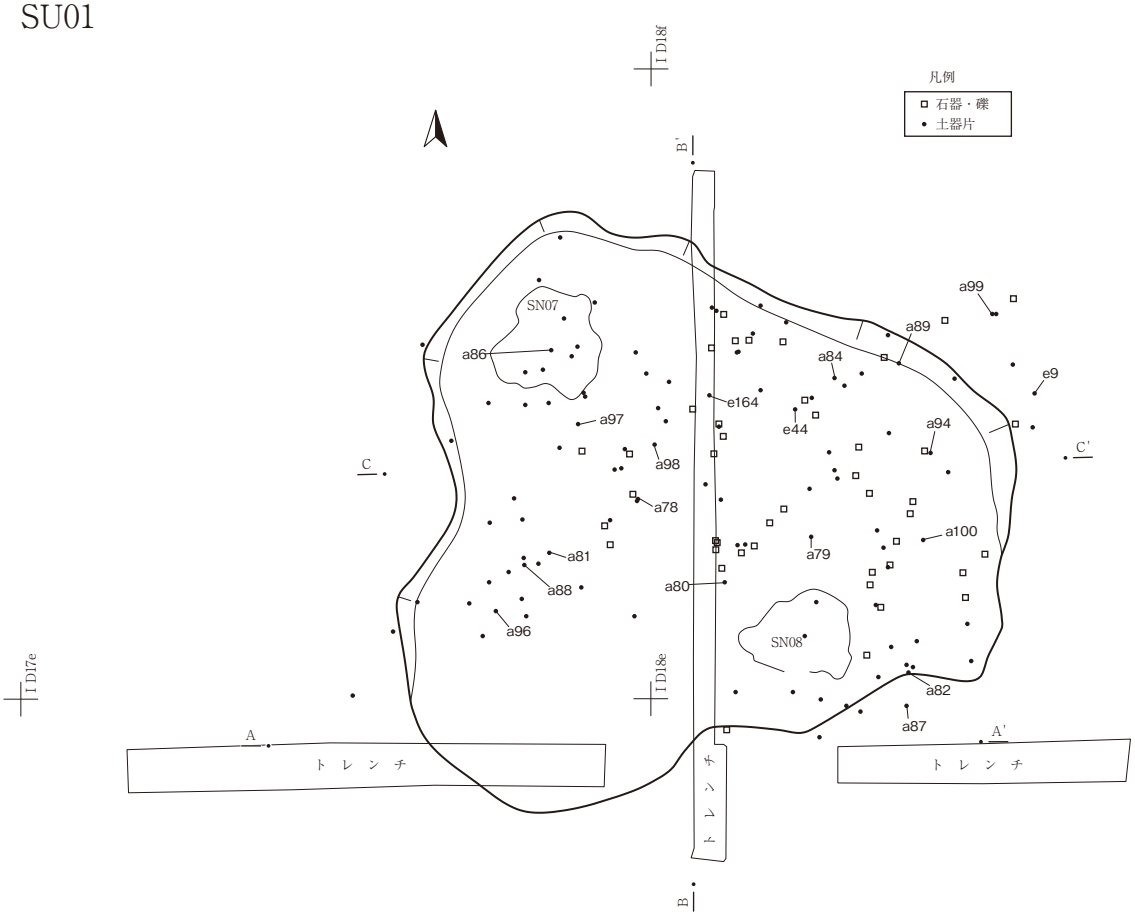
ＳＵ０８遺物集中（第230図　写真図版179）
検出状況　旧河道内の掘り下げ過程で、石器を包含する落ち込みとして確認した。**堆積土**　暗褐色砂質シルト主体で、焼土粒が混在する。人為堆積の可能性が高いと判断される。**遺物出土状況**　堆積土中から赤色頁岩製の剥片が11点出土した｡小範囲に集中する状態であり接する状態のものが見られる。１組の接合資料が含まれる（e16～21・e23)。**小結**　出土石器は同一母岩の表皮除去等、一次剥離作業による剥片であると判断され、小径の浅い土坑を利用して一括埋納された可能性がある。（遺物図版137･138　写真図版284･285）

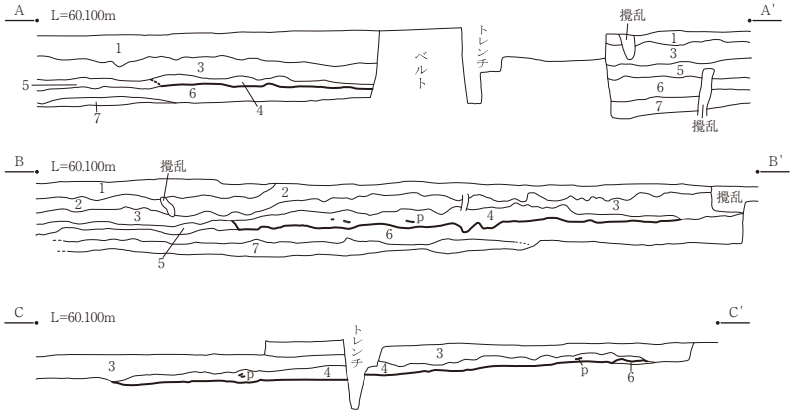
ＳＵ１０遺物集中（検出状態図・写真記録欠落）
検出状況　ＩＥ16sグリッドのⅣ層包含層を掘り下げている過程で、黒色土Ⅳ層中に多量の剥片が集中している状態を確認した。この地点はⅣａ～ｃ層の細分層が不明瞭で、精査はⅣ層を一括して行った。**形状**　範囲は明確には把握していないが径約１ｍ程度と捉えられる｡下位のⅤ層褐色粘土層が若干窪み、Ⅳ層が相対的に層厚を増す地点である。人為的な掘り込みの痕跡は確認できない。**遺物出土状況**　遺物の取り上げを行うにあたり剥片類が土中に多数紛れ込む状況にあったため、途中から土壌ごと掘り上げ水洗選別を行った。よって個々の剥片がどのような状態で出土したのか、詳細な記録は欠く。集中する場所では剥片類が密着した状態が観察された。得られた遺物は土器片が若干、石器類は剥片1071点、全長５㎜未満の微細剥片・砕片約1500点、重量にして総計1001.6ｇである。**出土石器**　石器は小型の剥片、砕片が主体で石質は全て頁岩である。石質のわずかな差異と色調を元に５種類の母岩を認識した。接合作業を行った結果、22組の接合資料を確認した。接合資料中には剥片の偶発的な折れを接合したものも含まれる。この中で８点の接合資料を図化掲載した（e201～208)。**小結**　非常に狭い範囲に多量の小型剥片、砕片が集中し、多数の接合資料が含まれる。この状況から見て、両極剥離を含む剥片剥離作業が行われ、生成した剥片類を一括廃棄、もしくは意図的な埋納を行った地点と考えられる。（遺物図版164～169　写真図版299～301）

（13）遺物包含層

Ｄ区包含層（第231・232図　写真図版179・180　巻頭カラー写真図版２）
確認状況　Ｄ区中央部に位置するSI40・SI53住居跡、SD27溝跡等の精査過程で、遺構下部や付属施設等の壁面において、Ⅲ層下位に分布するⅣ層に土器等の遺物が多量に包含されている状況を確認し

SU01





SU01 (A-A’～C-C’)

1　10YR2/2 黒褐色～ 10YR4/4 褐色　砂質シルト

2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト。

3　10YR4/4 褐色　砂　粗い砂。

4　10YR2/1 黒褐色　砂質シルト、10YR4/4 褐色砂少量全体にぼやっと混じる。炭微量。

5　10YR2/3 黒褐色　粘土質シルト。

6　10YR4/4 褐色　粘土質シルト。

7　10YR2/3 黒褐色～ 10YR2/2 黒褐色　粘土質シルト。

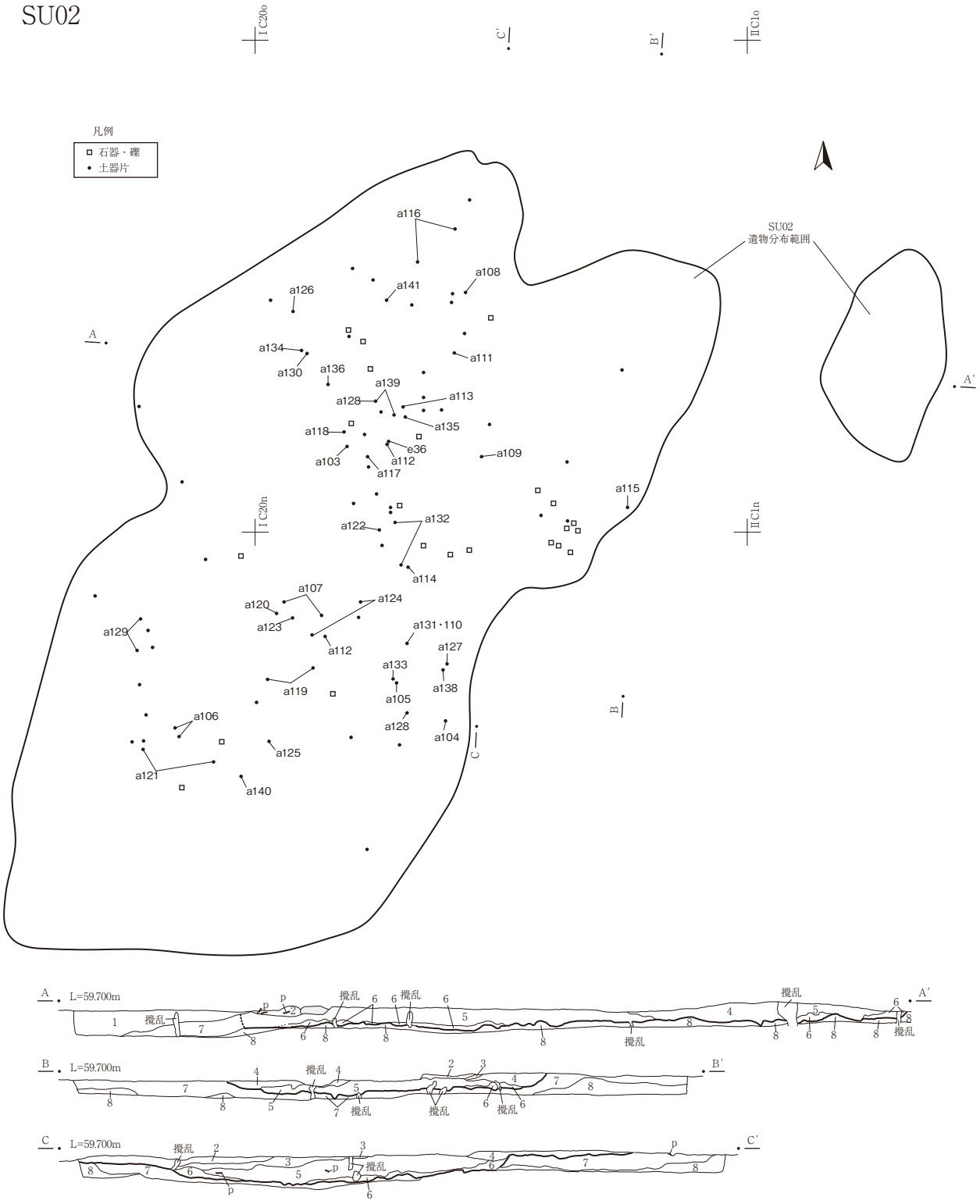
※ 1 層上面に SN 07 ～ 09。

※ 4 層に遺物集中、5 層との境界は不明瞭。5 層形成時に遺物投棄、その後 3 層が堆積か？。
遺物は 4 層下面より中～上面が多い。

0　1：60　2m

第226図　SU01遺物集中

SU02



SU02 (A-A’ ～ C-C’)

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。基本土層。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。人為堆積土。
3　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。人為堆積土。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　10YR4/2 灰黄褐色　砂の混合土 (7：3)　しまり中、粘性なし。人為堆積土。
5　10YR1.7/1 黒色　砂質シルト　しまり・粘性なし。炭化物粒 (径～ 1 ㎝)10%、土器多量。人為堆積土。
6　10YR3/2 黒褐色　砂と 10YR1.7/1 黒色　シルトの混合土 (7：3)　しまり・粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
7　10YR3/2 黒褐色　砂　しまり中、粘性なし。基本土層。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。基本土層。
※炭化物粒の大きさは 2 ㎜以下が中心。

0　1：60　2m

第227図　SU02遺物集中

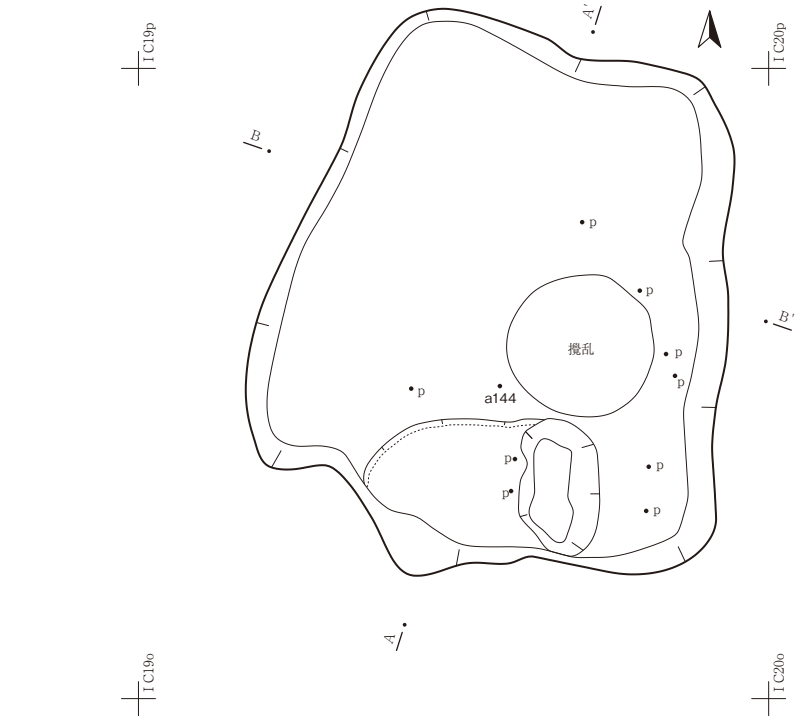
SU03

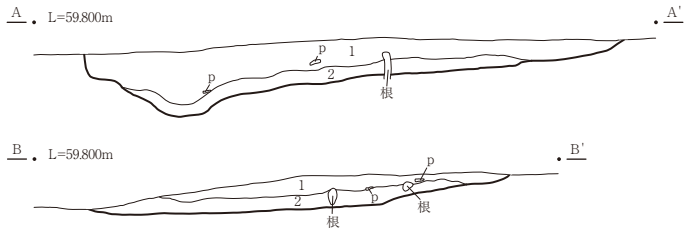
SU03（断面なし・注記のみ）
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。
　炭化物粒 (径～ 3 ㎜)3%。基本層序Ⅱ層。

(平面) 0　1：100　5m

第228図　SU03遺物集中

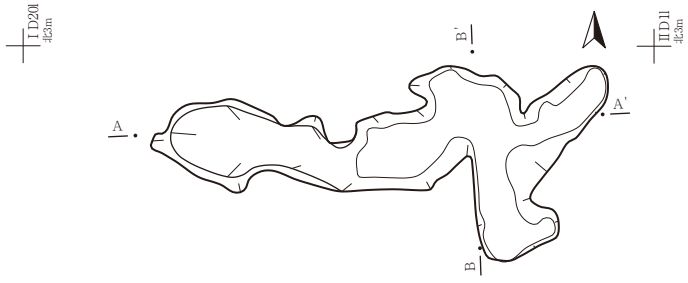
SU04

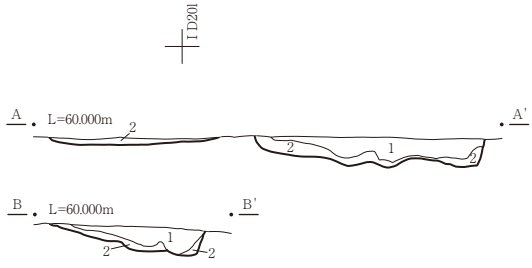




SU04 (A-A'・B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。
2　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂ブロック(径～3㎝)5%、炭化物粒(径～3㎜)5%。

SU05



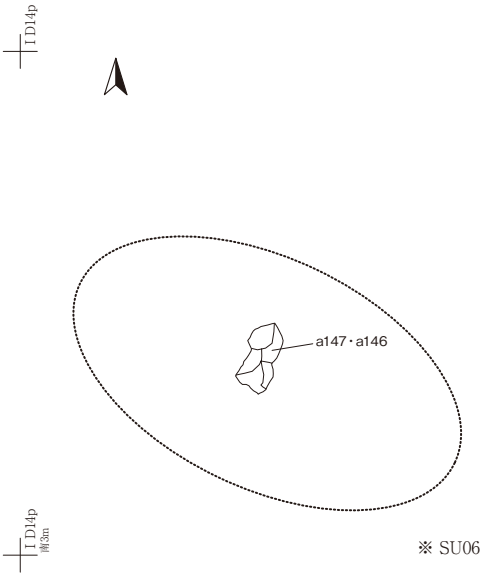


SU05 (A-A'・B-B')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物(径～1㎝)10%、10YR5/4 にぶい黄褐色シルトブロック(径～5㎝)10%。
2　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり中、粘性なし。10YR5/4 にぶい黄褐色シルトブロック(径～5㎝)20%、炭化物(径～1㎝)5%。

0　1：60　2m

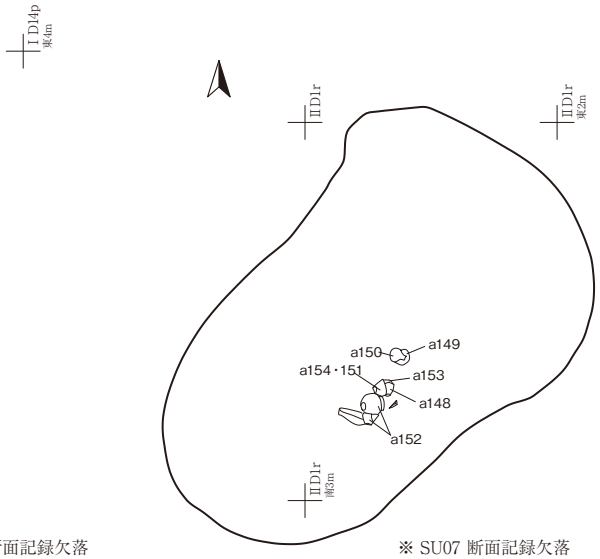
第229図　SU04･05遺物集中

SU06

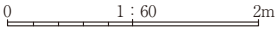


※ SU06 断面記録欠落

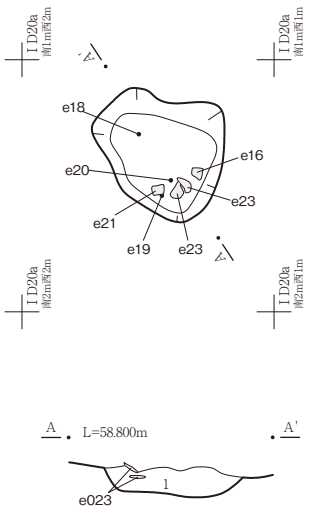
SU07



※ SU07 断面記録欠落



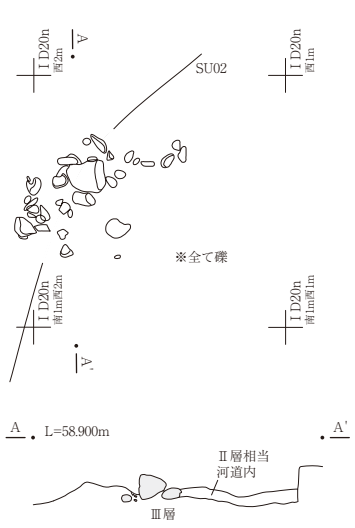
SU08



SU08 (A-A’)

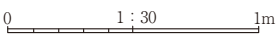
1　10YR3/3　暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性弱。炭 (径～ 1 ㎝)1%。10YR3/2 焼土が部分的に混在。

SU09



SU09 (A-A’)

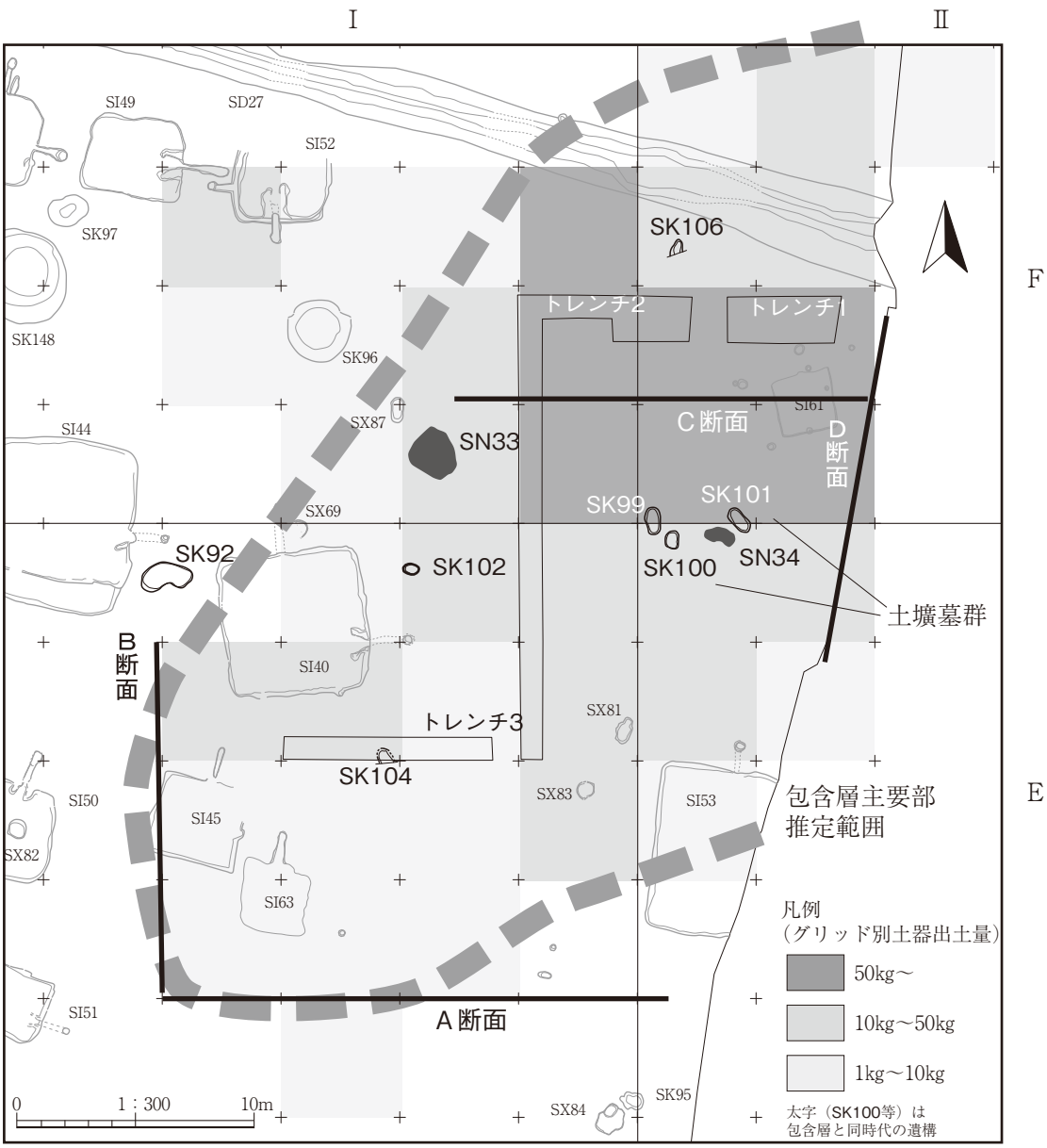
※境界からⅢ層上部にかけて礫集中。
　大きさは多様で、石器素材は含まれない。



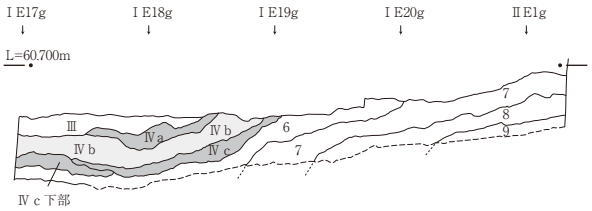
第230図　SU06～09遺物集中

た。一定範囲に広がる弥生時代前期を主体とする遺物包含層が形成されているものと捉え、あらかじめトレンチで下部の包含層範囲と層序を把握した上で、小グリッド単位での掘り下げを行うこととした。**範囲**　第231図上段にグリッド別縄文～弥生土器の出土重量分布図を掲載した。包含層Ⅳａ～Ⅳｃ層までを一括した分布状況である。１グリッドあたり50kgを超すのがＩＦ20a・ＩＦ20b・ＩＦ20c・ⅡＦ1a・ⅡＦ1b・ⅡＦ2a・ⅡＦ2bの７グリッドである。この一帯に遺物分布の重心が位置していると見られる。また１グリッドあたり10kg以上の土器重量を出土するグリッドは、南西端のＩＥ17sグリッドから北東端のⅡＦ2dグリッドまで約30m四方の範囲内に収まる。更に分布密度の濃いエリアは、北東－南西方向の長軸を持つ楕円形の範囲（図中に太破線で図示）に該当する可能性が高い。この図に示した範囲外でも、ＩＦ・ⅡＦグリッド北半にまで弥生土器の分布は見られるが、上述の楕円形範囲内における出土量が格段に多いと見られる。縦横方向の縮尺を変倍した断面模式図（第231図下段）を見ると、この楕円形の長軸にあたる部分がやや窪む地形と見ることができる。北東－南西の軸線を持つ、緩い傾斜の旧河道ないし自然地形の窪地に包含層が堆積した状態である。なお、土器分布の北側はⅡＧグリッド内まで広がる状況にあるが、古代の遺構群や現代の攪乱によって包含層としての残存状況は不良であり、範囲を明示し得ない。また量的にも少なくなることから、可能性としては楕円形範囲の包含層の延長部分は、調査区外東側にその本体が位置すると考えられる。**土層**　包含層の主体となるのは基本層序Ⅳ層である。当該地点では概ね上位から黒褐色シルト層：Ⅳａ層、褐色細砂～砂質シルト層：Ⅳｂ層、黒褐色～褐色粘土質シルト層：Ⅳｃ層と３層に分層される状態である（第231図下段・232図参照）。これらはⅢ層細砂層によって全面的に覆われる。Ⅲ層下部のⅣａ層に接する部分にも遺物、炭化物の一定量包含が見られる。なお、部分的にⅣａ層の上部にやや明色でⅢ層に近い砂質シルト層が形成されており、これをⅣａ層上部とした（第232図Ｂ断面）。同様にⅣｃ層が色調によって２分される地点があり、Ⅳｃ層上部・Ⅳｃ層下部としている（第232図ＡＢＤ断面）。各包含層の中ではⅣａ層が最も暗色かつ人工遺物、炭化物を多く含み、腐植土の状態に近い。これにⅣｃ層が次いでおり、北東部（Ｄ断面付近）ではⅣａ層とほぼ同相と捉えられる。一方南西部（Ｂ断面南側付近）ではⅣｃ層は褐色の粘土質シルトの層相であり、遺物や炭化物の含有は少ない。間層にあたるⅣｂ層は上下層に比較し明色、かつ粗粒で人為的な包含層とはやや異なる様相である。しかしⅣｂ層全体にわたり一定量の遺物を含む。**精査方法**　Ⅲ層上面から試掘トレンチ（幅0.5～1.0m）をグリッド境界に沿って設定し、Ⅲ・Ⅳ層層界の把握及びⅣ層の分布状況確認を行った。この段階ではⅣ層細分層は確定していなかったため、トレンチ内のⅣ層出土遺物は一括取り上げとしている。次いでトレンチ断面を元にしてⅢ層の掘削に入る。Ⅲ層下部には一定量の遺物包含が見られるため、重機使用はⅢ層中位までに留め、Ⅲ層下部は人力によって掘り下げた。人力での掘削は小グリッド（５m四方）単位で行い遺物を収納している。全面的にⅣ層を露出した段階で、Ⅳａ層上面での遺構検出を行った。この作業でⅡＦグリッド南西隅にSI61住居跡を検出､精査している｡包含層本体の掘り下げは各グリッドの１端にサブトレンチを入れ層序確認を行った上で掘り進めた。なお、各細分層の層界を露出した段階で遺構検出を繰り返している。中央部に分布する土壙墓群（SK99～101土坑）はⅣｂ層上面で検出したものである。また包含層土壌に混入する焼骨片、炭化種実片の集中はグリッド単位で取り上げを行っている。**遺物出土状況**　上記の遺物分布密度の濃いエリア内では完形に近い土器類の出土が見られ、浅鉢が伏せてある状態のものも含まれた。これらは埋設土器の可能性を考慮し、状態に応じて断ち割り記録等を行っているが、結果的には全て包含層中に残存する略完形個体等であり、個々の記録掲載は省略している。包含層中の遺構　包含層範囲ないしその近傍において同時代に該当する遺構は、SK92・99～102・104・106土坑、SN33・34焼土遺構が該当する。土坑はⅣｂ層上面での検出遺構が多

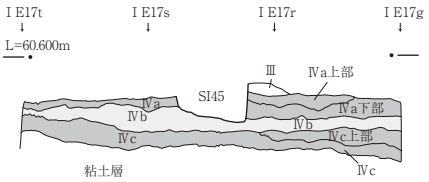
い。砂層となるⅣb層中に黒色～黒褐色埋土のプランで明瞭に見えるパターンである。焼土遺構はいずれも包含層底面に広がる現地性焼土である。人為的に形成された焼土遺構であることは確実だが、包含層堆積との関連は明確ではない。**包含層の時期**　第３節遺物（１）縄文・弥生土器の項で土器群の分類も含めて後述するが、Ⅳc層出土土器は大洞A'式古段階主体、Ⅳb層は大洞A'古段階～新段階、Ⅳa層は谷起島式（山王Ⅲ層式）～川岸場式段階の土器が主体となっており、包含層形成時期もこれに概ね相当すると考えられる。Ⅳb層とⅣa層の間で、大きな時期的な変化が存在していることは確実と見られる。



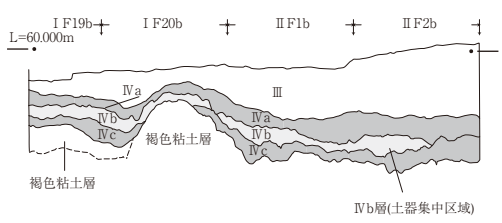
A 断面図 中央部東西方向



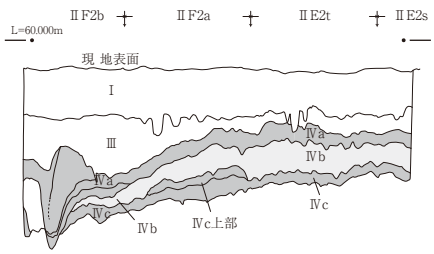
B 断面図 中央部南北方向



C 断面図 北東部東西方向



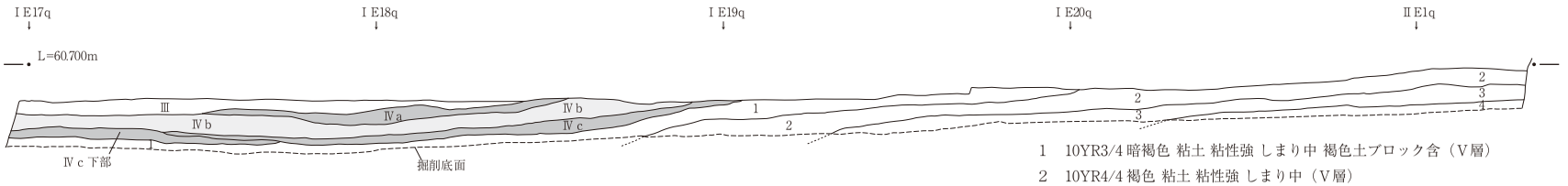
D 断面図 北東部調査区境南北方向



いずれも垂直方向 S=1/80 水平方向 S=1/300

第231図　D区包含層（1）

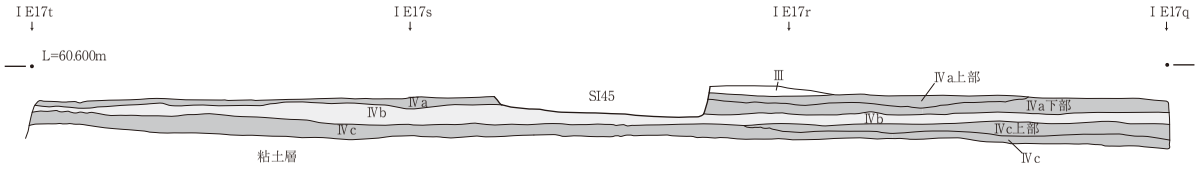
A断面図 中央部東西方向 （ⅠE17q～ⅡE1qライン）



Ⅲ層　10YR4/3 にぶい黄褐色 細砂 粘性なし しまり弱 均質
Ⅳa 層 7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 遺物多量
Ⅳb 層 10YR4/4 褐色 細砂 粘性なし しまり弱 遺物含
Ⅳc 層　7.5YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 遺物多量
Ⅳc 層下部 7.5YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 遺物少量含

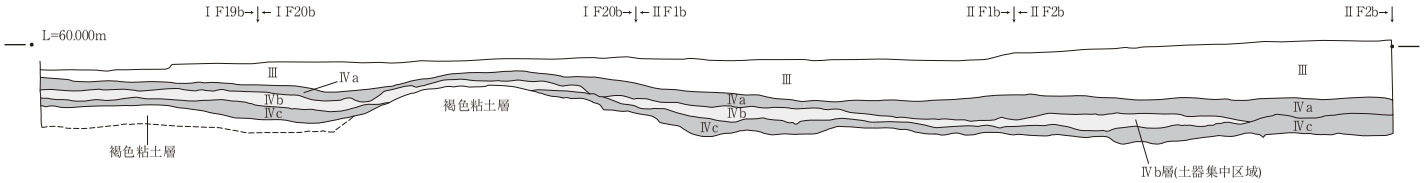
1　10YR3/4 暗褐色 粘土 粘性強 しまり中 褐色土ブロック含（Ⅴ層）
2　10YR4/4 褐色 粘土 粘性強 しまり中（Ⅴ層）
3　7.5YR3/3 暗褐色 粘土 粘性強 しまり中（Ⅴ層）
4　10YR4/4 褐色 粘土 粘性強 しまり中（Ⅴ層）

B断面図 中央部南北方向 （ⅠE17t～qライン）



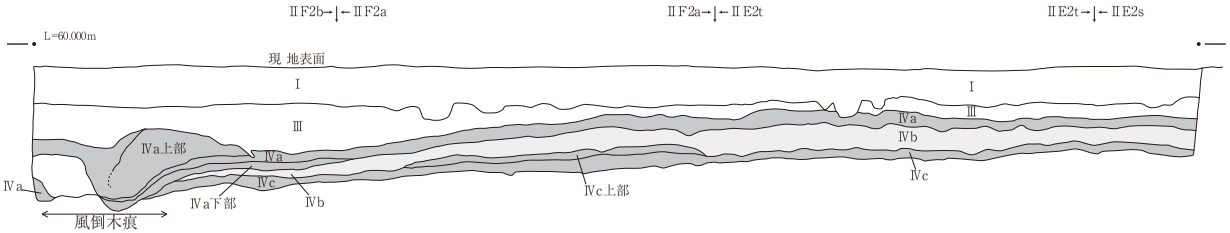
Ⅲ層　　10YR4/3 にぶい黄褐色 細砂 粘性なし しまり中 均質 炭化物含
Ⅳa 層上部 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中
Ⅳa 層下部 7.5YR3/2 黒褐色 シルト 粘性中 しまり中 遺物多量
Ⅳb 層　　10YR4/4 褐色 細砂～砂質シルト 粘性弱 しまり中 炭化物含 遺物少量
Ⅳc 層上部 7.5YR4/3 褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 炭化物含 遺物少量
Ⅳc 層下部 7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 炭化物含 遺物少量

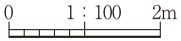
C断面図 北東部東西方向 （ⅠF19b～ⅡF2bライン）

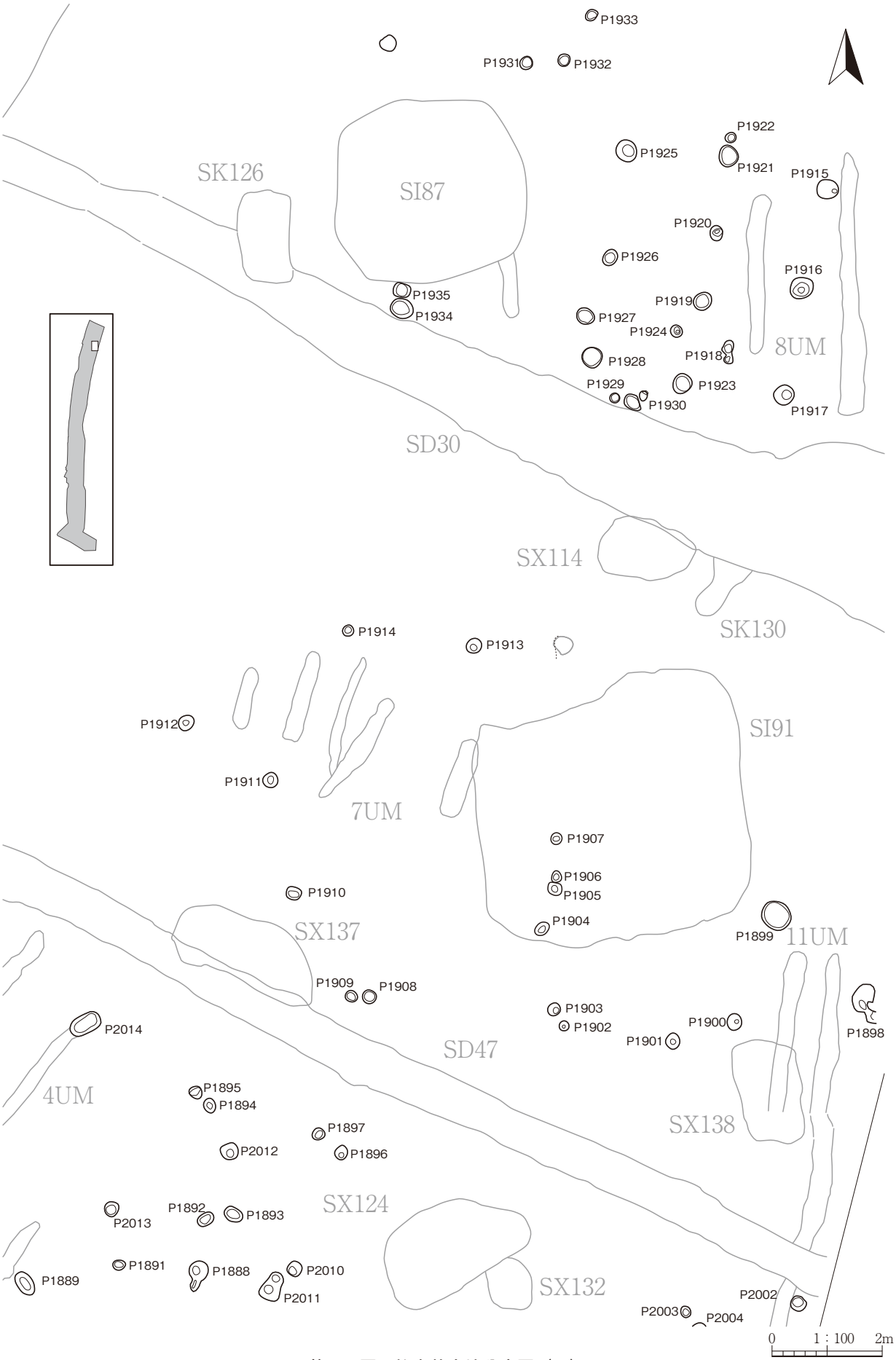


Ⅳa 層　7.5YR2/2 ～ 3/2 黒褐色 シルト
Ⅳb 層　10YR4/4 褐色 細砂～粗砂
Ⅳc 層　7.5YR4/3 ～ 4/4 褐色 粘土質シルト

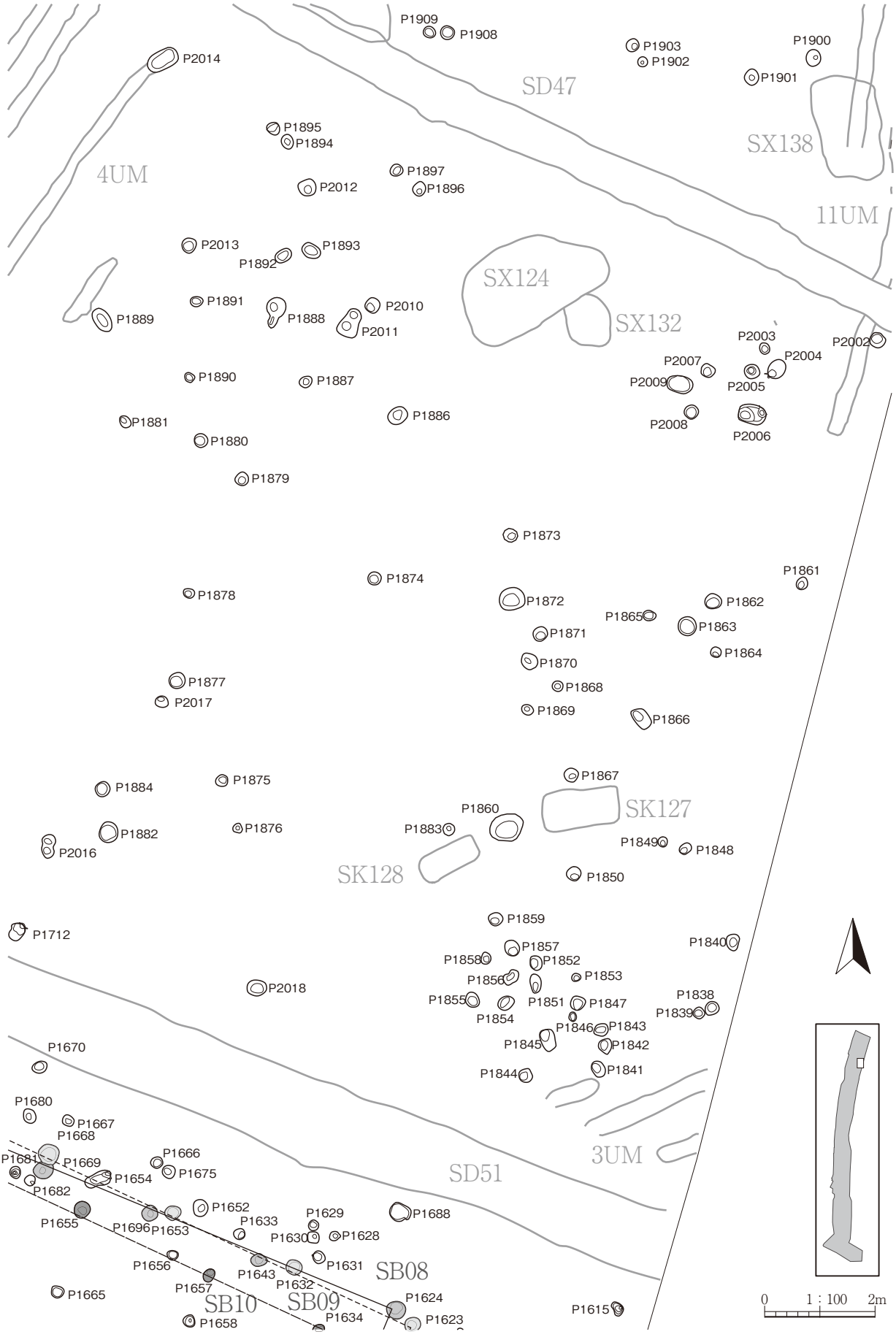
D断面図 北東部調査区境南北方向 （ⅡF2b～ⅡE2aライン）



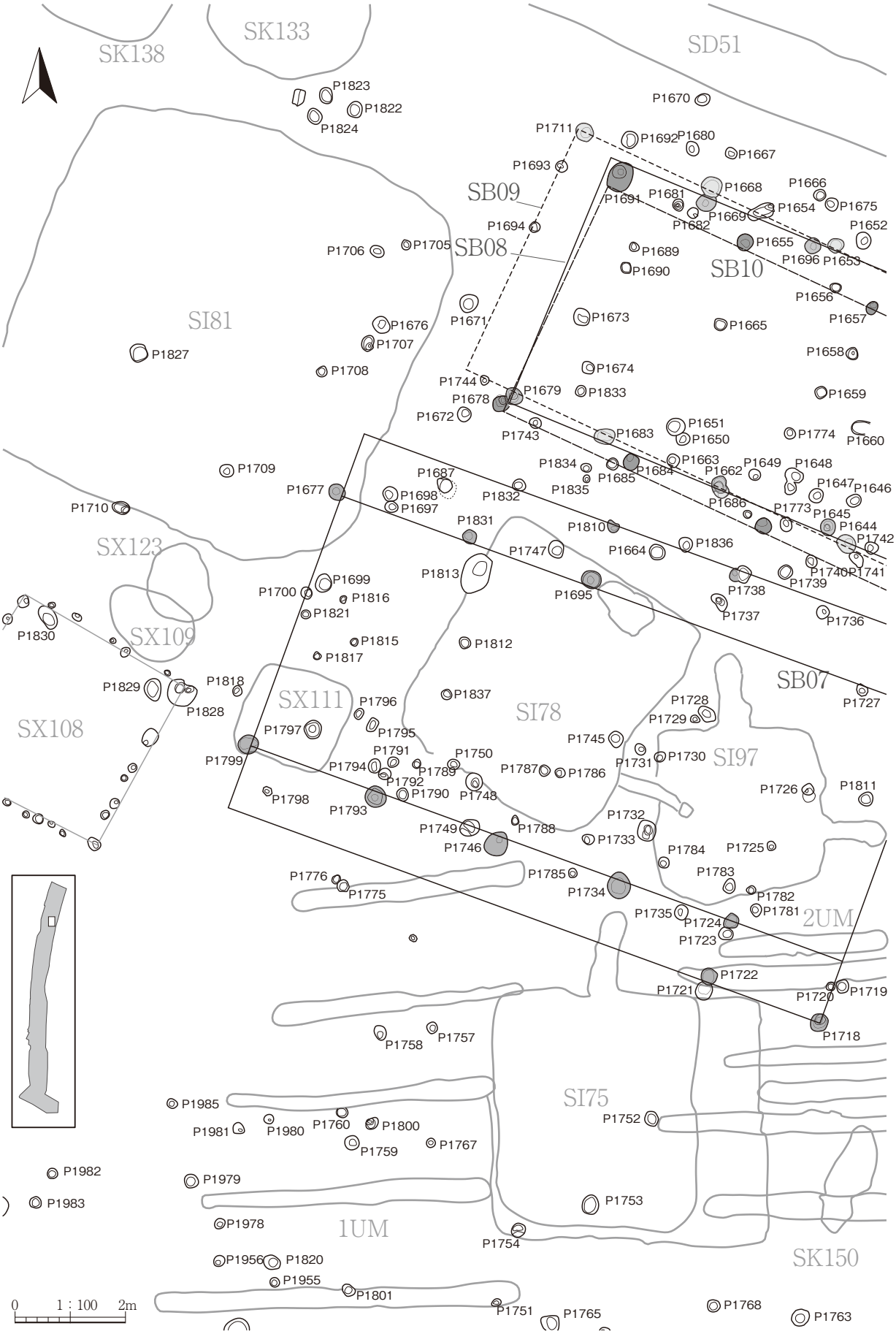




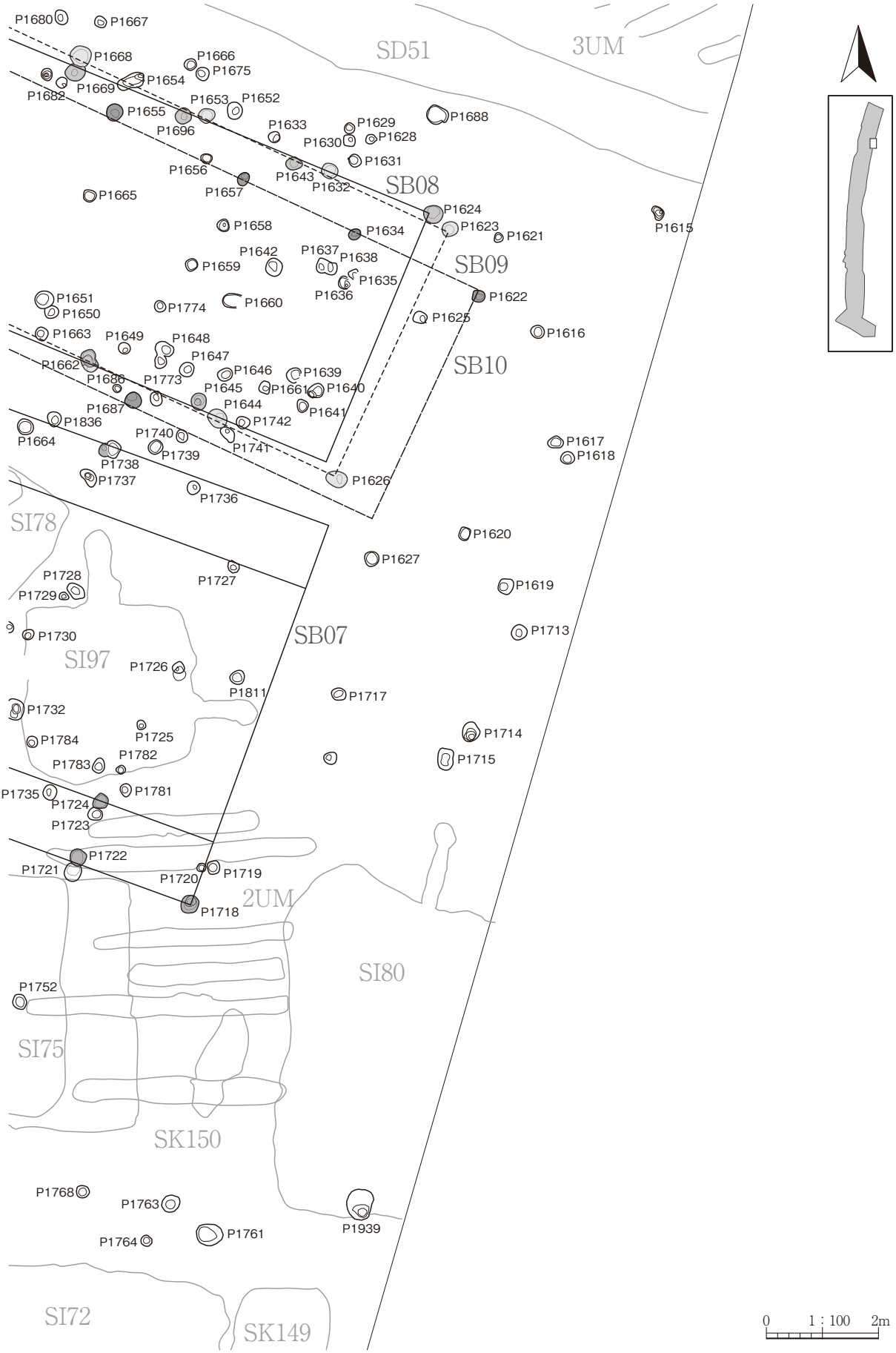
第233図　柱穴状土坑分布図（1）



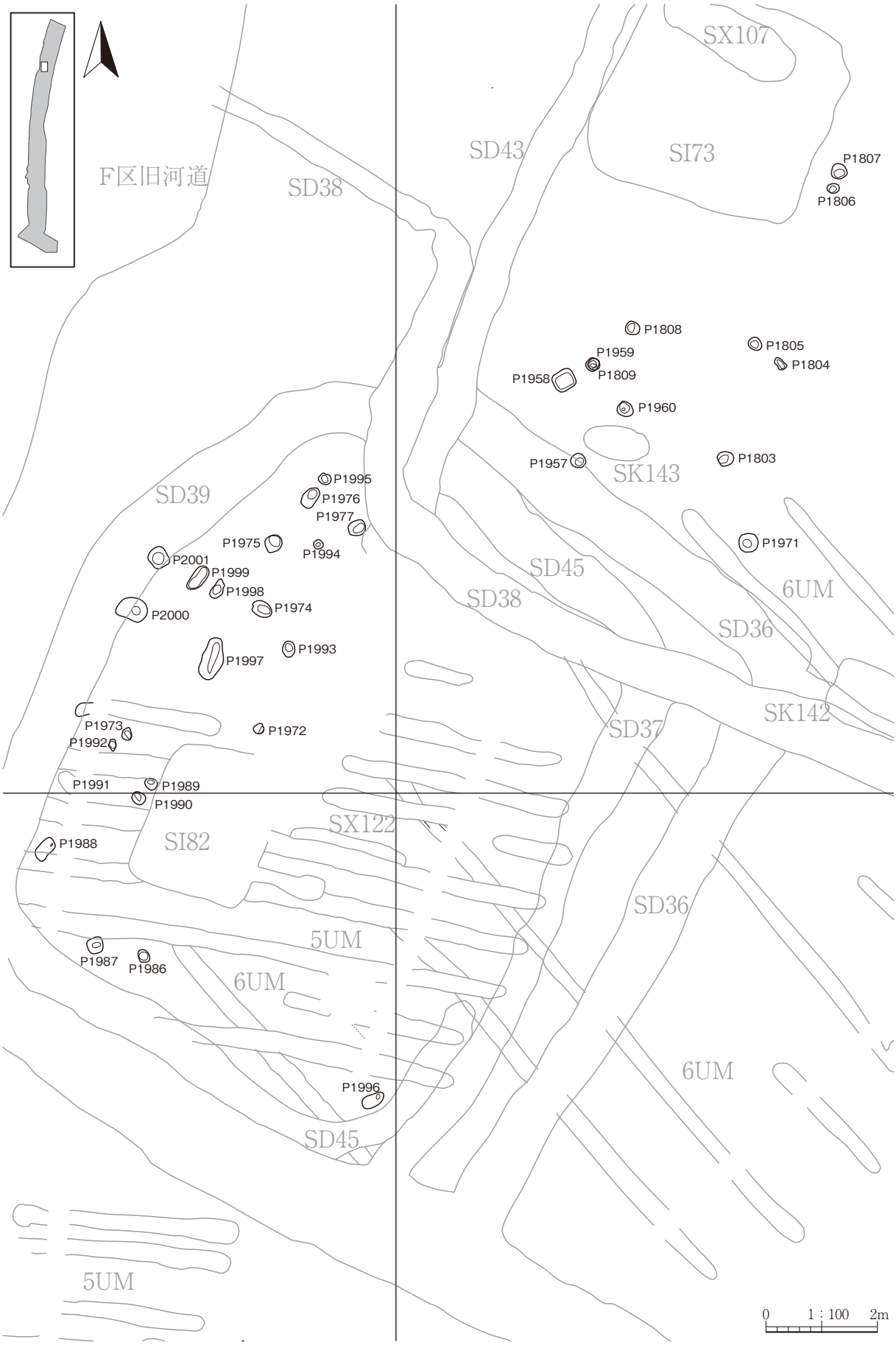
第234図　柱穴状土坑分布図（2）



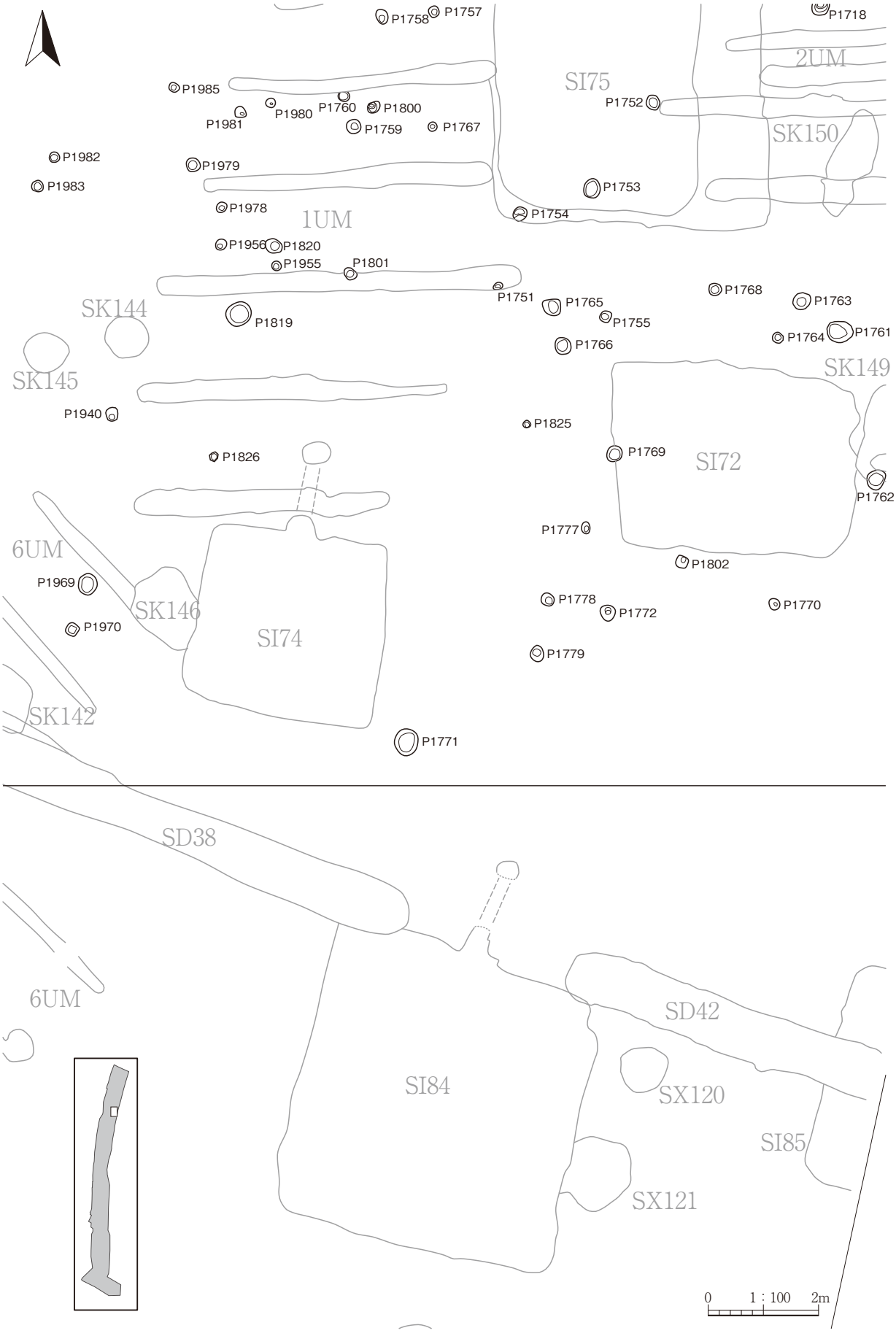
第235図　柱穴状土坑分布図（3）



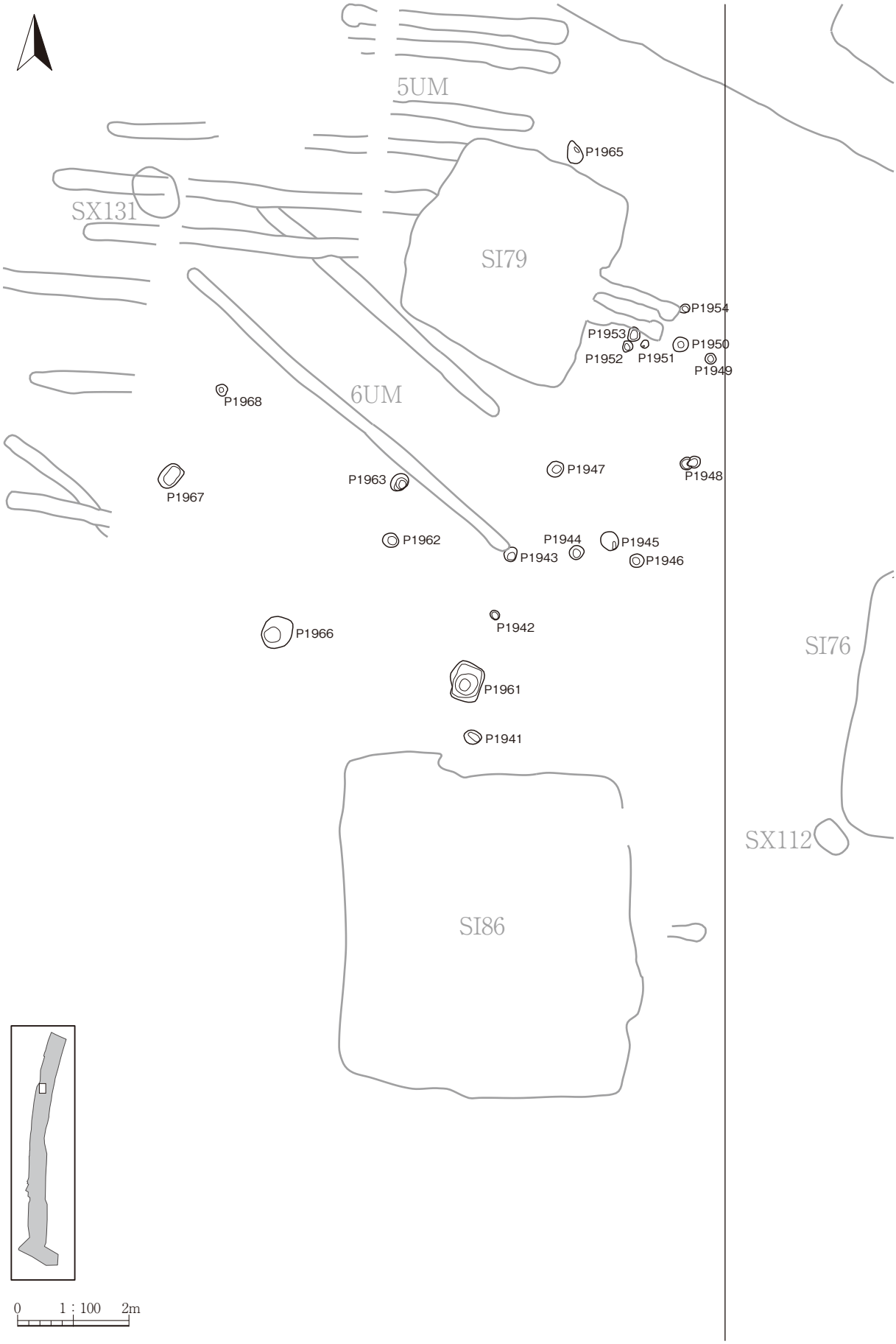
第236図　柱穴状土坑分布図（4）



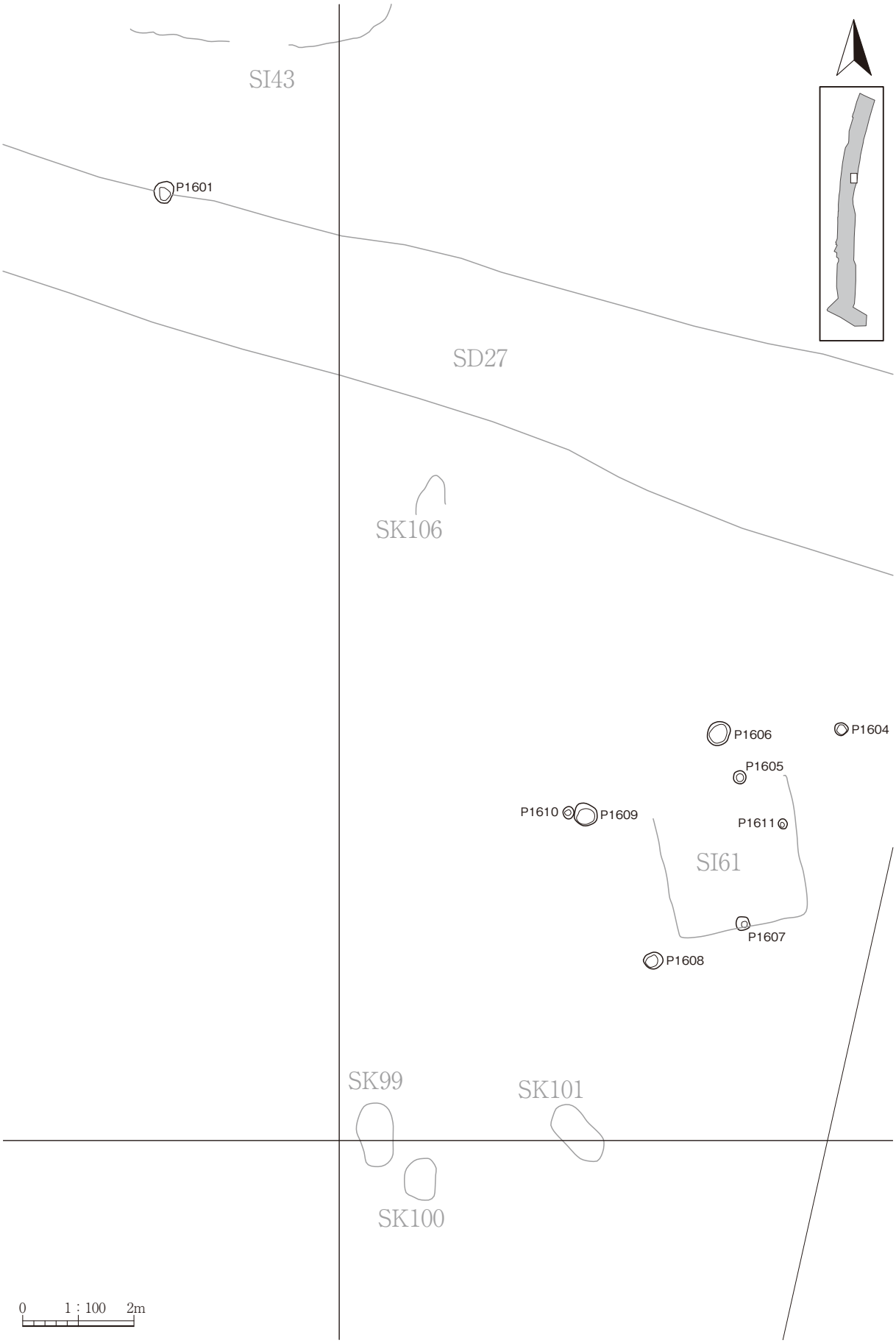
第237図　柱穴状土坑分布図（５）



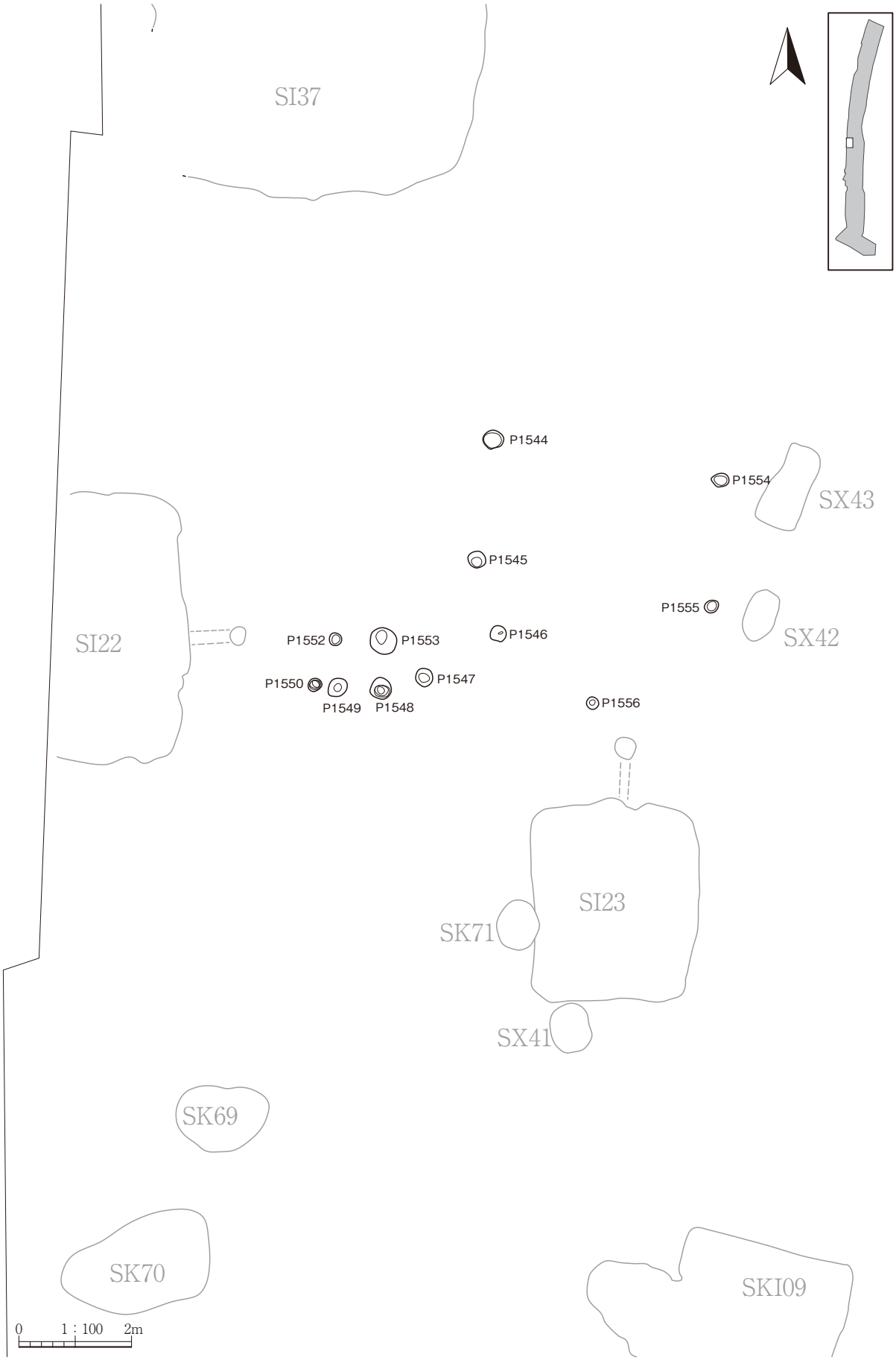
第238図　柱穴状土坑分布図（6）



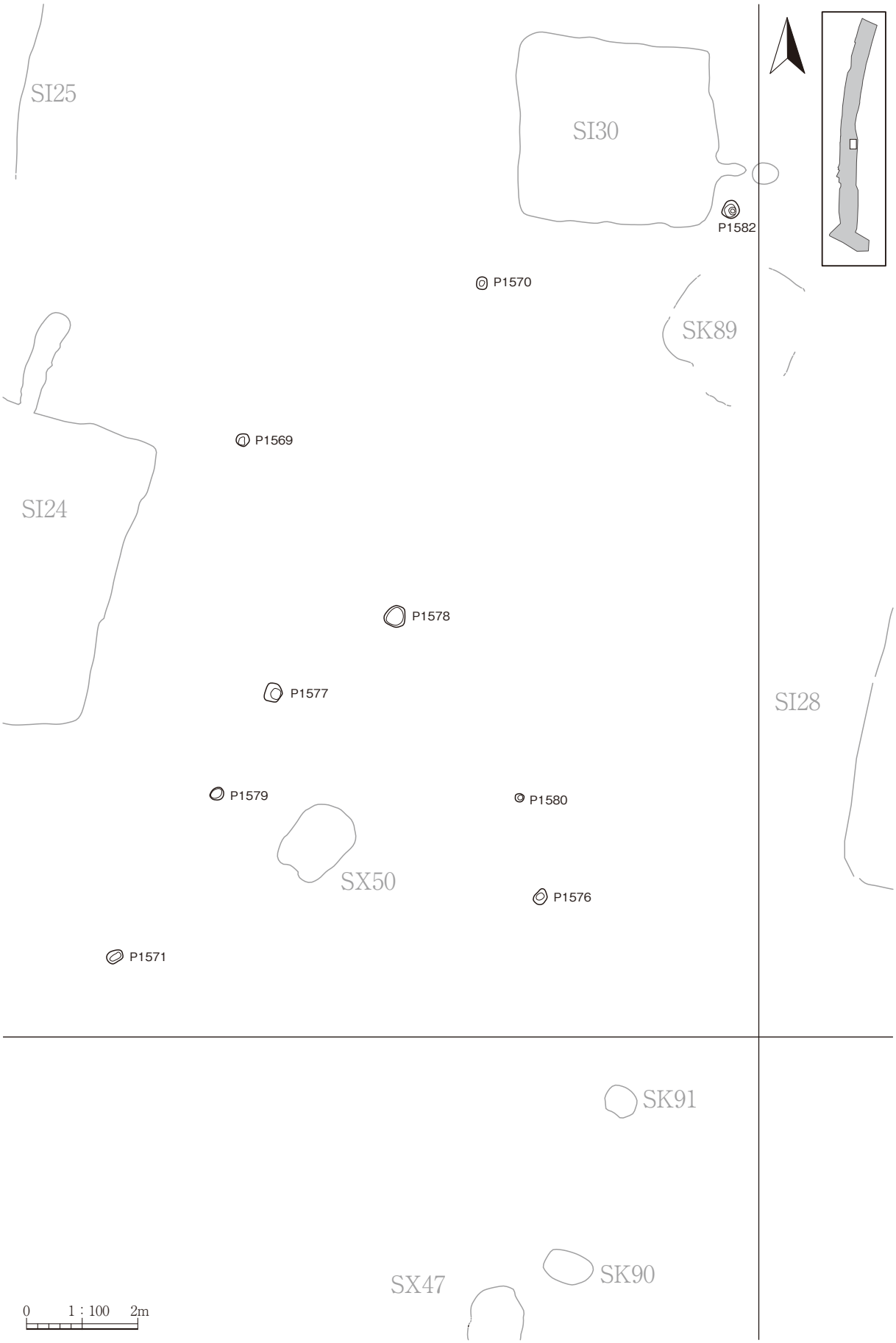
第239図　柱穴状土坑分布図（7）



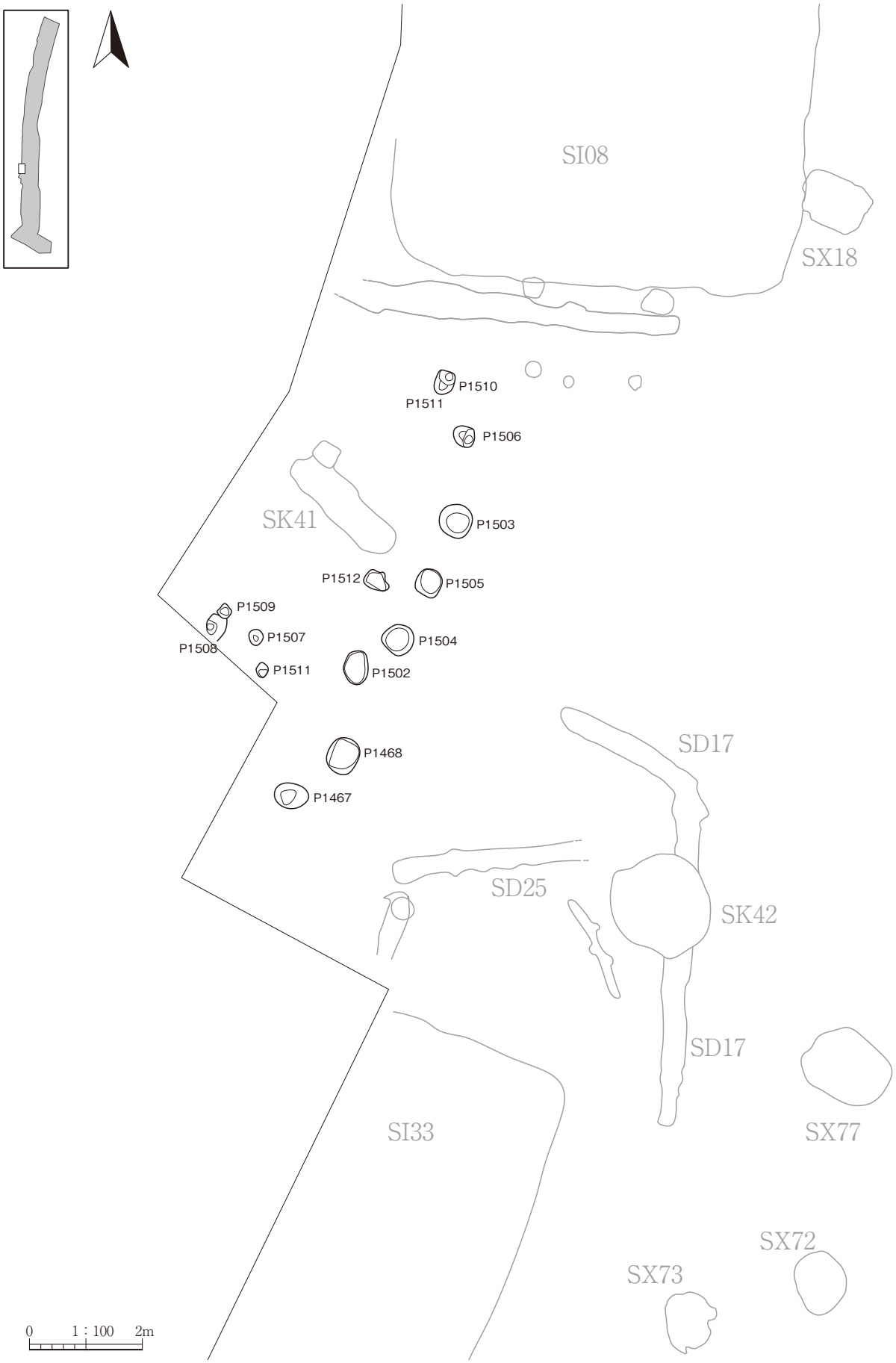
第240図　柱穴状土坑分布図（8）



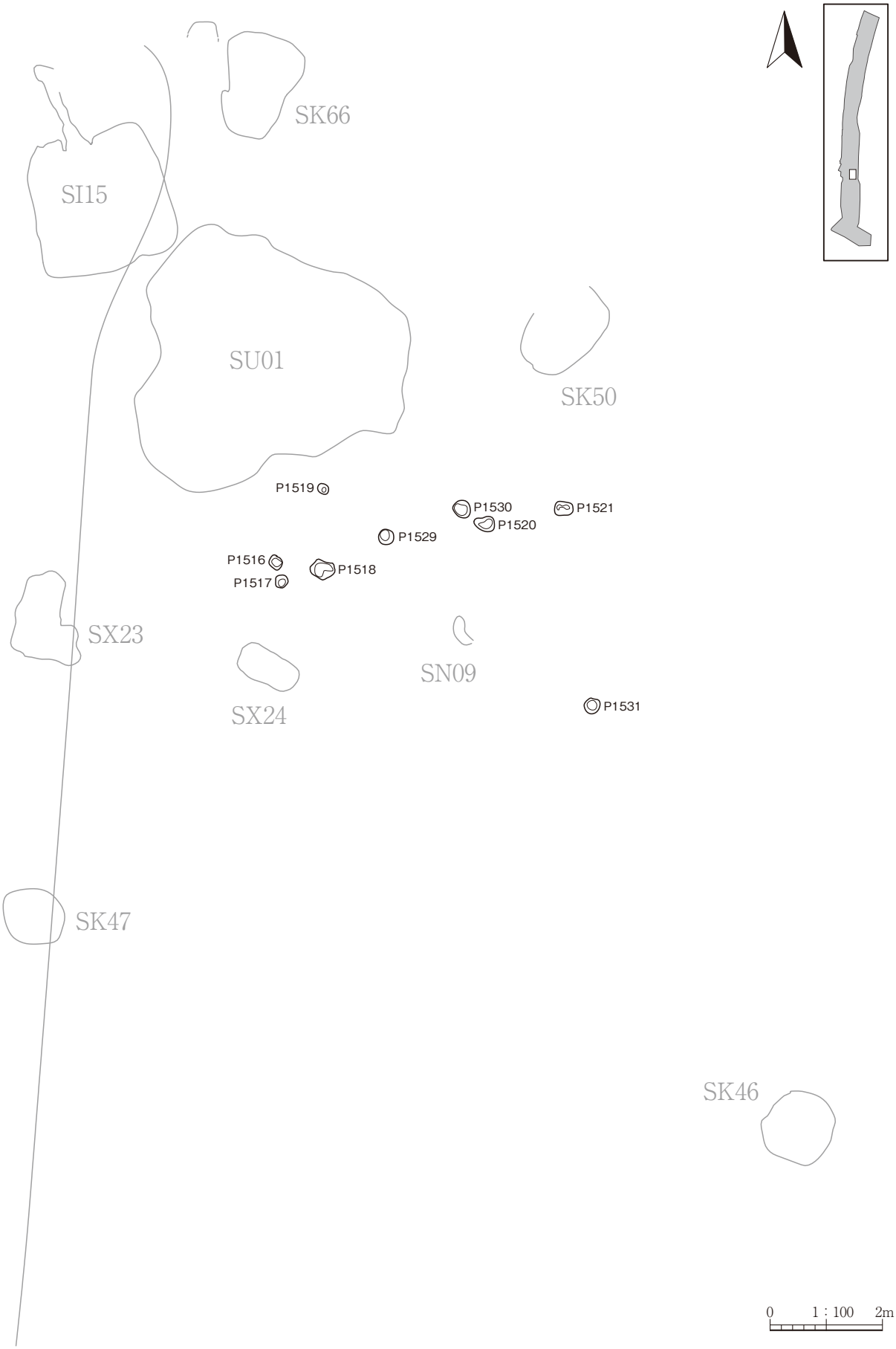
第241図　柱穴状土坑分布図（9）



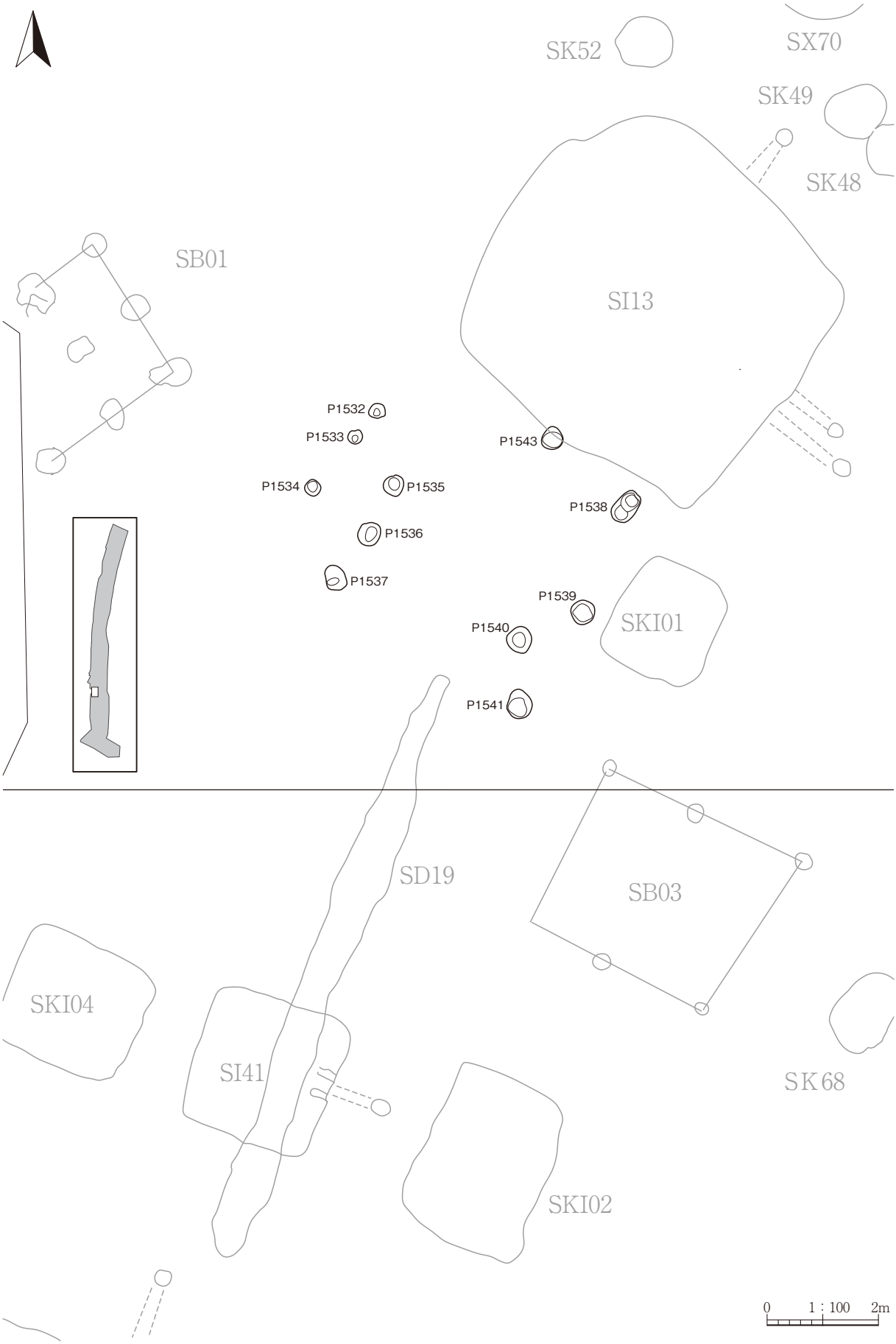
第242図　柱穴状土坑分布図（10）



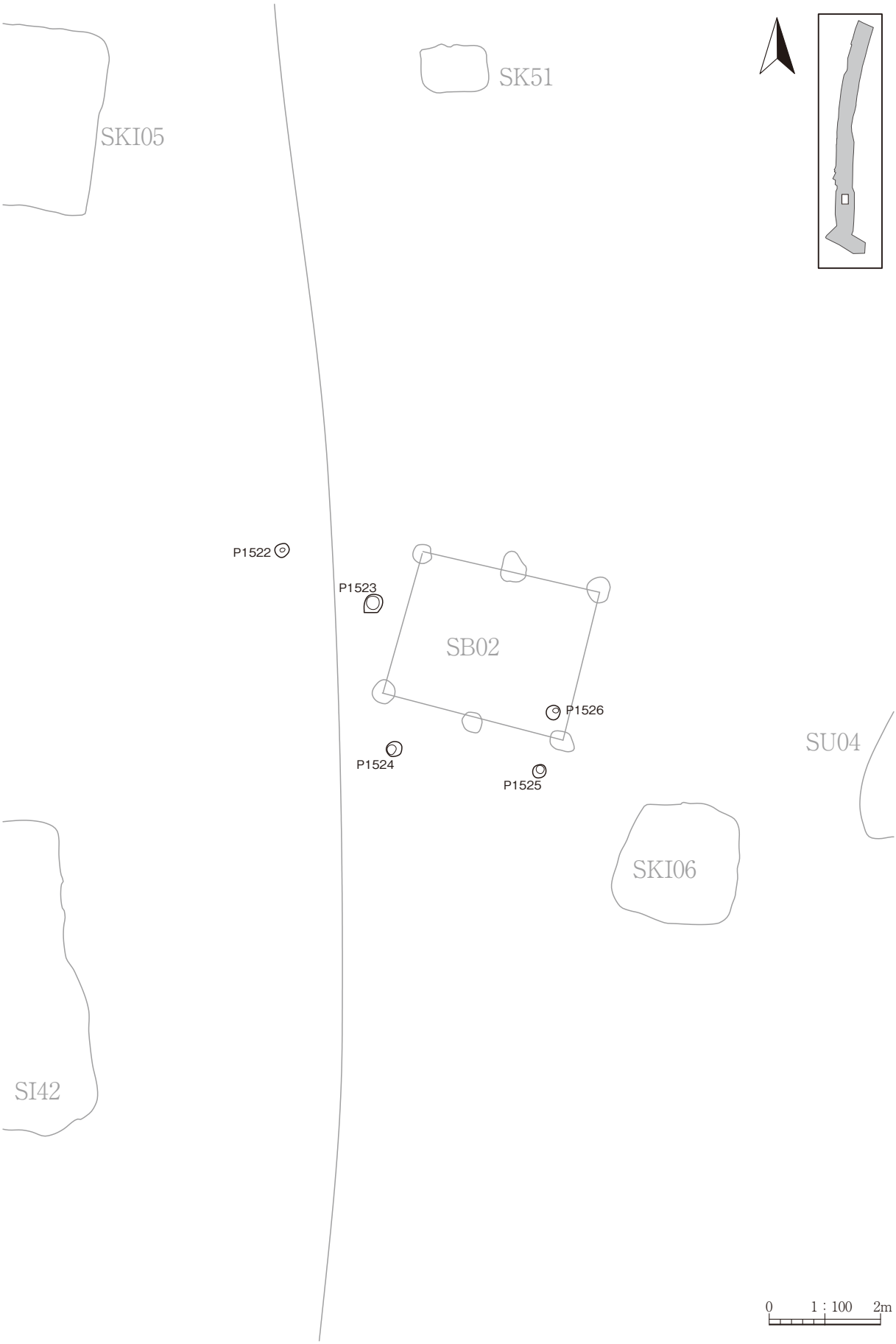
第243図　柱穴状土坑分布図（11）



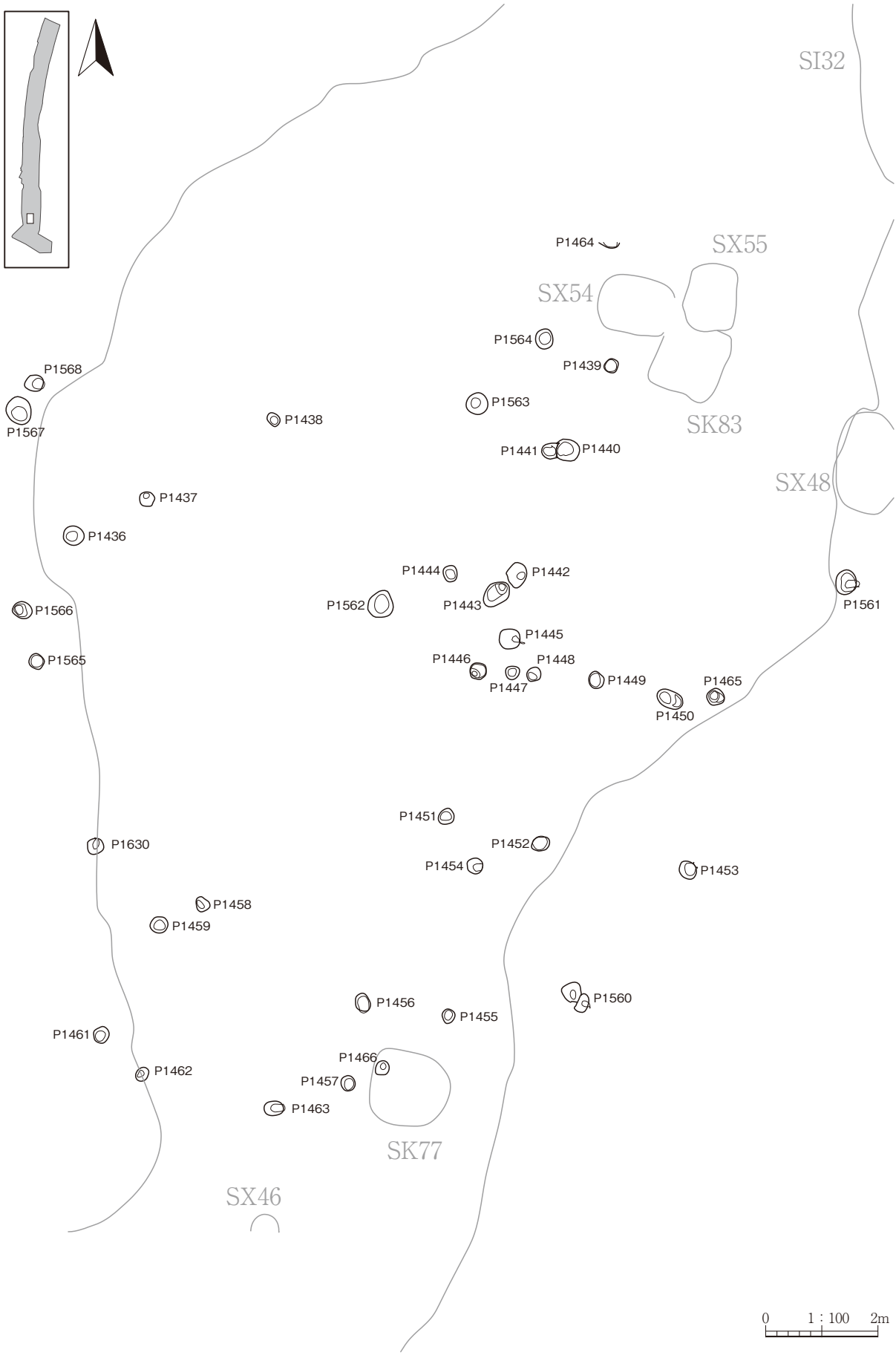
第244図　柱穴状土坑分布図（12）



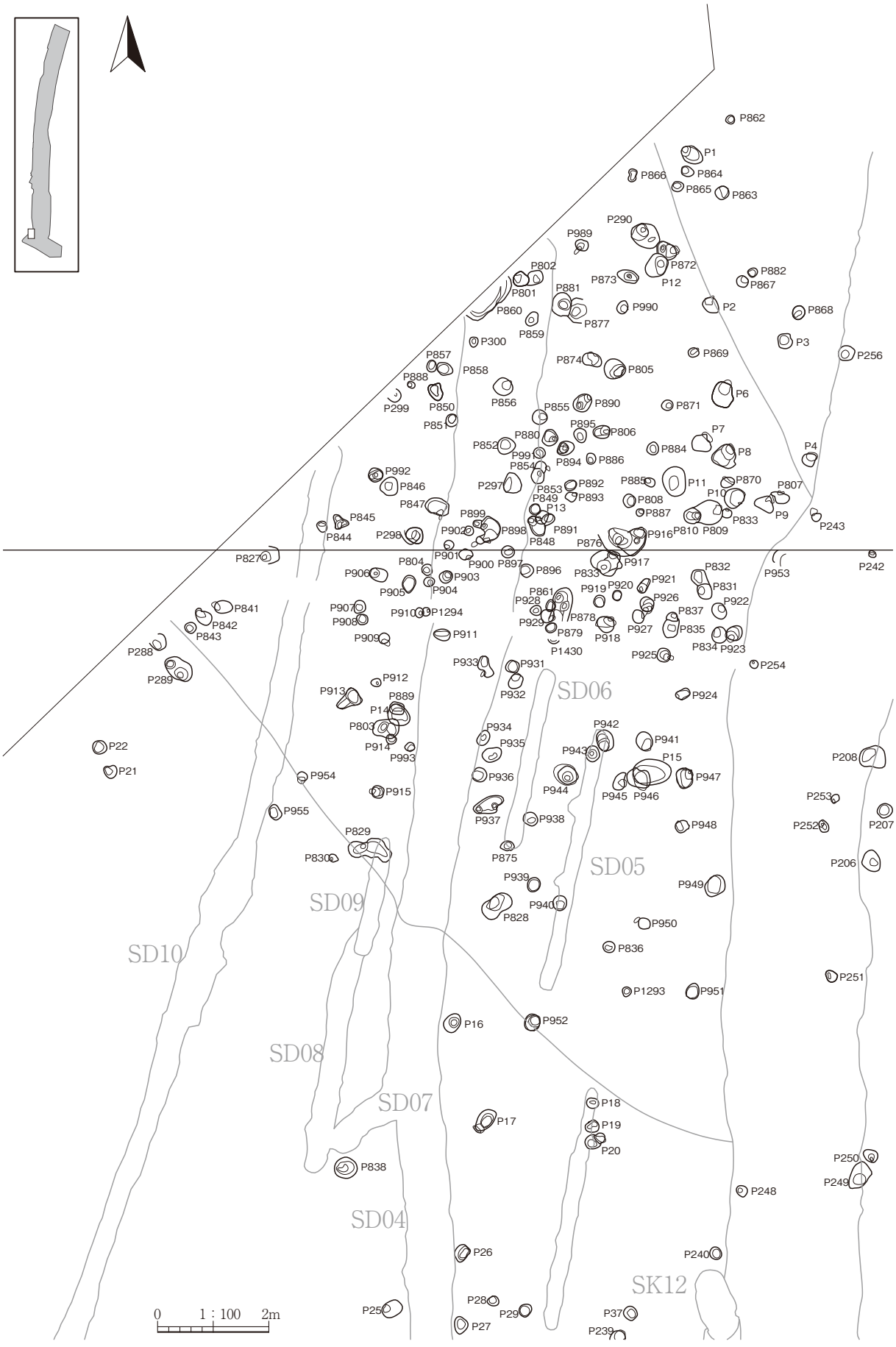
第245図　柱穴状土坑分布図（13）



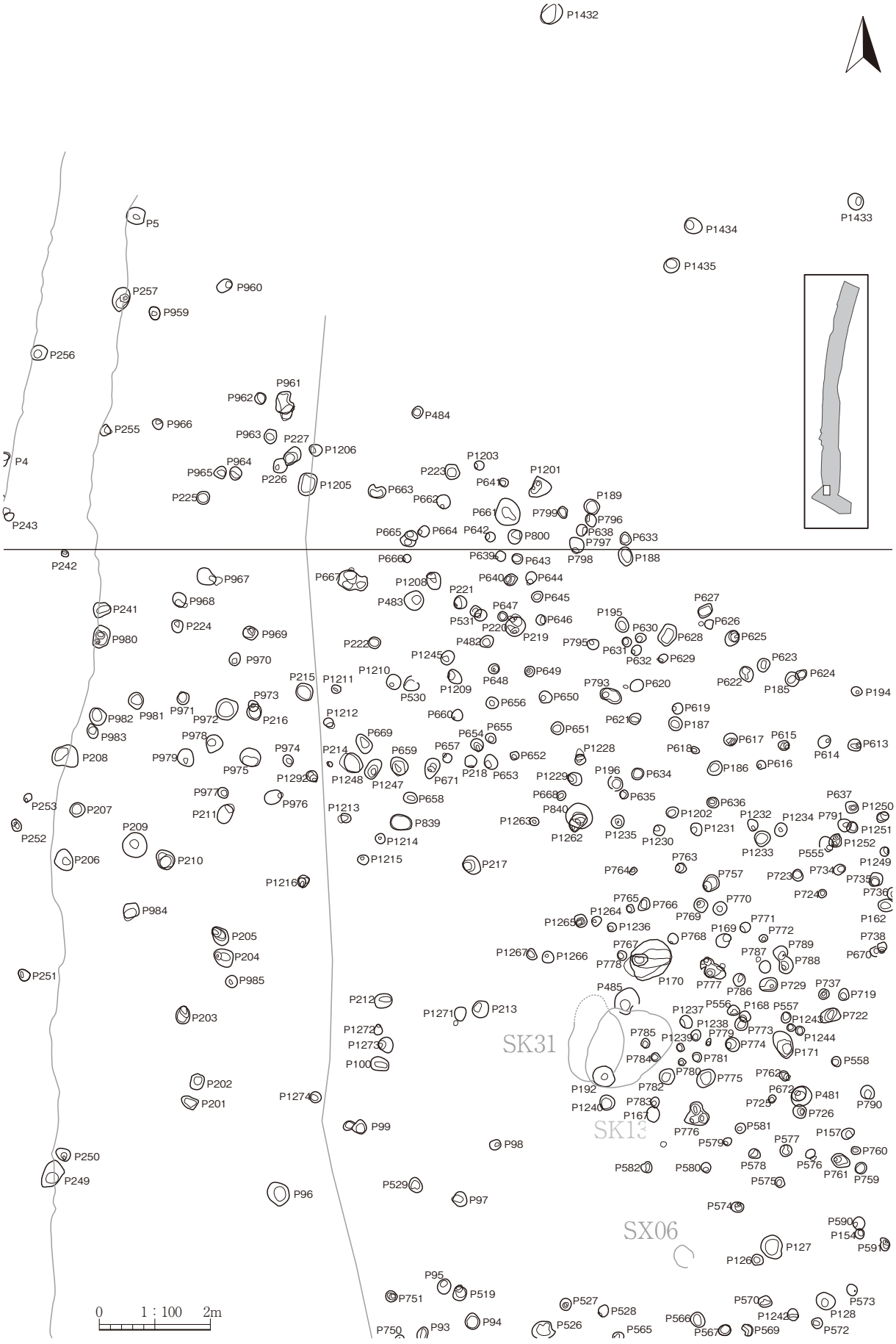
第246図　柱穴状土坑分布図（14）



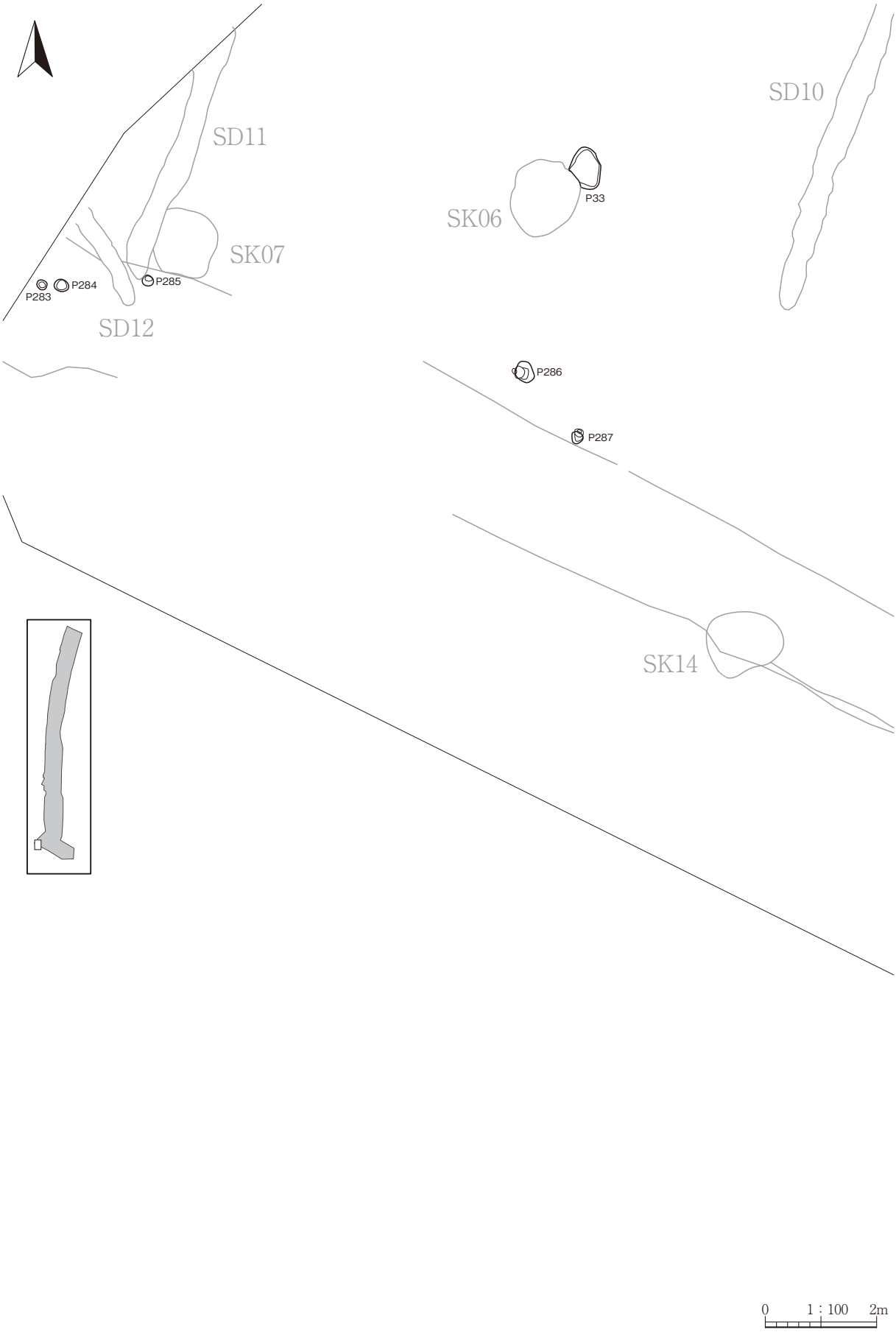
第247図　柱穴状土坑分布図（15）



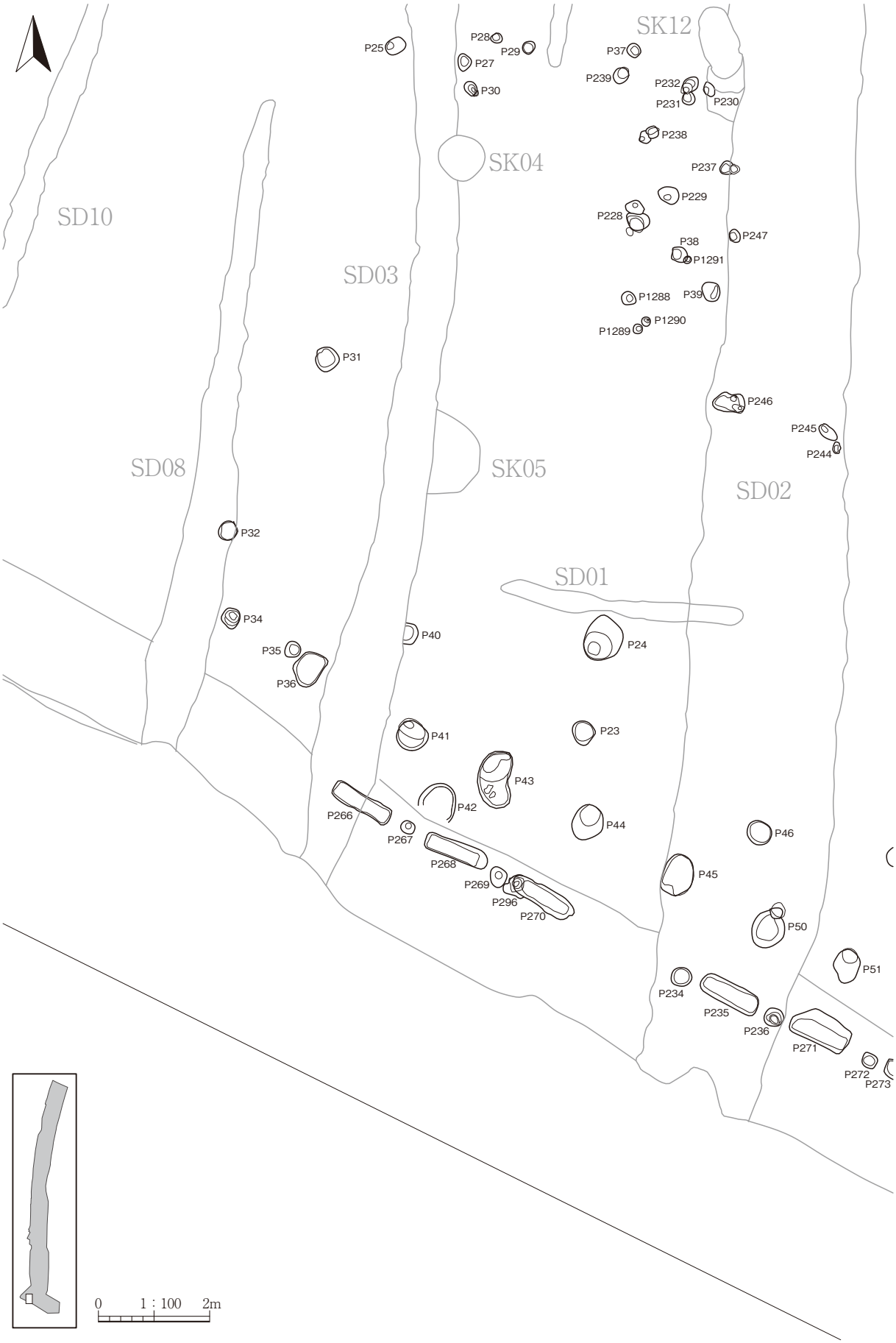
第248図　柱穴状土坑分布図（16）



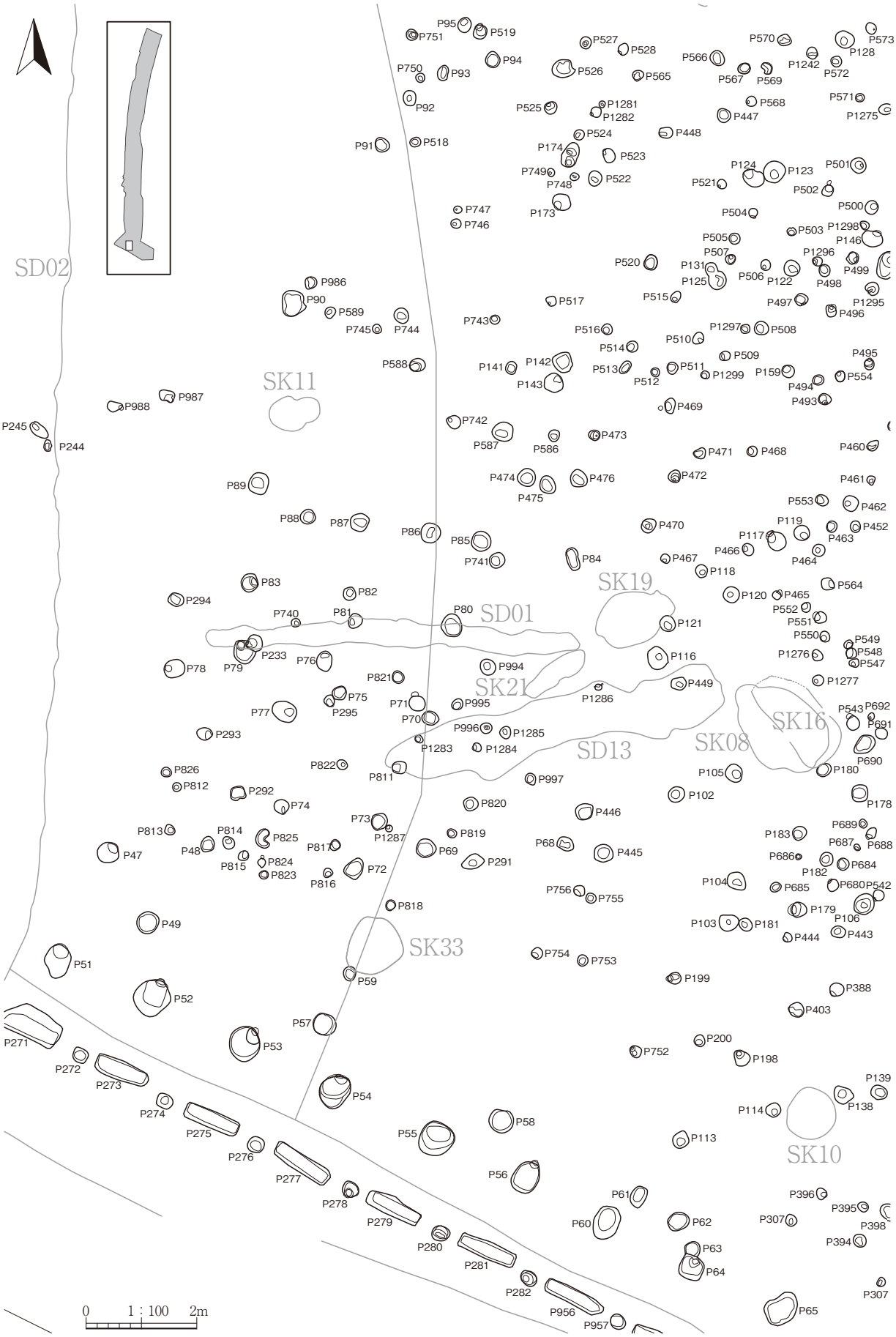
第249図　柱穴状土坑分布図（17）



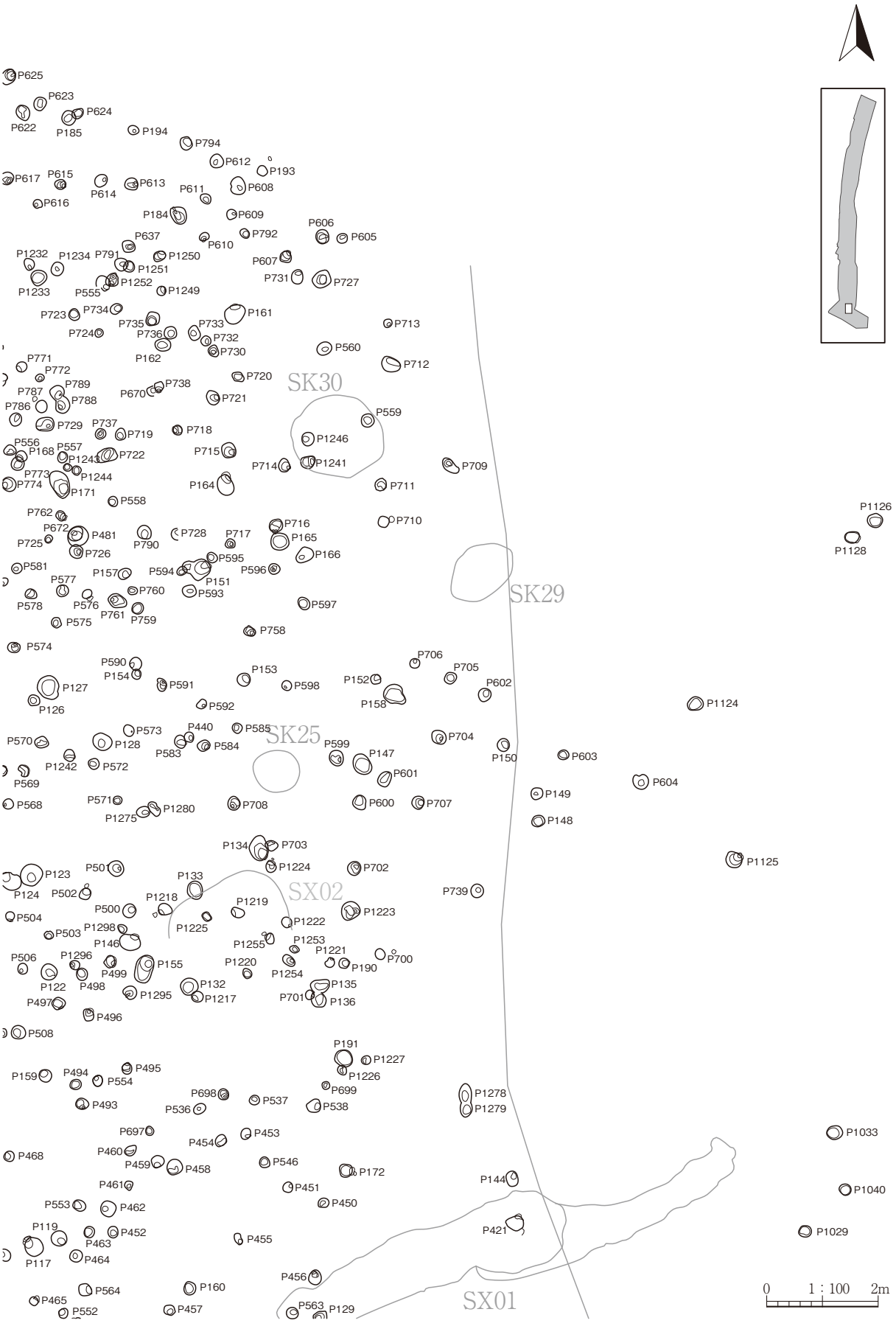
第250図　柱穴状土坑分布図（18）



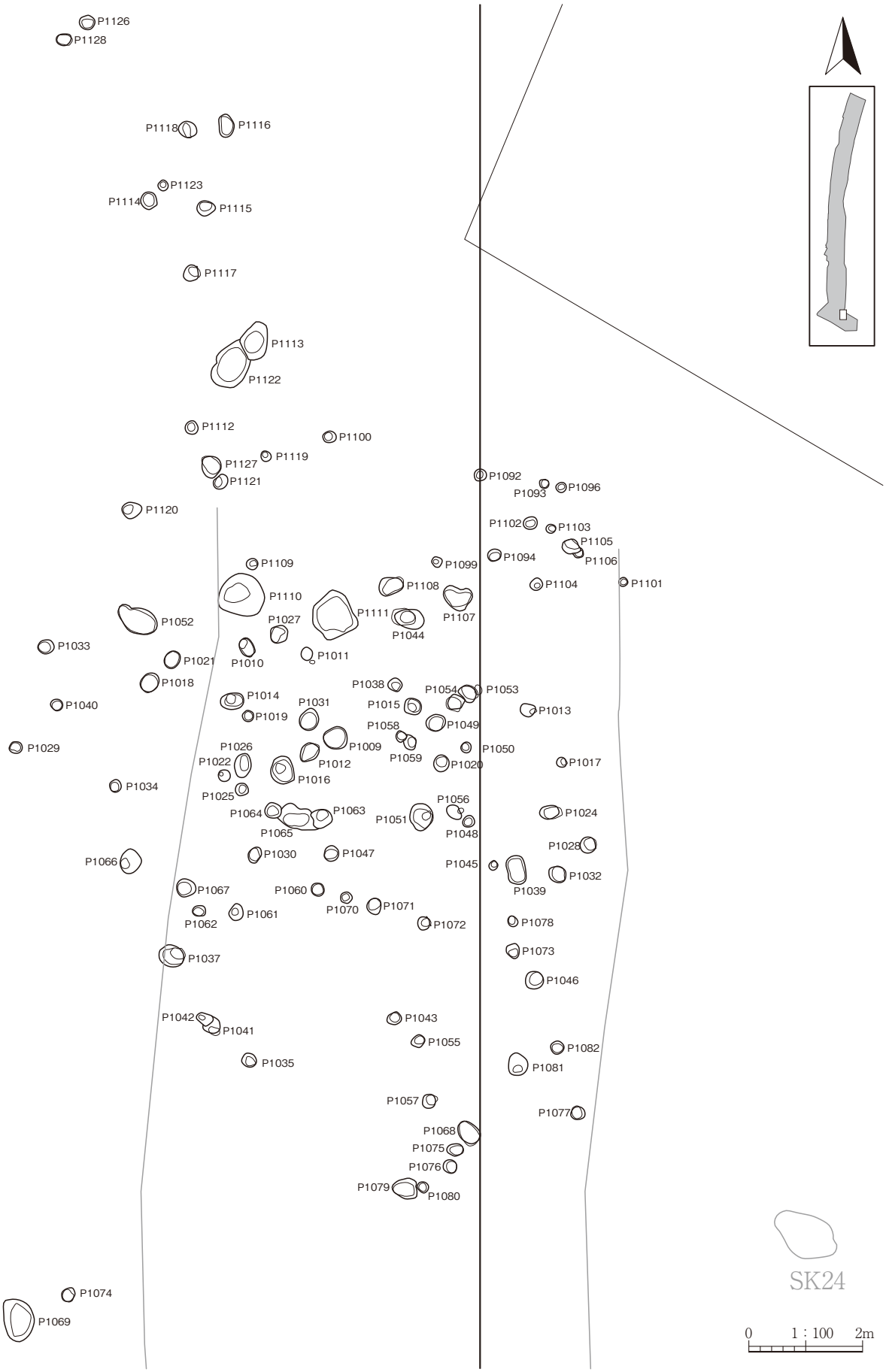
第251図　柱穴状土坑分布図（19）



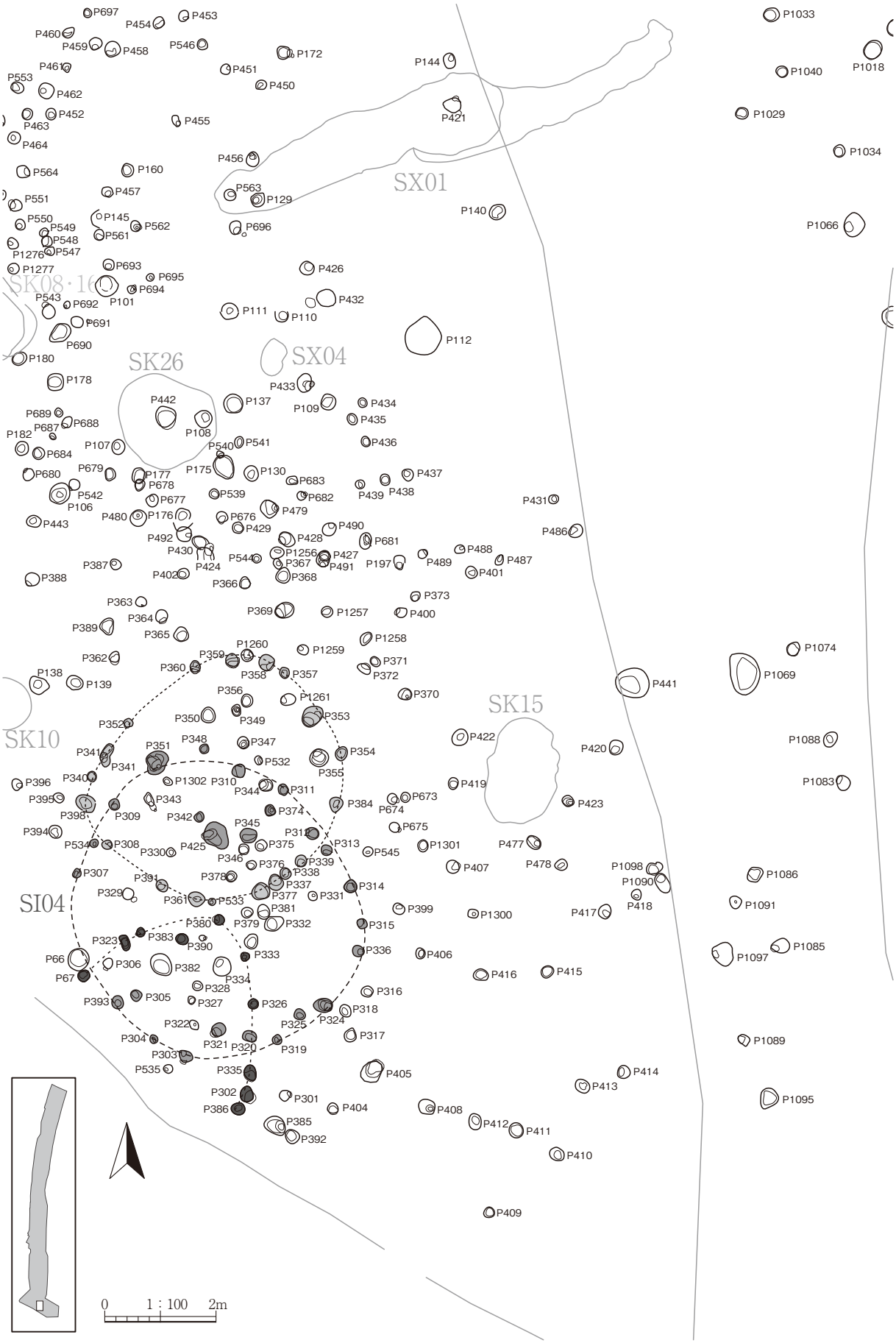
第252図　柱穴状土坑分布図（20）



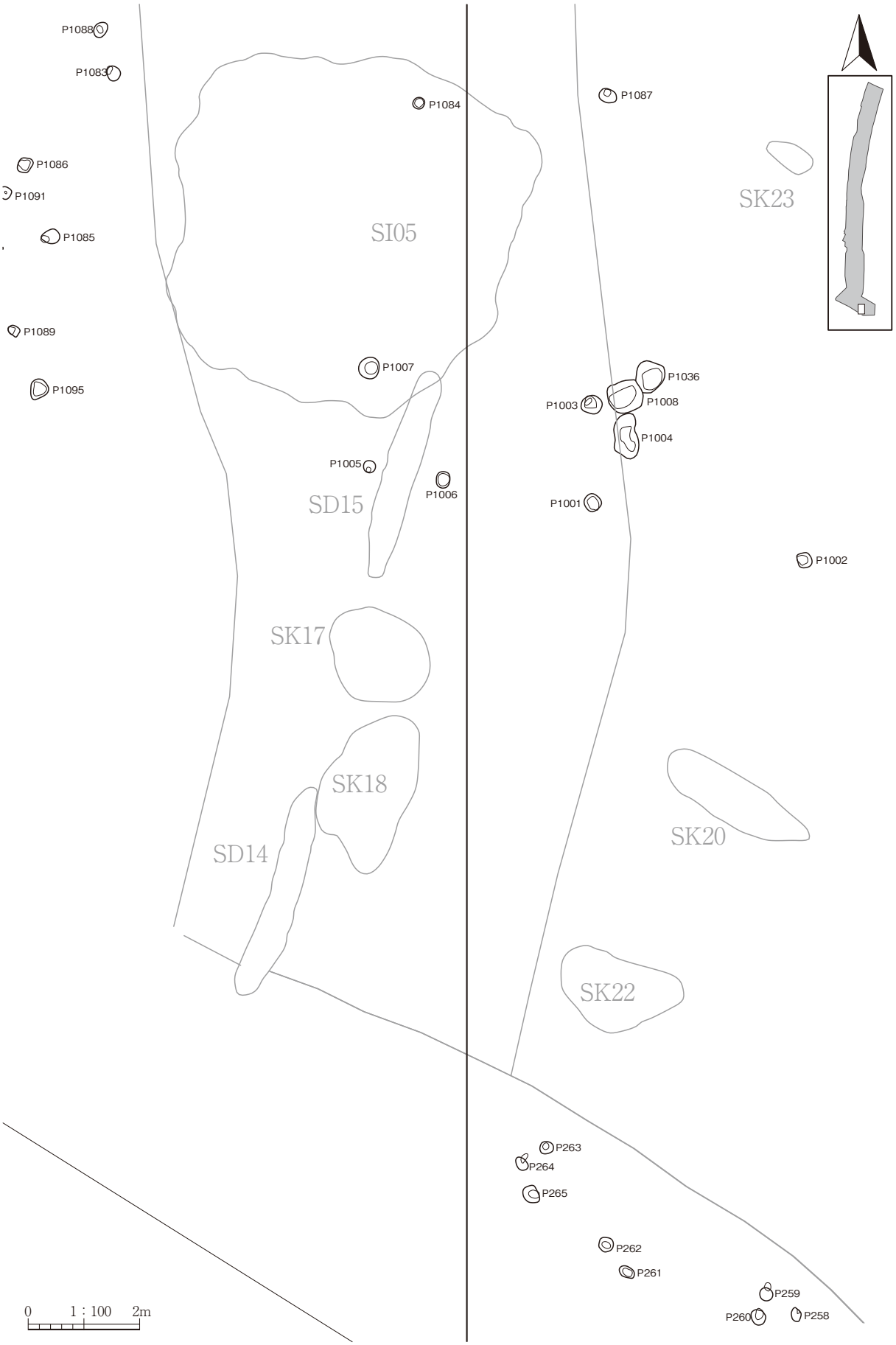
第253図　柱穴状土坑分布図（21）



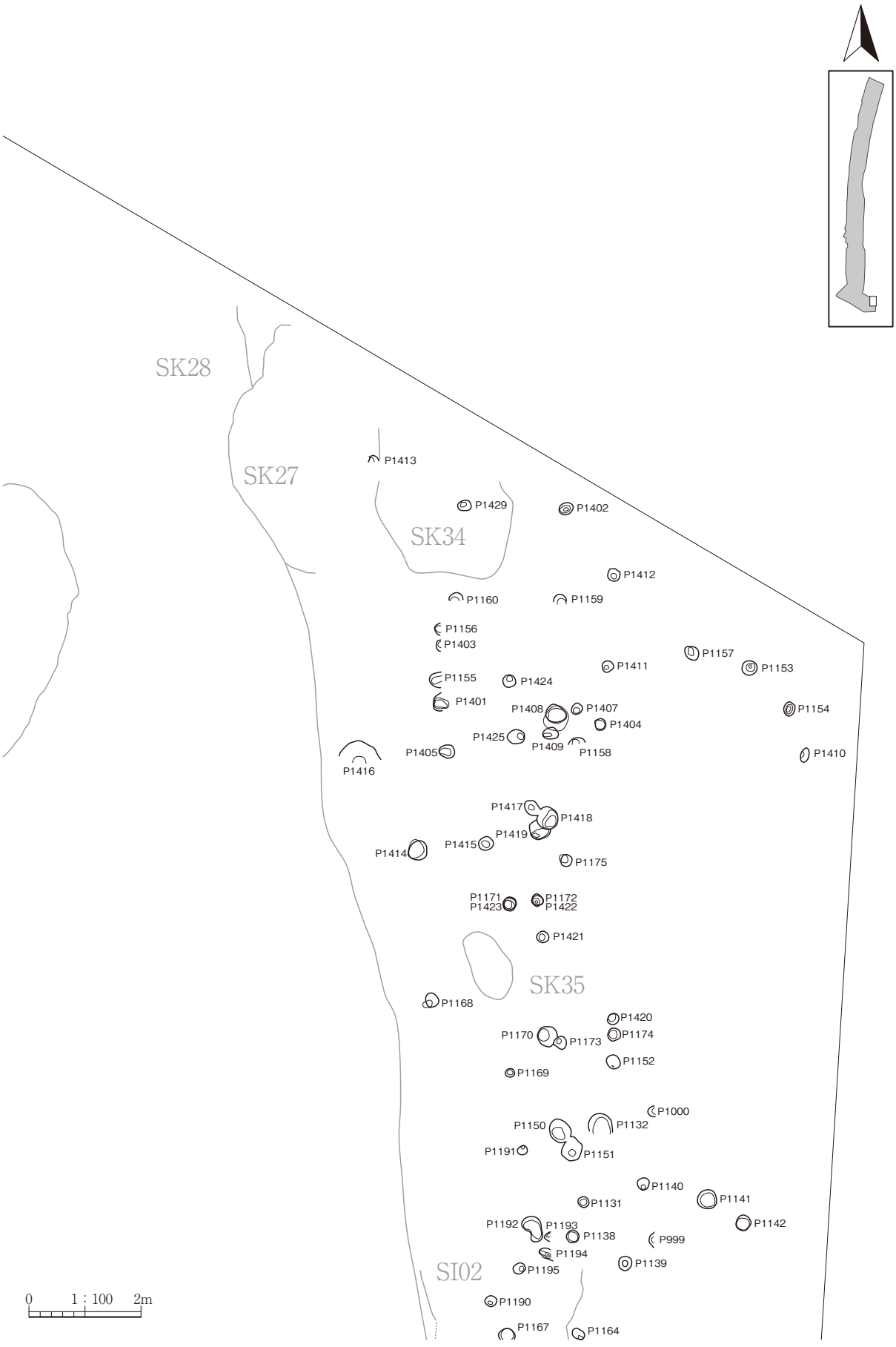
第254図　柱穴状土坑分布図（22）



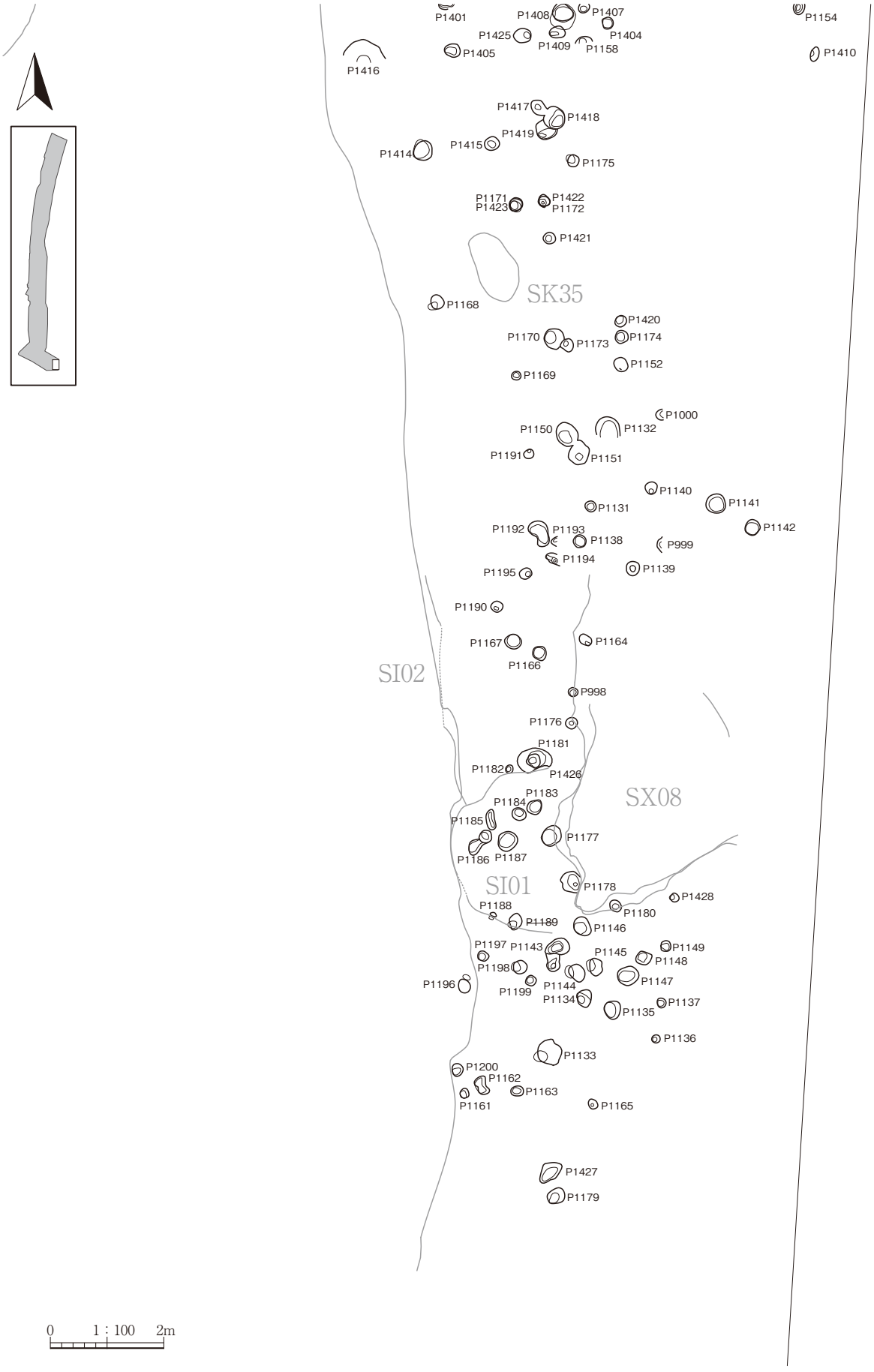
第255図　柱穴状土坑分布図（23）



第256図　柱穴状土坑分布図（24）



第257図　柱穴状土坑分布図（25）



第258図　柱穴状土坑分布図（26）

第６表　縄文時代竪穴住居跡一覧

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI01	遺構図 20	検出面 Ⅳ～Ⅴ層上面	特徴 東半削平　中央石囲炉	平面規模（m） （2.90）×（1.88）	出土遺物	土器重量 縄土器106ｇ	時期　縄文晩期後葉
位置 Ａ区　ⅡB6K他	写真図版 9	形状 円形		深さ（cm） 38		掲載　a1～3	重複 SI02・SX08より新?
SI02	遺構図 21	検出面 Ⅳ～Ⅴ層上面	特徴 プラン不明瞭中央石囲炉内埋設土器	平面規模（m） （2.43）×（3.92）	出土遺物	土器重量 縄土器1311ｇ（周辺含む）	時期　縄文晩期後葉 炭化材AMS測定№12-1
位置 Ａ区　ⅡB6K他	写真図版 10	形状 不明		深さ（cm） 39		掲載　a4、e27	重複 SI01より古？SX08より新?
SI03	遺構図 22	検出面 Ⅴ層（砂層）上面	特徴 楕円形中央地床炉内斜位埋設土器	平面規模（m） 4.85×4.28	出土遺物	土器重量 縄土器1754ｇ	時期　縄文中期中葉 炭化材AMS測定№12-2
位置 Ａ区　ⅡB4n他	写真図版 11	形状 楕円形		深さ（cm） 30～35		掲載　a5～8、e51･54	重複 なし
SI04	遺構図 23	検出面 Ⅴ層上面	特徴 地床炉と埋設土器、柱穴配置からプラン推定（SI04a）　他に２棟分柱穴配置あり（SI04b･c）	平面規模（m） a〈5.4〉×〈4.7〉 b〈4.5〉×〈4.4〉 c（3.6）×（2.8）	出土遺物	土器重量 縄土器401ｇ	時期　縄文晩期後葉 炭化材AMS測定№12-3
位置 Ａ区ⅠB17m他	写真図版 12	形状 円形		深さ　不明		掲載　a9	重複 なし
SI05	遺構図 24	検出面 Ⅴ層上面	特徴 地床炉2基土器埋設炉の可能性	平面規模（m） 6.39×6.13	出土遺物	土器重量 縄土器4251ｇ	時期　縄文中期末
位置 Ａ区　ⅠB20m他	写真図版 13	形状 不整円形～隅丸方形		深さ（cm） 10		掲載　a10～11	重複 なし
SI38	遺構図 25	検出面 Ⅲ層下面	特徴 北壁際Ｃ区内検出不能中央石囲炉内土器設置	平面規模（m） 3.9×（3.2）	出土遺物	土器重量 縄土器1148ｇ	時期　縄文晩期後葉
位置 ＢＣ区　ⅠD15h他	写真図版 14	形状 不整円形		深さ（cm） 不明		掲載　a12～14、e30	重複 SI17・SX79より古

第７表　古代竪穴住居跡一覧（１）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI06	遺構図 26,27	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東3.7南3.8北3.5西3.5		出土遺物	土器重量 古土器15475ｇ、縄土器1970ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀末～10世紀前葉
位置 Ｃ区　ⅠD16l他	写真図版 15	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－18°　－Ｅ	床面積（㎡） 9.43		掲載　b1～17、f1	
SI07	遺構図 28,29,30	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.4南7.9北8.9西8.5		出土遺物	土器重量 古土器137837ｇ、縄土器1456ｇ	時期・特徴 主柱穴4基　井桁状溝群 9世紀前葉
位置 Ｃ区　ⅠD15m他	写真図版 16	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－15°　－Ｅ	床面積（㎡） 55.81		掲載　b18～96、d67～69･101･102･104、e60、f2～5	
SI08	遺構図 31,32,33	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東6.8南7.1北（6.8）西6.5		出土遺物	土器重量 古土器25845ｇ、縄土器750ｇ	時期・特徴 主柱穴6基　西側拡張 カマド対面出入口施設 9世紀代
位置 Ｃ区　ⅠD13l他	写真図版 17	重複 SX18より古か	カマド主軸方位 Ｎ－3°　－Ｅ	床面積（㎡） （46.29）		掲載　b97～114、d100･105、f6～12	
SI09	遺構図 34,35	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東6.4南6.1北5.8西5.8		出土遺物	土器重量 古土器19751ｇ、縄土器254ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 主柱穴4基 9世紀中～後葉
位置 Ｃ区　ⅠD17p他	写真図版 18	重複 SX27より新	カマド主軸方位 Ｎ－17°　－Ｅ	床面積（㎡） 28.07		掲載　b115～135、d70･77･78、e61	
SI10	遺構図 36,37,38	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.1南7.9北7.4西7.6		出土遺物	土器重量 古土器25910ｇ、縄土器1195ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層　主柱穴4基　井桁状溝群　床面焼土 炭化材AMS測定（№12－1） 9世紀前葉
位置 Ｃ区　ⅠD17s他	写真図版 19	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－9°　－Ｅ	床面積（㎡） 54.54		掲載　a15、b136～165、d71･79～87、f13～16	
SI11	遺構図 39	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東4.0南3.0北〈2.9〉西〈3.6〉		出土遺物	土器重量 古土器4467ｇ、縄土器131ｇ	時期・特徴 床面に溝状掘削痕 8世紀後半
位置 Ｃ区　ⅠD15q他	写真図版 20	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－19°　－Ｅ	床面積（㎡） （9.86）		掲載　b166～169	
SI12	遺構図 40	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.2南3.5北3.1西3.0		出土遺物	土器重量 古土器2696ｇ、縄土器228ｇ	時期・特徴 8世紀後半
位置 Ｃ区　ⅠD16r他	写真図版 21	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－19°　－Ｅ	床面積（㎡） 9.51		掲載　b170	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（２）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI13	遺構図 41,42,43	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東5.0南5.3北5.0西5.3		出土遺物	土器重量 古土器16007ｇ、縄土器1186ｇ	時期・特徴 堆積土洪水層中央床面に接する　カマド3基　主柱穴4基 炭化材AMS測定（12－2･3） 9世紀前葉
位置 B区　ⅠD15c他	写真図版 22	重複 なし	カマド主軸方位 N－37°－E N－128°－E	床面積（㎡） 23.88		掲載　b171～199、e45	
SI14	遺構図 44	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東2.0南2.0北2.0西2.2		出土遺物	土器重量 古土器4156ｇ、縄土器158ｇ	時期・特徴 堆積土中に洪水層か カマド2基 9世紀中～後葉
位置 B区　ⅠD16e他	写真図版 23	重複 なし	カマド主軸方位 N－11°－E	床面積（㎡） 3.64		掲載　b200～205	
SI15	遺構図 45	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 東2.3南2.5北2.0西2.4		出土遺物	土器重量 古土器4673ｇ、縄土器136ｇ	時期・特徴 9世紀代
位置 B区　ⅠD17f他	写真図版 24	重複 なし	カマド主軸方位 N－17°－E	床面積（㎡） 4.23		掲載　b206～209、e62	
SI16	遺構図 46,47,48	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東7.3南（6.3）北7.2西（4.3）		出土遺物	土器重量 古土器10431ｇ、縄土器1066ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 主柱穴4基（南東側ずれる） 井桁状溝群 9世紀中～後葉
位置 B区　ⅠC13r他	写真図版 25	重複　SK60より新、 SD19より古、SD21と重複	カマド主軸方位 N－21°－E	床面積（㎡） （48.93）		掲載　a16、b210～225、d106･107、e38、f17	
SI17	遺構図 49	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東2.9南（3.6）北3.1西2.9		出土遺物	土器重量 古土器5517ｇ、縄土器479ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀代
位置 C区　ⅠD16h他	写真図版 26	重複 SI38より新	カマド主軸方位 N－93°－E	床面積（㎡） 9.13		掲載　b226～228、d41	
SI18	遺構図 50	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東（2.8）北（1.6）		出土遺物	土器重量 古土器242ｇ、縄土器14ｇ	時期・特徴 西側大半が調査区外 堆積土上部洪水層
位置 B区　ⅠC13s他	写真図版 26	重複 SD21と重複	カマド主軸方位 －	床面積（㎡） －		掲載	
SI19	遺構図 51,52,53	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東49南5.6北4.9西5.8		出土遺物	土器重量 古土器10224ｇ、縄土器210ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 カマド東側に棚状施設 主柱穴4基 9世紀前葉
位置 B区　ⅠC15j他	写真図版 27	重複 SK67より新	カマド主軸方位 N－11°－E	床面積（㎡） 24.97		掲載　b229～247、d88、f18～23	
SI20	遺構図 54	検出面 SI16掘方内	平面規模（m） 東4.1南2.9北4.0西3.0		出土遺物	土器重量 古土器40ｇ	時期・特徴 掘り方とカマド煙道のみ確認
位置 B区　ⅠC13r他	写真図版 28	重複 SI16より古	カマド主軸方位 N－21°－E	床面積（㎡） 11.39		掲載	
SI21	遺構図 55	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東6.8南7.1北6.7西6.7		出土遺物	土器重量 古土器15032ｇ、縄土器377ｇ	時期・特徴 主柱穴4基　床面焼土群 9世紀前葉
位置 C区　ⅠE17a他	写真図版 29	重複 なし	カマド主軸方位 N－13°－E	床面積（㎡） 44.62		掲載　b248～275、d72～75･98、f24～30	
SI22	遺構図 56,57	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東4.6南（2.2）北（2.0）		出土遺物	土器重量 古土器8167ｇ、縄土器116g	時期・特徴 南半調査区外 堆積土上部洪水層 9世紀代
位置 C区　ⅠE13d他	写真図版 30	重複 なし	カマド主軸方位 N－89°－E	床面積（㎡） （17.42）		掲載　b276～288、f31	
SI23	遺構図 58	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東3.3南2.7北3.3西2.9		出土遺物	土器重量 古土器6405ｇ、縄土器316ｇ	時期・特徴 焼失住居 9世紀代
位置 C区　ⅠE15c他	写真図版 31	重複 SK71より古	カマド主軸方位 N－1°－W	床面積（㎡） 7.86		掲載　b289～293、f32	
SI24	遺構図 59,60,61	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.3南5.2北5.1西5.0		出土遺物	土器重量 古土器11898ｇ、縄土器361ｇ	時期・特徴 主柱穴4基か（南東側ずれる） 床面焼土 9世紀前葉
位置 C区　ⅠE17c他	写真図版 32	重複 なし	カマド主軸方位 N－18°－E	床面積（㎡） 26.19		掲載　b294～314、d89、41･43･59、f33～36	
SI25	遺構図 62	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東（4.8）北5.8西3.4		出土遺物	土器重量 古土器2195ｇ、縄土器489ｇ	時期・特徴 南半削平 カマド脇棚状施設 9世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE17e他	写真図版 33	重複 なし	カマド主軸方位 N－9°－E	床面積（㎡） （29.44）		掲載　a17、b315～319、f37	
SI26	遺構図 63	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.7南3.4北3.6西3.2		出土遺物	土器重量 古土器6286ｇ、縄土器138ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀代
位置 B区　ⅠC19f他	写真図版 34	重複 なし	カマド主軸方位 N－26°－E	床面積（㎡） 11.41		掲載　b320～322	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（３）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI27	遺構図 64	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東〈7.0〉南6.4北6.2西6.2		出土遺物	土器重量 古土器10347ｇ、縄土器603ｇ	時期・特徴 主柱穴3基確認 カマド未確認 9世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE17f他	写真図版 35	重複　SK75より古、 SK57と重複	カマド主軸方位 －	床面積（㎡） （38.09）		掲載　b323～334、f38	
SI28	遺構図 65	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 南（3.5）北（3.1）西5.2		出土遺物	土器重量 古土器1451ｇ、縄土器1668ｇ	時期・特徴 東半調査区外 主柱穴2基確認 9世紀代
位置 C区　ⅡE1b	写真図版 36	重複 なし	カマド主軸方位 N－6°　－E	床面積（㎡） （25.05）		掲載　a18、b335･336、f39～43	
SI29	遺構図 66	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東3.3南（2.9）北（3.1）		出土遺物	土器重量 古土器3153ｇ、縄土器69ｇ	時期・特徴 西端調査区外 堆積土上部洪水層 9世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE18j他	写真図版 37	重複 なし	カマド主軸方位 N－10°　－E	床面積（㎡） （10.26）		掲載　b337～342、ｆ44･45	
SI30	遺構図 67	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 東3.2南3.4北3.4西3.3		出土遺物	土器重量 古土器6062ｇ、縄土器259ｇ	時期・特徴 焼失住居 9世紀前葉
位置 C区　ⅠE20d他	写真図版 38	重複 なし	カマド主軸方位 N－91°　－E	床面積（㎡） 10.17		掲載　ｂ343～349、e53、ｆ46	
SI31	遺構図 68	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東4.6南4.9北4.5西5.1		出土遺物	土器重量 古土器38763ｇ、縄土器1508ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀末～10世紀前葉
位置 C区　ⅠE20f他	写真図版 39	重複 なし	カマド主軸方位 N－7°　－E	床面積（㎡） 22.17		掲載　ｂ350～402、ｄ93、e39、 ｆ47～51	
SI32	遺構図 69	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 東4.1南4.3北4.1西4.2		出土遺物	土器重量 古土器7496ｇ、縄土器287ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 カマド対面出入口施設か 9世紀前半
位置 B区　ⅠC17i他	写真図版 40	重複 SX51より古	カマド主軸方位 N－6°　－E	床面積（㎡） 14.53		掲載　ｂ403～412	
SI33	遺構図 70	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.5南（3.4）北（4.1）		出土遺物	土器重量 古土器13822ｇ、縄土器552g	時期・特徴 西半調査区外　堆積土上部洪水層　主柱穴4基確認 床面井桁状溝群 9世紀末～10世紀前葉
位置 BC区　ⅠD12h他	写真図版 41	重複 なし	カマド主軸方位 N－22°　－E	床面積（㎡） （67.31）		掲載　ｂ413～428、ｆ52	
SI34	遺構図 71	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.9南4.0北4.2西4.1		出土遺物	土器重量 古土器21116ｇ、縄土器749ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 主柱穴4基 9世紀代
位置 BC区　ⅠD13d他	写真図版 42	重複 なし	カマド主軸方位 N－30°　－E	床面積（㎡） 14.89		掲載　ｂ429～453、ｄ108	
SI35	遺構図 72	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東〈2.9〉南2.4北〈2.3〉西2.2		出土遺物	土器重量 古土器1736ｇ、縄土器505ｇ	時期・特徴 8世紀後半
位置 BC区　ⅠD16g他	写真図版 43	重複 SX74より古	カマド主軸方位 N－8°　－W	床面積（㎡） 5.37		掲載　ｂ454～456	
SI36	遺構図 73	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東（3.0）南（2.9）北（3.0）西2.9		出土遺物	土器重量 古土器2307ｇ、縄土器107ｇ	時期・特徴 東端トレンチで消失 8世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE14h他	写真図版 44	重複 なし	カマド主軸方位 N－2°　－E	床面積（㎡） （9.78）		掲載　ｂ457～463、ｄ96･97	
SI37	遺構図 74,75	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.0南〈5.4〉北5.2西5.5		出土遺物	土器重量 古土器8889ｇ、縄土器483ｇ	時期・特徴 主柱穴2基確認 床面平行溝群 8世紀後半
位置 C区　ⅠE14f他	写真図版 45	重複 なし	カマド主軸方位 N－3°　－E	床面積（㎡） 27.29		掲載　ｂ464～472、ｆ53	
SI39	遺構図 76,77	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.4南7.9北8.5西8.1		出土遺物	土器重量 古土器39553ｇ、縄土器8771ｇ	時期・特徴 カマド2基 主柱穴8基2時期分 床面平行溝群 8世紀末～9世紀初頭
位置 D区　ⅠE17l他	写真図版 46	重複 SX89と重複	カマド主軸方位 ①②N－16°　－E	床面積（㎡） 70.10		掲載　ｂ473～500、ｄ11･27、 e299、ｆ54･55	
SI40	遺構図 78,79,80	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.9南5.5北5.9西5.8		出土遺物	土器重量 古土器19144ｇ、縄土器11442ｇ	時期・特徴 カマド2基　主柱穴4基 床面焼土 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　ⅠE17t他	写真図版 47	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－84°　－E ②N－3°　－W	床面積（㎡） 32.10		掲載　a19、ｂ501～526、e240、 ｆ56～66	
SI41	遺構図 81	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東2.5南2.3北2.5西2.4		出土遺物	土器重量 古土器2310ｇ、古土器354ｇ	時期・特徴 堆積土上部礫多量 9世紀代
位置 B区　ⅠC14t他	写真図版 48	重複 SD19より古	カマド主軸方位 N－19°　－W	床面積（㎡） 5.44		掲載　ｂ527～534	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（４）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI42	遺構図 82	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.5南（3.0）北（1.2）		出土遺物	土器重量 古土器4452ｇ、縄土器99ｇ	時期・特徴 東壁際のみ残存 9世紀末～10世紀前葉
位置 B区　Ⅰ C15n 他	写真図版 49	重複 なし	カマド主軸方位 N－87°　－E	床面積（㎡） （25.46）		掲載　b 535～541	
SI43	遺構図 83,84	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 東9.5南9.5北9.6西9.8		出土遺物	土器重量 古土器3990 ｇ、縄土器14478ｇ	時期・特徴 調査区内では最大規模 カマド2基　主柱穴4基3群 拡張　床面井桁状溝群 8世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F20e 他	写真図版 50	重複 なし	カマド主軸方位 ①②N－7°　－E	床面積（㎡） 98.40		掲 載　b 542～549、e103･132、f 68	
SI44	遺構図 85,86	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.6南6.1北5.8西5.3 ※（張出部含東6.8南5.5北5.8西6.4）		出土遺物	土器重量 古土器9360ｇ、縄土器1283ｇ	時期・特徴 南側張出部の性格不明 主柱穴4基 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E16t 他	写真図版 51	重複 なし	カマド主軸方位 N－97°　－E	床面積（㎡） 31.9　※（張出部含38.1）		掲載　b 550～563、e318、 f 67	
SI45	遺構図 87	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 東〈3.4〉南4.0北〈4.0〉西4.0		出土遺物	土器重量 古土器3558ｇ、縄土器2510ｇ	時期・特徴 北東部の一部消失 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E17r 他	写真図版 52	重複 なし	カマド主軸方位 N－15°　－E	床面積（㎡） （11.58）		掲載　b 564～569	
SI47	遺構図 88,89	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.6南3.4北3.6西3.8		出土遺物	土器重量 古土器1941ｇ、縄土器304ｇ	時期・特徴 カマド3基作り替え 主柱穴配置不明 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅰ F15d 他	写真図版 53	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－107°　－E ②N－14°　－E	床面積（㎡） 12.78		掲載　b 570～577	
SI49	遺構図 90	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.3南4.2北3.3西3.3		出土遺物	土器重量 古土器3171ｇ、縄土器606ｇ	時期・特徴 焼失住居 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F16d 他	写真図版 54	重複 なし	カマド主軸方位 N－99°　－E	床面積（㎡） 12.18		掲 載　b 578～586、 d 109、e320、 f 69～72	
SI50	遺構図 91	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.7南4.1北4.1西4.0		出土遺物	土器重量 古土器2498ｇ、縄土器469ｇ	時期・特徴 9世紀代
位置 D区　Ⅰ E15r 他	写真図版 55	重複 SX82より古	カマド主軸方位 N－23°　－E	床面積（㎡） 14.71		掲 載　b 587～592、 d 110、e319、 f 73	
SI51	遺構図 92	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東2.7南2.0北〈3.1〉西〈2.7〉		出土遺物	土器重量 古土器11470ｇ、縄土器602ｇ	時期・特徴 小型　焼失住居 カマド内土器原位置残存 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E15q 他	写真図版 56	重複 なし	カマド主軸方位 N－106°　－E	床面積（㎡） 7.41		掲載　b 593～612、 d 111～115	
SI52	遺構図 93	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東（2.3）南3.1北3.7西2.6		出土遺物	土器重量 古土器5515ｇ、縄土器1247ｇ	時期・特徴 北半消失　新旧2時期重複 カマド2基 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F17c 他	写真図版 57	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－180°　－E ②N－86°　－W	床面積（㎡） （11.00）		掲載　b 613～622	
SI53	遺構図 94	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 南（3.6）北（4.8）西6.8		出土遺物	土器重量 古土器8598ｇ、縄土器5603ｇ	時期・特徴 東半調査区外　堆積土上部洪水層　主柱穴2基確認　床面井桁状溝群 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅱ E1r 他	写真図版 58	重複 なし	カマド主軸方位 N－5°　－E	床面積（㎡） （44.60）		掲 載　b 623～634、 d 31、e257･278･321～323、 f 74～78	
SI54	遺構図 95	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東4.4南（1.3）北（3.0）		出土遺物	土器重量 古土器436ｇ、縄土器977ｇ	時期・特徴 西半調査区外 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅰ E14t 他	写真図版 59	重複 SK94より古	カマド主軸方位 N－23°　－E	床面積（㎡） （18.70）		掲載　b 635～637、 f 79･80	
SI55	遺構図 96	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 東3.5南3.3北3.7西3.4		出土遺物	土器重量 古土器1372ｇ、縄土器329ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E19n 他	写真図版 60	重複 SX85より古	カマド主軸方位 N－17°　－E	床面積（㎡） 12.00		掲載　b 638～640	
SI56	遺構図 97,98	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東〈4.4〉南〈5.5〉北〈5.0〉西〈5.3〉		出土遺物	土器重量 古土器6461ｇ、縄土器18488ｇ	時期・特徴 撹乱により残存状況不良 カマド2基の可能性あり 主柱穴4基2群 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅱ F2g 他	写真図版 61	重複 なし	カマド主軸方位 N－6°　－W	床面積（㎡） （25.80）		掲載　b 641～647、e104	
SI57	遺構図 99	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東〈4.0〉南〈4.1〉北〈4.3〉西〈4.0〉		出土遺物	土器重量 古土器4175ｇ、縄土器2169ｇ	時期・特徴 撹乱により残存状況不良 カマド2基 9世紀代
位置 D区　Ⅱ F2l 他	写真図版 62	重複 SI59より新	カマド主軸方位 ①N－4°　－E ②N－93°　－E	床面積（㎡） （17.70）		掲載　b 648～650、f81･82	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（５）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI58	遺構図 100	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東4.8南5.7北5.5西5.0		出土遺物	土器重量 古土器10967ｇ、縄土器1502ｇ	時期・特徴 床面焼土群 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅰ F20n他	写真図版 63	重複　SI59より新、 SX91より古	カマド主軸方位 N－17°－E	床面積（㎡） 28.91		掲載　a20、b651～665	
SI59	遺構図 101,102,103	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東5.5南6.0北5.5西5.6		出土遺物	土器重量 古土器25954ｇ、縄土器3754ｇ	時期・特徴 カマド2基東壁→北壁作り替え　主柱穴4基 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅱ F1m他	写真図版 64	重複 SI57・58より古	カマド主軸方位 ①N－5°－E ②N－92°－E	床面積（㎡） 30.17		掲　載　b666 ～ 704、d76、e119･251･261、f83～86	
SI60	遺構図 104	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東3.8南4.1北4.1西4.2		出土遺物	土器重量 古土器1706ｇ、縄土器2192ｇ	時期・特徴 堆積土中炭化物層 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F18i他	写真図版 65	重複 なし	カマド主軸方位 N－91°－E	床面積（㎡） 15.37		掲載　b705～709、f87	
SI61	遺構図 105	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東（2.5）南2.3北（2.5）西2.3		出土遺物	土器重量 古土器376ｇ、縄土器11981ｇ	時期・特徴 カマド煙道確認不能
位置 D区　Ⅱ F2b他	写真図版 66	重複 なし	カマド主軸方位 N－10°－W	床面積（㎡） 5.72		掲載　b710、e89･224	
SI62	遺構図 106,107	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東〈4.4〉南〈4.8〉北〈4.6〉西〈4.2〉		出土遺物	土器重量 古土器13855ｇ、縄土器25869ｇ	時期・特徴 カマド3基 主柱穴4基1群確認 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅱ F2k他	写真図版 67	重複 なし	カマド主軸方位 ①②N－92°－E ③N－11－E	床面積（㎡） （18.70）		掲載　a21･22、b711～728、d12	
SI63	遺構図 108	検出面 不明	平面規模（m） 東（2.5）南（2.6）北（2.8）西（2.8）		出土遺物	土器重量 古土器397ｇ、縄土器577ｇ	時期・特徴 住居本体削平 8世紀後半
位置 D区　Ⅰ E17q他	写真図版 68	重複 なし	カマド主軸方位 N－9°－E	床面積（㎡） （8.70）		掲載　a23、b279･730、e273	
SI64	遺構図 109,110,111	検出面 不明	平面規模（m） 東4.8南5.4北5.1西5.2		出土遺物	土器重量 古土器37097ｇ、縄土器402ｇ	時期・特徴 主柱穴4基　pit内埋設土器 9世紀代
位置 F区1次　Ⅱ G4t他	写真図版 69	重複 なし	カマド主軸方位 N－114°－E	床面積（㎡） 25.30		掲　載　b731～768、d94、e324、f88～92	
SI65	遺構図 112	検出面 不明	平面規模（m） 東（3.3）南（3.4）北（2.8）西（4.3）		出土遺物	土器重量 古土器1153ｇ、縄土器136ｇ	時期・特徴 住居本体削平　カマド2基 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E16m他	写真図版 70	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－111°－E ②N－22°－E	床面積（㎡） 11.80		掲載　b769～773	
SI66	遺構図 113	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東3.1南3.3北〈3.5〉西〈3.1〉		出土遺物	土器重量 古土器2856ｇ、縄土器1045ｇ	時期・特徴 主柱穴4基 9世紀代
位置 D区　Ⅰ F18l他	写真図版 71	重複 SI68より新	カマド主軸方位 N－122°－E	床面積（㎡） 11.33		掲載　b774～777	
SI67	遺構図 114	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東4.1南4.6北4.3西3.9		出土遺物	土器重量 古土器5809ｇ、縄土器2573ｇ	時期・特徴 主柱穴4基 9世紀代
位置 D区　Ⅱ F1l他	写真図版 72	重複 SX106より新	カマド主軸方位 N－13°－E	床面積（㎡） 18.15		掲載　b778～784、e288･289	
SI68	遺構図 115	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東3.5南3.4北4.1西3.3		出土遺物	土器重量 古土器4906ｇ、縄土器518ｇ	時期・特徴 床面～下部に礫多量 9世紀前半
位置 D区　Ⅰ F18m	写真図版 73	重複　SI66より古、 SX96と重複	カマド主軸方位 N－13°－W	床面積（㎡） 12.43		掲載　b785～796、d90	
SI69	遺構図 116,117	検出面 F区Ⅶ層	平面規模（m） 東5.1南（1.2）北（1.4）		出土遺物	土器重量 古土器2304ｇ、縄土器175ｇ	時期・特徴 西半調査区外 堆積土上部にTo－aテフラ 9世紀中～後葉
位置 F区1次　Ⅱ G2q他	写真図版 74	重複　SX101より古 SI70・SX102･103より新	カマド主軸方位 N－104°－E	床面積（㎡） （24.10）		掲載　b797～799、f93	
SI70	遺構図 116,117	検出面 F区Ⅶ層	平面規模（m） 東3.4南3.6.北（1.3）西（1.5）		出土遺物	土器重量 古土器5675ｇ、縄土器116ｇ	時期・特徴 重複で残存状況不良 8世紀中～後葉
位置 F区1次　Ⅱ G2q他	写真図版 74	重複　ＳＸ102･103と重複 SI69･SX101･SX141より古	カマド主軸方位 N－6°－W	床面積（㎡） （10.90）		掲載　b800～804、e325	
SI71	遺構図 118,119	検出面 F区Ⅷ層	平面規模（m） 東4.2南（2.3）北（1.9）		出土遺物	土器重量 古土器12874ｇ、縄土器386ｇ	時期・特徴 西半調査区外 堆積土下部礫多量 主柱穴2基確認 9世紀代
位置 F区1次　Ⅱ H4d他	写真図版 75	重複 SX104より新	カマド主軸方位 N－107°－E	床面積（㎡） （16.40）		掲載　b805～814	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（６）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI72	遺構図 120	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.8南3.9北4.3西3.3		出土遺物	土器重量 古土器4541ｇ、縄土器179ｇ	時期・特徴 9世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ G5b 他	写真図版 76	重複 SK149より新	カマド主軸方位 N－93°－E	床面積（㎡） 12.96		掲載　b815～823、d117	
SI73	遺構図 121,122	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.7南4.0北4.1西3.8		出土遺物	土器重量 古土器3946ｇ、縄土器505ｇ	時期・特徴 カマド2基 9世紀前半
位置 E区　Ⅱ G2c 他	写真図版 77	重複 SD43・SX107より古	カマド主軸方位 ①N－111°－E ②N－16°－E	床面積（㎡） 13.55		掲載　b824～834	
SI74	遺構図 123	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.3南3.5北3.1西3.2		出土遺物	土器重量 古土器2792ｇ、縄土器989ｇ	時期・特徴 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　Ⅱ G3a 他	写真図版 78	重複 SK146より新、1UMより古	カマド主軸方位 N－8°－E	床面積（㎡） 10.07		掲載　b835～839、e326	
SI75	遺構図 124	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東4.2南3.4北3.6西3.9 （拡張部含）東4.4南5.0北3.6西3.9		出土遺物	土器重量 古土器12549ｇ、縄土器706ｇ	時期・特徴 東側拡張 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅱ G5c 他	写真図版 79	重複　1UM･2UMより古 SB07より古か	カマド主軸方位 N－2°－E	床面積（㎡） 13.12　※（拡張部含17.99）		掲載　b840～852、e327	
SI76	遺構図 125	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東4.3南4.6北4.7西4.7		出土遺物	土器重量 古土器6680ｇ、縄土器1687ｇ	時期・特徴 主柱穴3基確認 北東部未確認 炭化材 AMS 測定（13－3） 8世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ F2q 他	写真図版 80	重複 なし	カマド主軸方位 N－10°－E	床面積（㎡） 20.06		掲載　b853～862、e300、f94	
SI77	遺構図 126,127	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東7.8南8.1北8.0西7.6		出土遺物	土器重量 古土器10141ｇ、縄土器3148ｇ	時期・特徴 主柱穴4基 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　Ⅱ F3p 他	写真図版 81	重複 SK131・SN38より新	カマド主軸方位 N－6°－E	床面積（㎡） 59.35		掲載　b863～874、d19、f95･96	
SI78	遺構図 128,129	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東4.3南3.8北4.1西4.4		出土遺物	土器重量 古土器10451ｇ、縄土器11ｇ	時期・特徴 焼失住居　主柱穴4基 床面焼土 炭化材 AMS 測定（13－4） 9世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ G4e 他	写真図版 82,83	重複 SI97より新、SB07より古	カマド主軸方位 N－124°－E	床面積（㎡） 16.49		掲載　b875～893、f97	
SI79	遺構図 130	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.6南3.2北3.1西3.4		出土遺物	土器重量 古土器3596ｇ、縄土器ｇ359	時期・特徴 堆積土上部灰白色テフラブロック　カマド2基並列 9世紀中～後葉
位置 E区　Ⅰ F20r 他	写真図版 84	重複 5UMより新	カマド主軸方位 N－110°－E	床面積（㎡） 10.86		掲載　b894～899、d118～125、e328	
SI80	遺構図 131	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（2.3）北（3.2）西6.3		出土遺物	土器重量 古土器5021ｇ、縄土器62ｇ	時期・特徴 東半調査区外 9世紀代
位置 E区　Ⅱ G6c 他	写真図版 85	重複 2UMより古	カマド主軸方位 N－14°－E	床面積（㎡） （24.90）		掲載　b900～906、f98	
SI81	遺構図 132,133,134	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東7.3南7.1北7.1西6.9		出土遺物	土器重量 古土器27457ｇ、縄土器ｇ396	時期・特徴 カマド2基　主柱穴配置不明 床面井桁状溝群 9世紀代
位置 E区　Ⅱ G3f 他	写真図版 85,86	重複 SB07より古	カマド主軸方位 ①N－112°－E ②N－21°－E	床面積（㎡） 44.46		掲載　b907～919、ｃ1･2、e63、f99～101	
SI82	遺構図 135	検出面 不明	平面規模（m） 東〈2.8〉南2.1北〈1.8〉西2.6		出土遺物	土器重量 古土器2718ｇ、縄土器23ｇ	時期・特徴 小型 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅰ F20t 他	写真図版 87	重複 5UMより新	カマド主軸方位 N－115°－E	床面積（㎡） 4.54		掲載　b920～923、d126～128、e128	
SI83	遺構図 136	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（3.1）北（4.2）西〈4.7〉		出土遺物	土器重量 古土器3501ｇ、縄土器295ｇ	時期・特徴 東端調査区外 8世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ F5r 他	写真図版 88	重複 SD35・SX115より古	カマド主軸方位 N－19°－E	床面積（㎡） （20.20）		掲載　b924～932、f102	
SI84	遺構図 137	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東5.0南5.0北〈5.5〉西〈4.8〉		出土遺物	土器重量 古土器9649ｇ、縄土器ｇ342	時期・特徴 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅱ F4t 他	写真図版 89	重複 SD41より古､SX121より新	カマド主軸方位 N－24°－E	床面積（㎡） 24.10		掲載　b933～944	
SI85	遺構図 138	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（0.9）北（0.8）西3.96		出土遺物	土器重量 古土器588ｇ、縄土器39ｇ	時期・特徴 西壁際のみ検出 大半調査区外 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅱ F5t 他	写真図版 90	重複 SD42より古	カマド主軸方位 東壁 N－105°－E	床面積（㎡） （13.80）		掲載　b945	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（７）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI86	遺構図 139	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東5.7南5.1北4.9西5.6		出土遺物	土器重量 古土器1396ｇ、縄土器352ｇ	時期・特徴 住居大半を精査ミスにより削平　焼失住居 9世紀代
位置 E区　ⅠF20p他	写真図版 90	重複 なし	カマド主軸方位 N－90°－E	床面積（㎡） 28.04		掲載　b946～948	
SI87	遺構図 140	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.8南2.8北2.8西2.9		出土遺物	土器重量 古土器10126ｇ、縄土器20ｇ	時期・特徴 焼失住居 カマド内土器原位置残存 8世紀中～後葉
位置 E区　ⅡG6m他	写真図版 91	重複 8UMより新	カマド主軸方位 N－20°－W	床面積（㎡） 7.74		掲載　b949～960、e301	
SI88	遺構図 141	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東（3.6）南3.5北（3.7）西（3.8）		出土遺物	土器重量 古土器3002ｇ、縄土器110ｇ	時期・特徴 煙道削平 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　ⅡG7o他	写真図版 92	重複 なし	カマド主軸方位 N－108°－E	床面積（㎡） （13.70）		掲載　b961～969	
SI89	遺構図 142	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（1.2）北（2.5）西（6.0）		出土遺物	土器重量 古土器4718ｇ	時期・特徴 東半調査区外 推定規模一辺6.8m程度 床面並列溝群 8世紀中～後葉
位置 E区　ⅡG9m他	写真図版 93	重複 SD48より古	カマド主軸方位 N－4°－W	床面積（㎡） （44.30）		掲載　b970～975、c3	
SI90	遺構図 143	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.5南2.4北2.3西2.3		出土遺物	土器重量 古土器1714ｇ、縄土器59ｇ	時期・特徴 小型 9世紀代
位置 E区　ⅡF2r他	写真図版 94	重複 なし	カマド主軸方位 N－25°－E	床面積（㎡） 4.85		掲載　b976･977	
SI91	遺構図 144	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東4.2南4.6北4.6西3.9		出土遺物	土器重量 古土器12120ｇ、縄土器38ｇ	時期・特徴 焼失住居 南壁際に主柱穴2基確認 8世紀中～後葉
位置 E区　ⅡG7l他	写真図版 94,95	重複 ７UMと重複	カマド主軸方位 N－15°－W	床面積（㎡） 16.88		掲載　b978～991	
SI93	遺構図 145	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（0.8）北（1.0）西5.2		出土遺物	土器重量 古土器1312ｇ、縄土器32ｇ	時期・特徴 西壁際のみ検出 大半調査区外 9世紀代
位置 E区　ⅡG10r他	写真図版 95	重複 SK135より新	カマド主軸方位 北壁 N－11°－E	床面積（㎡） （23.90）		掲載　b992～994	
SI94	遺構図 146	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.7南（1.7）北（0.9）		出土遺物	土器重量 古土器6166ｇ	時期・特徴 西半調査区外 8世紀中～後葉
位置 F区2次　ⅡG1o他	写真図版 96,97	重複 なし	カマド主軸方位 北壁 N－10°－E	床面積（㎡） （12.90）		掲載　b995～1000	
SI95	遺構図 147	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東（1.09）北（2.4）西（0.9）		出土遺物	土器重量 古土器3202ｇ	時期・特徴 北東部のみ検出 推定規模一辺3.1m程度 8世紀末～9世紀初頭
位置 F区2次　ⅠG20m他	写真図版 96,97	重複 なし	カマド主軸方位 N－15°－E	床面積（㎡） （9.40）		掲載　b1001～1008	
SI96	遺構図 148	検出面 不明	平面規模（m） 東2.2南2.2北2.2西2.0		出土遺物	土器重量 古土器148ｇ、縄土器63ｇ	時期・特徴 小型 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　ⅠF19t他	写真図版 97	重複 なし	カマド主軸方位 N－15°－E	床面積（㎡） 4.07		掲載　b1009	
SI97	遺構図 149	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.7南2.8北2.8西3.0		出土遺物	土器重量 古土器955ｇ	時期・特徴 カマド2基 8世紀後半
位置 E区　ⅡG5d他	写真図版 98	重複 SI78・SB07より古	カマド主軸方位 ①N－90°－E ②N－9°－W	床面積（㎡） 7.53		掲載　b1010･1011	
SI98	遺構図 150	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東（0.8）南2.9西（1.3）		出土遺物	土器重量 古土器465ｇ	時期・特徴 中村遺跡調査区との境界に位置　中村SI56として調査報告
位置 E区　ⅡH10b他	写真図版 99	重複 なし	カマド主軸方位 不明	床面積（㎡） －		掲載	

第８表　住居状遺構一覧

SKI01	遺構図 151	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　掘り方確認 炭化材・焼土多量に出土	出土遺物	土器重量 古土器942ｇ、 縄土器771ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ D15a 他	写真図版 100	規模 2.08×1.83			掲載　b1012	備考 炭化材 AMS 測定（試料№12-7）
SKI02	遺構図 151	検出面 Ⅲ層	特徴 長方形　底面平坦 中央に付属 pit 2基 北壁際に床面焼土	出土遺物	土器重量 古土器416ｇ、 古土器178ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15s	写真図版 100	規模 3.15×2.28			掲載　b1013･1014	備考
SKI04	遺構図 151	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦 北壁際に付属 pit 1基 堆積土 SKI02 と同相	出土遺物	土器重量 古土器118ｇ、 縄土器105ｇ	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C13t 他	写真図版 100	規模 2.49×2.25				備考 西側床面粘土塊出土
SKI05	遺構図 152	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　壁面直立 掘り方確認　自然堆積	出土遺物	土器重量 古土器800ｇ、 縄土器222ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15r 他	写真図版 100	規模 3.24×3.23			掲載　b1015･1016	備考 北東部床面土器出土
SKI06	遺構図 152	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　壁面やや外傾 掘り方確認　堆積土中位に炭化材集中しその上位に焼成面形成	出土遺物	土器重量 古土器37ｇ、 縄土器753ｇ	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C18o 他	写真図版 101	規模 2.18×2.09				備考
SKI09	遺構図 152	検出面 Ⅱ層	特徴 長方形　西側張り出しスロープ状 南西隅に付属 pit1基	出土遺物	土器重量 古土器549ｇ、 縄土器58ｇ	時期 近世
位置 C区北　Ⅰ E15b 他	写真図版 101	規模 4.30×3.11（張出部含4.51）			掲載　b1017、c29、f103	備考 堆積土中大堀相馬産陶器碗出土
SKI10	遺構図 153	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　東側プランやや丸い 底面壁際落ち込み　掘り方確認	出土遺物	土器重量 古土器4231ｇ	時期 平安
位置 B区南　Ⅰ C17j 他	写真図版 101	規模 3.80×3.32			掲載　b1018～1024	備考
SKI11	遺構図 153	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　自然堆積	出土遺物	土器重量 古土器63ｇ	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C15k	写真図版 101	規模 2.03×1.87				備考

第９表　掘立柱建物跡一覧（１）

SB01	遺構図 154	検出面 Ⅱ層	規模 （2.80）×2.56	出土遺物	土器重量 古土器57ｇ、 縄土器82ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ D13b 他	写真図版 102	形式 2×2間以上　総柱	特徴 柱穴7基　柱間128～140㎝		掲載 b1025･1026	備考・重複
SB02	遺構図 154	検出面 Ⅲ層	規模 3.30×2.70	出土遺物	土器重量 縄土器22ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C17p 他	写真図版 102	形式 2×1間	特徴 柱穴6基　柱間165㎝			備考・重複 pit1～4に柱痕
SB03	遺構図 155	検出面 Ⅲ層	規模 3.75×3.15	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15t 他	写真図版 102	形式 2×1間	特徴 柱穴6基　柱間165～210㎝			備考・重複 pit1～3・5に柱痕
SB04	遺構図 155	検出面 Ⅱ層	規模 3.60×1.50	出土遺物	土器重量 古土器17ｇ	時期 平安
位置 C区北　Ⅰ E16j 他	写真図版 102	形式 2×1間	特徴 柱穴6基　柱間180㎝			備考・重複
SB05	遺構図 155	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	規模 2.40×2.10	出土遺物	土器重量 古土器16ｇ	時期 平安
位置 C区北　Ⅰ E17k 他	写真図版 102	形式 2×2間	特徴 柱穴8基　柱間桁行2分割			備考・重複

第９表　掘立柱建物跡一覧（２）

SB07	遺構図 156	検出面 Ⅴ層	規模 11.40×7.20／38尺×24尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG4e他	写真図版 －	形式 5×1間　南北2面庇	特徴 柱穴12基　柱間7尺・8尺　庇部分4尺			備考・重複 SI78・81・97・SX111・2UMより新 SI75・1UMと重複（新旧不明）
SB08	遺構図 156･157	検出面 Ⅴ層	規模 8.70×4.80／29尺×16尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG5ｆ他	写真図版 －	形式 4×1間	特徴 柱穴7基　柱間7尺・8尺			備考・重複 SB09・10と重複
SB09	遺構図 156･157	検出面 Ⅴ層	規模 9.90×4.80／33尺×16尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG5ｆ他	写真図版 －	形式 4×1間	特徴 柱穴9基　柱間8尺・9尺			備考・重複 SB08・10と重複
SB10	遺構図 156･157	検出面 Ⅴ層	規模 9.90×4.50／33尺×15尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG5ｆ他	写真図版 －	形式 4×1間	特徴 柱穴8基　柱間8尺・9尺			備考・重複 SB08・09と重複

第10表　焼土遺構一覧（１）

SN02	遺構図 158	検出面 Ⅳ～Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.39×0.30	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生
位置 A区　ⅡB4m	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 5			備考
SN04	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.09×0.87	出土遺物	土器重量 縄土器28ｇ	時期 縄文～弥生
位置 C区　Ⅰ D19f他	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 12		掲載　a24	備考 被熱強い　一部攪乱を受ける
SN05	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） (0.13)×(0.20)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 C区　Ⅰ D20h	写真図版 103		楕円形	焼土厚（cm） 2			備考 被熱弱い　南側攪乱を受ける
SN06	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） (0.49)×(0.20)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 C区　Ⅰ D20i他	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 3			備考 被熱弱い　一部攪乱を受ける
SN07	遺構図 158	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.85×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 B区　Ⅰ D17e	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 8			備考 中央攪乱を受ける　SU01より新
SN08	遺構図 158	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.89×0.65	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 B区　Ⅰ D18e他	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 22		掲載　e10	備考 一部攪乱を受ける
SN09	遺構図 158	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.38×0.83	出土遺物	土器重量 縄土器250ｇ	時期 縄文晩期末～弥生初頭
位置 B区　Ⅰ D18d	写真図版 103		石囲炉（楕円形）	焼土厚（cm） 26		掲載　e37･48･50･52	備考
SN10	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.50×0.26	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 C区　Ⅰ D19o	写真図版 104		楕円形	焼土厚（cm） 8			備考 被熱強い　中央還元色
SN11	遺構図 159	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.74×0.54	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 C区　Ⅰ D17o	写真図版 104		楕円形	焼土厚（cm） 5			備考

第10表　焼土遺構一覧（2）

SN13	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） （0.44）×（0.42） 焼土厚（cm） 5	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降 備考 SX23より古
位置 B区　ⅠD17d	写真図版 104						
SN14	遺構図 159	検出面 Ⅱ層	形状・特徴 楕円形	焼成面規模（m） 0.77×0.52 焼土厚（cm） 10	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明 備考
位置 C区　ⅠD18m	写真図版 104						
SN15	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 石囲炉（楕円形）・地床炉（不整形）	焼成面規模（m） 1.30×0.91・0.63×0.54 焼土厚（cm） 21	出土遺物	土器重量 縄土器822ｇ 掲載　a25・26、e28・40・42・47	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 炭化材AMS測定（試料№12－9）
位置 B区　ⅠD20b	写真図版 104						
SN16	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 隅丸方形	焼成面規模（m） 0.61×0.52 焼土厚（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降 備考
位置 B区　ⅡC1t	写真図版 104						
SN17	遺構図 160	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 楕円形	焼成面規模（m） 0.73×0.47 焼土厚（cm） 15	出土遺物	土器重量 縄土器22ｇ	時期 時期不明 備考
位置 C区　ⅠD17h	写真図版 105						
SN18	遺構図 160	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴 楕円形 石囲炉の可能性あり	焼成面規模（m） 0.62×0.35 焼土厚（cm） 6	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生？ 備考 1層：炉石抜取痕か
位置 C区　ⅠD17i	写真図版 105						
SN19	遺構図 160	検出面 Ⅲ層下面	形状・特徴 石囲炉（円形）	焼成面規模（m） 0.88×1.00 焼土厚（cm） 8	出土遺物	土器重量 縄土器8304ｇ 掲載　a27～34、d39、e29・35	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考
位置 C区　ⅠD20h他	写真図版 105						
SN20	遺構図 161	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 0.22×0.15 焼土厚（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 C区北　ⅠE14b	写真図版 105						
SN21	遺構図 161	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 不整形 2ヵ所あり	焼成面規模（m） 0.56×0.48・0.56×0.32 焼土厚（cm） 8	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 B区南　ⅠD17e	写真図版 105						
SN22	遺構図 161	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 1.79×1.03 焼土厚（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし 掲載　e33	時期 縄文～弥生 備考 焼土上面に炭化物広がる
位置 B区南　ⅡC1t他	写真図版 106						
SN23	遺構図 161	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整楕円形	焼成面規模（m） 0.33×0.20 焼土厚（cm） 5	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 B区南　ⅠC20ｊ	写真図版 106						
SN25	遺構図 161	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 0.48×0.46 焼土厚（cm） 3	出土遺物	土器重量 古土器114ｇ、縄土器329ｇ	時期 時期不明 備考
位置 C区北　ⅠD20t他	写真図版 106						
SN26	遺構図 172	検出面 Ⅱ層	形状・特徴 不整形 2ヵ所あり	焼成面規模（m） 0.24×0.14・0.68×0.67 焼土厚（cm） 6	出土遺物	土器重量 古土器89ｇ、縄土器310ｇ	時期 中世？ 備考 SK89と一連の遺構か
位置 C区北　ⅠE20c	写真図版 －						
SN27	遺構図 161	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 0.83×0.40 焼土厚（cm） 8	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 AB区境　ⅠC14c	写真図版 106						

第10表　焼土遺構一覧（3）

SN28	遺構図 161	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.22×0.14	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生
位置 C区北　Ⅰ D20r	写真図版 106		不整形	焼土厚（cm） 8			備考
SN29	遺構図 162	検出面 Ⅱ層	形状・特徴 不整形 2ヵ所あり	焼成面規模（m） 0.29×0.21・ 0.13×0.11	出土遺物	土器重量 古土器26 g	時期 時期不明
位置 C区北　Ⅰ E14h	写真図版 106			焼土厚（cm） 6			備考
SN30	遺構図 162	検出面 SI35床面付近	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.60×0.25	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 BC区境　Ⅰ D16h	写真図版 106		不整形	焼土厚（cm） －			備考
SN33	遺構図 162	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 2.06×1.89	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生
位置 D区南　Ⅰ F19a	写真図版 106		不整形	焼土厚（cm） 5			備考
SN34	遺構図 162	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.33×0.65	出土遺物	土器重量 縄土器23 g	時期 縄文～弥生
位置 D区南　Ⅱ E1t	写真図版 107		不整楕円形	焼土厚（cm） 8			備考
SN36	遺構図 162	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.67×1.34	出土遺物	土器重量 古土器11 g、縄土器416 g	時期 縄文～弥生
位置 D区北　Ⅰ F18e他	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 10		掲載　a35	備考 炭化材AMS測定（試料№13－7）
SN37	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.68×0.70	出土遺物	土器重量 縄土器39 g	時期 古代？
位置 E区南　Ⅱ G1b	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 16			備考
SN38	遺構図 163	検出面 Ⅳ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.71×0.62	出土遺物	土器重量 古土器35 g、縄土器4253 g	時期 古代？
位置 E区南　Ⅱ F3o	写真図版 107		円形	焼土厚（cm） 6		掲載　a36～44	備考 SI77と重複
SN41	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） (0.50)×(0.38)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 E区北　Ⅱ H11a	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 4			備考 14UMより新
SN42	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.94×0.86	出土遺物	土器重量 古土器15 g	時期 古代以降
位置 E区南　Ⅰ F19 r	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 8			備考
SN43	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.52×0.30	出土遺物	土器重量 古土器14 g	時期 古代以降
位置 D区南　Ⅰ E17 n	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 3			備考

第11表　土坑一覧（1）

SK04	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴 底面は壁際が深く中央部浅い	平面規模（m） 0.84×0.82	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区 Ⅰ B12q	写真図版 108	形状 円形		深さ（cm） 15			重複 SD03より新
SK05	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴 底面中央に付属pit（径30cm深さ10cm）	平面規模（m） 1.51×（0.84）	出土遺物	土器重量 縄土器45ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B12p	写真図版 108	形状 円形		深さ（cm） 18			重複 SD03より古
SK06	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.33×1.25	出土遺物	土器重量 縄土器5ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B10q他	写真図版 108	形状 円形		深さ（cm） 57			重複 P33と重複
SK08	遺構図 164	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.87×0.85	出土遺物	土器重量 縄土器76ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B16o	写真図版 108	形状 楕円形		深さ（cm） 39			重複 SK16より新
SK10	遺構図 164	検出面 落ち込みB5層 （Ⅱ～Ⅳ層）	特徴	平面規模（m） 0.94×0.87	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B16n	写真図版 109	形状 円形		深さ（cm） 20			重複
SK11	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.92×0.64	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B14p	写真図版 109	形状 楕円形	底面東側一段低い	深さ（cm） 26			重複
SK12	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 1.56×0.68	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B13r	写真図版 109	形状 楕円形		深さ（cm） 40			重複 SD02と重複
SK13	遺構図 164	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.62×1.29	出土遺物	土器重量 縄土器1ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B16s他	写真図版 109	形状 楕円形		深さ（cm） 32			重複 SK31より新　P192より古
SK14	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.39×1.17	出土遺物	土器重量 古土器8ｇ、縄土器3ｇ	時期 古代以降
位置 A区 Ⅰ B10p	写真図版 110	形状 円形		深さ（cm） 30		掲載　f104	重複
SK15	遺構図 165	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴 底面起伏あり　東側に付属pit（径15～40cm、深さ10cm）	平面規模（m） 1.93×1.23	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B18n	写真図版 110	形状 楕円形		深さ（cm） 27		掲載　e1	重複
SK16	遺構図 165	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 1.95×1.35	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B16o	写真図版 110	形状 楕円形		深さ（cm） 53			重複 SK08より古
SK17	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴 底面中央に付属pit（径20cm深さ13cm）	平面規模（m） 1.95×1.66	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B20l他	写真図版 110	形状 円形		深さ（cm） 20			重複
SK18	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴 底面は起伏あり、南半が深い	平面規模（m） 2.70×1.56	出土遺物	土器重量 縄土器6ｇ	時期 縄文晩期
位置 A区 Ⅰ B20k	写真図版 111	形状 楕円形		深さ（cm） 92		掲載　a45	重複
SK19	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.46×0.98	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B16p	写真図版 111	形状 楕円形		深さ（cm） 38			重複

第11表　土坑一覧（2）

SK20	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.92×0.85	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB2k他	写真図版 111	形状 溝状	底面起伏あり	深さ（cm） 23			重複
SK21	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴 底面中央に付属pit（径15×8、深さ13cm） 南壁オーバーハング	平面規模（m） 1.30×0.41	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB15p他	写真図版 111	形状 溝状		深さ（cm） 38			重複
SK22	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.25×1.32	出土遺物	土器重量 縄土器7ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 ⅡB1j他	写真図版 112	形状 楕円形	底面起伏あり	深さ（cm） 67			重複
SK23	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴 東側深い　壁一部オーバーハング	平面規模（m） 0.88×0.44	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB2m	写真図版 112	形状 楕円形		深さ（cm） 35			重複
SK24	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.21×1.08	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB2n	写真図版 112	形状 楕円形		深さ（cm） 39			重複
SK25	遺構図 166	検出面 落ち込みB6層（Ⅴ層）		平面規模（m） 0.84×0.76	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 A区 ⅠB17r	写真図版 112	形状 円形		深さ（cm） 15			重複
SK26	遺構図 166	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.77×1.65	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB17o	写真図版 113	形状 円形		深さ（cm） 48			重複
SK27	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴 落ち込みＤｃ層（縄文晩期層）より下に形成	平面規模（m） （3.28）×（1.99）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期
位置 A区 ⅡB5o他	写真図版 113	形状 楕円形		深さ（cm） 79			重複 SK28より新
SK28	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴 重複遺構と同時に掘り下げたため全形は不明	平面規模（m） （1.46）×（0.87）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期
位置 A区 ⅡB5o他	写真図版 113	形状 推定楕円形		深さ（cm） 108			重複 SK27より古
SK29	遺構図 166	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.32×0.89	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB18r他	写真図版 113	形状 楕円形		深さ（cm） 17			重複
SK30	遺構図 167	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.66×1.45	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB17s	写真図版 113	形状 円形		深さ（cm） 28			重複
SK31	遺構図 167	検出面 落ち込みB6層（Ⅴ層）	特徴	平面規模（m） （1.55）×0.99	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB16s他	写真図版 114	形状 楕円形		深さ（cm） 55			重複 SK13より古
SK32	遺構図 167	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.73×0.61	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB3n	写真図版 114	形状 円形		深さ（cm） 18			重複
SK33	遺構図 167	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.08×0.97	出土遺物	土器重量 縄土器13ｇ	時期 縄文晩期
位置 A区 ⅠB15o他	写真図版 114	形状 円形		深さ（cm） 48			重複

第11表　土坑一覧（3）

SK34	遺構図 167	検出面 落ち込みＤｄ2層（Ⅳ層）	特徴	平面規模（m） （2.55）×（2.44）	出土遺物	土器重量 縄土器25ｇ	時期 縄文晩期
位置 Ａ区 Ⅱ B6n 他	写真図版 114	形状 円形		深さ（cm） 37			重複
SK35	遺構図 167	検出面 Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.29×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期
位置 Ａ区 Ⅱ B6m	写真図版 114	形状 楕円形	南側深い	深さ（cm） 65			重複
SK36	遺構図 167	検出面 Ⅱ層	特徴 撹乱により全体形状不明	平面規模（m） （0.64）×（0.45）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 Ｃ区 Ⅰ D18g	写真図版 115	形状 不明		深さ（cm） 19			重複
SK37	遺構図 167	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 1.26×1.18	出土遺物	土器重量 縄土器217ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D17h	写真図版 115	形状 円形	壁面直立	深さ（cm） 41			重複
SK38	遺構図 167	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.90×0.87	出土遺物	土器重量 古土器89ｇ、縄土器379ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D18i 他	写真図版 115	形状 円形		深さ（cm） 20		掲載　a46	重複
SK39	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.75×0.61	出土遺物	土器重量 古土器20ｇ	時期 古代以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D17j	写真図版 115	形状 楕円形		深さ（cm） 18			重複
SK41	遺構図 168	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 2.30×0.70	出土遺物	土器重量 古土器85ｇ	時期 古代以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D12k 他	写真図版 116	形状 溝状	底面平坦	深さ（cm） 23			重複
SK42	遺構図 168	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 1.79×1.76	出土遺物	土器重量 古土器380ｇ、縄土器14ｇ	時期 古代以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D13i 他	写真図版 116	形状 円形		深さ（cm） 56		掲載　f105･106	重複 SD17より新
SK44	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.59×1.10	出土遺物	土器重量 縄土器153ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D15d	写真図版 116	形状 楕円形		深さ（cm） 23			重複
SK45	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に浅い付属pit（深さ10cm）2層が柱痕跡の可能性あり	平面規模（m） 1.69×1.31	出土遺物	土器重量 古土器17ｇ、縄土器313ｇ	時期 古代以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D14d 他	写真図版 116	形状 円形		深さ（cm） 58			重複
SK46	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.28×1.20	出土遺物	土器重量 縄土器142ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D19b 他	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 51			重複
SK47	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴 Ⅲ層起源褐色土ブロック多い	平面規模（m） 1.22×1.03	出土遺物	土器重量 縄土器9ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D17c	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 34			重複
SK48	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に付属pit（深さ16cm）　堆積土中位に礫含む	平面規模（m） 1.03×0.99	出土遺物	土器重量 縄土器15ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D16c	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 43			重複 SK49と重複
SK49	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.05×0.93	出土遺物	土器重量 縄土器18ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D16c	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 29			重複 SK48と重複

第11表　土坑一覧（4）

SK50	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.69×1.18	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 B区 Ⅰ D19e他	写真図版 118	形状 長方形		深さ（cm） 56			重複
SK51	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面起伏あり　褐色洪水砂で埋没	平面規模（m） 1.21×0.87	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C17r	写真図版 118	形状 長方形		深さ（cm） 12			重複
SK52	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 堆積土中位に礫含む	平面規模（m） 1.04×0.88	出土遺物	土器重量 古土器31ｇ、縄土器760ｇ	時期 古代以降
位置 B区 Ⅰ D15c他	写真図版 118	形状 円形		深さ（cm） 34			重複
SK53	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 堆積土中位に径5～20cm大の礫多数	平面規模（m） 1.63×0.94	出土遺物	土器重量 古土器358ｇ、縄土器41ｇ	時期 古代
位置 C区 Ⅰ D19q	写真図版 118	形状 長方形		深さ（cm） 48		掲載　b1027･1028	重複 SK54より古
SK54	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央部に複数の窪み	平面規模（m） 1.31×1.09	出土遺物	土器重量 古土器535ｇ、縄土器5ｇ	時期 古代
位置 C区 Ⅰ D19q	写真図版 119	形状 長方形		深さ（cm） 27		掲載　b1029	重複 SK53より新
SK55	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.44×1.24	出土遺物	土器重量 縄土器218ｇ	時期 縄文以降
位置 C区 Ⅰ D15l	写真図版 119	形状 円形		深さ（cm） 25			重複
SK56	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.02×0.91	出土遺物	土器重量 古土器15ｇ	時期 古代以降
位置 B区 Ⅰ C15n	写真図版 119	形状 方形		深さ（cm） 16			重複
SK57	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 1.28×0.72	出土遺物	土器重量 縄土器16ｇ	時期 縄文以降
位置 C区 Ⅰ D17i	写真図版 119	形状 楕円形		深さ（cm） 22			重複
SK58	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 炭化材細片を全体に含む	平面規模（m） 1.21×0.94	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 C区 Ⅰ D17i	写真図版 120	形状 楕円形		深さ（cm） 11			重複
SK59	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 底面起伏あり　炭化材細片を全体に含む	平面規模（m） 1.62×1.06	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 C区 Ⅰ D16i他	写真図版 120	形状 楕円形		深さ（cm） 35			重複
SK60	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.63×1.56	出土遺物	土器重量 縄土器3ｇ	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C14r	写真図版 120	形状 方形		深さ（cm） 20			重複 SI16より古
SK61	遺構図 170	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴	平面規模（m） (1.17)×(1.53)	出土遺物	土器重量 古土器63ｇ、縄土器106ｇ	時期 古代以降
位置 C区 Ⅰ D15l他	写真図版 120	形状 円形		深さ（cm） 55			重複
SK62	遺構図 170	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.41×1.40	出土遺物	土器重量 古土器30ｇ、縄土器827ｇ	時期 古代
位置 C区 Ⅰ D16k他	写真図版 121	形状 円形		深さ（cm） 32		掲載　b1030	重複
SK64	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.95×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 B区 Ⅰ C15k	写真図版 121	形状 円形		深さ（cm） 19			重複

第11表　土坑一覧（5）

SK65	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 西側堆積土下部に炭化物･焼土ブロックあり　底面西側一段低い	平面規模（m） 1.72×1.17	出土遺物	土器重量 古土器414ｇ、縄土器67ｇ	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C13o他	写真図版 121	形状 長方形		深さ（cm） 43		掲載　b1031～1034	重複
SK66	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 底面凹凸激しい　本来の検出面より下面で確認	平面規模（m） 1.84×1.43	出土遺物	土器重量 古土器9ｇ、縄土器26ｇ	時期 古代以降
位置 B区 Ⅰ D17f他	写真図版 121	形状 楕円形		深さ（cm） 89			重複
SK67	遺構図 171	検出面 Ⅱ層	特徴 底面溝状の起伏あり	平面規模（m） （1.62）×1.47	出土遺物	土器重量 古土器2ｇ	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C15j	写真図版 122	形状 長方形		深さ（cm） 37			重複 SI19より古
SK68	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 上面に小礫が集積	平面規模（m） 1.50×1.08	出土遺物	土器重量 縄土器23ｇ	時期 縄文以降
位置 B区 Ⅰ C16t	写真図版 122	形状 楕円形		深さ（cm） 30			重複
SK69	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央が盛り上がる	平面規模（m） 1.64×1.17	出土遺物	土器重量 古土器14ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ E13b他	写真図版 122	形状 楕円形		深さ（cm） 43			重複
SK70	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 東側深い	平面規模（m） 2.68×1.60	出土遺物	土器重量 縄土器492ｇ	時期 縄文以降
位置 C区北 Ⅰ E13b他	写真図版 122	形状 楕円形		深さ（cm） 38			重複
SK71	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.91×0.78	出土遺物	土器重量 古土器116ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ E15c	写真図版 123	形状 円形		深さ（cm） 21			重複 SI23より新
SK72	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に付属pit（深さ7cm）	平面規模（m） 0.74×0.65	出土遺物	土器重量 古土器177ｇ、縄土器71ｇ	時期 古代
位置 C区北 Ⅰ E17ｇ	写真図版 123	形状 円形		深さ（cm） 29		掲載　b1035	重複
SK73	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面南側の一部低い	平面規模（m） 0.74×0.70	出土遺物	土器重量 古土器79ｇ、縄土器4ｇ	時期 古代
位置 C区北 Ⅰ E17h他	写真図版 123	形状 円形		深さ（cm） 26		掲載　b1036･1037	重複
SK74	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.73×0.54	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 C区北 Ⅰ E17ｇ	写真図版 123	形状 楕円形		深さ（cm） 15			重複
SK75	遺構図 171	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 3.65×1.05	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ E18f他	写真図版 124	形状 溝状		深さ（cm） 35			重複 ＳＩ27より新
SK77	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に楕円形の窪み　上面に炭化物含む	平面規模（m） 1.42×1.34	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 B区南 Ⅰ C16d	写真図版 124	形状 方形		深さ（cm） 43			重複
SK83	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） （1.26）×1.18	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 B区南 Ⅰ C17g他	写真図版 124	形状 方形		深さ（cm） 15			重複 SX55より古
SK89	遺構図 172	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴 SN26と一連の遺構か　渡来銭一括出土	平面規模（m） 2.52×2.26	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 中世初頭
位置 C区北 Ⅰ E20c他	写真図版 124･125	形状 方形		深さ（cm） 66		掲載　f78～82	重複

第11表　土坑一覧（6）

SK90	遺構図 172	検出面 Ⅱ層	特徴 SK91の堆積土に似る	平面規模（m） 0.87×0.57	出土遺物	土器重量 古土器25ｇ、縄土器3ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ D20t	写真図版 125	形状 楕円形		深さ（cm） 22		掲載　b1038	重複
SK91	遺構図 172	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴 下端平面記録欠落　SK90の堆積土に似る	平面規模（m） 0.58×0.51	出土遺物	土器重量 古土器4ｇ、縄土器6ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ D20t	写真図版 125	形状 円形		深さ（cm） 21			重複
SK92	遺構図 172	検出面 Ⅲ層	特徴 堆積土上部に遺物多く含む	平面規模（m） 2.15×1.06	出土遺物	土器重量 縄土器1885ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅰ E17t他	写真図版 125	形状 楕円形		深さ（cm） 15		掲載　a47、e64	重複
SK94	遺構図 172	検出面 SI54内	特徴	平面規模（m） 1.07×1.05	出土遺物	土器重量 縄土器60ｇ	時期 古代以降
位置 D区南 Ⅰ E14t	写真図版 126	形状 円形		深さ（cm） 25			重複 SI54より新
SK95	遺構図 172	検出面 Ⅲ層	特徴 底面は起伏激しい	平面規模（m） 1.00×0.71	出土遺物	土器重量 古土器72ｇ、縄土器1ｇ	時期 古代以降
位置 D区南 Ⅰ E20p他	写真図版 126	形状 楕円形		深さ（cm） 18			重複
SK96	遺構図 172	検出面 Ⅲ層	特徴 壁面下部直立　堆積土上部に灰白色テフラブロック含む	平面規模（m） 2.66×2.56	出土遺物	土器重量 古土器2140ｇ、縄土器2066ｇ	時期 古代
位置 D区南 Ⅰ F18b	写真図版 126	形状 円形		深さ（cm） 156		掲載　a48、b1039～1044、e241	重複
SK97	遺構図 173	検出面 Ⅲ層	特徴 北東壁際上部から炭化材出土	平面規模（m） 1.64×1.22	出土遺物	土器重量 縄土器11ｇ	時期 古代
位置 D区南 Ⅰ F16c	写真図版 126	形状 楕円形		深さ（cm） 37			重複
SK99	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 人骨１体出土　底面に赤色顔料散布	平面規模（m） 1.14×0.67	出土遺物	土器重量 縄土器203ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅱ F1a他	写真図版 127	形状 楕円形		深さ（cm） 16		掲載　a49	重複
SK100	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布	平面規模（m） 0.75×0.56	出土遺物	土器重量 縄土器40ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅱ E1t	写真図版 127	形状 楕円形		深さ（cm） 17		掲載　e133･163	重複
SK101	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 人骨１体出土　底面に赤色顔料散布	平面規模（m） 1.19×0.56	出土遺物	土器重量 縄土器592ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅱ F1a他	写真図版 128	形状 楕円形		深さ（cm） 26		掲載　a50･51、e65	重複
SK102	遺構図 173	検出面 Ⅳc層	特徴 上面に小礫が集積	平面規模（m） 0.65×0.45	出土遺物	土器重量 縄土器1100ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅰ E19t	写真図版 128	形状 楕円形		深さ（cm） 17		掲載　a52、e134･164･262	重複
SK104	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布	平面規模（m） (0.66)×(0.48)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅰ E18s他	写真図版 128	形状 楕円形		深さ（cm） 8			重複
SK105	遺構図 173	検出面 Ⅴ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 2.05×1.32	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 F区1次 Ⅱ H4c	写真図版 129	形状 楕円形		深さ（cm） 58			重複 SD31・32より古
SK106	遺構図 174	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布	平面規模（m） (0.62)×(0.50)	出土遺物	土器重量 古土器10ｇ、縄土器37ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F1c	写真図版 129	形状 楕円形		深さ（cm） 21			重複

第11表　土坑一覧（7）

SK107	遺構図 174	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布　撹乱により全体形状不明	平面規模（m） （0.82）×（0.70）	出土遺物	土器重量 縄土器16ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F2h他	写真図版 129	形状 楕円形		深さ（cm） 10			重複
SK109	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴 自然堆積　上位～中位に礫多い	平面規模（m） 4.86×4.44	出土遺物	土器重量 古土器12423ｇ、縄土器771ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅰ F18k他	写真図版 129	形状 円形		深さ（cm） 188		掲載　a53、b1045～1057、e190･275･329	重複 SK112より新
SK110	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.19×0.72	出土遺物	土器重量 縄土器24ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅰ F19k他	写真図版 130	形状 長方形		深さ（cm） 12			重複
SK111	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴 焼土粒含む	平面規模（m） 1.06×0.58	出土遺物	土器重量 縄土器129ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅰ F18l	写真図版 130	形状 長方形		深さ（cm） 9			重複
SK112	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.49×1.12	出土遺物	土器重量 縄土器4ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅰ F18k	写真図版 130	形状 円形		深さ（cm） 21			重複 SK109より古
SK113	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.32×1.03	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅰ F19m	写真図版 130	形状 長方形		深さ（cm） 36			重複
SK116	遺構図 175	検出面 Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.50×1.45	出土遺物	土器重量 縄土器25ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F1h	写真図版 131	形状 円形		深さ（cm） 38		掲載　e242	重複
SK117	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） （1.08）×0.87	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F3i他	写真図版 131	形状 円形		深さ（cm） 20			重複
SK118	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴 焼土粒含む	平面規模（m） 0.75×0.52	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F3i	写真図版 131	形状 円形		深さ（cm） 34			重複
SK119	遺構図 175	検出面 Ⅳc層	特徴 底面に赤色顔料散布　撹乱により全体形状不明	平面規模（m） （1.11）×（0.72）	出土遺物	土器重量 縄土器25ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F2i	写真図版 131	形状 楕円形		深さ（cm） 16			重複
SK121	遺構図 175	検出面 Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 0.66×0.52	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F2n	写真図版 132	形状 円形		深さ（cm） 13			重複
SK122	遺構図 175	検出面 Ⅳ層	特徴 底面中央に付属pit（深さ13cm）	平面規模（m） 0.56×0.43	出土遺物	土器重量 縄土器17ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F3n	写真図版 132	形状 楕円形		深さ（cm） 23			重複
SK126	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 〈1.68〉×0.94	出土遺物	土器重量 古土器18ｇ	時期 中世初頭
位置 E区北 Ⅱ G6m	写真図版 132	形状 長方形		深さ（cm） 21			重複 SD30より新
SK127	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴 底面東側一段低い	平面規模（m） 1.41×0.42	出土遺物	土器重量 古土器1623ｇ、縄土器20ｇ	時期 古代
位置 E区北 Ⅱ G7h	写真図版 132	形状 長方形		深さ（cm） 48		掲載　b1058～1062	重複

第11表　土坑一覧（8）

SK128	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴 底面東側一部焼成面あり	平面規模（m） 1.13×0.49	出土遺物	土器重量 古土器683ｇ	時期 古代
位置 E区北 Ⅱ G6g	写真図版 133	形状 長方形		深さ（cm） 18		掲載　b1063	重複
SK130	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴 底面北半低い	平面規模（m） （1.27）×（0.75）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 E区北 Ⅱ G8l他	写真図版 133	形状 溝状		深さ（cm） 13			重複 SD30より古
SK131	遺構図 176	検出面 SI77内	特徴	平面規模（m） 0.95×0.72	出土遺物	土器重量 縄土器17ｇ	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ F3p	写真図版 133	形状 楕円形		深さ（cm） 32			重複 SI77より古
SK133	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴 底面に礫	平面規模（m） 3.28×3.00	出土遺物	土器重量 古土器304ｇ	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G3g他	写真図版 133	形状 円形		深さ（cm） 68		掲載　c4･5	重複
SK134	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.95×2.72	出土遺物	土器重量 古土器117ｇ	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G4h他	写真図版 133	形状 円形		深さ（cm） 45		掲載　c6、e330	重複
SK135	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） （1.97）×（0.85）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区北 Ⅱ G10ｒ	写真図版 134	形状 楕円形		深さ（cm） 30			重複 SI93より古
SK136	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.82×1.68	出土遺物	土器重量 古土器3ｇ、縄土器199ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ F4r	写真図版 134	形状 方形		深さ（cm） 45			重複 SK137より新
SK137	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.31×（1.15）	出土遺物	土器重量 縄土器10ｇ	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ F4r他	写真図版 134	形状 円形		深さ（cm） 33			重複 SK136より古
SK138	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴 底面に礫	平面規模（m） 3.38×2.66	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G3g他	写真図版 134･135	形状 方形		深さ（cm） 26		掲載　f107～109	炭化材AMS測定(試料№13－6)
SK141	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.71×2.45	出土遺物	土器重量 古土器47ｇ	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G3h	写真図版 135	形状 楕円形		深さ（cm） 40			重複
SK142	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.51×1.14	出土遺物	土器重量 古土器95ｇ、縄土器4ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ G2a	写真図版 135	形状 長方形		深さ（cm） 66			重複 SD38より古、6UMより新
SK143	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.19×0.62	出土遺物	土器重量 古土器23ｇ	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G1b	写真図版 135	形状 楕円形		深さ（cm） 63			重複
SK144	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.79×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G3b	写真図版 136	形状 円形		深さ（cm） 26			重複
SK145	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.82×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G2b	写真図版 136	形状 円形		深さ（cm） 16			重複

第11表　土坑一覧（9）

SK146	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） （1.42）×1.16	出土遺物	土器重量 古土器70ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ G3a	写真図版 136	形状 円形		深さ（cm） 35		掲載　b1064	重複 SI74より古、6UMより新
SK147	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.53×（1.10）	出土遺物	土器重量 縄土器36ｇ	時期 不明
位置 E区北 Ⅱ H11a他	写真図版 136	形状 楕円形		深さ（cm） 65		掲載　a54･55	重複
SK148	遺構図 178	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に付属pit 2基　下部外周に 裏込状堆積層	平面規模（m） 4.54×3.82	出土遺物	土器重量 古土器4862ｇ、縄土器2017ｇ	時期 古代
位置 D区南 Ⅰ F15c他	写真図版 137	形状 円形		深さ（cm） 163		掲載　a56～58、b1065～1072	重複
SK149	遺構図 178	検出面 Ⅴ層	特徴 底面東側～中央に 薄く炭化物	平面規模（m） 1.85×1.74	出土遺物	土器重量 古土器187ｇ、縄土器66ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ G6b他	写真図版 137	形状 方形		深さ（cm） 23		掲載　b1073～1075	重複 SI72より古
SK150	遺構図 178	検出面 Ⅴ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 2.01×0.78	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G5c	写真図版 137	形状 溝状		深さ（cm） 40			重複 2UMより古

第12表　焼成遺構一覧（1）

SX01	遺構図 179	形状 楕円形　全形不明 底面東側深い 東壁オーバーハング	焼成面 BB'1層炭層　2層焼成面 5層馬蹄形状の焼成面	平面規模（m） （1.77）×1.40	出土遺物	土器重量 縄土器80ｇ	時期 縄文?
位置 A区　Ⅰ B18p	写真図版 138			深さ（cm） 60～110			SD13と重複 炭化物AMS測定 （試料№11－4）
検出面　落ち込みB4～5層（Ⅱ～Ⅳ層）							
SX02	遺構図 179	形状 円形 検出時南半消失 底面起伏あり	焼成面 焼成面撹乱で分断 炉壁状の部分あり	平面規模（m） （2.17）×（1.64）	出土遺物	土器重量 出土なし 掲載　d140・141	時期 縄文?
位置 A区　Ⅰ B17q	写真図版 138			深さ（cm） 20			重複・備考 炭化物AMS測定 （試料№11－5）
検出面　落ち込みB4層（Ⅱ～Ⅳ層）							
SX04	遺構図 180	形状 不整楕円形 底面に小穴	焼成面 南～東壁面断続的な焼成面	平面規模（m） 0.64×0.40	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 A区　Ⅰ B17o	写真図版 138			深さ（cm） 15			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX05	遺構図 180	形状 円形	焼成面 壁面全周断続的な焼成面 底面に炭層	平面規模（m） （0.38）×0.35	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文
位置 A区　Ⅰ B16r	写真図版 138			深さ（cm） 10			重複・備考
検出面　落ち込みB6層（Ⅴ層）							
SX07	遺構図 180	形状 円形 壁は全周立ち上がる	焼成面 底面中央に焼成面	平面規模（m） 1.19×（1.04）	出土遺物	土器重量 古土器118ｇ 掲載　b1076･1077	時期 平安
位置 A区　Ⅰ B8q	写真図版 139			深さ（cm） 20			重複・備考 SD11より古
検出面　Ⅴ層							
SX09	遺構図 180	形状 隅丸長方形	焼成面 壁面焼成面被熱強 2層直上に薄い焼成面 2層炭層	平面規模（m） 1.10×0.73	出土遺物	土器重量 古土器194ｇ、縄土器83ｇ 掲載　b1078	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D16i	写真図版 139			深さ（cm） 28			重複・備考
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（2）

SX10	遺構図 180	形状 隅丸長方形	焼成面 底面焼成面（9層） 直上に炭層（5層）	平面規模（m） 1.05×0.63	出土遺物	土器重量 古土器5166ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D15i	写真図版 139			深さ（cm） 18		掲載　b1079～1084	重複・備考 底面付近～下層に多量の土器剥片
検出面　Ⅱ層							
SX11	遺構図 181	形状 隅丸長方形 底面凹凸あり南半が深い　壁面短軸側直立長軸側外傾	焼成面 南半部焼成面2面（4･7層） 中間に炭層（6層）	平面規模（m） 1.96×1.12	出土遺物	土器重量 古土器5578ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D16i	写真図版 139			深さ（cm） 35		掲載　b1085･1086	重複・備考 底面付近に多量の土器剥片
検出面　Ⅲ層							
SX12	遺構図 181	形状 楕円形 底面凹凸あり南半が深い　壁面短軸側直立長軸側外傾	焼成面 壁面焼成面（10層） 下位に炭層（12層）	平面規模（m） 〈1.43〉×1.00	出土遺物	土器重量 古土器330ｇ、縄土器32ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D19ｆ他	写真図版 139			深さ（cm） 25		掲載　b1087	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX13	遺構図 181	形状 隅丸長方形 南側は攪乱で消失	焼成面 底面～壁に焼成面 底面直上に炭層（8層） 上部人為堆積	平面規模（m） 1.49×〈0.95〉	出土遺物	土器重量 古土器488ｇ、縄土器11ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D17j他	写真図版 139			深さ（cm） 41		b1088	重複・備考 炭化物AMS測定（試料№12－4）
検出面　Ⅲ層							
SX14	遺構図 181	形状 隅丸長方形	焼成面 焼成面なし 堆積土中位に炭化物	平面規模（m） 1.60×0.69	出土遺物	土器重量 古土器148ｇ、縄土器19ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D17h	写真図版 139			深さ（cm） 22		掲載　b1089	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX15	遺構図 182	形状 楕円形 底部は長方形	焼成面 下部焼成面（7層） 上下に炭層（6・9層）	平面規模（m） 1.73×1.25	出土遺物	土器重量 古土器771ｇ、縄土器95ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D16i	写真図版 140			深さ（cm） 69		掲載　b1090、f110	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX16	遺構図 182	形状 隅丸方形 底部は長方形	焼成面 焼成面なし 東半部に薄い炭化物・焼土ブロック層（2層）	平面規模（m） 1.49×0.91	出土遺物	土器重量 古土器582ｇ、縄土器231ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D15k他	写真図版 140			深さ（cm） 32		掲載　a59、b1091	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX18	遺構図 182	形状 隅丸方形 底面凹凸あり	焼成面 底面・壁面の一部に焼成面　直上に炭層	平面規模（m） 1.21×0.88	出土遺物	土器重量 古土器129ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D14l他	写真図版 140			深さ（cm） 15			重複・備考 SI08より新か
検出面　Ⅲ層							
SX19	遺構図 182	形状 隅丸方形 底面凹凸激しい	焼成面 焼成面なし　上部に炭化物	平面規模（m） 1.74×0.91	出土遺物	土器重量 古土器754ｇ、縄土器10ｇ	時期 奈良
位置 C区　Ⅰ D14s他	写真図版 140			深さ（cm） 29		掲載　b192	重複・備考 人為堆積
検出面　Ⅲ層							
SX20	遺構図 182	形状 方形 底面凹凸激しい	焼成面 焼成面なし　焼土粒多	平面規模（m） 0.82×0.81	出土遺物	土器重量 古土器311ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D14s	写真図版 140			深さ（cm） 15		掲載　b1093	重複・備考 人為堆積
検出面　Ⅲ層							
SX21	遺構図 183	形状 不整楕円形 底面凹凸顕著	焼成面 底面西側に焼成面（4層） 堆積土中に炭化物・焼土粒	平面規模（m） (1.69)×(0.91)	出土遺物	土器重量 古土器399ｇ、縄土器7ｇ	時期 奈良
位置 C区　Ⅰ D14s	写真図版 140			深さ（cm） 10		掲載　b1094	重複・備考 人為堆積
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（3）

SX22	遺構図 183	形状 不整形 底面凹凸激しい	焼成面 焼成面なし 炭化物・焼土粒多	平面規模（m） (0.70)×(0.60)	出土遺物	土器重量 古土器403ｇ 掲載　b1095	時期 古代
位置 C区　ⅠD14s	写真図版 140			深さ（cm） 14			重複・備考 人為堆積　土器剥片含む
検出面　Ⅲ層							
SX23	遺構図 183	形状 隅丸方形（張出部あり） 壁面直立 張出部底面凹凸あり	焼成面 焼成面2面　1面目底面中央と壁面（16層）　2面目底面～壁面（11・12・14層）　2面目焼土上面に炭層（10層）	平面規模（m） 1.57×1.29	出土遺物	土器重量 古土器54ｇ、縄土器48ｇ	時期 古代
位置 B区　ⅠD17ｄ	写真図版 140			深さ（cm） 36			重複・備考 SN13より新
検出面　Ⅲ層							
SX24	遺構図 183	形状 隅丸方形	焼成面 底面～壁面焼成面（6層）　壁面還元色　底面直上に炭化物・焼土ブロック層（2層）	平面規模（m） 1.13×0.59	出土遺物	土器重量 古土器1198ｇ、縄土器9ｇ 掲載　b1096～1098	時期 平安
位置 B区　ⅠD18ｄ他	写真図版 141			深さ（cm） 22			重複・備考 2層に土器剥片
検出面　Ⅲ層							
SX25	遺構図 184	形状 隅丸方形	焼成面 焼成面なし 中位に炭層（2層）	平面規模（m） 0.92×0.78	出土遺物	土器重量 古土器1ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD20q	写真図版 141			深さ（cm） 25			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX26	遺構図 184	形状 隅丸方形 底面西半が深い	焼成面 焼成面なし 上部に炭化物・焼土粒若干	平面規模（m） 1.62×0.95	出土遺物	土器重量 古土器126ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD19q	写真図版 141			深さ（cm） 48			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX27	遺構図 184	形状 不整楕円形 長軸方向底面傾斜あり	焼成面 底面焼成面（3層）	平面規模（m） 1.11×0.59	出土遺物	土器重量 古土器271ｇ、縄土器5ｇ 掲載　b1099･1100	時期 平安
位置 C区　ⅠD18p他	写真図版 141			深さ（cm） 30			重複・備考 SI09より新
検出面　Ⅱ層							
SX28	遺構図 184	形状 長方形 底面が2ヶ所窪む	焼成面 焼成面なし 炭層（2層）焼土粒混	平面規模（m） 1.25×0.69	出土遺物	土器重量 古土器1024ｇ、縄土器13ｇ 掲載　b1101～1105、d91、f111	時期 平安
位置 C区　ⅠD18p	写真図版 141			深さ（cm） 27			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX30	遺構図 184	形状 楕円形　底部隅丸方形 南側壁際に小穴2ヶ所	焼成面 焼成面2面　1面目（11層）直上に炭層（10層）　2面目焼成面（4層）上面に灰層（7層）	平面規模（m） 1.78×1.23	出土遺物	土器重量 古土器156ｇ、縄土器12ｇ 掲載　b1106･1107 出土イネＤＮＡ分析（Ⅴ章２） 炭化種実同定（試料No.9・10）	時期 奈良
位置 C区　ⅠD17q他	写真図版 141			深さ（cm） 58			重複・備考 炭化物AMS測定（試料№12－5）
検出面　Ⅱ層							
SX31	遺構図 185	形状 円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に炭化物・焼土粒	平面規模（m） (0.50)×(0.37)	出土遺物	土器重量 古土器8ｇ、縄土器13ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD18q	写真図版 142			深さ（cm） 30			重複・備考 トレンチ掘削時に確認 西側消失
検出面　Ⅱ層							
SX32	遺構図 185	形状 円～方形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に炭化物・焼土粒	平面規模（m） (0.73)×(0.33)	出土遺物	土器重量 古土器7ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD14p	写真図版 142			深さ（cm） 10			重複・備考 撹乱により全体形状不明
検出面　Ⅱ～Ⅲ層							
SX34	遺構図 185	形状 長方形	焼成面 南西半底面～壁面焼成面（10･11層）　直上に炭層（9層）　上位に2面目焼成面（BB'2層）	平面規模（m） 1.91×1.48	出土遺物	土器重量 古土器1323ｇ 掲載　b1108 炭化種実同定（試料№11～13）	時期 古代
位置 B区　ⅠC15m他	写真図版 142			深さ（cm） 52			重複・備考 炭化物AMS測定（試料№12－6）
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（4）

SX35	遺構図 185	形状	焼成面	平面規模（m） 1.23×0.76	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C15m	写真図版 142	隅丸長方形 底面南西半が若干深い	西半中央に弱い焼成面 直上に炭層（3層）	深さ（cm） 14		出土なし	重複・備考 3層炭化種実同定（試料№14）
検出面　Ⅲ層							
SX37	遺構図 185	形状	焼成面	平面規模（m） 1.21×0.88	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15p	写真図版 142	不整楕円形 南側底面凹凸あり	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 6		古土器11 g 掲載　b1109	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX38	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） (0.98)×(0.34)	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D13t他	写真図版 142	楕円形か	底面全体に焼成面 焼土厚最大6cm	深さ（cm） 12		古土器50 g、縄土器10 g 掲載　b1110・1111	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX39	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） (1.71)×(1.37)	出土遺物	土器重量	時期 縄文～古代？
位置 B区　Ⅰ C18l他	写真図版 143	隅丸方形か	底面～壁焼成面（6層） 底面直上に炭化材	深さ（cm） 32		出土なし	重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX40	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） 1.34×1.32	出土遺物	土器重量	時期 縄文～古代？
位置 B区　Ⅰ C20m	写真図版 143	不整円形 底面に小穴2ヶ所	底面焼成面（3層） 焼成面下位に炭層（4層）	深さ（cm） 45		縄土器12 g	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX41	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） 0.88×0.69	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15c他	写真図版 143	楕円形 掘り方（7層）一段下がる	底面北側に焼成面（6層）	深さ（cm） 21		古土器72 g、縄土器77g	重複・備考 焼成面平面記録欠落
検出面　Ⅱ層							
SX42	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） 0.91×0.56	出土遺物	土器重量	時期 奈良～平安初
位置 C区北　Ⅰ E15d他	写真図版 143	楕円形	底面～壁一部焼成面 直上に炭層（3層）	深さ（cm） 10		古土器1844 g、縄土器15g 掲載　b1112～1117 炭化種実同定（試料No.16・17）	重複・備考 炭層上面に土器剥片多量　焼成面平面記録欠落
検出面　Ⅱ層							
SX43	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） 1.54×0.75	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E16d他	写真図版 143	長方形 北壁の立ち上がり不明瞭	底面南側に焼成面 直上に炭層（4層）	深さ（cm） 22		古土器551 g 掲載　b1118 炭化種実同定（試料No.18・19）	重複・備考 焼成面平面記録欠落 出土イネＤＮＡ分析（Ⅴ章２）
検出面　Ⅱ層							
SX44	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） (0.60)×(0.34)	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E16d	写真図版 143	不整形	底面焼成面	深さ（cm） 6		古土器7 g	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX45	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） 1.35×0.84	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 B区南　Ⅰ C18j他	写真図版 144	楕円形 西壁緩やかに外傾	底面焼成面 直上に炭層（5層） 炭化材の方向揃う	深さ（cm） 37		古土器416 g 掲載　b1119～1121	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX47	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） 1.61×0.98	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ D20s他	写真図版 144	楕円形 南側広がる（掘り方か）	壁面焼成面	深さ（cm） 35		古土器684 g、縄土器245 g 掲載　a60、b1122	重複・備考
検出面　Ⅱ層							

第12表　焼成遺構一覧（5）

SX48	遺構図 187	形状 楕円形 底面凹凸あり 壁下半直立上半外傾	焼成面 焼成面なし　下部に焼土ブロック・炭層（4層）	平面規模（m） 1.80×1.26	出土遺物	土器重量 古土器858 g 掲載　b1123～1125 炭化種実同定（試料No.46）	時期 平安
位置 B区　ⅠC18f	写真図版 144			深さ（cm） 55			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX49	遺構図 188	形状 楕円形	焼成面 底面断片的な焼成面 直上に炭層	平面規模（m） 1.38×1.06	出土遺物	土器重量 古土器311 g、縄土器84 g 掲載　b1126･1127、e25	時期 平安
位置 C区北　ⅠE19a	写真図版 144			深さ（cm） 14			重複・備考 P1581より古
検出面　Ⅲ層							
SX51	遺構図 188	形状 楕円形	焼成面 底面～壁に薄い弱い焼成面　底面直上に焼土ブロック層	平面規模（m） 0.96×0.50	出土遺物	土器重量 古土器356 g 掲載　b1128	時期 古代
位置 B区南　ⅠC17i	写真図版 144			深さ（cm） 25			重複・備考 SI32より新
検出面　Ⅲ層							
SX52	遺構図 188	形状 隅丸長方形 底面西側が一段下がる	焼成面 西半南北壁面に焼成面	平面規模（m） 1.31×0.97	出土遺物	土器重量 古土器62 g 炭化種実同定（試料No.41）	時期 古代
位置 B区南　ⅠC15h	写真図版 144			深さ（cm） 38			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX53	遺構図 188	形状 楕円形	焼成面 底面～壁に焼成面 底面直上に炭層	平面規模（m） 1.23×0.63	出土遺物	土器重量 古土器141 g	時期 古代
位置 C区北　ⅠE15l	写真図版 145			深さ（cm） 17			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX54	遺構図 189	形状 隅丸長方形	焼成面 底面～壁に焼成面（17・18層）　底面直上に炭層（15層）	平面規模（m） （1.37）×1.03	出土遺物	土器重量 古土器3036 g 掲載　b1129	時期 平安
位置 B区南　ⅠC17g	写真図版 145			深さ（cm） 29			重複・備考 SX55より古 土器剥片多量
検出面　Ⅲ層							
SX55	遺構図 189	形状 隅丸長方形	焼成面 底面～壁に焼成面（11層） 底面直上に炭層	平面規模（m） 1.19×0.88	出土遺物	土器重量 古土器715 g、縄土器45 g 掲載　b1130～1135 炭化種実同定（試料No.42）	時期 平安
位置 B区南　ⅠC17g	写真図版 145			深さ（cm） 44			重複・備考 SK83・SX54より新
検出面　Ⅲ層							
SX57	遺構図 189	形状 隅丸方形 壁面垂直な立ち上がり	焼成面 西側に焼成面（5・6層） 焼成面下位に炭層（11層）	平面規模（m） 1.12×1.01	出土遺物	土器重量 古土器61 g、縄土器5 g 炭化種実同定（試料No.20・43・44）	時期 古代
位置 C区北　ⅠE17f他	写真図版 145			深さ（cm） 49			重複・備考 SI27と重複
検出面　Ⅲ層							
SX58	遺構図 189	形状 隅丸長方形	焼成面 焼成面3面（8・10・12層） 東側が厚い 炭層5面（5･7･9･11･13層）	平面規模（m） 0.99×0.58	出土遺物	土器重量 古土器314 g、縄土器129 g 掲載　b1136 炭化種実同定（試料No.47・48）	時期 古代
位置 C区北　ⅠE15m他	写真図版 145･146			深さ（cm） 20			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX59	遺構図 190	形状 隅丸長方形 南西側に張り出し 北東壁は急角度、南西壁は緩い立ち上がり	焼成面 北・東・南側壁に焼成面 底面直上に炭層（4層）	平面規模（m） 1.26×0.75	出土遺物	土器重量 古土器145 g、縄土器300 g	時期 古代
位置 C区北　ⅠE14l	写真図版 146			深さ（cm） 22			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX60	遺構図 190	形状 不整円形 底面凹凸あり	焼成面 焼成面なし 検出面に炭層（1層）	平面規模（m） 0.55×0.48	出土遺物	土器重量 古土器275 g 掲載　b1137	時期 奈良
位置 C区北　ⅠE16k他	写真図版 146			深さ（cm） 13			重複・備考
検出面　Ⅱ層							

第12表　焼成遺構一覧（6）

SX61	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 1.23×0.74	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 C区北　Ⅰ E16j	写真図版 146	隅丸長方形 壁はほぼ直立	壁面焼成面（3層） 中央堆積土中位に炭層（4層）	深さ（cm） 28		古土器523ｇ、縄土器4ｇ 掲載　b1138～1145、f112	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX62	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 0.95×0.72	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15k	写真図版 146	不整楕円形 南西隅張り出し 底面凹凸あり	壁面焼成面 中央堆積土中位に炭層（2層）	深さ（cm） 37		古土器3245ｇ、縄土器239ｇ 掲載　b1146	重複・備考 土器剥片多量
検出面　Ⅱ層							
SX63	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 0.57×0.28	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15k	写真図版 146	楕円形	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 12		古土器29ｇ	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX64	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 1.29×0.53	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15i他	写真図版 147	不整楕円形 底面凹凸顕著	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 16		出土なし	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX67	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 0.91×0.70	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E14g他	写真図版 147	不整楕円形	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 12		古土器42ｇ	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX68	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） 0.78×0.59	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15g他	写真図版 147	不整楕円形	焼成面断片的に残存	深さ（cm） 13		古土器91ｇ	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX69	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） (0.71)×(0.43)	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区南　Ⅰ F18a他	写真図版 147	円形？　西半消失	底面中央に焼成面（3層）	深さ（cm） 4		古土器5ｇ 炭化種実同定（試料No.21）	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX70	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） 2.92×2.50	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 B区　Ⅰ D16d他	写真図版 147	楕円形　底面は長方形 付属pit9基	焼成面2面（3･7層） 堆積土下位に焼土・炭化物	深さ（cm） 75		古土器175ｇ、縄土器140ｇ 掲載　b147	重複・備考 炭化材AMS測定（試料№12－8）
検出面　Ⅲ層							
SX71	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） 1.35×1.27	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 BC区境　Ⅰ D15h	写真図版 147	隅丸方形	底面全体焼成面 西側が被熱強	深さ（cm） 23		古土器597ｇ、縄土器11ｇ 掲載　b148	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX72	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m） 1.11×0.89	出土遺物	土器重量	時期 奈良
位置 BC区境　Ⅰ D14h	写真図版 148	不整楕円形	底面全体焼成面	深さ（cm） 11		古土器1755ｇ 掲載　b1149～1152	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX73	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m） 1.07×0.94	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 BC区境　Ⅰ D14h	写真図版 148	楕円形	底面全体焼成面 北西部が被熱強	深さ（cm） 14		古土器1223ｇ 掲載　b1153、d99･103	重複・備考
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（7）

SX74	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				〈2.45〉×1.25			平安
位置	写真図版	隅丸方形	底面西寄りに焼成面	深さ（cm）		古土器481 g、縄土器45 g	重複・備考
BC区境　I D16g	148	東側1/3は重複により形状不明瞭	直上に炭層（4層）	28		炭化種実同定（試料No22）	SI35より新
検出面　Ⅲ層							
SX75	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				2.50×1.60			平安
位置	写真図版	隅丸長方形	底面東寄り小範囲に焼成面　直上に炭層（6～4層）	深さ（cm）		古土器5289 g、縄土器381 g	重複・備考
BC区境　I D13f	148			54		掲載　b1154～1161	1～3層中に焼成獣骨片多量に含む
検出面　Ⅲ層							
SX76	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.78×0.74			古代
位置	写真図版	隅丸長方形	2層上面～壁に焼成面	深さ（cm）		古土器8.2 g、縄土器28 g	重複・備考
BC区境　I D11f	148	西半は調査区外	直上に炭層	26			
検出面　Ⅲ層							
SX77	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				1.52×1.22			古代
位置	写真図版	不整楕円形	焼成面2面（5･3層）	深さ（cm）		古土器767 g	重複・備考
BC区境　I D14i他	148･149	西側に突出部あり	南東半の焼成顕著	30			
検出面　Ⅲ層							
SX78	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				（0.90）×0.80			古代
位置	写真図版	長方形　北半検出見落とし	4層上面に焼成面	深さ（cm）		古土器5 g、縄土器16 g	重複・備考
BC区境　I D18g	149			21			
検出面　Ⅲ層							
SX79	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.88×0.57			古代
位置	写真図版	隅丸長方形	底面～壁に焼成面	深さ（cm）		古土器282 g、縄土器16 g	重複・備考
BC区境　I D16h	149		直上に薄い炭層	37		掲載　b1162･1163	SI38より新
検出面　Ⅲ層							
SX80	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				（1.07）×（0.38）			縄文?古代?
位置	写真図版	不明	焼成面なし	深さ（cm）		縄土器608 g	重複・備考
C区　I D15l	149		堆積土中に炭化物・焼土粒	17		掲載　a61･62	平面図記録欠落
検出面　Ⅲ層							
SX81	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				1.12×0.65			奈良
位置	写真図版	不整楕円形	底面～壁に焼成面	深さ（cm）		古土器294 g、縄土器49 g	重複・備考
D区南　I E20s	149		壁面の被熱強	10		掲載　b1164～1166	
検出面　Ⅲ層			底面直上に炭化物多				
SX82	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.79×0.73			平安
位置	写真図版	不整円形	底面に焼成面	深さ（cm）		古土器444 g	重複・備考
D区南　I E15r	149			14		掲載　b1167	SI50より新
検出面　SI50床面							
SX83	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.75×0.73			古代
位置	写真図版	円形	焼成面なし	深さ（cm）		古土器32 g、縄土器152 g	重複・備考
D区南　I E20r	149		堆積土中に焼土粒	17			
検出面　Ⅲ層							
SX84	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				1.28×1.04			古代
位置	写真図版	不整形	底面南側に焼成面	深さ（cm）		古土器170 g、縄土器11.9 g	重複・備考
D区南　I E20p他	149	北寄りに小pit（深さ10cm）		10			
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（8）

SX85	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.25×（0.83）	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 D区南　Ⅰ E18n	写真図版 150	楕円形	焼成面なし 下部に炭層（2・3層）	深さ（cm） 27		古土器13 g、縄土器265 g	重複・備考 SI55より新
検出面　Ⅲ層							
SX86	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） （1.57）×（0.26）	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区南　Ⅰ E18o	写真図版 150	楕円形または長方形	焼成面なし　底面に炭層	深さ（cm） 19		古土器203 g、縄土器37 g	重複・備考 撹乱により全体形状不明
検出面　Ⅲ層							
SX87	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.06×0.56	出土遺物	土器重量	時期 縄文?古代?
位置 D区南　Ⅰ F18a他	写真図版 150	楕円形	上部に焼成面	深さ（cm） 11		縄土器653 g	重複・備考
検出面　不明							
SX88	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.97×0.61	出土遺物	土器重量 古土器420 g 掲載　b1168～1170	時期 平安
位置 D区南　Ⅰ E17o	写真図版 150	長楕円形	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 12			重複・備考
検出面　不明							
SX89	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） （1.28）×1.24	出土遺物	土器重量 古土器731 g、縄土器393 g 掲載　b1171･1172、d142	時期 平安
位置 D区南　Ⅰ E18m	写真図版 150	長方形 底面北側が深い	底面北側に焼成面 直上に炭層	深さ（cm） 31			重複・備考 SI39と重複
検出面　Ⅲ層							
SX90	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.80×0.62	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区南　Ⅰ E17o	写真図版 150	楕円形	底面南側に焼成面	深さ（cm） 9		古土器22 g	重複・備考
検出面　不明							
SX91	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） （1.16）×（0.82）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 平安
位置 D区北　Ⅰ F20n	写真図版 150	楕円形または長方形	底面に焼成面　中央が硬化	深さ（cm） 11			重複・備考 SI58より新
検出面　SI58堆積土中							
SX93	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） 1.14×0.70	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ G4t	写真図版 151	隅丸長方形 底面凹凸あり	堆積土上部に焼成面（2～3層）	深さ（cm） 30		縄土器38 g	重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX94	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） 1.04×0.73	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ H4a	写真図版 151	不整楕円形 底面南側が深い	2層上面焼成面 強い被熱で硬化	深さ（cm） 22		古土器37 g	重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX95	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） （2.16）×（1.15）	出土遺物	土器重量 古土器368 g、縄土器1616 g 掲載　b1173･1174	時期 平安
位置 D区北　Ⅱ F2j他	写真図版 151	不整楕円形	東側底面に薄い焼成面 西側下部炭層	深さ（cm） 20			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX96	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） 1.84×1.16	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区北　Ⅰ F17m	写真図版 151	不整楕円形 底面南側が深い	北半底面断続的な焼成面 南半底面直上に炭化物	深さ（cm） 18		古土器50 g、縄土器148 g	重複・備考 SI68と重複
検出面　Ⅳ層							

第12表　焼成遺構一覧（9）

SX97	遺構図 195	形状 楕円形	焼成面 西側壁面に焼成面（平面記録欠落）	平面規模（m） 2.09×1.27	出土遺物	土器重量 古土器2067ｇ、縄土器12ｇ 掲載　b1175～1182	時期 平安
位置 D区北　ⅠF17m他	写真図版 151			深さ（cm） 31			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX98	遺構図 196	形状 楕円形 底面北側が深く凹凸あり	焼成面 3層上面～6層上面焼成面	平面規模（m） 2.33×0.81	出土遺物	土器重量 古土器101ｇ 掲載　b1183	時期 奈良
位置 F区1次　ⅡG2p	写真図版 152			深さ（cm） 36			重複・備考 SD33より古
検出面　F区Ⅶ層							
SX99	遺構図 196	形状 長方形　北側に張出部 底面中央部一段下がる	焼成面 2･4･7層に焼土ブロック含む　4層下面薄く被熱炭層（7層）	平面規模（m） （3.85）×1.85	出土遺物	土器重量 古土器1611ｇ、縄土器855ｇ 掲載　b1184～1187	時期 平安
位置 D区北　ⅠF19l他	写真図版 152			深さ（cm） 60			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX100	遺構図 196	形状 不整方形　底面凹凸あり	焼成面 底面～壁に焼成面	平面規模（m） 1.17×1.17	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 D区北　ⅠF18j	写真図版 152			深さ（cm） 10			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX101	遺構図 197	形状 台形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） 1.64×1.28	出土遺物	土器重量 古土器821ｇ、縄土器32ｇ 掲載　b1188･1189、f113～115	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2q他	写真図版 153			深さ（cm） 33			重複・備考 SI69より新、SI70と重複
検出面　F区Ⅶ層							
SX102	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 堆積土中位に焼成面（2層）	平面規模（m） 1.29×0.77	出土遺物	土器重量 古土器1168ｇ 掲載　b1190･1191	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2r	写真図版 153			深さ（cm） 36			重複・備考 SI69より古、SI70と重複
検出面　F区Ⅶ層							
SX103	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） 0.79×062	出土遺物	土器重量 古土器550ｇ 掲載　b1192	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2r	写真図版 153			深さ（cm） 18			重複・備考 SI69より古、SI70と重複
検出面　F区Ⅶ層							
SX104	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） （0.95）×0.62	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 F区1次　ⅡH4d	写真図版 154			深さ（cm） 20			重複・備考 SI71より古
検出面　F区Ⅶ層							
SX105	遺構図 197	形状 楕円形　西側調査区外	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） 1.16×〈0.48〉	出土遺物	土器重量 古土器443ｇ 掲載　b1193、d143	時期 古代
位置 F区1次　ⅡH3a	写真図版 154			深さ（cm） 18			重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX106	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 1層上部に炭化物	平面規模（m） 1.17×0.67	出土遺物	土器重量 縄土器16ｇ	時期 縄文
位置 D区北　ⅠF20l他	写真図版 154			深さ（cm） 25			重複・備考 SI67より古
検出面　Ⅳ層							
SX107	遺構図 198	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック・炭化物	平面規模（m） 2.56×0.90	出土遺物	土器重量 古土器1291ｇ、縄土器1112ｇ 掲載　b1194～1196、d144、f116	時期 古代
位置 E区南　ⅡG2c他	写真図版 154			深さ（cm） 11			重複・備考 SI73より新 西側から土器多く出土
検出面　Ⅴ層							

第12表　焼成遺構一覧（10）

SX109	遺構図 198	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面（2・3層）全体に硬化	平面規模（m） 1.66×1.11	出土遺物	土器重量 古土器387ｇ、縄土器28ｇ 掲載　b1197	時期 平安
位置 E区南　ⅡG3e	写真図版 154			深さ（cm） 47			重複・備考 SX108・123より古
検出面　Ⅴ層							
SX111	遺構図 198	形状 方形 壁面直立　中央に小穴（深さ6cm）	焼成面 焼成面なし 底面直上に炭化物	平面規模（m） 1.79×1.78	出土遺物	土器重量 古土器2199ｇ、縄土器186ｇ 掲載　b1198～1201	時期 平安
位置 E区南　ⅡG3d他	写真図版 455			深さ（cm） 40			重複・備考 SB07より古
検出面　Ⅳ層							
SX112	遺構図 198	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土粒	平面規模（m） 0.64×0.46	出土遺物	土器重量 古土器3ｇ、縄土器ｇ	時期 古代
位置 E区南　ⅡF1p	写真図版 155			深さ（cm） 7			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX113	遺構図 198	形状 不整楕円形	焼成面 底面～壁に焼成面（2層）	平面規模（m） 0.92×0.72	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 E区南　ⅡF1p	写真図版 155			深さ（cm） 7			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX114	遺構図 199	形状 楕円形　底面西側深い	焼成面 底面西側に焼成面（5層）底面直上に焼土ブロック層（3・4層）	平面規模（m） 1.73×1.11	出土遺物	土器重量 古土器364ｇ 掲載　b1202～1204	時期 平安
位置 E区北　ⅡG7l	写真図版 155			深さ（cm） 39			重複・備考 SD30より古
検出面　Ⅴ層							
SX115	遺構図 199	形状 楕円形	焼成面 南半底面～壁に焼成面	平面規模（m） （1.48）×（1.20）	出土遺物	土器重量 古土器7ｇ、縄土器23ｇ 掲載　d145	時期 古代
位置 E区南　ⅡF5q他	写真図版 156			深さ（cm） 28			重複・備考 SD35より古、SI83より新
検出面　Ⅴ層							
SX118	遺構図 199	形状 長方形　東側一段低い	焼成面 焼成面2面 東側に下位焼成面	平面規模（m） （1.85）×（1.04）	出土遺物	土器重量 古土器280ｇ、縄土器32ｇ 掲載　b1205～1207	時期 平安
位置 E区南　ⅡF4r	写真図版 156			深さ（cm） 25			重複・備考 SD35より古
検出面　Ⅴ層							
SX119	遺構図 199	形状 円形	焼成面 底面全体焼成面	平面規模（m） 0.88×（0.73）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 E区南　ⅡF3r	写真図版 156			深さ（cm） 6			重複・備考 SD35より古
検出面　Ⅴ層							
SX120	遺構図 199	形状 円形	焼成面 土坑上面被熱（1層）	平面規模（m） 0.86×0.85	出土遺物	土器重量 古土器116ｇ	時期 古代
位置 E区南　ⅡF5s他	写真図版 156			深さ（cm） 17			重複・備考
検出面　Ⅴ層							
SX121	遺構図 199	形状 不整円形	焼成面 底面全体焼成面	平面規模（m） 1.35×（1.21）	出土遺物	土器重量 古土器14ｇ、縄土器80ｇ	時期 古代
位置 E区南　ⅡF4s他	写真図版 156			深さ（cm） 15			重複・備考 SI84より古　炭化材AMS測定（試料№13－5）
検出面　Ⅴ層							
SX122	遺構図 199	形状 長方形	焼成面 堆積土下部に焼土ブロック	平面規模（m） （2.12）×（0.21）	出土遺物	土器重量 古土器615ｇ、縄土器77ｇ 掲載　b1208･1209	時期 古代
位置 E区南　ⅠF20t他	写真図版 156			深さ（cm） 15			重複・備考 5UMより古
検出面　Ⅴ層							

第12表　焼成遺構一覧（11）

SX123	遺構図 200	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土中位に炭層	平面規模（m） 1.39×1.12 深さ（cm） 22	出土遺物	土器重量 古土器93ｇ 掲載　b1210･1211、e66	時期 平安 重複・備考 SX109より新
位置 E区南　Ⅱ G3e	写真図版 157						
検出面　V層							
SX124	遺構図 200	形状 不整形	焼成面 焼成面なし 5層上面に炭化物・焼土ブロック層	平面規模（m） 2.74×1.55 深さ（cm） 72	出土遺物	土器重量 古土器4578ｇ 掲載　b1212～1215	時期 奈良 重複・備考 SX132より新 土器剥片多量
位置 E区北　Ⅱ G7j他	写真図版 157						
検出面　V層							
SX127	遺構図 200	形状 不整形 3基の長方形焼成遺構が連結した状態	焼成面 底面全体焼成面 直上に炭層	平面規模（m） 2.94×0.94 深さ（cm） 22	出土遺物	土器重量 古土器62ｇ 掲載　b1216	時期 古代 重複・備考
位置 F区2次　Ⅱ G2n他	写真図版 157						
検出面　V層							
SX128	遺構図 200	形状 不整楕円形	焼成面 壁面に焼成面	平面規模（m） 0.88×0.65 深さ（cm） 9	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考
位置 E区北　Ⅱ G8q	写真図版 157						
検出面　V層							
SX129	遺構図 201	形状 隅丸長方形 壁はほぼ直立　壁際に小穴4基（深さ10～25cm）	焼成面 底面西側に焼成面 焼土ブロック層（3層）は焼成面の可能性もあり	平面規模（m） 2.05×1.52 深さ（cm） 25	出土遺物	土器重量 古土器3547ｇ、縄土器73ｇ 掲載　b1217～1221	時期 平安 重複・備考 10UMより新
位置 E区北　Ⅱ G10t他	写真図版 158						
検出面　V層							
SX131	遺構図 201	形状 円形	焼成面 底面北側に焼成面	平面規模（m） 0.97×0.77 深さ（cm） 14	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考 5UMより古
位置 E区南　Ⅰ F18r他	写真図版 158						
検出面　V層							
SX132	遺構図 201	形状 楕円形　壁面直立	焼成面 堆積土中位に焼成面（4層）	平面規模（m） 〈0.94〉×0.81 深さ（cm） 22	出土遺物	土器重量 古土器2274ｇ 掲載　b1222～1225、d146	時期 奈良 重複・備考 SX124より古
位置 E区北　Ⅱ G7i	写真図版 158						
検出面　V層							
SX133	遺構図 201	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし　上部に炭層	平面規模（m） 0.65×0.36 深さ（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考
位置 E区北　Ⅱ G9t	写真図版 158						
検出面　V層							
SX134	遺構図 201	形状 楕円形 2基の土坑が連結した状態	焼成面 東側底面～壁に焼成面 東側底面直上に炭層	平面規模（m） 1.61×0.55 深さ（cm） 24	出土遺物	土器重量 古土器51ｇ 掲載　b1226	時期 古代 重複・備考
位置 F区2次　Ⅱ G6o	写真図版 158						
検出面　V層							
SX136	遺構図 201	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面	平面規模（m） 1.38×0.78 深さ（cm） 30	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考
位置 F区2次　Ⅱ G5o	写真図版 158						
検出面　F区Ⅶ層							
SX137	遺構図 202	形状 楕円形 西側がやや深い	焼成面 西側底面に焼成面 直上に焼土ブロック層 その上面に薄い炭層（2層）	平面規模（m） 2.77×1.19 深さ（cm） 44	出土遺物	土器重量 古土器420ｇ 掲載　b1227	時期 奈良? 重複・備考 SD47より古
位置 E区北　Ⅱ G6k他	写真図版 159						
検出面　V層							

第12表　焼成遺構一覧（12）

SX138	遺構図 202	形状 隅丸長方形 底面北側が一段低い	焼成面 北側底面焼成面（B－B'2層）	平面規模（m） 1.87×1.18	出土遺物	土器重量 古土器2119ｇ、縄土器7ｇ	時期 奈良
位置 E区北　Ⅱ G8j	写真図版 159			深さ（cm） 55		掲載　b1228～1230	重複・備考 11UMより古
検出面　Ⅴ層							
SX139	遺構図 202	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面中央硬化 西側底面に炭層	平面規模（m） 1.36×0.65	出土遺物	土器重量 古土器29ｇ	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ G1l他	写真図版 159			深さ（cm） 10			重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX140	遺構図 202	形状 不整形	焼成面 焼成面なし 堆積土中に焼土粒・炭化物含む	平面規模（m） 0.60×0.57	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ H6b	写真図版 159			深さ（cm） 11			重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX141	遺構図 203	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面	平面規模（m） 1.29×0.97	出土遺物	土器重量 古土器59ｇ	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ G2q	写真図版 159			深さ（cm） 11			重複・備考 SI70より新
検出面　F区Ⅶ層							
SX142	遺構図 203	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面 中央が硬化 直上を炭化物が覆う	平面規模（m） 記録なし	出土遺物	土器重量 古土器22ｇ	時期 古代
位置 F区2次　Ⅱ G2o他	写真図版 159			深さ（cm） 記録なし			重複・備考 SD30より古
検出面　Ⅴ層							
SX143	遺構図 203	形状 隅丸長方形	焼成面 底面から壁面に焼成面	平面規模（m） (1.02)×(0.94)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 F区2次　Ⅱ G2m	写真図版 159			深さ（cm） 18			重複・備考
検出面　Ⅴ層							

第13表　埋設土器・性格不明遺構一覧

SX36 埋設土器	遺構図 204	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 深鉢略完形個体を倒立状態で設置	規模（m） －	出土遺物	土器重量 縄土器1110g	時期 縄文晩期末
位置 C区　Ⅰ D15j	写真図版 160			深さ（cm） －		掲載　a63	備考
SX46 埋設土器	遺構図 204	検出面 旧河道内Ⅱ層相当層	形状・特徴 板状礫上に土師器甕完形個体を正立状態で埋設 土器底面に穿孔	規模（m） －	出土遺物	土器重量 古土器2111ｇ	時期 平安時代
位置 B区　Ⅰ C16c	写真図版 160			深さ（cm） －		掲載　b1231･1232	備考
SX08 性格不明遺構	遺構図 204	検出面 Ⅱ～Ⅳ層 重複 SI01・02より古か	形状・特徴 不整形の窪地 底面は起伏激しい 南東部礫露出	規模（m） (3.62)×(3.00)	出土遺物	土器重量 縄土器371ｇ	時期 縄文晩期
位置 A区　Ⅱ B7k他	写真図版 160･161			深さ（cm） 75		掲載　a64	備考 河川浸食による窪地か
SX17 性格不明遺構	遺構図 204	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 弧状の溝の一部 東半は調査区外 断面はU字状	規模（m） 全長6.5　幅0.20～0.85	出土遺物	土器重量 古土器572ｇ、縄土器1829ｇ	時期 古代以降
位置 C区　Ⅱ D1n他	写真図版 161			深さ（cm） 40～88		掲載　a65･66、b1237･1238	備考 堆積土中に遺物多い　人為堆積
SX56 性格不明遺構	遺構図 205	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 皿状の窪地に遺物集中	規模（m） －	出土遺物	土器重量 古土器1018ｇ	時期 平安時代
位置 B区　Ⅰ E15h	写真図版 161			深さ（cm） －		掲載　b1233～1236	備考 土師器坏の集中的な出土
SX108 性格不明遺構	遺構図 205	検出面 Ⅴ層 重複 SX109より新	形状・特徴 方形の柱穴列 柱穴32基	規模（m） 3.59×3.45	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 E区　Ⅱ G3e他	写真図版 161			深さ（cm） －			備考

第14表　溝跡一覧（1）

SD01	遺構図 206	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.15～0.5	形状・特徴 東西方向　直線状　一部寸断　底面東側低い	出土遺物	土器重量 縄土器1ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12p～ⅠB15p	写真図版 162	全長（m） 15.70	深さ（cm） 5～10				備考・重複 SD02より新
SD02	遺構図 206･207･208	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 2.8～0.8	形状・特徴 南北方向　直線状　一部寸断	出土遺物	土器重量 古土器4262ｇ、縄土器1785ｇ	時期 平安
位置 A区　ⅠB13n～ⅠC14m	写真図版 162	全長（m） 97.20	深さ（cm） 25～90			掲載　a67、b1239～1243、117～121	備考・重複 SK12と重複　SD01･22より古
SD03	遺構図 206･208	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 1.6～0.2	形状・特徴 南北方向　直線状　一部寸断	出土遺物	土器重量 古土器649ｇ、縄土器455ｇ	時期 平安
位置 A区　ⅠB12o～ⅠB13o	写真図版 163	全長（m） 108.40	深さ（cm） 10～50			掲載　b1244～1246、d133、7、f122	備考・重複 SK04･SD22より古　SK05・SD07より新
SD04	遺構図 209	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.2～0.3	形状・特徴 南北方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12r～ⅠB13s	写真図版 163	全長（m） 4.40	深さ（cm） 5～10				備考・重複
SD05	遺構図 209	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.25	形状・特徴 南北方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12s～ⅠB13t	写真図版 163	全長（m） 4.70	深さ（cm） 15				備考・重複
SD06	遺構図 209	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い	出土遺物	土器重量 縄土器7ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12s～ⅠB12t	写真図版 163	全長（m） 3.30	深さ（cm） 15				備考・重複
SD07	遺構図 209	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.6	形状・特徴 南西－北東方向　直線状　底面北東側低い	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12r～ⅠB12s	写真図版 164	全長（m） （4.10）	深さ（cm） 10				備考・重複 SD03より古　SD08と重複
SD08	遺構図 209	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.4～1.1	形状・特徴 南北方向　直線状　一部寸断　底面南側低い（差1m）	出土遺物	土器重量 古土器31ｇ、縄土器1ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB11o～ⅠB12s	写真図版 164	全長（m） 19.80	深さ（cm） 10～40			掲載　b1247	備考・重複 SD09より新　SD07と重複
SD09	遺構図 209	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 南北方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 縄土器18ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12s	写真図版 164	全長（m） 2.20	深さ（cm） 10～15				備考・重複 SD08より古
SD10	遺構図 210	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層） 全長（m） （20.80）	上幅（cm） 0.35～0.75	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 古土器20ｇ、縄土器276ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB10q～ⅠC12a	写真図版 164		深さ（cm） 10～20			掲載　b1248、f123	備考・重複
SD11	遺構図 210	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.4～0.5	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB8q～ⅠB8r	写真図版 165	全長（m） （4.80）	深さ（cm） 10				備考・重複 SX07より古
SD12	遺構図 210	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 南東－北西方向　直線状　底面南側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 縄土器2ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB8q	写真図版 165	全長（m） （1.80）	深さ（cm） 10～15				備考・重複
SD13	遺構図 211	検出面 落ち込みB4～5層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.5～1.2	形状・特徴 南西－北東方向　直線状　一部寸断　底面両端やや高い　底面凹凸あり	出土遺物	土器重量 縄土器12ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB15o～ⅠB19p	写真図版 165	全長（m） 20.50	深さ（cm） 10～30				備考・重複 SX01と重複
SD14	遺構図 211	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.5	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差30cm）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB20j～ⅠB20k	写真図版 165	全長（m） 4.00	深さ（cm） 5～10				備考・重複 SD15と同一の可能性あり

第14表　溝跡一覧（2）

SD15	遺構図 211	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.6	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差10cm）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB20l～ⅠB20m	写真図版 166	全長（m） 3.80	深さ（cm） 25				備考・重複 SD14と同一の可能性あり
SD16	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.5～1.2	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面南側低い（差15cm）	出土遺物	土器重量 古土器209ｇ、縄土器171ｇ	時期 平安以降
位置 C区　ⅠD18g～ⅠD20i	写真図版 166	全長（m） （14.40）	深さ（cm） 35			掲載　b1249･1250	備考・重複 南端は攪乱に切られB区内未検出
SD17	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.3～0.6	形状・特徴 南北－東西方向L字状　底面両端やや高い	出土遺物	土器重量 古土器110ｇ、縄土器9ｇ	時期 古代以降
位置 C区　ⅠD14h～ⅠD13j	写真図版 166	全長（m） 8.60	深さ（cm） 20			掲載　b1251	備考・重複 SK42より古
SD18	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.35～0.65	形状・特徴 東西方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器238ｇ	時期 古代以降
位置 C区　ⅠD12k～ⅠD14k	写真図版 167	全長（m） （6.10）	深さ（cm） 10			掲載　b1252	備考・重複
SD19	遺構図 213	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.3～0.95	形状・特徴 南北方向　直線状（やや西へ屈曲）　底面南側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 古土器271ｇ、縄土器86ｇ	時期 平安以降
位置 B区　ⅠD13n～ⅠD15a	写真図版 167	全長（m） 11.30	深さ（cm） 0				備考・重複 SI16・41より新
SD21	遺構図 213	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 北西－南東方向直線状	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 B区　ⅠC13s	写真図版 167	全長（m） （0.50）	深さ（cm） 15				備考・重複 SI16・18と重複
SD22	遺構図 213	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.25～1.2	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 古土器233ｇ、縄土器138ｇ	時期 平安以降
位置 B区　ⅠC17k～ⅠC12l	写真図版 167	全長（m） （9.10）	深さ（cm） 20			掲載　b1253･1254	備考・重複 SD02･03より新
SD25	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.35～0.45	形状・特徴 東西方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 BC区境　ⅠD13j	写真図版 168	全長（m） 3.30	深さ（cm） 10				備考・重複 C区内未検出
SD26	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.2	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 BC区境　ⅠD13i	写真図版 168	全長（m） 2.00	深さ（cm） 5				備考・重複
SD27	遺構図 214	検出面 Ⅳ層	上幅（cm） 1.40～3.40	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差50cm）	出土遺物	土器重量 古土器2096ｇ、縄土器43126ｇ	時期 古代
位置 D区北　ⅠF15e～ⅡF3c	写真図版 168	全長（m） 41.40	深さ（cm） 115～190			掲載　a68～70、b1255～1261、e135･136、f124･125	備考・重複
SD28	遺構図 215	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 1.10～1.60	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面水平　南側底面凹凸あり	出土遺物	土器重量 古土器1534ｇ	時期 平安以降
位置 F区1次　ⅡG2t～ⅡH5d	写真図版 169	全長（m） 25.10	深さ（cm） 25～50			掲載　b1262･1263、d129	備考・重複 SD34より古　SD29・31・32より新 南側堆積土中地山ブロック多
SD29	遺構図 215	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.40～1.20	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差20cm）　底面凹凸あり	出土遺物	土器重量 古土器257ｇ、縄土器32ｇ	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2t～ⅡG4s	写真図版 169	全長（m） 12.20	深さ（cm） 40				備考・重複 SD28より古　1層中に灰白色火山灰含
SD30	遺構図 215	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.60～2.35	形状・特徴 北西－南東方向直線状　中央付近最も低く両端同レベル（差75cm）	出土遺物	土器重量 古土器1849ｇ、縄土器38ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 F区1次　ⅡG1o～ⅡG8l	写真図版 169	全長（m） 41.70	深さ（cm） 65			掲載　a71、b1264･1265、c7･8	備考・重複 SI89・SK130・SX114・142より新 SK126より古
SD31	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.25～0.50	形状・特徴 東西方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器583ｇ	時期 平安以降
位置 F区1次　ⅡH3c～ⅡH4c	写真図版 170	全長（m） 3.30	深さ（cm） 25			掲載　b1266	備考・重複 SD28より古　SK105・SD32より新

第14表　溝跡一覧（3）

SD32	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.35～0.60	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面西側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 古土器361ｇ、縄土器88ｇ	時期 古代以降
位置 F区1次　ⅡH3c～ⅡH 6c	写真図版 170	全長（m） 13.00	深さ（cm） 40				備考・重複 SD28・31・34より古　SK105より新
SD33	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.25～0.40	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差16cm）	出土遺物	土器重量 古土器12ｇ	時期 古代以降
位置 F区1次　ⅡG2p	写真図版 170	全長（m） 3.19	深さ（cm） 18				備考・重複 SX98より新
SD34	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.90～1.25	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面西側低い（差4cm）	出土遺物	土器重量 古土器47ｇ、縄土器99ｇ、近代磁器片出土	時期 近代以降
位置 F区1次　ⅡH4d～ⅡH6c	写真図版 170	全長（m） 10.80	深さ（cm） 14			掲載　d134	備考・重複 SD28・32より新
SD35	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.95～1.85	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面西側低い（差40cm）	出土遺物	土器重量 古土器1437ｇ、縄土器40ｇ、かわらけ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠF19s～ⅡF5r	写真図版 171･172	全長（m） 33.10	深さ（cm） 60			掲載　c9～12、e136	備考・重複 SI83・90・SX115・118・SD36・39より新　SD37と同時期か
SD36	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.85～1.20	形状・特徴 南西－北東－北西方向　L字状底面北西側低い（差10cm）	出土遺物	土器重量 古土器68ｇ、縄土器21ｇ	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡF1s～ⅡG1b	写真図版 171･172	全長（m） 18.90	深さ（cm） 40			掲載　c13	備考・重複 SD35・38・43・6UMより古
SD37	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.50～0.95	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面北側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 古土器19ｇ	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠF20s～ⅡG1a	写真図版 171･172	全長（m） 10.10	深さ（cm） 20～40				備考・重複 SD38・39・5UM・6UMより新　SD35と同時期か
SD38	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.25～1.05	形状・特徴 クランク状　底面西側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 古土器497ｇ、縄土器135ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠG20d～ⅡF4t	写真図版 171･172	全長（m） 28.90	深さ（cm） 15～50			掲載　c14、d132	備考・重複 SI84・SD36・27・39・43・SK142より新　SD42と同時期
SD39	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.55～1.25	形状・特徴 矩形　底面西側低い（差60cm）	出土遺物	土器重量 古土器118ｇ、縄土器43ｇ	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠF19t～ⅡG1b	写真図版 171･172	全長（m） 29.70	深さ（cm） 50				備考・重複 SD35・37・38・43より古　5UM・6UMより新
SD42	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.85～1.05	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器99ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡF4t～ⅡF5s	写真図版 171･172	全長（m） 5.90	深さ（cm） 45			掲載　c15	備考・重複 SI85より新　SD38と同時期
SD43	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.50～0.75	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器677ｇ、縄土器260ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡG1b～ⅡG2e	写真図版 171･172	全長（m） 20.10	深さ（cm） 15			掲載　c16･17	備考・重複 SI73より新
SD46	遺構図 216	検出面 Ⅳ層	上幅（cm） －0.45	形状・特徴 南北方向　直線状　底面高低差不明	出土遺物	土器重量 縄土器564ｇ	時期 古代以降
位置 D区北　ⅡF4k～ⅡF4l	写真図版 173	全長（m） 5.30	深さ（cm） 12				備考・重複
SD47	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.60～0.95	形状・特徴 南東－北西方向直線状　底面西側低い（差45cm）	出土遺物	土器重量 古土器660ｇ、縄土器135ｇ	時期 12世紀後半～13世紀か？
位置 E区北　ⅡG5k～ⅡG8i	写真図版 173	全長（m） 17.80	深さ（cm） 30				備考・重複 SX137より新　11UMと重複
SD49	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.40～0.65	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 E区南　ⅡG1c～ⅡG1d	写真図版 173	全長（m） 4.50	深さ（cm） 20				備考・重複
SD51	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 1.08～1.41	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面北西側低い（差16cm）	出土遺物	土器重量 古土器1159ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡG4g～ⅡG7f	写真図版 173	全長（m） 16.80	深さ（cm） 37			掲載　c18～23、f126	備考・重複

第15表　畝間状遺構一覧

1UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	220	南北7条		N－89°－E	4.1～6.5		古土器113ｇ 縄土器237ｇ	古代以降
位置	写真図版	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅱ G4c他	174	61.68㎡		5～12	16～47		掲載遺物　c24	SI74・75と重複、SB07より古
2UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	221	南北6条		N－90°－E	2.7～4.7		古土器158ｇ 縄土器5ｇ	平安
位置	写真図版	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅱ G5c他	174	22.11㎡		6～22	27～49			SI80、SB07より古、ＳＩ75・92・SK150より新
3UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	221	南北3条		N－66°－E	（0.8）～（2.3）		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G7g他	174	3.4㎡		8～14	28～37			
4UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	221	東西5条		N－34°－E	1.4～6.5		古土器14ｇ	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G5j他	174	23.93㎡		4～15	11～36			
5UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	222	南北17条		N－81°－W	1.2～（9.2）		古土器368ｇ 縄土器269ｇ	平安
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅰ F'20t他	174	106㎡		8～20	26～43			SI79・82、SD37・39より古、SX122・131、6UMより新
6UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	222	東西13条		N－40°－W	（2.6）～（12.2）		縄土器81ｇ	平安
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅱ F1t他	174	224.5㎡		7～26	21～44			SK142・146、SD36・37・39・40、5UMより古
7UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	223	東西5条		N－15°－E	1.1～2.2		古土器2ｇ	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G6l他	174	8.06㎡		4～11	16～44			SI91と重複
8UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	223	東西3条		N－2°－E	（1.2）～4.8		出土なし	古代
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G8m他	175	16.4㎡		6～20	23～45			SI87より古
9UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	223	東西2条		N－4°－E	1.0～1.7		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G9p	175	2.58㎡		20～36	20～36			
10UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	224	南北11条		N－75°－W	（1.2）～（9.1）		古土器84ｇ 縄土器136ｇ	平安
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G10t他	175	72.6㎡		2～26	21～52			SX129より古。um15のみ離れる。別遺構か？
11UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	224	東西2条		N－9°－E	3.0～8.2		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G8j他	175	6.95㎡		20	24～43			SX138より新、SD47 と重複（新旧未確認）
14UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	225	南北12条		N－75°－W	1.0～9.9		古土器334ｇ	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ H10a他	175	48.58㎡		5～23	17～37			SN41より古
16UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	225	南北4条		N－52°－W	2.2～4.0		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
F区2次　Ⅱ G5o他	175	17.28㎡		8～12	18～39			um5、um7・8、um22・23が重複、2時期以上か
17UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	225	1条		N－21°－W	3.4		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
F区2次　Ⅱ G6p他	175	17.28㎡		8	36～			

第16表　遺物集中遺構一覧

SU01	遺構図 158	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 4.7×4.8 深さ（cm） 15	出土遺物	土器重量 縄土器11226g 掲載　a78～102、d038･046、e3･5･9･44	時期 縄文晩期末 備考 SN07・08より古
位置 B区　ⅠD17e他	写真図版 103						
SU02	遺構図 158	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 2ヵ所あり　不整形	規模（m） 9.3×4.9・2.1×1.2 深さ（cm） 30	出土遺物	土器重量 縄土器40335ｇ 掲載　a103～141、e2･36	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 SU09より新
位置 B区　ⅠC20ｎ他	写真図版 103						
SU03	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 15.4×4.7 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 縄土器4319ｇ 掲載　a142･143、d25、e13･49	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考
位置 B区　ⅠD14c他	写真図版 103						
SU04	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 隅丸方形　南西部深い	規模（m） 4.3×3.8 深さ（cm） 35（南端86）	出土遺物	土器重量 縄土器3852ｇ 掲載　a144、e4･12･24･32	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 自然地形の窪地に黒褐色土が人為堆積
位置 B区　ⅠC19o他	写真図版 103						
SU05	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 3.6×1.4 深さ（cm） 36	出土遺物	土器重量 古土器11ｇ、縄土器715ｇ 掲載　a145	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 木根の攪乱等か？　埋土に炭化物多
位置 C区　ⅠD20l他	写真図版 103						
SU06	遺構図 158	検出面 Ⅱ層か？	形状・特徴 平面形は推定範囲	規模（m） － 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 縄土器2221ｇ 掲載　a146･147	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 風倒木痕等の窪みに形成されたものか？
位置 C区　ⅠD14o	写真図版 103						
SU07	遺構図 158	検出面 Ⅲ層か？	形状・特徴 不整楕円形	規模（m） 3.8×2.5 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 縄土器2048ｇ 掲載　a148～154	時期 縄文晩期末 備考 風倒木痕等の窪みに形成されたものか？
位置 C区　ⅡD1q他	写真図版 103						
SU08	遺構図 158	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 0.6×0.5 深さ（cm） 17	出土遺物	土器重量 縄土器2g 掲載　e16～23（a～d）	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考
位置 B区　ⅠC19t	写真図版 103						
SU09	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 1.5×0.8 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期末～弥生初頭？ 備考 SU09より古　大小の礫がまとまる
位置 B区　ⅠC19n	写真図版 103						
SU10	遺構図 158	検出面 Ⅳａ層	形状・特徴 不整形	規模（m） － 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 土器出土なし 掲載　e201～208	時期 縄文晩期末～弥生初頭？ 備考 局所的に剥片・砕片集中　剥片1071点他
位置 D区　ⅠE16s	写真図版 103						

第17表　柱穴状土坑一覧（1）

凡例　【色調】5：黒色土　4：黒褐色土　4⁺：黒～暗褐色土　3：暗褐色土　2：褐色土　1：にぶい黄褐色土　【しまり・粘性】5：あり　4：ややあり　3：中　2：ややなし　1：なし　－：記録なし　【柱痕】○：確認　－：なし

遺構名	グリッド	規模（cm）			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1	Ⅰ C13b	42	29	23	4	4	4	－	
2	Ⅰ C13a	32	25	34	4	3	4	－	
3	Ⅰ C13a	29	27	27	4	3	4	－	
4	Ⅰ C13a	26	24	22	4	3	4	－	
5	Ⅰ C14b	35	31	15	4	3	4	－	
6	Ⅰ C13a	47	37	45	4	4	4	－	
7	Ⅰ C13a	36	34	39	4	4	4	－	
8	Ⅰ C13a	44	40	39	4	4	4	－	
9	Ⅰ C13a	36	23	22	4	4	4	－	
10	Ⅰ C13a	38	32	68	4	4	4	－	
11	Ⅰ C13a	53	40	19	5	4	4	－	
12	Ⅰ C13b	45	35	62	4	4	4	－	
13	Ⅰ C12a	26	21	36	4	4	4	－	
14	Ⅰ B12t	42	35	20	4	3	3	－	
15	Ⅰ B13t	68	46	23	4	1	4	－	
16	Ⅰ B12s	35	28	22	4	4	4	－	
17	Ⅰ B12r	46	28	33	4	4	4	－	
18	Ⅰ B13s	22	17	16	4	2	4	－	
19	Ⅰ B13r	25	22	15	4	2	4	－	
20	Ⅰ B13r	38	25	22	4	2	4	－	
21	Ⅰ B11t	25	22	22	4	4	4	－	
22	Ⅰ B11t	26	24	17	4	4	4	－	
23	Ⅰ B13o	44	39	23	4⁺	1	4	－	
24	Ⅰ B13p	82	62	38	4	4	4	－	
25	Ⅰ B12r	36	27	18	4	3	4	－	
26	Ⅰ B12r	28	24	21	4	3	4	－	
27	Ⅰ B12r	30	24	19	4	3	4	－	
28	Ⅰ B12r	21	17	15	4	3	4	－	
29	Ⅰ B12r	24	21	16	4	3	4	－	
30	Ⅰ B12r	26	19	25	4	3	4	－	
31	Ⅰ B12q	45	43	24	4⁺	4	4	－	
32	Ⅰ B11p	35	31	32	4⁺	4	4	－	
33	Ⅰ B10q	77	(52)	21	記録なし			－	
34	Ⅰ B11p	38	33	30	4⁺	3	4	－	
35	Ⅰ B12p	30	28	19	4	4	4	－	
36	Ⅰ B12p	67	50	26	4⁺	3	4	－	
37	Ⅰ B13r	26	24	18	4	3	4	－	
38	Ⅰ B13q	33	27	23	4	3	4	－	
39	Ⅰ B13q	37	30	39	4	3	4	－	
40	Ⅰ B12p	36	26	19	4⁺	2	4	－	
41	Ⅰ B12o	57	52	37	4⁺	4	4	－	
42	Ⅰ B12o	68	(56)	22	4	4	4	－	
43	Ⅰ B12o	103	56	34	4⁺	4	4	－	
44	Ⅰ B13o	65	50	37	4⁺	2	4	－	
45	Ⅰ B13o	73	55	21	4⁺	3	4	－	
46	Ⅰ B13o	46	41	36	4⁺	3	4	－	
47	Ⅰ B14o	40	38	36	4⁺	3	4	－	
48	Ⅰ B14o	29	23	19	4⁺	3	4	－	
49	Ⅰ B14o	41	37	18	4⁺	3	4	－	
50	Ⅰ B13o	78	60	27	4⁺	3	4	－	
51	Ⅰ B14o	62	45	42	4⁺	3	4	－	
52	Ⅰ B14n	69	61	32	4⁺	3	4	○	
53	Ⅰ B14n	64	52	38	4⁺	3	4	○	
54	Ⅰ B14n	62	46	41	4⁺	3	4	－	
55	Ⅰ B15n	63	59	41	4⁺	3	4	○	
56	Ⅰ B15n	58	45	38	4⁺	3	4	○	
57	Ⅰ B14n	41	40	28	4⁺	3	4	－	
58	Ⅰ B15n	45	43	27	4⁺	3	4	－	
59	Ⅰ B15n	26	22	32	4	4	4	－	
60	Ⅰ B15n	63	45	32	4⁺	3	4	○	
61	Ⅰ B16n	37	27	18	4⁺	3	4	－	
62	Ⅰ B16n	39	31	22	4⁺	3	4	－	
63	Ⅰ B16m	28	(23)	17	4⁺	3	4	－	
64	Ⅰ B16m	43	43	32	4⁺	3	4	○	
65	Ⅰ B16m	62	49	16	4⁺	3	4	○	
66	Ⅰ B16m	40	37	18	4⁺	3	4	－	
67	Ⅰ B17m	21	20	12	4	3	4	－	SI04c
68	Ⅰ B15o	31	24	25	4	3	4	－	
69	Ⅰ B15o	36	33	16	4⁺	3	4	－	
70	Ⅰ B15o	31	26	16	4	3	4	－	
71	Ⅰ B15o	30	28	31	4	3	4	－	
72	Ⅰ B15o	38	29	12	4⁺	3	4	－	
73	Ⅰ B15o	32	29	13	4	3	4	－	
74	Ⅰ B14o	27	26	30	4	4	4	－	
75	Ⅰ B15o	27	24	16	4	3	4	－	
76	Ⅰ B14p	37	27	23	4	3	4	－	
77	Ⅰ B14o	45	36	42	4	4	4	－	
78	Ⅰ B14p	38	31	45	4	4	4	－	
79	Ⅰ B14p	44	(37)	28	4	4	4	－	
80	Ⅰ B15p	42	37	21	4	4	4	－	
81	Ⅰ B15p	28	24	23	3	4	4	－	
82	Ⅰ B15p	25	22	41	4	3	4	－	
83	Ⅰ B14p	34	30	26	4	3	4	－	
84	Ⅰ B15p	41	22	12	4	3	4	－	
85	Ⅰ B15p	36	35	19	4	3	4	－	
86	Ⅰ B15p	37	35	18	4	－	－	－	
87	Ⅰ B15p	35	31	23	4	3	4	－	
88	Ⅰ B14p	27	25	17	4	3	4	－	
89	Ⅰ B14p	38	34	25	4	3	4	－	
90	Ⅰ B14q	48	45	25	4	3	4	－	
91	Ⅰ B15q	28	25	9	4	3	4	－	
92	Ⅰ B15r	28	24	22	4	3	4	－	
93	Ⅰ B15r	27	19	12	4	3	4	－	
94	Ⅰ B15r	29	25	17	4	3	4	－	
95	Ⅰ B15r	28	23	20	4	3	4	－	
96	Ⅰ B14r	42	38	27	4	3	4	－	
97	Ⅰ B15r	27	25	25	4	3	4	－	
98	Ⅰ B15r	21	18	27	4	3	4	－	
99	Ⅰ B15r	41	25	32	4	3	4	－	
100	Ⅰ B15s	34	25	18	4	3	4	－	
101	Ⅰ B17o	41	38	54	3	4	4	－	
102	Ⅰ B16o	31	26	44	4	2	4	－	
103	Ⅰ B16o	35	28	49	4	3	4	－	
104	Ⅰ B16o	38	30	31	4	3	4	－	
105	Ⅰ B16o	33	30	30	4	4	4	－	
106	Ⅰ B16o	40	35	98	4	4	4	○	
107	Ⅰ B17o	27	23	33	3	2	3	－	
108	Ⅰ B17o	29	29	54	3	4	4	－	
109	Ⅰ B17o	29	26	12	1	4	4	－	
110	Ⅰ B17o	23	(19)	18	4	4	4	－	
111	Ⅰ B17o	33	28	45	4	3	3	－	
112	Ⅰ B18o	69	65	18	記録なし			－	
113	Ⅰ B16n	33	27	35	4	2	4	－	
114	Ⅰ B16n	26	25	33	4	2	4	－	
115	欠番								
116	Ⅰ B16p	42	34	91	記録なし			○	
117	Ⅰ B16p	35	32	72	4	3	4	－	
118	Ⅰ B16p	24	21	18	4	4	4	－	
119	Ⅰ B16p	29	27	44	4	3	4	－	
120	Ⅰ B16p	30	29	41	4	2	4	－	
121	Ⅰ B16p	29	27	33	4	4	3	－	
122	Ⅰ B16q	29	28	58	4	1	3	－	
123	Ⅰ B16q	41	37	57	4	2	3	－	
124	Ⅰ B16q	40	29	52	4	3	4	－	
125	Ⅰ B16q	31	(28)	37	4	3	4	－	
126	Ⅰ B16r	21	20	15	4	2	4	－	
127	Ⅰ B16r	44	35	23	4	2	2	－	
128	Ⅰ B16r	35	29	46	4	2	3	－	
129	Ⅰ B17p	27	24	27	4	2	3	－	
130	Ⅰ B17o	28	24	34	4	3	3	－	
131	Ⅰ B16q	(23)	20	27	4	3	2	－	
132	Ⅰ B17q	32	31	21	4	2	2	－	
133	Ⅰ B17q	33	27	21	4	4	3	－	
134	Ⅰ B17q	45	35	47	4	3	4	－	
135	Ⅰ B17q	34	(22)	17	4	3	2	－	
136	Ⅰ B17q	26	25	39	4	4	4	－	
137	Ⅰ B17o	34	33	23	4	2	3	－	
138	Ⅰ B16n	37	29	33	4	3	4	○	
139	Ⅰ B16n	29	25	22	3	3	4	－	
140	Ⅰ B18p	31	26	15	3	3	4	○	
141	Ⅰ B15q	23	19	19	3	4	4	－	
142	Ⅰ B15q	38	36	18	3	4	4	－	
143	Ⅰ B15q	36	31	44	4	3	4	－	
144	Ⅰ B18p	27	20	31	4	2	4	－	
145	Ⅰ B17p	(33)	(18)	36	4	4	4	－	
146	Ⅰ B16q	38	27	31	4	3	4	－	
147	Ⅰ B17r	39	30	22	4	2	2	－	
148	Ⅰ B18r	24	20	17	3	3	3	－	
149	Ⅰ B18r	23	20	24	3	3	3	－	
150	Ⅰ B18r	23	21	21	4	4	4	－	
151	Ⅰ B17r	51	37	50	4	2	3	－	
152	Ⅰ B17r	19	17	21	4	2	3	－	
153	Ⅰ B17r	24	23	17	4	2	4	－	
154	Ⅰ B16r	18	17	21	4	2	3	－	
155	Ⅰ B16q	51	31	41	4	2	3	－	
156	欠番								
157	Ⅰ B16r	24	18	32	4	3	4	－	
158	Ⅰ B17r	43	35	21	4	2	2	－	
159	Ⅰ B16q	23	22	26	4	2	3	－	
160	Ⅰ B17p	24	20	23	3	3	4	○	
161	Ⅰ B17s	39	31	47	4	3	4	－	
162	Ⅰ B17s	28	22	13	3	2	2	－	
163	欠番								
164	Ⅰ B17s	36	28	57	4	3	4	－	
165	Ⅰ B17s	34	32	16	4	2	4	－	
166	Ⅰ B17r	33	25	33	4	2	4	－	
167	Ⅰ B16r	28	21	74	4	2	4	－	
168	Ⅰ B16s	21	19	23	4	2	3	－	

第17表　柱穴状土坑一覧（2）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
169	Ⅰ B16s	29	24	28	4	2	3	−	
170	Ⅰ B16s	78	66	59	4	1	4	−	
171	Ⅰ B16s	51	29	64	4	2	4	−	
172	Ⅰ B17p	25	22	23	3	4	5	−	
173	Ⅰ B15q	34	30	29	3	4	5	−	
174	Ⅰ B15q	46	29	31	3	4	5	−	
175	Ⅰ B17o	45	35	20	4	2	3	−	
176	Ⅰ B17o	41	(27)	62	4	2	4	−	
177	Ⅰ B17o	28	20	29	4	3	4	−	
178	Ⅰ B16o	33	30	26	4	3	4	−	
179	Ⅰ B16o	28	26	40	3	4	5	−	
180	Ⅰ B16o	27	22	31	4	3	3	−	
181	Ⅰ B16o	26	20	24	4	4	5	−	
182	Ⅰ B16o	26	23	28	4	4	5	−	
183	Ⅰ B16o	26	23	27	4	4	4	−	
184	Ⅰ B17t	35	27	42	4	2	3	−	
185	Ⅰ B16t	26	24	22	4	2	3	−	
186	Ⅰ B16t	28	25	21	4	3	4	−	
187	Ⅰ B16t	25	23	20	4	3	4	−	
188	Ⅰ B16t	34	24	16	4	2	4	−	
189	Ⅰ C15a	29	25	31	4	2	3	−	
190	Ⅰ B17q	19	18	18	4	2	1	−	
191	Ⅰ B17q	33	29	16	3	2	1	−	
192	Ⅰ B16s	39	35	62	記録なし			−	
193	Ⅰ B17t	19	18	27	4	2	3	−	
194	Ⅰ B16t	20	16	17	4	2	2	−	
195	Ⅰ B16t	28	23	17	4	2	2	−	
196	Ⅰ B16t	26	25	36	1	1	1	−	
197	Ⅰ B18n	25	19	33	4	4	3	−	
198	Ⅰ B16n	31	28	16	4	3	3	−	
199	Ⅰ B16n	23	20	25	4	4	2	−	
200	Ⅰ B16n	21	18	16	4	3	3	−	
201	Ⅰ B14s	30	20	12	4	3	3	−	
202	Ⅰ B14s	30	26	14	4	2	3	−	
203	Ⅰ B14s	32	24	32	4	2	4	−	
204	Ⅰ B14s	38	31	25	4	3	4	−	
205	Ⅰ B14s	37	27	32	4	3	4	−	
206	Ⅰ B14s	40	33	38	4	3	4	−	
207	Ⅰ B14t	28	25	16	4	3	4	−	
208	Ⅰ B14t	49	43	27	4	3	4	−	
209	Ⅰ B14s	45	43	19	4	3	4	−	
210	Ⅰ B14s	38	30	25	4	3	4	−	
211	Ⅰ B14t	34	26	54	4	3	4	−	
212	Ⅰ B15s	32	27	29	4	2	2	−	
213	Ⅰ B15s	32	28	44	4	4	4	−	
214	Ⅰ B15t	38	30	40	4	4	4	−	
215	Ⅰ B14t	33	29	15	4	3	4	−	
216	Ⅰ B14t	29	25	43	4	3	4	−	
217	Ⅰ B15s	35	27	45	4	4	4	−	
218	Ⅰ B15t	22	21	48	4	4	4	−	
219	Ⅰ B15t	37	34	48	4	4	4	−	
220	Ⅰ B15t	24	20	20	4	4	4	−	
221	Ⅰ B15t	24	22	50	4	3	4	−	
222	Ⅰ B15t	22	20	16	4	3	4	−	
223	Ⅰ C15a	29	25	15	4	3	4	−	
224	Ⅰ B14t	23	20	20	4	3	4	−	
225	Ⅰ C14a	24	23	13	4	3	4	−	
226	Ⅰ C14a	(28)	23	40	4	3	4	−	
227	Ⅰ C14a	37	27	22	4	3	4	−	
228	Ⅰ B13q	50	39	66	4	3	4	−	
229	Ⅰ B13q	39	29	37	4	3	4	−	
230	Ⅰ B13r	27	19	33	4	3	4	−	
231	Ⅰ B13r	21	19	13	4	4	4	−	
232	Ⅰ B13r	(21)	19	13	4	4	4	−	
233	Ⅰ B14p	31	30	50	4	3	4	−	
234	Ⅰ B13n	36	34	26	4	3	4	○	
235	Ⅰ B13n	110	40	49	4	3	4	○	
236	Ⅰ B13n	34	32	26	4	3	4	○	
237	Ⅰ B13q	36	24	28	4	4	4	−	
238	Ⅰ B13q	37	20	33	4	4	4	−	
239	Ⅰ B13r	29	25	24	4	4	4	−	
240	Ⅰ B13r	23	21	18	4	4	4	−	
241	Ⅰ B14t	32	26	24	4	3	3	−	
242	Ⅰ B14t	15	13	16	4	4	4	−	
243	Ⅰ C13a	17	14	28	4	4	4	−	
244	Ⅰ B13p	21	14	18	4	4	4	−	
245	Ⅰ B13p	39	20	38	4	4	4	−	
246	Ⅰ B13q	58	34	50	4	4	4	−	
247	Ⅰ B13q	24	19	27	4	4	4	−	
248	Ⅰ B13r	21	19	25	4	4	4	−	
249	Ⅰ B14r	52	34	37	5	4	4	−	
250	Ⅰ B14r	27	22	18	4	4	4	−	
251	Ⅰ B13s	23	18	23	4	3	4	−	
252	Ⅰ B13t	23	16	18	4	3	4	−	
253	Ⅰ B13t	17	14	21	4	4	4	−	
254	Ⅰ B13t	15	13	22	4	4	4	−	
255	Ⅰ C14a	21	17	15	4	4	4	−	
256	Ⅰ C14a	31	26	28	4	4	4	−	
257	Ⅰ C14a	44	28	32	4	4	4	−	
258	Ⅱ B2i	24	17	39	4	3	3	−	
259	Ⅱ B2i	24	22	32	4	3	3	−	
260	Ⅱ B2i	29	24	22	4	3	3	−	
261	Ⅱ B1i	29	20	22	4	3	3	−	
262	Ⅱ B1i	27	25	19	4	3	3	−	
263	Ⅱ B1j	25	22	25	4	3	3	−	
264	Ⅱ B1j	26	18	30	4	3	3	−	
265	Ⅱ B1j	34	28	26	4	3	3	−	
266	Ⅰ B12o	115	33	18	4	3	4	−	
267	Ⅰ B12o	25	22	27	4	3	4	−	
268	Ⅰ B12o	118	32	25	4	3	4	−	
269	Ⅰ B12o	37	31	26	4	3	4	−	
270	Ⅰ B12o	124	39	33	4	3	4	−	
271	Ⅰ B13n	108	55	36	4	3	4	−	
272	Ⅰ B14n	26	25	24	4	3	4	−	
273	Ⅰ B14n	100	35	29	4	3	4	−	
274	Ⅰ B14n	29	25	23	4	3	4	−	
275	Ⅰ B14n	102	31	33	4	3	4	−	
276	Ⅰ B14n	29	28	29	4	3	4	−	
277	Ⅰ B14n	113	31	31	4	3	4	−	
278	Ⅰ B15n	30	26	28	4	3	4	−	
279	Ⅰ B15n	102	34	37	4	3	4	−	
280	Ⅰ B15m	33	26	28	4	3	4	−	
281	Ⅰ B15m	106	32	32	4	3	4	−	
282	Ⅰ B15m	32	24	30	4	3	4	−	
283	Ⅰ B8q	19	16	21	4	4	4	−	
284	Ⅰ B8q	26	21	14	3	4	4	−	
285	Ⅰ B8q	20	18	22	4	4	4	−	
286	Ⅰ B10q	39	31	34	3	4	4	−	
287	Ⅰ B10p	22	21	33	3	4	4	−	
288	Ⅰ B11t	30	(29)	24	4	3	4	−	
289	Ⅰ B11t	55	36	29	4	3	4	−	
290	Ⅰ C13b	55	42	55	4	3	3	−	
291	Ⅰ B15o	42	25	23	4	3	4	−	
292	Ⅰ B14o	29	28	14	4	3	4	−	
293	Ⅰ B14o	29	21	24	4	3	4	−	
294	Ⅰ B14p	28	24	16	4	3	4	−	
295	Ⅰ B14o	20	16	20	4	3	4	−	
296	Ⅰ B12o	(40)	39	52	3	4	4	−	
297	Ⅰ C12a	38	32	35	4	3	4	−	
298	Ⅰ C12a	(34)	(17)	43	4	3	4	−	
299	Ⅰ C12a	23	(17)	36	4	3	4	−	
300	Ⅰ C12a	18	16	12	4	3	4	−	
301	Ⅰ B17m	21	18	17	3	3	4	−	
302	Ⅰ B17m	28	22	37	3	4	5	−	SI04c
303	Ⅰ B17m	27	21	23	3	4	4	−	SI04a
304	Ⅰ B17m	16	14	8	3	4	3	−	SI04a
305	Ⅰ B17m	20	19	17	3	4	4	−	SI04a
306	Ⅰ B17m	18	16	21	3	3	4	−	
307	Ⅰ B16m	17	14	14	3	3	4	−	SI04a
308	Ⅰ B17m	18	16	14	3	4	4	−	SI04b
309	Ⅰ B17n	20	19	16	3	3	4	−	SI04a
310	Ⅰ B17n	23	23	24	3	3	4	−	SI04a
311	Ⅰ B17n	21	17	24	3	3	4	−	SI04a
312	Ⅰ B17m	23	21	21	3	4	3	−	SI04a
313	Ⅰ B17m	19	18	19	3	3	4	−	SI04a
314	Ⅰ B17m	23	22	17	3	4	4	−	SI04a
315	Ⅰ B17m	19	17	25	3	3	4	−	SI04a
316	Ⅰ B18m	22	18	15	3	3	4	−	
317	Ⅰ B17m	25	22	15	3	3	4	−	
318	Ⅰ B17m	24	19	14	3	3	4	−	
319	Ⅰ B17m	18	16	20	3	3	4	−	SI04a
320	Ⅰ B17m	25	19	25	3	3	4	−	SI04a
321	Ⅰ B17m	25	22	41	3	2	4	−	SI04a
322	Ⅰ B17m	20	15	13	3	3	4	−	
323	Ⅰ B17m	29	16	20	3	3	4	−	SI04c
324	Ⅰ B17m	34	25	38	3	3	4	○	SI04a
325	Ⅰ B17m	21	18	15	3	4	4	−	SI04a
326	Ⅰ B17m	19	18	25	3	3	4	−	SI04c
327	Ⅰ B17m	14	14	13	3	4	4	−	
328	Ⅰ B17m	19	16	11	3	4	4	−	
329	Ⅰ B17m	20	19	41	3	2	4	−	
330	Ⅰ B17m	17	15	12	3	4	3	−	
331	Ⅰ B17m	18	(16)	22	3	3	4	−	
332	Ⅰ B17m	37	25	25	3	3	4	−	
333	Ⅰ B17m	16	15	16	3	3	4	−	SI04c
334	Ⅰ B17m	33	31	34	3	3	4	−	
335	Ⅰ B17m	29	21	29	3	3	4	−	SI04c
336	Ⅰ B17m	22	19	28	3	3	4	−	SI04a
337	Ⅰ B17m	29	26	26	3	3	4	−	SI04b
338	Ⅰ B17m	21	19	25	3	2	4	−	SI04b

第17表　柱穴状土坑一覧（3）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
339	Ⅰ B17m	21	20	21	3	3	4	−	SI04b
340	Ⅰ B17n	19	16	7	3	4	3	−	SI04b
341	Ⅰ B17n	43	17	31	3	4	4	−	SI04b
342	Ⅰ B17n	18	17	16	3	3	4	−	SI04a
343	Ⅰ B17n	23	13	17	2	3	4	−	
344	Ⅰ B17n	24	20	35	3	3	4	−	
345	Ⅰ B17m	30	25	25	3	2	4	−	SI04a
346	Ⅰ B17m	20	18	18	3	3	4	−	
347	Ⅰ B17n	22	19	29	3	2	4	−	
348	Ⅰ B17n	18	16	7	3	2	4	−	SI04a
349	Ⅰ B17n	25	21	25	3	2	4	−	
350	Ⅰ B17n	28	25	8	2	4	3	−	
351	Ⅰ B17n	47	38	43	3	3	4	−	SI04a
352	Ⅰ B17n	16	16	18	1	2	4	−	SI04b
353	Ⅰ B17n	42	31	31	3	3	4	−	SI04b
354	Ⅰ B17n	26	21	18	3	3	3	−	SI04b
355	Ⅰ B17n	31	31	53	3	3	3	○	
356	Ⅰ B17n	23	20	14	3	3	4	−	
357	Ⅰ B17n	20	17	8	3	2	3	−	SI04b
358	Ⅰ B17n	29	27	17	3	2	4	−	SI04b
359	Ⅰ B17n	24	22	19	3	2	4	−	SI04b
360	Ⅰ B17n	20	17	18	3	4	3	−	SI04b
361	Ⅰ B17m	30	25	20	3	4	3	−	SI04b
362	Ⅰ B17n	20	17	22	2	4	3	−	
363	Ⅰ B17n	20	18	55	3	2	4	−	
364	Ⅰ B17n	20	19	44	3	4	4	○	
365	Ⅰ B17n	27	26	15	3	2	4	−	
366	Ⅰ B17n	21	19	21	3	2	4	−	
367	Ⅰ B17n	19	14	28	3	2	4	−	
368	Ⅰ B17n	28	23	12	3	2	4	−	
369	Ⅰ B17n	33	27	23	3	3	4	−	
370	Ⅰ B18n	24	20	26	3	3	4	−	
371	Ⅰ B18n	20	16	17	3	3	4	−	
372	Ⅰ B18n	25	16	17	3	4	3	−	
373	Ⅰ B18n	19	16	14	3	3	3	−	
374	Ⅰ B17n	20	18	23	3	2	4	−	SI04a
375	Ⅰ B17m	21	19	14	3	2	4	−	
376	Ⅰ B17m	18	15	18	3	3	4	−	
377	Ⅰ B17m	33	29	25	3	2	4	−	SI04b
378	Ⅰ B17m	20	19	25	2	2	4	−	SI04b
379	Ⅰ B17m	21	19	25	3	2	4	−	
380	Ⅰ B17m	19	17	19	3	2	4	−	SI04c
381	Ⅰ B17m	27	21	19	3	2	4	−	
382	Ⅰ B17m	44	32	22	3	3	4	−	
383	Ⅰ B17m	16	15	14	3	3	4	−	SI04c
384	Ⅰ B17n	27	23	11	3	3	4	−	SI04b
385	Ⅰ B17l	40	30	25	3	3	4	−	
386	Ⅰ B17l	23	20	18	3	3	4	−	SI04c
387	Ⅰ B17n	20	17	39	3	2	4	−	
388	Ⅰ B16n	26	24	56	3	3	4	−	
389	Ⅰ B17n	30	25	17	3	2	4	−	
390	Ⅰ B17m	23	18	31	3	2	4	−	SI04c
391	Ⅰ B17m	23	19	17	3	3	4	−	SI04b
392	Ⅰ B17l	26	24	13	3	2	4	−	
393	Ⅰ B17m	21	16	18	3	3	4	−	SI04a
394	Ⅰ B16m	25	21	24	3	3	4	−	
395	Ⅰ B16n	20	17	11	3	3	4	−	
396	Ⅰ B16n	21	18	17	3	3	4	−	
397	Ⅰ B16n	20	19	15	3	4	4	−	
398	Ⅰ B17n	38	28	30	4	2	3	−	SI04b
399	Ⅰ B18m	22	18	29	3	3	4	−	
400	Ⅰ B18n	20	17	17	3	3	3	−	
401	Ⅰ B18n	22	21	17	3	3	4	−	
402	Ⅰ B17n	21	18	14	3	3	4	−	
403	Ⅰ B16n	28	25	21	3	3	4	−	
404	Ⅰ B17l	19	18	27	3	3	4	−	
405	Ⅰ B18m	43	36	40	3	4	3	−	
406	Ⅰ B18m	20	16	19	3	3	4	−	
407	Ⅰ B18m	24	22	24	3	3	4	−	
408	Ⅰ B18l	31	27	23	4	2	3	−	
409	Ⅰ B18l	20	19	17	4	2	3	−	
410	Ⅰ B18l	27	22	25	3	2	4	−	
411	Ⅰ B18l	27	25	15	3	4	3	−	
412	Ⅰ B18l	28	21	23	2	3	4	−	
413	Ⅰ B18m	28	20	19	3	4	4	−	
414	Ⅰ B18m	23	23	36	4	3	4	−	
415	Ⅰ B18m	23	20	12	3	3	3	−	
416	Ⅰ B18m	27	20	15	4	3	3	−	
417	Ⅰ B18m	26	22	26	4	3	4	−	
418	Ⅰ B18m	19	16	36	4	2	4	−	
419	Ⅰ B18n	20	16	18	4	2	4	−	
420	Ⅰ B18n	27	26	28	4	2	4	−	
421	Ⅰ B18p	33	26	49	4	2	4	−	
422	Ⅰ B18n	30	27	16	3	3	4	−	
423	Ⅰ B18n	22	19	15	3	3	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
424	Ⅰ B17n	(21)	(28)	57	4	4	2	−	
425	Ⅰ B17m	53	43	46	3	4	3	−	SI04a
426	Ⅰ B17o	26	24	39	4	2	3	−	
427	Ⅰ B17n	21	17	15	4	2	3	−	
428	Ⅰ B17o	31	23	40	4	2	4	−	
429	Ⅰ B17o	21	18	22	4	3	4	−	
430	Ⅰ B17o	(26)	21	25	4	2	4	−	
431	Ⅰ B18o	17	15	14	3	4	4	−	
432	Ⅰ B17o	35	31	46	1	2	4	−	
433	Ⅰ B17o	34	24	36	3	2	3	−	
434	Ⅰ B18o	17	16	11	3	3	4	−	
435	Ⅰ B17o	21	16	10	3	3	4	−	
436	Ⅰ B18o	19	16	9	3	4	3	−	
437	Ⅰ B18o	22	19	11	3	3	4	−	
438	Ⅰ B18o	20	17	10	3	3	4	−	
439	Ⅰ B17o	17	15	11	3	3	4	−	
440	Ⅰ B17r	19	17	13	4	2	4	−	
441	Ⅰ B18n	61	53	25	3	3	3	−	
442	Ⅰ B17o	36	36	36	3	2	4	−	
443	Ⅰ B16o	26	21	25	3	2	4	−	
444	Ⅰ B16o	17	16	18	3	2	4	−	
445	Ⅰ B15o	35	29	37	記録なし			−	
446	Ⅰ B15o	34	28	18	4	3	4	−	
447	Ⅰ B16r	26	22	15	4	1	3	−	
448	Ⅰ B16q	25	19	16	3	3	4	−	
449	Ⅰ B16o	27	23	37	4	2	4	−	
450	Ⅰ B17p	20	17	12	3	3	4	−	
451	Ⅰ B17p	19	18	29	3	2	4	−	
452	Ⅰ B16p	21	18	28	3	2	4	−	
453	Ⅰ B17p	21	16	21	3	2	4	−	
454	Ⅰ B17p	23	18	18	3	3	3	−	
455	Ⅰ B17p	20	11	23	3	3	4	−	
456	Ⅰ B17p	27	22	10	3	3	4	−	
457	Ⅰ B17p	21	17	33	3	2	4	−	
458	Ⅰ B17p	29	27	24	3	2	3	−	
459	Ⅰ B17p	23	21	36	3	2	4	−	
460	Ⅰ B16p	23	16	19	3	3	3	−	
461	Ⅰ B16p	17	14	13	3	3	4	−	
462	Ⅰ B16p	27	26	25	3	3	4	−	
463	Ⅰ B16p	20	18	23	3	3	4	−	
464	Ⅰ B16p	23	21	45	3	2	4	−	
465	Ⅰ B16p	15	13	34	3	2	4	−	
466	Ⅰ B16p	23	19	24	3	3	4	−	
467	Ⅰ B16p	18	16	28	3	3	4	−	
468	Ⅰ B16p	19	18	18	3	3	4	−	
469	Ⅰ B16p	27	19	45	3	2	3	−	
470	Ⅰ B16p	28	23	32	3	3	3	−	
471	Ⅰ B16p	22	18	15	4	2	3	−	
472	Ⅰ B16p	23	22	21	4	2	3	−	
473	Ⅰ B15p	20	19	30	4	2	3	−	
474	Ⅰ B15p	33	31	26	4	3	3	−	
475	Ⅰ B15p	34	26	14	4	2	3	−	
476	Ⅰ B15p	33	29	15	4	2	3	−	
477	Ⅰ B18m	28	20	21	3	2	4	−	
478	Ⅰ B18m	23	19	13	3	2	4	−	
479	Ⅰ B17o	32	29	35	3	3	4	−	
480	Ⅰ B17o	30	28	52	3	2	4	−	
481	Ⅰ B16s	38	36	27	4	2	5	−	
482	Ⅰ B15t	25	21	12	4	3	2	−	
483	Ⅰ B15t	35	34	43	4	3	2	−	
484	Ⅰ C15a	22	19	14	4	2	4	−	
485	Ⅰ B16s	(46)	(43)	39	記録なし			−	
486	Ⅰ B18o	26	22	17	3	2	4	−	
487	Ⅰ B18n	20	13	10	3	2	4	−	
488	Ⅰ B18n	18	14	12	3	3	4	−	
489	Ⅰ B18n	17	16	21	3	3	4	−	
490	Ⅰ B17o	27	22	20	3	2	4	−	
491	Ⅰ B17n	29	22	30	3	2	4	−	
492	Ⅰ B17o	26	25	15	3	2	4	−	
493	Ⅰ B16q	23	19	20	3	3	4	−	
494	Ⅰ B16q	21	18	12	3	3	3	−	
495	Ⅰ B16q	20	17	26	3	2	4	−	
496	Ⅰ B16q	22	17	35	3	3	4	−	
497	Ⅰ B16q	24	21	35	3	3	4	−	
498	Ⅰ B16q	22	20	16	3	2	4	−	
499	Ⅰ B16q	22	18	37	3	2	4	−	
500	Ⅰ B16q	25	23	19	3	3	4	−	
501	Ⅰ B16q	28	27	45	3	3	4	−	
502	Ⅰ B16q	22	20	37	3	2	4	−	
503	Ⅰ B16q	16	15	13	3	2	4	−	
504	Ⅰ B16q	17	15	21	3	3	4	−	
505	Ⅰ B16q	20	20	10	3	3	4	−	
506	Ⅰ B16q	19	17	23	3	3	4	−	
507	Ⅰ B16q	18	16	29	3	3	4	−	
508	Ⅰ B16q	26	25	19	3	3	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（4）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
509	Ⅰ B16q	20	17	24	3	3	4	−	
510	Ⅰ B16q	23	19	19	3	3	4	−	
511	Ⅰ B16q	22	19	15	3	1	3	−	
512	Ⅰ B16q	16	15	8	3	2	4	−	
513	Ⅰ B16q	26	15	13	3	3	3	−	
514	Ⅰ B16q	21	20	15	3	2	4	−	
515	Ⅰ B16q	21	15	37	4	2	3	−	
516	Ⅰ B15q	20	19	23	3	3	4	−	
517	Ⅰ B15q	19	18	33	3	3	4	−	
518	Ⅰ B15q	20	16	29	4	3	4	−	
519	Ⅰ B15r	27	25	39	4	3	4	−	
520	Ⅰ B16q	27	25	11	3	3	4	−	
521	Ⅰ B16q	17	16	42	3	2	4	−	
522	Ⅰ B15q	26	24	23	3	3	3	−	
523	Ⅰ B15q	26	20	36	1	2	3	−	
524	Ⅰ B15q	19	17	23	3	3	4	−	
525	Ⅰ B15r	23	22	27	3	3	3	−	
526	Ⅰ B15r	42	32	16	4	2	3	−	
527	Ⅰ B15r	22	20	18	3	2	4	−	
528	Ⅰ B16r	22	17	33	3	2	4	−	
529	Ⅰ B15r	27	23	23	4	2	3	−	
530	Ⅰ B15t	28	(27)	17	4	2	3	−	
531	Ⅰ B15t	21	19	13	4	2	3	−	
532	Ⅰ B17n	16	13	13	3	3	4	−	
533	Ⅰ B17m	14	12	20	3	2	4	−	SI04b
534	Ⅰ B17m	16	14	9	3	3	4	−	SI04a
535	Ⅰ B17m	17	15	14	3	3	3	−	
536	Ⅰ B17p	23	17	16	4	2	3	−	
537	Ⅰ B17q	18	16	9	4	2	3	−	
538	Ⅰ B17p	24	23	19	4	2	3	−	
539	Ⅰ B17o	18	18	13	3	2	4	−	
540	Ⅰ B17o	13	12	18	3	2	4	−	
541	Ⅰ B17o	21	16	11	3	3	4	−	
542	Ⅰ B16o	21	18	25	3	2	4	−	
543	Ⅰ B16o	26	23	35	3	2	4	−	
544	Ⅰ B17n	16	16	10	3	3	3	−	
545	Ⅰ B18m	18	17	16	2	3	4	−	
546	Ⅰ B17p	20	16	18	3	3	4	−	
547	Ⅰ B16p	16	14	39	3	2	4	−	
548	Ⅰ B16p	20	18	23	3	2	4	−	
549	Ⅰ B16p	17	14	25	3	2	4	−	
550	Ⅰ B16p	20	18	22	3	2	4	−	
551	Ⅰ B16p	22	20	36	3	2	4	−	
552	Ⅰ B16p	18	17	13	3	2	4	−	
553	Ⅰ B16p	23	18	12	3	2	4	−	
554	Ⅰ B16q	20	17	19	3	2	4	−	
555	Ⅰ B16s	27	25	30	4	2	3	−	
556	Ⅰ B16s	22	17	15	4	2	4	−	
557	Ⅰ B16s	20	17	11	4	2	4	−	
558	Ⅰ B16s	19	17	12	4	2	3	−	
559	Ⅰ B17s	24	22	24	4	3	3	−	
560	Ⅰ B17s	27	22	22	4	3	3	−	
561	Ⅰ B17p	33	17	28	3	2	4	−	
562	Ⅰ B17p	20	17	40	3	2	4	−	
563	Ⅰ B17p	22	20	18	3	3	3	−	
564	Ⅰ B16p	25	23	23	3	3	4	−	
565	Ⅰ B16r	20	18	10	3	2	4	−	
566	Ⅰ B16r	28	21	13	3	3	4	−	
567	Ⅰ B16r	22	18	22	3	2	4	−	
568	Ⅰ B16r	19	19	51	3	2	4	−	
569	Ⅰ B16r	22	13	23	3	3	4	−	
570	Ⅰ B16r	25	22	16	3	3	4	−	
571	Ⅰ B16r	16	14	8	3	2	4	−	
572	Ⅰ B16r	20	19	30	3	2	4	−	
573	Ⅰ B16r	22	18	27	3	2	4	−	
574	Ⅰ B16r	21	18	22	3	2	4	−	
575	Ⅰ B16r	18	16	22	3	2	4	−	
576	Ⅰ B16r	19	14	33	3	2	4	−	
577	Ⅰ B16r	21	20	19	3	2	4	−	
578	Ⅰ B16r	21	18	22	3	2	4	−	
579	Ⅰ B16r	16	13	14	3	2	4	−	
580	Ⅰ B16r	19	17	18	3	2	4	−	
581	Ⅰ B16r	19	16	23	3	2	4	−	
582	Ⅰ B16r	20	19	18	3	3	4	−	
583	Ⅰ B17r	24	18	26	3	2	4	−	
584	Ⅰ B17r	23	20	24	3	2	4	○	
585	Ⅰ B17r	19	17	16	3	2	4	−	
586	Ⅰ B15p	21	18	13	3	2	4	−	
587	Ⅰ B15p	37	31	27	4	3	2	−	
588	Ⅰ B15q	28	22	19	3	3	3	−	
589	Ⅰ B14q	21	17	27	3	3	3	−	
590	Ⅰ B16r	24	22	25	3	2	4	−	
591	Ⅰ B17r	24	17	29	3	2	4	−	
592	Ⅰ B17r	17	13	19	3	2	4	−	
593	Ⅰ B17r	25	23	26	3	2	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
594	Ⅰ B17r	18	14	12	3	2	4	−	
595	Ⅰ B17r	19	17	15	3	2	4	−	
596	Ⅰ B17r	20	19	21	3	3	4	○	
597	Ⅰ B17r	24	18	20	3	2	4	−	
598	Ⅰ B17r	18	18	31	3	2	4	−	
599	Ⅰ B17r	29	25	31	3	2	4	−	
600	Ⅰ B17r	26	23	14	3	3	4	−	
601	Ⅰ B17r	28	22	22	3	3	3	−	
602	Ⅰ B18r	24	22	16	3	2	3	−	
603	Ⅰ B18r	20	17	11	3	3	3	−	
604	Ⅰ B18r	29	27	19	3	3	4	−	
605	Ⅰ B17t	19	18	29	3	2	4	−	
606	Ⅰ B17t	26	23	33	3	2	4	−	
607	Ⅰ B17t	21	20	34	3	2	4	−	
608	Ⅰ B17t	32	26	29	3	2	4	−	
609	Ⅰ B17t	19	17	24	3	2	4	−	
610	Ⅰ B17t	18	13	35	3	2	4	−	
611	Ⅰ B17t	20	15	19	3	3	3	−	
612	Ⅰ B17t	25	24	23	3	3	4	−	
613	Ⅰ B16t	22	20	20	2	3	4	−	
614	Ⅰ B16t	24	21	24	3	3	4	−	
615	Ⅰ B16t	20	16	24	3	3	4	−	
616	Ⅰ B16t	17	14	14	3	2	4	○	
617	Ⅰ B16t	24	21	18	3	3	4	−	
618	Ⅰ B16t	16	12	17	3	2	4	−	
619	Ⅰ B16t	20	19	38	3	2	4	−	
620	Ⅰ B16t	25	21	50	3	2	4	−	
621	Ⅰ B16t	22	19	22	3	2	4	−	
622	Ⅰ B16t	29	22	17	2	2	4	−	
623	Ⅰ B16t	24	21	27	3	2	4	−	
624	Ⅰ B16t	21	17	18	3	2	4	−	
625	Ⅰ B16t	30	22	62	3	2	4	−	
626	Ⅰ B16t	18	17	26	3	2	4	−	
627	Ⅰ B16t	28	19	14	3	2	4	−	
628	Ⅰ B16t	38	29	26	3	2	4	−	
629	Ⅰ B16t	18	14	19	3	2	4	−	
630	Ⅰ B16t	19	16	28	3	2	4	−	
631	Ⅰ B16t	18	14	22	3	2	4	−	
632	Ⅰ B16t	19	15	28	3	2	4	−	
633	Ⅰ C16a	23	18	17	3	2	4	−	
634	Ⅰ B16t	22	20	12	3	2	4	−	
635	Ⅰ B16t	16	14	17	3	2	4	−	
636	Ⅰ B16t	22	18	26	3	2	4	−	
637	Ⅰ B16t	22	20	25	3	2	4	−	
638	Ⅰ C15a	21	17	20	3	2	4	−	
639	Ⅰ B15t	19	18	30	3	2	4	−	
640	Ⅰ B15t	24	20	16	3	2	4	−	
641	Ⅰ C15a	17	14	12	3	2	4	−	
642	Ⅰ C15a	18	17	19	3	2	4	−	
643	Ⅰ B15t	19	19	10	3	2	4	−	
644	Ⅰ B15t	22	19	33	3	2	4	−	
645	Ⅰ B15t	21	19	25	3	2	4	−	
646	Ⅰ B15t	19	16	24	3	2	4	−	
647	Ⅰ B15t	17	16	33	1	2	4	−	
648	Ⅰ B15t	19	18	26	3	2	4	−	
649	Ⅰ B15t	19	18	41	3	2	4	−	
650	Ⅰ B15t	23	21	28	2	2	4	−	
651	Ⅰ B15t	23	22	16	3	2	4	−	
652	Ⅰ B15t	16	16	11	3	3	4	−	
653	Ⅰ B15t	28	24	27	3	2	4	−	
654	Ⅰ B15t	24	21	22	3	3	4	−	
655	Ⅰ B15t	21	16	12	3	3	4	−	
656	Ⅰ B15t	22	21	36	3	3	4	−	
657	Ⅰ B15t	17	16	18	3	2	4	−	
658	Ⅰ B15t	26	18	11	3	2	4	−	
659	Ⅰ B15t	34	27	42	3	2	4	○	
660	Ⅰ B15t	20	18	28	3	3	4	−	
661	Ⅰ C15a	51	42	20	3	3	3	−	
662	Ⅰ C15a	25	22	36	3	3	4	−	
663	Ⅰ C15a	32	22	22	3	3	3	−	
664	Ⅰ C15a	21	18	22	3	3	3	−	
665	Ⅰ C15a	30	25	22	4	3	3	−	
666	Ⅰ B15t	15	14	16	3	3	3	−	
667	Ⅰ B15t	54	36	47	4	2	3	−	
668	Ⅰ B15t	18	15	15	3	2	4	−	
669	Ⅰ B15t	35	23	32	4	3	3	−	
670	Ⅰ B17s	(18)	(15)	9	4	2	3	−	
671	Ⅰ B15t	37	25	39	3	3	3	○	
672	Ⅰ B16s	29	22	30	3	2	3	−	
673	Ⅰ B18n	18	17	15	3	3	4	−	
674	Ⅰ B18n	19	16	15	2	3	3	−	
675	Ⅰ B18m	18	15	25	3	2	4	−	
676	Ⅰ B17o	21	18	19	3	2	4	−	
677	Ⅰ B17o	22	20	37	3	2	4	−	
678	Ⅰ B17o	21	17	20	3	3	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（5）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
679	Ⅰ B17o	23	18	18	3	3	4	−	
680	Ⅰ B16o	23	19	55	3	2	4	−	
681	Ⅰ B18o	30	20	25	3	3	4	−	
682	Ⅰ B17o	16	15	22	3	3	4	−	
683	Ⅰ B17o	20	15	19	3	3	4	−	
684	Ⅰ B16o	22	21	13	3	2	4	−	
685	Ⅰ B16o	21	16	13	3	3	4	−	
686	Ⅰ B16o	11	10	5	3	2	4	−	
687	Ⅰ B16o	13	10	13	3	2	4	−	
688	Ⅰ B16o	21	17	41	3	2	4	−	
689	Ⅰ B16o	16	14	14	3	2	4	−	
690	Ⅰ B16o	43	30	7	3	3	3	−	
691	Ⅰ B16o	23	20	31	3	2	3	−	
692	Ⅰ B16o	14	11	29	3	2	4	−	
693	Ⅰ B17p	21	20	22	3	2	4	−	
694	Ⅰ B17o	16	14	26	3	2	4	−	
695	Ⅰ B17o	14	13	13	3	2	4	−	
696	Ⅰ B17p	25	19	44	3	2	4	−	
697	Ⅰ B17p	16	14	16	3	2	4	−	
698	Ⅰ B17q	20	19	19	3	2	4	−	
699	Ⅰ B17q	15	14	11	3	2	4	−	
700	Ⅰ B17q	34	17	31	3	2	4	−	
701	Ⅰ B17q	(17)	16	20	4	2	4	−	
702	Ⅰ B17q	25	23	26	2	2	4	−	
703	Ⅰ B17q	23	19	11	3	2	4	−	
704	Ⅰ B18r	28	24	29	3	2	4	○	
705	Ⅰ B18r	22	19	24	3	2	4	−	
706	Ⅰ B17r	18	17	26	3	2	4	−	
707	Ⅰ B17r	24	22	23	3	3	4	○	
708	Ⅰ B17r	25	22	21	3	2	4	−	
709	Ⅰ B18s	35	18	27	3	2	2	−	
710	Ⅰ B17s	21	20	41	3	2	4	−	
711	Ⅰ B17s	23	20	16	3	2	4	−	
712	Ⅰ B17s	35	26	23	3	2	3	−	
713	Ⅰ B17s	16	15	20	3	2	4	−	
714	Ⅰ B17s	24	19	40	3	2	4	−	
715	Ⅰ B17s	29	27	50	3	2	4	−	
716	Ⅰ B17s	25	20	29	3	2	4	○	
717	Ⅰ B17s	18	16	16	3	2	4	−	
718	Ⅰ B17s	18	17	23	3	2	4	○	
719	Ⅰ B16s	22	18	23	3	2	4	−	
720	Ⅰ B17s	23	18	11	3	2	4	−	
721	Ⅰ B17s	27	21	41	3	1	3	○	
722	Ⅰ B16s	38	22	32	3	2	4	○	
723	Ⅰ B16s	21	18	11	3	2	4	−	
724	Ⅰ B16s	16	15	14	3	3	4	−	
725	Ⅰ B16s	15	12	27	3	2	4	○	
726	Ⅰ B16s	25	22	16	3	2	4	−	
727	Ⅰ B17s	32	28	41	3	2	4	○	
728	Ⅰ B17s	(21)	(13)	22	4	1	3	−	
729	Ⅰ B16s	32	25	50	3	2	4	−	
730	Ⅰ B17s	21	17	17	3	2	4	−	
731	Ⅰ B17s	25	19	17	3	2	4	−	
732	Ⅰ B17s	18	17	19	3	2	4	○	
733	Ⅰ B17s	27	19	22	3	2	4	○	
734	Ⅰ B16s	22	18	27	3	2	4	−	
735	Ⅰ B17s	27	25	27	3	2	4	○	
736	Ⅰ B17s	23	21	26	3	2	4	○	
737	Ⅰ B16s	19	17	24	3	3	4	−	
738	Ⅰ B17s	16	15	37	3	2	4	−	
739	Ⅰ B18q	24	23	36	3	3	4	−	
740	Ⅰ B14p	16	16	12	2	4	4	−	
741	Ⅰ B15p	27	25	17	4	2	4	−	
742	Ⅰ B15p	26	23	19	4	3	3	−	
743	Ⅰ B15q	18	16	16	2	3	4	−	
744	Ⅰ B15q	28	24	30	4	2	3	−	
745	Ⅰ B15q	17	16	12	2	2	4	−	
746	Ⅰ B15q	19	16	20	3	2	3	−	
747	Ⅰ B15q	15	12	17	2	2	4	−	
748	Ⅰ B15q	16	14	14	3	2	4	−	
749	Ⅰ B15q	15	12	15	3	3	4	−	
750	Ⅰ B15r	16	15	15	3	2	4	−	
751	Ⅰ B15r	20	18	14	3	2	4	−	
752	Ⅰ B16n	22	20	15	4	2	3	−	
753	Ⅰ B15n	20	19	11	3	3	4	−	
754	Ⅰ B15n	20	19	19	3	2	4	−	
755	Ⅰ B15o	19	18	14	4	3	3	−	
756	Ⅰ B15o	22	20	23	3	3	4	−	
757	Ⅰ B16s	32	28	44	3	2	4	○	
758	Ⅰ B17r	21	15	23	3	2	4	−	
759	Ⅰ B16r	22	20	16	3	2	4	−	
760	Ⅰ B16r	17	13	12	2	2	4	−	
761	Ⅰ B16r	34	24	50	3	2	4	−	
762	Ⅰ B16s	17	16	18	3	2	4	−	
763	Ⅰ B16s	20	18	19	3	3	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
764	Ⅰ B16s	14	9	26	3	2	4	−	
765	Ⅰ B16s	14	13	12	3	2	4	−	
766	Ⅰ B16s	26	19	17	3	2	4	−	
767	Ⅰ B16s	27	21	10	3	2	4	−	
768	Ⅰ B16s	20	18	39	3	2	4	−	
769	Ⅰ B16s	26	24	36	3	2	4	−	
770	Ⅰ B16s	25	23	22	3	2	4	−	
771	Ⅰ B16s	18	17	21	3	2	4	−	
772	Ⅰ B16s	15	12	12	3	2	4	−	
773	Ⅰ B16s	24	23	24	3	2	4	−	
774	Ⅰ B16s	26	24	34	3	2	4	−	
775	Ⅰ B16s	36	29	21	3	3	4	−	
776	Ⅰ B16r	46	42	38	3	2	4	−	
777	Ⅰ B16s	49	28	41	3	2	4	−	
778	Ⅰ B16s	18	16	15	3	2	4	−	
779	Ⅰ B16s	14	7	13	3	2	4	−	
780	Ⅰ B16s	14	13	15	3	2	4	−	
781	Ⅰ B16s	17	16	24	3	2	4	−	
782	Ⅰ B16s	29	27	15	3	3	4	−	
783	Ⅰ B16s	20	15	14	3	2	4	−	
784	Ⅰ B16s	17	15	9	3	2	4	−	
785	Ⅰ B16s	17	16	33	3	2	4	−	
786	Ⅰ B16s	24	20	25	3	2	4	−	
787	Ⅰ B16s	22	20	37	3	2	4	−	
788	Ⅰ B16s	26	(25)	52	3	2	4	−	
789	Ⅰ B16s	25	(22)	40	3	2	4	−	
790	Ⅰ B16s	26	23	24	4	2	3	−	
791	Ⅰ B16t	24	21	20	4	2	3	−	
792	Ⅰ B17t	18	15	17	3	2	4	−	
793	Ⅰ B16t	40	24	21	3	2	4	−	
794	Ⅰ B17t	24	22	29	3	2	4	−	
795	Ⅰ B16t	20	17	29	3	2	4	−	
796	Ⅰ C15a	24	18	33	3	2	4	−	
797	Ⅰ C15a	21	18	24	3	2	4	−	
798	Ⅰ C15a	30	23	28	3	2	4	−	
799	Ⅰ C15a	(27)	(20)	33	3	2	4	−	
800	Ⅰ C15a	26	25	31	3	2	4	−	
801	Ⅰ C12a	(29)	25	28	4	3	4	−	
802	Ⅰ C12a	36	26	43	4	3	4	−	
803	Ⅰ B12t	45	35	23	4	3	4	−	
804	Ⅰ B12t	20	18	45	4	3	4	−	
805	Ⅰ C13a	39	36	41	4	3	4	−	
806	Ⅰ C13a	30	23	34	4	3	4	−	
807	Ⅰ C13a	35	19	30	4	3	4	−	
808	Ⅰ C13a	24	21	26	4	3	4	−	
809	Ⅰ C13a	(56)	44	63	4	−	4	−	
810	Ⅰ C13a	31	28	23	4	3	4	−	
811	Ⅰ B15o	25	22	27	4	4	4	−	
812	Ⅰ B14o	16	16	15	4+1	3	4	−	
813	Ⅰ B14o	19	16	16	4+1	3	4	−	
814	Ⅰ B14o	23	21	25	4+1	3	4	−	
815	Ⅰ B14o	20	18	12	4+1	3	4	−	
816	Ⅰ B14o	17	16	13	4+1	3	4	−	
817	Ⅰ B15o	20	17	11	4+1	3	4	−	
818	Ⅰ B15o	20	16	12	4+1	3	4	−	
819	Ⅰ B15o	18	16	14	4+1	3	4	−	
820	Ⅰ B15o	26	24	24	4+1	3	4	−	
821	Ⅰ B15p	23	20	13	4+1	3	4	−	
822	Ⅰ B15o	20	16	29	4+1	3	4	−	
823	Ⅰ B14o	17	13	8	4+1	3	4	−	
824	Ⅰ B14o	17	14	24	4+1	3	4	−	
825	Ⅰ B14o	35	22	13	4+1	3	4	−	
826	Ⅰ B14o	19	17	13	4	3	4	−	
827	Ⅰ B11t	(33)	(32)	50	記録なし			−	
828	Ⅰ B12s	58	32	30	4	3	4	−	
829	Ⅰ B12s	79	35	24	4	4	4	−	
830	Ⅰ B12s	17	13	15	4	4	4	−	
831	Ⅰ B13t	30	26	34	4	3	4	−	
832	Ⅰ B13t	(29)	26	34	4	3	4	−	
833	Ⅰ B13t	(52)	(37)	67	記録なし			−	
834	Ⅰ B13t	29	27	44	4	3	4	−	
835	Ⅰ B13t	(29)	26	43	4	3	4	−	
836	Ⅰ B13s	22	19	25	4	4	4	−	
837	Ⅰ B13t	22	15	28	4	4	4	−	
838	Ⅰ B12r	41	38	28	4	4	4	−	
839	Ⅰ B15t	39	27	25	4	4	3	−	
840	Ⅰ B15t	49	42	51	4	4	3	−	
841	Ⅰ B11t	32	23	46	4	4	4	−	
842	Ⅰ B11t	35	24	23	4	4	4	−	
843	Ⅰ B11t	20	19	26	4	4	4	−	
844	Ⅰ C12a	20	17	19	4	4	4	−	
845	Ⅰ C12a	31	21	18	4	3	4	−	
846	Ⅰ C12a	34	31	38	4	3	4	−	
847	Ⅰ C12a	43	29	27	4	3	4	−	
848	Ⅰ C12a	39	(26)	31	4	2	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（6）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
849	Ⅰ C12a	20	17	7	4	4	4	−	
850	Ⅰ C12a	32	23	18	4	5	5	−	
851	Ⅰ C12a	23	21	19	4	3	4	−	
852	Ⅰ C12a	32	28	24	4	5	5	−	
853	Ⅰ C12a	40	23	36	4	4	4	−	
854	Ⅰ C12a	21	18	14	4	4	4	−	
855	Ⅰ C12a	27	25	27	4	4	4	−	
856	Ⅰ C12a	35	32	34	4	4	4	−	
857	Ⅰ C12a	21	16	11	4	4	4	−	
858	Ⅰ C12a	30	22	12	4	4	4	−	
859	Ⅰ C12a	28	20	24	4	3	4	−	
860	Ⅰ C12a	101	(22)	32	記録なし			−	
861	Ⅰ B12t	22	17	14	記録なし			−	
862	Ⅰ C13b	16	13	8	4	4	4	−	
863	Ⅰ C13b	25	23	16	4	4	4	−	
864	Ⅰ C13b	24	17	14	4	4	4	−	
865	Ⅰ C13b	22	18	19	4	4	4	−	
866	Ⅰ C13b	23	15	12	4	4	4	−	
867	Ⅰ C13a	21	19	19	4	4	4	−	
868	Ⅰ C13a	25	20	23	4	4	4	−	
869	Ⅰ C13a	19	17	27	4	4	4	−	
870	Ⅰ C13a	25	17	40	4	3	4	−	
871	Ⅰ C13a	21	18	33	4	4	4	−	
872	Ⅰ C13b	39	(25)	24	4	4	4	−	
873	Ⅰ C13b	39	21	29	4	3	4	−	
874	Ⅰ C13a	35	22	22	4	4	4	−	
875	Ⅰ B12s	25	17	11	4	3	4	−	
876	Ⅰ C13a	(83)	(49)	83	4	−	4	−	
877	Ⅰ C13a	(43)	(29)	36	4	3	3	−	
878	Ⅰ B12t	(61)	35	25	4	3	3	−	
879	Ⅰ B12t	20	16	11	記録なし			−	
880	Ⅰ C12a	18	15	12	記録なし			−	
881	Ⅰ C13a	44	34	36	4	3	4	−	
882	Ⅰ C13b	18	15	14	4	3	3	−	
883	Ⅰ C13a	(17)	15	19	4	3	4	−	
884	Ⅰ C13a	23	21	9	3	5	4	−	
885	Ⅰ C13a	20	15	11	3	5	4	−	
886	Ⅰ C13a	20	16	16	4	2	4	−	
887	Ⅰ C13a	15	13	12	4	3	4	−	
888	Ⅰ C12a	14	11	10	4	2	4	−	
889	Ⅰ B12t	28	21	25	4	3	4	−	
890	Ⅰ C13a	36	29	19	4	4	4	−	
891	Ⅰ C12a	24	18	20	4	3	4	−	
892	Ⅰ C13a	22	17	11	4	4	4	−	
893	Ⅰ C13a	21	17	26	4	3	4	−	
894	Ⅰ C12a	32	24	35	4	2	4	−	
895	Ⅰ C13a	26	22	20	4	3	4	−	
896	Ⅰ B12t	24	23	43	4	4	4	−	
897	Ⅰ C12a	23	21	20	4	2	4	−	
898	Ⅰ C12a	43	34	27	4	3	4	−	
899	Ⅰ C12a	17	16	17	4	4	4	−	
900	Ⅰ B12t	25	18	25	4	4	4	−	
901	Ⅰ C12a	18	17	25	4	3	4	−	
902	Ⅰ C12a	32	28	13	4	3	4	−	
903	Ⅰ B12t	24	20	21	4	3	4	−	
904	Ⅰ B12t	19	17	16	4	3	4	−	
905	Ⅰ B12t	32	22	10	4	3	4	−	
906	Ⅰ B12t	33	23	36	4	3	3	−	
907	Ⅰ B12t	24	20	20	4	3	3	−	
908	Ⅰ B12t	21	20	10	4	3	4	−	
909	Ⅰ B12t	20	18	40	4	3	4	−	
910	Ⅰ B12t	18	15	15	4	3	4	−	
911	Ⅰ B12t	30	20	14	4	3	4	−	
912	Ⅰ B12t	18	14	25	4	3	4	−	
913	Ⅰ B12t	44	33	26	4	3	4	−	
914	Ⅰ B12t	19	18	11	4	3	4	−	
915	Ⅰ B12t	24	21	32	4	3	4	−	
916	Ⅰ C13a	50	(32)	31	4	4	4	−	
917	Ⅰ B13t	(34)	(25)	14	4	4	4	−	
918	Ⅰ B13t	32	26	39	4	4	4	−	
919	Ⅰ B13t	22	19	20	4	4	4	−	
920	Ⅰ B13t	18	16	7	4	4	4	−	
921	Ⅰ B13t	28	17	22	4	4	4	−	
922	Ⅰ B13t	31	23	46	4	3	4	−	
923	Ⅰ B13t	30	25	41	4	3	4	−	
924	Ⅰ B13t	26	18	18	4	4	4	−	
925	Ⅰ B13t	25	23	27	4	4	4	−	
926	Ⅰ B13t	27	25	30	4	4	4	−	
927	Ⅰ B13t	25	20	33	4	4	4	−	
928	Ⅰ B12t	20	18	20	4	4	4	−	
929	Ⅰ B12t	26	23	45	4	4	4	−	
930	欠番								
931	Ⅰ B12t	25	23	31	4	4	4	−	
932	Ⅰ B12t	28	22	22	4	4	4	−	
933	Ⅰ B12t	39	21	30	4	4	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
934	Ⅰ B12t	28	18	19	4	4	4	−	
935	Ⅰ B12t	35	26	35	4	4	4	−	
936	Ⅰ B12t	27	25	24	4	4	4	−	
937	Ⅰ B12t	56	29	20	4	4	4	−	
938	Ⅰ B12t	27	23	20	4	3	4	−	
939	Ⅰ B12s	26	21	16	4	3	4	−	
940	Ⅰ B12s	27	24	23	4	3	4	−	
941	Ⅰ B13t	33	29	29	4	4	4	−	
942	Ⅰ B13t	38	29	33	4	4	4	−	
943	Ⅰ B13t	28	24	28	4	4	4	−	
944	Ⅰ B12t	45	35	68	4	4	4	−	
945	Ⅰ B13t	35	21	30	4	4	4	−	
946	Ⅰ B13t	45	31	42	4	4	4	−	
947	Ⅰ B13t	37	28	34	4	4	4	−	
948	Ⅰ B13t	25	22	21	4	4	4	−	
949	Ⅰ B13s	39	32	23	4	4	4	−	
950	Ⅰ B13s	23	21	31	4	3	4	−	
951	Ⅰ B13s	28	23	17	4	4	4	−	
952	Ⅰ B12s	30	28	36	4	3	4	−	
953	Ⅰ B13t	(27)	(20)	34	4	4	3	−	
954	Ⅰ B12t	18	15	25	4	4	4	−	
955	Ⅰ B11t	28	21	19	4	4	4	−	
956	Ⅰ B15m	115	27	22	4	3	4	−	
957	Ⅰ B16m	28	24	20	4	3	4	−	
958	Ⅰ B16m	106	32	16	4	3	4	−	
959	Ⅰ C14a	24	18	25	4	3	4	−	
960	Ⅰ C14a	29	20	24	4	3	4	−	
961	Ⅰ C14a	41	33	38	4	4	4	−	
962	Ⅰ C14a	22	20	15	4	3	4	−	
963	Ⅰ C14a	26	22	28	4	3	4	−	
964	Ⅰ C14a	24	21	19	4	3	4	−	
965	Ⅰ C14a	23	22	15	4	3	4	−	
966	Ⅰ C14a	20	16	21	4	3	4	−	
967	Ⅰ B14t	36	28	55	4	2	3	−	
968	Ⅰ B14t	27	23	28	4	4	4	−	
969	Ⅰ B14t	27	22	28	4	4	4	−	
970	Ⅰ B14t	24	19	15	4	4	4	−	
971	Ⅰ B14t	23	20	15	4	4	4	−	
972	Ⅰ B14t	42	37	16	4	3	4	−	
973	Ⅰ B14t	20	18	29	4	4	4	−	
974	Ⅰ B14t	21	17	20	4	4	4	−	
975	Ⅰ B14t	37	33	31	4	4	4	−	
976	Ⅰ B14t	32	24	43	4	3	4	−	
977	Ⅰ B14t	21	18	18	4	3	4	−	
978	Ⅰ B14t	34	30	23	4	3	4	−	
979	Ⅰ B14t	34	29	24	4	3	4	−	
980	Ⅰ B14t	42	28	27	4	3	4	−	
981	Ⅰ B14t	30	26	25	4	3	4	−	
982	Ⅰ B14t	33	30	22	4	3	4	−	
983	Ⅰ B14t	27	18	15	4	3	4	−	
984	Ⅰ B14s	31	28	36	4	3	4	−	
985	Ⅰ B14s	22	21	24	4	3	4	−	
986	Ⅰ B14q	24	21	20	4	4	4	−	
987	Ⅰ B14q	29	23	16	4	4	4	−	
988	Ⅰ B14p	28	20	33	4	4	4	−	
989	Ⅰ C13b	24	19	30	4	2	4	−	
990	Ⅰ C13a	24	17	20	4	4	4	−	
991	Ⅰ C12a	30	26	28	4	4	4	−	
992	Ⅰ C12a	27	24	37	4	4	4	−	
993	Ⅰ B12t	18	14	19	4	4	4	−	
994	Ⅰ B15p	30	27	20	4	4	4	−	
995	Ⅰ B15o	21	19	19	4	4	4	−	
996	Ⅰ B15o	21	19	20	4	4	4	−	
997	Ⅰ B15o	23	19	17	4	4	4	−	
998	Ⅱ B6k	17	16	18	記録なし			−	
999	Ⅱ B7l	(27)	(8)	25	記録なし			−	
1000	Ⅱ B7l	(19)	(12)	19	記録なし			−	
1001	Ⅱ B1l	29	29	12	4	2	5	−	
1002	Ⅱ B2l	30	27	18	4	4	5	−	
1003	Ⅱ B1l	38	33	40	4	2	5	−	
1004	Ⅱ B1l	81	44	30	4	2	2	−	
1005	Ⅰ B20l	22	22	30	4	2	5	−	
1006	Ⅰ B20l	30	25	11	3	4	5	−	
1007	Ⅰ B20m	39	36	19	3	5	5	−	
1008	Ⅱ B1m	(61)	56	23	4	5	5	−	
1009	Ⅰ B20p	43	39	16	4	2	5	−	
1010	Ⅰ B20p	35	24	25	2	5	5	−	
1011	Ⅰ B20p	23	19	39	3	2	2	−	
1012	Ⅰ B20p	36	29	25	3	2	5	−	
1013	Ⅱ B1p	26	22	28	3	4	1	−	
1014	Ⅰ B20p	41	28	32	3	2	5	−	
1015	Ⅰ B20p	32	30	58	3	5	5	−	
1016	Ⅰ B20p	49	40	37	3	1	5	−	
1017	Ⅱ B1p	18	16	16	3	5	2	−	
1018	Ⅰ B19p	36	29	38	3	2	5	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（7）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1019	Ⅰ B20p	20	19	23	3	4	5	−	
1020	Ⅰ B20p	30	26	31	3	5	2	−	
1021	Ⅰ B19p	32	26	23	3	2	2	−	
1022	Ⅰ B20p	21	21	16	3	1	4	−	
1023	欠番								
1024	Ⅱ B1p	34	24	34	3	4	1	−	
1025	Ⅰ B20p	23	22	15	3	5	5	−	
1026	Ⅰ B20p	40	29	30	3	5	5	−	
1027	Ⅰ B20p	34	31	12	3	5	5	−	
1028	Ⅱ B1p	28	26	26	4	5	2	−	
1029	Ⅰ B19p	23	20	20	3	5	5	−	
1030	Ⅰ B20p	29	22	26	3	2	2	−	
1031	Ⅰ B20p	39	33	31	3	2	5	−	
1032	Ⅱ B1p	33	28	25	4	5	1	−	
1033	Ⅰ B19p	29	24	34	3	5	5	−	
1034	Ⅰ B19p	22	20	18	3	1	5	−	
1035	Ⅰ B20o	26	24	36	3	1	2	−	
1036	Ⅱ B1m	(57)	52	43	4	2	2	−	
1037	Ⅰ B19o	45	38	34	3	5	5	−	
1038	Ⅰ B20p	25	22	25	3	5	5	−	
1039	Ⅱ B1p	51	32	13	3	5	4	−	
1040	Ⅰ B19p	22	20	27	3	4	5	−	
1041	Ⅰ B20o	28	(28)	25	3	2	5	−	
1042	Ⅰ B20o	30	20	29	3	5	5	−	
1043	Ⅰ B20o	26	21	45	3	5	5	−	
1044	Ⅰ B20q	53	35	45	3	5	2	−	
1045	Ⅱ B1p	17	15	13	4	5	1	−	
1046	Ⅱ B1o	33	30	27	4	5	1	−	
1047	Ⅰ B20p	28	25	26	4	5	5	−	
1048	Ⅰ B20p	21	18	27	3	5	5	−	
1049	Ⅰ B20p	35	28	35	3	5	2	−	
1050	Ⅰ B20p	19	18	20	3	5	4	−	
1051	Ⅰ B20p	48	41	45	3	2	5	−	
1052	Ⅰ B19p	75	47	31	4	5	2	−	
1053	Ⅰ B20p	33	26	42	3	5	2	−	
1054	Ⅰ B20p	27	25	32	3	5	4	−	
1055	Ⅰ B20o	25	19	24	3	2	5	−	
1056	Ⅰ B20p	30	21	31	3	5	5	−	
1057	Ⅰ B20o	26	21	29	3	5	5	−	
1058	Ⅰ B20p	20	19	22	4	5	2	−	
1059	Ⅰ B20p	(29)	21	28	3	5	5	−	
1060	Ⅰ B20p	24	21	25	3	5	4	−	
1061	Ⅰ B20o	30	24	27	3	2	5	−	
1062	Ⅰ B20o	23	18	26	3	5	5	−	
1063	Ⅰ B20p	(33)	32	20	4	4	2	−	
1064	Ⅰ B20p	27	27	21	3	4	5	−	
1065	Ⅰ B20p	(64)	43	39	3	5	5	−	
1066	Ⅰ B19p	43	37	37	3	5	5	−	
1067	Ⅰ B19p	35	32	17	3	5	5	−	
1068	Ⅰ B20o	43	32	28	3	5	5	−	
1069	Ⅰ B19n	76	53	24	4	5	2	−	
1070	Ⅰ B20p	20	18	44	3	4	5	−	
1071	Ⅰ B20p	28	23	33	4	5	5	−	
1072	Ⅰ B20o	23	21	23	3	2	5	−	
1073	Ⅱ B1o	27	23	36	4	5	5	−	
1074	Ⅰ B19n	26	21	20	3	1	5	−	
1075	Ⅰ B20o	28	21	16	4	2	4	−	
1076	Ⅰ B20o	25	23	19	3	1	4	−	
1077	Ⅱ B1o	25	22	19	3	5	5	−	
1078	Ⅱ B1o	19	16	20	3	4	5	−	
1079	Ⅰ B20o	41	36	24	3	2	5	−	
1080	Ⅰ B20o	20	18	22	4	5	5	−	
1081	Ⅱ B1o	40	34	39	3	2	5	−	
1082	Ⅱ B1o	24	22	17	4	1	5	−	
1083	Ⅰ B19n	27	24	55	4	1	1	−	
1084	Ⅰ B20n	21	20	19	4	2	4	−	
1085	Ⅰ B19m	34	25	38	4	5	2	−	
1086	Ⅰ B19m	31	26	16	3	5	5	−	
1087	Ⅱ B1n	32	24	37	4	5	5	−	
1088	Ⅰ B19n	29	22	27	3	5	2	−	
1089	Ⅰ B19m	20	16	20	4	4	2	−	
1090	Ⅰ B19m	38	21	21	4	5	5	−	
1091	Ⅰ B19m	23	21	27	4	5	5	−	
1092	Ⅰ B20q	22	20	22	4	4	5	−	
1093	Ⅱ B1q	17	16	15	4	4	5	−	
1094	Ⅱ B1q	24	20	19	4	5	2	−	
1095	Ⅰ B19m	38	33	27	4	4	5	−	
1096	Ⅱ B1q	18	17	23	3	5	4	−	
1097	Ⅰ B19m	42	36	47	4	2	5	−	
1098	Ⅰ B19m	30	18	23	4	2	2	−	
1099	Ⅰ B20q	19	18	23	4	2	5	−	
1100	Ⅰ B20q	24	20	27	3	5	4	−	
1101	Ⅱ B1q	16	16	15	4	2	4	−	
1102	Ⅱ B1q	25	21	16	4	4	5	−	
1103	Ⅱ B1q	17	16	15	4	4	2	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1104	Ⅱ B1q	22	19	19	3	4	5	−	
1105	Ⅱ B1q	32	27	32	3	4	4	−	
1106	Ⅱ B1q	18	(11)	20	3	5	5	−	
1107	Ⅰ B20q	49	43	21	4	4	5	−	
1108	Ⅰ B20q	42	31	24	3	2	4	−	
1109	Ⅰ B20q	21	19	18	4	4	5	−	
1110	Ⅰ B20q	82	75	31	4	5	4	−	
1111	Ⅰ B20q	79	72	23	4	2	4	−	
1112	Ⅰ B19q	24	22	18	4	2	4	−	
1113	Ⅰ B20q	(61)	51	15	4	5	5	−	
1114	Ⅰ B19r	31	26	11	4	5	2	−	
1115	Ⅰ B20r	32	25	14	4	2	5	−	
1116	Ⅰ B20r	41	25	13	4	5	5	−	
1117	Ⅰ B19r	29	25	38	4	5	4	−	
1118	Ⅰ B19r	33	27	34	4	5	5	−	
1119	Ⅰ B20q	19	17	16	4	5	4	−	
1120	Ⅰ B19q	35	28	38	3	4	5	−	
1121	Ⅰ B20q	28	22	19	4	1	2	−	
1122	Ⅰ B20q	(78)	60	13	4	5	2	−	
1123	Ⅰ B19r	19	17	28	4	5	4	−	
1124	Ⅰ B18r	29	22	19	3	5	2	−	
1125	Ⅰ B19q	31	27	33	3	5	5	−	
1126	Ⅰ B19s	27	25	27	4	5	5	−	
1127	Ⅰ B20q	36	35	30	4	5	2	−	
1128	Ⅰ B19s	26	20	29	4	5	5	−	
1129	Ⅱ B3o	60	48	25	3	4	1	−	
1130	Ⅱ B3p	70	45	11	3	4	1	−	
1131	Ⅱ B6l	20	19	17	3	3	4	−	
1132	Ⅱ B6l	(42)	(37)	23	3	3	4	−	
1133	Ⅱ B6j	47	42	47	4	3	3	−	
1134	Ⅱ B6j	31	24	28	3	2	3	−	
1135	Ⅱ B6j	32	29	16	3	2	3	−	
1136	Ⅱ B7j	15	13	19	3	3	4	−	
1137	Ⅱ B7j	17	16	12	3	2	2	−	
1138	Ⅱ B6l	23	22	9	3+1	−	−	−	
1139	Ⅱ B6l	25	22	28	記録なし			−	
1140	Ⅱ B7l	21	19	12	3	−	−	−	
1141	Ⅱ B7l	35	34	12	3+2	3	−	−	
1142	Ⅱ B7l	28	26	42	3	4	−	−	
1143	Ⅱ B6j	57	41	50	3	4	3	○	
1144	Ⅱ B6j	32	26	40	3	4	3	−	
1145	Ⅱ B6j	30	22	29	3	4	3	−	
1146	Ⅱ B6j	35	28	34	3	4	3	−	
1147	Ⅱ B6j	37	32	24	3	5	3	−	
1148	Ⅱ B6j	29	24	21	3	4	−	−	
1149	Ⅱ B7j	20	18	9	2	3	−	−	
1150	Ⅱ B6l	(44)	36	13	4	4	−	−	
1151	Ⅱ B6l	37	(36)	32	4	3	4	−	
1152	Ⅱ B6l	25	22	30	4	3	3	−	
1153	Ⅱ B7n	28	25	9	1	2	2	○	
1154	Ⅱ B7n	23	19	9	1	2	2	−	
1155	Ⅱ B6n	(28)	(20)	34	4	2	3	○	
1156	Ⅱ B6n	(21)	(9)	29	3	2	3	−	
1157	Ⅱ B7n	29	22	17	1	2	2	−	
1158	Ⅱ B6m	(30)	(9)	15	3	2	3	−	
1159	Ⅱ B6n	(30)	(17)	39	4	4	3	○	
1160	Ⅱ B6n	(25)	(15)	21	3+1	−	−	−	
1161	Ⅱ B6j	18	15	19	4	3	3	−	
1162	Ⅱ B6j	32	22	20	4	3	3	−	
1163	Ⅱ B6j	22	17	25	4	3	3	−	
1164	Ⅱ B6k	24	17	24	4	3	3	−	
1165	Ⅱ B6j	18	14	30	4	3	3	−	
1166	Ⅱ B6k	26	23	14	4	3	3	−	
1167	Ⅱ B6k	30	25	12	4	3	3	−	
1168	Ⅱ B6m	25	22	38	4	3	3	−	
1169	Ⅱ B6l	17	15	17	4	3	3	−	
1170	Ⅱ B6l	33	(34)	18	4	3	3	−	
1171	Ⅱ B6m	24	22	24	4	3	3	−	
1172	Ⅱ B6m	21	20	40	4	3	3	−	
1173	Ⅱ B6l	23	20	46	4	3	3	−	
1174	Ⅱ B6l	23	21	19	4	3	3	−	
1175	Ⅱ B6m	26	22	30	4	3	3	−	
1176	Ⅱ B6k	21	19	31	4	3	3	−	
1177	Ⅱ B6k	38	32	24	4	3	3	−	
1178	Ⅱ B6j	(36)	36	46	4	3	3	−	
1179	Ⅱ B6i	32	25	34	4	3	3	−	
1180	Ⅱ B6j	23	19	21	4	3	3	−	
1181	Ⅱ B6k	25	23	29	4	3	3	−	
1182	Ⅱ B6k	15	12	16	4	3	3	−	
1183	Ⅱ B6k	28	23	17	4	3	4	−	
1184	Ⅱ B6k	36	26	16	4	3	3	−	
1185	Ⅱ B6k	36	15	17	4	3	3	−	
1186	Ⅱ B6k	51	21	18	4	3	3	−	
1187	Ⅱ B6k	36	33	16	3	3	3	−	
1188	Ⅱ B6j	11	7	16	4	3	3	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（8）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1189	Ⅱ B6j	30	22	36	4	3	3	−	
1190	Ⅱ B6k	21	19	39	4	3	3	−	
1191	Ⅱ B6l	17	15	20	4	3	3	−	
1192	Ⅱ B6l	48	30	14	4	3	3	−	
1193	Ⅱ B6l	(17)	(9)	18	4	3	3	−	
1194	Ⅱ B6l	26	(17)	35	4	3	3	−	
1195	Ⅱ B6l	21	18	27	4	3	3	−	
1196	Ⅱ B6j	25	21	42	4	3	3	−	
1197	Ⅱ B6j	20	17	17	4	3	3	−	
1198	Ⅱ B6j	25	23	20	4	3	3	−	
1199	Ⅱ B6j	19	18	13	4	3	3	−	
1200	Ⅱ B6j	23	19	21	4	3	3	−	
1201	Ⅰ C15a	32	(17)	30	3	2	4	−	
1202	Ⅰ B16t	23	19	29	3	2	4	−	
1203	Ⅰ C15a	18	15	29	3	2	4	−	
1204	欠番								
1205	Ⅰ C14a	42	31	20	3	3	4	−	
1206	Ⅰ C15a	23	21	21	3	3	4	−	
1207	欠番								
1208	Ⅰ B15t	31	23	30	3	2	4	−	
1209	Ⅰ B15t	30	21	43	3	3	4	−	
1210	Ⅰ B15t	28	25	41	3	2	4	−	
1211	Ⅰ B15t	17	14	27	3	2	4	−	
1212	Ⅰ B15t	17	14	20	4	2	4	−	
1213	Ⅰ B15t	16	15	18	4	2	4	−	
1214	Ⅰ B15s	18	17	28	3	2	4	−	
1215	Ⅰ B15s	20	18	27	3	2	4	−	
1216	Ⅰ B14s	22	20	24	3	2	3	−	
1217	Ⅰ B17q	21	19	16	2	3	4	−	
1218	Ⅰ B17q	26	20	25	3	2	4	−	
1219	Ⅰ B17q	24	17	21	記録なし			−	
1220	Ⅰ B17q	19	15	17	3	2	4	−	
1221	Ⅰ B17q	17	15	22	2	3	4	−	
1222	Ⅰ B17q	19	17	17	3	3	4	−	
1223	Ⅰ B17q	34	31	46	3	2	4	○	
1224	Ⅰ B17q	20	17	32	3	2	3	−	
1225	Ⅰ B17q	17	13	6	3	2	4	−	
1226	Ⅰ B17q	18	15	18	2	2	4	−	
1227	Ⅰ B17q	17	14	20	3	2	4	−	
1228	Ⅰ B15t	19	18	48	3	2	4	−	
1229	Ⅰ B15t	26	22	35	3	2	4	−	
1230	Ⅰ B16t	21	18	31	3	2	4	−	
1231	Ⅰ B16t	24	20	31	3	2	4	−	
1232	Ⅰ B16t	22	18	15	3	2	4	−	
1233	Ⅰ B16s	29	27	20	3	2	4	−	
1234	Ⅰ B16t	25	21	35	3	2	4	−	
1235	Ⅰ B16t	24	23	42	3	2	4	−	
1236	Ⅰ B16s	17	15	25	3	2	4	−	
1237	Ⅰ B16s	25	20	45	3	2	4	−	
1238	Ⅰ B16s	20	18	16	記録なし			−	
1239	Ⅰ B16s	15	12	17	3	2	4	−	
1240	Ⅰ B16s	28	26	23	3	3	4	−	
1241	Ⅰ B17s	27	22	25	3	2	4	−	
1242	Ⅰ B16r	22	19	29	3	2	4	−	
1243	Ⅰ B16s	15	13	30	3	2	4	−	
1244	Ⅰ B16s	17	16	22	3	2	4	−	
1245	Ⅰ B15t	26	20	39	3	2	4	−	
1246	Ⅰ B17s	24	23	30	3	2	4	−	
1247	Ⅰ B15t	38	23	29	3	3	4	−	
1248	Ⅰ B15t	10	7	16	3	2	4	−	
1249	Ⅰ B17s	15	14	30	3	2	4	−	
1250	Ⅰ B17t	23	15	31	3	2	4	−	
1251	Ⅰ B16t	20	20	12	3	2	3	−	
1252	Ⅰ B16s	24	21	23	記録なし			−	
1253	Ⅰ B17q	18	13	17	記録なし			−	
1254	Ⅰ B17q	25	16	35	3	2	4	−	
1255	Ⅰ B17q	19	15	32	3	2	4	−	
1256	Ⅰ B17n	26	20	32	3	3	4	−	
1257	Ⅰ B17n	20	19	20	3	3	4	−	
1258	Ⅰ B18n	25	17	17	3	3	4	−	
1259	Ⅰ B17n	20	17	24	3	3	4	−	
1260	Ⅰ B17n	22	21	31	3	3	4	−	
1261	Ⅰ B17n	27	20	27	3	3	4	−	
1262	Ⅰ B15t	35	23	32	3	2	4	−	
1263	Ⅰ B15t	16	14	18	3	2	4	−	
1264	Ⅰ B16s	17	15	27	記録なし			−	
1265	Ⅰ B15s	24	22	27	3	2	4	−	
1266	Ⅰ B15s	22	21	22	3	2	4	−	
1267	Ⅰ B15s	21	16	11	3	2	4	−	
1268～1271	欠番								
1271	Ⅰ B15s	25	20	27	3	2	4	−	
1272	Ⅰ B15s	19	14	19	3	3	3	−	
1273	Ⅰ B15s	29	25	22	3	2	4	−	
1274	Ⅰ B15s	20	20	14	3	3	4	−	
1275	Ⅰ B16r	24	19	18	4	3	2	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1276	Ⅰ B16p	22	18	21	3	2	4	−	
1277	Ⅰ B16o	20	18	38	3	2	4	−	
1278	Ⅰ B18q	(33)	22	18	4	2	3	−	
1279	Ⅰ B18q	(27)	22	13	4	2	3	−	
1280	Ⅰ B17r	28	15	15	3	2	4	−	
1281	Ⅰ B15r	12	12	7	3	2	4	−	
1282	Ⅰ B15r	19	19	35	3	2	4	−	
1283	Ⅰ C15o	15	13	19	3	3	4	−	
1284	Ⅰ B15o	16	14	19	3	2	4	−	
1285	Ⅰ B15o	22	19	16	3	2	4	−	
1286	Ⅰ B15o	12	11	24	3	2	4	−	
1287	Ⅰ B15o	13	11	28	3	2	4	−	
1288	Ⅰ B13q	27	24	32	3	3	4	−	
1289	Ⅰ B13q	18	17	15	3	3	4	−	
1290	Ⅰ B13q	16	15	20	3	3	4	−	
1291	Ⅰ B13q	14	12	11	3	3	4	−	
1292	Ⅰ B14t	22	19	27	3	3	4	○	
1293	Ⅰ B13s	17	16	13	2	3	4	−	
1294	Ⅰ B12t	16	13	16	3	2	3	−	
1295	Ⅰ B16q	23	21	34	3	2	4	−	
1296	Ⅰ B16q	18	16	18	3	2	4	−	
1297	Ⅰ B16q	18	16	8	3	2	4	−	
1298	Ⅰ B16q	18	14	8	3	2	4	−	
1299	Ⅰ B16q	15	13	12	3	2	4	−	
1300	Ⅰ B18m	18	15	16	3	−	−	−	
1301	Ⅰ B18m	21	19	18	3	−	−	−	
1302	Ⅰ B17n	17	13	12	3	2	4	−	
1303	Ⅱ B3m	(55)	(49)	70	2	1	1	−	
1304～1400	欠番								
1401	Ⅱ B6n	(32)	(28)	48	4	2	4	−	
1402	Ⅱ B6n	26	20	32	3	1	3	−	
1403	Ⅱ B6n	(21)	(7)	19	3	3	3	−	
1404	Ⅱ B6n	21	21	23	記録なし			−	
1405	Ⅱ B6m	27	24	23	3	3	5	−	
1406	欠番								
1407	Ⅱ B6n	21	18	18	3	2	3	−	
1408	Ⅱ B6n	37	31	41	3	2	3	−	
1409	Ⅱ B6m	28	20	14	3	2	3	−	
1410	Ⅱ B7m	26	14	33	3	3	3	−	
1411	Ⅱ B6n	20	18	25	3	3	3	−	
1412	Ⅱ B6n	24	21	25	3	3	5	−	
1413	Ⅱ B6n	(19)	(10)	18	3	5	5	−	
1414	Ⅱ B6m	36	32	30	3	3	5	−	
1415	Ⅱ B6m	26	22	29	3	3	5	−	
1416	Ⅱ B5m	(74)	(40)	41	3	3	5	−	
1417	Ⅱ B6m	(30)	23	33	3	3	5	−	
1418	Ⅱ B6m	(37)	37	28	3	3	5	−	
1419	Ⅱ B6m	35	(33)	17	3	3	5	−	
1420	Ⅱ B6l	21	19	20	4	3	5	−	
1421	Ⅱ B6m	22	19	34	3	1	5	−	
1422	Ⅱ B6m	20	17	39	4	1	1	−	
1423	Ⅱ B6m	24	21	16	3	1	1	−	
1424	Ⅱ B6n	24	22	23	記録なし			−	
1425	Ⅱ B6m	31	24	57	記録なし			−	
1426	Ⅱ B6k	61	41	24	4	3	2	−	
1427	Ⅱ B6i	47	32	17	4	3	3	−	
1428	Ⅱ B7j	16	15	25	4	3	3	−	
1429	Ⅱ B6n	24	18	28	4	3	3	−	
1430	Ⅰ B12t	(20)	(6)	6	記録なし			−	
1431	Ⅰ C14c	25	24	19	4	−	3	−	
1432	Ⅰ C15b	41	36	38	4	−	3	−	
1433	Ⅰ C16b	31	28	39	4	−	−	−	
1434	Ⅰ C16b	32	28	18	4	−	−	−	
1435	Ⅰ C16b	30	26	28	4	−	−	−	
1436	Ⅰ C15f	37	33	26	4	3	3	−	
1437	Ⅰ C15f	28	28	23	記録なし			−	
1438	Ⅰ C16f	26	20	16	記録なし			−	
1439	Ⅰ C17f	27	25	12	記録なし			−	
1440	Ⅰ C17f	45	42	38	記録なし			○	
1441	Ⅰ C17f	31	30	40	記録なし			−	
1442	Ⅰ C17f	46	36	36	記録なし			−	
1443	Ⅰ C17f	54	39	37	記録なし			−	
1444	Ⅰ C16f	29	26	26	記録なし			−	
1445	Ⅰ C17f	40	39	60	記録なし			−	
1446	Ⅰ C17e	32	30	31	記録なし			−	
1447	Ⅰ C17e	26	25	25	記録なし			−	
1448	Ⅰ C17e	28	25	23	記録なし			−	
1449	Ⅰ C17e	31	28	23	記録なし			−	
1450	Ⅰ C17e	49	30	29	記録なし			−	
1451	Ⅰ C16e	31	27	31	4	3	3	−	
1452	Ⅰ C17e	34	26	40	4	−	3	−	
1453	Ⅰ C17e	35	29	34	4	3	3	−	
1454	Ⅰ C17e	29	28	37	4	3	3	○	
1455	Ⅰ C16d	26	23	34	4	3	3	−	
1456	Ⅰ C16d	33	26	28	4	3	3	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（9）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1457	Ⅰ C16d	28	25	44	4	3	3	−	
1458	Ⅰ C16e	28	24	36	4	3	3	−	
1459	Ⅰ C15d	32	30	26	4	3	3	−	
1460	Ⅰ C15e	31	30	35	4	3	3	−	
1461	Ⅰ C15d	27	21	26	4	3	3	−	
1462	Ⅰ C15d	30	28	22	4	3	3	−	
1463	Ⅰ C16d	35	26	29	4	3	3	○	
1464	Ⅰ C17g	(35)	(7)	20	4	3	3	−	
1465	Ⅰ C17e	32	29	26	4	3	3	−	
1466	Ⅰ C16d	28	25	36	4	3	3	−	
1467	Ⅰ D12i	61	45	40	4	3	3	−	
1468	Ⅰ D12j	64	58	28	4	−	3	−	
1469～1500	欠番								
1501	Ⅰ D12k	42	38	38	記録なし				
1502	Ⅰ D12j	60	44	17	記録なし			○	
1503	Ⅰ D13j	58	56	46	記録なし			○	
1504	Ⅰ D13j	53	50	37	記録なし			○	
1505	Ⅰ D13j	62	60	25	記録なし			○	
1506	Ⅰ D13k	42	38	39	記録なし				
1507	Ⅰ D12j	29	26	15	記録なし				
1508	Ⅰ D12j	37	36	27	記録なし				
1509	Ⅰ D12j	27	26	13	記録なし				
1510	Ⅰ D13k	45	37	55	記録なし				
1511	Ⅰ D12j	27	22	29	記録なし				
1512	Ⅰ D13j	47	34	23	記録なし				
1513～1515	欠番								
1516	Ⅰ D18d	28	23	11	記録なし				
1517	Ⅰ D18d	25	23	10	記録なし				
1518	Ⅰ D18d	45	32	19	記録なし				
1519	Ⅰ D18d	21	18	16	記録なし				
1520	Ⅰ D18d	38	28	11	記録なし				
1521	Ⅰ D19d	34	28	16	記録なし				
1522	Ⅰ C17p	26	25	26	記録なし				
1523	Ⅰ C17p	40	32	29	記録なし				
1524	Ⅰ C17o	29	27	31	記録なし				
1525	Ⅰ C18o	26	23	23	記録なし				
1526	Ⅰ C18o	26	25	29	記録なし				
1527	Ⅰ C15k	31	30	45	記録なし				
1528	Ⅰ C16k	42	34	49	記録なし				
1529	Ⅰ D18d	28	28	32	4	3	3	−	
1530	Ⅰ D18d	33	29	17	3	3	−	−	
1531	Ⅰ D19d	30	27	13	4	−	−	−	
1532	Ⅰ D14b	30	29	31	4	3	3	−	
1533	Ⅰ D14b	27	26	35	4	3	3	−	
1534	Ⅰ D14b	31	28	35	4+1	3	3	−	
1535	Ⅰ D15b	38	37	32	4	−	3	−	
1536	Ⅰ D14a	45	41	38	4	−	−	−	
1537	Ⅰ D14a	48	37	34	4	−	−	−	
1538	Ⅰ D15b	62	40	49	4	−	−	−	
1539	Ⅰ D15a	44	43	31	4	−	−	−	
1540	Ⅰ D15a	49	45	43	4	−	3	−	
1541	Ⅰ D15a	53	46	38	4	−	−	−	
1542	欠番								
1543	Ⅰ D15b	41	38	21	4	3	3	−	
1544	Ⅰ E15e	37	32	27	3	−	−	−	
1545	Ⅰ E14d	33	30	59	3	−	3	−	
1546	Ⅰ E15d	30	30	18	3	3	3	−	
1547	Ⅰ E14d	33	30	82	3	3	3	−	
1548	Ⅰ E14d	40	38	40	3	3	−	−	
1549	Ⅰ E14d	39	31	23	1	3	−	−	
1550	Ⅰ E14d	25	22	26	3	3	−	−	
1551	Ⅰ E16b	37	(25)	37	3	−	−	−	
1552	Ⅰ E14d	23	23	20	3	−	−	−	
1553	Ⅰ E14d	50	46	48	1	−	−	−	
1554	Ⅰ E15e	32	23	12	3	3	−	−	
1555	Ⅰ E15d	26	22	15	3	3	−	−	
1556	Ⅰ E15d	22	22	13	3	3	−	−	
1557～1559	欠番								
1560	Ⅰ C17d	56	36	48	4	−	3	−	
1561	Ⅰ C18f	45	37	43	4	−	−	−	
1562	Ⅰ C16f	51	46	29	4	−	−	−	
1563	Ⅰ C17f	39	38	40	2+4	3	−	−	
1564	Ⅰ C17g	36	32	39	2+4	−	−	−	
1565	Ⅰ C15e	29	27	23	4	−	−	−	
1566	Ⅰ C15f	35	28	38	4	−	−	−	
1567	Ⅰ C15f	51	44	27	4	−	−	−	
1568	Ⅰ C15f	35	29	42	4	−	−	−	
1569	Ⅰ E19c	24	20	14	記録なし				
1570	Ⅰ E20c	23	21	16	記録なし				
1571	Ⅰ E18a	30	22	34	記録なし				
1572～1575	欠番								
1576	Ⅰ E20a	30	22	9	3	−	−	−	
1577	Ⅰ E19b	32	26	21	3	−	−	−	
1578	Ⅰ E19b	41	38	22	3	−	−	−	
1579	Ⅰ E19a	26	22	29	3	2	−	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1580	Ⅰ E20a	16	15	22	3	−	1	−	
1581	Ⅰ E19a	36	28	18	3	−	−	−	
1582	Ⅰ E20c	32	31	29	3	−	−	−	
1583～1600	欠番								
1601	Ⅰ F20d	40	34	43	1	4	5	−	
1602	Ⅰ E16m	46	34	47	3	3	3	○	
1603	Ⅰ E17m	56	37	70	1	3	3	○	
1604	Ⅱ F2b	24	21	13	4	3	3	−	
1605	Ⅱ F2b	24	21	18	4	3	3	−	
1606	Ⅱ F2b	45	38	12	4	3	3	−	
1607	Ⅱ F2a	26	24	39	4	3	3	−	
1608	Ⅱ F2a	35	28	24	4	3	3	−	
1609	Ⅱ F1b	44	38	18	4	3	3	−	
1610	Ⅱ F1b	22	20	16	4	3	3	−	
1611	Ⅱ F2b	18	16	15	4	3	3	−	
1612	Ⅰ F20q	28	25	19	記録なし				
1613	Ⅰ F20q	57	26	16	記録なし				
1614	Ⅰ E18q	28	26	22	3	3	3	−	
1615	Ⅱ G7f	27	15	17	4	3	1	−	
1616	Ⅱ G6e	24	21	17	4	3	1	−	
1617	Ⅱ G7e	28	20	15	4	3	1	−	
1618	Ⅱ G7e	25	21	15	4	3	1	−	
1619	Ⅱ G6e	30	28	24	4	3	1	−	
1620	Ⅱ G6e	20	18	20	4	3	1	−	
1621	Ⅱ G6f	17	15	7	4	3	2	−	
1622	Ⅱ G6e	24	20	16	4	3	2	−	SB10
1623	Ⅱ G6f	29	23	19	4	3	2	○	SB09
1624	Ⅱ G6f	35	31	32	4	3	2	○	SB08
1625	Ⅱ G6e	26	19	19	4	3	2	−	
1626	Ⅱ G6e	37	26	17	4	3	2	−	SB09
1627	Ⅱ G6e	27	22	18	4	3	2	−	
1628	Ⅱ G6f	20	16	15	4	3	2	−	
1629	Ⅱ G6f	19	18	10	4	3	2	−	
1630	Ⅱ G6f	24	22	18	4	3	2	−	
1631	Ⅱ G6f	23	22	17	4	3	2	−	
1632	Ⅱ G6f	29	25	31	4	3	2	−	SB09
1633	Ⅱ G6f	21	18	17	4	3	2	−	
1634	Ⅱ G6f	23	16	19	4	3	2	○	SB10
1635	Ⅱ G6f	19	13	11	4	3	2	−	
1636	Ⅱ G6f	24	20	20	4	3	2	○	
1637	Ⅱ G6f	27	16	31	記録なし				
1638	Ⅱ G6f	21	18	26	4	3	2	−	
1639	Ⅱ G6e	28	24	14	4	3	2	−	
1640	Ⅱ G6e	30	25	19	4	3	2	−	
1641	Ⅱ G6e	23	19	7	4	3	2	−	
1642	Ⅱ G6f	32	26	23	4	3	2	−	
1643	Ⅱ G6f	29	20	17	4	3	2	○	SB08
1644	Ⅱ G5e	35	31	28	4	3	2	○	SB09
1645	Ⅱ G5e	30	25	41	4	3	2	○	SB08
1646	Ⅱ G5e	27	20	26	4	3	2	○	
1647	Ⅱ G5e	27	23	17	4	3	4	−	
1648	Ⅱ G5e	49	33	22	3	3	4	−	
1649	Ⅱ G5e	22	18	16	4	3	2	−	
1650	Ⅱ G5e	25	22	33	4	3	2	○	
1651	Ⅱ G5e	34	30	25	4	3	2	−	
1652	Ⅱ G5f	30	25	28	4	3	2	○	
1653	Ⅱ G5f	30	23	11	3	3	4	−	SB09
1654	Ⅱ G5f	50	22	26	4	3	4	−	
1655	Ⅱ G5f	31	27	36	2	3	4	○	SB10
1656	Ⅱ G5f	20	15	5	4	3	4	−	
1657	Ⅱ G5f	25	18	14	4	3	4	−	SB10
1658	Ⅱ G5f	22	19	17	4	3	4	−	
1659	Ⅱ G5f	23	17	7	4	3	4	−	
1660	Ⅱ G5f	30	23	10	4	3	4	−	
1661	Ⅱ G6e	24	21	22	4	3	4	−	
1662	Ⅱ G5e	39	26	39	3	3	4	−	SB08
1663	Ⅱ G5e	25	23	17	3	3	4	−	
1664	Ⅱ G5e	30	26	15	4	3	4	−	
1665	Ⅱ G5f	23	21	12	4	3	2	−	
1666	Ⅱ G5f	22	18	32	4	3	2	−	
1667	Ⅱ G5f	19	15	8	4	2	2	−	
1668	Ⅱ G5f	39	35	21	4	3	2	−	SB09
1669	Ⅱ G5f	36	28	49	3	3	2	−	SB08
1670	Ⅱ G5g	28	18	24	3	3	2	−	
1671	Ⅱ G4f	35	29	26	3	3	4	−	
1672	Ⅱ G4f	27	25	30	3	3	2	−	
1673	Ⅱ G4f	34	29	18	3	3	4	−	
1674	Ⅱ G4f	25	20	23	3	3	4	−	
1675	Ⅱ G5f	24	22	15	3	3	4	−	
1676	Ⅱ G4f	33	25	39	3	3	4	−	
1677	Ⅱ G3e	32	27	23	4	3	4	−	SB07
1678	Ⅱ G4f	26	25	23	4	3	4	−	SB10
1679	Ⅱ G4f	34	25	42	4	3	4	−	SB08
1680	Ⅱ G5f	28	22	27	4	3	4	−	
1681	Ⅱ G5f	22	18	15	3	3	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（10）

遺構名	グリッド	規模（cm）			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1682	Ⅱ G5f	20	17	26	3	3	4	−	
1683	Ⅱ G4e	38	26	26	3	3	4	−	SB09
1684	Ⅱ G5e	30	27	28	3	3	4	−	SB10
1685	Ⅱ G5e	22	20	10	3	3	4	−	
1686	Ⅱ G5e	15	12	13	3	3	4	−	SB09
1687	Ⅱ G5e	30	27	37	3	3	4	−	SB10
1688	Ⅱ G6f	39	33	12	3	3	4	−	
1689	Ⅱ G5f	18	16	12	3	4	4	−	
1690	Ⅱ G5f	22	18	12	4	4	4	−	
1691	Ⅱ G4f	57	45	64	4	3	4	−	SB10
1692	Ⅱ G5g	31	28	18	3	3	2	−	
1693	Ⅱ G4f	21	20	17	3	3	4	−	
1694	Ⅱ G4f	20	17	13	3	3	4	−	
1695	Ⅱ G4e	36	31	52	4	3	4	−	SB07
1696	Ⅱ G5f	29	27	44	4	3	4	−	SB08
1697	Ⅱ G4e	24	19	18	4	3	4	−	
1698	Ⅱ G4e	28	26	24	4	3	4	−	
1699	Ⅱ G3e	34	27	16	4	3	4	−	
1700	Ⅱ G3e	22	18	19	4	3	4	−	
1701	Ⅱ H3a	40	28	24	3	4	3	−	
1702	Ⅱ H3a	34	31	22	3	4	1	−	
1703	Ⅱ H3a	40	36	42	3	4	1	−	
1704	Ⅱ G2t	35	29	26	3	3	1	−	
1705	Ⅱ G4f	16	15	12	3	3	4	−	
1706	Ⅱ G4f	26	19	8	3	3	4	−	
1707	Ⅱ G4f	29	21	17	3	3	4	−	
1708	Ⅱ G3f	20	18	7	3	2	2	−	
1709	Ⅱ G3e	26	22	11	3	3	3	−	
1710	Ⅱ G3e	33	20	18	3	3	3	−	
1711	Ⅱ G4g	34	30	49	3	3	4	−	SB09
1712	Ⅱ G5g	34	23	31	4	3	3	−	
1713	Ⅱ G6d	29	24	10	3	3	2	−	
1714	Ⅱ G6d	35	28	36	3	3	3	−	
1715	Ⅱ G6d	40	26	14	3	3	3	−	
1716	Ⅱ G6d	23	20	17	3	3	3	−	
1717	Ⅱ G6d	26	20	16	3	3	3	−	
1718	Ⅱ G5c	34	29	24	4	3	3	−	SB07
1719	Ⅱ G5c	26	23	11	3	3	3	−	
1720	Ⅱ G5c	17	14	5	4	3	3	−	
1721	Ⅱ G5c	34	29	10	4	3	2	−	
1722	Ⅱ G5c	31	28	15	4	3	2	−	SB07
1723	Ⅱ G5d	26	22	11	4	3	2	−	
1724	Ⅱ G5d	30	26	7	4	3	2	−	SB07
1725	Ⅱ G5d	16	13	7	4	3	2	−	
1726	Ⅱ G5d	21	19	21	4	3	2	−	
1727	Ⅱ G5e	23	18	11	4	3	2	−	
1728	Ⅱ G5d	36	24	10	3	4	4	○	
1729	Ⅱ G5d	17	13	6	3	4	4	−	
1730	Ⅱ G5d	21	17	7	4	3	3	−	
1731	Ⅱ G5d	22	16	11	4	3	3	−	
1732	Ⅱ G5d	39	35	32	4	3	3	−	
1733	Ⅱ G5d	22	19	13	3	3	3	−	
1734	Ⅱ G5d	47	38	16	3	3	3	−	SB07
1735	Ⅱ G5d	27	24	30	3	3	3	−	
1736	Ⅱ G5e	24	23	10	3	4	3	−	
1737	Ⅱ G5e	35	20	15	3	4	3	−	
1738	Ⅱ G5e	39	31	9	3	4	3	−	SB07
1739	Ⅱ G5e	25	22	6	3	4	3	−	
1740	Ⅱ G5e	23	20	11	3	4	3	−	
1741	Ⅱ G5e	31	18	13	3	4	2	−	
1742	Ⅱ G5e	24	21	8	3	4	2	−	
1743	Ⅱ G4e	22	18	15	4	2	2	−	
1744	Ⅱ G4f	17	14	14	4	2	2	−	
1745	Ⅱ G4d	30	26	23	4	3	3	−	
1746	Ⅱ G4c	48	38	13	4	3	3	−	SB07
1747	Ⅱ G5e	33	27	40	4	3	3	−	
1748	Ⅱ G4c	32	30	26	3	3	4	−	
1749	Ⅱ G4c	36	29	42	3	3	3	−	
1750	Ⅱ G4c	22	17	7	3	3	1	−	
1751	Ⅱ G5d	18	10	11	4	3	4	−	
1752	Ⅱ G5d	29	22	7	4	3	4	−	
1753	Ⅱ G4c	35	30	17	4	3	3	−	
1754	Ⅱ G4c	27	23	15	4	2	4	−	
1755	Ⅱ G4b	23	20	18	3	2	2	−	
1756	Ⅱ G4d	15	12	5	3	2	2	−	
1757	Ⅱ G4c	21	20	7	3	2	2	−	
1758	Ⅱ G4c	28	19	24	3	2	3	−	
1759	Ⅱ G4c	27	24	22	3	2	3	−	
1760	Ⅱ G3c	21	17	5	3	4	4	−	
1761	Ⅱ G5b	48	37	14	3	3	2	−	
1762	Ⅱ G5b	38	32	21	3	3	2	−	
1763	Ⅱ G5b	35	29	7	2	3	3	−	
1764	Ⅱ G5b	21	19	11	3	3	2	−	
1765	Ⅱ G4b	37	31	22	3	4	2	−	
1766	Ⅱ G4b	32	30	14	1	4	4	−	
1767	Ⅱ G4c	17	14	7	3	2	3	−	
1768	Ⅱ G5b	24	24	22	4	2	2	−	
1769	Ⅱ G4b	30	25	17	3	4	3	−	
1770	Ⅱ G5a	21	18	29	4	3	3	−	
1771	Ⅱ G4a	49	42	27	3	3	3	−	
1772	Ⅱ G4a	29	22	35	3	4	4	−	
1773	Ⅱ G5e	26	20	12	3	2	2	−	
1774	Ⅱ G5e	21	18	16	記録なし				
1775	Ⅱ G3d	23	22	8	3	3	3	−	
1776	Ⅱ G3d	18	15	7	3	3	3	−	
1777	Ⅱ G4a	21	13	25	3	3	3	−	
1778	Ⅱ G4a	25	20	33	3	2	3	−	
1779	Ⅱ G4a	30	22	15	3	3	3	−	
1780	欠番								
1781	Ⅱ G5d	23	18	11	4	3	3	−	
1782	Ⅱ G5d	17	13	8	3	3	4	−	
1783	Ⅱ G5d	27	21	10	2	3	4	−	
1784	Ⅱ G5d	20	20	13	4	3	3	−	
1785	Ⅱ G4d	17	13	9	4	3	3	−	
1786	Ⅱ G4d	19	16	9	3	3	3	−	
1787	Ⅱ G4d	20	20	9	3	2	3	−	
1788	Ⅱ G4d	18	13	4	3	3	3	−	
1789	Ⅱ G4d	17	12	6	3	3	3	−	
1790	Ⅱ G4d	23	17	11	3	3	3	−	
1791	Ⅱ G4d	20	16	9	3	3	3	−	
1792	Ⅱ G4d	22	21	19	3	3	3	−	
1793	Ⅱ G4d	39	35	18	3	4	2	−	SB07
1794	Ⅱ G4d	26	19	16	3	3	3	−	
1795	Ⅱ G4d	26	15	11	3	3	3	−	
1796	Ⅱ G4d	19	14	5	3	3	3	−	
1797	Ⅱ G3d	34	29	19	1	3	3	−	
1798	Ⅱ G3d	18	16	6	3	3	3	−	
1799	Ⅱ G3d	37	33	23	3	3	3	−	SB07
1800	Ⅱ G4c	25	16	15	4	2	3	−	
1801	Ⅱ G4b	25	18	20	2	4	5	−	
1802	Ⅱ G5a	25	23	40	3	3	3	○	
1803	Ⅱ G2b	29	24	26	3	2	4	−	
1804	Ⅱ G2b	25	15	7	3	2	3	−	
1805	Ⅱ G2b	25	20	17	3	2	3	−	
1806	Ⅱ G2c	22	15	5	3	3	3	−	
1807	Ⅱ G2c	29	24	17	3	3	3	−	
1808	Ⅱ G1b	26	20	13	3	3	3	−	
1809	Ⅱ G1a	25	22	10	3	3	3	−	
1810	Ⅱ G4e	23	17	8	3	3	3	−	SB07
1811	Ⅱ G5d	26	21	7	3	3	4	−	
1812	Ⅱ G4e	21	19	15	4	3	3	−	
1813	Ⅱ G4e	77	49	11	4	3	3	−	
1814	欠番								
1815	Ⅱ G4e	14	13	5	4	3	3	−	
1816	Ⅱ G3e	14	11	3	4	3	3	−	
1817	Ⅱ G3e	14	13	4	4	3	3	−	
1818	Ⅱ G3e	19	16	13	4	3	3	−	
1819	Ⅱ G3b	46	39	17	3	2	4	−	
1820	Ⅱ G3b	32	26	18	3	2	4	−	
1821	Ⅱ G3e	17	14	8	3	2	3	−	
1822	Ⅱ G4g	30	27	9	3	3	3	−	
1823	Ⅱ G3g	30	22	9	3	3	3	−	
1824	Ⅱ G3g	30	26	21	4	2	3	−	
1825	Ⅱ G4b	14	12	3	4	3	3	−	
1826	Ⅱ G3b	18	14	19	3	2	3	−	
1827	Ⅱ G3f	33	32	4	3	2	3	−	
1828	Ⅱ G3e	54	47	57	3	3	3	−	
1829	Ⅱ G3e	41	29	9	3	3	3	−	
1830	Ⅱ G2e	45	24	19	3	3	3	−	
1831	Ⅱ G4e	26	25	19	4	3	4	−	SB07
1832	Ⅱ G4e	23	19	11	3	3	3	−	
1833	Ⅱ G4f	20	19	6	3	3	3	−	
1834	Ⅱ G4e	19	15	7	3	3	3	−	
1835	Ⅱ G4e	14	11	5	3	3	3	−	
1836	Ⅱ G4e	27	24	6	記録なし				
1837	Ⅱ G4e	19	17	7	記録なし				
1838	Ⅱ G7g	27	19	27	3	3	3	−	
1839	Ⅱ G7g	21	19	10	3	3	3	−	
1840	Ⅱ G7g	30	20	30	3	3	3	−	
1841	Ⅱ G7g	31	21	27	3	3	3	−	
1842	Ⅱ G7g	28	25	23	3	3	3	−	
1843	Ⅱ G7g	27	22	10	3	3	3	−	
1844	Ⅱ G7g	26	25	15	3	3	3	−	
1845	Ⅱ G7g	38	25	23	3	3	3	−	
1846	Ⅱ G7g	17	12	9	3	3	3	−	
1847	Ⅱ G7g	28	26	17	3	3	3	−	
1848	Ⅱ G7g	23	16	13	3	3	3	−	
1849	Ⅱ G7g	18	15	15	3	3	3	−	
1850	Ⅱ G7g	26	24	29	3	3	3	−	
1851	Ⅱ G7g	35	18	16	3	3	3	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（11）

遺構名	グリッド	規模（cm）			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1852	Ⅱ G7g	26	22	17	3	3	3	−	
1853	Ⅱ G7g	17	13	15	3	3	3	−	
1854	Ⅱ G7h	31	21	41	3	3	3	−	
1855	Ⅱ G7h	29	23	17	3	3	3	−	
1856	Ⅱ G7h	31	21	21	3	3	3	−	
1857	Ⅱ G7h	30	24	23	3	3	3	−	
1858	Ⅱ G7h	22	18	15	3	3	3	−	
1859	Ⅱ G7h	26	23	17	3	3	3	−	
1860	Ⅱ G7h	64	47	18	3	3	3	−	
1861	Ⅱ G8h	24	20	21	3	3	3	−	
1862	Ⅱ G7h	30	27	14	3	3	3	−	
1863	Ⅱ G7h	34	33	18	3	3	3	−	
1864	Ⅱ G7h	19	17	29	3	3	3	−	
1865	Ⅱ G7h	23	18	19	3	3	3	−	
1866	Ⅱ G7h	40	24	41	3	3	3	−	
1867	Ⅱ G7h	26	25	34	3	3	3	−	
1868	Ⅱ G7h	20	17	20	3	3	3	−	
1869	Ⅱ G7h	22	18	24	3	3	3	−	
1870	Ⅱ G7h	32	26	48	3	3	3	−	
1871	Ⅱ G7h	27	24	22	3	3	3	−	
1872	Ⅱ G7h	46	42	16	3	3	3	−	
1873	Ⅱ G7i	27	24	29	3	3	3	−	
1874	Ⅱ G6h	24	22	14	3	3	3	−	
1875	Ⅱ G5h	23	21	18	3	3	3	−	
1876	Ⅱ G6h	18	16	10	3	3	3	−	
1877	Ⅱ G5h	30	26	17	3	3	3	−	
1878	Ⅱ G5i	20	17	12	3	3	3	−	
1879	Ⅱ G6i	25	21	24	3	3	3	−	
1880	Ⅱ G5i	25	23	19	3	−	−	−	
1881	Ⅱ G5i	23	15	10	3	3	3	−	
1882	Ⅱ G5g	38	31	19	3	3	3	−	
1883	Ⅱ G6h	23	22	16	3	3	3	−	
1884	Ⅱ G5h	28	26	13	3	3	3	−	
1885	Ⅱ G4h	44	31	25	3	3	3	−	
1886	Ⅱ G6i	36	31	31	3	3	3	−	
1887	Ⅱ G6i	24	18	6	4	3	3	−	
1888	Ⅱ G6i	57	35	32	3	3	3	−	
1889	Ⅱ G6i	47	28	14	3	3	3	−	
1890	Ⅱ G5i	19	14	9	3	3	3	−	
1891	Ⅱ G5i	23	17	16	3	3	3	−	
1892	Ⅱ G6j	31	21	12	3	3	3	−	
1893	Ⅱ G6j	35	24	16	3	3	3	−	
1894	Ⅱ G6j	27	21	12	3	3	3	−	
1895	Ⅱ G6j	24	22	14	3	3	3	−	
1896	Ⅱ G6j	27	22	31	3	3	3	−	
1897	Ⅱ G6j	24	18	7	3	3	3	−	
1898	Ⅱ G8j	75	39	31	3	3	3	−	
1899	Ⅱ G8k	56	46	7	3	3	3	−	
1900	Ⅱ G8j	30	26	40	3	3	3	−	
1901	Ⅱ G7j	30	26	23	3	3	3	−	
1902	Ⅱ G7j	18	16	18	3	3	3	−	
1903	Ⅱ G7j	24	20	20	3	3	3	−	
1904	Ⅱ G7k	29	18	14	3	3	3	−	
1905	Ⅱ G7k	27	25	15	3	3	3	−	
1906	Ⅱ G7k	21	18	13	3	3	3	−	
1907	Ⅱ G7k	21	17	16	3	3	3	−	
1908	Ⅱ G6j	25	24	10	3	3	3	−	
1909	Ⅱ G6j	22	20	11	3	3	3	−	
1910	Ⅱ G6k	25	21	11	3	3	3	−	
1911	Ⅱ G6k	28	25	15	3	3	3	−	
1912	Ⅱ G6k	30	24	20	3	3	3	−	
1913	Ⅱ G6l	29	26	15	3	3	3	−	
1914	Ⅱ G7l	21	18	12	3	3	3	−	
1915	Ⅱ G8m	39	33	20	3	3	3	−	
1916	Ⅱ G8m	44	39	35	3	3	3	−	
1917	Ⅱ G8m	37	32	40	3	3	3	−	
1918	Ⅱ G8m	42	19	34	3	3	3	−	
1919	Ⅱ G8m	34	28	18	3	3	3	−	
1920	Ⅱ G8m	28	22	26	3	3	3	−	
1921	Ⅱ G8m	39	33	13	3	3	3	−	
1922	Ⅱ G8m	20	15	26	3	3	3	−	
1923	Ⅱ G7m	37	32	33	3	3	3	−	
1924	Ⅱ G7m	23	19	27	3	3	3	−	
1925	Ⅱ G7m	41	37	23	3	3	3	−	
1926	Ⅱ G7m	30	25	20	3	3	3	−	
1927	Ⅱ G7m	33	29	17	3	3	3	−	
1928	Ⅱ G7m	38	35	15	3	3	3	−	
1929	Ⅱ G7m	18	15	8	3	3	3	−	
1930	Ⅱ G7m	34	24	13	3	3	3	−	
1931	Ⅱ G7n	25	21	25	3	3	3	−	
1932	Ⅱ G7n	24	22	13	3	3	3	−	
1933	Ⅱ G7n	24	18	12	3	3	3	−	
1934	Ⅱ G6m	42	34	14	3	3	3	−	
1935	Ⅱ G6m	32	26	18	3	3	3	−	
1936	Ⅱ G10r	25	20	13	3	3	3	−	
1937	Ⅱ G10r	25	20	10	3	3	3	−	
1938	Ⅱ G10s	40	25	25	3	3	3	−	
1939	Ⅱ G6b	56	45	61	3	3	3	−	
1940	Ⅱ G3b	24	20	47	3	3	3	−	
1941	Ⅰ F20o	27	24	13	3	1	1	−	
1942	Ⅰ F20q	18	16	14	3	1	1	−	
1943	Ⅰ F20q	26	23	22	3	−	−	−	
1944	Ⅰ F20q	27	24	17	3	−	−	−	
1945	Ⅰ F20q	35	28	14	2	3	1	−	
1946	Ⅰ F20q	26	24	23	3	1	1	−	
1947	Ⅰ F20q	32	28	20	2	3	1	−	
1948	Ⅰ F20q	37	19	12	3	1	1	−	
1949	Ⅰ F20r	20	18	16	3	1	1	−	
1950	Ⅰ F20r	29	27	26	3	1	1	−	
1951	Ⅰ F20r	15	13	24	3	1	1	−	
1952	Ⅰ F20r	21	15	10	3	1	1	−	
1953	Ⅰ F20r	26	21	9	3	1	1	−	
1954	Ⅰ F20r	18	16	10	3	1	1	−	
1955	Ⅱ G3b	18	15	10	3	1	3	−	
1956	Ⅱ G3b	22	19	21	3	1	3	−	
1957	Ⅱ G1b	27	24	33	3	1	3	−	
1958	Ⅱ G1b	38	34	27	3	1	3	−	
1959	Ⅱ G1b	22	20	19	1	1	3	−	
1960	Ⅱ G1b	30	24	54	3	1	3	−	
1961	Ⅰ F20q	67	58	47	3	1	1	−	
1962	Ⅰ F19q	29	23	19	3	1	1	−	
1963	Ⅰ F19q	35	27	36	記録なし				
1964	欠番								
1965	Ⅰ F20s	41	26	25	3	1	1	−	
1966	Ⅰ F19q	63	54	31	3	1	1	−	
1967	Ⅰ F18q	47	32	17	3	1	1	−	
1968	Ⅰ F18q	22	20	28	3	1	1	−	
1969	Ⅱ G3a	39	33	18	3	1	1	−	
1970	Ⅱ G3a	22	21	9	3	1	1	−	
1971	Ⅱ G2a	36	35	53	3	1	1	−	
1972	Ⅰ G20a	19	18	21	3	1	1	−	
1973	Ⅰ G20a	23	15	16	3	1	1	−	
1974	Ⅰ G20a	38	27	31	3	1	1	−	
1975	Ⅰ G20a	34	29	52	3	1	1	−	
1976	Ⅰ G20a	40	24	48	3	1	1	−	
1977	Ⅰ G20a	33	28	40	3	1	1	−	
1978	Ⅱ G3c	21	16	21	3	1	1	−	
1979	Ⅱ G3c	26	24	13	3	1	1	−	
1980	Ⅱ G3c	18	16	24	3	1	1	−	
1981	Ⅱ G3c	22	19	28	3	1	1	−	
1982	Ⅱ G2c	20	19	14	3	1	1	−	
1983	Ⅱ G2c	22	18	12	3	1	1	−	
1984	欠番								
1985	Ⅱ G2c	19	15	16	3	1	1	−	
1986	Ⅱ F19t	24	17	13	3	1	1	−	
1987	Ⅱ F19t	32	31	25	3	1	1	−	
1988	Ⅱ F19t	41	22	35	3	1	1	−	
1989	Ⅰ G20a	23	18	22	3	1	1	−	
1990	Ⅰ G20a	25	20	16	3	1	1	−	
1991	Ⅰ G19a	43	30	14	4	1	1	−	
1992	Ⅰ G19a	21	12	9	3	1	1	−	
1993	Ⅰ G20a	29	21	26	3	1	1	−	
1994	Ⅰ G20a	17	16	16	3	1	1	−	
1995	Ⅰ G20b	23	18	18	3	1	1	−	
1996	Ⅰ F20s	42	20	38	3	1	1	−	
1997	Ⅰ G20a	72	35	43	3	1	1	−	
1998	Ⅰ G20a	37	19	37	3	1	1	−	
1999	Ⅰ G20a	48	24	13	3	1	1	−	
2000	Ⅰ G19a	49	37	28	3	1	1	−	
2001	Ⅰ G19a	34	31	23	3	3	3	−	
2002	Ⅱ G8i	28	24	22	3	3	3	−	
2003	Ⅱ G7i	21	16	13	3	3	3	−	
2004	Ⅱ G7i	37	27	42	3	3	3	−	
2005	Ⅱ G7i	29	27	12	3	3	3	−	
2006	Ⅱ G7i	49	34	43	3	3	3	−	
2007	Ⅱ G7i	26	20	38	3	3	3	−	
2008	Ⅱ G7i	26	26	13	3	3	3	−	
2009	Ⅱ G7i	47	30	26	3	3	3	−	
2010	Ⅱ G6i	24	24	36	3	3	3	−	
2011	Ⅱ G6i	52	38	38	3	3	3	−	
2012	Ⅱ G6j	33	32	36	3	3	3	−	
2013	Ⅱ G5j	28	23	17	3	3	3	−	
2014	Ⅱ G5j	56	32	28	3	3	3	−	
2015	欠番								
2016	Ⅱ G5h	41	20	9	4	3	3	−	
2017	Ⅱ G5h	24	21	12	3	3	3	−	
2018	Ⅱ G6g	35	27	18	3	3	3	−	

第18表　出土地点別土器類重量集計（1）

古代合計：土師器＋須恵器　縄文：縄文土器と弥生土器の合計　単位：g

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
縄文住居	SI01	1	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	106.0	106.0
	SI02（付近含む）	2	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1311.3	1311.3
	SI03	3	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1754.2	1754.2
	SI04	3	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	400.6	400.6
	SI05	4	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4251.3	4251.3
	SI38	122	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1147.7	1147.7
古代住居	SI06	123	−	−	−	15475.0	−	−	−	−	−	−	1970.3	17445.3
	SI07	124	−	−	−	137836.7	−	−	−	−	−	−	1455.6	139292.3
	SI08	125	−	−	−	25845.4	−	−	−	−	−	−	749.7	26595.1
	SI09	126	−	−	−	19750.9	−	−	−	−	−	−	253.6	20004.5
	SI10	127	−	−	−	25910.1	−	−	−	−	−	−	1194.7	27104.8
	SI11	128	−	−	−	4467.4	−	−	−	−	−	−	130.9	4598.3
	SI12	129	−	−	−	2696.4	−	−	−	−	−	−	227.8	2924.2
	SI13	130	−	−	−	16006.6	−	−	−	−	−	−	1185.8	17192.4
	SI14	131	−	−	−	4155.7	−	−	−	−	−	−	157.5	4313.2
	SI15	132	−	−	−	4673.4	−	−	−	−	−	−	135.6	4809.0
	SI16	133	−	−	−	10430.9	−	−	−	−	−	−	1066.0	11496.9
	SI17	134	−	−	−	5516.8	−	−	−	−	−	−	479.0	5995.8
	SI18	135	−	−	−	241.7	−	−	−	−	−	−	13.8	255.5
	SI19	136	−	−	−	10224.3	−	−	−	−	−	−	210.2	10434.5
	SI20	137	−	−	−	39.8	−	−	−	−	−	−	0.0	39.8
	SI21	138	−	−	−	15031.9	−	−	−	−	−	−	376.9	15408.8
	SI22	139	−	−	−	8166.8	−	−	−	−	−	−	116.3	8283.1
	SI23	140	−	−	−	6404.7	−	−	−	−	−	−	315.8	6720.5
	SI24	141	−	−	−	11897.6	−	−	−	−	−	−	360.8	12258.4
	SI25	142	−	−	−	2194.6	−	−	−	−	−	−	489.2	2683.8
	SI26	143	−	−	−	6285.9	−	−	−	−	−	−	137.8	6423.7
	SI27	144	−	−	−	10346.7	−	−	−	−	−	−	602.7	10949.4
	SI28	145	−	−	−	1450.7	−	−	−	−	−	−	1668.2	3118.9
	SI29	146	−	−	−	3153.2	−	−	−	−	−	−	69.0	3222.2
	SI30	147	−	−	−	6061.9	−	−	−	−	−	−	259.0	6320.9
	SI31	148	−	−	−	38763.0	−	−	−	−	−	−	1507.7	40270.7
	SI32	149	−	−	−	7496.7	−	−	−	−	−	−	287.0	7783.7
	SI33	150	−	−	−	13822.1	−	−	−	−	−	−	551.9	14374.0
	SI34	151	−	−	−	21116.2	−	−	−	−	−	−	749.3	21865.5
	SI35	152	−	−	−	1735.8	−	−	−	−	−	−	505.4	2241.2
	SI36	153	−	−	−	2307.2	−	−	−	−	−	−	107.1	2414.3
	SI37	154	−	−	−	8889.3	−	−	−	−	−	−	483.3	9372.6
	SI39	155	23371.5	7560.8	8620.8	39553.1	−	−	−	−	−	−	8771.7	48324.8
	SI40	156	7485.9	4177.6	7480.2	19143.7	−	−	−	−	−	−	11441.5	30585.2
	SI41	157	−	−	−	2309.8	−	−	−	−	−	−	353.7	2663.5
	SI42	158	−	−	−	4451.6	−	−	−	−	−	−	99.1	4550.7
	SI43	1003	3361.1	629.1	−	3990.2	−	−	−	−	−	−	14478.4	18468.6
	SI44	1004	6419.8	2940.1	−	9359.9	−	−	−	−	−	−	1283.0	10642.9
	SI45	1005	1549.7	2008.5	−	3558.2	−	−	−	−	−	−	2510.0	6068.2
	SI47	1006	1585.6	355.0	−	1940.6	−	−	−	−	−	−	303.9	2244.5
	SI49	1007	2754.7	416.5	−	3171.2	−	−	−	−	−	−	605.9	3777.1
	SI50	1008	2124.1	374.1	−	2498.2	−	−	−	−	−	−	469.0	2967.2
	SI51	1009	5135.5	6334.8	−	11470.3	−	−	−	−	−	−	601.5	12071.8
	SI52	1010	4617.4	898.0	−	5515.4	−	−	−	−	−	−	1246.5	6761.9
	SI53	1011	6185.6	2412.3	−	8597.9	−	−	−	−	−	−	5602.9	14200.8
	SI54	1012	359.0	76.6	−	435.6	−	−	−	−	−	−	976.5	1412.1
	SI55	1013	1074.6	297.6	−	1372.2	−	−	−	−	−	−	329.1	1701.3
	SI56	1014	3788.2	2672.8	−	6461.0	−	−	−	−	−	−	18487.5	24948.5
	SI57	1015	3668.9	506.1	−	4175.0	−	−	−	−	−	−	2168.5	6343.5
	SI57・59	1016	3.2	−	−	3.2	−	−	−	−	−	−	0.0	3.2
	SI58	1017	10467.2	499.7	−	10966.9	−	−	−	−	−	−	1502.2	12469.1
	SI59	1018	23352.9	2600.7	−	25953.6	−	−	−	−	−	−	3753.8	29707.4
	SI60	1019	249.5	1456.5	−	1706.0	−	−	−	−	−	−	2191.7	3897.7
	SI61	1020	376.1	−	−	376.1	−	−	−	−	−	−	11980.5	12356.6
	SI62	1021	9294.9	4560.0	−	13854.9	−	−	−	−	−	−	25868.8	39723.7
	SI63	1022	396.6	−	−	396.6	−	−	−	−	−	−	576.5	973.1
	SI64	1023	23141.6	13955.7	−	37097.3	−	−	−	−	−	−	402.4	37499.7
	SI65	1024	985.7	166.8	−	1152.5	−	−	−	−	−	−	136.0	1288.5
	SI66	1025	1949.5	906.3	−	2855.8	−	−	−	−	−	−	1044.9	3900.7
	SI67	1026	4916.8	892.6	−	5809.4	−	−	−	−	−	−	2572.5	8381.9
	SI68	1027	3759.1	1146.4	−	4905.5	−	−	−	−	−	−	518.3	5423.8
	SI69	1028	2053.9	250.2	−	2304.1	−	−	−	−	−	−	174.7	2478.8
	SI70	1029	5396.4	278.3	−	5674.7	−	−	−	−	−	−	116.2	5790.9
	SI71	1030	10549.0	2324.7	−	12873.7	−	−	−	−	−	−	386.1	13259.8
	SI72	1031	3549.5	991.8	−	4541.3	−	−	−	−	−	−	178.6	4719.9
	SI73	1032	3724.9	221.5	−	3946.4	−	−	−	−	−	−	505.1	4451.5
	SI74	1033	2530.0	262.0	−	2792.0	−	−	−	−	−	−	989.2	3781.2
	SI75	1034	3982.2	8566.6	−	12548.8	−	−	−	−	−	−	705.5	13254.3
	SI76	1035	5017.3	1662.7	−	6680.0	−	−	−	−	−	−	1686.5	8366.5
	SI77	1036	10010.5	130.5	−	10141.0	−	−	−	−	−	−	3147.9	13288.9
	SI78	1037	8466.7	1984.1	−	10450.8	−	−	−	−	−	−	10.9	10461.7
	SI79	1038	3050.6	545.2	−	3595.8	−	−	−	−	−	−	358.6	3954.4
	SI80	1039	3606.6	1414.7	−	5021.3	−	−	−	−	−	−	61.7	5083.0
	SI81	1040	21229.9	6226.9	−	27456.8	−	−	−	−	−	−	396.1	27852.9
	SI82	1041	2568.3	149.3	−	2717.6	−	−	−	−	−	−	23.2	2740.8
	SI83	1042	3491.8	9.0	−	3500.8	−	−	−	−	−	−	295.0	3795.8
	SI84	1043	5021.6	4627.6	−	9649.2	−	−	−	−	−	−	342.2	9991.4
	SI85	1044	117.8	470.2	−	588.0	−	−	−	−	−	−	39.4	627.4
	SI86	1045	1095.2	300.6	−	1395.8	−	−	−	−	−	−	351.7	1747.5
	SI87	1046	8403.4	1722.3	−	10125.7	−	−	−	−	−	−	20.1	10145.8
	SI88	1047	2603.3	398.9	−	3002.2	−	−	−	−	−	−	109.7	3111.9
	SI89	1048	4439.8	277.9	−	4717.7	−	−	−	−	−	−	0.0	4717.7
	SI90	1049	1705.4	8.5	−	1713.9	−	−	−	−	−	−	59.1	1773.0
	SI91	1050	11858.9	261.4	−	12120.3	−	−	−	−	−	−	37.9	12158.2
	SI93	1051	655.3	656.5	−	1311.8	−	−	−	−	−	−	31.6	1343.4
	SI94	1052	6165.6	−	−	6165.6	−	−	−	−	−	−	0.0	6165.6
	SI95	1053	3190.0	12.0	−	3202.0	−	−	−	−	−	−	0.0	3202.0
	SI96	1054	148.2	−	−	148.2	−	−	−	−	−	−	63.0	211.2
	SI97	1055	828.4	126.2	−	954.6	−	−	−	−	−	−	0.0	954.6
	SI98	1056	436.8	28.3	−	465.1	−	−	−	−	−	−	0.0	465.1
住居状遺構	SKI01	159	−	−	−	942.3	−	−	−	−	−	−	770.5	1712.8

第18表　出土地点別土器類重量集計（2）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
住居状遺構	SKI02	160	−	−	−	415.6	−	−	−	−	−	−	177.9	593.5
	SKI04	161	−	−	−	118.4	−	−	−	−	−	−	105.4	223.8
	SKI05	162	−	−	−	800.3	−	−	−	−	−	−	221.6	1021.9
	SKI06	163	−	−	−	36.6	−	−	−	−	−	−	752.5	789.1
	SKI09	164	−	−	−	549.4	−	−	−	−	−	−	57.8	607.2
	SKI10	165	−	−	−	4231.4	−	−	−	−	−	−	0.0	4231.4
	SKI11	166	−	−	−	62.6	−	−	−	−	−	−	0.0	62.6
掘立柱建物跡	SB01	167	−	−	−	56.8	−	−	−	−	−	−	82.1	138.9
	SB02	168	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.2	22.2
	SB04	169	−	−	−	16.8	−	−	−	−	−	−	0.0	16.8
	SB05	170	−	−	−	15.9	−	−	−	−	−	−	0.0	15.9
焼土遺構	SN04	171	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	27.9	27.9
	SN09	172	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	249.7	249.7
	SN15	173	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	821.8	821.8
	SN17	174	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	21.5	21.5
	SN19	175	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	8303.8	8303.8
	SN25	176	−	−	−	114.0	−	−	−	−	−	−	328.8	442.8
	SN26	177	−	−	−	88.9	−	−	−	−	−	−	310.3	399.2
	SN29	178	−	−	−	26.2	−	−	−	−	−	−	0.0	26.2
	SN34	1057	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	23.1	23.1
	SN36	1058	10.5	−	−	10.5	−	−	−	−	−	−	416.0	426.5
	SN37	1059	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	39.2	39.2
	SN38	1060	34.7	−	−	34.7	−	−	−	−	−	−	4252.9	4287.6
	SN42	1061	15.0	−	−	15.0	−	−	−	−	−	−	0.0	15.0
	SN43	1062	14.1	−	−	14.1	−	−	−	−	−	−	0.0	14.1
土坑	SK005	5	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	44.5	44.5
	SK006	6	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4.5	4.5
	SK008	7	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	76.4	76.4
	SK013	8	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.4	1.4
	SK014	9	−	−	−	8.1	−	−	−	−	−	−	2.8	10.9
	SK018	10	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.4	6.4
	SK022	11	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.9	6.9
	SK033	12	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.4	13.4
	SK034	13	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.6	24.6
	SK037	179	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	217.2	217.2
	SK038	180	−	−	−	89.0	−	−	−	−	−	−	378.9	467.9
	SK039	181	−	−	−	20.0	−	−	−	−	−	−	0.0	20.0
	SK041	182	−	−	−	84.6	−	−	−	−	−	−	0.0	84.6
	SK042	183	−	−	−	379.8	−	−	−	−	−	−	13.9	393.7
	SK044	184	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	152.9	152.9
	SK045	185	−	−	−	17.2	−	−	−	−	−	−	312.7	329.9
	SK046	186	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	142.4	142.4
	SK047	187	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	8.6	8.6
	SK048	188	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.3	15.3
	SK049	189	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.8	17.8
	SK052	190	−	−	−	30.6	−	−	−	−	−	−	758.9	789.5
	SK053	191	−	−	−	358.0	−	−	−	−	−	−	41.1	399.1
	SK053・055	192	−	−	−	272.6	−	−	−	−	−	−	21.9	294.5
	SK054	193	−	−	−	534.6	−	−	−	−	−	−	4.8	539.4
	SK055	194	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	218.3	218.3
	SK056	195	−	−	−	15.2	−	−	−	−	−	−	0.0	15.2
	SK057	196	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.8	15.8
	SK060	197	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.1	3.1
	SK061	198	−	−	−	62.6	−	−	−	−	−	−	106.0	168.6
	SK062	199	−	−	−	29.7	−	−	−	−	−	−	826.9	856.6
	SK065	200	−	−	−	413.5	−	−	−	−	−	−	66.7	480.2
	SK066	201	−	−	−	9.3	−	−	−	−	−	−	26.2	35.5
	SK067	202	−	−	−	2.4	−	−	−	−	−	−	0.0	2.4
	SK068	203	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.6	22.6
	SK069	204	−	−	−	14.3	−	−	−	−	−	−	0.0	14.3
	SK070	205	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	492.4	492.4
	SK071	206	−	−	−	115.5	−	−	−	−	−	−	0.0	115.5
	SK072	207	−	−	−	176.9	−	−	−	−	−	−	71.2	248.1
	SK073	208	−	−	−	78.6	−	−	−	−	−	−	4.3	82.9
	SK090	209	−	−	−	24.7	−	−	−	−	−	−	3.4	28.1
	SK091	210	−	−	−	3.6	−	−	−	−	−	−	5.9	9.5
	SK092	1063	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1885.3	1885.3
	SK094	1064	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	60.1	60.1
	SK095	1065	71.5	−	−	71.5	−	−	−	−	−	−	0.6	72.1
	SK096	1066	818.2	1321.4	−	2139.6	−	−	−	−	−	−	2066.7	4206.3
	SK097	1067	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	10.9	10.9
	SK099	1068	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	202.9	202.9
	SK100	1069	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	40.4	40.4
	SK101	1070	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	592.9	592.9
	SK102	1071	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1099.5	1099.5
	SK106	1072	9.8	−	−	9.8	−	−	−	−	−	−	36.5	46.3
	SK107	1073	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.7	15.7
	SK109	1074	3134.2	9288.7	−	12422.9	−	−	−	−	−	−	770.7	13193.6
	SK110	1075	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.2	24.2
	SK111	1076	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	128.7	128.7
	SK112	1077	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.8	3.8
	SK116	1078	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	25.4	25.4
	SK119	1079	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.5	24.5
	SK122	1080	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.2	17.2
	SK126	1081	17.8	−	−	17.8	−	−	−	−	−	−	0.0	17.8
	SK127	1082	1596.3	26.7	−	1623.0	−	−	−	−	−	−	20.2	1643.2
	SK128	1083	682.9	−	−	682.9	−	−	−	−	−	−	0.0	682.9
	SK131	1084	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.3	17.3
	SK133	1085	13.7	289.8	−	303.5	−	−	−	−	−	−	0.0	303.5
	SK134	1086	14.3	102.9	−	117.2	−	−	−	−	−	−	0.0	117.2
	SK136	1087	2.5	−	−	2.5	−	−	−	−	−	−	199.4	201.9
	SK137	1088	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	9.7	9.7
	SK141	1089	−	47.1	−	47.1	−	−	−	−	−	−	0.0	47.1
	SK142	1090	94.8	−	−	94.8	−	−	−	−	−	−	4.0	98.8
	SK143	1091	23.4	−	−	23.4	−	−	−	−	−	−	0.0	23.4
	SK146	1092	70.3	−	−	70.3	−	−	−	−	−	−	0.0	70.3
	SK147	1093	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	35.6	35.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（3）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
土坑	SK148	1094	1751.6	3109.9	−	4861.5	−	−	−	−	−	−	2016.9	6878.4
	SK149	1095	95.3	91.5	−	186.8	−	−	−	−	−	−	66.4	253.2
焼成遺構	SX001	14	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	79.8	79.8
	SX007	15	−	−	−	118.2	−	−	−	−	−	−	0.0	118.2
	SX009	211	−	−	−	193.6	−	−	−	−	−	−	83.1	276.7
	SX010	212	−	−	−	5165.8	−	−	−	−	−	−	0.0	5165.8
	SX011	213	−	−	−	5578.0	−	−	−	−	−	−	0.0	5578.0
	SX012	214	−	−	−	330.4	−	−	−	−	−	−	32.1	362.5
	SX013	215	−	−	−	488.3	−	−	−	−	−	−	11.2	499.5
	SX014	216	−	−	−	147.5	−	−	−	−	−	−	19.2	166.7
	SX015	217	−	−	−	771.2	−	−	−	−	−	−	94.5	865.7
	SX016	218	−	−	−	581.5	−	−	−	−	−	−	230.7	812.2
	SX018	219	−	−	−	128.9	−	−	−	−	−	−	0.0	128.9
	SX019	220	−	−	−	754.0	−	−	−	−	−	−	10.0	764.0
	SX020	221	−	−	−	311.3	−	−	−	−	−	−	0.0	311.3
	SX021	222	−	−	−	398.6	−	−	−	−	−	−	6.7	405.3
	SX022	223	−	−	−	402.8	−	−	−	−	−	−	0.0	402.8
	SX023	224	−	−	−	53.5	−	−	−	−	−	−	48.4	101.9
	SX024	225	−	−	−	1197.5	−	−	−	−	−	−	8.5	1206.0
	SX025	226	−	−	−	1.3	−	−	−	−	−	−	0.0	1.3
	SX026	227	−	−	−	126.3	−	−	−	−	−	−	0.0	126.3
	SX027	228	−	−	−	271.2	−	−	−	−	−	−	5.1	276.3
	SX028	229	−	−	−	1024.3	−	−	−	−	−	−	13.4	1037.7
	SX030	230	−	−	−	156.0	−	−	−	−	−	−	11.5	167.5
	SX031	231	−	−	−	7.8	−	−	−	−	−	−	12.8	20.6
	SX032	232	−	−	−	7.1	−	−	−	−	−	−	0.0	7.1
	SX034	233	−	−	−	1322.5	−	−	−	−	−	−	0.0	1322.5
	SX037	234	−	−	−	10.9	−	−	−	−	−	−	0.0	10.9
	SX038	235	−	−	−	49.5	−	−	−	−	−	−	9.8	59.3
	SX040	236	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	12.4	12.4
	SX041	237	−	−	−	72.0	−	−	−	−	−	−	76.5	148.5
	SX042	238	−	−	−	1844.3	−	−	−	−	−	−	15.2	1859.5
	SX043	239	−	−	−	550.6	−	−	−	−	−	−	0.0	550.6
	SX044	240	−	−	−	7.0	−	−	−	−	−	−	0.0	7.0
	SX045	241	−	−	−	415.7	−	−	−	−	−	−	0.0	415.7
	SX047	242	−	−	−	683.8	−	−	−	−	−	−	245.4	929.2
	SX048	243	−	−	−	857.8	−	−	−	−	−	−	0.0	857.8
	SX050	244	−	−	−	311.3	−	−	−	−	−	−	83.6	394.9
	SX051	245	−	−	−	355.5	−	−	−	−	−	−	0.0	355.5
	SX052	246	−	−	−	62.1	−	−	−	−	−	−	0.0	62.1
	SX053	247	−	−	−	140.6	−	−	−	−	−	−	0.0	140.6
	SX054	248	−	−	−	3035.6	−	−	−	−	−	−	0.0	3035.6
	SX055	249	−	−	−	715.0	−	−	−	−	−	−	44.9	759.9
	SX057	250	−	−	−	60.8	−	−	−	−	−	−	5.3	66.1
	SX058	251	−	−	−	314.2	−	−	−	−	−	−	128.8	443.0
	SX059	252	−	−	−	145.0	−	−	−	−	−	−	300.2	445.2
	SX060	253	−	−	−	274.9	−	−	−	−	−	−	0.0	274.9
	SX061	254	−	−	−	522.6	−	−	−	−	−	−	3.8	526.4
	SX062	255	−	−	−	3244.8	−	−	−	−	−	−	239.3	3484.1
	SX063	256	−	−	−	29.4	−	−	−	−	−	−	0.0	29.4
	SX067	257	−	−	−	42.3	−	−	−	−	−	−	0.0	42.3
	SX068	258	−	−	−	91.1	−	−	−	−	−	−	0.0	91.1
	SX069	259	−	−	−	4.7	−	−	−	−	−	−	0.0	4.7
	SX070	260	−	−	−	175.2	−	−	−	−	−	−	139.9	315.1
	SX071	261	−	−	−	596.7	−	−	−	−	−	−	10.6	607.3
	SX072	262	−	−	−	1755.4	−	−	−	−	−	−	0.0	1755.4
	SX073	263	−	−	−	1222.8	−	−	−	−	−	−	0.0	1222.8
	SX074	264	−	−	−	480.5	−	−	−	−	−	−	45.1	525.6
	SX075	265	−	−	−	5288.9	−	−	−	−	−	−	381.1	5670.0
	SX076	266	−	−	−	8.2	−	−	−	−	−	−	28.4	36.6
	SX077	267	−	−	−	766.9	−	−	−	−	−	−	0.0	766.9
	SX078	268	−	−	−	5.1	−	−	−	−	−	−	16.0	21.1
	SX079	269	−	−	−	281.6	−	−	−	−	−	−	15.9	297.5
	SX080	270	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	607.9	607.9
	SX081	1096	294.3	−	−	294.3	−	−	−	−	−	−	48.8	343.1
	SX082	1097	326.8	117.6	−	444.4	−	−	−	−	−	−	0.0	444.4
	SX083	1098	32.4	−	−	32.4	−	−	−	−	−	−	151.9	184.3
	SX084	1099	164.9	5.1	−	170.0	−	−	−	−	−	−	11.9	181.9
	SX085	1100	13.0	−	−	13.0	−	−	−	−	−	−	264.7	277.7
	SX086	1101	197.8	5.0	−	202.8	−	−	−	−	−	−	37.3	240.1
	SX087	1102	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	652.7	652.7
	SX088	1103	419.7	−	−	419.7	−	−	−	−	−	−	0.0	419.7
	SX089	1104	648.0	82.9	−	730.9	−	−	−	−	−	−	393.1	1124.0
	SX090	1105	21.5	−	−	21.5	−	−	−	−	−	−	0.0	21.5
	SX093	1106	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	38.3	38.3
	SX094	1107	37.3	−	−	37.3	−	−	−	−	−	−	0.0	37.3
	SX095	1108	281.8	86.5	−	368.3	−	−	−	−	−	−	1616.0	1984.3
	SX096	1109	49.0	1.3	−	50.3	−	−	−	−	−	−	148.3	198.6
	SX097	1110	1901.5	165.3	−	2066.8	−	−	−	−	−	−	12.3	2079.1
	SX098	1111	101.1	−	−	101.1	−	−	−	−	−	−	0.0	101.1
	SX099	1112	1304.3	306.6	−	1610.9	−	−	−	−	−	−	855.3	2466.2
	SX101	1113	660.4	160.5	−	820.9	−	−	−	−	−	−	32.1	853.0
	SX102	1114	1087.4	80.2	−	1167.6	−	−	−	−	−	−	0.0	1167.6
	SX103	1115	324.3	226.0	−	550.3	−	−	−	−	−	−	0.0	550.3
	SX105	1116	195.5	247.2	−	442.7	−	−	−	−	−	−	0.0	442.7
	SX106	1117	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.6	15.6
	SX107	1118	1246.6	44.6	−	1291.2	−	−	−	−	−	−	1111.5	2402.7
	SX109	1119	346.8	40.2	−	387.0	−	−	−	−	−	−	27.5	414.5
	SX111	1120	1506.5	692.5	−	2199.0	−	−	−	−	−	−	186.1	2385.1
	SX113	1121	3.2	−	−	3.2	−	−	−	−	−	−	0.0	3.2
	SX114	1122	364.0	−	−	364.0	−	−	−	−	−	−	0.0	364.0
	SX115	1123	7.3	−	−	7.3	−	−	−	−	−	−	22.7	30.0
	SX118	1124	271.8	7.7	−	279.5	−	−	−	−	−	−	31.9	311.4
	SX120	1125	115.8	−	−	115.8	−	−	−	−	−	−	0.0	115.8
	SX121	1126	13.6	−	−	13.6	−	−	−	−	−	−	80.4	94.0
	SX122	1127	507.2	108.1	−	615.3	−	−	−	−	−	−	76.9	692.2
	SX123	1128	78.7	14.4	−	93.1	−	−	−	−	−	−	0.0	93.1

第18表　出土地点別土器類重量集計（4）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
焼成遺構	SX124	1129	4573.5	4.7	−	4578.2	−	−	−	−	−	−	0.0	4578.2
	SX127	1130	61.5	−	−	61.5	−	−	−	−	−	−	0.0	61.5
	SX129	1131	2859.3	687.5	−	3546.8	−	−	−	−	−	−	73.4	3620.2
	SX132	1132	2274.0	−	−	2274.0	−	−	−	−	−	−	0.0	2274.0
	SX134	1133	51.2	−	−	51.2	−	−	−	−	−	−	0.0	51.2
	SX137	1134	420.1	−	−	420.1	−	−	−	−	−	−	0.0	420.1
	SX138	1135	2118.9	−	−	2118.9	−	−	−	−	−	−	7.1	2126.0
	SX139	1136	28.5	−	−	28.5	−	−	−	−	−	−	0.0	28.5
	SX141	1137	58.7	−	−	58.7	−	−	−	−	−	−	0.0	58.7
	SX142	1138	21.5	−	−	21.5	−	−	−	−	−	−	0.0	21.5
埋設土器	SX036	271	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1110.1	1110.1
	SX046	272	−	−	−	2111.4	−	−	−	−	−	−	0.0	2111.4
その他	SX008	16	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	371.4	371.4
	SX017	273	−	−	−	571.8	−	−	−	−	−	−	1829.4	2401.2
	SX056	274	−	−	−	1018.3	−	−	−	−	−	−	0.0	1018.3
溝跡	SD01	17	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	0.7	0.7
	SD02	18	−	−	−	4262.0	−	−	−	−	−	−	1784.8	6046.8
	SD03	19	−	−	−	649.4	−	−	−	−	−	−	454.5	1103.9
	SD03・19	275	−	−	−	69.2	−	−	−	−	−	−	0.0	69.2
	SD06	20	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.8	6.8
	SD08	21	−	−	−	30.9	−	−	−	−	−	−	0.9	31.8
	SD09	22	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.6	17.6
	SD10	23	−	−	−	19.9	−	−	−	−	−	−	276.2	296.1
	SD12	24	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.3	2.3
	SD13	25	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	11.9	11.9
	SD16	276	−	−	−	209.4	−	−	−	−	−	−	170.6	380.0
	SD17	277	−	−	−	109.9	−	−	−	−	−	−	8.8	118.7
	SD18	278	−	−	−	238.1	−	−	−	−	−	−	0.0	238.1
	SD19	279	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	85.7	85.7
	SD19・SI41	280	−	−	−	271.1	−	−	−	−	−	−	0.0	271.1
	SD22	281	−	−	−	233.3	−	−	−	−	−	−	137.7	371.0
	SD27	282	1141.6	641.7	312.7	2096.0	−	−	−	−	−	−	43126.2	45222.2
	SD28	1140	1067.6	466.5	−	1534.1	−	−	−	−	−	−	0.0	1534.1
	SD29	1141	140.3	116.3	−	256.6	−	−	−	−	−	−	32.3	288.9
	SD30	1142	1279.9	568.7	−	1848.6	−	−	−	−	−	−	37.9	1886.5
	SD31	1143	536.4	46.7	−	583.1	−	−	−	−	−	−	0.0	583.1
	SD32	1144	286.9	73.8	−	360.7	−	−	−	−	−	−	88.0	448.7
	SD33	1145	12.1	−	−	12.1	−	−	−	−	−	−	0.0	12.1
	SD34	1146	38.9	7.9	−	46.8	−	−	−	−	−	−	99.1	145.9
	SD35	1147	1258.3	179.1	−	1437.4	−	−	−	−	−	−	40.4	1477.8
	SD35～36	1148	44.8	21.6	−	66.4	−	−	−	−	−	−	126.8	193.2
	SD35～37	1149	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	34.8	34.8
	SD35・39	1150	7.7	25.2	−	32.9	−	−	−	−	−	−	228.7	261.6
	SD35・43	1151	8.4	−	−	8.4	−	−	−	−	−	−	0.0	8.4
	SD36	1152	32.4	35.5	−	67.9	−	−	−	−	−	−	20.8	88.7
	SD36・38	1153	11.8	10.8	−	22.6	−	−	−	−	−	−	0.0	22.6
	SD36・38・43	1154	48.2	−	−	48.2	−	−	−	−	−	−	0.0	48.2
	SD37	1155	18.8	−	−	18.8	−	−	−	−	−	−	0.0	18.8
	SD38	1156	232.1	264.4	−	496.5	−	−	−	−	−	−	134.8	631.3
	SD39	1157	118.4	−	−	118.4	−	−	−	−	−	−	43.4	161.8
	SD42	1158	12.1	86.6	−	98.7	−	−	−	−	−	−	0.0	98.7
	SD43	1159	217.2	460.0	−	677.2	−	−	−	−	−	−	260.2	937.4
	SD46	1160	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	564.4	564.4
	SD47	1161	646.7	12.8	−	659.5	−	−	−	−	−	−	135.1	794.6
	SD51	1162	529.2	630.2	−	1159.4	−	−	−	−	−	−	0.0	1159.4
畝間状遺構	01UM	1163	113.0	−	−	113.0	−	−	−	−	−	−	237.2	350.2
	02UM	1164	157.9	−	−	157.9	−	−	−	−	−	−	4.8	162.7
	04UM	1165	14.1	−	−	14.1	−	−	−	−	−	−	0.0	14.1
	05UM	1166	337.6	−	−	368.1	−	−	−	−	−	−	269.1	637.2
	06UM	1167	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	81.0	81.0
	07UM	1168	1.8	−	−	1.8	−	−	−	−	−	−	0.0	1.8
	10UM	1169	84.0	−	−	84.0	−	−	−	−	−	−	136.1	220.1
	10UM・SX129	1170	114.2	31.4	−	145.6	−	−	−	−	−	−	0.0	145.6
	14UM	1172	272.0	61.8	−	333.8	−	−	−	−	−	−	0.0	333.8
遺物集中	SU01	283	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	11225.6	11225.6
	SU02	284	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	40334.5	40334.5
	SU03	285	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4318.6	4318.6
	SU04	286	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3852.4	3852.4
	SU05	287	−	−	−	10.9	−	−	−	−	−	−	715.0	725.9
	SU06	288	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2221.0	2221.0
	SU07	289	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2048.4	2048.4
	SU08	290	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.0	2.0
柱穴	柱穴（11年度）	26	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1340.4	1340.4
	柱穴（12年度）	291	−	−	−	279.2	−	−	−	−	−	−	81.2	360.4
	柱穴（13年度）	1173	839.1	26.1	−	865.2	−	−	−	−	−	−	287.2	1152.4
遺構外（包含層）	Ⅰ B11t	27	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	520.8	520.8
	Ⅰ B12o	28	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	5.9	5.9
	Ⅰ B12t	29	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1632.7	1632.7
	Ⅰ B13q	30	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	19.7	19.7
	Ⅰ B13r	31	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.0	3.0
	Ⅰ B13s	32	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	170.0	170.0
	Ⅰ B13t	33	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	245.5	245.5
	Ⅰ B14o	35	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2263.6	2263.6
	Ⅰ B14～15o ～ p	34	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	158.9	158.9
	Ⅰ B14p	36	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	12.4	12.4
	Ⅰ B14s	37	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	31.1	31.1
	Ⅰ B14t	38	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.3	17.3
	Ⅰ B15o	39	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	61.6	61.6
	Ⅰ B15p	40	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	10.1	10.1
	Ⅰ B15q	41	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.4	22.4
	Ⅰ B15r	42	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4.7	4.7
	Ⅰ B15s	43	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.9	2.9
	Ⅰ B15s ～ t	44	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.0	13.0
	Ⅰ B15t	45	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	151.7	151.7
	Ⅰ B16g	50	−	−	−	16.6	−	−	−	−	−	−	0.0	16.6
	Ⅰ B16～17m ～ n	46	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.4	1.4
	Ⅰ B16n	51	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	503.8	503.8

第18表　出土地点別土器類重量集計（5）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ B16n ～ o	52	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	66.2	66.2
（包含層）	Ⅰ B16o	53	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1022.8	1022.8
	Ⅰ B16o ～ p	54	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	93.8	93.8
	Ⅰ B16～17o ～ p	47	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1.9	1.9
	Ⅰ B16p	55	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	746.4	746.4
	Ⅰ B16～17p	48	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	30.2	30.2
	Ⅰ B16p ～ q	56	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	15.3	15.3
	Ⅰ B16q	57	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	630.1	630.1
	Ⅰ B16q ～ r	58	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	39.4	39.4
	Ⅰ B16～17q ～ r	49	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	27.4	27.4
	Ⅰ B16r	59	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	361.2	361.2
	Ⅰ B16s	60	－	－	－	8.2	－	－	－	－	－	－	191.9	200.1
	Ⅰ B16t	61	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	299.5	299.5
	Ⅰ B17m	62	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	2542.1	2542.1
	Ⅰ B17n	63	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	241.8	241.8
	Ⅰ B17n ～ p	64	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	106.3	106.3
	Ⅰ B17o	65	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	192.1	192.1
	Ⅰ B17p	66	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	857.0	857.0
	Ⅰ B17p ～ q	67	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	354.1	354.1
	Ⅰ B17q	68	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	975.4	975.4
	Ⅰ B17q ～ r	69	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	389.6	389.6
	Ⅰ B17r	70	－	－	－	15.2	－	－	－	－	－	－	416.6	431.8
	Ⅰ B17s	71	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	89.1	89.1
	Ⅰ B17t	72	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	991.7	991.7
	Ⅰ B18n	73	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	42.2	42.2
	Ⅰ B18o	74	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	165.3	165.3
	Ⅰ B18o ～ p	75	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	165.3	165.3
	Ⅰ B18p	76	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	314.9	314.9
	Ⅰ B18p ～ q	77	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	4.2	4.2
	Ⅰ B18q	78	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	126.6	126.6
	Ⅰ B18r	79	－	－	－	5.7	－	－	－	－	－	－	0.5	6.2
	Ⅰ B18s	80	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	21.4	21.4
	Ⅰ B19l	82	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	51.0	51.0
	Ⅰ B19m	83	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	870.6	870.6
	Ⅰ B19～20m	81	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	290.9	290.9
	Ⅰ B19n	84	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	993.6	993.6
	Ⅰ B19r	85	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	57.4	57.4
	Ⅰ B19s	86	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1257.1	1257.1
	Ⅰ B20l	87	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	183.8	183.8
	Ⅰ B20l ～ Ⅱ B1l	88	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	302.9	302.9
	Ⅰ B20m	89	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1009.8	1009.8
	Ⅰ B20n	90	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	221.4	221.4
	Ⅰ B20o	91	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	618.4	618.4
	Ⅰ B20p	92	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	43.8	43.8
	Ⅰ B20q	93	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	362.1	362.1
	Ⅰ B20r	94	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	47.1	47.1
	Ⅱ B1j	95	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	3.8	3.8
	Ⅱ B1l	96	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	173.7	173.7
	Ⅱ B1m	97	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	156.0	156.0
	Ⅱ B1n	98	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	32.1	32.1
	Ⅱ B1o	99	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	183.1	183.1
	Ⅱ B1q ～ r	100	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	25.3	25.3
	Ⅱ B2k	101	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	3.2	3.2
	Ⅱ B4n	102	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	2.9	2.9
	Ⅱ B5i ～ 7j	103	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	681.3	681.3
	Ⅱ B6i	106	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	446.7	446.7
	Ⅱ B6j	107	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	405.6	405.6
	Ⅱ B6k	108	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	34.8	34.8
	Ⅱ B6～7k	104	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	214.9	214.9
	Ⅱ B6k ～ l	109	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	23.6	23.6
	Ⅱ B6l	110	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	645.9	645.9
	Ⅱ B6～7m	105	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	7.5	7.5
	Ⅱ B6n	112	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	225.9	225.9
	Ⅱ B7i	113	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	495.2	495.2
	Ⅱ B7j	114	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	82.6	82.6
	Ⅱ B7k	115	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	126.6	126.6
	Ⅱ B7l	116	－	－	－	208.1	－	－	－	－	－	－	0.0	208.1
	落ち込みD	120	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	10.3	10.3
	Ⅰ C11a	117	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	139.8	139.8
	Ⅰ C12a	118	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1658.9	1658.9
	Ⅰ C13a	119	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	32.1	32.1
	Ⅰ C13j	292	－	－	－	34.9	－	－	－	－	－	－	0.0	34.9
	Ⅰ C13t	293	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	17.4	17.4
	Ⅰ C14p	294	－	－	－	37.5	－	－	－	－	－	－	0.0	37.5
	Ⅰ C14r	295	－	－	－	4.4	－	－	－	－	－	－	0.0	4.4
	Ⅰ C14s	296	－	－	－	10.2	－	－	－	－	－	－	0.0	10.2
	Ⅰ C14t	297	－	－	－	9.6	－	－	－	－	－	－	27.1	36.7
	Ⅰ C15f	298	－	－	－	7.5	－	－	－	－	－	－	0.0	7.5
	Ⅰ C15j	299	－	－	－	44.0	－	－	－	－	－	－	0.0	44.0
	Ⅰ C15n	300	－	－	－	22.4	－	－	－	－	－	－	115.5	137.9
	Ⅰ C15p	301	－	－	－	2.9	－	－	－	－	－	－	0.0	2.9
	Ⅰ C15r	302	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	70.6	70.6
	Ⅰ C15t	303	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	23.9	23.9
	Ⅰ C16d	304	－	－	－	368.2	－	－	－	－	－	－	122.4	490.6
	Ⅰ C16e	305	－	－	－	1494.2	－	－	－	－	－	－	48.9	1543.1
	Ⅰ C16f	306	－	－	－	626.7	－	－	－	－	－	－	146.9	773.6
	Ⅰ C16g	307	－	－	－	787.8	－	－	－	－	－	－	88.7	876.5
	Ⅰ C16h	308	－	－	－	108.2	－	－	－	－	－	－	0.0	108.2
	Ⅰ C16n	309	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	33.6	33.6
	Ⅰ C16o	310	－	－	－	25.2	－	－	－	－	－	－	0.0	25.2
	Ⅰ C16p	311	－	－	－	57.7	－	－	－	－	－	－	9.9	67.6
	Ⅰ C16r	312	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	7.9	7.9
	Ⅰ C16s	313	－	－	－	55.9	－	－	－	－	－	－	25.9	81.8
	Ⅰ C16t	314	－	－	－	9.3	－	－	－	－	－	－	129.5	138.8
	Ⅰ C17d	315	－	－	－	49.2	－	－	－	－	－	－	37.1	86.3
	Ⅰ C17f	316	－	－	－	754.9	－	－	－	－	－	－	25.5	780.4
	Ⅰ C17g	317	－	－	－	1198.1	－	－	－	－	－	－	260.2	1458.3

第18表　出土地点別土器類重量集計（6）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ C17h	318	−	−	−	177.0	−	−	−	−	−	−	106.8	283.8
（包含層）	Ⅰ C17o	319	−	−	−	1.0	−	−	−	−	−	−	817.6	818.6
	Ⅰ C17p	320	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	224.7	224.7
	Ⅰ C17q	321	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1055.7	1055.7
	Ⅰ C17r	322	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	762.2	762.2
	Ⅰ C17s	323	−	−	−	98.5	−	−	−	−	−	−	908.3	1006.8
	Ⅰ C18f	324	−	−	−	1100.1	−	−	−	−	−	−	42.9	1143.0
	Ⅰ C18g	325	−	−	−	411.1	−	−	−	−	−	−	20.6	431.7
	Ⅰ C18h	326	−	−	−	6.2	−	−	−	−	−	−	0.0	6.2
	Ⅰ C18l	327	−	−	−	46.9	−	−	−	−	−	−	0.0	46.9
	Ⅰ C18m	328	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	836.7	836.7
	Ⅰ C18o	329	−	−	−	20.2	−	−	−	−	−	−	3739.5	3759.7
	Ⅰ C18o ～ q	330	−	−	−	546.1	−	−	−	−	−	−	0.0	546.1
	Ⅰ C18p	331	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	899.9	899.9
	Ⅰ C18r	332	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	19.9	19.9
	Ⅰ C18s	333	−	−	−	27.6	−	−	−	−	−	−	746.6	774.2
	Ⅰ C18t	334	−	−	−	8.9	−	−	−	−	−	−	0.0	8.9
	Ⅰ C19g	335	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	29.2	29.2
	Ⅰ C19n	336	−	−	−	11.5	−	−	−	−	−	−	1596.8	1608.3
	Ⅰ C19o	337	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	957.5	957.5
	Ⅰ C19p	338	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	234.2	234.2
	Ⅰ C19s	339	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	11.0	11.0
	Ⅰ C19t	340	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2507.9	2507.9
	Ⅰ C20n	341	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	149.6	149.6
	Ⅰ C20q	342	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	70.5	70.5
	Ⅰ C20r	343	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.7	6.7
	Ⅰ C20t	344	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	7.1	7.1
	Ⅱ C1g	345	−	−	−	8.2	−	−	−	−	−	−	29.1	37.3
	Ⅱ C1j	346	−	−	−	90.5	−	−	−	−	−	−	0.0	90.5
	Ⅱ C1n	347	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.9	3.9
	Ⅱ C1p	348	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.9	22.9
	Ⅱ C1r	349	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	195.5	195.5
	Ⅱ C2 t	350	−	−	−	5.9	−	−	−	−	−	−	0.0	5.9
	Ⅰ D11g	351	−	−	−	324.0	−	−	−	−	−	−	916.9	1240.9
	Ⅰ D12e	352	−	−	−	30.6	−	−	−	−	−	−	0.0	30.6
	Ⅰ D12g	353	−	−	−	65.4	−	−	−	−	−	−	2349.6	2415.0
	Ⅰ D12h	354	−	−	−	8.3	−	−	−	−	−	−	918.4	926.7
	Ⅰ D12j	355	−	−	−	44.8	−	−	−	−	−	−	5.4	50.2
	Ⅰ D12j ～14k	356	−	−	−	333.7	−	−	−	−	−	−	40.2	373.9
	Ⅰ D12k	357	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	14.8	14.8
	Ⅰ D13d	359	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	127.2	127.2
	Ⅰ D13h	360	−	−	−	34.9	−	−	−	−	−	−	140.4	175.3
	Ⅰ D13i	361	−	−	−	5.2	−	−	−	−	−	−	11.2	16.4
	Ⅰ D13j	362	−	−	−	211.9	−	−	−	−	−	−	25.5	237.4
	Ⅰ D13k	363	−	−	−	542.3	−	−	−	−	−	−	95.8	638.1
	Ⅰ D13l	364	−	−	−	428.8	−	−	−	−	−	−	26.3	455.1
	Ⅰ D13～14l	358	−	−	−	63.9	−	−	−	−	−	−	88.2	152.1
	Ⅰ D13l ～ m	365	−	−	−	167.4	−	−	−	−	−	−	0.0	167.4
	Ⅰ D13m	366	−	−	−	71.4	−	−	−	−	−	−	92.9	164.3
	Ⅰ D13n	367	−	−	−	23.2	−	−	−	−	−	−	38.2	61.4
	Ⅰ D13o	368	−	−	−	91.1	−	−	−	−	−	−	33.9	125.0
	Ⅰ D13p	369	−	−	−	21.3	−	−	−	−	−	−	21.5	42.8
	Ⅰ D13q	370	−	−	−	1714.7	−	−	−	−	−	−	1639.9	3354.6
	Ⅰ D13r	371	−	−	−	26.2	−	−	−	−	−	−	8.8	35.0
	Ⅰ D13s	372	−	−	−	60.2	−	−	−	−	−	−	19.1	79.3
	Ⅰ D13t	373	−	−	−	74.1	−	−	−	−	−	−	10.8	84.9
	Ⅰ D14a	374	−	−	−	617.0	−	−	−	−	−	−	858.1	1475.1
	Ⅰ D14b	375	−	−	−	180.7	−	−	−	−	−	−	845.6	1026.3
	Ⅰ D14c	376	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1583.7	1583.7
	Ⅰ D14d	377	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1120.6	1120.6
	Ⅰ D14e	378	−	−	−	160.5	−	−	−	−	−	−	157.9	318.4
	Ⅰ D14i	379	−	−	−	133.8	−	−	−	−	−	−	4.1	137.9
	Ⅰ D14j	380	−	−	−	43.8	−	−	−	−	−	−	17.2	61.0
	Ⅰ D14k	381	−	−	−	628.5	−	−	−	−	−	−	159.4	787.9
	Ⅰ D14l	382	−	−	−	964.0	−	−	−	−	−	−	353.5	1317.5
	Ⅰ D14m	383	−	−	−	804.5	−	−	−	−	−	−	120.7	925.2
	Ⅰ D14n	384	−	−	−	440.4	−	−	−	−	−	−	75.7	516.1
	Ⅰ D14o	385	−	−	−	539.0	−	−	−	−	−	−	1999.2	2538.2
	Ⅰ D14p	386	−	−	−	40.7	−	−	−	−	−	−	59.4	100.1
	Ⅰ D14q	387	−	−	−	138.4	−	−	−	−	−	−	114.2	252.6
	Ⅰ D14r	388	−	−	−	173.5	−	−	−	−	−	−	27.3	200.8
	Ⅰ D14s	389	−	−	−	208.1	−	−	−	−	−	−	10.2	218.3
	Ⅰ D14t	390	−	−	−	111.8	−	−	−	−	−	−	39.6	151.4
	Ⅰ D15a	391	−	−	−	34.7	−	−	−	−	−	−	97.3	132.0
	Ⅰ D15d	392	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	352.5	352.5
	Ⅰ D15e	393	−	−	−	40.3	−	−	−	−	−	−	651.4	691.7
	Ⅰ D15f	394	−	−	−	622.4	−	−	−	−	−	−	443.4	1065.8
	Ⅰ D15g	395	−	−	−	248.7	−	−	−	−	−	−	371.9	620.6
	Ⅰ D15h	396	−	−	−	24.9	−	−	−	−	−	−	31.3	56.2
	Ⅰ D15i	397	−	−	−	146.4	−	−	−	−	−	−	293.6	440.0
	Ⅰ D15j	398	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	250.2	250.2
	Ⅰ D15k	399	−	−	−	245.7	−	−	−	−	−	−	462.4	708.1
	Ⅰ D15l	400	−	−	−	47.9	−	−	−	−	−	−	7337.6	7385.5
	Ⅰ D15m	401	−	−	−	1153.8	−	−	−	−	−	−	448.3	1602.1
	Ⅰ D15m ～ n	402	−	−	−	2339.3	−	−	−	−	−	−	5.2	2344.5
	Ⅰ D15n	403	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	152.5	152.5
	Ⅰ D15o	404	−	−	−	726.7	−	−	−	−	−	−	1637.2	2363.9
	Ⅰ D15p	405	−	−	−	476.6	−	−	−	−	−	−	795.9	1272.5
	Ⅰ D15q	406	−	−	−	163.0	−	−	−	−	−	−	22.9	185.9
	Ⅰ D15r	407	−	−	−	41.1	−	−	−	−	−	−	81.1	122.2
	Ⅰ D15s	408	−	−	−	57.8	−	−	−	−	−	−	15.5	73.3
	Ⅰ D15t	409	−	−	−	5.0	−	−	−	−	−	−	0.0	5.0
	Ⅰ D16a	410	−	−	−	10.8	−	−	−	−	−	−	18.6	29.4
	Ⅰ D16b	411	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.9	13.9
	Ⅰ D16c	412	−	−	−	5.2	−	−	−	−	−	−	49.6	54.8
	Ⅰ D16e	413	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.5	13.5
	Ⅰ D16f	414	−	−	−	95.1	−	−	−	−	−	−	199.5	294.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（7）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ D16g	415	−	−	−	17.7	−	−	−	−	−	−	12.2	29.9
（包含層）	Ⅰ D16h	416	−	−	−	196.6	−	−	−	−	−	−	304.2	500.8
	Ⅰ D16i	417	−	−	−	625.3	−	−	−	−	−	−	2993.0	3618.3
	Ⅰ D16j	418	−	−	−	216.1	−	−	−	−	−	−	775.8	991.9
	Ⅰ D16k	419	−	−	−	590.5	−	−	−	−	−	−	1764.7	2355.2
	Ⅰ D16l	420	−	−	−	119.3	−	−	−	−	−	−	4320.0	4439.3
	Ⅰ D16m	421	−	−	−	279.1	−	−	−	−	−	−	114.8	393.9
	Ⅰ D16n	422	−	−	−	40.9	−	−	−	−	−	−	320.9	361.8
	Ⅰ D16o	423	−	−	−	689.1	−	−	−	−	−	−	1144.8	1833.9
	Ⅰ D16p	424	−	−	−	719.5	−	−	−	−	−	−	849.0	1568.5
	Ⅰ D16q	425	−	−	−	456.0	−	−	−	−	−	−	429.1	885.1
	Ⅰ D16r	426	−	−	−	130.4	−	−	−	−	−	−	224.0	354.4
	Ⅰ D16s	427	−	−	−	134.0	−	−	−	−	−	−	69.7	203.7
	Ⅰ D16t	428	−	−	−	7.5	−	−	−	−	−	−	0.0	7.5
	Ⅰ D17a	430	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	9.4	9.4
	Ⅰ D17b	431	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.6	2.6
	Ⅰ D17c	432	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	52.5	52.5
	Ⅰ D17d	433	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	149.6	149.6
	Ⅰ D17e	434	−	−	−	61.4	−	−	−	−	−	−	563.5	624.9
	Ⅰ D17f	435	−	−	−	41.8	−	−	−	−	−	−	2820.5	2862.3
	Ⅰ D17g	436	−	−	−	1.6	−	−	−	−	−	−	1281.7	1283.3
	Ⅰ D17g ～ h	437	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.0	13.0
	Ⅰ D17h	438	−	−	−	319.5	−	−	−	−	−	−	1618.0	1937.5
	Ⅰ D17i	439	−	−	−	98.3	−	−	−	−	−	−	1668.0	1766.3
	Ⅰ D17j	440	−	−	−	200.5	−	−	−	−	−	−	4154.5	4355.0
	Ⅰ D17～18j	429	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	139.4	139.4
	Ⅰ D17k	441	−	−	−	394.1	−	−	−	−	−	−	3486.2	3880.3
	Ⅰ D17l	442	−	−	−	277.6	−	−	−	−	−	−	910.4	1188.0
	Ⅰ D17m	443	−	−	−	232.2	−	−	−	−	−	−	2947.3	3179.5
	Ⅰ D17n	444	−	−	−	2016.2	−	−	−	−	−	−	804.6	2820.8
	Ⅰ D17o	445	−	−	−	1202.0	−	−	−	−	−	−	754.2	1956.2
	Ⅰ D17p	446	−	−	−	301.3	−	−	−	−	−	−	316.4	617.7
	Ⅰ D17q	447	−	−	−	910.1	−	−	−	−	−	−	1168.0	2078.1
	Ⅰ D17r	448	−	−	−	82.1	−	−	−	−	−	−	46.7	128.8
	Ⅰ D17s	449	−	−	−	111.0	−	−	−	−	−	−	0.0	111.0
	Ⅰ D17t	450	−	−	−	37.3	−	−	−	−	−	−	0.0	37.3
	Ⅰ D18a	454	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	181.6	181.6
	Ⅰ D18b	455	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	136.2	136.2
	Ⅰ D18c	456	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	109.5	109.5
	Ⅰ D18d	457	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1787.5	1787.5
	Ⅰ D18e	458	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	400.3	400.3
	Ⅰ D18～19e	451	−	−	−	5.3	−	−	−	−	−	−	5.3	10.6
	Ⅰ D18f	459	−	−	−	31.4	−	−	−	−	−	−	34.1	65.5
	Ⅰ D18g	460	−	−	−	405.5	−	−	−	−	−	−	1938.2	2343.7
	Ⅰ D18h	461	−	−	−	30.4	−	−	−	−	−	−	3099.6	3130.0
	Ⅰ D18i	462	−	−	−	32.7	−	−	−	−	−	−	1419.7	1452.4
	Ⅰ D18～19i	452	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	80.1	80.1
	Ⅰ D18j	463	−	−	−	388.4	−	−	−	−	−	−	2601.3	2989.7
	Ⅰ D18k	464	−	−	−	11.4	−	−	−	−	−	−	1135.1	1146.5
	Ⅰ D18l	465	−	−	−	11.1	−	−	−	−	−	−	350.3	361.4
	Ⅰ D18m	466	−	−	−	138.5	−	−	−	−	−	−	2443.0	2581.5
	Ⅰ D18n	467	−	−	−	489.9	−	−	−	−	−	−	530.8	1020.7
	Ⅰ D18o	468	−	−	−	427.2	−	−	−	−	−	−	1112.7	1539.9
	Ⅰ D18p	469	−	−	−	3486.1	−	−	−	−	−	−	611.7	4097.8
	Ⅰ D18q	470	−	−	−	1848.0	−	−	−	−	−	−	726.2	2574.2
	Ⅰ D18～19q	453	−	−	−	784.5	−	−	−	−	−	−	138.7	923.2
	Ⅰ D18r	471	−	−	−	285.7	−	−	−	−	−	−	265.9	551.6
	Ⅰ D18s	472	−	−	−	31.6	−	−	−	−	−	−	62.0	93.6
	Ⅰ D18u	473	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	547.3	547.3
	Ⅰ D19a	475	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	54.8	54.8
	Ⅰ D19b	476	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	61.8	61.8
	Ⅰ D19c	477	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	306.8	306.8
	Ⅰ D19d	478	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	840.4	840.4
	Ⅰ D19e	479	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	119.0	119.0
	Ⅰ D19f	480	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1001.5	1001.5
	Ⅰ D19g	481	−	−	−	33.1	−	−	−	−	−	−	332.5	365.6
	Ⅰ D19～20g	474	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	286.3	286.3
	Ⅰ D19h	482	−	−	−	17.8	−	−	−	−	−	−	134.9	152.7
	Ⅰ D19i	483	−	−	−	7.3	−	−	−	−	−	−	1041.8	1049.1
	Ⅰ D19j	484	−	−	−	39.0	−	−	−	−	−	−	312.1	351.1
	Ⅰ D19k	485	−	−	−	5.1	−	−	−	−	−	−	77.9	83.0
	Ⅰ D19l	486	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	46.2	46.2
	Ⅰ D19m	487	−	−	−	242.5	−	−	−	−	−	−	649.2	891.7
	Ⅰ D19n	488	−	−	−	47.6	−	−	−	−	−	−	752.9	800.5
	Ⅰ D19o	489	−	−	−	71.0	−	−	−	−	−	−	1495.0	1566.0
	Ⅰ D19p	490	−	−	−	590.0	−	−	−	−	−	−	631.2	1221.2
	Ⅰ D19p ～ q	491	−	−	−	5.7	−	−	−	−	−	−	0.0	5.7
	Ⅰ D19q	492	−	−	−	2650.8	−	−	−	−	−	−	599.9	3250.7
	Ⅰ D19r	493	−	−	−	319.0	−	−	−	−	−	−	656.9	975.9
	Ⅰ D20a	494	−	−	−	86.6	−	−	−	−	−	−	0.0	86.6
	Ⅰ D20b	495	−	−	−	7.2	−	−	−	−	−	−	18.9	26.1
	Ⅰ D20c	496	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.2	24.2
	Ⅰ D20e	497	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	340.9	340.9
	Ⅰ D20f	498	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2545.6	2545.6
	Ⅰ D20g	499	−	−	−	27.1	−	−	−	−	−	−	894.2	921.3
	Ⅰ D20g ～ h	500	−	−	−	48.9	−	−	−	−	−	−	216.4	265.3
	Ⅰ D20h	501	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	243.4	243.4
	Ⅰ D20h ～ k, Ⅱ D1h ～ k	502	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	105.6	105.6
	Ⅰ D20i	503	−	−	−	41.1	−	−	−	−	−	−	210.1	251.2
	Ⅰ D20j	504	−	−	−	23.1	−	−	−	−	−	−	339.8	362.9
	Ⅰ D20k	505	−	−	−	4.5	−	−	−	−	−	−	263.2	267.7
	Ⅰ D20l	506	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	660.8	660.8
	Ⅰ D20m	507	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2591.7	2591.7
	Ⅰ D20n	508	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2406.2	2406.2
	Ⅰ D20o	509	−	−	−	13.9	−	−	−	−	−	−	1113.1	1127.0
	Ⅰ D20p	510	−	−	−	80.9	−	−	−	−	−	−	233.8	314.7
	Ⅰ D20q	511	−	−	−	23.7	−	−	−	−	−	−	410.8	434.5

第18表　出土地点別土器類重量集計（8）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ D20r	512	−	−	−	153.0	−	−	−	−	−	−	542.4	695.4
（包含層）	Ⅰ D20r ～ Ⅱ D1r	513	−	−	−	8.7	−	−	−	−	−	−	67.2	75.9
	Ⅰ D20s	514	−	−	−	47.6	−	−	−	−	−	−	207.5	255.1
	Ⅰ D20t	515	−	−	−	19.7	−	−	−	−	−	−	198.5	218.2
	Ⅰ Dn ～ o	516	−	−	−	180.8	−	−	−	−	−	−	0.0	180.8
	Ⅰ D	517	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	559.3	559.3
	Ⅱ D1f	518	−	−	−	15.6	−	−	−	−	−	−	3285.9	3301.5
	Ⅱ D1g	519	−	−	−	0.6	−	−	−	−	−	−	916.1	916.7
	Ⅱ D1h	520	−	−	−	7.9	−	−	−	−	−	−	996.1	1004.0
	Ⅱ D1i	521	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	31.1	31.1
	Ⅱ D1j	522	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	36.3	36.3
	Ⅱ D1k	523	−	−	−	11.9	−	−	−	−	−	−	30.8	42.7
	Ⅱ D1l	524	−	−	−	2.4	−	−	−	−	−	−	169.3	171.7
	Ⅱ D1m	525	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	264.2	264.2
	Ⅱ D1n	526	−	−	−	5.0	−	−	−	−	−	−	5705.0	5710.0
	Ⅱ D1o	527	−	−	−	9.2	−	−	−	−	−	−	652.5	661.7
	Ⅱ D1o ～1q	528	−	−	−	8.6	−	−	−	−	−	−	252.1	260.7
	Ⅱ D1p	529	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	36.1	36.1
	Ⅱ D1q	530	−	−	−	3.3	−	−	−	−	−	−	365.6	368.9
	Ⅱ D1r	531	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.7	1.7
	Ⅱ D1s	532	−	−	−	19.5	−	−	−	−	−	−	52.7	72.2
	Ⅱ D1t	533	−	−	−	3.5	−	−	−	−	−	−	4.8	8.3
	Ⅱ D	535	−	−	−	2.1	−	−	−	−	−	−	0.0	2.1
	Ⅰ E13a ～ d	534	−	−	−	16.3	−	−	−	−	−	−	0.0	16.3
	Ⅰ E13c	536	−	−	−	195.2	−	−	−	−	−	−	0.0	195.2
	Ⅰ E13c ～ e	537	−	−	−	8.3	−	−	−	−	−	−	0.0	8.3
	Ⅰ E13e	538	−	−	−	65.5	−	−	−	−	−	−	0.0	65.5
	Ⅰ E13f	539	−	−	−	17.6	−	−	−	−	−	−	0.0	17.6
	Ⅰ E14a ～ d	541	−	−	−	34.7	−	−	−	−	−	−	0.0	34.7
	Ⅰ E14b	542	−	−	−	211.0	−	−	−	−	−	−	38.2	249.2
	Ⅰ E14d	543	−	−	−	1388.7	−	−	−	−	−	−	200.8	1589.5
	Ⅰ E14～15d ～ e	540	−	−	−	321.8	−	−	−	−	−	−	428.1	749.9
	Ⅰ E14e	544	−	−	−	372.8	−	−	−	−	−	−	1412.8	1785.6
	Ⅰ E14f	545	−	−	−	54.6	−	−	−	−	−	−	60.5	115.1
	Ⅰ E14h	546	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.5	1.5
	Ⅰ E14i	547	−	−	−	33.2	−	−	−	−	−	−	0.0	33.2
	Ⅰ E14j	548	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	32.4	32.4
	Ⅰ E14k	549	−	−	−	16.7	−	−	−	−	−	−	0.0	16.7
	Ⅰ E14k ～ l	550	−	−	−	48.2	−	−	−	−	−	−	1507.1	1555.3
	Ⅰ E14l	551	−	−	−	17.3	−	−	−	−	−	−	116.7	134.0
	Ⅰ E14o	1174	26.9	22.4	−	49.3	−	−	−	−	−	−	0.0	49.3
	Ⅰ E14p	1175	24.1	−	−	24.1	42.6	−	−	−	−	−	42.6	66.7
	Ⅰ E14r	1176	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	55.4	55.4	55.4
	Ⅰ E14s	1177	7.4	−	−	7.4	112.5	−	−	−	−	−	112.5	119.9
	Ⅰ E14t	1178	−	−	−	0.0	9.6	−	−	−	−	255.0	264.6	264.6
	Ⅰ E15c	552	−	−	−	25.0	−	−	−	−	−	−	0.0	25.0
	Ⅰ E15d	553	−	−	−	964.5	−	−	−	−	−	−	23.4	987.9
	Ⅰ E15e	554	−	−	−	148.9	−	−	−	−	−	−	115.0	263.9
	Ⅰ E15f	555	−	−	−	126.8	−	−	−	−	−	−	314.0	440.8
	Ⅰ E15g	556	−	−	−	150.0	−	−	−	−	−	−	92.6	242.6
	Ⅰ E15h	557	−	−	−	31.6	−	−	−	−	−	−	0.0	31.6
	Ⅰ E15j	558	−	−	−	75.1	−	−	−	−	−	−	32.6	107.7
	Ⅰ E15k	559	−	−	−	4.3	−	−	−	−	−	−	74.0	78.3
	Ⅰ E15l	560	−	−	−	27.3	−	−	−	−	−	−	10.7	38.0
	Ⅰ E15m	1180	5.2	6.9	−	12.1	−	−	−	−	−	47.1	47.1	59.2
	Ⅰ E15n	1181	−	8.3	−	8.3	−	−	−	−	−	293.0	293.0	301.3
	Ⅰ E15o	1182	34.0	−	−	34.0	−	−	−	−	−	3.4	3.4	37.4
	Ⅰ E15p	1183	150.4	71.6	−	222.0	44.7	−	−	−	−	371.0	415.7	637.7
	Ⅰ E15q	1184	23.6	6.8	−	30.4	26.3	−	−	−	−	−	26.3	56.7
	Ⅰ E15r	1185	125.4	139.6	−	265.0	720.3	−	−	−	−	799.6	1519.9	1784.9
	Ⅰ E15r ～15s	1186	4.5	−	−	4.5	−	−	−	−	−	149.4	149.4	153.9
	Ⅰ E15s	1187	−	−	−	0.0	17.9	1258.6	−	−	−	1451.4	2727.9	2727.9
	Ⅰ E15s ～15t	1188	7.3	1.1	−	8.4	−	−	−	−	−	1401.6	1401.6	1410.0
	Ⅰ E15t	1189	7.7	−	−	7.7	109.3	−	−	−	−	−	109.3	117.0
	Ⅰ E16e	561	−	−	−	48.2	−	−	−	−	−	−	0.0	48.2
	Ⅰ E16i	562	−	−	−	67.1	−	−	−	−	−	−	19.2	86.3
	Ⅰ E16j	563	−	−	−	108.4	−	−	−	−	−	−	14.6	123.0
	Ⅰ E16k	564	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	68.1	68.1
	Ⅰ E16l	565	−	−	45.7	45.7	14.0	−	−	−	−	33.7	47.7	93.4
	Ⅰ E16m	1192	46.0	88.9	30.4	165.3	30.6	−	−	−	−	5.4	36.0	201.3
	Ⅰ E16n	1193	60.4	−	−	60.4	10.7	−	−	−	−	−	10.7	71.1
	Ⅰ E16o	1194	636.8	249.8	−	886.6	30.3	−	−	−	−	−	30.3	916.9
	Ⅰ E16p	1195	266.4	155.8	−	422.2	10.7	−	−	−	−	21.4	32.1	454.3
	Ⅰ E16q	1196	155.6	122.1	−	277.7	12.0	369.8	−	−	−	−	381.8	659.5
	Ⅰ E16r	1197	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	949.7	949.7	949.7
	Ⅰ E16s	1198	20.8	−	−	20.8	376.4	−	−	−	−	401.0	777.4	798.2
	Ⅰ E16t	1199	13.9	−	−	13.9	−	−	−	−	−	64.9	64.9	78.8
	Ⅰ E17e	567	−	−	−	61.1	−	−	−	−	−	−	0.0	61.1
	Ⅰ E17j	568	−	−	−	88.7	−	−	−	−	−	−	0.0	88.7
	Ⅰ E17l	569	−	−	−	3.1	−	−	−	−	−	−	21.9	25.0
	Ⅰ E17m	1201	22.4	−	−	22.4	48.9	−	−	−	−	13.4	62.3	84.7
	Ⅰ E17n	1202	65.6	22.4	−	88.0	71.9	−	−	−	−	94.6	166.5	254.5
	Ⅰ E17o	1203	388.6	22.9	−	411.5	−	−	−	−	−	10.8	10.8	422.3
	Ⅰ E17p	1204	123.8	454.4	−	578.2	6.6	−	−	−	−	84.2	90.8	669.0
	Ⅰ E17～18p	1200	−	−	−	0.0	−	697.4	−	−	−	−	697.4	697.4
	Ⅰ E17q	1205	272.1	139.2	−	411.3	20.6	−	5177.5	1014.3	648.3	17.9	6878.6	7289.9
	Ⅰ E17r	1206	390.7	38.3	−	429.0	30.8	−	1960.0	−	2488.0	873.3	5352.1	5781.1
	Ⅰ E17s	1207	201.8	−	−	201.8	78.9	157.4	10454.1	5893.0	2183.9	591.6	19358.9	19560.7
	Ⅰ E17t	1208	8.5	−	−	8.5	118.2	−	−	−	−	139.6	257.8	266.3
	Ⅰ E18l	1211	29.8	341.9	−	371.7	13.0	−	−	−	−	−	13.0	384.7
	Ⅰ E18m	1212	118.1	19.6	−	137.7	42.3	−	−	−	−	−	42.3	180.0
	Ⅰ E18n	1213	55.2	30.6	−	85.8	171.8	−	−	−	−	−	171.8	257.6
	Ⅰ E18o	1214	74.0	28.8	−	102.8	−	−	−	−	−	725.0	725.0	827.8
	Ⅰ E18p	1215	164.5	198.0	−	362.5	37.4	1055.9	−	−	−	349.7	1443.0	1805.5
	Ⅰ E18q	1216	211.6	243.4	−	455.0	217.6	−	−	67.3	1007.8	4227.6	5520.3	5975.3
	Ⅰ E18～19q	1209	−	−	−	0.0	−	−	−	−	43.3	−	43.3	43.3
	Ⅰ E18r	1217	11.8	6.3	−	18.1	68.2	−	124.0	1829.4	1322.9	−	3344.5	3362.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（9）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ E18s	1218	59.4	–	–	59.4	73.4	–	11036.3	18.0	294.0	1235.3	12657.0	12716.4
（包含層）	Ⅰ E18t	1219	–	18.3	–	18.3	–	441.2	2861.1	1307.1	45.6	216.9	4871.9	4890.2
	Ⅰ E18～20t	1210	–	–	–	0.0	–	–	–	–	41.2	–	41.2	41.2
	Ⅰ E19m	1220	14.4	73.3	–	87.7	131.1	–	–	–	–	–	131.1	218.8
	Ⅰ E19n	1221	163.4	–	–	163.4	–	–	–	–	–	–	0.0	163.4
	Ⅰ E19o	1222	37.4	–	–	37.4	111.3	–	–	–	–	–	111.3	148.7
	Ⅰ E19p	1223	76.9	51.5	–	128.4	150.1	–	–	–	–	–	150.1	278.5
	Ⅰ E19p ～ r	1224	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	1279.5	1279.5	1279.5
	Ⅰ E19q	1225	21.3	30.9	–	52.2	63.3	–	–	–	1048.1	456.3	1567.7	1619.9
	Ⅰ E19r	1226	148.9	11.8	–	160.7	927.0	–	–	191.0	1167.1	439.6	2724.7	2885.4
	Ⅰ E19s	1227	103.7	61.6	–	165.3	993.8	76.3	2214.7	735.0	3000.5	–	7020.3	7185.6
	Ⅰ E19s ～ t	1228	–	–	–	0.0	–	110.7	–	–	–	391.3	502.0	502.0
	Ⅰ E19t	1229	35.1	29.0	–	64.1	11.0	–	24613.7	1601.2	1470.2	1648.5	29344.6	29408.7
	Ⅰ E19t ～ Ⅰ F19a	1230	–	–	–	0.0	–	–	4111.5	–	–	–	4111.5	4111.5
	Ⅰ E20a	570	–	–	–	55.0	–	–	–	–	–	–	0.0	55.0
	Ⅰ E20b	571	–	–	–	15.8	–	–	–	–	–	–	0.0	15.8
	Ⅰ E20c ～ e	572	–	–	–	18.4	–	–	–	–	–	–	25.5	43.9
	Ⅰ E20g	573	–	–	–	8.3	–	–	–	–	–	–	31.6	39.9
	Ⅰ E20h	574	–	–	–	60.9	–	–	–	–	–	–	21.3	82.2
	Ⅰ E20i	575	–	–	–	73.3	–	–	–	–	–	–	330.0	403.3
	Ⅰ E20n	1231	12.6	1.0	–	13.6	–	–	–	–	–	–	0.0	13.6
	Ⅰ E20o	1232	146.6	9.6	–	156.2	–	–	–	–	–	51.0	51.0	207.2
	Ⅰ E20p	1233	116.7	8.2	–	124.9	54.9	313.7	–	–	–	–	368.6	493.5
	Ⅰ E20p ～ Ⅱ E1p	1234	574.7	207.7	–	782.4	441.2	–	–	–	–	–	441.2	1223.6
	Ⅰ E20q	1235	238.8	–	–	238.8	39.8	–	–	–	–	64.0	103.8	342.6
	Ⅰ E20r	1236	27.8	18.6	–	46.4	8.2	–	–	6115.0	7867.4	3281.5	17272.1	17318.5
	Ⅰ E20r ～ t	1237	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	964.5	964.5	964.5
	Ⅰ E20s	1238	250.3	–	–	250.3	331.6	–	–	4691.9	11155.5	1627.0	17806.0	18056.3
	Ⅰ E20t	1239	289.1	89.0	–	378.1	1360.8	–	6413.3	10620.3	8476.4	4861.8	31732.6	32110.7
	Ⅰ Ea ～ e	576	–	–	–	389.6	–	–	–	–	–	–	0.0	389.6
	Ⅰ E	577	–	–	–	732.2	–	–	–	–	–	–	8.7	740.9
	Ⅱ E1a	579	–	–	–	227.1	–	–	–	–	–	–	40.2	267.3
	Ⅱ E1b	580	–	–	–	18.6	–	–	–	–	–	–	51.0	69.6
	Ⅱ E1g	581	–	–	–	70.5	–	–	–	–	–	–	0.0	70.5
	Ⅱ E1h	582	–	–	–	14.4	–	–	–	–	–	–	25.2	39.6
	Ⅱ E1o	1330	18.7	17.0	–	35.7	55.5	–	–	–	–	–	55.5	91.2
	Ⅱ E1q	1331	20.7	–	–	20.7	123.1	–	–	–	383.1	–	506.2	526.9
	Ⅱ E1r	1332	–	–	–	0.0	–	–	–	–	1519.5	346.6	1866.1	1866.1
	Ⅱ E1s	1333	64.1	–	–	64.1	83.3	–	–	3846.2	4729.5	1704.4	10363.4	10427.5
	Ⅱ E1t	1334	4.6	41.9	–	46.5	68.6	839.4	124.8	4019.4	17288.7	1170.1	23511.0	23557.5
	Ⅱ E2r	1335	–	–	–	0.0	–	–	–	–	192.3	–	192.3	192.3
	Ⅱ E2s	1336	19.2	1.1	–	20.3	74.2	–	–	2504.1	3059.7	–	5638.0	5658.3
	Ⅱ E2t	1337	27.7	–	–	27.7	–	–	1930.1	1645.2	13018.9	1004.5	17598.7	17626.4
	Ⅰ F14b	1241	8.4	–	–	8.4	–	–	–	–	–	–	0.0	8.4
	Ⅰ F15a	1242	–	–	–	0.0	24.8	–	–	–	–	49.0	73.8	73.8
	Ⅰ F15c	1243	–	–	–	0.0	32.2	–	–	–	–	–	32.2	32.2
	Ⅰ F16a	1245	–	–	–	0.0	8.7	–	–	–	–	245.2	253.9	253.9
	Ⅰ F16b	1246	–	–	–	0.0	11.2	260.4	–	–	–	–	271.6	271.6
	Ⅰ F16c	1247	–	–	–	0.0	19.4	–	–	–	–	–	19.4	19.4
	Ⅰ F16～18d ～ l	1244	19.1	17.2	–	36.3	–	–	–	–	–	82.8	82.8	119.1
	Ⅰ F16e	1248	–	10.8	–	10.8	32.4	–	–	–	–	–	32.4	43.2
	Ⅰ F16g	1249	–	–	–	0.0	–	106.3	–	–	–	1118.5	1224.8	1224.8
	Ⅰ F16i	1250	–	–	–	0.0	–	287.4	–	–	–	–	287.4	287.4
	Ⅰ F16p	1251	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	16.4	16.4	16.4
	Ⅰ F17a	1254	–	12.6	–	12.6	50.8	114.5	–	–	–	–	165.3	177.9
	Ⅰ F17～18a ～ b	1252	–	38.2	–	38.2	–	–	–	–	–	1152.3	1152.3	1190.5
	Ⅰ F17b	1255	29.6	–	–	29.6	162.9	66.9	–	1747.2	–	–	1977.0	2006.6
	Ⅰ F17c	1256	–	–	–	0.0	1091.4	–	8967.1	1310.2	–	1244.9	12613.6	12613.6
	Ⅰ F17～18c	1253	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	29.7	29.7	29.7
	Ⅰ F17d	1257	6.9	53.1	–	60.0	36.0	–	–	–	–	–	36.0	96.0
	Ⅰ F17f	1258	–	–	–	0.0	–	57.4	–	–	–	–	57.4	57.4
	Ⅰ F17g	1259	–	–	–	0.0	–	43.9	–	–	–	–	43.9	43.9
	Ⅰ F17h	1260	–	18.6	–	18.6	–	–	–	–	–	30.8	30.8	49.4
	Ⅰ F17k	1261	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	44.5	44.5	44.5
	Ⅰ F17m	1262	9.3	8.9	–	18.2	–	–	–	–	–	–	0.0	18.2
	Ⅰ F17o	1263	30.3	–	–	30.3	–	8.9	–	–	–	–	8.9	39.2
	Ⅰ F17p	1264	13.8	–	–	13.8	145.7	619.4	–	–	–	12.1	777.2	791.0
	Ⅰ F18a	1267	23.5	–	–	23.5	813.6	3426.1	–	–	–	925.9	5165.6	5189.1
	Ⅰ F18b	1268	319.6	68.6	–	388.2	228.9	1148.8	–	–	–	2110.0	3487.7	3875.9
	Ⅰ F18c	1269	3.8	29.6	–	33.4	296.7	–	–	–	–	2289.6	2586.3	2619.7
	Ⅰ F18～19c	1265	–	101.2	–	101.2	14.1	–	–	–	–	–	14.1	115.3
	Ⅰ F18d	1270	23.3	–	–	23.3	–	85.7	–	–	–	–	85.7	109.0
	Ⅰ F18e	1271	–	22.5	–	22.5	–	–	–	–	792.9	–	792.9	815.4
	Ⅰ F18e ～ f	1272	–	–	–	0.0	–	160.6	–	–	–	–	160.6	160.6
	Ⅰ F18f	1273	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	145.7	145.7	145.7
	Ⅰ F18g	1274	–	–	–	0.0	647.3	–	–	–	–	–	647.3	647.3
	Ⅰ F18h	1275	2.6	–	–	2.6	387.0	372.4	–	–	–	–	759.4	762.0
	Ⅰ F18i	1276	5.4	27.3	–	32.7	414.0	–	–	–	–	–	414.0	446.7
	Ⅰ F18k ～ l	1277	–	–	–	0.0	–	67.9	–	–	–	–	67.9	67.9
	Ⅰ F18l	1278	–	–	–	0.0	–	86.6	–	–	–	–	86.6	86.6
	Ⅰ F18m	1279	–	–	–	0.0	–	61.2	–	–	–	–	61.2	61.2
	Ⅰ F18～19m	1266	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	313.3	313.3	313.3
	Ⅰ F18q	1280	335.5	185.1	–	520.6	–	309.1	–	–	–	117.4	426.5	947.1
	Ⅰ F18r	1281	458.1	233.9	–	692.0	–	197.9	–	–	–	336.7	534.6	1226.6
	Ⅰ F18s	1282	65.1	87.8	–	152.9	41.4	472.5	–	–	–	1131.0	1644.9	1797.8
	Ⅰ F18t	1283	433.5	–	–	433.5	–	–	–	–	–	994.0	994.0	1427.5
	Ⅰ F19a	1284	144.6	196.3	–	340.9	31.7	336.6	11370.3	4395.7	–	10913.4	27047.7	27388.6
	Ⅰ F19a ～ b	1285	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	796.0	796.0	796.0
	Ⅰ F19a ～ c	1286	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	76.7	76.7	76.7
	Ⅰ F19b	1287	42.6	–	–	42.6	609.5	258.7	6561.0	3269.2	323.2	6144.4	17166.0	17208.6
	Ⅰ F19c	1288	–	–	–	0.0	46.9	1898.4	401.6	–	–	–	2346.9	2346.9
	Ⅰ F19d	1289	–	–	–	0.0	100.9	103.5	–	–	34.1	–	238.5	238.5
	Ⅰ F19e	1290	6.2	17.0	–	23.2	–	259.7	–	–	–	171.6	431.3	454.5
	Ⅰ F19f	1291	34.1	19.6	–	53.7	–	–	–	157.9	53.4	401.2	612.5	666.2
	Ⅰ F19g	1292	369.9	–	–	369.9	–	1023.6	–	1450.8	231.3	2053.1	4758.8	5128.7
	Ⅰ F19h	1293	19.6	6.1	–	25.7	1179.4	3004.8	–	1357.1	522.1	286.0	6349.4	6375.1
	Ⅰ F19h ～ i	1294	–	–	–	0.0	–	313.2	–	–	–	–	313.2	313.2

第18表　出土地点別土器類重量集計（10）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ F19i	1295	4.9	−	−	4.9	282.5	227.2	−	−	−	182.1	691.8	696.7
（包含層）	Ⅰ F19j	1296	5.6	−	−	5.6	−	14.2	−	39.1	22.7	−	76.0	81.6
	Ⅰ F19l	1297	2017.3	69.8	−	2087.1	−	392.1	−	−	−	−	392.1	2479.2
	Ⅰ F19m	1298	397.6	16.3	−	413.9	−	37.2	−	−	−	154.5	191.7	605.6
	Ⅰ F19n	1299	−	17.7	−	17.7	−	48.3	−	−	−	−	48.3	66.0
	Ⅰ F19o	1300	165.7	101.0	−	266.7	−	−	−	−	−	96.5	96.5	363.2
	Ⅰ F19p	1301	17.7	−	−	17.7	−	6.0	−	−	−	−	6.0	23.7
	Ⅰ F19q	1302	369.9	394.8	−	764.7	−	−	−	−	−	352.0	352.0	1116.7
	Ⅰ F19r	1303	670.7	177.3	−	848.0	−	1524.1	−	−	−	1749.8	3273.9	4121.9
	Ⅰ F19s	1304	253.7	175.7	−	429.4	−	1052.7	−	−	−	23.1	1075.8	1505.2
	Ⅰ F19t	1305	169.3	17.9	−	187.2	−	−	−	−	−	828.8	828.8	1016.0
	Ⅰ F20a	1306	682.1	44.4	−	726.5	1207.0	1993.6	35305.4	9980.0	10904.2	20356.9	79747.1	80473.6
	Ⅰ F20b	1307	139.9	96.2	−	236.1	3816.5	6075.9	6465.8	13148.5	15732.2	6398.0	51636.9	51873.0
	Ⅰ F20c	1308	364.6	58.4	−	423.0	9669.5	−	38167.8	13228.1	7254.7	74.3	68394.4	68817.4
	Ⅰ F20d	1309	58.8	28.7	−	87.5	90.5	−	−	−	40.2	570.5	701.2	788.7
	Ⅰ F20f	1311	501.1	31.2	−	532.3	−	87.2	−	−	−	617.2	704.4	1236.7
	Ⅰ F20g	1312	464.1	52.8	−	516.9	−	545.0	−	−	138.5	3186.1	3869.6	4386.5
	Ⅰ F20h	1313	42.5	68.1	−	110.6	−	918.7	−	934.9	479.9	−	2333.5	2444.1
	Ⅰ F20i	1314	79.4	1.6	−	81.0	−	575.1	175.3	724.4	37.7	14.1	1526.6	1607.6
	Ⅰ F20j	1315	194.1	−	−	194.1	−	235.5	−	848.6	711.5	−	1795.6	1989.7
	Ⅰ F20k	1316	239.3	31.6	−	270.9	−	499.9	534.9	854.4	1108.3	−	2997.5	3268.4
	Ⅰ F20l	1317	368.5	101.1	−	469.6	−	895.6	94.3	607.9	169.8	−	1767.6	2237.2
	Ⅰ F20m	1318	259.5	21.8	−	281.3	−	53.3	−	−	47.8	13.9	115.0	396.3
	Ⅰ F20o	1319	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	42.8	42.8	42.8
	Ⅰ F20p	1320	3.9	−	−	3.9	−	20.7	−	−	−	26.3	47.0	50.9
	Ⅰ F20q	1321	42.7	−	−	42.7	−	−	−	−	−	−	0.0	42.7
	Ⅰ F20r	1322	313.3	20.5	−	333.8	−	305.1	−	−	−	329.4	634.5	968.3
	Ⅰ F20s	1323	65.4	3.3	−	68.7	−	100.3	−	−	−	−	100.3	169.0
	Ⅰ F20t	1324	947.5	13.9	−	961.4	−	−	1022.3	−	−	408.5	1430.8	2392.2
	Ⅰ F	1240	181.6	258.7	−	440.3	−	−	1459.0	−	109.7	1187.9	2756.6	3196.9
	Ⅱ F1a	1341	227.2	26.3	−	253.5	44.5	−	33139.1	2139.4	18677.3	12027.0	66027.3	66280.8
	Ⅱ F1a ～ b	1342	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	901.6	901.6	901.6
	Ⅱ F1b	1343	330.9	81.5	−	412.4	1889.5	11244.4	47657.7	8760.4	27676.0	11479.0	108707.0	109119.4
	Ⅱ F1～2b	1339	4.2	−	−	4.2	−	2313.2	−	−	−	882.7	3195.9	3200.1
	Ⅱ F1c	1344	800.3	−	−	800.3	7155.3	3579.5	21359.2	13259.1	1176.7	−	46529.8	47330.1
	Ⅱ F1d	1345	4.5	22.5	−	27.0	472.3	5650.1	−	−	−	88.9	6211.3	6238.3
	Ⅱ F1e	1346	60.8	66.4	−	127.2	266.9	754.0	−	−	−	1184.6	2205.5	2332.7
	Ⅱ F1e ～ f	1347	−	−	−	0.0	−	885.4	−	−	−	−	885.4	885.4
	Ⅱ F1f	1348	190.9	53.4	−	244.3	−	971.9	−	−	−	1725.5	2697.4	2941.7
	Ⅱ F1g	1349	10.4	28.7	−	39.1	−	2164.8	−	−	−	4049.2	6214.0	6253.1
	Ⅱ F1h	1350	243.9	56.3	−	300.2	−	5243.8	−	−	480.5	2753.7	8478.0	8778.2
	Ⅱ F1i	1351	94.6	55.1	−	149.7	−	5199.3	−	1231.7	562.7	−	6993.7	7143.4
	Ⅱ F1～2i	1340	13.3	−	−	13.3	−	−	−	−	−	5290.8	5290.8	5304.1
	Ⅱ F1i ～2j	1352	59.7	−	−	59.7	−	−	−	−	−	7969.1	7969.1	8028.8
	Ⅱ F1j	1353	32.0	−	−	32.0	−	3367.0	−	101.9	620.6	−	4089.5	4121.5
	Ⅱ F1k	1354	46.8	1.6	−	48.4	−	373.2	−	488.9	156.3	−	1018.4	1066.8
	Ⅱ F1l	1355	233.1	9.8	−	242.9	−	259.7	−	122.0	−	−	381.7	624.6
	Ⅱ F1m	1356	118.7	14.6	−	133.3	−	56.6	−	−	18.0	−	74.6	207.9
	Ⅱ F1n	1357	659.3	55.3	−	714.6	−	225.7	−	−	−	−	225.7	940.3
	Ⅱ F1p	1358	25.2	−	−	25.2	−	570.6	−	−	−	42.9	613.5	638.7
	Ⅱ F1r	1359	9.6	185.3	−	194.9	−	−	−	−	−	−	0.0	194.9
	Ⅱ F1s	1360	−	25.6	−	25.6	43.3	−	−	−	−	51.4	94.7	120.3
	Ⅱ F1t	1361	221.5	1.4	−	222.9	−	−	−	−	−	249.9	249.9	472.8
	Ⅱ F2a	1363	253.4	7.9	−	261.3	34.6	1600.0	26350.0	5440.0	9960.0	8885.0	52269.6	52530.9
	Ⅱ F2a ～ b	1364	−	−	−	0.0	−	−	1510.0	−	−	−	1510.0	1510.0
	Ⅱ F2b	1365	147.4	83.3	−	230.7	1919.9	20120.7	55111.5	9845.3	6600.2	3215.2	96812.8	97043.5
	Ⅱ F2c	1366	35.2	1.6	−	36.8	8712.3	2264.7	21790.0	7203.4	2437.5	1500.0	43907.9	43944.7
	Ⅱ F2d	1367	305.4	38.6	−	344.0	16.7	10430.0	−	−	−	1891.6	12338.3	12682.3
	Ⅱ F2d ～ e	1368	23.6	−	−	23.6	−	−	−	−	−	1314.8	1314.8	1338.4
	Ⅱ F2e	1369	161.3	56.4	−	217.7	−	4010.0	−	−	−	1785.0	5795.0	6012.7
	Ⅱ F2f	1370	207.9	37.7	−	245.6	−	693.9	−	−	−	807.7	1501.6	1747.2
	Ⅱ F2g	1371	69.6	48.4	−	118.0	−	745.1	−	−	−	−	745.1	863.1
	Ⅱ F2～3g	1362	27.7	−	−	27.7	−	−	−	−	−	−	0.0	27.7
	Ⅱ F2h	1372	359.3	49.3	−	408.6	−	4347.7	−	−	−	−	4347.7	4756.3
	Ⅱ F2i	1373	444.2	386.4	−	830.6	−	7516.3	−	−	−	−	7516.3	8346.9
	Ⅱ F2j	1374	7.5	141.8	−	149.3	−	2424.4	−	695.7	160.8	248.2	3529.1	3678.4
	Ⅱ F2k	1375	19.0	21.2	−	40.2	−	1013.9	−	98.1	371.0	−	1483.0	1523.2
	Ⅱ F2l	1376	143.9	8.9	−	152.8	−	259.6	−	−	−	−	259.6	412.4
	Ⅱ F2m	1377	37.7	20.4	−	58.1	−	23.5	−	−	−	−	23.5	81.6
	Ⅱ F2n	1378	−	−	−	0.0	−	32.8	−	−	−	−	32.8	32.8
	Ⅱ F2o	1379	137.9	−	−	137.9	−	−	1482.5	−	−	−	1482.5	1620.4
	Ⅱ F2p	1380	−	4.6	−	4.6	−	−	−	−	−	−	0.0	4.6
	Ⅱ F2q	1381	15.6	−	−	15.6	−	−	−	−	−	−	0.0	15.6
	Ⅱ F2t	1382	32.5	−	−	32.5	−	−	−	−	−	66.5	66.5	99.0
	Ⅱ F3d	1384	59.9	−	−	59.9	−	1654.2	−	−	−	304.9	1959.1	2019.0
	Ⅱ F3e	1385	13.8	8.2	−	22.0	−	1181.0	−	−	−	185.9	1366.9	1388.9
	Ⅱ F3f	1386	−	3.3	−	3.3	−	620.7	−	−	−	21.6	642.3	645.6
	Ⅱ F3g	1387	40.0	9.7	−	49.7	−	617.8	−	−	−	−	617.8	667.5
	Ⅱ F3g ～ h	1388	−	427.8	−	427.8	−	−	−	−	−	−	0.0	427.8
	Ⅱ F3h	1389	46.8	−	−	46.8	−	1807.1	−	−	−	−	1807.1	1853.9
	Ⅱ F3i	1390	6.6	6.0	−	12.6	−	426.9	−	−	851.2	−	1278.1	1290.7
	Ⅱ F3j	1391	27.2	−	−	27.2	−	3807.8	−	−	−	−	3807.8	3835.0
	Ⅱ F3k	1392	194.3	11.4	−	205.7	−	5956.6	−	−	−	−	5956.6	6162.3
	Ⅱ F3l	1393	111.2	31.4	−	142.6	−	2286.7	−	−	−	916.0	3202.7	3345.3
	Ⅱ F3m	1394	14.9	19.6	−	34.5	−	200.6	−	−	−	163.2	363.8	398.3
	Ⅱ F3n	1395	11.4	−	−	11.4	−	134.7	−	−	−	218.0	352.7	364.1
	Ⅱ F3n ～ o	1396	−	−	−	0.0	−	824.0	−	−	−	−	824.0	824.0
	Ⅱ F3o	1397	−	−	−	0.0	−	433.2	−	−	−	−	433.2	433.2
	Ⅱ F3～4o	1383	−	−	−	0.0	−	−	−	−	368.9	−	368.9	368.9
	Ⅱ F3p	1398	17.5	−	−	17.5	−	−	−	−	−	−	0.0	17.5
	Ⅱ F3q	1399	130.8	−	−	130.8	−	−	−	−	−	−	0.0	130.8
	Ⅱ F3r	1400	9.7	−	−	9.7	−	−	−	−	−	−	0.0	9.7
	Ⅱ F3s	1401	97.9	53.7	−	151.6	−	17.5	−	−	−	−	17.5	169.1
	Ⅱ F3t	1402	100.1	8.0	−	108.1	−	−	−	−	−	−	0.0	108.1
	Ⅱ F4h	1403	−	55.2	−	55.2	−	20.7	−	−	−	−	20.7	75.9
	Ⅱ F4k	1404	31.4	11.4	−	42.8	−	1092.9	−	−	−	464.9	1557.8	1600.6
	Ⅱ F4l	1405	13.7	18.4	−	32.1	−	597.3	−	−	−	338.2	935.5	967.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（11）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅱ F4m	1406	8.2	−	−	8.2	−	199.0	−	−	−	−	199.0	207.2
（包含層）	Ⅱ F4n	1407	−	−	−	0.0	−	22.6	−	−	−	98.9	121.5	121.5
	Ⅱ F4q	1408	11.1	−	−	11.1	−	11.7	−	−	−	−	11.7	22.8
	Ⅱ F4r	1409	84.8	−	−	84.8	−	−	−	−	47.4	−	47.4	132.2
	Ⅱ F4s	1410	131.4	530.3	−	661.7	−	18.1	−	−	−	−	18.1	679.8
	Ⅱ F4t	1411	680.9	444.8	−	1125.7	−	−	−	−	−	−	0.0	1125.7
	Ⅱ F5r	1412	−	2.7	−	2.7	−	110.8	−	−	−	−	110.8	113.5
	Ⅱ F5s	1413	8.3	−	−	8.3	−	41.0	−	−	−	−	41.0	49.3
	Ⅱ F5t	1414	34.5	48.6	−	83.1	−	25.8	−	−	−	−	25.8	108.9
	Ⅱ F	1338	33.5	−	5558.4	5591.9	−	−	−	−	−	−	14141.4	19733.3
	Ⅰ E ～ Ⅱ F	578	−	−	−	11810.6	−	−	−	−	−	−	39579.1	51389.7
	Ⅰ G18a	1325	92.4	−	−	92.4	−	−	−	−	−	−	0.0	92.4
	Ⅰ G19a	1326	58.3	−	−	58.3	−	−	−	−	−	−	0.0	58.3
	Ⅰ G20a	1327	497.9	1278.5	−	1776.4	51.4	33.1	−	−	−	571.5	656.0	2432.4
	Ⅰ G20a ～ Ⅱ G1a	1328	−	33.0	−	33.0	−	−	−	−	−	−	0.0	33.0
	Ⅰ G20o	1329	27.0	−	−	27.0	−	−	−	−	−	69.0	69.0	96.0
	Ⅱ G1a	1422	195.8	10.7	−	206.5	61.6	−	−	−	−	186.2	247.8	454.3
	Ⅱ G1b	1423	124.9	117.3	−	242.2	−	−	−	−	−	74.5	74.5	316.7
	Ⅱ G1～2b	1416	178.5	38.8	−	217.3	−	−	−	−	−	134.0	134.0	351.3
	Ⅱ G1c	1424	220.4	27.7	−	248.1	−	−	−	−	−	−	0.0	248.1
	Ⅱ G2a	1425	120.4	15.9	−	136.3	−	−	−	−	−	153.3	153.3	289.6
	Ⅱ G2b	1426	268.8	−	−	268.8	−	−	−	−	−	10.4	10.4	279.2
	Ⅱ G2c	1427	512.1	154.4	−	666.5	−	−	−	−	−	48.6	48.6	715.1
	Ⅱ G2d	1428	22.2	−	−	22.2	−	−	−	−	−	−	0.0	22.2
	Ⅱ G2e	1429	41.8	−	−	41.8	−	−	−	−	−	15.8	15.8	57.6
	Ⅱ G2f	1430	61.5	8.8	−	70.3	−	−	−	−	−	−	0.0	70.3
	Ⅱ G2q	1431	−	12.0	−	12.0	−	−	−	−	−	−	0.0	12.0
	Ⅱ G3a	1432	762.1	248.1	−	1010.2	−	−	−	−	−	126.6	126.6	1136.8
	Ⅱ G3b	1433	182.2	−	−	182.2	−	62.2	−	−	−	243.1	305.3	487.5
	Ⅱ G3c	1434	71.5	6.3	−	77.8	−	−	−	−	−	328.4	328.4	406.2
	Ⅱ G3d	1435	109.2	55.9	−	165.1	−	−	−	−	−	−	0.0	165.1
	Ⅱ G3e	1436	210.2	362.8	−	573.0	−	−	−	−	−	−	0.0	573.0
	Ⅱ G3f	1437	104.9	30.2	−	135.1	−	−	−	−	−	3.7	3.7	138.8
	Ⅱ G3g	1438	198.7	−	−	198.7	−	−	−	−	−	11.1	11.1	209.8
	Ⅱ G4a	1439	129.4	−	−	129.4	−	−	−	−	−	61.0	61.0	190.4
	Ⅱ G4b	1440	39.1	−	−	39.1	−	−	−	−	−	58.3	58.3	97.4
	Ⅱ G4c	1441	527.6	1056.7	−	1584.3	−	−	−	−	−	375.1	375.1	1959.4
	Ⅱ G4d	1442	3.0	−	−	3.0	−	−	−	−	−	−	0.0	3.0
	Ⅱ G4e	1443	441.6	184.3	−	625.9	−	−	−	−	−	−	0.0	625.9
	Ⅱ G4f	1444	28.4	28.3	−	56.7	−	−	−	−	−	−	0.0	56.7
	Ⅱ G5c	1445	−	6.3	−	6.3	−	−	−	−	−	32.2	32.2	38.5
	Ⅱ G5d	1446	276.6	313.7	−	590.3	−	−	−	−	−	−	0.0	590.3
	Ⅱ G5h	1447	348.1	152.4	−	500.5	−	−	−	−	−	8.8	8.8	509.3
	Ⅱ G5h ～ i	1448	398.3	65.6	−	463.9	−	15.1	−	−	−	−	15.1	479.0
	Ⅱ G5i	1449	60.5	−	−	60.5	−	−	−	−	−	−	0.0	60.5
	Ⅱ G5j	1450	13.0	−	−	13.0	−	−	−	−	−	−	0.0	13.0
	Ⅱ G6c	1451	412.6	298.3	−	710.9	−	−	−	−	−	109.4	109.4	820.3
	Ⅱ G6d	1452	167.0	80.8	−	247.8	−	−	−	−	−	83.6	83.6	331.4
	Ⅱ G6f	1453	102.9	41.4	−	144.3	−	−	−	−	−	−	0.0	144.3
	Ⅱ G6g	1454	1486.6	299.6	−	1786.2	−	−	−	−	−	382.1	382.1	2168.3
	Ⅱ G6h	1455	890.8	291.5	−	1182.3	−	−	−	−	−	29.3	29.3	1211.6
	Ⅱ G6i	1456	1839.1	568.0	−	2407.1	−	−	−	−	−	525.0	525.0	2932.1
	Ⅱ G6j	1457	303.8	92.8	−	396.6	−	−	−	−	−	249.2	249.2	645.8
	Ⅱ G6k	1458	437.8	−	−	437.8	−	−	−	−	−	−	0.0	437.8
	Ⅱ G6l	1459	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	209.2	209.2	209.2
	Ⅱ G7g	1461	74.8	11.6	−	86.4	−	−	−	−	−	−	0.0	86.4
	Ⅱ G7h	1462	351.9	1105.4	−	1457.3	−	−	−	−	−	−	0.0	1457.3
	Ⅱ G7i	1463	3017.4	74.5	−	3091.9	−	−	−	−	−	1221.9	1221.9	4313.8
	Ⅱ G7i ～ j	1464	943.9	186.1	−	1130.0	−	−	−	−	−	139.4	139.4	1269.4
	Ⅱ G7j	1465	1015.5	80.0	−	1095.5	−	−	−	−	−	31.4	31.4	1126.9
	Ⅱ G7～8j	1460	662.6	−	−	662.6	−	−	−	−	−	18.8	18.8	681.4
	Ⅱ G7k	1466	373.5	35.6	−	409.1	−	−	−	−	−	−	0.0	409.1
	Ⅱ G7l	1467	56.1	9.4	−	65.5	−	−	−	−	−	−	0.0	65.5
	Ⅱ G7m	1468	19.4	−	−	19.4	−	−	−	−	−	−	0.0	19.4
	Ⅱ G8i	1469	200.9	−	−	200.9	−	−	−	−	−	618.6	618.6	819.5
	Ⅱ G8j	1470	759.8	−	−	759.8	−	−	−	−	−	−	0.0	759.8
	Ⅱ G8k	1471	229.6	6.4	−	236.0	−	−	−	−	−	−	0.0	236.0
	Ⅱ G9p	1472	10.9	−	−	10.9	−	−	−	−	−	−	0.0	10.9
	Ⅱ G9r	1473	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	21.4	21.4	21.4
	Ⅱ G9t	1474	116.1	34.6	−	150.7	−	−	−	−	−	−	0.0	150.7
	Ⅱ G10p	1417	3.3	−	−	3.3	−	−	−	−	−	−	0.0	3.3
	Ⅱ G10q	1418	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	63.4	63.4	63.4
	Ⅱ G10r	1419	75.2	62.8	−	138.0	−	−	−	−	−	6.3	6.3	144.3
	Ⅱ G10s	1420	24.5	−	−	24.5	−	−	−	−	−	−	0.0	24.5
	Ⅱ G10t	1421	398.7	232.1	−	630.8	−	−	−	−	−	120.8	120.8	751.6
	Ⅱ G	1415	356.2	19.1	−	375.3	−	127.1	−	−	−	29.1	156.2	531.5
	Ⅱ H10a	1475	801.0	579.9	−	1380.9	−	−	−	−	−	−	0.0	1380.9
	A区	121	−	−	−	236.5	−	−	−	−	−	−	5688.6	5925.1
	B区	585	−	−	−	4010.9	−	−	−	−	−	−	2632.6	6643.5
	BC区	586	−	−	−	736.0	−	−	−	−	−	−	1827.0	2563.0
	BC区	588	−	−	−	1012.6	−	−	−	−	−	−	2085.0	3097.6
	C区	587	−	−	−	16604.0	−	−	−	−	−	−	8213.7	24817.7
	D区南	1477	3122.4	1339.1	−	4461.5	887.1	5475.1	−	−	−	5539.5	11901.7	16363.2
	D区北	1478	2261.4	978.8	−	3240.2	−	−	−	−	−	21064.6	21064.6	24304.8
	D区	1476	1468.9	573.6	3663.0	5705.5	−	2036.0	−	−	1018.6	5674.4	8729.0	14434.5
	DE区境	1479	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	220.7	220.7	220.7
	E区南	1481	5931.3	2314.9	−	8246.2	−	−	−	−	969.5	4249.1	5218.6	13464.8
	E区北	1482	3397.4	1480.2	−	4877.6	−	67.5	−	−	−	404.1	471.6	5349.2
	E区	1480	4119.4	554.6	−	4674.0	−	98.4	−	−	−	141.0	239.4	4913.4
	F区1次	1483	2668.4	714.2	−	3382.6	−	−	−	−	−	4.4	4.4	3387.0
	F区2次	1484	11934.6	5309.0	−	17243.6	−	−	−	−	−	1568.9	1568.9	18812.5
	D ～ F区	1486	455.3	143.6	−	598.9	−	−	−	−	−	3275.2	3275.2	3874.1
	調査区外	590	−	−	−	209.0	−	−	−	−	−	−	116.2	325.2
	出土地点不明	1485	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	478.6	478.6	478.6
	出土量　総計		413561.9	143934.7		1192029.8							1733390.2	2925420.0

3　遺　　物

（1）　縄文・弥生土器（遺物図版１～72　写真図版181～233）

①　概要

今回の調査で出土した縄文・弥生土器の主体は、縄文時代晩期後葉～弥生時代中期にかけての土器群である。その多くはD区包含層出土であり、縄文・弥生移行期の土器が最も多いことから両者を区別せず一括して記載する。他には主に調査区南半を中心として縄文時代中期から弥生時代後期にかけての土器群の出土が見られる。

縄文･弥生土器は重量では1,700kgを超す数値が得られており（第18表）､土師器･須恵器の合計約1,200kgよりも多い。このうち８割を超える1,400kg余りがD区包含層を主とした遺構外出土である。

掲載資料の選択にあたっては、全体像を知り得るもの、型式学的な特徴を捉え得るものを中心とした｡特に縄文中期～晩期中葉の土器については､時期の判定が可能な個体は極力掲載資料とした｡一方、主体を占める縄文晩期後葉～弥生中期については、同一遺構内、もしくは同一グリッド・同一層位内から、同じ特徴を持つ資料が複数もしくは多数出土しているケースが多々見られた。このような場合には作業の工程上､掲載資料を相当絞り込まざるを得なかった｡図化掲載した資料は合計894点である。

図版掲載は出土地点順（遺構記載順→包含層含む遺構外）としており、遺構外出土土器の中ではD区包含層出土分も含め大グリッド順の配列（大グリッドⅠA→ⅡG)、同一大グリッド内は小グリッドの南北方向順（1a→1b→…20s→20t）とした。同一小グリッド内は出土層位の下位から上位へと配列した（Ⅳc層→Ⅳb層→…Ⅱ層)。

②　縄文時代中期～晩期中葉の土器

a　縄文時代中期

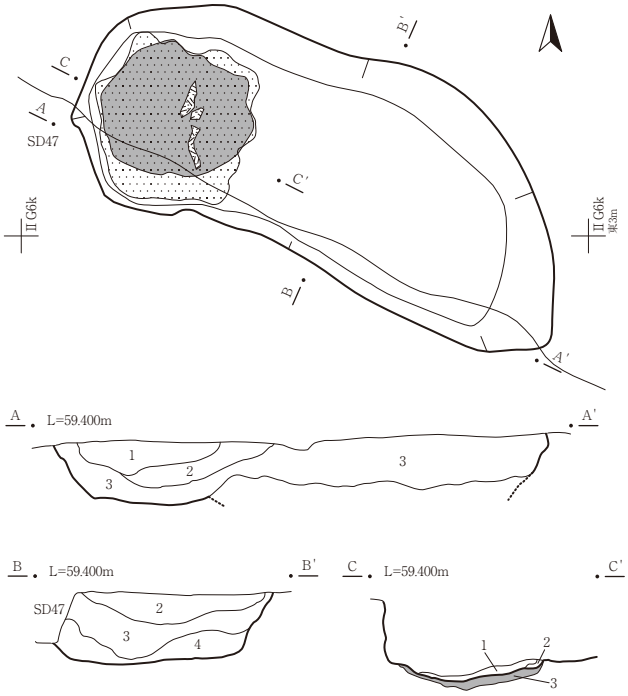
Ａ区のSI03住居跡から大木8b式前半段階の一括資料が得られている（a5･6･7･8)。a6･8に見られる、縄文施文後に２～３条１組の沈線がやや直線的な構図で施文される文様構成、垂下する蛇行沈線等の要素は大木8b式古相段階の特徴を備えると考えられる。

同じくＡ区SI05住居跡では大木10式後半段階の土器が出土する（a10・11)。両者とも全体の文様構成は不明だが、比較的浅く細い沈線により施文されるＪ字状の無文部、円形区画内の刺突充填手法等が特徴となる。他に大木10式土器は、SI05住居跡に隣接するⅠB19m･nグリッドⅣ～Ⅴ層、Ｃ区南側に位置するⅠD20n～ⅡD1nグリッド（両グリッドは接する）Ⅳ～Ⅴ層でまとまって出土する。a273等は無文部内に曲線的な縄文充填文様が展開し、SI05住居跡出土土器より遡る大木10式前半に比定されるものが含まれている。

b　縄文時代後期

中期同様に散発的な出土がある。Ｂ区～Ｃ区にかけての調査区南半に多いが明確なまとまりは見出せない。a17は帯状の入組文に縄文を充填する後期前葉後半段階の壺形土器。a223は小型の壺胴部に１本の沈線で曲線的な図形が描かれる。後期前葉の中でも末期段階に位置づけられる。a275は大波状口縁推定５単位の後期中葉鉢形土器。a453の胴部に充填縄文文様を施文する壺も同一段階と考えられる。水平にやや微隆起線気味の沈線が複数巡るa877の注口土器は後期後葉初期段階、胴部無文のa230注口土器はやや下る段階と見られる。

SX137



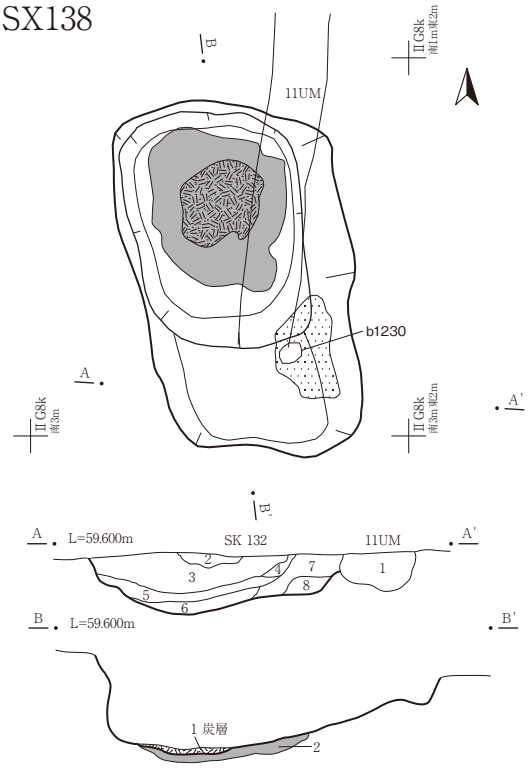
SX137 (A-A'・B-B')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト多量全体に混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～ 5 ㎜) 少量細かく斑状に入る。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト少量全体に混在。炭極微量。
4　10YR4/4 褐色　基本層序よりやや暗く炭混じる。白色粘土斑状に含む。

SX137 (C-C')

1　7.5YR4/3 褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。焼土ブロック多量、炭少量。上面に炭層あり。
2　7.5YR2/3 極暗褐色　焦土。周囲からの崩落か？
3　5YR3/6 暗赤褐色　焼土　被熱強。

SX138



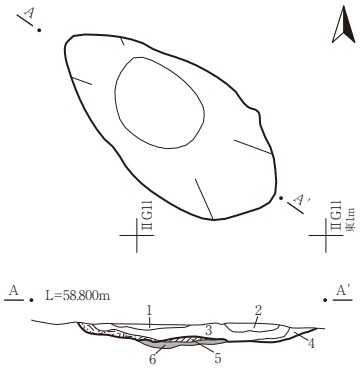
SX138・11UM (A-A')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土全体にやや多く混じる。
2　3 層に似るが、やや褐色粘土多い。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭、焼土、褐色土極微量。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。焼土ブロック (径～ 5 ㎜) 細かく多い。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭、焼土微量。炭 (径～ 1 ㎝) 3 層より大きい。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。ややグライ化し、上下面に酸化鉄集積。
7　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土少ない。
8　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土多い。

SX138 (B-B')

1　10YR4/6 褐色　上面炭層　しまりややなし、粘性ややあり。炭層か？
2　5YR4/8 赤褐色　焼土層。

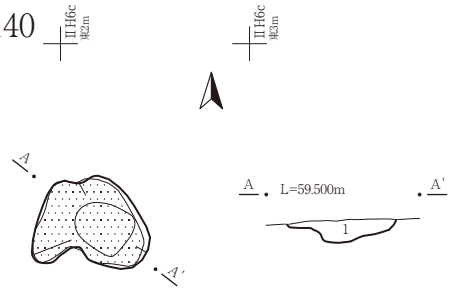
SX139



SX139 (A-A')

1　10YR4/4 褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径 2 ㎜)、5 YR5/8 明赤褐色焼土粒 (径 1 ㎜) 極少量混入。
2　1 層に同じ。
3　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。炭化物 (径 1 ～ 10 ㎜)、5 YR4/8 赤褐色焼土 (径 2 ～ 10 ㎜) 大量混入。
4　10YR4/6 褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。
5　7.5YR7/8 黄橙色　しまりあり、粘性なし。
6　5YR3/6 暗赤褐色　しまりややなし、粘性なし。

SX140

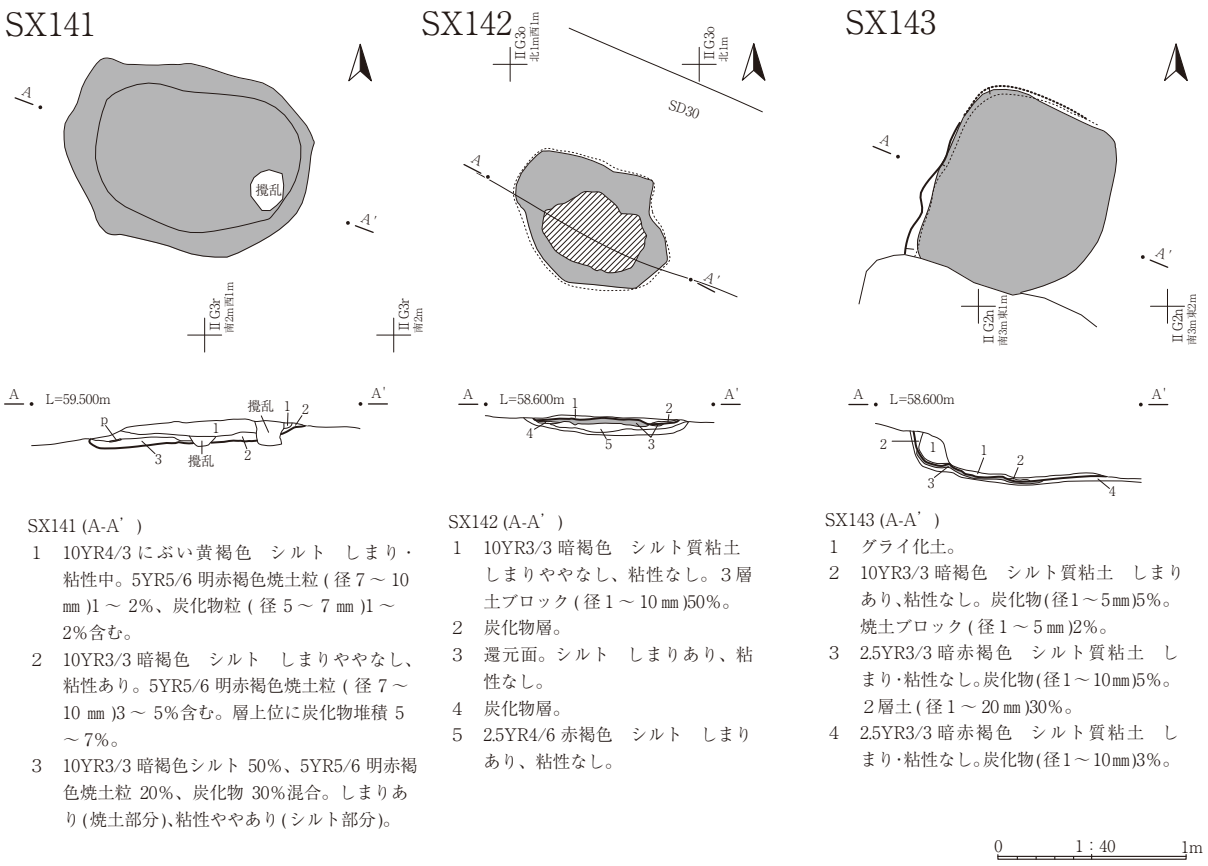


SX140 (A-A')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。7.5YR6/8 橙色焼土粒 (径 7 ～ 10 ㎜)5 ～ 7%。炭化物 (径 10 ㎜)1% 含む。

0　1 : 40　1m

第202図　SX137～140焼成遺構



SX141 (A-A’)
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。5YR5/6 明赤褐色焼土粒 (径 7 ～ 10 ㎜)1 ～ 2%、炭化物粒 (径 5 ～ 7 ㎜)1 ～ 2%含む。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややなし、粘性あり。5YR5/6 明赤褐色焼土粒 (径 7 ～ 10 ㎜)3 ～ 5%含む。層上位に炭化物堆積 5 ～ 7%。
3　10YR3/3 暗褐色シルト 50%、5YR5/6 明赤褐色焼土粒 20%、炭化物 30%混合。しまりあり (焼土部分)、粘性ややあり (シルト部分)。

SX142 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト質粘土　しまりややなし、粘性なし。3 層土ブロック (径 1 ～ 10 ㎜)50%。
2　炭化物層。
3　還元面。シルト　しまりあり、粘性なし。
4　炭化物層。
5　2.5YR4/6 赤褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。

SX143 (A-A’)
1　グライ化土。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト質粘土　しまりあり、粘性なし。炭化物(径1～5㎜)5%。焼土ブロック (径 1 ～ 5 ㎜)2%。
3　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト質粘土　しまり・粘性なし。炭化物(径1～10㎜)5%。2 層土 (径 1 ～ 20 ㎜)30%。
4　2.5YR3/3 暗赤褐色　シルト質粘土　しまり・粘性なし。炭化物(径1～10㎜)3%。

第203図　SX141～143焼成遺構

ＳＸ７０焼成遺構（第191図　写真図版147）

底面・壁　床面は掘り方土を均して平坦となっている。壁は外傾して立ち上がり、上部の方が傾斜が緩い。**堆積土**　暗褐色土を主体とする。中央が窪むレンズ状で壁崩落を伴いながら自然に埋没したものと推測される。**焼土・炭化物**　北西部底面直上の焼成面（第１面・７層）と、間に褐色～黄褐色土を挟みほぼ同じ位置の焼成面（第２面･３層）の、２面の焼成面が形成されている。いずれも強く被熱する。第２面焼成面の南側には炭化物層が広がる。**柱穴**　10基検出した。底面に掘られたものに対し壁に作られるピット（pit ６・７）は径が小さい。深さはpit ９・10がそれぞれ66cm、55cmと深く、それ以外は10～20cm程度と浅い。pit10の上面に第１面焼土が形成されており、pit １・２は第１面焼土形成後、第２面焼土形成前に作られており、時期差がある。pit ９の１層は柱痕と見られる。このことから、本遺構では柱材を立て上部構造が設置されていた可能性がある。ただし、底面で検出されたpit群は焼土と近接しており、焼成作業との関係を考慮すると焼失の恐れがある点でやや疑問が残る。

（7）　埋　設　土　器（ＳＸ）

２基の確認である。SX36は縄文晩期、SX46は平安時代の所産。他に遺物集中遺構、包含層中で略完形個体が複数出土しているが、明らかに埋設設置したと認められるもののみ取り上げている。

ＳＸ３６埋設土器（第204図　写真図版160）

検出状況　Ｃ区南端のⅢ層上面で検出した。略完形土器が倒立状態で確認され、埋設痕跡を確認する

ため下部にトレンチを設定、わずかに窪む掘り込みに設置されているものと判断した。**埋設状況**　倒位でほぼ直立状態である。上部にあたる土器下半は検出作業過程で破片が散乱したが接合の結果略完形に復元された。土器内の充填土はⅢ層と同相の暗褐色砂質シルト層で、周囲との差はあまりない。（遺物図版7　写真図版185）

ＳＸ４６埋設土器（第204図　写真図版160）

検出状況　Ｂ区南旧河道内で検出した。検出時は土師器甕口縁部の一部のみだったため、包含層内に含まれる遺物と判断し取り上げ作業を行った。その後口縁部がほぼ全周することがわかりトレンチを入れ出土状況を把握することとした。この時点で、甕の上面に坏(b1231)が正位で入れ子状になって収まっていたが、出土状況記録以前に取り上げたため正確な関連は把握していない。**埋設状況**　掘り方底面に板状礫が敷かれ、その上に土師器甕（b1232）が正位で埋設される。土器は底部が意図的に穿孔されている。礫は土器の中心よりもやや南西にずれているが、土器穿孔部分の下に礫が位置する状態である。**掘り方堆積土**　土器内、掘り方ともに旧河道内のｂ層土を主体として褐色砂が混入する。土器内土壌は締まりが弱い。検出時に坏が上面に乗っていたこともあわせて考えると、掘り方、土器内ともに土壌で充填された状態で埋設されていたものと判断される。**土器内土壌**　埋設の目的を調査するため土器内に充填された土壌約600ccを採取、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託し、土壌内の種実遺体等の洗い出し分析を実施した。その結果は微細な炭化材片が21点採取されるに留まり、周辺土壌に含まれた炭化物の流入と判断された。土器内土壌からは遺構の性格を検討する材料は得られていない。**出土位置**　調査区内に限るが、本遺構より南側では古代の竪穴住居が検出されていない。そのため、集落の南限という位置と何らかの関連があるものと考えられる。（遺物図版124　写真図版275）

（８）性格不明遺構（ＳＸ）

ＳＸ０８性格不明遺構（第204図　写真図版160・161）

SI01・02精査中に炉より南に大きく砂層が広がる範囲が確認され、これを除去したところ本遺構が確認された。当初は土坑ないし住居状の遺構である可能性を考慮して精査を行っている。SI01・02と重複すると思われるが、新旧関係は確認できない。埋土下部は黒褐色～暗褐色土を主体とする。上部は砂層に覆われるが（SI02C-C'参照）、これを本遺構の埋土と考えると住居は砂層上面に形成されていたことになる。含まないとｆ層上面に住居が形成されておりその後砂層によって削平されたものと解釈されるが、いずれかの判断はできなかった。また本遺構自体も底面の凸凹が顕著で、東側の立ち上がりも確認できない。これらの点から見て、本遺構は人為的なものではなく、河川の浸食作用によって生じた窪地の可能性が考えられる。（遺物図版7　写真図版185）

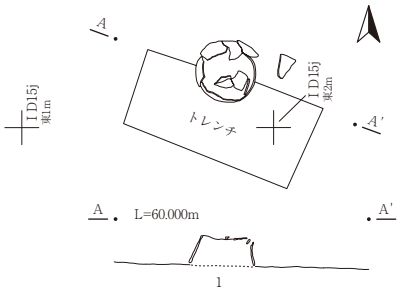
ＳＸ１７円形周溝状遺構（第204図　写真図版161）

Ⅲ層上面で検出した弧状の溝である。東半が調査区外に伸びており全体形状は不明。円弧の一部と見られることから、円形周溝の可能性が高い。溝の断面はＵ字状を呈し、黒褐色シルト層を主体とする土層が堆積する。遺物が多く含まれていること、褐色土ブロックが混在すること等から、人為堆積と考えられる。（遺物図版7･124　写真図版185･275）

ＳＸ５６性格不明遺構（第205図　写真図版161）

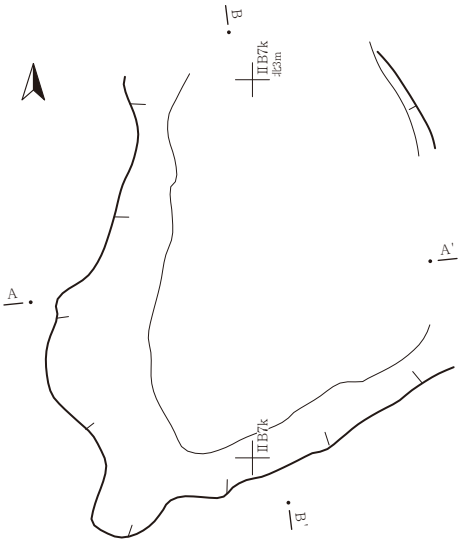
皿形の落ち込みの一部に古代土器片が集中した状態で検出された。遺構上部が相当規模削平によっ

SX36埋設土器

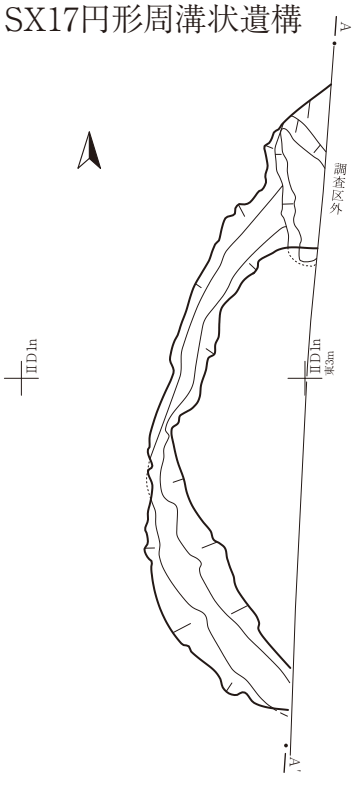


SX36 (A-A’)
1　10YR3/4 暗褐色 砂質シルト
炭化物含む。Ⅲ層の一部？

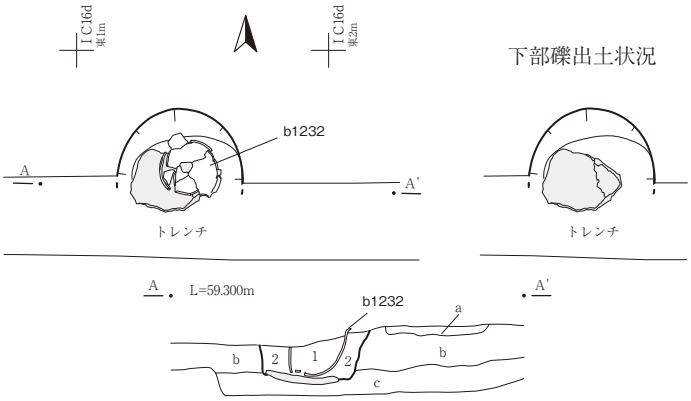
SX08性格不明遺構



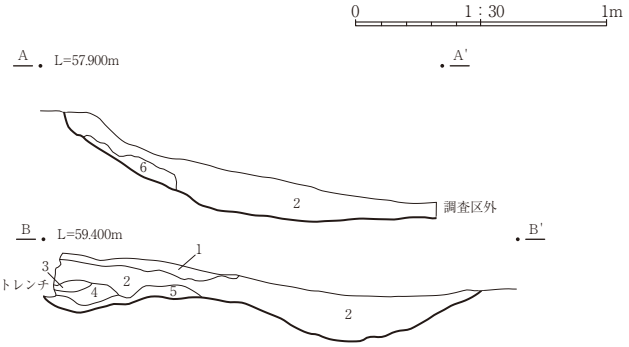
SX17円形周溝状遺構



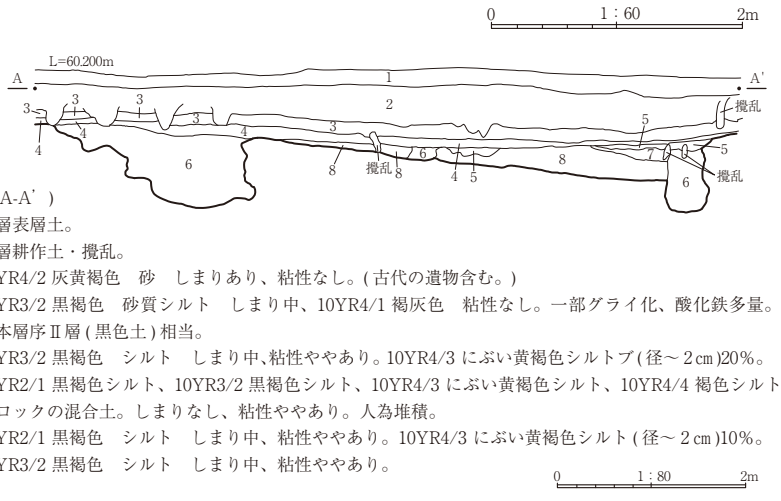
SX46埋設土器



SX46 (A-A’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。２層より粗質。
褐色砂粒全体に微量混。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。Ⅱ層よりしまり弱。
10YR4/4 褐色砂ブロック (径～２㎜) 細かく入る。
a　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　古代の遺物含む
b　10YR2/2 黒褐色　シルト　Ⅱ層相当。
c　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　Ⅱ層相当。



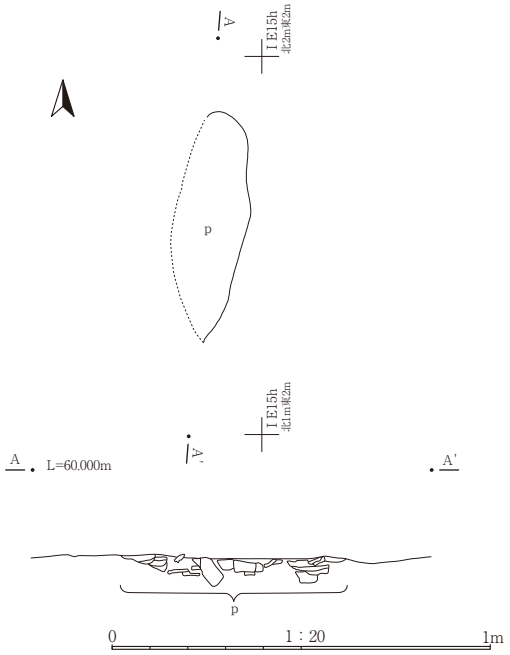
SX08 (A-A’・B-B’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質) しまり・粘性中。黄褐色地山砂質シルトやや多量、大きく斑状に混じる。２層との層界に粗砂、礫分布。
2　１層と同相。下面に粗砂層・礫層はない。
3　10YR3/4 暗褐色　砂層。(SI02C-C’７層起源)
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　黄褐色地山ブロック少量、炭化物極微量。
5　SI02C-C’７層の砂層に黒褐色シルト少量混じる。しまり・粘性ややなし。
6　黄褐色地山シルト層に 10YR3/2 黒褐色シルト少量。しまりややあり、粘性中。



SX 17 (A-A’)
1　Ⅰ層表層土。
2　Ⅰ層耕作土・撹乱。
3　10YR4/2 灰黄褐色　砂　しまりあり、粘性なし。(古代の遺物含む。)
4　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、10YR4/1 褐灰色　粘性なし。一部グライ化、酸化鉄多量。基本層序Ⅱ層 (黒色土) 相当。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルトブ (径～２㎝)20%。
6　10YR2/1 黒褐色シルト、10YR3/2 黒褐色シルト、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト、10YR4/4 褐色シルトブロックの混合土。しまりなし、粘性ややあり。人為堆積。
7　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト (径～２㎝)10%。
8　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。

第204図　SX36･46･08･17

SX56性格不明遺構



SX108性格不明遺構

pitNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
深さ(cm)	26	21	42	14	12	32	53	16	31	61	24	41	26	38	30	11	12	40	24	29

pitNo.	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
深さ(cm)	73	11	50	8	60	13	40	35	15	19	25	69

第205図　SX56·108

て消失しており、本来的な形態がどのようなものであったのかは不明である。落ち込みの内部には黒褐色シルト層が堆積し、土師器坏が集中的に出土している。うちb1233～1236の４点を掲載した。遺構の性格は不明である。（遺物図版123　写真図版275）

ＳＸ１０８性格不明遺構（第205図　写真図版161）

形状　Ｅ区Ⅴ層上面で検出した方形の柱穴列である。約3.5m四方のほぼ正方形に柱穴32基が配列する。柱穴以外には内部の掘り込みや硬化面は確認されていない。柱穴間隔は一定せず10cm未満から50cm以上まで幅がある。また西側で狭く東側で広い。本数も異なり、コーナーの柱穴を含めると南西辺で11基、北西辺で12基、北東辺で６基、南東辺で７基と偏りが見られる。コーナーに位置するpit10・21・32はいずれも60cmを超す深さとなっているが、東コーナーのpit26のみ13cmと浅い。この位置に深さ57cmのP1828があり、若干、柱穴列とずれがあることから本遺構と関連しないと判断したが、これが東コーナーの柱穴に該当したかも知れない。**時期・性格**　柱穴出土遺物がないため遺構の時期は不明とせざるを得ない。ただし、東側にあるSB07建物跡、南側の溝群と軸線が比較的近いことを考慮すると、12世紀後半に位置づけられる可能性がある。遺構の性格は柵列的な施設を想定しているが、上部構造の実態は不明である。

（9）　溝　　跡（ＳＤ）

合計42条を検出、登録した。出土遺物または灰白色火山灰（To-a）が堆積土中に含まれることからSD02・03・27・29の４条は平安時代前半期の溝跡と判断される。SD02・03はＡ区西側に並走し、SD27はＤ区ほぼ中央、SD29はＦ区北端を東西に区切る位置にある。SD30・35～39・42・43・47・51

の10条は出土遺物や方向・位置から12世紀後半頃と推定され、Ｅ区中央付近から北側にまとまっている。SD34は出土遺物から近代以降の可能性が高い。これ以外の27条は古代以降ではあるが詳細な時期は不明である。以下、特筆すべき遺構について記載する。

ＳＤ０２・０３溝跡（第206～208図　写真図版162・163）

検出状況　Ａ区とＢ区の南側で検出した。Ａ・Ｂ区間で調査不能範囲と調査区外に位置する範囲があるが、連続する遺構と判断した。南端は新期落ち込みによって途切れる。、北端はSD02が深さを減じ、SD03が重複するSD19に切られ消失する。**形状**　２条が平行して南北に直線的に伸びる。両者の間隔は５ｍ程度と一定距離を保つ。SD02は南へ向かって低く、差は90㎝程度であるが、途中高くなる地点が２箇所あり（D-D'・F-F'間とA-A'付近）、低い地点との差は35～90㎝ほどある。SD03も南へ向かって低くなり、その差は120㎝程度である。**堆積土**　黒褐色土を主体とし、褐色土ブロックを混入する。SD02の深い部分では埋土中部に褐色土ブロックを多く含む層が堆積する。**遺構の性格**　両者とも南側の落ち込みへ向かって低くなっているため、排水機能を備えていたものと推測されるが、SD02は意図的に深浅があり、何らかの用途があったものと考えられる。両溝が一定幅で平行していることから道路側溝の可能性もあるが、確実な根拠はない。（遺物図版7･124･136･192　写真図版185･275）

ＳＤ２２溝跡（第213図　写真図版167）

検出状況　Ⅲ層上面で検出した。**形状**　北西から南東方向へほぼ直線的に伸びる。西側は調査区外へ続く。東側も更に延びていたと考えられるが、検出されなかった。長さは27ｍ以上、幅は22～126㎝を測る。**堆積土**　灰黄褐色粘土主体である。最下部には砂を多量に含む。水成の自然堆積と考えられる。**遺物出土状況**　古代土器が233ｇ、縄文土器が138ｇ出土し、堆積土中から出土したb1253・b1254を掲載した。（遺物図版124　写真図版275）

ＳＤ２７溝跡（第214図　写真図版168）

検出状況　Ⅳ層上面で検出したが、調査区境の断面観察ではⅢ層上面から掘り込まれている。**形状**　西北西から東南東方向へほぼ直線的に伸びる。東西両端は調査区外へ続き総延長は不明である。調査区内では長さ41.4m、幅は最大3.4m、深さは最大1.9mに達する。**底面・壁**　底面は比較的平坦で東側に低い傾斜を持つ。**堆積土**　暗褐色シルトを主体として、下部には主に北側から崩落したと見られる黄褐色粘土ブロックが互層状に含まれる。**遺物出土状況**　古代土器、縄文～弥生土器ともに多量に出土している。特に後者が合計43kg以上と際だって多くなるのは、Ｄ区包含層を掘り込んで溝が掘られたこと、また両岸に残る包含層から転落した遺物が多いことに起因すると考えられる。（遺物図版7･124･152･177･192　写真図版185･275）

ＳＤ３０溝跡（第215図　写真図版169）

形状　東端に楕円形の一段深くなる範囲を持つ。調査当初は別の土坑が重複していると判断したがD-D'断面で新旧を確認できず、そのため土坑が新しい可能性を考えD-D'からC-C'断面へ北半を掘り下げところ、溝と堆積土が連続していることが判明した。土坑部分と溝とは別個の遺構ではなく、溝の施設の一部で水溜のような役割を果たしたものと推定される。**出土遺物**　常滑の甕胴部片が２点（c7・8）出土しているのが注目される。（遺物図版7･125･126　写真図版185･275･276）

ＳＤ３５～３９・４２・４３溝跡群（第217～218図　写真図版171・172）

検出時に複数条の重複が確認できたため、重複していると想定される箇所にトレンチを入れ新旧関係を把握してから全体を掘り下げていった。その結果大きく４時期に分かれることが判明した。古い時期から、①ＳＤ３９　→　②ＳＤ３６　→　③ＳＤ３５・３７・４３　→　④ＳＤ３８・４２と新しい時期へ移行するものと判断される。各時期の溝の位置は概ね平行しており、深さも全時期を通して若干の差はあるが大きく変化しないため、ほぼ同位置で作り替えられたものと推測される。

ＳＤ３９溝跡（①）

溝群の中で最も古い。Ｃ字状を呈する。北東部のSD37との合流部がSD38に切られ、両者が同一遺構か、時期差があるのか当初は不明瞭であった。また、双方の堆積土は合流部付近では非常に類似していたが、断面E-E'部分の観察により同一遺構ではなくSD39が古い新旧関係にあることを確認した。堆積土はレンズ状に窪み、地山ブロックの混入量が少ないことから、人為的な堆積の様相とは捉えられない。旧河道と接する西側はグライ化し酸化鉄が集積する。溝に囲まれた空間内西側には柱穴が存在するが、溝調査後に確認したため新旧関係は不明である。

ＳＤ３６溝跡（②）

Ｌ字状を呈する。①のSD39の北東、一回り外側に位置する。堆積土はレンズ状に窪み、地山ブロックの混入量が少ないことからSD36と同様に人為堆積とは捉えられない。①の時期の溝は北東部、②は南側と西側で突然途切れるが、これは新期溝に作り替えられている可能性がある。

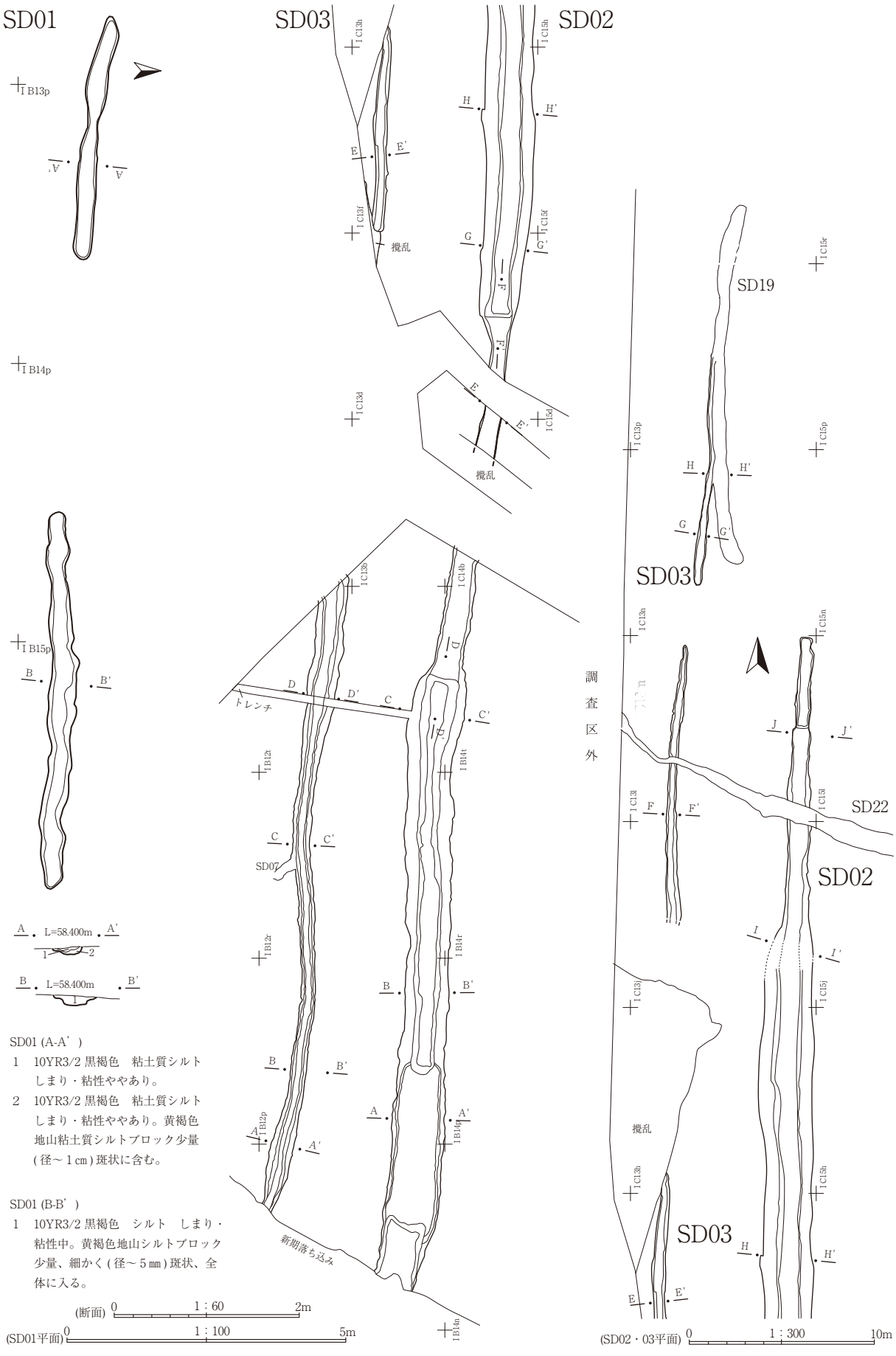
ＳＤ３５・３７・４３溝跡（③）

SD35は東西、その他２条は南北に走る。SD35と37は、断面観察により同時期と判断される。SD43は②の溝より新しく④の溝より古いため、この時期とした。SD37と43の間が分断されているが、本来は繋がっていて④の時期の溝に作り替えられたものと推定される。SD35の西側は深さを減じて消失しているものの、わずかに北へ向かって屈曲しており、SD39の外側を巡っていた可能性がある。また南西部の底面中央が一段下がっている部分は、断面観察（D-D'）の結果、溝全体と同時に埋没しているためSD35としたが、②SD36の時期の底面痕跡で、そのまま③の時期にも利用されていたとも考えられる。SD43の北端も深さを減じて消失する。この延長線上がSD51の西側の延長上と直交するため、これらの溝によって区画されていた可能性がある。区画内にはSB07～10の掘立柱建物跡を含む、多くの柱穴群が分布する。堆積土はSD35の東側が地山ブロックの混入量・粒径が大きく、溝群の中では最も人為的な要素が強い堆積状況である。

ＳＤ３８・４２溝跡（④）

溝群の中で最も新しい時期である。東西方向に走り、西側でクランク状に屈曲し、西端は旧河道内で深さを減じて消失する。SD38と42の間には３ｍ程度空間があり、ここに土橋が設置されていた可能性がある。

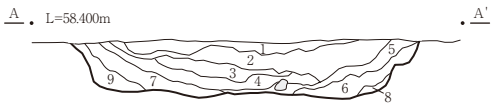
SD35～39・42・43溝跡群内からは12世紀後半のかわらけ、12世紀後半以降の陶器が出土しているため（SD35・38・42・43、c9～18）、該期の遺構と推測される。SD30・51でも同様の遺物が出土しているため同時期の遺構と判断され、これらの溝群の間にある掘立柱建物跡・柱穴群を囲う、区画溝としての役割を果たしているものと考えられる。また同じ時期の遺物の出土しているSK133・134・138・141土壙群や、遺物の出土はないものの溝方向・規模が類似するSD47、軸方位が類似するSX108なども含めて、一連の遺構群である可能性が高い。（遺物図版126･152　写真図版277）



SD01 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルトしまり・粘性ややあり。
2　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルトしまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量(径～1㎝)斑状に含む。

SD01 (B-B’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山シルトブロック少量、細かく(径～5㎜)斑状、全体に入る。

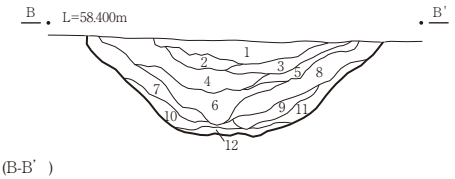
第206図　SD01～03溝跡



SD02 (A-A’)

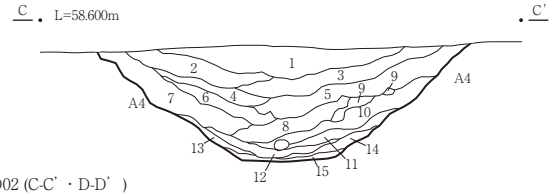
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。主体土少量、10YR3/2 黒褐色シルト大量、黄褐色地山砂質シルトやや多量、全体に混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルト全体に多量、こなれて混じる。
3　10YR4/4 褐色地山粘土質シルト～砂質シルト多量、10YR3/3 暗褐色シルト細かく少量 (径～ 5 ㎜)。しまりあり・粘性ややあり。
4　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山砂質シルト細かく (径～ 5 ㎜) 少量。
5　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性あり。黄褐色地山砂質シルト細かく (径 2 ～ 3 ㎜) 微量、酸化鉄混じる。灰色味あり。
6　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山砂質シルト少量 (径～ 1 ㎝) やや斑状に混じる。
7　6 層に似るが黄褐色地山砂質シルトブロックの粒径が小さくなる (径 2 ～ 3 ㎜)。遺物多く含む層。
8　10YR4/4 褐色粘土質シルトブロックやや多量、10YR3/2 黒褐色粘土質シルトブロック少量細かく (径～ 5 ㎜) 入る。しまり・粘性ややあり。
9　10YR4/4 褐色粘土質シルトブロック大量、10YR3/2 黒褐色粘土質シルトブロック少量、シミ状に入る。

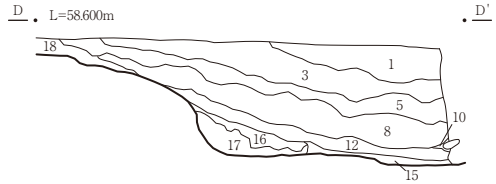
※壁は地山砂質シルト層で埋土 9 層には地山粘土質シルトが入る。



SD02 (B-B’)

1　A-A’ 1 層に似る。やや黄褐色地山ブロック多いか。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、全体に細かく混じる (径～ 5 ㎜)。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック多量、全体に細かく混じる (径～ 5 ㎜)。
4　10YR4/4 褐色黄褐色地山粘土質シルトブロックに 10YR3/2 黒褐色シルトやや多量、比較的細かく混じる (径～ 1 ㎝)。しまり・粘性ややあり。
5　3 層に混じり方似るが黄褐色地山粘土質シルト大量、10YR3/2 黒褐色多量。
6　黄褐色地山シルトと黄褐色地山粘土質シルトに 10YR3/1 黒褐色シルト大きくブロックで少量混じる。しまり・粘性ややあり。
7　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック全体に斑状に混じる (径 1 ～ 2 ㎝)。
8　7 層に似る。
9　4 層に似る。
10　10YR3/2 黒褐色 (やや灰色味)　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、細かく混じる (径～ 5 ㎜)。
11　10 層に似るがやや黄褐色地山ブロック多い。
12　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。黄褐色地山シルトブロック少量、全体に細かく入る (径～ 2 ㎜)。

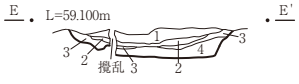




SD02 (C-C’・D-D’)

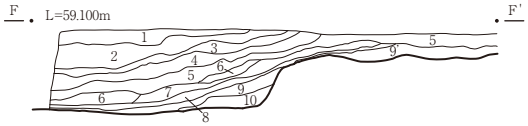
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック少量、細かく全体に含む (径～ 1 ㎜)、白色粒子も全体にあり。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、やや細かく全体 (径～ 5 ㎜)、炭化物極微量。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山ブロック少量、斑状に含む (径～ 1 ㎝)。
4　2 層に似るが炭化物なし。
5　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、全体に斑状 (径～ 3 ㎝)。
6　黄褐色地山ブロック大量に 10YR3/2 黒褐色シルトブロック少量全体に混じる (径～ 1 ㎝)。
7　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、上部に比べるとこなれた感じ。
8　黄褐色地山粘土質シルトブロックに 10YR3/2 黒褐色シルトブロックやや多量、しまり中、粘性あり。
9　落ち込み A 4 層崩落層。
10　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロックやや多量、全体に含む (径～ 1 ㎝)。
11　黄褐色地山粘土質シルト層に 10YR3/2 黒褐色シルト微量、こなれて混じる。しまり中、粘性ややあり。下面に酸化鉄集中。
12　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。上面と下面に酸化鉄集中。
13　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまりややなし、粘性ややあり。やや灰色味強い。黄褐色地山ブロック少量細かく混じる (径～ 1 ㎜)。
14　13 層に似る。
15　10YR4/3 にぶい黄褐色　黄褐色地山粘土質シルトに 10YR3/2 黒褐色シルト細かく全体に混じる (径 1 ～ 2 ㎜)。
16　10YR3/2 黒褐色シルト少量、黄褐色地山砂質シルト大量。しまりややあり、粘性ややなし。
17　10YR2/2 黒褐色　シルト (やや砂質)　しまり・粘性中。黄褐色地山ブロックやや多量、ややこなれて混じる (径～ 1 ㎝)。黒味強い層。
18　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック少量、細かく (径～ 1 ㎝) 斑状に入る。

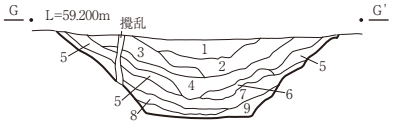
※北端の浅い部分の埋土は 18 層。



SD02 (E-E’)

1　10YR2/3 黒褐色　シルト　褐色の地山砂粒子微量。しまり・粘性中。下層は砂っぽい。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト、10YR4/2 灰黄褐色　シルト筋状に入る (水性)。しまりややあり、粘性中。グライ化。酸化鉄集中。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。地山砂粒～少ブロック。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　褐色土地山ブロック。

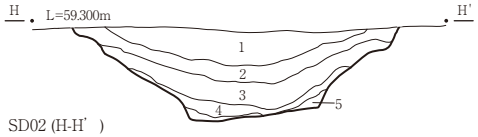




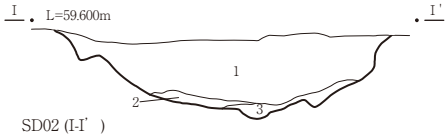
(断面) 0　1：60　2m

第207図　SD02溝跡

SD02 (F-F'・G-G')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂微量 (径～ 1 ㎜)。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色砂と粘土質シルト中量、斑状に混じる (径～ 1 ㎝)。
3　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂含む (径 1 ～ 2 ㎝)。
4　2 層と同じ。
5　3 層に似るが、混入物が 10YR4/4 褐色 粘土質シルト。
6　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR3/3 暗褐色粘土質シルト微量。
7　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト極微量。
8　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト極微量。層全体がグライ化し、上面に酸化鉄集積する。
9　10YR4/4 褐色　粘土質シルト大量と、10YR3/4 暗褐色　粘土質シルトやや多量の混合土しまり・粘性ややあり。
9'　9 層に似るが、底面を掘り返しそのまま埋めたような土が斑状に大きく入る。
10　10YR4/4 褐色粘土質シルト少量と、10YR3/4 暗褐色シルト大量、10YR3/2 黒褐色シルト少量の混合土、細かく混じる。

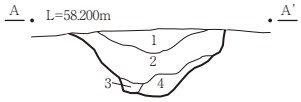


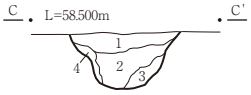
SD02 (H-H')
1　G-G' の 1 層と同じ。
2　G-G' の 2・4 層と同じ。やや地山ブロック少ない。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色砂と粘土少量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
4　G-G' の 8 層と同じ。
5　10YR2/3 黒褐色　シルトやや多量と、10YR4/4 褐色　粘土質シルト大量が細かく混じる (径 2 ～ 3 ㎜)。



SD02 (I-I')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。
2　10YR4/2 灰黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 30%(全体に)。

SD02 (J-J')
1　10YR4/4 褐色　粘土　しまりあり、粘性あり。
2　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト (径～ 2 ㎝)20%。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土　しまりあり、粘性あり。10YR2/2 黒褐色シルト (径～ 1 ㎝)5%。

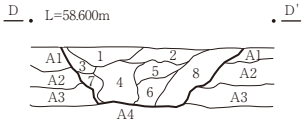


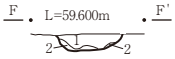


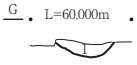
SD03 (A-A')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり･粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック微量 (径～ 1 ㎜)。炭化物極微量
2　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック・炭化物極微量 (径～ 1 ㎜)。
3　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック微量、細かく全体に入る (径～ 1 ㎜)。
4　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック少量全体にやや多量 (径～ 5 ㎜)。

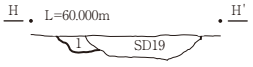
SD03 (B-B')
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック (径～ 1 ㎜) 微量、炭化物極微量 (径～ 1 ㎜)。
2　1 層に似るが黄褐色地山ブロック極微量。
3　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロックやや多量。全体に斑状に入る (径～ 3 ㎝)。

SD03 (C-C')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径～ 1 ㎜) 微量。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径～ 1 ㎝) 少量。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径 2 ～ 3 ㎜) やや多量。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山シルトブロック (径～ 1 ㎝) 多量。









SD03 (D-D')
1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　A 1 層に似るがやや黒味強い。しまりも A 1 層よりしまる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。黄褐色地山シルト細かく (径 2 ～ 3 ㎜) 少量、全体に混じる。
3　2 層に似る。
4　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。黄褐色地山シルトブロック少量 (径～ 2 ㎝)
5　2 層に似るが､10YR2/2 黒褐色シルトブロック少量含む。黄褐色地山ブロックの混入量はやや多量。
6　10YR2/2 黒褐色シルトを含まない 5 層。
7　A2 層崩落層。土質も良く似る。しまりややなし、粘性ややあり。
8　A2 層の崩落層だがやや A1 層混じる。砂質　しまり・粘性あり。

SD03 (E-E')
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～ 2 ㎜) 極微量。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径 2 ～ 3 ㎜) 少量。
3　10YR4/4 褐色　粘土質シルト大量、10YR2/3 黒褐色　シルト微量。

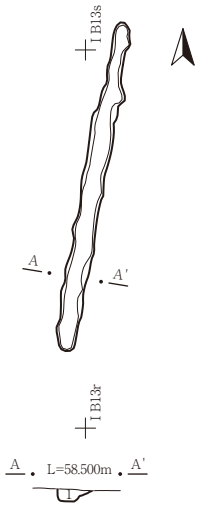
SD03 (F-F')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルトブロック (径～ 1 ㎝)5%。
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト、10YR3/1 黒褐色シルトブロック (径～ 2 ㎝)20%。

SD03・19 (G-G'・H-H')
1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト少量。

(断面) 0　1：60　2m

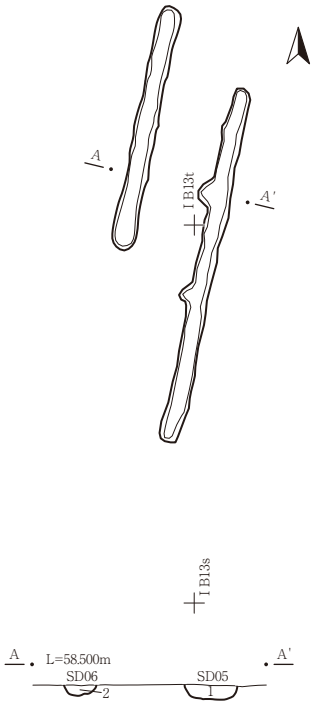
第208図　SD02･03溝跡

SD04



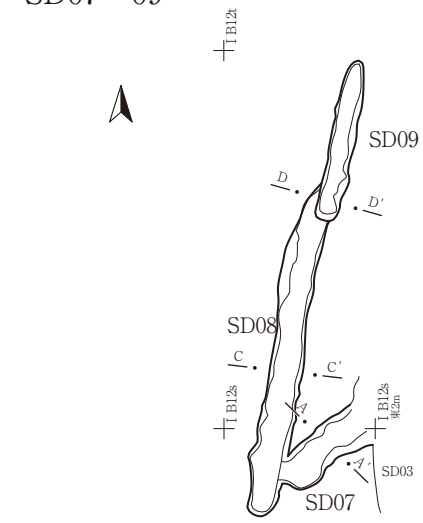
SD04 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量、こなれて混じる。

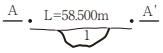
SD05・06



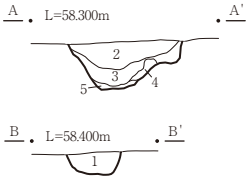
SD05・06 (A-A’)
1　10YR4/2 灰黄褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR2/2 黒褐色シルト (落ち込み A 埋土起源) 微量 (径～ 5 ㎜)。
2　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量含む。

SD07～09



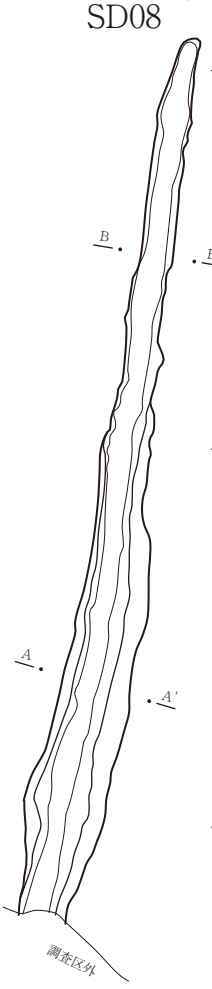


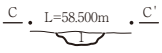
SD07 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック微量、こなれて混じる。



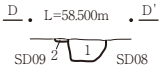
SD08 (A-A’・B-B’)
1　10YR2/3 黒褐色 (やや 10YR3/3 暗褐色より) シルト　しまり中、粘性ややなし。黄褐色地山砂質シルトブロック少量、細かく (径～ 2 ㎜) 全体に入る。
2　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山シルトブロック微量、細かく入る (径～ 2 ㎜)。
3　1 層と似るが、粘性 1 層よりあり。
4　10YR4/6 褐色　黄褐色地山シルト～砂質シルトの崩落層。しまり・粘性中。
5　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややなし。黄褐色地山砂質シルトブロック多量。
※ 1 層と 3 層は同一層、地山砂・シルトの混入量の違いで粘性が異なる。

SD08

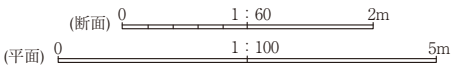




SD08 (C-C’)
1　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量、こなれて混じる。(SD04 の 1 層に似る)

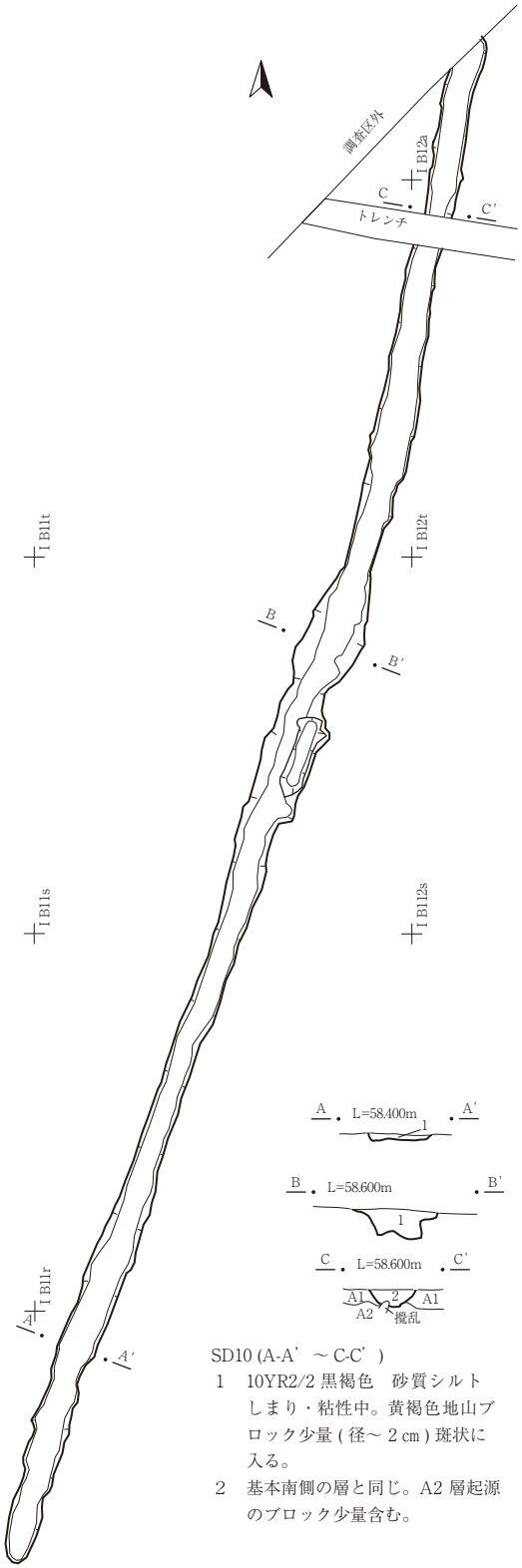


SD08・09 (D-D’)
1　10YR3/2 黒褐色 (やや 10YR4/2 灰黄褐色に近い) 砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。黄褐色地山粘土質シルトブロック微量 (径～ 1 ㎝)
2　10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック多量。



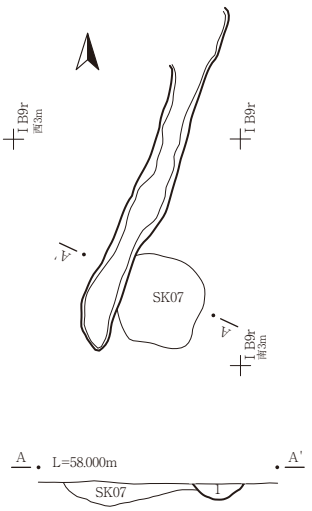
第209図　SD04～09溝跡

SD10



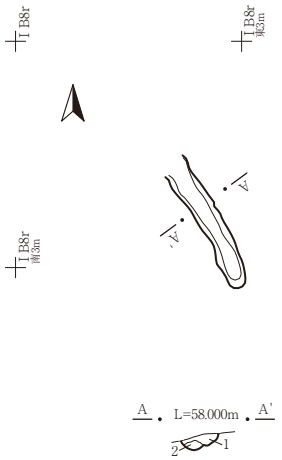
SD10 (A-A’～C-C’)
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山ブロック少量 (径～ 2 ㎝) 斑状に入る。
2　基本南側の層と同じ。A2 層起源のブロック少量含む。

SD11



SD11 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。黄褐色地山シルトブロック少量混じる。

SD12

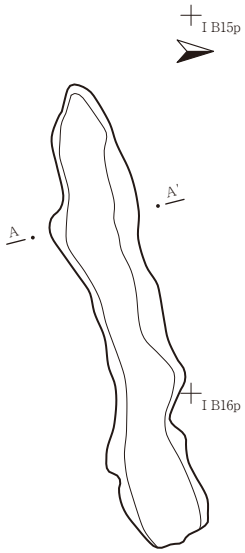


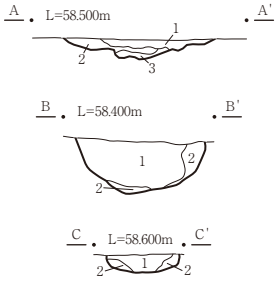
SD12 (A-A’)
1　10YR2/2 黒褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山ブロック微量。
2　黄褐色地山粘土質シルトブロック大量、10YR3/2 黒褐色粘土質シルト少量。しまり・粘性ややあり。

(断面) 0　1：60　2m
(平面) 0　1：100　5m

第210図　SD10～12溝跡

SD13

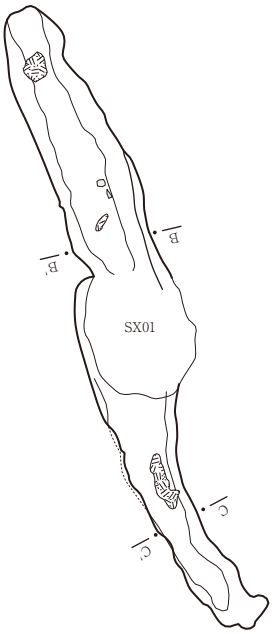




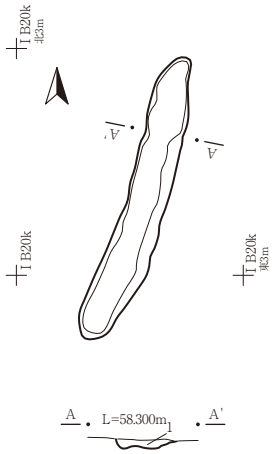
SD13 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック極微量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック少量 (径 ～ 5 ㎜)、炭化物少量 (径 1 ～ 2 ㎜)。
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。黄褐色地山粘土質シルトブロック微量 (径 ～ 5 ㎜)、炭化物少量 (径 1 ㎜～ 1 ㎝)。
※底面に炭化物散在、3 層には部分的に焼土ブロック入る。底面は起伏あり中心部が細く深くなる。

SD13 (B-B’)
1　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり炭化物 (粒)5 ～ 7%。
2　10YR4/6 褐色　粘土質シルト　しまりあり、粘性ややあり。1 層ブロック 7 ～ 10%。

SD13 (C-C’)
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり (乾燥)、粘性中。炭化物 (粒)3 ～ 5%(径 3 ～ 5 ㎜)。

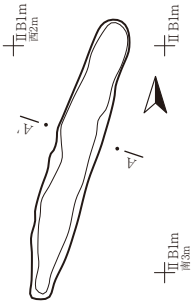


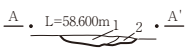
SD14



SD14 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルトしまりややない、粘性なし。黄褐色粘土ブロック 20%、炭化物 5%含む。

SD15



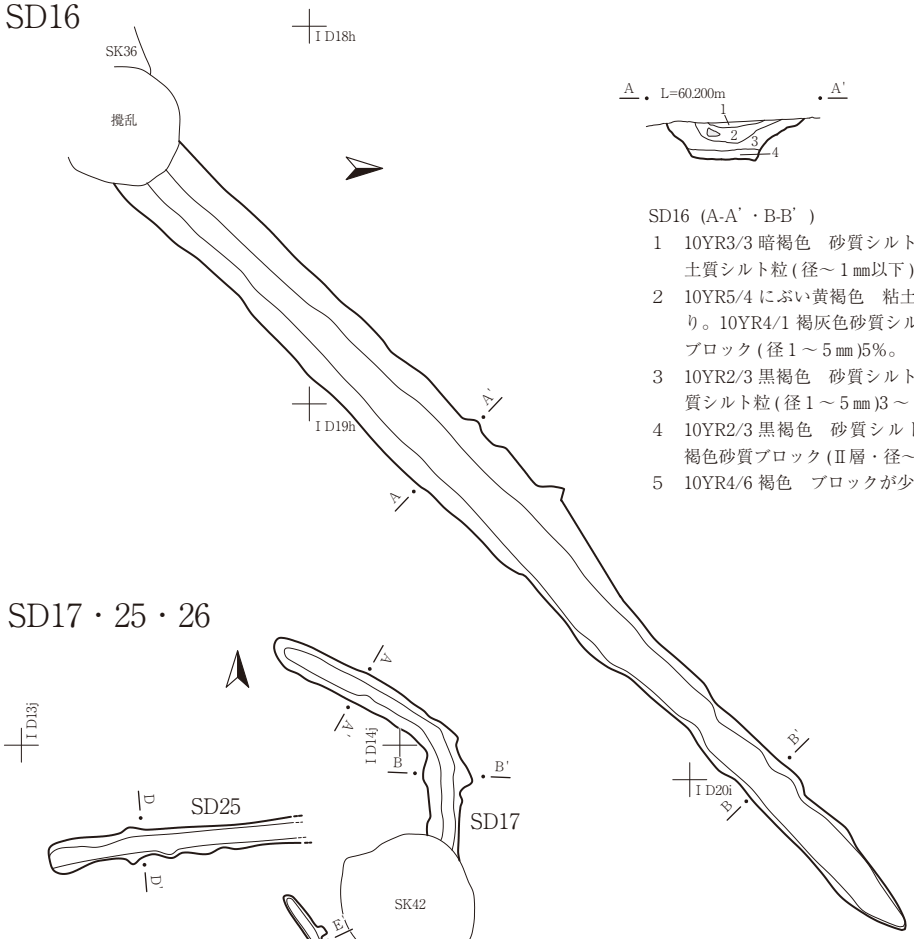


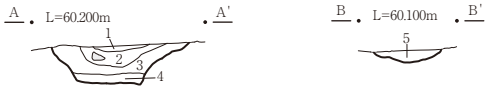
SD15 (A-A’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルトしまりあり、粘性なし。黄褐色粘土ブロック 10%、炭化物 1%。
2　10YR3/3 暗褐色　シルトしまりあり、粘性ややあり。黄褐色粘土ブロック 40%、炭化物 1%。

(断面) 0　1 : 60　2m
(平面) 0　1 : 100　5m

第211図　SD13～15溝跡

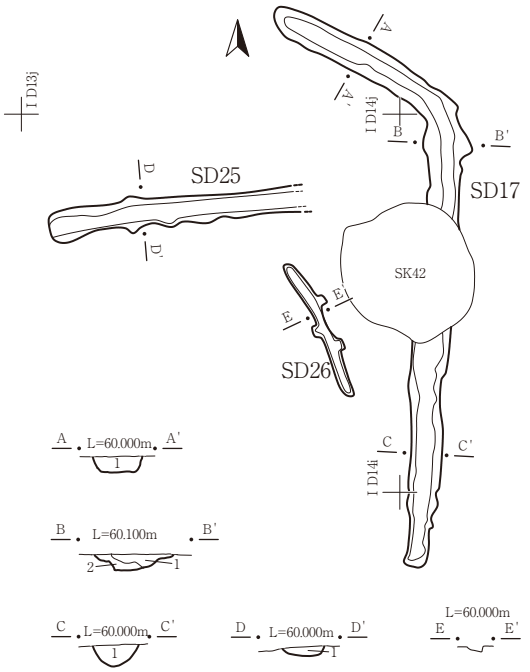
SD16





SD16（A-A'・B-B'）
1　10YR3/3 暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。2 層の粘土質シルト粒（径～ 1 ㎜以下）3 ～ 5%。
2　10YR5/4 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/1 褐灰色砂質シルト・5YR4/8 赤褐色砂質シルトブロック（径 1 ～ 5 ㎜）5%。
3　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。2 層の砂質シルト粒（径 1 ～ 5 ㎜）3 ～ 5%。
4　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。10YR4/6 褐色砂質ブロック（Ⅱ層・径～ 5 ㎜）10 ～ 15%。
5　10YR4/6 褐色　ブロックが少ない（3 層か？）。

SD17・25・26



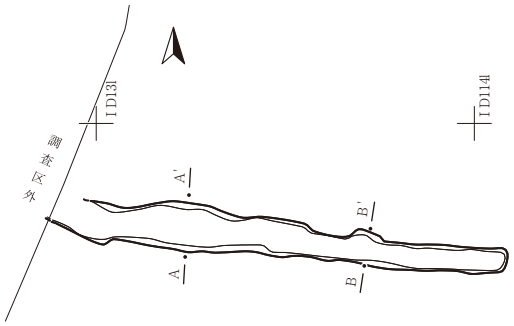
SD17（A-A'）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色シルトブロック（径 1 ～ 5 ㎜）7%。

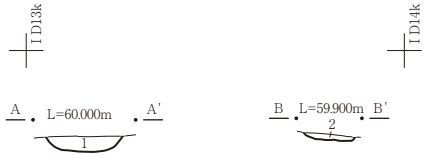
SD17（B-B'）
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色シルトブロック（径 1 ～ 5 ㎜）7%、炭化物ブロック（径～ 1 ㎜）1%。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト、10YR5/6 黄褐色シルトブロック（径 5 ～ 10 ㎜）7%。

SD17（C-C'）
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。下半褐色砂 20%。

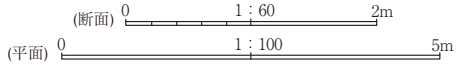
SD25（D-D'）
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり・粘性なし。

SD18



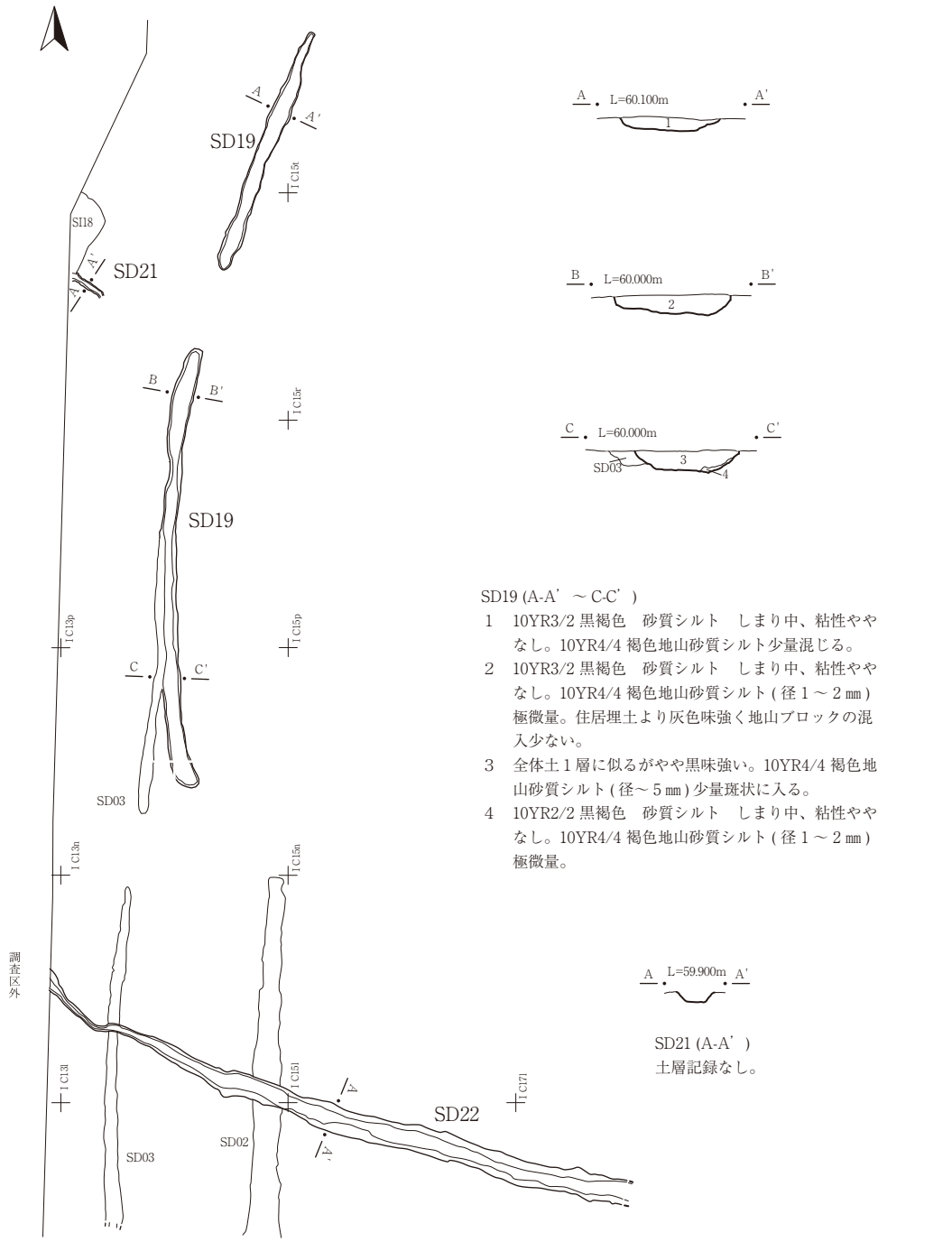


SD18（A-A'・B-B'）
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色砂質シルト　地山ブロック（径～ 1 ㎝）・炭（径～ 1 ㎜）極微量。
2　1 層より 10YR4/4 褐色　砂質シルト　地山ブロック大きく入る、炭は含まない。



第212図　SD16～18･25･26溝跡

SD19・21・22



SD19 (A-A’～C-C’)

1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト少量混じる。

2　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。住居埋土より灰色味強く地山ブロックの混入少ない。

3　全体土 1 層に似るがやや黒味強い。10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径～ 5 ㎜) 少量斑状に入る。

4　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR4/4 褐色地山砂質シルト (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。

SD21 (A-A’)

土層記録なし。

SD22 (A-A’)

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。

2　10YR4/2 灰黄褐色　粘土　しまり中、粘性あり。10YR4/4 褐色粘土ブロック (径～ 1 ㎝)5%。上面グライ化。

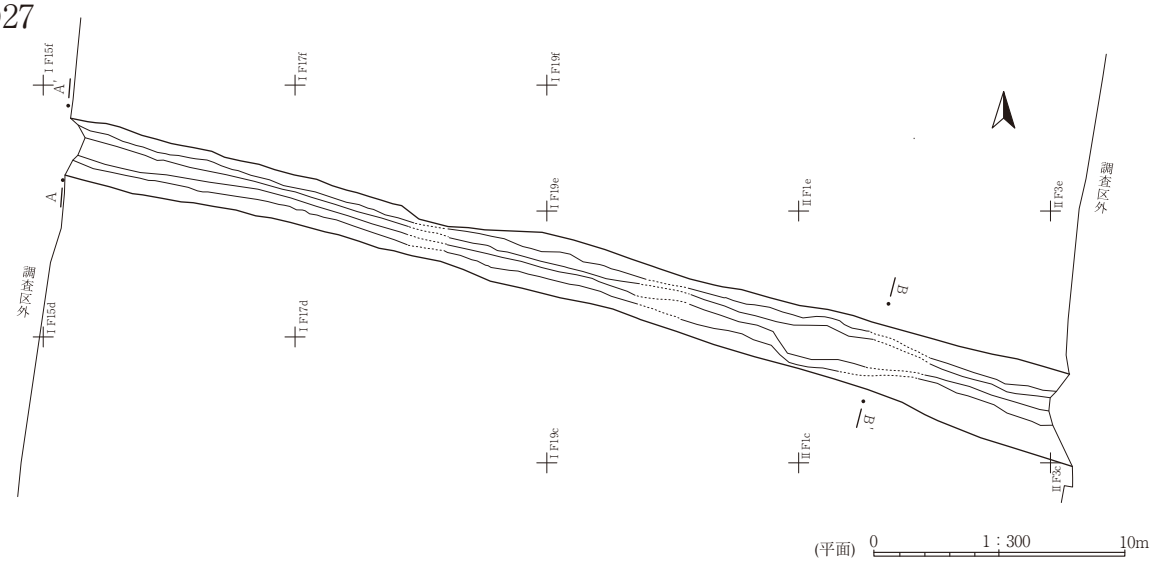
3　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂 30%(全体に混じる)。

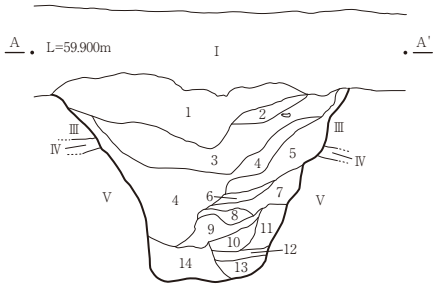
(断面) 0　1：60　2m

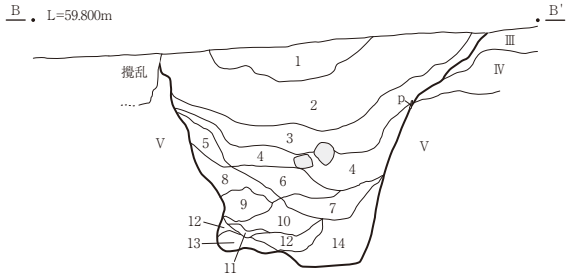
(平面) 0　1：300　10m

第213図　SD19･21･22溝跡

SD27







SD27 (A-A’)

Ⅰ　10YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。小礫 (径 5 ㎝) 微量。10YR8/3 浅橙色 (径 1 ㎜弱) 微量。

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR8/3 浅橙色砂 (径 1 ㎜弱) 微量。３層との層境にグライ化有。

2　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性ややなし。10YR3/3 暗褐色土 (３層由来) 斑状に少量。10YR8/3 浅橙色砂 (径 1 ㎜弱) 少量。

3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/4 褐色土斑状微量。中央下面にグライ化有。

4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性中。炭化物粒 (径 3 ㎜) 少量。南側にグライ化有。暗褐色土微量 (5 層由来)。

5　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまり中、粘性ややなし。10YR8/3 浅橙色火山灰 (径 3 ㎜弱) 微量。

6　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト質砂　しまりあり、粘性ややなし。10YR6/4 にぶい黄橙色火山灰ブロック (径 10 ㎝弱) 少量。

7　10YR3/4 暗褐色　砂質シルト　しまりややあり、粘性中。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝弱) 微量。※11 層地山土由来。

8　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ～ 3 ㎝)15%。下面にグライ化有。

9　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝強) 少量。

10　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝) 微量。

11　10YR4/4 褐色　粘土　しまり･粘性ややあり。10YR3/4 暗褐色土少量。(7 層由来)

12　10YR3/4 暗褐色　粘土　しまりややなし、粘性あり。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 1 ㎝) 微量。

13　10YR3/4 暗褐色　粘土　しまり・粘性ややあり。10YR5/6 黄褐色土ブロック (径 5 ㎝) 少量。下面にグライ化有。

14　10YR4/4 褐色　粘土　しまりややなし、粘性あり。10YR3/4 暗褐色土ブロック (径 5 ㎝) 微量。

SD27 (B-B’)

1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。２層土 (10YR3/3 暗褐色) ブロック 5%。

2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり､粘性中。小礫 (径 3㎝) 1%。10YR6/6 明黄褐色ブロック (径 20 ㎜)5%。下面グライ化。

3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR6/6 明黄褐色土 (径 1 ㎝)10%。下面グライ化。

4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR6/6 明黄褐色土 (径 1 ㎝)3%。下面グライ化。

5　10YR6/6 明黄褐　砂シルト　しまりややあり、粘性ややなし。４層土 3%。崩落したⅢ層土である。

6　10YR5/6 黄褐色　砂シルト　しまりややあり、粘性ややなし。10YR2/1 黒色土帯状に 10%。

7　2.5Y3/1 黒褐色　砂シルト　しまりあり、粘性ややなし。グライ化した土。

8　2.5Y2/1 黒色　砂シルト　しまり中､粘性ややなし。炭化物粒 (径 1 ㎝)15%。崩落したⅣ層土。

9　10YR4/2 灰黄褐色　砂シルト　しまり中、粘性ややなし。炭化物 (径 1 ㎝)3%。崩落したⅤ層土である。

10　10YR5/8 黄褐色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR3/2 黒褐色土 10%。

11　2.5Y2/1 黒色　シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR5/8 黄褐色土 3%(10 層由来)。

12　10YR4/6 褐色　シルト　しまりややなし、粘性中。10YR3/1 黒褐色土 10%。

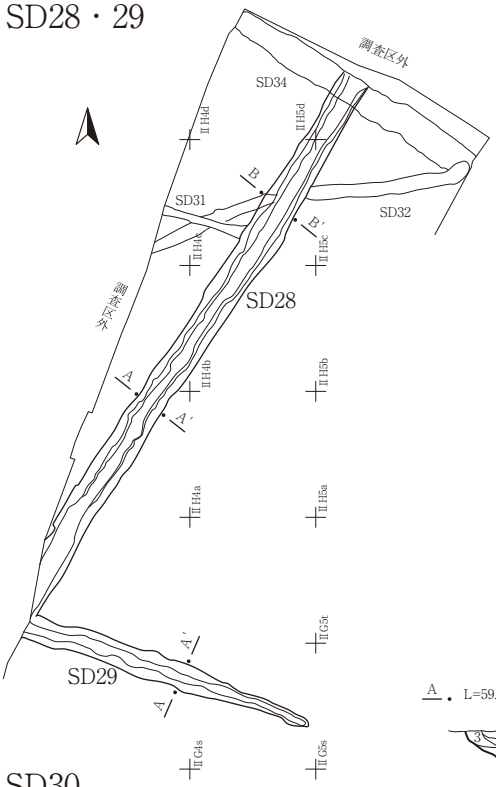
13　10YR5/6 黄褐色　粘土質シルト　しまりややなし、粘性ややあり。10YR3/1 黒褐色土 5%。

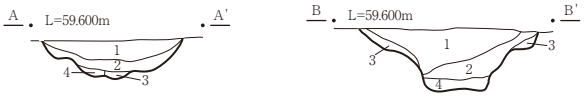
14　10YR5/8 黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性ややあり。混入なし。

(断面) 0 1：60 2m

第214図　SD27溝跡

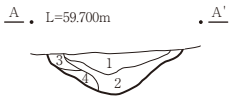
SD28・29





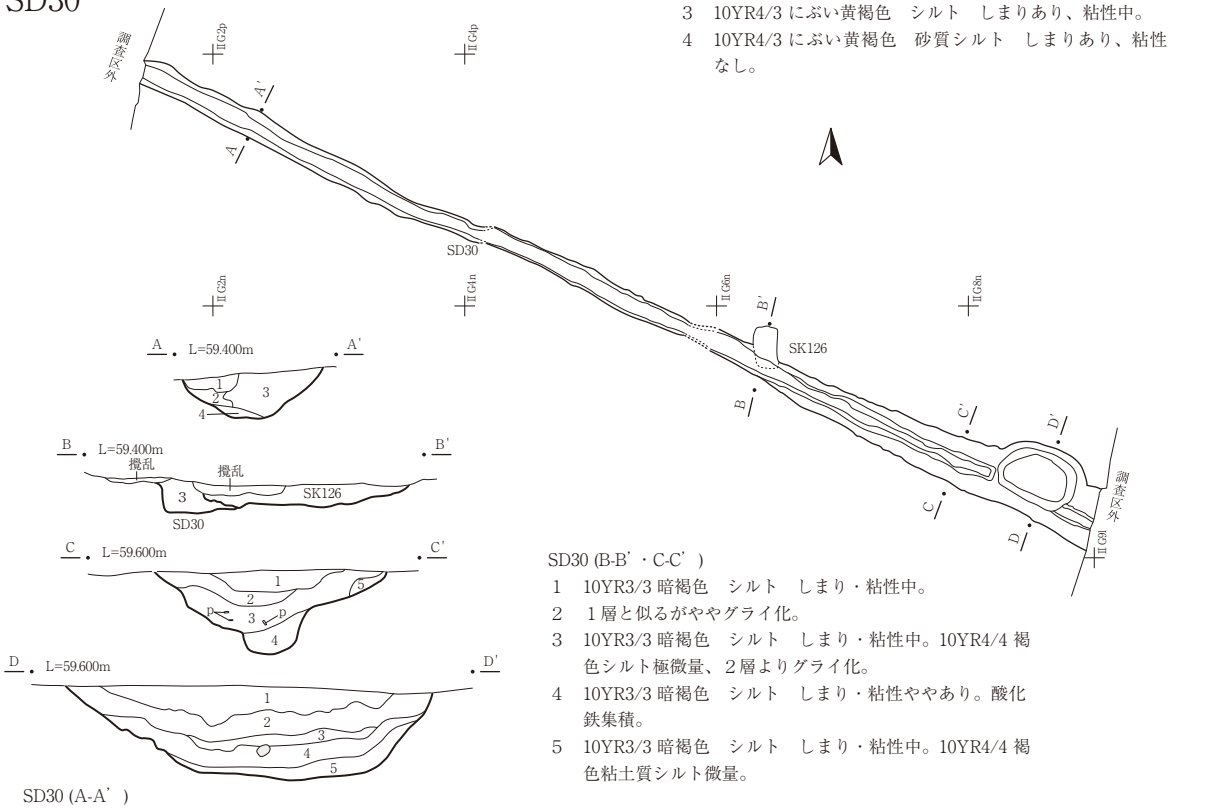
SD28 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりあり、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト粒 (径 5 ～ 7 ㎜)3 ～ 5%、径 5 ㎜の炭化物粒 1%以下含む。
2　10YR3/3 暗褐色シルト 70%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 30%混合土層。しまりあり、粘性中。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。10YR3/3 暗褐色シルト 10 ～ 15%混合。

SD28 (B-B’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 1 ～ 2%含む。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭化物粒 (径 5 ㎜)1%以下含む。
3　10YR3/3 暗褐色シルト 60%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 40%混合。しまりややなし、粘性中。
4　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色シルト 3 ～ 5%含む。



SD29 (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。炭化物粒 (径 2 ～ 3 ㎜)1%含む。10YR8/2 灰白色火山灰？ 2 ～ 3%含む。
2　10YR4/4 褐色　シルト　しまりあり、粘性ややなし。
3　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりあり、粘性中。
4　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂質シルト　しまりあり、粘性なし。

SD30



SD30 (A-A’)
1　10YR4/1 褐灰色　粘土質シルト　しまり・粘性中。酸化鉄多量含む。
2　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまり・粘性中。酸化鉄多量含む。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。10YR4/4 褐色土粒 (径 10 ～ 15 ㎜)1 ～ 2%含む。
4　10YR4/4 褐色シルト 40%、10YR3/4 暗褐色シルト 60%混合。しまり中、粘性ややあり。

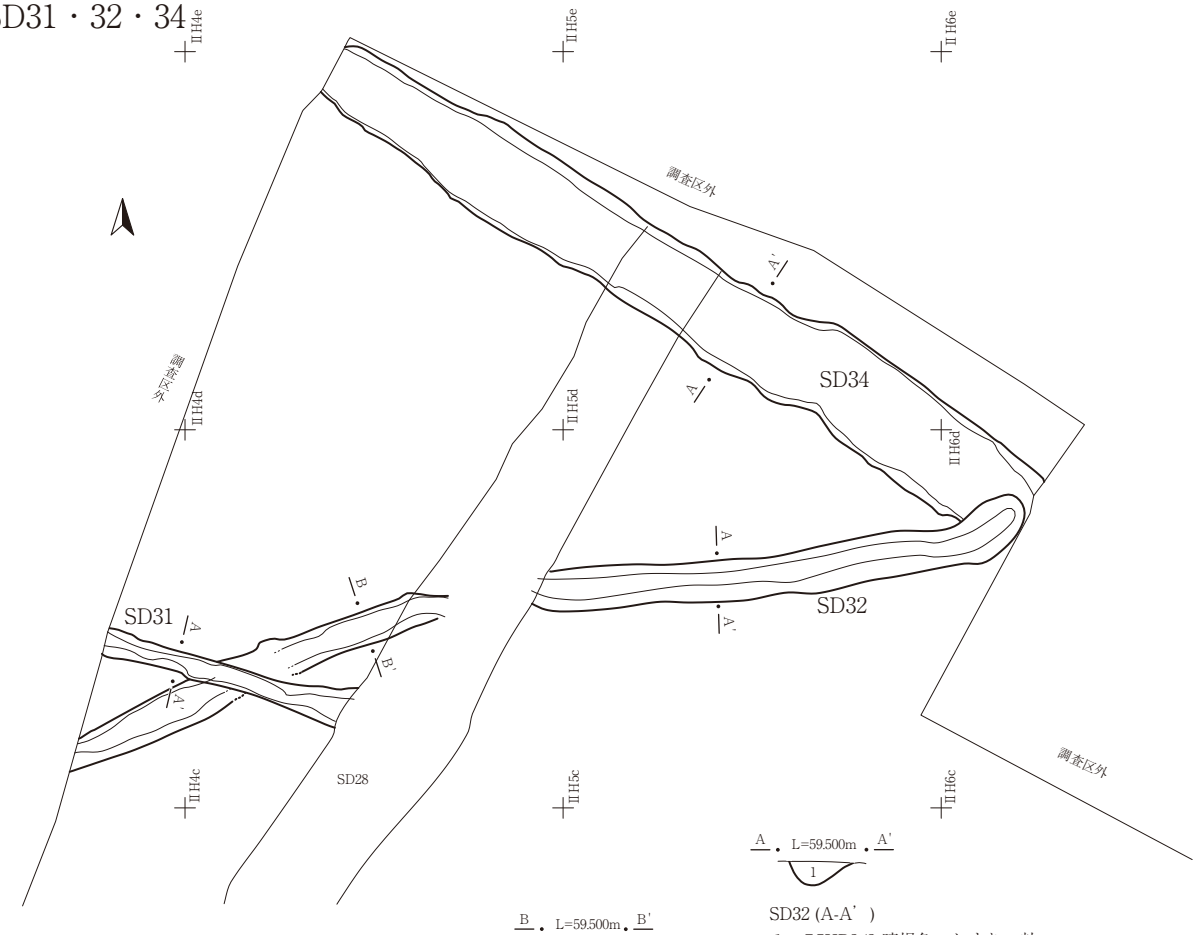
SD30 (B-B’・C-C’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
2　1 層と似るがややグライ化。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色シルト極微量、2 層よりグライ化。
4　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。酸化鉄集積。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト微量。

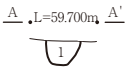
SD30 (D-D’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。グライ化。
3　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。グライ化。
10YR4/4 褐色粘土質シルトこなれて混じり、2 層より明るい。
4　色調は 2 層だが粘性強くなる。
5　4 層より粘性強くグライ化。下面に酸化鉄集積。

(断面) 0　1：60　2m　(平面) 0　1：300　10m

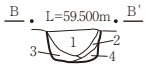
第215図　SD28～30溝跡

SD31・32・34



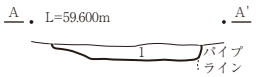


SD31 (A-A')
1　7.5YR3/3 暗褐色
粘性あり。



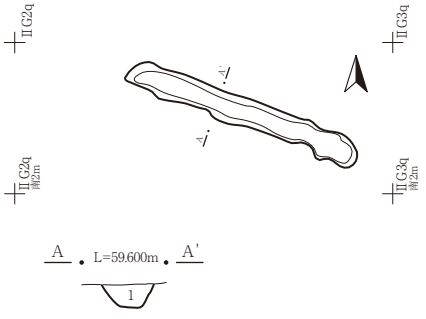
SD32 (B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。5YR5/8 明赤褐色焼土 (径 1 ～ 3 ㎜以下) 極少量混入。
2　10YR4/4 褐色　粘土　しまりややあり、粘性ややなし。1 層土少量混入。
3　10YR3/4 暗褐色　シルト　粘土　しまりややあり、粘性中。
4　10YR4/4 褐色　粘土　しまり・粘性ややあり。5YR5/8 明赤褐色焼土 (径 5 ㎜以下) 極少量混入。

SD32 (A-A')
1　7.5YR3/3 暗褐色　しまり・粘性あり。微量の炭化物含む。



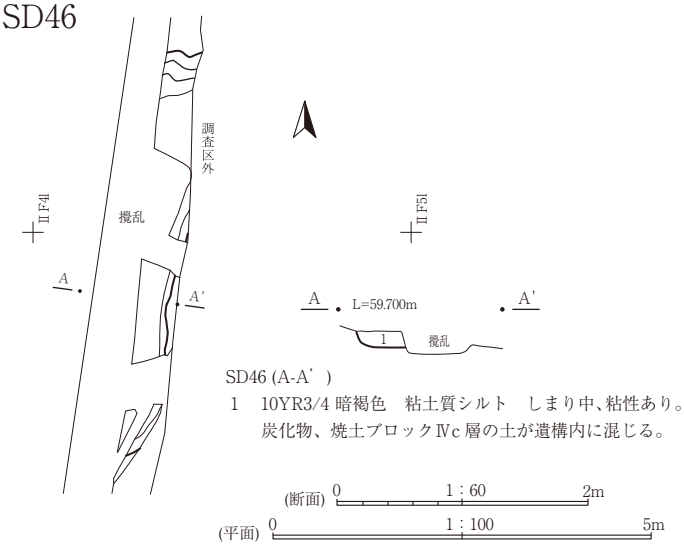
SD34 (A-A')
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまりあり、粘性なし。

SD33



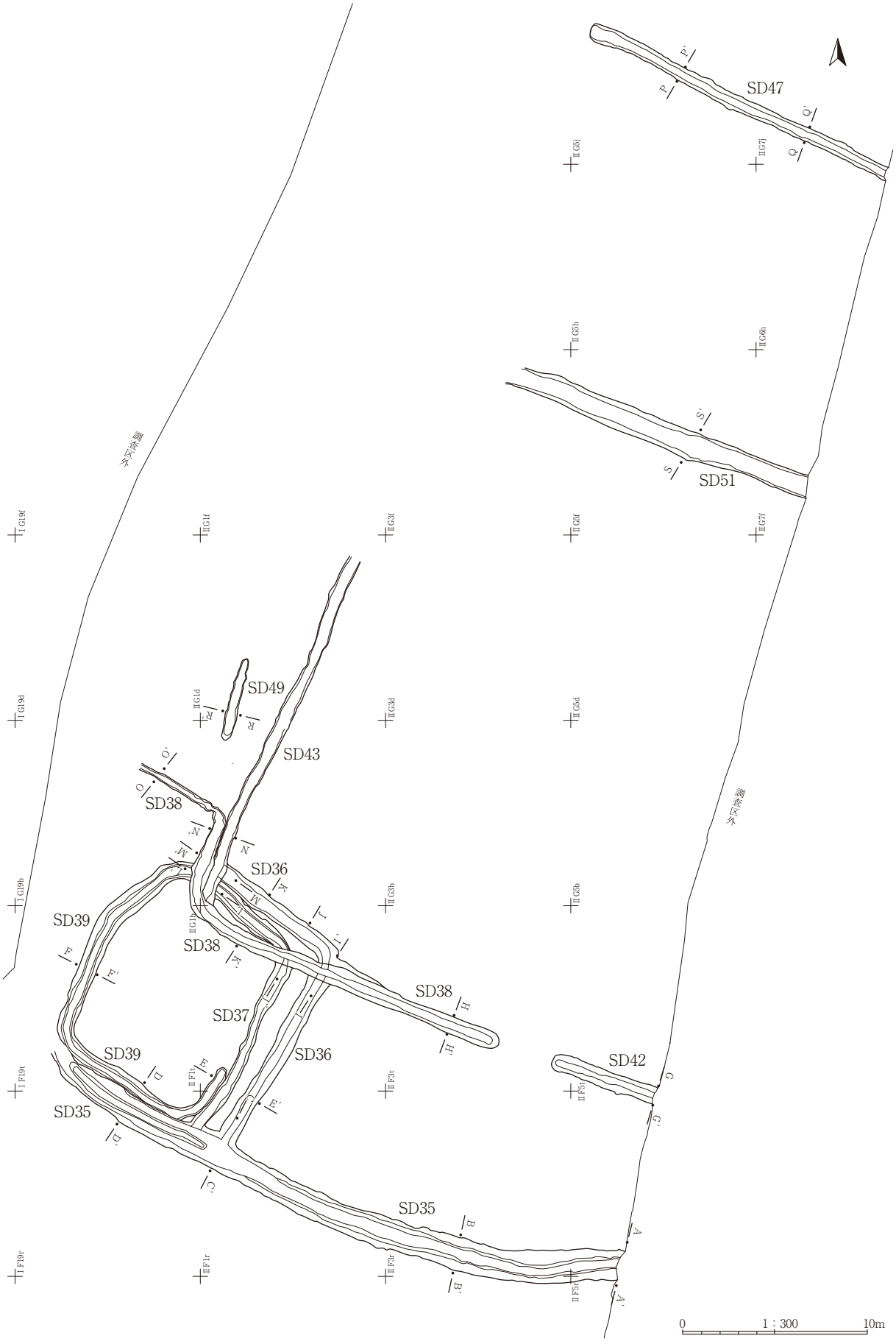
SD33 (A-A')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。5YR5/8 明赤褐色焼土粒 (径 5 ～ 7 ㎜)1%、炭化物粒 (径 5 ～ 10 ㎜)1％含む。

SD46

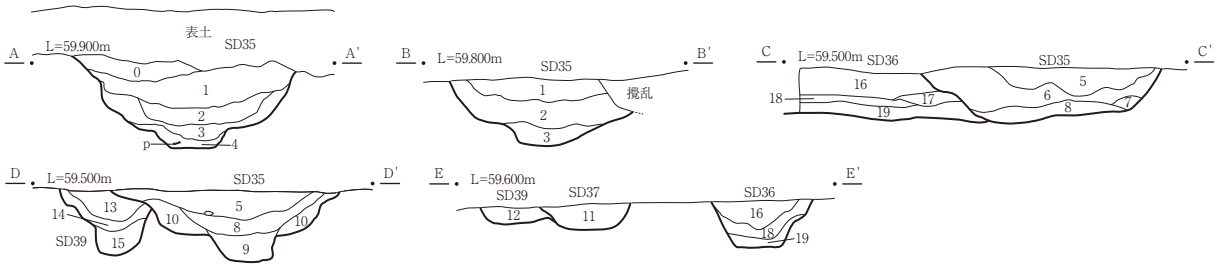


SD46 (A-A')
1　10YR3/4 暗褐色　粘土質シルト　しまり中、粘性あり。炭化物、焼土ブロックⅣc 層の土が遺構内に混じる。

第216図　SD31～34･46溝跡

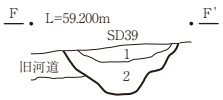


第217図　SD35～39·42·43·47·49·51溝跡（1）



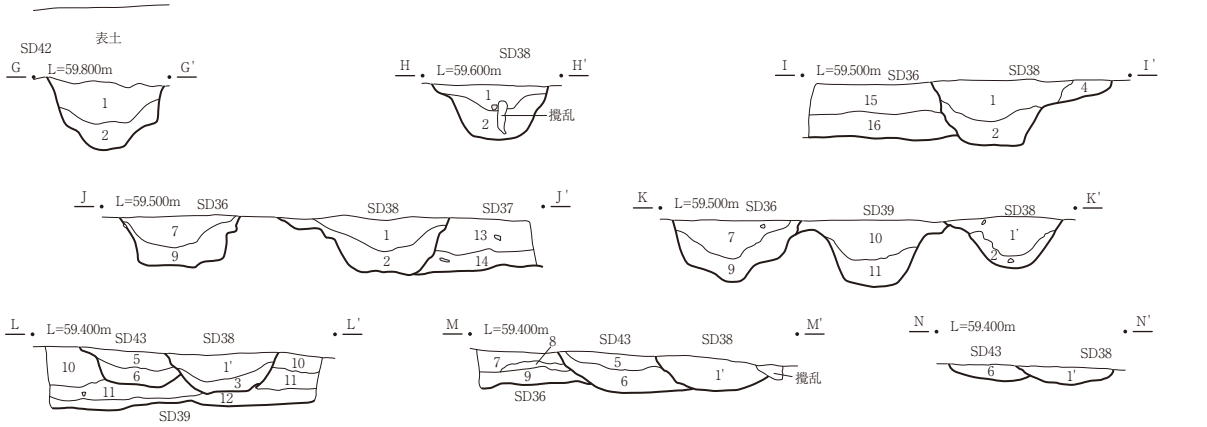
SD35 ～ 37・39 (A-A' ～ E-E')

0　1層に似るがしまり弱く、10YR4/4 褐色土ブロック少ない。
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR3/3 暗褐色シルト多量、10YR4/4 褐色粘土質シルト、全体に大きく混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土少量、全体に細かく混じる。下面グライ化し酸化鉄集積。
3　グライ化しない2層。やや 10YR4/4 褐色多い。
4　3層より 10YR4/4 褐色多くなる。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 1 ㎝) 微量斑状。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり･粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径 1 ～ 2 ㎜) 極微量。
7　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。10YR3/3 暗褐色シルト大量。
8　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。グライ化酸化鉄。
9　8層より地山ブロック多く、グライ化も進む。(10 層がグライ化した状態)
10　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径 2 ～ 3 ㎜) 微量細かく斑状。
11　10YR2/3 黒褐色シルト微量、10YR3/3 暗褐色シルト大量、10YR4/4 褐色粘土微量。　しまり・粘性中。
12　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。
13　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 3 ㎜) 微量。
14　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 3 ㎜) 微量。
15　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 少量。
16　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量。
17　10YR4/4 褐色　砂質シルト層。
18　19 層がグライ化。
19　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 少量斑状。
※1 ～ 10 層 SD35 埋土。11 層 SD37 埋土。12 ～ 15 層 SD39 埋土。16 ～ 19 層 SD36 埋土。



SD39 (F-F')

1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土極微量。
2　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土極微量。1・2層ともグライ化、酸化鉄集積。

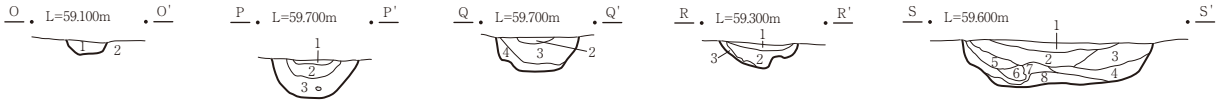


SD36 ～ 39・42・43 (G-G' ～ N-N')

1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土極微量、全体に細かく混じる。炭極微量。
1'　1層に似るが、やや 10YR4/4 褐色　粘土多く、グライ化する。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 少量、小さく斑状に混じる。ややグライ化。
3　1層に似るが、上面に炭層入る。
4　1層に 10YR4/4 褐色粘土少量。
5　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質)　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土極微量。グライ化し、酸化鉄集積。
6　10YR3/3 暗褐色　シルト (やや砂質)　しまり中、粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土少量。グライ化し、酸化鉄集積。
7　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。炭極微量。(SD38・39 より明るい)
8　10YR4/4 褐色砂大量に、10YR3/4 暗褐色シルト少量、全体に混じる。
9　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。グライ化酸化鉄集積。10YR4/4 褐色粘土少量斑状に入る。
10　10YR3/3 暗褐色 (やや暗め)　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 2 ㎝) 斑状に少量入る。
11　10YR3/3 暗褐色 (やや暗め)　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土 (径～ 5 ㎜) 斑状に少量入る。グライ化酸化鉄集積。
12　10YR3/3 暗褐色 (やや暗め)　シルト (やや粘質)　10YR4/4 褐色粘土斑状に入る。11 層よりやや多い。グライ化しない。
13　10 層と似る。
14　11 層と似る。
15　＝E-E' 16 層
16　＝E-E' 19 層
※1～4層　SD 38埋土。5･6層　SD 43埋土。7～9･15･16層　SD 36埋土。10 ～ 12 層　SD 39 埋土。13・14 層　SD37 埋土。

(断面) 0　1 : 60　2m

第218図　SD35～39･42･43･47･49･51溝跡（2）



SD38 (O-O’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　グライ化して酸化鉄集積。
2　10YR2/3 黒褐色（やや 10YR3/3 暗褐色より）　シルト　ややグライ化して酸化鉄集積。

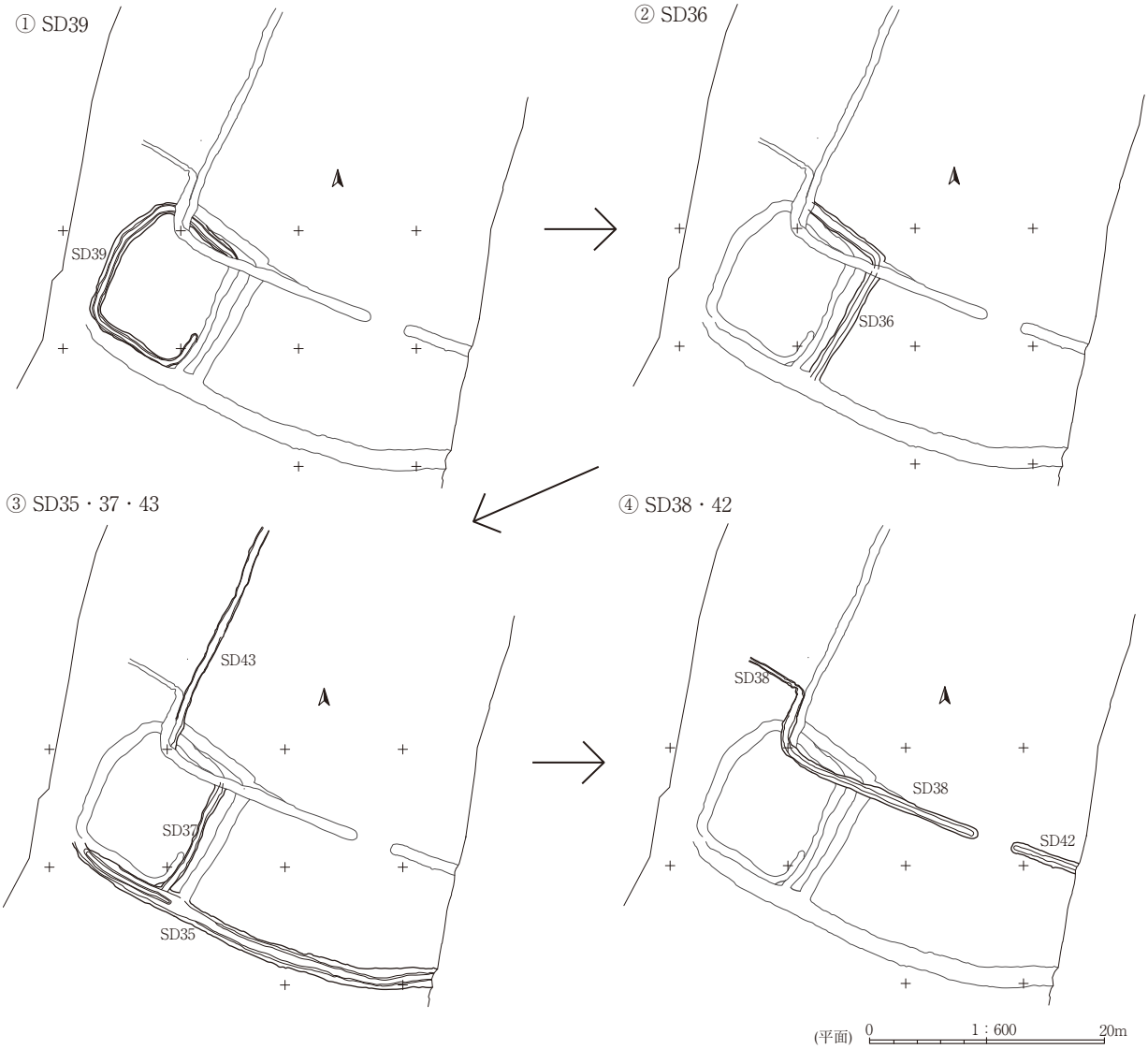
SD47 (P-P’・Q-Q’)
1　10YR2/3 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土質シルト (径～５㎜) 全体に微量細かく斑状に入る。炭極微量。
2　10YR4/4 褐色粘土質シルト大量に 10YR2/3 黒褐色シルト少量こなれて混じる。しまり・粘性ややあり。
3　１層に似るが、10YR4/4 褐色粘土質シルト多い。
4　10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまり・粘性ややあり。10YR4/4 褐色粘土質シルト微量細かく斑状に混じる (径５㎜)。
※本来の溝埋土は１～３層。４層の重複住居からの崩落土か？

SD49 (R-R’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまりややあり、粘性ややなし。
2　7.5YR4/2 灰褐色　シルト　しまりややあり、粘性中。炭化物 (径３㎜) 極少量混入。
3　10YR5/4 にぶい黄褐色　しまり中、粘性ややあり。

SD51 (S-S’)
1　10YR3/2 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややなし。5YR5/3 にぶい黄褐色シルト７～ 10%混入。
2　10YR4/1 褐灰色　砂質シルト　しまりあり、粘性ややなし。10YR6/3 にぶい黄橙色シルト 2%含む。
3　10YR4/4 褐色粘土質シルト 70%、10YR4/1 褐灰色砂質シルト 30%混合。しまり・粘性中。
4　10YR4/1 褐灰色砂質シルト 80%、10YR4/4 褐色粘土質シルト 20%混合。しまりややあり、粘性ややなし。
5　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり中、粘性なし。5 YR5/3 にぶい黄褐色シルト１～ 2%含む。
6　10YR5/2 灰黄褐色　シルト　しまり・粘性ややあり。
7　10YR5/3 にぶい黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性中。
8　10YR4/1 褐灰色　シルト　やや砂質　しまり・粘性中。

(断面) 0　1：60　2m

溝群変遷推定



(平面) 0　1：600　20m

第219図　SD35～39・42・43・47・49・51溝跡（３）

（10）畝間状遺構（ＵＭ）

調査区北半のＥ区からＦ区２次調査区で合計14箇所を検出した。いずれも畠の畝間と考えられる溝が複数条並列した状態である。一定間隔で溝が並列する一群を一単位として、名称は番号＋アルファベット大文字のＵＭを組み合わせて登録した。個々の溝はアルファベット小文字のｕｍ＋番号で区別している。

堆積土は周辺のＶ層よりやや暗色の黒褐色～暗褐色シルト層が主体である。明瞭に検出された畝間溝に直交するトレンチを設定し分布範囲の把握につとめたが、差異がわずかしかない溝も含まれており、検出漏れが多数あり得るものと推測される。14UMでは堆積土上部に十和田ａ降下火山灰と考えられる灰白色のテフラブロックが検出された。

畝間溝の方向は東西方向基調となるもの（1･２･３･５･10･14UM）、南北方向基調となるもの（４･７･８・９・11UM）、北西～南東方向基調となるもの（６・16・17UM）の３種が見られる。５・６UMの重複関係により、これらが時期差によって異なっていた可能性が含まれる。

年代については、竪穴住居より古い畝間状遺構があること、堆積土に含まれるテフラブロックといった点から、大部分は奈良～平安時代に属するものと判断される。ただし、１UMのum1では常滑産陶器（c24）が出土しているが、柱穴群が多く重複している範囲にあたり、これに気が付かず掘り下げてしまった可能性がある。遺構の性格としては命名した通り畠の畝間を想定していたが、自然科学分析ではその根拠となる結果は得られていない。

（11）柱穴状土坑（Ｐ）

竪穴住居跡や住居状遺構、土坑等の遺構に伴わない柱穴状土坑を一括した。Ｐ１からP2018まで、途中欠番も生じており合計1844基の検出である。同様の柱穴状土坑で検出時に掘立柱建物跡を構成することが把握できた５棟（SB01～05）については、SB○○pit1～と遺構ごとに番号を付し、調査後に掘立柱建物跡の柱穴と認識できたものは、Ｐ○○という命名をそのまま使用している（SB07～10）。

分布状況はＡ区～Ｂ区南側にかけては落ち込み内に多く、Ｂ区北～Ｄ区にかけては、十数基程度のまとまりが散在する。Ｅ区は南端が西側に多く、SD38～30溝跡付近では調査区全体で検出されている。

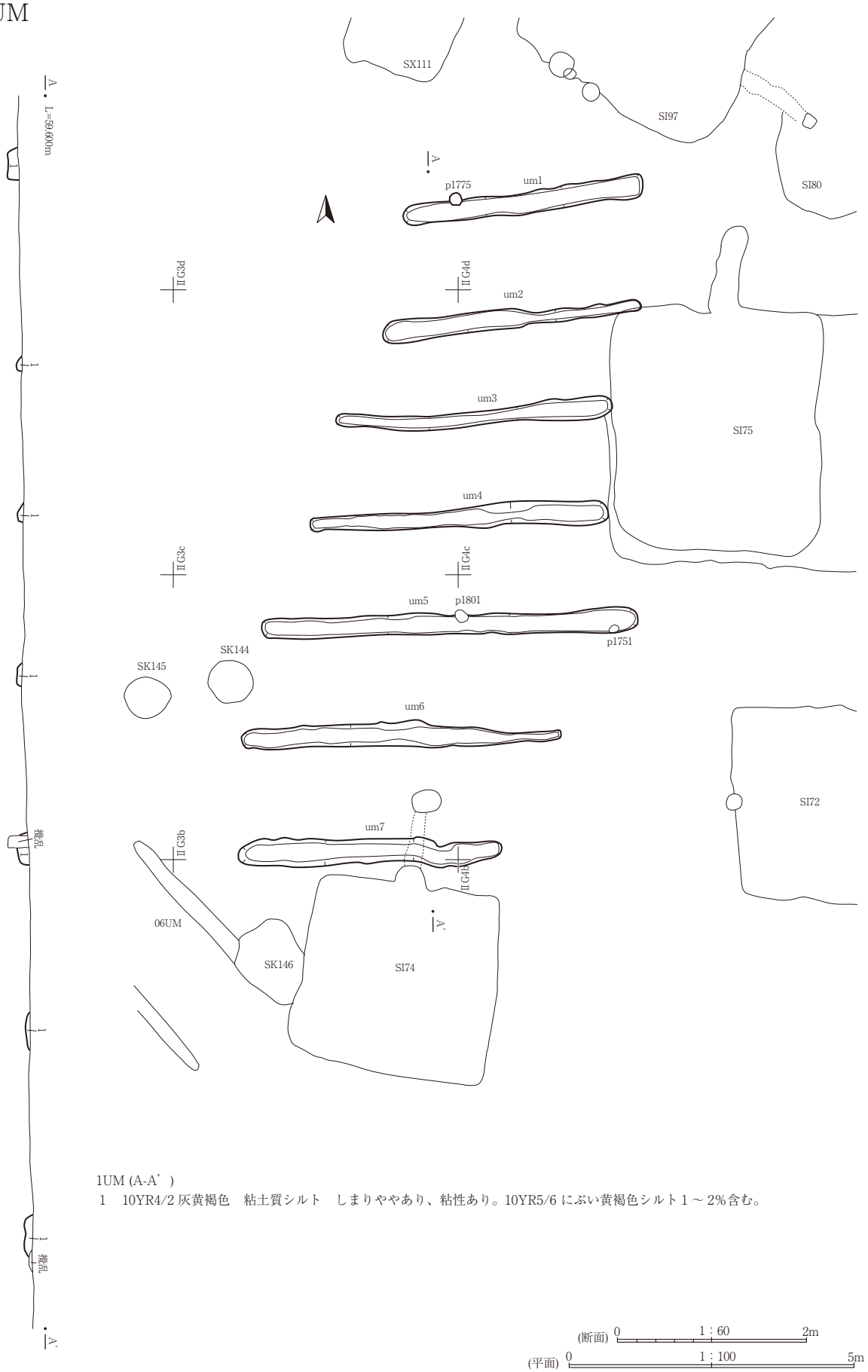
これらの柱穴状土坑は縄文～弥生時代、古代、中・近世以降と様々な時代の遺構を含んでいると考えられるが、出土遺物が少ないことも加わり、堆積土の土質などで時期区分をするのは困難であった。大多数は時代不明とせざるを得ない。

ただしその中でも、Ｅ区のSD38～30溝跡周辺に分布する柱穴群については、古代の竪穴住居跡よりも新しく、また庇を有する建物をはじめとする掘立柱建物跡群を構成しており、周囲の溝跡や土坑出土遺物からの類推により12世紀後半頃の年代が推定される。また、Ｄ区南端に位置するSI65に重複するP1602とP1603では、P1603内よりほぼ完形の土師器坏が出土する（b1263）。坏は柱穴内中位まで埋没した状態の上に正位で出土した。土器内部には焼土が入れられた状態である。何らかの意図をもって埋納された可能性がある。

（12）遺　物　集　中（ＳＵ）

明瞭な掘り込みを伴わないものの、周囲と比較して明らかに一定範囲に遺物、礫が集中していると捉えられる地点が主にＢ・Ｃ区で複数認められた。形成過程には以下の３種が想定されるが、ここでは一括して「遺物集中」として取り扱っている。

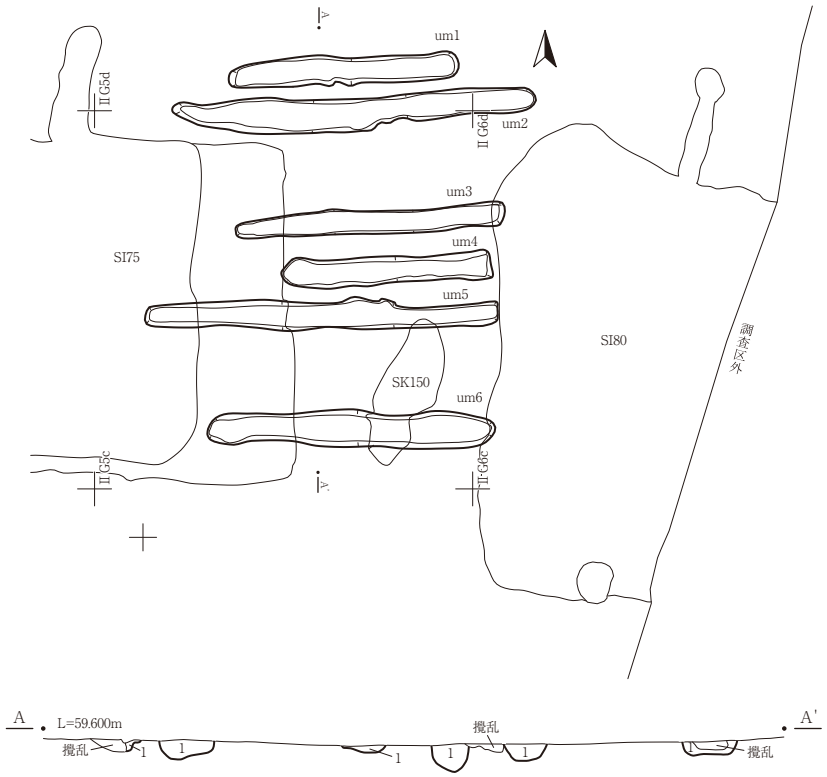
1UM



1UM (A-A’)
1　10YR4/2 灰黄褐色　粘土質シルト　しまりややあり、粘性あり。10YR5/6 にぶい黄褐色シルト 1 ～ 2%含む。

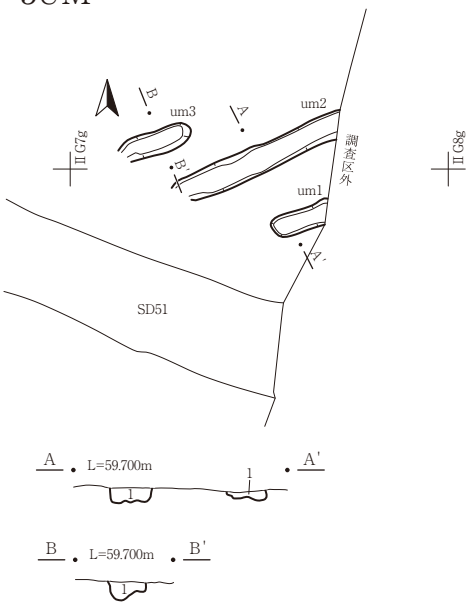
第220図　1UM畝間状遺構

2UM



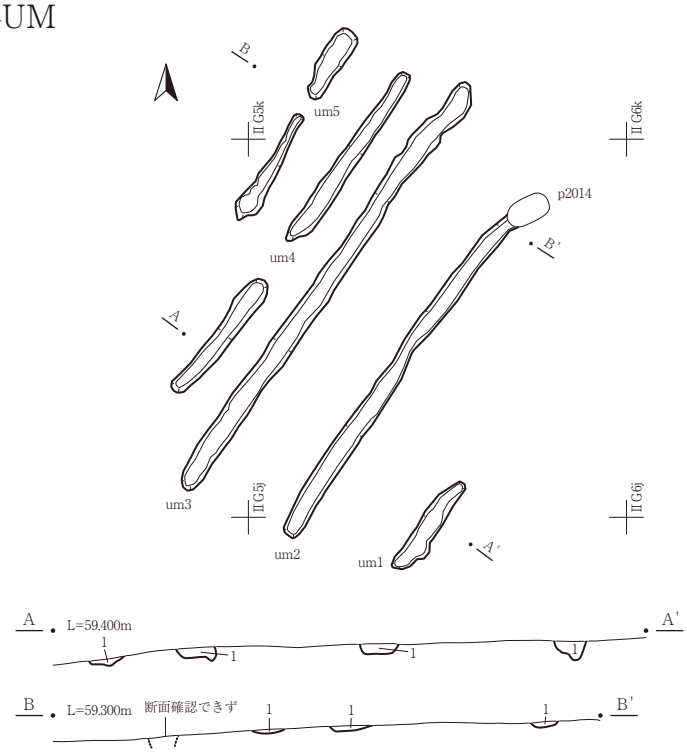
2UM (A-A’)
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　粘土　しまり中、粘性ややあり。

3UM



3 UM (A-A’・B-B’)
1　7.5YR3/2 黒褐色　粘土質シルト
　　しまり・粘性中。炭化物含む。

4UM

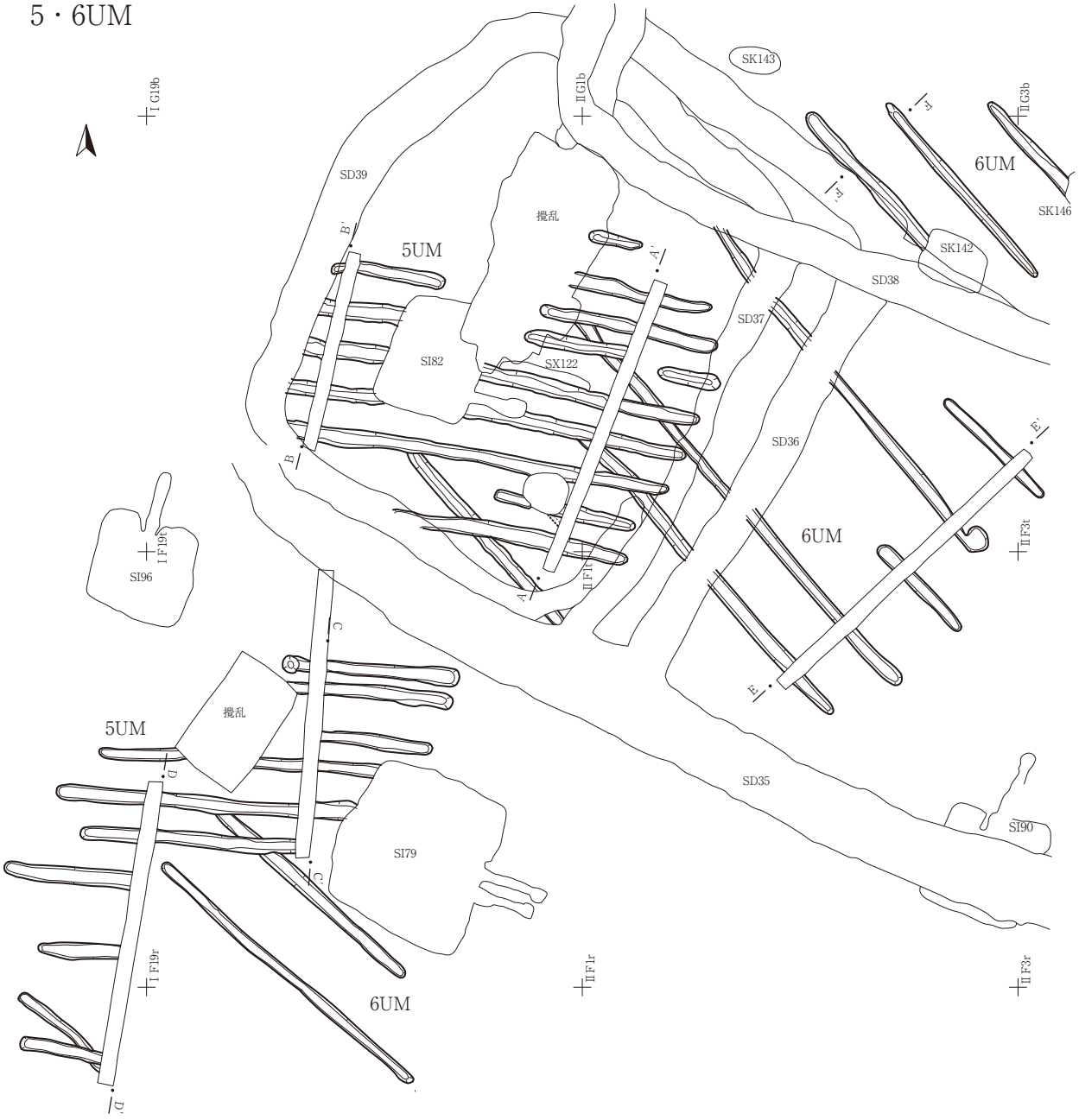


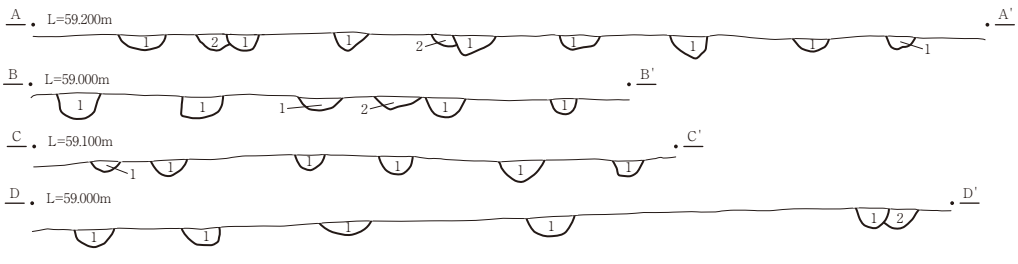
4 UM (A-A’・B-B’)
1　10YR2/3 黒褐色シルト少量、10YR4/4 褐色粘土大量、全体に混じり、基本層序
　　よりやや汚れる程度。

(断面) 0　1：60　2m
(平面) 0　1：100　5m

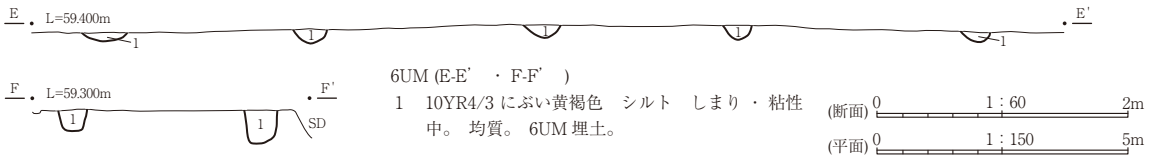
第221図　2～4UM畝間状遺構

5・6UM





5・6UM (A-A' ～ D-D')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。 均質。 混入物少。 (5UM 埋土)
2　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。 均質。 1 層よりやや明色。 (6UM 埋土)

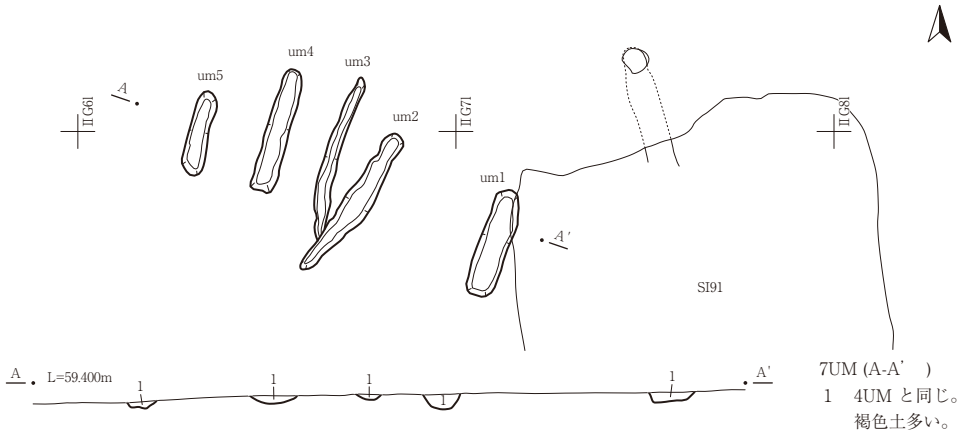


6UM (E-E' ・ F-F')
1　10YR4/3 にぶい黄褐色　シルト　しまり・粘性中。 均質。 6UM 埋土。

(断面) 0　1：60　2m
(平面) 0　1：150　5m

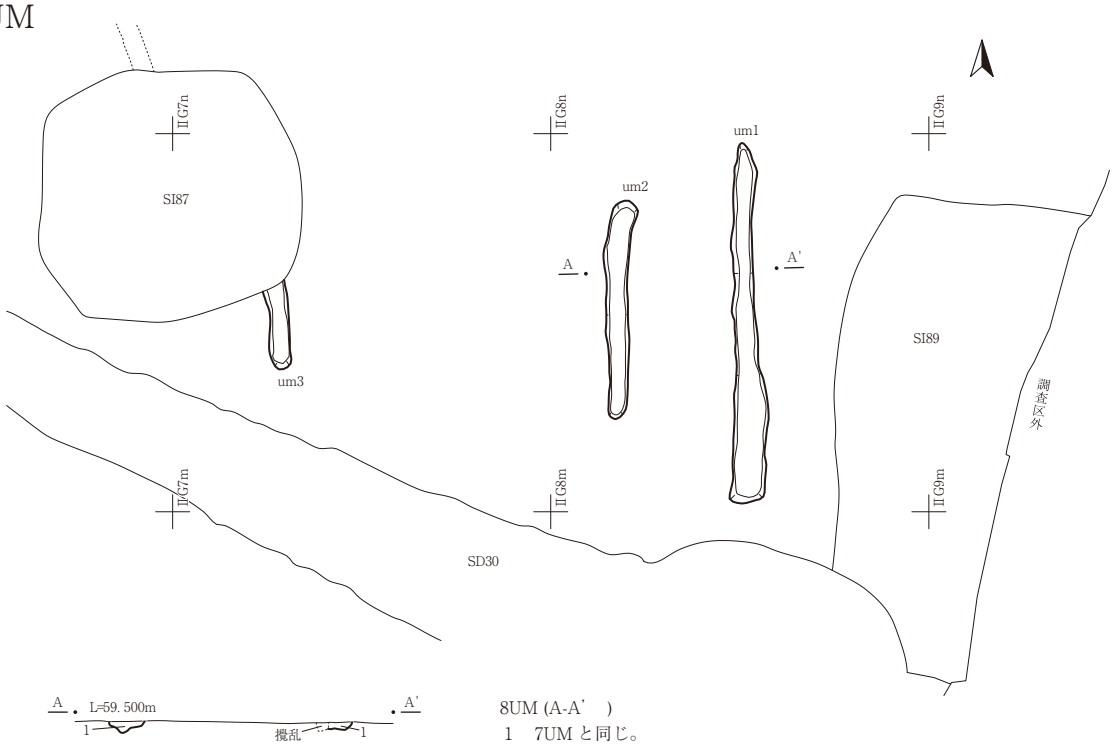
第222図　5･6UM畝間状遺構

7UM



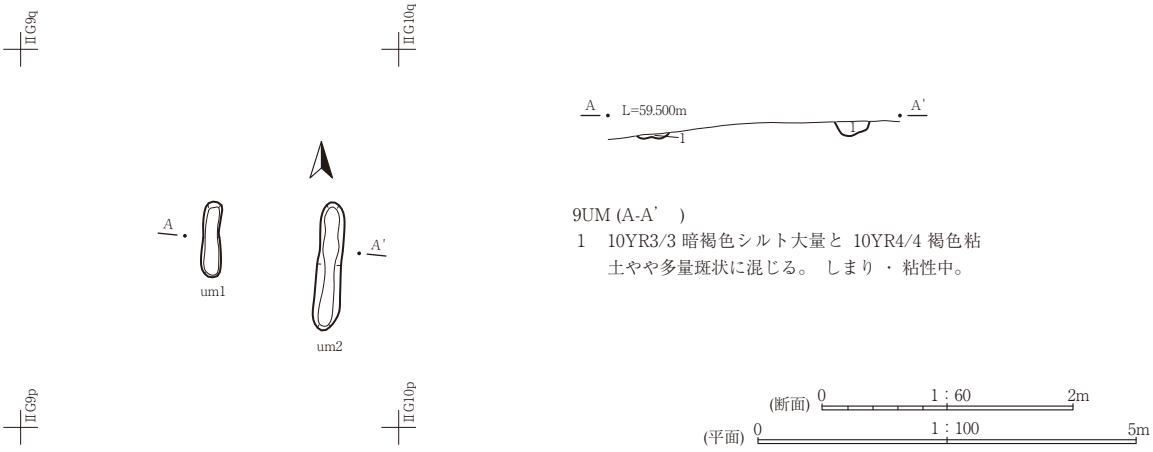
7UM (A-A’　)
1　4UM と同じ。 やや 10YR3/3 暗褐色土多い。

8UM



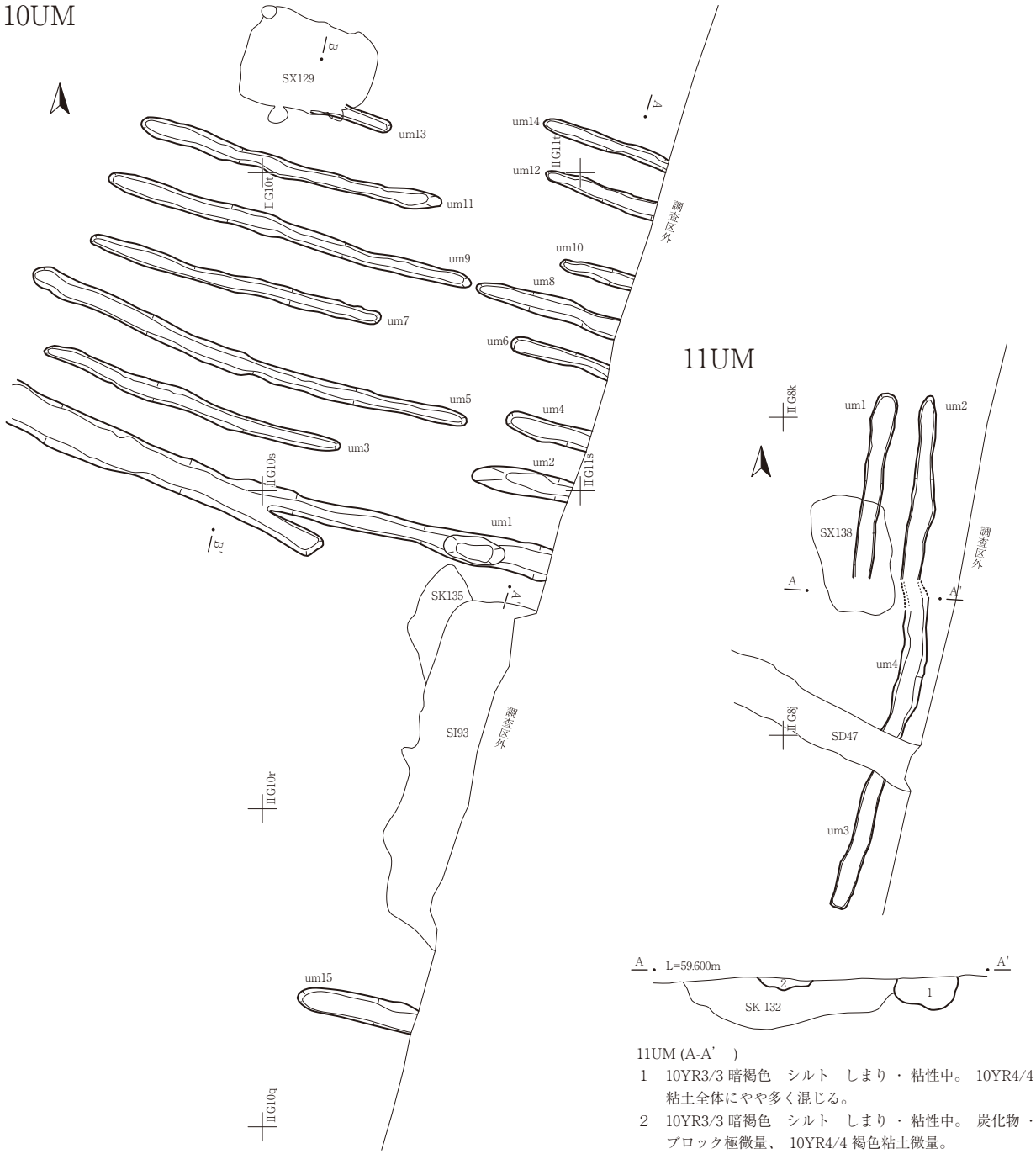
8UM (A-A’　)
1　7UM と同じ。

9UM



9UM (A-A’　)
1　10YR3/3 暗褐色シルト大量と 10YR4/4 褐色粘土やや多量斑状に混じる。 しまり ・ 粘性中。

第223図　7～9UM畝間状遺構

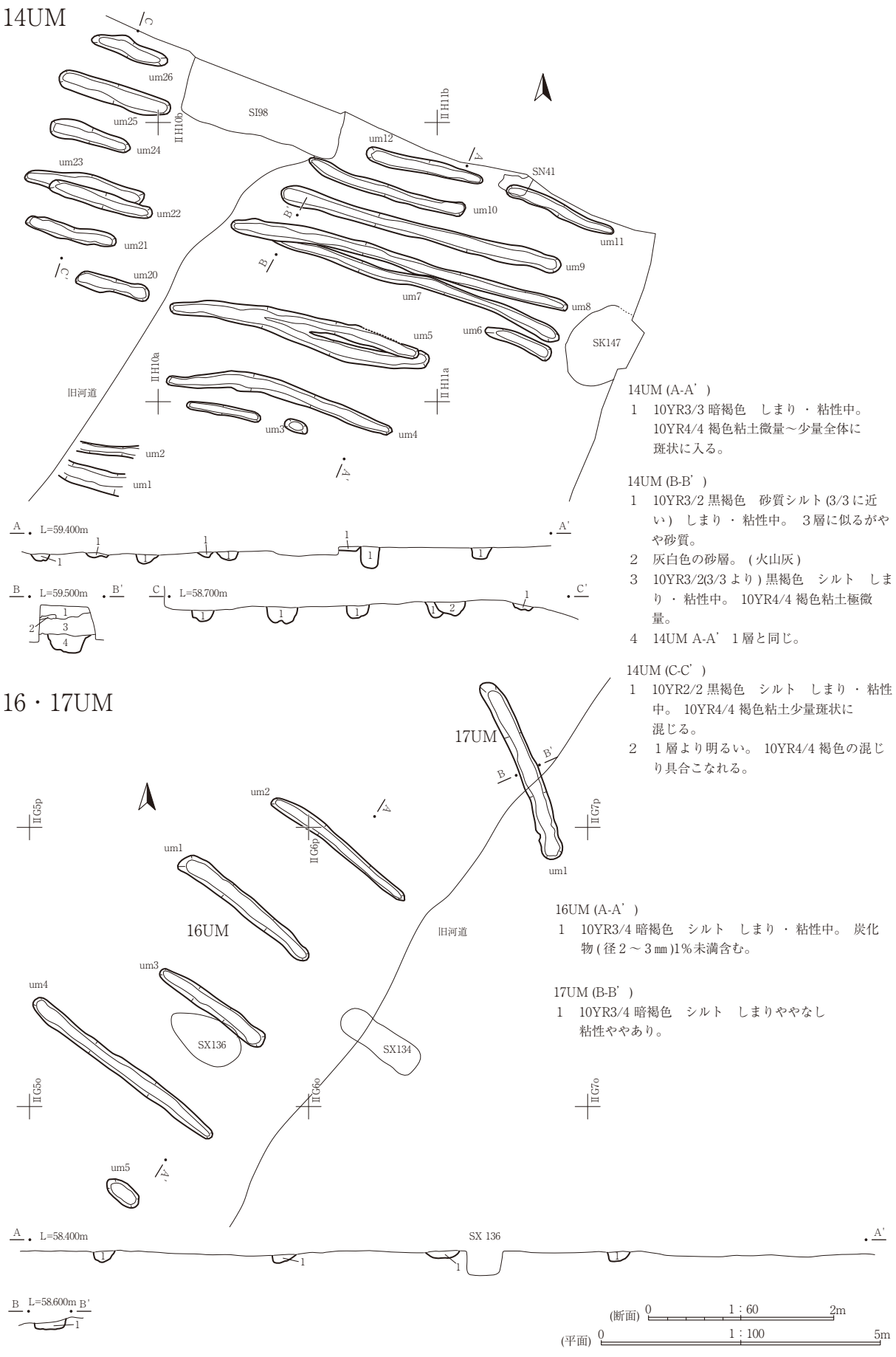


11UM (A-A’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり ・ 粘性中。 10YR4/4 褐色粘土全体にやや多く混じる。
2　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり ・ 粘性中。 炭化物 ・ 焼土ブロック極微量、 10YR4/4 褐色粘土微量。

10UM (A-A’ ・ B-B’)
1　10YR3/3 暗褐色　シルト　しまり ・ 粘性中。 10YR4/4 褐色粘土質シルト多量斑状に混じる。
2　1 層より、 10YR4/4 褐色粘土多くなる。

(断面) 0　1 : 60　2m
(平面) 0　1 : 100　5m

第224図　10·11UM畝間状遺構



14UM (A-A')
1　10YR3/3 暗褐色　しまり・粘性中。10YR4/4 褐色粘土微量～少量全体に斑状に入る。

14UM (B-B')
1　10YR3/2 黒褐色　砂質シルト (3/3 に近い)　しまり・粘性中。 3層に似るがやや砂質。
2　灰白色の砂層。 (火山灰)
3　10YR3/2(3/3 より) 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。 10YR4/4 褐色粘土極微量。
4　14UM A-A' 1層と同じ。

14UM (C-C')
1　10YR2/2 黒褐色　シルト　しまり・粘性中。 10YR4/4 褐色粘土少量斑状に混じる。
2　1層より明るい。 10YR4/4 褐色の混じり具合こなれる。

16UM (A-A')
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまり・粘性中。 炭化物 (径２～３㎜)1％未満含む。

17UM (B-B')
1　10YR3/4 暗褐色　シルト　しまりややなし　粘性ややあり。

第225図　14･16･17UM畝間状遺構

①：意図的な遺棄・廃棄が行われた状況、または石器製作等の作業状況を残す遺構
（SU01・02・04・09・10）
②：人為的な形成が想定され完形土器等が出土するが、風倒木等後世の影響により不明瞭なもの
（SU06・07）
③：窪地に遺物や礫が偶然集中した状況等、自然現象による可能性が高いもの
（SU03・05・08）
年代はほぼ縄文時代晩期末～弥生時代前期に限定されると考えられる。以下、個別に記載する。

ＳＵ０１遺物集中（第226図　写真図版177）
検出状況　SN07・08の焼土被熱深度確認用にトレンチを入れたところ、黒褐色の層があり遺物が多数出土したことから、下位に遺構が存在する可能性を考えベルトに沿うトレンチを設定した。トレンチ内では遺物が出土するものの遺構の有無は把握できなかったたため、面的に周囲を下げたところ、一定範囲での遺物・炭化物の集中状態を検出した。**形状・堆積状況・遺物出土状況**　４層中に遺物が多く包含される。基本土層の黒褐色土よりも暗色で炭化物の混入量が多い。平面範囲は不整形で、断面形は浅く窪む程度である。Ⅳ層形成中にできた窪地（５～６層上面）に本遺構が形成され、再びⅣ層が堆積（３層より上位）したようである。遺物は周囲の基本土層内にも含まれるが、当該地点の４層中に明らかに多く、かつ４層中位から上面にかけて顕著である。完形の土器等は少ないが、小型の土器（a85･90･93）、土版（d38）や土玉（d46）が含まれており、意図的に投棄されたものと判断している。（遺物図版8･9･132･136･142　写真図版185･186･280･281）

ＳＵ０２遺物集中（第227図　写真図版177）
検出状況　Ｂ区Ⅲ層上面において黒色土と遺物分布の広がりとして検出した。**立地**　調査区東端の自然堤防西縁から西側の旧河道にかけて南西方向に下る緩い斜面に立地する。**形状**　掘り込みは伴わず平坦面に遺物が集中的に分布する状況である。遺物分布は北東―南西方向に長軸を持つ。集中区は２箇所あり、それぞれ約9.3×4.9m、2.1×1.2mの規模である。**層相**　包含層の主体は黒色砂質シルトで炭化物を含み、遺物とともに人為堆積によって形成されたものと見られる。**遺物出土状況**　高坏など破損しやすい器種でも完形に近いものが含まれることから、単純な廃棄とは異なり黒色土と一括の意図的な廃棄（遺棄）行為によるものと考えられる。出土遺物の総量は、縄文･弥生土器40,335ｇ、石器･石製品42点、炭化種子（トチノキ）等である。このうち土器a103～ a141、石器e2･36を掲載している。（遺物図版9～14･136･141、写真図版187～191）

ＳＵ０３遺物集中（第228図　写真図版178）
検出状況　Ⅲ層上面で古代遺構の検出作業中に、遺物が集中するⅡ層黒褐色土が広がる範囲を検出した。**形状**　本遺構は掘り込みを伴わない。遺物分布範囲は南北方向に長く全体では15.4×4.7mの規模である。本遺構固有の堆積土は確認されず、Ⅱ層が厚くなる部分と捉えられる。遺物は全てⅡ層中に包含されている。**遺物出土状況**　縄文･弥生土器4,319ｇ、土偶頭部（d25）、石器22点が出土した。（遺物図版14･130･136･143　写真図版191･280）

ＳＵ０４遺物集中（第229図　写真図版178）
検出状況　Ⅲ層上面で検出した。**立地**　調査区東端の自然堤防西縁に立地し、南西側は急激に落ち込

む。**形状**　隅丸台形状の落ち込み内に遺物が分布する。ただしこの落ち込みは人為的な掘削とは考えにくく、自然地形の窪地であろうと推測される。**堆積土**　遺物は窪地底部に堆積した黒褐色シルト層に包含されている。砂ブロックや炭化物を含んでおり、同層は人為堆積の可能性が高い。**遺物出土状況**　縄文・弥生土器3,852ｇ、石器30点が出土した。（遺物図版14･136･139･140　写真図版191）

ＳＵ０５遺物集中（第229図　写真図版178）
検出状況　Ⅲ層上面で検出した。**形状**　枝状に伸びる不整形の掘り込みである。**堆積土**　炭化物粒やブロック状の撹拌土を多く含む。**遺物出土状況**　堆積土中から古代土器11ｇ、縄文土器715ｇ、石器25点が出土した。a145を掲載した。また､堆積土下位からは炭化したクヌギの子葉が検出されている。**小結**　形状が極端に不整形であるため、明確な遺構とは断定し難い。木根等の攪乱に上層の遺物が巻き込まれて、見かけ上の遺物集中となっている可能性もあり得る。（遺物図版15　写真図版191）

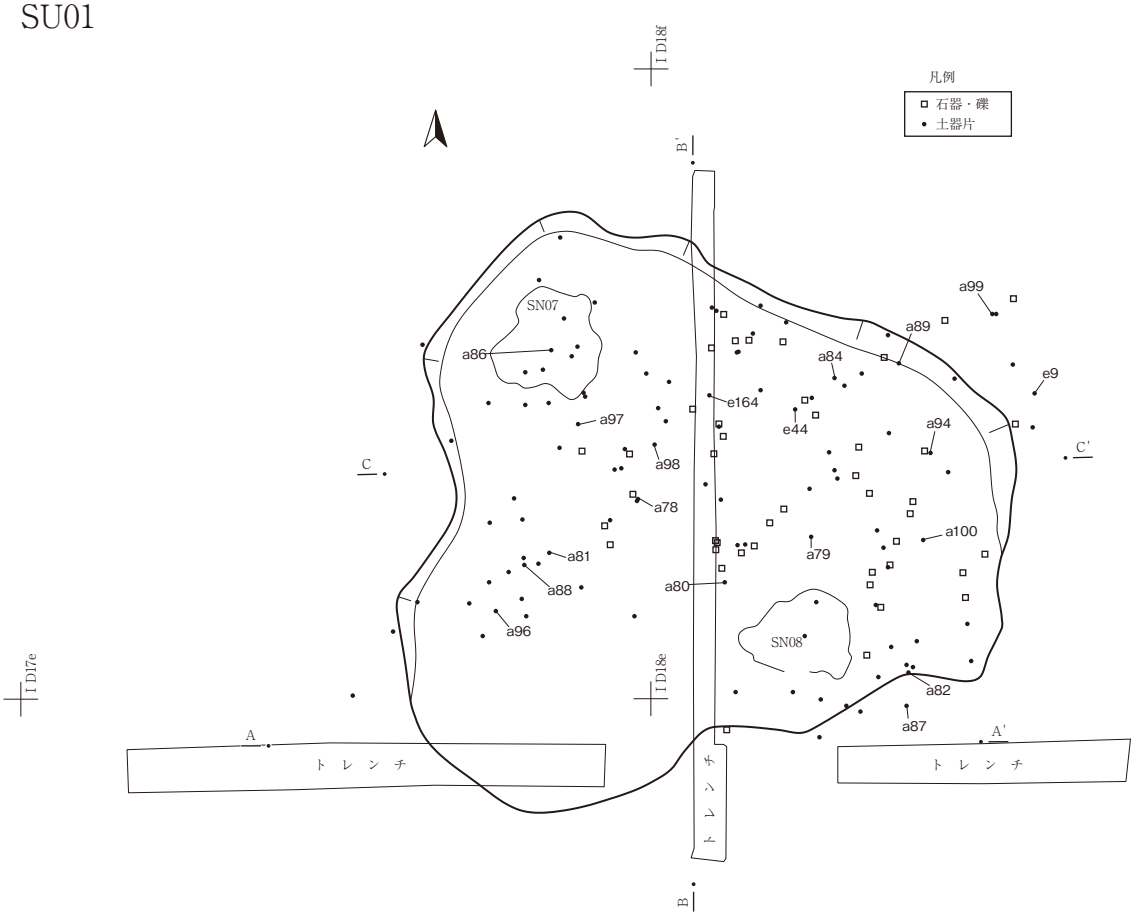
ＳＵ０８遺物集中（第230図　写真図版179）
検出状況　旧河道内の掘り下げ過程で、石器を包含する落ち込みとして確認した。**堆積土**　暗褐色砂質シルト主体で、焼土粒が混在する。人為堆積の可能性が高いと判断される。**遺物出土状況**　堆積土中から赤色頁岩製の剥片が11点出土した｡小範囲に集中する状態であり接する状態のものが見られる。１組の接合資料が含まれる（e16～21・e23)。**小結**　出土石器は同一母岩の表皮除去等、一次剥離作業による剥片であると判断され、小径の浅い土坑を利用して一括埋納された可能性がある。（遺物図版137･138　写真図版284･285）

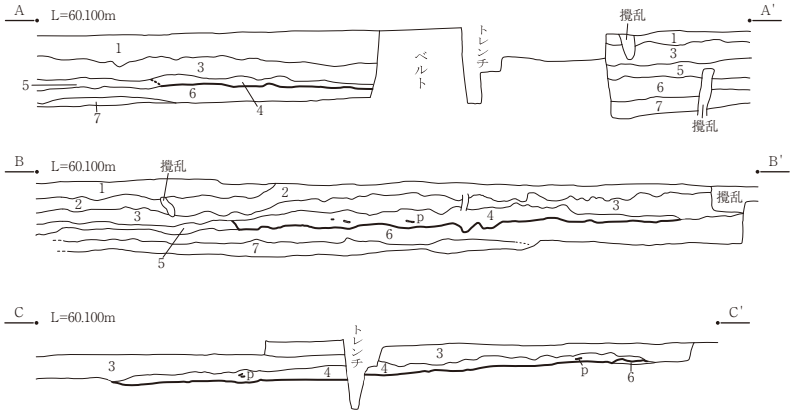
ＳＵ１０遺物集中（検出状態図・写真記録欠落）
検出状況　ＩＥ16sグリッドのⅣ層包含層を掘り下げている過程で、黒色土Ⅳ層中に多量の剥片が集中している状態を確認した。この地点はⅣａ～ｃ層の細分層が不明瞭で、精査はⅣ層を一括して行った。**形状**　範囲は明確には把握していないが径約１ｍ程度と捉えられる｡下位のⅤ層褐色粘土層が若干窪み、Ⅳ層が相対的に層厚を増す地点である。人為的な掘り込みの痕跡は確認できない。**遺物出土状況**　遺物の取り上げを行うにあたり剥片類が土中に多数紛れ込む状況にあったため、途中から土壌ごと掘り上げ水洗選別を行った。よって個々の剥片がどのような状態で出土したのか、詳細な記録は欠く。集中する場所では剥片類が密着した状態が観察された。得られた遺物は土器片が若干、石器類は剥片1071点、全長５㎜未満の微細剥片・砕片約1500点、重量にして総計1001.6ｇである。**出土石器**　石器は小型の剥片、砕片が主体で石質は全て頁岩である。石質のわずかな差異と色調を元に５種類の母岩を認識した。接合作業を行った結果、22組の接合資料を確認した。接合資料中には剥片の偶発的な折れを接合したものも含まれる。この中で８点の接合資料を図化掲載した（e201～208)。**小結**　非常に狭い範囲に多量の小型剥片、砕片が集中し、多数の接合資料が含まれる。この状況から見て、両極剥離を含む剥片剥離作業が行われ、生成した剥片類を一括廃棄、もしくは意図的な埋納を行った地点と考えられる。（遺物図版164～169　写真図版299～301）

（13）遺物包含層

Ｄ区包含層（第231・232図　写真図版179・180　巻頭カラー写真図版２）
確認状況　Ｄ区中央部に位置するSI40・SI53住居跡、SD27溝跡等の精査過程で、遺構下部や付属施設等の壁面において、Ⅲ層下位に分布するⅣ層に土器等の遺物が多量に包含されている状況を確認し

SU01





SU01 (A-A’～C-C’)

1　10YR2/2 黒褐色～ 10YR4/4 褐色　砂質シルト

2　10YR2/3 黒褐色　砂質シルト。

3　10YR4/4 褐色　砂　粗い砂。

4　10YR2/1 黒褐色　砂質シルト、10YR4/4 褐色砂少量全体にぼやっと混じる。炭微量。

5　10YR2/3 黒褐色　粘土質シルト。

6　10YR4/4 褐色　粘土質シルト。

7　10YR2/3 黒褐色～ 10YR2/2 黒褐色　粘土質シルト。

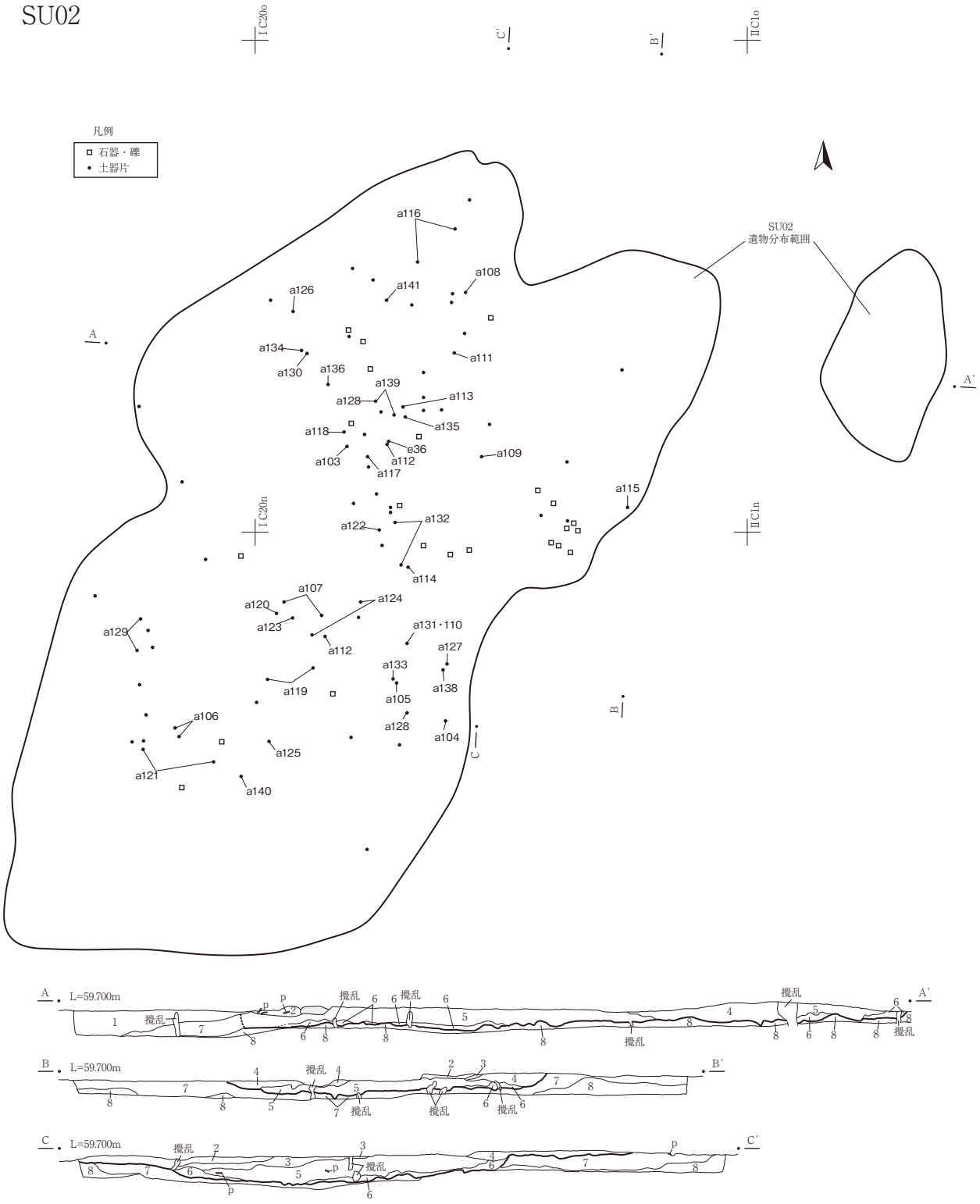
※ 1 層上面に SN 07 ～ 09。

※ 4 層に遺物集中、5 層との境界は不明瞭。5 層形成時に遺物投棄、その後 3 層が堆積か？。
遺物は 4 層下面より中～上面が多い。

0　1：60　2m

第226図　SU01遺物集中

SU02



SU02 (A-A’ ～ C-C’)

1　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。基本土層。
2　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。人為堆積土。
3　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)3%。人為堆積土。
4　10YR3/2 黒褐色　シルト　10YR4/2 灰黄褐色　砂の混合土 (7：3)　しまり中、粘性なし。人為堆積土。
5　10YR1.7/1 黒色　砂質シルト　しまり・粘性なし。炭化物粒 (径～ 1 ㎝)10%、土器多量。人為堆積土。
6　10YR3/2 黒褐色　砂と 10YR1.7/1 黒色　シルトの混合土 (7：3)　しまり・粘性なし。炭化物粒 (径～ 5 ㎜)1%。
7　10YR3/2 黒褐色　砂　しまり中、粘性なし。基本土層。
8　10YR4/3 にぶい黄褐色　砂　しまり中、粘性なし。基本土層。
※炭化物粒の大きさは 2 ㎜以下が中心。

0　1：60　2m

第227図　SU02遺物集中

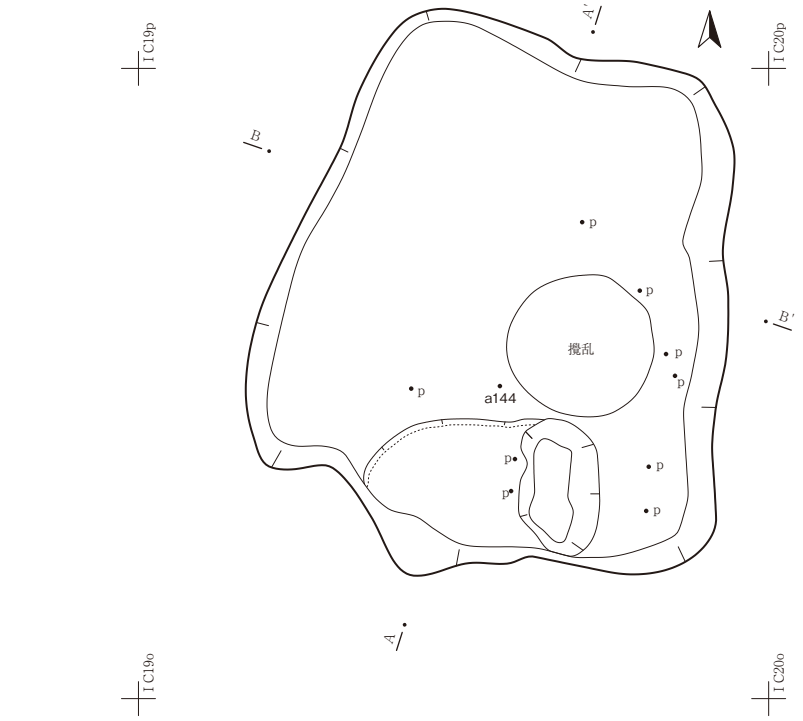
SU03

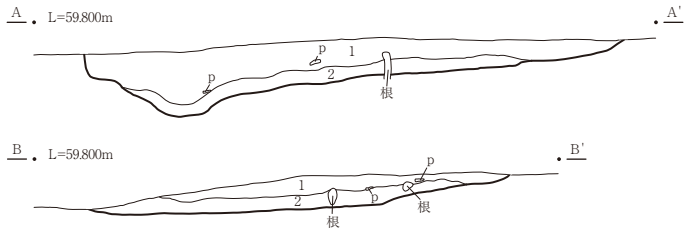
SU03（断面なし・注記のみ）
1　10YR2/2 黒褐色　砂質シルト　しまり中、粘性なし。
　炭化物粒 (径～ 3 ㎜)3%。基本層序Ⅱ層。

(平面) 0　1：100　5m

第228図　SU03遺物集中

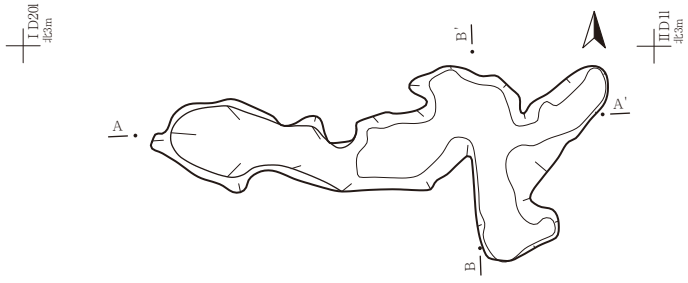
SU04

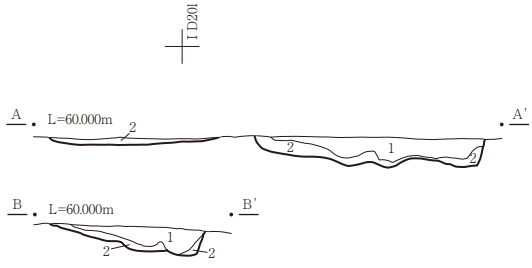




SU04 (A-A'・B-B')
1　10YR3/3 暗褐色　砂　しまり・粘性なし。
2　10YR2/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性ややあり。10YR4/3 にぶい黄褐色砂ブロック(径～3㎝)5%、炭化物粒(径～3㎜)5%。

SU05



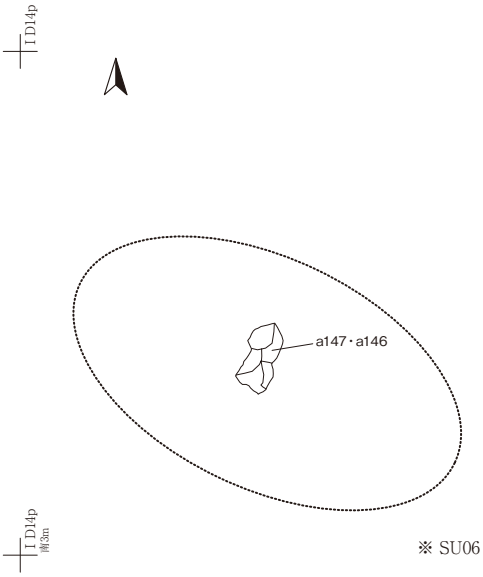


SU05 (A-A'・B-B')
1　10YR3/1 黒褐色　シルト　しまり中、粘性なし。炭化物(径～1㎝)10%、10YR5/4 にぶい黄褐色シルトブロック(径～5㎝)10%。
2　10YR4/1 褐灰色　シルト　しまり中、粘性なし。10YR5/4 にぶい黄褐色シルトブロック(径～5㎝)20%、炭化物(径～1㎝)5%。

0　1：60　2m

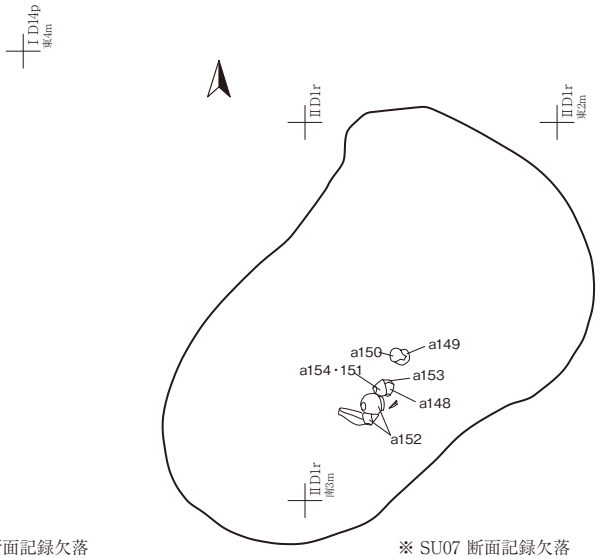
第229図　SU04･05遺物集中

SU06

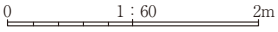


※ SU06 断面記録欠落

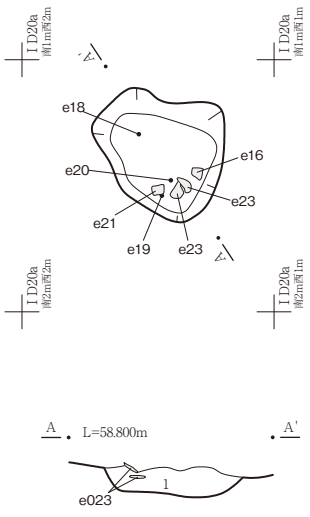
SU07



※ SU07 断面記録欠落



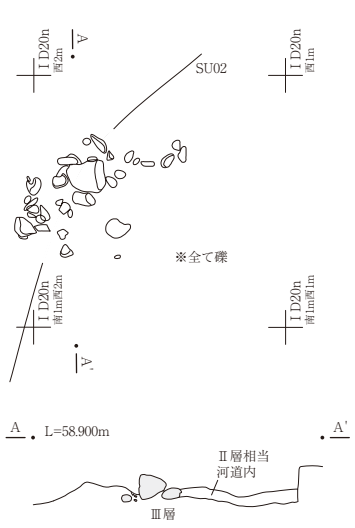
SU08



SU08 (A-A’)

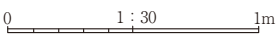
1　10YR3/3　暗褐色　砂質シルト　しまり・粘性弱。炭 (径～ 1 ㎝)1%。10YR3/2 焼土が部分的に混在。

SU09



SU09 (A-A’)

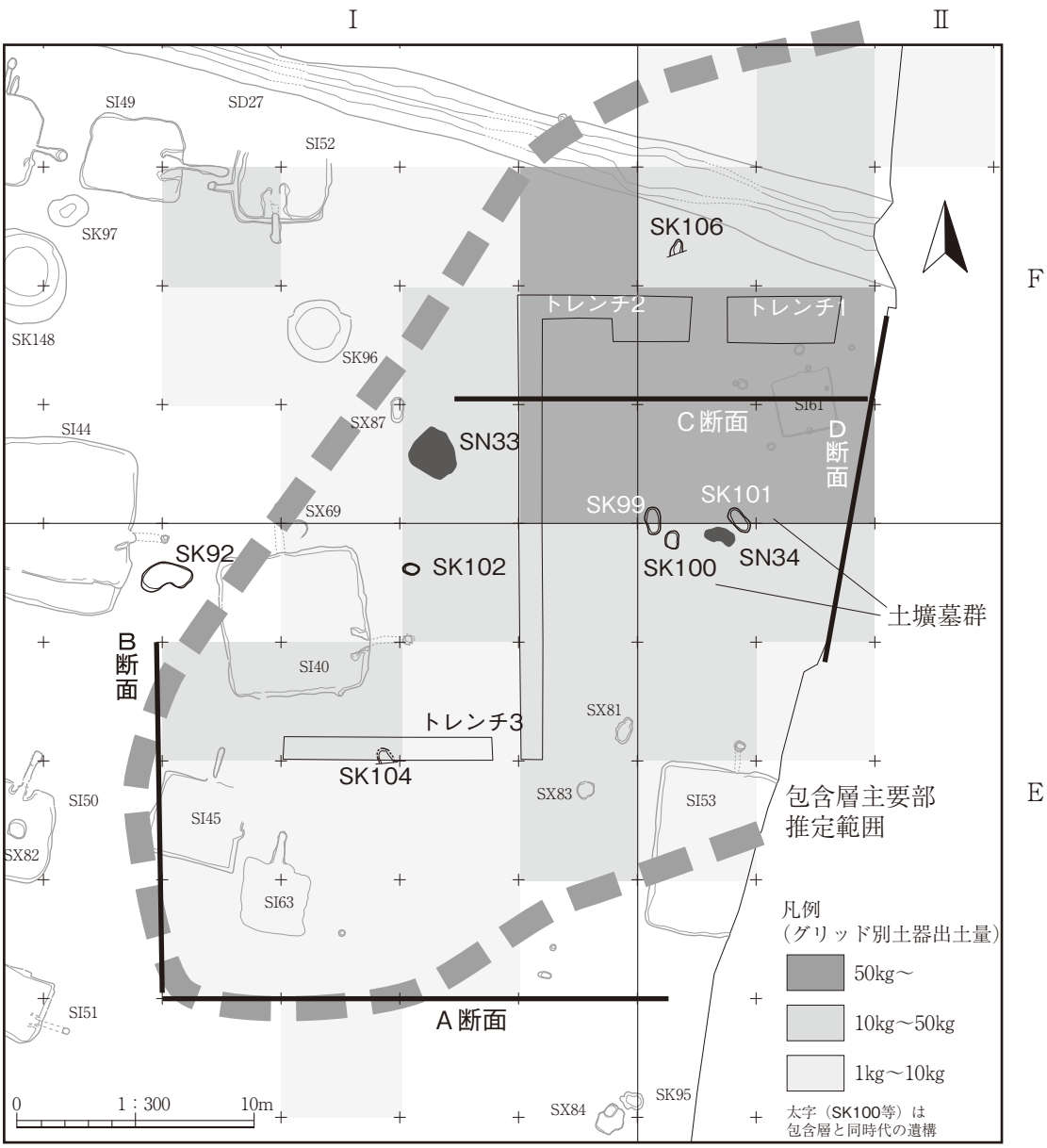
※境界からⅢ層上部にかけて礫集中。
　大きさは多様で、石器素材は含まれない。



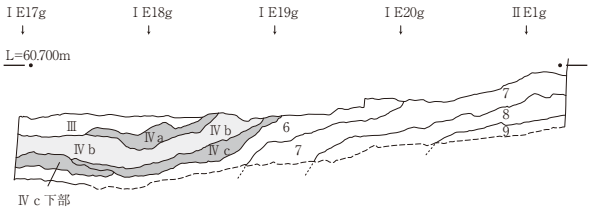
第230図　SU06～09遺物集中

た。一定範囲に広がる弥生時代前期を主体とする遺物包含層が形成されているものと捉え、あらかじめトレンチで下部の包含層範囲と層序を把握した上で、小グリッド単位での掘り下げを行うこととした。**範囲**　第231図上段にグリッド別縄文～弥生土器の出土重量分布図を掲載した。包含層Ⅳａ～Ⅳｃ層までを一括した分布状況である。１グリッドあたり50kgを超すのがＩＦ20a・ＩＦ20b・ＩＦ20c・ⅡＦ1a・ⅡＦ1b・ⅡＦ2a・ⅡＦ2bの７グリッドである。この一帯に遺物分布の重心が位置していると見られる。また１グリッドあたり10kg以上の土器重量を出土するグリッドは、南西端のＩＥ17sグリッドから北東端のⅡＦ2dグリッドまで約30m四方の範囲内に収まる。更に分布密度の濃いエリアは、北東－南西方向の長軸を持つ楕円形の範囲（図中に太破線で図示）に該当する可能性が高い。この図に示した範囲外でも、ＩＦ・ⅡＦグリッド北半にまで弥生土器の分布は見られるが、上述の楕円形範囲内における出土量が格段に多いと見られる。縦横方向の縮尺を変倍した断面模式図（第231図下段）を見ると、この楕円形の長軸にあたる部分がやや窪む地形と見ることができる。北東－南西の軸線を持つ、緩い傾斜の旧河道ないし自然地形の窪地に包含層が堆積した状態である。なお、土器分布の北側はⅡＧグリッド内まで広がる状況にあるが、古代の遺構群や現代の攪乱によって包含層としての残存状況は不良であり、範囲を明示し得ない。また量的にも少なくなることから、可能性としては楕円形範囲の包含層の延長部分は、調査区外東側にその本体が位置すると考えられる。**土層**　包含層の主体となるのは基本層序Ⅳ層である。当該地点では概ね上位から黒褐色シルト層：Ⅳａ層、褐色細砂～砂質シルト層：Ⅳｂ層、黒褐色～褐色粘土質シルト層：Ⅳｃ層と３層に分層される状態である（第231図下段・232図参照）。これらはⅢ層細砂層によって全面的に覆われる。Ⅲ層下部のⅣａ層に接する部分にも遺物、炭化物の一定量包含が見られる。なお、部分的にⅣａ層の上部にやや明色でⅢ層に近い砂質シルト層が形成されており、これをⅣａ層上部とした（第232図Ｂ断面）。同様にⅣｃ層が色調によって２分される地点があり、Ⅳｃ層上部・Ⅳｃ層下部としている（第232図ＡＢＤ断面）。各包含層の中ではⅣａ層が最も暗色かつ人工遺物、炭化物を多く含み、腐植土の状態に近い。これにⅣｃ層が次いでおり、北東部（Ｄ断面付近）ではⅣａ層とほぼ同相と捉えられる。一方南西部（Ｂ断面南側付近）ではⅣｃ層は褐色の粘土質シルトの層相であり、遺物や炭化物の含有は少ない。間層にあたるⅣｂ層は上下層に比較し明色、かつ粗粒で人為的な包含層とはやや異なる様相である。しかしⅣｂ層全体にわたり一定量の遺物を含む。**精査方法**　Ⅲ層上面から試掘トレンチ（幅0.5～1.0m）をグリッド境界に沿って設定し、Ⅲ・Ⅳ層層界の把握及びⅣ層の分布状況確認を行った。この段階ではⅣ層細分層は確定していなかったため、トレンチ内のⅣ層出土遺物は一括取り上げとしている。次いでトレンチ断面を元にしてⅢ層の掘削に入る。Ⅲ層下部には一定量の遺物包含が見られるため、重機使用はⅢ層中位までに留め、Ⅲ層下部は人力によって掘り下げた。人力での掘削は小グリッド（５m四方）単位で行い遺物を収納している。全面的にⅣ層を露出した段階で、Ⅳａ層上面での遺構検出を行った。この作業でⅡＦグリッド南西隅にSI61住居跡を検出､精査している｡包含層本体の掘り下げは各グリッドの１端にサブトレンチを入れ層序確認を行った上で掘り進めた。なお、各細分層の層界を露出した段階で遺構検出を繰り返している。中央部に分布する土壙墓群（SK99～101土坑）はⅣｂ層上面で検出したものである。また包含層土壌に混入する焼骨片、炭化種実片の集中はグリッド単位で取り上げを行っている。**遺物出土状況**　上記の遺物分布密度の濃いエリア内では完形に近い土器類の出土が見られ、浅鉢が伏せてある状態のものも含まれた。これらは埋設土器の可能性を考慮し、状態に応じて断ち割り記録等を行っているが、結果的には全て包含層中に残存する略完形個体等であり、個々の記録掲載は省略している。包含層中の遺構　包含層範囲ないしその近傍において同時代に該当する遺構は、SK92・99～102・104・106土坑、SN33・34焼土遺構が該当する。土坑はⅣｂ層上面での検出遺構が多

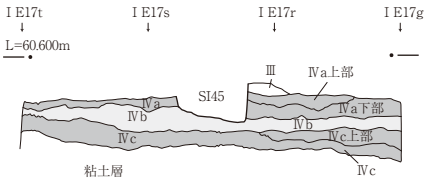
い。砂層となるⅣb層中に黒色～黒褐色埋土のプランで明瞭に見えるパターンである。焼土遺構はいずれも包含層底面に広がる現地性焼土である。人為的に形成された焼土遺構であることは確実だが、包含層堆積との関連は明確ではない。**包含層の時期**　第３節遺物（１）縄文・弥生土器の項で土器群の分類も含めて後述するが、Ⅳc層出土土器は大洞A'式古段階主体、Ⅳb層は大洞A'古段階～新段階、Ⅳa層は谷起島式（山王Ⅲ層式）～川岸場式段階の土器が主体となっており、包含層形成時期もこれに概ね相当すると考えられる。Ⅳb層とⅣa層の間で、大きな時期的な変化が存在していることは確実と見られる。



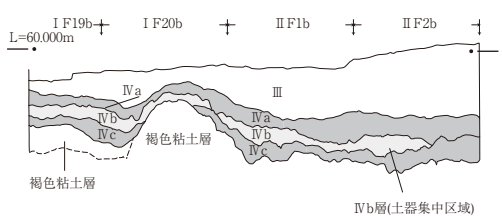
A 断面図 中央部東西方向



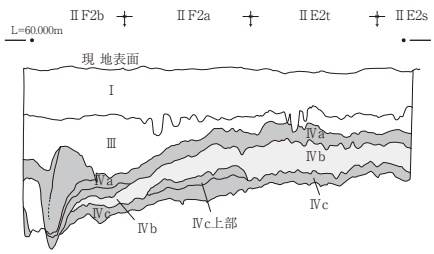
B 断面図 中央部南北方向



C 断面図 北東部東西方向



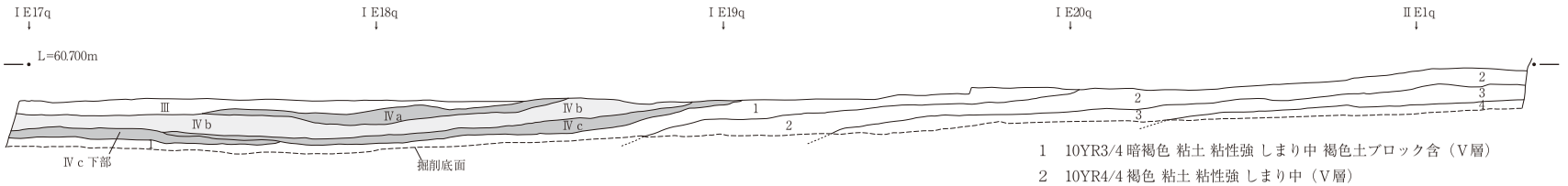
D 断面図 北東部調査区境南北方向



いずれも垂直方向 S=1/80 水平方向 S=1/300

第231図　D区包含層（1）

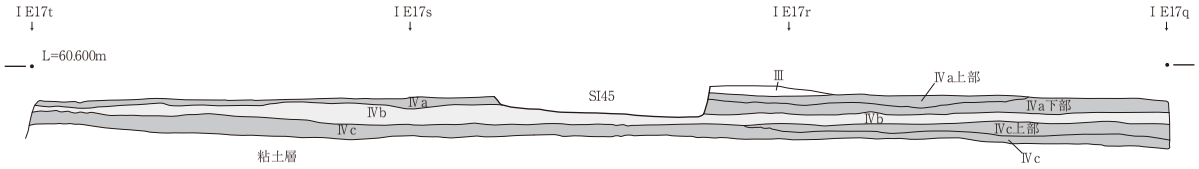
A断面図 中央部東西方向 （ⅠE17q～ⅡE1qライン）



Ⅲ層　10YR4/3 にぶい黄褐色 細砂 粘性なし しまり弱 均質
Ⅳa 層 7.5YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり弱 遺物多量
Ⅳb 層 10YR4/4 褐色 細砂 粘性なし しまり弱 遺物含
Ⅳc 層　7.5YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 遺物多量
Ⅳc 層下部 7.5YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 遺物少量含

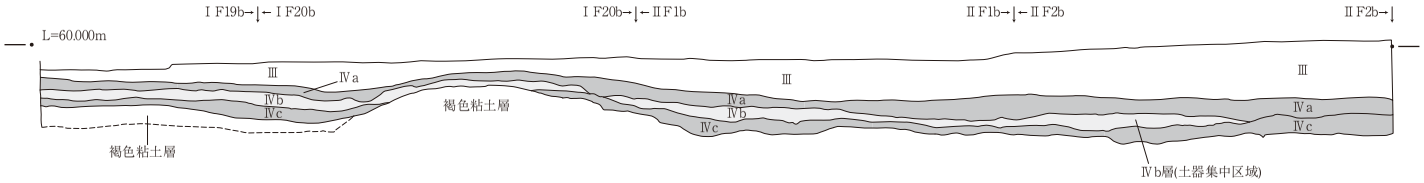
1　10YR3/4 暗褐色 粘土 粘性強 しまり中 褐色土ブロック含（Ⅴ層）
2　10YR4/4 褐色 粘土 粘性強 しまり中（Ⅴ層）
3　7.5YR3/3 暗褐色 粘土 粘性強 しまり中（Ⅴ層）
4　10YR4/4 褐色 粘土 粘性強 しまり中（Ⅴ層）

B断面図 中央部南北方向 （ⅠE17t～qライン）



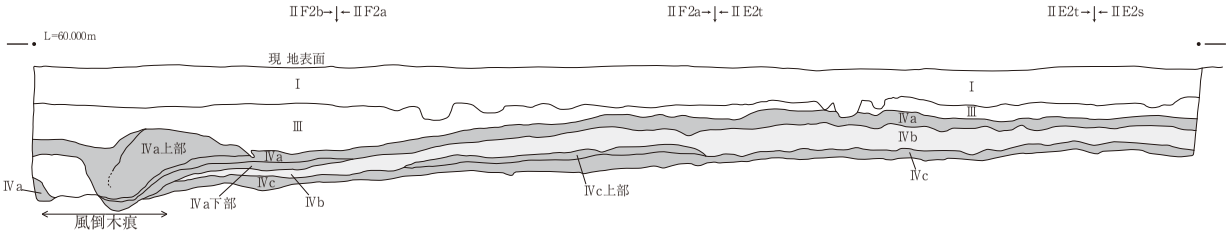
Ⅲ層　　10YR4/3 にぶい黄褐色 細砂 粘性なし しまり中 均質 炭化物含
Ⅳa 層上部 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 しまり中
Ⅳa 層下部 7.5YR3/2 黒褐色 シルト 粘性中 しまり中 遺物多量
Ⅳb 層　　10YR4/4 褐色 細砂～砂質シルト 粘性弱 しまり中 炭化物含 遺物少量
Ⅳc 層上部 7.5YR4/3 褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 炭化物含 遺物少量
Ⅳc 層下部 7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 粘性中 しまり中 炭化物含 遺物少量

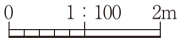
C断面図 北東部東西方向 （ⅠF19b～ⅡF2bライン）

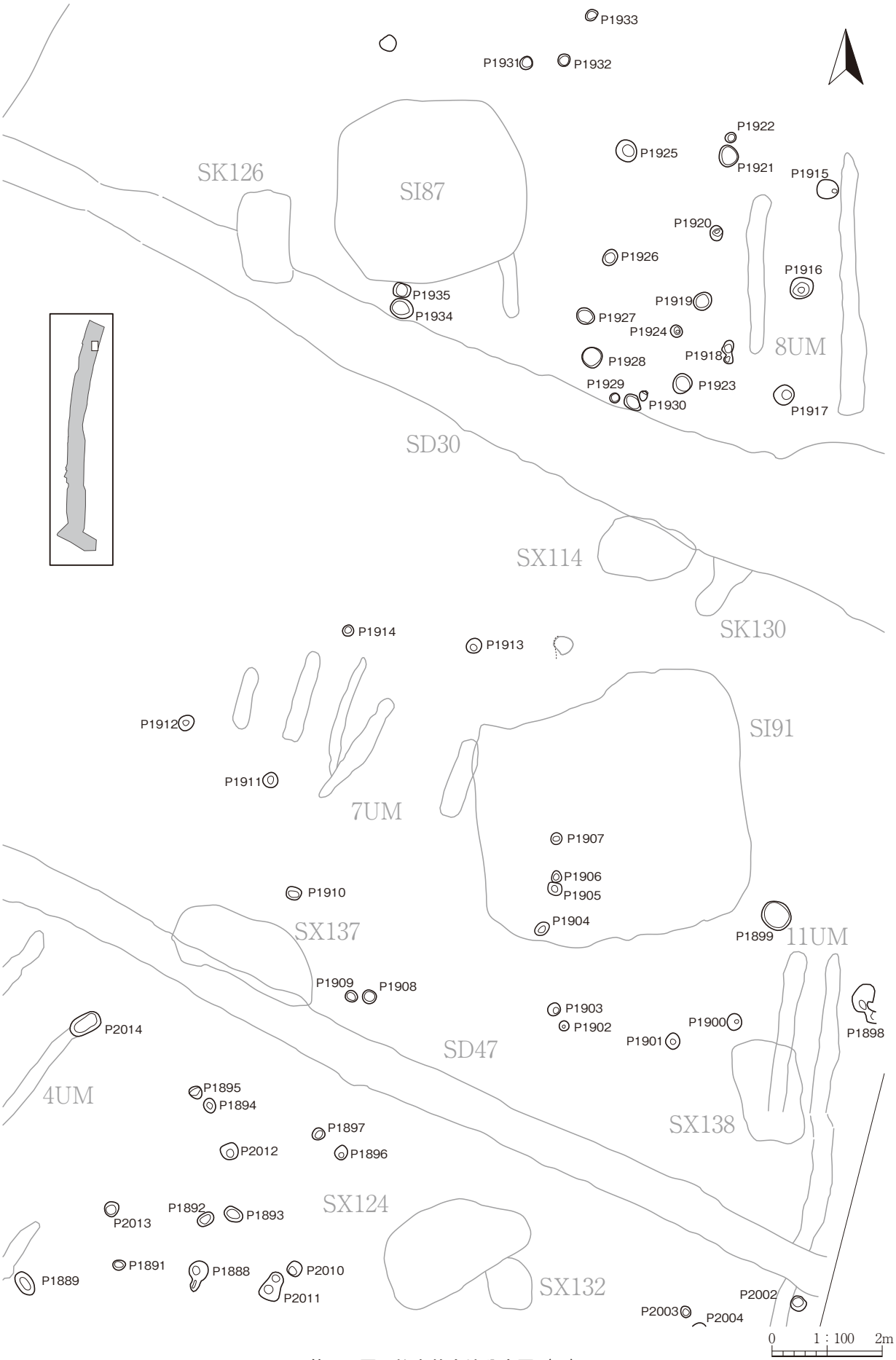


Ⅳa 層　7.5YR2/2 ～ 3/2 黒褐色 シルト
Ⅳb 層　10YR4/4 褐色 細砂～粗砂
Ⅳc 層　7.5YR4/3 ～ 4/4 褐色 粘土質シルト

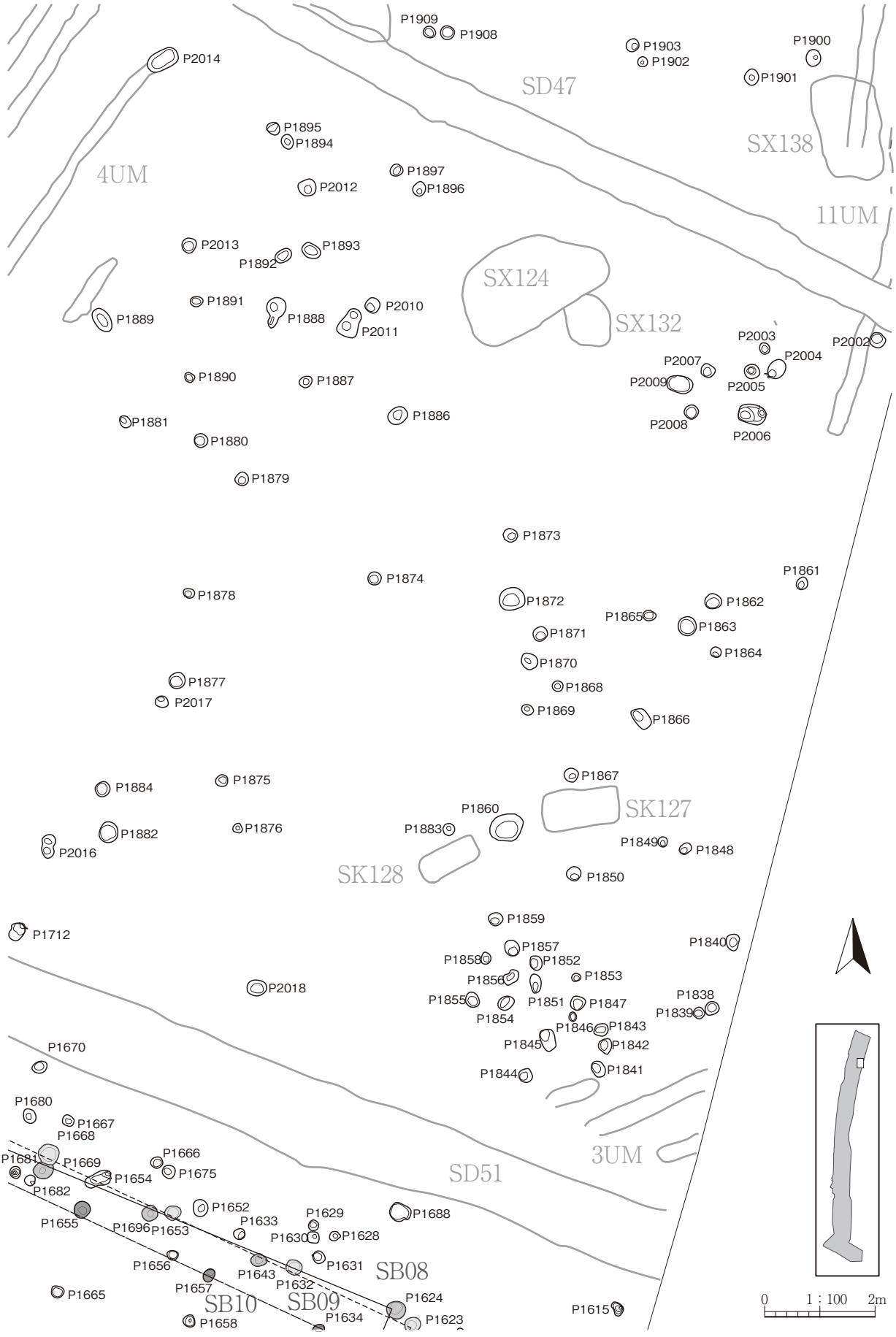
D断面図 北東部調査区境南北方向 （ⅡF2b～ⅡE2aライン）



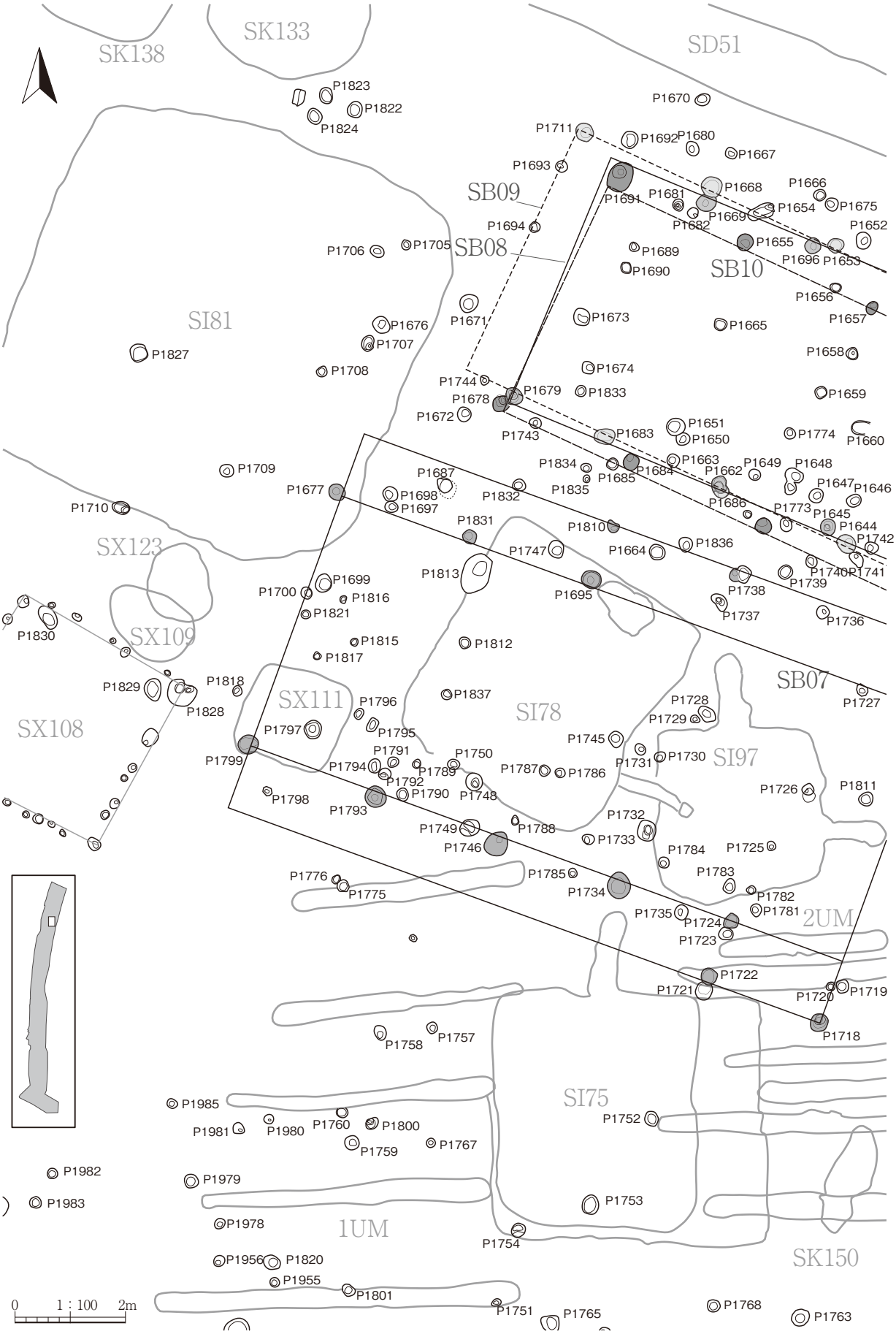




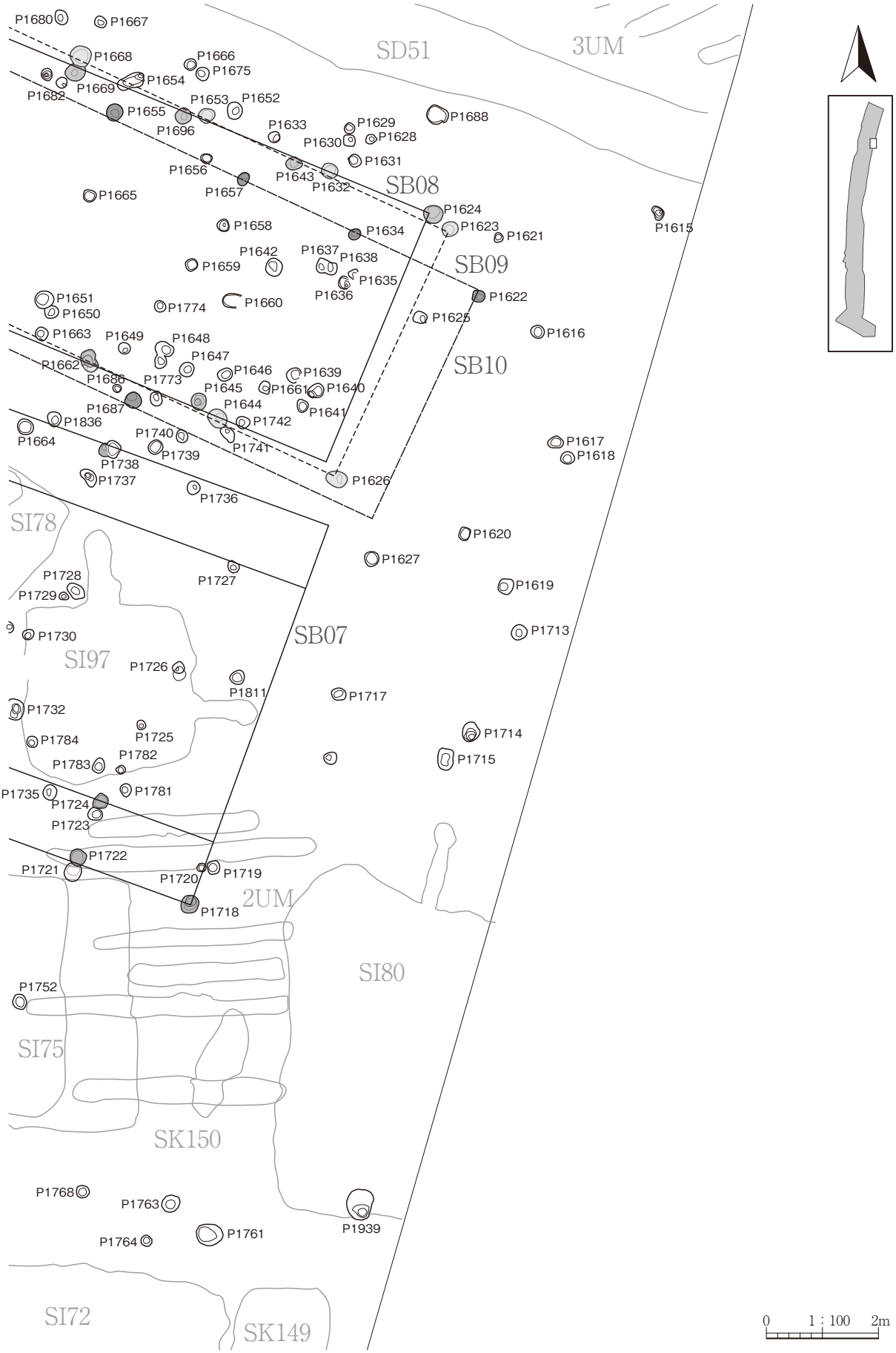
第233図　柱穴状土坑分布図（1）



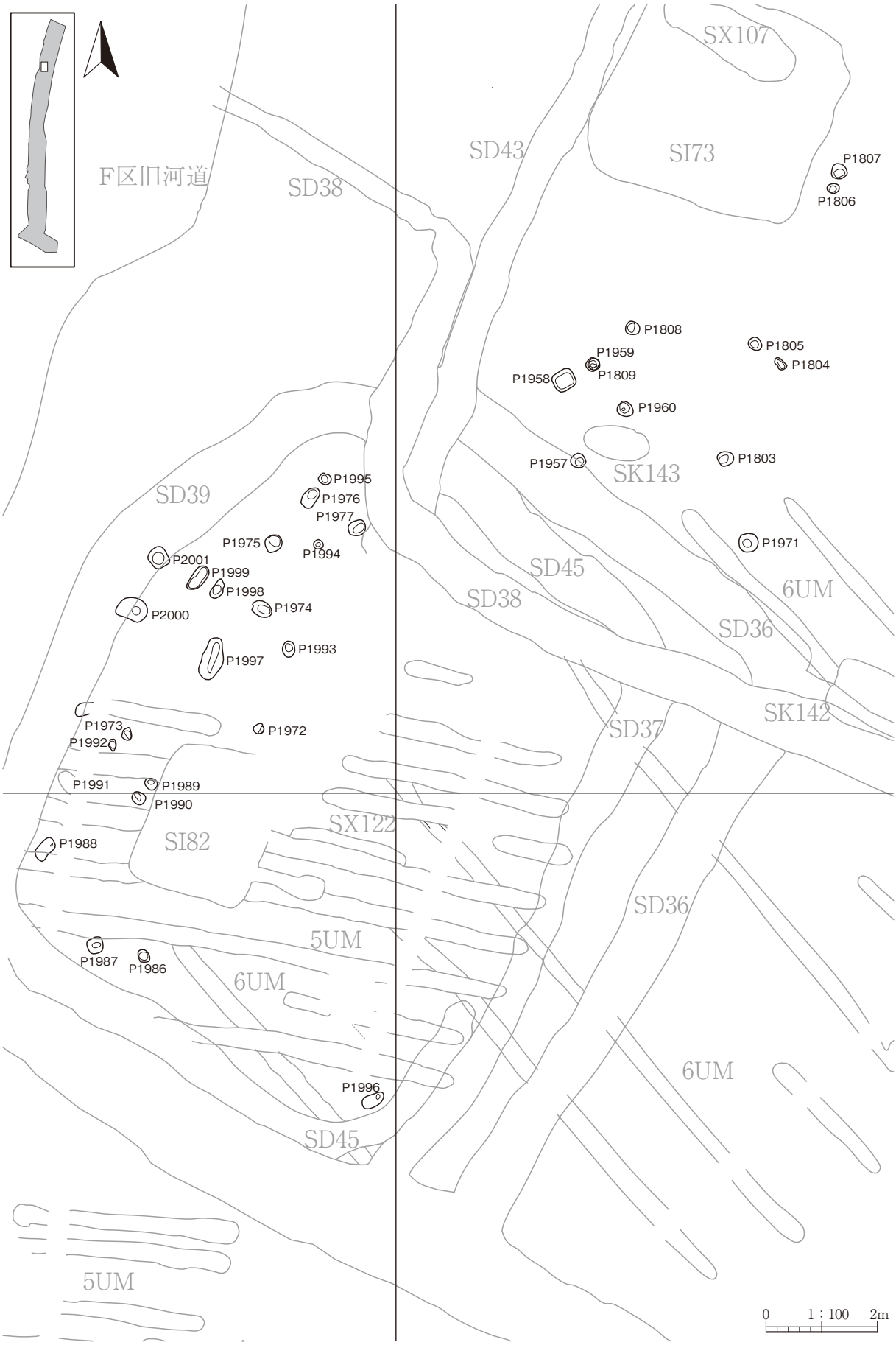
第234図　柱穴状土坑分布図（2）



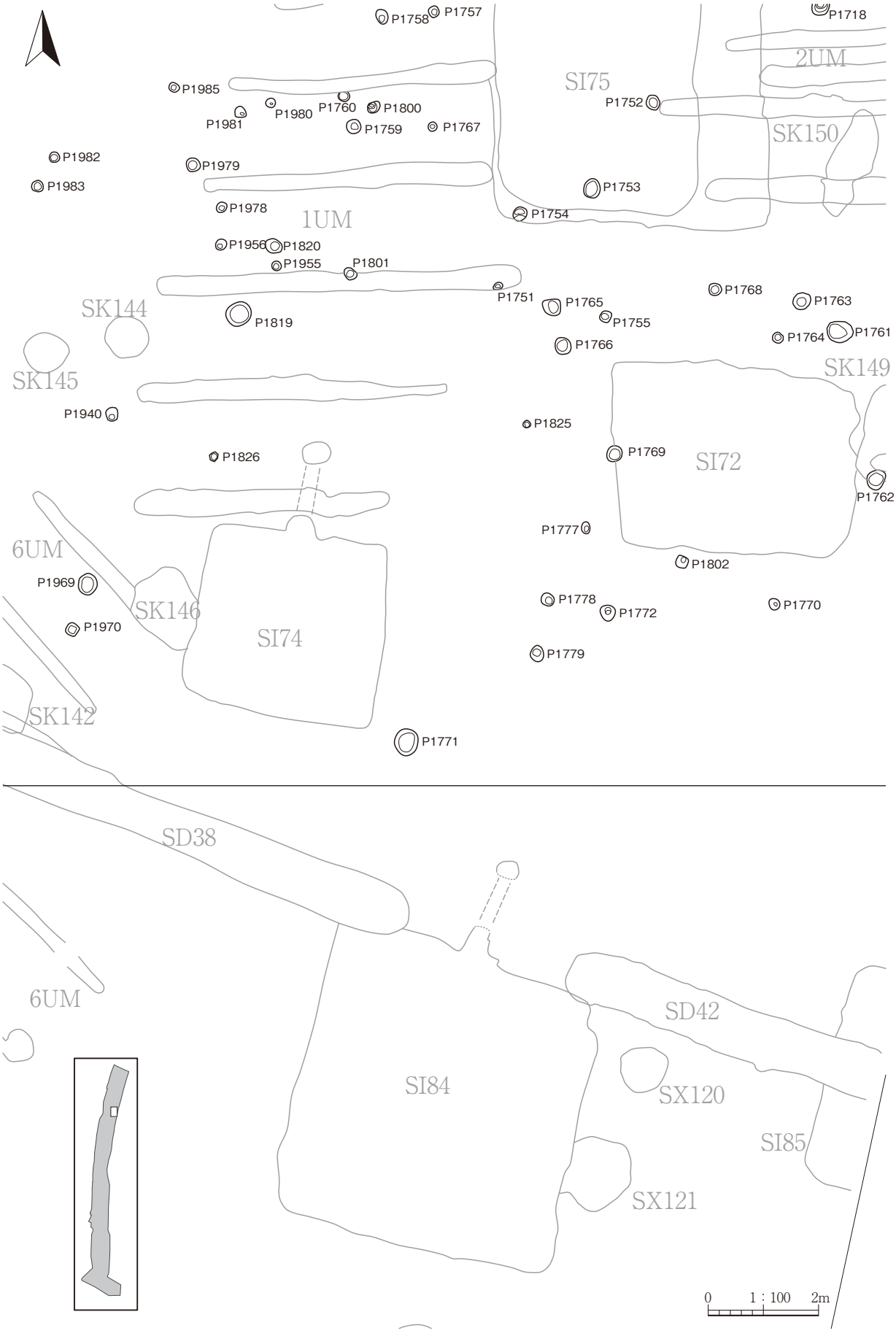
第235図　柱穴状土坑分布図（3）



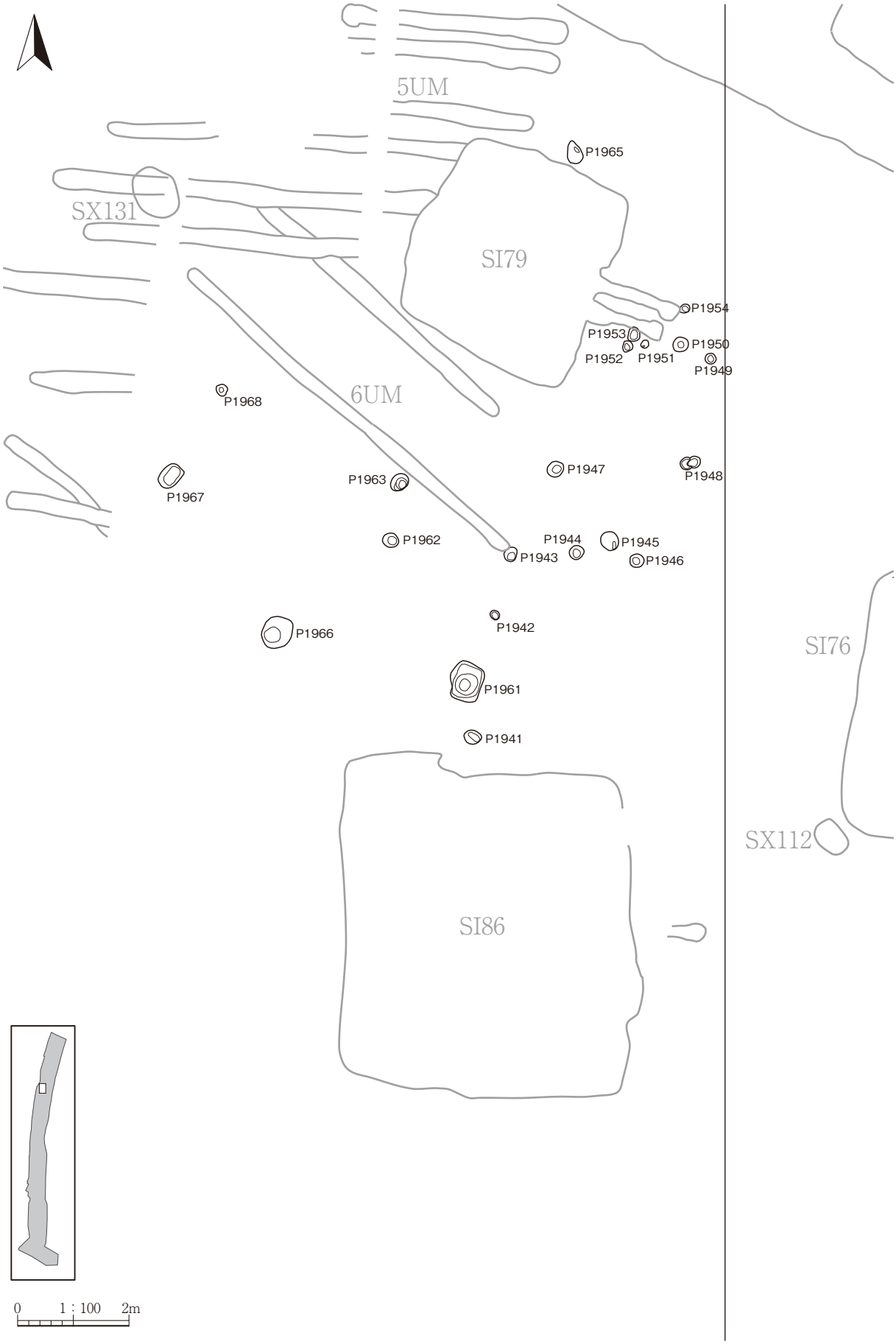
第236図　柱穴状土坑分布図（4）



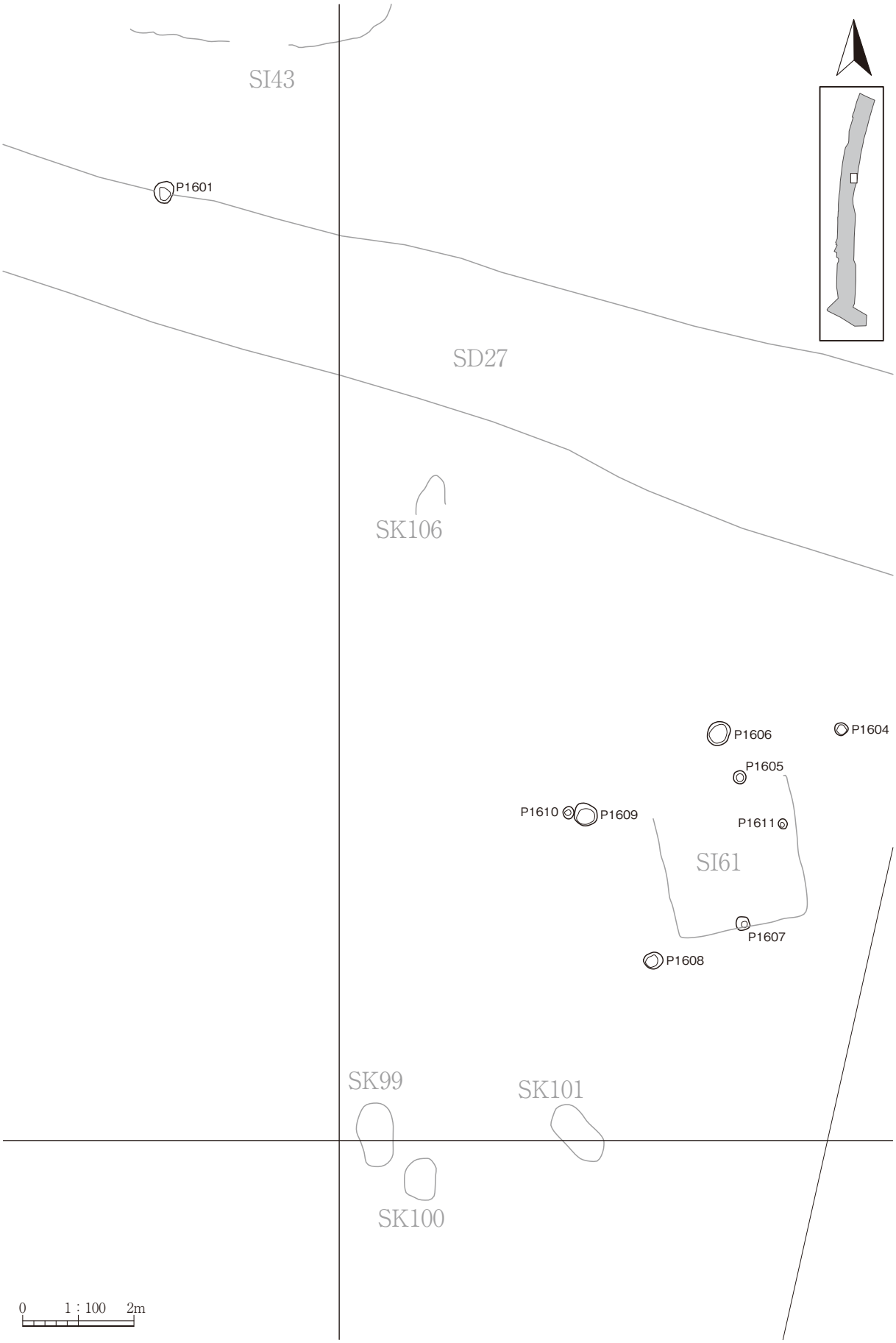
第237図　柱穴状土坑分布図（５）



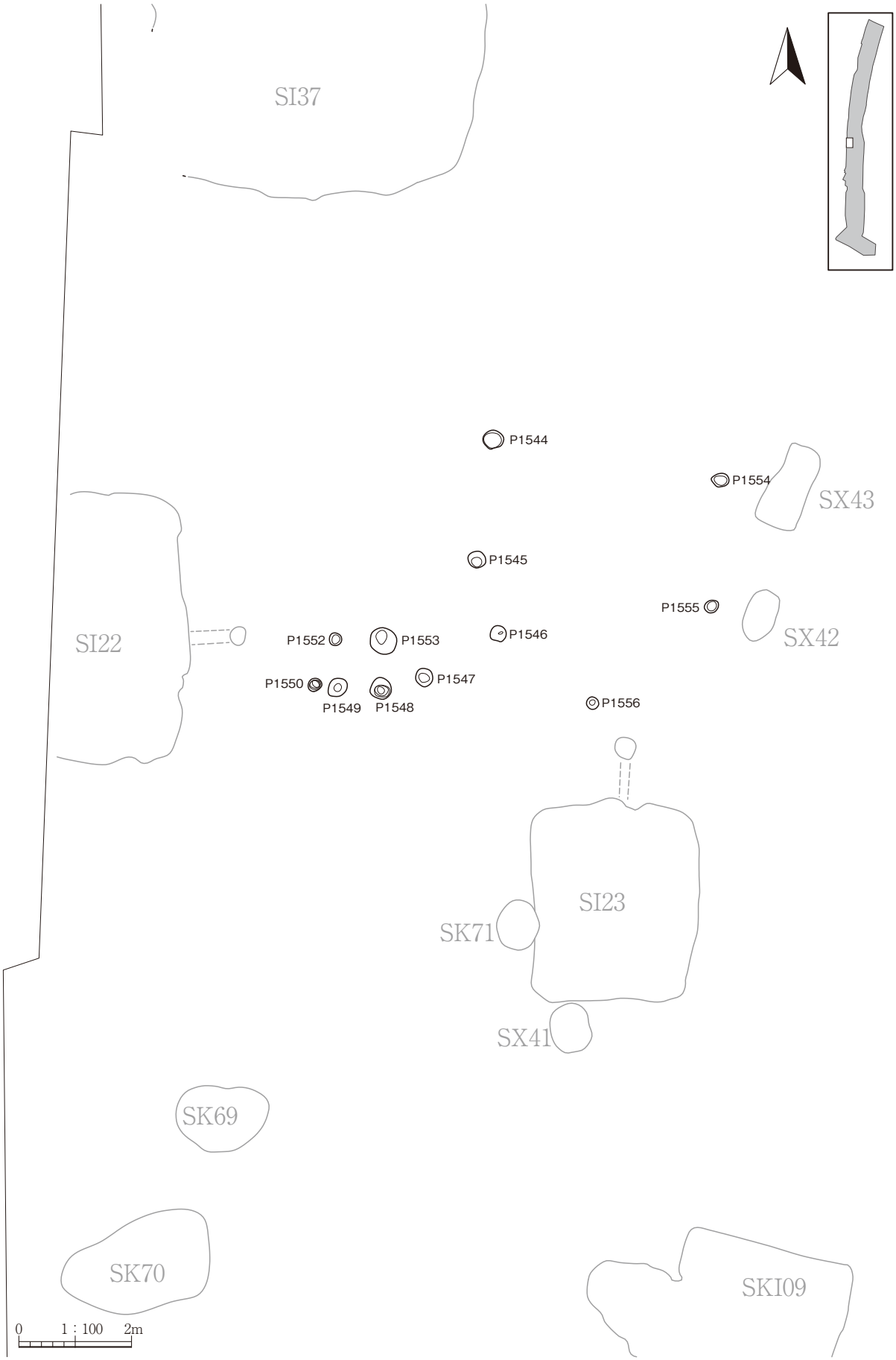
第238図　柱穴状土坑分布図（6）



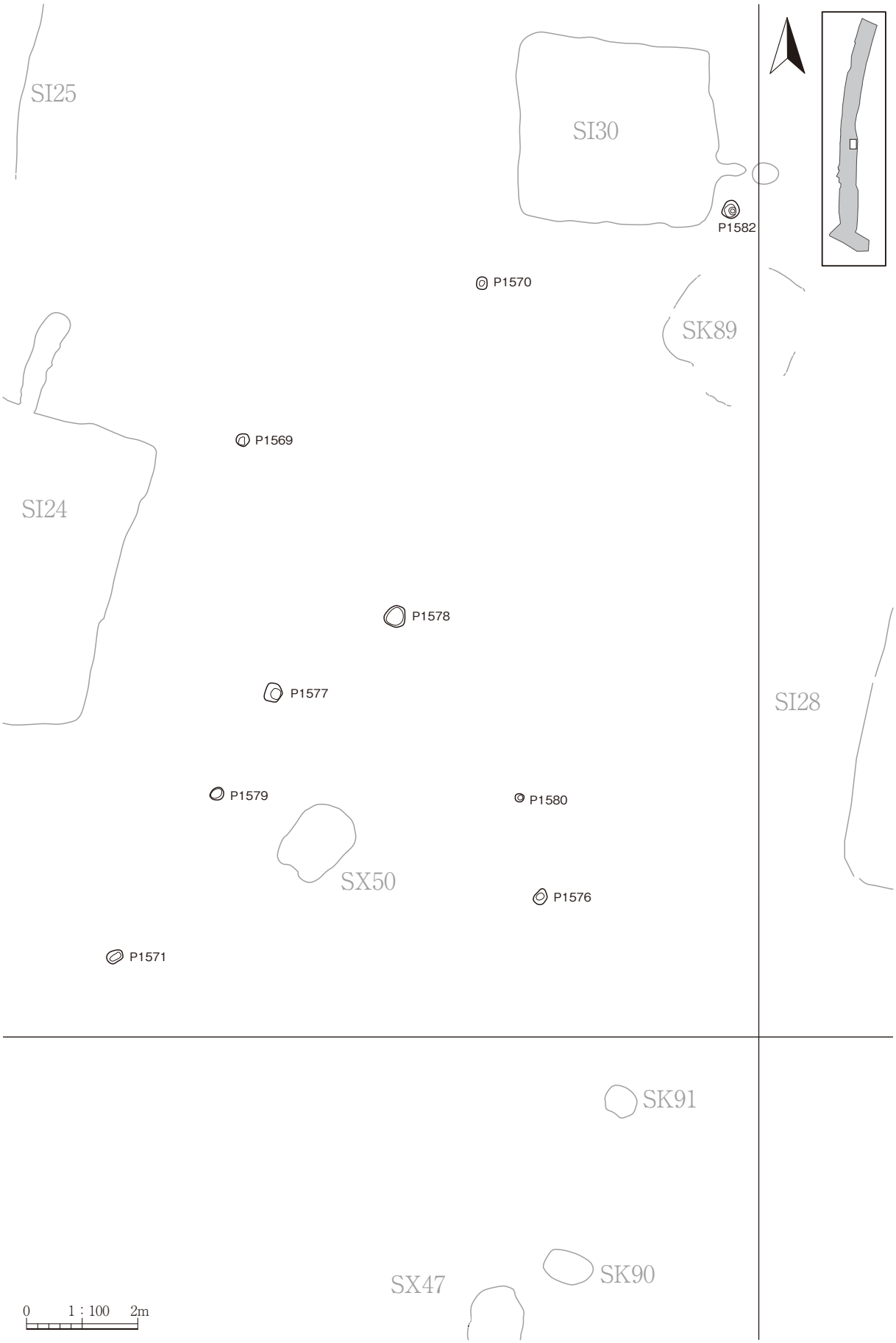
第239図　柱穴状土坑分布図（7）



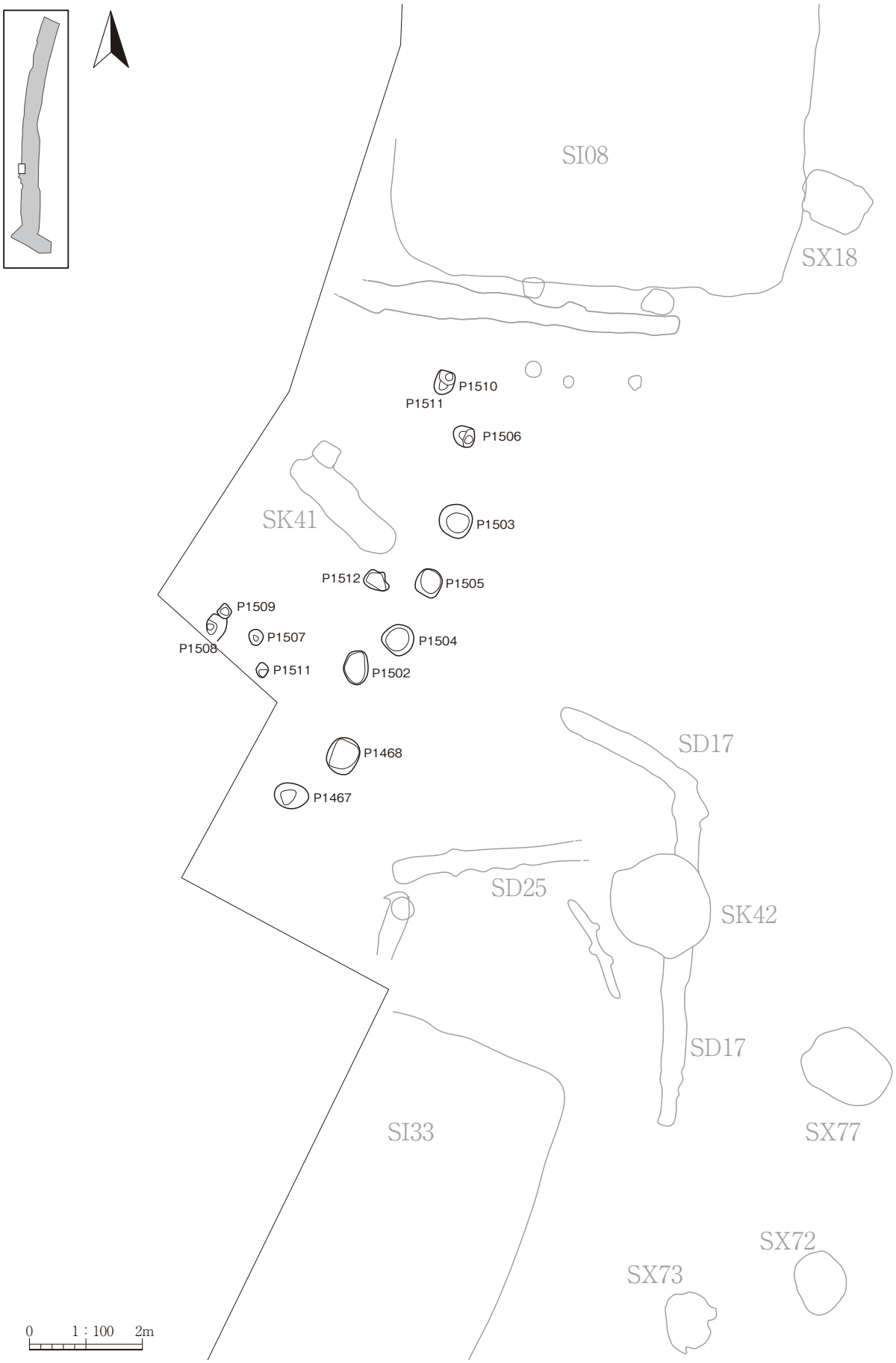
第240図　柱穴状土坑分布図（8）



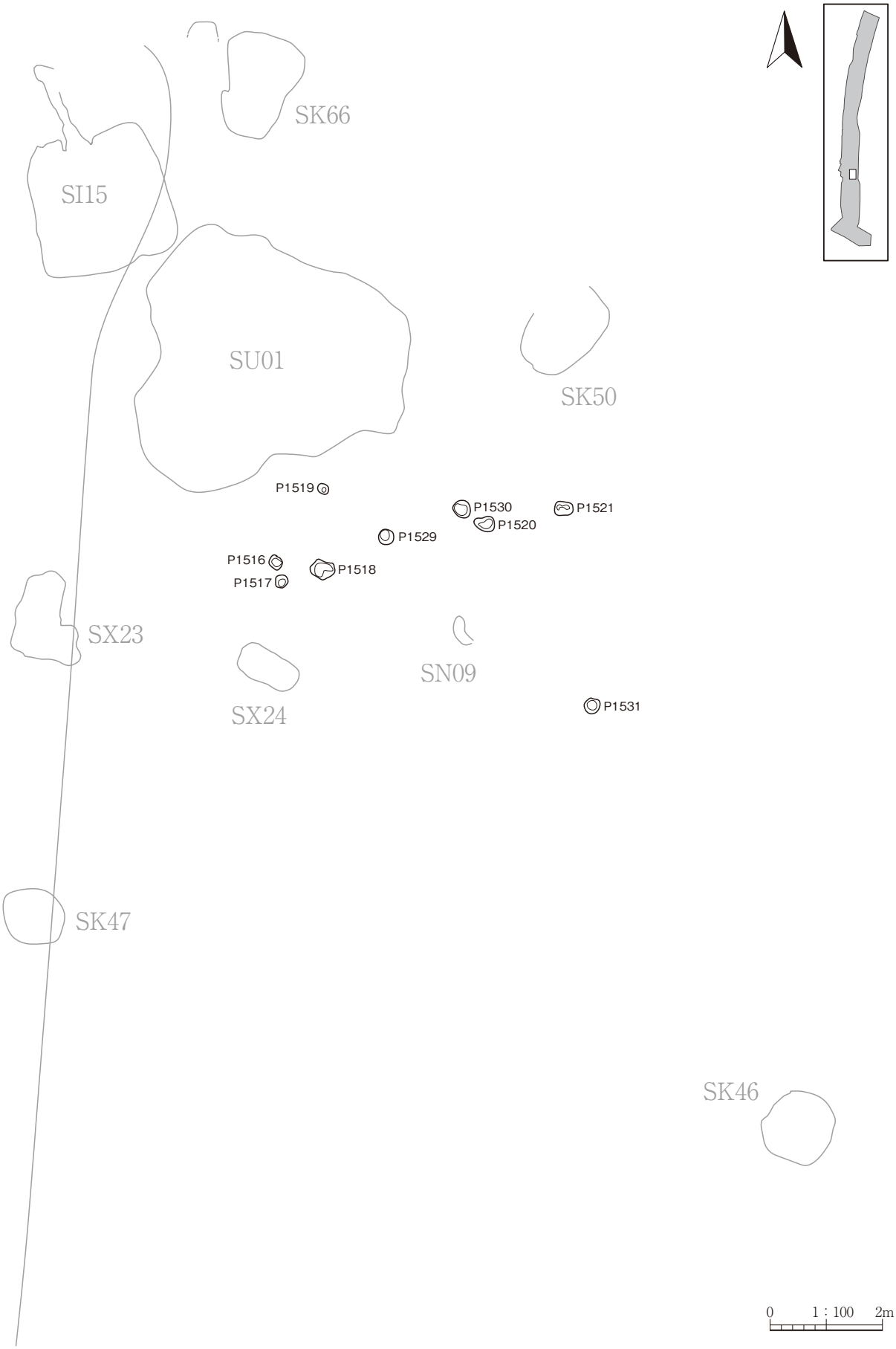
第241図　柱穴状土坑分布図（9）



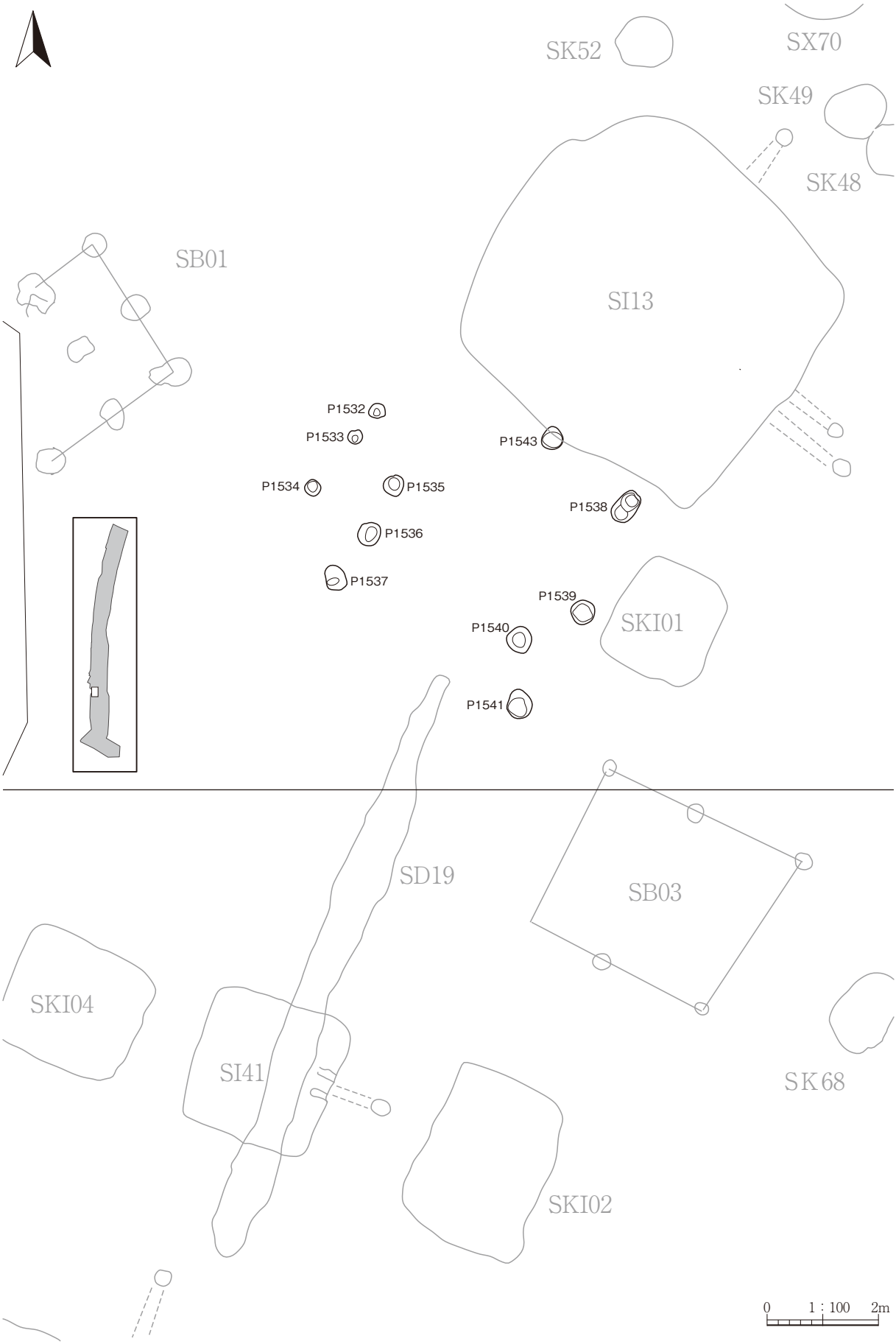
第242図　柱穴状土坑分布図（10）



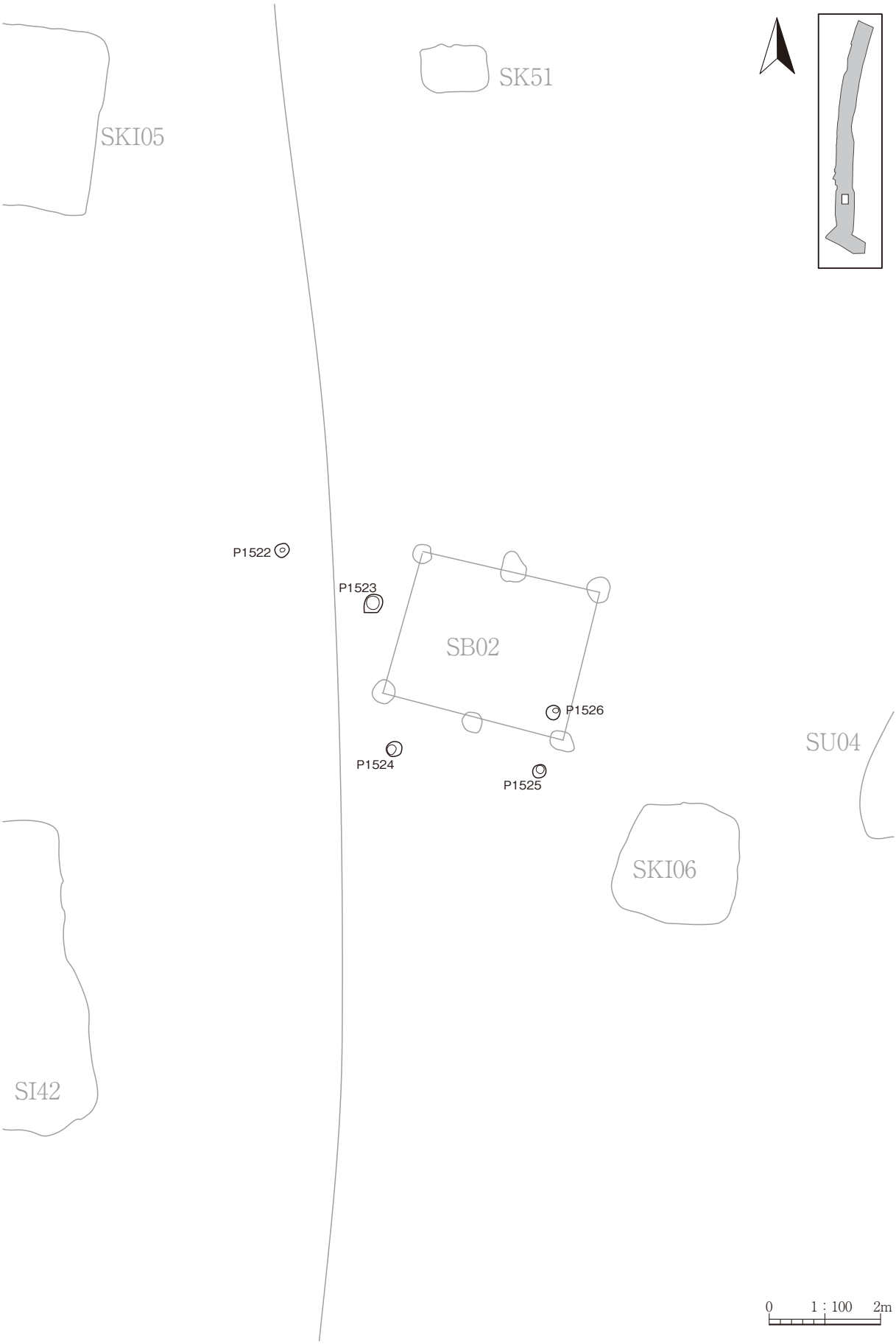
第243図　柱穴状土坑分布図（11）



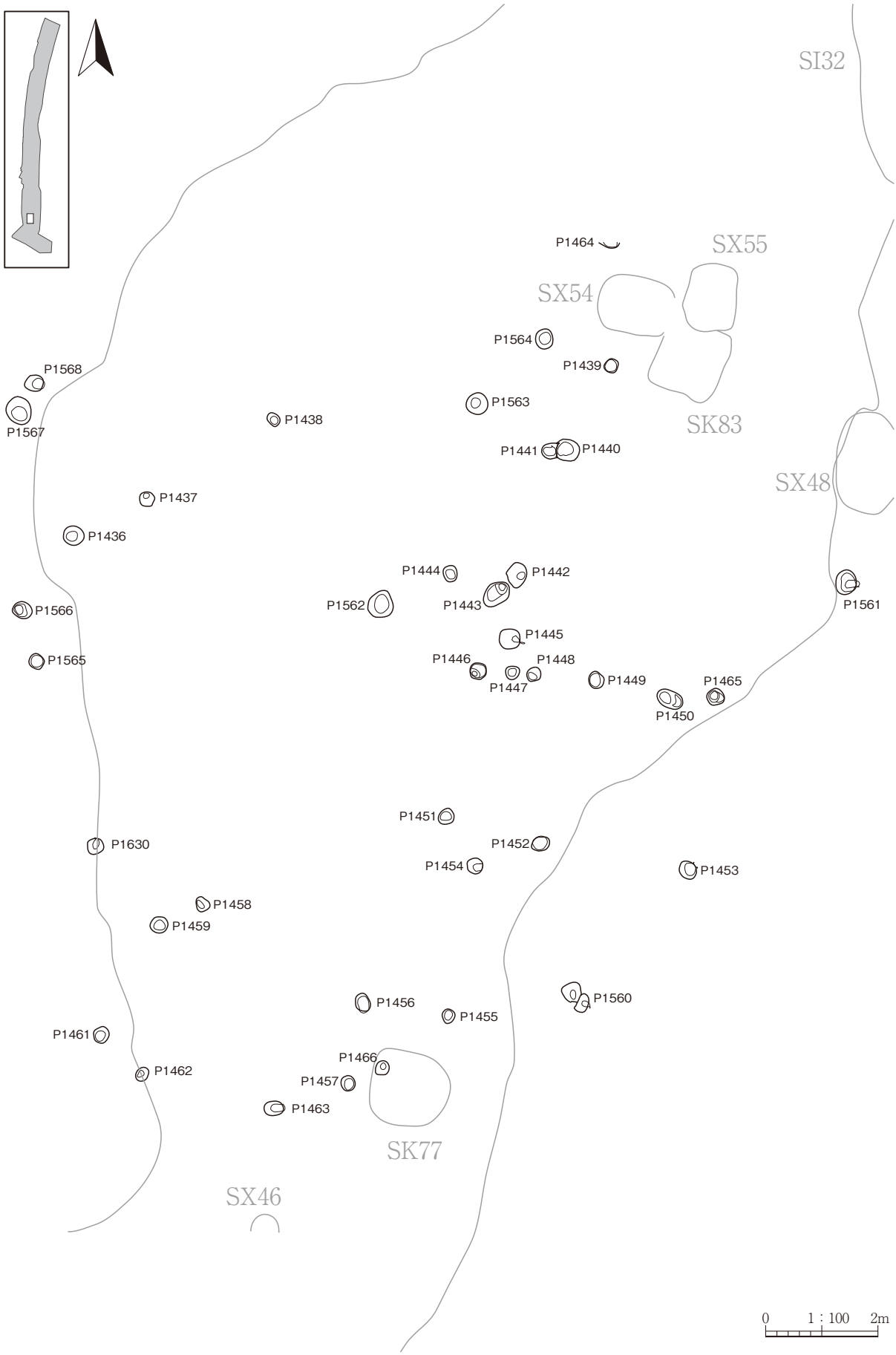
第244図　柱穴状土坑分布図（12）



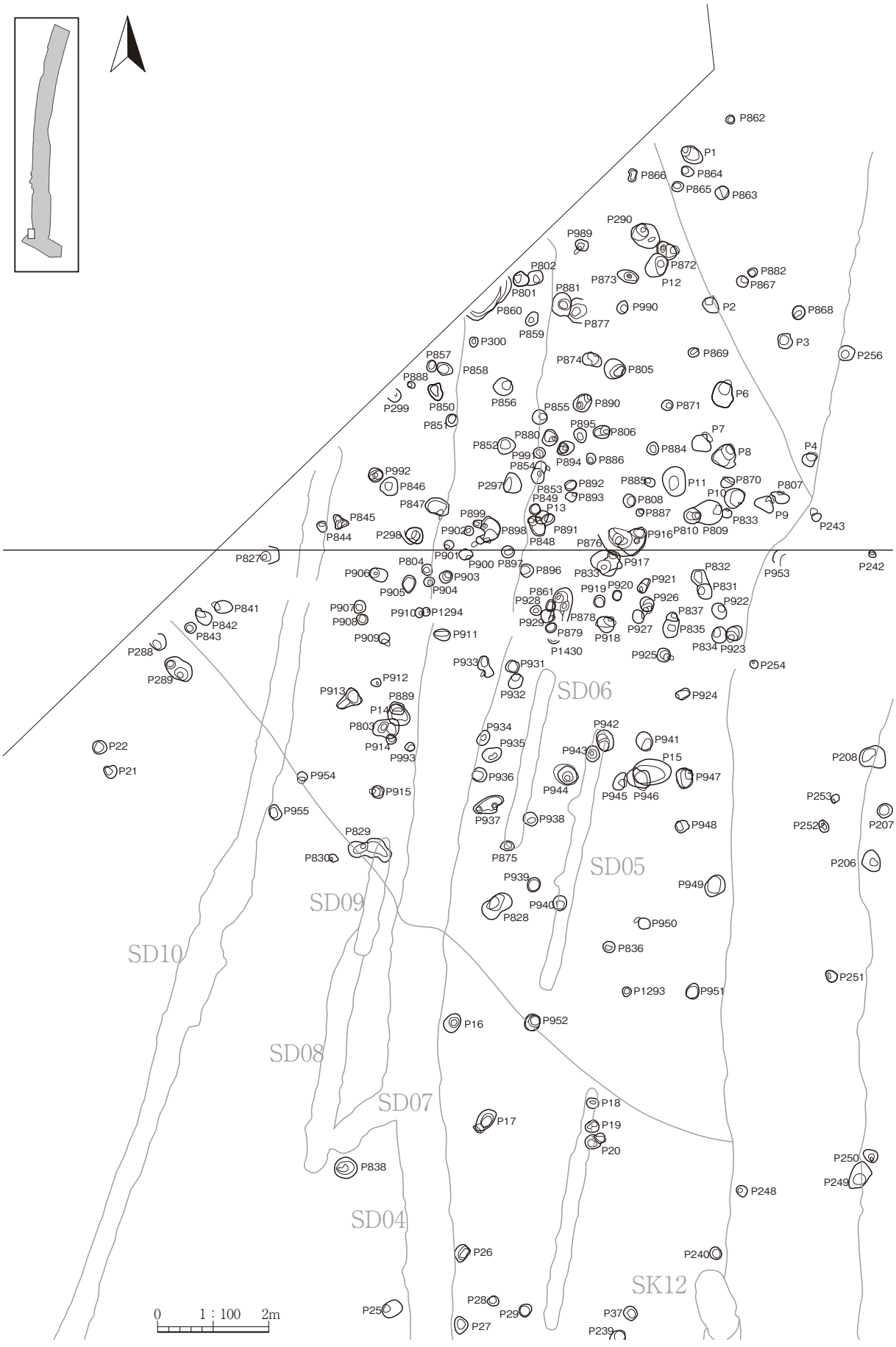
第245図　柱穴状土坑分布図（13）



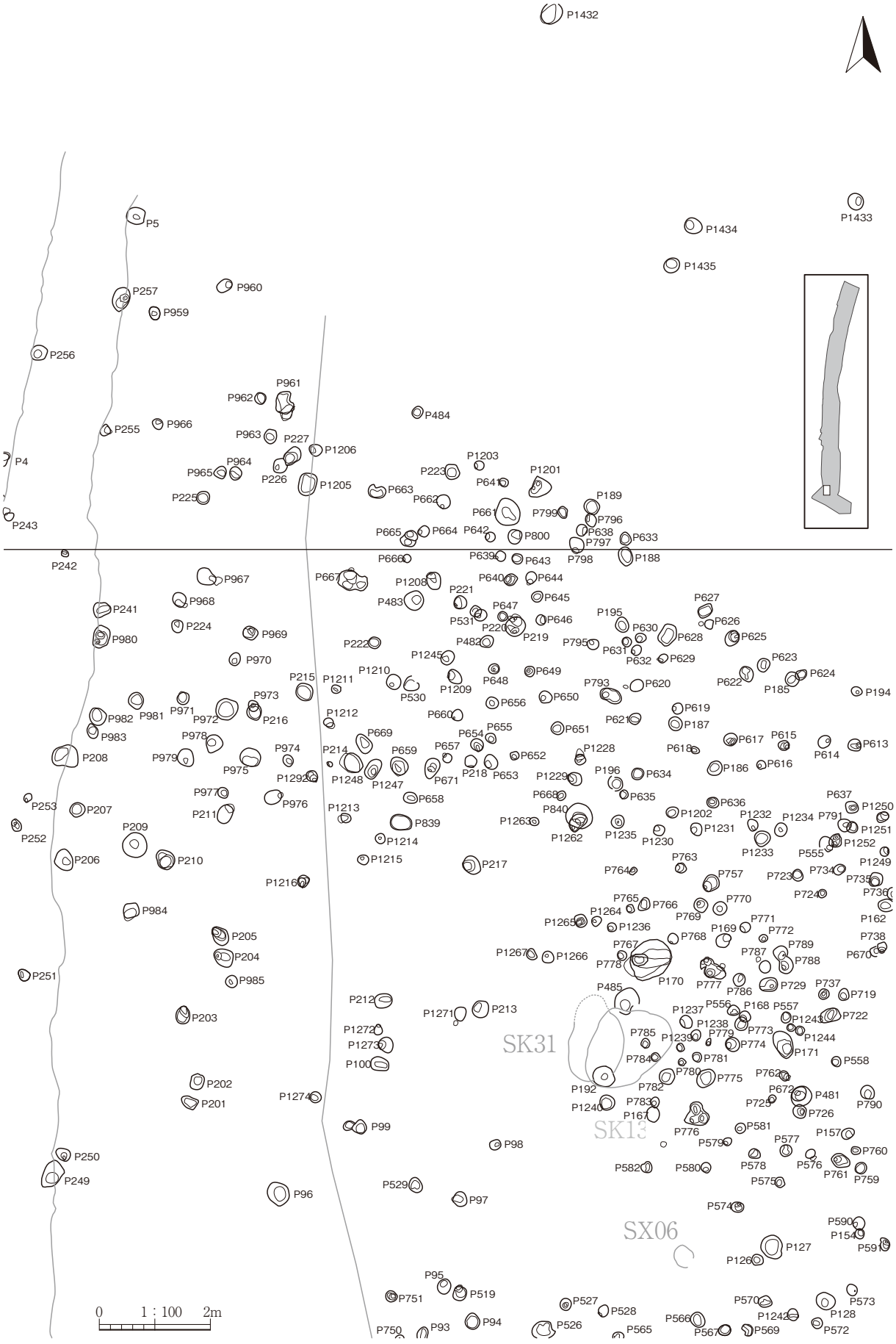
第246図　柱穴状土坑分布図（14）



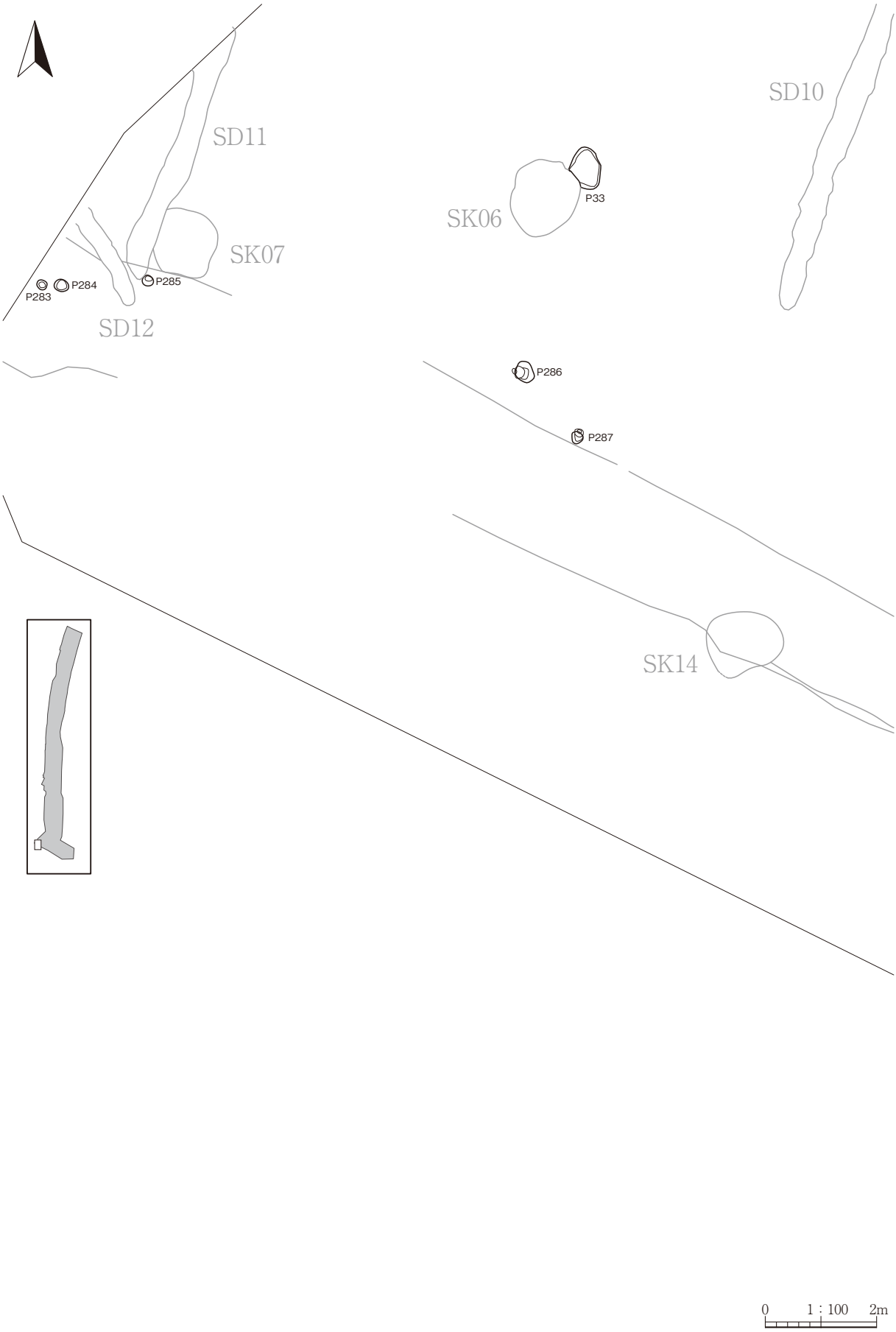
第247図　柱穴状土坑分布図（15）



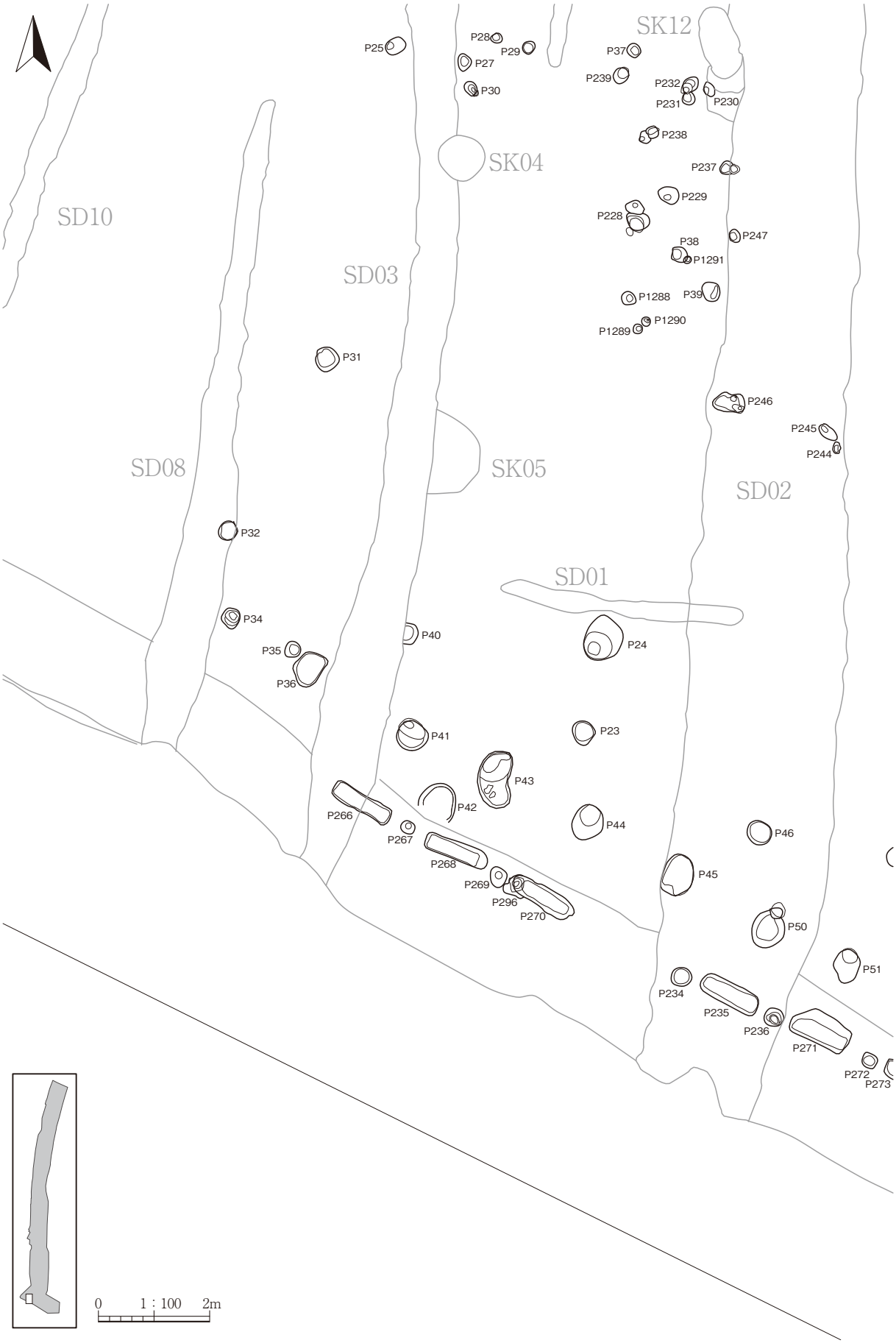
第248図　柱穴状土坑分布図（16）



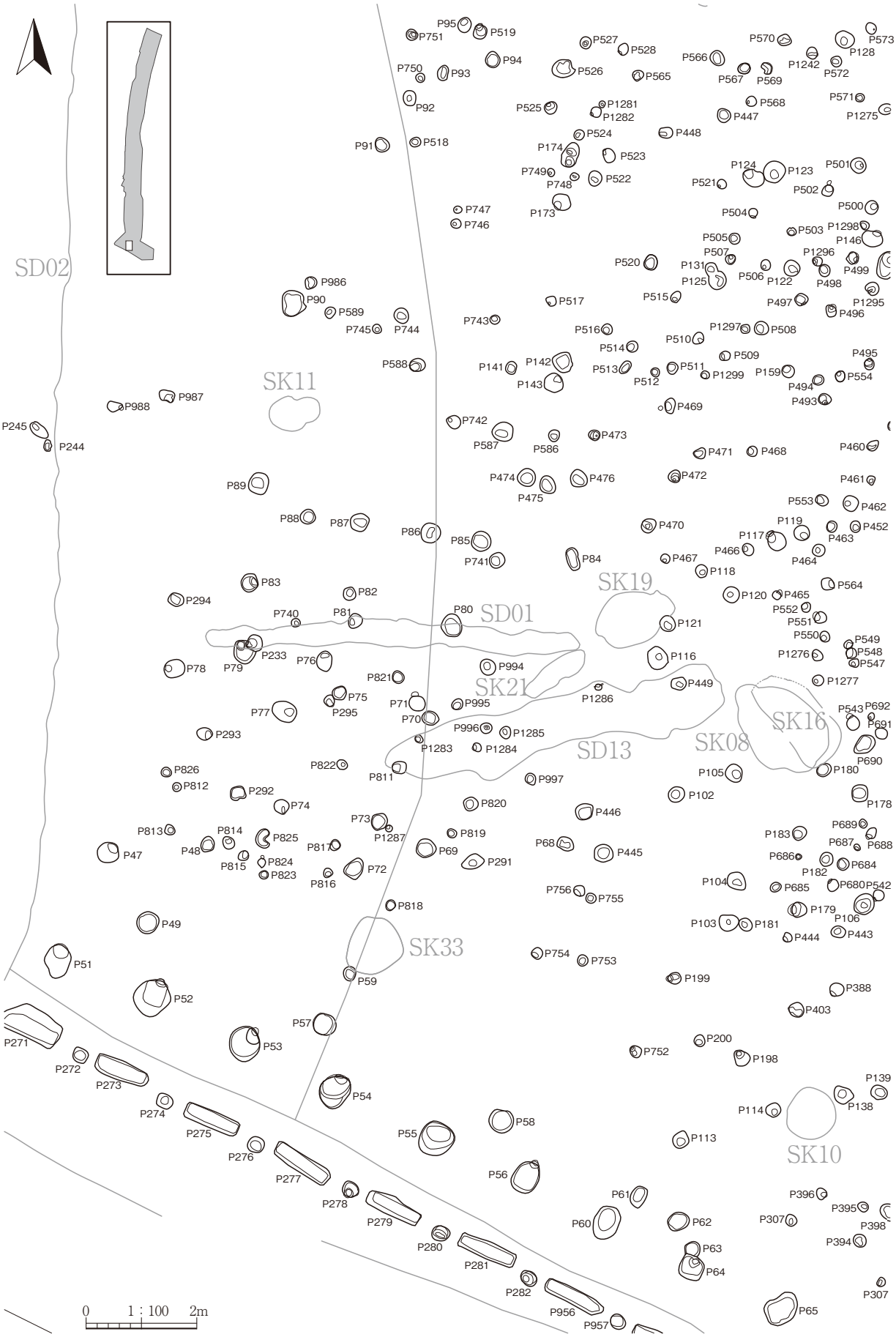
第249図　柱穴状土坑分布図（17）



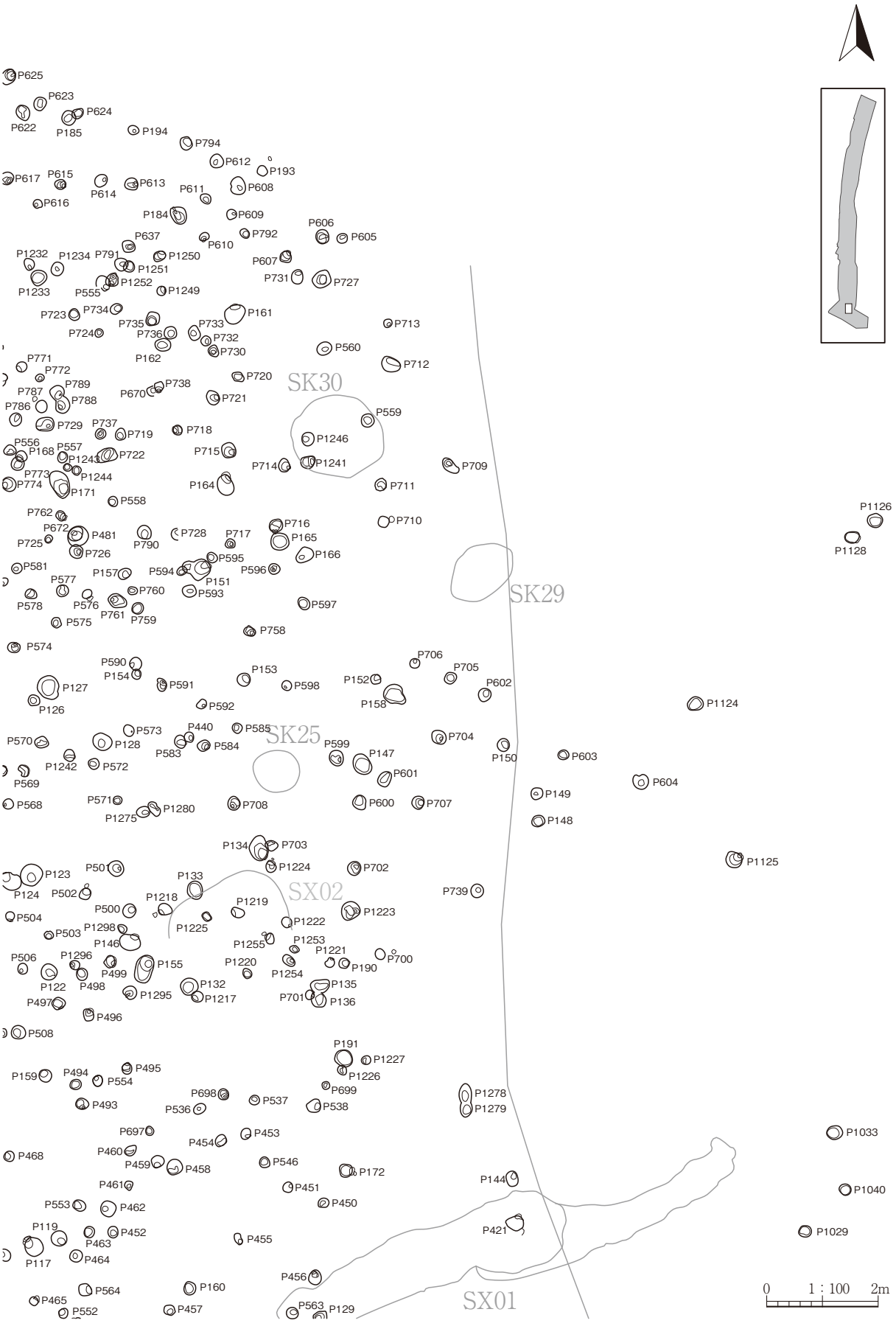
第250図　柱穴状土坑分布図（18）



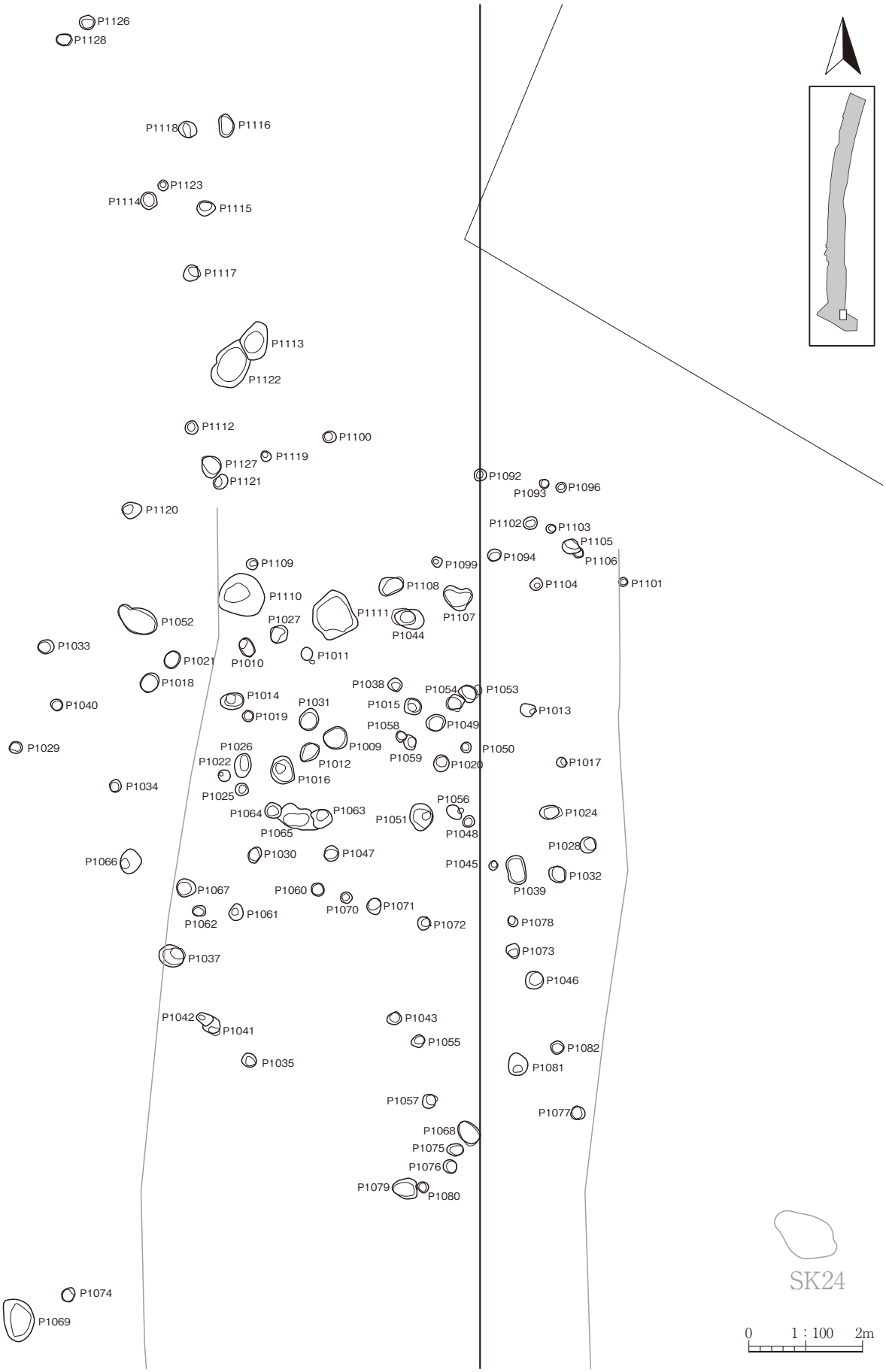
第251図　柱穴状土坑分布図（19）



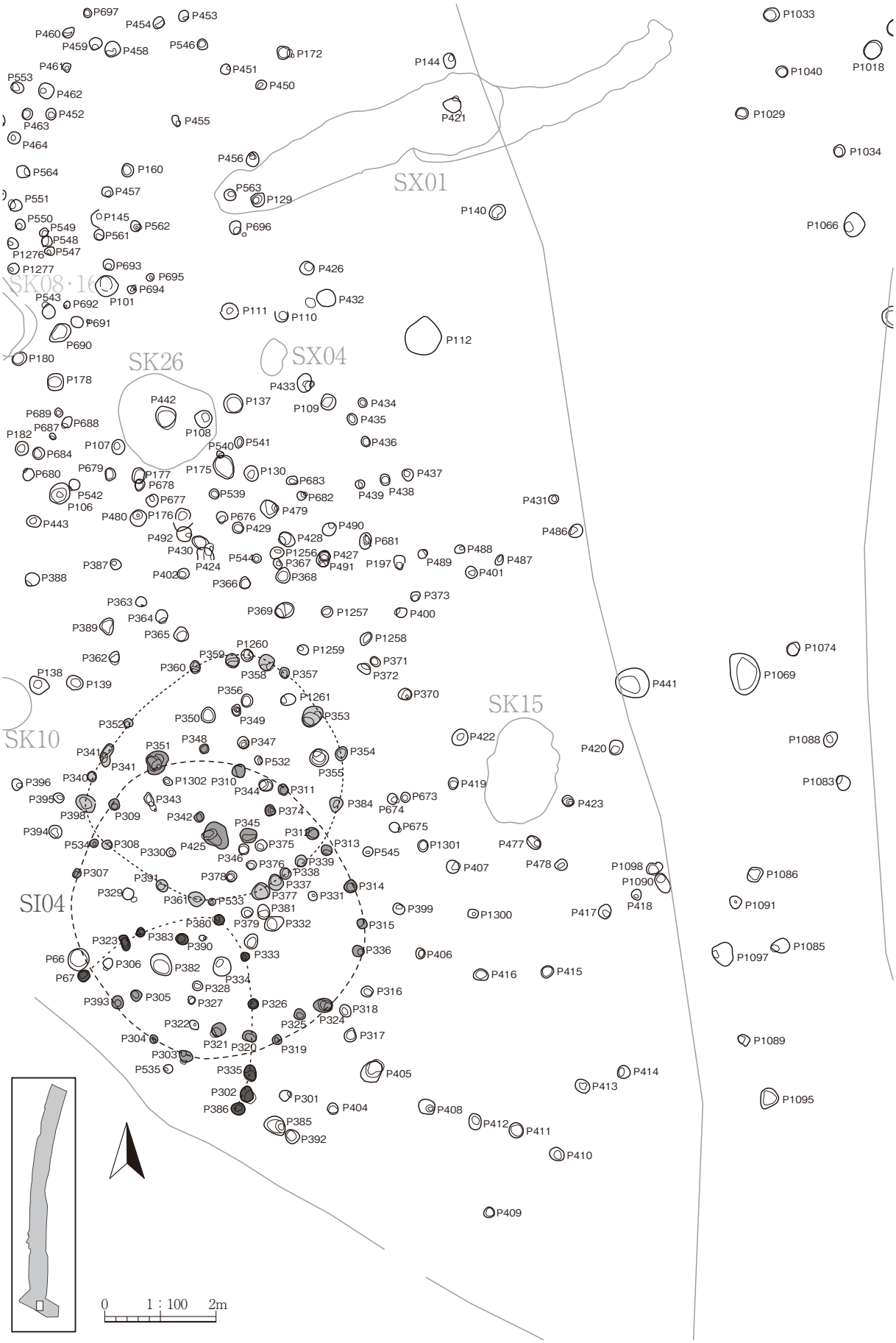
第252図　柱穴状土坑分布図（20）



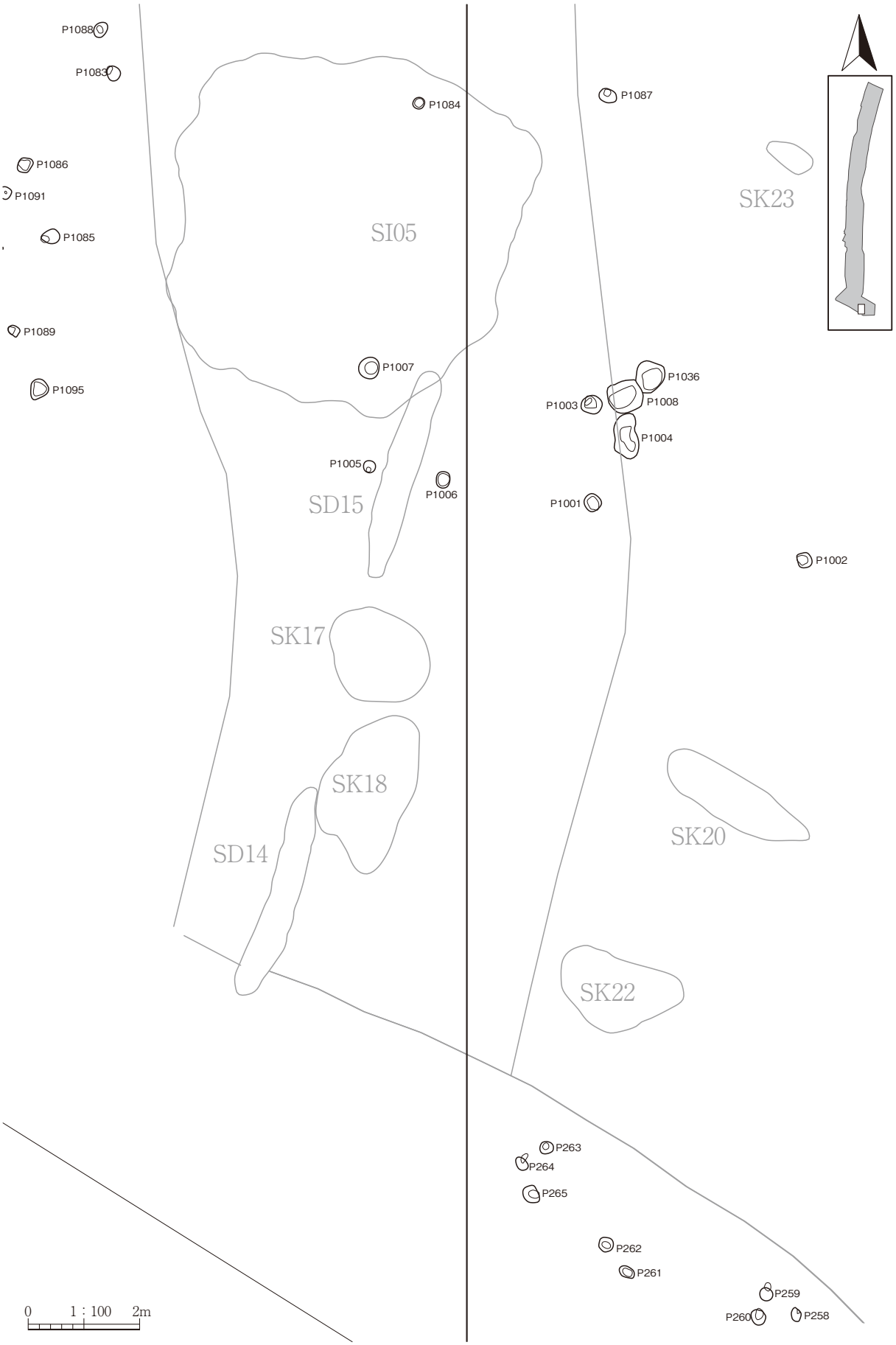
第253図　柱穴状土坑分布図（21）



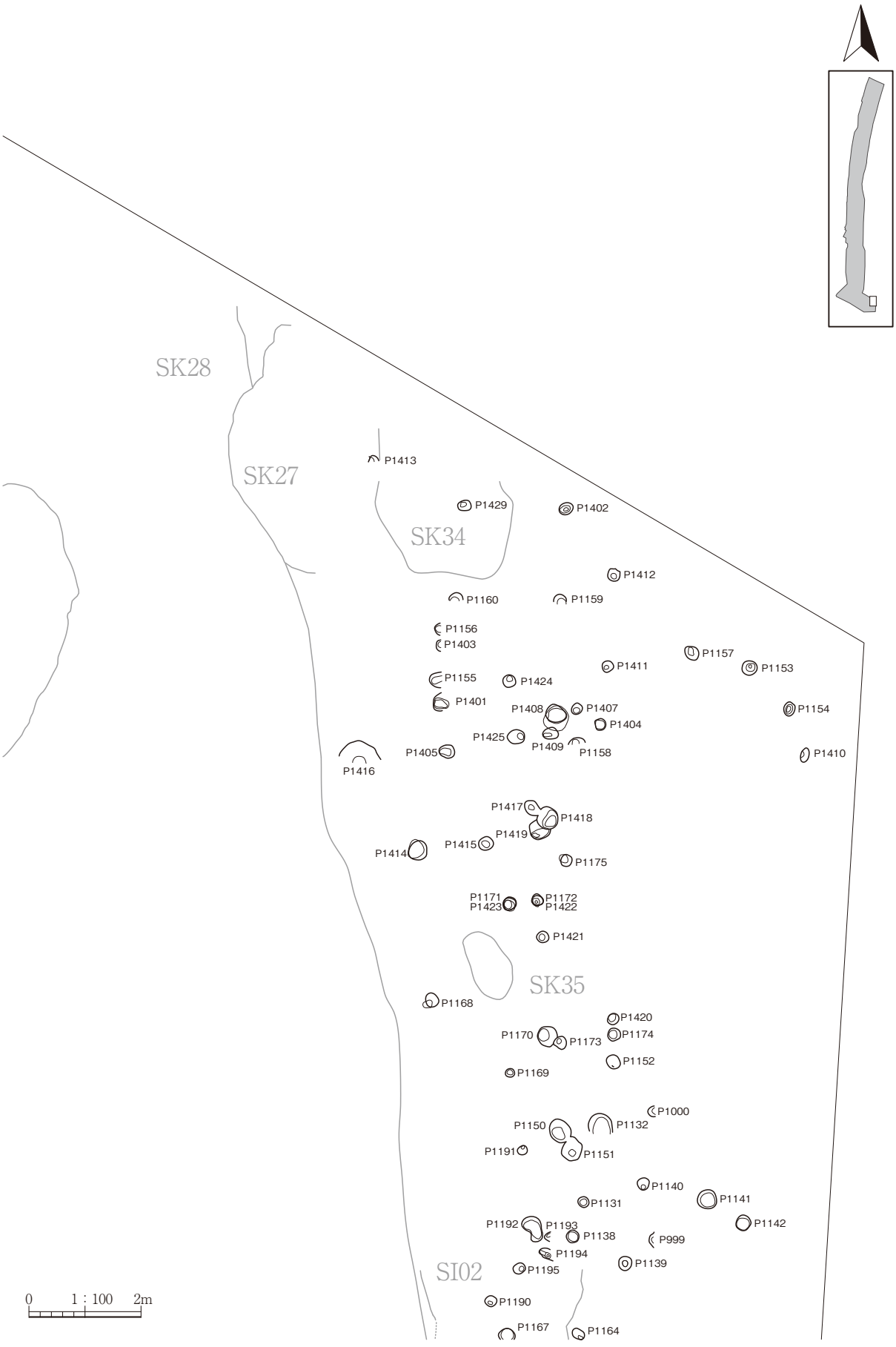
第254図　柱穴状土坑分布図（22）



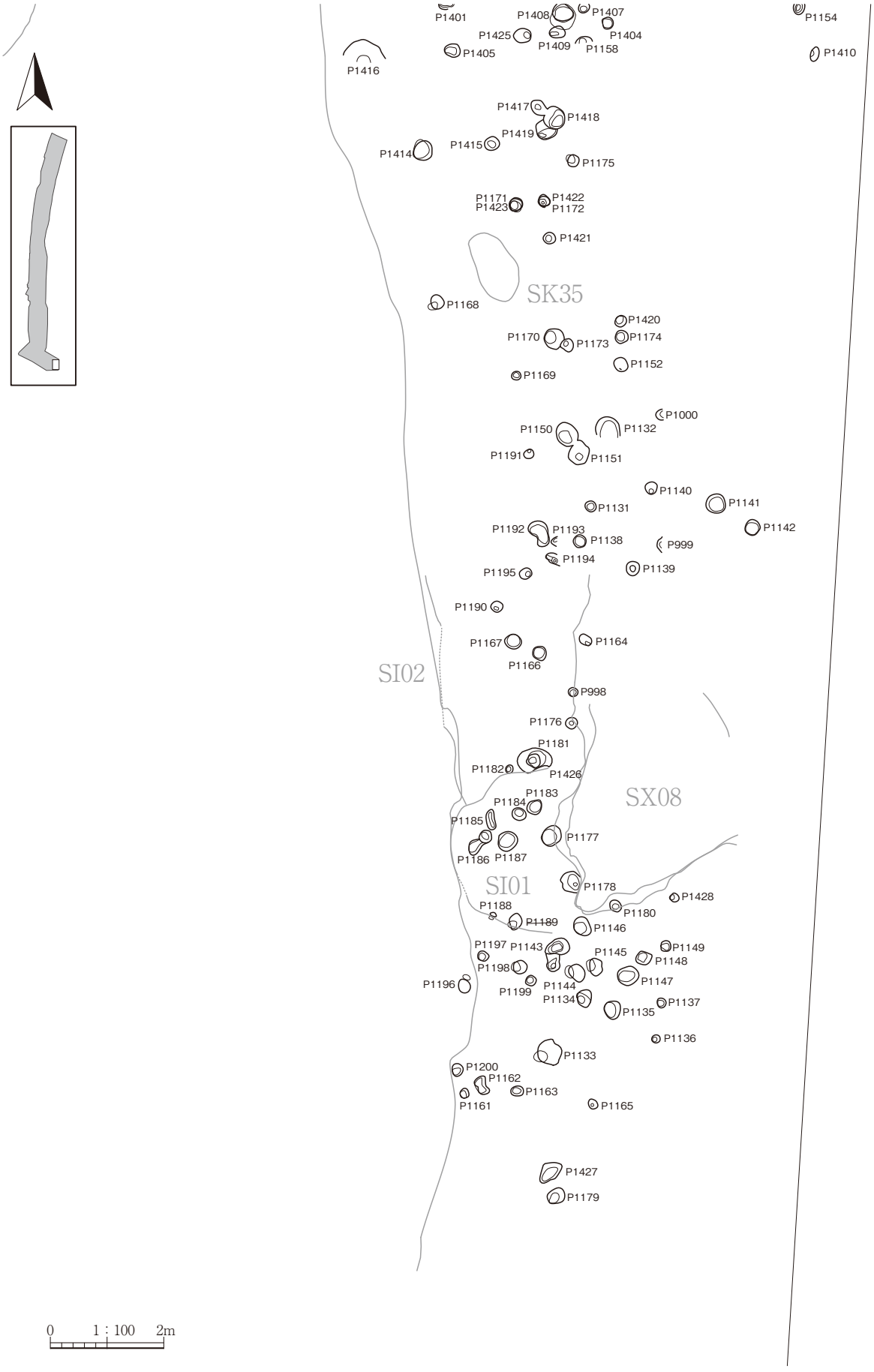
第255図　柱穴状土坑分布図（23）



第256図　柱穴状土坑分布図（24）



第257図　柱穴状土坑分布図（25）



第258図　柱穴状土坑分布図（26）

第６表　縄文時代竪穴住居跡一覧

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI01	遺構図 20	検出面 Ⅳ～Ⅴ層上面	特徴 東半削平　中央石囲炉	平面規模（m） （2.90）×（1.88）	出土遺物	土器重量 縄土器106ｇ	時期　縄文晩期後葉
位置 Ａ区　ⅡB6K他	写真図版 9	形状 円形		深さ（cm） 38		掲載　a1～3	重複 SI02・SX08より新?
SI02	遺構図 21	検出面 Ⅳ～Ⅴ層上面	特徴 プラン不明瞭中央石囲炉内埋設土器	平面規模（m） （2.43）×（3.92）	出土遺物	土器重量 縄土器1311ｇ（周辺含む）	時期　縄文晩期後葉 炭化材AMS測定№12-1
位置 Ａ区　ⅡB6K他	写真図版 10	形状 不明		深さ（cm） 39		掲載　a4、e27	重複 SI01より古？SX08より新?
SI03	遺構図 22	検出面 Ⅴ層（砂層）上面	特徴 楕円形中央地床炉内斜位埋設土器	平面規模（m） 4.85×4.28	出土遺物	土器重量 縄土器1754ｇ	時期　縄文中期中葉 炭化材AMS測定№12-2
位置 Ａ区　ⅡB4n他	写真図版 11	形状 楕円形		深さ（cm） 30～35		掲載　a5～8、e51･54	重複 なし
SI04	遺構図 23	検出面 Ⅴ層上面	特徴 地床炉と埋設土器、柱穴配置からプラン推定（SI04a）　他に２棟分柱穴配置あり（SI04b･c）	平面規模（m） a〈5.4〉×〈4.7〉 b〈4.5〉×〈4.4〉 c（3.6）×（2.8）	出土遺物	土器重量 縄土器401ｇ	時期　縄文晩期後葉 炭化材AMS測定№12-3
位置 Ａ区ⅠB17m他	写真図版 12	形状 円形		深さ　不明		掲載　a9	重複 なし
SI05	遺構図 24	検出面 Ⅴ層上面	特徴 地床炉2基土器埋設炉の可能性	平面規模（m） 6.39×6.13	出土遺物	土器重量 縄土器4251ｇ	時期　縄文中期末
位置 Ａ区　ⅠB20m他	写真図版 13	形状 不整円形～隅丸方形		深さ（cm） 10		掲載　a10～11	重複 なし
SI38	遺構図 25	検出面 Ⅲ層下面	特徴 北壁際Ｃ区内検出不能中央石囲炉内土器設置	平面規模（m） 3.9×（3.2）	出土遺物	土器重量 縄土器1148ｇ	時期　縄文晩期後葉
位置 ＢＣ区　ⅠD15h他	写真図版 14	形状 不整円形		深さ（cm） 不明		掲載　a12～14、e30	重複 SI17・SX79より古

第７表　古代竪穴住居跡一覧（１）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI06	遺構図 26,27	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東3.7南3.8北3.5西3.5		出土遺物	土器重量 古土器15475ｇ、縄土器1970ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀末～10世紀前葉
位置 Ｃ区　ⅠD16l他	写真図版 15	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－18°　－Ｅ	床面積（㎡） 9.43		掲載　b1～17、f1	
SI07	遺構図 28,29,30	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.4南7.9北8.9西8.5		出土遺物	土器重量 古土器137837ｇ、縄土器1456ｇ	時期・特徴 主柱穴4基　井桁状溝群 9世紀前葉
位置 Ｃ区　ⅠD15m他	写真図版 16	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－15°　－Ｅ	床面積（㎡） 55.81		掲載　b18～96、d67～69･101･102･104、e60、f2～5	
SI08	遺構図 31,32,33	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東6.8南7.1北（6.8）西6.5		出土遺物	土器重量 古土器25845ｇ、縄土器750ｇ	時期・特徴 主柱穴6基　西側拡張 カマド対面出入口施設 9世紀代
位置 Ｃ区　ⅠD13l他	写真図版 17	重複 SX18より古か	カマド主軸方位 Ｎ－3°　－Ｅ	床面積（㎡） （46.29）		掲載　b97～114、d100･105、f6～12	
SI09	遺構図 34,35	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東6.4南6.1北5.8西5.8		出土遺物	土器重量 古土器19751ｇ、縄土器254ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 主柱穴4基 9世紀中～後葉
位置 Ｃ区　ⅠD17p他	写真図版 18	重複 SX27より新	カマド主軸方位 Ｎ－17°　－Ｅ	床面積（㎡） 28.07		掲載　b115～135、d70･77･78、e61	
SI10	遺構図 36,37,38	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.1南7.9北7.4西7.6		出土遺物	土器重量 古土器25910ｇ、縄土器1195ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層　主柱穴4基　井桁状溝群　床面焼土 炭化材AMS測定（№12－1） 9世紀前葉
位置 Ｃ区　ⅠD17s他	写真図版 19	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－9°　－Ｅ	床面積（㎡） 54.54		掲載　a15、b136～165、d71･79～87、f13～16	
SI11	遺構図 39	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東4.0南3.0北〈2.9〉西〈3.6〉		出土遺物	土器重量 古土器4467ｇ、縄土器131ｇ	時期・特徴 床面に溝状掘削痕 8世紀後半
位置 Ｃ区　ⅠD15q他	写真図版 20	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－19°　－Ｅ	床面積（㎡） （9.86）		掲載　b166～169	
SI12	遺構図 40	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.2南3.5北3.1西3.0		出土遺物	土器重量 古土器2696ｇ、縄土器228ｇ	時期・特徴 8世紀後半
位置 Ｃ区　ⅠD16r他	写真図版 21	重複 なし	カマド主軸方位 Ｎ－19°　－Ｅ	床面積（㎡） 9.51		掲載　b170	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（２）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI13	遺構図 41,42,43	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東5.0南5.3北5.0西5.3		出土遺物	土器重量 古土器16007ｇ、縄土器1186ｇ	時期・特徴 堆積土洪水層中央床面に接する　カマド3基　主柱穴4基 炭化材AMS測定（12－2･3） 9世紀前葉
位置 B区　ⅠD15c他	写真図版 22	重複 なし	カマド主軸方位 N－37°－E N－128°－E	床面積（㎡） 23.88		掲載　b171～199、e45	
SI14	遺構図 44	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東2.0南2.0北2.0西2.2		出土遺物	土器重量 古土器4156ｇ、縄土器158ｇ	時期・特徴 堆積土中に洪水層か カマド2基 9世紀中～後葉
位置 B区　ⅠD16e他	写真図版 23	重複 なし	カマド主軸方位 N－11°－E	床面積（㎡） 3.64		掲載　b200～205	
SI15	遺構図 45	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 東2.3南2.5北2.0西2.4		出土遺物	土器重量 古土器4673ｇ、縄土器136ｇ	時期・特徴 9世紀代
位置 B区　ⅠD17f他	写真図版 24	重複 なし	カマド主軸方位 N－17°－E	床面積（㎡） 4.23		掲載　b206～209、e62	
SI16	遺構図 46,47,48	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東7.3南（6.3）北7.2西（4.3）		出土遺物	土器重量 古土器10431ｇ、縄土器1066ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 主柱穴4基（南東側ずれる） 井桁状溝群 9世紀中～後葉
位置 B区　ⅠC13r他	写真図版 25	重複　SK60より新、 SD19より古、SD21と重複	カマド主軸方位 N－21°－E	床面積（㎡） （48.93）		掲載　a16、b210～225、d106･107、e38、f17	
SI17	遺構図 49	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東2.9南（3.6）北3.1西2.9		出土遺物	土器重量 古土器5517ｇ、縄土器479ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀代
位置 C区　ⅠD16h他	写真図版 26	重複 SI38より新	カマド主軸方位 N－93°－E	床面積（㎡） 9.13		掲載　b226～228、d41	
SI18	遺構図 50	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東（2.8）北（1.6）		出土遺物	土器重量 古土器242ｇ、縄土器14ｇ	時期・特徴 西側大半が調査区外 堆積土上部洪水層
位置 B区　ⅠC13s他	写真図版 26	重複 SD21と重複	カマド主軸方位 －	床面積（㎡） －		掲載	
SI19	遺構図 51,52,53	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東49南5.6北4.9西5.8		出土遺物	土器重量 古土器10224ｇ、縄土器210ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 カマド東側に棚状施設 主柱穴4基 9世紀前葉
位置 B区　ⅠC15j他	写真図版 27	重複 SK67より新	カマド主軸方位 N－11°－E	床面積（㎡） 24.97		掲載　b229～247、d88、f18～23	
SI20	遺構図 54	検出面 SI16掘方内	平面規模（m） 東4.1南2.9北4.0西3.0		出土遺物	土器重量 古土器40ｇ	時期・特徴 掘り方とカマド煙道のみ確認
位置 B区　ⅠC13r他	写真図版 28	重複 SI16より古	カマド主軸方位 N－21°－E	床面積（㎡） 11.39		掲載	
SI21	遺構図 55	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東6.8南7.1北6.7西6.7		出土遺物	土器重量 古土器15032ｇ、縄土器377ｇ	時期・特徴 主柱穴4基　床面焼土群 9世紀前葉
位置 C区　ⅠE17a他	写真図版 29	重複 なし	カマド主軸方位 N－13°－E	床面積（㎡） 44.62		掲載　b248～275、d72～75･98、f24～30	
SI22	遺構図 56,57	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東4.6南（2.2）北（2.0）		出土遺物	土器重量 古土器8167ｇ、縄土器116g	時期・特徴 南半調査区外 堆積土上部洪水層 9世紀代
位置 C区　ⅠE13d他	写真図版 30	重複 なし	カマド主軸方位 N－89°－E	床面積（㎡） （17.42）		掲載　b276～288、f31	
SI23	遺構図 58	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東3.3南2.7北3.3西2.9		出土遺物	土器重量 古土器6405ｇ、縄土器316ｇ	時期・特徴 焼失住居 9世紀代
位置 C区　ⅠE15c他	写真図版 31	重複 SK71より古	カマド主軸方位 N－1°－W	床面積（㎡） 7.86		掲載　b289～293、f32	
SI24	遺構図 59,60,61	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.3南5.2北5.1西5.0		出土遺物	土器重量 古土器11898ｇ、縄土器361ｇ	時期・特徴 主柱穴4基か（南東側ずれる） 床面焼土 9世紀前葉
位置 C区　ⅠE17c他	写真図版 32	重複 なし	カマド主軸方位 N－18°－E	床面積（㎡） 26.19		掲載　b294～314、d89、41･43･59、f33～36	
SI25	遺構図 62	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東（4.8）北5.8西3.4		出土遺物	土器重量 古土器2195ｇ、縄土器489ｇ	時期・特徴 南半削平 カマド脇棚状施設 9世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE17e他	写真図版 33	重複 なし	カマド主軸方位 N－9°－E	床面積（㎡） （29.44）		掲載　a17、b315～319、f37	
SI26	遺構図 63	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.7南3.4北3.6西3.2		出土遺物	土器重量 古土器6286ｇ、縄土器138ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀代
位置 B区　ⅠC19f他	写真図版 34	重複 なし	カマド主軸方位 N－26°－E	床面積（㎡） 11.41		掲載　b320～322	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（３）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI27	遺構図 64	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東〈7.0〉南6.4北6.2西6.2		出土遺物	土器重量 古土器10347ｇ、縄土器603ｇ	時期・特徴 主柱穴3基確認 カマド未確認 9世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE17f他	写真図版 35	重複　SK75より古、 SK57と重複	カマド主軸方位 －	床面積（㎡） （38.09）		掲載　b323～334、f38	
SI28	遺構図 65	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 南（3.5）北（3.1）西5.2		出土遺物	土器重量 古土器1451ｇ、縄土器1668ｇ	時期・特徴 東半調査区外 主柱穴2基確認 9世紀代
位置 C区　ⅡE1b	写真図版 36	重複 なし	カマド主軸方位 N－6°　－E	床面積（㎡） （25.05）		掲載　a18、b335･336、f39～43	
SI29	遺構図 66	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東3.3南（2.9）北（3.1）		出土遺物	土器重量 古土器3153ｇ、縄土器69ｇ	時期・特徴 西端調査区外 堆積土上部洪水層 9世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE18j他	写真図版 37	重複 なし	カマド主軸方位 N－10°　－E	床面積（㎡） （10.26）		掲載　b337～342、ｆ44･45	
SI30	遺構図 67	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 東3.2南3.4北3.4西3.3		出土遺物	土器重量 古土器6062ｇ、縄土器259ｇ	時期・特徴 焼失住居 9世紀前葉
位置 C区　ⅠE20d他	写真図版 38	重複 なし	カマド主軸方位 N－91°　－E	床面積（㎡） 10.17		掲載　ｂ343～349、e53、ｆ46	
SI31	遺構図 68	検出面 Ⅱ層	平面規模（m） 東4.6南4.9北4.5西5.1		出土遺物	土器重量 古土器38763ｇ、縄土器1508ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀末～10世紀前葉
位置 C区　ⅠE20f他	写真図版 39	重複 なし	カマド主軸方位 N－7°　－E	床面積（㎡） 22.17		掲載　ｂ350～402、ｄ93、e39、 ｆ47～51	
SI32	遺構図 69	検出面 Ⅱ層下部～Ⅲ層	平面規模（m） 東4.1南4.3北4.1西4.2		出土遺物	土器重量 古土器7496ｇ、縄土器287ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 カマド対面出入口施設か 9世紀前半
位置 B区　ⅠC17i他	写真図版 40	重複 SX51より古	カマド主軸方位 N－6°　－E	床面積（㎡） 14.53		掲載　ｂ403～412	
SI33	遺構図 70	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.5南（3.4）北（4.1）		出土遺物	土器重量 古土器13822ｇ、縄土器552g	時期・特徴 西半調査区外　堆積土上部洪水層　主柱穴4基確認 床面井桁状溝群 9世紀末～10世紀前葉
位置 BC区　ⅠD12h他	写真図版 41	重複 なし	カマド主軸方位 N－22°　－E	床面積（㎡） （67.31）		掲載　ｂ413～428、ｆ52	
SI34	遺構図 71	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.9南4.0北4.2西4.1		出土遺物	土器重量 古土器21116ｇ、縄土器749ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 主柱穴4基 9世紀代
位置 BC区　ⅠD13d他	写真図版 42	重複 なし	カマド主軸方位 N－30°　－E	床面積（㎡） 14.89		掲載　ｂ429～453、ｄ108	
SI35	遺構図 72	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東〈2.9〉南2.4北〈2.3〉西2.2		出土遺物	土器重量 古土器1736ｇ、縄土器505ｇ	時期・特徴 8世紀後半
位置 BC区　ⅠD16g他	写真図版 43	重複 SX74より古	カマド主軸方位 N－8°　－W	床面積（㎡） 5.37		掲載　ｂ454～456	
SI36	遺構図 73	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東（3.0）南（2.9）北（3.0）西2.9		出土遺物	土器重量 古土器2307ｇ、縄土器107ｇ	時期・特徴 東端トレンチで消失 8世紀中～後葉
位置 C区　ⅠE14h他	写真図版 44	重複 なし	カマド主軸方位 N－2°　－E	床面積（㎡） （9.78）		掲載　ｂ457～463、ｄ96･97	
SI37	遺構図 74,75	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.0南〈5.4〉北5.2西5.5		出土遺物	土器重量 古土器8889ｇ、縄土器483ｇ	時期・特徴 主柱穴2基確認 床面平行溝群 8世紀後半
位置 C区　ⅠE14f他	写真図版 45	重複 なし	カマド主軸方位 N－3°　－E	床面積（㎡） 27.29		掲載　ｂ464～472、ｆ53	
SI39	遺構図 76,77	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東8.4南7.9北8.5西8.1		出土遺物	土器重量 古土器39553ｇ、縄土器8771ｇ	時期・特徴 カマド2基 主柱穴8基2時期分 床面平行溝群 8世紀末～9世紀初頭
位置 D区　ⅠE17l他	写真図版 46	重複 SX89と重複	カマド主軸方位 ①②N－16°　－E	床面積（㎡） 70.10		掲載　ｂ473～500、ｄ11･27、 e299、ｆ54･55	
SI40	遺構図 78,79,80	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.9南5.5北5.9西5.8		出土遺物	土器重量 古土器19144ｇ、縄土器11442ｇ	時期・特徴 カマド2基　主柱穴4基 床面焼土 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　ⅠE17t他	写真図版 47	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－84°　－E ②N－3°　－W	床面積（㎡） 32.10		掲載　a19、ｂ501～526、e240、 ｆ56～66	
SI41	遺構図 81	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東2.5南2.3北2.5西2.4		出土遺物	土器重量 古土器2310ｇ、古土器354ｇ	時期・特徴 堆積土上部礫多量 9世紀代
位置 B区　ⅠC14t他	写真図版 48	重複 SD19より古	カマド主軸方位 N－19°　－W	床面積（㎡） 5.44		掲載　ｂ527～534	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（４）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI42	遺構図 82	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.5南（3.0）北（1.2）		出土遺物	土器重量 古土器4452ｇ、縄土器99ｇ	時期・特徴 東壁際のみ残存 9世紀末～10世紀前葉
位置 B区　Ⅰ C15n 他	写真図版 49	重複 なし	カマド主軸方位 N－87°　－E	床面積（㎡） （25.46）		掲載　b 535～541	
SI43	遺構図 83,84	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 東9.5南9.5北9.6西9.8		出土遺物	土器重量 古土器3990 ｇ、縄土器14478ｇ	時期・特徴 調査区内では最大規模 カマド2基　主柱穴4基3群 拡張　床面井桁状溝群 8世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F20e 他	写真図版 50	重複 なし	カマド主軸方位 ①②N－7°　－E	床面積（㎡） 98.40		掲 載　b 542～549、e103･132、f 68	
SI44	遺構図 85,86	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東5.6南6.1北5.8西5.3 ※（張出部含東6.8南5.5北5.8西6.4）		出土遺物	土器重量 古土器9360ｇ、縄土器1283ｇ	時期・特徴 南側張出部の性格不明 主柱穴4基 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E16t 他	写真図版 51	重複 なし	カマド主軸方位 N－97°　－E	床面積（㎡） 31.9　※（張出部含38.1）		掲載　b 550～563、e318、 f 67	
SI45	遺構図 87	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 東〈3.4〉南4.0北〈4.0〉西4.0		出土遺物	土器重量 古土器3558ｇ、縄土器2510ｇ	時期・特徴 北東部の一部消失 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E17r 他	写真図版 52	重複 なし	カマド主軸方位 N－15°　－E	床面積（㎡） （11.58）		掲載　b 564～569	
SI47	遺構図 88,89	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.6南3.4北3.6西3.8		出土遺物	土器重量 古土器1941ｇ、縄土器304ｇ	時期・特徴 カマド3基作り替え 主柱穴配置不明 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅰ F15d 他	写真図版 53	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－107°　－E ②N－14°　－E	床面積（㎡） 12.78		掲載　b 570～577	
SI49	遺構図 90	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.3南4.2北3.3西3.3		出土遺物	土器重量 古土器3171ｇ、縄土器606ｇ	時期・特徴 焼失住居 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F16d 他	写真図版 54	重複 なし	カマド主軸方位 N－99°　－E	床面積（㎡） 12.18		掲 載　b 578～586、 d 109、e320、 f 69～72	
SI50	遺構図 91	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東3.7南4.1北4.1西4.0		出土遺物	土器重量 古土器2498ｇ、縄土器469ｇ	時期・特徴 9世紀代
位置 D区　Ⅰ E15r 他	写真図版 55	重複 SX82より古	カマド主軸方位 N－23°　－E	床面積（㎡） 14.71		掲 載　b 587～592、 d 110、e319、 f 73	
SI51	遺構図 92	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東2.7南2.0北〈3.1〉西〈2.7〉		出土遺物	土器重量 古土器11470ｇ、縄土器602ｇ	時期・特徴 小型　焼失住居 カマド内土器原位置残存 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E15q 他	写真図版 56	重複 なし	カマド主軸方位 N－106°　－E	床面積（㎡） 7.41		掲載　b 593～612、 d 111～115	
SI52	遺構図 93	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東（2.3）南3.1北3.7西2.6		出土遺物	土器重量 古土器5515ｇ、縄土器1247ｇ	時期・特徴 北半消失　新旧2時期重複 カマド2基 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F17c 他	写真図版 57	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－180°　－E ②N－86°　－W	床面積（㎡） （11.00）		掲載　b 613～622	
SI53	遺構図 94	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 南（3.6）北（4.8）西6.8		出土遺物	土器重量 古土器8598ｇ、縄土器5603ｇ	時期・特徴 東半調査区外　堆積土上部洪水層　主柱穴2基確認　床面井桁状溝群 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅱ E1r 他	写真図版 58	重複 なし	カマド主軸方位 N－5°　－E	床面積（㎡） （44.60）		掲 載　b 623～634、 d 31、e257･278･321～323、 f 74～78	
SI54	遺構図 95	検出面 Ⅲ層	平面規模（m） 東4.4南（1.3）北（3.0）		出土遺物	土器重量 古土器436ｇ、縄土器977ｇ	時期・特徴 西半調査区外 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅰ E14t 他	写真図版 59	重複 SK94より古	カマド主軸方位 N－23°　－E	床面積（㎡） （18.70）		掲載　b 635～637、 f 79･80	
SI55	遺構図 96	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	平面規模（m） 東3.5南3.3北3.7西3.4		出土遺物	土器重量 古土器1372ｇ、縄土器329ｇ	時期・特徴 堆積土上部洪水層 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E19n 他	写真図版 60	重複 SX85より古	カマド主軸方位 N－17°　－E	床面積（㎡） 12.00		掲載　b 638～640	
SI56	遺構図 97,98	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東〈4.4〉南〈5.5〉北〈5.0〉西〈5.3〉		出土遺物	土器重量 古土器6461ｇ、縄土器18488ｇ	時期・特徴 撹乱により残存状況不良 カマド2基の可能性あり 主柱穴4基2群 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅱ F2g 他	写真図版 61	重複 なし	カマド主軸方位 N－6°　－W	床面積（㎡） （25.80）		掲載　b 641～647、e104	
SI57	遺構図 99	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東〈4.0〉南〈4.1〉北〈4.3〉西〈4.0〉		出土遺物	土器重量 古土器4175ｇ、縄土器2169ｇ	時期・特徴 撹乱により残存状況不良 カマド2基 9世紀代
位置 D区　Ⅱ F2l 他	写真図版 62	重複 SI59より新	カマド主軸方位 ①N－4°　－E ②N－93°　－E	床面積（㎡） （17.70）		掲載　b 648～650、f81･82	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（５）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI58	遺構図 100	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東4.8南5.7北5.5西5.0		出土遺物	土器重量 古土器10967ｇ、縄土器1502ｇ	時期・特徴 床面焼土群 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅰ F20n他	写真図版 63	重複　SI59より新、 SX91より古	カマド主軸方位 N－17°－E	床面積（㎡） 28.91		掲載　a20、b651～665	
SI59	遺構図 101,102,103	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東5.5南6.0北5.5西5.6		出土遺物	土器重量 古土器25954ｇ、縄土器3754ｇ	時期・特徴 カマド2基東壁→北壁作り替え　主柱穴4基 9世紀末～10世紀前葉
位置 D区　Ⅱ F1m他	写真図版 64	重複 SI57・58より古	カマド主軸方位 ①N－5°－E ②N－92°－E	床面積（㎡） 30.17		掲　載　b666 ～ 704、d76、e119･251･261、f83～86	
SI60	遺構図 104	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東3.8南4.1北4.1西4.2		出土遺物	土器重量 古土器1706ｇ、縄土器2192ｇ	時期・特徴 堆積土中炭化物層 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ F18i他	写真図版 65	重複 なし	カマド主軸方位 N－91°－E	床面積（㎡） 15.37		掲載　b705～709、f87	
SI61	遺構図 105	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東（2.5）南2.3北（2.5）西2.3		出土遺物	土器重量 古土器376ｇ、縄土器11981ｇ	時期・特徴 カマド煙道確認不能
位置 D区　Ⅱ F2b他	写真図版 66	重複 なし	カマド主軸方位 N－10°－W	床面積（㎡） 5.72		掲載　b710、e89･224	
SI62	遺構図 106,107	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東〈4.4〉南〈4.8〉北〈4.6〉西〈4.2〉		出土遺物	土器重量 古土器13855ｇ、縄土器25869ｇ	時期・特徴 カマド3基 主柱穴4基1群確認 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅱ F2k他	写真図版 67	重複 なし	カマド主軸方位 ①②N－92°－E ③N－11－E	床面積（㎡） （18.70）		掲載　a21･22、b711～728、d12	
SI63	遺構図 108	検出面 不明	平面規模（m） 東（2.5）南（2.6）北（2.8）西（2.8）		出土遺物	土器重量 古土器397ｇ、縄土器577ｇ	時期・特徴 住居本体削平 8世紀後半
位置 D区　Ⅰ E17q他	写真図版 68	重複 なし	カマド主軸方位 N－9°－E	床面積（㎡） （8.70）		掲載　a23、b279･730、e273	
SI64	遺構図 109,110,111	検出面 不明	平面規模（m） 東4.8南5.4北5.1西5.2		出土遺物	土器重量 古土器37097ｇ、縄土器402ｇ	時期・特徴 主柱穴4基　pit内埋設土器 9世紀代
位置 F区1次　Ⅱ G4t他	写真図版 69	重複 なし	カマド主軸方位 N－114°－E	床面積（㎡） 25.30		掲　載　b731～768、d94、e324、f88～92	
SI65	遺構図 112	検出面 不明	平面規模（m） 東（3.3）南（3.4）北（2.8）西（4.3）		出土遺物	土器重量 古土器1153ｇ、縄土器136ｇ	時期・特徴 住居本体削平　カマド2基 9世紀中～後葉
位置 D区　Ⅰ E16m他	写真図版 70	重複 なし	カマド主軸方位 ①N－111°－E ②N－22°－E	床面積（㎡） 11.80		掲載　b769～773	
SI66	遺構図 113	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東3.1南3.3北〈3.5〉西〈3.1〉		出土遺物	土器重量 古土器2856ｇ、縄土器1045ｇ	時期・特徴 主柱穴4基 9世紀代
位置 D区　Ⅰ F18l他	写真図版 71	重複 SI68より新	カマド主軸方位 N－122°－E	床面積（㎡） 11.33		掲載　b774～777	
SI67	遺構図 114	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東4.1南4.6北4.3西3.9		出土遺物	土器重量 古土器5809ｇ、縄土器2573ｇ	時期・特徴 主柱穴4基 9世紀代
位置 D区　Ⅱ F1l他	写真図版 72	重複 SX106より新	カマド主軸方位 N－13°－E	床面積（㎡） 18.15		掲載　b778～784、e288･289	
SI68	遺構図 115	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東3.5南3.4北4.1西3.3		出土遺物	土器重量 古土器4906ｇ、縄土器518ｇ	時期・特徴 床面～下部に礫多量 9世紀前半
位置 D区　Ⅰ F18m	写真図版 73	重複　SI66より古、 SX96と重複	カマド主軸方位 N－13°－W	床面積（㎡） 12.43		掲載　b785～796、d90	
SI69	遺構図 116,117	検出面 F区Ⅶ層	平面規模（m） 東5.1南（1.2）北（1.4）		出土遺物	土器重量 古土器2304ｇ、縄土器175ｇ	時期・特徴 西半調査区外 堆積土上部にTo－aテフラ 9世紀中～後葉
位置 F区1次　Ⅱ G2q他	写真図版 74	重複　SX101より古 SI70・SX102･103より新	カマド主軸方位 N－104°－E	床面積（㎡） （24.10）		掲載　b797～799、f93	
SI70	遺構図 116,117	検出面 F区Ⅶ層	平面規模（m） 東3.4南3.6.北（1.3）西（1.5）		出土遺物	土器重量 古土器5675ｇ、縄土器116ｇ	時期・特徴 重複で残存状況不良 8世紀中～後葉
位置 F区1次　Ⅱ G2q他	写真図版 74	重複　ＳＸ102･103と重複 SI69･SX101･SX141より古	カマド主軸方位 N－6°－W	床面積（㎡） （10.90）		掲載　b800～804、e325	
SI71	遺構図 118,119	検出面 F区Ⅷ層	平面規模（m） 東4.2南（2.3）北（1.9）		出土遺物	土器重量 古土器12874ｇ、縄土器386ｇ	時期・特徴 西半調査区外 堆積土下部礫多量 主柱穴2基確認 9世紀代
位置 F区1次　Ⅱ H4d他	写真図版 75	重複 SX104より新	カマド主軸方位 N－107°－E	床面積（㎡） （16.40）		掲載　b805～814	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（６）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI72	遺構図 120	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.8南3.9北4.3西3.3		出土遺物	土器重量 古土器4541ｇ、縄土器179ｇ	時期・特徴 9世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ G5b 他	写真図版 76	重複 SK149より新	カマド主軸方位 N－93°－E	床面積（㎡） 12.96		掲載　b815～823、d117	
SI73	遺構図 121,122	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.7南4.0北4.1西3.8		出土遺物	土器重量 古土器3946ｇ、縄土器505ｇ	時期・特徴 カマド2基 9世紀前半
位置 E区　Ⅱ G2c 他	写真図版 77	重複 SD43・SX107より古	カマド主軸方位 ①N－111°－E ②N－16°－E	床面積（㎡） 13.55		掲載　b824～834	
SI74	遺構図 123	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.3南3.5北3.1西3.2		出土遺物	土器重量 古土器2792ｇ、縄土器989ｇ	時期・特徴 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　Ⅱ G3a 他	写真図版 78	重複 SK146より新、1UMより古	カマド主軸方位 N－8°－E	床面積（㎡） 10.07		掲載　b835～839、e326	
SI75	遺構図 124	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東4.2南3.4北3.6西3.9 （拡張部含）東4.4南5.0北3.6西3.9		出土遺物	土器重量 古土器12549ｇ、縄土器706ｇ	時期・特徴 東側拡張 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅱ G5c 他	写真図版 79	重複　1UM･2UMより古 SB07より古か	カマド主軸方位 N－2°－E	床面積（㎡） 13.12　※（拡張部含17.99）		掲載　b840～852、e327	
SI76	遺構図 125	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東4.3南4.6北4.7西4.7		出土遺物	土器重量 古土器6680ｇ、縄土器1687ｇ	時期・特徴 主柱穴3基確認 北東部未確認 炭化材 AMS 測定（13－3） 8世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ F2q 他	写真図版 80	重複 なし	カマド主軸方位 N－10°－E	床面積（㎡） 20.06		掲載　b853～862、e300、f94	
SI77	遺構図 126,127	検出面 Ⅳ層	平面規模（m） 東7.8南8.1北8.0西7.6		出土遺物	土器重量 古土器10141ｇ、縄土器3148ｇ	時期・特徴 主柱穴4基 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　Ⅱ F3p 他	写真図版 81	重複 SK131・SN38より新	カマド主軸方位 N－6°－E	床面積（㎡） 59.35		掲載　b863～874、d19、f95･96	
SI78	遺構図 128,129	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東4.3南3.8北4.1西4.4		出土遺物	土器重量 古土器10451ｇ、縄土器11ｇ	時期・特徴 焼失住居　主柱穴4基 床面焼土 炭化材 AMS 測定（13－4） 9世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ G4e 他	写真図版 82,83	重複 SI97より新、SB07より古	カマド主軸方位 N－124°－E	床面積（㎡） 16.49		掲載　b875～893、f97	
SI79	遺構図 130	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.6南3.2北3.1西3.4		出土遺物	土器重量 古土器3596ｇ、縄土器ｇ359	時期・特徴 堆積土上部灰白色テフラブロック　カマド2基並列 9世紀中～後葉
位置 E区　Ⅰ F20r 他	写真図版 84	重複 5UMより新	カマド主軸方位 N－110°－E	床面積（㎡） 10.86		掲載　b894～899、d118～125、e328	
SI80	遺構図 131	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（2.3）北（3.2）西6.3		出土遺物	土器重量 古土器5021ｇ、縄土器62ｇ	時期・特徴 東半調査区外 9世紀代
位置 E区　Ⅱ G6c 他	写真図版 85	重複 2UMより古	カマド主軸方位 N－14°－E	床面積（㎡） （24.90）		掲載　b900～906、f98	
SI81	遺構図 132,133,134	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東7.3南7.1北7.1西6.9		出土遺物	土器重量 古土器27457ｇ、縄土器ｇ396	時期・特徴 カマド2基　主柱穴配置不明 床面井桁状溝群 9世紀代
位置 E区　Ⅱ G3f 他	写真図版 85,86	重複 SB07より古	カマド主軸方位 ①N－112°－E ②N－21°－E	床面積（㎡） 44.46		掲載　b907～919、ｃ1･2、e63、f99～101	
SI82	遺構図 135	検出面 不明	平面規模（m） 東〈2.8〉南2.1北〈1.8〉西2.6		出土遺物	土器重量 古土器2718ｇ、縄土器23ｇ	時期・特徴 小型 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅰ F20t 他	写真図版 87	重複 5UMより新	カマド主軸方位 N－115°－E	床面積（㎡） 4.54		掲載　b920～923、d126～128、e128	
SI83	遺構図 136	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（3.1）北（4.2）西〈4.7〉		出土遺物	土器重量 古土器3501ｇ、縄土器295ｇ	時期・特徴 東端調査区外 8世紀中～後葉
位置 E区　Ⅱ F5r 他	写真図版 88	重複 SD35・SX115より古	カマド主軸方位 N－19°－E	床面積（㎡） （20.20）		掲載　b924～932、f102	
SI84	遺構図 137	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東5.0南5.0北〈5.5〉西〈4.8〉		出土遺物	土器重量 古土器9649ｇ、縄土器ｇ342	時期・特徴 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅱ F4t 他	写真図版 89	重複 SD41より古､SX121より新	カマド主軸方位 N－24°－E	床面積（㎡） 24.10		掲載　b933～944	
SI85	遺構図 138	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（0.9）北（0.8）西3.96		出土遺物	土器重量 古土器588ｇ、縄土器39ｇ	時期・特徴 西壁際のみ検出 大半調査区外 9世紀末～10世紀前葉
位置 E区　Ⅱ F5t 他	写真図版 90	重複 SD42より古	カマド主軸方位 東壁 N－105°－E	床面積（㎡） （13.80）		掲載　b945	

第７表　古代竪穴住居跡一覧（７）

規模数値　（　）：残存値　〈　〉：推定値

SI86	遺構図 139	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東5.7南5.1北4.9西5.6		出土遺物	土器重量 古土器1396ｇ、縄土器352ｇ	時期・特徴 住居大半を精査ミスにより削平　焼失住居 9世紀代
位置 E区　ⅠF20p他	写真図版 90	重複 なし	カマド主軸方位 N－90°－E	床面積（㎡） 28.04		掲載　b946～948	
SI87	遺構図 140	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.8南2.8北2.8西2.9		出土遺物	土器重量 古土器10126ｇ、縄土器20ｇ	時期・特徴 焼失住居 カマド内土器原位置残存 8世紀中～後葉
位置 E区　ⅡG6m他	写真図版 91	重複 8UMより新	カマド主軸方位 N－20°－W	床面積（㎡） 7.74		掲載　b949～960、e301	
SI88	遺構図 141	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東（3.6）南3.5北（3.7）西（3.8）		出土遺物	土器重量 古土器3002ｇ、縄土器110ｇ	時期・特徴 煙道削平 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　ⅡG7o他	写真図版 92	重複 なし	カマド主軸方位 N－108°－E	床面積（㎡） （13.70）		掲載　b961～969	
SI89	遺構図 142	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（1.2）北（2.5）西（6.0）		出土遺物	土器重量 古土器4718ｇ	時期・特徴 東半調査区外 推定規模一辺6.8m程度 床面並列溝群 8世紀中～後葉
位置 E区　ⅡG9m他	写真図版 93	重複 SD48より古	カマド主軸方位 N－4°－W	床面積（㎡） （44.30）		掲載　b970～975、c3	
SI90	遺構図 143	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.5南2.4北2.3西2.3		出土遺物	土器重量 古土器1714ｇ、縄土器59ｇ	時期・特徴 小型 9世紀代
位置 E区　ⅡF2r他	写真図版 94	重複 なし	カマド主軸方位 N－25°－E	床面積（㎡） 4.85		掲載　b976･977	
SI91	遺構図 144	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東4.2南4.6北4.6西3.9		出土遺物	土器重量 古土器12120ｇ、縄土器38ｇ	時期・特徴 焼失住居 南壁際に主柱穴2基確認 8世紀中～後葉
位置 E区　ⅡG7l他	写真図版 94,95	重複 ７UMと重複	カマド主軸方位 N－15°－W	床面積（㎡） 16.88		掲載　b978～991	
SI93	遺構図 145	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 南（0.8）北（1.0）西5.2		出土遺物	土器重量 古土器1312ｇ、縄土器32ｇ	時期・特徴 西壁際のみ検出 大半調査区外 9世紀代
位置 E区　ⅡG10r他	写真図版 95	重複 SK135より新	カマド主軸方位 北壁 N－11°－E	床面積（㎡） （23.90）		掲載　b992～994	
SI94	遺構図 146	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東3.7南（1.7）北（0.9）		出土遺物	土器重量 古土器6166ｇ	時期・特徴 西半調査区外 8世紀中～後葉
位置 F区2次　ⅡG1o他	写真図版 96,97	重複 なし	カマド主軸方位 北壁 N－10°－E	床面積（㎡） （12.90）		掲載　b995～1000	
SI95	遺構図 147	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東（1.09）北（2.4）西（0.9）		出土遺物	土器重量 古土器3202ｇ	時期・特徴 北東部のみ検出 推定規模一辺3.1m程度 8世紀末～9世紀初頭
位置 F区2次　ⅠG20m他	写真図版 96,97	重複 なし	カマド主軸方位 N－15°－E	床面積（㎡） （9.40）		掲載　b1001～1008	
SI96	遺構図 148	検出面 不明	平面規模（m） 東2.2南2.2北2.2西2.0		出土遺物	土器重量 古土器148ｇ、縄土器63ｇ	時期・特徴 小型 8世紀末～9世紀初頭
位置 E区　ⅠF19t他	写真図版 97	重複 なし	カマド主軸方位 N－15°－E	床面積（㎡） 4.07		掲載　b1009	
SI97	遺構図 149	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東2.7南2.8北2.8西3.0		出土遺物	土器重量 古土器955ｇ	時期・特徴 カマド2基 8世紀後半
位置 E区　ⅡG5d他	写真図版 98	重複 SI78・SB07より古	カマド主軸方位 ①N－90°－E ②N－9°－W	床面積（㎡） 7.53		掲載　b1010･1011	
SI98	遺構図 150	検出面 Ⅴ層	平面規模（m） 東（0.8）南2.9西（1.3）		出土遺物	土器重量 古土器465ｇ	時期・特徴 中村遺跡調査区との境界に位置　中村SI56として調査報告
位置 E区　ⅡH10b他	写真図版 99	重複 なし	カマド主軸方位 不明	床面積（㎡） －		掲載	

第８表　住居状遺構一覧

SKI01	遺構図 151	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　掘り方確認 炭化材・焼土多量に出土	出土遺物	土器重量 古土器942ｇ、 縄土器771ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ D15a 他	写真図版 100	規模 2.08×1.83			掲載　b1012	備考 炭化材 AMS 測定（試料№12-7）
SKI02	遺構図 151	検出面 Ⅲ層	特徴 長方形　底面平坦 中央に付属 pit 2基 北壁際に床面焼土	出土遺物	土器重量 古土器416ｇ、 古土器178ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15s	写真図版 100	規模 3.15×2.28			掲載　b1013･1014	備考
SKI04	遺構図 151	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦 北壁際に付属 pit 1基 堆積土 SKI02 と同相	出土遺物	土器重量 古土器118ｇ、 縄土器105ｇ	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C13t 他	写真図版 100	規模 2.49×2.25				備考 西側床面粘土塊出土
SKI05	遺構図 152	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　壁面直立 掘り方確認　自然堆積	出土遺物	土器重量 古土器800ｇ、 縄土器222ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15r 他	写真図版 100	規模 3.24×3.23			掲載　b1015･1016	備考 北東部床面土器出土
SKI06	遺構図 152	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　壁面やや外傾 掘り方確認　堆積土中位に炭化材集中しその上位に焼成面形成	出土遺物	土器重量 古土器37ｇ、 縄土器753ｇ	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C18o 他	写真図版 101	規模 2.18×2.09				備考
SKI09	遺構図 152	検出面 Ⅱ層	特徴 長方形　西側張り出しスロープ状 南西隅に付属 pit1基	出土遺物	土器重量 古土器549ｇ、 縄土器58ｇ	時期 近世
位置 C区北　Ⅰ E15b 他	写真図版 101	規模 4.30×3.11（張出部含4.51）			掲載　b1017、c29、f103	備考 堆積土中大堀相馬産陶器碗出土
SKI10	遺構図 153	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　東側プランやや丸い 底面壁際落ち込み　掘り方確認	出土遺物	土器重量 古土器4231ｇ	時期 平安
位置 B区南　Ⅰ C17j 他	写真図版 101	規模 3.80×3.32			掲載　b1018～1024	備考
SKI11	遺構図 153	検出面 Ⅲ層	特徴 方形　底面平坦　自然堆積	出土遺物	土器重量 古土器63ｇ	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C15k	写真図版 101	規模 2.03×1.87				備考

第９表　掘立柱建物跡一覧（１）

SB01	遺構図 154	検出面 Ⅱ層	規模 （2.80）×2.56	出土遺物	土器重量 古土器57ｇ、 縄土器82ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ D13b 他	写真図版 102	形式 2×2間以上　総柱	特徴 柱穴7基　柱間128～140㎝		掲載 b1025･1026	備考・重複
SB02	遺構図 154	検出面 Ⅲ層	規模 3.30×2.70	出土遺物	土器重量 縄土器22ｇ	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C17p 他	写真図版 102	形式 2×1間	特徴 柱穴6基　柱間165㎝			備考・重複 pit1～4に柱痕
SB03	遺構図 155	検出面 Ⅲ層	規模 3.75×3.15	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15t 他	写真図版 102	形式 2×1間	特徴 柱穴6基　柱間165～210㎝			備考・重複 pit1～3・5に柱痕
SB04	遺構図 155	検出面 Ⅱ層	規模 3.60×1.50	出土遺物	土器重量 古土器17ｇ	時期 平安
位置 C区北　Ⅰ E16j 他	写真図版 102	形式 2×1間	特徴 柱穴6基　柱間180㎝			備考・重複
SB05	遺構図 155	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	規模 2.40×2.10	出土遺物	土器重量 古土器16ｇ	時期 平安
位置 C区北　Ⅰ E17k 他	写真図版 102	形式 2×2間	特徴 柱穴8基　柱間桁行2分割			備考・重複

第９表　掘立柱建物跡一覧（２）

SB07	遺構図 156	検出面 Ⅴ層	規模 11.40×7.20／38尺×24尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG4e他	写真図版 －	形式 5×1間　南北2面庇	特徴 柱穴12基　柱間7尺・8尺　庇部分4尺			備考・重複 SI78・81・97・SX111・2UMより新 SI75・1UMと重複（新旧不明）
SB08	遺構図 156･157	検出面 Ⅴ層	規模 8.70×4.80／29尺×16尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG5ｆ他	写真図版 －	形式 4×1間	特徴 柱穴7基　柱間7尺・8尺			備考・重複 SB09・10と重複
SB09	遺構図 156･157	検出面 Ⅴ層	規模 9.90×4.80／33尺×16尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG5ｆ他	写真図版 －	形式 4×1間	特徴 柱穴9基　柱間8尺・9尺			備考・重複 SB08・10と重複
SB10	遺構図 156･157	検出面 Ⅴ層	規模 9.90×4.50／33尺×15尺	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 12世紀後半
位置 E区南　ⅡG5ｆ他	写真図版 －	形式 4×1間	特徴 柱穴8基　柱間8尺・9尺			備考・重複 SB08・09と重複

第10表　焼土遺構一覧（１）

SN02	遺構図 158	検出面 Ⅳ～Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.39×0.30	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生
位置 A区　ⅡB4m	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 5			備考
SN04	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.09×0.87	出土遺物	土器重量 縄土器28ｇ	時期 縄文～弥生
位置 C区　Ⅰ D19f他	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 12		掲載　a24	備考 被熱強い　一部攪乱を受ける
SN05	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） (0.13)×(0.20)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 C区　Ⅰ D20h	写真図版 103		楕円形	焼土厚（cm） 2			備考 被熱弱い　南側攪乱を受ける
SN06	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） (0.49)×(0.20)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 C区　Ⅰ D20i他	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 3			備考 被熱弱い　一部攪乱を受ける
SN07	遺構図 158	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.85×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 B区　Ⅰ D17e	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 8			備考 中央攪乱を受ける　SU01より新
SN08	遺構図 158	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.89×0.65	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 B区　Ⅰ D18e他	写真図版 103		不整形	焼土厚（cm） 22		掲載　e10	備考 一部攪乱を受ける
SN09	遺構図 158	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.38×0.83	出土遺物	土器重量 縄土器250ｇ	時期 縄文晩期末～弥生初頭
位置 B区　Ⅰ D18d	写真図版 103		石囲炉（楕円形）	焼土厚（cm） 26		掲載　e37･48･50･52	備考
SN10	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.50×0.26	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 C区　Ⅰ D19o	写真図版 104		楕円形	焼土厚（cm） 8			備考 被熱強い　中央還元色
SN11	遺構図 159	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.74×0.54	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 C区　Ⅰ D17o	写真図版 104		楕円形	焼土厚（cm） 5			備考

第10表　焼土遺構一覧（2）

SN13	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） （0.44）×（0.42） 焼土厚（cm） 5	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降 備考 SX23より古
位置 B区　ⅠD17d	写真図版 104						
SN14	遺構図 159	検出面 Ⅱ層	形状・特徴 楕円形	焼成面規模（m） 0.77×0.52 焼土厚（cm） 10	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明 備考
位置 C区　ⅠD18m	写真図版 104						
SN15	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 石囲炉（楕円形）・地床炉（不整形）	焼成面規模（m） 1.30×0.91・0.63×0.54 焼土厚（cm） 21	出土遺物	土器重量 縄土器822ｇ 掲載　a25・26、e28・40・42・47	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 炭化材AMS測定（試料№12－9）
位置 B区　ⅠD20b	写真図版 104						
SN16	遺構図 159	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 隅丸方形	焼成面規模（m） 0.61×0.52 焼土厚（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降 備考
位置 B区　ⅡC1t	写真図版 104						
SN17	遺構図 160	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 楕円形	焼成面規模（m） 0.73×0.47 焼土厚（cm） 15	出土遺物	土器重量 縄土器22ｇ	時期 時期不明 備考
位置 C区　ⅠD17h	写真図版 105						
SN18	遺構図 160	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴 楕円形 石囲炉の可能性あり	焼成面規模（m） 0.62×0.35 焼土厚（cm） 6	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生？ 備考 1層：炉石抜取痕か
位置 C区　ⅠD17i	写真図版 105						
SN19	遺構図 160	検出面 Ⅲ層下面	形状・特徴 石囲炉（円形）	焼成面規模（m） 0.88×1.00 焼土厚（cm） 8	出土遺物	土器重量 縄土器8304ｇ 掲載　a27～34、d39、e29・35	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考
位置 C区　ⅠD20h他	写真図版 105						
SN20	遺構図 161	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 0.22×0.15 焼土厚（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 C区北　ⅠE14b	写真図版 105						
SN21	遺構図 161	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 不整形 2ヵ所あり	焼成面規模（m） 0.56×0.48・0.56×0.32 焼土厚（cm） 8	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 B区南　ⅠD17e	写真図版 105						
SN22	遺構図 161	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 1.79×1.03 焼土厚（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし 掲載　e33	時期 縄文～弥生 備考 焼土上面に炭化物広がる
位置 B区南　ⅡC1t他	写真図版 106						
SN23	遺構図 161	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整楕円形	焼成面規模（m） 0.33×0.20 焼土厚（cm） 5	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 B区南　ⅠC20ｊ	写真図版 106						
SN25	遺構図 161	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 0.48×0.46 焼土厚（cm） 3	出土遺物	土器重量 古土器114ｇ、縄土器329ｇ	時期 時期不明 備考
位置 C区北　ⅠD20t他	写真図版 106						
SN26	遺構図 172	検出面 Ⅱ層	形状・特徴 不整形 2ヵ所あり	焼成面規模（m） 0.24×0.14・0.68×0.67 焼土厚（cm） 6	出土遺物	土器重量 古土器89ｇ、縄土器310ｇ	時期 中世？ 備考 SK89と一連の遺構か
位置 C区北　ⅠE20c	写真図版 －						
SN27	遺構図 161	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 不整形	焼成面規模（m） 0.83×0.40 焼土厚（cm） 8	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生 備考
位置 AB区境　ⅠC14c	写真図版 106						

第10表　焼土遺構一覧（3）

SN28	遺構図 161	検出面 Ⅲ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.22×0.14	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生
位置 C区北　Ⅰ D20r	写真図版 106		不整形	焼土厚（cm） 8			備考
SN29	遺構図 162	検出面 Ⅱ層	形状・特徴 不整形 2ヵ所あり	焼成面規模（m） 0.29×0.21・ 0.13×0.11	出土遺物	土器重量 古土器26 g	時期 時期不明
位置 C区北　Ⅰ E14h	写真図版 106			焼土厚（cm） 6			備考
SN30	遺構図 162	検出面 SI35床面付近	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.60×0.25	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 BC区境　Ⅰ D16h	写真図版 106		不整形	焼土厚（cm） －			備考
SN33	遺構図 162	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 2.06×1.89	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文～弥生
位置 D区南　Ⅰ F19a	写真図版 106		不整形	焼土厚（cm） 5			備考
SN34	遺構図 162	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.33×0.65	出土遺物	土器重量 縄土器23 g	時期 縄文～弥生
位置 D区南　Ⅱ E1t	写真図版 107		不整楕円形	焼土厚（cm） 8			備考
SN36	遺構図 162	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 1.67×1.34	出土遺物	土器重量 古土器11 g、縄土器416 g	時期 縄文～弥生
位置 D区北　Ⅰ F18e他	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 10		掲載　a35	備考 炭化材AMS測定（試料№13－7）
SN37	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.68×0.70	出土遺物	土器重量 縄土器39 g	時期 古代？
位置 E区南　Ⅱ G1b	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 16			備考
SN38	遺構図 163	検出面 Ⅳ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.71×0.62	出土遺物	土器重量 古土器35 g、縄土器4253 g	時期 古代？
位置 E区南　Ⅱ F3o	写真図版 107		円形	焼土厚（cm） 6		掲載　a36～44	備考 SI77と重複
SN41	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） (0.50)×(0.38)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 E区北　Ⅱ H11a	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 4			備考 14UMより新
SN42	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.94×0.86	出土遺物	土器重量 古土器15 g	時期 古代以降
位置 E区南　Ⅰ F19 r	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 8			備考
SN43	遺構図 163	検出面 Ⅴ層	形状・特徴	焼成面規模（m） 0.52×0.30	出土遺物	土器重量 古土器14 g	時期 古代以降
位置 D区南　Ⅰ E17 n	写真図版 107		不整形	焼土厚（cm） 3			備考

第11表　土坑一覧（1）

SK04	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴 底面は壁際が深く中央部浅い	平面規模（m） 0.84×0.82	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区 Ⅰ B12q	写真図版 108	形状 円形		深さ（cm） 15			重複 SD03より新
SK05	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴 底面中央に付属pit（径30cm深さ10cm）	平面規模（m） 1.51×（0.84）	出土遺物	土器重量 縄土器45ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B12p	写真図版 108	形状 円形		深さ（cm） 18			重複 SD03より古
SK06	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.33×1.25	出土遺物	土器重量 縄土器5ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B10q他	写真図版 108	形状 円形		深さ（cm） 57			重複 P33と重複
SK08	遺構図 164	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.87×0.85	出土遺物	土器重量 縄土器76ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B16o	写真図版 108	形状 楕円形		深さ（cm） 39			重複 SK16より新
SK10	遺構図 164	検出面 落ち込みB5層 （Ⅱ～Ⅳ層）	特徴	平面規模（m） 0.94×0.87	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B16n	写真図版 109	形状 円形		深さ（cm） 20			重複
SK11	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.92×0.64	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B14p	写真図版 109	形状 楕円形	底面東側一段低い	深さ（cm） 26			重複
SK12	遺構図 164	検出面 Ⅴ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 1.56×0.68	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B13r	写真図版 109	形状 楕円形		深さ（cm） 40			重複 SD02と重複
SK13	遺構図 164	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.62×1.29	出土遺物	土器重量 縄土器1ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B16s他	写真図版 109	形状 楕円形		深さ（cm） 32			重複 SK31より新　P192より古
SK14	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.39×1.17	出土遺物	土器重量 古土器8ｇ、縄土器3ｇ	時期 古代以降
位置 A区 Ⅰ B10p	写真図版 110	形状 円形		深さ（cm） 30		掲載　f104	重複
SK15	遺構図 165	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴 底面起伏あり　東側に付属pit（径15～40cm、深さ10cm）	平面規模（m） 1.93×1.23	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B18n	写真図版 110	形状 楕円形		深さ（cm） 27		掲載　e1	重複
SK16	遺構図 165	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 1.95×1.35	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B16o	写真図版 110	形状 楕円形		深さ（cm） 53			重複 SK08より古
SK17	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴 底面中央に付属pit（径20cm深さ13cm）	平面規模（m） 1.95×1.66	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 Ⅰ B20l他	写真図版 110	形状 円形		深さ（cm） 20			重複
SK18	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴 底面は起伏あり、南半が深い	平面規模（m） 2.70×1.56	出土遺物	土器重量 縄土器6ｇ	時期 縄文晩期
位置 A区 Ⅰ B20k	写真図版 111	形状 楕円形		深さ（cm） 92		掲載　a45	重複
SK19	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.46×0.98	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 A区 Ⅰ B16p	写真図版 111	形状 楕円形		深さ（cm） 38			重複

第11表　土坑一覧（2）

SK20	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.92×0.85	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB2k他	写真図版 111	形状 溝状	底面起伏あり	深さ（cm） 23			重複
SK21	遺構図 165	検出面 Ⅴ層	特徴 底面中央に付属pit（径15×8、深さ13cm） 南壁オーバーハング	平面規模（m） 1.30×0.41	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB15p他	写真図版 111	形状 溝状		深さ（cm） 38			重複
SK22	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.25×1.32	出土遺物	土器重量 縄土器7ｇ	時期 縄文以降
位置 A区 ⅡB1j他	写真図版 112	形状 楕円形	底面起伏あり	深さ（cm） 67			重複
SK23	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴 東側深い　壁一部オーバーハング	平面規模（m） 0.88×0.44	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB2m	写真図版 112	形状 楕円形		深さ（cm） 35			重複
SK24	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.21×1.08	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB2n	写真図版 112	形状 楕円形		深さ（cm） 39			重複
SK25	遺構図 166	検出面 落ち込みB6層（Ⅴ層）		平面規模（m） 0.84×0.76	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文以降
位置 A区 ⅠB17r	写真図版 112	形状 円形		深さ（cm） 15			重複
SK26	遺構図 166	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.77×1.65	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB17o	写真図版 113	形状 円形		深さ（cm） 48			重複
SK27	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴 落ち込みＤｃ層（縄文晩期層）より下に形成	平面規模（m） （3.28）×（1.99）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期
位置 A区 ⅡB5o他	写真図版 113	形状 楕円形		深さ（cm） 79			重複 SK28より新
SK28	遺構図 166	検出面 Ⅴ層	特徴 重複遺構と同時に掘り下げたため全形は不明	平面規模（m） （1.46）×（0.87）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期
位置 A区 ⅡB5o他	写真図版 113	形状 推定楕円形		深さ（cm） 108			重複 SK27より古
SK29	遺構図 166	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.32×0.89	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB18r他	写真図版 113	形状 楕円形		深さ（cm） 17			重複
SK30	遺構図 167	検出面 Ⅱ～Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.66×1.45	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB17s	写真図版 113	形状 円形		深さ（cm） 28			重複
SK31	遺構図 167	検出面 落ち込みB6層（Ⅴ層）	特徴	平面規模（m） （1.55）×0.99	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅠB16s他	写真図版 114	形状 楕円形		深さ（cm） 55			重複 SK13より古
SK32	遺構図 167	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.73×0.61	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 A区 ⅡB3n	写真図版 114	形状 円形		深さ（cm） 18			重複
SK33	遺構図 167	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.08×0.97	出土遺物	土器重量 縄土器13ｇ	時期 縄文晩期
位置 A区 ⅠB15o他	写真図版 114	形状 円形		深さ（cm） 48			重複

第11表　土坑一覧（3）

SK34	遺構図 167	検出面 落ち込みＤｄ2層（Ⅳ層）	特徴	平面規模（m） （2.55）×（2.44）	出土遺物	土器重量 縄土器25ｇ	時期 縄文晩期
位置 Ａ区 Ⅱ B6n 他	写真図版 114	形状 円形		深さ（cm） 37			重複
SK35	遺構図 167	検出面 Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.29×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期
位置 Ａ区 Ⅱ B6m	写真図版 114	形状 楕円形	南側深い	深さ（cm） 65			重複
SK36	遺構図 167	検出面 Ⅱ層	特徴 撹乱により全体形状不明	平面規模（m） （0.64）×（0.45）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 Ｃ区 Ⅰ D18g	写真図版 115	形状 不明		深さ（cm） 19			重複
SK37	遺構図 167	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 1.26×1.18	出土遺物	土器重量 縄土器217ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D17h	写真図版 115	形状 円形	壁面直立	深さ（cm） 41			重複
SK38	遺構図 167	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.90×0.87	出土遺物	土器重量 古土器89ｇ、縄土器379ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D18i 他	写真図版 115	形状 円形		深さ（cm） 20		掲載　a46	重複
SK39	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.75×0.61	出土遺物	土器重量 古土器20ｇ	時期 古代以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D17j	写真図版 115	形状 楕円形		深さ（cm） 18			重複
SK41	遺構図 168	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 2.30×0.70	出土遺物	土器重量 古土器85ｇ	時期 古代以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D12k 他	写真図版 116	形状 溝状	底面平坦	深さ（cm） 23			重複
SK42	遺構図 168	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 1.79×1.76	出土遺物	土器重量 古土器380ｇ、縄土器14ｇ	時期 古代以降
位置 Ｃ区 Ⅰ D13i 他	写真図版 116	形状 円形		深さ（cm） 56		掲載　f105･106	重複 SD17より新
SK44	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.59×1.10	出土遺物	土器重量 縄土器153ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D15d	写真図版 116	形状 楕円形		深さ（cm） 23			重複
SK45	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に浅い付属pit（深さ10cm）2層が柱痕跡の可能性あり	平面規模（m） 1.69×1.31	出土遺物	土器重量 古土器17ｇ、縄土器313ｇ	時期 古代以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D14d 他	写真図版 116	形状 円形		深さ（cm） 58			重複
SK46	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.28×1.20	出土遺物	土器重量 縄土器142ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D19b 他	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 51			重複
SK47	遺構図 168	検出面 Ⅲ層	特徴 Ⅲ層起源褐色土ブロック多い	平面規模（m） 1.22×1.03	出土遺物	土器重量 縄土器9ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D17c	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 34			重複
SK48	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に付属pit（深さ16cm）　堆積土中位に礫含む	平面規模（m） 1.03×0.99	出土遺物	土器重量 縄土器15ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D16c	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 43			重複 SK49と重複
SK49	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.05×0.93	出土遺物	土器重量 縄土器18ｇ	時期 縄文以降
位置 Ｂ区 Ⅰ D16c	写真図版 117	形状 円形		深さ（cm） 29			重複 SK48と重複

第11表　土坑一覧（4）

SK50	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.69×1.18	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 B区 Ⅰ D19e他	写真図版 118	形状 長方形		深さ（cm） 56			重複
SK51	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面起伏あり　褐色洪水砂で埋没	平面規模（m） 1.21×0.87	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C17r	写真図版 118	形状 長方形		深さ（cm） 12			重複
SK52	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 堆積土中位に礫含む	平面規模（m） 1.04×0.88	出土遺物	土器重量 古土器31ｇ、縄土器760ｇ	時期 古代以降
位置 B区 Ⅰ D15c他	写真図版 118	形状 円形		深さ（cm） 34			重複
SK53	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 堆積土中位に径5～20cm大の礫多数	平面規模（m） 1.63×0.94	出土遺物	土器重量 古土器358ｇ、縄土器41ｇ	時期 古代
位置 C区 Ⅰ D19q	写真図版 118	形状 長方形		深さ（cm） 48		掲載　b1027･1028	重複 SK54より古
SK54	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央部に複数の窪み	平面規模（m） 1.31×1.09	出土遺物	土器重量 古土器535ｇ、縄土器5ｇ	時期 古代
位置 C区 Ⅰ D19q	写真図版 119	形状 長方形		深さ（cm） 27		掲載　b1029	重複 SK53より新
SK55	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.44×1.24	出土遺物	土器重量 縄土器218ｇ	時期 縄文以降
位置 C区 Ⅰ D15l	写真図版 119	形状 円形		深さ（cm） 25			重複
SK56	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.02×0.91	出土遺物	土器重量 古土器15ｇ	時期 古代以降
位置 B区 Ⅰ C15n	写真図版 119	形状 方形		深さ（cm） 16			重複
SK57	遺構図 169	検出面 Ⅲ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 1.28×0.72	出土遺物	土器重量 縄土器16ｇ	時期 縄文以降
位置 C区 Ⅰ D17i	写真図版 119	形状 楕円形		深さ（cm） 22			重複
SK58	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 炭化材細片を全体に含む	平面規模（m） 1.21×0.94	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 C区 Ⅰ D17i	写真図版 120	形状 楕円形		深さ（cm） 11			重複
SK59	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 底面起伏あり　炭化材細片を全体に含む	平面規模（m） 1.62×1.06	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 C区 Ⅰ D16i他	写真図版 120	形状 楕円形		深さ（cm） 35			重複
SK60	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.63×1.56	出土遺物	土器重量 縄土器3ｇ	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C14r	写真図版 120	形状 方形		深さ（cm） 20			重複 SI16より古
SK61	遺構図 170	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴	平面規模（m） (1.17)×(1.53)	出土遺物	土器重量 古土器63ｇ、縄土器106ｇ	時期 古代以降
位置 C区 Ⅰ D15l他	写真図版 120	形状 円形		深さ（cm） 55			重複
SK62	遺構図 170	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 1.41×1.40	出土遺物	土器重量 古土器30ｇ、縄土器827ｇ	時期 古代
位置 C区 Ⅰ D16k他	写真図版 121	形状 円形		深さ（cm） 32		掲載　b1030	重複
SK64	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.95×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 B区 Ⅰ C15k	写真図版 121	形状 円形		深さ（cm） 19			重複

第11表　土坑一覧（5）

SK65	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 西側堆積土下部に炭化物･焼土ブロックあり　底面西側一段低い	平面規模（m） 1.72×1.17	出土遺物	土器重量 古土器414ｇ、縄土器67ｇ	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C13o他	写真図版 121	形状 長方形		深さ（cm） 43		掲載　b1031～1034	重複
SK66	遺構図 170	検出面 Ⅲ層	特徴 底面凹凸激しい　本来の検出面より下面で確認	平面規模（m） 1.84×1.43	出土遺物	土器重量 古土器9ｇ、縄土器26ｇ	時期 古代以降
位置 B区 Ⅰ D17f他	写真図版 121	形状 楕円形		深さ（cm） 89			重複
SK67	遺構図 171	検出面 Ⅱ層	特徴 底面溝状の起伏あり	平面規模（m） （1.62）×1.47	出土遺物	土器重量 古土器2ｇ	時期 古代
位置 B区 Ⅰ C15j	写真図版 122	形状 長方形		深さ（cm） 37			重複 SI19より古
SK68	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 上面に小礫が集積	平面規模（m） 1.50×1.08	出土遺物	土器重量 縄土器23ｇ	時期 縄文以降
位置 B区 Ⅰ C16t	写真図版 122	形状 楕円形		深さ（cm） 30			重複
SK69	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央が盛り上がる	平面規模（m） 1.64×1.17	出土遺物	土器重量 古土器14ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ E13b他	写真図版 122	形状 楕円形		深さ（cm） 43			重複
SK70	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 東側深い	平面規模（m） 2.68×1.60	出土遺物	土器重量 縄土器492ｇ	時期 縄文以降
位置 C区北 Ⅰ E13b他	写真図版 122	形状 楕円形		深さ（cm） 38			重複
SK71	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.91×0.78	出土遺物	土器重量 古土器116ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ E15c	写真図版 123	形状 円形		深さ（cm） 21			重複 SI23より新
SK72	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に付属pit（深さ7cm）	平面規模（m） 0.74×0.65	出土遺物	土器重量 古土器177ｇ、縄土器71ｇ	時期 古代
位置 C区北 Ⅰ E17ｇ	写真図版 123	形状 円形		深さ（cm） 29		掲載　b1035	重複
SK73	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面南側の一部低い	平面規模（m） 0.74×0.70	出土遺物	土器重量 古土器79ｇ、縄土器4ｇ	時期 古代
位置 C区北 Ⅰ E17h他	写真図版 123	形状 円形		深さ（cm） 26		掲載　b1036･1037	重複
SK74	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） 0.73×0.54	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 C区北 Ⅰ E17ｇ	写真図版 123	形状 楕円形		深さ（cm） 15			重複
SK75	遺構図 171	検出面 Ⅱ層	特徴	平面規模（m） 3.65×1.05	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ E18f他	写真図版 124	形状 溝状		深さ（cm） 35			重複 ＳＩ27より新
SK77	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に楕円形の窪み　上面に炭化物含む	平面規模（m） 1.42×1.34	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 B区南 Ⅰ C16d	写真図版 124	形状 方形		深さ（cm） 43			重複
SK83	遺構図 171	検出面 Ⅲ層	特徴	平面規模（m） （1.26）×1.18	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 B区南 Ⅰ C17g他	写真図版 124	形状 方形		深さ（cm） 15			重複 SX55より古
SK89	遺構図 172	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴 SN26と一連の遺構か　渡来銭一括出土	平面規模（m） 2.52×2.26	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 中世初頭
位置 C区北 Ⅰ E20c他	写真図版 124･125	形状 方形		深さ（cm） 66		掲載　f78～82	重複

第11表　土坑一覧（6）

SK90	遺構図 172	検出面 Ⅱ層	特徴 SK91の堆積土に似る	平面規模（m） 0.87×0.57	出土遺物	土器重量 古土器25ｇ、縄土器3ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ D20t	写真図版 125	形状 楕円形		深さ（cm） 22		掲載　b1038	重複
SK91	遺構図 172	検出面 Ⅱ～Ⅲ層	特徴 下端平面記録欠落　SK90の堆積土に似る	平面規模（m） 0.58×0.51	出土遺物	土器重量 古土器4ｇ、縄土器6ｇ	時期 古代以降
位置 C区北 Ⅰ D20t	写真図版 125	形状 円形		深さ（cm） 21			重複
SK92	遺構図 172	検出面 Ⅲ層	特徴 堆積土上部に遺物多く含む	平面規模（m） 2.15×1.06	出土遺物	土器重量 縄土器1885ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅰ E17t他	写真図版 125	形状 楕円形		深さ（cm） 15		掲載　a47、e64	重複
SK94	遺構図 172	検出面 SI54内	特徴	平面規模（m） 1.07×1.05	出土遺物	土器重量 縄土器60ｇ	時期 古代以降
位置 D区南 Ⅰ E14t	写真図版 126	形状 円形		深さ（cm） 25			重複 SI54より新
SK95	遺構図 172	検出面 Ⅲ層	特徴 底面は起伏激しい	平面規模（m） 1.00×0.71	出土遺物	土器重量 古土器72ｇ、縄土器1ｇ	時期 古代以降
位置 D区南 Ⅰ E20p他	写真図版 126	形状 楕円形		深さ（cm） 18			重複
SK96	遺構図 172	検出面 Ⅲ層	特徴 壁面下部直立　堆積土上部に灰白色テフラブロック含む	平面規模（m） 2.66×2.56	出土遺物	土器重量 古土器2140ｇ、縄土器2066ｇ	時期 古代
位置 D区南 Ⅰ F18b	写真図版 126	形状 円形		深さ（cm） 156		掲載　a48、b1039～1044、e241	重複
SK97	遺構図 173	検出面 Ⅲ層	特徴 北東壁際上部から炭化材出土	平面規模（m） 1.64×1.22	出土遺物	土器重量 縄土器11ｇ	時期 古代
位置 D区南 Ⅰ F16c	写真図版 126	形状 楕円形		深さ（cm） 37			重複
SK99	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 人骨１体出土　底面に赤色顔料散布	平面規模（m） 1.14×0.67	出土遺物	土器重量 縄土器203ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅱ F1a他	写真図版 127	形状 楕円形		深さ（cm） 16		掲載　a49	重複
SK100	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布	平面規模（m） 0.75×0.56	出土遺物	土器重量 縄土器40ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅱ E1t	写真図版 127	形状 楕円形		深さ（cm） 17		掲載　e133･163	重複
SK101	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 人骨１体出土　底面に赤色顔料散布	平面規模（m） 1.19×0.56	出土遺物	土器重量 縄土器592ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅱ F1a他	写真図版 128	形状 楕円形		深さ（cm） 26		掲載　a50･51、e65	重複
SK102	遺構図 173	検出面 Ⅳc層	特徴 上面に小礫が集積	平面規模（m） 0.65×0.45	出土遺物	土器重量 縄土器1100ｇ	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅰ E19t	写真図版 128	形状 楕円形		深さ（cm） 17		掲載　a52、e134･164･262	重複
SK104	遺構図 173	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布	平面規模（m） (0.66)×(0.48)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 弥生前期
位置 D区南 Ⅰ E18s他	写真図版 128	形状 楕円形		深さ（cm） 8			重複
SK105	遺構図 173	検出面 Ⅴ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 2.05×1.32	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 F区1次 Ⅱ H4c	写真図版 129	形状 楕円形		深さ（cm） 58			重複 SD31・32より古
SK106	遺構図 174	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布	平面規模（m） (0.62)×(0.50)	出土遺物	土器重量 古土器10ｇ、縄土器37ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F1c	写真図版 129	形状 楕円形		深さ（cm） 21			重複

第11表　土坑一覧（7）

SK107	遺構図 174	検出面 Ⅳb層	特徴 底面に赤色顔料散布　撹乱により全体形状不明	平面規模（m） （0.82）×（0.70）	出土遺物	土器重量 縄土器16ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F2h他	写真図版 129	形状 楕円形		深さ（cm） 10			重複
SK109	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴 自然堆積　上位～中位に礫多い	平面規模（m） 4.86×4.44	出土遺物	土器重量 古土器12423ｇ、縄土器771ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅰ F18k他	写真図版 129	形状 円形		深さ（cm） 188		掲載　a53、b1045～1057、e190･275･329	重複 SK112より新
SK110	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.19×0.72	出土遺物	土器重量 縄土器24ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅰ F19k他	写真図版 130	形状 長方形		深さ（cm） 12			重複
SK111	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴 焼土粒含む	平面規模（m） 1.06×0.58	出土遺物	土器重量 縄土器129ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅰ F18l	写真図版 130	形状 長方形		深さ（cm） 9			重複
SK112	遺構図 174	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.49×1.12	出土遺物	土器重量 縄土器4ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅰ F18k	写真図版 130	形状 円形		深さ（cm） 21			重複 SK109より古
SK113	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.32×1.03	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅰ F19m	写真図版 130	形状 長方形		深さ（cm） 36			重複
SK116	遺構図 175	検出面 Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 1.50×1.45	出土遺物	土器重量 縄土器25ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F1h	写真図版 131	形状 円形		深さ（cm） 38		掲載　e242	重複
SK117	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） （1.08）×0.87	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F3i他	写真図版 131	形状 円形		深さ（cm） 20			重複
SK118	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴 焼土粒含む	平面規模（m） 0.75×0.52	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F3i	写真図版 131	形状 円形		深さ（cm） 34			重複
SK119	遺構図 175	検出面 Ⅳc層	特徴 底面に赤色顔料散布　撹乱により全体形状不明	平面規模（m） （1.11）×（0.72）	出土遺物	土器重量 縄土器25ｇ	時期 弥生前期
位置 D区北 Ⅱ F2i	写真図版 131	形状 楕円形		深さ（cm） 16			重複
SK121	遺構図 175	検出面 Ⅳ層	特徴	平面規模（m） 0.66×0.52	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F2n	写真図版 132	形状 円形		深さ（cm） 13			重複
SK122	遺構図 175	検出面 Ⅳ層	特徴 底面中央に付属pit（深さ13cm）	平面規模（m） 0.56×0.43	出土遺物	土器重量 縄土器17ｇ	時期 古代
位置 D区北 Ⅱ F3n	写真図版 132	形状 楕円形		深さ（cm） 23			重複
SK126	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 〈1.68〉×0.94	出土遺物	土器重量 古土器18ｇ	時期 中世初頭
位置 E区北 Ⅱ G6m	写真図版 132	形状 長方形		深さ（cm） 21			重複 SD30より新
SK127	遺構図 175	検出面 Ⅴ層	特徴 底面東側一段低い	平面規模（m） 1.41×0.42	出土遺物	土器重量 古土器1623ｇ、縄土器20ｇ	時期 古代
位置 E区北 Ⅱ G7h	写真図版 132	形状 長方形		深さ（cm） 48		掲載　b1058～1062	重複

第11表　土坑一覧（8）

SK128	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴 底面東側一部焼成面あり	平面規模（m） 1.13×0.49	出土遺物	土器重量 古土器683ｇ	時期 古代
位置 E区北 Ⅱ G6g	写真図版 133	形状 長方形		深さ（cm） 18		掲載　b1063	重複
SK130	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴 底面北半低い	平面規模（m） （1.27）×（0.75）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 E区北 Ⅱ G8l他	写真図版 133	形状 溝状		深さ（cm） 13			重複 SD30より古
SK131	遺構図 176	検出面 SI77内	特徴	平面規模（m） 0.95×0.72	出土遺物	土器重量 縄土器17ｇ	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ F3p	写真図版 133	形状 楕円形		深さ（cm） 32			重複 SI77より古
SK133	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴 底面に礫	平面規模（m） 3.28×3.00	出土遺物	土器重量 古土器304ｇ	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G3g他	写真図版 133	形状 円形		深さ（cm） 68		掲載　c4･5	重複
SK134	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.95×2.72	出土遺物	土器重量 古土器117ｇ	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G4h他	写真図版 133	形状 円形		深さ（cm） 45		掲載　c6、e330	重複
SK135	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） （1.97）×（0.85）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区北 Ⅱ G10ｒ	写真図版 134	形状 楕円形		深さ（cm） 30			重複 SI93より古
SK136	遺構図 176	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.82×1.68	出土遺物	土器重量 古土器3ｇ、縄土器199ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ F4r	写真図版 134	形状 方形		深さ（cm） 45			重複 SK137より新
SK137	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.31×（1.15）	出土遺物	土器重量 縄土器10ｇ	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ F4r他	写真図版 134	形状 円形		深さ（cm） 33			重複 SK136より古
SK138	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴 底面に礫	平面規模（m） 3.38×2.66	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G3g他	写真図版 134･135	形状 方形		深さ（cm） 26		掲載　f107～109	炭化材AMS測定(試料№13－6)
SK141	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 2.71×2.45	出土遺物	土器重量 古土器47ｇ	時期 中世初頭
位置 E区南 Ⅱ G3h	写真図版 135	形状 楕円形		深さ（cm） 40			重複
SK142	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.51×1.14	出土遺物	土器重量 古土器95ｇ、縄土器4ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ G2a	写真図版 135	形状 長方形		深さ（cm） 66			重複 SD38より古、6UMより新
SK143	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.19×0.62	出土遺物	土器重量 古土器23ｇ	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G1b	写真図版 135	形状 楕円形		深さ（cm） 63			重複
SK144	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.79×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G3b	写真図版 136	形状 円形		深さ（cm） 26			重複
SK145	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 0.82×0.73	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G2b	写真図版 136	形状 円形		深さ（cm） 16			重複

第11表　土坑一覧（9）

SK146	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） （1.42）×1.16	出土遺物	土器重量 古土器70ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ G3a	写真図版 136	形状 円形		深さ（cm） 35		掲載　b1064	重複 SI74より古、6UMより新
SK147	遺構図 177	検出面 Ⅴ層	特徴	平面規模（m） 1.53×（1.10）	出土遺物	土器重量 縄土器36ｇ	時期 不明
位置 E区北 Ⅱ H11a他	写真図版 136	形状 楕円形		深さ（cm） 65		掲載　a54･55	重複
SK148	遺構図 178	検出面 Ⅲ層	特徴 底面中央に付属pit 2基　下部外周に 裏込状堆積層	平面規模（m） 4.54×3.82	出土遺物	土器重量 古土器4862ｇ、縄土器2017ｇ	時期 古代
位置 D区南 Ⅰ F15c他	写真図版 137	形状 円形		深さ（cm） 163		掲載　a56～58、b1065～1072	重複
SK149	遺構図 178	検出面 Ⅴ層	特徴 底面東側～中央に 薄く炭化物	平面規模（m） 1.85×1.74	出土遺物	土器重量 古土器187ｇ、縄土器66ｇ	時期 古代
位置 E区南 Ⅱ G6b他	写真図版 137	形状 方形		深さ（cm） 23		掲載　b1073～1075	重複 SI72より古
SK150	遺構図 178	検出面 Ⅴ層	特徴 底面起伏あり	平面規模（m） 2.01×0.78	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 不明
位置 E区南 Ⅱ G5c	写真図版 137	形状 溝状		深さ（cm） 40			重複 2UMより古

第12表　焼成遺構一覧（1）

SX01	遺構図 179	形状 楕円形　全形不明 底面東側深い 東壁オーバーハング	焼成面 BB'1層炭層　2層焼成面 5層馬蹄形状の焼成面	平面規模（m） （1.77）×1.40	出土遺物	土器重量 縄土器80ｇ	時期 縄文?
位置 A区　Ⅰ B18p	写真図版 138			深さ（cm） 60～110			SD13と重複 炭化物AMS測定 （試料№11－4）
検出面　落ち込みB4～5層（Ⅱ～Ⅳ層）							
SX02	遺構図 179	形状 円形 検出時南半消失 底面起伏あり	焼成面 焼成面撹乱で分断 炉壁状の部分あり	平面規模（m） （2.17）×（1.64）	出土遺物	土器重量 出土なし 掲載　d140・141	時期 縄文?
位置 A区　Ⅰ B17q	写真図版 138			深さ（cm） 20			重複・備考 炭化物AMS測定 （試料№11－5）
検出面　落ち込みB4層（Ⅱ～Ⅳ層）							
SX04	遺構図 180	形状 不整楕円形 底面に小穴	焼成面 南～東壁面断続的な焼成面	平面規模（m） 0.64×0.40	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 A区　Ⅰ B17o	写真図版 138			深さ（cm） 15			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX05	遺構図 180	形状 円形	焼成面 壁面全周断続的な焼成面 底面に炭層	平面規模（m） （0.38）×0.35	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文
位置 A区　Ⅰ B16r	写真図版 138			深さ（cm） 10			重複・備考
検出面　落ち込みB6層（Ⅴ層）							
SX07	遺構図 180	形状 円形 壁は全周立ち上がる	焼成面 底面中央に焼成面	平面規模（m） 1.19×（1.04）	出土遺物	土器重量 古土器118ｇ 掲載　b1076･1077	時期 平安
位置 A区　Ⅰ B8q	写真図版 139			深さ（cm） 20			重複・備考 SD11より古
検出面　Ⅴ層							
SX09	遺構図 180	形状 隅丸長方形	焼成面 壁面焼成面被熱強 2層直上に薄い焼成面 2層炭層	平面規模（m） 1.10×0.73	出土遺物	土器重量 古土器194ｇ、縄土器83ｇ 掲載　b1078	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D16i	写真図版 139			深さ（cm） 28			重複・備考
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（2）

SX10	遺構図 180	形状 隅丸長方形	焼成面 底面焼成面（9層） 直上に炭層（5層）	平面規模（m） 1.05×0.63	出土遺物	土器重量 古土器5166ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D15i	写真図版 139			深さ（cm） 18		掲載　b1079～1084	重複・備考 底面付近～下層に多量の土器剥片
検出面　Ⅱ層							
SX11	遺構図 181	形状 隅丸長方形 底面凹凸あり南半が深い　壁面短軸側直立長軸側外傾	焼成面 南半部焼成面2面（4･7層） 中間に炭層（6層）	平面規模（m） 1.96×1.12	出土遺物	土器重量 古土器5578ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D16i	写真図版 139			深さ（cm） 35		掲載　b1085･1086	重複・備考 底面付近に多量の土器剥片
検出面　Ⅲ層							
SX12	遺構図 181	形状 楕円形 底面凹凸あり南半が深い　壁面短軸側直立長軸側外傾	焼成面 壁面焼成面（10層） 下位に炭層（12層）	平面規模（m） 〈1.43〉×1.00	出土遺物	土器重量 古土器330ｇ、縄土器32ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D19ｆ他	写真図版 139			深さ（cm） 25		掲載　b1087	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX13	遺構図 181	形状 隅丸長方形 南側は攪乱で消失	焼成面 底面～壁に焼成面 底面直上に炭層（8層） 上部人為堆積	平面規模（m） 1.49×〈0.95〉	出土遺物	土器重量 古土器488ｇ、縄土器11ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D17j他	写真図版 139			深さ（cm） 41		b1088	重複・備考 炭化物AMS測定（試料№12－4）
検出面　Ⅲ層							
SX14	遺構図 181	形状 隅丸長方形	焼成面 焼成面なし 堆積土中位に炭化物	平面規模（m） 1.60×0.69	出土遺物	土器重量 古土器148ｇ、縄土器19ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D17h	写真図版 139			深さ（cm） 22		掲載　b1089	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX15	遺構図 182	形状 楕円形 底部は長方形	焼成面 下部焼成面（7層） 上下に炭層（6・9層）	平面規模（m） 1.73×1.25	出土遺物	土器重量 古土器771ｇ、縄土器95ｇ	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D16i	写真図版 140			深さ（cm） 69		掲載　b1090、f110	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX16	遺構図 182	形状 隅丸方形 底部は長方形	焼成面 焼成面なし 東半部に薄い炭化物・焼土ブロック層（2層）	平面規模（m） 1.49×0.91	出土遺物	土器重量 古土器582ｇ、縄土器231ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D15k他	写真図版 140			深さ（cm） 32		掲載　a59、b1091	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX18	遺構図 182	形状 隅丸方形 底面凹凸あり	焼成面 底面・壁面の一部に焼成面　直上に炭層	平面規模（m） 1.21×0.88	出土遺物	土器重量 古土器129ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D14l他	写真図版 140			深さ（cm） 15			重複・備考 SI08より新か
検出面　Ⅲ層							
SX19	遺構図 182	形状 隅丸方形 底面凹凸激しい	焼成面 焼成面なし　上部に炭化物	平面規模（m） 1.74×0.91	出土遺物	土器重量 古土器754ｇ、縄土器10ｇ	時期 奈良
位置 C区　Ⅰ D14s他	写真図版 140			深さ（cm） 29		掲載　b192	重複・備考 人為堆積
検出面　Ⅲ層							
SX20	遺構図 182	形状 方形 底面凹凸激しい	焼成面 焼成面なし　焼土粒多	平面規模（m） 0.82×0.81	出土遺物	土器重量 古土器311ｇ	時期 古代
位置 C区　Ⅰ D14s	写真図版 140			深さ（cm） 15		掲載　b1093	重複・備考 人為堆積
検出面　Ⅲ層							
SX21	遺構図 183	形状 不整楕円形 底面凹凸顕著	焼成面 底面西側に焼成面（4層） 堆積土中に炭化物・焼土粒	平面規模（m） (1.69)×(0.91)	出土遺物	土器重量 古土器399ｇ、縄土器7ｇ	時期 奈良
位置 C区　Ⅰ D14s	写真図版 140			深さ（cm） 10		掲載　b1094	重複・備考 人為堆積
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（3）

SX22	遺構図 183	形状 不整形 底面凹凸激しい	焼成面 焼成面なし 炭化物・焼土粒多	平面規模（m） (0.70)×(0.60)	出土遺物	土器重量 古土器403ｇ 掲載　b1095	時期 古代
位置 C区　ⅠD14s	写真図版 140			深さ（cm） 14			重複・備考 人為堆積　土器剥片含む
検出面　Ⅲ層							
SX23	遺構図 183	形状 隅丸方形（張出部あり） 壁面直立 張出部底面凹凸あり	焼成面 焼成面2面　1面目底面中央と壁面（16層）　2面目底面～壁面（11・12・14層）　2面目焼土上面に炭層（10層）	平面規模（m） 1.57×1.29	出土遺物	土器重量 古土器54ｇ、縄土器48ｇ	時期 古代
位置 B区　ⅠD17ｄ	写真図版 140			深さ（cm） 36			重複・備考 SN13より新
検出面　Ⅲ層							
SX24	遺構図 183	形状 隅丸方形	焼成面 底面～壁面焼成面（6層）　壁面還元色　底面直上に炭化物・焼土ブロック層（2層）	平面規模（m） 1.13×0.59	出土遺物	土器重量 古土器1198ｇ、縄土器9ｇ 掲載　b1096～1098	時期 平安
位置 B区　ⅠD18ｄ他	写真図版 141			深さ（cm） 22			重複・備考 2層に土器剥片
検出面　Ⅲ層							
SX25	遺構図 184	形状 隅丸方形	焼成面 焼成面なし 中位に炭層（2層）	平面規模（m） 0.92×0.78	出土遺物	土器重量 古土器1ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD20q	写真図版 141			深さ（cm） 25			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX26	遺構図 184	形状 隅丸方形 底面西半が深い	焼成面 焼成面なし 上部に炭化物・焼土粒若干	平面規模（m） 1.62×0.95	出土遺物	土器重量 古土器126ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD19q	写真図版 141			深さ（cm） 48			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX27	遺構図 184	形状 不整楕円形 長軸方向底面傾斜あり	焼成面 底面焼成面（3層）	平面規模（m） 1.11×0.59	出土遺物	土器重量 古土器271ｇ、縄土器5ｇ 掲載　b1099･1100	時期 平安
位置 C区　ⅠD18p他	写真図版 141			深さ（cm） 30			重複・備考 SI09より新
検出面　Ⅱ層							
SX28	遺構図 184	形状 長方形 底面が2ヶ所窪む	焼成面 焼成面なし 炭層（2層）焼土粒混	平面規模（m） 1.25×0.69	出土遺物	土器重量 古土器1024ｇ、縄土器13ｇ 掲載　b1101～1105、d91、f111	時期 平安
位置 C区　ⅠD18p	写真図版 141			深さ（cm） 27			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX30	遺構図 184	形状 楕円形　底部隅丸方形 南側壁際に小穴2ヶ所	焼成面 焼成面2面　1面目（11層）直上に炭層（10層）　2面目焼成面（4層）上面に灰層（7層）	平面規模（m） 1.78×1.23	出土遺物	土器重量 古土器156ｇ、縄土器12ｇ 掲載　b1106･1107 出土イネＤＮＡ分析（Ⅴ章２） 炭化種実同定（試料No.9・10）	時期 奈良
位置 C区　ⅠD17q他	写真図版 141			深さ（cm） 58			重複・備考 炭化物AMS測定（試料№12－5）
検出面　Ⅱ層							
SX31	遺構図 185	形状 円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に炭化物・焼土粒	平面規模（m） (0.50)×(0.37)	出土遺物	土器重量 古土器8ｇ、縄土器13ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD18q	写真図版 142			深さ（cm） 30			重複・備考 トレンチ掘削時に確認 西側消失
検出面　Ⅱ層							
SX32	遺構図 185	形状 円～方形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に炭化物・焼土粒	平面規模（m） (0.73)×(0.33)	出土遺物	土器重量 古土器7ｇ	時期 古代
位置 C区　ⅠD14p	写真図版 142			深さ（cm） 10			重複・備考 撹乱により全体形状不明
検出面　Ⅱ～Ⅲ層							
SX34	遺構図 185	形状 長方形	焼成面 南西半底面～壁面焼成面（10･11層）　直上に炭層（9層）　上位に2面目焼成面（BB'2層）	平面規模（m） 1.91×1.48	出土遺物	土器重量 古土器1323ｇ 掲載　b1108 炭化種実同定（試料№11～13）	時期 古代
位置 B区　ⅠC15m他	写真図版 142			深さ（cm） 52			重複・備考 炭化物AMS測定（試料№12－6）
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（4）

SX35	遺構図 185	形状	焼成面	平面規模（m） 1.23×0.76	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 B区　Ⅰ C15m	写真図版 142	隅丸長方形 底面南西半が若干深い	西半中央に弱い焼成面 直上に炭層（3層）	深さ（cm） 14		出土なし	重複・備考 3層炭化種実同定（試料№14）
検出面　Ⅲ層							
SX37	遺構図 185	形状	焼成面	平面規模（m） 1.21×0.88	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 B区　Ⅰ C15p	写真図版 142	不整楕円形 南側底面凹凸あり	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 6		古土器11 g 掲載　b1109	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX38	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） (0.98)×(0.34)	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 C区　Ⅰ D13t他	写真図版 142	楕円形か	底面全体に焼成面 焼土厚最大6cm	深さ（cm） 12		古土器50 g、縄土器10 g 掲載　b1110・1111	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX39	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） (1.71)×(1.37)	出土遺物	土器重量	時期 縄文～古代？
位置 B区　Ⅰ C18l他	写真図版 143	隅丸方形か	底面～壁焼成面（6層） 底面直上に炭化材	深さ（cm） 32		出土なし	重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX40	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） 1.34×1.32	出土遺物	土器重量	時期 縄文～古代？
位置 B区　Ⅰ C20m	写真図版 143	不整円形 底面に小穴2ヶ所	底面焼成面（3層） 焼成面下位に炭層（4層）	深さ（cm） 45		縄土器12 g	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX41	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） 0.88×0.69	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15c他	写真図版 143	楕円形 掘り方（7層）一段下がる	底面北側に焼成面（6層）	深さ（cm） 21		古土器72 g、縄土器77g	重複・備考 焼成面平面記録欠落
検出面　Ⅱ層							
SX42	遺構図 186	形状	焼成面	平面規模（m） 0.91×0.56	出土遺物	土器重量	時期 奈良～平安初
位置 C区北　Ⅰ E15d他	写真図版 143	楕円形	底面～壁一部焼成面 直上に炭層（3層）	深さ（cm） 10		古土器1844 g、縄土器15g 掲載　b1112～1117 炭化種実同定（試料No.16・17）	重複・備考 炭層上面に土器剥片多量　焼成面平面記録欠落
検出面　Ⅱ層							
SX43	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） 1.54×0.75	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E16d他	写真図版 143	長方形 北壁の立ち上がり不明瞭	底面南側に焼成面 直上に炭層（4層）	深さ（cm） 22		古土器551 g 掲載　b1118 炭化種実同定（試料No.18・19）	重複・備考 焼成面平面記録欠落 出土イネＤＮＡ分析（Ⅴ章２）
検出面　Ⅱ層							
SX44	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） (0.60)×(0.34)	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E16d	写真図版 143	不整形	底面焼成面	深さ（cm） 6		古土器7 g	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX45	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） 1.35×0.84	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 B区南　Ⅰ C18j他	写真図版 144	楕円形 西壁緩やかに外傾	底面焼成面 直上に炭層（5層） 炭化材の方向揃う	深さ（cm） 37		古土器416 g 掲載　b1119～1121	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX47	遺構図 187	形状	焼成面	平面規模（m） 1.61×0.98	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ D20s他	写真図版 144	楕円形 南側広がる（掘り方か）	壁面焼成面	深さ（cm） 35		古土器684 g、縄土器245 g 掲載　a60、b1122	重複・備考
検出面　Ⅱ層							

第12表　焼成遺構一覧（5）

SX48	遺構図 187	形状 楕円形 底面凹凸あり 壁下半直立上半外傾	焼成面 焼成面なし　下部に焼土ブロック・炭層（4層）	平面規模（m） 1.80×1.26	出土遺物	土器重量 古土器858 g 掲載　b1123～1125 炭化種実同定（試料No.46）	時期 平安
位置 B区　ⅠC18f	写真図版 144			深さ（cm） 55			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX49	遺構図 188	形状 楕円形	焼成面 底面断片的な焼成面 直上に炭層	平面規模（m） 1.38×1.06	出土遺物	土器重量 古土器311 g、縄土器84 g 掲載　b1126･1127、e25	時期 平安
位置 C区北　ⅠE19a	写真図版 144			深さ（cm） 14			重複・備考 P1581より古
検出面　Ⅲ層							
SX51	遺構図 188	形状 楕円形	焼成面 底面～壁に薄い弱い焼成面　底面直上に焼土ブロック層	平面規模（m） 0.96×0.50	出土遺物	土器重量 古土器356 g 掲載　b1128	時期 古代
位置 B区南　ⅠC17i	写真図版 144			深さ（cm） 25			重複・備考 SI32より新
検出面　Ⅲ層							
SX52	遺構図 188	形状 隅丸長方形 底面西側が一段下がる	焼成面 西半南北壁面に焼成面	平面規模（m） 1.31×0.97	出土遺物	土器重量 古土器62 g 炭化種実同定（試料No.41）	時期 古代
位置 B区南　ⅠC15h	写真図版 144			深さ（cm） 38			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX53	遺構図 188	形状 楕円形	焼成面 底面～壁に焼成面 底面直上に炭層	平面規模（m） 1.23×0.63	出土遺物	土器重量 古土器141 g	時期 古代
位置 C区北　ⅠE15l	写真図版 145			深さ（cm） 17			重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX54	遺構図 189	形状 隅丸長方形	焼成面 底面～壁に焼成面（17・18層）　底面直上に炭層（15層）	平面規模（m） （1.37）×1.03	出土遺物	土器重量 古土器3036 g 掲載　b1129	時期 平安
位置 B区南　ⅠC17g	写真図版 145			深さ（cm） 29			重複・備考 SX55より古 土器剥片多量
検出面　Ⅲ層							
SX55	遺構図 189	形状 隅丸長方形	焼成面 底面～壁に焼成面（11層） 底面直上に炭層	平面規模（m） 1.19×0.88	出土遺物	土器重量 古土器715 g、縄土器45 g 掲載　b1130～1135 炭化種実同定（試料No.42）	時期 平安
位置 B区南　ⅠC17g	写真図版 145			深さ（cm） 44			重複・備考 SK83・SX54より新
検出面　Ⅲ層							
SX57	遺構図 189	形状 隅丸方形 壁面垂直な立ち上がり	焼成面 西側に焼成面（5・6層） 焼成面下位に炭層（11層）	平面規模（m） 1.12×1.01	出土遺物	土器重量 古土器61 g、縄土器5 g 炭化種実同定（試料No.20・43・44）	時期 古代
位置 C区北　ⅠE17f他	写真図版 145			深さ（cm） 49			重複・備考 SI27と重複
検出面　Ⅲ層							
SX58	遺構図 189	形状 隅丸長方形	焼成面 焼成面3面（8・10・12層） 東側が厚い 炭層5面（5･7･9･11･13層）	平面規模（m） 0.99×0.58	出土遺物	土器重量 古土器314 g、縄土器129 g 掲載　b1136 炭化種実同定（試料No.47・48）	時期 古代
位置 C区北　ⅠE15m他	写真図版 145･146			深さ（cm） 20			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX59	遺構図 190	形状 隅丸長方形 南西側に張り出し 北東壁は急角度、南西壁は緩い立ち上がり	焼成面 北・東・南側壁に焼成面 底面直上に炭層（4層）	平面規模（m） 1.26×0.75	出土遺物	土器重量 古土器145 g、縄土器300 g	時期 古代
位置 C区北　ⅠE14l	写真図版 146			深さ（cm） 22			重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX60	遺構図 190	形状 不整円形 底面凹凸あり	焼成面 焼成面なし 検出面に炭層（1層）	平面規模（m） 0.55×0.48	出土遺物	土器重量 古土器275 g 掲載　b1137	時期 奈良
位置 C区北　ⅠE16k他	写真図版 146			深さ（cm） 13			重複・備考
検出面　Ⅱ層							

第12表　焼成遺構一覧（6）

SX61	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 1.23×0.74	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 C区北　Ⅰ E16j	写真図版 146	隅丸長方形 壁はほぼ直立	壁面焼成面（3層） 中央堆積土中位に炭層（4層）	深さ（cm） 28		古土器523ｇ、縄土器4ｇ 掲載　b1138～1145、f112	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX62	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 0.95×0.72	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15k	写真図版 146	不整楕円形 南西隅張り出し 底面凹凸あり	壁面焼成面 中央堆積土中位に炭層（2層）	深さ（cm） 37		古土器3245ｇ、縄土器239ｇ 掲載　b1146	重複・備考 土器剥片多量
検出面　Ⅱ層							
SX63	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 0.57×0.28	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15k	写真図版 146	楕円形	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 12		古土器29ｇ	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX64	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 1.29×0.53	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15i他	写真図版 147	不整楕円形 底面凹凸顕著	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 16		出土なし	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX67	遺構図 190	形状	焼成面	平面規模（m） 0.91×0.70	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E14g他	写真図版 147	不整楕円形	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 12		古土器42ｇ	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX68	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） 0.78×0.59	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 C区北　Ⅰ E15g他	写真図版 147	不整楕円形	焼成面断片的に残存	深さ（cm） 13		古土器91ｇ	重複・備考
検出面　Ⅱ層							
SX69	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） (0.71)×(0.43)	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区南　Ⅰ F18a他	写真図版 147	円形？　西半消失	底面中央に焼成面（3層）	深さ（cm） 4		古土器5ｇ 炭化種実同定（試料No.21）	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX70	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） 2.92×2.50	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 B区　Ⅰ D16d他	写真図版 147	楕円形　底面は長方形 付属pit9基	焼成面2面（3･7層） 堆積土下位に焼土・炭化物	深さ（cm） 75		古土器175ｇ、縄土器140ｇ 掲載　b147	重複・備考 炭化材AMS測定（試料№12－8）
検出面　Ⅲ層							
SX71	遺構図 191	形状	焼成面	平面規模（m） 1.35×1.27	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 BC区境　Ⅰ D15h	写真図版 147	隅丸方形	底面全体焼成面 西側が被熱強	深さ（cm） 23		古土器597ｇ、縄土器11ｇ 掲載　b148	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX72	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m） 1.11×0.89	出土遺物	土器重量	時期 奈良
位置 BC区境　Ⅰ D14h	写真図版 148	不整楕円形	底面全体焼成面	深さ（cm） 11		古土器1755ｇ 掲載　b1149～1152	重複・備考
検出面　Ⅲ層							
SX73	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m） 1.07×0.94	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 BC区境　Ⅰ D14h	写真図版 148	楕円形	底面全体焼成面 北西部が被熱強	深さ（cm） 14		古土器1223ｇ 掲載　b1153、d99･103	重複・備考
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（7）

SX74	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				〈2.45〉×1.25			平安
位置	写真図版	隅丸方形	底面西寄りに焼成面	深さ（cm）		古土器481 g、縄土器45 g	重複・備考
BC区境　I D16g	148	東側1/3は重複により形状不明瞭	直上に炭層（4層）	28		炭化種実同定（試料No22）	SI35より新
検出面　Ⅲ層							
SX75	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				2.50×1.60			平安
位置	写真図版	隅丸長方形	底面東寄り小範囲に焼成面　直上に炭層（6～4層）	深さ（cm）		古土器5289 g、縄土器381 g	重複・備考
BC区境　I D13f	148			54		掲載　b1154～1161	1～3層中に焼成獣骨片多量に含む
検出面　Ⅲ層							
SX76	遺構図 192	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.78×0.74			古代
位置	写真図版	隅丸長方形	2層上面～壁に焼成面	深さ（cm）		古土器8.2 g、縄土器28 g	重複・備考
BC区境　I D11f	148	西半は調査区外	直上に炭層	26			
検出面　Ⅲ層							
SX77	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				1.52×1.22			古代
位置	写真図版	不整楕円形	焼成面2面（5･3層）	深さ（cm）		古土器767 g	重複・備考
BC区境　I D14i他	148･149	西側に突出部あり	南東半の焼成顕著	30			
検出面　Ⅲ層							
SX78	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				（0.90）×0.80			古代
位置	写真図版	長方形　北半検出見落とし	4層上面に焼成面	深さ（cm）		古土器5 g、縄土器16 g	重複・備考
BC区境　I D18g	149			21			
検出面　Ⅲ層							
SX79	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.88×0.57			古代
位置	写真図版	隅丸長方形	底面～壁に焼成面	深さ（cm）		古土器282 g、縄土器16 g	重複・備考
BC区境　I D16h	149		直上に薄い炭層	37		掲載　b1162･1163	SI38より新
検出面　Ⅲ層							
SX80	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				（1.07）×（0.38）			縄文?古代?
位置	写真図版	不明	焼成面なし	深さ（cm）		縄土器608 g	重複・備考
C区　I D15l	149		堆積土中に炭化物・焼土粒	17		掲載　a61･62	平面図記録欠落
検出面　Ⅲ層							
SX81	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				1.12×0.65			奈良
位置	写真図版	不整楕円形	底面～壁に焼成面	深さ（cm）		古土器294 g、縄土器49 g	重複・備考
D区南　I E20s	149		壁面の被熱強	10		掲載　b1164～1166	
検出面　Ⅲ層			底面直上に炭化物多				
SX82	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.79×0.73			平安
位置	写真図版	不整円形	底面に焼成面	深さ（cm）		古土器444 g	重複・備考
D区南　I E15r	149			14		掲載　b1167	SI50より新
検出面　SI50床面							
SX83	遺構図 193	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				0.75×0.73			古代
位置	写真図版	円形	焼成面なし	深さ（cm）		古土器32 g、縄土器152 g	重複・備考
D区南　I E20r	149		堆積土中に焼土粒	17			
検出面　Ⅲ層							
SX84	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m）	出土遺物	土器重量	時期
				1.28×1.04			古代
位置	写真図版	不整形	底面南側に焼成面	深さ（cm）		古土器170 g、縄土器11.9 g	重複・備考
D区南　I E20p他	149	北寄りに小pit（深さ10cm）		10			
検出面　Ⅲ層							

第12表　焼成遺構一覧（8）

SX85	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.25×（0.83）	出土遺物	土器重量	時期 平安
位置 D区南　Ⅰ E18n	写真図版 150	楕円形	焼成面なし 下部に炭層（2・3層）	深さ（cm） 27		古土器13 g、縄土器265 g	重複・備考 SI55より新
検出面　Ⅲ層							
SX86	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） （1.57）×（0.26）	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区南　Ⅰ E18o	写真図版 150	楕円形または長方形	焼成面なし　底面に炭層	深さ（cm） 19		古土器203 g、縄土器37 g	重複・備考 撹乱により全体形状不明
検出面　Ⅲ層							
SX87	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.06×0.56	出土遺物	土器重量	時期 縄文?古代?
位置 D区南　Ⅰ F18a他	写真図版 150	楕円形	上部に焼成面	深さ（cm） 11		縄土器653 g	重複・備考
検出面　不明							
SX88	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.97×0.61	出土遺物	土器重量 古土器420 g 掲載　b1168～1170	時期 平安
位置 D区南　Ⅰ E17o	写真図版 150	長楕円形	焼成面なし 堆積土中に炭化物・焼土粒	深さ（cm） 12			重複・備考
検出面　不明							
SX89	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） （1.28）×1.24	出土遺物	土器重量 古土器731 g、縄土器393 g 掲載　b1171･1172、d142	時期 平安
位置 D区南　Ⅰ E18m	写真図版 150	長方形 底面北側が深い	底面北側に焼成面 直上に炭層	深さ（cm） 31			重複・備考 SI39と重複
検出面　Ⅲ層							
SX90	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） 1.80×0.62	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区南　Ⅰ E17o	写真図版 150	楕円形	底面南側に焼成面	深さ（cm） 9		古土器22 g	重複・備考
検出面　不明							
SX91	遺構図 194	形状	焼成面	平面規模（m） （1.16）×（0.82）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 平安
位置 D区北　Ⅰ F20n	写真図版 150	楕円形または長方形	底面に焼成面　中央が硬化	深さ（cm） 11			重複・備考 SI58より新
検出面　SI58堆積土中							
SX93	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） 1.14×0.70	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ G4t	写真図版 151	隅丸長方形 底面凹凸あり	堆積土上部に焼成面（2～3層）	深さ（cm） 30		縄土器38 g	重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX94	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） 1.04×0.73	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ H4a	写真図版 151	不整楕円形 底面南側が深い	2層上面焼成面 強い被熱で硬化	深さ（cm） 22		古土器37 g	重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX95	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） （2.16）×（1.15）	出土遺物	土器重量 古土器368 g、縄土器1616 g 掲載　b1173･1174	時期 平安
位置 D区北　Ⅱ F2j他	写真図版 151	不整楕円形	東側底面に薄い焼成面 西側下部炭層	深さ（cm） 20			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX96	遺構図 195	形状	焼成面	平面規模（m） 1.84×1.16	出土遺物	土器重量	時期 古代
位置 D区北　Ⅰ F17m	写真図版 151	不整楕円形 底面南側が深い	北半底面断続的な焼成面 南半底面直上に炭化物	深さ（cm） 18		古土器50 g、縄土器148 g	重複・備考 SI68と重複
検出面　Ⅳ層							

第12表　焼成遺構一覧（9）

SX97	遺構図 195	形状 楕円形	焼成面 西側壁面に焼成面（平面記録欠落）	平面規模（m） 2.09×1.27	出土遺物	土器重量 古土器2067ｇ、縄土器12ｇ 掲載　b1175～1182	時期 平安
位置 D区北　ⅠF17m他	写真図版 151			深さ（cm） 31			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX98	遺構図 196	形状 楕円形 底面北側が深く凹凸あり	焼成面 3層上面～6層上面焼成面	平面規模（m） 2.33×0.81	出土遺物	土器重量 古土器101ｇ 掲載　b1183	時期 奈良
位置 F区1次　ⅡG2p	写真図版 152			深さ（cm） 36			重複・備考 SD33より古
検出面　F区Ⅶ層							
SX99	遺構図 196	形状 長方形　北側に張出部 底面中央部一段下がる	焼成面 2･4･7層に焼土ブロック含む　4層下面薄く被熱炭層（7層）	平面規模（m） （3.85）×1.85	出土遺物	土器重量 古土器1611ｇ、縄土器855ｇ 掲載　b1184～1187	時期 平安
位置 D区北　ⅠF19l他	写真図版 152			深さ（cm） 60			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX100	遺構図 196	形状 不整方形　底面凹凸あり	焼成面 底面～壁に焼成面	平面規模（m） 1.17×1.17	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 D区北　ⅠF18j	写真図版 152			深さ（cm） 10			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX101	遺構図 197	形状 台形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） 1.64×1.28	出土遺物	土器重量 古土器821ｇ、縄土器32ｇ 掲載　b1188･1189、f113～115	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2q他	写真図版 153			深さ（cm） 33			重複・備考 SI69より新、SI70と重複
検出面　F区Ⅶ層							
SX102	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 堆積土中位に焼成面（2層）	平面規模（m） 1.29×0.77	出土遺物	土器重量 古土器1168ｇ 掲載　b1190･1191	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2r	写真図版 153			深さ（cm） 36			重複・備考 SI69より古、SI70と重複
検出面　F区Ⅶ層							
SX103	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） 0.79×062	出土遺物	土器重量 古土器550ｇ 掲載　b1192	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2r	写真図版 153			深さ（cm） 18			重複・備考 SI69より古、SI70と重複
検出面　F区Ⅶ層							
SX104	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） （0.95）×0.62	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 F区1次　ⅡH4d	写真図版 154			深さ（cm） 20			重複・備考 SI71より古
検出面　F区Ⅶ層							
SX105	遺構図 197	形状 楕円形　西側調査区外	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック	平面規模（m） 1.16×〈0.48〉	出土遺物	土器重量 古土器443ｇ 掲載　b1193、d143	時期 古代
位置 F区1次　ⅡH3a	写真図版 154			深さ（cm） 18			重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX106	遺構図 197	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 1層上部に炭化物	平面規模（m） 1.17×0.67	出土遺物	土器重量 縄土器16ｇ	時期 縄文
位置 D区北　ⅠF20l他	写真図版 154			深さ（cm） 25			重複・備考 SI67より古
検出面　Ⅳ層							
SX107	遺構図 198	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土ブロック・炭化物	平面規模（m） 2.56×0.90	出土遺物	土器重量 古土器1291ｇ、縄土器1112ｇ 掲載　b1194～1196、d144、f116	時期 古代
位置 E区南　ⅡG2c他	写真図版 154			深さ（cm） 11			重複・備考 SI73より新 西側から土器多く出土
検出面　Ⅴ層							

第12表　焼成遺構一覧（10）

SX109	遺構図 198	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面（2・3層）全体に硬化	平面規模（m） 1.66×1.11	出土遺物	土器重量 古土器387ｇ、縄土器28ｇ 掲載　b1197	時期 平安
位置 E区南　ⅡG3e	写真図版 154			深さ（cm） 47			重複・備考 SX108・123より古
検出面　Ⅴ層							
SX111	遺構図 198	形状 方形 壁面直立　中央に小穴（深さ6cm）	焼成面 焼成面なし 底面直上に炭化物	平面規模（m） 1.79×1.78	出土遺物	土器重量 古土器2199ｇ、縄土器186ｇ 掲載　b1198～1201	時期 平安
位置 E区南　ⅡG3d他	写真図版 455			深さ（cm） 40			重複・備考 SB07より古
検出面　Ⅳ層							
SX112	遺構図 198	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土全体に焼土粒	平面規模（m） 0.64×0.46	出土遺物	土器重量 古土器3ｇ、縄土器ｇ	時期 古代
位置 E区南　ⅡF1p	写真図版 155			深さ（cm） 7			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX113	遺構図 198	形状 不整楕円形	焼成面 底面～壁に焼成面（2層）	平面規模（m） 0.92×0.72	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 時期不明
位置 E区南　ⅡF1p	写真図版 155			深さ（cm） 7			重複・備考
検出面　Ⅳ層							
SX114	遺構図 199	形状 楕円形　底面西側深い	焼成面 底面西側に焼成面（5層）底面直上に焼土ブロック層（3・4層）	平面規模（m） 1.73×1.11	出土遺物	土器重量 古土器364ｇ 掲載　b1202～1204	時期 平安
位置 E区北　ⅡG7l	写真図版 155			深さ（cm） 39			重複・備考 SD30より古
検出面　Ⅴ層							
SX115	遺構図 199	形状 楕円形	焼成面 南半底面～壁に焼成面	平面規模（m） （1.48）×（1.20）	出土遺物	土器重量 古土器7ｇ、縄土器23ｇ 掲載　d145	時期 古代
位置 E区南　ⅡF5q他	写真図版 156			深さ（cm） 28			重複・備考 SD35より古、SI83より新
検出面　Ⅴ層							
SX118	遺構図 199	形状 長方形　東側一段低い	焼成面 焼成面2面 東側に下位焼成面	平面規模（m） （1.85）×（1.04）	出土遺物	土器重量 古土器280ｇ、縄土器32ｇ 掲載　b1205～1207	時期 平安
位置 E区南　ⅡF4r	写真図版 156			深さ（cm） 25			重複・備考 SD35より古
検出面　Ⅴ層							
SX119	遺構図 199	形状 円形	焼成面 底面全体焼成面	平面規模（m） 0.88×（0.73）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 E区南　ⅡF3r	写真図版 156			深さ（cm） 6			重複・備考 SD35より古
検出面　Ⅴ層							
SX120	遺構図 199	形状 円形	焼成面 土坑上面被熱（1層）	平面規模（m） 0.86×0.85	出土遺物	土器重量 古土器116ｇ	時期 古代
位置 E区南　ⅡF5s他	写真図版 156			深さ（cm） 17			重複・備考
検出面　Ⅴ層							
SX121	遺構図 199	形状 不整円形	焼成面 底面全体焼成面	平面規模（m） 1.35×（1.21）	出土遺物	土器重量 古土器14ｇ、縄土器80ｇ	時期 古代
位置 E区南　ⅡF4s他	写真図版 156			深さ（cm） 15			重複・備考 SI84より古　炭化材AMS測定（試料№13－5）
検出面　Ⅴ層							
SX122	遺構図 199	形状 長方形	焼成面 堆積土下部に焼土ブロック	平面規模（m） （2.12）×（0.21）	出土遺物	土器重量 古土器615ｇ、縄土器77ｇ 掲載　b1208･1209	時期 古代
位置 E区南　ⅠF20t他	写真図版 156			深さ（cm） 15			重複・備考 5UMより古
検出面　Ⅴ層							

第12表　焼成遺構一覧（11）

SX123	遺構図 200	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし 堆積土中位に炭層	平面規模（m） 1.39×1.12 深さ（cm） 22	出土遺物	土器重量 古土器93ｇ 掲載　b1210･1211、e66	時期 平安 重複・備考 SX109より新
位置 E区南　Ⅱ G3e	写真図版 157						
検出面　V層							
SX124	遺構図 200	形状 不整形	焼成面 焼成面なし 5層上面に炭化物・焼土ブロック層	平面規模（m） 2.74×1.55 深さ（cm） 72	出土遺物	土器重量 古土器4578ｇ 掲載　b1212～1215	時期 奈良 重複・備考 SX132より新 土器剥片多量
位置 E区北　Ⅱ G7j他	写真図版 157						
検出面　V層							
SX127	遺構図 200	形状 不整形 3基の長方形焼成遺構が連結した状態	焼成面 底面全体焼成面 直上に炭層	平面規模（m） 2.94×0.94 深さ（cm） 22	出土遺物	土器重量 古土器62ｇ 掲載　b1216	時期 古代 重複・備考
位置 F区2次　Ⅱ G2n他	写真図版 157						
検出面　V層							
SX128	遺構図 200	形状 不整楕円形	焼成面 壁面に焼成面	平面規模（m） 0.88×0.65 深さ（cm） 9	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考
位置 E区北　Ⅱ G8q	写真図版 157						
検出面　V層							
SX129	遺構図 201	形状 隅丸長方形 壁はほぼ直立　壁際に小穴4基（深さ10～25cm）	焼成面 底面西側に焼成面 焼土ブロック層（3層）は焼成面の可能性もあり	平面規模（m） 2.05×1.52 深さ（cm） 25	出土遺物	土器重量 古土器3547ｇ、縄土器73ｇ 掲載　b1217～1221	時期 平安 重複・備考 10UMより新
位置 E区北　Ⅱ G10t他	写真図版 158						
検出面　V層							
SX131	遺構図 201	形状 円形	焼成面 底面北側に焼成面	平面規模（m） 0.97×0.77 深さ（cm） 14	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考 5UMより古
位置 E区南　Ⅰ F18r他	写真図版 158						
検出面　V層							
SX132	遺構図 201	形状 楕円形　壁面直立	焼成面 堆積土中位に焼成面（4層）	平面規模（m） 〈0.94〉×0.81 深さ（cm） 22	出土遺物	土器重量 古土器2274ｇ 掲載　b1222～1225、d146	時期 奈良 重複・備考 SX124より古
位置 E区北　Ⅱ G7i	写真図版 158						
検出面　V層							
SX133	遺構図 201	形状 楕円形	焼成面 焼成面なし　上部に炭層	平面規模（m） 0.65×0.36 深さ（cm） 2	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考
位置 E区北　Ⅱ G9t	写真図版 158						
検出面　V層							
SX134	遺構図 201	形状 楕円形 2基の土坑が連結した状態	焼成面 東側底面～壁に焼成面 東側底面直上に炭層	平面規模（m） 1.61×0.55 深さ（cm） 24	出土遺物	土器重量 古土器51ｇ 掲載　b1226	時期 古代 重複・備考
位置 F区2次　Ⅱ G6o	写真図版 158						
検出面　V層							
SX136	遺構図 201	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面	平面規模（m） 1.38×0.78 深さ（cm） 30	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代 重複・備考
位置 F区2次　Ⅱ G5o	写真図版 158						
検出面　F区Ⅶ層							
SX137	遺構図 202	形状 楕円形 西側がやや深い	焼成面 西側底面に焼成面 直上に焼土ブロック層 その上面に薄い炭層（2層）	平面規模（m） 2.77×1.19 深さ（cm） 44	出土遺物	土器重量 古土器420ｇ 掲載　b1227	時期 奈良? 重複・備考 SD47より古
位置 E区北　Ⅱ G6k他	写真図版 159						
検出面　V層							

第12表　焼成遺構一覧（12）

SX138	遺構図 202	形状 隅丸長方形 底面北側が一段低い	焼成面 北側底面焼成面（B－B'2層）	平面規模（m） 1.87×1.18	出土遺物	土器重量 古土器2119ｇ、縄土器7ｇ	時期 奈良
位置 E区北　Ⅱ G8j	写真図版 159			深さ（cm） 55		掲載　b1228～1230	重複・備考 11UMより古
検出面　Ⅴ層							
SX139	遺構図 202	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面中央硬化 西側底面に炭層	平面規模（m） 1.36×0.65	出土遺物	土器重量 古土器29ｇ	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ G1l他	写真図版 159			深さ（cm） 10			重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX140	遺構図 202	形状 不整形	焼成面 焼成面なし 堆積土中に焼土粒・炭化物含む	平面規模（m） 0.60×0.57	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ H6b	写真図版 159			深さ（cm） 11			重複・備考
検出面　F区Ⅶ層							
SX141	遺構図 203	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面	平面規模（m） 1.29×0.97	出土遺物	土器重量 古土器59ｇ	時期 古代
位置 F区1次　Ⅱ G2q	写真図版 159			深さ（cm） 11			重複・備考 SI70より新
検出面　F区Ⅶ層							
SX142	遺構図 203	形状 楕円形	焼成面 底面に焼成面 中央が硬化 直上を炭化物が覆う	平面規模（m） 記録なし	出土遺物	土器重量 古土器22ｇ	時期 古代
位置 F区2次　Ⅱ G2o他	写真図版 159			深さ（cm） 記録なし			重複・備考 SD30より古
検出面　Ⅴ層							
SX143	遺構図 203	形状 隅丸長方形	焼成面 底面から壁面に焼成面	平面規模（m） (1.02)×(0.94)	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代
位置 F区2次　Ⅱ G2m	写真図版 159			深さ（cm） 18			重複・備考
検出面　Ⅴ層							

第13表　埋設土器・性格不明遺構一覧

SX36 埋設土器	遺構図 204	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 深鉢略完形個体を倒立状態で設置	規模（m） －	出土遺物	土器重量 縄土器1110g	時期 縄文晩期末
位置 C区　Ⅰ D15j	写真図版 160			深さ（cm） －		掲載　a63	備考
SX46 埋設土器	遺構図 204	検出面 旧河道内Ⅱ層相当層	形状・特徴 板状礫上に土師器甕完形個体を正立状態で埋設 土器底面に穿孔	規模（m） －	出土遺物	土器重量 古土器2111ｇ	時期 平安時代
位置 B区　Ⅰ C16c	写真図版 160			深さ（cm） －		掲載　b1231･1232	備考
SX08 性格不明遺構	遺構図 204	検出面 Ⅱ～Ⅳ層 重複 SI01・02より古か	形状・特徴 不整形の窪地 底面は起伏激しい 南東部礫露出	規模（m） (3.62)×(3.00)	出土遺物	土器重量 縄土器371ｇ	時期 縄文晩期
位置 A区　Ⅱ B7k他	写真図版 160･161			深さ（cm） 75		掲載　a64	備考 河川浸食による窪地か
SX17 性格不明遺構	遺構図 204	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 弧状の溝の一部 東半は調査区外 断面はU字状	規模（m） 全長6.5　幅0.20～0.85	出土遺物	土器重量 古土器572ｇ、縄土器1829ｇ	時期 古代以降
位置 C区　Ⅱ D1n他	写真図版 161			深さ（cm） 40～88		掲載　a65･66、b1237･1238	備考 堆積土中に遺物多い　人為堆積
SX56 性格不明遺構	遺構図 205	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 皿状の窪地に遺物集中	規模（m） －	出土遺物	土器重量 古土器1018ｇ	時期 平安時代
位置 B区　Ⅰ E15h	写真図版 161			深さ（cm） －		掲載　b1233～1236	備考 土師器坏の集中的な出土
SX108 性格不明遺構	遺構図 205	検出面 Ⅴ層 重複 SX109より新	形状・特徴 方形の柱穴列 柱穴32基	規模（m） 3.59×3.45	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 E区　Ⅱ G3e他	写真図版 161			深さ（cm） －			備考

第14表　溝跡一覧（1）

SD01	遺構図 206	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.15～0.5	形状・特徴 東西方向　直線状　一部寸断　底面東側低い	出土遺物	土器重量 縄土器1ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12p～ⅠB15p	写真図版 162	全長（m） 15.70	深さ（cm） 5～10				備考・重複 SD02より新
SD02	遺構図 206･207･208	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 2.8～0.8	形状・特徴 南北方向　直線状　一部寸断	出土遺物	土器重量 古土器4262ｇ、縄土器1785ｇ	時期 平安
位置 A区　ⅠB13n～ⅠC14m	写真図版 162	全長（m） 97.20	深さ（cm） 25～90			掲載　a67、b1239～1243、117～121	備考・重複 SK12と重複　SD01･22より古
SD03	遺構図 206･208	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 1.6～0.2	形状・特徴 南北方向　直線状　一部寸断	出土遺物	土器重量 古土器649ｇ、縄土器455ｇ	時期 平安
位置 A区　ⅠB12o～ⅠB13o	写真図版 163	全長（m） 108.40	深さ（cm） 10～50			掲載　b1244～1246、d133、7、f122	備考・重複 SK04･SD22より古　SK05・SD07より新
SD04	遺構図 209	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.2～0.3	形状・特徴 南北方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12r～ⅠB13s	写真図版 163	全長（m） 4.40	深さ（cm） 5～10				備考・重複
SD05	遺構図 209	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.25	形状・特徴 南北方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12s～ⅠB13t	写真図版 163	全長（m） 4.70	深さ（cm） 15				備考・重複
SD06	遺構図 209	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い	出土遺物	土器重量 縄土器7ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12s～ⅠB12t	写真図版 163	全長（m） 3.30	深さ（cm） 15				備考・重複
SD07	遺構図 209	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.6	形状・特徴 南西－北東方向　直線状　底面北東側低い	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12r～ⅠB12s	写真図版 164	全長（m） （4.10）	深さ（cm） 10				備考・重複 SD03より古　SD08と重複
SD08	遺構図 209	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.4～1.1	形状・特徴 南北方向　直線状　一部寸断　底面南側低い（差1m）	出土遺物	土器重量 古土器31ｇ、縄土器1ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB11o～ⅠB12s	写真図版 164	全長（m） 19.80	深さ（cm） 10～40			掲載　b1247	備考・重複 SD09より新　SD07と重複
SD09	遺構図 209	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 南北方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 縄土器18ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB12s	写真図版 164	全長（m） 2.20	深さ（cm） 10～15				備考・重複 SD08より古
SD10	遺構図 210	検出面 落ち込みA1層（Ⅱ～Ⅳ層） 全長（m） （20.80）	上幅（cm） 0.35～0.75	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 古土器20ｇ、縄土器276ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB10q～ⅠC12a	写真図版 164		深さ（cm） 10～20			掲載　b1248、f123	備考・重複
SD11	遺構図 210	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.4～0.5	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB8q～ⅠB8r	写真図版 165	全長（m） （4.80）	深さ（cm） 10				備考・重複 SX07より古
SD12	遺構図 210	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 南東－北西方向　直線状　底面南側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 縄土器2ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB8q	写真図版 165	全長（m） （1.80）	深さ（cm） 10～15				備考・重複
SD13	遺構図 211	検出面 落ち込みB4～5層（Ⅱ～Ⅳ層）	上幅（cm） 0.5～1.2	形状・特徴 南西－北東方向　直線状　一部寸断　底面両端やや高い　底面凹凸あり	出土遺物	土器重量 縄土器12ｇ	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB15o～ⅠB19p	写真図版 165	全長（m） 20.50	深さ（cm） 10～30				備考・重複 SX01と重複
SD14	遺構図 211	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.5	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差30cm）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB20j～ⅠB20k	写真図版 165	全長（m） 4.00	深さ（cm） 5～10				備考・重複 SD15と同一の可能性あり

第14表　溝跡一覧（2）

SD15	遺構図 211	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.6	形状・特徴 南北方向　直線状　底面南側低い（差10cm）	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 A区　ⅠB20l～ⅠB20m	写真図版 166	全長（m） 3.80	深さ（cm） 25				備考・重複 SD14と同一の可能性あり
SD16	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.5～1.2	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面南側低い（差15cm）	出土遺物	土器重量 古土器209ｇ、縄土器171ｇ	時期 平安以降
位置 C区　ⅠD18g～ⅠD20i	写真図版 166	全長（m） （14.40）	深さ（cm） 35			掲載　b1249･1250	備考・重複 南端は攪乱に切られB区内未検出
SD17	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.3～0.6	形状・特徴 南北－東西方向L字状　底面両端やや高い	出土遺物	土器重量 古土器110ｇ、縄土器9ｇ	時期 古代以降
位置 C区　ⅠD14h～ⅠD13j	写真図版 166	全長（m） 8.60	深さ（cm） 20			掲載　b1251	備考・重複 SK42より古
SD18	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.35～0.65	形状・特徴 東西方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器238ｇ	時期 古代以降
位置 C区　ⅠD12k～ⅠD14k	写真図版 167	全長（m） （6.10）	深さ（cm） 10			掲載　b1252	備考・重複
SD19	遺構図 213	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.3～0.95	形状・特徴 南北方向　直線状（やや西へ屈曲）　底面南側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 古土器271ｇ、縄土器86ｇ	時期 平安以降
位置 B区　ⅠD13n～ⅠD15a	写真図版 167	全長（m） 11.30	深さ（cm） 0				備考・重複 SI16・41より新
SD21	遺構図 213	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.3	形状・特徴 北西－南東方向直線状	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 B区　ⅠC13s	写真図版 167	全長（m） （0.50）	深さ（cm） 15				備考・重複 SI16・18と重複
SD22	遺構図 213	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.25～1.2	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 古土器233ｇ、縄土器138ｇ	時期 平安以降
位置 B区　ⅠC17k～ⅠC12l	写真図版 167	全長（m） （9.10）	深さ（cm） 20			掲載　b1253･1254	備考・重複 SD02･03より新
SD25	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.35～0.45	形状・特徴 東西方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 BC区境　ⅠD13j	写真図版 168	全長（m） 3.30	深さ（cm） 10				備考・重複 C区内未検出
SD26	遺構図 212	検出面 Ⅲ層	上幅（cm） 0.2	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 BC区境　ⅠD13i	写真図版 168	全長（m） 2.00	深さ（cm） 5				備考・重複
SD27	遺構図 214	検出面 Ⅳ層	上幅（cm） 1.40～3.40	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差50cm）	出土遺物	土器重量 古土器2096ｇ、縄土器43126ｇ	時期 古代
位置 D区北　ⅠF15e～ⅡF3c	写真図版 168	全長（m） 41.40	深さ（cm） 115～190			掲載　a68～70、b1255～1261、e135･136、f124･125	備考・重複
SD28	遺構図 215	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 1.10～1.60	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面水平　南側底面凹凸あり	出土遺物	土器重量 古土器1534ｇ	時期 平安以降
位置 F区1次　ⅡG2t～ⅡH5d	写真図版 169	全長（m） 25.10	深さ（cm） 25～50			掲載　b1262･1263、d129	備考・重複 SD34より古　SD29・31・32より新 南側堆積土中地山ブロック多
SD29	遺構図 215	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.40～1.20	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差20cm）　底面凹凸あり	出土遺物	土器重量 古土器257ｇ、縄土器32ｇ	時期 古代
位置 F区1次　ⅡG2t～ⅡG4s	写真図版 169	全長（m） 12.20	深さ（cm） 40				備考・重複 SD28より古　1層中に灰白色火山灰含
SD30	遺構図 215	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.60～2.35	形状・特徴 北西－南東方向直線状　中央付近最も低く両端同レベル（差75cm）	出土遺物	土器重量 古土器1849ｇ、縄土器38ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 F区1次　ⅡG1o～ⅡG8l	写真図版 169	全長（m） 41.70	深さ（cm） 65			掲載　a71、b1264･1265、c7･8	備考・重複 SI89・SK130・SX114・142より新 SK126より古
SD31	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.25～0.50	形状・特徴 東西方向　直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器583ｇ	時期 平安以降
位置 F区1次　ⅡH3c～ⅡH4c	写真図版 170	全長（m） 3.30	深さ（cm） 25			掲載　b1266	備考・重複 SD28より古　SK105・SD32より新

第14表　溝跡一覧（3）

SD32	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.35～0.60	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面西側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 古土器361ｇ、縄土器88ｇ	時期 古代以降
位置 F区1次　ⅡH3c～ⅡH 6c	写真図版 170	全長（m） 13.00	深さ（cm） 40				備考・重複 SD28・31・34より古　SK105より新
SD33	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.25～0.40	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面東側低い（差16cm）	出土遺物	土器重量 古土器12ｇ	時期 古代以降
位置 F区1次　ⅡG2p	写真図版 170	全長（m） 3.19	深さ（cm） 18				備考・重複 SX98より新
SD34	遺構図 216	検出面 F区Ⅶ層	上幅（cm） 0.90～1.25	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面西側低い（差4cm）	出土遺物	土器重量 古土器47ｇ、縄土器99ｇ、近代磁器片出土	時期 近代以降
位置 F区1次　ⅡH4d～ⅡH6c	写真図版 170	全長（m） 10.80	深さ（cm） 14			掲載　d134	備考・重複 SD28・32より新
SD35	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.95～1.85	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面西側低い（差40cm）	出土遺物	土器重量 古土器1437ｇ、縄土器40ｇ、かわらけ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠF19s～ⅡF5r	写真図版 171･172	全長（m） 33.10	深さ（cm） 60			掲載　c9～12、e136	備考・重複 SI83・90・SX115・118・SD36・39より新　SD37と同時期か
SD36	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.85～1.20	形状・特徴 南西－北東－北西方向　L字状底面北西側低い（差10cm）	出土遺物	土器重量 古土器68ｇ、縄土器21ｇ	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡF1s～ⅡG1b	写真図版 171･172	全長（m） 18.90	深さ（cm） 40			掲載　c13	備考・重複 SD35・38・43・6UMより古
SD37	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.50～0.95	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面北側低い（差20cm）	出土遺物	土器重量 古土器19ｇ	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠF20s～ⅡG1a	写真図版 171･172	全長（m） 10.10	深さ（cm） 20～40				備考・重複 SD38・39・5UM・6UMより新　SD35と同時期か
SD38	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.25～1.05	形状・特徴 クランク状　底面西側低い（差25cm）	出土遺物	土器重量 古土器497ｇ、縄土器135ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠG20d～ⅡF4t	写真図版 171･172	全長（m） 28.90	深さ（cm） 15～50			掲載　c14、d132	備考・重複 SI84・SD36・27・39・43・SK142より新　SD42と同時期
SD39	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.55～1.25	形状・特徴 矩形　底面西側低い（差60cm）	出土遺物	土器重量 古土器118ｇ、縄土器43ｇ	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅠF19t～ⅡG1b	写真図版 171･172	全長（m） 29.70	深さ（cm） 50				備考・重複 SD35・37・38・43より古　5UM・6UMより新
SD42	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.85～1.05	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器99ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡF4t～ⅡF5s	写真図版 171･172	全長（m） 5.90	深さ（cm） 45			掲載　c15	備考・重複 SI85より新　SD38と同時期
SD43	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	上幅（cm） 0.50～0.75	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 古土器677ｇ、縄土器260ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡG1b～ⅡG2e	写真図版 171･172	全長（m） 20.10	深さ（cm） 15			掲載　c16･17	備考・重複 SI73より新
SD46	遺構図 216	検出面 Ⅳ層	上幅（cm） －0.45	形状・特徴 南北方向　直線状　底面高低差不明	出土遺物	土器重量 縄土器564ｇ	時期 古代以降
位置 D区北　ⅡF4k～ⅡF4l	写真図版 173	全長（m） 5.30	深さ（cm） 12				備考・重複
SD47	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.60～0.95	形状・特徴 南東－北西方向直線状　底面西側低い（差45cm）	出土遺物	土器重量 古土器660ｇ、縄土器135ｇ	時期 12世紀後半～13世紀か？
位置 E区北　ⅡG5k～ⅡG8i	写真図版 173	全長（m） 17.80	深さ（cm） 30				備考・重複 SX137より新　11UMと重複
SD49	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 0.40～0.65	形状・特徴 南西－北東方向直線状　底面水平	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 古代以降
位置 E区南　ⅡG1c～ⅡG1d	写真図版 173	全長（m） 4.50	深さ（cm） 20				備考・重複
SD51	遺構図 217･218･219	検出面 Ⅴ層	上幅（cm） 1.08～1.41	形状・特徴 北西－南東方向直線状　底面北西側低い（差16cm）	出土遺物	土器重量 古土器1159ｇ、陶器出土	時期 12世紀後半～13世紀
位置 E区南　ⅡG4g～ⅡG7f	写真図版 173	全長（m） 16.80	深さ（cm） 37			掲載　c18～23、f126	備考・重複

第15表　畝間状遺構一覧

1UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	220	南北7条		N－89°－E	4.1～6.5		古土器113ｇ 縄土器237ｇ	古代以降
位置	写真図版	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅱ G4c他	174	61.68㎡		5～12	16～47		掲載遺物　c24	SI74・75と重複、SB07より古
2UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	221	南北6条		N－90°－E	2.7～4.7		古土器158ｇ 縄土器5ｇ	平安
位置	写真図版	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅱ G5c他	174	22.11㎡		6～22	27～49			SI80、SB07より古、ＳＩ75・92・SK150より新
3UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	221	南北3条		N－66°－E	（0.8）～（2.3）		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G7g他	174	3.4㎡		8～14	28～37			
4UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	221	東西5条		N－34°－E	1.4～6.5		古土器14ｇ	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G5j他	174	23.93㎡		4～15	11～36			
5UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	222	南北17条		N－81°－W	1.2～（9.2）		古土器368ｇ 縄土器269ｇ	平安
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅰ F'20t他	174	106㎡		8～20	26～43			SI79・82、SD37・39より古、SX122・131、6UMより新
6UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	222	東西13条		N－40°－W	（2.6）～（12.2）		縄土器81ｇ	平安
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区南　Ⅱ F1t他	174	224.5㎡		7～26	21～44			SK142・146、SD36・37・39・40、5UMより古
7UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	223	東西5条		N－15°－E	1.1～2.2		古土器2ｇ	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G6l他	174	8.06㎡		4～11	16～44			SI91と重複
8UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	223	東西3条		N－2°－E	（1.2）～4.8		出土なし	古代
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G8m他	175	16.4㎡		6～20	23～45			SI87より古
9UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	223	東西2条		N－4°－E	1.0～1.7		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G9p	175	2.58㎡		20～36	20～36			
10UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	224	南北11条		N－75°－W	（1.2）～（9.1）		古土器84ｇ 縄土器136ｇ	平安
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G10t他	175	72.6㎡		2～26	21～52			SX129より古。um15のみ離れる。別遺構か？
11UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	224	東西2条		N－9°－E	3.0～8.2		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ G8j他	175	6.95㎡		20	24～43			SX138より新、SD47 と重複（新旧未確認）
14UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	225	南北12条		N－75°－W	1.0～9.9		古土器334ｇ	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
E区北　Ⅱ H10a他	175	48.58㎡		5～23	17～37			SN41より古
16UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	225	南北4条		N－52°－W	2.2～4.0		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
F区2次　Ⅱ G5o他	175	17.28㎡		8～12	18～39			um5、um7・8、um22・23が重複、2時期以上か
17UM	遺構図	状態	畝間溝	方位	全長（m）	出土遺物	土器重量	時期
	225	1条		N－21°－W	3.4		出土なし	古代以降
位置	写真	最小耕地面積		深さ（cm）	上幅（cm）			備考
F区2次　Ⅱ G6p他	175	17.28㎡		8	36～			

第16表　遺物集中遺構一覧

SU01	遺構図 158	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 4.7×4.8 深さ（cm） 15	出土遺物	土器重量 縄土器11226g 掲載　a78～102、d038･046、e3･5･9･44	時期 縄文晩期末 備考 SN07・08より古
位置 B区　ⅠD17e他	写真図版 103						
SU02	遺構図 158	検出面 Ⅳ層	形状・特徴 2ヵ所あり　不整形	規模（m） 9.3×4.9・2.1×1.2 深さ（cm） 30	出土遺物	土器重量 縄土器40335ｇ 掲載　a103～141、e2･36	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 SU09より新
位置 B区　ⅠC20ｎ他	写真図版 103						
SU03	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 15.4×4.7 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 縄土器4319ｇ 掲載　a142･143、d25、e13･49	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考
位置 B区　ⅠD14c他	写真図版 103						
SU04	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 隅丸方形　南西部深い	規模（m） 4.3×3.8 深さ（cm） 35（南端86）	出土遺物	土器重量 縄土器3852ｇ 掲載　a144、e4･12･24･32	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 自然地形の窪地に黒褐色土が人為堆積
位置 B区　ⅠC19o他	写真図版 103						
SU05	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 3.6×1.4 深さ（cm） 36	出土遺物	土器重量 古土器11ｇ、縄土器715ｇ 掲載　a145	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 木根の攪乱等か？　埋土に炭化物多
位置 C区　ⅠD20l他	写真図版 103						
SU06	遺構図 158	検出面 Ⅱ層か？	形状・特徴 平面形は推定範囲	規模（m） － 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 縄土器2221ｇ 掲載　a146･147	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考 風倒木痕等の窪みに形成されたものか？
位置 C区　ⅠD14o	写真図版 103						
SU07	遺構図 158	検出面 Ⅲ層か？	形状・特徴 不整楕円形	規模（m） 3.8×2.5 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 縄土器2048ｇ 掲載　a148～154	時期 縄文晩期末 備考 風倒木痕等の窪みに形成されたものか？
位置 C区　ⅡD1q他	写真図版 103						
SU08	遺構図 158	検出面 Ⅲ～Ⅳ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 0.6×0.5 深さ（cm） 17	出土遺物	土器重量 縄土器2g 掲載　e16～23（a～d）	時期 縄文晩期末～弥生初頭 備考
位置 B区　ⅠC19t	写真図版 103						
SU09	遺構図 158	検出面 Ⅲ層	形状・特徴 不整形	規模（m） 1.5×0.8 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 出土なし	時期 縄文晩期末～弥生初頭？ 備考 SU09より古　大小の礫がまとまる
位置 B区　ⅠC19n	写真図版 103						
SU10	遺構図 158	検出面 Ⅳａ層	形状・特徴 不整形	規模（m） － 深さ（cm） －	出土遺物	土器重量 土器出土なし 掲載　e201～208	時期 縄文晩期末～弥生初頭？ 備考 局所的に剥片・砕片集中　剥片1071点他
位置 D区　ⅠE16s	写真図版 103						

第17表　柱穴状土坑一覧（1）

凡例　【色調】5：黒色土　4：黒褐色土　4⁺：黒～暗褐色土　3：暗褐色土　2：褐色土　1：にぶい黄褐色土　【しまり・粘性】5：あり　4：ややあり　3：中　2：ややなし　1：なし　－：記録なし　【柱痕】○：確認　－：なし

遺構名	グリッド	規模（cm）			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1	Ⅰ C13b	42	29	23	4	4	4	－	
2	Ⅰ C13a	32	25	34	4	3	4	－	
3	Ⅰ C13a	29	27	27	4	3	4	－	
4	Ⅰ C13a	26	24	22	4	3	4	－	
5	Ⅰ C14b	35	31	15	4	3	4	－	
6	Ⅰ C13a	47	37	45	4	4	4	－	
7	Ⅰ C13a	36	34	39	4	4	4	－	
8	Ⅰ C13a	44	40	39	4	4	4	－	
9	Ⅰ C13a	36	23	22	4	4	4	－	
10	Ⅰ C13a	38	32	68	4	4	4	－	
11	Ⅰ C13a	53	40	19	5	4	4	－	
12	Ⅰ C13b	45	35	62	4	4	4	－	
13	Ⅰ C12a	26	21	36	4	4	4	－	
14	Ⅰ B12t	42	35	20	4	3	3	－	
15	Ⅰ B13t	68	46	23	4	1	4	－	
16	Ⅰ B12s	35	28	22	4	4	4	－	
17	Ⅰ B12r	46	28	33	4	4	4	－	
18	Ⅰ B13s	22	17	16	4	2	4	－	
19	Ⅰ B13r	25	22	15	4	2	4	－	
20	Ⅰ B13r	38	25	22	4	2	4	－	
21	Ⅰ B11t	25	22	22	4	4	4	－	
22	Ⅰ B11t	26	24	17	4	4	4	－	
23	Ⅰ B13o	44	39	23	4⁺	1	4	－	
24	Ⅰ B13p	82	62	38	4	4	4	－	
25	Ⅰ B12r	36	27	18	4	3	4	－	
26	Ⅰ B12r	28	24	21	4	3	4	－	
27	Ⅰ B12r	30	24	19	4	3	4	－	
28	Ⅰ B12r	21	17	15	4	3	4	－	
29	Ⅰ B12r	24	21	16	4	3	4	－	
30	Ⅰ B12r	26	19	25	4	3	4	－	
31	Ⅰ B12q	45	43	24	4⁺	4	4	－	
32	Ⅰ B11p	35	31	32	4⁺	4	4	－	
33	Ⅰ B10q	77	(52)	21	記録なし			－	
34	Ⅰ B11p	38	33	30	4⁺	3	4	－	
35	Ⅰ B12p	30	28	19	4	4	4	－	
36	Ⅰ B12p	67	50	26	4⁺	3	4	－	
37	Ⅰ B13r	26	24	18	4	3	4	－	
38	Ⅰ B13q	33	27	23	4	3	4	－	
39	Ⅰ B13q	37	30	39	4	3	4	－	
40	Ⅰ B12p	36	26	19	4⁺	2	4	－	
41	Ⅰ B12o	57	52	37	4⁺	4	4	－	
42	Ⅰ B12o	68	(56)	22	4	4	4	－	
43	Ⅰ B12o	103	56	34	4⁺	4	4	－	
44	Ⅰ B13o	65	50	37	4⁺	2	4	－	
45	Ⅰ B13o	73	55	21	4⁺	3	4	－	
46	Ⅰ B13o	46	41	36	4⁺	3	4	－	
47	Ⅰ B14o	40	38	36	4⁺	3	4	－	
48	Ⅰ B14o	29	23	19	4⁺	3	4	－	
49	Ⅰ B14o	41	37	18	4⁺	3	4	－	
50	Ⅰ B13o	78	60	27	4⁺	3	4	－	
51	Ⅰ B14o	62	45	42	4⁺	3	4	－	
52	Ⅰ B14n	69	61	32	4⁺	3	4	○	
53	Ⅰ B14n	64	52	38	4⁺	3	4	○	
54	Ⅰ B14n	62	46	41	4⁺	3	4	－	
55	Ⅰ B15n	63	59	41	4⁺	3	4	○	
56	Ⅰ B15n	58	45	38	4⁺	3	4	○	
57	Ⅰ B14n	41	40	28	4⁺	3	4	－	
58	Ⅰ B15n	45	43	27	4⁺	3	4	－	
59	Ⅰ B15n	26	22	32	4	4	4	－	
60	Ⅰ B15n	63	45	32	4⁺	3	4	○	
61	Ⅰ B16n	37	27	18	4⁺	3	4	－	
62	Ⅰ B16n	39	31	22	4⁺	3	4	－	
63	Ⅰ B16m	28	(23)	17	4⁺	3	4	－	
64	Ⅰ B16m	43	43	32	4⁺	3	4	○	
65	Ⅰ B16m	62	49	16	4⁺	3	4	○	
66	Ⅰ B16m	40	37	18	4⁺	3	4	－	
67	Ⅰ B17m	21	20	12	4	3	4	－	SI04c
68	Ⅰ B15o	31	24	25	4	3	4	－	
69	Ⅰ B15o	36	33	16	4⁺	3	4	－	
70	Ⅰ B15o	31	26	16	4	3	4	－	
71	Ⅰ B15o	30	28	31	4	3	4	－	
72	Ⅰ B15o	38	29	12	4⁺	3	4	－	
73	Ⅰ B15o	32	29	13	4	3	4	－	
74	Ⅰ B14o	27	26	30	4	4	4	－	
75	Ⅰ B15o	27	24	16	4	3	4	－	
76	Ⅰ B14p	37	27	23	4	3	4	－	
77	Ⅰ B14o	45	36	42	4	4	4	－	
78	Ⅰ B14p	38	31	45	4	4	4	－	
79	Ⅰ B14p	44	(37)	28	4	4	4	－	
80	Ⅰ B15p	42	37	21	4	4	4	－	
81	Ⅰ B15p	28	24	23	3	4	4	－	
82	Ⅰ B15p	25	22	41	4	3	4	－	
83	Ⅰ B14p	34	30	26	4	3	4	－	
84	Ⅰ B15p	41	22	12	4	3	4	－	
85	Ⅰ B15p	36	35	19	4	3	4	－	
86	Ⅰ B15p	37	35	18	4	－	－	－	
87	Ⅰ B15p	35	31	23	4	3	4	－	
88	Ⅰ B14p	27	25	17	4	3	4	－	
89	Ⅰ B14p	38	34	25	4	3	4	－	
90	Ⅰ B14q	48	45	25	4	3	4	－	
91	Ⅰ B15q	28	25	9	4	3	4	－	
92	Ⅰ B15r	28	24	22	4	3	4	－	
93	Ⅰ B15r	27	19	12	4	3	4	－	
94	Ⅰ B15r	29	25	17	4	3	4	－	
95	Ⅰ B15r	28	23	20	4	3	4	－	
96	Ⅰ B14r	42	38	27	4	3	4	－	
97	Ⅰ B15r	27	25	25	4	3	4	－	
98	Ⅰ B15r	21	18	27	4	3	4	－	
99	Ⅰ B15r	41	25	32	4	3	4	－	
100	Ⅰ B15s	34	25	18	4	3	4	－	
101	Ⅰ B17o	41	38	54	3	4	4	－	
102	Ⅰ B16o	31	26	44	4	2	4	－	
103	Ⅰ B16o	35	28	49	4	3	4	－	
104	Ⅰ B16o	38	30	31	4	3	4	－	
105	Ⅰ B16o	33	30	30	4	4	4	－	
106	Ⅰ B16o	40	35	98	4	4	4	○	
107	Ⅰ B17o	27	23	33	3	2	3	－	
108	Ⅰ B17o	29	29	54	3	4	4	－	
109	Ⅰ B17o	29	26	12	1	4	4	－	
110	Ⅰ B17o	23	(19)	18	4	4	4	－	
111	Ⅰ B17o	33	28	45	4	3	3	－	
112	Ⅰ B18o	69	65	18	記録なし			－	
113	Ⅰ B16n	33	27	35	4	2	4	－	
114	Ⅰ B16n	26	25	33	4	2	4	－	
115	欠番								
116	Ⅰ B16p	42	34	91	記録なし			○	
117	Ⅰ B16p	35	32	72	4	3	4	－	
118	Ⅰ B16p	24	21	18	4	4	4	－	
119	Ⅰ B16p	29	27	44	4	3	4	－	
120	Ⅰ B16p	30	29	41	4	2	4	－	
121	Ⅰ B16p	29	27	33	4	4	3	－	
122	Ⅰ B16q	29	28	58	4	1	3	－	
123	Ⅰ B16q	41	37	57	4	2	3	－	
124	Ⅰ B16q	40	29	52	4	3	4	－	
125	Ⅰ B16q	31	(28)	37	4	3	4	－	
126	Ⅰ B16r	21	20	15	4	2	4	－	
127	Ⅰ B16r	44	35	23	4	2	2	－	
128	Ⅰ B16r	35	29	46	4	2	3	－	
129	Ⅰ B17p	27	24	27	4	2	3	－	
130	Ⅰ B17o	28	24	34	4	3	3	－	
131	Ⅰ B16q	(23)	20	27	4	3	2	－	
132	Ⅰ B17q	32	31	21	4	2	2	－	
133	Ⅰ B17q	33	27	21	4	4	3	－	
134	Ⅰ B17q	45	35	47	4	3	4	－	
135	Ⅰ B17q	34	(22)	17	4	3	2	－	
136	Ⅰ B17q	26	25	39	4	4	4	－	
137	Ⅰ B17o	34	33	23	4	2	3	－	
138	Ⅰ B16n	37	29	33	4	3	4	○	
139	Ⅰ B16n	29	25	22	3	3	4	－	
140	Ⅰ B18p	31	26	15	3	3	4	○	
141	Ⅰ B15q	23	19	19	3	4	4	－	
142	Ⅰ B15q	38	36	18	3	4	4	－	
143	Ⅰ B15q	36	31	44	4	3	4	－	
144	Ⅰ B18p	27	20	31	4	2	4	－	
145	Ⅰ B17p	(33)	(18)	36	4	4	4	－	
146	Ⅰ B16q	38	27	31	4	3	4	－	
147	Ⅰ B17r	39	30	22	4	2	2	－	
148	Ⅰ B18r	24	20	17	3	3	3	－	
149	Ⅰ B18r	23	20	24	3	3	3	－	
150	Ⅰ B18r	23	21	21	4	4	4	－	
151	Ⅰ B17r	51	37	50	4	2	3	－	
152	Ⅰ B17r	19	17	21	4	2	3	－	
153	Ⅰ B17r	24	23	17	4	2	4	－	
154	Ⅰ B16r	18	17	21	4	2	3	－	
155	Ⅰ B16q	51	31	41	4	2	3	－	
156	欠番								
157	Ⅰ B16r	24	18	32	4	3	4	－	
158	Ⅰ B17r	43	35	21	4	2	2	－	
159	Ⅰ B16q	23	22	26	4	2	3	－	
160	Ⅰ B17p	24	20	23	3	3	4	○	
161	Ⅰ B17s	39	31	47	4	3	4	－	
162	Ⅰ B17s	28	22	13	3	2	2	－	
163	欠番								
164	Ⅰ B17s	36	28	57	4	3	4	－	
165	Ⅰ B17s	34	32	16	4	2	4	－	
166	Ⅰ B17r	33	25	33	4	2	4	－	
167	Ⅰ B16r	28	21	74	4	2	4	－	
168	Ⅰ B16s	21	19	23	4	2	3	－	

第17表　柱穴状土坑一覧（2）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
169	Ⅰ B16s	29	24	28	4	2	3	−	
170	Ⅰ B16s	78	66	59	4	1	4	−	
171	Ⅰ B16s	51	29	64	4	2	4	−	
172	Ⅰ B17p	25	22	23	3	4	5	−	
173	Ⅰ B15q	34	30	29	3	4	5	−	
174	Ⅰ B15q	46	29	31	3	4	5	−	
175	Ⅰ B17o	45	35	20	4	2	3	−	
176	Ⅰ B17o	41	(27)	62	4	2	4	−	
177	Ⅰ B17o	28	20	29	4	3	4	−	
178	Ⅰ B16o	33	30	26	4	3	4	−	
179	Ⅰ B16o	28	26	40	3	4	5	−	
180	Ⅰ B16o	27	22	31	4	3	3	−	
181	Ⅰ B16o	26	20	24	4	4	5	−	
182	Ⅰ B16o	26	23	28	4	4	5	−	
183	Ⅰ B16o	26	23	27	4	4	4	−	
184	Ⅰ B17t	35	27	42	4	2	3	−	
185	Ⅰ B16t	26	24	22	4	2	3	−	
186	Ⅰ B16t	28	25	21	4	3	4	−	
187	Ⅰ B16t	25	23	20	4	3	4	−	
188	Ⅰ B16t	34	24	16	4	2	4	−	
189	Ⅰ C15a	29	25	31	4	2	3	−	
190	Ⅰ B17q	19	18	18	4	2	1	−	
191	Ⅰ B17q	33	29	16	3	2	1	−	
192	Ⅰ B16s	39	35	62	記録なし			−	
193	Ⅰ B17t	19	18	27	4	2	3	−	
194	Ⅰ B16t	20	16	17	4	2	2	−	
195	Ⅰ B16t	28	23	17	4	2	2	−	
196	Ⅰ B16t	26	25	36	1	1	1	−	
197	Ⅰ B18n	25	19	33	4	4	3	−	
198	Ⅰ B16n	31	28	16	4	3	3	−	
199	Ⅰ B16n	23	20	25	4	4	2	−	
200	Ⅰ B16n	21	18	16	4	3	3	−	
201	Ⅰ B14s	30	20	12	4	3	3	−	
202	Ⅰ B14s	30	26	14	4	2	3	−	
203	Ⅰ B14s	32	24	32	4	2	4	−	
204	Ⅰ B14s	38	31	25	4	3	4	−	
205	Ⅰ B14s	37	27	32	4	3	4	−	
206	Ⅰ B14s	40	33	38	4	3	4	−	
207	Ⅰ B14t	28	25	16	4	3	4	−	
208	Ⅰ B14t	49	43	27	4	3	4	−	
209	Ⅰ B14s	45	43	19	4	3	4	−	
210	Ⅰ B14s	38	30	25	4	3	4	−	
211	Ⅰ B14t	34	26	54	4	3	4	−	
212	Ⅰ B15s	32	27	29	4	2	2	−	
213	Ⅰ B15s	32	28	44	4	4	4	−	
214	Ⅰ B15t	38	30	40	4	4	4	−	
215	Ⅰ B14t	33	29	15	4	3	4	−	
216	Ⅰ B14t	29	25	43	4	3	4	−	
217	Ⅰ B15s	35	27	45	4	4	4	−	
218	Ⅰ B15t	22	21	48	4	4	4	−	
219	Ⅰ B15t	37	34	48	4	4	4	−	
220	Ⅰ B15t	24	20	20	4	4	4	−	
221	Ⅰ B15t	24	22	50	4	3	4	−	
222	Ⅰ B15t	22	20	16	4	3	4	−	
223	Ⅰ C15a	29	25	15	4	3	4	−	
224	Ⅰ B14t	23	20	20	4	3	4	−	
225	Ⅰ C14a	24	23	13	4	3	4	−	
226	Ⅰ C14a	(28)	23	40	4	3	4	−	
227	Ⅰ C14a	37	27	22	4	3	4	−	
228	Ⅰ B13q	50	39	66	4	3	4	−	
229	Ⅰ B13q	39	29	37	4	3	4	−	
230	Ⅰ B13r	27	19	33	4	3	4	−	
231	Ⅰ B13r	21	19	13	4	4	4	−	
232	Ⅰ B13r	(21)	19	13	4	4	4	−	
233	Ⅰ B14p	31	30	50	4	3	4	−	
234	Ⅰ B13n	36	34	26	4	3	4	○	
235	Ⅰ B13n	110	40	49	4	3	4	○	
236	Ⅰ B13n	34	32	26	4	3	4	○	
237	Ⅰ B13q	36	24	28	4	4	4	−	
238	Ⅰ B13q	37	20	33	4	4	4	−	
239	Ⅰ B13r	29	25	24	4	4	4	−	
240	Ⅰ B13r	23	21	18	4	4	4	−	
241	Ⅰ B14t	32	26	24	4	3	3	−	
242	Ⅰ B14t	15	13	16	4	4	4	−	
243	Ⅰ C13a	17	14	28	4	4	4	−	
244	Ⅰ B13p	21	14	18	4	4	4	−	
245	Ⅰ B13p	39	20	38	4	4	4	−	
246	Ⅰ B13q	58	34	50	4	4	4	−	
247	Ⅰ B13q	24	19	27	4	4	4	−	
248	Ⅰ B13r	21	19	25	4	4	4	−	
249	Ⅰ B14r	52	34	37	5	4	4	−	
250	Ⅰ B14r	27	22	18	4	4	4	−	
251	Ⅰ B13s	23	18	23	4	3	4	−	
252	Ⅰ B13t	23	16	18	4	3	4	−	
253	Ⅰ B13t	17	14	21	4	4	4	−	
254	Ⅰ B13t	15	13	22	4	4	4	−	
255	Ⅰ C14a	21	17	15	4	4	4	−	
256	Ⅰ C14a	31	26	28	4	4	4	−	
257	Ⅰ C14a	44	28	32	4	4	4	−	
258	Ⅱ B2i	24	17	39	4	3	3	−	
259	Ⅱ B2i	24	22	32	4	3	3	−	
260	Ⅱ B2i	29	24	22	4	3	3	−	
261	Ⅱ B1i	29	20	22	4	3	3	−	
262	Ⅱ B1i	27	25	19	4	3	3	−	
263	Ⅱ B1j	25	22	25	4	3	3	−	
264	Ⅱ B1j	26	18	30	4	3	3	−	
265	Ⅱ B1j	34	28	26	4	3	3	−	
266	Ⅰ B12o	115	33	18	4	3	4	−	
267	Ⅰ B12o	25	22	27	4	3	4	−	
268	Ⅰ B12o	118	32	25	4	3	4	−	
269	Ⅰ B12o	37	31	26	4	3	4	−	
270	Ⅰ B12o	124	39	33	4	3	4	−	
271	Ⅰ B13n	108	55	36	4	3	4	−	
272	Ⅰ B14n	26	25	24	4	3	4	−	
273	Ⅰ B14n	100	35	29	4	3	4	−	
274	Ⅰ B14n	29	25	23	4	3	4	−	
275	Ⅰ B14n	102	31	33	4	3	4	−	
276	Ⅰ B14n	29	28	29	4	3	4	−	
277	Ⅰ B14n	113	31	31	4	3	4	−	
278	Ⅰ B15n	30	26	28	4	3	4	−	
279	Ⅰ B15n	102	34	37	4	3	4	−	
280	Ⅰ B15m	33	26	28	4	3	4	−	
281	Ⅰ B15m	106	32	32	4	3	4	−	
282	Ⅰ B15m	32	24	30	4	3	4	−	
283	Ⅰ B8q	19	16	21	4	4	4	−	
284	Ⅰ B8q	26	21	14	3	4	4	−	
285	Ⅰ B8q	20	18	22	4	4	4	−	
286	Ⅰ B10q	39	31	34	3	4	4	−	
287	Ⅰ B10p	22	21	33	3	4	4	−	
288	Ⅰ B11t	30	(29)	24	4	3	4	−	
289	Ⅰ B11t	55	36	29	4	3	4	−	
290	Ⅰ C13b	55	42	55	4	3	3	−	
291	Ⅰ B15o	42	25	23	4	3	4	−	
292	Ⅰ B14o	29	28	14	4	3	4	−	
293	Ⅰ B14o	29	21	24	4	3	4	−	
294	Ⅰ B14p	28	24	16	4	3	4	−	
295	Ⅰ B14o	20	16	20	4	3	4	−	
296	Ⅰ B12o	(40)	39	52	3	4	4	−	
297	Ⅰ C12a	38	32	35	4	3	4	−	
298	Ⅰ C12a	(34)	(17)	43	4	3	4	−	
299	Ⅰ C12a	23	(17)	36	4	3	4	−	
300	Ⅰ C12a	18	16	12	4	3	4	−	
301	Ⅰ B17m	21	18	17	3	3	4	−	
302	Ⅰ B17m	28	22	37	3	4	5	−	SI04c
303	Ⅰ B17m	27	21	23	3	4	4	−	SI04a
304	Ⅰ B17m	16	14	8	3	4	3	−	SI04a
305	Ⅰ B17m	20	19	17	3	4	4	−	SI04a
306	Ⅰ B17m	18	16	21	3	3	4	−	
307	Ⅰ B16m	17	14	14	3	3	4	−	SI04a
308	Ⅰ B17m	18	16	14	3	4	4	−	SI04b
309	Ⅰ B17n	20	19	16	3	3	4	−	SI04a
310	Ⅰ B17n	23	23	24	3	3	4	−	SI04a
311	Ⅰ B17n	21	17	24	3	3	4	−	SI04a
312	Ⅰ B17m	23	21	21	3	4	3	−	SI04a
313	Ⅰ B17m	19	18	19	3	3	4	−	SI04a
314	Ⅰ B17m	23	22	17	3	4	4	−	SI04a
315	Ⅰ B17m	19	17	25	3	3	4	−	SI04a
316	Ⅰ B18m	22	18	15	3	3	4	−	
317	Ⅰ B17m	25	22	15	3	3	4	−	
318	Ⅰ B17m	24	19	14	3	3	4	−	
319	Ⅰ B17m	18	16	20	3	3	4	−	SI04a
320	Ⅰ B17m	25	19	25	3	3	4	−	SI04a
321	Ⅰ B17m	25	22	41	3	2	4	−	SI04a
322	Ⅰ B17m	20	15	13	3	3	4	−	
323	Ⅰ B17m	29	16	20	3	3	4	−	SI04c
324	Ⅰ B17m	34	25	38	3	3	4	○	SI04a
325	Ⅰ B17m	21	18	15	3	4	4	−	SI04a
326	Ⅰ B17m	19	18	25	3	3	4	−	SI04c
327	Ⅰ B17m	14	14	13	3	4	4	−	
328	Ⅰ B17m	19	16	11	3	4	4	−	
329	Ⅰ B17m	20	19	41	3	2	4	−	
330	Ⅰ B17m	17	15	12	3	4	3	−	
331	Ⅰ B17m	18	(16)	22	3	3	4	−	
332	Ⅰ B17m	37	25	25	3	3	4	−	
333	Ⅰ B17m	16	15	16	3	3	4	−	SI04c
334	Ⅰ B17m	33	31	34	3	3	4	−	
335	Ⅰ B17m	29	21	29	3	3	4	−	SI04c
336	Ⅰ B17m	22	19	28	3	3	4	−	SI04a
337	Ⅰ B17m	29	26	26	3	3	4	−	SI04b
338	Ⅰ B17m	21	19	25	3	2	4	−	SI04b

第17表　柱穴状土坑一覧（3）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
339	Ⅰ B17m	21	20	21	3	3	4	−	SI04b
340	Ⅰ B17n	19	16	7	3	4	3	−	SI04b
341	Ⅰ B17n	43	17	31	3	4	4	−	SI04b
342	Ⅰ B17n	18	17	16	3	3	4	−	SI04a
343	Ⅰ B17n	23	13	17	2	3	4	−	
344	Ⅰ B17n	24	20	35	3	3	4	−	
345	Ⅰ B17m	30	25	25	3	2	4	−	SI04a
346	Ⅰ B17m	20	18	18	3	3	4	−	
347	Ⅰ B17n	22	19	29	3	2	4	−	
348	Ⅰ B17n	18	16	7	3	2	4	−	SI04a
349	Ⅰ B17n	25	21	25	3	2	4	−	
350	Ⅰ B17n	28	25	8	2	4	3	−	
351	Ⅰ B17n	47	38	43	3	3	4	−	SI04a
352	Ⅰ B17n	16	16	18	1	2	4	−	SI04b
353	Ⅰ B17n	42	31	31	3	3	4	−	SI04b
354	Ⅰ B17n	26	21	18	3	3	3	−	SI04b
355	Ⅰ B17n	31	31	53	3	3	3	○	
356	Ⅰ B17n	23	20	14	3	3	4	−	
357	Ⅰ B17n	20	17	8	3	2	3	−	SI04b
358	Ⅰ B17n	29	27	17	3	2	4	−	SI04b
359	Ⅰ B17n	24	22	19	3	2	4	−	SI04b
360	Ⅰ B17n	20	17	18	3	4	3	−	SI04b
361	Ⅰ B17m	30	25	20	3	4	3	−	SI04b
362	Ⅰ B17n	20	17	22	2	4	3	−	
363	Ⅰ B17n	20	18	55	3	2	4	−	
364	Ⅰ B17n	20	19	44	3	4	4	○	
365	Ⅰ B17n	27	26	15	3	2	4	−	
366	Ⅰ B17n	21	19	21	3	2	4	−	
367	Ⅰ B17n	19	14	28	3	2	4	−	
368	Ⅰ B17n	28	23	12	3	2	4	−	
369	Ⅰ B17n	33	27	23	3	3	4	−	
370	Ⅰ B18n	24	20	26	3	3	4	−	
371	Ⅰ B18n	20	16	17	3	3	4	−	
372	Ⅰ B18n	25	16	17	3	4	3	−	
373	Ⅰ B18n	19	16	14	3	3	3	−	
374	Ⅰ B17n	20	18	23	3	2	4	−	SI04a
375	Ⅰ B17m	21	19	14	3	2	4	−	
376	Ⅰ B17m	18	15	18	3	3	4	−	
377	Ⅰ B17m	33	29	25	3	2	4	−	SI04b
378	Ⅰ B17m	20	19	25	2	2	4	−	SI04b
379	Ⅰ B17m	21	19	25	3	2	4	−	
380	Ⅰ B17m	19	17	19	3	2	4	−	SI04c
381	Ⅰ B17m	27	21	19	3	2	4	−	
382	Ⅰ B17m	44	32	22	3	3	4	−	
383	Ⅰ B17m	16	15	14	3	3	4	−	SI04c
384	Ⅰ B17n	27	23	11	3	3	4	−	SI04b
385	Ⅰ B17l	40	30	25	3	3	4	−	
386	Ⅰ B17l	23	20	18	3	3	4	−	SI04c
387	Ⅰ B17n	20	17	39	3	2	4	−	
388	Ⅰ B16n	26	24	56	3	3	4	−	
389	Ⅰ B17n	30	25	17	3	2	4	−	
390	Ⅰ B17m	23	18	31	3	2	4	−	SI04c
391	Ⅰ B17m	23	19	17	3	3	4	−	SI04b
392	Ⅰ B17l	26	24	13	3	2	4	−	
393	Ⅰ B17m	21	16	18	3	3	4	−	SI04a
394	Ⅰ B16m	25	21	24	3	3	4	−	
395	Ⅰ B16n	20	17	11	3	3	4	−	
396	Ⅰ B16n	21	18	17	3	3	4	−	
397	Ⅰ B16n	20	19	15	3	4	4	−	
398	Ⅰ B17n	38	28	30	4	2	3	−	SI04b
399	Ⅰ B18m	22	18	29	3	3	4	−	
400	Ⅰ B18n	20	17	17	3	3	3	−	
401	Ⅰ B18n	22	21	17	3	3	4	−	
402	Ⅰ B17n	21	18	14	3	3	4	−	
403	Ⅰ B16n	28	25	21	3	3	4	−	
404	Ⅰ B17l	19	18	27	3	3	4	−	
405	Ⅰ B18m	43	36	40	3	4	3	−	
406	Ⅰ B18m	20	16	19	3	3	4	−	
407	Ⅰ B18m	24	22	24	3	3	4	−	
408	Ⅰ B18l	31	27	23	4	2	3	−	
409	Ⅰ B18l	20	19	17	4	2	3	−	
410	Ⅰ B18l	27	22	25	3	2	4	−	
411	Ⅰ B18l	27	25	15	3	4	3	−	
412	Ⅰ B18l	28	21	23	2	3	4	−	
413	Ⅰ B18m	28	20	19	3	4	4	−	
414	Ⅰ B18m	23	23	36	4	3	4	−	
415	Ⅰ B18m	23	20	12	3	3	3	−	
416	Ⅰ B18m	27	20	15	4	3	3	−	
417	Ⅰ B18m	26	22	26	4	3	4	−	
418	Ⅰ B18m	19	16	36	4	2	4	−	
419	Ⅰ B18n	20	16	18	4	2	4	−	
420	Ⅰ B18n	27	26	28	4	2	4	−	
421	Ⅰ B18p	33	26	49	4	2	4	−	
422	Ⅰ B18n	30	27	16	3	3	4	−	
423	Ⅰ B18n	22	19	15	3	3	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
424	Ⅰ B17n	(21)	(28)	57	4	4	2	−	
425	Ⅰ B17m	53	43	46	3	4	3	−	SI04a
426	Ⅰ B17o	26	24	39	4	2	3	−	
427	Ⅰ B17n	21	17	15	4	2	3	−	
428	Ⅰ B17o	31	23	40	4	2	4	−	
429	Ⅰ B17o	21	18	22	4	3	4	−	
430	Ⅰ B17o	(26)	21	25	4	2	4	−	
431	Ⅰ B18o	17	15	14	3	4	4	−	
432	Ⅰ B17o	35	31	46	1	2	4	−	
433	Ⅰ B17o	34	24	36	3	2	3	−	
434	Ⅰ B18o	17	16	11	3	3	4	−	
435	Ⅰ B17o	21	16	10	3	3	4	−	
436	Ⅰ B18o	19	16	9	3	4	3	−	
437	Ⅰ B18o	22	19	11	3	3	4	−	
438	Ⅰ B18o	20	17	10	3	3	4	−	
439	Ⅰ B17o	17	15	11	3	3	4	−	
440	Ⅰ B17r	19	17	13	4	2	4	−	
441	Ⅰ B18n	61	53	25	3	3	3	−	
442	Ⅰ B17o	36	36	36	3	2	4	−	
443	Ⅰ B16o	26	21	25	3	2	4	−	
444	Ⅰ B16o	17	16	18	3	2	4	−	
445	Ⅰ B15o	35	29	37	記録なし			−	
446	Ⅰ B15o	34	28	18	4	3	4	−	
447	Ⅰ B16r	26	22	15	4	1	3	−	
448	Ⅰ B16q	25	19	16	3	3	4	−	
449	Ⅰ B16o	27	23	37	4	2	4	−	
450	Ⅰ B17p	20	17	12	3	3	4	−	
451	Ⅰ B17p	19	18	29	3	2	4	−	
452	Ⅰ B16p	21	18	28	3	2	4	−	
453	Ⅰ B17p	21	16	21	3	2	4	−	
454	Ⅰ B17p	23	18	18	3	3	3	−	
455	Ⅰ B17p	20	11	23	3	3	4	−	
456	Ⅰ B17p	27	22	10	3	3	4	−	
457	Ⅰ B17p	21	17	33	3	2	4	−	
458	Ⅰ B17p	29	27	24	3	2	3	−	
459	Ⅰ B17p	23	21	36	3	2	4	−	
460	Ⅰ B16p	23	16	19	3	3	3	−	
461	Ⅰ B16p	17	14	13	3	3	4	−	
462	Ⅰ B16p	27	26	25	3	3	4	−	
463	Ⅰ B16p	20	18	23	3	3	4	−	
464	Ⅰ B16p	23	21	45	3	2	4	−	
465	Ⅰ B16p	15	13	34	3	2	4	−	
466	Ⅰ B16p	23	19	24	3	3	4	−	
467	Ⅰ B16p	18	16	28	3	3	4	−	
468	Ⅰ B16p	19	18	18	3	3	4	−	
469	Ⅰ B16p	27	19	45	3	2	3	−	
470	Ⅰ B16p	28	23	32	3	3	3	−	
471	Ⅰ B16p	22	18	15	4	2	3	−	
472	Ⅰ B16p	23	22	21	4	2	3	−	
473	Ⅰ B15p	20	19	30	4	2	3	−	
474	Ⅰ B15p	33	31	26	4	3	3	−	
475	Ⅰ B15p	34	26	14	4	2	3	−	
476	Ⅰ B15p	33	29	15	4	2	3	−	
477	Ⅰ B18m	28	20	21	3	2	4	−	
478	Ⅰ B18m	23	19	13	3	2	4	−	
479	Ⅰ B17o	32	29	35	3	3	4	−	
480	Ⅰ B17o	30	28	52	3	2	4	−	
481	Ⅰ B16s	38	36	27	4	2	5	−	
482	Ⅰ B15t	25	21	12	4	3	2	−	
483	Ⅰ B15t	35	34	43	4	3	2	−	
484	Ⅰ C15a	22	19	14	4	2	4	−	
485	Ⅰ B16s	(46)	(43)	39	記録なし			−	
486	Ⅰ B18o	26	22	17	3	2	4	−	
487	Ⅰ B18n	20	13	10	3	2	4	−	
488	Ⅰ B18n	18	14	12	3	3	4	−	
489	Ⅰ B18n	17	16	21	3	3	4	−	
490	Ⅰ B17o	27	22	20	3	2	4	−	
491	Ⅰ B17n	29	22	30	3	2	4	−	
492	Ⅰ B17o	26	25	15	3	2	4	−	
493	Ⅰ B16q	23	19	20	3	3	4	−	
494	Ⅰ B16q	21	18	12	3	3	3	−	
495	Ⅰ B16q	20	17	26	3	2	4	−	
496	Ⅰ B16q	22	17	35	3	3	4	−	
497	Ⅰ B16q	24	21	35	3	3	4	−	
498	Ⅰ B16q	22	20	16	3	2	4	−	
499	Ⅰ B16q	22	18	37	3	2	4	−	
500	Ⅰ B16q	25	23	19	3	3	4	−	
501	Ⅰ B16q	28	27	45	3	3	4	−	
502	Ⅰ B16q	22	20	37	3	2	4	−	
503	Ⅰ B16q	16	15	13	3	2	4	−	
504	Ⅰ B16q	17	15	21	3	3	4	−	
505	Ⅰ B16q	20	20	10	3	3	4	−	
506	Ⅰ B16q	19	17	23	3	3	4	−	
507	Ⅰ B16q	18	16	29	3	3	4	−	
508	Ⅰ B16q	26	25	19	3	3	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（4）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
509	Ⅰ B16q	20	17	24	3	3	4	−	
510	Ⅰ B16q	23	19	19	3	3	4	−	
511	Ⅰ B16q	22	19	15	3	1	3	−	
512	Ⅰ B16q	16	15	8	3	2	4	−	
513	Ⅰ B16q	26	15	13	3	3	3	−	
514	Ⅰ B16q	21	20	15	3	2	4	−	
515	Ⅰ B16q	21	15	37	4	2	3	−	
516	Ⅰ B15q	20	19	23	3	3	4	−	
517	Ⅰ B15q	19	18	33	3	3	4	−	
518	Ⅰ B15q	20	16	29	4	3	4	−	
519	Ⅰ B15r	27	25	39	4	3	4	−	
520	Ⅰ B16q	27	25	11	3	3	4	−	
521	Ⅰ B16q	17	16	42	3	2	4	−	
522	Ⅰ B15q	26	24	23	3	3	3	−	
523	Ⅰ B15q	26	20	36	1	2	3	−	
524	Ⅰ B15q	19	17	23	3	3	4	−	
525	Ⅰ B15r	23	22	27	3	3	3	−	
526	Ⅰ B15r	42	32	16	4	2	3	−	
527	Ⅰ B15r	22	20	18	3	2	4	−	
528	Ⅰ B16r	22	17	33	3	2	4	−	
529	Ⅰ B15r	27	23	23	4	2	3	−	
530	Ⅰ B15t	28	(27)	17	4	2	3	−	
531	Ⅰ B15t	21	19	13	4	2	3	−	
532	Ⅰ B17n	16	13	13	3	3	4	−	
533	Ⅰ B17m	14	12	20	3	2	4	−	SI04b
534	Ⅰ B17m	16	14	9	3	3	4	−	SI04a
535	Ⅰ B17m	17	15	14	3	3	3	−	
536	Ⅰ B17p	23	17	16	4	2	3	−	
537	Ⅰ B17q	18	16	9	4	2	3	−	
538	Ⅰ B17p	24	23	19	4	2	3	−	
539	Ⅰ B17o	18	18	13	3	2	4	−	
540	Ⅰ B17o	13	12	18	3	2	4	−	
541	Ⅰ B17o	21	16	11	3	3	4	−	
542	Ⅰ B16o	21	18	25	3	2	4	−	
543	Ⅰ B16o	26	23	35	3	2	4	−	
544	Ⅰ B17n	16	16	10	3	3	3	−	
545	Ⅰ B18m	18	17	16	2	3	4	−	
546	Ⅰ B17p	20	16	18	3	3	4	−	
547	Ⅰ B16p	16	14	39	3	2	4	−	
548	Ⅰ B16p	20	18	23	3	2	4	−	
549	Ⅰ B16p	17	14	25	3	2	4	−	
550	Ⅰ B16p	20	18	22	3	2	4	−	
551	Ⅰ B16p	22	20	36	3	2	4	−	
552	Ⅰ B16p	18	17	13	3	2	4	−	
553	Ⅰ B16p	23	18	12	3	2	4	−	
554	Ⅰ B16q	20	17	19	3	2	4	−	
555	Ⅰ B16s	27	25	30	4	2	3	−	
556	Ⅰ B16s	22	17	15	4	2	4	−	
557	Ⅰ B16s	20	17	11	4	2	4	−	
558	Ⅰ B16s	19	17	12	4	2	3	−	
559	Ⅰ B17s	24	22	24	4	3	3	−	
560	Ⅰ B17s	27	22	22	4	3	3	−	
561	Ⅰ B17p	33	17	28	3	2	4	−	
562	Ⅰ B17p	20	17	40	3	2	4	−	
563	Ⅰ B17p	22	20	18	3	3	3	−	
564	Ⅰ B16p	25	23	23	3	3	4	−	
565	Ⅰ B16r	20	18	10	3	2	4	−	
566	Ⅰ B16r	28	21	13	3	3	4	−	
567	Ⅰ B16r	22	18	22	3	2	4	−	
568	Ⅰ B16r	19	19	51	3	2	4	−	
569	Ⅰ B16r	22	13	23	3	3	4	−	
570	Ⅰ B16r	25	22	16	3	3	4	−	
571	Ⅰ B16r	16	14	8	3	2	4	−	
572	Ⅰ B16r	20	19	30	3	2	4	−	
573	Ⅰ B16r	22	18	27	3	2	4	−	
574	Ⅰ B16r	21	18	22	3	2	4	−	
575	Ⅰ B16r	18	16	22	3	2	4	−	
576	Ⅰ B16r	19	14	33	3	2	4	−	
577	Ⅰ B16r	21	20	19	3	2	4	−	
578	Ⅰ B16r	21	18	22	3	2	4	−	
579	Ⅰ B16r	16	13	14	3	2	4	−	
580	Ⅰ B16r	19	17	18	3	2	4	−	
581	Ⅰ B16r	19	16	23	3	2	4	−	
582	Ⅰ B16r	20	19	18	3	3	4	−	
583	Ⅰ B17r	24	18	26	3	2	4	−	
584	Ⅰ B17r	23	20	24	3	2	4	○	
585	Ⅰ B17r	19	17	16	3	2	4	−	
586	Ⅰ B15p	21	18	13	3	2	4	−	
587	Ⅰ B15p	37	31	27	4	3	2	−	
588	Ⅰ B15q	28	22	19	3	3	3	−	
589	Ⅰ B14q	21	17	27	3	3	3	−	
590	Ⅰ B16r	24	22	25	3	2	4	−	
591	Ⅰ B17r	24	17	29	3	2	4	−	
592	Ⅰ B17r	17	13	19	3	2	4	−	
593	Ⅰ B17r	25	23	26	3	2	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
594	Ⅰ B17r	18	14	12	3	2	4	−	
595	Ⅰ B17r	19	17	15	3	2	4	−	
596	Ⅰ B17r	20	19	21	3	3	4	○	
597	Ⅰ B17r	24	18	20	3	2	4	−	
598	Ⅰ B17r	18	18	31	3	2	4	−	
599	Ⅰ B17r	29	25	31	3	2	4	−	
600	Ⅰ B17r	26	23	14	3	3	4	−	
601	Ⅰ B17r	28	22	22	3	3	3	−	
602	Ⅰ B18r	24	22	16	3	2	3	−	
603	Ⅰ B18r	20	17	11	3	3	3	−	
604	Ⅰ B18r	29	27	19	3	3	4	−	
605	Ⅰ B17t	19	18	29	3	2	4	−	
606	Ⅰ B17t	26	23	33	3	2	4	−	
607	Ⅰ B17t	21	20	34	3	2	4	−	
608	Ⅰ B17t	32	26	29	3	2	4	−	
609	Ⅰ B17t	19	17	24	3	2	4	−	
610	Ⅰ B17t	18	13	35	3	2	4	−	
611	Ⅰ B17t	20	15	19	3	3	3	−	
612	Ⅰ B17t	25	24	23	3	3	4	−	
613	Ⅰ B16t	22	20	20	2	3	4	−	
614	Ⅰ B16t	24	21	24	3	3	4	−	
615	Ⅰ B16t	20	16	24	3	3	4	−	
616	Ⅰ B16t	17	14	14	3	2	4	○	
617	Ⅰ B16t	24	21	18	3	3	4	−	
618	Ⅰ B16t	16	12	17	3	2	4	−	
619	Ⅰ B16t	20	19	38	3	2	4	−	
620	Ⅰ B16t	25	21	50	3	2	4	−	
621	Ⅰ B16t	22	19	22	3	2	4	−	
622	Ⅰ B16t	29	22	17	2	2	4	−	
623	Ⅰ B16t	24	21	27	3	2	4	−	
624	Ⅰ B16t	21	17	18	3	2	4	−	
625	Ⅰ B16t	30	22	62	3	2	4	−	
626	Ⅰ B16t	18	17	26	3	2	4	−	
627	Ⅰ B16t	28	19	14	3	2	4	−	
628	Ⅰ B16t	38	29	26	3	2	4	−	
629	Ⅰ B16t	18	14	19	3	2	4	−	
630	Ⅰ B16t	19	16	28	3	2	4	−	
631	Ⅰ B16t	18	14	22	3	2	4	−	
632	Ⅰ B16t	19	15	28	3	2	4	−	
633	Ⅰ C16a	23	18	17	3	2	4	−	
634	Ⅰ B16t	22	20	12	3	2	4	−	
635	Ⅰ B16t	16	14	17	3	2	4	−	
636	Ⅰ B16t	22	18	26	3	2	4	−	
637	Ⅰ B16t	22	20	25	3	2	4	−	
638	Ⅰ C15a	21	17	20	3	2	4	−	
639	Ⅰ B15t	19	18	30	3	2	4	−	
640	Ⅰ B15t	24	20	16	3	2	4	−	
641	Ⅰ C15a	17	14	12	3	2	4	−	
642	Ⅰ C15a	18	17	19	3	2	4	−	
643	Ⅰ B15t	19	19	10	3	2	4	−	
644	Ⅰ B15t	22	19	33	3	2	4	−	
645	Ⅰ B15t	21	19	25	3	2	4	−	
646	Ⅰ B15t	19	16	24	3	2	4	−	
647	Ⅰ B15t	17	16	33	1	2	4	−	
648	Ⅰ B15t	19	18	26	3	2	4	−	
649	Ⅰ B15t	19	18	41	3	2	4	−	
650	Ⅰ B15t	23	21	28	2	2	4	−	
651	Ⅰ B15t	23	22	16	3	2	4	−	
652	Ⅰ B15t	16	16	11	3	3	4	−	
653	Ⅰ B15t	28	24	27	3	2	4	−	
654	Ⅰ B15t	24	21	22	3	3	4	−	
655	Ⅰ B15t	21	16	12	3	3	4	−	
656	Ⅰ B15t	22	21	36	3	3	4	−	
657	Ⅰ B15t	17	16	18	3	2	4	−	
658	Ⅰ B15t	26	18	11	3	2	4	−	
659	Ⅰ B15t	34	27	42	3	2	4	○	
660	Ⅰ B15t	20	18	28	3	3	4	−	
661	Ⅰ C15a	51	42	20	3	3	3	−	
662	Ⅰ C15a	25	22	36	3	3	4	−	
663	Ⅰ C15a	32	22	22	3	3	3	−	
664	Ⅰ C15a	21	18	22	3	3	3	−	
665	Ⅰ C15a	30	25	22	4	3	3	−	
666	Ⅰ B15t	15	14	16	3	3	3	−	
667	Ⅰ B15t	54	36	47	4	2	3	−	
668	Ⅰ B15t	18	15	15	3	2	4	−	
669	Ⅰ B15t	35	23	32	4	3	3	−	
670	Ⅰ B17s	(18)	(15)	9	4	2	3	−	
671	Ⅰ B15t	37	25	39	3	3	3	○	
672	Ⅰ B16s	29	22	30	3	2	3	−	
673	Ⅰ B18n	18	17	15	3	3	4	−	
674	Ⅰ B18n	19	16	15	2	3	3	−	
675	Ⅰ B18m	18	15	25	3	2	4	−	
676	Ⅰ B17o	21	18	19	3	2	4	−	
677	Ⅰ B17o	22	20	37	3	2	4	−	
678	Ⅰ B17o	21	17	20	3	3	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（5）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
679	Ⅰ B17o	23	18	18	3	3	4	−	
680	Ⅰ B16o	23	19	55	3	2	4	−	
681	Ⅰ B18o	30	20	25	3	3	4	−	
682	Ⅰ B17o	16	15	22	3	3	4	−	
683	Ⅰ B17o	20	15	19	3	3	4	−	
684	Ⅰ B16o	22	21	13	3	2	4	−	
685	Ⅰ B16o	21	16	13	3	3	4	−	
686	Ⅰ B16o	11	10	5	3	2	4	−	
687	Ⅰ B16o	13	10	13	3	2	4	−	
688	Ⅰ B16o	21	17	41	3	2	4	−	
689	Ⅰ B16o	16	14	14	3	2	4	−	
690	Ⅰ B16o	43	30	7	3	3	3	−	
691	Ⅰ B16o	23	20	31	3	2	3	−	
692	Ⅰ B16o	14	11	29	3	2	4	−	
693	Ⅰ B17p	21	20	22	3	2	4	−	
694	Ⅰ B17o	16	14	26	3	2	4	−	
695	Ⅰ B17o	14	13	13	3	2	4	−	
696	Ⅰ B17p	25	19	44	3	2	4	−	
697	Ⅰ B17p	16	14	16	3	2	4	−	
698	Ⅰ B17q	20	19	19	3	2	4	−	
699	Ⅰ B17q	15	14	11	3	2	4	−	
700	Ⅰ B17q	34	17	31	3	2	4	−	
701	Ⅰ B17q	(17)	16	20	4	2	4	−	
702	Ⅰ B17q	25	23	26	2	2	4	−	
703	Ⅰ B17q	23	19	11	3	2	4	−	
704	Ⅰ B18r	28	24	29	3	2	4	○	
705	Ⅰ B18r	22	19	24	3	2	4	−	
706	Ⅰ B17r	18	17	26	3	2	4	−	
707	Ⅰ B17r	24	22	23	3	3	4	○	
708	Ⅰ B17r	25	22	21	3	2	4	−	
709	Ⅰ B18s	35	18	27	3	2	2	−	
710	Ⅰ B17s	21	20	41	3	2	4	−	
711	Ⅰ B17s	23	20	16	3	2	4	−	
712	Ⅰ B17s	35	26	23	3	2	3	−	
713	Ⅰ B17s	16	15	20	3	2	4	−	
714	Ⅰ B17s	24	19	40	3	2	4	−	
715	Ⅰ B17s	29	27	50	3	2	4	−	
716	Ⅰ B17s	25	20	29	3	2	4	○	
717	Ⅰ B17s	18	16	16	3	2	4	−	
718	Ⅰ B17s	18	17	23	3	2	4	○	
719	Ⅰ B16s	22	18	23	3	2	4	−	
720	Ⅰ B17s	23	18	11	3	2	4	−	
721	Ⅰ B17s	27	21	41	3	1	3	○	
722	Ⅰ B16s	38	22	32	3	2	4	○	
723	Ⅰ B16s	21	18	11	3	2	4	−	
724	Ⅰ B16s	16	15	14	3	3	4	−	
725	Ⅰ B16s	15	12	27	3	2	4	○	
726	Ⅰ B16s	25	22	16	3	2	4	−	
727	Ⅰ B17s	32	28	41	3	2	4	○	
728	Ⅰ B17s	(21)	(13)	22	4	1	3	−	
729	Ⅰ B16s	32	25	50	3	2	4	−	
730	Ⅰ B17s	21	17	17	3	2	4	−	
731	Ⅰ B17s	25	19	17	3	2	4	−	
732	Ⅰ B17s	18	17	19	3	2	4	○	
733	Ⅰ B17s	27	19	22	3	2	4	○	
734	Ⅰ B16s	22	18	27	3	2	4	−	
735	Ⅰ B17s	27	25	27	3	2	4	○	
736	Ⅰ B17s	23	21	26	3	2	4	○	
737	Ⅰ B16s	19	17	24	3	3	4	−	
738	Ⅰ B17s	16	15	37	3	2	4	−	
739	Ⅰ B18q	24	23	36	3	3	4	−	
740	Ⅰ B14p	16	16	12	2	4	4	−	
741	Ⅰ B15p	27	25	17	4	2	4	−	
742	Ⅰ B15p	26	23	19	4	3	3	−	
743	Ⅰ B15q	18	16	16	2	3	4	−	
744	Ⅰ B15q	28	24	30	4	2	3	−	
745	Ⅰ B15q	17	16	12	2	2	4	−	
746	Ⅰ B15q	19	16	20	3	2	3	−	
747	Ⅰ B15q	15	12	17	2	2	4	−	
748	Ⅰ B15q	16	14	14	3	2	4	−	
749	Ⅰ B15q	15	12	15	3	3	4	−	
750	Ⅰ B15r	16	15	15	3	2	4	−	
751	Ⅰ B15r	20	18	14	3	2	4	−	
752	Ⅰ B16n	22	20	15	4	2	3	−	
753	Ⅰ B15n	20	19	11	3	3	4	−	
754	Ⅰ B15n	20	19	19	3	2	4	−	
755	Ⅰ B15o	19	18	14	4	3	3	−	
756	Ⅰ B15o	22	20	23	3	3	4	−	
757	Ⅰ B16s	32	28	44	3	2	4	○	
758	Ⅰ B17r	21	15	23	3	2	4	−	
759	Ⅰ B16r	22	20	16	3	2	4	−	
760	Ⅰ B16r	17	13	12	2	2	4	−	
761	Ⅰ B16r	34	24	50	3	2	4	−	
762	Ⅰ B16s	17	16	18	3	2	4	−	
763	Ⅰ B16s	20	18	19	3	3	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
764	Ⅰ B16s	14	9	26	3	2	4	−	
765	Ⅰ B16s	14	13	12	3	2	4	−	
766	Ⅰ B16s	26	19	17	3	2	4	−	
767	Ⅰ B16s	27	21	10	3	2	4	−	
768	Ⅰ B16s	20	18	39	3	2	4	−	
769	Ⅰ B16s	26	24	36	3	2	4	−	
770	Ⅰ B16s	25	23	22	3	2	4	−	
771	Ⅰ B16s	18	17	21	3	2	4	−	
772	Ⅰ B16s	15	12	12	3	2	4	−	
773	Ⅰ B16s	24	23	24	3	2	4	−	
774	Ⅰ B16s	26	24	34	3	2	4	−	
775	Ⅰ B16s	36	29	21	3	3	4	−	
776	Ⅰ B16r	46	42	38	3	2	4	−	
777	Ⅰ B16s	49	28	41	3	2	4	−	
778	Ⅰ B16s	18	16	15	3	2	4	−	
779	Ⅰ B16s	14	7	13	3	2	4	−	
780	Ⅰ B16s	14	13	15	3	2	4	−	
781	Ⅰ B16s	17	16	24	3	2	4	−	
782	Ⅰ B16s	29	27	15	3	3	4	−	
783	Ⅰ B16s	20	15	14	3	2	4	−	
784	Ⅰ B16s	17	15	9	3	2	4	−	
785	Ⅰ B16s	17	16	33	3	2	4	−	
786	Ⅰ B16s	24	20	25	3	2	4	−	
787	Ⅰ B16s	22	20	37	3	2	4	−	
788	Ⅰ B16s	26	(25)	52	3	2	4	−	
789	Ⅰ B16s	25	(22)	40	3	2	4	−	
790	Ⅰ B16s	26	23	24	4	2	3	−	
791	Ⅰ B16t	24	21	20	4	2	3	−	
792	Ⅰ B17t	18	15	17	3	2	4	−	
793	Ⅰ B16t	40	24	21	3	2	4	−	
794	Ⅰ B17t	24	22	29	3	2	4	−	
795	Ⅰ B16t	20	17	29	3	2	4	−	
796	Ⅰ C15a	24	18	33	3	2	4	−	
797	Ⅰ C15a	21	18	24	3	2	4	−	
798	Ⅰ C15a	30	23	28	3	2	4	−	
799	Ⅰ C15a	(27)	(20)	33	3	2	4	−	
800	Ⅰ C15a	26	25	31	3	2	4	−	
801	Ⅰ C12a	(29)	25	28	4	3	4	−	
802	Ⅰ C12a	36	26	43	4	3	4	−	
803	Ⅰ B12t	45	35	23	4	3	4	−	
804	Ⅰ B12t	20	18	45	4	3	4	−	
805	Ⅰ C13a	39	36	41	4	3	4	−	
806	Ⅰ C13a	30	23	34	4	3	4	−	
807	Ⅰ C13a	35	19	30	4	3	4	−	
808	Ⅰ C13a	24	21	26	4	3	4	−	
809	Ⅰ C13a	(56)	44	63	4	−	4	−	
810	Ⅰ C13a	31	28	23	4	3	4	−	
811	Ⅰ B15o	25	22	27	4	4	4	−	
812	Ⅰ B14o	16	16	15	4+1	3	4	−	
813	Ⅰ B14o	19	16	16	4+1	3	4	−	
814	Ⅰ B14o	23	21	25	4+1	3	4	−	
815	Ⅰ B14o	20	18	12	4+1	3	4	−	
816	Ⅰ B14o	17	16	13	4+1	3	4	−	
817	Ⅰ B15o	20	17	11	4+1	3	4	−	
818	Ⅰ B15o	20	16	12	4+1	3	4	−	
819	Ⅰ B15o	18	16	14	4+1	3	4	−	
820	Ⅰ B15o	26	24	24	4+1	3	4	−	
821	Ⅰ B15p	23	20	13	4+1	3	4	−	
822	Ⅰ B15o	20	16	29	4+1	3	4	−	
823	Ⅰ B14o	17	13	8	4+1	3	4	−	
824	Ⅰ B14o	17	14	24	4+1	3	4	−	
825	Ⅰ B14o	35	22	13	4+1	3	4	−	
826	Ⅰ B14o	19	17	13	4	3	4	−	
827	Ⅰ B11t	(33)	(32)	50	記録なし			−	
828	Ⅰ B12s	58	32	30	4	3	4	−	
829	Ⅰ B12s	79	35	24	4	4	4	−	
830	Ⅰ B12s	17	13	15	4	4	4	−	
831	Ⅰ B13t	30	26	34	4	3	4	−	
832	Ⅰ B13t	(29)	26	34	4	3	4	−	
833	Ⅰ B13t	(52)	(37)	67	記録なし			−	
834	Ⅰ B13t	29	27	44	4	3	4	−	
835	Ⅰ B13t	(29)	26	43	4	3	4	−	
836	Ⅰ B13s	22	19	25	4	4	4	−	
837	Ⅰ B13t	22	15	28	4	4	4	−	
838	Ⅰ B12r	41	38	28	4	4	4	−	
839	Ⅰ B15t	39	27	25	4	4	3	−	
840	Ⅰ B15t	49	42	51	4	4	3	−	
841	Ⅰ B11t	32	23	46	4	4	4	−	
842	Ⅰ B11t	35	24	23	4	4	4	−	
843	Ⅰ B11t	20	19	26	4	4	4	−	
844	Ⅰ C12a	20	17	19	4	4	4	−	
845	Ⅰ C12a	31	21	18	4	3	4	−	
846	Ⅰ C12a	34	31	38	4	3	4	−	
847	Ⅰ C12a	43	29	27	4	3	4	−	
848	Ⅰ C12a	39	(26)	31	4	2	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（6）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
849	Ⅰ C12a	20	17	7	4	4	4	−	
850	Ⅰ C12a	32	23	18	4	5	5	−	
851	Ⅰ C12a	23	21	19	4	3	4	−	
852	Ⅰ C12a	32	28	24	4	5	5	−	
853	Ⅰ C12a	40	23	36	4	4	4	−	
854	Ⅰ C12a	21	18	14	4	4	4	−	
855	Ⅰ C12a	27	25	27	4	4	4	−	
856	Ⅰ C12a	35	32	34	4	4	4	−	
857	Ⅰ C12a	21	16	11	4	4	4	−	
858	Ⅰ C12a	30	22	12	4	4	4	−	
859	Ⅰ C12a	28	20	24	4	3	4	−	
860	Ⅰ C12a	101	(22)	32	記録なし			−	
861	Ⅰ B12t	22	17	14	記録なし			−	
862	Ⅰ C13b	16	13	8	4	4	4	−	
863	Ⅰ C13b	25	23	16	4	4	4	−	
864	Ⅰ C13b	24	17	14	4	4	4	−	
865	Ⅰ C13b	22	18	19	4	4	4	−	
866	Ⅰ C13b	23	15	12	4	4	4	−	
867	Ⅰ C13a	21	19	19	4	4	4	−	
868	Ⅰ C13a	25	20	23	4	4	4	−	
869	Ⅰ C13a	19	17	27	4	4	4	−	
870	Ⅰ C13a	25	17	40	4	3	4	−	
871	Ⅰ C13a	21	18	33	4	4	4	−	
872	Ⅰ C13b	39	(25)	24	4	4	4	−	
873	Ⅰ C13b	39	21	29	4	3	4	−	
874	Ⅰ C13a	35	22	22	4	4	4	−	
875	Ⅰ B12s	25	17	11	4	3	4	−	
876	Ⅰ C13a	(83)	(49)	83	4	−	4	−	
877	Ⅰ C13a	(43)	(29)	36	4	3	3	−	
878	Ⅰ B12t	(61)	35	25	4	3	3	−	
879	Ⅰ B12t	20	16	11	記録なし			−	
880	Ⅰ C12a	18	15	12	記録なし			−	
881	Ⅰ C13a	44	34	36	4	3	4	−	
882	Ⅰ C13b	18	15	14	4	3	3	−	
883	Ⅰ C13a	(17)	15	19	4	3	4	−	
884	Ⅰ C13a	23	21	9	3	5	4	−	
885	Ⅰ C13a	20	15	11	3	5	4	−	
886	Ⅰ C13a	20	16	16	4	2	4	−	
887	Ⅰ C13a	15	13	12	4	3	4	−	
888	Ⅰ C12a	14	11	10	4	2	4	−	
889	Ⅰ B12t	28	21	25	4	3	4	−	
890	Ⅰ C13a	36	29	19	4	4	4	−	
891	Ⅰ C12a	24	18	20	4	3	4	−	
892	Ⅰ C13a	22	17	11	4	4	4	−	
893	Ⅰ C13a	21	17	26	4	3	4	−	
894	Ⅰ C12a	32	24	35	4	2	4	−	
895	Ⅰ C13a	26	22	20	4	3	4	−	
896	Ⅰ B12t	24	23	43	4	4	4	−	
897	Ⅰ C12a	23	21	20	4	2	4	−	
898	Ⅰ C12a	43	34	27	4	3	4	−	
899	Ⅰ C12a	17	16	17	4	4	4	−	
900	Ⅰ B12t	25	18	25	4	4	4	−	
901	Ⅰ C12a	18	17	25	4	3	4	−	
902	Ⅰ C12a	32	28	13	4	3	4	−	
903	Ⅰ B12t	24	20	21	4	3	4	−	
904	Ⅰ B12t	19	17	16	4	3	4	−	
905	Ⅰ B12t	32	22	10	4	3	4	−	
906	Ⅰ B12t	33	23	36	4	3	3	−	
907	Ⅰ B12t	24	20	20	4	3	3	−	
908	Ⅰ B12t	21	20	10	4	3	4	−	
909	Ⅰ B12t	20	18	40	4	3	4	−	
910	Ⅰ B12t	18	15	15	4	3	4	−	
911	Ⅰ B12t	30	20	14	4	3	4	−	
912	Ⅰ B12t	18	14	25	4	3	4	−	
913	Ⅰ B12t	44	33	26	4	3	4	−	
914	Ⅰ B12t	19	18	11	4	3	4	−	
915	Ⅰ B12t	24	21	32	4	3	4	−	
916	Ⅰ C13a	50	(32)	31	4	4	4	−	
917	Ⅰ B13t	(34)	(25)	14	4	4	4	−	
918	Ⅰ B13t	32	26	39	4	4	4	−	
919	Ⅰ B13t	22	19	20	4	4	4	−	
920	Ⅰ B13t	18	16	7	4	4	4	−	
921	Ⅰ B13t	28	17	22	4	4	4	−	
922	Ⅰ B13t	31	23	46	4	3	4	−	
923	Ⅰ B13t	30	25	41	4	3	4	−	
924	Ⅰ B13t	26	18	18	4	4	4	−	
925	Ⅰ B13t	25	23	27	4	4	4	−	
926	Ⅰ B13t	27	25	30	4	4	4	−	
927	Ⅰ B13t	25	20	33	4	4	4	−	
928	Ⅰ B12t	20	18	20	4	4	4	−	
929	Ⅰ B12t	26	23	45	4	4	4	−	
930	欠番								
931	Ⅰ B12t	25	23	31	4	4	4	−	
932	Ⅰ B12t	28	22	22	4	4	4	−	
933	Ⅰ B12t	39	21	30	4	4	4	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
934	Ⅰ B12t	28	18	19	4	4	4	−	
935	Ⅰ B12t	35	26	35	4	4	4	−	
936	Ⅰ B12t	27	25	24	4	4	4	−	
937	Ⅰ B12t	56	29	20	4	4	4	−	
938	Ⅰ B12t	27	23	20	4	3	4	−	
939	Ⅰ B12s	26	21	16	4	3	4	−	
940	Ⅰ B12s	27	24	23	4	3	4	−	
941	Ⅰ B13t	33	29	29	4	4	4	−	
942	Ⅰ B13t	38	29	33	4	4	4	−	
943	Ⅰ B13t	28	24	28	4	4	4	−	
944	Ⅰ B12t	45	35	68	4	4	4	−	
945	Ⅰ B13t	35	21	30	4	4	4	−	
946	Ⅰ B13t	45	31	42	4	4	4	−	
947	Ⅰ B13t	37	28	34	4	4	4	−	
948	Ⅰ B13t	25	22	21	4	4	4	−	
949	Ⅰ B13s	39	32	23	4	4	4	−	
950	Ⅰ B13s	23	21	31	4	3	4	−	
951	Ⅰ B13s	28	23	17	4	4	4	−	
952	Ⅰ B12s	30	28	36	4	3	4	−	
953	Ⅰ B13t	(27)	(20)	34	4	4	3	−	
954	Ⅰ B12t	18	15	25	4	4	4	−	
955	Ⅰ B11t	28	21	19	4	4	4	−	
956	Ⅰ B15m	115	27	22	4	3	4	−	
957	Ⅰ B16m	28	24	20	4	3	4	−	
958	Ⅰ B16m	106	32	16	4	3	4	−	
959	Ⅰ C14a	24	18	25	4	3	4	−	
960	Ⅰ C14a	29	20	24	4	3	4	−	
961	Ⅰ C14a	41	33	38	4	4	4	−	
962	Ⅰ C14a	22	20	15	4	3	4	−	
963	Ⅰ C14a	26	22	28	4	3	4	−	
964	Ⅰ C14a	24	21	19	4	3	4	−	
965	Ⅰ C14a	23	22	15	4	3	4	−	
966	Ⅰ C14a	20	16	21	4	3	4	−	
967	Ⅰ B14t	36	28	55	4	2	3	−	
968	Ⅰ B14t	27	23	28	4	4	4	−	
969	Ⅰ B14t	27	22	28	4	4	4	−	
970	Ⅰ B14t	24	19	15	4	4	4	−	
971	Ⅰ B14t	23	20	15	4	4	4	−	
972	Ⅰ B14t	42	37	16	4	3	4	−	
973	Ⅰ B14t	20	18	29	4	4	4	−	
974	Ⅰ B14t	21	17	20	4	4	4	−	
975	Ⅰ B14t	37	33	31	4	4	4	−	
976	Ⅰ B14t	32	24	43	4	3	4	−	
977	Ⅰ B14t	21	18	18	4	3	4	−	
978	Ⅰ B14t	34	30	23	4	3	4	−	
979	Ⅰ B14t	34	29	24	4	3	4	−	
980	Ⅰ B14t	42	28	27	4	3	4	−	
981	Ⅰ B14t	30	26	25	4	3	4	−	
982	Ⅰ B14t	33	30	22	4	3	4	−	
983	Ⅰ B14t	27	18	15	4	3	4	−	
984	Ⅰ B14s	31	28	36	4	3	4	−	
985	Ⅰ B14s	22	21	24	4	3	4	−	
986	Ⅰ B14q	24	21	20	4	4	4	−	
987	Ⅰ B14q	29	23	16	4	4	4	−	
988	Ⅰ B14p	28	20	33	4	4	4	−	
989	Ⅰ C13b	24	19	30	4	2	4	−	
990	Ⅰ C13a	24	17	20	4	4	4	−	
991	Ⅰ C12a	30	26	28	4	4	4	−	
992	Ⅰ C12a	27	24	37	4	4	4	−	
993	Ⅰ B12t	18	14	19	4	4	4	−	
994	Ⅰ B15p	30	27	20	4	4	4	−	
995	Ⅰ B15o	21	19	19	4	4	4	−	
996	Ⅰ B15o	21	19	20	4	4	4	−	
997	Ⅰ B15o	23	19	17	4	4	4	−	
998	Ⅱ B6k	17	16	18	記録なし			−	
999	Ⅱ B7l	(27)	(8)	25	記録なし			−	
1000	Ⅱ B7l	(19)	(12)	19	記録なし			−	
1001	Ⅱ B1l	29	29	12	4	2	5	−	
1002	Ⅱ B2l	30	27	18	4	4	5	−	
1003	Ⅱ B1l	38	33	40	4	2	5	−	
1004	Ⅱ B1l	81	44	30	4	2	2	−	
1005	Ⅰ B20l	22	22	30	4	2	5	−	
1006	Ⅰ B20l	30	25	11	3	4	5	−	
1007	Ⅰ B20m	39	36	19	3	5	5	−	
1008	Ⅱ B1m	(61)	56	23	4	5	5	−	
1009	Ⅰ B20p	43	39	16	4	2	5	−	
1010	Ⅰ B20p	35	24	25	2	5	5	−	
1011	Ⅰ B20p	23	19	39	3	2	2	−	
1012	Ⅰ B20p	36	29	25	3	2	5	−	
1013	Ⅱ B1p	26	22	28	3	4	1	−	
1014	Ⅰ B20p	41	28	32	3	2	5	−	
1015	Ⅰ B20p	32	30	58	3	5	5	−	
1016	Ⅰ B20p	49	40	37	3	1	5	−	
1017	Ⅱ B1p	18	16	16	3	5	2	−	
1018	Ⅰ B19p	36	29	38	3	2	5	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（7）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1019	Ⅰ B20p	20	19	23	3	4	5	−	
1020	Ⅰ B20p	30	26	31	3	5	2	−	
1021	Ⅰ B19p	32	26	23	3	2	2	−	
1022	Ⅰ B20p	21	21	16	3	1	4	−	
1023	欠番								
1024	Ⅱ B1p	34	24	34	3	4	1	−	
1025	Ⅰ B20p	23	22	15	3	5	5	−	
1026	Ⅰ B20p	40	29	30	3	5	5	−	
1027	Ⅰ B20p	34	31	12	3	5	5	−	
1028	Ⅱ B1p	28	26	26	4	5	2	−	
1029	Ⅰ B19p	23	20	20	3	5	5	−	
1030	Ⅰ B20p	29	22	26	3	2	2	−	
1031	Ⅰ B20p	39	33	31	3	2	5	−	
1032	Ⅱ B1p	33	28	25	4	5	1	−	
1033	Ⅰ B19p	29	24	34	3	5	5	−	
1034	Ⅰ B19p	22	20	18	3	1	5	−	
1035	Ⅰ B20o	26	24	36	3	1	2	−	
1036	Ⅱ B1m	(57)	52	43	4	2	2	−	
1037	Ⅰ B19o	45	38	34	3	5	5	−	
1038	Ⅰ B20p	25	22	25	3	5	5	−	
1039	Ⅱ B1p	51	32	13	3	5	4	−	
1040	Ⅰ B19p	22	20	27	3	4	5	−	
1041	Ⅰ B20o	28	(28)	25	3	2	5	−	
1042	Ⅰ B20o	30	20	29	3	5	5	−	
1043	Ⅰ B20o	26	21	45	3	5	5	−	
1044	Ⅰ B20q	53	35	45	3	5	2	−	
1045	Ⅱ B1p	17	15	13	4	5	1	−	
1046	Ⅱ B1o	33	30	27	4	5	1	−	
1047	Ⅰ B20p	28	25	26	4	5	5	−	
1048	Ⅰ B20p	21	18	27	3	5	5	−	
1049	Ⅰ B20p	35	28	35	3	5	2	−	
1050	Ⅰ B20p	19	18	20	3	5	4	−	
1051	Ⅰ B20p	48	41	45	3	2	5	−	
1052	Ⅰ B19p	75	47	31	4	5	2	−	
1053	Ⅰ B20p	33	26	42	3	5	2	−	
1054	Ⅰ B20p	27	25	32	3	5	4	−	
1055	Ⅰ B20o	25	19	24	3	2	5	−	
1056	Ⅰ B20p	30	21	31	3	5	5	−	
1057	Ⅰ B20o	26	21	29	3	5	5	−	
1058	Ⅰ B20p	20	19	22	4	5	2	−	
1059	Ⅰ B20p	(29)	21	28	3	5	5	−	
1060	Ⅰ B20p	24	21	25	3	5	4	−	
1061	Ⅰ B20o	30	24	27	3	2	5	−	
1062	Ⅰ B20o	23	18	26	3	5	5	−	
1063	Ⅰ B20p	(33)	32	20	4	4	2	−	
1064	Ⅰ B20p	27	27	21	3	4	5	−	
1065	Ⅰ B20p	(64)	43	39	3	5	5	−	
1066	Ⅰ B19p	43	37	37	3	5	5	−	
1067	Ⅰ B19p	35	32	17	3	5	5	−	
1068	Ⅰ B20o	43	32	28	3	5	5	−	
1069	Ⅰ B19n	76	53	24	4	5	2	−	
1070	Ⅰ B20p	20	18	44	3	4	5	−	
1071	Ⅰ B20p	28	23	33	4	5	5	−	
1072	Ⅰ B20o	23	21	23	3	2	5	−	
1073	Ⅱ B1o	27	23	36	4	5	5	−	
1074	Ⅰ B19n	26	21	20	3	1	5	−	
1075	Ⅰ B20o	28	21	16	4	2	4	−	
1076	Ⅰ B20o	25	23	19	3	1	4	−	
1077	Ⅱ B1o	25	22	19	3	5	5	−	
1078	Ⅱ B1o	19	16	20	3	4	5	−	
1079	Ⅰ B20o	41	36	24	3	2	5	−	
1080	Ⅰ B20o	20	18	22	4	5	5	−	
1081	Ⅱ B1o	40	34	39	3	2	5	−	
1082	Ⅱ B1o	24	22	17	4	1	5	−	
1083	Ⅰ B19n	27	24	55	4	1	1	−	
1084	Ⅰ B20n	21	20	19	4	2	4	−	
1085	Ⅰ B19m	34	25	38	4	5	2	−	
1086	Ⅰ B19m	31	26	16	3	5	5	−	
1087	Ⅱ B1n	32	24	37	4	5	5	−	
1088	Ⅰ B19n	29	22	27	3	5	2	−	
1089	Ⅰ B19m	20	16	20	4	4	2	−	
1090	Ⅰ B19m	38	21	21	4	5	5	−	
1091	Ⅰ B19m	23	21	27	4	5	5	−	
1092	Ⅰ B20q	22	20	22	4	4	5	−	
1093	Ⅱ B1q	17	16	15	4	4	5	−	
1094	Ⅱ B1q	24	20	19	4	5	2	−	
1095	Ⅰ B19m	38	33	27	4	4	5	−	
1096	Ⅱ B1q	18	17	23	3	5	4	−	
1097	Ⅰ B19m	42	36	47	4	2	5	−	
1098	Ⅰ B19m	30	18	23	4	2	2	−	
1099	Ⅰ B20q	19	18	23	4	2	5	−	
1100	Ⅰ B20q	24	20	27	3	5	4	−	
1101	Ⅱ B1q	16	16	15	4	2	4	−	
1102	Ⅱ B1q	25	21	16	4	4	5	−	
1103	Ⅱ B1q	17	16	15	4	4	2	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1104	Ⅱ B1q	22	19	19	3	4	5	−	
1105	Ⅱ B1q	32	27	32	3	4	4	−	
1106	Ⅱ B1q	18	(11)	20	3	5	5	−	
1107	Ⅰ B20q	49	43	21	4	4	5	−	
1108	Ⅰ B20q	42	31	24	3	2	4	−	
1109	Ⅰ B20q	21	19	18	4	4	5	−	
1110	Ⅰ B20q	82	75	31	4	5	4	−	
1111	Ⅰ B20q	79	72	23	4	2	4	−	
1112	Ⅰ B19q	24	22	18	4	2	4	−	
1113	Ⅰ B20q	(61)	51	15	4	5	5	−	
1114	Ⅰ B19r	31	26	11	4	5	2	−	
1115	Ⅰ B20r	32	25	14	4	2	5	−	
1116	Ⅰ B20r	41	25	13	4	5	5	−	
1117	Ⅰ B19r	29	25	38	4	5	4	−	
1118	Ⅰ B19r	33	27	34	4	5	5	−	
1119	Ⅰ B20q	19	17	16	4	5	4	−	
1120	Ⅰ B19q	35	28	38	3	4	5	−	
1121	Ⅰ B20q	28	22	19	4	1	2	−	
1122	Ⅰ B20q	(78)	60	13	4	5	2	−	
1123	Ⅰ B19r	19	17	28	4	5	4	−	
1124	Ⅰ B18r	29	22	19	3	5	2	−	
1125	Ⅰ B19q	31	27	33	3	5	5	−	
1126	Ⅰ B19s	27	25	27	4	5	5	−	
1127	Ⅰ B20q	36	35	30	4	5	2	−	
1128	Ⅰ B19s	26	20	29	4	5	5	−	
1129	Ⅱ B3o	60	48	25	3	4	1	−	
1130	Ⅱ B3p	70	45	11	3	4	1	−	
1131	Ⅱ B6l	20	19	17	3	3	4	−	
1132	Ⅱ B6l	(42)	(37)	23	3	3	4	−	
1133	Ⅱ B6j	47	42	47	4	3	3	−	
1134	Ⅱ B6j	31	24	28	3	2	3	−	
1135	Ⅱ B6j	32	29	16	3	2	3	−	
1136	Ⅱ B7j	15	13	19	3	3	4	−	
1137	Ⅱ B7j	17	16	12	3	2	2	−	
1138	Ⅱ B6l	23	22	9	3+1	−	−	−	
1139	Ⅱ B6l	25	22	28	記録なし			−	
1140	Ⅱ B7l	21	19	12	3	−	−	−	
1141	Ⅱ B7l	35	34	12	3+2	3	−	−	
1142	Ⅱ B7l	28	26	42	3	4	−	−	
1143	Ⅱ B6j	57	41	50	3	4	3	○	
1144	Ⅱ B6j	32	26	40	3	4	3	−	
1145	Ⅱ B6j	30	22	29	3	4	3	−	
1146	Ⅱ B6j	35	28	34	3	4	3	−	
1147	Ⅱ B6j	37	32	24	3	5	3	−	
1148	Ⅱ B6j	29	24	21	3	4	−	−	
1149	Ⅱ B7j	20	18	9	2	3	−	−	
1150	Ⅱ B6l	(44)	36	13	4	4	−	−	
1151	Ⅱ B6l	37	(36)	32	4	3	4	−	
1152	Ⅱ B6l	25	22	30	4	3	3	−	
1153	Ⅱ B7n	28	25	9	1	2	2	○	
1154	Ⅱ B7n	23	19	9	1	2	2	−	
1155	Ⅱ B6n	(28)	(20)	34	4	2	3	○	
1156	Ⅱ B6n	(21)	(9)	29	3	2	3	−	
1157	Ⅱ B7n	29	22	17	1	2	2	−	
1158	Ⅱ B6m	(30)	(9)	15	3	2	3	−	
1159	Ⅱ B6n	(30)	(17)	39	4	4	3	○	
1160	Ⅱ B6n	(25)	(15)	21	3+1	−	−	−	
1161	Ⅱ B6j	18	15	19	4	3	3	−	
1162	Ⅱ B6j	32	22	20	4	3	3	−	
1163	Ⅱ B6j	22	17	25	4	3	3	−	
1164	Ⅱ B6k	24	17	24	4	3	3	−	
1165	Ⅱ B6j	18	14	30	4	3	3	−	
1166	Ⅱ B6k	26	23	14	4	3	3	−	
1167	Ⅱ B6k	30	25	12	4	3	3	−	
1168	Ⅱ B6m	25	22	38	4	3	3	−	
1169	Ⅱ B6l	17	15	17	4	3	3	−	
1170	Ⅱ B6l	33	(34)	18	4	3	3	−	
1171	Ⅱ B6m	24	22	24	4	3	3	−	
1172	Ⅱ B6m	21	20	40	4	3	3	−	
1173	Ⅱ B6l	23	20	46	4	3	3	−	
1174	Ⅱ B6l	23	21	19	4	3	3	−	
1175	Ⅱ B6m	26	22	30	4	3	3	−	
1176	Ⅱ B6k	21	19	31	4	3	3	−	
1177	Ⅱ B6k	38	32	24	4	3	3	−	
1178	Ⅱ B6j	(36)	36	46	4	3	3	−	
1179	Ⅱ B6i	32	25	34	4	3	3	−	
1180	Ⅱ B6j	23	19	21	4	3	3	−	
1181	Ⅱ B6k	25	23	29	4	3	3	−	
1182	Ⅱ B6k	15	12	16	4	3	3	−	
1183	Ⅱ B6k	28	23	17	4	3	4	−	
1184	Ⅱ B6k	36	26	16	4	3	3	−	
1185	Ⅱ B6k	36	15	17	4	3	3	−	
1186	Ⅱ B6k	51	21	18	4	3	3	−	
1187	Ⅱ B6k	36	33	16	3	3	3	−	
1188	Ⅱ B6j	11	7	16	4	3	3	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（8）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1189	Ⅱ B6j	30	22	36	4	3	3	−	
1190	Ⅱ B6k	21	19	39	4	3	3	−	
1191	Ⅱ B6l	17	15	20	4	3	3	−	
1192	Ⅱ B6l	48	30	14	4	3	3	−	
1193	Ⅱ B6l	(17)	(9)	18	4	3	3	−	
1194	Ⅱ B6l	26	(17)	35	4	3	3	−	
1195	Ⅱ B6l	21	18	27	4	3	3	−	
1196	Ⅱ B6j	25	21	42	4	3	3	−	
1197	Ⅱ B6j	20	17	17	4	3	3	−	
1198	Ⅱ B6j	25	23	20	4	3	3	−	
1199	Ⅱ B6j	19	18	13	4	3	3	−	
1200	Ⅱ B6j	23	19	21	4	3	3	−	
1201	Ⅰ C15a	32	(17)	30	3	2	4	−	
1202	Ⅰ B16t	23	19	29	3	2	4	−	
1203	Ⅰ C15a	18	15	29	3	2	4	−	
1204	欠番								
1205	Ⅰ C14a	42	31	20	3	3	4	−	
1206	Ⅰ C15a	23	21	21	3	3	4	−	
1207	欠番								
1208	Ⅰ B15t	31	23	30	3	2	4	−	
1209	Ⅰ B15t	30	21	43	3	3	4	−	
1210	Ⅰ B15t	28	25	41	3	2	4	−	
1211	Ⅰ B15t	17	14	27	3	2	4	−	
1212	Ⅰ B15t	17	14	20	4	2	4	−	
1213	Ⅰ B15t	16	15	18	4	2	4	−	
1214	Ⅰ B15s	18	17	28	3	2	4	−	
1215	Ⅰ B15s	20	18	27	3	2	4	−	
1216	Ⅰ B14s	22	20	24	3	2	3	−	
1217	Ⅰ B17q	21	19	16	2	3	4	−	
1218	Ⅰ B17q	26	20	25	3	2	4	−	
1219	Ⅰ B17q	24	17	21	記録なし			−	
1220	Ⅰ B17q	19	15	17	3	2	4	−	
1221	Ⅰ B17q	17	15	22	2	3	4	−	
1222	Ⅰ B17q	19	17	17	3	3	4	−	
1223	Ⅰ B17q	34	31	46	3	2	4	○	
1224	Ⅰ B17q	20	17	32	3	2	3	−	
1225	Ⅰ B17q	17	13	6	3	2	4	−	
1226	Ⅰ B17q	18	15	18	2	2	4	−	
1227	Ⅰ B17q	17	14	20	3	2	4	−	
1228	Ⅰ B15t	19	18	48	3	2	4	−	
1229	Ⅰ B15t	26	22	35	3	2	4	−	
1230	Ⅰ B16t	21	18	31	3	2	4	−	
1231	Ⅰ B16t	24	20	31	3	2	4	−	
1232	Ⅰ B16t	22	18	15	3	2	4	−	
1233	Ⅰ B16s	29	27	20	3	2	4	−	
1234	Ⅰ B16t	25	21	35	3	2	4	−	
1235	Ⅰ B16t	24	23	42	3	2	4	−	
1236	Ⅰ B16s	17	15	25	3	2	4	−	
1237	Ⅰ B16s	25	20	45	3	2	4	−	
1238	Ⅰ B16s	20	18	16	記録なし			−	
1239	Ⅰ B16s	15	12	17	3	2	4	−	
1240	Ⅰ B16s	28	26	23	3	3	4	−	
1241	Ⅰ B17s	27	22	25	3	2	4	−	
1242	Ⅰ B16r	22	19	29	3	2	4	−	
1243	Ⅰ B16s	15	13	30	3	2	4	−	
1244	Ⅰ B16s	17	16	22	3	2	4	−	
1245	Ⅰ B15t	26	20	39	3	2	4	−	
1246	Ⅰ B17s	24	23	30	3	2	4	−	
1247	Ⅰ B15t	38	23	29	3	3	4	−	
1248	Ⅰ B15t	10	7	16	3	2	4	−	
1249	Ⅰ B17s	15	14	30	3	2	4	−	
1250	Ⅰ B17t	23	15	31	3	2	4	−	
1251	Ⅰ B16t	20	20	12	3	2	3	−	
1252	Ⅰ B16s	24	21	23	記録なし			−	
1253	Ⅰ B17q	18	13	17	記録なし			−	
1254	Ⅰ B17q	25	16	35	3	2	4	−	
1255	Ⅰ B17q	19	15	32	3	2	4	−	
1256	Ⅰ B17n	26	20	32	3	3	4	−	
1257	Ⅰ B17n	20	19	20	3	3	4	−	
1258	Ⅰ B18n	25	17	17	3	3	4	−	
1259	Ⅰ B17n	20	17	24	3	3	4	−	
1260	Ⅰ B17n	22	21	31	3	3	4	−	
1261	Ⅰ B17n	27	20	27	3	3	4	−	
1262	Ⅰ B15t	35	23	32	3	2	4	−	
1263	Ⅰ B15t	16	14	18	3	2	4	−	
1264	Ⅰ B16s	17	15	27	記録なし			−	
1265	Ⅰ B15s	24	22	27	3	2	4	−	
1266	Ⅰ B15s	22	21	22	3	2	4	−	
1267	Ⅰ B15s	21	16	11	3	2	4	−	
1268～1271	欠番								
1271	Ⅰ B15s	25	20	27	3	2	4	−	
1272	Ⅰ B15s	19	14	19	3	3	3	−	
1273	Ⅰ B15s	29	25	22	3	2	4	−	
1274	Ⅰ B15s	20	20	14	3	3	4	−	
1275	Ⅰ B16r	24	19	18	4	3	2	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1276	Ⅰ B16p	22	18	21	3	2	4	−	
1277	Ⅰ B16o	20	18	38	3	2	4	−	
1278	Ⅰ B18q	(33)	22	18	4	2	3	−	
1279	Ⅰ B18q	(27)	22	13	4	2	3	−	
1280	Ⅰ B17r	28	15	15	3	2	4	−	
1281	Ⅰ B15r	12	12	7	3	2	4	−	
1282	Ⅰ B15r	19	19	35	3	2	4	−	
1283	Ⅰ C15o	15	13	19	3	3	4	−	
1284	Ⅰ B15o	16	14	19	3	2	4	−	
1285	Ⅰ B15o	22	19	16	3	2	4	−	
1286	Ⅰ B15o	12	11	24	3	2	4	−	
1287	Ⅰ B15o	13	11	28	3	2	4	−	
1288	Ⅰ B13q	27	24	32	3	3	4	−	
1289	Ⅰ B13q	18	17	15	3	3	4	−	
1290	Ⅰ B13q	16	15	20	3	3	4	−	
1291	Ⅰ B13q	14	12	11	3	3	4	−	
1292	Ⅰ B14t	22	19	27	3	3	4	○	
1293	Ⅰ B13s	17	16	13	2	3	4	−	
1294	Ⅰ B12t	16	13	16	3	2	3	−	
1295	Ⅰ B16q	23	21	34	3	2	4	−	
1296	Ⅰ B16q	18	16	18	3	2	4	−	
1297	Ⅰ B16q	18	16	8	3	2	4	−	
1298	Ⅰ B16q	18	14	8	3	2	4	−	
1299	Ⅰ B16q	15	13	12	3	2	4	−	
1300	Ⅰ B18m	18	15	16	3	−	−	−	
1301	Ⅰ B18m	21	19	18	3	−	−	−	
1302	Ⅰ B17n	17	13	12	3	2	4	−	
1303	Ⅱ B3m	(55)	(49)	70	2	1	1	−	
1304～1400	欠番								
1401	Ⅱ B6n	(32)	(28)	48	4	2	4	−	
1402	Ⅱ B6n	26	20	32	3	1	3	−	
1403	Ⅱ B6n	(21)	(7)	19	3	3	3	−	
1404	Ⅱ B6n	21	21	23	記録なし			−	
1405	Ⅱ B6m	27	24	23	3	3	5	−	
1406	欠番								
1407	Ⅱ B6n	21	18	18	3	2	3	−	
1408	Ⅱ B6n	37	31	41	3	2	3	−	
1409	Ⅱ B6m	28	20	14	3	2	3	−	
1410	Ⅱ B7m	26	14	33	3	3	3	−	
1411	Ⅱ B6n	20	18	25	3	3	3	−	
1412	Ⅱ B6n	24	21	25	3	3	5	−	
1413	Ⅱ B6n	(19)	(10)	18	3	5	5	−	
1414	Ⅱ B6m	36	32	30	3	3	5	−	
1415	Ⅱ B6m	26	22	29	3	3	5	−	
1416	Ⅱ B5m	(74)	(40)	41	3	3	5	−	
1417	Ⅱ B6m	(30)	23	33	3	3	5	−	
1418	Ⅱ B6m	(37)	37	28	3	3	5	−	
1419	Ⅱ B6m	35	(33)	17	3	3	5	−	
1420	Ⅱ B6l	21	19	20	4	3	5	−	
1421	Ⅱ B6m	22	19	34	3	1	5	−	
1422	Ⅱ B6m	20	17	39	4	1	1	−	
1423	Ⅱ B6m	24	21	16	3	1	1	−	
1424	Ⅱ B6n	24	22	23	記録なし			−	
1425	Ⅱ B6m	31	24	57	記録なし			−	
1426	Ⅱ B6k	61	41	24	4	3	2	−	
1427	Ⅱ B6i	47	32	17	4	3	3	−	
1428	Ⅱ B7j	16	15	25	4	3	3	−	
1429	Ⅱ B6n	24	18	28	4	3	3	−	
1430	Ⅰ B12t	(20)	(6)	6	記録なし			−	
1431	Ⅰ C14c	25	24	19	4	−	3	−	
1432	Ⅰ C15b	41	36	38	4	−	3	−	
1433	Ⅰ C16b	31	28	39	4	−	−	−	
1434	Ⅰ C16b	32	28	18	4	−	−	−	
1435	Ⅰ C16b	30	26	28	4	−	−	−	
1436	Ⅰ C15f	37	33	26	4	3	3	−	
1437	Ⅰ C15f	28	28	23	記録なし			−	
1438	Ⅰ C16f	26	20	16	記録なし			−	
1439	Ⅰ C17f	27	25	12	記録なし			−	
1440	Ⅰ C17f	45	42	38	記録なし			○	
1441	Ⅰ C17f	31	30	40	記録なし			−	
1442	Ⅰ C17f	46	36	36	記録なし			−	
1443	Ⅰ C17f	54	39	37	記録なし			−	
1444	Ⅰ C16f	29	26	26	記録なし			−	
1445	Ⅰ C17f	40	39	60	記録なし			−	
1446	Ⅰ C17e	32	30	31	記録なし			−	
1447	Ⅰ C17e	26	25	25	記録なし			−	
1448	Ⅰ C17e	28	25	23	記録なし			−	
1449	Ⅰ C17e	31	28	23	記録なし			−	
1450	Ⅰ C17e	49	30	29	記録なし			−	
1451	Ⅰ C16e	31	27	31	4	3	3	−	
1452	Ⅰ C17e	34	26	40	4	−	3	−	
1453	Ⅰ C17e	35	29	34	4	3	3	−	
1454	Ⅰ C17e	29	28	37	4	3	3	○	
1455	Ⅰ C16d	26	23	34	4	3	3	−	
1456	Ⅰ C16d	33	26	28	4	3	3	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（9）

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1457	Ⅰ C16d	28	25	44	4	3	3	−	
1458	Ⅰ C16e	28	24	36	4	3	3	−	
1459	Ⅰ C15d	32	30	26	4	3	3	−	
1460	Ⅰ C15e	31	30	35	4	3	3	−	
1461	Ⅰ C15d	27	21	26	4	3	3	−	
1462	Ⅰ C15d	30	28	22	4	3	3	−	
1463	Ⅰ C16d	35	26	29	4	3	3	○	
1464	Ⅰ C17g	(35)	(7)	20	4	3	3	−	
1465	Ⅰ C17e	32	29	26	4	3	3	−	
1466	Ⅰ C16d	28	25	36	4	3	3	−	
1467	Ⅰ D12i	61	45	40	4	3	3	−	
1468	Ⅰ D12j	64	58	28	4	−	3	−	
1469～1500	欠番								
1501	Ⅰ D12k	42	38	38	記録なし				
1502	Ⅰ D12j	60	44	17	記録なし			○	
1503	Ⅰ D13j	58	56	46	記録なし			○	
1504	Ⅰ D13j	53	50	37	記録なし			○	
1505	Ⅰ D13j	62	60	25	記録なし			○	
1506	Ⅰ D13k	42	38	39	記録なし				
1507	Ⅰ D12j	29	26	15	記録なし				
1508	Ⅰ D12j	37	36	27	記録なし				
1509	Ⅰ D12j	27	26	13	記録なし				
1510	Ⅰ D13k	45	37	55	記録なし				
1511	Ⅰ D12j	27	22	29	記録なし				
1512	Ⅰ D13j	47	34	23	記録なし				
1513～1515	欠番								
1516	Ⅰ D18d	28	23	11	記録なし				
1517	Ⅰ D18d	25	23	10	記録なし				
1518	Ⅰ D18d	45	32	19	記録なし				
1519	Ⅰ D18d	21	18	16	記録なし				
1520	Ⅰ D18d	38	28	11	記録なし				
1521	Ⅰ D19d	34	28	16	記録なし				
1522	Ⅰ C17p	26	25	26	記録なし				
1523	Ⅰ C17p	40	32	29	記録なし				
1524	Ⅰ C17o	29	27	31	記録なし				
1525	Ⅰ C18o	26	23	23	記録なし				
1526	Ⅰ C18o	26	25	29	記録なし				
1527	Ⅰ C15k	31	30	45	記録なし				
1528	Ⅰ C16k	42	34	49	記録なし				
1529	Ⅰ D18d	28	28	32	4	3	3	−	
1530	Ⅰ D18d	33	29	17	3	3	−	−	
1531	Ⅰ D19d	30	27	13	4	−	−	−	
1532	Ⅰ D14b	30	29	31	4	3	3	−	
1533	Ⅰ D14b	27	26	35	4	3	3	−	
1534	Ⅰ D14b	31	28	35	4+1	3	3	−	
1535	Ⅰ D15b	38	37	32	4	−	3	−	
1536	Ⅰ D14a	45	41	38	4	−	−	−	
1537	Ⅰ D14a	48	37	34	4	−	−	−	
1538	Ⅰ D15b	62	40	49	4	−	−	−	
1539	Ⅰ D15a	44	43	31	4	−	−	−	
1540	Ⅰ D15a	49	45	43	4	−	3	−	
1541	Ⅰ D15a	53	46	38	4	−	−	−	
1542	欠番								
1543	Ⅰ D15b	41	38	21	4	3	3	−	
1544	Ⅰ E15e	37	32	27	3	−	−	−	
1545	Ⅰ E14d	33	30	59	3	−	3	−	
1546	Ⅰ E15d	30	30	18	3	3	3	−	
1547	Ⅰ E14d	33	30	82	3	3	3	−	
1548	Ⅰ E14d	40	38	40	3	3	−	−	
1549	Ⅰ E14d	39	31	23	1	3	−	−	
1550	Ⅰ E14d	25	22	26	3	3	−	−	
1551	Ⅰ E16b	37	(25)	37	3	−	−	−	
1552	Ⅰ E14d	23	23	20	3	−	−	−	
1553	Ⅰ E14d	50	46	48	1	−	−	−	
1554	Ⅰ E15e	32	23	12	3	3	−	−	
1555	Ⅰ E15d	26	22	15	3	3	−	−	
1556	Ⅰ E15d	22	22	13	3	3	−	−	
1557～1559	欠番								
1560	Ⅰ C17d	56	36	48	4	−	3	−	
1561	Ⅰ C18f	45	37	43	4	−	−	−	
1562	Ⅰ C16f	51	46	29	4	−	−	−	
1563	Ⅰ C17f	39	38	40	2+4	3	−	−	
1564	Ⅰ C17g	36	32	39	2+4	−	−	−	
1565	Ⅰ C15e	29	27	23	4	−	−	−	
1566	Ⅰ C15f	35	28	38	4	−	−	−	
1567	Ⅰ C15f	51	44	27	4	−	−	−	
1568	Ⅰ C15f	35	29	42	4	−	−	−	
1569	Ⅰ E19c	24	20	14	記録なし				
1570	Ⅰ E20c	23	21	16	記録なし				
1571	Ⅰ E18a	30	22	34	記録なし				
1572～1575	欠番								
1576	Ⅰ E20a	30	22	9	3	−	−	−	
1577	Ⅰ E19b	32	26	21	3	−	−	−	
1578	Ⅰ E19b	41	38	22	3	−	−	−	
1579	Ⅰ E19a	26	22	29	3	2	−	−	

遺構名	グリッド	規模(cm)			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1580	Ⅰ E20a	16	15	22	3	−	1	−	
1581	Ⅰ E19a	36	28	18	3	−	−	−	
1582	Ⅰ E20c	32	31	29	3	−	−	−	
1583～1600	欠番								
1601	Ⅰ F20d	40	34	43	1	4	5	−	
1602	Ⅰ E16m	46	34	47	3	3	3	○	
1603	Ⅰ E17m	56	37	70	1	3	3	○	
1604	Ⅱ F2b	24	21	13	4	3	3	−	
1605	Ⅱ F2b	24	21	18	4	3	3	−	
1606	Ⅱ F2b	45	38	12	4	3	3	−	
1607	Ⅱ F2a	26	24	39	4	3	3	−	
1608	Ⅱ F2a	35	28	24	4	3	3	−	
1609	Ⅱ F1b	44	38	18	4	3	3	−	
1610	Ⅱ F1b	22	20	16	4	3	3	−	
1611	Ⅱ F2b	18	16	15	4	3	3	−	
1612	Ⅰ F20q	28	25	19	記録なし				
1613	Ⅰ F20q	57	26	16	記録なし				
1614	Ⅰ E18q	28	26	22	3	3	3	−	
1615	Ⅱ G7f	27	15	17	4	3	1	−	
1616	Ⅱ G6e	24	21	17	4	3	1	−	
1617	Ⅱ G7e	28	20	15	4	3	1	−	
1618	Ⅱ G7e	25	21	15	4	3	1	−	
1619	Ⅱ G6e	30	28	24	4	3	1	−	
1620	Ⅱ G6e	20	18	20	4	3	1	−	
1621	Ⅱ G6f	17	15	7	4	3	2	−	
1622	Ⅱ G6e	24	20	16	4	3	2	−	SB10
1623	Ⅱ G6f	29	23	19	4	3	2	○	SB09
1624	Ⅱ G6f	35	31	32	4	3	2	○	SB08
1625	Ⅱ G6e	26	19	19	4	3	2	−	
1626	Ⅱ G6e	37	26	17	4	3	2	−	SB09
1627	Ⅱ G6e	27	22	18	4	3	2	−	
1628	Ⅱ G6f	20	16	15	4	3	2	−	
1629	Ⅱ G6f	19	18	10	4	3	2	−	
1630	Ⅱ G6f	24	22	18	4	3	2	−	
1631	Ⅱ G6f	23	22	17	4	3	2	−	
1632	Ⅱ G6f	29	25	31	4	3	2	−	SB09
1633	Ⅱ G6f	21	18	17	4	3	2	−	
1634	Ⅱ G6f	23	16	19	4	3	2	○	SB10
1635	Ⅱ G6f	19	13	11	4	3	2	−	
1636	Ⅱ G6f	24	20	20	4	3	2	○	
1637	Ⅱ G6f	27	16	31	記録なし				
1638	Ⅱ G6f	21	18	26	4	3	2	−	
1639	Ⅱ G6e	28	24	14	4	3	2	−	
1640	Ⅱ G6e	30	25	19	4	3	2	−	
1641	Ⅱ G6e	23	19	7	4	3	2	−	
1642	Ⅱ G6f	32	26	23	4	3	2	−	
1643	Ⅱ G6f	29	20	17	4	3	2	○	SB08
1644	Ⅱ G5e	35	31	28	4	3	2	○	SB09
1645	Ⅱ G5e	30	25	41	4	3	2	○	SB08
1646	Ⅱ G5e	27	20	26	4	3	2	○	
1647	Ⅱ G5e	27	23	17	4	3	4	−	
1648	Ⅱ G5e	49	33	22	3	3	4	−	
1649	Ⅱ G5e	22	18	16	4	3	2	−	
1650	Ⅱ G5e	25	22	33	4	3	2	○	
1651	Ⅱ G5e	34	30	25	4	3	2	−	
1652	Ⅱ G5f	30	25	28	4	3	2	○	
1653	Ⅱ G5f	30	23	11	3	3	4	−	SB09
1654	Ⅱ G5f	50	22	26	4	3	4	−	
1655	Ⅱ G5f	31	27	36	2	3	4	○	SB10
1656	Ⅱ G5f	20	15	5	4	3	4	−	
1657	Ⅱ G5f	25	18	14	4	3	4	−	SB10
1658	Ⅱ G5f	22	19	17	4	3	4	−	
1659	Ⅱ G5f	23	17	7	4	3	4	−	
1660	Ⅱ G5f	30	23	10	4	3	4	−	
1661	Ⅱ G6e	24	21	22	4	3	4	−	
1662	Ⅱ G5e	39	26	39	3	3	4	−	SB08
1663	Ⅱ G5e	25	23	17	3	3	4	−	
1664	Ⅱ G5e	30	26	15	4	3	4	−	
1665	Ⅱ G5f	23	21	12	4	3	2	−	
1666	Ⅱ G5f	22	18	32	4	3	2	−	
1667	Ⅱ G5f	19	15	8	4	2	2	−	
1668	Ⅱ G5f	39	35	21	4	3	2	−	SB09
1669	Ⅱ G5f	36	28	49	3	3	2	−	SB08
1670	Ⅱ G5g	28	18	24	3	3	2	−	
1671	Ⅱ G4f	35	29	26	3	3	4	−	
1672	Ⅱ G4f	27	25	30	3	3	2	−	
1673	Ⅱ G4f	34	29	18	3	3	4	−	
1674	Ⅱ G4f	25	20	23	3	3	4	−	
1675	Ⅱ G5f	24	22	15	3	3	4	−	
1676	Ⅱ G4f	33	25	39	3	3	4	−	
1677	Ⅱ G3e	32	27	23	4	3	4	−	SB07
1678	Ⅱ G4f	26	25	23	4	3	4	−	SB10
1679	Ⅱ G4f	34	25	42	4	3	4	−	SB08
1680	Ⅱ G5f	28	22	27	4	3	4	−	
1681	Ⅱ G5f	22	18	15	3	3	4	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（10）

遺構名	グリッド	規模（cm）			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1682	Ⅱ G5f	20	17	26	3	3	4	−	
1683	Ⅱ G4e	38	26	26	3	3	4	−	SB09
1684	Ⅱ G5e	30	27	28	3	3	4	−	SB10
1685	Ⅱ G5e	22	20	10	3	3	4	−	
1686	Ⅱ G5e	15	12	13	3	3	4	−	SB09
1687	Ⅱ G5e	30	27	37	3	3	4	−	SB10
1688	Ⅱ G6f	39	33	12	3	3	4	−	
1689	Ⅱ G5f	18	16	12	3	4	4	−	
1690	Ⅱ G5f	22	18	12	4	4	4	−	
1691	Ⅱ G4f	57	45	64	4	3	4	−	SB10
1692	Ⅱ G5g	31	28	18	3	3	2	−	
1693	Ⅱ G4f	21	20	17	3	3	4	−	
1694	Ⅱ G4f	20	17	13	3	3	4	−	
1695	Ⅱ G4e	36	31	52	4	3	4	−	SB07
1696	Ⅱ G5f	29	27	44	4	3	4	−	SB08
1697	Ⅱ G4e	24	19	18	4	3	4	−	
1698	Ⅱ G4e	28	26	24	4	3	4	−	
1699	Ⅱ G3e	34	27	16	4	3	4	−	
1700	Ⅱ G3e	22	18	19	4	3	4	−	
1701	Ⅱ H3a	40	28	24	3	4	3	−	
1702	Ⅱ H3a	34	31	22	3	4	1	−	
1703	Ⅱ H3a	40	36	42	3	4	1	−	
1704	Ⅱ G2t	35	29	26	3	3	1	−	
1705	Ⅱ G4f	16	15	12	3	3	4	−	
1706	Ⅱ G4f	26	19	8	3	3	4	−	
1707	Ⅱ G4f	29	21	17	3	3	4	−	
1708	Ⅱ G3f	20	18	7	3	2	2	−	
1709	Ⅱ G3e	26	22	11	3	3	3	−	
1710	Ⅱ G3e	33	20	18	3	3	3	−	
1711	Ⅱ G4g	34	30	49	3	3	4	−	SB09
1712	Ⅱ G5g	34	23	31	4	3	3	−	
1713	Ⅱ G6d	29	24	10	3	3	2	−	
1714	Ⅱ G6d	35	28	36	3	3	3	−	
1715	Ⅱ G6d	40	26	14	3	3	3	−	
1716	Ⅱ G6d	23	20	17	3	3	3	−	
1717	Ⅱ G6d	26	20	16	3	3	3	−	
1718	Ⅱ G5c	34	29	24	4	3	3	−	SB07
1719	Ⅱ G5c	26	23	11	3	3	3	−	
1720	Ⅱ G5c	17	14	5	4	3	3	−	
1721	Ⅱ G5c	34	29	10	4	3	2	−	
1722	Ⅱ G5c	31	28	15	4	3	2	−	SB07
1723	Ⅱ G5d	26	22	11	4	3	2	−	
1724	Ⅱ G5d	30	26	7	4	3	2	−	SB07
1725	Ⅱ G5d	16	13	7	4	3	2	−	
1726	Ⅱ G5d	21	19	21	4	3	2	−	
1727	Ⅱ G5e	23	18	11	4	3	2	−	
1728	Ⅱ G5d	36	24	10	3	4	4	○	
1729	Ⅱ G5d	17	13	6	3	4	4	−	
1730	Ⅱ G5d	21	17	7	4	3	3	−	
1731	Ⅱ G5d	22	16	11	4	3	3	−	
1732	Ⅱ G5d	39	35	32	4	3	3	−	
1733	Ⅱ G5d	22	19	13	3	3	3	−	
1734	Ⅱ G5d	47	38	16	3	3	3	−	SB07
1735	Ⅱ G5d	27	24	30	3	3	3	−	
1736	Ⅱ G5e	24	23	10	3	4	3	−	
1737	Ⅱ G5e	35	20	15	3	4	3	−	
1738	Ⅱ G5e	39	31	9	3	4	3	−	SB07
1739	Ⅱ G5e	25	22	6	3	4	3	−	
1740	Ⅱ G5e	23	20	11	3	4	3	−	
1741	Ⅱ G5e	31	18	13	3	4	2	−	
1742	Ⅱ G5e	24	21	8	3	4	2	−	
1743	Ⅱ G4e	22	18	15	4	2	2	−	
1744	Ⅱ G4f	17	14	14	4	2	2	−	
1745	Ⅱ G4d	30	26	23	4	3	3	−	
1746	Ⅱ G4c	48	38	13	4	3	3	−	SB07
1747	Ⅱ G5e	33	27	40	4	3	3	−	
1748	Ⅱ G4c	32	30	26	3	3	4	−	
1749	Ⅱ G4c	36	29	42	3	3	3	−	
1750	Ⅱ G4c	22	17	7	3	3	1	−	
1751	Ⅱ G5d	18	10	11	4	3	4	−	
1752	Ⅱ G5d	29	22	7	4	3	4	−	
1753	Ⅱ G4c	35	30	17	4	3	3	−	
1754	Ⅱ G4c	27	23	15	4	2	4	−	
1755	Ⅱ G4b	23	20	18	3	2	2	−	
1756	Ⅱ G4d	15	12	5	3	2	2	−	
1757	Ⅱ G4c	21	20	7	3	2	2	−	
1758	Ⅱ G4c	28	19	24	3	2	3	−	
1759	Ⅱ G4c	27	24	22	3	2	3	−	
1760	Ⅱ G3c	21	17	5	3	4	4	−	
1761	Ⅱ G5b	48	37	14	3	3	2	−	
1762	Ⅱ G5b	38	32	21	3	3	2	−	
1763	Ⅱ G5b	35	29	7	2	3	3	−	
1764	Ⅱ G5b	21	19	11	3	3	2	−	
1765	Ⅱ G4b	37	31	22	3	4	2	−	
1766	Ⅱ G4b	32	30	14	1	4	4	−	
1767	Ⅱ G4c	17	14	7	3	2	3	−	
1768	Ⅱ G5b	24	24	22	4	2	2	−	
1769	Ⅱ G4b	30	25	17	3	4	3	−	
1770	Ⅱ G5a	21	18	29	4	3	3	−	
1771	Ⅱ G4a	49	42	27	3	3	3	−	
1772	Ⅱ G4a	29	22	35	3	4	4	−	
1773	Ⅱ G5e	26	20	12	3	2	2	−	
1774	Ⅱ G5e	21	18	16	記録なし				
1775	Ⅱ G3d	23	22	8	3	3	3	−	
1776	Ⅱ G3d	18	15	7	3	3	3	−	
1777	Ⅱ G4a	21	13	25	3	3	3	−	
1778	Ⅱ G4a	25	20	33	3	2	3	−	
1779	Ⅱ G4a	30	22	15	3	3	3	−	
1780	欠番								
1781	Ⅱ G5d	23	18	11	4	3	3	−	
1782	Ⅱ G5d	17	13	8	3	3	4	−	
1783	Ⅱ G5d	27	21	10	2	3	4	−	
1784	Ⅱ G5d	20	20	13	4	3	3	−	
1785	Ⅱ G4d	17	13	9	4	3	3	−	
1786	Ⅱ G4d	19	16	9	3	3	3	−	
1787	Ⅱ G4d	20	20	9	3	2	3	−	
1788	Ⅱ G4d	18	13	4	3	3	3	−	
1789	Ⅱ G4d	17	12	6	3	3	3	−	
1790	Ⅱ G4d	23	17	11	3	3	3	−	
1791	Ⅱ G4d	20	16	9	3	3	3	−	
1792	Ⅱ G4d	22	21	19	3	3	3	−	
1793	Ⅱ G4d	39	35	18	3	4	2	−	SB07
1794	Ⅱ G4d	26	19	16	3	3	3	−	
1795	Ⅱ G4d	26	15	11	3	3	3	−	
1796	Ⅱ G4d	19	14	5	3	3	3	−	
1797	Ⅱ G3d	34	29	19	1	3	3	−	
1798	Ⅱ G3d	18	16	6	3	3	3	−	
1799	Ⅱ G3d	37	33	23	3	3	3	−	SB07
1800	Ⅱ G4c	25	16	15	4	2	3	−	
1801	Ⅱ G4b	25	18	20	2	4	5	−	
1802	Ⅱ G5a	25	23	40	3	3	3	○	
1803	Ⅱ G2b	29	24	26	3	2	4	−	
1804	Ⅱ G2b	25	15	7	3	2	3	−	
1805	Ⅱ G2b	25	20	17	3	2	3	−	
1806	Ⅱ G2c	22	15	5	3	3	3	−	
1807	Ⅱ G2c	29	24	17	3	3	3	−	
1808	Ⅱ G1b	26	20	13	3	3	3	−	
1809	Ⅱ G1a	25	22	10	3	3	3	−	
1810	Ⅱ G4e	23	17	8	3	3	3	−	SB07
1811	Ⅱ G5d	26	21	7	3	3	4	−	
1812	Ⅱ G4e	21	19	15	4	3	3	−	
1813	Ⅱ G4e	77	49	11	4	3	3	−	
1814	欠番								
1815	Ⅱ G4e	14	13	5	4	3	3	−	
1816	Ⅱ G3e	14	11	3	4	3	3	−	
1817	Ⅱ G3e	14	13	4	4	3	3	−	
1818	Ⅱ G3e	19	16	13	4	3	3	−	
1819	Ⅱ G3b	46	39	17	3	2	4	−	
1820	Ⅱ G3b	32	26	18	3	2	4	−	
1821	Ⅱ G3e	17	14	8	3	2	3	−	
1822	Ⅱ G4g	30	27	9	3	3	3	−	
1823	Ⅱ G3g	30	22	9	3	3	3	−	
1824	Ⅱ G3g	30	26	21	4	2	3	−	
1825	Ⅱ G4b	14	12	3	4	3	3	−	
1826	Ⅱ G3b	18	14	19	3	2	3	−	
1827	Ⅱ G3f	33	32	4	3	2	3	−	
1828	Ⅱ G3e	54	47	57	3	3	3	−	
1829	Ⅱ G3e	41	29	9	3	3	3	−	
1830	Ⅱ G2e	45	24	19	3	3	3	−	
1831	Ⅱ G4e	26	25	19	4	3	4	−	SB07
1832	Ⅱ G4e	23	19	11	3	3	3	−	
1833	Ⅱ G4f	20	19	6	3	3	3	−	
1834	Ⅱ G4e	19	15	7	3	3	3	−	
1835	Ⅱ G4e	14	11	5	3	3	3	−	
1836	Ⅱ G4e	27	24	6	記録なし				
1837	Ⅱ G4e	19	17	7	記録なし				
1838	Ⅱ G7g	27	19	27	3	3	3	−	
1839	Ⅱ G7g	21	19	10	3	3	3	−	
1840	Ⅱ G7g	30	20	30	3	3	3	−	
1841	Ⅱ G7g	31	21	27	3	3	3	−	
1842	Ⅱ G7g	28	25	23	3	3	3	−	
1843	Ⅱ G7g	27	22	10	3	3	3	−	
1844	Ⅱ G7g	26	25	15	3	3	3	−	
1845	Ⅱ G7g	38	25	23	3	3	3	−	
1846	Ⅱ G7g	17	12	9	3	3	3	−	
1847	Ⅱ G7g	28	26	17	3	3	3	−	
1848	Ⅱ G7g	23	16	13	3	3	3	−	
1849	Ⅱ G7g	18	15	15	3	3	3	−	
1850	Ⅱ G7g	26	24	29	3	3	3	−	
1851	Ⅱ G7g	35	18	16	3	3	3	−	

第17表　柱穴状土坑一覧（11）

遺構名	グリッド	規模（cm）			土質			柱痕	備考
		長径	短径	深さ	色調	しまり	粘性		
1852	Ⅱ G7g	26	22	17	3	3	3	−	
1853	Ⅱ G7g	17	13	15	3	3	3	−	
1854	Ⅱ G7h	31	21	41	3	3	3	−	
1855	Ⅱ G7h	29	23	17	3	3	3	−	
1856	Ⅱ G7h	31	21	21	3	3	3	−	
1857	Ⅱ G7h	30	24	23	3	3	3	−	
1858	Ⅱ G7h	22	18	15	3	3	3	−	
1859	Ⅱ G7h	26	23	17	3	3	3	−	
1860	Ⅱ G7h	64	47	18	3	3	3	−	
1861	Ⅱ G8h	24	20	21	3	3	3	−	
1862	Ⅱ G7h	30	27	14	3	3	3	−	
1863	Ⅱ G7h	34	33	18	3	3	3	−	
1864	Ⅱ G7h	19	17	29	3	3	3	−	
1865	Ⅱ G7h	23	18	19	3	3	3	−	
1866	Ⅱ G7h	40	24	41	3	3	3	−	
1867	Ⅱ G7h	26	25	34	3	3	3	−	
1868	Ⅱ G7h	20	17	20	3	3	3	−	
1869	Ⅱ G7h	22	18	24	3	3	3	−	
1870	Ⅱ G7h	32	26	48	3	3	3	−	
1871	Ⅱ G7h	27	24	22	3	3	3	−	
1872	Ⅱ G7h	46	42	16	3	3	3	−	
1873	Ⅱ G7i	27	24	29	3	3	3	−	
1874	Ⅱ G6h	24	22	14	3	3	3	−	
1875	Ⅱ G5h	23	21	18	3	3	3	−	
1876	Ⅱ G6h	18	16	10	3	3	3	−	
1877	Ⅱ G5h	30	26	17	3	3	3	−	
1878	Ⅱ G5i	20	17	12	3	3	3	−	
1879	Ⅱ G6i	25	21	24	3	3	3	−	
1880	Ⅱ G5i	25	23	19	3	−	−	−	
1881	Ⅱ G5i	23	15	10	3	3	3	−	
1882	Ⅱ G5g	38	31	19	3	3	3	−	
1883	Ⅱ G6h	23	22	16	3	3	3	−	
1884	Ⅱ G5h	28	26	13	3	3	3	−	
1885	Ⅱ G4h	44	31	25	3	3	3	−	
1886	Ⅱ G6i	36	31	31	3	3	3	−	
1887	Ⅱ G6i	24	18	6	4	3	3	−	
1888	Ⅱ G6i	57	35	32	3	3	3	−	
1889	Ⅱ G6i	47	28	14	3	3	3	−	
1890	Ⅱ G5i	19	14	9	3	3	3	−	
1891	Ⅱ G5i	23	17	16	3	3	3	−	
1892	Ⅱ G6j	31	21	12	3	3	3	−	
1893	Ⅱ G6j	35	24	16	3	3	3	−	
1894	Ⅱ G6j	27	21	12	3	3	3	−	
1895	Ⅱ G6j	24	22	14	3	3	3	−	
1896	Ⅱ G6j	27	22	31	3	3	3	−	
1897	Ⅱ G6j	24	18	7	3	3	3	−	
1898	Ⅱ G8j	75	39	31	3	3	3	−	
1899	Ⅱ G8k	56	46	7	3	3	3	−	
1900	Ⅱ G8j	30	26	40	3	3	3	−	
1901	Ⅱ G7j	30	26	23	3	3	3	−	
1902	Ⅱ G7j	18	16	18	3	3	3	−	
1903	Ⅱ G7j	24	20	20	3	3	3	−	
1904	Ⅱ G7k	29	18	14	3	3	3	−	
1905	Ⅱ G7k	27	25	15	3	3	3	−	
1906	Ⅱ G7k	21	18	13	3	3	3	−	
1907	Ⅱ G7k	21	17	16	3	3	3	−	
1908	Ⅱ G6j	25	24	10	3	3	3	−	
1909	Ⅱ G6j	22	20	11	3	3	3	−	
1910	Ⅱ G6k	25	21	11	3	3	3	−	
1911	Ⅱ G6k	28	25	15	3	3	3	−	
1912	Ⅱ G6k	30	24	20	3	3	3	−	
1913	Ⅱ G6l	29	26	15	3	3	3	−	
1914	Ⅱ G7l	21	18	12	3	3	3	−	
1915	Ⅱ G8m	39	33	20	3	3	3	−	
1916	Ⅱ G8m	44	39	35	3	3	3	−	
1917	Ⅱ G8m	37	32	40	3	3	3	−	
1918	Ⅱ G8m	42	19	34	3	3	3	−	
1919	Ⅱ G8m	34	28	18	3	3	3	−	
1920	Ⅱ G8m	28	22	26	3	3	3	−	
1921	Ⅱ G8m	39	33	13	3	3	3	−	
1922	Ⅱ G8m	20	15	26	3	3	3	−	
1923	Ⅱ G7m	37	32	33	3	3	3	−	
1924	Ⅱ G7m	23	19	27	3	3	3	−	
1925	Ⅱ G7m	41	37	23	3	3	3	−	
1926	Ⅱ G7m	30	25	20	3	3	3	−	
1927	Ⅱ G7m	33	29	17	3	3	3	−	
1928	Ⅱ G7m	38	35	15	3	3	3	−	
1929	Ⅱ G7m	18	15	8	3	3	3	−	
1930	Ⅱ G7m	34	24	13	3	3	3	−	
1931	Ⅱ G7n	25	21	25	3	3	3	−	
1932	Ⅱ G7n	24	22	13	3	3	3	−	
1933	Ⅱ G7n	24	18	12	3	3	3	−	
1934	Ⅱ G6m	42	34	14	3	3	3	−	
1935	Ⅱ G6m	32	26	18	3	3	3	−	
1936	Ⅱ G10r	25	20	13	3	3	3	−	
1937	Ⅱ G10r	25	20	10	3	3	3	−	
1938	Ⅱ G10s	40	25	25	3	3	3	−	
1939	Ⅱ G6b	56	45	61	3	3	3	−	
1940	Ⅱ G3b	24	20	47	3	3	3	−	
1941	Ⅰ F20o	27	24	13	3	1	1	−	
1942	Ⅰ F20q	18	16	14	3	1	1	−	
1943	Ⅰ F20q	26	23	22	3	−	−	−	
1944	Ⅰ F20q	27	24	17	3	−	−	−	
1945	Ⅰ F20q	35	28	14	2	3	1	−	
1946	Ⅰ F20q	26	24	23	3	1	1	−	
1947	Ⅰ F20q	32	28	20	2	3	1	−	
1948	Ⅰ F20q	37	19	12	3	1	1	−	
1949	Ⅰ F20r	20	18	16	3	1	1	−	
1950	Ⅰ F20r	29	27	26	3	1	1	−	
1951	Ⅰ F20r	15	13	24	3	1	1	−	
1952	Ⅰ F20r	21	15	10	3	1	1	−	
1953	Ⅰ F20r	26	21	9	3	1	1	−	
1954	Ⅰ F20r	18	16	10	3	1	1	−	
1955	Ⅱ G3b	18	15	10	3	1	3	−	
1956	Ⅱ G3b	22	19	21	3	1	3	−	
1957	Ⅱ G1b	27	24	33	3	1	3	−	
1958	Ⅱ G1b	38	34	27	3	1	3	−	
1959	Ⅱ G1b	22	20	19	1	1	3	−	
1960	Ⅱ G1b	30	24	54	3	1	3	−	
1961	Ⅰ F20q	67	58	47	3	1	1	−	
1962	Ⅰ F19q	29	23	19	3	1	1	−	
1963	Ⅰ F19q	35	27	36	記録なし				
1964	欠番								
1965	Ⅰ F20s	41	26	25	3	1	1	−	
1966	Ⅰ F19q	63	54	31	3	1	1	−	
1967	Ⅰ F18q	47	32	17	3	1	1	−	
1968	Ⅰ F18q	22	20	28	3	1	1	−	
1969	Ⅱ G3a	39	33	18	3	1	1	−	
1970	Ⅱ G3a	22	21	9	3	1	1	−	
1971	Ⅱ G2a	36	35	53	3	1	1	−	
1972	Ⅰ G20a	19	18	21	3	1	1	−	
1973	Ⅰ G20a	23	15	16	3	1	1	−	
1974	Ⅰ G20a	38	27	31	3	1	1	−	
1975	Ⅰ G20a	34	29	52	3	1	1	−	
1976	Ⅰ G20a	40	24	48	3	1	1	−	
1977	Ⅰ G20a	33	28	40	3	1	1	−	
1978	Ⅱ G3c	21	16	21	3	1	1	−	
1979	Ⅱ G3c	26	24	13	3	1	1	−	
1980	Ⅱ G3c	18	16	24	3	1	1	−	
1981	Ⅱ G3c	22	19	28	3	1	1	−	
1982	Ⅱ G2c	20	19	14	3	1	1	−	
1983	Ⅱ G2c	22	18	12	3	1	1	−	
1984	欠番								
1985	Ⅱ G2c	19	15	16	3	1	1	−	
1986	Ⅱ F19t	24	17	13	3	1	1	−	
1987	Ⅱ F19t	32	31	25	3	1	1	−	
1988	Ⅱ F19t	41	22	35	3	1	1	−	
1989	Ⅰ G20a	23	18	22	3	1	1	−	
1990	Ⅰ G20a	25	20	16	3	1	1	−	
1991	Ⅰ G19a	43	30	14	4	1	1	−	
1992	Ⅰ G19a	21	12	9	3	1	1	−	
1993	Ⅰ G20a	29	21	26	3	1	1	−	
1994	Ⅰ G20a	17	16	16	3	1	1	−	
1995	Ⅰ G20b	23	18	18	3	1	1	−	
1996	Ⅰ F20s	42	20	38	3	1	1	−	
1997	Ⅰ G20a	72	35	43	3	1	1	−	
1998	Ⅰ G20a	37	19	37	3	1	1	−	
1999	Ⅰ G20a	48	24	13	3	1	1	−	
2000	Ⅰ G19a	49	37	28	3	1	1	−	
2001	Ⅰ G19a	34	31	23	3	3	3	−	
2002	Ⅱ G8i	28	24	22	3	3	3	−	
2003	Ⅱ G7i	21	16	13	3	3	3	−	
2004	Ⅱ G7i	37	27	42	3	3	3	−	
2005	Ⅱ G7i	29	27	12	3	3	3	−	
2006	Ⅱ G7i	49	34	43	3	3	3	−	
2007	Ⅱ G7i	26	20	38	3	3	3	−	
2008	Ⅱ G7i	26	26	13	3	3	3	−	
2009	Ⅱ G7i	47	30	26	3	3	3	−	
2010	Ⅱ G6i	24	24	36	3	3	3	−	
2011	Ⅱ G6i	52	38	38	3	3	3	−	
2012	Ⅱ G6j	33	32	36	3	3	3	−	
2013	Ⅱ G5j	28	23	17	3	3	3	−	
2014	Ⅱ G5j	56	32	28	3	3	3	−	
2015	欠番								
2016	Ⅱ G5h	41	20	9	4	3	3	−	
2017	Ⅱ G5h	24	21	12	3	3	3	−	
2018	Ⅱ G6g	35	27	18	3	3	3	−	

第18表　出土地点別土器類重量集計（1）

古代合計：土師器＋須恵器　縄文：縄文土器と弥生土器の合計　単位：g

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
縄文住居	SI01	1	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	106.0	106.0
	SI02（付近含む）	2	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1311.3	1311.3
	SI03	3	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1754.2	1754.2
	SI04	3	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	400.6	400.6
	SI05	4	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4251.3	4251.3
	SI38	122	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1147.7	1147.7
古代住居	SI06	123	−	−	−	15475.0	−	−	−	−	−	−	1970.3	17445.3
	SI07	124	−	−	−	137836.7	−	−	−	−	−	−	1455.6	139292.3
	SI08	125	−	−	−	25845.4	−	−	−	−	−	−	749.7	26595.1
	SI09	126	−	−	−	19750.9	−	−	−	−	−	−	253.6	20004.5
	SI10	127	−	−	−	25910.1	−	−	−	−	−	−	1194.7	27104.8
	SI11	128	−	−	−	4467.4	−	−	−	−	−	−	130.9	4598.3
	SI12	129	−	−	−	2696.4	−	−	−	−	−	−	227.8	2924.2
	SI13	130	−	−	−	16006.6	−	−	−	−	−	−	1185.8	17192.4
	SI14	131	−	−	−	4155.7	−	−	−	−	−	−	157.5	4313.2
	SI15	132	−	−	−	4673.4	−	−	−	−	−	−	135.6	4809.0
	SI16	133	−	−	−	10430.9	−	−	−	−	−	−	1066.0	11496.9
	SI17	134	−	−	−	5516.8	−	−	−	−	−	−	479.0	5995.8
	SI18	135	−	−	−	241.7	−	−	−	−	−	−	13.8	255.5
	SI19	136	−	−	−	10224.3	−	−	−	−	−	−	210.2	10434.5
	SI20	137	−	−	−	39.8	−	−	−	−	−	−	0.0	39.8
	SI21	138	−	−	−	15031.9	−	−	−	−	−	−	376.9	15408.8
	SI22	139	−	−	−	8166.8	−	−	−	−	−	−	116.3	8283.1
	SI23	140	−	−	−	6404.7	−	−	−	−	−	−	315.8	6720.5
	SI24	141	−	−	−	11897.6	−	−	−	−	−	−	360.8	12258.4
	SI25	142	−	−	−	2194.6	−	−	−	−	−	−	489.2	2683.8
	SI26	143	−	−	−	6285.9	−	−	−	−	−	−	137.8	6423.7
	SI27	144	−	−	−	10346.7	−	−	−	−	−	−	602.7	10949.4
	SI28	145	−	−	−	1450.7	−	−	−	−	−	−	1668.2	3118.9
	SI29	146	−	−	−	3153.2	−	−	−	−	−	−	69.0	3222.2
	SI30	147	−	−	−	6061.9	−	−	−	−	−	−	259.0	6320.9
	SI31	148	−	−	−	38763.0	−	−	−	−	−	−	1507.7	40270.7
	SI32	149	−	−	−	7496.7	−	−	−	−	−	−	287.0	7783.7
	SI33	150	−	−	−	13822.1	−	−	−	−	−	−	551.9	14374.0
	SI34	151	−	−	−	21116.2	−	−	−	−	−	−	749.3	21865.5
	SI35	152	−	−	−	1735.8	−	−	−	−	−	−	505.4	2241.2
	SI36	153	−	−	−	2307.2	−	−	−	−	−	−	107.1	2414.3
	SI37	154	−	−	−	8889.3	−	−	−	−	−	−	483.3	9372.6
	SI39	155	23371.5	7560.8	8620.8	39553.1	−	−	−	−	−	−	8771.7	48324.8
	SI40	156	7485.9	4177.6	7480.2	19143.7	−	−	−	−	−	−	11441.5	30585.2
	SI41	157	−	−	−	2309.8	−	−	−	−	−	−	353.7	2663.5
	SI42	158	−	−	−	4451.6	−	−	−	−	−	−	99.1	4550.7
	SI43	1003	3361.1	629.1	−	3990.2	−	−	−	−	−	−	14478.4	18468.6
	SI44	1004	6419.8	2940.1	−	9359.9	−	−	−	−	−	−	1283.0	10642.9
	SI45	1005	1549.7	2008.5	−	3558.2	−	−	−	−	−	−	2510.0	6068.2
	SI47	1006	1585.6	355.0	−	1940.6	−	−	−	−	−	−	303.9	2244.5
	SI49	1007	2754.7	416.5	−	3171.2	−	−	−	−	−	−	605.9	3777.1
	SI50	1008	2124.1	374.1	−	2498.2	−	−	−	−	−	−	469.0	2967.2
	SI51	1009	5135.5	6334.8	−	11470.3	−	−	−	−	−	−	601.5	12071.8
	SI52	1010	4617.4	898.0	−	5515.4	−	−	−	−	−	−	1246.5	6761.9
	SI53	1011	6185.6	2412.3	−	8597.9	−	−	−	−	−	−	5602.9	14200.8
	SI54	1012	359.0	76.6	−	435.6	−	−	−	−	−	−	976.5	1412.1
	SI55	1013	1074.6	297.6	−	1372.2	−	−	−	−	−	−	329.1	1701.3
	SI56	1014	3788.2	2672.8	−	6461.0	−	−	−	−	−	−	18487.5	24948.5
	SI57	1015	3668.9	506.1	−	4175.0	−	−	−	−	−	−	2168.5	6343.5
	SI57・59	1016	3.2	−	−	3.2	−	−	−	−	−	−	0.0	3.2
	SI58	1017	10467.2	499.7	−	10966.9	−	−	−	−	−	−	1502.2	12469.1
	SI59	1018	23352.9	2600.7	−	25953.6	−	−	−	−	−	−	3753.8	29707.4
	SI60	1019	249.5	1456.5	−	1706.0	−	−	−	−	−	−	2191.7	3897.7
	SI61	1020	376.1	−	−	376.1	−	−	−	−	−	−	11980.5	12356.6
	SI62	1021	9294.9	4560.0	−	13854.9	−	−	−	−	−	−	25868.8	39723.7
	SI63	1022	396.6	−	−	396.6	−	−	−	−	−	−	576.5	973.1
	SI64	1023	23141.6	13955.7	−	37097.3	−	−	−	−	−	−	402.4	37499.7
	SI65	1024	985.7	166.8	−	1152.5	−	−	−	−	−	−	136.0	1288.5
	SI66	1025	1949.5	906.3	−	2855.8	−	−	−	−	−	−	1044.9	3900.7
	SI67	1026	4916.8	892.6	−	5809.4	−	−	−	−	−	−	2572.5	8381.9
	SI68	1027	3759.1	1146.4	−	4905.5	−	−	−	−	−	−	518.3	5423.8
	SI69	1028	2053.9	250.2	−	2304.1	−	−	−	−	−	−	174.7	2478.8
	SI70	1029	5396.4	278.3	−	5674.7	−	−	−	−	−	−	116.2	5790.9
	SI71	1030	10549.0	2324.7	−	12873.7	−	−	−	−	−	−	386.1	13259.8
	SI72	1031	3549.5	991.8	−	4541.3	−	−	−	−	−	−	178.6	4719.9
	SI73	1032	3724.9	221.5	−	3946.4	−	−	−	−	−	−	505.1	4451.5
	SI74	1033	2530.0	262.0	−	2792.0	−	−	−	−	−	−	989.2	3781.2
	SI75	1034	3982.2	8566.6	−	12548.8	−	−	−	−	−	−	705.5	13254.3
	SI76	1035	5017.3	1662.7	−	6680.0	−	−	−	−	−	−	1686.5	8366.5
	SI77	1036	10010.5	130.5	−	10141.0	−	−	−	−	−	−	3147.9	13288.9
	SI78	1037	8466.7	1984.1	−	10450.8	−	−	−	−	−	−	10.9	10461.7
	SI79	1038	3050.6	545.2	−	3595.8	−	−	−	−	−	−	358.6	3954.4
	SI80	1039	3606.6	1414.7	−	5021.3	−	−	−	−	−	−	61.7	5083.0
	SI81	1040	21229.9	6226.9	−	27456.8	−	−	−	−	−	−	396.1	27852.9
	SI82	1041	2568.3	149.3	−	2717.6	−	−	−	−	−	−	23.2	2740.8
	SI83	1042	3491.8	9.0	−	3500.8	−	−	−	−	−	−	295.0	3795.8
	SI84	1043	5021.6	4627.6	−	9649.2	−	−	−	−	−	−	342.2	9991.4
	SI85	1044	117.8	470.2	−	588.0	−	−	−	−	−	−	39.4	627.4
	SI86	1045	1095.2	300.6	−	1395.8	−	−	−	−	−	−	351.7	1747.5
	SI87	1046	8403.4	1722.3	−	10125.7	−	−	−	−	−	−	20.1	10145.8
	SI88	1047	2603.3	398.9	−	3002.2	−	−	−	−	−	−	109.7	3111.9
	SI89	1048	4439.8	277.9	−	4717.7	−	−	−	−	−	−	0.0	4717.7
	SI90	1049	1705.4	8.5	−	1713.9	−	−	−	−	−	−	59.1	1773.0
	SI91	1050	11858.9	261.4	−	12120.3	−	−	−	−	−	−	37.9	12158.2
	SI93	1051	655.3	656.5	−	1311.8	−	−	−	−	−	−	31.6	1343.4
	SI94	1052	6165.6	−	−	6165.6	−	−	−	−	−	−	0.0	6165.6
	SI95	1053	3190.0	12.0	−	3202.0	−	−	−	−	−	−	0.0	3202.0
	SI96	1054	148.2	−	−	148.2	−	−	−	−	−	−	63.0	211.2
	SI97	1055	828.4	126.2	−	954.6	−	−	−	−	−	−	0.0	954.6
	SI98	1056	436.8	28.3	−	465.1	−	−	−	−	−	−	0.0	465.1
住居状遺構	SKI01	159	−	−	−	942.3	−	−	−	−	−	−	770.5	1712.8

第18表　出土地点別土器類重量集計（2）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
住居状遺構	SKI02	160	−	−	−	415.6	−	−	−	−	−	−	177.9	593.5
	SKI04	161	−	−	−	118.4	−	−	−	−	−	−	105.4	223.8
	SKI05	162	−	−	−	800.3	−	−	−	−	−	−	221.6	1021.9
	SKI06	163	−	−	−	36.6	−	−	−	−	−	−	752.5	789.1
	SKI09	164	−	−	−	549.4	−	−	−	−	−	−	57.8	607.2
	SKI10	165	−	−	−	4231.4	−	−	−	−	−	−	0.0	4231.4
	SKI11	166	−	−	−	62.6	−	−	−	−	−	−	0.0	62.6
掘立柱建物跡	SB01	167	−	−	−	56.8	−	−	−	−	−	−	82.1	138.9
	SB02	168	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.2	22.2
	SB04	169	−	−	−	16.8	−	−	−	−	−	−	0.0	16.8
	SB05	170	−	−	−	15.9	−	−	−	−	−	−	0.0	15.9
焼土遺構	SN04	171	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	27.9	27.9
	SN09	172	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	249.7	249.7
	SN15	173	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	821.8	821.8
	SN17	174	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	21.5	21.5
	SN19	175	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	8303.8	8303.8
	SN25	176	−	−	−	114.0	−	−	−	−	−	−	328.8	442.8
	SN26	177	−	−	−	88.9	−	−	−	−	−	−	310.3	399.2
	SN29	178	−	−	−	26.2	−	−	−	−	−	−	0.0	26.2
	SN34	1057	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	23.1	23.1
	SN36	1058	10.5	−	−	10.5	−	−	−	−	−	−	416.0	426.5
	SN37	1059	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	39.2	39.2
	SN38	1060	34.7	−	−	34.7	−	−	−	−	−	−	4252.9	4287.6
	SN42	1061	15.0	−	−	15.0	−	−	−	−	−	−	0.0	15.0
	SN43	1062	14.1	−	−	14.1	−	−	−	−	−	−	0.0	14.1
土坑	SK005	5	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	44.5	44.5
	SK006	6	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4.5	4.5
	SK008	7	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	76.4	76.4
	SK013	8	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.4	1.4
	SK014	9	−	−	−	8.1	−	−	−	−	−	−	2.8	10.9
	SK018	10	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.4	6.4
	SK022	11	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.9	6.9
	SK033	12	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.4	13.4
	SK034	13	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.6	24.6
	SK037	179	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	217.2	217.2
	SK038	180	−	−	−	89.0	−	−	−	−	−	−	378.9	467.9
	SK039	181	−	−	−	20.0	−	−	−	−	−	−	0.0	20.0
	SK041	182	−	−	−	84.6	−	−	−	−	−	−	0.0	84.6
	SK042	183	−	−	−	379.8	−	−	−	−	−	−	13.9	393.7
	SK044	184	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	152.9	152.9
	SK045	185	−	−	−	17.2	−	−	−	−	−	−	312.7	329.9
	SK046	186	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	142.4	142.4
	SK047	187	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	8.6	8.6
	SK048	188	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.3	15.3
	SK049	189	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.8	17.8
	SK052	190	−	−	−	30.6	−	−	−	−	−	−	758.9	789.5
	SK053	191	−	−	−	358.0	−	−	−	−	−	−	41.1	399.1
	SK053・055	192	−	−	−	272.6	−	−	−	−	−	−	21.9	294.5
	SK054	193	−	−	−	534.6	−	−	−	−	−	−	4.8	539.4
	SK055	194	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	218.3	218.3
	SK056	195	−	−	−	15.2	−	−	−	−	−	−	0.0	15.2
	SK057	196	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.8	15.8
	SK060	197	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.1	3.1
	SK061	198	−	−	−	62.6	−	−	−	−	−	−	106.0	168.6
	SK062	199	−	−	−	29.7	−	−	−	−	−	−	826.9	856.6
	SK065	200	−	−	−	413.5	−	−	−	−	−	−	66.7	480.2
	SK066	201	−	−	−	9.3	−	−	−	−	−	−	26.2	35.5
	SK067	202	−	−	−	2.4	−	−	−	−	−	−	0.0	2.4
	SK068	203	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.6	22.6
	SK069	204	−	−	−	14.3	−	−	−	−	−	−	0.0	14.3
	SK070	205	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	492.4	492.4
	SK071	206	−	−	−	115.5	−	−	−	−	−	−	0.0	115.5
	SK072	207	−	−	−	176.9	−	−	−	−	−	−	71.2	248.1
	SK073	208	−	−	−	78.6	−	−	−	−	−	−	4.3	82.9
	SK090	209	−	−	−	24.7	−	−	−	−	−	−	3.4	28.1
	SK091	210	−	−	−	3.6	−	−	−	−	−	−	5.9	9.5
	SK092	1063	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1885.3	1885.3
	SK094	1064	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	60.1	60.1
	SK095	1065	71.5	−	−	71.5	−	−	−	−	−	−	0.6	72.1
	SK096	1066	818.2	1321.4	−	2139.6	−	−	−	−	−	−	2066.7	4206.3
	SK097	1067	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	10.9	10.9
	SK099	1068	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	202.9	202.9
	SK100	1069	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	40.4	40.4
	SK101	1070	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	592.9	592.9
	SK102	1071	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1099.5	1099.5
	SK106	1072	9.8	−	−	9.8	−	−	−	−	−	−	36.5	46.3
	SK107	1073	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.7	15.7
	SK109	1074	3134.2	9288.7	−	12422.9	−	−	−	−	−	−	770.7	13193.6
	SK110	1075	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.2	24.2
	SK111	1076	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	128.7	128.7
	SK112	1077	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.8	3.8
	SK116	1078	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	25.4	25.4
	SK119	1079	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.5	24.5
	SK122	1080	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.2	17.2
	SK126	1081	17.8	−	−	17.8	−	−	−	−	−	−	0.0	17.8
	SK127	1082	1596.3	26.7	−	1623.0	−	−	−	−	−	−	20.2	1643.2
	SK128	1083	682.9	−	−	682.9	−	−	−	−	−	−	0.0	682.9
	SK131	1084	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.3	17.3
	SK133	1085	13.7	289.8	−	303.5	−	−	−	−	−	−	0.0	303.5
	SK134	1086	14.3	102.9	−	117.2	−	−	−	−	−	−	0.0	117.2
	SK136	1087	2.5	−	−	2.5	−	−	−	−	−	−	199.4	201.9
	SK137	1088	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	9.7	9.7
	SK141	1089	−	47.1	−	47.1	−	−	−	−	−	−	0.0	47.1
	SK142	1090	94.8	−	−	94.8	−	−	−	−	−	−	4.0	98.8
	SK143	1091	23.4	−	−	23.4	−	−	−	−	−	−	0.0	23.4
	SK146	1092	70.3	−	−	70.3	−	−	−	−	−	−	0.0	70.3
	SK147	1093	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	35.6	35.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（3）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
土坑	SK148	1094	1751.6	3109.9	−	4861.5	−	−	−	−	−	−	2016.9	6878.4
	SK149	1095	95.3	91.5	−	186.8	−	−	−	−	−	−	66.4	253.2
焼成遺構	SX001	14	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	79.8	79.8
	SX007	15	−	−	−	118.2	−	−	−	−	−	−	0.0	118.2
	SX009	211	−	−	−	193.6	−	−	−	−	−	−	83.1	276.7
	SX010	212	−	−	−	5165.8	−	−	−	−	−	−	0.0	5165.8
	SX011	213	−	−	−	5578.0	−	−	−	−	−	−	0.0	5578.0
	SX012	214	−	−	−	330.4	−	−	−	−	−	−	32.1	362.5
	SX013	215	−	−	−	488.3	−	−	−	−	−	−	11.2	499.5
	SX014	216	−	−	−	147.5	−	−	−	−	−	−	19.2	166.7
	SX015	217	−	−	−	771.2	−	−	−	−	−	−	94.5	865.7
	SX016	218	−	−	−	581.5	−	−	−	−	−	−	230.7	812.2
	SX018	219	−	−	−	128.9	−	−	−	−	−	−	0.0	128.9
	SX019	220	−	−	−	754.0	−	−	−	−	−	−	10.0	764.0
	SX020	221	−	−	−	311.3	−	−	−	−	−	−	0.0	311.3
	SX021	222	−	−	−	398.6	−	−	−	−	−	−	6.7	405.3
	SX022	223	−	−	−	402.8	−	−	−	−	−	−	0.0	402.8
	SX023	224	−	−	−	53.5	−	−	−	−	−	−	48.4	101.9
	SX024	225	−	−	−	1197.5	−	−	−	−	−	−	8.5	1206.0
	SX025	226	−	−	−	1.3	−	−	−	−	−	−	0.0	1.3
	SX026	227	−	−	−	126.3	−	−	−	−	−	−	0.0	126.3
	SX027	228	−	−	−	271.2	−	−	−	−	−	−	5.1	276.3
	SX028	229	−	−	−	1024.3	−	−	−	−	−	−	13.4	1037.7
	SX030	230	−	−	−	156.0	−	−	−	−	−	−	11.5	167.5
	SX031	231	−	−	−	7.8	−	−	−	−	−	−	12.8	20.6
	SX032	232	−	−	−	7.1	−	−	−	−	−	−	0.0	7.1
	SX034	233	−	−	−	1322.5	−	−	−	−	−	−	0.0	1322.5
	SX037	234	−	−	−	10.9	−	−	−	−	−	−	0.0	10.9
	SX038	235	−	−	−	49.5	−	−	−	−	−	−	9.8	59.3
	SX040	236	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	12.4	12.4
	SX041	237	−	−	−	72.0	−	−	−	−	−	−	76.5	148.5
	SX042	238	−	−	−	1844.3	−	−	−	−	−	−	15.2	1859.5
	SX043	239	−	−	−	550.6	−	−	−	−	−	−	0.0	550.6
	SX044	240	−	−	−	7.0	−	−	−	−	−	−	0.0	7.0
	SX045	241	−	−	−	415.7	−	−	−	−	−	−	0.0	415.7
	SX047	242	−	−	−	683.8	−	−	−	−	−	−	245.4	929.2
	SX048	243	−	−	−	857.8	−	−	−	−	−	−	0.0	857.8
	SX050	244	−	−	−	311.3	−	−	−	−	−	−	83.6	394.9
	SX051	245	−	−	−	355.5	−	−	−	−	−	−	0.0	355.5
	SX052	246	−	−	−	62.1	−	−	−	−	−	−	0.0	62.1
	SX053	247	−	−	−	140.6	−	−	−	−	−	−	0.0	140.6
	SX054	248	−	−	−	3035.6	−	−	−	−	−	−	0.0	3035.6
	SX055	249	−	−	−	715.0	−	−	−	−	−	−	44.9	759.9
	SX057	250	−	−	−	60.8	−	−	−	−	−	−	5.3	66.1
	SX058	251	−	−	−	314.2	−	−	−	−	−	−	128.8	443.0
	SX059	252	−	−	−	145.0	−	−	−	−	−	−	300.2	445.2
	SX060	253	−	−	−	274.9	−	−	−	−	−	−	0.0	274.9
	SX061	254	−	−	−	522.6	−	−	−	−	−	−	3.8	526.4
	SX062	255	−	−	−	3244.8	−	−	−	−	−	−	239.3	3484.1
	SX063	256	−	−	−	29.4	−	−	−	−	−	−	0.0	29.4
	SX067	257	−	−	−	42.3	−	−	−	−	−	−	0.0	42.3
	SX068	258	−	−	−	91.1	−	−	−	−	−	−	0.0	91.1
	SX069	259	−	−	−	4.7	−	−	−	−	−	−	0.0	4.7
	SX070	260	−	−	−	175.2	−	−	−	−	−	−	139.9	315.1
	SX071	261	−	−	−	596.7	−	−	−	−	−	−	10.6	607.3
	SX072	262	−	−	−	1755.4	−	−	−	−	−	−	0.0	1755.4
	SX073	263	−	−	−	1222.8	−	−	−	−	−	−	0.0	1222.8
	SX074	264	−	−	−	480.5	−	−	−	−	−	−	45.1	525.6
	SX075	265	−	−	−	5288.9	−	−	−	−	−	−	381.1	5670.0
	SX076	266	−	−	−	8.2	−	−	−	−	−	−	28.4	36.6
	SX077	267	−	−	−	766.9	−	−	−	−	−	−	0.0	766.9
	SX078	268	−	−	−	5.1	−	−	−	−	−	−	16.0	21.1
	SX079	269	−	−	−	281.6	−	−	−	−	−	−	15.9	297.5
	SX080	270	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	607.9	607.9
	SX081	1096	294.3	−	−	294.3	−	−	−	−	−	−	48.8	343.1
	SX082	1097	326.8	117.6	−	444.4	−	−	−	−	−	−	0.0	444.4
	SX083	1098	32.4	−	−	32.4	−	−	−	−	−	−	151.9	184.3
	SX084	1099	164.9	5.1	−	170.0	−	−	−	−	−	−	11.9	181.9
	SX085	1100	13.0	−	−	13.0	−	−	−	−	−	−	264.7	277.7
	SX086	1101	197.8	5.0	−	202.8	−	−	−	−	−	−	37.3	240.1
	SX087	1102	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	652.7	652.7
	SX088	1103	419.7	−	−	419.7	−	−	−	−	−	−	0.0	419.7
	SX089	1104	648.0	82.9	−	730.9	−	−	−	−	−	−	393.1	1124.0
	SX090	1105	21.5	−	−	21.5	−	−	−	−	−	−	0.0	21.5
	SX093	1106	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	38.3	38.3
	SX094	1107	37.3	−	−	37.3	−	−	−	−	−	−	0.0	37.3
	SX095	1108	281.8	86.5	−	368.3	−	−	−	−	−	−	1616.0	1984.3
	SX096	1109	49.0	1.3	−	50.3	−	−	−	−	−	−	148.3	198.6
	SX097	1110	1901.5	165.3	−	2066.8	−	−	−	−	−	−	12.3	2079.1
	SX098	1111	101.1	−	−	101.1	−	−	−	−	−	−	0.0	101.1
	SX099	1112	1304.3	306.6	−	1610.9	−	−	−	−	−	−	855.3	2466.2
	SX101	1113	660.4	160.5	−	820.9	−	−	−	−	−	−	32.1	853.0
	SX102	1114	1087.4	80.2	−	1167.6	−	−	−	−	−	−	0.0	1167.6
	SX103	1115	324.3	226.0	−	550.3	−	−	−	−	−	−	0.0	550.3
	SX105	1116	195.5	247.2	−	442.7	−	−	−	−	−	−	0.0	442.7
	SX106	1117	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	15.6	15.6
	SX107	1118	1246.6	44.6	−	1291.2	−	−	−	−	−	−	1111.5	2402.7
	SX109	1119	346.8	40.2	−	387.0	−	−	−	−	−	−	27.5	414.5
	SX111	1120	1506.5	692.5	−	2199.0	−	−	−	−	−	−	186.1	2385.1
	SX113	1121	3.2	−	−	3.2	−	−	−	−	−	−	0.0	3.2
	SX114	1122	364.0	−	−	364.0	−	−	−	−	−	−	0.0	364.0
	SX115	1123	7.3	−	−	7.3	−	−	−	−	−	−	22.7	30.0
	SX118	1124	271.8	7.7	−	279.5	−	−	−	−	−	−	31.9	311.4
	SX120	1125	115.8	−	−	115.8	−	−	−	−	−	−	0.0	115.8
	SX121	1126	13.6	−	−	13.6	−	−	−	−	−	−	80.4	94.0
	SX122	1127	507.2	108.1	−	615.3	−	−	−	−	−	−	76.9	692.2
	SX123	1128	78.7	14.4	−	93.1	−	−	−	−	−	−	0.0	93.1

第18表　出土地点別土器類重量集計（4）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
焼成遺構	SX124	1129	4573.5	4.7	−	4578.2	−	−	−	−	−	−	0.0	4578.2
	SX127	1130	61.5	−	−	61.5	−	−	−	−	−	−	0.0	61.5
	SX129	1131	2859.3	687.5	−	3546.8	−	−	−	−	−	−	73.4	3620.2
	SX132	1132	2274.0	−	−	2274.0	−	−	−	−	−	−	0.0	2274.0
	SX134	1133	51.2	−	−	51.2	−	−	−	−	−	−	0.0	51.2
	SX137	1134	420.1	−	−	420.1	−	−	−	−	−	−	0.0	420.1
	SX138	1135	2118.9	−	−	2118.9	−	−	−	−	−	−	7.1	2126.0
	SX139	1136	28.5	−	−	28.5	−	−	−	−	−	−	0.0	28.5
	SX141	1137	58.7	−	−	58.7	−	−	−	−	−	−	0.0	58.7
	SX142	1138	21.5	−	−	21.5	−	−	−	−	−	−	0.0	21.5
埋設土器	SX036	271	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1110.1	1110.1
	SX046	272	−	−	−	2111.4	−	−	−	−	−	−	0.0	2111.4
その他	SX008	16	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	371.4	371.4
	SX017	273	−	−	−	571.8	−	−	−	−	−	−	1829.4	2401.2
	SX056	274	−	−	−	1018.3	−	−	−	−	−	−	0.0	1018.3
溝跡	SD01	17	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	0.7	0.7
	SD02	18	−	−	−	4262.0	−	−	−	−	−	−	1784.8	6046.8
	SD03	19	−	−	−	649.4	−	−	−	−	−	−	454.5	1103.9
	SD03・19	275	−	−	−	69.2	−	−	−	−	−	−	0.0	69.2
	SD06	20	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.8	6.8
	SD08	21	−	−	−	30.9	−	−	−	−	−	−	0.9	31.8
	SD09	22	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.6	17.6
	SD10	23	−	−	−	19.9	−	−	−	−	−	−	276.2	296.1
	SD12	24	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.3	2.3
	SD13	25	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	11.9	11.9
	SD16	276	−	−	−	209.4	−	−	−	−	−	−	170.6	380.0
	SD17	277	−	−	−	109.9	−	−	−	−	−	−	8.8	118.7
	SD18	278	−	−	−	238.1	−	−	−	−	−	−	0.0	238.1
	SD19	279	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	85.7	85.7
	SD19・SI41	280	−	−	−	271.1	−	−	−	−	−	−	0.0	271.1
	SD22	281	−	−	−	233.3	−	−	−	−	−	−	137.7	371.0
	SD27	282	1141.6	641.7	312.7	2096.0	−	−	−	−	−	−	43126.2	45222.2
	SD28	1140	1067.6	466.5	−	1534.1	−	−	−	−	−	−	0.0	1534.1
	SD29	1141	140.3	116.3	−	256.6	−	−	−	−	−	−	32.3	288.9
	SD30	1142	1279.9	568.7	−	1848.6	−	−	−	−	−	−	37.9	1886.5
	SD31	1143	536.4	46.7	−	583.1	−	−	−	−	−	−	0.0	583.1
	SD32	1144	286.9	73.8	−	360.7	−	−	−	−	−	−	88.0	448.7
	SD33	1145	12.1	−	−	12.1	−	−	−	−	−	−	0.0	12.1
	SD34	1146	38.9	7.9	−	46.8	−	−	−	−	−	−	99.1	145.9
	SD35	1147	1258.3	179.1	−	1437.4	−	−	−	−	−	−	40.4	1477.8
	SD35～36	1148	44.8	21.6	−	66.4	−	−	−	−	−	−	126.8	193.2
	SD35～37	1149	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	34.8	34.8
	SD35・39	1150	7.7	25.2	−	32.9	−	−	−	−	−	−	228.7	261.6
	SD35・43	1151	8.4	−	−	8.4	−	−	−	−	−	−	0.0	8.4
	SD36	1152	32.4	35.5	−	67.9	−	−	−	−	−	−	20.8	88.7
	SD36・38	1153	11.8	10.8	−	22.6	−	−	−	−	−	−	0.0	22.6
	SD36・38・43	1154	48.2	−	−	48.2	−	−	−	−	−	−	0.0	48.2
	SD37	1155	18.8	−	−	18.8	−	−	−	−	−	−	0.0	18.8
	SD38	1156	232.1	264.4	−	496.5	−	−	−	−	−	−	134.8	631.3
	SD39	1157	118.4	−	−	118.4	−	−	−	−	−	−	43.4	161.8
	SD42	1158	12.1	86.6	−	98.7	−	−	−	−	−	−	0.0	98.7
	SD43	1159	217.2	460.0	−	677.2	−	−	−	−	−	−	260.2	937.4
	SD46	1160	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	564.4	564.4
	SD47	1161	646.7	12.8	−	659.5	−	−	−	−	−	−	135.1	794.6
	SD51	1162	529.2	630.2	−	1159.4	−	−	−	−	−	−	0.0	1159.4
畝間状遺構	01UM	1163	113.0	−	−	113.0	−	−	−	−	−	−	237.2	350.2
	02UM	1164	157.9	−	−	157.9	−	−	−	−	−	−	4.8	162.7
	04UM	1165	14.1	−	−	14.1	−	−	−	−	−	−	0.0	14.1
	05UM	1166	337.6	−	−	368.1	−	−	−	−	−	−	269.1	637.2
	06UM	1167	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	81.0	81.0
	07UM	1168	1.8	−	−	1.8	−	−	−	−	−	−	0.0	1.8
	10UM	1169	84.0	−	−	84.0	−	−	−	−	−	−	136.1	220.1
	10UM・SX129	1170	114.2	31.4	−	145.6	−	−	−	−	−	−	0.0	145.6
	14UM	1172	272.0	61.8	−	333.8	−	−	−	−	−	−	0.0	333.8
遺物集中	SU01	283	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	11225.6	11225.6
	SU02	284	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	40334.5	40334.5
	SU03	285	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4318.6	4318.6
	SU04	286	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3852.4	3852.4
	SU05	287	−	−	−	10.9	−	−	−	−	−	−	715.0	725.9
	SU06	288	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2221.0	2221.0
	SU07	289	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2048.4	2048.4
	SU08	290	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.0	2.0
柱穴	柱穴（11年度）	26	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1340.4	1340.4
	柱穴（12年度）	291	−	−	−	279.2	−	−	−	−	−	−	81.2	360.4
	柱穴（13年度）	1173	839.1	26.1	−	865.2	−	−	−	−	−	−	287.2	1152.4
遺構外（包含層）	Ⅰ B11t	27	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	520.8	520.8
	Ⅰ B12o	28	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	5.9	5.9
	Ⅰ B12t	29	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1632.7	1632.7
	Ⅰ B13q	30	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	19.7	19.7
	Ⅰ B13r	31	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.0	3.0
	Ⅰ B13s	32	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	170.0	170.0
	Ⅰ B13t	33	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	245.5	245.5
	Ⅰ B14o	35	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2263.6	2263.6
	Ⅰ B14～15o ～ p	34	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	158.9	158.9
	Ⅰ B14p	36	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	12.4	12.4
	Ⅰ B14s	37	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	31.1	31.1
	Ⅰ B14t	38	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	17.3	17.3
	Ⅰ B15o	39	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	61.6	61.6
	Ⅰ B15p	40	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	10.1	10.1
	Ⅰ B15q	41	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.4	22.4
	Ⅰ B15r	42	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	4.7	4.7
	Ⅰ B15s	43	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.9	2.9
	Ⅰ B15s ～ t	44	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.0	13.0
	Ⅰ B15t	45	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	151.7	151.7
	Ⅰ B16g	50	−	−	−	16.6	−	−	−	−	−	−	0.0	16.6
	Ⅰ B16～17m ～ n	46	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.4	1.4
	Ⅰ B16n	51	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	503.8	503.8

第18表　出土地点別土器類重量集計（5）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ B16n ～ o	52	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	66.2	66.2
（包含層）	Ⅰ B16o	53	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1022.8	1022.8
	Ⅰ B16o ～ p	54	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	93.8	93.8
	Ⅰ B16～17o ～ p	47	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1.9	1.9
	Ⅰ B16p	55	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	746.4	746.4
	Ⅰ B16～17p	48	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	30.2	30.2
	Ⅰ B16p ～ q	56	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	15.3	15.3
	Ⅰ B16q	57	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	630.1	630.1
	Ⅰ B16q ～ r	58	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	39.4	39.4
	Ⅰ B16～17q ～ r	49	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	27.4	27.4
	Ⅰ B16r	59	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	361.2	361.2
	Ⅰ B16s	60	－	－	－	8.2	－	－	－	－	－	－	191.9	200.1
	Ⅰ B16t	61	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	299.5	299.5
	Ⅰ B17m	62	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	2542.1	2542.1
	Ⅰ B17n	63	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	241.8	241.8
	Ⅰ B17n ～ p	64	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	106.3	106.3
	Ⅰ B17o	65	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	192.1	192.1
	Ⅰ B17p	66	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	857.0	857.0
	Ⅰ B17p ～ q	67	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	354.1	354.1
	Ⅰ B17q	68	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	975.4	975.4
	Ⅰ B17q ～ r	69	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	389.6	389.6
	Ⅰ B17r	70	－	－	－	15.2	－	－	－	－	－	－	416.6	431.8
	Ⅰ B17s	71	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	89.1	89.1
	Ⅰ B17t	72	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	991.7	991.7
	Ⅰ B18n	73	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	42.2	42.2
	Ⅰ B18o	74	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	165.3	165.3
	Ⅰ B18o ～ p	75	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	165.3	165.3
	Ⅰ B18p	76	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	314.9	314.9
	Ⅰ B18p ～ q	77	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	4.2	4.2
	Ⅰ B18q	78	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	126.6	126.6
	Ⅰ B18r	79	－	－	－	5.7	－	－	－	－	－	－	0.5	6.2
	Ⅰ B18s	80	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	21.4	21.4
	Ⅰ B19l	82	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	51.0	51.0
	Ⅰ B19m	83	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	870.6	870.6
	Ⅰ B19～20m	81	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	290.9	290.9
	Ⅰ B19n	84	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	993.6	993.6
	Ⅰ B19r	85	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	57.4	57.4
	Ⅰ B19s	86	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1257.1	1257.1
	Ⅰ B20l	87	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	183.8	183.8
	Ⅰ B20l ～ Ⅱ B1l	88	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	302.9	302.9
	Ⅰ B20m	89	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1009.8	1009.8
	Ⅰ B20n	90	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	221.4	221.4
	Ⅰ B20o	91	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	618.4	618.4
	Ⅰ B20p	92	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	43.8	43.8
	Ⅰ B20q	93	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	362.1	362.1
	Ⅰ B20r	94	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	47.1	47.1
	Ⅱ B1j	95	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	3.8	3.8
	Ⅱ B1l	96	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	173.7	173.7
	Ⅱ B1m	97	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	156.0	156.0
	Ⅱ B1n	98	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	32.1	32.1
	Ⅱ B1o	99	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	183.1	183.1
	Ⅱ B1q ～ r	100	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	25.3	25.3
	Ⅱ B2k	101	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	3.2	3.2
	Ⅱ B4n	102	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	2.9	2.9
	Ⅱ B5i ～ 7j	103	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	681.3	681.3
	Ⅱ B6i	106	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	446.7	446.7
	Ⅱ B6j	107	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	405.6	405.6
	Ⅱ B6k	108	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	34.8	34.8
	Ⅱ B6～7k	104	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	214.9	214.9
	Ⅱ B6k ～ l	109	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	23.6	23.6
	Ⅱ B6l	110	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	645.9	645.9
	Ⅱ B6～7m	105	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	7.5	7.5
	Ⅱ B6n	112	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	225.9	225.9
	Ⅱ B7i	113	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	495.2	495.2
	Ⅱ B7j	114	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	82.6	82.6
	Ⅱ B7k	115	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	126.6	126.6
	Ⅱ B7l	116	－	－	－	208.1	－	－	－	－	－	－	0.0	208.1
	落ち込みD	120	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	10.3	10.3
	Ⅰ C11a	117	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	139.8	139.8
	Ⅰ C12a	118	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	1658.9	1658.9
	Ⅰ C13a	119	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	32.1	32.1
	Ⅰ C13j	292	－	－	－	34.9	－	－	－	－	－	－	0.0	34.9
	Ⅰ C13t	293	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	17.4	17.4
	Ⅰ C14p	294	－	－	－	37.5	－	－	－	－	－	－	0.0	37.5
	Ⅰ C14r	295	－	－	－	4.4	－	－	－	－	－	－	0.0	4.4
	Ⅰ C14s	296	－	－	－	10.2	－	－	－	－	－	－	0.0	10.2
	Ⅰ C14t	297	－	－	－	9.6	－	－	－	－	－	－	27.1	36.7
	Ⅰ C15f	298	－	－	－	7.5	－	－	－	－	－	－	0.0	7.5
	Ⅰ C15j	299	－	－	－	44.0	－	－	－	－	－	－	0.0	44.0
	Ⅰ C15n	300	－	－	－	22.4	－	－	－	－	－	－	115.5	137.9
	Ⅰ C15p	301	－	－	－	2.9	－	－	－	－	－	－	0.0	2.9
	Ⅰ C15r	302	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	70.6	70.6
	Ⅰ C15t	303	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	23.9	23.9
	Ⅰ C16d	304	－	－	－	368.2	－	－	－	－	－	－	122.4	490.6
	Ⅰ C16e	305	－	－	－	1494.2	－	－	－	－	－	－	48.9	1543.1
	Ⅰ C16f	306	－	－	－	626.7	－	－	－	－	－	－	146.9	773.6
	Ⅰ C16g	307	－	－	－	787.8	－	－	－	－	－	－	88.7	876.5
	Ⅰ C16h	308	－	－	－	108.2	－	－	－	－	－	－	0.0	108.2
	Ⅰ C16n	309	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	33.6	33.6
	Ⅰ C16o	310	－	－	－	25.2	－	－	－	－	－	－	0.0	25.2
	Ⅰ C16p	311	－	－	－	57.7	－	－	－	－	－	－	9.9	67.6
	Ⅰ C16r	312	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	7.9	7.9
	Ⅰ C16s	313	－	－	－	55.9	－	－	－	－	－	－	25.9	81.8
	Ⅰ C16t	314	－	－	－	9.3	－	－	－	－	－	－	129.5	138.8
	Ⅰ C17d	315	－	－	－	49.2	－	－	－	－	－	－	37.1	86.3
	Ⅰ C17f	316	－	－	－	754.9	－	－	－	－	－	－	25.5	780.4
	Ⅰ C17g	317	－	－	－	1198.1	－	－	－	－	－	－	260.2	1458.3

第18表　出土地点別土器類重量集計（6）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ C17h	318	−	−	−	177.0	−	−	−	−	−	−	106.8	283.8
（包含層）	Ⅰ C17o	319	−	−	−	1.0	−	−	−	−	−	−	817.6	818.6
	Ⅰ C17p	320	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	224.7	224.7
	Ⅰ C17q	321	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1055.7	1055.7
	Ⅰ C17r	322	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	762.2	762.2
	Ⅰ C17s	323	−	−	−	98.5	−	−	−	−	−	−	908.3	1006.8
	Ⅰ C18f	324	−	−	−	1100.1	−	−	−	−	−	−	42.9	1143.0
	Ⅰ C18g	325	−	−	−	411.1	−	−	−	−	−	−	20.6	431.7
	Ⅰ C18h	326	−	−	−	6.2	−	−	−	−	−	−	0.0	6.2
	Ⅰ C18l	327	−	−	−	46.9	−	−	−	−	−	−	0.0	46.9
	Ⅰ C18m	328	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	836.7	836.7
	Ⅰ C18o	329	−	−	−	20.2	−	−	−	−	−	−	3739.5	3759.7
	Ⅰ C18o ～ q	330	−	−	−	546.1	−	−	−	−	−	−	0.0	546.1
	Ⅰ C18p	331	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	899.9	899.9
	Ⅰ C18r	332	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	19.9	19.9
	Ⅰ C18s	333	−	−	−	27.6	−	−	−	−	−	−	746.6	774.2
	Ⅰ C18t	334	−	−	−	8.9	−	−	−	−	−	−	0.0	8.9
	Ⅰ C19g	335	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	29.2	29.2
	Ⅰ C19n	336	−	−	−	11.5	−	−	−	−	−	−	1596.8	1608.3
	Ⅰ C19o	337	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	957.5	957.5
	Ⅰ C19p	338	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	234.2	234.2
	Ⅰ C19s	339	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	11.0	11.0
	Ⅰ C19t	340	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2507.9	2507.9
	Ⅰ C20n	341	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	149.6	149.6
	Ⅰ C20q	342	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	70.5	70.5
	Ⅰ C20r	343	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	6.7	6.7
	Ⅰ C20t	344	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	7.1	7.1
	Ⅱ C1g	345	−	−	−	8.2	−	−	−	−	−	−	29.1	37.3
	Ⅱ C1j	346	−	−	−	90.5	−	−	−	−	−	−	0.0	90.5
	Ⅱ C1n	347	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	3.9	3.9
	Ⅱ C1p	348	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	22.9	22.9
	Ⅱ C1r	349	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	195.5	195.5
	Ⅱ C2 t	350	−	−	−	5.9	−	−	−	−	−	−	0.0	5.9
	Ⅰ D11g	351	−	−	−	324.0	−	−	−	−	−	−	916.9	1240.9
	Ⅰ D12e	352	−	−	−	30.6	−	−	−	−	−	−	0.0	30.6
	Ⅰ D12g	353	−	−	−	65.4	−	−	−	−	−	−	2349.6	2415.0
	Ⅰ D12h	354	−	−	−	8.3	−	−	−	−	−	−	918.4	926.7
	Ⅰ D12j	355	−	−	−	44.8	−	−	−	−	−	−	5.4	50.2
	Ⅰ D12j ～14k	356	−	−	−	333.7	−	−	−	−	−	−	40.2	373.9
	Ⅰ D12k	357	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	14.8	14.8
	Ⅰ D13d	359	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	127.2	127.2
	Ⅰ D13h	360	−	−	−	34.9	−	−	−	−	−	−	140.4	175.3
	Ⅰ D13i	361	−	−	−	5.2	−	−	−	−	−	−	11.2	16.4
	Ⅰ D13j	362	−	−	−	211.9	−	−	−	−	−	−	25.5	237.4
	Ⅰ D13k	363	−	−	−	542.3	−	−	−	−	−	−	95.8	638.1
	Ⅰ D13l	364	−	−	−	428.8	−	−	−	−	−	−	26.3	455.1
	Ⅰ D13～14l	358	−	−	−	63.9	−	−	−	−	−	−	88.2	152.1
	Ⅰ D13l ～ m	365	−	−	−	167.4	−	−	−	−	−	−	0.0	167.4
	Ⅰ D13m	366	−	−	−	71.4	−	−	−	−	−	−	92.9	164.3
	Ⅰ D13n	367	−	−	−	23.2	−	−	−	−	−	−	38.2	61.4
	Ⅰ D13o	368	−	−	−	91.1	−	−	−	−	−	−	33.9	125.0
	Ⅰ D13p	369	−	−	−	21.3	−	−	−	−	−	−	21.5	42.8
	Ⅰ D13q	370	−	−	−	1714.7	−	−	−	−	−	−	1639.9	3354.6
	Ⅰ D13r	371	−	−	−	26.2	−	−	−	−	−	−	8.8	35.0
	Ⅰ D13s	372	−	−	−	60.2	−	−	−	−	−	−	19.1	79.3
	Ⅰ D13t	373	−	−	−	74.1	−	−	−	−	−	−	10.8	84.9
	Ⅰ D14a	374	−	−	−	617.0	−	−	−	−	−	−	858.1	1475.1
	Ⅰ D14b	375	−	−	−	180.7	−	−	−	−	−	−	845.6	1026.3
	Ⅰ D14c	376	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1583.7	1583.7
	Ⅰ D14d	377	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1120.6	1120.6
	Ⅰ D14e	378	−	−	−	160.5	−	−	−	−	−	−	157.9	318.4
	Ⅰ D14i	379	−	−	−	133.8	−	−	−	−	−	−	4.1	137.9
	Ⅰ D14j	380	−	−	−	43.8	−	−	−	−	−	−	17.2	61.0
	Ⅰ D14k	381	−	−	−	628.5	−	−	−	−	−	−	159.4	787.9
	Ⅰ D14l	382	−	−	−	964.0	−	−	−	−	−	−	353.5	1317.5
	Ⅰ D14m	383	−	−	−	804.5	−	−	−	−	−	−	120.7	925.2
	Ⅰ D14n	384	−	−	−	440.4	−	−	−	−	−	−	75.7	516.1
	Ⅰ D14o	385	−	−	−	539.0	−	−	−	−	−	−	1999.2	2538.2
	Ⅰ D14p	386	−	−	−	40.7	−	−	−	−	−	−	59.4	100.1
	Ⅰ D14q	387	−	−	−	138.4	−	−	−	−	−	−	114.2	252.6
	Ⅰ D14r	388	−	−	−	173.5	−	−	−	−	−	−	27.3	200.8
	Ⅰ D14s	389	−	−	−	208.1	−	−	−	−	−	−	10.2	218.3
	Ⅰ D14t	390	−	−	−	111.8	−	−	−	−	−	−	39.6	151.4
	Ⅰ D15a	391	−	−	−	34.7	−	−	−	−	−	−	97.3	132.0
	Ⅰ D15d	392	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	352.5	352.5
	Ⅰ D15e	393	−	−	−	40.3	−	−	−	−	−	−	651.4	691.7
	Ⅰ D15f	394	−	−	−	622.4	−	−	−	−	−	−	443.4	1065.8
	Ⅰ D15g	395	−	−	−	248.7	−	−	−	−	−	−	371.9	620.6
	Ⅰ D15h	396	−	−	−	24.9	−	−	−	−	−	−	31.3	56.2
	Ⅰ D15i	397	−	−	−	146.4	−	−	−	−	−	−	293.6	440.0
	Ⅰ D15j	398	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	250.2	250.2
	Ⅰ D15k	399	−	−	−	245.7	−	−	−	−	−	−	462.4	708.1
	Ⅰ D15l	400	−	−	−	47.9	−	−	−	−	−	−	7337.6	7385.5
	Ⅰ D15m	401	−	−	−	1153.8	−	−	−	−	−	−	448.3	1602.1
	Ⅰ D15m ～ n	402	−	−	−	2339.3	−	−	−	−	−	−	5.2	2344.5
	Ⅰ D15n	403	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	152.5	152.5
	Ⅰ D15o	404	−	−	−	726.7	−	−	−	−	−	−	1637.2	2363.9
	Ⅰ D15p	405	−	−	−	476.6	−	−	−	−	−	−	795.9	1272.5
	Ⅰ D15q	406	−	−	−	163.0	−	−	−	−	−	−	22.9	185.9
	Ⅰ D15r	407	−	−	−	41.1	−	−	−	−	−	−	81.1	122.2
	Ⅰ D15s	408	−	−	−	57.8	−	−	−	−	−	−	15.5	73.3
	Ⅰ D15t	409	−	−	−	5.0	−	−	−	−	−	−	0.0	5.0
	Ⅰ D16a	410	−	−	−	10.8	−	−	−	−	−	−	18.6	29.4
	Ⅰ D16b	411	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.9	13.9
	Ⅰ D16c	412	−	−	−	5.2	−	−	−	−	−	−	49.6	54.8
	Ⅰ D16e	413	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.5	13.5
	Ⅰ D16f	414	−	−	−	95.1	−	−	−	−	−	−	199.5	294.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（7）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ D16g	415	−	−	−	17.7	−	−	−	−	−	−	12.2	29.9
（包含層）	Ⅰ D16h	416	−	−	−	196.6	−	−	−	−	−	−	304.2	500.8
	Ⅰ D16i	417	−	−	−	625.3	−	−	−	−	−	−	2993.0	3618.3
	Ⅰ D16j	418	−	−	−	216.1	−	−	−	−	−	−	775.8	991.9
	Ⅰ D16k	419	−	−	−	590.5	−	−	−	−	−	−	1764.7	2355.2
	Ⅰ D16l	420	−	−	−	119.3	−	−	−	−	−	−	4320.0	4439.3
	Ⅰ D16m	421	−	−	−	279.1	−	−	−	−	−	−	114.8	393.9
	Ⅰ D16n	422	−	−	−	40.9	−	−	−	−	−	−	320.9	361.8
	Ⅰ D16o	423	−	−	−	689.1	−	−	−	−	−	−	1144.8	1833.9
	Ⅰ D16p	424	−	−	−	719.5	−	−	−	−	−	−	849.0	1568.5
	Ⅰ D16q	425	−	−	−	456.0	−	−	−	−	−	−	429.1	885.1
	Ⅰ D16r	426	−	−	−	130.4	−	−	−	−	−	−	224.0	354.4
	Ⅰ D16s	427	−	−	−	134.0	−	−	−	−	−	−	69.7	203.7
	Ⅰ D16t	428	−	−	−	7.5	−	−	−	−	−	−	0.0	7.5
	Ⅰ D17a	430	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	9.4	9.4
	Ⅰ D17b	431	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2.6	2.6
	Ⅰ D17c	432	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	52.5	52.5
	Ⅰ D17d	433	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	149.6	149.6
	Ⅰ D17e	434	−	−	−	61.4	−	−	−	−	−	−	563.5	624.9
	Ⅰ D17f	435	−	−	−	41.8	−	−	−	−	−	−	2820.5	2862.3
	Ⅰ D17g	436	−	−	−	1.6	−	−	−	−	−	−	1281.7	1283.3
	Ⅰ D17g ～ h	437	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	13.0	13.0
	Ⅰ D17h	438	−	−	−	319.5	−	−	−	−	−	−	1618.0	1937.5
	Ⅰ D17i	439	−	−	−	98.3	−	−	−	−	−	−	1668.0	1766.3
	Ⅰ D17j	440	−	−	−	200.5	−	−	−	−	−	−	4154.5	4355.0
	Ⅰ D17～18j	429	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	139.4	139.4
	Ⅰ D17k	441	−	−	−	394.1	−	−	−	−	−	−	3486.2	3880.3
	Ⅰ D17l	442	−	−	−	277.6	−	−	−	−	−	−	910.4	1188.0
	Ⅰ D17m	443	−	−	−	232.2	−	−	−	−	−	−	2947.3	3179.5
	Ⅰ D17n	444	−	−	−	2016.2	−	−	−	−	−	−	804.6	2820.8
	Ⅰ D17o	445	−	−	−	1202.0	−	−	−	−	−	−	754.2	1956.2
	Ⅰ D17p	446	−	−	−	301.3	−	−	−	−	−	−	316.4	617.7
	Ⅰ D17q	447	−	−	−	910.1	−	−	−	−	−	−	1168.0	2078.1
	Ⅰ D17r	448	−	−	−	82.1	−	−	−	−	−	−	46.7	128.8
	Ⅰ D17s	449	−	−	−	111.0	−	−	−	−	−	−	0.0	111.0
	Ⅰ D17t	450	−	−	−	37.3	−	−	−	−	−	−	0.0	37.3
	Ⅰ D18a	454	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	181.6	181.6
	Ⅰ D18b	455	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	136.2	136.2
	Ⅰ D18c	456	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	109.5	109.5
	Ⅰ D18d	457	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1787.5	1787.5
	Ⅰ D18e	458	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	400.3	400.3
	Ⅰ D18～19e	451	−	−	−	5.3	−	−	−	−	−	−	5.3	10.6
	Ⅰ D18f	459	−	−	−	31.4	−	−	−	−	−	−	34.1	65.5
	Ⅰ D18g	460	−	−	−	405.5	−	−	−	−	−	−	1938.2	2343.7
	Ⅰ D18h	461	−	−	−	30.4	−	−	−	−	−	−	3099.6	3130.0
	Ⅰ D18i	462	−	−	−	32.7	−	−	−	−	−	−	1419.7	1452.4
	Ⅰ D18～19i	452	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	80.1	80.1
	Ⅰ D18j	463	−	−	−	388.4	−	−	−	−	−	−	2601.3	2989.7
	Ⅰ D18k	464	−	−	−	11.4	−	−	−	−	−	−	1135.1	1146.5
	Ⅰ D18l	465	−	−	−	11.1	−	−	−	−	−	−	350.3	361.4
	Ⅰ D18m	466	−	−	−	138.5	−	−	−	−	−	−	2443.0	2581.5
	Ⅰ D18n	467	−	−	−	489.9	−	−	−	−	−	−	530.8	1020.7
	Ⅰ D18o	468	−	−	−	427.2	−	−	−	−	−	−	1112.7	1539.9
	Ⅰ D18p	469	−	−	−	3486.1	−	−	−	−	−	−	611.7	4097.8
	Ⅰ D18q	470	−	−	−	1848.0	−	−	−	−	−	−	726.2	2574.2
	Ⅰ D18～19q	453	−	−	−	784.5	−	−	−	−	−	−	138.7	923.2
	Ⅰ D18r	471	−	−	−	285.7	−	−	−	−	−	−	265.9	551.6
	Ⅰ D18s	472	−	−	−	31.6	−	−	−	−	−	−	62.0	93.6
	Ⅰ D18u	473	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	547.3	547.3
	Ⅰ D19a	475	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	54.8	54.8
	Ⅰ D19b	476	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	61.8	61.8
	Ⅰ D19c	477	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	306.8	306.8
	Ⅰ D19d	478	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	840.4	840.4
	Ⅰ D19e	479	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	119.0	119.0
	Ⅰ D19f	480	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1001.5	1001.5
	Ⅰ D19g	481	−	−	−	33.1	−	−	−	−	−	−	332.5	365.6
	Ⅰ D19～20g	474	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	286.3	286.3
	Ⅰ D19h	482	−	−	−	17.8	−	−	−	−	−	−	134.9	152.7
	Ⅰ D19i	483	−	−	−	7.3	−	−	−	−	−	−	1041.8	1049.1
	Ⅰ D19j	484	−	−	−	39.0	−	−	−	−	−	−	312.1	351.1
	Ⅰ D19k	485	−	−	−	5.1	−	−	−	−	−	−	77.9	83.0
	Ⅰ D19l	486	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	46.2	46.2
	Ⅰ D19m	487	−	−	−	242.5	−	−	−	−	−	−	649.2	891.7
	Ⅰ D19n	488	−	−	−	47.6	−	−	−	−	−	−	752.9	800.5
	Ⅰ D19o	489	−	−	−	71.0	−	−	−	−	−	−	1495.0	1566.0
	Ⅰ D19p	490	−	−	−	590.0	−	−	−	−	−	−	631.2	1221.2
	Ⅰ D19p ～ q	491	−	−	−	5.7	−	−	−	−	−	−	0.0	5.7
	Ⅰ D19q	492	−	−	−	2650.8	−	−	−	−	−	−	599.9	3250.7
	Ⅰ D19r	493	−	−	−	319.0	−	−	−	−	−	−	656.9	975.9
	Ⅰ D20a	494	−	−	−	86.6	−	−	−	−	−	−	0.0	86.6
	Ⅰ D20b	495	−	−	−	7.2	−	−	−	−	−	−	18.9	26.1
	Ⅰ D20c	496	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	24.2	24.2
	Ⅰ D20e	497	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	340.9	340.9
	Ⅰ D20f	498	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2545.6	2545.6
	Ⅰ D20g	499	−	−	−	27.1	−	−	−	−	−	−	894.2	921.3
	Ⅰ D20g ～ h	500	−	−	−	48.9	−	−	−	−	−	−	216.4	265.3
	Ⅰ D20h	501	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	243.4	243.4
	Ⅰ D20h ～ k, Ⅱ D1h ～ k	502	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	105.6	105.6
	Ⅰ D20i	503	−	−	−	41.1	−	−	−	−	−	−	210.1	251.2
	Ⅰ D20j	504	−	−	−	23.1	−	−	−	−	−	−	339.8	362.9
	Ⅰ D20k	505	−	−	−	4.5	−	−	−	−	−	−	263.2	267.7
	Ⅰ D20l	506	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	660.8	660.8
	Ⅰ D20m	507	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2591.7	2591.7
	Ⅰ D20n	508	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	2406.2	2406.2
	Ⅰ D20o	509	−	−	−	13.9	−	−	−	−	−	−	1113.1	1127.0
	Ⅰ D20p	510	−	−	−	80.9	−	−	−	−	−	−	233.8	314.7
	Ⅰ D20q	511	−	−	−	23.7	−	−	−	−	−	−	410.8	434.5

第18表　出土地点別土器類重量集計（8）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ D20r	512	−	−	−	153.0	−	−	−	−	−	−	542.4	695.4
（包含層）	Ⅰ D20r ～ Ⅱ D1r	513	−	−	−	8.7	−	−	−	−	−	−	67.2	75.9
	Ⅰ D20s	514	−	−	−	47.6	−	−	−	−	−	−	207.5	255.1
	Ⅰ D20t	515	−	−	−	19.7	−	−	−	−	−	−	198.5	218.2
	Ⅰ Dn ～ o	516	−	−	−	180.8	−	−	−	−	−	−	0.0	180.8
	Ⅰ D	517	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	559.3	559.3
	Ⅱ D1f	518	−	−	−	15.6	−	−	−	−	−	−	3285.9	3301.5
	Ⅱ D1g	519	−	−	−	0.6	−	−	−	−	−	−	916.1	916.7
	Ⅱ D1h	520	−	−	−	7.9	−	−	−	−	−	−	996.1	1004.0
	Ⅱ D1i	521	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	31.1	31.1
	Ⅱ D1j	522	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	36.3	36.3
	Ⅱ D1k	523	−	−	−	11.9	−	−	−	−	−	−	30.8	42.7
	Ⅱ D1l	524	−	−	−	2.4	−	−	−	−	−	−	169.3	171.7
	Ⅱ D1m	525	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	264.2	264.2
	Ⅱ D1n	526	−	−	−	5.0	−	−	−	−	−	−	5705.0	5710.0
	Ⅱ D1o	527	−	−	−	9.2	−	−	−	−	−	−	652.5	661.7
	Ⅱ D1o ～1q	528	−	−	−	8.6	−	−	−	−	−	−	252.1	260.7
	Ⅱ D1p	529	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	36.1	36.1
	Ⅱ D1q	530	−	−	−	3.3	−	−	−	−	−	−	365.6	368.9
	Ⅱ D1r	531	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.7	1.7
	Ⅱ D1s	532	−	−	−	19.5	−	−	−	−	−	−	52.7	72.2
	Ⅱ D1t	533	−	−	−	3.5	−	−	−	−	−	−	4.8	8.3
	Ⅱ D	535	−	−	−	2.1	−	−	−	−	−	−	0.0	2.1
	Ⅰ E13a ～ d	534	−	−	−	16.3	−	−	−	−	−	−	0.0	16.3
	Ⅰ E13c	536	−	−	−	195.2	−	−	−	−	−	−	0.0	195.2
	Ⅰ E13c ～ e	537	−	−	−	8.3	−	−	−	−	−	−	0.0	8.3
	Ⅰ E13e	538	−	−	−	65.5	−	−	−	−	−	−	0.0	65.5
	Ⅰ E13f	539	−	−	−	17.6	−	−	−	−	−	−	0.0	17.6
	Ⅰ E14a ～ d	541	−	−	−	34.7	−	−	−	−	−	−	0.0	34.7
	Ⅰ E14b	542	−	−	−	211.0	−	−	−	−	−	−	38.2	249.2
	Ⅰ E14d	543	−	−	−	1388.7	−	−	−	−	−	−	200.8	1589.5
	Ⅰ E14～15d ～ e	540	−	−	−	321.8	−	−	−	−	−	−	428.1	749.9
	Ⅰ E14e	544	−	−	−	372.8	−	−	−	−	−	−	1412.8	1785.6
	Ⅰ E14f	545	−	−	−	54.6	−	−	−	−	−	−	60.5	115.1
	Ⅰ E14h	546	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	1.5	1.5
	Ⅰ E14i	547	−	−	−	33.2	−	−	−	−	−	−	0.0	33.2
	Ⅰ E14j	548	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	32.4	32.4
	Ⅰ E14k	549	−	−	−	16.7	−	−	−	−	−	−	0.0	16.7
	Ⅰ E14k ～ l	550	−	−	−	48.2	−	−	−	−	−	−	1507.1	1555.3
	Ⅰ E14l	551	−	−	−	17.3	−	−	−	−	−	−	116.7	134.0
	Ⅰ E14o	1174	26.9	22.4	−	49.3	−	−	−	−	−	−	0.0	49.3
	Ⅰ E14p	1175	24.1	−	−	24.1	42.6	−	−	−	−	−	42.6	66.7
	Ⅰ E14r	1176	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	55.4	55.4	55.4
	Ⅰ E14s	1177	7.4	−	−	7.4	112.5	−	−	−	−	−	112.5	119.9
	Ⅰ E14t	1178	−	−	−	0.0	9.6	−	−	−	−	255.0	264.6	264.6
	Ⅰ E15c	552	−	−	−	25.0	−	−	−	−	−	−	0.0	25.0
	Ⅰ E15d	553	−	−	−	964.5	−	−	−	−	−	−	23.4	987.9
	Ⅰ E15e	554	−	−	−	148.9	−	−	−	−	−	−	115.0	263.9
	Ⅰ E15f	555	−	−	−	126.8	−	−	−	−	−	−	314.0	440.8
	Ⅰ E15g	556	−	−	−	150.0	−	−	−	−	−	−	92.6	242.6
	Ⅰ E15h	557	−	−	−	31.6	−	−	−	−	−	−	0.0	31.6
	Ⅰ E15j	558	−	−	−	75.1	−	−	−	−	−	−	32.6	107.7
	Ⅰ E15k	559	−	−	−	4.3	−	−	−	−	−	−	74.0	78.3
	Ⅰ E15l	560	−	−	−	27.3	−	−	−	−	−	−	10.7	38.0
	Ⅰ E15m	1180	5.2	6.9	−	12.1	−	−	−	−	−	47.1	47.1	59.2
	Ⅰ E15n	1181	−	8.3	−	8.3	−	−	−	−	−	293.0	293.0	301.3
	Ⅰ E15o	1182	34.0	−	−	34.0	−	−	−	−	−	3.4	3.4	37.4
	Ⅰ E15p	1183	150.4	71.6	−	222.0	44.7	−	−	−	−	371.0	415.7	637.7
	Ⅰ E15q	1184	23.6	6.8	−	30.4	26.3	−	−	−	−	−	26.3	56.7
	Ⅰ E15r	1185	125.4	139.6	−	265.0	720.3	−	−	−	−	799.6	1519.9	1784.9
	Ⅰ E15r ～15s	1186	4.5	−	−	4.5	−	−	−	−	−	149.4	149.4	153.9
	Ⅰ E15s	1187	−	−	−	0.0	17.9	1258.6	−	−	−	1451.4	2727.9	2727.9
	Ⅰ E15s ～15t	1188	7.3	1.1	−	8.4	−	−	−	−	−	1401.6	1401.6	1410.0
	Ⅰ E15t	1189	7.7	−	−	7.7	109.3	−	−	−	−	−	109.3	117.0
	Ⅰ E16e	561	−	−	−	48.2	−	−	−	−	−	−	0.0	48.2
	Ⅰ E16i	562	−	−	−	67.1	−	−	−	−	−	−	19.2	86.3
	Ⅰ E16j	563	−	−	−	108.4	−	−	−	−	−	−	14.6	123.0
	Ⅰ E16k	564	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	−	68.1	68.1
	Ⅰ E16l	565	−	−	45.7	45.7	14.0	−	−	−	−	33.7	47.7	93.4
	Ⅰ E16m	1192	46.0	88.9	30.4	165.3	30.6	−	−	−	−	5.4	36.0	201.3
	Ⅰ E16n	1193	60.4	−	−	60.4	10.7	−	−	−	−	−	10.7	71.1
	Ⅰ E16o	1194	636.8	249.8	−	886.6	30.3	−	−	−	−	−	30.3	916.9
	Ⅰ E16p	1195	266.4	155.8	−	422.2	10.7	−	−	−	−	21.4	32.1	454.3
	Ⅰ E16q	1196	155.6	122.1	−	277.7	12.0	369.8	−	−	−	−	381.8	659.5
	Ⅰ E16r	1197	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	949.7	949.7	949.7
	Ⅰ E16s	1198	20.8	−	−	20.8	376.4	−	−	−	−	401.0	777.4	798.2
	Ⅰ E16t	1199	13.9	−	−	13.9	−	−	−	−	−	64.9	64.9	78.8
	Ⅰ E17e	567	−	−	−	61.1	−	−	−	−	−	−	0.0	61.1
	Ⅰ E17j	568	−	−	−	88.7	−	−	−	−	−	−	0.0	88.7
	Ⅰ E17l	569	−	−	−	3.1	−	−	−	−	−	−	21.9	25.0
	Ⅰ E17m	1201	22.4	−	−	22.4	48.9	−	−	−	−	13.4	62.3	84.7
	Ⅰ E17n	1202	65.6	22.4	−	88.0	71.9	−	−	−	−	94.6	166.5	254.5
	Ⅰ E17o	1203	388.6	22.9	−	411.5	−	−	−	−	−	10.8	10.8	422.3
	Ⅰ E17p	1204	123.8	454.4	−	578.2	6.6	−	−	−	−	84.2	90.8	669.0
	Ⅰ E17～18p	1200	−	−	−	0.0	−	697.4	−	−	−	−	697.4	697.4
	Ⅰ E17q	1205	272.1	139.2	−	411.3	20.6	−	5177.5	1014.3	648.3	17.9	6878.6	7289.9
	Ⅰ E17r	1206	390.7	38.3	−	429.0	30.8	−	1960.0	−	2488.0	873.3	5352.1	5781.1
	Ⅰ E17s	1207	201.8	−	−	201.8	78.9	157.4	10454.1	5893.0	2183.9	591.6	19358.9	19560.7
	Ⅰ E17t	1208	8.5	−	−	8.5	118.2	−	−	−	−	139.6	257.8	266.3
	Ⅰ E18l	1211	29.8	341.9	−	371.7	13.0	−	−	−	−	−	13.0	384.7
	Ⅰ E18m	1212	118.1	19.6	−	137.7	42.3	−	−	−	−	−	42.3	180.0
	Ⅰ E18n	1213	55.2	30.6	−	85.8	171.8	−	−	−	−	−	171.8	257.6
	Ⅰ E18o	1214	74.0	28.8	−	102.8	−	−	−	−	−	725.0	725.0	827.8
	Ⅰ E18p	1215	164.5	198.0	−	362.5	37.4	1055.9	−	−	−	349.7	1443.0	1805.5
	Ⅰ E18q	1216	211.6	243.4	−	455.0	217.6	−	−	67.3	1007.8	4227.6	5520.3	5975.3
	Ⅰ E18～19q	1209	−	−	−	0.0	−	−	−	−	43.3	−	43.3	43.3
	Ⅰ E18r	1217	11.8	6.3	−	18.1	68.2	−	124.0	1829.4	1322.9	−	3344.5	3362.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（9）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ E18s	1218	59.4	–	–	59.4	73.4	–	11036.3	18.0	294.0	1235.3	12657.0	12716.4
（包含層）	Ⅰ E18t	1219	–	18.3	–	18.3	–	441.2	2861.1	1307.1	45.6	216.9	4871.9	4890.2
	Ⅰ E18～20t	1210	–	–	–	0.0	–	–	–	–	41.2	–	41.2	41.2
	Ⅰ E19m	1220	14.4	73.3	–	87.7	131.1	–	–	–	–	–	131.1	218.8
	Ⅰ E19n	1221	163.4	–	–	163.4	–	–	–	–	–	–	0.0	163.4
	Ⅰ E19o	1222	37.4	–	–	37.4	111.3	–	–	–	–	–	111.3	148.7
	Ⅰ E19p	1223	76.9	51.5	–	128.4	150.1	–	–	–	–	–	150.1	278.5
	Ⅰ E19p ～ r	1224	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	1279.5	1279.5	1279.5
	Ⅰ E19q	1225	21.3	30.9	–	52.2	63.3	–	–	–	1048.1	456.3	1567.7	1619.9
	Ⅰ E19r	1226	148.9	11.8	–	160.7	927.0	–	–	191.0	1167.1	439.6	2724.7	2885.4
	Ⅰ E19s	1227	103.7	61.6	–	165.3	993.8	76.3	2214.7	735.0	3000.5	–	7020.3	7185.6
	Ⅰ E19s ～ t	1228	–	–	–	0.0	–	110.7	–	–	–	391.3	502.0	502.0
	Ⅰ E19t	1229	35.1	29.0	–	64.1	11.0	–	24613.7	1601.2	1470.2	1648.5	29344.6	29408.7
	Ⅰ E19t ～ Ⅰ F19a	1230	–	–	–	0.0	–	–	4111.5	–	–	–	4111.5	4111.5
	Ⅰ E20a	570	–	–	–	55.0	–	–	–	–	–	–	0.0	55.0
	Ⅰ E20b	571	–	–	–	15.8	–	–	–	–	–	–	0.0	15.8
	Ⅰ E20c ～ e	572	–	–	–	18.4	–	–	–	–	–	–	25.5	43.9
	Ⅰ E20g	573	–	–	–	8.3	–	–	–	–	–	–	31.6	39.9
	Ⅰ E20h	574	–	–	–	60.9	–	–	–	–	–	–	21.3	82.2
	Ⅰ E20i	575	–	–	–	73.3	–	–	–	–	–	–	330.0	403.3
	Ⅰ E20n	1231	12.6	1.0	–	13.6	–	–	–	–	–	–	0.0	13.6
	Ⅰ E20o	1232	146.6	9.6	–	156.2	–	–	–	–	–	51.0	51.0	207.2
	Ⅰ E20p	1233	116.7	8.2	–	124.9	54.9	313.7	–	–	–	–	368.6	493.5
	Ⅰ E20p ～ Ⅱ E1p	1234	574.7	207.7	–	782.4	441.2	–	–	–	–	–	441.2	1223.6
	Ⅰ E20q	1235	238.8	–	–	238.8	39.8	–	–	–	–	64.0	103.8	342.6
	Ⅰ E20r	1236	27.8	18.6	–	46.4	8.2	–	–	6115.0	7867.4	3281.5	17272.1	17318.5
	Ⅰ E20r ～ t	1237	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	964.5	964.5	964.5
	Ⅰ E20s	1238	250.3	–	–	250.3	331.6	–	–	4691.9	11155.5	1627.0	17806.0	18056.3
	Ⅰ E20t	1239	289.1	89.0	–	378.1	1360.8	–	6413.3	10620.3	8476.4	4861.8	31732.6	32110.7
	Ⅰ Ea ～ e	576	–	–	–	389.6	–	–	–	–	–	–	0.0	389.6
	Ⅰ E	577	–	–	–	732.2	–	–	–	–	–	–	8.7	740.9
	Ⅱ E1a	579	–	–	–	227.1	–	–	–	–	–	–	40.2	267.3
	Ⅱ E1b	580	–	–	–	18.6	–	–	–	–	–	–	51.0	69.6
	Ⅱ E1g	581	–	–	–	70.5	–	–	–	–	–	–	0.0	70.5
	Ⅱ E1h	582	–	–	–	14.4	–	–	–	–	–	–	25.2	39.6
	Ⅱ E1o	1330	18.7	17.0	–	35.7	55.5	–	–	–	–	–	55.5	91.2
	Ⅱ E1q	1331	20.7	–	–	20.7	123.1	–	–	–	383.1	–	506.2	526.9
	Ⅱ E1r	1332	–	–	–	0.0	–	–	–	–	1519.5	346.6	1866.1	1866.1
	Ⅱ E1s	1333	64.1	–	–	64.1	83.3	–	–	3846.2	4729.5	1704.4	10363.4	10427.5
	Ⅱ E1t	1334	4.6	41.9	–	46.5	68.6	839.4	124.8	4019.4	17288.7	1170.1	23511.0	23557.5
	Ⅱ E2r	1335	–	–	–	0.0	–	–	–	–	192.3	–	192.3	192.3
	Ⅱ E2s	1336	19.2	1.1	–	20.3	74.2	–	–	2504.1	3059.7	–	5638.0	5658.3
	Ⅱ E2t	1337	27.7	–	–	27.7	–	–	1930.1	1645.2	13018.9	1004.5	17598.7	17626.4
	Ⅰ F14b	1241	8.4	–	–	8.4	–	–	–	–	–	–	0.0	8.4
	Ⅰ F15a	1242	–	–	–	0.0	24.8	–	–	–	–	49.0	73.8	73.8
	Ⅰ F15c	1243	–	–	–	0.0	32.2	–	–	–	–	–	32.2	32.2
	Ⅰ F16a	1245	–	–	–	0.0	8.7	–	–	–	–	245.2	253.9	253.9
	Ⅰ F16b	1246	–	–	–	0.0	11.2	260.4	–	–	–	–	271.6	271.6
	Ⅰ F16c	1247	–	–	–	0.0	19.4	–	–	–	–	–	19.4	19.4
	Ⅰ F16～18d ～ l	1244	19.1	17.2	–	36.3	–	–	–	–	–	82.8	82.8	119.1
	Ⅰ F16e	1248	–	10.8	–	10.8	32.4	–	–	–	–	–	32.4	43.2
	Ⅰ F16g	1249	–	–	–	0.0	–	106.3	–	–	–	1118.5	1224.8	1224.8
	Ⅰ F16i	1250	–	–	–	0.0	–	287.4	–	–	–	–	287.4	287.4
	Ⅰ F16p	1251	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	16.4	16.4	16.4
	Ⅰ F17a	1254	–	12.6	–	12.6	50.8	114.5	–	–	–	–	165.3	177.9
	Ⅰ F17～18a ～ b	1252	–	38.2	–	38.2	–	–	–	–	–	1152.3	1152.3	1190.5
	Ⅰ F17b	1255	29.6	–	–	29.6	162.9	66.9	–	1747.2	–	–	1977.0	2006.6
	Ⅰ F17c	1256	–	–	–	0.0	1091.4	–	8967.1	1310.2	–	1244.9	12613.6	12613.6
	Ⅰ F17～18c	1253	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	29.7	29.7	29.7
	Ⅰ F17d	1257	6.9	53.1	–	60.0	36.0	–	–	–	–	–	36.0	96.0
	Ⅰ F17f	1258	–	–	–	0.0	–	57.4	–	–	–	–	57.4	57.4
	Ⅰ F17g	1259	–	–	–	0.0	–	43.9	–	–	–	–	43.9	43.9
	Ⅰ F17h	1260	–	18.6	–	18.6	–	–	–	–	–	30.8	30.8	49.4
	Ⅰ F17k	1261	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	44.5	44.5	44.5
	Ⅰ F17m	1262	9.3	8.9	–	18.2	–	–	–	–	–	–	0.0	18.2
	Ⅰ F17o	1263	30.3	–	–	30.3	–	8.9	–	–	–	–	8.9	39.2
	Ⅰ F17p	1264	13.8	–	–	13.8	145.7	619.4	–	–	–	12.1	777.2	791.0
	Ⅰ F18a	1267	23.5	–	–	23.5	813.6	3426.1	–	–	–	925.9	5165.6	5189.1
	Ⅰ F18b	1268	319.6	68.6	–	388.2	228.9	1148.8	–	–	–	2110.0	3487.7	3875.9
	Ⅰ F18c	1269	3.8	29.6	–	33.4	296.7	–	–	–	–	2289.6	2586.3	2619.7
	Ⅰ F18～19c	1265	–	101.2	–	101.2	14.1	–	–	–	–	–	14.1	115.3
	Ⅰ F18d	1270	23.3	–	–	23.3	–	85.7	–	–	–	–	85.7	109.0
	Ⅰ F18e	1271	–	22.5	–	22.5	–	–	–	–	792.9	–	792.9	815.4
	Ⅰ F18e ～ f	1272	–	–	–	0.0	–	160.6	–	–	–	–	160.6	160.6
	Ⅰ F18f	1273	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	145.7	145.7	145.7
	Ⅰ F18g	1274	–	–	–	0.0	647.3	–	–	–	–	–	647.3	647.3
	Ⅰ F18h	1275	2.6	–	–	2.6	387.0	372.4	–	–	–	–	759.4	762.0
	Ⅰ F18i	1276	5.4	27.3	–	32.7	414.0	–	–	–	–	–	414.0	446.7
	Ⅰ F18k ～ l	1277	–	–	–	0.0	–	67.9	–	–	–	–	67.9	67.9
	Ⅰ F18l	1278	–	–	–	0.0	–	86.6	–	–	–	–	86.6	86.6
	Ⅰ F18m	1279	–	–	–	0.0	–	61.2	–	–	–	–	61.2	61.2
	Ⅰ F18～19m	1266	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	313.3	313.3	313.3
	Ⅰ F18q	1280	335.5	185.1	–	520.6	–	309.1	–	–	–	117.4	426.5	947.1
	Ⅰ F18r	1281	458.1	233.9	–	692.0	–	197.9	–	–	–	336.7	534.6	1226.6
	Ⅰ F18s	1282	65.1	87.8	–	152.9	41.4	472.5	–	–	–	1131.0	1644.9	1797.8
	Ⅰ F18t	1283	433.5	–	–	433.5	–	–	–	–	–	994.0	994.0	1427.5
	Ⅰ F19a	1284	144.6	196.3	–	340.9	31.7	336.6	11370.3	4395.7	–	10913.4	27047.7	27388.6
	Ⅰ F19a ～ b	1285	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	796.0	796.0	796.0
	Ⅰ F19a ～ c	1286	–	–	–	0.0	–	–	–	–	–	76.7	76.7	76.7
	Ⅰ F19b	1287	42.6	–	–	42.6	609.5	258.7	6561.0	3269.2	323.2	6144.4	17166.0	17208.6
	Ⅰ F19c	1288	–	–	–	0.0	46.9	1898.4	401.6	–	–	–	2346.9	2346.9
	Ⅰ F19d	1289	–	–	–	0.0	100.9	103.5	–	–	34.1	–	238.5	238.5
	Ⅰ F19e	1290	6.2	17.0	–	23.2	–	259.7	–	–	–	171.6	431.3	454.5
	Ⅰ F19f	1291	34.1	19.6	–	53.7	–	–	–	157.9	53.4	401.2	612.5	666.2
	Ⅰ F19g	1292	369.9	–	–	369.9	–	1023.6	–	1450.8	231.3	2053.1	4758.8	5128.7
	Ⅰ F19h	1293	19.6	6.1	–	25.7	1179.4	3004.8	–	1357.1	522.1	286.0	6349.4	6375.1
	Ⅰ F19h ～ i	1294	–	–	–	0.0	–	313.2	–	–	–	–	313.2	313.2

第18表　出土地点別土器類重量集計（10）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅰ F19i	1295	4.9	−	−	4.9	282.5	227.2	−	−	−	182.1	691.8	696.7
（包含層）	Ⅰ F19j	1296	5.6	−	−	5.6	−	14.2	−	39.1	22.7	−	76.0	81.6
	Ⅰ F19l	1297	2017.3	69.8	−	2087.1	−	392.1	−	−	−	−	392.1	2479.2
	Ⅰ F19m	1298	397.6	16.3	−	413.9	−	37.2	−	−	−	154.5	191.7	605.6
	Ⅰ F19n	1299	−	17.7	−	17.7	−	48.3	−	−	−	−	48.3	66.0
	Ⅰ F19o	1300	165.7	101.0	−	266.7	−	−	−	−	−	96.5	96.5	363.2
	Ⅰ F19p	1301	17.7	−	−	17.7	−	6.0	−	−	−	−	6.0	23.7
	Ⅰ F19q	1302	369.9	394.8	−	764.7	−	−	−	−	−	352.0	352.0	1116.7
	Ⅰ F19r	1303	670.7	177.3	−	848.0	−	1524.1	−	−	−	1749.8	3273.9	4121.9
	Ⅰ F19s	1304	253.7	175.7	−	429.4	−	1052.7	−	−	−	23.1	1075.8	1505.2
	Ⅰ F19t	1305	169.3	17.9	−	187.2	−	−	−	−	−	828.8	828.8	1016.0
	Ⅰ F20a	1306	682.1	44.4	−	726.5	1207.0	1993.6	35305.4	9980.0	10904.2	20356.9	79747.1	80473.6
	Ⅰ F20b	1307	139.9	96.2	−	236.1	3816.5	6075.9	6465.8	13148.5	15732.2	6398.0	51636.9	51873.0
	Ⅰ F20c	1308	364.6	58.4	−	423.0	9669.5	−	38167.8	13228.1	7254.7	74.3	68394.4	68817.4
	Ⅰ F20d	1309	58.8	28.7	−	87.5	90.5	−	−	−	40.2	570.5	701.2	788.7
	Ⅰ F20f	1311	501.1	31.2	−	532.3	−	87.2	−	−	−	617.2	704.4	1236.7
	Ⅰ F20g	1312	464.1	52.8	−	516.9	−	545.0	−	−	138.5	3186.1	3869.6	4386.5
	Ⅰ F20h	1313	42.5	68.1	−	110.6	−	918.7	−	934.9	479.9	−	2333.5	2444.1
	Ⅰ F20i	1314	79.4	1.6	−	81.0	−	575.1	175.3	724.4	37.7	14.1	1526.6	1607.6
	Ⅰ F20j	1315	194.1	−	−	194.1	−	235.5	−	848.6	711.5	−	1795.6	1989.7
	Ⅰ F20k	1316	239.3	31.6	−	270.9	−	499.9	534.9	854.4	1108.3	−	2997.5	3268.4
	Ⅰ F20l	1317	368.5	101.1	−	469.6	−	895.6	94.3	607.9	169.8	−	1767.6	2237.2
	Ⅰ F20m	1318	259.5	21.8	−	281.3	−	53.3	−	−	47.8	13.9	115.0	396.3
	Ⅰ F20o	1319	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	42.8	42.8	42.8
	Ⅰ F20p	1320	3.9	−	−	3.9	−	20.7	−	−	−	26.3	47.0	50.9
	Ⅰ F20q	1321	42.7	−	−	42.7	−	−	−	−	−	−	0.0	42.7
	Ⅰ F20r	1322	313.3	20.5	−	333.8	−	305.1	−	−	−	329.4	634.5	968.3
	Ⅰ F20s	1323	65.4	3.3	−	68.7	−	100.3	−	−	−	−	100.3	169.0
	Ⅰ F20t	1324	947.5	13.9	−	961.4	−	−	1022.3	−	−	408.5	1430.8	2392.2
	Ⅰ F	1240	181.6	258.7	−	440.3	−	−	1459.0	−	109.7	1187.9	2756.6	3196.9
	Ⅱ F1a	1341	227.2	26.3	−	253.5	44.5	−	33139.1	2139.4	18677.3	12027.0	66027.3	66280.8
	Ⅱ F1a ～ b	1342	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	901.6	901.6	901.6
	Ⅱ F1b	1343	330.9	81.5	−	412.4	1889.5	11244.4	47657.7	8760.4	27676.0	11479.0	108707.0	109119.4
	Ⅱ F1～2b	1339	4.2	−	−	4.2	−	2313.2	−	−	−	882.7	3195.9	3200.1
	Ⅱ F1c	1344	800.3	−	−	800.3	7155.3	3579.5	21359.2	13259.1	1176.7	−	46529.8	47330.1
	Ⅱ F1d	1345	4.5	22.5	−	27.0	472.3	5650.1	−	−	−	88.9	6211.3	6238.3
	Ⅱ F1e	1346	60.8	66.4	−	127.2	266.9	754.0	−	−	−	1184.6	2205.5	2332.7
	Ⅱ F1e ～ f	1347	−	−	−	0.0	−	885.4	−	−	−	−	885.4	885.4
	Ⅱ F1f	1348	190.9	53.4	−	244.3	−	971.9	−	−	−	1725.5	2697.4	2941.7
	Ⅱ F1g	1349	10.4	28.7	−	39.1	−	2164.8	−	−	−	4049.2	6214.0	6253.1
	Ⅱ F1h	1350	243.9	56.3	−	300.2	−	5243.8	−	−	480.5	2753.7	8478.0	8778.2
	Ⅱ F1i	1351	94.6	55.1	−	149.7	−	5199.3	−	1231.7	562.7	−	6993.7	7143.4
	Ⅱ F1～2i	1340	13.3	−	−	13.3	−	−	−	−	−	5290.8	5290.8	5304.1
	Ⅱ F1i ～2j	1352	59.7	−	−	59.7	−	−	−	−	−	7969.1	7969.1	8028.8
	Ⅱ F1j	1353	32.0	−	−	32.0	−	3367.0	−	101.9	620.6	−	4089.5	4121.5
	Ⅱ F1k	1354	46.8	1.6	−	48.4	−	373.2	−	488.9	156.3	−	1018.4	1066.8
	Ⅱ F1l	1355	233.1	9.8	−	242.9	−	259.7	−	122.0	−	−	381.7	624.6
	Ⅱ F1m	1356	118.7	14.6	−	133.3	−	56.6	−	−	18.0	−	74.6	207.9
	Ⅱ F1n	1357	659.3	55.3	−	714.6	−	225.7	−	−	−	−	225.7	940.3
	Ⅱ F1p	1358	25.2	−	−	25.2	−	570.6	−	−	−	42.9	613.5	638.7
	Ⅱ F1r	1359	9.6	185.3	−	194.9	−	−	−	−	−	−	0.0	194.9
	Ⅱ F1s	1360	−	25.6	−	25.6	43.3	−	−	−	−	51.4	94.7	120.3
	Ⅱ F1t	1361	221.5	1.4	−	222.9	−	−	−	−	−	249.9	249.9	472.8
	Ⅱ F2a	1363	253.4	7.9	−	261.3	34.6	1600.0	26350.0	5440.0	9960.0	8885.0	52269.6	52530.9
	Ⅱ F2a ～ b	1364	−	−	−	0.0	−	−	1510.0	−	−	−	1510.0	1510.0
	Ⅱ F2b	1365	147.4	83.3	−	230.7	1919.9	20120.7	55111.5	9845.3	6600.2	3215.2	96812.8	97043.5
	Ⅱ F2c	1366	35.2	1.6	−	36.8	8712.3	2264.7	21790.0	7203.4	2437.5	1500.0	43907.9	43944.7
	Ⅱ F2d	1367	305.4	38.6	−	344.0	16.7	10430.0	−	−	−	1891.6	12338.3	12682.3
	Ⅱ F2d ～ e	1368	23.6	−	−	23.6	−	−	−	−	−	1314.8	1314.8	1338.4
	Ⅱ F2e	1369	161.3	56.4	−	217.7	−	4010.0	−	−	−	1785.0	5795.0	6012.7
	Ⅱ F2f	1370	207.9	37.7	−	245.6	−	693.9	−	−	−	807.7	1501.6	1747.2
	Ⅱ F2g	1371	69.6	48.4	−	118.0	−	745.1	−	−	−	−	745.1	863.1
	Ⅱ F2～3g	1362	27.7	−	−	27.7	−	−	−	−	−	−	0.0	27.7
	Ⅱ F2h	1372	359.3	49.3	−	408.6	−	4347.7	−	−	−	−	4347.7	4756.3
	Ⅱ F2i	1373	444.2	386.4	−	830.6	−	7516.3	−	−	−	−	7516.3	8346.9
	Ⅱ F2j	1374	7.5	141.8	−	149.3	−	2424.4	−	695.7	160.8	248.2	3529.1	3678.4
	Ⅱ F2k	1375	19.0	21.2	−	40.2	−	1013.9	−	98.1	371.0	−	1483.0	1523.2
	Ⅱ F2l	1376	143.9	8.9	−	152.8	−	259.6	−	−	−	−	259.6	412.4
	Ⅱ F2m	1377	37.7	20.4	−	58.1	−	23.5	−	−	−	−	23.5	81.6
	Ⅱ F2n	1378	−	−	−	0.0	−	32.8	−	−	−	−	32.8	32.8
	Ⅱ F2o	1379	137.9	−	−	137.9	−	−	1482.5	−	−	−	1482.5	1620.4
	Ⅱ F2p	1380	−	4.6	−	4.6	−	−	−	−	−	−	0.0	4.6
	Ⅱ F2q	1381	15.6	−	−	15.6	−	−	−	−	−	−	0.0	15.6
	Ⅱ F2t	1382	32.5	−	−	32.5	−	−	−	−	−	66.5	66.5	99.0
	Ⅱ F3d	1384	59.9	−	−	59.9	−	1654.2	−	−	−	304.9	1959.1	2019.0
	Ⅱ F3e	1385	13.8	8.2	−	22.0	−	1181.0	−	−	−	185.9	1366.9	1388.9
	Ⅱ F3f	1386	−	3.3	−	3.3	−	620.7	−	−	−	21.6	642.3	645.6
	Ⅱ F3g	1387	40.0	9.7	−	49.7	−	617.8	−	−	−	−	617.8	667.5
	Ⅱ F3g ～ h	1388	−	427.8	−	427.8	−	−	−	−	−	−	0.0	427.8
	Ⅱ F3h	1389	46.8	−	−	46.8	−	1807.1	−	−	−	−	1807.1	1853.9
	Ⅱ F3i	1390	6.6	6.0	−	12.6	−	426.9	−	−	851.2	−	1278.1	1290.7
	Ⅱ F3j	1391	27.2	−	−	27.2	−	3807.8	−	−	−	−	3807.8	3835.0
	Ⅱ F3k	1392	194.3	11.4	−	205.7	−	5956.6	−	−	−	−	5956.6	6162.3
	Ⅱ F3l	1393	111.2	31.4	−	142.6	−	2286.7	−	−	−	916.0	3202.7	3345.3
	Ⅱ F3m	1394	14.9	19.6	−	34.5	−	200.6	−	−	−	163.2	363.8	398.3
	Ⅱ F3n	1395	11.4	−	−	11.4	−	134.7	−	−	−	218.0	352.7	364.1
	Ⅱ F3n ～ o	1396	−	−	−	0.0	−	824.0	−	−	−	−	824.0	824.0
	Ⅱ F3o	1397	−	−	−	0.0	−	433.2	−	−	−	−	433.2	433.2
	Ⅱ F3～4o	1383	−	−	−	0.0	−	−	−	−	368.9	−	368.9	368.9
	Ⅱ F3p	1398	17.5	−	−	17.5	−	−	−	−	−	−	0.0	17.5
	Ⅱ F3q	1399	130.8	−	−	130.8	−	−	−	−	−	−	0.0	130.8
	Ⅱ F3r	1400	9.7	−	−	9.7	−	−	−	−	−	−	0.0	9.7
	Ⅱ F3s	1401	97.9	53.7	−	151.6	−	17.5	−	−	−	−	17.5	169.1
	Ⅱ F3t	1402	100.1	8.0	−	108.1	−	−	−	−	−	−	0.0	108.1
	Ⅱ F4h	1403	−	55.2	−	55.2	−	20.7	−	−	−	−	20.7	75.9
	Ⅱ F4k	1404	31.4	11.4	−	42.8	−	1092.9	−	−	−	464.9	1557.8	1600.6
	Ⅱ F4l	1405	13.7	18.4	−	32.1	−	597.3	−	−	−	338.2	935.5	967.6

第18表　出土地点別土器類重量集計（11）

遺構種類	遺構名・グリッド	取上No.	土師器	須恵器	古代土器	古代合計	縄文Ⅲ層	縄文Ⅳ層	縄文Ⅳa層	縄文Ⅳb層	縄文Ⅳc層	その他	縄文合計	土器合計
遺構外	Ⅱ F4m	1406	8.2	−	−	8.2	−	199.0	−	−	−	−	199.0	207.2
（包含層）	Ⅱ F4n	1407	−	−	−	0.0	−	22.6	−	−	−	98.9	121.5	121.5
	Ⅱ F4q	1408	11.1	−	−	11.1	−	11.7	−	−	−	−	11.7	22.8
	Ⅱ F4r	1409	84.8	−	−	84.8	−	−	−	−	47.4	−	47.4	132.2
	Ⅱ F4s	1410	131.4	530.3	−	661.7	−	18.1	−	−	−	−	18.1	679.8
	Ⅱ F4t	1411	680.9	444.8	−	1125.7	−	−	−	−	−	−	0.0	1125.7
	Ⅱ F5r	1412	−	2.7	−	2.7	−	110.8	−	−	−	−	110.8	113.5
	Ⅱ F5s	1413	8.3	−	−	8.3	−	41.0	−	−	−	−	41.0	49.3
	Ⅱ F5t	1414	34.5	48.6	−	83.1	−	25.8	−	−	−	−	25.8	108.9
	Ⅱ F	1338	33.5	−	5558.4	5591.9	−	−	−	−	−	−	14141.4	19733.3
	Ⅰ E ～ Ⅱ F	578	−	−	−	11810.6	−	−	−	−	−	−	39579.1	51389.7
	Ⅰ G18a	1325	92.4	−	−	92.4	−	−	−	−	−	−	0.0	92.4
	Ⅰ G19a	1326	58.3	−	−	58.3	−	−	−	−	−	−	0.0	58.3
	Ⅰ G20a	1327	497.9	1278.5	−	1776.4	51.4	33.1	−	−	−	571.5	656.0	2432.4
	Ⅰ G20a ～ Ⅱ G1a	1328	−	33.0	−	33.0	−	−	−	−	−	−	0.0	33.0
	Ⅰ G20o	1329	27.0	−	−	27.0	−	−	−	−	−	69.0	69.0	96.0
	Ⅱ G1a	1422	195.8	10.7	−	206.5	61.6	−	−	−	−	186.2	247.8	454.3
	Ⅱ G1b	1423	124.9	117.3	−	242.2	−	−	−	−	−	74.5	74.5	316.7
	Ⅱ G1～2b	1416	178.5	38.8	−	217.3	−	−	−	−	−	134.0	134.0	351.3
	Ⅱ G1c	1424	220.4	27.7	−	248.1	−	−	−	−	−	−	0.0	248.1
	Ⅱ G2a	1425	120.4	15.9	−	136.3	−	−	−	−	−	153.3	153.3	289.6
	Ⅱ G2b	1426	268.8	−	−	268.8	−	−	−	−	−	10.4	10.4	279.2
	Ⅱ G2c	1427	512.1	154.4	−	666.5	−	−	−	−	−	48.6	48.6	715.1
	Ⅱ G2d	1428	22.2	−	−	22.2	−	−	−	−	−	−	0.0	22.2
	Ⅱ G2e	1429	41.8	−	−	41.8	−	−	−	−	−	15.8	15.8	57.6
	Ⅱ G2f	1430	61.5	8.8	−	70.3	−	−	−	−	−	−	0.0	70.3
	Ⅱ G2q	1431	−	12.0	−	12.0	−	−	−	−	−	−	0.0	12.0
	Ⅱ G3a	1432	762.1	248.1	−	1010.2	−	−	−	−	−	126.6	126.6	1136.8
	Ⅱ G3b	1433	182.2	−	−	182.2	−	62.2	−	−	−	243.1	305.3	487.5
	Ⅱ G3c	1434	71.5	6.3	−	77.8	−	−	−	−	−	328.4	328.4	406.2
	Ⅱ G3d	1435	109.2	55.9	−	165.1	−	−	−	−	−	−	0.0	165.1
	Ⅱ G3e	1436	210.2	362.8	−	573.0	−	−	−	−	−	−	0.0	573.0
	Ⅱ G3f	1437	104.9	30.2	−	135.1	−	−	−	−	−	3.7	3.7	138.8
	Ⅱ G3g	1438	198.7	−	−	198.7	−	−	−	−	−	11.1	11.1	209.8
	Ⅱ G4a	1439	129.4	−	−	129.4	−	−	−	−	−	61.0	61.0	190.4
	Ⅱ G4b	1440	39.1	−	−	39.1	−	−	−	−	−	58.3	58.3	97.4
	Ⅱ G4c	1441	527.6	1056.7	−	1584.3	−	−	−	−	−	375.1	375.1	1959.4
	Ⅱ G4d	1442	3.0	−	−	3.0	−	−	−	−	−	−	0.0	3.0
	Ⅱ G4e	1443	441.6	184.3	−	625.9	−	−	−	−	−	−	0.0	625.9
	Ⅱ G4f	1444	28.4	28.3	−	56.7	−	−	−	−	−	−	0.0	56.7
	Ⅱ G5c	1445	−	6.3	−	6.3	−	−	−	−	−	32.2	32.2	38.5
	Ⅱ G5d	1446	276.6	313.7	−	590.3	−	−	−	−	−	−	0.0	590.3
	Ⅱ G5h	1447	348.1	152.4	−	500.5	−	−	−	−	−	8.8	8.8	509.3
	Ⅱ G5h ～ i	1448	398.3	65.6	−	463.9	−	15.1	−	−	−	−	15.1	479.0
	Ⅱ G5i	1449	60.5	−	−	60.5	−	−	−	−	−	−	0.0	60.5
	Ⅱ G5j	1450	13.0	−	−	13.0	−	−	−	−	−	−	0.0	13.0
	Ⅱ G6c	1451	412.6	298.3	−	710.9	−	−	−	−	−	109.4	109.4	820.3
	Ⅱ G6d	1452	167.0	80.8	−	247.8	−	−	−	−	−	83.6	83.6	331.4
	Ⅱ G6f	1453	102.9	41.4	−	144.3	−	−	−	−	−	−	0.0	144.3
	Ⅱ G6g	1454	1486.6	299.6	−	1786.2	−	−	−	−	−	382.1	382.1	2168.3
	Ⅱ G6h	1455	890.8	291.5	−	1182.3	−	−	−	−	−	29.3	29.3	1211.6
	Ⅱ G6i	1456	1839.1	568.0	−	2407.1	−	−	−	−	−	525.0	525.0	2932.1
	Ⅱ G6j	1457	303.8	92.8	−	396.6	−	−	−	−	−	249.2	249.2	645.8
	Ⅱ G6k	1458	437.8	−	−	437.8	−	−	−	−	−	−	0.0	437.8
	Ⅱ G6l	1459	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	209.2	209.2	209.2
	Ⅱ G7g	1461	74.8	11.6	−	86.4	−	−	−	−	−	−	0.0	86.4
	Ⅱ G7h	1462	351.9	1105.4	−	1457.3	−	−	−	−	−	−	0.0	1457.3
	Ⅱ G7i	1463	3017.4	74.5	−	3091.9	−	−	−	−	−	1221.9	1221.9	4313.8
	Ⅱ G7i ～ j	1464	943.9	186.1	−	1130.0	−	−	−	−	−	139.4	139.4	1269.4
	Ⅱ G7j	1465	1015.5	80.0	−	1095.5	−	−	−	−	−	31.4	31.4	1126.9
	Ⅱ G7～8j	1460	662.6	−	−	662.6	−	−	−	−	−	18.8	18.8	681.4
	Ⅱ G7k	1466	373.5	35.6	−	409.1	−	−	−	−	−	−	0.0	409.1
	Ⅱ G7l	1467	56.1	9.4	−	65.5	−	−	−	−	−	−	0.0	65.5
	Ⅱ G7m	1468	19.4	−	−	19.4	−	−	−	−	−	−	0.0	19.4
	Ⅱ G8i	1469	200.9	−	−	200.9	−	−	−	−	−	618.6	618.6	819.5
	Ⅱ G8j	1470	759.8	−	−	759.8	−	−	−	−	−	−	0.0	759.8
	Ⅱ G8k	1471	229.6	6.4	−	236.0	−	−	−	−	−	−	0.0	236.0
	Ⅱ G9p	1472	10.9	−	−	10.9	−	−	−	−	−	−	0.0	10.9
	Ⅱ G9r	1473	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	21.4	21.4	21.4
	Ⅱ G9t	1474	116.1	34.6	−	150.7	−	−	−	−	−	−	0.0	150.7
	Ⅱ G10p	1417	3.3	−	−	3.3	−	−	−	−	−	−	0.0	3.3
	Ⅱ G10q	1418	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	63.4	63.4	63.4
	Ⅱ G10r	1419	75.2	62.8	−	138.0	−	−	−	−	−	6.3	6.3	144.3
	Ⅱ G10s	1420	24.5	−	−	24.5	−	−	−	−	−	−	0.0	24.5
	Ⅱ G10t	1421	398.7	232.1	−	630.8	−	−	−	−	−	120.8	120.8	751.6
	Ⅱ G	1415	356.2	19.1	−	375.3	−	127.1	−	−	−	29.1	156.2	531.5
	Ⅱ H10a	1475	801.0	579.9	−	1380.9	−	−	−	−	−	−	0.0	1380.9
	A区	121	−	−	−	236.5	−	−	−	−	−	−	5688.6	5925.1
	B区	585	−	−	−	4010.9	−	−	−	−	−	−	2632.6	6643.5
	BC区	586	−	−	−	736.0	−	−	−	−	−	−	1827.0	2563.0
	BC区	588	−	−	−	1012.6	−	−	−	−	−	−	2085.0	3097.6
	C区	587	−	−	−	16604.0	−	−	−	−	−	−	8213.7	24817.7
	D区南	1477	3122.4	1339.1	−	4461.5	887.1	5475.1	−	−	−	5539.5	11901.7	16363.2
	D区北	1478	2261.4	978.8	−	3240.2	−	−	−	−	−	21064.6	21064.6	24304.8
	D区	1476	1468.9	573.6	3663.0	5705.5	−	2036.0	−	−	1018.6	5674.4	8729.0	14434.5
	DE区境	1479	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	220.7	220.7	220.7
	E区南	1481	5931.3	2314.9	−	8246.2	−	−	−	−	969.5	4249.1	5218.6	13464.8
	E区北	1482	3397.4	1480.2	−	4877.6	−	67.5	−	−	−	404.1	471.6	5349.2
	E区	1480	4119.4	554.6	−	4674.0	−	98.4	−	−	−	141.0	239.4	4913.4
	F区1次	1483	2668.4	714.2	−	3382.6	−	−	−	−	−	4.4	4.4	3387.0
	F区2次	1484	11934.6	5309.0	−	17243.6	−	−	−	−	−	1568.9	1568.9	18812.5
	D ～ F区	1486	455.3	143.6	−	598.9	−	−	−	−	−	3275.2	3275.2	3874.1
	調査区外	590	−	−	−	209.0	−	−	−	−	−	−	116.2	325.2
	出土地点不明	1485	−	−	−	0.0	−	−	−	−	−	478.6	478.6	478.6
	出土量　総計		413561.9	143934.7		1192029.8							1733390.2	2925420.0

3　遺　　物

（1）　縄文・弥生土器（遺物図版１～72　写真図版181～233）

①　概要

今回の調査で出土した縄文・弥生土器の主体は、縄文時代晩期後葉～弥生時代中期にかけての土器群である。その多くはD区包含層出土であり、縄文・弥生移行期の土器が最も多いことから両者を区別せず一括して記載する。他には主に調査区南半を中心として縄文時代中期から弥生時代後期にかけての土器群の出土が見られる。

縄文･弥生土器は重量では1,700kgを超す数値が得られており（第18表）､土師器･須恵器の合計約1,200kgよりも多い。このうち８割を超える1,400kg余りがD区包含層を主とした遺構外出土である。

掲載資料の選択にあたっては、全体像を知り得るもの、型式学的な特徴を捉え得るものを中心とした｡特に縄文中期～晩期中葉の土器については､時期の判定が可能な個体は極力掲載資料とした｡一方、主体を占める縄文晩期後葉～弥生中期については、同一遺構内、もしくは同一グリッド・同一層位内から、同じ特徴を持つ資料が複数もしくは多数出土しているケースが多々見られた。このような場合には作業の工程上､掲載資料を相当絞り込まざるを得なかった｡図化掲載した資料は合計894点である。

図版掲載は出土地点順（遺構記載順→包含層含む遺構外）としており、遺構外出土土器の中ではD区包含層出土分も含め大グリッド順の配列（大グリッドⅠA→ⅡG)、同一大グリッド内は小グリッドの南北方向順（1a→1b→…20s→20t）とした。同一小グリッド内は出土層位の下位から上位へと配列した（Ⅳc層→Ⅳb層→…Ⅱ層)。

②　縄文時代中期～晩期中葉の土器

a　縄文時代中期

Ａ区のSI03住居跡から大木8b式前半段階の一括資料が得られている（a5･6･7･8)。a6･8に見られる、縄文施文後に２～３条１組の沈線がやや直線的な構図で施文される文様構成、垂下する蛇行沈線等の要素は大木8b式古相段階の特徴を備えると考えられる。

同じくＡ区SI05住居跡では大木10式後半段階の土器が出土する（a10・11)。両者とも全体の文様構成は不明だが、比較的浅く細い沈線により施文されるＪ字状の無文部、円形区画内の刺突充填手法等が特徴となる。他に大木10式土器は、SI05住居跡に隣接するⅠB19m･nグリッドⅣ～Ⅴ層、Ｃ区南側に位置するⅠD20n～ⅡD1nグリッド（両グリッドは接する）Ⅳ～Ⅴ層でまとまって出土する。a273等は無文部内に曲線的な縄文充填文様が展開し、SI05住居跡出土土器より遡る大木10式前半に比定されるものが含まれている。

b　縄文時代後期

中期同様に散発的な出土がある。Ｂ区～Ｃ区にかけての調査区南半に多いが明確なまとまりは見出せない。a17は帯状の入組文に縄文を充填する後期前葉後半段階の壺形土器。a223は小型の壺胴部に１本の沈線で曲線的な図形が描かれる。後期前葉の中でも末期段階に位置づけられる。a275は大波状口縁推定５単位の後期中葉鉢形土器。a453の胴部に充填縄文文様を施文する壺も同一段階と考えられる。水平にやや微隆起線気味の沈線が複数巡るa877の注口土器は後期後葉初期段階、胴部無文のa230注口土器はやや下る段階と見られる。

c　縄文時代晩期前葉～中葉

後期と同様に数量は少ない。その中でもＡ区を中心とした調査区南半に多く、次段階に包含層が形成されるＤ区ではa846の１点のみの出土である。晩期前葉に属する大洞Ｂ式・ＢＣ式ではa74・155・165・186・187・194・226・266が該当する。鉢、深鉢形の口縁部に三叉文、入組文が施される。a187は省略された口縁部文様の土器で色調も他と比較し明色で異なるが、口縁部の連続する突起装飾は比較的整った作りとなっている。晩期中葉大洞C_1式・C_2式ではa1・2・72・73・163・184・185・189～192・846が該当すると考えられる。SI01住居跡出土のa1・2は細片だが大洞Ｃ2式の鉢形土器で、本住居跡の時期を示す資料となる。a189～192はSI02住居跡と重複するⅡB6k～lグリッドⅣ層相当出土土器で、大洞C_2式土器がややまとまった出土となっている。SI02では炉埋設土器a4の深鉢下半がある。時期を絞り難い資料だが大洞C_2式～Ａ式段階の可能性が高い。

③　縄文時代晩期後葉～弥生時代中期の土器

今回の調査出土土器を瞥見する限りでは、大洞Ａ式以降、弥生時代中期後半までほぼ間段なく継続する状態と見られる。記載にあたり該期の土器編年研究成果（石川2005、金子2007・2008、佐藤・伊藤1992、品川2003・2005、須藤1983・1998、高瀬2000等）を参照し、型式学的なまとまりを捉えることを主眼に分類を行った。

分類は北上市金附遺跡の同時代土器を対象に設定された土器分類案（岩手県埋文2006、金子2007）に準拠している。金附遺跡は千苅遺跡から南に直線距離で７㎞の位置にあり、自然堤防上に立地する集落遺跡である。調査では遺物包含層「ST01捨て場」の分析から、層位的裏付けをもって土器の変遷が捉えられている。ここでは、地理的な近さだけではなく存続期間や立地の類似性等も考慮し、金附遺跡出土土器分類を準用し以下のように分類設定する。

なお器種名については､弥生時代における深鉢形の土器のうち､頸部に括れを持つ一群について「甕」とする用法が通例となっているが、頸部がごく短く外反するもの等、両者の区別が微妙なものが含まれることを踏まえここでは「深鉢」に統一した。地文のみが施文された深鉢等で分類の確定が困難なものについては、「Ⅰ～Ⅱ群」等の表現を使用している。またやむを得ない措置ではあったが、室内整理工程の都合上、資料の分類は掲載土器の選抜、図版作成後の作業となっており、多量に発生した不掲載資料を含めての出土土器の全体像を正確には提示し得ない状態である。ただし、分類単位の層位的な出土状況については、掲載土器に限定した分析であっても大凡の傾向をほぼ把握可能であると判断している。

a　第Ⅰ群（金附第Ⅰ群相当）大洞Ａ式段階

金附遺跡ではａ類：大洞C_2式段階、ｂ類：大洞A_1式段階、ｃ類：大洞A_2式段階と区分されているが、本報告では大洞C_2式を除き、大洞Ａ式土器を一括しⅠ群とする。工字文、匹字文を特徴とし、合計65点を数える。良好な一括資料として、SI38住居跡、SN19焼土遺構、SU01遺物集中遺構がある。

SU01遺物集中遺構４層出土土器群ではa79を除き、典型的な匹字文が施文されるものが主体となっており、第Ⅰ群土器でも後半の大洞A_2式段階に相当すると考えられる。粗製の深鉢、鉢では口縁部に数条の沈線が平行して巡るもの（a87・92・97）と無文の口縁部となるもの（a98・99）の両者がある。また口唇部に連続する刻目が施され小波状口縁となるものが多い。台付土器の台部は小型で全面に立体的な匹字文が展開する（a94）。四脚付土器の脚部は短い突起状態である（a84・85・96）。SI38住居跡出土土器は小型の台付土器（a12）台部文様、壺の胴部上半に施文される匹字文（a13・14）から見て第Ⅰ群後半段階と判断される。SN19焼土遺構ではSU01－４層土器と同様の特徴を持つ浅鉢が出土し

ている。SU07遺物集中遺構の台付浅鉢２点（a149・150）は浅い半球状の胴部に平行沈線を巡らす台部が付く。底部内面に円文が施されるのも第Ⅰ群の特徴と捉えられる。

ｂ　第Ⅱ群（金附第Ⅱ群相当）大洞A'式古段階

第Ⅱ群土器は大洞A'式を新旧に２分した場合の古段階に相当し、金附遺跡報文では特徴として、三角形モチーフを主体とした定型的な変形工字文が出現すること、文様帯が狭く変形工字文は立体的であること、変形工字文に付される粘土瘤の表出方法では、彫去技法が残り交差部の余った粘土を左右に寄せ集めて瘤を作るため、粘土瘤が小さいこと、匹字文が残存すること、高坏の台部は小さく、四脚付浅鉢が残ること等が挙げられている（岩手県埋文2006）。ここでも同様の特徴を有する土器群を第Ⅱ群として捉えた。加えて、浅鉢では幅が狭い文様帯に変形工字文が施され、口縁部に低い突起を持つものが多い。突起は二山一組で１単位となるものと、突起頂部が窪み二山状の突起となるものの両者がある。口径が25㎝を超すような大型の浅鉢では、口縁部直下に狭い無文帯と変形工字文、匹字文が施された文様帯が巡り、胴部には地文縄文が施されるものが多い（a519・524・545・600・641）。また、小型の浅鉢で主体となる器形は、上部で内湾、もしくは屈曲する器形を取るものだが、この他に直線的に外傾し底径と口径の差が小さい一群がある（a289・346・496・517他）。胴部は無文帯となり底部直上に沈線が巡るものが含まれる。四脚付土器は底面に脚部の裾を結ぶ沈線が加わる。大型の壺は肩が張る倒卵形の胴部に比較的広く低い頸部がつき、口縁部に粘土瘤や刻みを持つ隆帯が一周する。地文のみの深鉢、鉢では第Ⅰ群同様に口縁部に連続して押圧が施され、小波状口縁を呈するものが大部分と見られる。立体的な突起頂部の装飾が残存する（a477・500・606他）。

第Ⅱ群土器はＤ区包含層中央部のⅠE20t・ⅡE1t・ⅠF20a・ⅠF20b・ⅠF20c・ⅡF1a・ⅡF1b・ⅡF2a・ⅡF2bグリッドを中心とした区域のⅣｃ層から良好な一括資料が得られる。この他のグリッドでも第Ⅱ群土器はⅣｃ層を中心に出土する。

ｃ　第Ⅲ群１類（金附第Ⅲ群１類相当）大洞A'式新段階・青木畑式古段階

大洞A'式新段階、青木畑式古段階に相当する。金附遺跡報文では第Ⅱ群土器との差について、変形工字文の多段化、斜線の平行沈線構成・弧線化が顕著になること、口縁部突起の発達と台部の大型化が最大の特徴として挙げられており、加えて、主要な文様は交差部に瘤を持つ変形工字文と瘤を持たない流水文があり、前者の割合多いこと、瘤は粘土粒を別途用意して大型化する傾向が顕著であることが記される。ここでも、変形工字文の瘤の描出手法については、明瞭に判断できるものは土器観察表内に記載している。

第Ⅲ群１類土器は、SN38焼土遺構上面、SU02遺物集中遺構2～6層出土土器に良好な一括資料が得られる。特にSU02ではほぼ完形に復元された高坏、浅鉢、壺、深鉢・甕等からなる。この中ではa109・115～117がより新出の文様要素を備え第Ⅲ群２類に近いと考えられるが、大半は第Ⅲ群１類に該当すると捉えられる。高坏は大波状口縁、平縁が同数程度で、台部には２～３段で多条沈線が水平に巡る。胴部上半が外反して開く器形の高坏（a118・122）は、鉢（a123・124）の器高を変えず径を広げて偏平にした状態である。SU02では全体形状がわかる壺が含まれないが、口縁部文様から本類に含めた壺では、概ね前段階より撫で肩になる傾向が見られる。a436は胴部上半に広く変形工字文が展開し下半は縄文が施文される。胴部無文の壺（a147・225・735等）、胴部縄文の壺（a146・319等）に比較して胴部器形、短く立ち上がる口縁部、口唇直下の隆帯等が共通する。a215は内傾する鉢口縁部としたが球胴形の壺となる可能性も考えられる。深鉢、甕では胴上部に本類の高坏等に共通する変形工字文が施されるものが特定されるが、口縁部無文、胴部縄文のみの土器ではⅢ群～Ⅳ群の判断が難しく明示できないものが大半である。第Ⅱ群と比較して波状口縁の土器が減少し平縁の割合が増えるこ

と、口縁部の長さが増すことが変化の傾向としては捉えられる可能性がある。

本類はD区包含層ではⅣb層～Ⅳc層にまたがって出土しており、第Ⅱ群に比較すると特定の地点でのまとまりは少なくなる傾向がある。その中でもⅠE20sグリッドⅣc層、ⅡF1c・ⅡF2cグリッドⅣb層には集中する部分が見られる。

d　第Ⅲ群２類（金附第Ⅲ群２類相当）青木畑式新段階

狭義の青木畑式に相当し、台付浅鉢の台部の発達が特徴となる段階である。金附遺跡報文によると、高坏の台部には３本沈線による波状文がよく見られること、台部の透かしが施されるものが含まれること、浅鉢では文様帯の拡大傾向と、流水文が主体でありつつも瘤を持つ変形工字文が残存すること等が挙げられる。また、本類では蓋が出現し組成に明確に位置づけられる点が最大の特徴とされる。ただし、明確な文様を持たず縄文のみが施文される蓋が主体であるため、個々の資料について本類に該当するのか、もしくは第Ⅳ群以降に相当するものかについて判断し難く、ここでの特定は適わなかった。高坏台部には水平に巡る平行沈線に加えて、上下の沈線区画間に展開する波状文が顕著に見られ、無文部に透かし彫りを持つもの（a202・864）が含まれる。

D区包含層内での出土傾向は、第Ⅲ群１類同様にⅣa層～Ⅳc層までまたがって出土するものが多く、特定の層には集中しないと見られるが、その中では、１類に比較しⅣa層出土の割合が増加する傾向を指摘できる。中心部のⅡF1b・ⅡF1c・ⅡF2aグリッドⅣa層には、本類の一定程度の集中が得られている。また、SU02出土一括資料のうちa109・115・116・117は、流水状の変形工字文C－１型、C－２型（須藤1983）の特徴から本類に位置づけたものであるが、１類と２類の時期差が小さいことを示す事象かも知れない。

e　第Ⅳ群１類（金附第Ⅳ群１類相当）谷起島式古段階

金附遺跡報文では精製土器の胎土に金雲母の含有が顕著で、土器の表面色調が前段階までの明色から暗色になる等の顕著な変化が認められるとされる。谷起島式古段階（石川2005a、金子2007）に相当し、山王Ⅲ層式の中でも下層の特徴（須藤1983）を備える。精製土器に施文される文様の主体となる変形工字文は、C－１型の反転部が鋭角になるもの（a849他）と、C－２型の丸みを帯びたり角張るもの（a560・568他）の両者が見られ、沈線は細くかつ浅く施文される。金附遺跡での本類は磨消縄文出現以前と捉えられているが、千苅遺跡資料ではa568の高坏台部文様に磨消縄文が用いられており、磨消縄文使用開始の様相を示すと捉えられる。これを含めて、高坏台部文様は、ほぼ平行沈線による波状文に限定されると見られる（a391・472・569他）。鉢では中位で屈曲し長い口縁部が直線的に開く器形のa735がある。括れ部には細い沈線により横長の輪状文様が連続し、流水文の変化した状態の可能性が高い。本類に特定できる壺は少ないが、a205は胴部上半の文様に変形工字文C－２型が使用され、黒褐色の色調とやや細い沈線の特徴から本類と判断した。広口壺のa584は頸部に３本１組の沈線が巡り、胴部は波状文構成を取ると見られる。沈線の断面はやや角張る細いもので、本類の特徴を備えると考えられる。

D区包含層内の出土層位では若干Ⅳb層出土が残存するが大多数はⅣa層出土となっており、Ⅳ群２類土器とは層位的、平面分布ともに明確な差を持たない。ⅠF20cグリッドⅣa層にはa560・568・569・584がまとまる。a678・711・849も隣接グリッドⅣa層出土である。D区包含層内でも北寄りの比較的狭い範囲のⅣa層が主な分布域となっているようである。

f　第Ⅳ群２類（金附第Ⅳ群２類相当）谷起島式中段階～新段階

１類と比較し、王字状の変形工字文C－３型を主要なモチーフとして、基本的には磨消縄文を使用した施文が行われるものを位置づけた。石川（2005a）の谷起島式中～新段階に相当し、金附遺跡報文

では資料数の少なさから２類をa､b類に細分する措置が取られる。千苅遺跡資料の分類にあたっては、谷起島式中段階に相当する資料を１・２類に混在させてしまっている恐れがあるが、断面が丸く太い沈線が施されている点、磨消縄文の区画線となる沈線は基本的に単独で施文され、複数条の平行沈線は口縁部、胴部下端等の水平に巡る箇所に限られる点等の共通性が高く、型式学的な一括性は高いと考えられる。

高坏・浅鉢は平坦口縁の土器が多数で、胴部器形は単純に開くものが多い。浅鉢・鉢には、中位で屈曲して開く底径の広いものが一定数含まれる（a564・736等）。この他に口縁近くで屈曲して先端が大きく開く器形（a623・702）、小型で急角度で立ち上がる器形（a542・755）等のバリエーションがある。高坏台部はⅣ群１類に比較し内湾する筒形で小型化する傾向が指摘できる。壺では胴部に高坏等と同様の文様が下半にかけて展開するもの（a492）、横位に縄文帯が展開する広口壺もしくは鉢（a631・805）の両者が見られる。なお深鉢・甕では前述のように細分の特定が適わず、単純に第Ⅳ群に位置づけたもの、あるいは第Ⅲ～Ⅳ群と幅を広く捉えざるを得なかったものが大半である。

本類ではＤ区包含層内の出土は、ほぼⅣａ層に限定される状態となる。特にⅣ群１類の分布域と重なるⅡF1a・ⅡF1c・ⅡF2aグリッドⅣａ層にはまとまった個体数が見られる。

ｇ　第Ⅴ群１類（金附第Ⅴ群相当）川岸場式段階

石川（2005a・b）で設定された川岸場式に相当する一群である。谷起島式新段階に典型的な王字状の変形工字文から、連弧文を主とするモチーフの磨消縄文に切り替わったと見られる。またより直線的な鋸歯状の連続三角形文様（a671・854等）が出現する。沈線は引き続き幅が広く明瞭に施文される。磨消縄文を構成する沈線に沿った刺突列が施されるもの（a250・514・561・675・874他）は本類に含めたが、モチーフそのものでは第Ⅳ群２類と共通するものがあり（a250・675）、その判断はやや微妙である。高坏台部は直線的に長く伸びる傾向にあり、また貫通孔を２対有するもの（a707・794・795・797）がある。垂下する錨型文様はa280に認められるが、例数は少ない。鉢、浅鉢の器形は高坏と同様に直線的に開くものが主体となるようだが、胴部中位で屈曲し上方がより開くもの（a228・592・671他）も一定数認められる。

Ⅳ群２類と同様にⅣａ層にほぼ限定される。集中するグリッドはⅡF1b・2b・2cグリッドであり、第Ⅳ群以前に比較して分布の中心が北東にずれると見られる。

ｈ　第Ⅴ群２類　橋本式段階

佐藤・伊藤（1992）によって規定された一群で、今回の出土資料では、Ⅴ群１類までと比較して極端に出土数は減少する。器種では２段に外反する鉢（a800・824）、平底で直線的に開く鉢（a728）、小型の壺（a722）、大小の蓋（a19・887）があり、２～３条の平行沈線で鋸歯文、渦巻文等が施されるものを本類と判断した。１類と比較し沈線の幅は細く浅い。磨消縄文手法は減少し、無文部に沈線のみで施文されるものが目立つ。

ｉ　第Ⅴ群３類　枡形式・宇津ノ台式相当

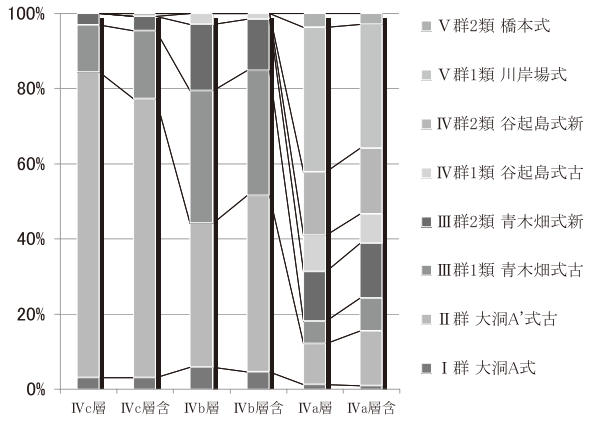
２類と併行ないし後続する異系統土器を３類とした。仙台平野を中心に分布する枡形式と共通するa540・687がある。搬入土器の可能性があるが詳細は検討していない。a197・558・730は横位、縦位に重層する横長の菱形モチーフが、宇津ノ台式（須藤1970）の特徴を備える。

第19表　縄文・弥生土器分類別掲載点数

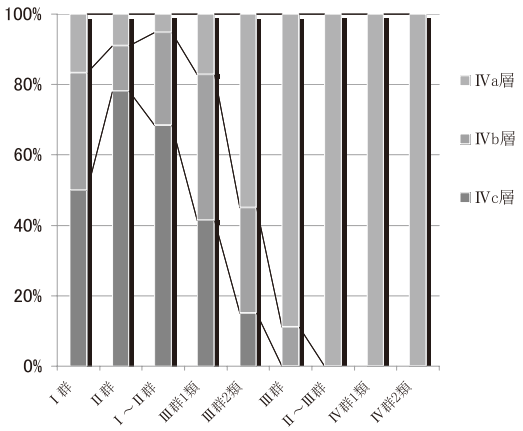
	分類	掲載点数			
大木8b式		4	2（中期）		
大木10式		16			
縄文中期末		2			
縄文後期前葉		2	1（後期）		
縄文後期中葉		5			
縄文後期後葉		2			
大洞B式		6	1（晩期前葉）	7（晩期）	
大洞BC式		3			
大洞C1式		1	2（晩期中葉）		
大洞C2式		12			
大洞A式	Ⅰ群	67	71（Ⅰ～Ⅱ群）	92（Ⅱ～Ⅲ群）	
大洞A'式古段階	Ⅱ群	138			
大洞A'式新段階	Ⅲ群1類	88	34（Ⅲ群）		158（Ⅲ～Ⅳ群）
青木畑式	Ⅲ群2類	44			
谷起島式古段階	Ⅳ群1類	15	14（Ⅳ群）	2（中期）	
谷起島式新段階	Ⅳ群2類	26			
川岸場式	Ⅴ群1類	55			
橋本式	Ⅴ群2類	10			
枡形式	Ⅴ群3類	2			
宇津ノ台式	Ⅴ群3類	3			

第20表　縄文晩期末～弥生中期土器出土傾向

	D区包含層								遺物集中遺構						
	Ⅳc層	Ⅳc層含	Ⅳb層	Ⅳb層含	Ⅳa層	Ⅳa層含	Ⅲ層	Ⅲ層含	SU01	SU02	SU03	SU04	SU05	SU06	SU07
Ⅰ群　大洞A式	3	4	2	3	1	1	3	4	15	1	0	0	1	0	2
Ⅱ群　大洞A'式古	78	98	13	31	9	15	0	8	0	0	0	0	0	0	2
Ⅰ～Ⅱ群	13	15	5	7	1	1	2	3	7	1	0	0	0	0	3
Ⅲ群1類　青木畑式古	12	24	12	22	5	9	1	7	1	15	1	1	0	2	0
Ⅲ群2類　青木畑式新	3	5	6	9	11	15	1	8	0	4	0	0	0	0	0
Ⅲ群	7	10	5	8	2	2	1	4	0	6	1	0	0	0	0
Ⅱ～Ⅲ群	33	43	15	22	3	6	0	5	2	8	0	0	0	0	0
Ⅳ群1類　谷起島式古	0	0	1	1	8	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0
Ⅳ群2類　谷起島式新	0	1	0	0	14	18	1	5	0	0	0	0	0	0	0
Ⅳ群	0	0	2	2	7	10	0	4	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ～Ⅳ群	11	19	17	34	65	75	8	24	0	4	0	0	0	0	0
Ⅴ群1類　川岸場式	0	0	0	0	32	34	1	8	0	0	0	0	0	0	0
Ⅴ群2類　橋本式	0	0	0	0	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Ⅴ群3類　枡形式	0	0	0	1	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0



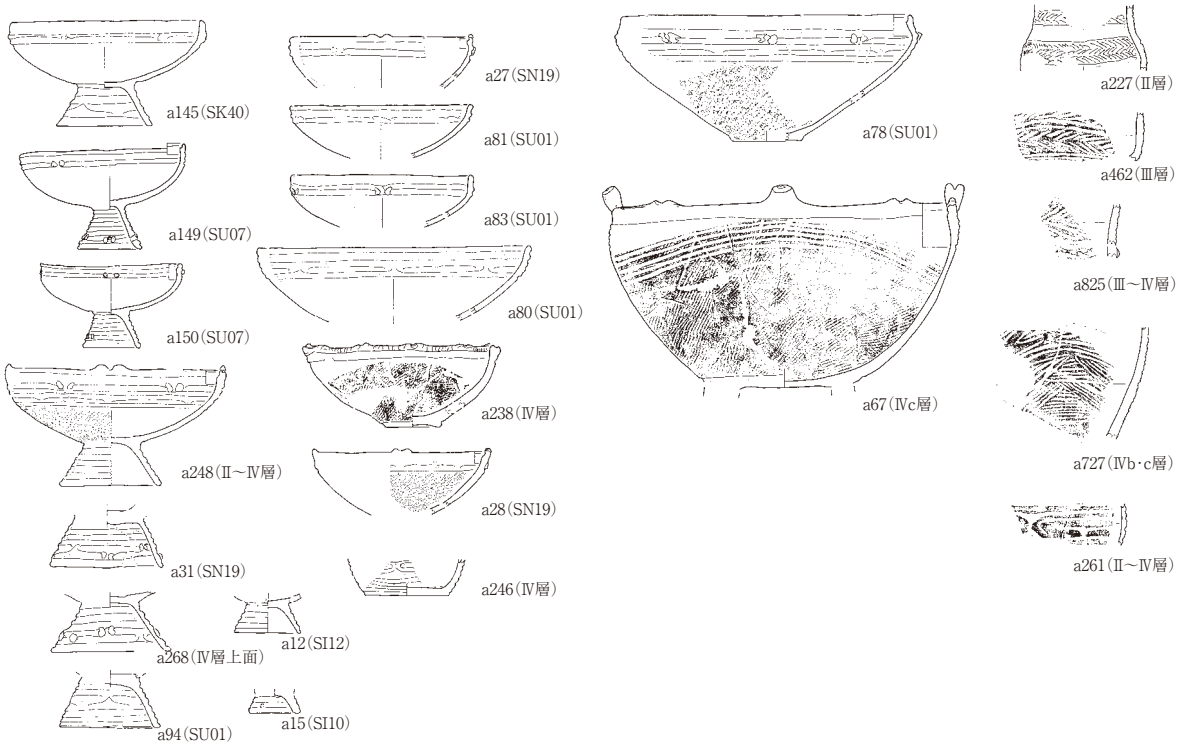
第259図－1　D区包含層内土器出土傾向(層位別出土土器割合)



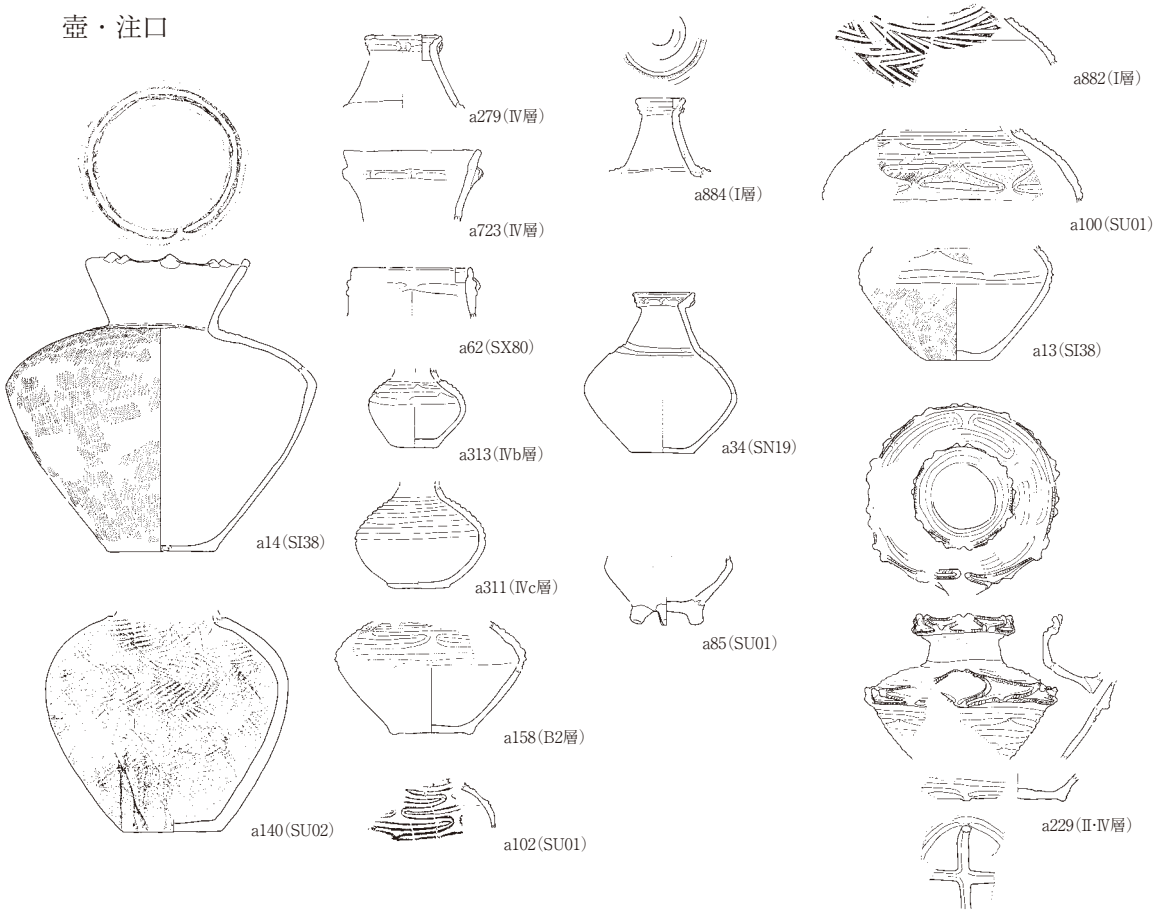
第259図－2　D区包含層内土器出土傾向(分類別出土層位割合)

第Ⅰ群土器（大洞Ａ式新段階）縮尺1/6

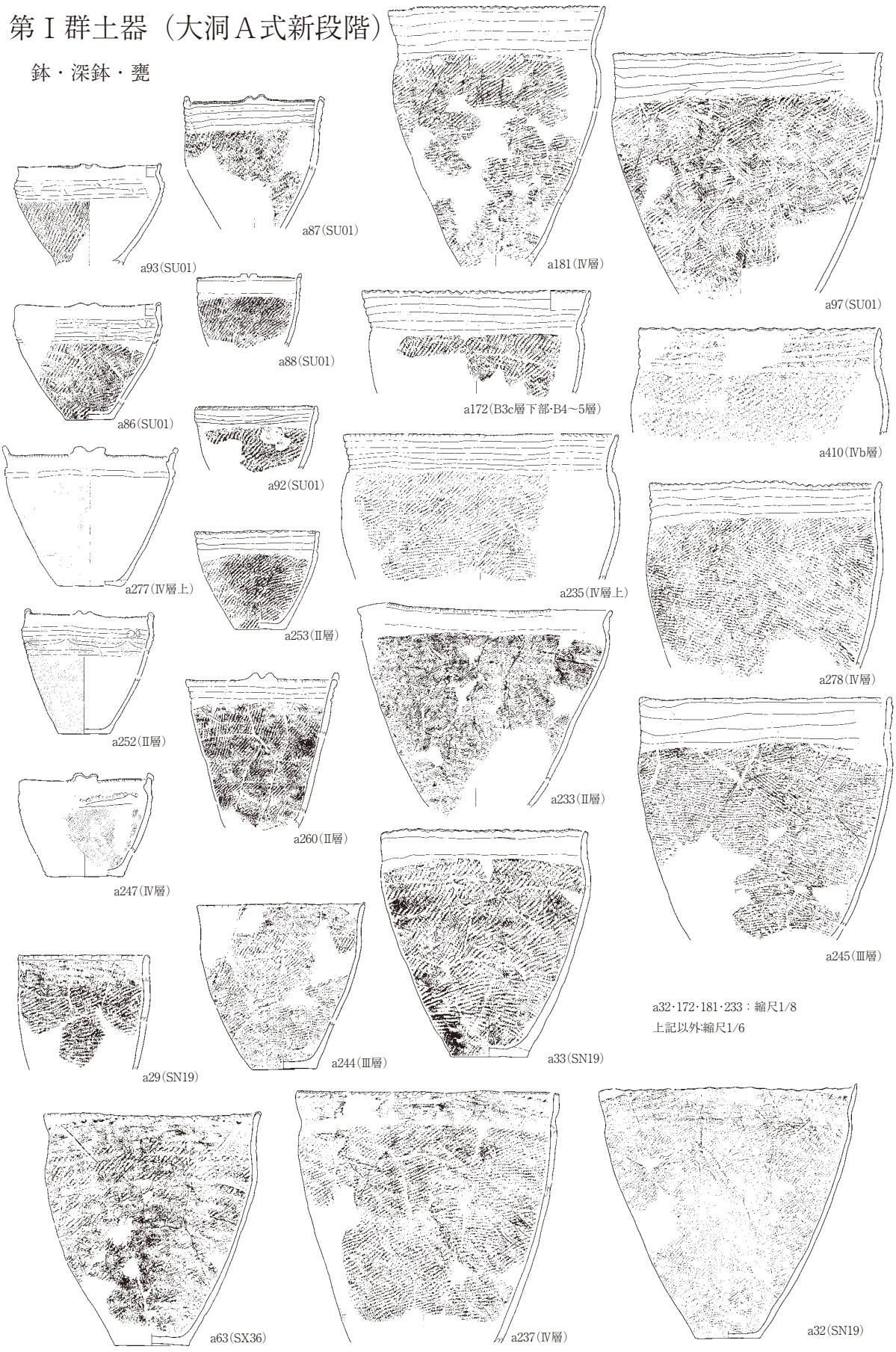
浅鉢・高坏



壺・注口



第260図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（１）

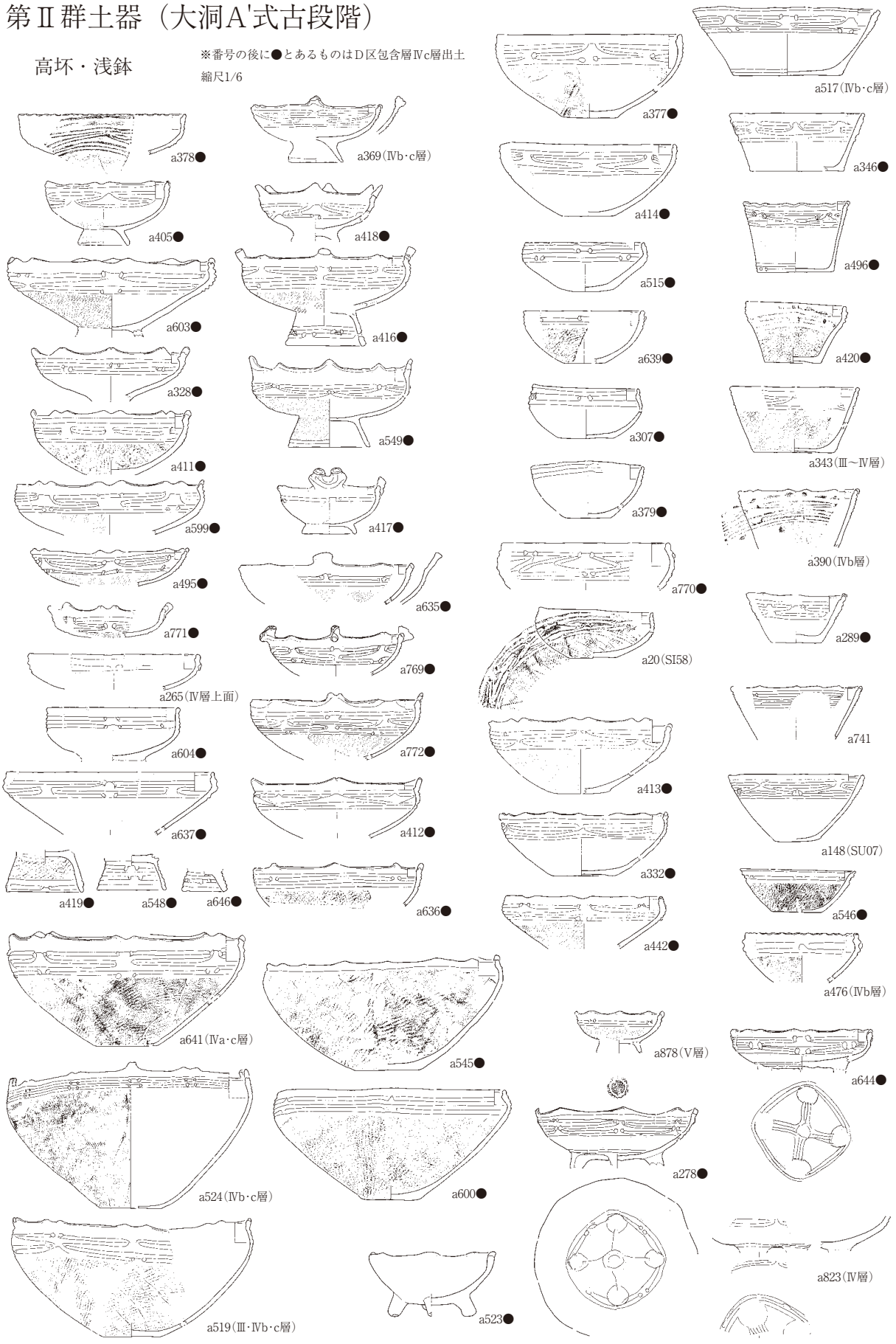


第261図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（2）

第Ⅱ群土器（大洞A'式古段階）

高坏・浅鉢

※番号の後に●とあるものはD区包含層Ⅳc層出土
縮尺1/6

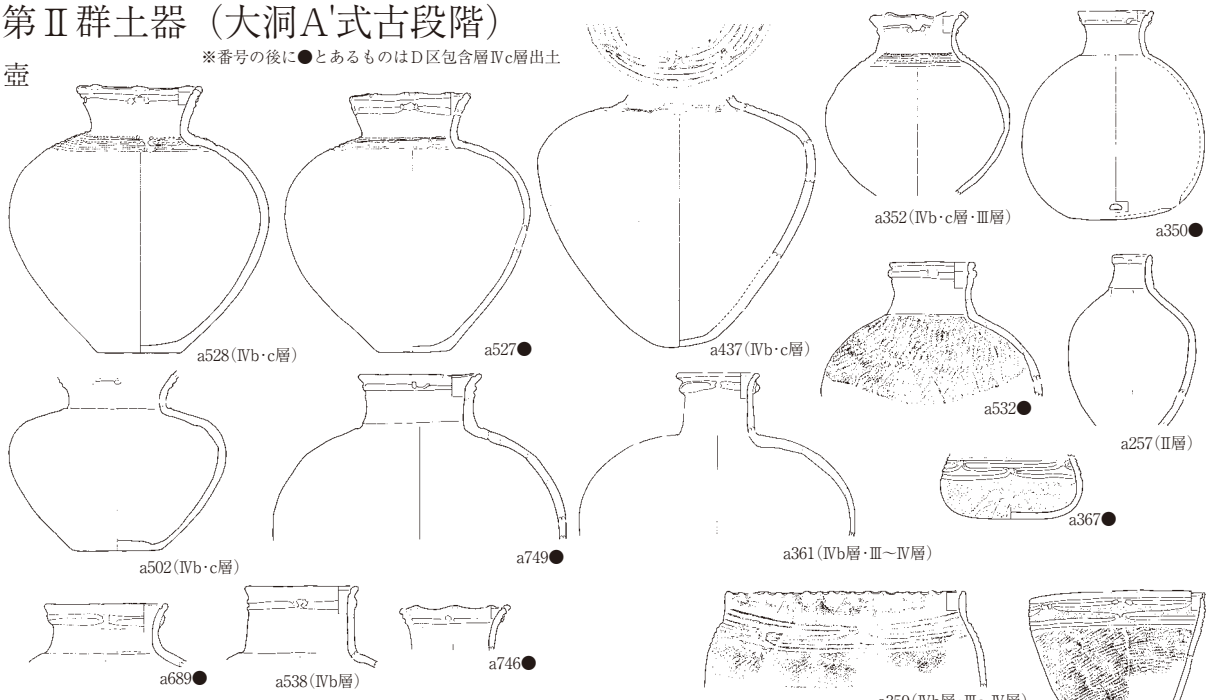


第262図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（3）

第Ⅱ群土器（大洞A'式古段階）

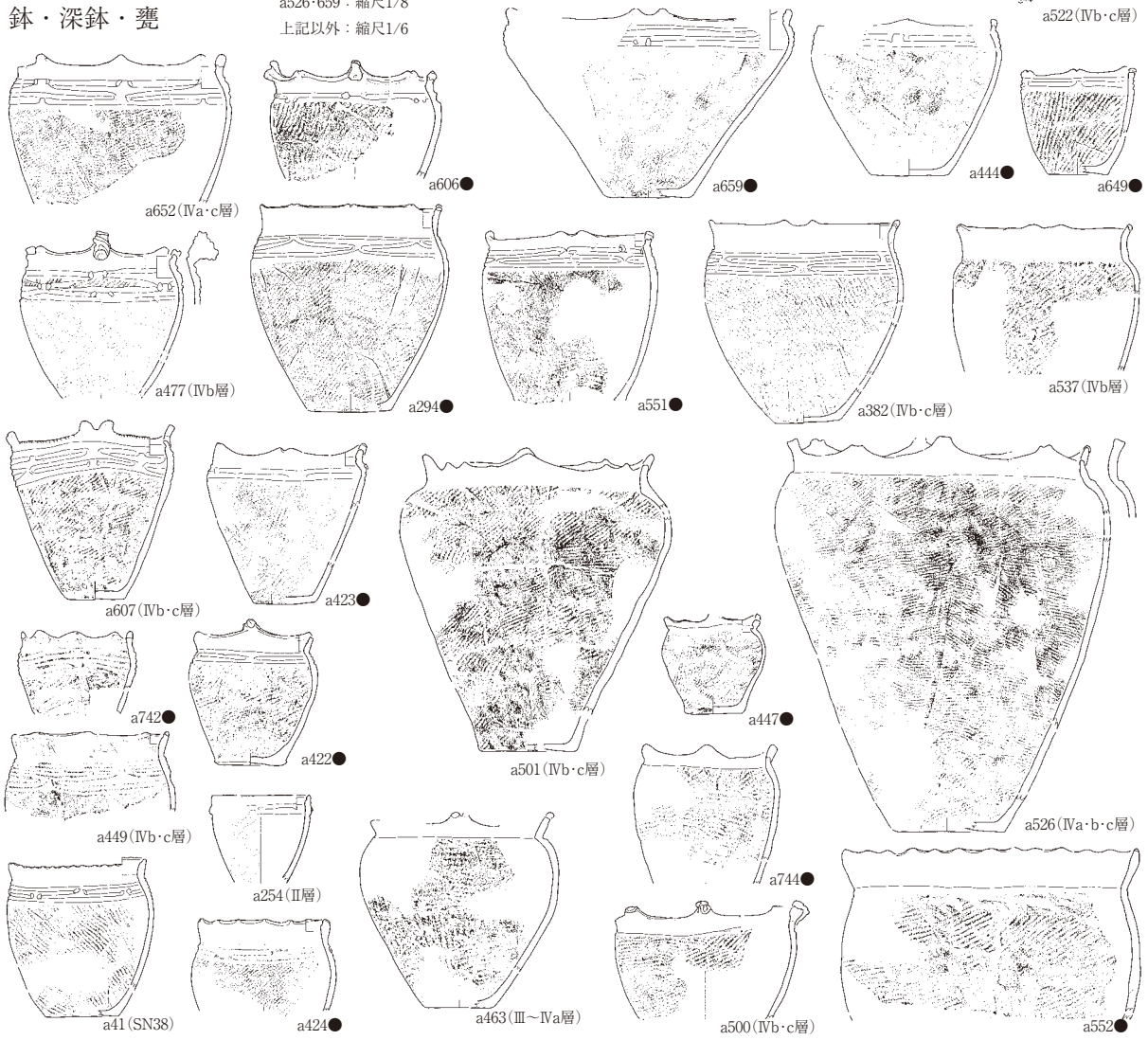
※番号の後に●とあるものはD区包含層Ⅳc層出土

壺



鉢・深鉢・甕

a526・659：縮尺1/8
上記以外：縮尺1/6



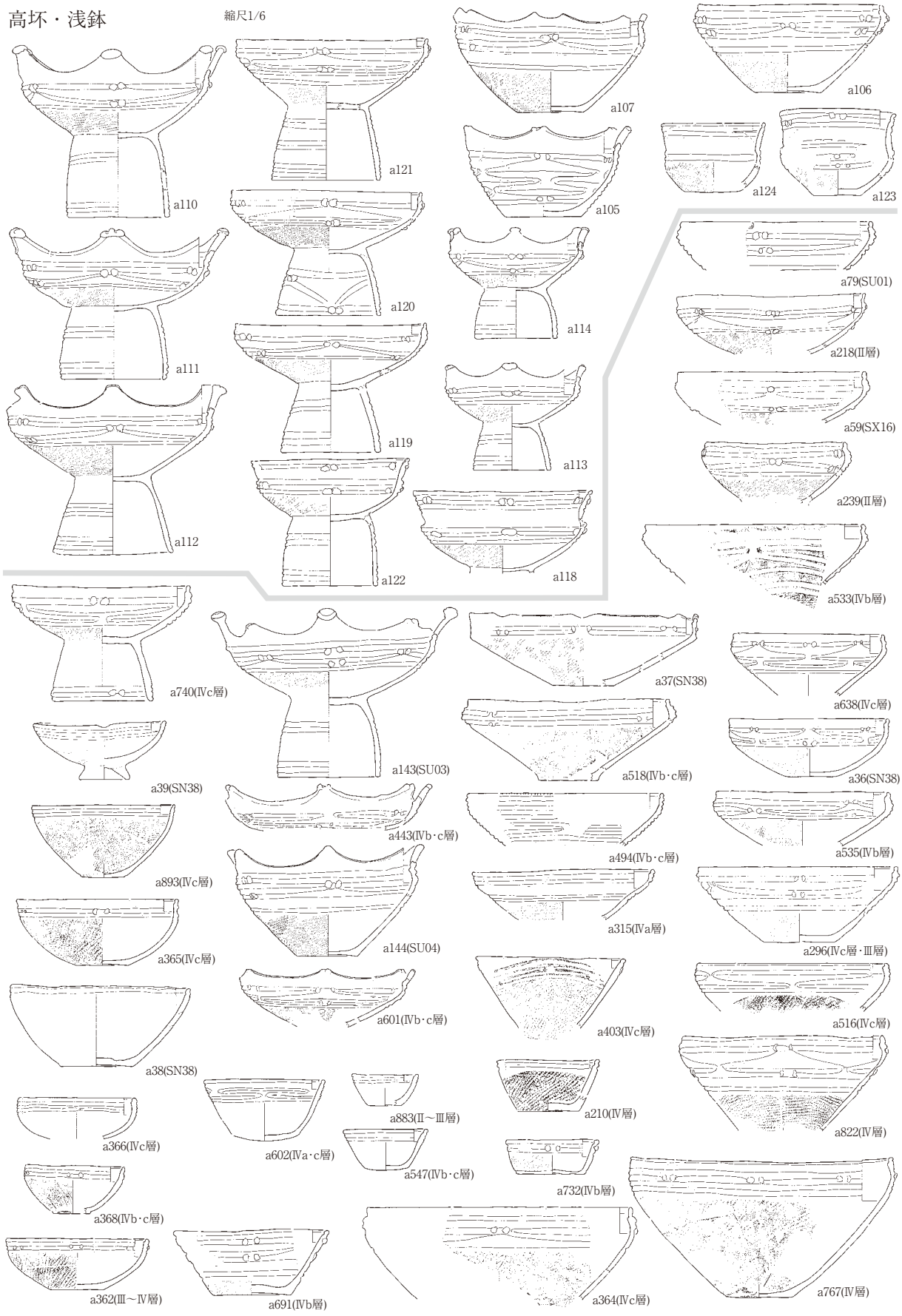
第263図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（4）

第Ⅲ群１類土器（青木畑式古段階）

高坏・浅鉢

縮尺1/6

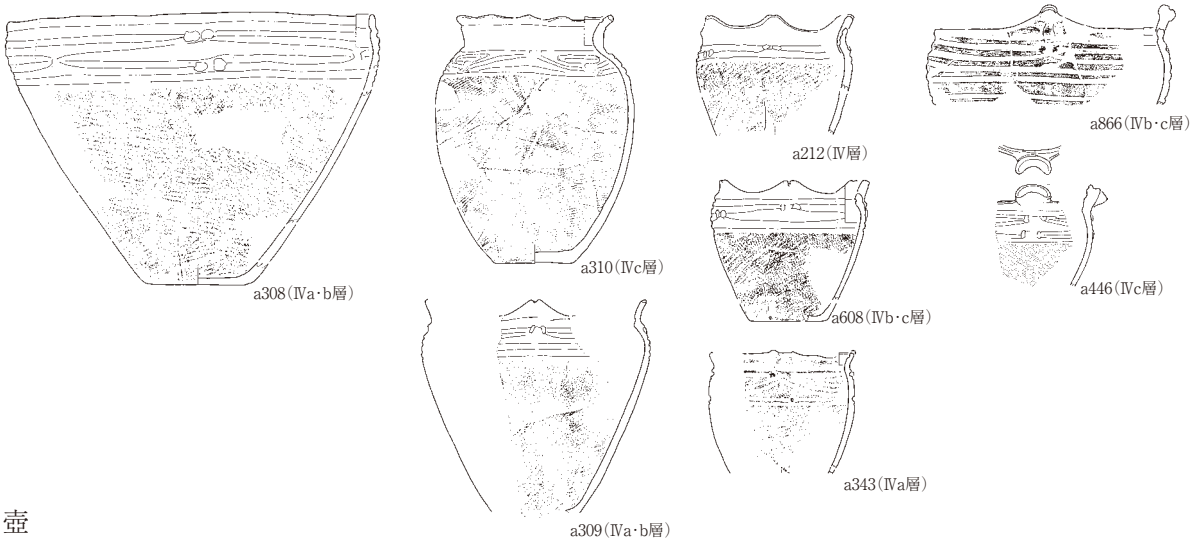
SU02一括出土



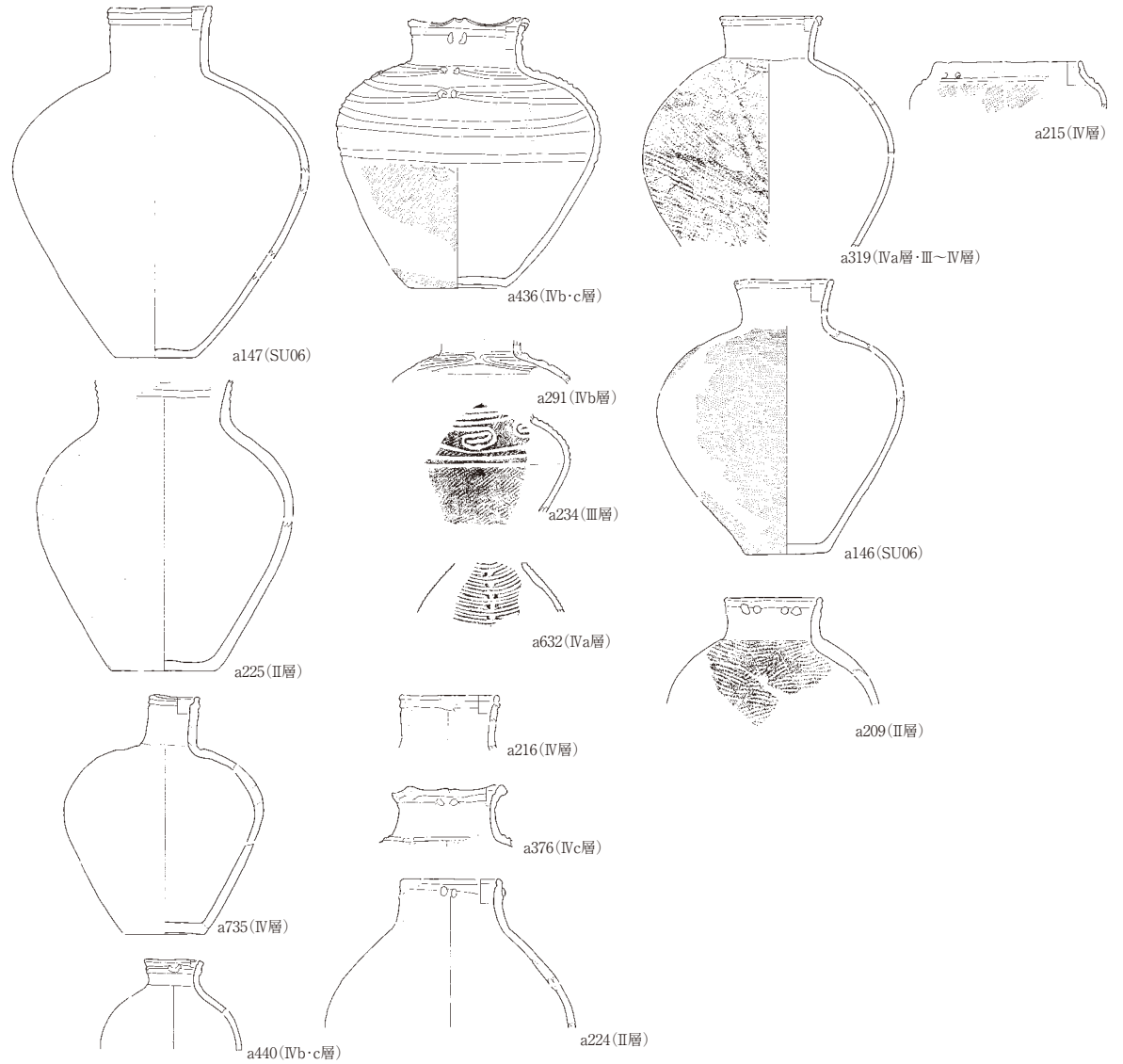
第264図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（５）

第Ⅲ群１類土器（青木畑式古段階）

鉢・深鉢・甕　　縮尺1/6



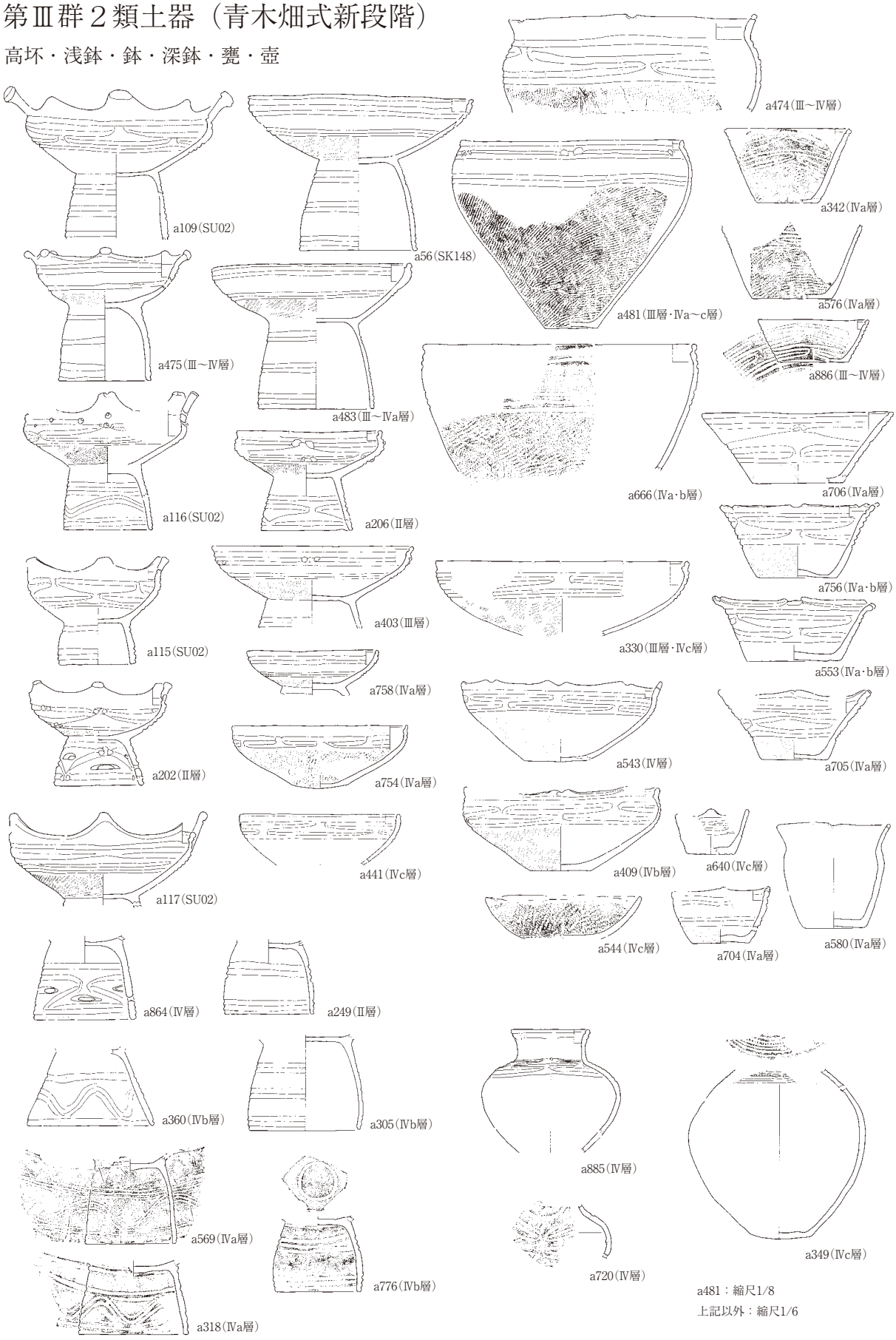
壺



第265図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（６）

第Ⅲ群２類土器（青木畑式新段階）

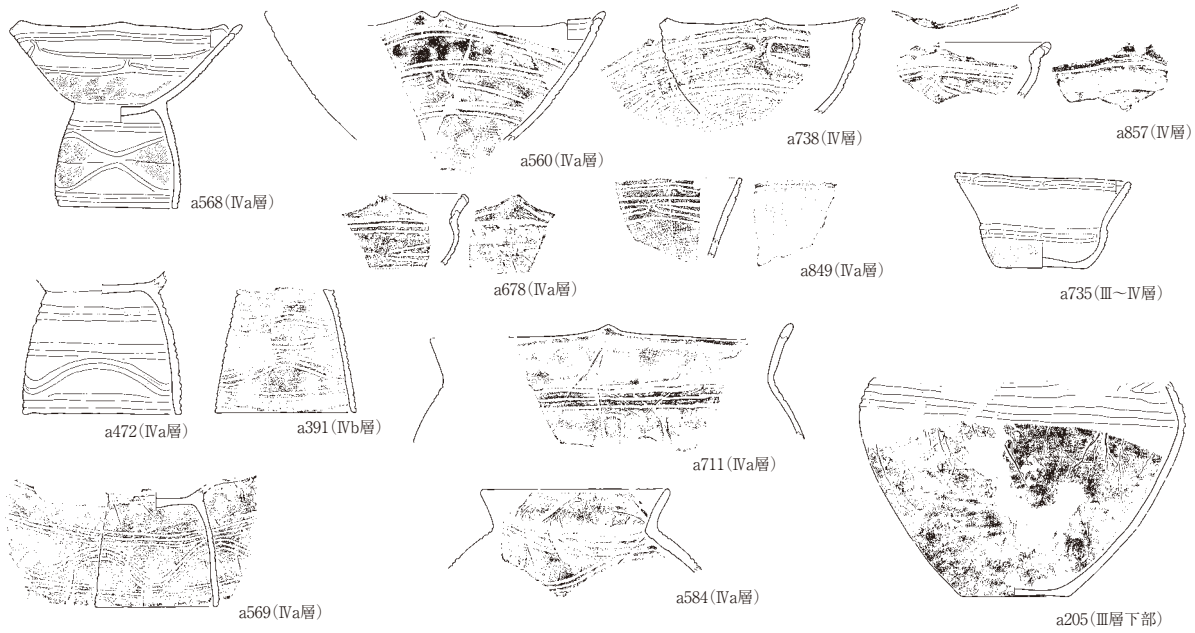
高坏・浅鉢・鉢・深鉢・甕・壺



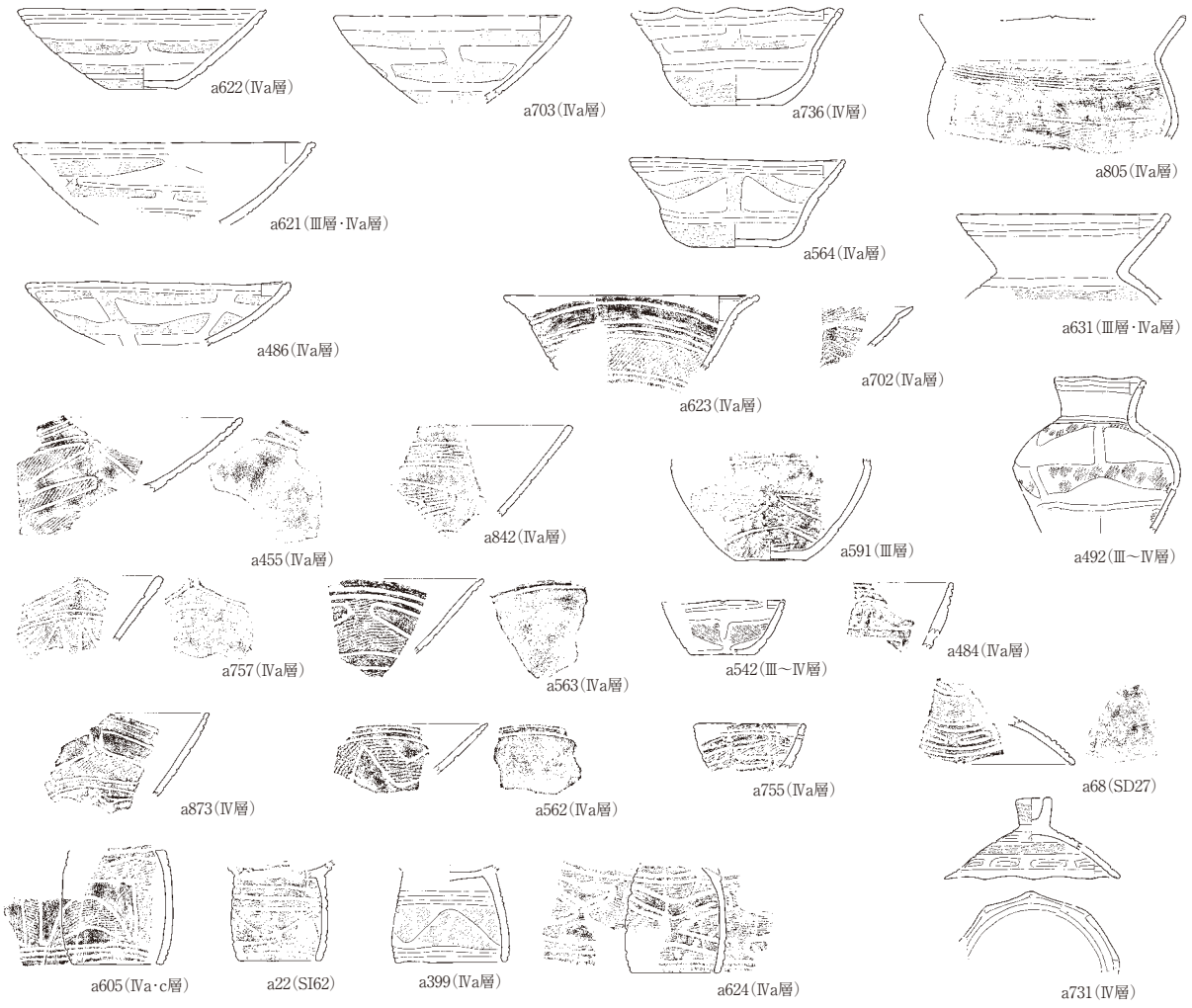
a481：縮尺1/8
上記以外：縮尺1/6

第266図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（７）

第Ⅳ群１類土器（谷起島式古段階）縮尺1/6

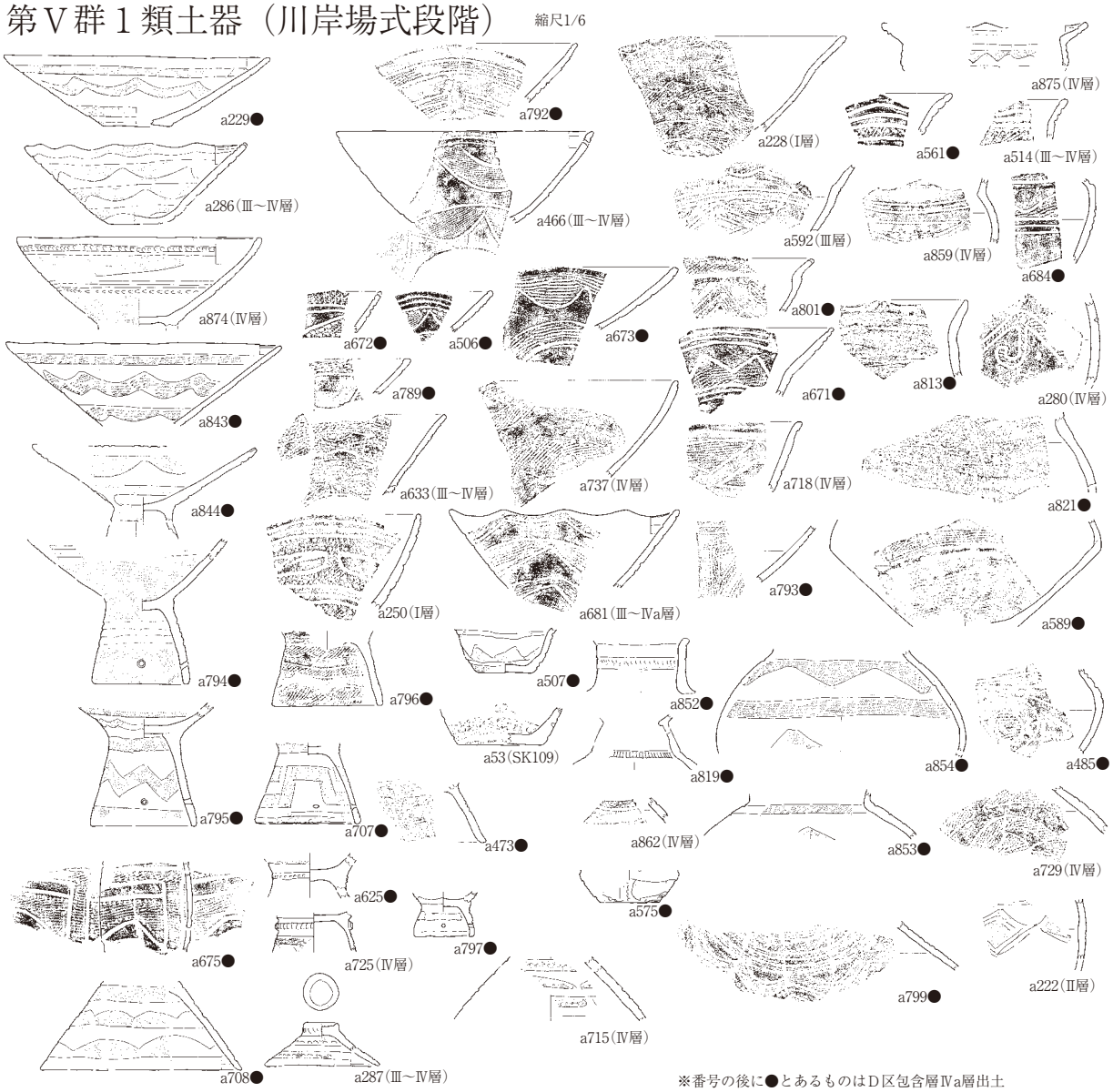


第Ⅳ群２類土器（谷起島式新段階）



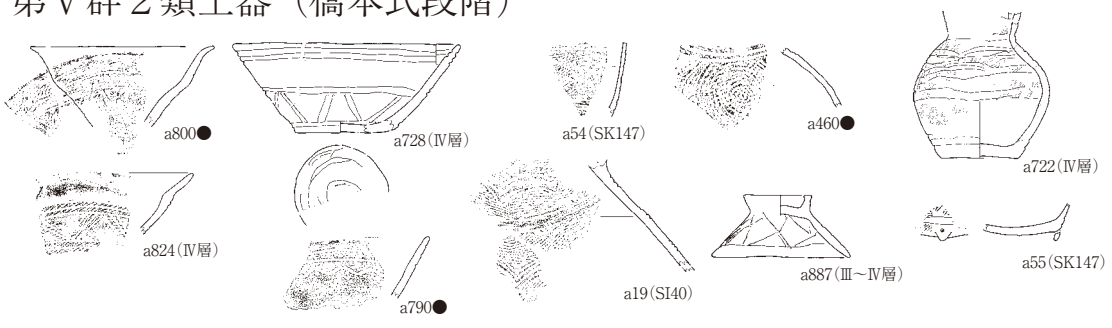
第267図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（８）

第Ⅴ群１類土器（川岸場式段階）　縮尺1/6

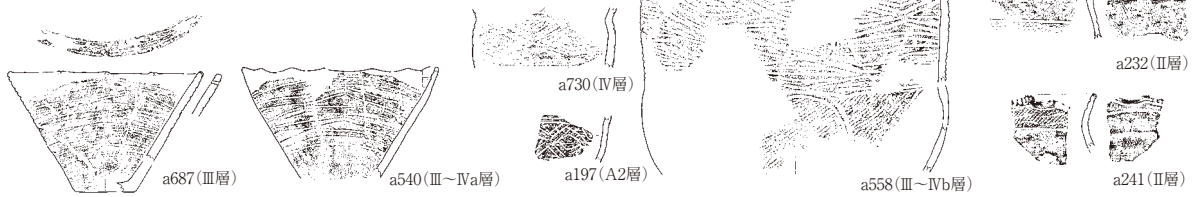


※番号の後に●とあるものはD区包含層Ⅳa層出土

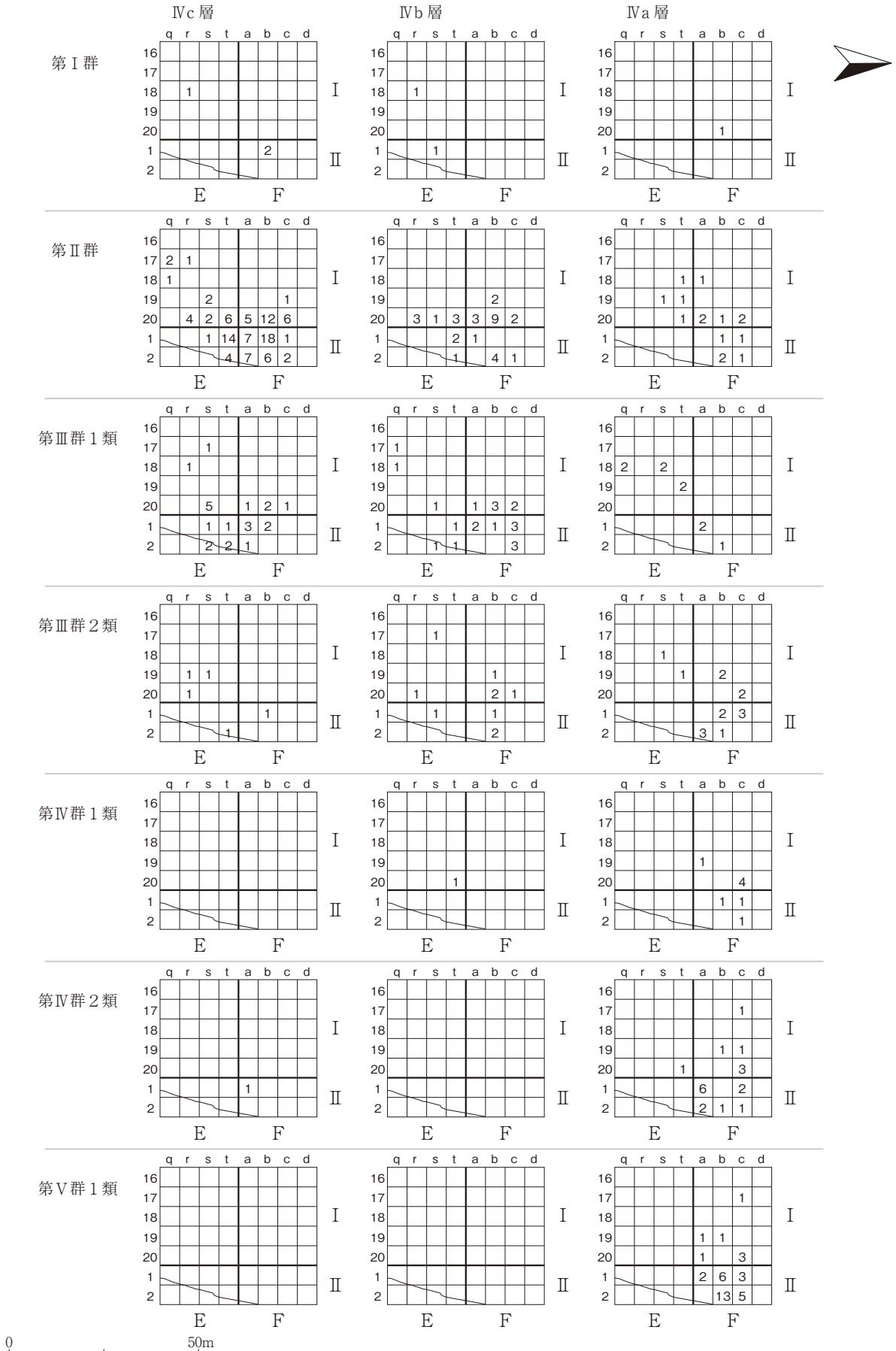
第Ⅴ群２類土器（橋本式段階）



第Ⅴ群３類土器（枡形式･宇津ノ台式）



第268図　縄文晩期末～弥生中期土器集成図（９）



第269図　第Ⅰ～Ⅴ群土器のD区包含層内分布状況

（２）　土師器・須恵器（遺物図版73～125　写真図版234～276）

①　概要

今回の調査で縄文・弥生土器に次いで量的に多いのが土師器・須恵器である。重量では合計1,192kgが出土した。全体の量比では全破片を土師器と須恵器に区分して集計した。一部の須恵器は焼成が甘く土師器と同様の色調を呈しているため、区別が曖昧なものが含まれる。また、地点によっては土師器須恵器を一括して集計した資料が含まれる。集計可能なものでは土師器合計413kgに対し須恵器合計144kgを得ており、全破片を対象に集計した場合にもこの３：１という量比は大きく変わらないものと考えられる。年代は概ね８～10世紀代を中心とした製品群と捉えられ、ロクロ使用の有無で大きく２分される。図示したものを対象に次のように分類する。

②　分類

a　土師器

器種では坏・高台坏・高坏・双耳坏・皿・高台皿・椀・鉢・台付鉢・甕・壺・小型土器がある。ロクロを用いないものをＡ、ロクロを使用したものをＢとして、器種別に以下のように分類する。

【坏】

Ａ：非ロクロ調整の坏。器形の特徴から細分する。

Ⅰ：外面体部中位～下半に段、もしくは沈線が巡り、丸底ないし平底気味、口縁部が内湾する。外面上半ミガキ、下半ケズリまたはハケメが主体。内面ミガキ、黒色処理。

Ⅱ：平底、もしくは丸底気味の底部から直線的、ないし内湾して立ち上がり、体部中位に段を持たないもの。深い半球状の器形、浅く偏平な半球状の器形、平底から直線的に開く器形等のバリエーションがある。外面全面ミガキ、または下半ケズリ。内面ミガキ、黒色処理。

Ⅲ：体部上半で外側に屈曲し口縁部が大きく開く鍔状となるもの。内外面ミガキ。内面黒色処理。

Ⅳ：広い底面から単純に開く器形で、内外面の器面調整にナデ、ハケメを使用するもの。甕下半の製作途中で上部の積み上げを中止し、坏に変更したものが含まれる可能性がある。また、底部が外側に張り出すものが含まれる。

Ｂ：ロクロ調整の坏。内面仕上げの状態、再調整の有無で細分する。各類ともに底面切り離し手法は回転糸切りによるものが大部分である。

Ⅰ：内面ミガキ、黒色処理を施し、外面体部下端、底面に手持ちヘラケズリ再調整を加えるもの。

Ⅱ：内面ミガキ、黒色処理を施し、外面下部再調整がなされないもの。

Ⅲ：内外面ともロクロ調整のみで黒色処理がなされないもの。所謂、赤焼土器である。

【高台坏】

Ａ：非ロクロ調整で短く開く付け高台を持つ。１点の確認。両面黒色処理ミガキ調整。

Ｂ：ロクロ調整で高台はハの字形に開く付け高台が主体。

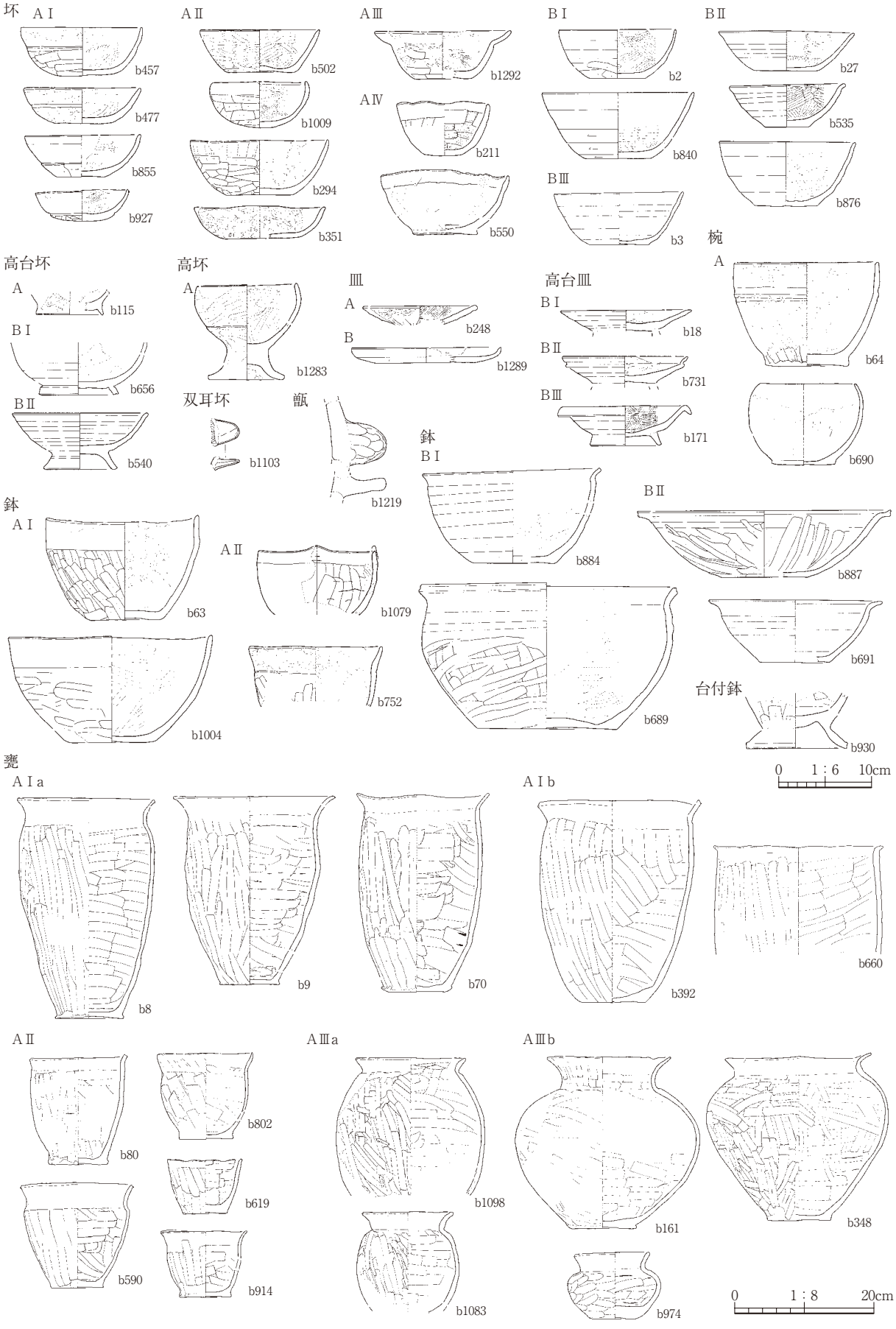
Ⅰ：内面ヘラミガキ調整、黒色処理を伴うもの。

Ⅱ：ロクロ調整のみの赤焼土器高台坏。

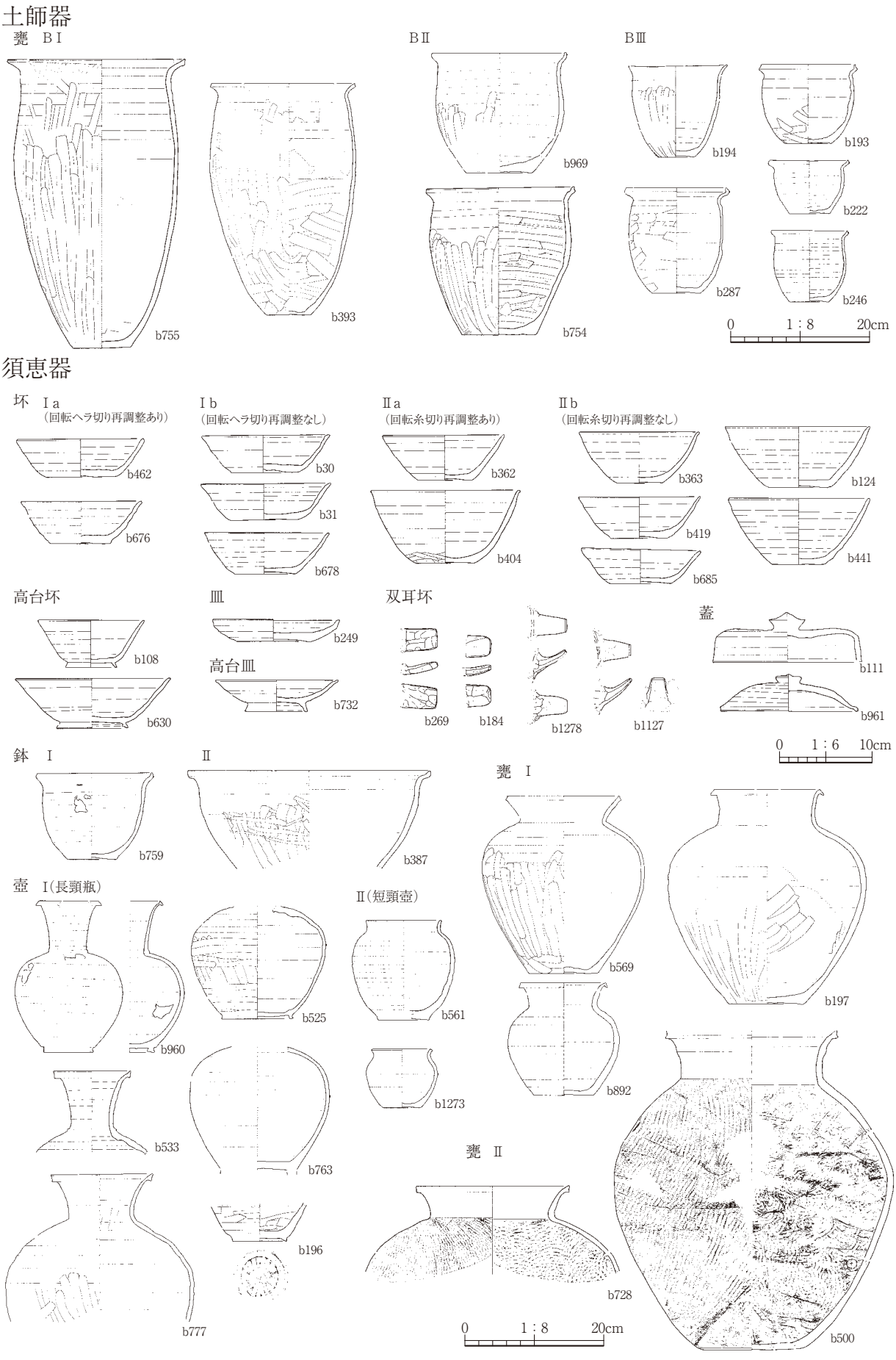
【高坏】非ロクロ調整のＡ類である。半球形の体部、短く開く脚部で体部外面に段を持つ。

【双耳坏】土師質の双耳坏。ロクロ調整のＢ類である。耳部の出土を２点確認している。須恵器双耳坏と同形である。

土師器



第270図　土師器・須恵器分類（1）



第271図　土師器・須恵器分類（2）

【皿】
A：非ロクロ調整の皿。直線的に開き内面ミガキ仕上げがなされる。２点が該当するが底部欠損品であり高台皿の可能性がある。
B：ロクロ調整の皿。偏平な広い底部から短く立ち上がる体部を持つ。１点確認している。
【高台皿】全てロクロ調整のB類である。器形の特徴から細分する。
Ⅰ：直線的に開く、もしくはやや外反して口縁部に至るもの。
Ⅱ：体部中位で屈曲し口縁部が上方に立ち上がるもの。
Ⅲ：口縁端部が下方に折れ曲がるもの。１点のみ該当する。
【椀】全て非ロクロ調整のA類である。丸い体部で内外面ミガキ仕上げ、内面黒色処理が施されるものが主体となる。
【鉢】
A：非ロクロ調整の鉢。サイズから２分する。
Ⅰ：口径15cm、器高10cm以上の中形鉢。
Ⅱ：口径15cm未満、器高10cm未満の小形鉢。
B：ロクロ調整の鉢。器形から２分する。
Ⅰ：体部上半が直立し口縁部が屈曲して開くもの。内面黒色処理ミガキ仕上げである。
Ⅱ：口縁部が大きく開く鉢。体部外面下半はケズリ仕上げとなる。
【台付鉢】非ロクロ調整の台付鉢下半部を１点確認している。ハの字状に開く高台を持つ。
【甕】
A：非ロクロ調整の甕。器形、サイズで細分する。
Ⅰ：器高20cmを超す大型の長胴甕。口縁部形状で細分する。
a：口縁部が長く外反、もしくは外傾して開くもの。頸部に段、または沈線区画を持つものが多い。胴部外面は縦位ハケメ調整を主とする。
b：口縁部が短く屈曲して開き頸部の括れが弱いもの。胴部外面は縦位ケズリ調整を主とする。
Ⅱ：器高・口径ともに20cm未満の小型品。口径／器高の数値が概ね１以上となり短胴形となる。口縁部が長く外反して開くもの、短く屈曲して開くもの、口縁部が直立気味となるものといった種類が認められるが、個体差が大きくここでは細分せず一括する。外面は縦位ハケメ、またはケズリ、内面は横位ハケメ、またはナデ調整のものが主体である。
Ⅲ：非ロクロ調整の球胴甕。頸部の括れ度で細分する。
a：括れが弱めで、球形、ないし紡錘形の胴部となるもの。
b：肩が張り頸部が強く括れるもの。全体形状は壺と表現できるものである。赤彩土器はこの器種に多く見られる。
B：ロクロ調整の長胴甕。サイズで３分する。
Ⅰ：器高20cmを超す大型品。外面中位～下部に縦方向のケズリを施すものが大半である。内面はナデ、ハケメ調整がある。
Ⅱ：口径20cm以上、器高20cm未満で寸詰まりの器形となるもの。
Ⅲ：器高・口径とも20cm未満の小形品。大部分がロクロ調整のみであるが、外面下部～中位にケズリを施すものが含まれる。
【甑】ロクロ調整の甑把手部を１点確認している。
【小型土器】手捏ね手法による成形の小型土器で、口径・器高が概ね５cm未満のもの。坏または鉢状

を呈するもの、壺または甕形を呈するものがある。

b　須恵器

器種では坏・高台坏・双耳坏・皿・高台皿・蓋・鉢・壺・甕がある。

【坏】底部切り離し技法と再調整の有無で細分する。なお、器形のバリエーションは多様で、口径と底径の比率、口径と器高の比率、底部から口縁に至る器形（直線的に外傾、下部内湾、上部外反）等の要素により複数に細分可能な余地を残すが、ここでは分析不徹底につき分類の観点には加えない。

Ⅰ：回転ヘラ切り、静止糸切り技法による底面切り離し。

a：外面体部下端、底面外縁に手持ちヘラケズリ・回転ヘラケズリ再調整を施すもの。

b：ロクロナデのみで外面下部再調整を施さないもの。

Ⅱ：回転糸切り技法による底面切り離し。

a：外面体部下端、底面外縁に手持ちヘラケズリ・回転ヘラケズリ再調整を施すもの。

b：ロクロナデのみで外面下部再調整を施さないもの。

【高台坏】やや深めの坏部に短く開く付け高台を持つ。

【皿】口縁部が弱く屈曲して立ち上がる皿。１点の確認。

【高台皿】浅く開く器形の高台を持つ皿。１点の確認。

【双耳坏】突起部分破片が合計７点の確認。先端が角張るもの、丸みを帯びるものの両者がある。

【蓋】宝珠形つまみを持つ坏蓋と短頸壺蓋各１点を確認している。

【鉢】

Ⅰ：口径と器高が等しく上部が直立する小形鉢。土師器甕ＢⅢ類と同形状である。１点の出土。

Ⅱ：口径が大きく開く鉢。土師器鉢ＢⅡ類と同形状である。１点の出土。

【壺】

Ⅰ：倒卵形の胴部に細い頸部を持つ長頸瓶。高台を持つ底部破片を本類に含めた。口唇部は上方に引き出されるもの、下方に折り返すものがある。頸部下端に補強帯を持つものが含まれる。

Ⅱ：口縁部が短く直立する短頸壺。

【甕】

Ⅰ：ロクロ調整で倒卵形の胴部、平底となるもの。胴部外面下半はヘラケズリ調整されるものが多い。口唇端部は外傾して角張るもの、上方につまみ出されるもの、下方に折り返すものがある。

Ⅱ：タタキ仕上げの大甕。球形の胴部で丸底気味である。内面当て具痕は同心円、放射状、平行線の各種が見られる。

③　各遺構出土土器

個々の土器の特徴については第２分冊所収遺物観察表に記載したが、ここでは掲載順に補足説明を加える。SI06出土b1土師器坏ＡⅢ類は外面の一部に内部のハケメ状調整痕が観察され、把手剥落の可能性が高い。b16須恵器甕Ⅱ類破片は頸部にタタキ痕跡残る。SI07からは多数の土器が出土している。床面の土器は限られるが、埋土中の資料と大きな差は見られない。坏類では須恵器坏が主体で、回転ヘラ切りのⅠb類と回転糸切りのⅠa類が拮抗する。土師器長胴甕はほぼ非ロクロで、頸部は段がはっきりしないものが多い。b89は横断面楕円形になる土師質の長胴形で、作りが粗い外面ケズリ内面ハケメ調整の製品。土製支脚としては器厚1cmと薄手、甕把手部としては短軸方向でも径7cm強と大きく疑問があり種類不明とせざるを得ない。b90はロクロ使用細身筒形の土師器甕下半個体。SI08出土須恵器蓋b111は天井部回転ヘラケズリ、宝珠形つまみを持つ短頸壺蓋である。SI09出土土器では

第21表　遺構別古代土器組成（1）

	土師器																									須恵器										合計
	坏								高坏	高台皿		椀	鉢				甕								小型土器	坏				高台坏	双耳坏	壺		甕		
	AⅠ	AⅡ	AⅢ	AⅣ	BⅠ	BⅡ	BⅢ	BⅠ	BⅡ	A	BⅠ	BⅡ	A	AⅠ	AⅡ	BⅠ	BⅡ	AⅠa	AⅠb	AⅡ	AⅢa	AⅢb	BⅠ	BⅡ	BⅢ		Ⅰa	Ⅰb	Ⅱa	Ⅱb			Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	
SI06	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	17
SI07	0	1	0	1	3	5	0	0	0	0	3	1	1	2	0	0	0	12	0	7	0	1	1	0	3	2	1	10	2	16	0	0	1	0	1	2	77
SI08	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	1	0	1	0	2	0	18
SI09	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	2	4	0	0	1	0	0	0	20
SI10	0	2	0	0	1	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	1	1	3	0	5	1	0	1	0	0	0	26
SI11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
SI12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI13	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3	0	4	0	0	1	0	7	0	1	1	0	2	1	28
SI14	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	5
SI15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
SI16	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	16
SI17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
SI19	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	18
SI21	0	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	12	0	1	0	0	0	1	27
SI22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	13
SI23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
SI24	0	4	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	19
SI25	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
SI26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
SI27	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	9
SI28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
SI29	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
SI30	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7
SI31	0	2	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	2	0	3	0	0	0	5	21	5	0	3	0	2	0	53
SI32	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	9
SI33	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	7	0	0	1	0	1	0	15
SI34	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	11	0	0	0	0	1	0	25
SI35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SI36	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
SI37	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	9
SI39	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1	1	1	1	28
SI40	0	1	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	0	0	1	0	9	0	0	2	0	0	1	26
SI41	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	8
SI42	0	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
SI43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	8
SI44	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	2	0	14
SI45	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	6
SI47	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8
SI49	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	9
SI50	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	6
SI51	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	1	1	20
SI52	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	10
SI53	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	1	0	11
SI54	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
SI55	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
SI56	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6
SI57	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
SI58	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
SI59	0	0	0	0	2	3	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4	0	4	1	2	0	0	0	0	1	7	0	6	0	0	0	0	1	1	39
SI60	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	5
SI62	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	2	17
SI63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI64	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3	1	2	1	0	2	0	12	0	0	3	1	4	1	38
SI65	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
SI66	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
SI67	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	7
SI68	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	12
SI69	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
SI70	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SI71	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	10
SI72	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	8
SI73	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	10
SI74	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
SI75	0	0	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	12
SI76	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
SI77	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11
SI78	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	2	0	19
SI79	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SI80	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5
SI81	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	1	13
SI82	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
SI83	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
SI84	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	11
SI85	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

第21表　遺構別古代土器組成（2）

	土師器																										須恵器										合計
	坏									高坏	高台皿		椀	鉢				甕									小型土器	坏				高台坏	双耳坏	壺		甕		
	AⅠ	AⅡ	AⅢ	AⅣ	BⅠ	BⅡ	BⅢ	BⅣ	BⅤ	A	BⅠ	BⅡ	A	AⅠ	AⅡ	BⅠ	BⅡ	AⅠa	AⅠb	AⅡ	AⅢa	AⅢb	BⅠ	BⅡ	BⅢ		Ⅰa	Ⅰb	Ⅱa	Ⅱb			Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	
SI86	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
SI87	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11
SI88	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9
SI89	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SI90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
SI91	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
SI93	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
SI94	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
SI95	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
SI96	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI97	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
SKI10	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	7
SK65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
SK109	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	1	13
SK127	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
SK148	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	8
SX10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SX28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5
SX42	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
SX45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
SX55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
SX61	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SX75	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7
SX81	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
SX99	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
SX111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
SX124	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
SX129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
SX132	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
SX56	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4
SD02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
SD03	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
SD27	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6
遺構外	2	7	1	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	4	0	1	3	1	0	0	32
合計	47	58	3	5	40	105	28	5	3	4	7	9	6	9	3	5	5	94	8	75	18	26	51	3	56	31	7	35	21	269	13	7	35	6	50	28	1190

b116～119の高台皿がある。中程で屈曲して口縁部立ち上がるⅡ類b116・118・119と直線的に開くⅠ類b117が共伴。同じ状況はSI07出土b18～21、SI10出土b136～138にも見られる。SI09出土赤彩土器片b134は球胴甕肩部で外面が濃厚な赤褐色に彩色され、口縁部縦線の一部が観察できる。

SI10床面出土b161球胴甕Ⅱ類には赤彩痕跡は観察されないが、背が低く肩が張る器形の特徴、器面の仕上げ状態は赤彩土器とほぼ同じである。b162は筒形の須恵器鉢口縁部。SI13出土土師器高台皿のb171は、口縁部を直角に折り返す器形の類例が見当たらない。蓋として使用された可能性があると考えられる。SI13出土土器はカマド周辺にある甕の多くがロクロ使用のB類であり、ロクロ不使用のA類が少ない。SI16出土坏は内面黒色処理の土師器坏BⅡ類と再調整のない須恵器坏Ⅱb類の組み合わせからなり、須恵器坏が多数を占める。SI19・SI21・SI22もほぼ同じ傾向にあり須恵器坏底面は再調整のない回転糸切りⅡb類である。SI24出土土器では立ち上がりの深い土師器坏AⅡ類・BⅡ類・須恵器坏がセットになる。須恵器坏b301は底径の広い回転ヘラ切りである。内外面ハケメの土師器長胴甕b305・306ともにカマド袖芯材に設置された土器。b311・312は半球状の小型手捏ね土器。b313赤彩土器口縁部は外傾する口唇部が全面彩色され、縦に5本1組の縦線が描かれる。彩色は明るめの色調。SI26土師器鉢b320は口径34cmになる大型で外面下部が被熱で変色する。

SI27の赤彩土器b331は胴部外面全面彩色後に、発色の濃い口縁部縦線が重ねられる。SI30須恵器大甕b349内面当て具痕は上半同心円状、下半平行線状と異なる工具が使用されている。SI31では多数の土師器・須恵器坏類があるが大部分は堆積土中からの出土である。須恵器坏は再調整のない回転糸切りのⅡb類が主体、土師器坏は非ロクロとロクロ使用の両者がある。土師器坏b354は底面に欠損が

あり、破損部周縁は外面に向かって広がる断面形状となる。意図的に穿孔した可能性が高いと見られる。須恵器高台坏b382～386は深い器形が共通する。b397赤彩土器口縁部は彩色が薄れ観察しづらいが、縦線は４～５本１組で施文される。

SI33出土b426は頸部の括れが弱い長胴甕の胴部外面に彩色を施している。SI34では床面、カマド周辺等から出土した土師器甕の大部分が内外面ハケメ調整の非ロクロ長胴甕。いずれも口縁部が大きく開く。SI36は体部中位に段のある土師器坏ＡⅠ類が主体。b460底面中央の穴は人為的な穿孔の可能性が高い。SI39出土土器は土師器坏非ロクロのＡⅠ類と須恵器坏Ⅱｂ類、土師器長胴甕非ロクロＡⅠａ類のセットからなる。b473は上面が平坦な器形でほぼ全面が赤彩される。胎土の質感より土師器高台皿に分類したが、弥生土器の可能性も残す。SI40出土b501は口縁部が大きく開く器形。内外面ともに非常に丁寧なミガキ調整仕上げで黒色処理が施される。SI41の須恵器長頸瓶b532・533は頸部に補強帯の稜線が巡る。SI42の坏類は低い器形、外面のロクロ目がはっきり出る点が共通する。b541は外面が粗いナデ調整で頸部の括れを持たない。SI44出土土師器坏ＡⅣ類b550は内外面とも粗雑なナデ調整で、口縁の一部に布目状の圧痕が残る。胎土に大きめの砂粒混入が目立つ。SI45土師器甕b567・568は接点を持たないが同一個体の上下である可能性が高い。SI47出土土師器坏b570は内外面ともに丁寧なミガキと黒色処理が施される。口径が19㎝を超す大型の器形である。

SI51は底部付近にタタキ目を残すロクロ長胴甕b607がカマドに設置され、須恵器坏Ⅱｂ類主体、内黒土師器坏Ｂ類が伴う。非ロクロの甕は出土しない。SI53もほぼ同様の組成となっている。SI58は口径の広い土師器坏に体部下半が丸い高台坏b656、口縁部の短い非ロクロ長胴甕ＡⅠｂ類、ロクロ甕のセットとなる。SI59出土土器はロクロ土師器内黒坏ＢⅡ類、須恵器回転ヘラ切り坏Ⅰ類、回転糸切り坏Ⅱ類、非ロクロ長胴甕ＡⅠ類、赤彩球胴甕ＡⅢ類等が主要器種となる。b701・702は口縁部に４本１組の縦線、体部は全面が彩色される。SI62カマド周辺出土の器高が深い坏b712は体部下半に２ヶ所の穿孔がある。いずれも外面側の剥離が大きく、内面側から外に向かって力が加えられたことを示す。SI64出土土器では多数の須恵器Ⅱｂ類があるが、その大部分は埋土中からの出土。カマド周辺の土師器甕には非ロクロＡ類とロクロ甕Ｂ類の両者が見られる。SI66出土須恵器壺Ⅰ類b777は、他の長頸瓶と比較して体部が大きく頸部が短い。SI70、SI74出土土器は坏Ａ類、甕Ａ類の非ロクロ製品であり、須恵器、ロクロ使用の土師器が含まれていない。同じ状況はSI76、SI77、SI83、SI87、SI89、SI91、SI94、SI95と北半の住居跡に多く見られ、須恵器を含んではいるが、土師器は非ロクロの土器のみで組成される。いずれも坏は体部外面に段を持つＡⅠ類が中心となっている。SI87埋土出土須恵器長頸瓶のb960は頸部付け根に低い補強帯が巡る。体部に複数の欠損があるが意図的な穿孔かどうかは判断できない。SI87の非ロクロ土師器坏b949は器面が橙色に近い明赤褐色の発色となる。SI89土師器小型赤彩球胴甕b974は、口縁部に不明瞭な縦線が伸びる。１単位の本数は不明。

b1045土師器坏の口縁部には一定間隔での欠損が見られ、意図的な破損行為がなされた可能性が高いと判断される。b1063赤彩球胴甕は口縁部に縦線の彩色痕跡が僅かに認められるが、単位を捉えられる状態ではなく図化不能である。SX55出土小型土器b1130は手捏ねによる成形ではなく通常の非ロクロ坏に近い製作技法と見られ、内外面ミガキ仕上げである。土師器小型坏b1154は底面に１㎝程度の小径の穿孔が施される。SX97では土器剥離片の出土が多く、その一部を図化掲載した。b1179～1182は甕底部の剥離片で、いずれも中央部が薄くなる剥落が観察される。SX46の埋設土器b1232は口径に比較し器高の低い非ロクロの甕で、口縁部が短く外反する。底面には径12㎝の焼成後穿孔がなされる。

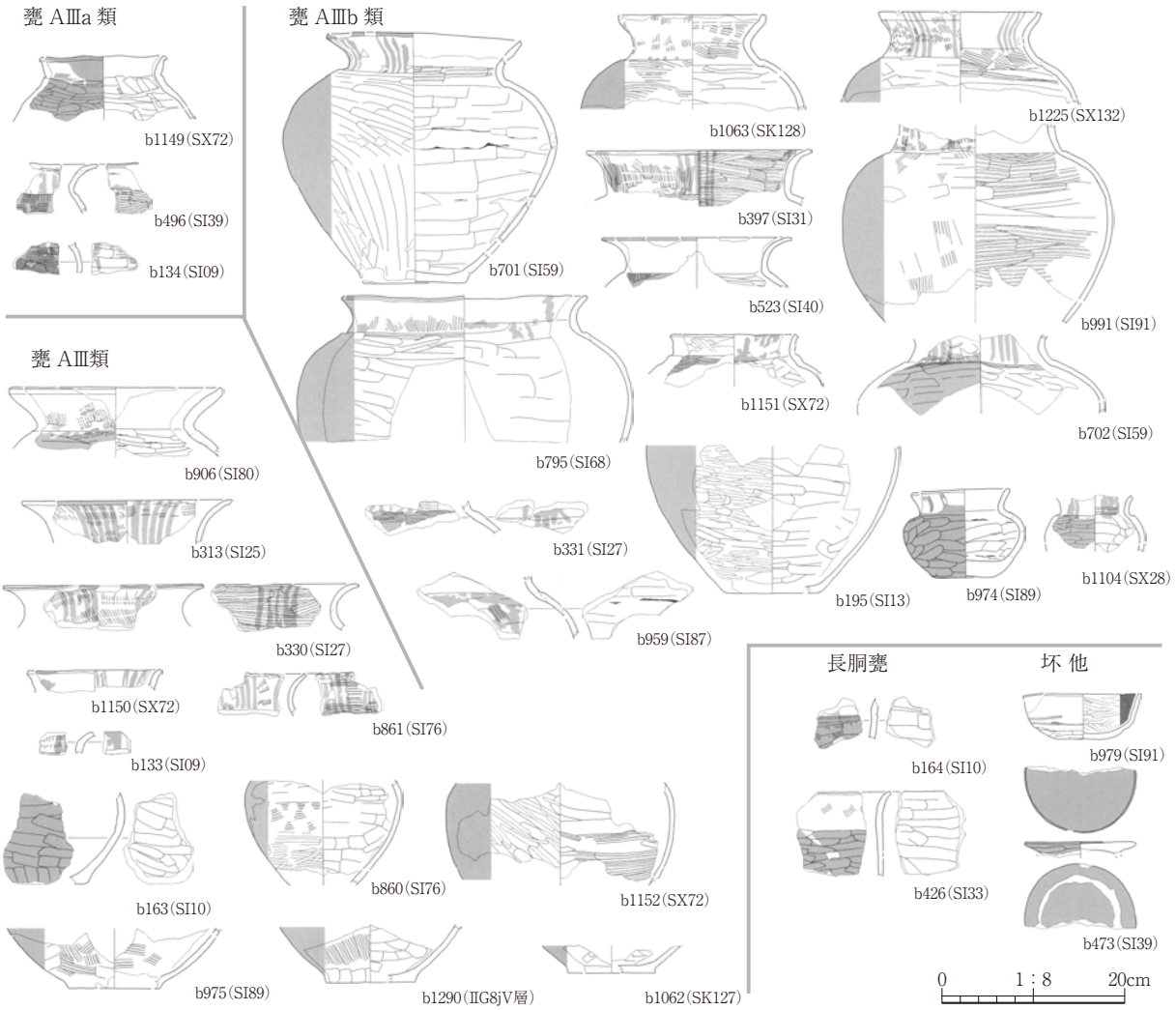
Ｄ区包含層縁辺部のⅣｂ層出土高坏b1283は椀形の丸い体部下半に明瞭な段を有する。口縁部が外に大きく開く土師器坏ＡⅢ類のb1292は内外面とも丁寧なミガキ仕上げとなっている。

④　赤彩土器

今回の調査で出土した赤彩のある土師器は破片重量合計で18,662ｇに達する（第22表）。個体数は掲載資料に限定した場合で33点が該当する。出土地点別ではSI59・SI91等大きめの個体が遺存する遺構が突出して重量数値が高くなるのは当然としても、全体的に北半に分布の重心が偏る傾向を指摘できる。遺構内出土古代土器総重量のうち赤彩土器片の占める割合は概ね５～10％程度だが、SX72焼成遺構では土器全量1755gに対して赤彩土器片が839gと約半数に達する。

弥生土器の疑いを残すb473、外面に赤色顔料付着が観察されるb979の杯を除けば、全て非ロクロの土師器甕である。b164・426の長胴甕破片以外はＡⅢ類球胴甕に分類される。彩色は外傾する口唇部端面、口縁部内外面に一定間隔で３～５本１組の縦線、頸部括れ部以下の胴部外面に全面彩色のパターンが最も多い。小片で全体像が知り得ないものについても、このような彩色形式が多いものと推測される。例外的に小型のb974では口縁部の縦線が省略され胴部のみに彩色される。

顔料の成分分析を実施している（第Ⅴ章３－４）。これによると赤鉄鉱が確認されたベンガラを用いたものと磁赤鉄鉱が確認されたものがあり、後者はベンガラを使用したとは断言できないとされる。発色は橙色（2.5YR6/6～6/8、5YR6/6等）を呈するものが９点と最も多く、より濃色な赤褐色（2.5YR4/8、5YR4/8等）を呈するものが５点でこれに次ぐ。ただし、遺存状況によって本来の色調を



第272図　赤彩土器集成

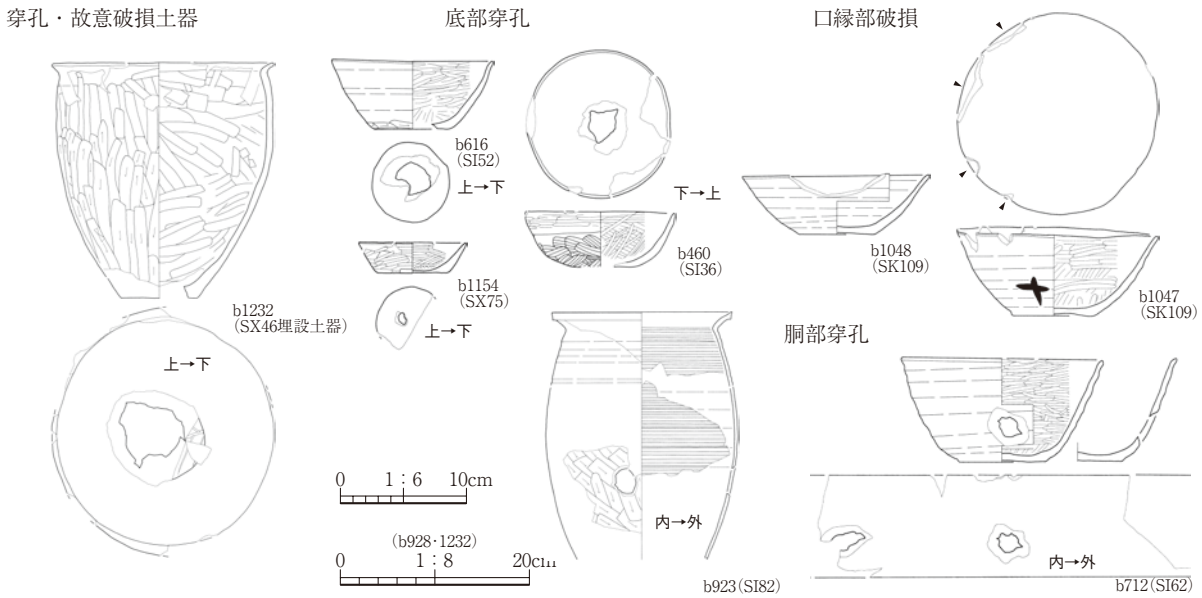
第22表　赤彩土器出土地点別重量

遺構名・出土地点	重量(g)	遺構名・出土地点	重量(g)	遺構名・出土地点	重量(g)	遺構名・出土地点	重量(g)	遺構名・出土地点	重量(g)
SI09	367.2	SI40	256.9	SI80	160.9	SX28	101.2	SD47	57.6
SI10	579.6	SI43	29.7	SI84	24.3	SX47	135.4	SD48	18.8
SI11	10.8	SI46	28.5	SI86	39.1	SX70	5.0	SD51	13.0
SI12	16.1	SI51	18.5	SI87	339.4	SX72	838.9	p1869	10.4
SI13	340.3	SI52	4.7	SI88	16.3	SX75	1.7	p1916	2.7
SI14	13.1	SI53	2.6	SI89	983.0	SX99	105.8	1UM～14UM	134.9
SI16	13.2	SI56	22.7	SI91	2064.8	SX123	125.4	IFグリッド	89.9
SI17	10.9	SI57	29.7	SI98	34.7	SX124	214.2	IGグリッド	56.9
SI21	185.3	SI58	68.3	SKI03	28.6	SX129	20.3	IIFグリッド	156.1
SI22	13.4	SI59	3400.0	SKI05	473.6	SX132	562.3	IIGグリッド	1746.7
SI23	6.6	SI61	5.5	SN38	3.8	SX137	90.9	D区	281.7
SI24	188.0	SI62	62.3	SK53	62.4	SX138	62.8	E区	874.3
SI27	114.4	SI64	69.5	SK109	5.8	SD28	5.3	F区	166.6
SI31	113.9	SI66	20.7	SK127	10.9	SD31	3.7	遺構外	1112.1
SI33	62.4	SI67	237.1	SK128	17.5	SD32	6.2	合計	18662.5
SI34	106.7	SI68	575.0	SX26	11.7	SD34	6.0		
SI39	182.2	SI76	186.2	SX27	11.4	SD38	25.5		

留めていない土器があり得るためあくまで現状の観察結果である。土器器面は浅黄橙色等の明色の資料が多く、赤彩部分とのコントラストが鮮やかなものが主体である。ほとんどは口縁部、胴部とも同一の顔料を使用していると見られるが、b331では胴部全面彩色後に暗色な口縁部縦線が重ね塗りされており、重複部分で発色の違いが観察される。

⑤　穿孔・故意破損土器

出土した土師器のうち８点に、焼成後の意図的な破損行為が行われたと考えられる痕跡が観察される。調査取り上げ段階以降についた傷とは破断面の摩耗や色調によって区別した。内訳は底部に穿孔する坏３点、甕１点、口縁部に意図的な破損を加える坏２点、胴部に穿孔する坏１点、甕１点である。出土はSK109土坑に２点ある以外、各遺構から１点ずつという状態である。



第273図　穿孔・故意破損土器集成

底部の穿孔は周囲の剥離状態から見て上（内面側）から下（外面側）に向かって加撃されているもの（b1232・616・1154）と、逆に下から上に向かう加撃のb460がある。SX46埋設土器の甕b1232、坏底部のb460・616はいずれも底面中央に大きめの穴を開けており、意図的に狙ったものと考えられる。一方、小径の穿孔がなされるb1154は偶然の結果による可能性を排除できない。

口縁部の欠損は完存個体の一部のみ大きく破損する不自然な状態から判断した。特にb1047は一定間隔で４ヶ所の破損部が繰り返すことが特徴的である。b1048はやや微妙な判断である。胴部穿孔の２点はいずれも内面側から外面に向かう加撃がなされる。b712は２ヶ所の穴が対面する位置にあり、これも両者が内から外への穿孔である。

これら穿孔、故意破損の土器に明確な共通点は見出せず、穿孔行為等の意味づけは現時点では不明と言わざるを得ない。

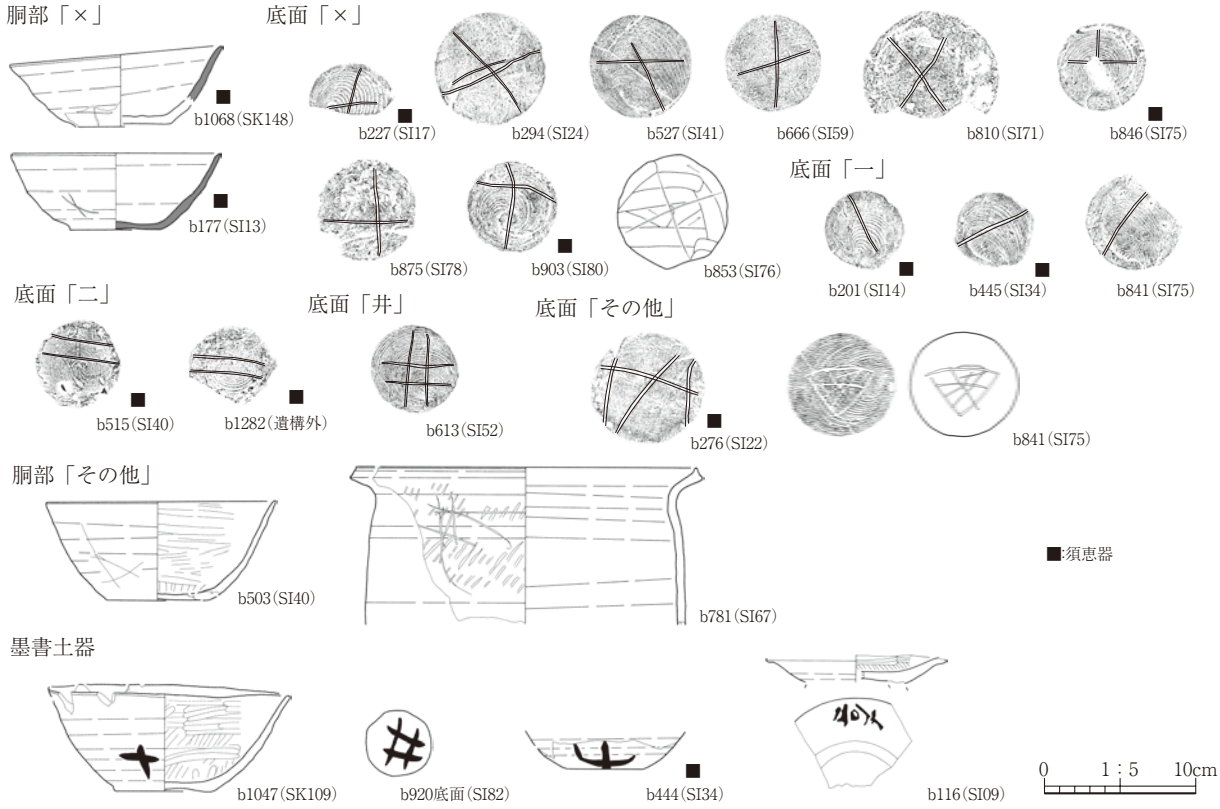
⑥　線刻・墨書土器

ここで線刻土器としたものは、全て焼成前に細い篦状工具を用いてヘラ書を加えた土器であり、完成品に刀子等で刻線を加えた土器は出土していない。線刻土器46点、墨書土器４点がある。内訳は第23表の通りで、須恵器坏底面に施されたものが全体の約三分の二を占める。

線刻形状は「×」「一」「二」「井」等に近い形のヘラ記号と見られ、坏類底面に施されるものが主体である。b841は三角形内部を複数の線で区切る複雑な形状の線刻と

第23表　線刻土器集計

		体部		底面					合計
		「×」	その他（不明）	「×」	「一」	「二」	「井」	その他（不明）	
土師器	坏		1	7			1	3	12
	甕		2	2					4
須恵器	坏	1		8	5	1		15	30



第274図　線刻･墨書土器集成

なっている。b781は放射状にやや長い刻線を集中させる。

墨書土器は坏類４点に観察される。b444・920・1047は「×」、「井」等いずれも線刻と同形状であり、ヘラ記号を墨書したものではないかと考えられる。b116は漢字の可能性が高いが解読不能で文字数も不明である。

（３）　陶　磁　器（遺物図版126　写真図版276・277）

陶磁器では灰釉陶器、常滑産陶器、渥美産陶器、青磁、白磁、大堀相馬産陶器、肥前産染付磁器がある。加えて、手づくねかわらけ小皿が１点出土する。いずれも少量の出土で、最も多い常滑産陶器でも20片弱という程度である。遺構別出土状況を第24表に示した。特定の遺構に集中する状況にはないが、灰釉陶器、及び近世の大堀相馬、肥前染付を除く12世紀代と考えられる製品は、Ｅ区北側のSD30溝跡から南端に近いSD35溝跡で区画された区域の内部に偏在することが明らかである。

灰釉陶器b1261・1283は猿投産瓶類胴部の小片。常滑産陶器は甕口縁部～胴部破片がある。このうちc17・18・19・23、c20・21はそれぞれ同一個体でSD43・51溝跡出土片である。これらを含めc3・6・14・22の胴部破片には押印が施される。c27は内傾する口縁部上で強く屈曲して口唇部が上に引き上げられる。産地編年４型式と考えられる。渥美産陶器は壺甕類の胴部～底部破片。c4の肩部には袈裟襷文の一部と考えられる沈線が水平に巡る。青磁碗c28はＦ区旧河道内から出土した。蓮弁文の一部が観察される。白磁碗c25は軽く内湾する体部破片。太宰府分類Ⅱ～Ⅴ類のいずれかに該当する。

c29～33は大堀相馬産陶器、肥前産染付磁器である。Ａ区を中心に調査区南半に多い。

手づくねかわらけ小皿c13は口唇部が軽く面取りされ三角形の口唇部断面形状である。

第24表　陶磁器出土状況

遺構名・出土地点	灰釉陶器	常滑	渥美	白磁	青磁	かわらけ	大堀相馬	肥前染付
SI81住居跡		2　甕						
SI89住居跡		1　甕						
SKI09住居状遺構							1　碗	
SK133土坑			2　壺					
SK134土坑		1　甕						
SD27溝跡	1　瓶							
SD30溝跡		2　甕						
SD35溝跡		1　甕	3　壺・甕					
SD35～36溝跡群						1　小皿		
SD38溝跡		1　甕						
SD42溝跡			1　甕					
SD43溝跡		1　甕	1　甕					
SD51溝跡		6　甕						
1UM畝間状遺構		1　甕						
Ａ区遺構外							1　碗	2　碗・徳利
Ｄ区遺構外	1　瓶						1　仏飯器	
Ｅ区遺構外		1　甕	1　壺	1　碗				
Ｆ区遺構外					1　碗			

（４）　土　製　品（遺物図版127～135　写真図版278～283）

土製品には縄文・弥生時代の製品、古代の製品の両者がある。全体形状、種類が判明しない断片的な資料でも胎土、焼成から時代判定可能なものが大部分であるが、一部時期不明の製品を含む。縄文・

弥生時代の製品はＤ区包含層を中心に遺構外出土が多数を占める。古代の製品は竪穴住居跡埋土等の出土が多い。

①　縄文・弥生時代の土製品

a　土偶（d1～36）

合計36点を確認。うち24点はＤ区包含層内及び包含層周辺の古代遺構堆積土内他から出土している。全体形状が判明するものは少数で、大部分は頭部、胴部、手足等の破片状態である。

d1～23は所謂結髪形土偶に分類される一群。背面の刺突列点や沈線による「６」字文様等が特徴である。d1は頭部・上半身・下半身が、隣接するグリッドの３地点Ⅳａ層から出土し接合した。頭部には結髪部の剥落痕があり頭頂部が赤彩される。背面には沈線上下に円形刺突が並ぶ。d3は眼と口の表現が省略されている中空の頭部。d4は顔面を剥落した中空頭部で結髪部の一部が残る。d6は結髪部の破片。大型の頭部になる可能性が高い。d7は上半身と下半身に分かれて出土し接合した。非常に丁寧な仕上げ調整の中空土偶で、腰部には全面に刺突が加えられる。d9・10の中空土偶背面破片は内面に間隔1.5㎝程で顕著な輪積痕が残る。d13の右脚破片は脚部のみで閉塞された中空の作りとなっている。d19は小型中実製品。背面の沈線上下は粘土瘤の貼付表現である。

d24～30は所謂刺突文土偶。頭部の刺突文、肩パットが特徴となる。d24は頭頂部の平坦面に沈線を施された突起がつき、顔面の下半は沈線で区切られる。d26は胴部から剥落した肩部破片。中空の可能性が高い。d27は肩の突起周辺の破片である。d29は隣接するグリッドⅣｂ層から出土し接合した中空の脚部上半。薄手に作られている。d30は大型の板状に整えられた形状となっており、破損のため不明瞭だが脚部表現を持たないものと考えられる。上半身全面に加えられた刺突は、細い施文具を斜位に用いた状態である。背面には変形した「６」字文様が隆線で施文される。d32～ d35は手足の破片。d36は全長３㎝に満たない小型品で頭部、四肢と見られる突起を持つことから小型土偶と判断した。頭部には横位に貫通孔が開けられている。

b　動物形土製品（d37）

１点確認。四足獣の胴部～尾部と見られる。胴部側面に刺突列が加えられており、イノシシ幼獣を表現した可能性がある。

第25表　土製品集計

縄文～弥生時代	土偶	動物形土製品	土版	土製耳飾	土製腕輪	土玉	匙型土製品	土製紡錘車	その他の土製品	円盤状土製品
古代遺構内	4	0	1	1	0	1	0	0	1	1
縄文～弥生遺構内	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
遺構外	15	0	1	1	0	1	2	1	3	4
Ｄ区包含層	17	1	0	0	2	0	1	0	7	22
合計点数	36	1	3	2	2	2	3	1	11	27

古代	土製勾玉	土玉	その他の土製品	土錘	羽口	（近世以降）土製人形	（時期混在）焼成粘土塊
古代遺構内	10	15	16	35	4	1	114
縄文～弥生遺構内	0	0	0	0	0	0	0
遺構外	0	8	3	8	2	0	20
Ｄ区包含層	0	0	0	1	0	0	15
合計点数	10	23	19	44	6	1	149

c　土版（d38～40）

３点の出土。d38・39は両面に対向する弧状沈線が加えられる点で共通するが、正中線の有無という差がある。d40は矩形の沈線文の一部が見られる。

d　土製耳飾（d41・42）

２点とも鼓形で、同形同寸である。外面が赤彩される。

e　土製腕輪（d43・44）

２点とも幅広の腕輪で、外面に平行沈線が施される。d44の推定外径は８㎝弱である。

f　土玉（d45・46）

側面に刻線の装飾が施されたd45と、非常に小さい瓢箪形を呈するd46の２点が出土している。d46には赤彩が施される。

g　匙型土製品（d47～49）

細長い柄を持つd47、短い柄を持つd48、大型の匙部のみで柄を欠損していると見られるd49の３点が出土した。d48は分厚く短い突起状の柄となる。

h　土製紡錘車（d50）

d50の１点がある。両面無文、側縁程薄くなる円板の一部で、小径の貫通孔を持つ。

i　その他の土製品（d51～56）

名称、類例不明の土製品を一括している。d51はＹ字状を呈する小型の土製品だが、無文となる面に剥落痕跡があり、土器またはより大型の土製品の一部とも考えられる。d52は一端に横位の貫通孔があり垂飾品かも知れない。d53は左右対称、両面に微隆起線で浮彫状の文様が施された製品。中央に横位の貫通孔が２本ある。d54はＴ字状を呈する個体の一部。土偶の胎土、表面調整に類似するが形状はわからない。d55は円錐状の芯に巻き付けられた製品の表面の一部で、吸盤状の突起が隙間なく並ぶ。全体形は不明である。d56は緩く湾曲する土器状の破片に沈線と隆線で人面の一部とも見られる文様が加えられる。内面に輪積痕が残る状態から壺形土器の胴部片である可能性が高い。

j　円盤状土製品（d157～166）

土器片側縁を加工し円形に整形したもので合計27点の出土。うち10点を掲載した。大部分がＤ区包含層出土品である。素材となった土器片は縄文晩期末～弥生前期の土器が主体と見られる。両面からの加工で貫通孔が中央に穿孔されているものが22点、未貫通の穿孔痕を持つものが２点あり（d65・66）、大多数が中央に貫通孔を伴う状態である。また、側縁の整形は打ち欠きで形状を整えた後に研磨によって平滑な縁辺を作り出しているものが17点、全体の63％に達する。

② 古代の土製品

a　土製勾玉（d67～76）

合計10点を確認しており、全て古代の住居跡内から出土した。SI07に３点、SI21に４点と偏在する。破損品は湾曲する形状と貫通孔の状態から認定した。完存するd72～76のうち、SI21出土の４点は全長2.3～2.4㎝とほぼ同寸同形状である。

b　土玉（d77～92）

合計23点出土。うち16点を掲載した。土製勾玉と同様に古代住居跡内出土が大半である。９点がSI10に集中しており、中でもd79～82の４点はpit3上部からまとまって出土したことから、当初は一連の状態だったと考えられる。土玉は表面が黒色に仕上げられているものが多い。形状、大きさ、穿孔の状態は概ね類似する。d92のみ孔径が１㎜に満たない状態である。

c　その他の土製品（d93～103）

全体形状が不明、種類特定不能の土製品のうち、胎土や焼成の状態が土師器と類似し、古代の土製品と考えられるものを一括している。d94は中空の紡錘形をした破片で、一端に貫通孔の痕跡があることから土鈴の可能性が高い。d96・97は断面方形の粘土紐を曲げて環状にしたもので、同一個体かと考えられるが接合はしない。d103は剥落部分の状況から特殊な土器に取り付けられた部品の可能性がある。

d　土錘（d104～130）

図示した27点を加え、合計44点の出土。うち34点は古代の住居跡内から出土している。特にSI51で12点、SI79で10点とまとまる遺構がある。概ね堆積土中の出土であるが、紐に通した状態で一括保管されていたものの可能性が考えられる。

e　羽口（d131～133）

遺構内･外から６点が出土している。出土地点は住居跡内３点、溝跡内１点、遺構外２点である。外径、内径の計測が可能なのものはd133の１点のみで、カマド支脚に転用された事例である。d132・133は装着された先端側が残存する。d132は表面に簀の痕跡が見られる。

f　焼成粘土塊（d135～149）

単体では時期比定が困難なものが大部分であるが、出土地点では古代遺構内出土が114点、Ｄ区包含層出土が９点という比率であり、古代の所産である粘土塊が多数と判断される。合計149点を登録した。破砕等により複数に分割されたものが一定量含まれ、かつこれらが同一個体かどうか確定できないことから件数の登録としている。実際の点数は登録件数を上回る。重量の合計は約５kgである。特徴的なもの15点について写真図版に掲載した。

d135は径５㎜程の偏平不整形な小塊６点でSI07住居跡のカマド内から出土した。中央にいずれも径1～2㎜程の貫通孔がある。芯に巻き付けられた粘土塊が焼成を受けたものと考えられるが種類は不明。同様に１点１ｇに満たないような小塊に貫通孔を持つ粘土塊が、SI08・09・19・23住居跡カマド内、及びSX30焼成遺構燃焼面から出土する。d137は土師器と同質の胎土、焼成であり、土器素材が焼成を受けた状態と見られる。表面の一部に布目圧痕と指紋が観察される。d140・141は厚さが３㎝に達する板状を呈する。両者とも広く浅い掘り込みを持つSX02焼成遺構の中央焼成面周囲から出土しているもので、炉壁の一部である可能性が考えられる。

③　近世以降の土製品

a　土製人形（d134）

型合わせの馬形頭部破片が１点ある。出土はSD34溝跡埋土中である。同溝跡からは、幕末～近代にかけての磁器片（不掲載）が複数出土しておりこれと共伴する。

（５）　石器・石製品（遺物図版136～186　写真図版284～308）

今回の調査で出土した石器総数は、剥片を含む合計点数16,642点、重量の総計は735kgに達する。剥片を除き、二次加工や使用痕を持つ石器、及び石核に限ると2,302点を数える。整理にあたってはまず器種分類を行い、明らかに古代の所産と判断される砥石以外は縄文・弥生時代に属するものとして取り扱っている。ただし、石器の出土地点では一定量が古代の遺構内から出土する（第27表）。特に敲磨器、礫器、石皿･台石類といった礫石器等の中には、古代の石器が含まれている可能性がある。なお、遺物図版の作成にあたっては器種別の掲載としているが、平成23～24年度調査出土石器類につ

いては手描き実測・トレース図を掲載（遺物図版136～146）、平成25年度出土分は委託実測によるデジタルトレース図を掲載（遺物図版147～186）したため、出土年度による分割とした。

①　縄文・弥生時代の石器

a　石鏃（e1～7・63～88）

合計点数は182点。うち33点を図化掲載した。基部の形状から以下のように７細分する。

Ⅰ類：凹基（13点　e6・63・66・76・88）
Ⅱ類：平基無茎（５点　e87）
Ⅲ類：木葉形（14点　e74・86）
Ⅳ類：平基有茎（35点　e2・3・64・65・71・77）
Ⅴ類：凸基有茎（105点　e4・5・67～70・72・73・75・78～85）
Ⅵ類：円基無茎（１点）
Ⅶ類：アメリカ式石鏃（２点　e7）
不明：基部欠損により分類不明（７点）

分類別では、Ⅳ類とⅤ類を合わせた有茎鏃が140点で77％を占めており、Ⅲ類木葉形も含めると大多数が有茎と捉えることができる。Ⅶ類の所謂アメリカ式石鏃は弥生時代中期～後期に特有の製品とされる（坂本1995）。出土した２点中１点（e7）はSD03溝跡埋土、不掲載の１点はＣ区Ⅲ層下部からの出土であり、出土地点からの年代特定は不能である。石鏃全体の出土地点ではＤ区包含層内の石鏃が85点（47％）で半数近くとなり、縄文時代晩期～弥生時代前期に属するものが主体と見られる。利用石材はメノウ10点、黒曜石２点以外は頁岩が大多数を占める。

サイズは全長2.0～3.5㎝の範囲の数値を取るものが主体で、石鏃としては一般的なものが多いと言えるが、この他に極小型の石鏃が含まれる。全長が2.0㎝未満の石鏃が７点（e67他）あり、重量も１ｇに満たない。基部のアスファルト付着は合計27点、全体の約15％に観察される。

b　石鏃未成品（e89～102）

石鏃の他に、石鏃の未成品と考えられる小型の尖頭器が71点出土している。認定基準は左右不対称であること（e89・91他）、側縁の二次加工が急角度剥離の状態であること（e98～101他）、中央の稜線が高く残存すること（e95他）、器体に捻れが生じていること（e90他）、これらのいずれかに該当するものについて最終的な仕上げ加工が行われていない製作を中断した状態と判断した。石錐、小型の尖頭器と区別が曖昧なものを含む。側縁からの剥離が器体中央まで及ばずに素材剥離面を広く残す資料が多い。出土地点はＤ区包含層が55点（78％）であり完成品と同様の傾向を示す。

c　石錐（e8・103～118）

合計点数は78点。うち17点を図化掲載した。全体形状、及び錐部の作出方法から以下のように５細分する。

Ⅰ類：全体形棒状、両端もしくは１端に錐部を持つもの（21点　e107・108・109・112・115）
Ⅱ類：摘み部と棒状の錐部の組み合わせからなるもの（30点　e103・110・113・116・118）
Ⅲ類：全体形が尖頭器状となるもの（11点　e8・104・106）
Ⅳ類：剥片の側縁全周に急角度の二次加工を施し錐部を作出するもの（５点　e117）
Ⅴ類：剥片素材の一部に二次加工を施し錐部を作出するもの（11点　e105・111・114）

定型的な石錐と捉えられるⅠ・Ⅱ類の合計は51点（65％）で多数を占める。剥片側縁の一部に加工を施し錐部を作るⅤ類については、e114のようにⅡ類の錐部が使用等の破損によって短く変形したも

のが含まれる可能性がある。

錐部先端の摩耗が進み、肉眼でも明瞭に観察できるものは13点を数える。錐部稜線が摩耗し断面が円形に変形している資料も含まれる。これらのうち６点がⅠ類の棒状石錐で、より使用頻度が高いことをうかがわせる。また基部、摘み部にアスファルト様の黒色付着物が観察できるものが３点ある。石材はほぼ頁岩が利用されている。出土地点はＤ区包含層出土が53点（67％）と多数を占めており、古代遺構内出土としたもの16点（20％）も、包含層帰属品の混入と考えられる。

ｄ　石匙（e9・119～127）

合計点数は17点。うち10点を図化掲載した。摘み部と主要刃部の角度によって３細分する。

Ⅰ類：縦型石匙（12点　e120・123～127）

Ⅱ類：斜位型石匙（３点　e119・122）

Ⅲ類：横型石匙（２点　e9・121）

単純に見ればⅠ類の縦型が大部分であると捉えられるが、Ⅰ類の中でも、全周の側縁二次加工によって楕円形を呈するもの（e125・127他）、摘み付きの尖頭器状を呈するもの（e124）、素材剥片側縁には二次加工をほとんど施さず、摘み部のみの加工がなされるもの（e123・126他）等、形状は一様ではない。今回は全体数が少数に留まるためこれ以上の分析は差し控える。摘み部のアスファルト付着はe124の１点のみ観察される。使用石材は全て頁岩が利用されている。出土地点は他の定型的剥片石器と同様に、Ｄ区包含層出土が12点（70％）で過半数を占める。

ｅ　石篦（e10・11・128～131）

石篦の認定基準は、側縁全周に及ぶ両面からの二次加工により左右対称、かつ末端が広がる形状となるものとしたが、不定形石器に分類したものと曖昧な点は否めない。合計点数は15点、うち６点を図化掲載した。特に細分はしない。出土地点は６点のＤ区包含層以外に遺構内外からの出土がある。サイズは全長4.5～9.8㎝の範囲にあり、平均が6.5㎝である。e10は横長剥片を素材として整った二等辺三角形を呈しており、両面の中央部にアスファルトと見られる黒色物質の付着がある。e130は背面側が分厚く盛り上がる状態のまま、末端に丁寧な押圧剥離を連続させた刃部が形成される。小型で細身に整形されるe131は末端がやや尖頭部的な状態であり、石錐Ⅲ類と近い形状となる。石篦の石材は全て頁岩を利用している。

ｆ　不定形石器（e12・132～162）

前述までの所謂定形石器に含まれない二次加工が施された剥片石器を一括した。合計413点を数える。うち32点を図化掲載した。素材剥片の形状、サイズ、二次加工の状態等における個体差が大きく、分類によって一定のまとまりが抽出できる状況にないことから、ここでは細分を行わない。

この中でも刃部の形状に着目すれば、大きく内湾する刃部、もしくは半円形に抉れた刃部を持つ所謂ノッチ状の石器が33点（e148・157他）、１辺または複数側縁に連続する深い剥離によって鋸歯縁状の刃部が作出された所謂鋸歯縁石器が72点（e137・138・140・145・152・154他）、２辺の二次加工による尖頭部が作出されるものが24点（e132・134・135・142他）等が認められる。

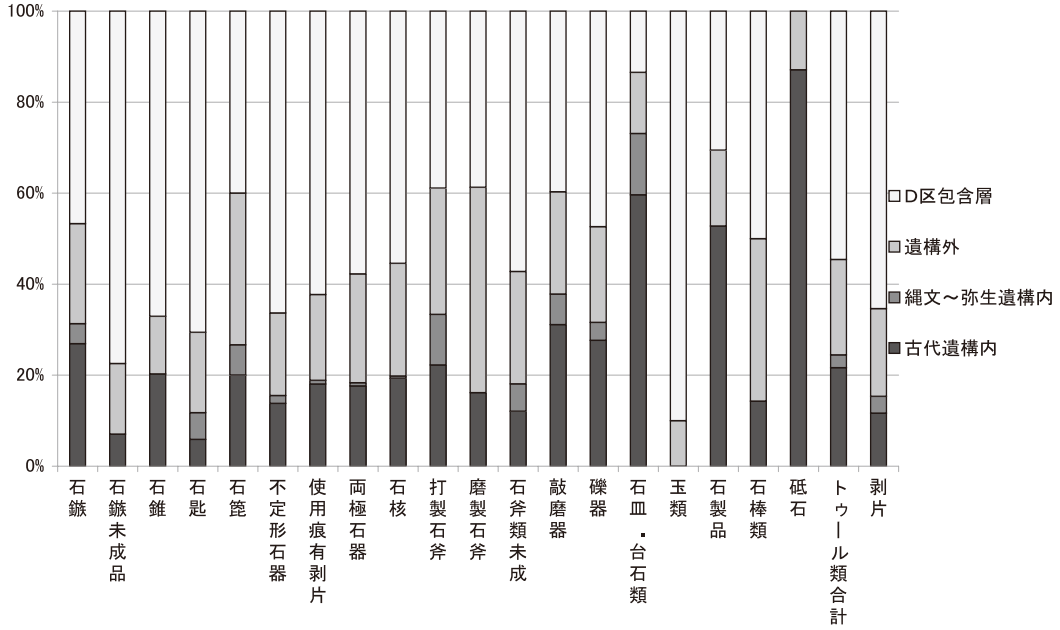
側縁全周に両面からの二次加工が施され左右非対称の半月形を呈し、一端が鉤状に尖るe135・139は所謂「嘴状石器」とも共通する点が多い。ただし、嘴状石器は縄文中期末～後期前葉の限定された時期にのみ出現するとされており（君島2012）、Ｄ区包含層Ⅳａ層出土e139等が大きく時代を越えて残存した嘴状石器と認定できるかどうか検討の余地がある。

この他、個体ごとに特徴的な資料を抽出する。e136は１縁に両面加工による刃部が設けられる。中央にアスファルト状の黒色付着物がある。e151は台形の剥片２側縁に急角度の剥離加工を施し、棒状

第26表　石器・石製品類集計

	石鏃	石鏃未成品	石錐	石匙	石篦	不定形石器	使用痕ある剥片	両極石器	石核	打製石斧	磨製石斧
古代遺構内	49	5	16	1	3	57	66	25	39	4	5
縄文～弥生遺構内	8	0	0	1	1	7	3	1	1	2	0
遺構外	40	11	10	3	5	75	69	34	50	5	14
D区包含層	85	55	53	12	6	274	228	82	112	7	12
合計点数	182	71	79	17	15	413	366	142	202	18	31
重量合計(g)	227.8	156.7	336.4	175.3	432.1	7,623.9	5,826.5	1,195.4	27,057.3	2,170.5	4,929.0

	石斧類未成品	敲磨器	礫器	石皿・台石類	玉類	石製品	石棒類	砥石	TOOL類合計	剥片	総計
古代遺構内	20	83	42	31	0	19	6	27	498	1670	2168
縄文～弥生遺構内	10	18	6	7	0	0	0	0	65	530	595
遺構外	41	60	32	7	1	6	15	4	482	2765	3247
D区包含層	95	106	72	7	9	11	21	0	1257	9375	10632
合計点数	166	267	152	52	10	36	42	31	2302	14340	16642
重量合計(g)	36,486.0	109,635.6	104,465.3	281,079.2	10.7	801.6	3,534.8	9,900.1	596,044.2	138,962.7	735,006.9



第275図　石器器種別出土地点割合

第27表－1　石核集計

作業面数	点数	打面数	点数	作業面数	点数	打面数	点数
作業面1	20	打面1	6	作業面4	36	打面2	2
		打面2	14			打面3	6
作業面2	76	打面1	6			打面4	25
		打面2	62			打面5	3
		打面3	7	作業面5	6	打面3	2
		打面4	1			打面4	2
作業面3	58	打面1	3			打面5	2
		打面2	8	作業面6	3	打面4	1
		打面3	39			打面6	1
		打面4	6			打面6	1
		打面5	2	作業面数不明	3	打面数不明	3

石材	点数
頁岩	181
ホルンフェルス	14
メノウ	4
凝灰岩	1
砂岩	1

第27表－２　石斧類集計

石斧類　石材

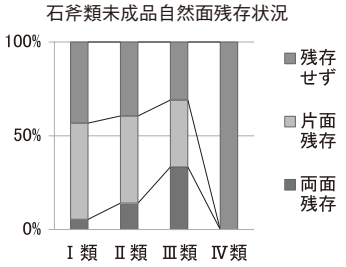
石材	打製石斧	磨製石斧	未成品
頁岩	4	6	55
ホルンフェルス	10		42
砂岩	3	10	30
凝灰岩		1	8
閃緑岩	1		7
玢岩		5	6
蛇紋岩		3	6
デイサイト		4	5
花崗閃緑岩			2
粘板岩			1
片麻岩			1
安山岩		1	
不明		1	3
合計	18	31	166

磨製石斧破損状態

状態	点数
完形品	6
基部欠損	12
刃部欠損	8
刃部破片	5
合計	31

石斧類未成品自然面

分類	両面残存	片面残存	残存せず
Ⅰ類　剥離初期段階	2	19	16
Ⅱ類　剥離段階	10	33	28
Ⅲ類　敲打初期段階	14	15	13
Ⅳ類　敲打段階	0	0	13
合計	26	67	70



第27表－３　敲磨器類集計

細分	点数
Ⅰ類凹石	88
Ⅱ類敲石	74
Ⅲ類多面体敲石	15
Ⅳ類磨石	46
Ⅴ類溝状砥石	4
Ⅵ類溶岩製破片	40
合計	267

石材	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	Ⅳ類	Ⅴ類	Ⅵ類	合計
頁岩	1	12	6				19
安山岩	36	2	1	8	1	1	49
デイサイト	23	12		10			45
軽石	4		1	6	3	39	53
メノウ			3				3
ホルンフェルス		7	1	1			9
凝灰岩	5	7	1	5			18
砂岩	3	10	1				14
閃緑岩		7		1			8
玢岩		5					5
その他	16	12	1	15			44
合計	88	74	15	46	4	40	267

第27表－４　礫器器類集計

細分	点数
Ⅰ類	51
Ⅱ類	35
Ⅲ類	9
Ⅳ類	36
Ⅴ類	21
合計	152

石材	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	Ⅳ類	Ⅴ類	合計
ホルンフェルス	16	11	1	11	8	47
頁岩	12	7	2	14	7	42
砂岩	8	6	2	7	3	26
デイサイト	4	4	1	1	2	12
凝灰岩	2	4	1	1	1	9
その他	9	3	2	2		16
合計	51	35	9	36	21	152

第27表－５　石棒類集計

器種	完成品	未成品	合計
石刀・石剣	12（67%）	6（33%）	18
石棒	13（76%）	4（24%）	17
不明	4（57%）	3（43%）	7
合計	29（69%）	13（31%）	42

石材	点数
頁岩	18
粘板岩	8
ホルンフェルス	5
凝灰岩	4
砂岩	4
安山岩	1
片麻岩	1
玢岩	1

の尖頭部が作り出されている。尖頭部には回転痕跡が見られないため不定形石器としたが、大型の石錐として使用された可能性を持つ。e155は表皮の残る横長剥片を素材として４辺に急角度のスクレイパーエッジが形成され、短冊形を呈する。

不定形石器全体では頁岩以外が32点（メノウ11点、ホルンフェルス６点、デイサイト６点、はんれい岩４点、黒曜石１点他）あるが、全体の92％にあたる381点が頁岩系の石材を使用している。また、出土地点はＤ区包含層出土が274点（66％）と多数を占める。

ｇ　使用痕ある剥片（e163～174）

剥片の側縁に、使用による刃こぼれと考えられる微細剥離痕が連続して見られるものを一括した。合計366点の出土である。12点を図化掲載した。二次加工による剥離面と微細剥離痕の区別は微妙であるが、概ね剥離面の大きさが２㎜未満の場合に微細剥離痕とした。同時に、偶発的で小規模な剥片側縁の破損と区別するために、剥離の大きさが一定程度に揃い、かつ連続する点を重視して抽出している。

特に細分はしないが、剥片の１辺（１ヶ所）に微細剥離痕を持つものが250点、２辺（２ヶ所）に見られるものが89点、側縁全周にわたり断続的、あるいは連続して微細剥離痕を持つものが27点という内訳になる。また特徴的な刃部の部位、形状としては、礫表皮を残す剥片側縁に形成されているもの（e164・167・169他）、大きく抉れる側縁に形成されているもの（e165・174他）が見られる。

サイズは不定形石器とほぼ同大と見て差し支えなく、全長2.0～8.0㎝、最大幅1.5～5.0㎝の値を取るものが主体である。使用される石材は頁岩系が344点で94％を占めるが、ホルンフェルス（11点）他、デイサイト（４点）、凝灰岩（２点）、メノウ・石英斑岩・砂岩・玢岩（各１点）等の石材も含まれる。出土地点は他の剥片石器同様にＤ区包含層出土が228点（62％）で多数である。

ｈ　両極石器（e13～15・175～189）

両極剥離痕が観察される剥片を両極石器とした。楔形石器の名称が一般的と考えられるが、両極打法により整形し、楔としての用法が想定される楔形石器と、小径の礫から小型剥片素材を採取するために両極打法を用いた石核、及び、剥離の際に生じた砕片を区別、検討する余地がなく、一括している。合計点数は142点。うち18点を図化掲載した。両極剥離痕の数により以下のように細分する。

Ⅰ類：対向する１対２辺に両極剥離痕を持つもの（134点　e13～15・175～180・182～187・189）

Ⅱ類：対向する２対４辺に両極剥離痕を持つもの（８点　e181・188）

１対の両極剥離痕を持つものが全体の94％に達する。共通する特徴として、階段状の剥離痕、打点付近の縁辺の潰れが顕著に観察される。サイズはⅠ・Ⅱ類ともに概ね縦横同寸で小型の資料が主体である。形状は両極剥離痕の打点となる縁辺が平行するものが多いが、片方が短い辺の状態であったり点状に収束するものが含まれる。

特徴的な資料としては、通常のフリーフレーキングによって得られた剥片に対して、二次加工としての両極剥離を加えた資料が存在する（e177他）。e13は両極剥離によって生じたスポールと見られる。e182は片面に自然面を広く残しており、素材礫からの剥片採取目的で両極剥離が行われた資料と考えられる。後述する接合資料の中には、両極剥離を繰り返して剥片を分割採取するものが含まれており（e208他）、主に縄文晩期～弥生前期において小型剥片を得る手段として両極剥離が頻繁に行われたことを示すと考えられる。使用される石材は頁岩系が130点（92％）を占め、圧倒的に頁岩が多い。頁岩以外ではメノウが６点（e13他）とやや目立つ存在である。出土地点では、Ｄ区包含層出土が82点（58％）と過半数を占める。

ｉ　石核（e22・190～200）

合計点数202点を数える。うち12点を図化掲載した。石核の認定にあたっては通常の剥片剥離作業が行

われた残核とした。後述する礫器との区別では、小型の剥片石器に多い肌理の細かい珪質頁岩製で鋭利な剥片が採取可能なものを石核とし、粗質な石材が主体で大型の礫縁辺に二次加工としての剥離作業が行われたものを礫器としているが、主観的な分類のためやや曖昧な点を残していることは否めない。

剥離作業面数と打面数を集計すると第28表-1のように、剥離作業面は１面～６面、打面は１面～６面までのバリエーションが認められる。剥離作業が進行し典型的な残核状態となっているもの（e194・197他）、素材礫の一部から剥離が行われ広く自然面を残す状態のもの（e198・200他）があり、作業段階も多様である。サイズは１辺3.0～8.0cm程度の範囲に集中する。使用石材は頁岩が181点（90％）で大多数を占めており、次いでホルンフェルス14点（7％）が目立つ。ただしホルンフェルス製については１辺10cmを超す大型品が含まれており、礫器に分類すべきかも知れない。出土地点はＤ区包含層出土が202点中112点（55％）と過半数を占める。

j　接合資料（e23・201～208）

Ｂ区のSU08遺物集中出土剥片から１組（e23）、Ｄ区包含層に隣接するSU10遺物集中出土剥片から22組の接合資料が得られている。このうち３点以上の剥片が接合する９組（e23・201～208）を図化掲載した。この両地点では同一母岩の可能性が高い剥片が集中的に出土しているため、特に接合作業を行った結果得られたものであるが、他地点出土剥片では剥片接合作業を行っていない。剥片総出土量（14000点超）から見ると他にも接合資料が含まれている可能性は充分あり得る。

e23は比較的大きめでやや粗質な赤色頁岩の母岩から(a)の剥離後に打面を再生し(b)～(d)が連続剥離される。剥片末端には礫面が残る。SU08では他に同一母岩の可能性が高い剥片６点（e16～21）が出土しており、一連の剥片剥離工程で採取された一括資料と見られる。

e201～208はいずれも類似した黒褐色～灰白色の良質な珪質頁岩である。色調等より〔e201・202・203〕、〔e204･207〕がそれぞれ同一母岩の可能性が高いと判断される。e201は(1)→(5)→(4)→(9)→(7)→(8)→(6)→(2･3)の順に打面を変えながら剥離を繰り返す。(6)剥片は側縁に二次加工を施す不定形石器として利用されている。e202は(3)→(10)→(9)→(4)→(5)→(6)と剥離を進めた後、(11)で打面再生、(1)→(2)→(4)と進める。e203は表皮から残核までの工程が観察できる資料。(9)で礫面の除去、(2)→(10)→(6)の大きめの剥片剥離後に打面を固定し(11)→(3)→(5)→(4)と連続剥離する。残核の(1)は礫面を残すものの3.6cm程の大きさまで剥離が進行している状態である。

e204は表皮礫面の除去を繰り返した状態。e205は小型の礫素材と見られ、(1)･(2)の通常剥離後に(3)･(4)が両極剥離で得られている。e206は表皮礫面の除去を繰り返した状態。e208は(4)で打面形成、(1)の残核と(2)・(5)・(6)に分割され(2)が両極剥離で採取される。

k　打製石斧（e24・25・209・210）

合計点数は18点。うち４点を図化掲載した。打製石斧の認定は薄手で左右対称に整形され、直線的ないし湾曲する刃部が形成されている点を重視した。同一の形状であっても、一部に敲打調整痕跡が見られるものは石斧未成品に分類している。サイズは全長8.0～12.0cm前後、最大幅4.0～6.0cm前後が標準的となる。厚さは1.5～3.0cm程度の範囲に収まり、3.0cmを超すものが多い石斧未成品とは異なると言える。

e24は横長剥片を素材として両側縁の両面加工で撥形の形状を作り出している。刃部には細かい使用痕と見られる微細剥離痕が連続する。e25・210は側縁全周の両面二次加工で洋梨形を呈する。e209は側縁に意図的な段差が作り出され、「関部」的な形状となっている。

使用石材はホルンフェルス10点（56％）が目立つ存在である。他は頁岩４点、砂岩３点、細粒閃緑岩１点で構成される。磨製石斧、石斧類未成品とは利用される石材に差異がある傾向を指摘できる。

出土地点はD区包含層７点（39％）と多いが過半数には達しない。

l　磨製石斧（e26・211～215）

合計点数は31点。うち６点を図化掲載した。断面形状とサイズから以下のように細分する。

Ⅰ類：定角式（14点　e212～214他）

Ⅱ類：乳棒形（11点　e211・215他）

Ⅲ類：小型品（全長5.0㎝程度のもの　2点　e26他）

31点中25点（81％）が破損品である。器体中央付近から基部側と刃部側に割れる個体が多いが、刃部の一部のみ残存という資料が５点確認される。e211は断面が楕円形を呈し、太形蛤刃石斧に類する形状となっている。基部破損部周囲には偶発的とは考えにくい剥離痕が巡っており、折損品の再調整が行われた可能性がある。e213は直線距離で約40ｍの距離を隔てて接合した。基部側側縁は敲打調整段階である。

磨製石斧に使用される石材は砂岩（10点）、頁岩（６点）、玢岩（５点）、デイサイト（４点）、蛇紋岩（３点）等と比較的多様である点が特徴となっている。

m　石斧類未成品（e27～33・216～239）

合計166点を確認している。うち31点を図化掲載した。いずれも磨製石斧の未成品である可能性が高いと考えられるが、打製石斧の製作途上にあるもの、もしくは打製石斧の完成品を含めている恐れもある。石斧類未成品としたのはこの理由による。製作工程段階により以下のように細分する。

Ⅰ類：剥離整形初期段階（39点　e28・235・236他）　素材礫の側縁に剥離整形が加えられるが、一部に留まっており素材礫の自然面が広く残る段階。

Ⅱ類：剥離整形段階（70点　e31～33・224～234・237～239他）　剥離整形が進行し全面ないし全面に近い状態まで剥離面が覆う段階。側縁や稜線の一部に敲打痕が観察されるものは剥離作業の繰り返しによって生じたものと判断し、この段階に含めている。また敲打調整を経ないで研磨調整痕跡が見られる資料も含む（e234他）。

Ⅲ類：敲打調整初期段階（44点　e27・29・220～223他）稜線、側縁に一定範囲の敲打面が形成されている段階。剥離面の稜線以外には敲打面が及んでいない。

Ⅳ類：敲打調整段階（13点　e30・216～219他）敲打調整が進行し、概ね表面の50％以上が敲打面で覆われている段階。

なお今回の出土資料の中では、Ⅳ類の敲打調整を経て研磨調整段階の途中で製作を中断、廃棄されたと見られる個体は存在しない。いずれにしても、磨製石斧の完成品31点に比較し、最終的な完成形に至る前に破損等の原因で廃棄された資料が166点存在する点から、石斧製作がある程度集中的に行われていたことは確実である。

各類の自然面残存状況を見ると、Ⅰ類～Ⅲ類では60％前後の資料に片面ないし両面の平坦部に素材礫の自然面が残存しているのに対し、Ⅳ類の敲打調整段階では自然面を残す資料は見られなくなる。剥離面が深く入り込んで生じた凹凸部分について、最終的に平坦面に仕上げる工程が敲打段階で行われていることを示している。また、Ⅲ類のうち14点（33％）の資料で両面に自然面が残存している点から、素材礫には磨製石斧完成形に近い大きさの偏平な礫が選択されていたことをうかがわせる。

一方､小型品の中に横長剥片を素材とするものが26点（16％）含まれる（e28･31･230･231･238･239他）。いずれも片面に素材剥片の腹面を残していることから判断されるが、全面敲打調整段階、あるいは研磨調整段階に至る資料にも存在することが考えられる。サイズは最大でもe28の全長14.5㎝で、主体は全長5.0～10.0㎝程度の小型品である。小型磨製石斧についての素材獲得方法の一つのあり方を示す

ものとして注目される。

破損状態は166点中92点（55％）が大きく破損している資料にカウントされる。一方、74点（45％）は小規模な一部の欠損に留まる状態である。これらが製作途上で廃棄された理由については、剥離整形段階で予期しない部分までの剥離が生じてしまう等、整形の失敗が想定される。

使用される石材は頁岩55点（33％）ホルンフェルス42点（（25％）砂岩30点（18％）等が多く、打製石斧と磨製石斧の使用石材を合計した状態に近い。出土地点はＤ区包含層が95点（57％）を占め、定形剥片石器類と同様の傾向にある。

n　敲磨器（e40～50・240～260）

素材礫の形状を留め、通常は凹石、磨石、敲石等の使用痕によって認定される礫石器を一括している。合計点数は267点。うち32点を図化掲載した。この種の礫石器では複数の使用痕が複合して観察されるものが多く、どの使用痕に着目するかによって分類点数も異なってくる。ここでは細分にあたり、まず凹部を持つものをⅠ類凹石として抽出、それ以外の資料から敲打痕が集中するものをⅡ類敲石に分類、更に小型で全面が敲打面で覆われる所謂「多面体敲石」をⅢ類として独立させた。残りの資料のうち、平坦面の摩滅痕跡が顕著なものをⅣ類磨石、また磨石の一種に含まれると考えられるが、深い砥溝が形成されているものをⅤ類溝状砥石、軟質の黒い色調を呈する安山岩質溶岩を素材として、平坦面が形成されているものをⅥ類とした。出土点数は以下の通りである。

Ⅰ類：凹石（88点　e46・47・49・241～248）
Ⅱ類：敲石（74点　e40・41・45・249～253）
Ⅲ類：多面体敲石（15点　e42～44・254～256）
Ⅳ類：磨石（46点　e48・50・257～259）
Ⅴ類：溝状砥石（４点　e260）
Ⅵ類：溶岩破片（40点　図化資料なし）

凹石では自然礫の両平坦面に凹部が対に形成されているものが大部分だが、石棒破損品転用（e245）石斧破損品転用（e246）といった他器種の石器転用事例が含まれる。e248は軽石を素材として凹部の他に溝状の砥面を持っており、Ⅴ類にも分類され得る資料である。凹石全体に共通して、凹部周囲の平坦面に摩滅面が形成されるもの（40点）、側縁に敲打面が形成されるもの（18点）といったように複数の使用痕跡が複合して観察されるものが一定数ある。

敲石は稜線がある程度明瞭な角礫、亜角礫を利用しているものが目立つ。稜線等の凸部を集中的に敲打面として使用している状況である（e249・250等）。また全長10.0～25.0㎝程度、径5.0～8.0㎝前後の棒状礫の頂端部分を敲打面に使用している敲石が37点ある（e41・45・252他）。e40は楕円形礫素材で側縁に剥離整形が加えられる。石斧製作途上で中央の厚みを減らすことが不可能になり敲石に転用されたものと考えられる。

多面体敲石は小型の礫を素材として、平坦な敲打面同士が接して多面体を呈するものを典型的な資料とし（e254等）、これに近いサイズで敲打面が一定範囲に広がるものを含めている。磨製石斧の敲打調整段階で集中的に使用される石器と解釈されている（阿部1984）。サイズは径5.0～7.0㎝前後に集中する。重量は100～300ｇ程度となっている。

磨石では偏平あるいは楕円形を呈し稜線の見られない円礫、亜円礫を素材として、平坦面に広い摩滅面が形成されるものが主体となる。全面に摩滅面が及ぶものは平坦面中央、側縁等に敲打痕が加わるものが見られる（e48・258他）。サイズは全長5.0～15.0、幅5.0～12.0㎝程度に集中し、Ⅰ類凹石、Ⅱ類敲石よりやや大きい傾向が認められる。

Ⅴ類溝状砥石は４点のみ認定した。e260は安山岩製溶岩を使用した破損品で、幅１～２㎝程度、深さ５㎜程の砥溝が複数観察される。不掲載の１点は軽石を素材としている。

Ⅵ類溶岩破片は奥羽山脈の火山噴出物起源の転礫を素材として、人為的な使用痕跡と考えられる平坦面が形成されたものを一括した。発泡質で空隙が多いことから、対象物を擂り潰す等の用途に用いられたものと考えられる。変形加工が容易になされ使用痕跡が生じやすい素材である。また、40点中33点（83％）が破損品で、破損の割合は他敲磨器類に比較し突出して高率となっている。素材礫はおそらく岩手山火山噴出物等に含まれた溶岩と推定され、北上川中流域には転礫状態で分布する。

敲磨器類全体の使用石材は細分によっての差異が目立つ（第28表-3）。Ⅰ類凹石では安山岩、デイサイト、Ⅱ類敲石では頁岩、デイサイト、砂岩、Ⅲ類多面体敲石では頁岩、メノウ、Ⅳ類磨石ではデイサイト、安山岩、軽石という順の使用頻度である。使用方法による石材の選択がなされていたことを示唆するものと考えられる。

o　礫器（e35～39・261～272）

礫器は大型の剥片や自然礫を素材として、側縁に二次加工の剥離を施している石器を一括した。打製石斧、石斧未成品、不定形石器、石核との区別については、打製石斧の場合は左右対称の規格的な形状に仕上げられていること、石斧類未成品の場合は偏平で一定の厚さを意識して加工がなされていることと、剥離加工が行われた縁辺に敲打による潰れ痕跡が生じていること、不定形石器の場合は小型で鋭利な縁辺の作出、二次加工が行われていること、石核の場合は一定の大きさの剥片剥離が行われていることを主眼としている。しかし、それぞれとの差異が微妙でどちらとも分類され得る個体が含まれている点は否めない。

礫器とした石器の合計点数は152点。うち17点を図化掲載した。サイズ、形状、及び二次加工の状態によって以下のように細分する。

Ⅰ類　大型の円礫・楕円形礫を使用し、側縁の全周ないし一部に二次加工剥離が連続するもの。
（51点　e35・37・39・261・262・266・267・272他）

Ⅱ類　大型礫の片面が剥離された剥片を使用し、側縁に二次加工剥離が施されるもの。
（35点　e263・268・272他）

Ⅲ類　長楕円形礫・棒状礫を使用し、一端あるいは側縁に二次加工剥離が施されるもの。
（９点　e265他）

Ⅳ類　小型の剥片を素材として側縁に二次加工剥離が施されるもの。
（36点　e36・264・270他）

Ⅴ類　分厚い球形ないし立方体の礫を素材として、稜線に不規則に二次加工剥離が施されるもの。
（21点　e38・269他）

二次加工が加えられる部位について偏平な形状となるⅠ・Ⅱ類合計86点中の内訳は、側縁全周に剥離痕が連続するもの19点、半周に及ぶもの25点、側縁の一部に二次加工が施されるもの42点であり、約半数は二次加工が一部に留まる状態である。

使用石材はホルンフェルス、頁岩、砂岩、デイサイト、凝灰岩の順に多く、細分別で見ても同一の傾向にある（第28表-4）。礫器出土地点はＤ区包含層が72点（47％）と半数近くになり、概ね縄文～弥生時代に帰属する資料が多いと見られるが、古代遺構内出土の割合は42点（28％）と比較的高く、古代に使用された製品が含まれている可能性も考えられる。

p　石皿・台石類（e51～54・273～278）

合計点数は52点。うち10点を図化掲載した。形状から以下のように３細分される。

Ⅰ類：有縁石皿（５点　e51・52・274・276）
Ⅱ類：無縁石皿（17点　e53・54・273・275・277・278）
Ⅲ類：台石（30点　図化掲載資料なし）

完存して全体の形状、サイズが判明するものは19点と半数以下である。出土地点は古代遺構内出土が31点（60％）に達し、Ｄ区包含層は７点（13％）に過ぎない。古代遺構内出土の割合は砥石に次いで高率の状況である。おそらく縄文～弥生時代に製作使用されたものと、古代の製品の両者が含まれていると考えられるが、資料そのものからは差異は見出せなかった。

e51は低い四脚を持つ有縁石皿。使用面は全面が摩滅する。脚部はわずかな盛り上がり程度だが破損ではないと判断される。e54は大型の偏平礫を利用した石皿の破片で、片面に顕著な摩滅痕跡が見られる。e275は安山岩製溶岩を素材とし、湾曲する薄手の皿状に整形した石皿で一部に黒色付着物が観察される。同様に安山岩製溶岩を使用したものは、石皿・台石類全体の中で10点ある。加工のし易さと表面のざらつく状態を利用したものと考えられる。e278は最大長73㎝、重量85kgに達する大型のデイサイト製偏平礫で、古代住居跡SI53の床面から出土した。出土状態で上になっていた面全体に摩滅痕跡と擦痕が散在する。

ｑ　玉類（e57・279～287）

勾玉、管玉、平玉を一括している。図示した10点が全てである。Ｄ区包含層から出土したものが９点（e279～287）、e57の１点のみＣ区中央部Ⅱ層からの出土である。e280は古代竪穴住居跡SI53の床下から出土した。これも本来は古代面下位の包含層に帰属していたと考えられることから、今回出土した石製玉類はいずれも弥生時代前期を中心とした時期の製品と判断される。

勾玉はe279・280の２点。e279は黒っぽい色調の滑石を素材とするが、刻線の装飾を持つe280はヒスイに近い青い色調である。ただしこの石材について、糸魚川市フォッサマグナミュージアム宮島宏氏に定性化学分析を実施していただき、通常のヒスイ輝石に特徴的なNa、Alのピークがほとんど認められずヒスイ輝石ではないという結果が得られている。

管玉はe281・282の碧玉製管玉が２点出土している。e281は完存しており、表面の研磨が丁寧に行き届いている。断面は円形ではなく一部に平坦面が形成される。e282はやや質の悪い石材を利用したためか縦に破損する。孔内面には両面からの穿孔痕跡と中央で若干ずれている状態が観察される。

平玉はe57・283～287の６点がある。e287以外は両面が研磨された完成品、e57は蛇紋岩、残りは滑石素材である。e287は平坦面の研磨調整が行われる前段階で破棄された資料と見られ、両面からの穿孔は貫通しない。

ｒ　石製品（e55・56・58・59・288～298）

利器とは考えにくい様々な資料を一括する。合計36点を登録しており、うち15点を図化掲載した。

e55は独鈷石の破損品。丁寧に研磨調整された器面に部分的に赤色顔料による彩色痕跡がある。e58は白い泥岩を加工した円錐状の一部。沈線による段表現が複数施されると見られる。e288は軟質の凝灰岩偏平礫素材で、中央に穿孔、全面を丁寧に研磨調整する。装身具の一種と見られる。e289は小型の角柱状に整形された個体の一部で、表面はヒスイに近い青い色調を呈する。e288・289ともに古代住居跡SI67出土だが、下位に包含層が分布している地区にあることから、弥生時代の石製品と考えられる。e293は片面に自然面を残す剥片側縁に両面二次加工を施した不定形石器状の破片だが、中軸線から線対称に抉りを入れた意図的な形状と見られることから石製品と分類したものである。e296は薄緑色の頁岩製棒状円礫の全面を研磨し、２面中央平坦部に敲打痕が集中する。

図示した以外では、偏平な礫素材の平坦面に研磨調整の痕跡が観察されるものが多い。またこれと

は別に、径1.5～2.0㎜前後の白色、黒色を呈し加工痕を持たない偏平な小円礫が11点、主に古代の住居跡内から出土している。碁石の可能性をうかがわせるが確証を得ない。白色は主にメノウ、黒色は頁岩､蛇紋岩等を使用する。これらを含み､石製品全体の出土地点は古代遺構内が最も多く19点(52%)に達し、次いでD区包含層出土11点（31%）となる。縄文～弥生時代の製品と古代の製品の両者が含まれると考えられる。

s　石棒類（e299～317）

石棒、石刀、石剣を一括する。剥離、敲打調整によって棒状に整形され最終的に研磨調整が加えられる。合計42点の出土。うち19点を図化掲載した。断面形状から刃部を作り出さない石棒、刃部を持つ石刀・石剣に細分される。片刃と両刃の区別が微妙なものが多く石刀と石剣を一括した。更に、研磨調整段階に至っていない、未成品と考えられる個体が一定数含まれる。それぞれの内訳は第28表-5の通りである。全体では約1／3が未成品と判断される。明確な石棒、石刀・石剣で完存している完成品がないため、本来の全長は不明であるが概ね所謂小型石棒に類すると見られる。

e301は粗割によって断面台形に整形された棒状礫で、稜線に敲打痕が集中する。径が一定せず破損部から先が細くなる可能性がある。e304・312は偏平な棒状礫で一端が幅広になる。全面が研磨調整され幅広側の側縁に敲打痕が見られる点で共通する。石棒類以外の器種とすべきかも知れない。石棒類の出土地点は21点（50%）がD区包含層出土で、石製品一般よりは剥片石器類に近い割合となる。

② 古代の石器

a　砥石（e60～62・318～330）

ここで砥石に登録した石器は、全て直方体の広い砥面を持つもので、鉄器の研磨作業に用いられたことが確実である。縄文～弥生時代に帰属するものは含まれていないと判断される。31点の出土。うち16点を図化掲載した。砥石の出土地点は27点（87%）が古代の竪穴住居跡他の遺構内出土である。一部遺構外Ⅳ層出土として取り上げたものが２点含まれるが（不掲載）、これも混入の可能性が高いと見られる。

サイズは横幅が５㎝程で重量が200ｇを超える大型のもの、幅・厚さが２～３㎝程度で重量50ｇに満たない小型品の２種類に分けられるようである。前者が置き砥石、後者が手持ちの仕上げ砥石として利用されたと考えられるが、破損品についてはその区別は難しい。

砥面は１面のみのものから、合計８面に及ぶものまで多様である。２～５面の砥面を持つものが24点で過半数を占める。また、本来は細長い直方体だったものが使用過程で折損し、その破断面を更に砥面として利用しているようなものが含まれる。e326は小型の仕上げ砥石で、片方の端部中央に紐通しと考えられる貫通孔がある。利用される石材は24点（77%）が凝灰岩を使用している。全て肌理が細かく灰白色の色調を呈する点で共通する。凝灰岩以外ではスコリア（３点)、ホルンフェルス･頁岩･軽石・凝灰質砂岩（各１点）がある。

第28表　出土地点別剥片集計（1）

出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数
SI03 QNW4層	91.0	1	SD16 上部	1.9	1	SI10 QSW 床直上	2.1	1	SI31 QSE 上部（砂層）	6.6	1
SI03 QNW7層	24.0	1	SD22 一括	13.2	2	SI10 カマド上部	5.8	1	SI31 QSE 中部	21.5	1
SI03 QSE	0.3	1	SD27	251.0	7	SI10 掘り方内	167.9	5	SI31 一括	49.0	4
SI03 QSE 下部	67.8	3	SD27 ベルト東から1本目	456.9	24	SI10 東壁際下部	4.5	4	SI32 砂層	0.3	1
SI03 QSE 上部	0.3	1	SD27 ベルト東底面付近	28.2	3	SI10 南半下部	28.2	3	SI33 南半3～4層	16.6	5
SI03 中部	79.6	1	SD27 ベルト東から3･2本目	9.7	2	SI10 南半床面	12.1	1	SI33 北端床直上	4.6	2
SI03 北東下部	4.8	1	SD27 一括	530.3	15	SI10 南半上部（砂層）	2.6	1	SI33 北半3～4層	89.3	2
SI03 北東下部7層	26.5	1	SD27 区画③	42.7	7	SI10 北壁際床面	6.9	1	SI34 2層	1.0	1
SI05 QSE 床直上	0.6	1	SD27 区画④	82.6	17	SI11 3～5層	0.0	1	SI34 QNE2層	18.3	1
SI05 一括	0.9	1	SD27 区画④底部	3.3	1	SI11 QNW	4.4	3	SI34 QNW2層	1.8	1
SI38 一括	146.5	7	SD27 黒色土層	202.4	18	SI11 一括	3.2	1	SI34 QSE2層	5.1	1
SK100 底面	0.0	1	SD27 東から2ブロック目	57.7	5	SI12 QNE	18.6	1	SI34 QSW1層	1.4	1
SK101 2層（底面）	3.0	2	SD27 東側上層	7.3	2	SI12 一括	5.1	1	SI34 QSW2層	8.6	2
SK101 埋土	13.1	4	SD27 東端	260.7	16	SI13 カマド③焼土上新規貼床	3.1	1	SI34 カマド	16.3	1
SK102 埋土	285.0	13	SD27 東端区画	87.1	8	SI13 掘り方内	1.0	1	SI35 4～5層	3.8	1
SK106 埋土上部	2.8	1	SD27 埋土	1007.1	81	SI13 上～中部	16.6	5	SI36 一括	38.1	2
SK112 1～3層	14.3	2	SD27 埋土下層	704.1	40	SI13 東半上～中部	1.5	1	SI37 3層	25.6	7
SK119 埋土	0.7	1	SD27 埋土上層	351.4	32	SI14 QNW	2.9	1	SI37 Pit2	12.6	1
SK92 埋土	63.3	7	SD28 埋土	4.1	1	SI15 QNE	0.8	1	SI37 一括	136.8	6
SN09 検出面～下	9.5	1	SD35～39 合流点	4.2	1	SI15 QSE	4.5	1	SI37 床直上	382.2	2
SN09周辺（S）2（検出面）	465.3	1	SD35･45 埋土	24.3	1	SI15 カマド周辺	6.0	1	SI39 1層	4.0	1
SN09周辺 検出面～下	26.1	3	SD45 埋土	18.0	1	SI15 一括	6.5	1	SI39 P11	149.5	2
SN15 焼成面より上	1.3	1	SD46 埋土	37.3	8	SI16 Pit6	17.1	1	SI39 QNE1層目-10cm	100.0	1
SN15周辺 一括	0.9	1	SD47トレンチ SK129	8.8	1	SI16 カマド東側下部	2.6	2	SI39 QNE2層目-30cm	327.0	2
SN15周辺 炉周辺	34.7	3	SD48 西北側大型土坑	23.1	1	SI16 一括	49.2	5	SI39 QSE1･2層目-20cm	4.0	1
SN19（P）5（1層下面）	2.4	1	SD50 埋土	72.1	1	SI16 下部	11.2	2	SI39 QSE2層目-30cm	17.7	2
SN19（S）11（1層下面）	24.4	1	SD51 埋土	43.3	2	SI17 3層	15.0	2	SI39 QSW2層目-30cm	80.0	2
SN19（S）4（1層下面）	56.2	1	SI06 3層以下	4.2	1	SI17 4層	20.4	2	SI39 QWE2層目-20cm	16.3	1
SN19（S）7（1層下面）	53.0	1	SI06 5層以下	36.5	7	SI17 Ⅱ層	0.6	1	SI39 カマド1燃焼部	16.7	1
SN19（S）8（1層下面）	62.9	1	SI06 カマド周辺	1.3	1	SI17 一括	69.5	4	SI39 一括	157.2	10
SN19 1層（Ⅲ層）	4.1	1	SI06 一括	219.9	7	SI17 下部（砂層より下）	8.6	1	SI39 床面	185.4	2
SN19 2層	3.0	1	SI06 掘り方内	5.3	2	SI17 掘り方内	39.2	4	SI39 上部	12.5	2
SN19周辺 1層（Ⅲ層）	54.7	6	SI07 1層	8.2	2	SI17 床～下部	1.7	1	SI39 中部	23.8	4
SN19周辺 Ⅳ層上部	145.5	17	SI07 4層	389.0	13	SI19（S）10	89.1	3	SI40 1層	22.0	1
SN19周辺 一括	417.9	3	SI07 Pit1掘り方内	22.3	1	SI21 QNW	87.0	3	SI40 上部	18.9	2
SN19周辺 炉周辺	47.2	5	SI07 Pit3	58.6	1	SI21 QSE	2.0	2	SI40 東カマド周辺	4.0	1
SN19 炉2層	80.4	3	SI07 Pit3上部	0.1	1	SI21 QSW	28.3	2	SI40 埋土	87.4	7
SN34 Ⅳc層	1.1	1	SI07 QNE 下部	1.8	2	SI21 カマド	1.9	1	SI41（S）5	15.6	1
SN36 焼土	6.9	1	SI07 QNE 上部	7.1	2	SI21 一括	17.4	1	SI41 掘り方内	10.6	1
SN36 埋土	18.7	1	SI07 QNW 下部	5.4	1	SI21 掘り方内	37.1	2	SI41 上～中部	66.1	8
SU01 一括	2794.2	307	SI07 QSE 下部	108.4	8	SI21 北東部	11.9	1	SI41 中部	1.8	1
SU02 一括	2014.0	32	SI07 QSE 床直上	3.8	2	SI21 北壁周溝	0.7	1	SI42 カマド	20.9	5
SU03 一括	238.4	28	SI07 QSW 下部	4.0	1	SI22 下部	10.1	1	SI42 一括	3.7	1
SU04 一括	275.4	26	SI07 QSW 上部	4.6	1	SI22 上部	7.5	1	SI43 P2	68.8	2
SU05 1層	108.0	11	SI07 カマド煙道	3.2	1	SI23 QSE	69.3	3	SI43 P1	28.4	8
SU05 一括	99.9	14	SI07 カマド周辺下部	31.9	1	SI23 カマド検出面	224.6	1	SI43 P13	22.0	2
SU08	317.5	11	SI07 カマド周辺上部	2.2	1	SI23 床面	1.7	1	SI43 P18	1.2	2
10UM 埋土	25.3	1	SI07 カマド上部	2.1	1	SI23 南半3層	18.4	2	SI43 P19	63.0	6
1UM-UM5 埋土	41.4	1	SI07 カマド西側北壁棚部	1.5	1	SI23 北東部	2.2	1	SI43 P20	16.4	1
1UM-UM7 埋土	36.3	5	SI07 カマド燃焼部直上	26.1	3	SI24（S）13	64.6	1	SI43 P3	26.8	3
5UM 南側埋土	5.4	1	SI07 下部	0.8	1	SI24 掘り方内	3.8	1	SI43 P8	187.3	12
5UM 埋土	28.3	2	SI07 掘り方内	114.2	2	SI24 床直上	78.0	7	SI43 Q1（埋土下層）	94.6	3
Ⅰ E17r SI45埋土	46.2	3	SI07 床溝	13.1	1	SI24 床直上～下部	6.0	2	SI43 カマド1煙道埋土	20.9	4
P0024 一括	8.3	1	SI07 床直上	33.5	1	SI26 カマド周辺	8.0	1	SI43 カマド1燃焼部	3.2	1
P0117 一括	3.1	2	SI07 床面	1.5	2	SI27 QNE	1.6	2	SI43 カマド2煙道	1.8	1
P0124 一括	67.7	1	SI07 上部	7.6	2	SI27 一括	97.3	1	SI43 カマド2周辺埋土下層	4.9	1
P0130 一括	4.4	1	SI07 上部（砂層）	2.9	3	SI27 掘り方内	1.6	1	SI43 攪乱	54.4	13
P0268 一括	2.2	1	SI07 中部	16.7	2	SI27 砂～炭化物層	95.2	5	SI43 床溝	44.1	14
P0827 一括	217.1	2	SI07 南半下部	1.3	1	SI27 砂層	9.4	1	SI43 東壁際周溝	124.1	6
P1553 一括	64.5	8	SI08 1～2層	84.1	7	SI27 砂層より下	140.2	2	SI43 埋土	24.7	2
P1607 埋土	19.1	3	SI08 12層	28.2	1	SI27 炭化物層	6.2	1	SI45 P2	1.7	1
P1950 埋土	24.1	1	SI08 3層以下	2.2	1	SI27 東半	12.9	1	SI45 西半床面	1.1	1
P1961	2.1	1	SI08 Pit1	27.9	1	SI28（P）8	79.1	1	SI45 埋土	88.7	4
P1974 埋土	7.3	1	SI08 カマド煙道	0.2	1	SI28（S）1（床面）	1530.3	1	SK48 底面	9.1	1
SB02 Pit3	5.0	1	SI08 下部	41.8	4	SI28 QSE	3.7	1	SK48 中央部	61.0	1
SB02 Pit4	10.0	1	SI08 掘り方内	41.8	2	SI28 カマド煙出し	1.1	1	SK48 埋土	297.1	2
SD02 Ⅰ B13p ～ q上部	7.6	1	SI08 上部	102.1	14	SI28 掘り方内	5.8	2	SI47 カマド3	199.5	1
SD02 Ⅰ B13r下部	2.5	1	SI09 2層	7.7	3	SI28 東半	0.0	1	SI47 埋土	16.5	1
SD02 A区南端	47.9	2	SI09 3層	0.4	1	SI29 一括	28.2	2	SI49 カマド側	18.5	1
SD02 一括	23.6	1	SI09 カマド周辺中部（砂層下）	1.8	1	SI29 東半	0.0	1	SI49 埋土	25.3	1
SD02 上部	3.5	1	SI09 床直上	8.5	4	SI30 1層	13.5	1	SI50 焼土1	2.9	1
SD03 A区南端	22.6	3	SI09 床直上～2層	2.9	2	SI30 2層	1.9	1	SI51 QNE1層目	16.5	1
SD03 A区北半	5.8	4	SI09 上部	201.3	6	SI30 QSW	1.1	2	SI52 K01	87.1	1
SD03 A区北半　下部	8.7	1	SI09 中部	2.6	1	SI30 一括	8.9	1	SI52 攪乱	18.9	7
SD03 A区北半　上部	6.5	3	SI09 中部（砂層より下）	16.0	1	SI30 掘り方内	0.5	1	SI52 南半	38.6	1
SD03 一括	29.8	5	SI10 3～4層	85.3	5	SI31 3層	3.7	1	SI52b 床面	44.6	1
SD05 一括	1.3	1	SI10 Pit2掘方内	13.0	2	SI31 QNE 上部（砂層）	1.5	1	SI53 カマド煙道	6.9	1
SD08 一括	0.5	1	SI10 Pit5	1.6	1	SI31 QNE 中部	18.3	3	SI53 床面	6.0	4
SD10 南端	0.3	1	SI10 Pit6	5.5	1	SI31 QNW 下部	2.5	1	SI53 南半	170.4	17
SD10 北半	14.6	4	SI10 QNE 下部	77.5	2	SI31 QNW 上部（砂層）	53.6	5	SI53 北半	29.1	6
SD16 下部	9.0	1	SI10 QSE 下部	49.3	3	SI31 QNW 中部	7.1	1	SI53 埋土	8.7	2

第28表　出土地点別剥片集計（2）

出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数
SI54 床面	63.4	1	SI84 QNW埋土下半～床面	13.8	1	Ⅰ E17r Ⅳa層	163.1	13	Ⅰ F19b トレンチⅢ層	4.2	1
SI54 中央トレンチ内	4.3	1	SI84 QSE埋土	7.2	1	Ⅰ E17r Ⅳc層	86.0	6	Ⅰ F19b トレンチⅣa層	23.0	2
SI56（Ⅱ F2f）古代面	6.3	3	SI84 QSE埋土下半	77.8	2	Ⅰ E17r Ⅳ層	5.1	1	Ⅰ F19c Ⅳa層	143.2	5
SI56 P1	11.4	1	SI84 QSW埋土	91.3	1	Ⅰ E17s Ⅲ・Ⅳ層	39.7	4	Ⅰ F19c Ⅳ層	40.9	2
SI56 P12	3.9	1	SI86 P5	13.2	1	Ⅰ E17s Ⅳa層	1390.2	77	Ⅰ F19e Ⅳ層	4.3	2
SI56 P3	16.2	1	SI86 攪乱	4.8	1	Ⅰ E17s Ⅳb層	316.4	28	Ⅰ F19g Ⅲ・Ⅳ層	243.6	15
SI56 カマド	20.9	2	SI86 埋土	33.9	2	Ⅰ E17s Ⅳc層	35.0	2	Ⅰ F19g Ⅳb層	27.3	5
SI56 カマド1	20.3	2	SI96 南半	8.5	1	Ⅰ E18a Ⅳ層	20.6	2	Ⅰ F19h Ⅳb層	18.5	2
SI56 カマド1上面	19.9	7	SK05 一括	5.5	2	Ⅰ E18g Ⅲ層	41.2	2	Ⅰ F19h Ⅳc層	43.2	4
SI56 カマド3煙道	91.6	9	SK06 一括	6.6	1	Ⅰ E18g Ⅳc層	2.7	1	Ⅰ F19h Ⅳ層	25.4	1
SI56 カマド3燃焼面	32.8	8	SK08 一括	1.2	1	Ⅰ E18p Ⅲ・Ⅳ層	14.5	2	Ⅰ F19h Ⅳ層（風倒木痕）	13.0	2
SI56 攪乱	809.9	100	SK109 埋土	43.7	3	Ⅰ E18P Ⅳ層	168.2	28	Ⅰ F19i Ⅲ・Ⅳ層	20.9	1
SI56 床面	3.3	2	SK122 埋土	11.4	1	Ⅰ E18r Ⅳa層	65.7	2	Ⅰ F19i Ⅲ層	12.0	1
SI56 床面～床下	295.4	28	SK124 検出面	9.5	1	Ⅰ E18r Ⅳb層	78.3	9	Ⅰ F19r Ⅲ・Ⅳ層	15.7	1
SI56 焼土1	28.2	3	SK133 埋土	14.7	1	Ⅰ E18r Ⅳc層	11.3	4	Ⅰ F19s Ⅲ層	41.5	2
SI56 埋土	367.2	56	SK137 埋土	1.5	1	Ⅰ E18s Ⅲ・Ⅳ層	0.8	1	Ⅰ F19s Ⅳ層	7.1	1
SI56b 埋土	5.7	2	SK38 1層	19.2	1	Ⅰ E18s Ⅲ層	11.2	2	Ⅰ F19t Ⅲ・Ⅳ層	92.8	4
SI57 QNW埋土	6.9	1	SK42 上部	1.3	1	Ⅰ E18s Ⅳa層	555.3	54	Ⅰ F20 Ⅳa層	48.2	5
SI57 QSE埋土	30.6	2	SK53 一括	3.4	1	Ⅰ E18s Ⅳb･c層	83.8	4	Ⅰ F20a Ⅳa層	76.7	8
SI57 埋土	48.6	13	SK53・54 上部	17.0	1	Ⅰ E18s Ⅳ層上面	25.6	3	Ⅰ F20a Ⅲ・Ⅳ層	595.5	87
SI57･59 埋土	39.2	2	SK60 一括	5.0	1	Ⅰ E18t Ⅲ・Ⅳ層	76.7	1	Ⅰ F20a Ⅳa層	1326.7	186
SI58 P1	12.6	2	SK62 1層	95.6	2	Ⅰ E18t Ⅳa層	905.2	41	Ⅰ F20a Ⅳb層	448.8	67
SI58 P2	0.6	1	SK66 一括	86.0	1	Ⅰ E18t Ⅳb層	15.1	2	Ⅰ F20a Ⅳc層	780.7	160
SI58 QSW埋土	2.4	1	SK96 埋土	78.0	12	Ⅰ E19a Ⅳa層	80.6	8	Ⅰ F20a Ⅳ層	85.2	16
SI58 攪乱	31.3	5	SK96 埋土下層	25.9	5	Ⅰ E19a･b Ⅳa層	73.0	10	Ⅰ F20a トレンチⅢ～Ⅳ層	7.4	3
SI58 埋土	10.7	1	SK96 埋土上部	17.4	5	Ⅰ E19g Ⅲ・Ⅳ層	78.8	6	Ⅰ F20a トレンチⅢ層	74.6	7
SI59 QNW埋土	22.9	2	SKI01（P）1	7.9	1	Ⅰ E19g Ⅳc層	105.8	15	Ⅰ F20b Ⅲ・Ⅳ層	473.3	62
SI59 QSE埋土	24.8	2	SKI01（S）1	40.3	1	Ⅰ E19r Ⅲ層	50.2	2	Ⅰ F20b Ⅳa層	246.4	41
SI59 QSW下部	57.7	3	SKI02 上～中部	19.3	1	Ⅰ E19r Ⅳb層	30.2	6	Ⅰ F20b Ⅳb層	1166.1	102
SI59 QSW埋土	2.9	1	SKI04 上～中部	20.5	4	Ⅰ E19r Ⅳc層	54.3	4	Ⅰ F20b Ⅳc層	684.6	43
SI59 埋土	18.9	8	SKI06 一括	128.1	7	Ⅰ E19s Ⅲ・Ⅳ層	37.8	1	Ⅰ F20b Ⅳ層	306.6	16
SI60 カマド煙道	2.4	1	SKI09 一括	3.5	3	Ⅰ E19s Ⅳa層	34.4	2	Ⅰ F20b トレンチⅢ層	983.9	27
SI60 埋土	24.2	4	SN05 焼成面	0.6	1	Ⅰ E19s Ⅳb層	5.1	1	Ⅰ F20b トレンチⅣ層	94.4	19
SI61 カマド焼土上面	1.2	1	SN08 焼土トレンチ内	14.9	2	Ⅰ E19s Ⅳc層	50.1	2	Ⅰ F20c Ⅲ層	616.1	42
SI61 西半埋土	61.8	9	SN25周辺 3層上面	10.6	1	Ⅰ E19s Ⅳ層	5.9	2	Ⅰ F20c Ⅳa層	3136.2	131
SI61 東半	64.0	13	SN25周辺 検出面	24.8	3	Ⅰ E19t Ⅲ・Ⅳ層	29.4	7	Ⅰ F20c Ⅳb･c層	7.8	2
SI61 埋土	6.9	1	SN26（S）1（検出面）	88.7	1	Ⅰ E19t Ⅳa層	1305.7	118	Ⅰ F20c Ⅳb層	579.5	59
SI62 P1	3.0	2	SN26 Ⅳ～Ⅴ層（古代検出面）	224.2	1	Ⅰ E19t Ⅳb層	278.9	5	Ⅰ F20c Ⅳc層	553.8	46
SI62 P13	19.8	7	SD35 東西方向分	13.2	2	Ⅰ E20i Ⅳb層	3.4	1	Ⅰ F20C Ⅳ層	2.3	2
SI62 P2	17.0	4	SX105 埋土	28.2	1	Ⅰ E20r Ⅲ・Ⅳ層	251.7	9	Ⅰ F20d Ⅳc層	4.8	1
SI62 P62	7.6	1	SX11 1層	5.7	1	Ⅰ E20r Ⅳb層	887.5	38	Ⅰ F20g Ⅲ・Ⅳ層	4.5	1
SI62 カマド1P②④の下	31.6	1	SX12 下部	1.2	1	Ⅰ E20r Ⅳc層	208.5	15	Ⅰ F20g Ⅳ層	1.5	1
SI62 カマド1煙道	2.0	2	SX17 一括	73.7	13	Ⅰ E20s Ⅲ・Ⅳ層	141.5	4	Ⅰ F20h Ⅳb層	25.2	5
SI62 カマド1煙道埋土	4.4	1	SX17 溝内	8.9	2	Ⅰ E20s Ⅳb層	316.1	25	Ⅰ F20h Ⅳc層	96.9	2
SI62 カマド2	34.8	5	SX19 上～中部	0.4	1	Ⅰ E20s Ⅳc層	1046.0	88	Ⅰ F20h Ⅳ層	132.1	9
SI62 カマド3煙道	1.3	1	SX20 一括	18.7	1	Ⅰ E20s Ⅳ層	111.0	11	Ⅰ F20i Ⅳb層	51.7	3
SI62 カマド3燃焼部付近	1.2	1	SX28 1層	30.7	1	Ⅰ E20s トレンチⅢ層	12.3	2	Ⅰ F20j Ⅳb層	4.0	1
SI62 攪乱	1265.9	130	SX30 2層	1.9	1	Ⅰ E20t Ⅲ・Ⅳ層	270.5	17	Ⅰ F20k Ⅳa層	16.7	4
SI62 床面	19.5	3	SX46 一括	42.4	2	Ⅰ E20t Ⅳa層	70.8	19	Ⅰ F20k Ⅳb層	60.2	4
SI62 埋土	790.2	92	SX47 1層	3.9	2	Ⅰ E20t Ⅳb層	675.9	82	Ⅰ F20l Ⅳc層	54.2	1
SI62 埋土下層	365.4	33	SX53 1層	4.2	2	Ⅰ E20t Ⅳc層	781.7	126	Ⅰ F20l Ⅳ層	3.9	1
SI64 カマド	27.3	1	SX54 炭層直上	0.6	2	Ⅰ F16 トレンチⅣ層	30.2	4	Ⅰ F20q Ⅳb層	27.2	3
SI64 埋土	72.6	5	SX62 4層	1.8	1	Ⅰ F16g Ⅲ・Ⅳ層	96.3	14	Ⅰ F20q Ⅳ層	51.2	4
SI66 埋土	22.6	2	SX63 一括	2.5	1	Ⅰ F17c Ⅲ・Ⅳa層	22.4	1	Ⅰ F20t Ⅲ・Ⅳ層	24.1	2
SI67 P3	0.6	1	SX75 1層	6.6	3	Ⅰ F17c Ⅲ層	66.0	7	Ⅰ F20t Ⅳc層	115.5	20
SI67 QNE埋土	52.3	4	SX75 3層	0.4	1	Ⅰ F17c Ⅳa層	257.5	20	Ⅰ F2b Ⅳc層	40.9	5
SI67 QNW埋土	51.3	2	SX75 下部	7.0	3	Ⅰ F17c Ⅳb層	119.8	4	Ⅰ F3g Ⅳ層	50.0	2
SI67 QSE埋土	63.7	15	SX79 一括	6.8	1	Ⅰ F18a Ⅲ層	44.3	1	Ⅰ F3h Ⅳ層	32.7	9
SI67 QSW埋土	8.2	1	SX81 埋土	4.6	1	Ⅰ F18a Ⅳ層	38.6	2	Ⅰ G20a Ⅲ層	45.1	1
SI67 床面	169.6	1	SX83 埋土	15.4	1	Ⅰ F18b Ⅲ層	13.0	3	Ⅱ E1g Ⅳc層	29.2	2
SI67 埋土	56.7	8	SX87 埋土	50.8	4	Ⅰ F18b Ⅳa層	12.9	1	Ⅱ E1r Ⅳc層	40.2	7
SI70 埋土	8.1	2	SX95 1層	19.7	2	Ⅰ F18c Ⅳ層上面	51.9	5	Ⅱ E1r Ⅳc層下部	22.8	1
SI75 埋土	3.5	1	SX95 炭・焼土面下	40.1	2	Ⅰ F18d Ⅳ層	20.3	1	Ⅱ E1s Ⅳa･b層	113.8	12
SI76 QNW埋土下半～床面	26.7	1	SX95 埋土	78.1	2	Ⅰ F18e･f Ⅳ層	66.2	5	Ⅱ E1s Ⅳb層	40.2	3
SI76 QSW下半～床面	13.3	1	SX99 古代面（Ⅱ F19l）	41.2	1	Ⅰ F18g Ⅲ・Ⅳ層	4.0	1	Ⅱ E1s Ⅳc層	118.6	17
SI76 埋土下層～床面	8.8	3	Ⅰ E15n Ⅲ・Ⅳ層	137.0	15	Ⅰ F18g Ⅲ層	36.3	1	Ⅱ E1t Ⅳa層	89.2	7
SI77 P4	56.7	4	Ⅰ E15r Ⅲ・Ⅳ層	243.6	11	Ⅰ F18g Ⅳ層	15.4	3	Ⅱ E1t Ⅳb･c層	34.3	6
SI77 QNE埋土	124.8	1	Ⅰ E15s Ⅲ・Ⅳ層	35.0	9	Ⅰ F18i Ⅲ層	3.4	1	Ⅱ E1t Ⅳb層	207.2	33
SI77 QNW埋土～床面	32.2	1	Ⅰ E15s Ⅳc層	16.8	7	Ⅰ F18K-1 Ⅳ層	53.9	5	Ⅱ E1t Ⅳc層	237.1	33
SI77 QSE1層	122.2	6	Ⅰ E15s Ⅳ層	177.1	55	Ⅰ F18q Ⅳ層	24.4	3	Ⅱ E1t Ⅳ層	60.8	1
SI77 QSE埋土	326.7	2	Ⅰ E15s･t トレンチⅢ～Ⅳ層	24.1	6	Ⅰ F18r Ⅲ・Ⅳ層	3.3	1	Ⅱ E1t･2t Ⅰ E18～20t Ⅳc層	14.4	2
SI77 カマド	0.8	1	Ⅰ E16g Ⅳ層	53.0	2	Ⅰ F19a Ⅲ・Ⅳ層	288.4	36	Ⅱ E20r Ⅳc層	51.6	4
SI77 埋土	1.1	1	Ⅰ E16r Ⅲ・Ⅳ層	24.9	1	Ⅰ F19a Ⅳa層	186.2	30	Ⅱ E20t Ⅲ・Ⅳ層	28.0	2
SI77 埋土～床面	19.9	3	Ⅰ E16s Ⅲ・Ⅳ層	2.6	2	Ⅰ F19a Ⅳb･c層	280.5	15	Ⅱ E20t Ⅳb層	3.3	3
SI81 床面	26.2	3	Ⅰ E17･18p Ⅳ層	47.6	5	Ⅰ F19a Ⅳb層	202.0	23	Ⅱ E20t Ⅳc層	8.8	2
SI81 埋土	137.0	4	Ⅰ E17g Ⅳa層	252.2	9	Ⅰ F19a Ⅳ層	25.8	3	Ⅱ E2f Ⅲ・Ⅳ層	35.0	4
SI82 床面	6.1	1	Ⅰ E17g Ⅳb層	0.6	1	Ⅰ F19b Ⅲ・Ⅳ層	132.8	12	Ⅱ E2f Ⅳc層	128.8	13
SI83 埋土	13.6	2	Ⅰ E17g Ⅳc層	243.1	4	Ⅰ F19b Ⅳa層	148.1	19	Ⅱ E2r Ⅳc層	81.4	5
SI83 埋土下層	24.4	1	Ⅰ E17q Ⅳa層	7.8	2	Ⅰ F19b Ⅳb層	126.4	16	Ⅱ E2s Ⅳb層	21.7	4
SI84 QNE埋土	31.0	1	Ⅰ E17q Ⅳb層	27.2	5	Ⅰ F19b Ⅳc層	45.7	6	Ⅱ E2s Ⅳc層	141.8	9
SI84 QNE埋土下半	67.1	1	Ⅰ E17r Ⅲ・Ⅳ層	29.8	3	Ⅰ F19b Ⅳ層	11.8	2	Ⅱ E2t Ⅳa層	90.5	7

第28表　出土地点別剥片集計（3）

出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数
Ⅱ E2t Ⅳb層	59.8	5	Ⅱ F2j Ⅳc層	26.0	2	Ⅰ C19n Ⅲ層	19.8	13	Ⅰ D18a Ⅰ層	16.2	1
Ⅱ E2t Ⅳc層	1238.1	99	Ⅱ F2j Ⅳ層	118.2	13	Ⅰ C19o Ⅱ層	193.6	4	Ⅰ D18a Ⅱ層	4.1	1
Ⅱ E2t ～Ⅱ F3b Ⅲ～Ⅳ層	1355.9	100	Ⅱ F2k Ⅳ層	189.0	13	Ⅰ C19p Ⅱ層	0.0	1	Ⅰ D18a Ⅳ層上	134.7	3
Ⅱ F1·2b Ⅳ層	75.1	11	Ⅱ F2l Ⅳ層	5.6	3	Ⅰ C19t 風倒木内	63.2	4	Ⅰ D18d SN09検出面	13.7	1
Ⅱ F17c Ⅳa層	21.6	2	Ⅱ F2l Ⅳ層攪乱	3.7	1	Ⅰ C20p Ⅱ層	0.0	1	Ⅰ D18d SN09～ SU01検出面	43.2	10
Ⅱ F18b Ⅳc層	135.5	12	Ⅱ F2t Ⅳb層	39.9	2	Ⅰ C20t Ⅰ層	4.8	1	Ⅰ D18d SN09検出面下	102.1	12
Ⅱ F18g Ⅳa·b層	48.1	1	Ⅱ F2t Ⅳc層	9.3	2	Ⅰ D Ⅰ層	49.9	4	Ⅰ D18e Ⅰ層	14.1	3
Ⅱ F18q Ⅳa·b層	143.5	18	Ⅱ F3d Ⅳ層	167.9	15	Ⅰ D11g Ⅳ層	17.0	1	Ⅰ D18g Ⅱ層	8.0	1
Ⅱ F19h Ⅲ層	11.2	2	Ⅱ F3e Ⅳ層	56.2	7	Ⅰ D12g Ⅳ層	171.0	12	Ⅰ D18g Ⅳ層	146.4	2
Ⅱ F19r Ⅳb·c層	51.6	4	Ⅱ F3h Ⅳ層	4.3	1	Ⅰ D12h Ⅳ層	2.6	1	Ⅰ D18h Ⅱ層	19.8	2
Ⅱ F1a Ⅳa·b層	424.4	31	Ⅱ F3i Ⅳ層	23.9	1	Ⅰ D13g 攪乱	197.8	3	Ⅰ D18h Ⅳ層	87.3	6
Ⅱ F1a Ⅳa層	2394.4	265	Ⅱ F3J Ⅳ層	431.3	30	Ⅰ D13j 一括	2.6	1	Ⅰ D18i Ⅱ層	5.9	1
Ⅱ F1a Ⅳb·c層	272.5	25	Ⅱ F3k Ⅲ層	27.1	4	Ⅰ D13q 攪乱	80.1	13	Ⅰ D18i Ⅳ層	115.5	2
Ⅱ F1a Ⅳb層	116.2	16	Ⅱ F3k Ⅳ層	384.5	40	Ⅰ D14c Ⅰ層	89.9	11	Ⅰ D18j Ⅱ層	9.1	1
Ⅱ F1a Ⅳc層	1684.8	147	Ⅱ F3l Ⅳ層	55.4	13	Ⅰ D14d Ⅰ層	29.3	6	Ⅰ D18j Ⅳ層	308.4	3
Ⅱ F1a·b Ⅲ・Ⅳ層	409.5	16	Ⅱ F3l Ⅳ層攪乱	181.4	31	Ⅰ D14i Ⅱ層	3.1	1	Ⅰ D18k Ⅳ層	30.3	2
Ⅱ F1b Ⅲ・Ⅳ層	671.7	75	Ⅱ F3m Ⅳ層	12.7	5	Ⅰ D14i Ⅲ層	6.8	2	Ⅰ D18l Ⅱ層	14.2	2
Ⅱ F1b Ⅲ層	252.4	28	Ⅱ F3m Ⅳ層攪乱	1.9	1	Ⅰ D14l Ⅱ層	82.5	6	Ⅰ D18l Ⅳ層	45.5	2
Ⅱ F1b Ⅳa層	3716.5	366	Ⅱ F3t Ⅳ層	63.8	3	Ⅰ D14m Ⅱ層	16.1	3	Ⅰ D18m Ⅱ層	17.7	1
Ⅱ F1b Ⅳb層	429.9	48	Ⅱ F4k Ⅲ・Ⅳ層	4.1	2	Ⅰ D14n Ⅱ層	3.6	1	Ⅰ D18m Ⅳ層	136.8	2
Ⅱ F1b Ⅳc層	1670.5	161	Ⅱ F4k Ⅳ層	1.5	1	Ⅰ D14n Ⅳ層	10.8	1	Ⅰ D18n Ⅱ層	72.2	2
Ⅱ F1b Ⅳ層	946.0	105	Ⅱ F4k Ⅳ層攪乱	52.9	12	Ⅰ D14o Ⅰ層	10.2	1	Ⅰ D18o Ⅱ層	22.9	2
Ⅱ F1c Ⅲ層	625.0	97	Ⅱ F4l Ⅳ層攪乱	42.3	7	Ⅰ D14o Ⅱ層	3.9	1	Ⅰ D18o Ⅳ層	28.3	1
Ⅱ F1c Ⅳa層	2051.0	223	Ⅱ F4m Ⅳ層攪乱	10.8	3	Ⅰ D14p Ⅱ層	6.6	2	Ⅰ D18p Ⅱ～Ⅲ層	5.0	1
Ⅱ F1c Ⅳb層	878.5	98	Ⅱ G1a Ⅲ層	57.3	2	Ⅰ D14q Ⅱ層	88.1	2	Ⅰ D18p Ⅱ層	52.9	6
Ⅱ F1c Ⅳc層	90.8	7	Ⅱ G2b Ⅲ・Ⅳ層	2.6	1	Ⅰ D14r Ⅱ～Ⅲ層	1.8	1	Ⅰ D18p 風倒木内	3.7	1
Ⅱ F1c Ⅳ層	219.4	19	Ⅱ Ief Ⅳ層	1.1	1	Ⅰ D14t Ⅰ層	4.8	1	Ⅰ D18q Ⅱ層	3.8	1
Ⅱ F1d Ⅳ層	619.1	34	Ⅰ B11t A2層	1.6	1	Ⅰ D15d Ⅰ層	16.6	1	Ⅰ D18q Ⅳ層	32.3	1
Ⅱ F1e Ⅳ層	127.9	7	Ⅰ B12a A1層	16.8	3	Ⅰ D15e Ⅰ層	43.6	1	Ⅰ D18q 風倒木内	2.4	1
Ⅱ F1f Ⅲ層	21.1	3	Ⅰ B12t A1層	24.1	2	Ⅰ D15f Ⅰ層	59.0	3	Ⅰ D18r Ⅱ層	32.6	2
Ⅱ F1g Ⅳ層	136.8	10	Ⅰ B12t A2層	5.0	4	Ⅰ D15l Ⅰ層	9.7	1	Ⅰ D18s Ⅱ層	27.7	2
Ⅱ F1h Ⅳc層	41.9	5	Ⅰ B12t A3層	25.2	2	Ⅰ D15l Ⅱ～Ⅲ層	11.6	1	Ⅰ D19c Ⅰ層	9.8	1
Ⅱ F1h Ⅳ層	310.6	25	Ⅰ B13s A2層	3.6	1	Ⅰ D15l Ⅱ層	100.0	7	Ⅰ D19c Ⅳ層より上	12.2	1
Ⅱ F1i Ⅳa層	311.6	22	Ⅰ B13t A2層	9.7	1	Ⅰ D15l Ⅳ層	8.1	1	Ⅰ D19d SN09～ SU01検出面	167.6	8
Ⅱ F1i Ⅳb層	30.4	8	Ⅰ B13t A3層	92.9	2	Ⅰ D15m ～ n 一括	1.7	1	Ⅰ D19e Ⅱ層	24.7	4
Ⅱ F1i Ⅳ層	204.2	39	Ⅰ B16～17p B1層	4.6	1	Ⅰ D15o Ⅱ～Ⅲ層	48.6	1	Ⅰ D19f Ⅱ層	11.0	2
Ⅱ F1j Ⅳb層	9.1	1	Ⅰ B16o B5層	3.8	1	Ⅰ D15o Ⅱ層	175.3	5	Ⅰ D19f Ⅳ層	42.2	1
Ⅱ F1j Ⅳc層	40.4	2	Ⅰ B16o 落ち込みB内	27.1	4	Ⅰ D15p Ⅱ層	22.2	2	Ⅰ D19g Ⅱ層	71.1	5
Ⅱ F1j Ⅳ層	38.4	6	Ⅰ B16p B4～5層	85.2	1	Ⅰ D16c Ⅳ層上面	8.3	1	Ⅰ D19g Ⅳ層	34.5	3
Ⅱ F1k Ⅳb層	5.8	1	Ⅰ B16p 落ち込みB内	21.7	1	Ⅰ D16h Ⅳ層	120.2	1	Ⅰ D19h Ⅱ～Ⅲ層	13.4	1
Ⅱ F1k Ⅳ層	252.2	4	Ⅰ B16q B2層	24.9	1	Ⅰ D16i Ⅱ層	80.8	4	Ⅰ D19h Ⅱ層	3.3	1
Ⅱ F1l Ⅳb層	6.2	1	Ⅰ B16r B5層	6.6	1	Ⅰ D16i Ⅳ層	257.5	3	Ⅰ D19h Ⅳ層	343.5	1
Ⅱ F1l Ⅳ層	28.6	1	Ⅰ B16t B3層	42.8	3	Ⅰ D16j Ⅰ層	29.7	1	Ⅰ D19i Ⅰ層	78.7	4
Ⅱ F1m Ⅳ層	8.4	1	Ⅰ B17o 落ち込みB内	35.1	2	Ⅰ D16j Ⅱ層	25.8	3	Ⅰ D19i Ⅱ～Ⅲ層	26.4	1
Ⅱ F1n Ⅳ層	2.5	1	Ⅰ B17p B1～2層相当	1.4	1	Ⅰ D16k Ⅱ層	43.6	6	Ⅰ D19m Ⅱ層	55.8	1
Ⅱ F1p Ⅳ層	18.5	1	Ⅰ B17p B1～3層相当	7.7	2	Ⅰ D16l Ⅰ層	8.4	2	Ⅰ D19m Ⅳ層	4.0	1
Ⅱ F1r Ⅲ・Ⅳ層	36.3	2	Ⅰ B17p B1層	12.5	1	Ⅰ D16l Ⅱ層	346.7	21	Ⅰ D19n Ⅱ層	417.7	25
Ⅱ F1t Ⅲ・Ⅳ層	179.7	8	Ⅰ B17q ～ r B1～2層	6.0	1	Ⅰ D16l Ⅲ～Ⅳ層	0.7	1	Ⅰ D19n Ⅳ層	41.4	4
Ⅱ F1t Ⅳc層	72.7	11	Ⅰ B17r B5層	113.8	1	Ⅰ D16l Ⅳ層	88.9	5	Ⅰ D19o Ⅰ層	4.2	1
Ⅱ F20b Ⅳb·c層	19.0	2	Ⅰ B18p 落ち込みB内	2.6	2	Ⅰ D16n Ⅳ層	0.5	1	Ⅰ D19o Ⅱ層	100.7	8
Ⅱ F20c Ⅳb層	2.2	1	Ⅰ B18q B3～4層	46.0	1	Ⅰ D16o Ⅱ層	44.6	5	Ⅰ D19p Ⅱ層	43.5	3
Ⅱ F20k Ⅳ層攪乱	62.2	5	Ⅰ B19l Ⅴ層（古代検出面）	3.5	1	Ⅰ D16p Ⅱ～Ⅲ層	4.1	1	Ⅰ D19r Ⅰ層	11.4	2
Ⅱ F20t Ⅳ層	1.1	1	Ⅰ B19m Ⅴ層（古代検出面）	3.1	1	Ⅰ D16p Ⅱ層	19.5	1	Ⅰ D19r Ⅱ層	27.5	3
Ⅱ F2a Ⅲ・Ⅳ層	358.6	50	Ⅰ B19n Ⅴ層（古代検出面）	3.6	1	Ⅰ D16q Ⅱ～Ⅲ層	3.7	1	Ⅰ D20～21h ～ k Ⅰ層	16.3	2
Ⅱ F2a Ⅳa層	1281.1	130	Ⅰ B20p C1層	20.4	1	Ⅰ D16q Ⅱ層	105.5	2	Ⅰ D20a Ⅲ層	8.5	1
Ⅱ F2a Ⅳa層下部	51.0	7	Ⅰ B20r C1層	39.4	1	Ⅰ D16r Ⅱ層	0.9	1	Ⅰ D20b Ⅲ層	80.0	1
Ⅱ F2a Ⅳb層	528.7	43	Ⅰ C11a A1層	13.2	2	Ⅰ D17d SU01検出面上	59.8	8	Ⅰ D20e Ⅳ層	3.3	1
Ⅱ F2a Ⅳc層	861.7	40	Ⅰ C11a A2層	7.1	3	Ⅰ D17e SU01検出面上	27.4	8	Ⅰ D20f Ⅱ～Ⅲ層	165.3	20
Ⅱ F2a Ⅳ層	274.4	27	Ⅰ C12a A1層	62.3	3	Ⅰ D17f Ⅱ層	6.8	1	Ⅰ D20f Ⅲ層	57.8	8
Ⅱ F2a·b Ⅳa層	136.6	26	Ⅰ C12a A2～3層	1.6	1	Ⅰ D17f 一括	16.2	1	Ⅰ D20f Ⅳ層上面	198.5	14
Ⅱ F2b Ⅲ・Ⅳ層	437.0	45	Ⅰ C12a A2層	219.6	6	Ⅰ D17g Ⅱ層	53.1	2	Ⅰ D20g Ⅱ～Ⅲ層	48.5	3
Ⅱ F2b Ⅲ層	85.1	7	Ⅰ C13r Ⅰ層	28.6	1	Ⅰ D17g Ⅳ層	0.6	1	Ⅰ D20g Ⅱ層	17.8	2
Ⅱ F2b Ⅳa層	4756.7	433	Ⅰ C15s 一括	1.3	1	Ⅰ D17h Ⅱ層	14.9	1	Ⅰ D20g Ⅲ層?	1.9	1
Ⅱ F2b Ⅳa層下部	469.8	21	Ⅰ C16a B3層	13.3	1	Ⅰ D17h Ⅳ層	8.4	1	Ⅰ D20g Ⅳ層	174.5	4
Ⅱ F2b Ⅳb層	1024.5	57	Ⅰ C16f Ⅱ層相当上面	29.2	2	Ⅰ D17i Ⅱ層	5.5	4	Ⅰ D20g Ⅳ層上部	11.8	1
Ⅱ F2b Ⅳc層	204.4	57	Ⅰ C16g Ⅱ層相当上面	34.3	1	Ⅰ D17i Ⅳ層	22.1	2	Ⅰ D20g Ⅳ層上面	5.8	2
Ⅱ F2b Ⅳ層	1953.1	237	Ⅰ C16s Ⅰ層	2.0	1	Ⅰ D17j Ⅰ層	4.1	1	Ⅰ D20g ～ h Ⅱ～Ⅳ層上面	6.9	3
Ⅱ F2b トレンチⅢ層	84.7	6	Ⅰ C16t Ⅲ～Ⅳ層	12.5	1	Ⅰ D17j Ⅱ層	70.7	5	Ⅰ D20h Ⅰ層	20.4	1
Ⅱ F2b トレンチⅣb層	8.1	2	Ⅰ C17g 落ち込み内	20.4	1	Ⅰ D17j Ⅳ層	258.9	5	Ⅰ D20h Ⅱ～Ⅲ層	9.7	2
Ⅱ F2b トレンチⅣ層	207.7	20	Ⅰ C17o Ⅱ層	35.4	3	Ⅰ D17k Ⅰ層	31.3	2	Ⅰ D20h Ⅱ～Ⅳ層上面	3.3	2
Ⅱ F2c Ⅲ層	482.2	75	Ⅰ C17p Ⅱ層	19.7	1	Ⅰ D17k Ⅱ層	272.3	5	Ⅰ D20j Ⅰ層	9.2	1
Ⅱ F2c Ⅳa層	1369.0	151	Ⅰ C17r Ⅱ層	23.4	1	Ⅰ D17k Ⅳ層	94.5	1	Ⅰ D20j Ⅳ層	15.7	1
Ⅱ F2c Ⅳb層	817.3	70	Ⅰ C17t Ⅱ層	4.1	1	Ⅰ D17l Ⅱ層	165.2	5	Ⅰ D20k Ⅰ層	3.8	1
Ⅱ F2c Ⅳc層	367.8	27	Ⅰ C18g Ⅱ層	39.4	1	Ⅰ D17m Ⅳ層	916.3	1	Ⅰ D20l Ⅳ層	38.6	3
Ⅱ F2c Ⅳ層	192.1	9	Ⅰ C18o Ⅱ層	163.0	3	Ⅰ D17n Ⅰ層	1.6	1	Ⅰ D20l 一括	0.7	1
Ⅱ F2d Ⅳ層	708.9	45	Ⅰ C18o Ⅲ層	27.2	3	Ⅰ D17n Ⅱ層	36.5	3	Ⅰ D20m Ⅱ～Ⅳ層	13.0	7
Ⅱ F2e Ⅳ層	678.2	28	Ⅰ C18o ～ p Ⅲ層	120.7	17	Ⅰ D17o Ⅱ層	143.7	3	Ⅰ D20m Ⅲ層	8.3	1
Ⅱ F2f Ⅳ層	45.0	7	Ⅰ C18p Ⅰ層	10.4	1	Ⅰ D17q Ⅰ層	49.2	2	Ⅰ D20m Ⅳ層	4.4	1
Ⅱ F2h Ⅳ層	215.9	24	Ⅰ C18p Ⅱ層	66.9	5	Ⅰ D17q Ⅱ層	40.2	2	Ⅰ D20m Ⅳ層上面	37.7	1
Ⅱ F2i Ⅳ層	286.2	35	Ⅰ C18s Ⅳ層上面	110.3	2	Ⅰ D18～19 e SN08検出面下	30.1	3	Ⅰ D20n Ⅱ層	31.3	1
Ⅱ F2j Ⅳb層	0.6	1	Ⅰ C18t Ⅱ層相当	5.9	1	Ⅰ D18～19i Ⅰ層	20.0	2	Ⅰ D20n Ⅳ層	155.3	12

第28表　出土地点別剥片集計（4）

出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数	出土地点	重量（g）	点数
Ⅰ D20o Ⅱ層	102.4	5	Ⅱ D1q Ⅳ層	163.7	10	B区南 Ⅳ層上面	335.8	3	SK93 QSW埋土	22.9	10
Ⅰ D20p Ⅰ層	13.6	1	Ⅱ D1q 一括	20.7	1	B区南 一括	2.0	1	SK93 南東部	24.6	5
Ⅰ D20r Ⅱ層	1.9	1	Ⅱ D1t Ⅰ層	15.9	1	B区北 Ⅰ～Ⅲ層	113.7	4	SX75 Ⅳ層	19.6	1
Ⅰ E14～15d ～ e Ⅱ層	85.5	1	Ⅱ E1g 古代面	8.1	1	C区 Ⅰ層	8.7	1	SX83 周辺	2.2	1
Ⅰ E14d Ⅱ層相当	159.0	1	Ⅱ F1 古代面	15.1	2	C区 Ⅱ層上部	284.9	11	SX95 周辺撹乱	22.6	5
Ⅰ E14k Ⅲ層	2.5	1	Ⅱ F10a 落ち込み	26.0	1	C区 Ⅲ層?	138.0	1	出土地点不明	502.6	53
Ⅰ E14l Ⅲ層	115.5	7	Ⅱ F1b 古代面	10.2	1	C区 一括	110.1	4			
Ⅰ E14p Ⅱ層上部	6.7	1	Ⅱ F1d 古代面	45.5	1	C区南 Ⅰ層	535.6	27			
Ⅰ E15d Ⅲ層下部	200.8	3	Ⅱ F1e 撹乱	22.1	3	C区南 Ⅱ層	17.8	1			
Ⅰ E15e Ⅱ層	420.4	16	Ⅱ F1e 古代面	5.5	2	C区南 一括	28.2	4			
Ⅰ E15e Ⅲ層下部	49.5	1	Ⅱ F1f 撹乱溝	16.4	5	C区北 Ⅰ層	62.7	1			
Ⅰ E15f Ⅱ層	355.7	14	Ⅱ F1f 古代面	73.5	8	C区北 Ⅱ層	172.8	11			
Ⅰ E15f Ⅲ層下部	4.3	1	Ⅱ F1f 層位不明	1.7	1	C区北 Ⅱ層相当	236.7	4			
Ⅰ E15f Ⅲ層上部	103.2	1	Ⅱ F1g 撹乱	39.5	7	C区北 Ⅲ層	16.3	1			
Ⅰ E15m Ⅳ層	9.1	1	Ⅱ F1g 撹乱溝	40.2	8	D区 Ⅰ～Ⅱ層	1230.4	73			
Ⅰ E15r 古代面	14.2	1	Ⅱ F1g 古代面	34.3	6	D区 Ⅱ層	105.8	4			
Ⅰ E15s 層位不明	9.4	8	Ⅱ F1g 層位不明	39.5	7	D区 Ⅲ～Ⅳ層	131.9	13			
Ⅰ E16s 古代面	2.1	1	Ⅱ F1h №3	80.7	10	D区 Ⅳ層	63.1	17			
Ⅰ E17n 古代面	7.8	1	Ⅱ F1h 一括	125.3	8	D区 一括	961.5	37			
Ⅰ E17p 古代面	0.3	1	Ⅱ F1h 撹乱溝	36.3	6	D区 検出面	69.6	13			
Ⅰ E18g トレンチ	97.5	1	Ⅱ F1h 古代面	308.3	22	D区 古代面	416.5	23			
Ⅰ E18g 古代面	10.4	1	Ⅱ F1i 一括	30.6	2	D区 層位不明	17.4	1			
Ⅰ E18l 古代面	26.3	1	Ⅱ F1i 古代面	92.7	9	D区南 Ⅰ～Ⅱ層	280.6	35			
Ⅰ E18p 古代面	15.4	1	Ⅱ F1i 層位不明	301.3	9	D区南半 Ⅲ・Ⅳ層	41.1	2			
Ⅰ E19p 古代面	10.9	1	Ⅱ F1j 古代面	33.6	6	D区南半 Ⅳ層	834.2	64			
Ⅰ E20i Ⅰ層	12.6	1	Ⅱ F1q 古代面	73.3	1	D区南半 Ⅳ層下面	22.8	5			
Ⅰ E20p 古代面	24.7	2	Ⅱ F1 r 古代面	27.8	2	D区南半 古代面	154.1	12			
Ⅰ E20r 古代面下	2.3	2	Ⅱ F20p 撹乱	3.4	2	D区南半 層位不明	31.8	2			
Ⅰ F～Ⅱ F Ⅰ層	3656.2	416	Ⅱ F2b 古代面	47.5	1	D区北半 Ⅰ層	142.1	24			
Ⅰ F14a 古代面	34.2	1	Ⅱ F2b 層位不明	12.0	3	D区北半 Ⅳ層	14.9	1			
Ⅰ F15e Ⅱ層上部	121.1	3	Ⅱ F2d 古代面	171.6	16	D区北半 古代面	915.1	51			
Ⅰ F16b Ⅱ層	124.7	1	Ⅱ F2d･e 古代面	299.3	15	D区北半東壁 Ⅰ層	21.6	2			
Ⅰ F17～20r 古代面	3.8	1	Ⅱ F2e 撹乱	5.2	2	D区北半北壁 Ⅰ層	18.5	1			
Ⅰ F17～20r 層位不明	1.1	1	Ⅱ F2e 古代面	188.8	9	E区 古代面	84.3	2			
Ⅰ F17c 南東隅	109.1	5	Ⅱ F2e 古代面より上	13.9	2	E区中央 古代面	113.3	4			
Ⅰ F18h 古代面	11.8	1	Ⅱ F2f 一括	4.3	1	E区南半 Ⅰ層	14.8	1			
Ⅰ F19f 撹乱	2.5	3	Ⅱ F2f 古代面	61.3	7	E区南半 古代面	541.6	18			
Ⅰ F19g 古代面	56.1	2	Ⅱ F2g 古代面	64.8	9	E区北西端 古代面	183.6	5			
Ⅰ F19g 層位不明	14.0	4	Ⅱ F2h 古代面	38.7	5	E区北西端 落ち込み	19.0	2			
Ⅰ F19h 古代面	7.1	2	Ⅱ F2h 層位不明	40.8	8	E区北半 古代面	6.2	2			
Ⅰ F19h 層位不明	5.5	1	Ⅱ F2i 古代面	345.3	23	F区2次旧河道T1 包含層	37.4	2			
Ⅰ F19l 古代面	53.2	2	Ⅱ F2j 古代面	35.5	4	F区2次旧河道 包含層下部	146.9	1			
Ⅰ F19m 古代面	21.2	2	Ⅱ F2k 古代面	29.0	4	F区2次南半 層位不明	65.2	1			
Ⅰ F19q 古代面	9.3	1	Ⅱ F2t 古代面	8.8	1	F区2次南半 包含層	70.1	2			
Ⅰ F19r 古代面	198.1	17	Ⅱ F3d 壁際古代面～下	46.5	5	F区東壁 層位不明	24.5	1			
Ⅰ F19s 古代面	25.6	2	Ⅱ F3e 層位不明	1.0	1	SD27 Ⅱ層	11.1	1			
Ⅰ F1l 古代面	15.2	1	Ⅱ F3g 古代面	8.0	2	SI39 貼床下	51.3	2			
Ⅰ F20 撹乱	62.8	9	Ⅱ F3h 古代面	45.1	3	SI40 QNE掘り方～Ⅳ層	108.8	14			
Ⅰ F20d 古代面	62.5	1	Ⅱ F3j 古代面	21.8	4	SI40 QNW掘り方～Ⅳ層	13.6	4			
Ⅰ F20 f 撹乱	13.6	3	Ⅱ F3l 撹乱	178.2	20	SI40 QSE掘り方～Ⅳ層	87.0	21			
Ⅰ F20 f 古代面	6.4	2	Ⅱ F3l 層位不明	73.8	4	SI40 QSW掘り方～Ⅳ層	114.2	10			
Ⅰ F20g 撹乱	5.7	1	Ⅱ F3m 撹乱	2.1	1	SI40 掘り方	47.6	7			
Ⅰ F20g 撹乱	116.0	24	Ⅱ F3m 古代面	13.7	1	SI40 北半掘り方～Ⅳ層	11.3	2			
Ⅰ F20g 古代面	20.1	2	Ⅱ F3n 撹乱	26.3	7	SI43 貼床下	446.4	46			
Ⅰ F20h 古代面	77.2	11	Ⅱ F3q 古代面	3.2	1	SI43 貼床下（Ⅱ F1f）	228.7	12			
Ⅰ F20h 層位不明	6.0	2	Ⅱ F3s 古代面	66.3	2	SI44 掘り方	44.2	1			
Ⅰ F20i 古代面	82.8	2	Ⅱ F4k 撹乱	12.0	5	SI45 QNW掘り方～Ⅳ層	1.6	1			
Ⅰ F20j 古代面	40.7	2	Ⅱ F4m 古代面	7.3	1	SI45 QSW掘り方～Ⅳ層	7.5	1			
Ⅰ F20k 古代面	136.9	4	Ⅱ F4r 古代面	88.4	2	SI49 貼床下	18.6	6			
Ⅰ F20r 古代面	10.0	2	Ⅱ G10r 古代面	3.7	1	SI50 QSE掘り方～Ⅳ層	3.6	1			
Ⅰ F2h 古代面	25.4	2	Ⅱ G10t 落ち込み	6.0	1	SI53 貼床下	238.9	27			
Ⅱ B2o C1層	1.1	1	Ⅱ G2f 古代面	48.6	2	SI55 1の床面下	13.6	1			
Ⅱ B6k 落ち込みD内	2.6	1	Ⅱ G3b 古代面	0.5	1	SI56 撹乱	121.1	12			
Ⅱ B7i Dd層	4.4	1	Ⅱ G6d 古代面	42.3	2	SI57 貼床下	26.0	4			
Ⅱ B7j D e層上	6.2	1	Ⅱ G6f 古代面	4.9	1	SI60 貼床下	11.6	2			
Ⅱ B7l Dd層	86.6	4	Ⅱ G7i 古代面	22.0	3	SI61 貼床下	897.9	76			
Ⅱ D1f Ⅱ層	65.0	3	Ⅱ G8s 古代面	1.1	1	SI62 カマド1周辺貼床下	10.1	2			
Ⅱ D1f Ⅲ層	0.7	1	A区 Ⅰ層	224.3	18	SI62 貼床下	370.8	70			
Ⅱ D1f Ⅳ層	443.0	24	A区 V層（古代検出面）	70.5	6	SI67 貼床下	8.4	1			
Ⅱ D1g (S) 1	71.2	1	A区 一括	351.3	17	SI72 貼床下	46.5	1			
Ⅱ D1g Ⅳ層	124.1	12	A区 落ち込みA 一括	31.5	9	SI77 撹乱	33.7	1			
Ⅱ D1g Ⅳ層上面	99.6	1	A区 落ち込みB 一括	1.9	2	SI79 埋土～掘り方	2.1	1			
Ⅱ D1h Ⅱ～Ⅲ層	87.6	3	B・C区 Ⅰ～Ⅱ層	38.4	3	SI80 貼床下	13.5	1			
Ⅱ D1h Ⅱ層	16.2	3	B・C区 Ⅰ層	1.8	2	SI83 貼床下	18.6	1			
Ⅱ D1h Ⅳ層	86.8	10	B・C区 Ⅲ層	19.0	2	SI84 貼床下	5.0	1			
Ⅱ D1h Ⅳ層上面	373.6	14	B・C区 一括	100.3	5	SI86 貼床下	35.5	1			
Ⅱ D1m Ⅳ層	4.6	1	B・C区 撹乱	0.6	1	SK108 埋土	323.4	30			
Ⅱ D1n Ⅳ層	133.4	37	B区 Ⅱ～Ⅳ層	52.7	1	SK115 1～3層	120.9	12			
Ⅱ D1n Ⅳ層 (P) 1	1.1	1	B区 一括	30.1	2	SK115 底面	3.4	1			
Ⅱ D1o Ⅳ層	47.3	3	B区南 Ⅱ層より上	6.6	1	SK115 埋土	517.6	54			
Ⅱ D1o 一括	2.5	1	B区南 Ⅱ層相当	40.3	1	SK93（Ⅰ E15s）埋土	47.0	32			

（6）　金　属　製　品　（遺物図版187～192　写真図版309～313）

本遺跡から出土した金属製品には鉄鏃、刀・刀装具、装身具類、鋸、締金具、紡錘車、手鎌、鎌、刀子、鍋などがある。また欠損などのため、用途･形状が不明確なものは不明製品として一括し、形状（棒状･板状等）のみを記載している。掲載点数は鉄鏃13点、小刀１点、刀装具４点、装身具類３点、鋸１点、締金具１点、紡錘車３点、手鎌５点、鎌２点、刀子48点、鍋３点、釘５点、不明製品105点の計194点である。

①　鉄鏃

明確に鉄鏃と判断できるものは13例出土しているが、長頸鏃の頸部破片は不明製品（棒状）に含まれている可能性があり、数自体は若干増加するかもしれない。出土した鉄鏃は無頸、短頸、長頸鏃に大別でき、その形態から７形式分類が可能である。なお名称については杉山1988、津野2001を参考にした。

ａ　無頸鏃

【無頸長三角形式】

１点の出土（f98）。平面形は長三角形を呈するもので頸部がないものである。刃部は両側縁に付き、底辺部は深く基部に入り込む腸抉が形成される。

【無頸柳葉式】

１点の出土（f81）。先端が尖り長三角形を呈するが側縁が途中で内側に窪み、再度広がりながら基部へと移行する形態を呈する。刃部は両側縁に付く。

ｂ　短頸鏃

【柳葉式】

１点の出土（f102）。先端が欠損しており全容は不明であるが、残存部から柳葉式と判断している。刃部は両側縁に付く。鏃身関は撫関、頸部は無関で、断面は面取りしたような台状を呈する。長三角形式の可能性もある。

【片刃箭式】

１点の出土（f105）。古墳時代から続く形式の鏃で、鏃身部は片側の側縁のみに刃部を有する。茎部は欠損しており、頸部関の有無は不明である。

【方頭（斧箭式）】

１点の出土（f113）。鏃身関部からやや開きながら直線的に伸びる側縁を持ち、羽子板状の平面形を呈する。鏃身部は約５㎝、刃部幅は約３㎝を測る。頸部（篦被）は短めであり、頸部関は台状関である。茎部は欠損している。

【雁又式】

１点の出土（f128）。平面形が大きくＹ字状を呈するものであるが両先端部を欠損している。頸部はやや短く、台状関を呈している。茎部は途中で欠損している。雁又式は古墳時代後期にわずかに確認できるが、特に奈良時代以降鏑矢として盛行し、後世まで続く形式とされている（西澤2004）。

ｃ　長頸鏃

【長三角形式】

４点の出土（f17･47･79･117）。f17は鏃身が長三角形を呈する長頸鏃で、両側縁に刃部が形成されている。底辺部は欠損のため定かではないが、深い腸抉を持つとみられる。残存する頸部関は撫関である。f47は鏃身が長三角形を呈するもので、両側縁に刃部を持ち、底辺部には腸抉が形成されている。頸部は途中で欠損しているため、全容は不明である。頸残存部に関は認められない。f79は底辺部に腸抉の入る長三

角形式で、頸部は直線状を呈し無関と思われる。両側縁に刃部が形成されている。f117は鏃身が長三角形を呈し両側縁に刃部を持つ。鏃身関は撫関とみられる。頸部は途中で欠損しており、全容は不明である。

d　その他

残存不良などで形態が判別できないものを一括した（f83・118・124）。f83は鏃身底辺が欠損しているため詳細は不明であるが、残存部形状からおそらく腸抉が入るものと思われる。断面に頸部・刃部（逆刺部？）が認められることから無頸式ではないと判断した。長三角形式の可能性がある。f118・124はいずれも鏃身部が欠損しており全容は不明であるが、長い頸部を有することから長頸鏃とみられる。

②　刀類・刀装具

刀類（小刀含む）とそれらに装着される足金具、座金具などの刀装具を一括した。

a　小刀

１点の出土（f56）。全長44.1cm、刃長32cmを測るもので、鋒先はフクラ鋒を呈する。茎は下辺が上向きになり、鋒先近くの刀身には弱い反りがみられる。刀身関は両側に角関を持つもので、背側の関がやや広い。刀身と茎の中間に幅0.9cmほどの柄縁金具が付属している。

b　足金具

足金具の可能性のある鉄製品が２点出土しているが、いずれも破片資料で全容は不明である（f18・94）。f18は幅0.3cmほどの細い鉄を折り曲げて作られている製品で、単脚の上部に小さな環が付いたのち、脚が二又状に枝分かれするような形状を呈する。f94は幅0.7cmほどの帯状の鉄を折り曲げて作られており、上部に小さな環を持つ。変形著しいが単環単脚の足金具の可能性があることからここに含める。

c　座金具

菊座金具が２点（一振分）出土している（f24・25）。径2.8cmの半球状を呈する。蕨手刀の柄頭に付属する金具とみられる。中央に懸緒通孔を持つ。

③　装身具類

鉄製の鉸具２点（f57・129）、銅製の帯金具１点（f38）が出土している。f57は大きさ4.0cm×3.7cmを測る。幅1.2cmほどの鉄をコの字（馬蹄）状に折り曲げ、下端に径0.3cmほどの横棒を通す形状で、横棒の中央に刺金が付く。f129は大きさ2.9cm×2.8cmと小型で、馬具などの可能性もある。径0.4cmほどの鉄を方形に折り曲げ、折り曲げた接点を覆うように回転自在の幅広の環が巻き付けられる。刺金はこれと反対側に付いている。f38は、厚さ0.2cmの方形基調を呈する銅製の帯金具である。角部のみ残存しているため全体の大きさは不明である。

④　鋸

１点出土した。f107は全長37cm、鋸身25cmの木の葉形を呈する鋸でほぼ完形である。鋸背は真っ直ぐで歯道は緩く外湾している。歯形は剣歯で、歯数は約65枚前後と推定される。横引鋸の可能性が考えられるが、錆化が著しいため横引鋸の特徴である齟齬とナゲシは明確でない。

⑤　締金具

１点出土している（f108）。径約5.6cm、幅2.0cm、厚さ0.1cmの薄い帯状の板をスプリング状に巻いたような形状を呈する。細かく分割してはいるが、出土状況から本来は１個体であったと思われる。類例として広島市草戸千軒遺跡では本例より小型（径約2.7cm、幅1.4cm）ではあるが同様の製品が出土している（広島県草戸千軒町遺跡調査研究所1988）。同遺跡内では実際に鎌に同様の金具が装着された

事例があったことから、鎌の歯などを固定するための締金具として報告されている。本例も何らかの農工具（鋸など？）の締金具であった可能性がある。

⑥　紡錘車

軸部と円盤部の双方が遺存しているものが３点出土している。軸部のみが出土する例を考慮すると出土数はもう少し多いかもしれない。

紡錘車は円盤部と軸部の二つの部品から構成される。円盤部の直径は5.0cm～5.5cmを測る。断面形は平らな形状のもの（f14・58）と、やや円錐状を呈する形態となるもの（f46）がある。軸部はいずれも欠損しており、全体の大きさは不明である。f63～65は、軸部が１箇所接合しなかったが出土状況から同一個体と考えられ、これによると軸部は少なくとも30cmを測るようである。

⑦　手鎌

穂摘具、穂切具、苧引金等と呼称されるものである（f44・104・97・88・99・111）。横に長く薄い鉄板を基調とし、長辺側の一端に刃部を有する。本遺跡からは木質部が残存していた例は確認されていないが、目釘が残存するもの（f97）、釘穴が認められるもの（f97・44・104・88）がある。f97は目釘が約1.7cm突き出しており、ある程度の厚さのある木質が装着されていたと考えられる。これらの手鎌は刃部形状により刃部がほぼ直線的なもの（f97・99）と、刃部が凸状に湾曲する形態を呈するもの（f111・44・104・88）とに大別することが可能である。

⑧　鎌

１点のみ出土している（f74）。そのほか鎌と推定される１破片がある（f84）。いずれも刃部が湾曲する曲刃鎌である。f74は基部を全面折り曲げて木柄との着柄箇所としている。基部付近の幅が厚く、先端に行くにしたがってやや細くなっている。基部の折り返し部分から着柄角度を推定するとほぼ直角となる。一般的に直角鎌を根刈り用、鈍角鎌を（草）払鎌と考えることが多いとされる（西澤2004）ことから、本例の場合、根刈り用などの用途が推定される。

⑨　刀子

刀子は48点出土しており、今回出土の鉄器の中では最も数が多い。欠損している例が多いが、大きさ・形状などから以下のⅣ類に大別を行った。

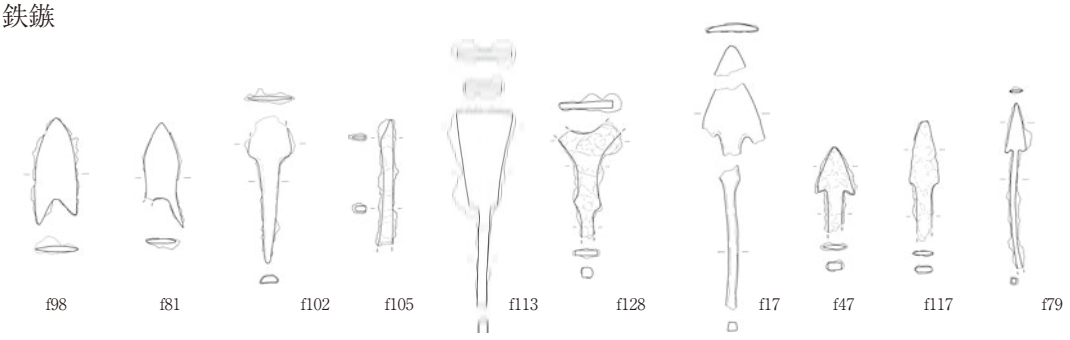
Ⅰ類

刀身は細身で関を持つ。刃部の幅は関部より峰付近まで緩やかに内湾するもの（f119・114・21）と、背側にやや外反するもの（f20・19・6）がある。本類の完存例としては（f114・20・21）があり、全長15cm前後、刀身部の長さは８～９cm前後、刃部元幅１～1.5cmの範囲に収まるようである。茎部は茎尻に向けて細く狭まる。関部は両関と背側のみに入るものの双方が認められ、角関もしくは撫関を呈するものが多い。なおf114は関部分をわずかに欠失しており厳密には完形ではないが、木質が良好に残存する。

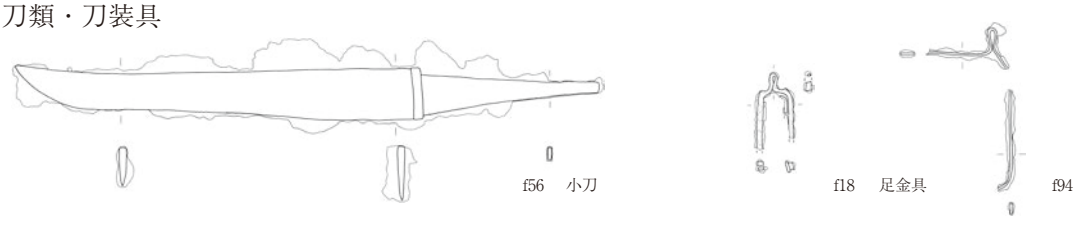
Ⅱ類

刀身は細身ではっきりとした関を持たない（f73・95・33・116）。刃部の幅は関部より峰付近まではほぼ直線的であるが、峰付近から峰にかけて緩やかに湾曲するもの。この類の完存例は１点しかなく（f73）、全容は不明であるが、残存部からの推定では全長10cm前後、刃部元幅0.9cm前後の小型のものが多い。茎部は細長く尻まで続くと思われる。

① 鉄鏃



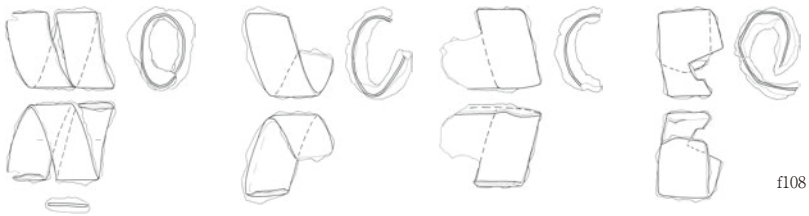
② 刀類・刀装具



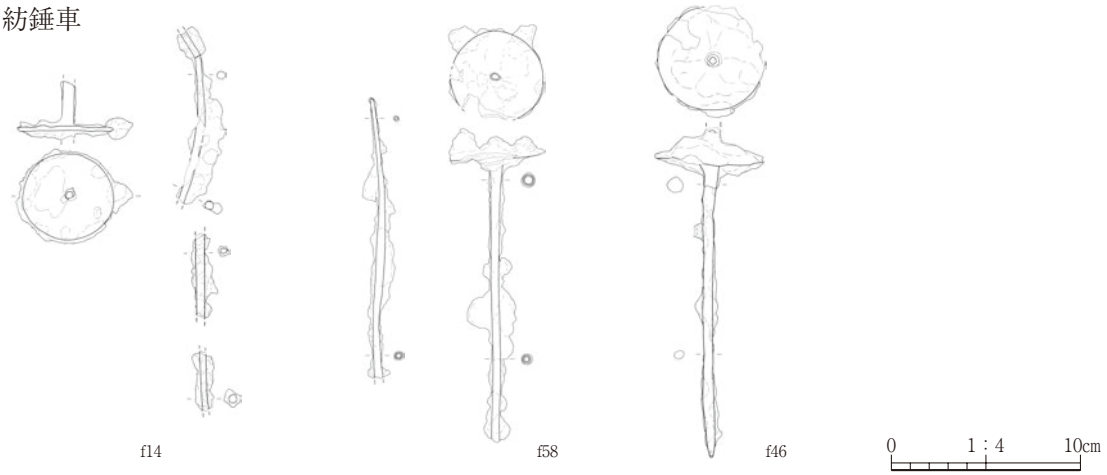
③ 装身具類

④ 鋸

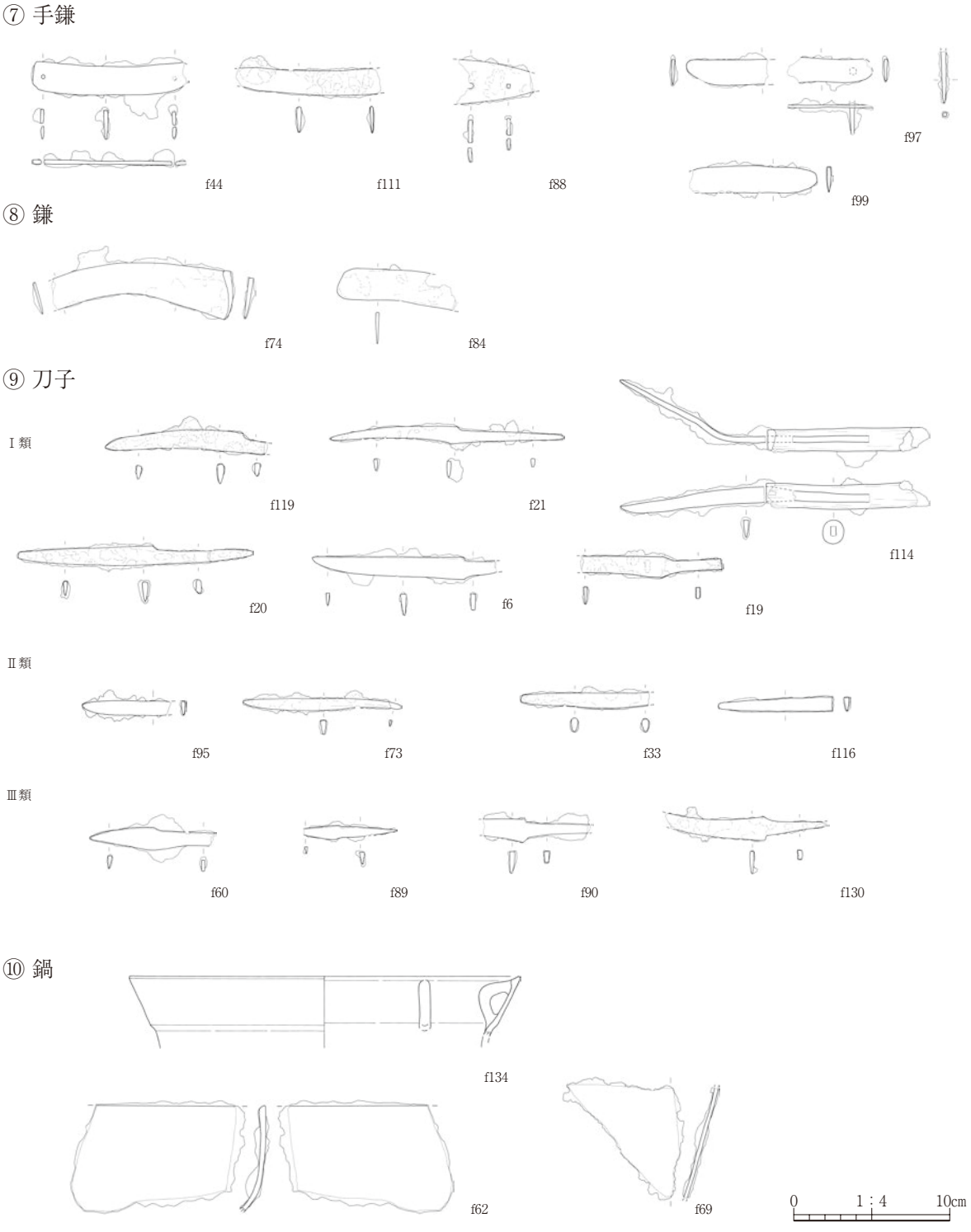
⑤ 締金具



⑥ 紡錘車



第276図　古代の鉄製品集成図（1）



第277図　古代の鉄製品集成図（２）

Ⅲ類

刀身が長三角形状を呈するもので、刃部が関部より直線的に幅を減少させながら峰へと伸びるもの。関の形状や法量は完形のものがなく不明であるが、刃部元幅1.5cm前後のものが主体を占める。峰は細長く鋭く尖っている。関部は背側に撫関を持つものが１点（f60・89）、両関で背側に撫関、刃側に

角関を持つものが１点（f130）、背側に角関、刃側に撫関を持つものが１点（f90）ある。茎部は茎尻に向けて細く狭まっている。

Ⅳ類

残存不良のため形態分類が不能なもので、上記のⅠ～Ⅲ類に当てはまらないものを一括した。刃部幅が1.5～2.4cmのもの（f126・125・3）と、１cm前後のもの（f82・59・120・85・80・75・48・49・68・27・7・34・2）とに大別できる。f126は刀身関部付近から茎部の一部が残存するものである。刃部元幅は2.4cmとやや広い。茎は下辺が上向きになる。刃側に撫関が形成されている。f125は切先と茎を欠損している。刀身関部は両側に斜関が付く。刃部の元幅は２cmを測る。

⑩　鍋

口縁部片が２点、胴部片が１点出土している。全体の器形、大きさが判明するものはない。f62は破片下部で屈曲し、微かに内湾しながら直線的に立ち上がる器形を呈する。破片から耳の有無は確認できない。f134は内耳鉄鍋の口縁部片で、内耳部分が残存している。頸部に弱い段を持ち、やや外傾しながら立ち上がる。残存部の特徴から15～16世紀代の可能性がある。

⑪　その他・不明製品

その他の鉄製品として、釘や棒状、ソケット状、板状、環状、Ｃ字状、Ｌ字状、蒲鉾状の鉄製品がある。これらの多くは欠損品であり、何らかの製品の一部である可能性もあるが、ここでは用途・形状が明確でないものを不明鉄製品として一括した。f109は器種不明の棒状鉄製品で、長さ25cm、幅2.4cm、厚さ約1cmの円柱形を呈する。端部に最大幅を持ち（2.5cm）、先端に行くに従い幅を減ずる（約1.5cm）形状と推測される。本製品が出土したSK138土坑からは他に鋸（f220）が出土しており、これに類する工具などの可能性もある。

（７）　鉄　　滓（写真図版313）

遺構内･外から27点が出土している。出土地点は竪穴住居跡内17点、焼成遺構内４点、溝跡内１点、柱穴状小土坑内１点、遺構外４点である。遺跡内出土の鉄滓については、鉄生産に関わるような遺構が未検出で、直接遺構に関わるような出土状況を示さないことから他所からの移動によって混入したものと判断できる。鉄滓の種類、特徴については遺物観察表７鉄滓類観察表に掲載した。

（８）　古　　銭（遺物図版192　写真図版313）

遺構内・外から合計12点が出土している。内訳は初鋳年順に開元通寶２（唐・初鋳621年）、天禧通寶１（北宋・初鋳1017年）、天聖元寶１（北宋・初鋳1023年）、皇宋通寶１（北宋・初鋳1038年）、熙寧元寶１（北宋・初鋳1068年）、元豊通寶１（北宋・初鋳1078年）、元符通寶１（北宋・初鋳1098年）、聖宋元寶１（北宋・初鋳1101年）、洪武通寶１（明・初鋳1368年）、永楽通寶１（明・初鋳1408年）、寛永通寶１（銅一文銭・１期）である。これらのうち、天禧通寶と寛永通寶を除いては、SK89土坑、SN26焼土遺構の検出面に一括状態で出土している。遺構の時期、及び性格を確定できていないが、火葬墓に副葬された一括銭の可能性がある。

Ⅴ　自然科学的分析

1　千苅遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）

（株）加速器分析研究所

（1）測定対象試料

千苅遺跡は、岩手県北上市二子町千苅224ほか（北緯39°　30′　58″、東経141°　51′　90″）に所在し、北上川西岸の自然堤防と後背湿地が入り組む地点に立地する。発掘調査は2011年度～13年度にわたって実施され、各年度分の出土炭化物から測定対象試料が選択され各年度別に測定を行った。今回の報告にあたり、試料番号は年度ごとに１から始まる数字を与え、11-1等としている。

【2011年度】

2011年度の測定対象試料は竪穴住居跡や焼成遺構から出土した炭化物５点である（表1-1）。出土地点のうち、SI02、SI04は縄文時代晩期の竪穴住居跡、SI03は縄文中期の竪穴住居跡、SX01、SX02は推定縄文時代の焼成遺構とされる。

【2012年度】

2012年度の測定対象試料は竪穴住居跡や焼成遺構、土坑等の遺構から出土した炭化物９点である（表1-2）。出土地点のうち、SI10、SI13は平安時代の竪穴住居跡、SX13、SX30、SX34、SX70は奈良～平安時代の焼成遺構、SKI01は平安時代の住居状遺構、SN15は縄文～弥生時代の焼土遺構とされる。

【2013年度】

2013年度の測定対象試料は竪穴住居跡や遺物包含層から出土した炭化物、及び土器付着炭化物の合計11点である（表1-3）。試料１、２は土器の内面付着炭化物である。SU01、SU02は縄文～弥生時代の遺物集中部、SI76、SI78は奈良時代の竪穴住居跡、SX121は奈良時代～平安時代（初頭）の焼成遺構、SK138は中世初頭の土坑、SN36は縄文～弥生時代の焼土遺構、Ⅳａ～Ⅳｃ層は縄文晩期末～弥生時代前期の遺物包含層とされる。

（2）測定の意義

試料の年代を明らかにすることで、遺構、遺物および遺跡の年代を検討する。

（3）化学処理工程

①メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。

②酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常１mol/ℓ（１M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから１Ｍまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が１Ｍに達した時には「AAA」、１Ｍ未満の場合は「AaA」と表1に記載する。

③試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO_2）を発生させる。

④真空ラインで二酸化炭素を精製する。

⑤精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。

⑥グラファイトを内径１㎜のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

（４）測　定　方　法

加速器をベースとした^{14}C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、^{14}Cの計数、^{13}C濃度（^{13}C/^{12}C）、^{14}C濃度（^{14}C/^{12}C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx Ⅱ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

（５）算　出　方　法

①δ^{13}Cは、試料炭素の^{13}C濃度（^{13}C/^{12}C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表１）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。

②^{14}C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中^{14}C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。^{14}C年代はδ^{13}Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。^{14}C年代と誤差は、下１桁を丸めて10年単位で表示される。また、^{14}C年代の誤差（±１σ）は、試料の^{14}C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2％であることを意味する。

③pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}C濃度の割合である。pMCが小さい（^{14}Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（^{14}Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ^{13}Cによって補正する必要があるため、補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。

④暦年較正年代とは、年代が既知の試料の^{14}C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の^{14}C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、１標準偏差（1σ＝68.2％）あるいは２標準偏差（2σ＝95.4％）で表示される。グラフの縦軸が^{14}C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ^{13}C補正を行い、下１桁を丸めない^{14}C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、2011・2012年度出土試料についてはIntCal09データベース（Reimer et al. 2009）を用い、OxCalv4.1較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）、2013年度出土試料についてはIntCal13データベース（Reimer et al. 2013）を用い、OxCalv4.2較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表２に示した。暦年較正年代は、^{14}C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」（または「cal BP」）という単位で表される。

（６）測　定　結　果

測定結果を表１、２に示す。

【2011年度】

試料５点の^{14}C年代は、SI02炉内の11－1が2800±20yrBP、SI03の11－2が4440±30yrBP、SI04炉内

の11－3が2920±20yrBP、SX01燃焼部３層最下部の11－4が2970±20yrBP、SX02焼成面の11－5が2520±20yrBPである。暦年較正年代（1σ）は、11－1が993～917cal BC、11－2が3311～3023cal BC、11－3が1192～1055cal BC、11－5が1261～1132cal BC、11－5が778～592cal BCの間に各々複数の範囲で示され、11－1が縄文時代晩期中葉頃、11－2が中期中葉頃、11－3、11－4が晩期前葉頃、11－5が晩期中葉から後葉頃に相当する。試料の炭素含有率はすべて50％を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

【2012年度】

炭化物の^{14}C年代は、SI10 pit2埋土中位出土の12－1が1540±20yrBP、SI13南西部床直出土の12－2が1240±20yrBP、SI13 ３号焼土の焼土層から出土した12－3が1210±20yrBP、SX13底面直上・炭化物層出土の12－4が1230±20yrBP、SX30出土の12－5が1200±20yrBP、SX34北西側底面直上出土の12－6が1260±20yrBP、SKI01床面出土の12－7が1260±20yrBP、SX70焼土２層出土の８が1270±20yrBP、SN15出土の９が2270±20yrBPである。SI13出土の２と３の値は誤差（±1σ）の範囲で重なり、近い年代を示す。

暦年較正年代（1σ）は、12－1が440～564cal AD、12－2が694～809cal AD、12－3が775～868cal AD、12－4が713～859cal AD、12－5が779～867cal AD、12－6が692～772cal AD、12－7が693～772cal AD、12－8が689～771cal AD、12－9が393～259cal BCの間に各々複数の範囲で示される。^{14}C年代とその較正年代に基づいて示された弥生時代の年代観に対照すると、12－9は弥生時代前期から中期頃に相当する（小林2009）。また、12－1は古墳時代中期から後期頃、12－2～8は古代頃に当たる年代値となっている。

試料の炭素含有率はいずれも約50％を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

【2013年度】

試料11点の^{14}C年代は、2580±30yrBP（試料13－1）から970±30yrBP（試料13－6）の間にある。暦年較正年代（1σ）は、最も古い13－1が801～776cal BCの範囲、最も新しい13－6が1022～1147cal ADの間に３つの範囲で示される。古い方から順に13－1が縄文時代晩期中葉頃、13－7、13－10、13－11が晩期中葉から後葉頃、13－8が晩期後葉から末葉ないし弥生時代前期頃、13－2が弥生時代前期頃、13－9が前期から中期頃、13－5が古墳時代終末期頃、13－3、13－4が奈良時代末から平安時代前半頃、13－6が平安時代後半頃に相当する（小林2009、佐原2005）。試料が出土した遺構、遺物包含層の推定年代に対して、13－5は古い値を示したが、他の10点はおおむね整合する結果となっている。

試料の炭素含有率はすべて約60％以上の十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

Bronk Ramsey, C., 2009, Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360

小林謙一, 2009, 近畿地方以東の地域への拡散, 西本豊弘編, 新弥生時代のはじまり　第４巻　弥生農耕のはじまりとその年代, 雄山閣, 55-82

Reimer, P.J. et al., 2009, IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150

Reimer, P.J. et al., 2013, IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887

佐原　眞, 2005, 日本考古学・日本歴史学の時代区分, ウェルナー・シュタインハウス監修, 奈良文化財研究所編集, 日本の考古学　上　ドイツ展記念概説, 学生社, 14-19

Stuiver, M. and Polach, H.A., 1977, Discussion: Reporting of 14C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

表１－１　2011年度出土試料　放射性炭素年代測定結果（δ ^{13}C 補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ ^{13}C（‰）（AMS）	δ ^{13}C補正あり	
						Libby Age（yrBP）	pMC（%）
IAAA-112574	11-1	SI02 炉内	木炭	AAA	-23.6 ± 0.32	2,800 ± 20	70.56 ± 0.2
IAAA-112575	11-2	SI03	木炭	AAA	-26.23 ± 0.47	4,440 ± 30	57.51 ± 0.19
IAAA-112576	11-3	SI04 炉内	木炭	AAA	-25.73 ± 0.42	2,920 ± 20	69.48 ± 0.19
IAAA-112577	11-4	SX01 燃焼部３層最下部	木炭	AAA	-29.7 ± 0.38	2,970 ± 20	69.06 ± 0.19
IAAA-112578	11-5	SX02 焼成面	木炭	AAA	-26.98 ± 0.36	2,520 ± 20	73.04 ± 0.2

[#4886]

表１－２　2012年度出土試料　放射性炭素年代測定結果（δ ^{13}C 補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ ^{13}C（‰）（AMS）	δ ^{13}C補正あり	
						Libby Age（yrBP）	pMC（%）
IAAA-121067	12-1	SI10　pit2埋土中位	炭化物	AaA	-28.2 ± 0.42	1,540 ± 20	82.56 ± 0.22
IAAA-121068	12-2	SI13　南西部床面	炭化物	AaA	-25.31 ± 0.3	1,240 ± 20	85.71 ± 0.23
IAAA-121069	12-3	SI13　３号焼土　焼土層	炭化物	AAA	-27.85 ± 0.51	1,210 ± 20	85.96 ± 0.24
IAAA-121070	12-4	SX13　底面・炭化物層	炭化物	AAA	-24.26 ± 0.37	1,230 ± 20	85.77 ± 0.21
IAAA-121071	12-5	SX30　埋土	炭化物	AAA	-25.05 ± 0.38	1,200 ± 20	86.07 ± 0.23
IAAA-121072	12-6	SX34　北西側底面直上	炭化物	AaA	-28.51 ± 0.47	1,260 ± 20	85.44 ± 0.23
IAAA-121073	12-7	SKI01　床面	炭化物	AAA	-26.82 ± 0.29	1,260 ± 20	85.44 ± 0.22
IAAA-121074	12-8	SX70　焼土２層	炭化物	AaA	-31.83 ± 0.39	1,270 ± 20	85.37 ± 0.23
IAAA-121075	12-9	SN15	炭化物	AAA	-30.76 ± 0.38	2,270 ± 20	75.37 ± 0.21

[#5277]

表１－３　2013年度出土試料　放射性炭素年代測定結果（δ ^{13}C 補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ ^{13}C（‰）（AMS）	δ ^{13}C補正あり	
						Libby Age（yrBP）	pMC（%）
IAAA-143098	1-13	SU01土器a94内面付着	土器付着炭化物	AAA	-22.22 ± 0.64	2,580 ± 30	72.51 ± 0.25
IAAA-143099	2-13	SU02土器a94内面付着	土器付着炭化物	AaA	-25.41 ± 0.45	2,300 ± 30	75.1 ± 0.26
IAAA-143100	3-13	SI76　カマド煙道	炭化物（クリ材）	AAA	-26.04 ± 0.39	1,200 ± 30	86.16 ± 0.27
IAAA-143101	4-13	SI78　床面	炭化物（クリ材）	AAA	-26.12 ± 0.65	1,160 ± 20	86.58 ± 0.26
IAAA-143102	5-13	SX121　燃焼部	炭化物	AAA	-24.78 ± 0.5	1,330 ± 20	84.73 ± 0.25
IAAA-143103	6-13	SK138　鉄製品f109に付着	炭化物	AAA	-21.8 ± 0.76	970 ± 30	88.62 ± 0.28
IAAA-143104	7-13	SN36　1層	炭化物	AAA	-24.89 ± 0.57	2,540 ± 30	72.93 ± 0.24
IAAA-143105	8-13	ⅠE18sグリッド　Ⅳa層	炭化物	AAA	-25.07 ± 0.36	2,440 ± 30	73.83 ± 0.25
IAAA-143106	9-13	ⅡF1aグリッド　Ⅳa層	炭化物	AAA	-25.92 ± 0.55	2,240 ± 30	75.71 ± 0.24
IAAA-143107	10-13	ⅠF20aグリッド　Ⅳb層	炭化物	AAA	-27.03 ± 0.65	2,530 ± 30	72.97 ± 0.26
IAAA-143108	11-13	ⅡE1tグリッド　Ⅳc層	炭化物	AAA	-24.51 ± 0.52	2,530 ± 30	72.97 ± 0.25

[#7151]

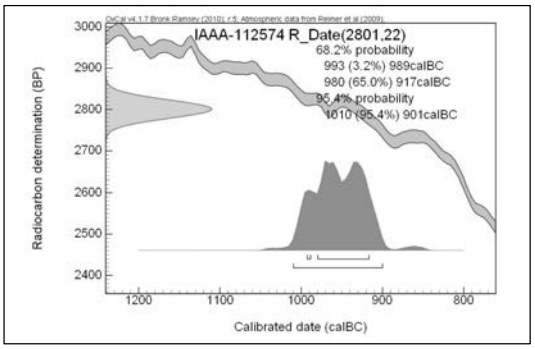
表２（１）　放射性炭素年代測定結果（$\delta^{13}C$ 未補正値、暦年較正用 $\delta^{14}C$ 年代、較正年代）

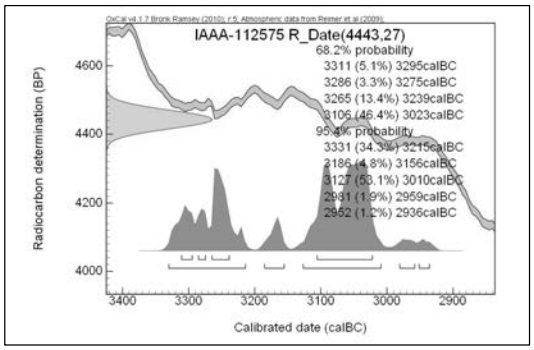
測定番号	$\delta^{13}C$補正なし		暦年較正用（yrBP）	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age（yrBP）	pMC（%）			
IAAA-112574	2,780 ± 20	70.76 ± 0.2	2,801 ± 22	993calBC - 989calBC（ 3.2%） 980calBC - 917calBC（65.0%）	1010calBC - 901calBC（95.4%）
IAAA-112575	4,460 ± 30	57.37 ± 0.18	4,443 ± 27	3311calBC - 3295calBC（ 5.1%） 3286calBC - 3275calBC（ 3.3%） 3265calBC - 3239calBC（13.4%） 3106calBC - 3023calBC（46.4%）	3331calBC - 3215calBC（34.3%） 3186calBC - 3156calBC（ 4.8%） 3127calBC - 3010calBC（53.1%） 2981calBC - 2959calBC（ 1.9%） 2952calBC - 2936calBC（ 1.2%）
IAAA-112576	2,940 ± 20	69.38 ± 0.19	2,924 ± 22	1192calBC - 1177calBC（ 9.4%） 1161calBC - 1144calBC（11.4%） 1132calBC - 1055calBC（47.4%）	1254calBC - 1239calBC（ 2.5%） 1214calBC - 1041calBC（92.9%）
IAAA-112577	3,050 ± 20	68.4 ± 0.18	2,973 ± 22	1261calBC - 1192calBC（50.4%） 1177calBC - 1161calBC（ 9.3%） 1144calBC - 1132calBC（ 8.5%）	1293calBC - 1125calBC（95.4%）
IAAA-112578	2,560 ± 20	72.74 ± 0.19	2,523 ± 22	778calBC - 750calBC（21.2%） 687calBC - 667calBC（17.0%） 641calBC - 592calBC（30.0%）	790calBC - 735calBC（28.0%） 691calBC - 662calBC（19.1%） 650calBC - 546calBC（48.2%）
IAAA-121067	1,590 ± 20	82.02 ± 0.2	1,539 ± 21	440calAD - 485calAD（33.7%） 532calAD - 564calAD（34.5%）	432calAD - 580calAD（95.4%）
IAAA-121068	1,240 ± 20	85.66 ± 0.22	1,238 ± 21	694calAD - 748calAD（41.3%） 765calAD - 782calAD（14.4%） 790calAD - 809calAD（12.5%）	688calAD - 754calAD（45.4%） 760calAD - 870calAD（50.0%）
IAAA-121069	1,260 ± 20	85.46 ± 0.22	1,214 ± 22	775calAD - 830calAD（44.6%） 837calAD - 868calAD（23.6%）	719calAD - 743calAD（ 7.7%） 769calAD - 886calAD（87.7%）
IAAA-121070	1,220 ± 20	85.9 ± 0.2	1,232 ± 20	713calAD - 745calAD（25.2%） 767calAD - 817calAD（34.5%） 843calAD - 859calAD（ 8.5%）	691calAD - 750calAD（33.9%） 763calAD - 875calAD（61.5%）
IAAA-121071	1,210 ± 20	86.06 ± 0.22	1,204 ± 21	779calAD - 829calAD（43.4%） 839calAD - 867calAD（24.8%）	729calAD - 736calAD（ 1.3%） 771calAD - 889calAD（94.1%）
IAAA-121072	1,320 ± 20	84.82 ± 0.22	1,264 ± 22	692calAD - 750calAD（59.2%） 763calAD - 772calAD（ 9.0%）	672calAD - 780calAD（94.0%） 794calAD - 802calAD（ 1.4%）
IAAA-121073	1,290 ± 20	85.13 ± 0.21	1,263 ± 20	693calAD - 749calAD（59.7%） 764calAD - 772calAD（ 8.5%）	675calAD - 780calAD（95.4%）
IAAA-121074	1,380 ± 20	84.18 ± 0.22	1,270 ± 22	689calAD - 724calAD（39.1%） 739calAD - 771calAD（29.1%）	674calAD - 777calAD（95.4%）
IAAA-121075	2,370 ± 20	74.49 ± 0.2	2,270 ± 22	393calBC - 359calBC（52.4%） 276calBC - 259calBC（15.8%）	396calBC - 353calBC（57.0%） 292calBC - 231calBC（38.4%）

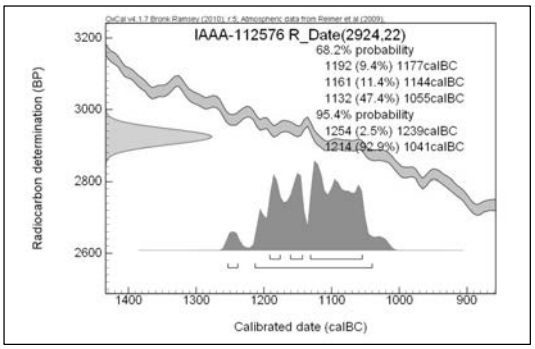
表２（２）　放射性炭素年代測定結果（$\delta^{13}C$ 未補正値、暦年較正用 $\delta^{14}C$ 年代、較正年代）

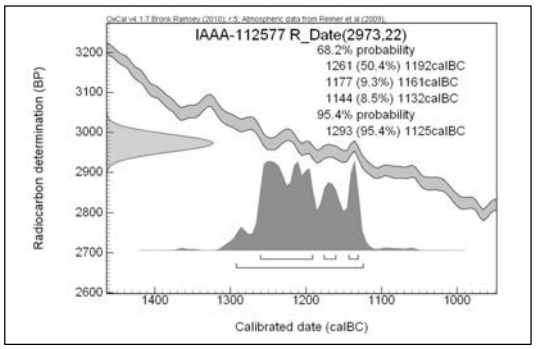
測定番号	$\delta^{13}C$補正なし		暦年較正用（yrBP）	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age（yrBP）	pMC（%）			
IAAA-143098	2,540 ± 30	72.92 ± 0.24	2,582 ± 28	801calBC - 776calBC（68.2%）	814calBC - 753calBC（91.4%） 682calBC - 669calBC（ 2.0%） 610calBC - 593calBC（ 2.0%）
IAAA-143099	2,310 ± 30	75.04 ± 0.25	2,299 ± 27	400calBC - 369calBC（68.2%）	406calBC - 357calBC（83.4%） 285calBC - 235calBC（12.0%）
IAAA-143100	1,210 ± 20	85.98 ± 0.26	1,196 ± 25	788calAD - 871calAD（68.2%）	728calAD - 737calAD（ 1.7%） 768calAD - 892calAD（93.7%）
IAAA-143101	1,180 ± 20	86.38 ± 0.23	1,157 ± 24	778calAD - 791calAD（ 8.9%） 807calAD - 816calAD（ 4.4%） 825calAD - 841calAD（ 8.1%） 862calAD - 899calAD（28.5%） 923calAD - 948calAD（18.3%）	775calAD - 905calAD（68.9%） 916calAD - 967calAD（26.5%）
IAAA-143102	1,330 ± 20	84.77 ± 0.24	1,331 ± 23	656calAD - 686calAD（68.2%）	650calAD - 713calAD（84.7%） 745calAD - 765calAD（10.7%）
IAAA-143103	920 ± 20	89.21 ± 0.25	970 ± 25	1022calAD - 1046calAD（32.1%） 1093calAD - 1121calAD（30.0%） 1141calAD - 1147calAD（ 6.1%）	1016calAD - 1059calAD（38.1%） 1067calAD - 1155calAD（57.3%）
IAAA-143104	2,530 ± 20	72.94 ± 0.22	2,536 ± 26	793calBC - 751calBC（39.9%） 683calBC - 668calBC（10.1%） 636calBC - 626calBC（ 4.5%） 614calBC - 591calBC（13.7%）	796calBC - 741calBC（44.0%） 687calBC - 664calBC（12.4%） 646calBC - 549calBC（39.0%）
IAAA-143105	2,440 ± 30	73.82 ± 0.24	2,437 ± 26	729calBC - 693calBC（15.6%） 658calBC - 654calBC（ 1.7%） 542calBC - 430calBC（50.9%）	750calBC - 683calBC（22.4%） 668calBC - 639calBC（ 7.5%） 590calBC - 407calBC（65.5%）
IAAA-143106	2,250 ± 20	75.56 ± 0.23	2,235 ± 25	371calBC - 353calBC（12.7%） 296calBC - 229calBC（50.8%） 220calBC - 212calBC（ 4.7%）	385calBC - 346calBC（21.1%） 322calBC - 206calBC（74.3%）
IAAA-143107	2,560 ± 30	72.67 ± 0.24	2,531 ± 28	791calBC - 750calBC（32.9%） 683calBC - 668calBC（10.3%） 638calBC - 590calBC（24.9%）	796calBC - 734calBC（37.5%） 690calBC - 662calBC（13.6%） 649calBC - 545calBC（44.3%）
IAAA-143108	2,520 ± 30	73.04 ± 0.24	2,531 ± 27	791calBC - 750calBC（33.7%） 683calBC - 668calBC（10.5%） 638calBC - 621calBC（ 8.1%） 616calBC - 590calBC（15.9%）	796calBC - 735calBC（38.1%） 689calBC - 662calBC（13.5%） 648calBC - 547calBC（43.8%）

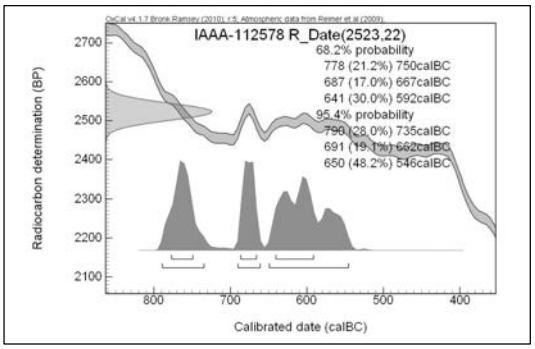
[参考値]

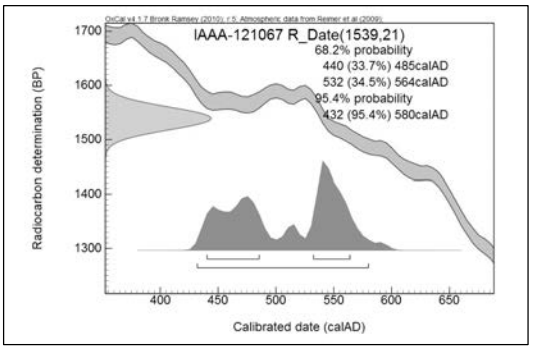

IAAA-112574 R_Date(2801,22)
68.2% probability
993 (3.2%) 989calBC
980 (65.0%) 917calBC
95.4% probability
1010 (95.4%) 901calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

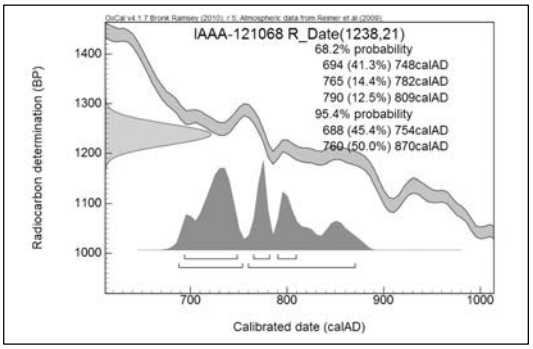

IAAA-112575 R_Date(4443,27)
68.2% probability
3311 (5.1%) 3295calBC
3286 (3.3%) 3275calBC
3265 (13.4%) 3239calBC
3106 (46.4%) 3023calBC
95.4% probability
3331 (34.3%) 3215calBC
3186 (4.8%) 3156calBC
3127 (53.1%) 3010calBC
2981 (1.9%) 2959calBC
2952 (1.2%) 2936calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

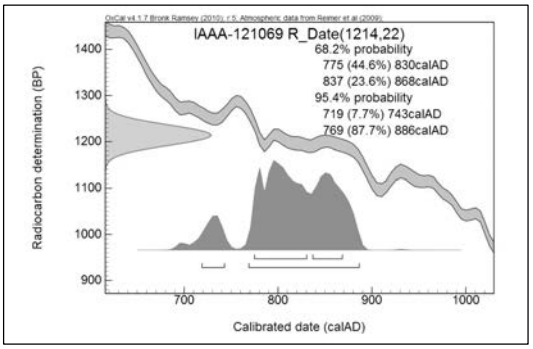

IAAA-112576 R_Date(2924,22)
68.2% probability
1192 (9.4%) 1177calBC
1161 (11.4%) 1144calBC
1132 (47.4%) 1055calBC
95.4% probability
1254 (2.5%) 1239calBC
1214 (92.9%) 1041calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

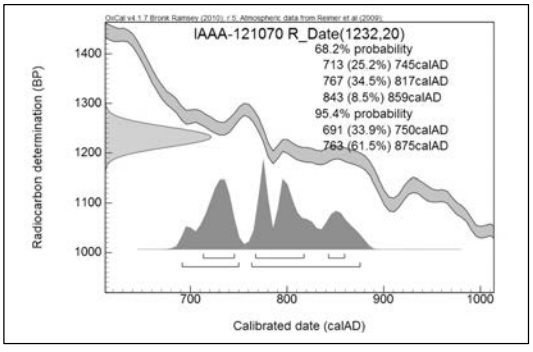

IAAA-112577 R_Date(2973,22)
68.2% probability
1261 (50.4%) 1192calBC
1177 (9.3%) 1161calBC
1144 (8.5%) 1132calBC
95.4% probability
1293 (95.4%) 1125calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

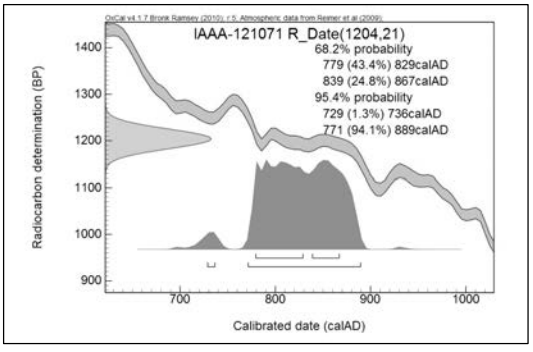

IAAA-112578 R_Date(2523,22)
68.2% probability
778 (21.2%) 750calBC
687 (17.0%) 667calBC
641 (30.0%) 592calBC
95.4% probability
790 (28.0%) 735calBC
691 (19.1%) 662calBC
650 (48.2%) 546calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

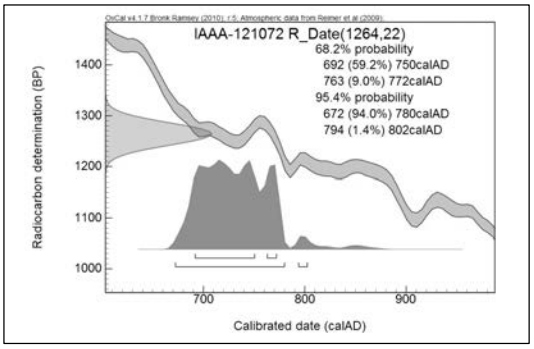

IAAA-121067 R_Date(1539,21)
68.2% probability
440 (33.7%) 485calAD
532 (34.5%) 564calAD
95.4% probability
432 (95.4%) 580calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

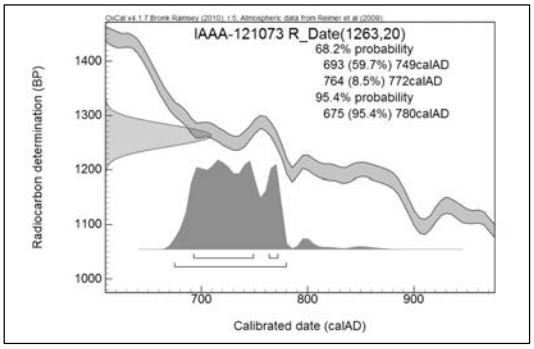

IAAA-121068 R_Date(1238,21)
68.2% probability
694 (41.3%) 748calAD
765 (14.4%) 782calAD
790 (12.5%) 809calAD
95.4% probability
688 (45.4%) 754calAD
760 (50.0%) 870calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

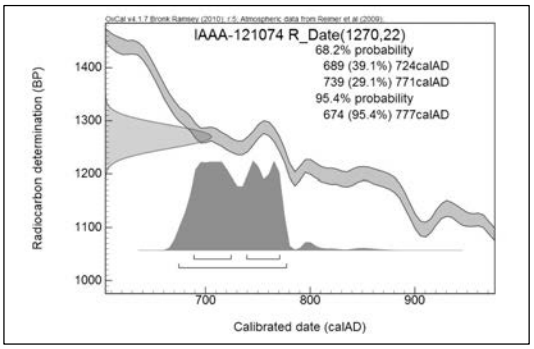

IAAA-121069 R_Date(1214,22)
68.2% probability
775 (44.6%) 830calAD
837 (23.6%) 868calAD
95.4% probability
719 (7.7%) 743calAD
769 (87.7%) 886calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

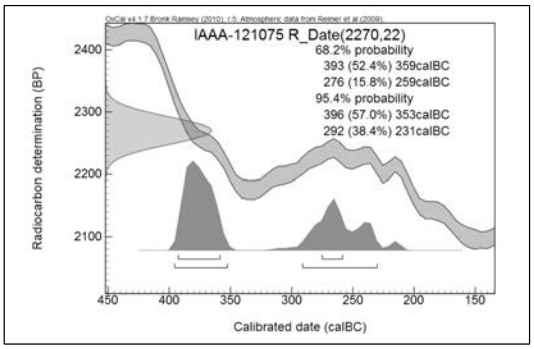

IAAA-121070 R_Date(1232,20)
68.2% probability
713 (25.2%) 745calAD
767 (34.5%) 817calAD
843 (8.5%) 859calAD
95.4% probability
691 (33.9%) 750calAD
763 (61.5%) 875calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

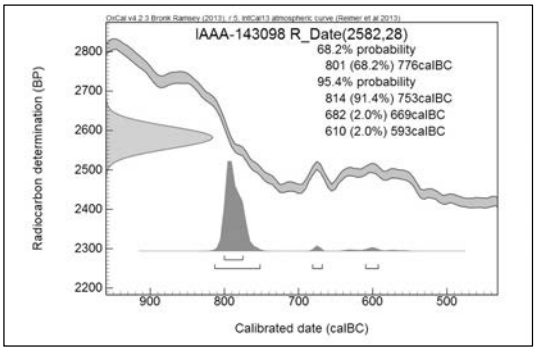

IAAA-121071 R_Date(1204,21)
68.2% probability
779 (43.4%) 829calAD
839 (24.8%) 867calAD
95.4% probability
729 (1.3%) 736calAD
771 (94.1%) 889calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

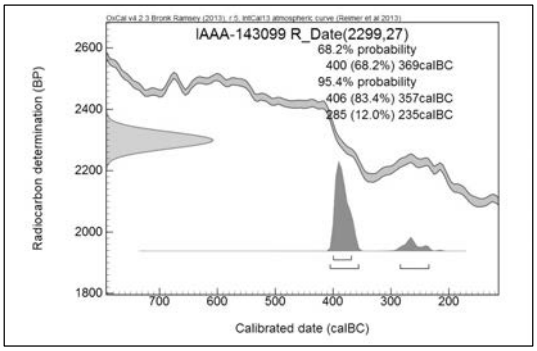

IAAA-121072 R_Date(1264,22)
68.2% probability
692 (59.2%) 750calAD
763 (9.0%) 772calAD
95.4% probability
672 (94.0%) 780calAD
794 (1.4%) 802calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

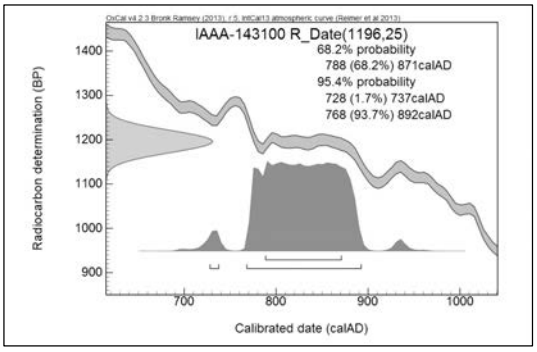

IAAA-121073 R_Date(1263,20)
68.2% probability
693 (59.7%) 749calAD
764 (8.5%) 772calAD
95.4% probability
675 (95.4%) 780calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

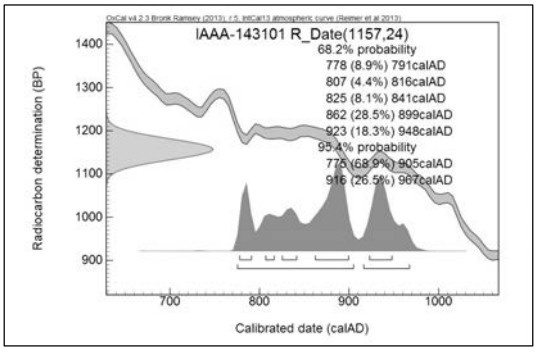

IAAA-121074 R_Date(1270,22)
68.2% probability
689 (39.1%) 724calAD
739 (29.1%) 771calAD
95.4% probability
674 (95.4%) 777calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

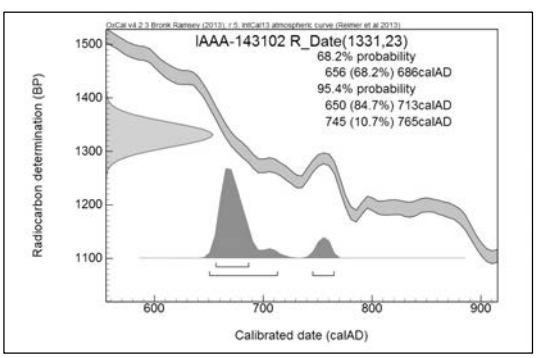

IAAA-121075 R_Date(2270,22)
68.2% probability
393 (52.4%) 359calBC
276 (15.8%) 259calBC
95.4% probability
396 (57.0%) 353calBC
292 (38.4%) 231calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

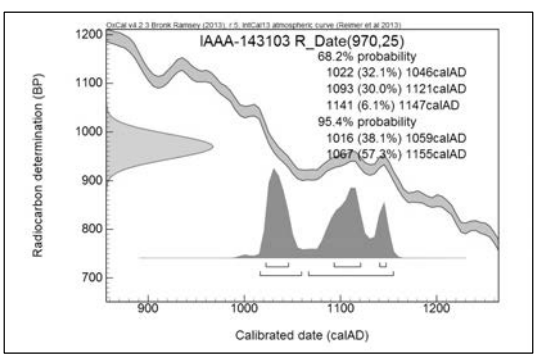

IAAA-143098 R_Date(2582,28)
68.2% probability
801 (68.2%) 776calBC
95.4% probability
814 (91.4%) 753calBC
682 (2.0%) 669calBC
610 (2.0%) 593calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

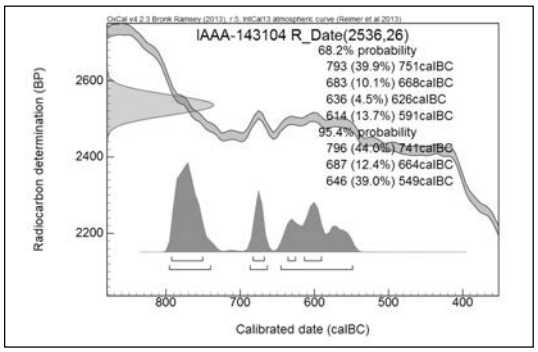

IAAA-143099 R_Date(2299,27)
68.2% probability
400 (68.2%) 369calBC
95.4% probability
406 (83.4%) 357calBC
285 (12.0%) 235calBC
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calBC)

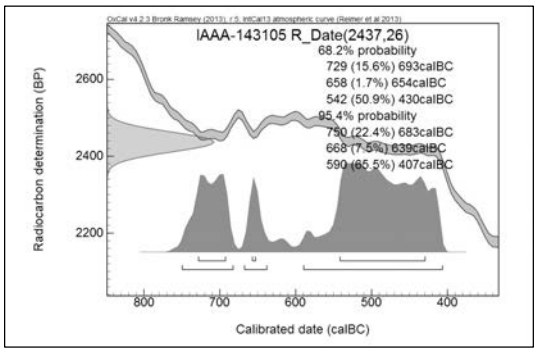

IAAA-143100 R_Date(1196,25)
68.2% probability
788 (68.2%) 871calAD
95.4% probability
728 (1.7%) 737calAD
768 (93.7%) 892calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

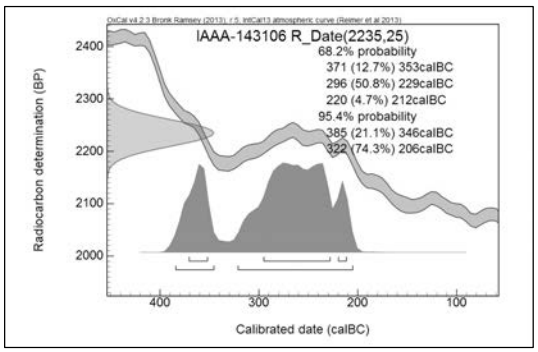

IAAA-143101 R_Date(1157,24)
68.2% probability
778 (8.9%) 791calAD
807 (4.4%) 816calAD
825 (8.1%) 841calAD
862 (28.5%) 899calAD
923 (18.3%) 948calAD
95.4% probability
775 (68.9%) 905calAD
916 (26.5%) 967calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

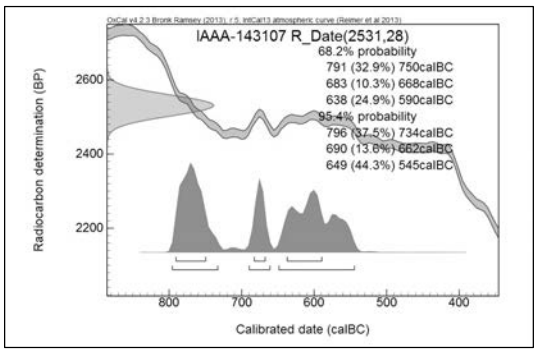

IAAA-143102 R_Date(1331,23)
68.2% probability
656 (68.2%) 686calAD
95.4% probability
650 (84.7%) 713calAD
745 (10.7%) 765calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

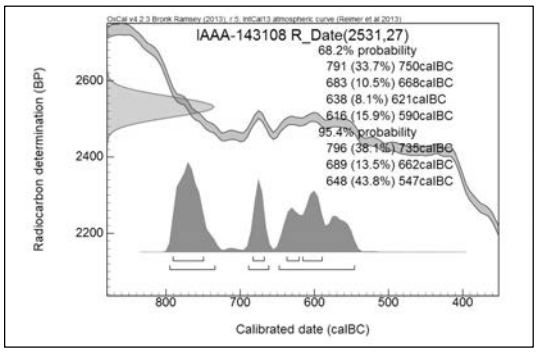

IAAA-143103 R_Date(970,25)
68.2% probability
1022 (32.1%) 1046calAD
1093 (30.0%) 1121calAD
1141 (6.1%) 1147calAD
95.4% probability
1016 (38.1%) 1059calAD
1067 (57.3%) 1155calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)











[図版] 暦年較正年代グラフ（参考）

2　千苅遺跡出土イネ種子遺存体ＤＮＡ分析報告

田中克典（弘前大学）

（1）　は　じ　め　に

イネ品種は大きく、インディカとジャポニカとに分けられる。またジャポニカは、温帯ジャポニカと熱帯ジャポニカとに分かれる。日本列島にはインディカが導入されたケースは少ないとされており、遺跡で出土した種子がインディカであるかジャポニカであるかが問題になることは少ない。一方、縄文稲作の可能性がクローズアップされてきたことから、熱帯ジャポニカが利用されていた可能性が注目を集めるようになってきた。

千苅遺跡は岩手県北上市二子町の北上平野を流れる北上川の西岸に位置し、沖積平野に立地する遺跡である。遺跡が利用されていた時代は、縄文晩期末から弥生前期、平安および中世の３つに区分される。このうち、平安時代には一辺の長さが８メートルを超える大型の住居跡が、等間隔に検出されており、当地の開発が計画的であったと考えられている。また、焼成遺構（SX30）の５～７層と11～13層、竪穴住居跡（SI27）の床面およびその近隣にある焼成遺構（SX43）から黒化したイネ種子遺存体（以下「出土米」）が検出されている。同時代には、周辺のみならずさらに北方の青森県の遺跡（前川遺跡など）おいてもイネ種子が見つかっており、時代の経過に伴うイネ品種の変遷、周域との交易を通じた遺跡の発展を検討する上で、千苅遺跡から出土した遺存体は貴重な資料である。そこで、千苅遺跡の出土米について顕微鏡観察およびDNA分析を実施した。

（2）　材　料　と　方　法

材料は65粒の出土米である（第１図）。その内訳は、焼成遺構（SX30）における５～７層の８粒、同遺構における11～13層の27粒、竪穴住居跡（SI27）床面の10粒および焼成遺構（SX43）の20粒である。出土米は200㎜のマクロレンズ（Ai AF Micro-Nikkor 200㎜ f/4D IF-ED,（株）ニコン）を装着したカメラ（FinePix S5 Pro, フジフイルム（株））で撮影した。種子の長さと幅はImage J 1.47（National Institute of Mental Health, USA）にて計測した。種子の粒型および粒大を、それぞれ長幅比および長幅積により算出した後、松本の方法（1994）に従って出土米を分類した。また、データ処理では北東北における古代や中世の出土米（十三盛遺跡、隠川（４）遺跡、前川遺跡、境関館遺跡、大平遺跡、砂沢平遺跡、亀ヶ崎城跡、嶋遺跡）、および11品種の現生イネの種子サイズを利用した（田中・上條2014）。

古DNA分析には、計測で利用した50粒の種子（SX30　５～７層：８，SX30 11～13層：20，SI27：10，SX43：20）を用いた。DNAの抽出と増幅は、現生イネのDNAや異物による汚染を排除するために、弘前大学人文学部の古DNA実験室を利用した。実験室は遺跡検出試料の分析のみに使用され、外部からの汚染物を遮断した環境下にある。抽出の前処理として、出土米の外部に付着したゴミをピンセットで除去し、その後、10％の次亜塩素酸ナトリウムに１分間浸漬し、滅菌超純水（EMD Millipore Co., USA）にて洗浄、乾燥した。古DNAの抽出はMutou et al.（2014）のアルカリ抽出法を一部改変した方法により行い、抽出後、断片化したDNAを修復酵素（PreCR Repaire Mix, New England Biolabs, USA）により修復した。なお、DNA分析過程におけるコンタミネーションを確認するために、出土米のかわりに蒸留水を加えて抽出操作を行った試料をネガティブコントロールとして用いた。

抽出したDNAは以下の６つの領域について、Ex Taq（TaKaRa, Japan）を用いてPCR（Polymerase Chain Reaction）法によりDNAを増幅した。今回使用したプライマーの配列は第１表に示す。

①葉緑体DNAのpetNとtrnCとの遺伝子間領域（I-32領域, Tang et al. 2004）で、イネにおいてインディカとジャポニカとを同定できる。

②葉緑体DNAのrpl14とrpl16との遺伝子間領域（PS-ID領域, Nakamura et al. 1997）にある単純反復配列（PS-ID-SSR）で、インディカとジャポニカ、ならびにジャポニカにおける品種の違いを識別できる。

③葉緑体DNAのPS-ID領域にある２箇所の一塩基多型（PS-ID-SNPs）で、インディカとジャポニカとを識別できる（Castillo et al. in press）。

④イネ第６染色体に座乗する遺伝子領域で、イネにおいてモチ、粳を同定できる（Wanchana et al. 2003）。

⑤イネ第６染色体長腕に座乗する領域（IDJ6）で、イネにおいて温帯ジャポニカと熱帯ジャポニカとを区別できる（花森ら2011）。

⑥イネ第７染色体領域に座乗する遺伝子内領域（Rc）で、種皮（糠）の色のうち、赤色（Rc）と茶色（rc）とを識別できる（Furukawa et al. 2007）。

①～⑥の領域は１度目のPCR産物を用いてさらに同じプライマーでPCR増幅を行った。PCR増幅において温度条件、反応液の組成は定法とした。PCR産物は3.0％アガロースゲルで電気泳動を行って期待サイズのDNA断片を確認した。以上の実験を２反復行い、電気泳動にて期待サイズを示したPCR産物を切り出した上、ABI PRISM337 Genetic Analyzer（Applied Biosystems, USA）により塩基配列を解読した。

（３）結果と考察

65粒の出土米のうち27粒が種子のいずれかの箇所が破壊を受けていた（第２表）。特に、焼成遺構（SX30）のイネ種子は35粒のうち26粒（74.3％）で破壊を受けており、劣化が進んでいた。また、SX30の11～13層の試料では、穂軸がNo.4と13の出土米において認められ、出土米は籾の状態で保存されていた可能性を示唆していた（第１図）。

SX30の５～７層、同遺構11～13層、竪穴住居跡（SI27）および焼成遺構（SX43）の出土米において、種子長はそれぞれ4.52±0.35、4.53±0.47㎜、4.45±0.31㎜および4.52±0.39㎜であった（第２表）。また、種子幅はそれぞれ2.58±0.35㎜、2.62±0.32㎜、2.70±0.29㎜および2.66±0.18㎜であった。SX30の11～13層、SI27およびSX43の出土米では、計測可能な種子が10粒近く認められた。これらにおいて長幅比（粒型）がSX43の１粒を除いて1.40から1.80までの範囲にあり、種子は短粒であった（第３表）。また、長幅積（粒大）が１粒を除いて8.00から16.00の範囲にあり、SX30の11～13層、SI27およびSX43の出土米は、短粒の粒型で、小または中の粒大で構成されていた。

出土米は経年に伴い現生イネと比べて種子のサイズが縮小していると推察されている（松本1994）。しかしながら、種子長と種子幅との比率である粒型は他の遺跡の出土米や現生イネと比較することができる。そこで、15粒以上のサイズデータを計測できたSX30の11～13層およびSX43の出土米と北東北の出土米や現生イネとで粒型を比べると、千刈遺跡の出土米において粒型のばらつきは青森県の前川遺跡や十三盛遺跡および山形県の升川遺跡の出土米より低く、その品質が安定していることを示唆していた（第２図）。

50点の出土米についてDNAをPCR増幅した結果、葉緑体ゲノムのPS-ID-SNPs領域では、８点（SX30

５～７層：１，SX30 ５～７層 11～13層：３，SX43：４）で、期待サイズのDNA産物が認められた（第３図，第２表）。これらのPCR産物について塩基配列を解析したところ、PCR産物は現生のジャポニカと同じ配列であった。

なお、I-32領域、PS-ID-SSR領域、Waxy領域、IDJ6領域、Rc領域では、各プライマーセットの内側におけるDNA領域（DNA増幅領域）の断片化によりPCR増幅が不可能であったため、期待サイズのDNA産物は認められなかった。特に、I-32領域およびPS-ID-SSR領域は葉緑体ゲノム領域であり、残り３つの核ゲノム領域より正常なDNAが残存しやすいと考えられたため、別のプライマーセットでPCR増幅を試みたが、期待サイズのDNAは増幅されなかった。

以上のことから、サイズ計測とDNA分析は古代の千苅遺跡における４集団の出土米は同質のジャポニカイネであり、同時代の青森県や山形県の出土米より均質なイネであることを示唆していた。

参考文献

Castillo, C.C., Tanaka, K., Sato, Y.I., et al. Archaeogenetic study of prehistoric rice remains from Thailand and India: Evidence of early japonica in South and Southeast Asia, Archaeol. Anthropol. Sci.（in press）

Fukuda T, Osaki M, Shinano T, Wasaki J（2001）Cloning and characterization of two secreted acid phosphatases from rice calli, Plant Nutr., 92, 34-35.

Furukawa, T., Maekawa, M., Oki, T., et al.（2007）The Rc and Rd genes are involved in proanthocyanidin synthesis in rice pericarp, Plant J., 49, 91-102.

花森功仁子・石川智士・齋藤寛　他（2011）DNA の欠失領域を用いた栽培イネOryza sativa L. の熱帯ジャポニカ型と温帯ジャポニカ型の識別マーカーの作出と登呂Ⅰ期遺跡から出土した炭化種子への応用，東海大学紀要海洋学部「海―自然と文化」9（3）: 19-25.

Iwamoto, M., Maekawa, M., Saito, A., Higo, H., Higo, K.（1998）Evolutionary relationship of plant catalase genes inferred from exon-intron structures: isozyme divergence after the separation of monocots and dicots, Theor. Appl. Genet., 97, 9-19.

松本豪（1994）日本の稲作遺跡と古代米に関する研究，大阪府立大学紀要 農学・生命科学，46, 135-194

Mutou, C., Tanaka, K., Ishikawa, R.（2014）DNA extraction from rice endosperm（Including a protocol for extraction of DNA from ancient Seed samples）, Henry, R.J., Furtado, A.（eds）Cereal Genomics: Methods and Protocols, Methods in Molecular Biology vol 1099, Humana Press, New York, pp. 7-15.

Nakamura, I., Kameya, N., Kato, Y., et al.（1997）A proposal for identifying the short ID sequence which addresses the plastid subtype of higher plants, Breed. Sci., 47, 385-388

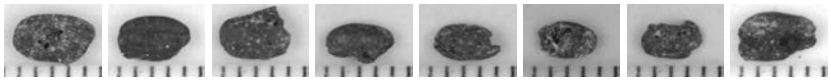
Takahashi, H., Sato, Y., Nakamura, I.（2008）Evolutionary analysis of two plastid DNA sequences in cultivated and wild species of Oryza, Breed. Sci., 233, 225-233.

田中克典・上條信彦（編）（2014）『冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト研究報告書3』

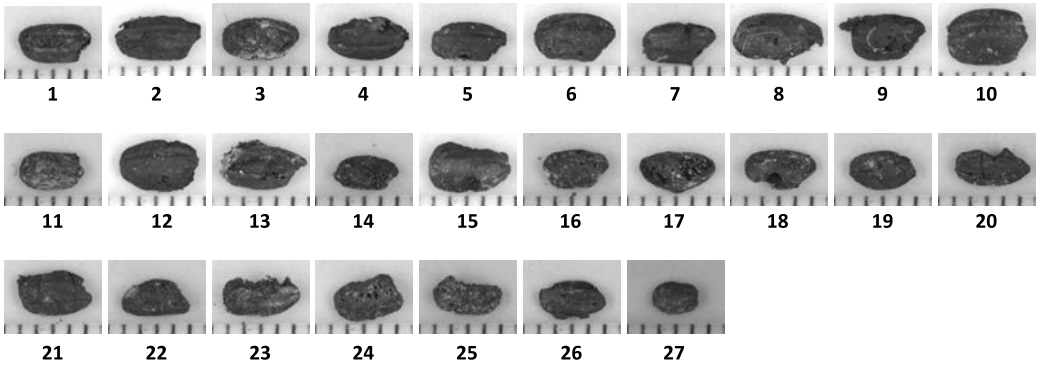
Tang, J., Xia, H., Cao, M., et al.（2004）A comparison of rice chloroplast genomes, Plant Physiol., 135, 412-420.

Wanchana S, Toojinda T, Tragoonrung S, Vanavichit A.（2003）Duplicated coding sequence in the waxy allele of tropical glutinous rice（Oryza sativa L.）, Plant Sci., 165, 1193-1199.

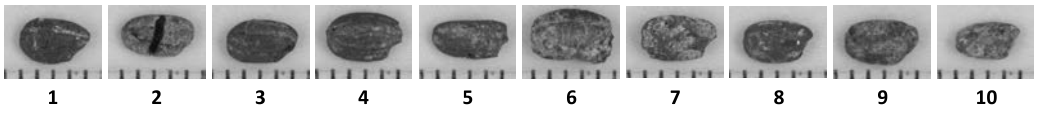
A) 焼成遺構SX30 5～7層



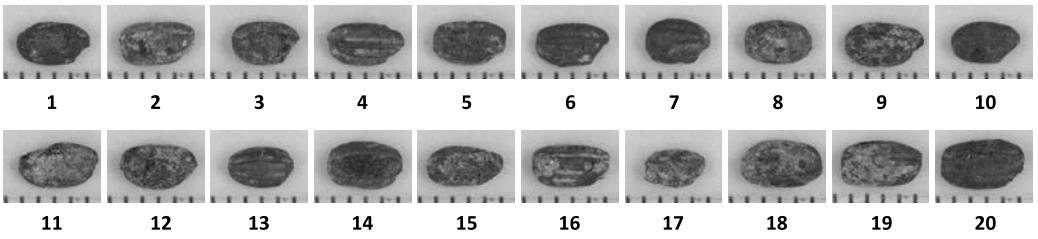
B) 焼成遺構SX30 11～13層



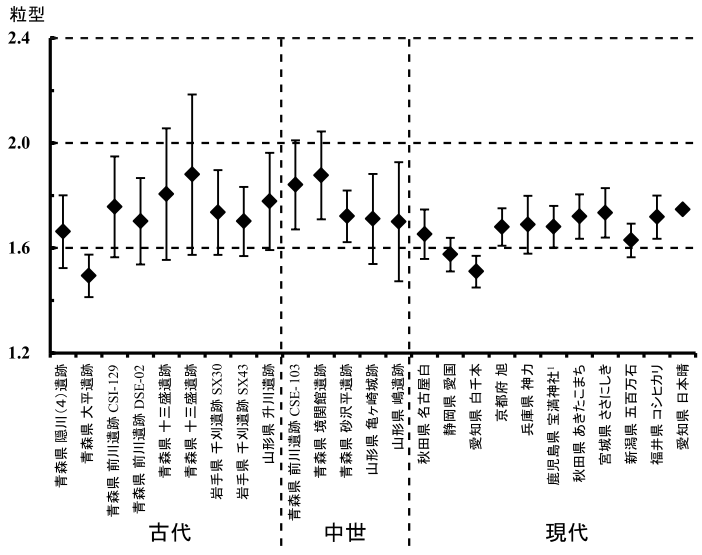
C) 竪穴住居SI27



D) 焼成遺構SX43

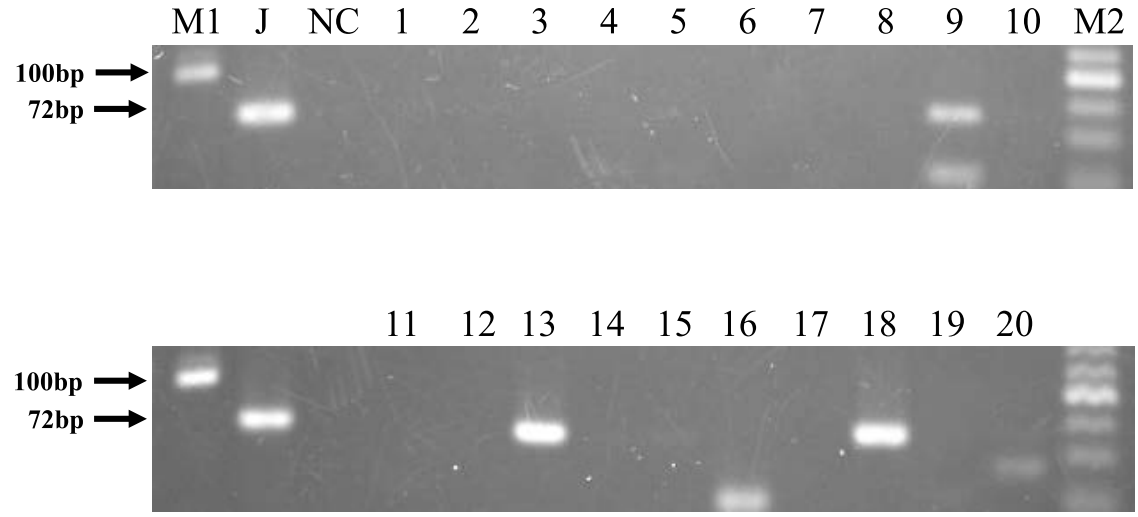


第１図　本報で供試した千苅遺跡の出土米



第２図　14集団の出土米と11集団の現生イネにおける粒型の変異　[1]宝満神社神殿米

a)



b)

```
インディカ      GGCGGAGTATCCGAAACTGTAGCTAGAGTAGCTATTTCCATAGCTGCCAGCAAAATGCCC
ジャポニカ      ****************************CG*******************************
出土米          ****************************CG*******************************
                    rpl14-rpl16 F1 primer                rpl14-rpl16 R1 primer

インディカ      ATACGAAGTCAATTTCTTCGGTTAGAAATATAACCCCCCCCCAAAAAAAAGTAGTATTGAA
ジャポニカ      ****************************************--*******-***********
出土米          ************
                        rpl14-rpl16 2F primer
                ____________

インディカ      AATAAAAACCAGGTTCTTCTTTCTGGAAAGACAATATTTCTTTC
ジャポニカ      *******************************************
                                    rpl14-rpl16 2R primer
```

第３図　千苅遺跡の出土米におけるPS-ID領域（*rpl14-rpl16*）の分析とDNA配列変異

A) SX30 11～13層の出土米におけるF1とR1プライマーセットを用いたPCR増幅産物の電気泳動
M1: 100bp DNA Ladder (Takara, Japan), **M2**: 20bp DNA Ladder (Takara, Japan)
対照区: ジャポニカ, **dH_2O**: 滅菌蒸留水, **1-20**: 焼成遺構SX30 11～13層の出土米。
M1、M2、対照区、dH_2Oは上下の泳動で同じレーンに泳動した。

B) インディカ、ジャポニカおよび出土米におけるPS-ID領域のDNA配列
インディカ: NC_008155, ジャポニカ: 栽培種「日本晴」(NC_001320),
出土米:焼成遺構SX30 11～13層の出土米 no.9。
ジャポニカと出土米のDNA配列において、インディカと相同な塩基および欠失部位は、
それぞれ「*」および「-」で示した。下線はプライマー領域である。

第１表　PCR増幅に使用したプライマー

	増幅領域	フォワード（F），リバース（R）プライマー（5' to 3'）	
葉緑体ゲノム	petN - trnC:	F	ATCAGTTCAAAGAATTTACTC
	I-32領域	R	TATTTATACTTAATGCTCCCC
	rpl14 - rpl16:	F1	GGCGGAGTATCCGAAACTGTA
	PS-ID領域	R1	TTGACTTCGTATGGGCATTTT
		2F	TCAATTTCTTCGGTTAGAAATA
		2R	GAAAGAAATATTGTCTTTCCAG
核ゲノム	Waxy	23F	TGCAGAGATCTTCCACAGCA
		23R	GCTGGTCGTCACGCTGAG
	IDJ6	F	TGACCGGTTCTGTAGCAGTG
		R1	CCAGTTTAATGTTTTYTCATTGCC
		R2	GATTTTCCGTTTTCCGTGCC
	Rc	F	CAGAAACACCTGAATCAAGGG
		R	TCTCTTTCAGCACATGGTTG

第３表　遺跡出土イネ種子の粒形と粒大

地点／区画	粒型＼粒大		小	中	大	
			8.0 － 12.0	12.0 － 16.0	16.0 － 20.0	合計
焼成遺構 SX30 11 ～ 13 層	長粒	2.0 － 2.3	－	－	－	－
	短粒	1.8 － 2.0	4	4	－	8
		1.6 － 1.8	4	1	－	5
		1.4 － 1.6	2	2	1	5
	計		10	7	1	18
竪穴住居 SI27	長粒	2.0 － 2.3	－	－	－	－
	短粒	1.8 － 2.0	2	－	－	2
		1.6 － 1.8	2	2	－	4
		1.4 － 1.6	1	2	－	3
計			5	4	－	9
焼成遺構 SX43	長粒	2.0 － 2.3	1	－	－	1
	短粒	1.8 － 2.0	－	2	－	2
		1.6 － 1.8	4	7	－	11
		1.4 － 1.6	5	1	－	6
	計		10	10	－	20

第２表　千苅遺跡の出土米における種子サイズとDNA型

遺構	番号	長さ (mm)	幅 (mm)	粒型		粒大		rpl14 − rpl16		petN − trnC: I − 32	Waxy	IDJ6	Rc	備考
				長幅比	型	長幅積	型	SSR	SNPs					
焼成遺構 SX30 5 〜 7 層	1	5.08	2.91	1.75	中短粒	14.78	中	−	−	−	−	−	−	
	2	4.45	2.74	1.62	中短粒	12.19	中	−	J	−	−	−	−	
	3	4.35	2.74	1.59	短短粒	11.92	小	−	−	−	−	−	−	断片付着
	4	4.15	2.01	2.06	短長粒	8.34	小	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	5	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	6	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	7	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	8	4.58	2.51	1.82	長短粒	11.50	小	−	−	−	−	−	−	断片付着
焼成遺構 SX30 11 〜 13 層	1	4.77	3.11	1.53	短短粒	14.83	中	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	2	4.30	2.45	1.76	中短粒	10.54	小	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	3	5.20	2.72	1.91	長短粒	14.14	中	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	4	4.70	2.55	1.84	長短粒	11.99	小	−	−	−	−	−	−	穂軸付
	5	4.83	2.58	1.87	長短粒	12.46	中	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	6	4.50	2.28	1.97	長短粒	10.26	小	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	7	4.93	2.88	1.71	中短粒	14.20	中	−	−	−	−	−	−	
	8	4.37	2.58	1.69	中短粒	11.27	小	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	9	5.43	2.78	1.95	長短粒	15.10	中	−	J	−	−	−	−	一部破壊
	10	4.41	2.81	1.57	短短粒	12.39	中	−	−	−	−	−	−	断片付着
	11	4.83	3.41	1.42	短短粒	16.47	大	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	12	3.91	2.32	1.69	中短粒	9.07	小	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	13	5.07	2.72	1.86	長短粒	13.79	中	−	J	−	−	−	−	穂軸付
	14	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	15	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	16	3.97	2.35	1.69	中短粒	9.33	小	−	−	−	−	−	−	一部破壊
	17	4.54	2.48	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	18	4.24	2.35	1.80	長短粒	9.96	小	−	J	−	−	−	−	一部破壊
	19	3.84	2.42	1.59	短短粒	9.29	小	−	−	−	−	−	−	
	20	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	21	4.24	2.78	1.53	短短粒	11.79	小	NT	NT	NT	NT	NT	NT	一部破壊
	22	−	−	−	−	−	−	NT	NT	NT	NT	NT	NT	破壊粒
	23	−	−	−	−	−	−	NT	NT	NT	NT	NT	NT	破壊粒
	24	−	−	−	−	−	−	NT	NT	NT	NT	NT	NT	破壊粒
	25	−	−	−	−	−	−	NT	NT	NT	NT	NT	NT	破壊粒
	26	3.97	2.15	1.85	長短粒	8.54	小	NT	NT	NT	NT	NT	NT	一部破壊
	27	−	−	−	−	−	−	NT	NT	NT	NT	NT	NT	破壊粒
竪穴住居 SI27	1	4.20	2.79	1.51	短短粒	11.72	小	−	−	−	−	−	−	
	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	破壊粒
	3	4.36	2.63	1.66	中短粒	11.47	小	−	−	−	−	−	−	
	4	4.66	3.01	1.55	短短粒	14.03	中	−	−	−	−	−	−	
	5	4.61	2.35	1.96	長短粒	10.83	小	−	−	−	−	−	−	
	6	4.99	3.11	1.60	短短粒	15.52	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	7	4.58	2.81	1.63	中短粒	12.87	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	8	4.23	2.63	1.61	中短粒	11.12	小	−	−	−	−	−	−	
	9	4.48	2.76	1.62	中短粒	12.36	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	10	3.95	2.18	1.81	長短粒	8.61	小	−	−	−	−	−	−	土壌付
焼成遺構 SX43	1	4.48	2.56	1.75	中短粒	11.47	小	−	−	−	−	−	−	
	2	4.62	2.62	1.76	中短粒	12.10	中	−	J	−	−	−	−	土壌付
	3	4.18	2.66	1.57	短短粒	11.12	小	−	−	−	−	−	−	
	4	4.69	2.61	1.80	中短粒	12.24	中	−	−	−	−	−	−	
	5	4.43	2.63	1.68	中短粒	11.65	小	−	J	−	−	−	−	
	6	4.46	2.58	1.73	中短粒	11.51	小	−	−	−	−	−	−	
	7	3.97	2.78	1.43	短短粒	11.04	小	−	J	−	−	−	−	
	8	4.15	2.68	1.55	短短粒	11.12	小	−	−	−	−	−	−	土壌付
	9	4.84	2.63	1.84	長短粒	12.73	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	10	4.20	2.51	1.67	中短粒	10.54	小	−	−	−	−	−	−	
	11	4.78	2.78	1.72	中短粒	13.29	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	12	4.73	2.76	1.71	中短粒	13.05	中	−	−	−	−	−	−	
	13	3.95	2.53	1.56	短短粒	9.99	小	−	−	−	−	−	−	
	14	4.59	2.90	1.58	短短粒	13.31	中	−	−	−	−	−	−	
	15	4.68	2.33	2.01	短長粒	10.90	小	−	J	−	−	−	−	土壌付
	16	4.78	2.58	1.85	長短粒	12.33	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	17	3.70	2.33	1.59	短短粒	8.62	小	−	−	−	−	−	−	土壌付
	18	5.01	2.89	1.73	中短粒	14.48	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	19	5.01	2.78	1.80	中短粒	13.93	中	−	−	−	−	−	−	土壌付
	20	5.09	3.04	1.67	中短粒	15.47	中	−	−	−	−	−	−	

1SNP：一塩基多型，SSR：単純反復配列，J：ジャポニカ型，I：インディカ型，Te：温帯ジャポニカ型，To：熱帯ジャポニカ型・インディカ型，−：DNA非増幅，NT：未供試。DNAタイプは、現代のイネの塩基配列と同じであったことを示す。

３　千苅遺跡における自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

岩手県北上市千苅遺跡は、北上川右岸の自然堤防上に立地する。2011年度～2013年度に実施された発掘調査の結果、縄文～弥生時代の遺構（竪穴住居跡・炉跡・土坑・遺物包含層他）、奈良～平安時代の遺構（竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・焼成遺構・溝他）や土器・石器・土師器・須恵器・鉄製品など各種の遺構・遺物が検出されている。

本報告では、遺跡の内容を解明する目的で実施した、下記分析調査について記載する。それぞれの分析に関する目的、試料、方法、および結果については個々に記した。なお、同内容の分析を複数回にわたって実施したものが含まれるが原報告のまま記載している。

３－１　テフラ同定

３－２　畝間状遺構における花粉・植物珪酸体・種実遺体・土壌理化学分析

３－３　炭化種実同定（１）

３－３　炭化種実同定（２）

３－４　土壌および土器器面の顔料分析

３－５　動物遺存体同定（１）

３－５　動物遺存体同定（２）

３－６　人骨鑑定

3－1　テ フ ラ 同 定

本分析調査では、出土遺物などから平安時代とされる各遺構で検出された火山灰質試料を対象として、テフラの検出や屈折率測定を行い、既知の火山灰との対比を行うことで遺構の年代指標に関する資料を作成する。

（1）　試　　料

試料は、畝間状遺構である14UMの畝間埋土（試料名：14UM 畝間埋土）、竪穴住居であるSI81の埋土２層（試料名：SI81 埋土２層）、溝跡であるSD27の埋土（試料名：SD27 埋土）からそれぞれ採取された火山灰質試料３点である。各試料の岩相は、「14UM 畝間埋土」が暗褐色を示す砂まじりシルト、「SI81 埋土２層」がにぶい黄褐色を示す砂まじりシルト、「SD27 埋土」が灰白色を示す砂まじりシルトである。

（2）　分　析　方　法

① テフラ検出同定

試料約20ｇを蒸発皿に取り、水を加え泥水にした状態で超音波洗浄装置により粒子を分散し、上澄みを流し去る。この操作を繰り返すことにより得られた砂分を乾燥させた後、実体顕微鏡下にて観察する。観察は、テフラの本質物質であるスコリア・火山ガラス・軽石を対象とし、その特徴や含有量の多少を定性的に調べる。

火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の３タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。

② 重鉱物・火山ガラス比分析・屈折率測定

試料約40gに水を加え超音波洗浄装置により分散、250メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径1/16㎜以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径1/4㎜－1/8㎜の砂分をポリタングステン酸ナトリウム（比重約2.96に調整）により重液分離、重鉱物を偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで同定する。重鉱物同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。火山ガラス比は、重液分離した軽鉱物分における砂粒を250粒数え、その中の火山ガラスの量比を求める。火山ガラスの形態分類は、上述したテフラ分析と同様である。

さらに火山ガラスおよび斜方輝石については、その屈折率を測定することにより、テフラを特定するための指標とする。屈折率の測定は、古澤（1995）のMAIOTを使用した温度変化法を用いた。

（3）　結　　果

① テフラ検出同定

結果を、表１に記す。「14UM 畝間埋土」は、白色発泡やや良好、白色発泡やや不良の軽石、無色透明の軽石型火山ガラス、バブル型火山ガラスが微量混在する。

「SI81 埋土２層」は、白色発泡やや良好、白色発泡やや不良の軽石、無色透明の軽石型火山ガラス、バブル型火山ガラスが少量混在する。

「SD27 埋土」は、白色発泡やや不良、白色発泡やや良好の軽石、無色透明の軽石型火山ガラス、バブル型火山ガラスが中量混在する。

② 重鉱物組成・火山ガラス比・屈折率測定

結果を表２に、図１に記す。

重鉱物組成は、おおむね斜方輝石を主体とし、単斜輝石、不透明鉱物を伴うという組成が共通しており、角閃石が微量から少量含まれる。火山ガラスは、軽石形火山ガラスが主体となっており、バブル型火山ガラスや中間型火山ガラスが極めて微量含まれる。また、「SI81 埋土２層」は火山ガラスが40％程度含まれており、他の試料に比較して火山ガラスの占める割合が高い。

各試料の火山ガラスの屈折率測定結果を図１に、斜方輝石の屈折率測定結果を図２に記す。

・14UM　畝間埋土

火山ガラスは、n1.496-1.512という広いレンジであり、モードはやや不明瞭であるが、n1.508付近にある。

斜方輝石は、γ1.699-1.713という広いレンジで、モードは、γ1.707付近にある。

・SI81 埋土2層

火山ガラスは、n1.499-1.512という広いレンジを示す。モードは不明瞭であるが、n1.507-1.508付近にある。

斜方輝石は、γ1.700-1.711というレンジを示す。モードはγ1.707付近にある。

・SD27 埋土

火山ガラスは、n1.505-1.513という広いレンジを示す。モードは不明瞭であるが、n1.509、n1.512付近にある。

斜方輝石は、γ1.697-1.729の極めて広いレンジで、モードはやや不明瞭であるが、γ1.707付近にある。

表１　テフラ分析結果

試料名	火山ガラス		軽石			備考
	量	色調・形態	量	色調・発泡度	最大粒径	
14UM　畝間埋土	＋	cl･pm>cl･bw	＋＋	W・sg>W・sb	1.2	
SI81 埋土２層	＋＋	cl･pm>cl･bw	＋＋＋	W・sg>W・sb	0.7	
SD27 埋土	＋＋＋	cl･pm>cl･bw	＋＋＋＋	W・sb>W・sg	1.1	

凡例　－：含まれない.　(+)：きわめて微量.　＋：微量.　＋＋：少量.　＋＋＋：中量.　＋＋＋＋：多量.　W：白色.
sg：やや良好.　sb：やや不良.　最大粒径は mm.　cl：無色透明.　bw：バブル型.　pm：軽石型.

表２　重鉱物火山ガラス分析結果

試料番号	カンラン石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	酸化角閃石	緑レン石	不透明鉱物	その他	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	その他	合計
14UM　畝間埋土	1	131	51	3	0	1	60	3	250	2	3	37	208	250
SI81 埋土２層	0	100	28	4	0	1	42	4	179	1	2	102	145	250
SD27 埋土	9	125	28	26	0	3	45	14	250	0	1	29	220	250

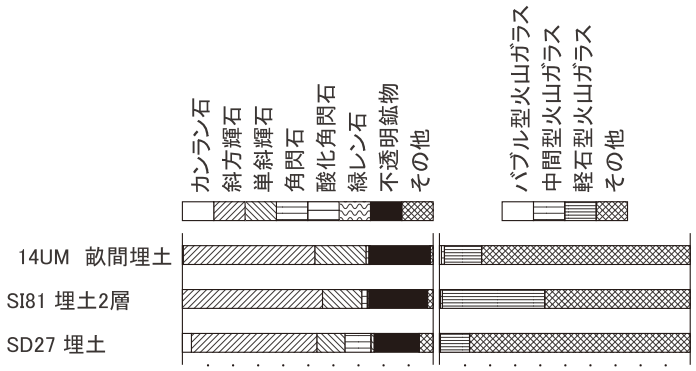


図１　重鉱物組成および火山ガラス比分析結果

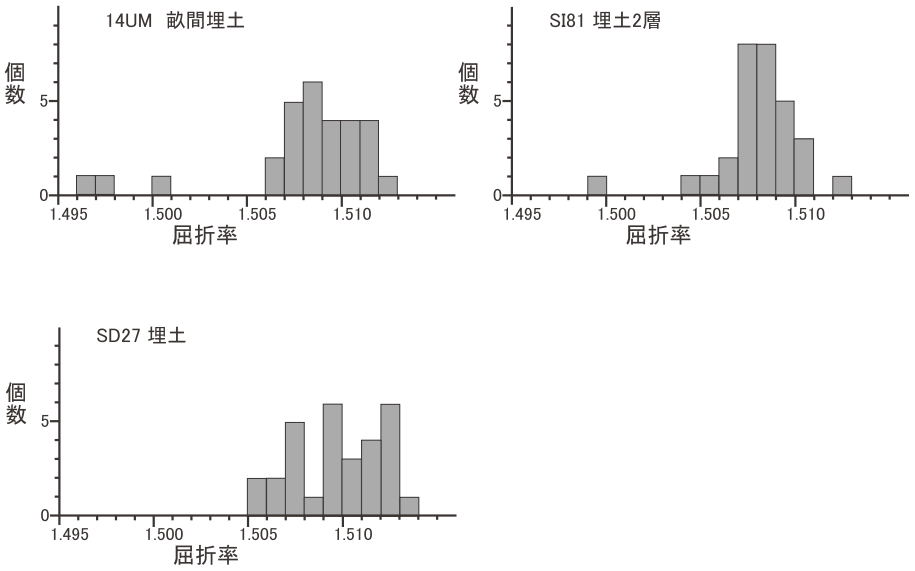


図２　火山ガラスの屈折率

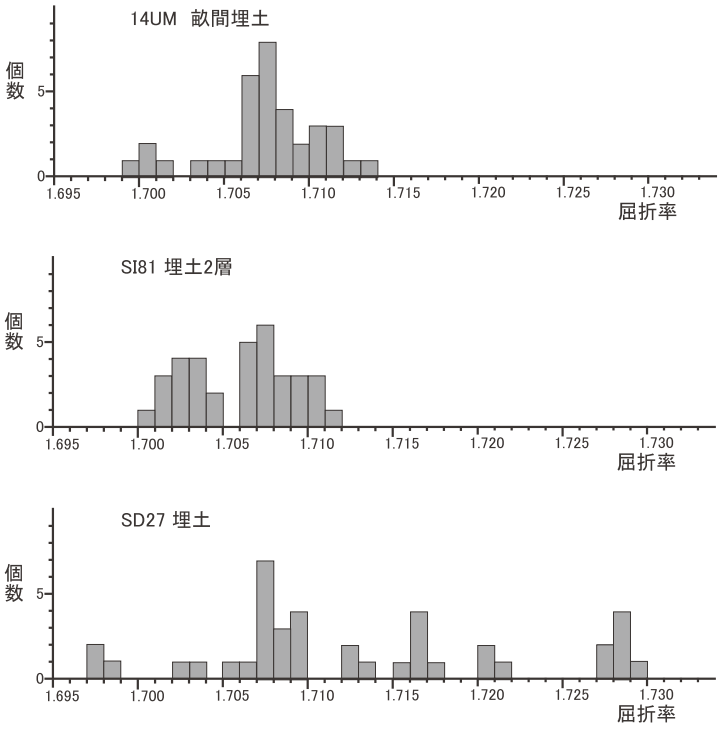


図３　斜方輝石の屈折率

（4） 考　　察

本分析調査を実施した３試料からは、軽石や火山ガラスが検出された。本遺跡の地理的位置や地形を考慮すれば、これらの火山ガラスは十和田カルデラからの噴出物であることが示唆される。

検出された火山ガラスの形態の特徴及びその屈折率や、共伴する重鉱物に斜方輝石が多いこと、さらには本遺跡の地理的位置と、これまでに研究された東北地方におけるテフラの産状（町田ほか（1981：1984）、Arai et al.（1986）、町田・新井（2003）など）との比較から、今回の分析試料が採取された各遺構の堆積層は、いずれも十和田ａテフラ（To-a）に対比されると考えられる。To-aは、平安時代に十和田カルデラから噴出したテフラであり、給源周辺では火砕流堆積物と降下軽石からなるテフラとして、火砕流の及ばなかった地域では軽石質テフラとして、さらに給源から離れた地域では細粒の火山ガラス質テフラとして、東北地方のほぼ全域で確認されている（町田ほか，1981）。その噴出年代については、早川・小山（1998）による詳細な調査によれば、西暦915年とされている。

いずれの試料からもTo-aが検出されたことから、本遺跡の試料を採取した遺構は、10世紀初頭以降に埋積したと考えられる。

また、各試料からは、町田・新井（2003）に示されるTo-a以外の屈折率を示す火山ガラスおよび斜方輝石が検出されている。

町田・新井（2003）による十和田カルデラの完新世テフラの屈折率をみると、各試料のような比較的高い屈折率を示す火山ガラスおよび斜方輝石を含むテフラは、十和田中掫テフラ（To-Cu:町田･新井,2003;Hayakawa,1985）と十和田南部テフラ（To-Nb:町田・新井,2003;Hayakawa,1985）が認められる。To-Cuの噴出年代は、6,200年前、To-Nbは、9,400年前とそれぞれ暦年較正年代が得られている（工藤・佐々木,2007）。町田ほか（1984）や町田・新井（2003）によれば、To-Cuの分布主軸は南東であり、分布範囲の南限は宮城県気仙沼市付近までに及ぶとされている。これに対して、To-Nbは東南東に分布主軸をもち、岩手県北部以北において分布が確認されるテフラである。したがって、各試料より検出されたTo-aに混在するテフラは、To-Cuの可能性が高い。ただし、岩手県中部における分析事例が少ないため、To-Nbが混在していないと断言することはできない。

またこれらの試料からは、低屈折率を示す斜方輝石も検出されている。このような低屈折率の斜方輝石を有する十和田火山起源のテフラとしては、十和田二の倉テフラ（To-Nk:Hayakawa,1985;町田・新井,2003）が挙げられるが、その分布範囲は、上述のTo-Nbより狭く、給源より45kmの範囲とされている（町田ほか,1984）ため、その由来についてはTo-Nk以外の可能性もあると考えている。また、「SD27 埋土」からはTo-CuやTo-Nbより高屈折率を示す斜方輝石が検出されているが、町田・新井（2003）に記載されている十和田火山の完新世テフラに該当するものがないため、現時点でその由来は不明である。

引用文献

Arai,F.・Machida,H.・Okumura,K.・Miyauchi,T.・Soda,T.・Yamagata,K,1986,Catalog for late quaternary marker-tephras in Japan Ⅱ　－ Tephras occurring in Northeast Honshu and Hokkaido －.Geographical reports of Tokyo Metropolitan University No.21,223-250.

古澤明, 1995, 火山ガラスの屈折率測定および形態分類とその統計的な解析に基づくテフラの識別.地質学雑誌,101,123-133.

Hayakawa,Y., 1985, Pyroclastic Geology of Towada Volcano. Bulletin of The Earthquake Reserch Institute University of Tokyo,vol.60, 507-592.

早川由紀夫・小山真人, 1998, 日本海をはさんで10世紀に相次いで起こった二つの大噴火の年月日－十和田湖と白頭山－.火山,43,403-407.

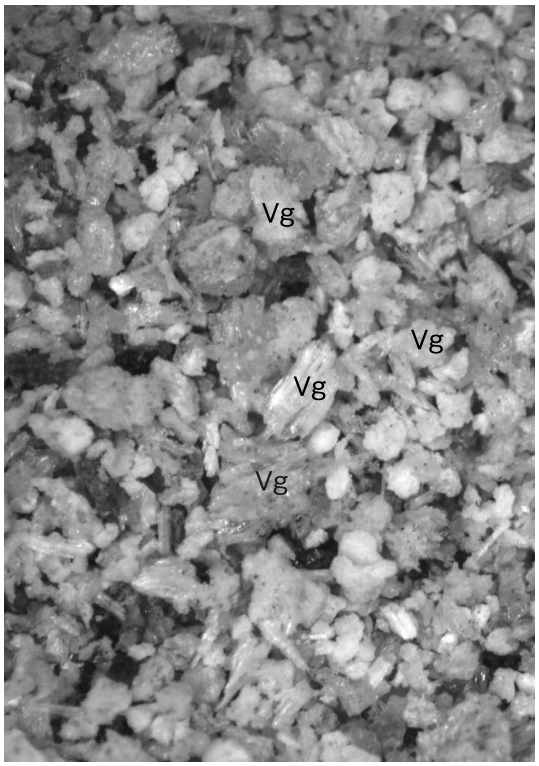
工藤崇・佐々木寿, 2007, 十和田火山後カルデラ期噴出物の高精度噴火史編年.地学雑誌,116,653-663.

町田洋・新井房夫, 2003, 新編　火山灰アトラス.東京大学出版会,336p.

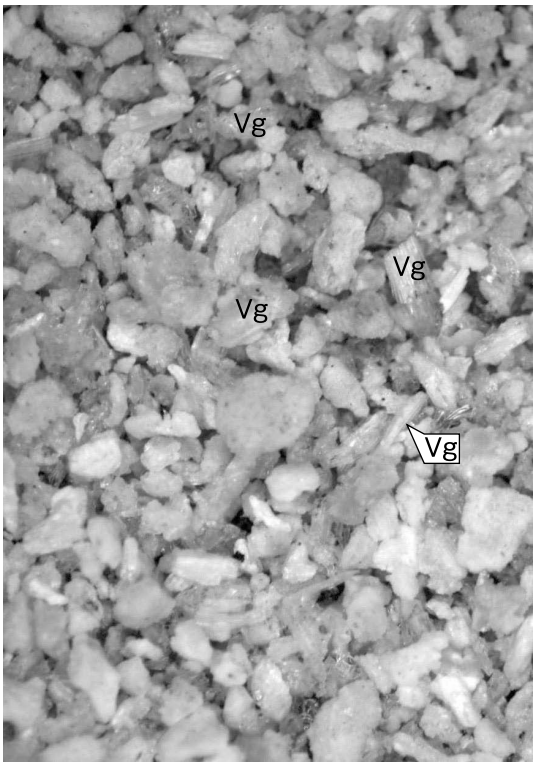
町田洋・新井房夫・森脇広, 1981, 日本海を渡ってきたテフラ.科学,51,562-569.

町田洋・新井房夫・杉原重夫・小田静夫・遠藤邦彦, 1984, テフラと日本考古学－考古学研究と関連するテフラのカタログ－.渡辺直経編　古文化財に関する保存科学と人文・自然科学,865-928

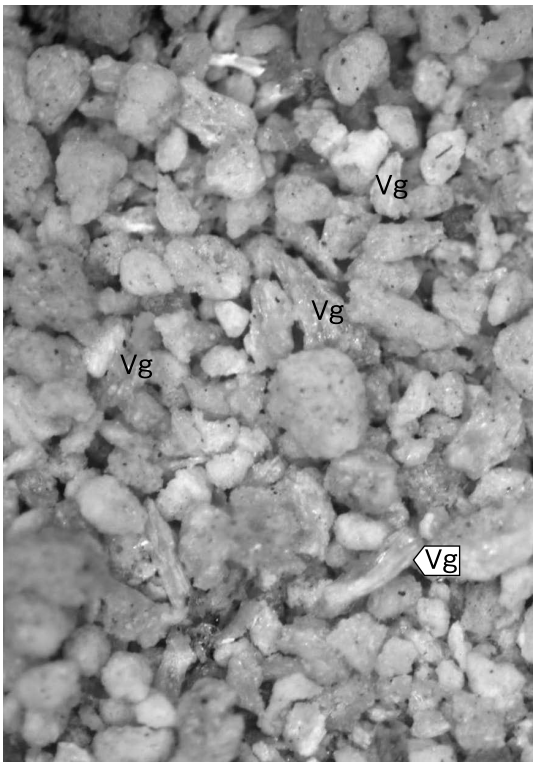
図版１　砂分の状況



１．軽石（14UM　畝間埋土）



２．軽石（SI81 埋土2層）

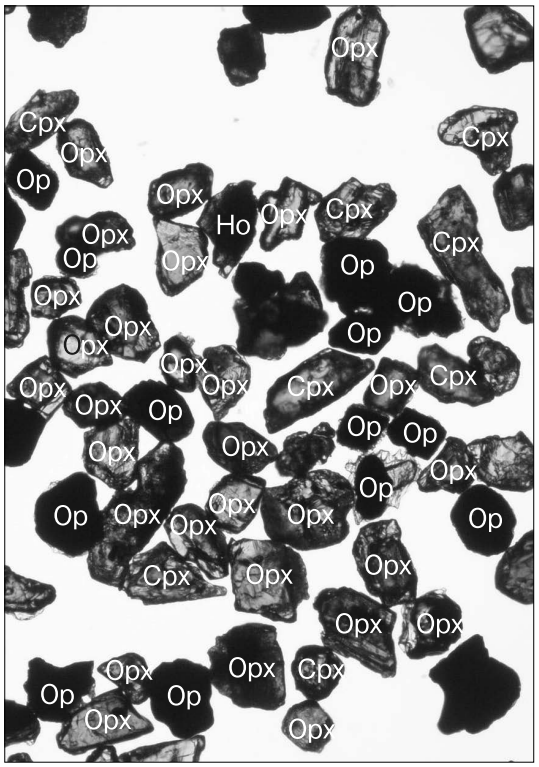


３．軽石（SD27 埋土）

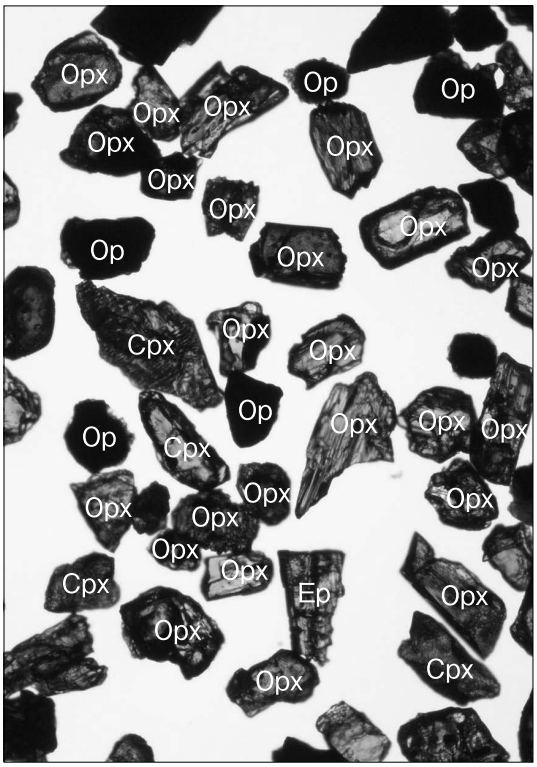
Vg：火山ガラス.

0.5mm

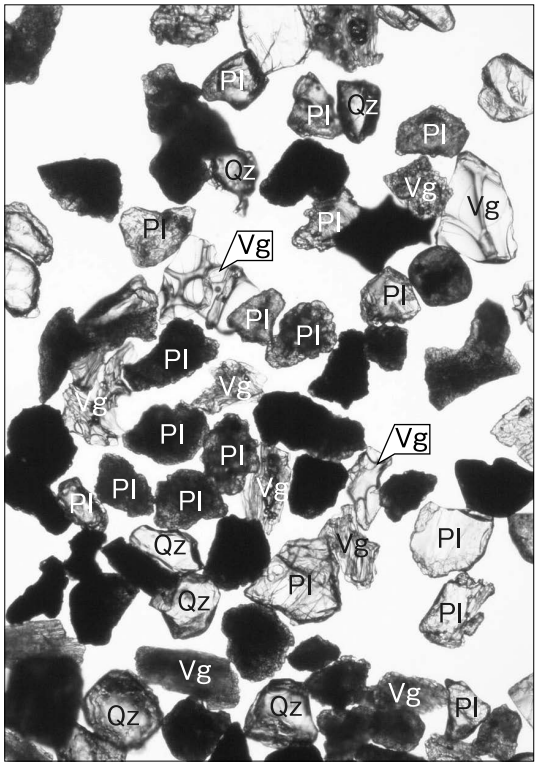
図版２　重鉱物・火山ガラス



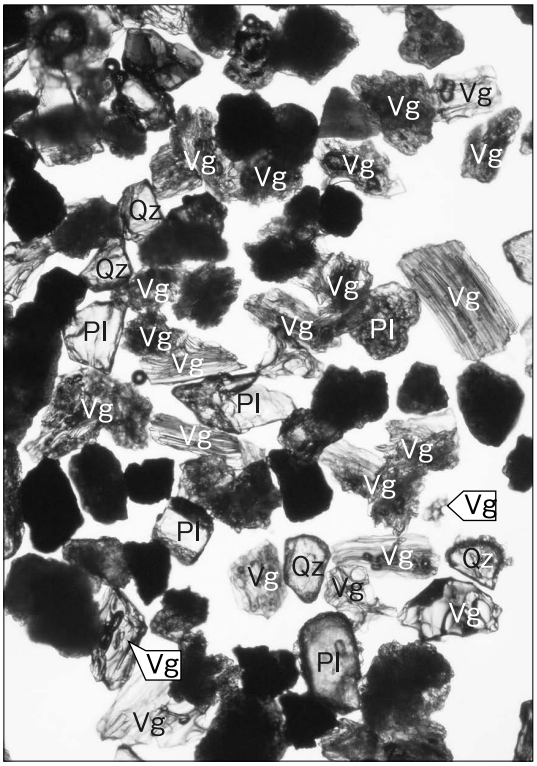
１．重鉱物（14UM　畝間埋土）



２．重鉱物（SD27 埋土）



３．To-の火山ガラス（14UM　畝間埋土）



４．To-の火山ガラス（SI81 埋土2層）

Opx：斜方輝石．Cpx：単斜輝石．Ho：角閃石．Ep：緑レン石．Op：不透明鉱物．
Vg：火山ガラス．Qz：石英．Pl：斜長石．

0.5mm

3－2　畝間状遺構における花粉・植物珪酸体・種実遺体・土壌理化学分析

本分析調査では、検出された畝間状遺構を対象に、栽培された作物に関する情報を得ることを目的として、花粉分析、植物珪酸体分析、種実遺体分析、土壌理化学分析を実施する。

（1）　試　　料

試料は、畝間状遺構1UMの畝間より採取されたum1サンプル①、畝下より採取されたul1サンプル①、および比較資料としてE区の基本層序より採取されたⅡG6d Ⅴ層の、計３点である。このうち、1UMのum1サンプル①、E区のⅡG6d Ⅴ層の２点について花粉分析を、これら全３点について植物珪酸体分析、種実遺体分析、土壌理化学分析を実施する。

なお、いずれも試料の量が少なく、種実遺体分析の結果が悪い可能性が想定されたことから、畝間状遺構2UMの畝間より採取されたum4サンプル①、畝間状遺構14UMの畝間より採取されたum22、um23の3点を追加試料とした。よって、種実遺体分析を実施する試料は、計６点である。

（2）　分　析　方　法

① 花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛，比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸９：濃硫酸１の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）、三好ほか（2011）等を参考にする。

② 植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を正確に計量し、乾土１ｇあたりの植物珪酸体含量（同定した数を乾土１ｇあたりの個数に換算）を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100個/g未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は10の位で丸め（100単位にする）、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量を図示する。

③ 種実遺体分析

土壌試料から炭化種実等を可能な限り壊さず回収するために、試料を水に浸して浮いた炭化物を粒径0.5㎜の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて静かに攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する

作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す（20～30回）。残土を粒径0.5㎜の篩を通して水洗する。篩内の試料を粒径別に常温乾燥後、双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な炭化種実や炭化材（主に径4㎜以上）などの遺物を抽出する。種実遺体の同定は、現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）等を参考にする。

④ 土壌理化学分析

土壌化学分析は、目的を考慮し、全炭素及び全窒素含量、リン酸含量、陽イオン交換容量（CEC）を実施する。全炭素及び全窒素含量は乾式燃焼法、陽イオン交換容量はショーレンベルガー法-ホルモル法（土壌環境分析法編集委員会,1997）、全リン酸は硝酸・過塩素酸分解－バナドモリブデン酸比色法（土壌標準分析・測定法委員会,1986）に従う。以下に各項目の操作工程を示す。

１）試料調製

試料を風乾後、土塊を軽く崩して２㎜の篩で篩い分ける。この篩通過試料を風乾細土試料とし、分析に供する。また、風乾細土試料の一部を乳鉢で粉砕し、0.5㎜篩を全通させ、粉砕土試料を作成する。風乾細土試料については、105℃で４時間乾燥し、分析試料水分を求める。

２）全炭素・全窒素含量

粉砕土試料を0.5000g～1.0000gを石英ボートに秤量し、乾式燃焼法により全炭素・全窒素含量を測定する。使用装置は、ヤナコ分析工業製CNコーダーである。分析値及び加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりの全炭素量・全窒素量を（T-C・T-N乾土％）求める。さらに、全炭素量を全窒素量で除し、炭素率（C/N）を求める。

３）リン酸含量

粉砕土試料1.00gをケルダール分解フラスコに秤量し、はじめに硝酸（HNO_3）約10mlを加えて加熱分解する。放冷後、過塩素酸（$HClO_4$）約10mlを加えて再び加熱分解を行う。分解終了後、水で100mlに定容し、ろ過する。ろ液の一定量を試験管に採取し、リン酸発色液を加えて分光光度計によりリン酸（P_2O_5）濃度を測定する。この測定値と加熱減量法で求めた水分量から、乾土あたりのリン酸含量（P_2O_5mg/g）を求める。

４）陽イオン交換容量（CEC）

風乾細土試料2.50gを浸透カラムに秤りとる。これをCEC測定用の土壌浸出装置に装着し、1N酢酸アンモニウム溶液（pH7.0）100mlを加え、４～20時間で置換洗浄し、交換性塩基を浸出させる。交換浸出液全量を200mlメスフラスコに入れ、水で定容とする（交換性陽イオン測定浸出液）。次に80%エタノール（pH7.0）50mlを加え、余剰な酢酸アンモニウム液を４～20時間で洗浄する。さらに10%塩化カリウム（pH7.0）を加え、４～20時間で再び置換洗浄する。置換洗浄された液すべてを200mlメスフラスコに入れ、水で定容する（CEC測定浸出液）。

CEC測定浸出液について一定量を100ml三角フラスコに正確に採取し、ホルモル法によってアンモニア態窒素を定量する。

これら定量値と加熱減量法で求めた試料中の水分から、陽イオン交換容量（cmolc/kg）を求める。

（３）　結　　果

① 花粉分析

分析対象としたいずれの試料からも、花粉化石、シダ類胞子は全く検出されなかった。また分析残渣も少なく、わずかに炭化した微細な植物片（いわゆる微粒炭）が確認された。なお、微粒炭は、母材が推定できるような構造を有したものは確認されず、いずれも不明タイプである。

② 植物珪酸体分析

結果を表１、図１に示す。各試料からは植物珪酸体が検出された。保存状態が悪く、表面に多数の小孔（溶食痕）が認められる。

植物珪酸体含量は、1UMのum1サンプル①で約10,500個/gと最も多く、次いでE区のⅡG6d Ⅴ層が約2,700個/gであり、1UMのu1サンプル①は約800個/gと少ない。

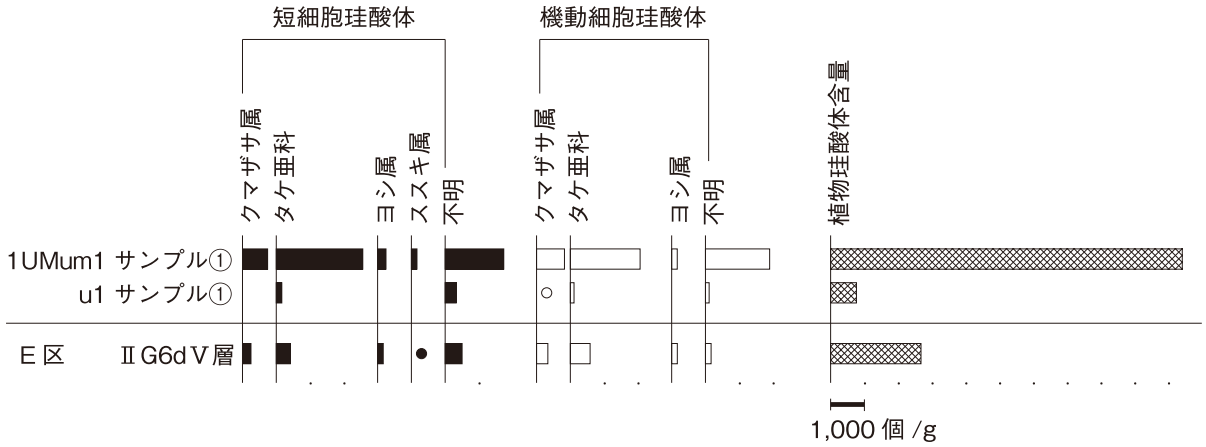
イネやムギなどのイネ科作物を含む分類群は、対比試料の基本層序ⅡG6d Ⅴ層、1UMのum1サンプル①、u1サンプル①のいずれの試料とも産出しない。

植物珪酸体群集は、1UMのum1サンプル①とE区のⅡG6d Ⅴ層で同様な分類群が見られ、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、ススキ属などが認められる。um1サンプル①では、E区のⅡG6d Ⅴ層よりもクマザサ属を含むタケ亜科の含量が多い。1UMのu1サンプル①では、タケ亜科などがわずかに認められる。

表１．植物珪酸体含量　（個/g）

分類群	1UM um1 サンプル①	1UM u1 サンプル①	E区 Ⅱ G6d Ⅴ層
イネ科葉部短細胞珪酸体			
クマザサ属	700	−	300
タケ亜科	2,600	200	400
ヨシ属	200	−	200
ススキ属	200	−	<100
不明	1,700	300	500
イネ科葉身機動細胞珪酸体			
クマザサ属	800	<100	300
タケ亜科	2,100	100	600
ヨシ属	200	−	200
不明	1,900	100	200
合　計			
イネ科葉部短細胞珪酸体	5,500	500	1,400
イネ科葉身機動細胞珪酸体	5,000	300	1,300
植物珪酸体含量	10,500	800	2,700

1）含量は、10の位で丸めている（100単位にする）。
2）合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。
3）<100：100個/g未満。



乾土1gあたりの個数で示す。●○は100個未満を定性的に示す。

図１　植物珪酸体含有

③ 種実遺体分析

結果を表２に示す。３試料全量（計110cc；214g）を洗い出したが、1UMのum1サンプル①から炭化材が乾重0.005g（最大2.7㎜）検出されたが、同定が可能な種実遺体は検出されなかった。

そこで、2UMのum4サンプル①、14UMのum22、um23の、３試料全量（計565cc；923g）を追加して分析を試みたが、炭化材が14UMのum22から乾重0.003g（最大1.8㎜）、um23から乾重0.009g（最大3.2㎜）、検出されたが、同定が可能な種実遺体は検出されなかった。

表２．種実遺体分析結果

	1UM um1 サンプル①	1UM u1 サンプル①	E区 Ⅱ G6d Ⅴ層	2UM um4 サンプル①	14UM um22	14UM um23	
炭化材	0.005	−	−	−	0.003	0.009	乾重（g）
	2.7	−	−	−	1.8	3.2	最大径（mm）
分析残渣（砂礫主体）	0.09	0.08	0.08	0.04	0.48	1.01	乾重（g）
分析量	50	10	50	25	300	240	容積（cc）
	96	22	96	34	502	387	重量（g）

分析残渣は砂礫を主体とし、乾重0.04g（2UM um4サンプル①）～1.01g（14UM um23）程度で、６試料合計1.78gを量る。

④ 土壌理化学分析

結果を表３に示す。野外土性（ペドロジスト学会編,1997）をみると、全試料でLiC（軽埴土）であり、畝間状遺構試料と基本層序試料で土質は同様である。土色は1UMのum1サンプル①で10YR4/3にぶい黄褐色、他の2試料で10YR4/4褐色と、um1サンプル①でやや暗色である。

全炭素は、um1サンプル①で1.18%、他の2試料で約0.8%であり、概ね土色に相応する。全窒素は、um1サンプル①で0.13%、他の２試料で約0.1%と、全炭素と同様の傾向である。C/Nは全試料で９である。

また全リン酸は、畝下である1UMのu1サンプル①で1.80P_2O_5mg/gであり、他の２試料では2.22P_2O_5mg/gである。

陽イオン交換容量は、いずれも23.9～24.5cmol$_c$/kgと、ほぼ一定である。

表３．土壌理化学分析結果

遺構名	地点名	土色	土性	全炭素（%）	全窒素（%）	C/N	全リン酸 P2O5（mg/g）	陽イオン交換容 CEC cmol$_c$/kg	備考
1UM	um1 サンプル①	10YR4/3　ぶい黄褐	LiC	1.18	0.13	9	2.22	24.5	畝間
1UM	u1 サンプル①	10YR4/4　褐	LiC	0.86	0.10	9	1.80	24.0	畝下
E 区	Ⅱ G6d Ⅴ層	10YR4/4　褐	LiC	0.78	0.09	9	2.22	23.9	比較資料

1）土性：土壌調査ハンドブック改訂版（ペドロジー学会編,1997）の野外土性による。
　　LiC…軽埴土（粘土 25 ～ 45%、シルト 0 ～ 45%、砂 10 ～ 55%）
2）土色：マンセル表色系に準じた新版標準土色帖（農林省農林水産技術会議監修,1967）による。
3）C/N：全炭素 ÷ 全窒素。

（4） 考　　察

今回の分析結果では、1UMのum1サンプル①、E区のⅡG6d Ⅴ層からは、花粉化石・シダ類胞子が全く検出されなかった。花粉や胞子は､好気的環境にさらされていた場合､酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている（中村,1967;徳永・山内,1971;三宅・中越,1998など）。調査対象とした1UMは畝間状遺構とされていることから、好気的環境であったことが容易に想像され、花粉同様に種実遺体も残りづらい。試料を追加した2UM、14UMにおいても、種実遺体が全く検出されなかったことから、同様に好気的環境であったことが示唆される。

植物珪酸体分析結果をみると、各試料から植物珪酸体の産出が認められるが、1UMのum1サンプル①、u1サンプル①では、イネやムギなどのイネ科作物に由来する植物珪酸体は確認されなかった。

また、残留土壌成分においても、1UMのum1サンプル①、u1サンプル①では、全リン酸が1.80～2.22P_2O_5mg/g程度であった。リンは生物にとって主要な構成元素であり、動植物中に普遍的に含まれる元素であり、遺跡での生物起源残留物の痕跡確認などに有効である。しかし、通常の土壌中にも普通に含まれており、そのリン酸量、いわゆる天然賦存量の上限は約3.0P_2O_5mg/g程度とされいる（Bolt･Bruggenwert,1980;Bowen,1983;天野ほか,1991;川崎ほか,1991など）。これに対し、人為的な影響（化学肥料の施用など）を受けた黒ボク土の既耕地では5.5P_2O_5mg/g（川崎ほか,1991）という報告例がある。畝間状遺構で採取した２試料は、リン酸含量が天然賦存量の3.0mg/gを超える試料がなく、基本層序のE区のⅡG6d Ⅴ層と比較しても同等あるいはそれ以下であることから、リン酸量における大きな変異は認められない。

一方、陽イオン交換容量は、３試料とも24.0～24.5cmol$_c$/kgの値を示す。陽イオン交換容量は、粘質土や腐植質土で大きく、砂質土で小さい。また、火山灰土壌では、pHや塩濃度によって大きく変

化するとされる。陽イオン交換容量が高いほど保肥力があるとされており、生産力可能性分級基準では、20cmol$_c$/kg以上が１等級、20～6cmol$_c$/kgが２等級、6cmol$_c$/kg以下が３等級と区分されている（藤原ほか, 2010）。これと比較すると、1UMの2試料は20cmol$_c$/kg以上と保肥力が十分にあり、栽培環境には適している。しかし、いずれもLiCと粘土含量が多く、上述したように陽イオン交換容量は粘質土で大きいとされていること、基本層序のＥ区のⅡG6d Ⅴ層も23.9cmol$_c$/kgと畝間状遺構で差が認められないことなどから、養分の富化などによる陽イオン交換容量の増加は認められない。

以上のように、畝間状遺構1UMの土壌は、土壌特性において保肥力は十分であることが明らかになったが、他の各分析値や比較資料と大きな変化がないこと、および栽培植物に由来する植物化石が検出されないことなどから、畑作物の推定に関わる情報は十分得られなかった。北上市内では和賀川右岸の段丘上に立地する上鬼柳Ⅳ遺跡で古代（平安時代）の畑遺構が検出され、イネやオオムギの栽培された可能性が指摘されている（パリノ・サーヴェイ株式会社,1992）。

なお、畑の耕作年数が短い場合などには、耕作に伴ってイネ科作物の植物体や植物珪酸体が畝や畝間に供給される機会も少なくなり、土壌中に含まれる量も少なくなることが想定される。また、畝は毎年組み替える可能性があり、土壌が攪乱され養分が拡散している可能性も考えられる。今後さらに当該期の畑跡でも同様な分析調査を実施し、周辺での類例なども含めた分析調査事例を蓄積して検討することが望まれる。

ところで、検出された植物珪酸体からは、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、ススキ属などが検出されている。湿潤な場所に生育するヨシ属は、周辺の水湿地に由来する可能性がある。また、クマザサ属、タケ亜科、ススキ属には開けて乾いた場所に生育する種類が含まれ、本遺跡が河岸段丘上に立地することを考慮すると、これらは周辺の開けた場所や、周囲の林縁林床などに由来すると思われる。

引用文献

天野洋司・太田健・草場敬・中井信, 1991, 中部日本以北の土壌型別蓄積リンの形態別計量.農林水産省農林水産技術会議事務局編　土壌蓄積リンの再生循環利用技術の開発,28-36.

Bolt,G.H.・Bruggenwert,M.G.M, 1980, 土壌の化学.岩田進午・三輪睿太郎・井上隆弘・陽　捷行訳,学会出版センター,309p.

Bowen,H.J.M., 1983, 環境無機化学-元素の循環と生化学-.浅見輝男・茅野充男訳,博友社,297p.

土壌標準分析・測定法委員会編, 1986, 土壌標準分析・測定法.博友社,354p.

土壌環境分析法編集委員会編, 1997, 土壌環境分析法.博友社,427p.

藤原俊六郎・安西徹郎・小川吉雄・加藤哲郎（編著）, 2010, 新版　土壌肥料用語辞典　第2版.農村漁村文化協会,304p.

石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.

川崎弘・吉田澪・井上恒久, 1991, 九州地域の土壌型別蓄積リンの形態別計量.農林水産省　農林水産技術会議事務局編　土壌蓄積リンの再生循環利用技術の開発,23-27.

近藤錬三, 2010, プラント・オパール図譜.北海道大学出版会,387p.

三宅尚・中越信和, 1998, 森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態.植生史研究,6,15-30.

三好教夫・藤木利之・木村裕子, 2011, 日本産花粉図鑑.北海道大学出版会,824p.

中村純, 1967, 花粉分析.古今書院,232p.

中村純, 1980, 日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ（図版）.大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第12,13集,91p.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志, 2000, 日本植物種子図鑑.東北大学出版会,642p.

農林省農林水産技術会議事務局監修, 1967, 新版標準土色帖.

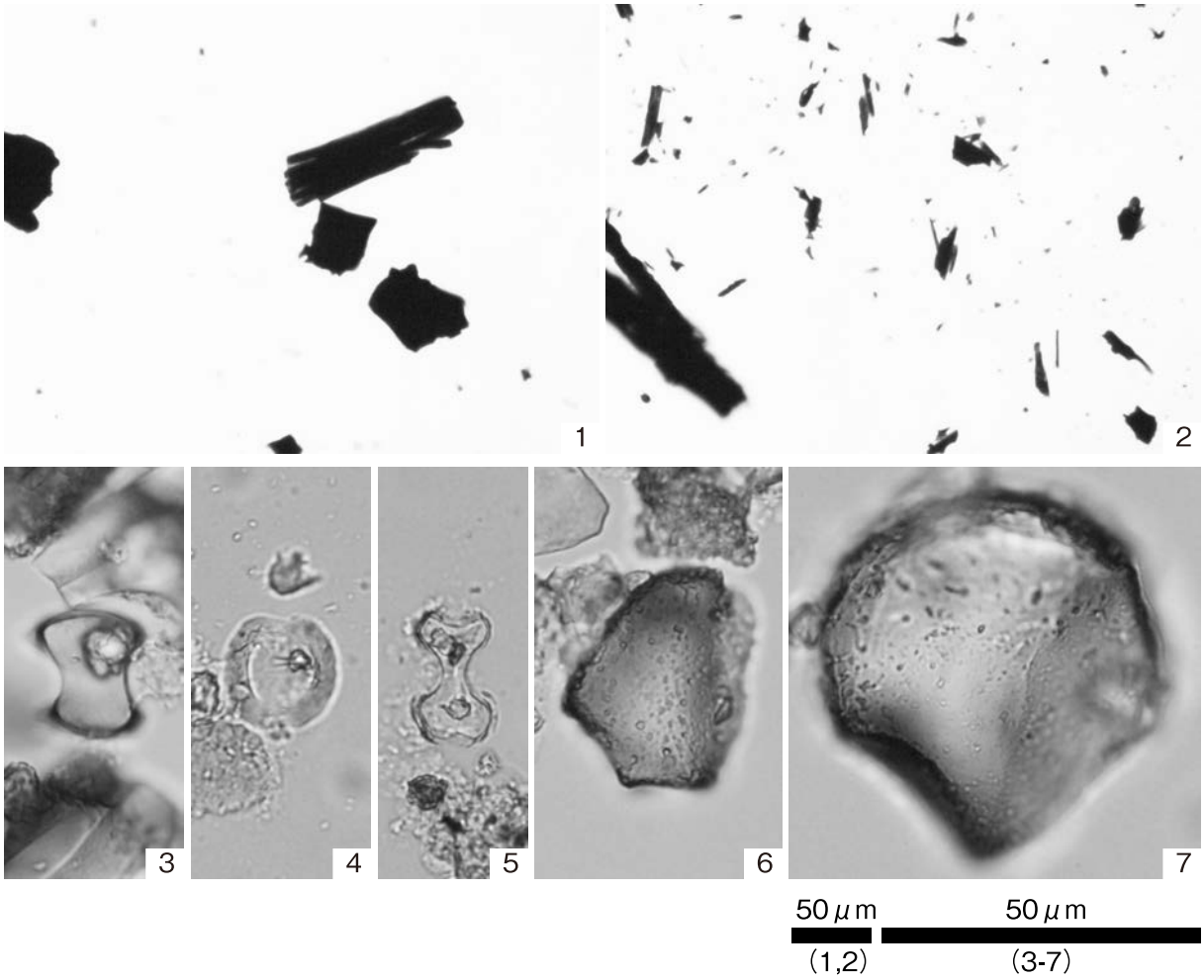
パリノ・サーヴェイ株式会社（1992）種子同定および植物珪酸体分析報告.岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第160集「上鬼柳Ⅳ遺跡発掘調査報告書 東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査」,財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター,177-188.

ペドロジー学会編, 1997, 土壌調査ハンドブック改訂版.博友社,169p.

島倉巳三郎, 1973, 日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第5集,60p.

徳永重元・山内輝子, 1971, 花粉・胞子.化石の研究法,共立出版株式会社,50-73.

図版1　花粉化石・植物珪酸体



1．花粉分析プレパラート内の状況（1UM;um1サンプル①）
2．花粉分析プレパラート内の状況（E区;ⅡG6d Ⅴ層）
3．クマザサ属短細胞珪酸体（1UM;um1サンプル①）
4．ヨシ属短細胞珪酸体（E区;ⅡG6d Ⅴ層）
5．ススキ属短細胞珪酸体（E区;ⅡG6d Ⅴ層）
6．クマザサ属機動細胞珪酸体（1UM;um1サンプル①）
7．ヨシ属機動細胞珪酸体（1UM;um1サンプル①）

3－3　炭化種実同定（1）

千苅遺跡の調査では平安時代遺構等からイネなどの炭化種子が多数検出するとされている。本分析調査では、2011～12年度に実施された発掘調査で出土した種実遺体の同定を実施し、当時の植物利用や植生に関する資料を得る。

（1）試　　料

試料は、各遺構・地点・層位より出土した種実遺体54点（試料番号1～54）である。試料は、1～約1500個の種実遺体が乾燥した状態で容器に入っている。各試料の詳細は、同定結果と共に表1に示す。種実同定は、全54点を対象に実施し、試料全体の種類組成の把握と、一部を対象とした計測を実施する。

（2）分　析　方　法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体を抽出する。種実遺体の同定は、現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）等を参考に実施し、個数を数えて結果を一覧表で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間は、ハイフォンで結んで表示する。

計測は、状態が良好な一部の種実遺体を対象として、デジタルノギスを用いて、長さ、幅、厚さを求め、結果を一覧表で示す。欠損等で完全な計測値を得られない場合は、残存値にプラス（+）で表示し、大きさの復元が難しい場合はハイフォン（－）で表示する。分析後は、種実遺体と残渣（種実片、炭化材、土粒など）を容器に入れて返却する。

（3）結　　果

被子植物19分類群（木本のオニグルミ、クヌギ、コナラ属（クヌギ？）、イワガラミ、スモモ、モモ、ナシ属、サンショウ、トチノキ、ブドウ、草本のイネ、オオムギ、コムギ、ヒエ近似種、イネ科、アサ、タデ属、マメ科（アズキ類）、エゴマ）3359個の種実遺体が同定された（表1）。SI22から出土した黒色物質3個は、種実の特徴が確認されず、同定ができなかった。種実以外では、炭化材や土粒、ミミズ類の卵胞（？）などが確認された。

種実遺体の出土個数は、SI27の炭化物層が最多（1,690個）で、SX43の2層以下（629個）、SX30の11～13層（441個）が次いで多い。一方、SX41の1～5層からは、種実遺体が1個も確認されなかった。

種実遺体群のうち、栽培種は、スモモが7個、モモが86個、ブドウが14個、イネが1,416個、オオムギが1,307個、オオムギまたはコムギが184個、コムギが149個、アサが78個、エゴマが1個と、栽培種の可能性があるナシ属が1個、ヒエ近似種が2個、マメ科（アズキ類）が6個、計3,251個が確認され、全体の96.8%を占める（表2）。栽培種を除いた分類群は、落葉広葉樹で高木のオニグルミが69個、クヌギが488個、トチノキが24個、低木のサンショウが1個、籐本のイワガラミが1個と、草本のイネ科が1個、タデ属が1個の、計108個が確認された（表2）。

種実遺体は、SX42、SX43、SI25より出土したブドウ14個を除いて、全て炭化している。本分析で同定された種実遺体各分類群の写真を図版1～3に示し、形態的特徴等を以下に述べる。

表１．種実同定結果（１）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
1	SI07	南ベルト4層（人為堆積）	イネ	胚乳	完形	炭化	1	－	－	3.7	1.9 ＋	1.9	状態不良
2	SI08	カマド	エゴマ	果実	完形	炭化	1	－	－	1.9	1.8	1.6	
3	SI08	カマド19a層	イネ	胚乳	破片	炭化	1	－	－	4.3	－	－	
4	SI09	カマド	イネ	胚乳	完形	炭化	2	－	1	4.5	2.5	2.0	
4	SI09	カマド	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	2	3.6	2.6	1.4	
4	SI09	カマド	コムギ	胚乳	完形	炭化	2	－	1	4.7	2.7	2.4	
4	SI09	カマド	コムギ	胚乳	完形	炭化	－	－	2	3.8	2.6	2.3	
5	SI19	カマド燃焼面	マメ科（アズキ類）	種子	破片	炭化	6	－	1	4.5 ＋	3.0	1.4 ＋	初生葉欠損
5	SI19	カマド燃焼面	マメ科（アズキ類）	種子	破片	炭化	－	－	2	3.8	2.2	－	初生葉欠損
5	SI19	カマド燃焼面	マメ科（アズキ類）	種子	破片	炭化	－	－	3	3.9	2.5	1.3 ＋	初生葉欠損
6	SI24	カマド5a・5b層	イネ	胚乳	完形	炭化	2	－	1	5.0	2.6	2.0	
6	SI24	カマド5a・5b層	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	2	4.7	2.7	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オニグルミ	核	破片	炭化	1	－	－	9.4 ＋	－	－	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	スモモ	核	破片	炭化	1	－	－	12.9	9.7	3.1 ＋	内面窪み：長さ9.6mm，幅5.7mm
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	モモ	核	破片	炭化	2	－	－	7.2 ＋	－	－	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	モモ	種子	完形	炭化	1	－	－	8.2	4.2	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	モモ	種子	破片	炭化	1	－	－	－	－	－	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	サンショウ	種子	完形	炭化	1	－	－	3.0	2.1	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	94	－	1	6.0	2.8	1.6	穎：完全残存
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	2	4.6	2.0	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	3	4.3	2.4	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	4	4.2	2.7	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	5	4.0	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	6	4.0	2.4	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	7	4.0	2.5	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	8	5.2	3.0	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	9	4.7	3.0	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	10	4.4	2.7	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	11	4.2	2.5	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	12	5.3	3.0	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	13	4.7	3.0	1.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	14	5.0	2.7	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	15	4.3	2.5	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	16	4.5	2.4	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	17	5.4	3.0	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	18	4.8	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	19	4.5	2.7	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	20	4.9	2.6	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	21	4.4	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	22	5.7	3.1	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	23	5.1	3.2	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	24	4.9	2.7	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	25	4.7	2.7	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	26	4.5	2.7	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	27	4.8	2.8	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	28	5.1	3.0	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	29	4.9	3.0	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	30	4.5	2.8	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	31	4.7	2.2	1.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	32	3.2	2.1	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	33	4.6	2.8	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	穎・胚乳	破片	炭化	6	－	－	－	－	－	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	52	－	1	4.3	2.7	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	2	4.8	2.8	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	3	4.9	2.5	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	4	4.7	2.8	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	5	4.1	2.3	1.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	6	4.3	3.0	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	7	4.8	2.8	1.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	8	4.7	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	9	5.0	2.6	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	10	5.0	2.4	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	11	4.3	2.6	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	12	4.1	2.4	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ	胚乳	破片	炭化	10	－	－	－	－	－	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	1112	－	1	5.5	2.9	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	2	7.6	3.5	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	3	7.5	3.0	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	4	5.4	2.6	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	5	5.5	2.9	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	6	7.2	3.4	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	7	7.0	3.0	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	8	5.4	2.7	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	9	5.8	2.8	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	10	7.2	3.2	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	11	7.0	3.0	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	12	5.9	2.7	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	13	6.2	3.2	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	14	5.9	2.7	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	15	6.0	2.9	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	16	7.0	3.5	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	17	7.0	3.0	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	18	5.7	2.9	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	19	5.8	2.8	2.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	20	7.1	3.1	2.5	

表1．種実同定結果（2）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	21	7.1	3.0	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	22	6.0	2.9	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	23	6.2	3.1	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	24	6.1	3.0	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	25	6.1	2.9	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	26	6.5	3.1	2.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	27	5.9	2.8	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	28	6.9	3.3	2.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	29	6.3	3.0	2.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	30	6.1	3.0	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	31	6.8	2.5	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	32	6.0	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	33	5.5	2.8	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	34	7.1	3.0	2.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	35	7.1	3.0	2.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	36	6.3	3.0	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	37	6.2	3.1	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	38	6.1	2.7	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	39	6.1	2.9	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	40	6.8	3.1	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	41	6.0	2.9	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	42	7.0	3.2	2.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	43	6.3	3.1	2.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	44	6.0	2.7	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	45	5.6	3.1	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	46	5.7	2.8	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	47	5.1	2.3	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	48	5.7	2.4	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	49	5.3	2.4	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	50	5.6	2.9	2.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	51	5.0	2.6	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	52	6.0	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	53	5.5	2.8	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	54	7.1	3.1	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	55	7.0	3.0	2.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	56	6.2	3.0	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	57	6.2	3.0	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	58	6.0	2.9	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	59	5.7	2.9	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	60	5.8	3.0	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	61	6.0	2.7	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	62	5.3	2.5	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	63	5.2	2.3	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	64	5.1	2.3	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	65	5.2	2.7	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	66	5.1	2.3	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	67	5.7	2.3	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	68	5.3	2.3	1.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	69	5.6	2.7	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	70	5.1	2.6	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	71	6.0	2.8	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	72	5.6	3.0	2.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	73	5.6	2.5	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	74	5.4	2.4	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	75	5.5	2.6	1.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	76	5.1	2.3	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	77	4.6	2.7	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	78	5.3	3.0	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	79	5.5	2.8	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	80	4.5	2.8	2.5	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	81	5.4	2.2	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	82	5.5	2.4	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	83	5.1	2.7	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	84	4.7	2.0	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	85	5.0	2.8	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	86	5.9	2.4	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	87	6.0	2.3	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	88	5.5	2.1	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	89	4.6	2.2	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	90	5.4	2.8	2.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	91	5.9	2.5	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	92	6.0	2.6	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	93	5.7	2.9	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	94	7.0	3.0	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	95	7.1	3.0	2.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	96	6.3	2.9	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	97	6.0	3.0	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	98	5.8	2.8	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	99	5.7	2.9	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	100	5.8	3.0	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ	穎・胚乳	破片	炭化	105	−	−	−	−	−	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	オオムギ - コムギ	穎・胚乳	−	炭化	184	−	−	−	−	−	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	穎・胚乳	完形	炭化	12	−	−	4.5	2.7	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	98	−	1	4.1	2.7	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	3.8	2.3	1.8	

表1．種実同定結果（3）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	3	3.6	2.9	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	4	3.3	2.7	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	5	3.8	2.6	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.0	2.5	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	7	3.2	2.2	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	8	3.3	2.1	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	9	3.5	2.3	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	10	3.5	2.6	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	11	3.8	2.7	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	12	3.5	2.6	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	13	3.2	2.2	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	14	3.7	2.8	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	15	3.8	2.7	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	16	3.9	2.2	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	17	3.2	2.8	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	18	3.3	2.4	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	19	3.5	2.5	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	20	3.6	2.5	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	21	3.2	2.4	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	22	3.2	2.3	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	23	3.4	2.0	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	24	3.6	2.7	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	25	3.2	2.3	2.2	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	26	3.5	2.2	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	27	3.2	2.5	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	28	3.3	2.4	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	29	3.2	2.4	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	30	3.3	2.4	1.7	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	31	3.5	2.5	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	32	3.5	2.5	2.0	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	33	3.3	2.4	1.6	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	34	3.7	2.5	2.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	35	3.3	1.9	1.8	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	36	3.2	2.0	1.9	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	コムギ	胚乳	破片	炭化	5	−	−	−	−	−	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	アサ	果実	完形	炭化	1	−		3.5	2.8	2.3	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	ヒエ近似種	穎・胚乳	完形	炭化	2	−	1	1.7 +	1.8	1.4	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	ヒエ近似種	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	1.8	1.4 +	1.1	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	イネ科	穎・胚乳	完形	炭化	1	−	−	3.7	1.1	1.1	狭長楕円体,腹面溝あり
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	タデ属	果実	完形	炭化	1	−	−	1.6	1.2	0.9	2面網目型
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	残渣（穀粒片）		破片	炭化	0.4cc	−	−	−	−	−	
7	SI27	炭化物層（なげこみ）	種実ではない（炭化材）		破片	炭化	−	6	−	−	−	−	
8	SI33	畑出し下層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	1	−	−	5.6	3.2 +	2.1	
9	SX30	5〜7層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	2	−	−	4.9	2.8	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	穎・胚乳	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	42	−	1	4.5	2.9	1.8	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.9	2.8	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	3	5.0	2.6	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.7	2.7	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.1	2.3	1.5	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.4	3.0	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	7	4.9	2.6	1.5	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	8	4.7	2.7	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	9	5.1	2.6	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	10	5.0	2.3	1.6	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	11	4.2	2.6	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	12	4.1	2.4	1.8	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	13	4.4	2.2	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	14	4.0	2.7	1.2	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	15	4.3	2.4	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	16	4.6	2.6	1.8	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	17	4.2	2.3	1.9	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	18	3.6	2.2	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	19	5.0	2.9	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	20	4.9	2.8	2.0	
9	SX30	5〜7層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	21	4.8	2.7	1.8	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎	破片	炭化	4	−	−	−	−	−	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	236	−	1	4.5	2.3	1.7	11個:果実序柄残存, 3個:表面の穎は別個体
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.1	2.6	2.1	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	5.1	2.8	1.9	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.7	2.9	1.7	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.2	2.5	1.9	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.2	2.6	2.1	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	7	4.6	2.9	2.2	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	8	4.9	2.5	1.8	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	9	4.4	2.5	1.7	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	10	4.3	2.5	1.9	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	11	4.2	2.8	2.0	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	12	4.5	2.5	2.0	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	13	4.1	2.4	1.8	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	14	4.0	2.8	1.9	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	15	4.4	2.7	2.2	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	16	4.4	2.7	2.5	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	17	4.5	2.8	2.4	
10	SX30	11〜13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	18	4.2	2.7	2.0	

表1．種実同定結果（4）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	19	4.3	2.8	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	20	4.5	2.6	1.6	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	21	4.7	2.6	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	22	4.2	2.7	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	23	4.8	2.6	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	24	4.6	2.8	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	25	4.7	2.8	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	26	4.4	2.6	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	27	4.3	2.1	1.7	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	28	4.0	2.3	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	29	4.8	2.9	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	30	4.3	2.6	2.5	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	31	4.1	2.6	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	32	4.2	2.9	2.2	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	33	4.8	2.6	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	34	5.6	2.5	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	35	5.2	2.5	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	36	4.9	2.7	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	37	4.3	2.7	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	38	4.2	2.2	1.7	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	39	4.6	2.5	1.7	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	40	4.3	2.2	1.5	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	41	4.8	2.8	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	42	4.4	2.8	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	43	4.5	2.8	2.2	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	44	5.1	2.6	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	45	5.1	2.7	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	46	5.2	2.9	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	47	4.4	2.7	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	48	4.1	2.8	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	49	4.0	2.8	2.3	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	50	4.0	2.8	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	穎・胚乳	破片	炭化	15	−	−	−	−	−	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	160	−	1	4.9	2.6	1.6	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.6	2.8	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	3	4.3	2.3	1.7	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.3	2.5	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.8	2.8	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.7	2.7	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	7	5.0	2.4	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	8	5.0	2.4	1.7	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	9	5.0	2.7	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	10	4.2	2.5	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	11	4.5	2.8	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	12	4.6	2.5	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	13	3.6	1.8	1.2	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	14	4.7	2.9	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	15	4.9	2.6	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	16	4.0	3.1	2.0	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	17	4.0	2.5	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	18	4.8	2.5	2.2	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	19	4.1	2.9	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	20	3.9	2.7	1.8	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	21	3.8	3.0	2.3	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	22	4.2	2.7	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	23	3.4	2.2	1.2	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	24	4.4	2.4	1.9	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	25	3.9	2.7	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	26	3.8	2.6	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	27	4.1	2.6	2.1	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	28	4.7	2.0	1.5	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	29	4.2	2.5	2.2	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	30	4.3	1.9	1.5	
10	SX30	11～13層	イネ	胚乳	破片	炭化	26	−	−	−	−	−	
11	SX34	土器1内	イネ	胚乳	完形	炭化	2	−	1	5.0	2.9	2.0	
11	SX34	土器1内	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.7	2.7	2.0	
11	SX34	土器1内	オオムギ	穎・胚乳	破片	炭化	4	−	−	−	−	−	
11	SX34	土器1内	アサ	果実	完形	炭化	1	−	−	−	−	−	
11	SX34	土器1内	アサ	果実	破片	炭化	8	−	−	−	−	−	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	7	−	1	3.3	1.9	1.5	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.3	2.5	1.5	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	4.4	2.7	1.9	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.5	2.7	2.0	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.0	2.6	2.2	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.2	2.5	1.9	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	7	5.5	3.3	2.0	基部:果実序柄残存
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	胚乳	完形	炭化	2	−	1	4.1 +	2.3	1.8	
12	SX34	炭化物層1層目	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.7	2.7	2.0	
12	SX34	炭化物層1層目	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	1	−	−	4.7 +	3.0	2.3	
12	SX34	炭化物層1層目	オオムギ	穎・胚乳	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	
12	SX34	炭化物層1層目	アサ	果実	完形	炭化	4	−	−	3.6	3.1	2.4	
12	SX34	炭化物層1層目	アサ	果実	破片	炭化	15	−	−	−	−	−	
13	SX34	底面直上	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	1	−	−	4.8	2.8	2.0	
13	SX34	底面直上	イネ	穎・胚乳	破片	炭化	2	−	−	−	−	−	
13	SX34	底面直上	アサ	果実	完形	炭化	7	−	1	3.7	3.4	2.6	

表１．種実同定結果（５）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
13	SX34	底面直上	アサ	果実	完形	炭化	−	−	2	3.7	3.3	2.6	
13	SX34	底面直上	アサ	果実	完形	炭化	−	−	3	3.7	3.4	2.4	
13	SX34	底面直上	アサ	果実	完形	炭化	−	−	4	3.1	2.5	2.2	
13	SX34	底面直上	アサ	果実	完形	炭化	−	−	5	3.1	2.4	2.2	
13	SX34	底面直上	アサ	果実	破片	炭化	42	−	−	−	−	−	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	64	−	1	5.8	3.0	2.3	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	5.4	2.6	1.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	6.3	2.9	2.2	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	5.4	2.4	1.9	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	5.4	2.4	2.1	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	5.2	2.8	2.3	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	7	5.2	2.1	1.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	8	4.6	2.4	1.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	9	4.9	2.5	2.0	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	10	5.8	3.6	2.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	11	5.6	2.4	1.9	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	12	5.9	2.5	2.0	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	13	5.1	2.6	2.1	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	14	4.6	2.0	1.6	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	15	5.1	2.3	2.0	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	16	4.9	2.3	2.2	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	17	4.9	2.8	2.2	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	18	4.5	2.4	1.8	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	19	4.9	2.4	2.0	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	20	5.5	3.0	2.6	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	21	5.3	2.3	2.1	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	22	5.7	2.4	2.0	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	23	5.0	2.6	2.0	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	24	4.6	2.0	1.6	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	25	5.1	2.2	1.9	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	26	4.7	2.3	2.1	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	27	5.0	2.7	2.5	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	28	3.5	2.0	1.5	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	29	4.2	2.0	1.8	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	30	4.5	2.1	1.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	31	5.0	2.5	2.1	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	32	4.7	2.4	1.6	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	33	4.3	1.9	1.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	34	5.4	2.3	1.7	
14	SX35	3層	オオムギ	穎・胚乳	破片	炭化	6	−	−	−	−	−	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	32	−	1	3.5	2.6	2.4	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	3.8	2.6	2.0 +	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	3	3.7	2.6	2.3	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	4	2.0 +	2.2	2.0	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	5	3.7	2.8	2.5	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.0	2.7	2.4	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	7	3.9	3.2	2.4	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	8	3.4	2.7	1.9	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	9	3.3	2.2	1.9	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	10	3.5	2.5	2.0	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	11	3.3	2.5	2.1	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	12	3.2	2.4	1.6	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	13	3.1	2.2	1.7	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	14	3.4	2.1	1.9	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	15	3.4	2.8	2.4	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	16	3.2	2.4	2.3	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	17	3.1	2.2	1.8	
14	SX35	3層	コムギ	胚乳	完形	炭化	−	−	18	3.2	2.4	2.0	
15	SX41	1～5層	種実ではない（炭化材）		破片	炭化	−	19	−	−	−	−	
15	SX41	1～5層	種実ではない（土粒）		−	−	−	5	−	−	−	−	
15	SX41	1～5層	種実ではない（ミミズ類の卵胞?）		−	−	−	2	−	−	−	−	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	10	−	1	4.5 +	3.6	2.3	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	2	5.4	3.9	2.9	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	3	5.0	4.1	2.4	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	4	6.2	3.6	2.7	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	5	5.0	3.1	2.2	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	6	5.4	3.8	2.7	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	7	5.0	3.6	2.9	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	8	5.2	3.3	2.2	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	9	5.4	3.7	2.7	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	10	5.0	3.5	2.9	
16	SX42	2層	ブドウ	種子	破片	非炭化	1	−	−	−	−	−	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	20	−	1	4.7	2.6	2.0	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.3	2.4	1.9	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	3	5.0	2.3	1.9	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.9	2.7	1.7	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.8	2.5	2.0	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.4	2.4	1.9	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	7	4.2	2.2	1.9	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	8	4.4	2.2	2.0	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	9	5.0	2.6	2.0	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	10	4.2	2.8	2.0	
16	SX42	2層	イネ	胚乳	破片	炭化	2	−	−	−	−	−	
16	SX42	2層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	6	−	1	5.2	2.9	2.3	
16	SX42	2層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.9	2.3	1.8	

表1．種実同定結果（6）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
16	SX42	2層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	5.0	2.5	2.0	
16	SX42	2層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	5.1	2.7	2.0	
16	SX42	2層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.6	2.0	1.7	
16	SX42	2層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	5.0	2.2	2.0	
17	SX42	3層	イネ	胚乳	破片	炭化	1	−	−	3.9	2.7	−	
18	SX43	2〜3層	コナラ属（クヌギ?）	果皮	破片	炭化	4	−	−	5.6 +	7.0 +	−	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	62	−	1	4.0	2.0	1.7	4個:果実序柄残存
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.3	2.4	1.7	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	4.3	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.0	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.0	2.4	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.1	2.5	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	7	5.4	3.0	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	8	4.5	3.0	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	9	4.0	2.7	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	10	4.2	2.5	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	11	5.5	3.0	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	12	4.6	3.0	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	13	4.5	2.7	1.7	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	14	4.1	2.5	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	15	4.1	2.4	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	16	5.6	3.0	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	17	4.8	2.7	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	18	4.5	2.7	1.8	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	19	4.8	2.6	1.7	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	20	4.2	2.7	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	21	5.6	3.1	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	22	4.7	2.7	1.8	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	23	4.9	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	24	4.7	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	25	4.5	2.7	2.2	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	26	4.9	2.8	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	27	5.0	3.0	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	28	4.7	3.0	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	29	4.5	2.8	1.7	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	30	4.2	2.5	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	31	4.1	2.3	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	32	5.2	2.9	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	33	4.8	2.7	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	34	4.5	2.6	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	35	4.9	2.6	1.7	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	36	4.7	2.7	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	37	5.0	2.6	1.8	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	38	4.5	2.8	2.3	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	39	4.6	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	40	5.7	2.9	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	41	4.8	2.7	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	42	5.0	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	43	4.8	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	44	4.7	2.7	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	45	4.9	2.8	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	46	5.0	2.8	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	47	4.7	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	48	4.5	2.8	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	49	4.2	2.6	2.1	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	50	4.3	2.6	1.8	
18	SX43	2〜3層	イネ	穎・胚乳	破片	炭化	13	−	−	−	−	−	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	17	−	1	5.0	2.3	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.5	2.7	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	3	4.2	2.5	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.7	2.4	1.9	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.3	2.2	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.4	2.6	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	7	3.7	2.6	2.0	
18	SX43	2〜3層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	8	3.8	2.9	1.8	
19	SX43	2層以下	コナラ属（クヌギ?）	果皮	破片	炭化	2	−	−	5.0 +	4.3 +	−	
19	SX43	2層以下	イワガラミ	果実	完形	炭化	1	−	−	3.2	2.9	−	表面:稜7本残存,果柄:残存長0.3mm
19	SX43	2層以下	ブドウ	種子	完形	非炭化	2	−	1	5.7	3.8	2.6	
19	SX43	2層以下	ブドウ	種子	完形	非炭化	−	−	2	4.9	3.4	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎	破片	炭化	9	−	−	−	−	−	3個:基部
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	340	−	1	5.6	3.2	2.2	3個:穎完全残存
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.9	3.0	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	5.4	2.5	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.5	2.9	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.7	2.8	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	5.6	3.0	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	7	5.0	2.9	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	8	4.6	2.9	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	9	4.2	2.5	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	10	4.3	2.7	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	11	4.2	2.6	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	12	4.8	2.8	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	13	5.0	3.0	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	14	4.3	2.9	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	15	4.3	2.8	1.9	

表１．種実同定結果（７）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	16	5.0	2.9	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	17	4.9	3.1	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	18	4.6	2.7	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	19	5.1	2.9	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	20	4.4	3.1	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	21	4.8	2.8	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	22	4.3	2.8	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	23	4.9	2.8	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	24	4.7	2.7	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	25	4.5	2.9	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	26	4.2	2.5	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	27	3.9	2.4	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	28	4.7	2.8	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	29	5.0	2.7	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	30	4.7	2.9	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	31	4.9	2.7	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	32	4.6	2.9	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	33	4.8	3.0	2.4	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	34	4.2	2.5	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	35	4.8	2.7	1.6	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	36	4.9	2.8	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	37	4.4	2.8	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	38	4.5	2.6	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	39	4.4	2.7	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	40	4.4	2.8	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	41	4.7	2.9	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	42	4.3	2.5	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	43	4.1	2.5	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	44	5.3	2.7	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	45	4.8	2.8	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	46	4.5	2.4	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	47	4.8	2.9	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	48	4.2	2.3	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	49	4.5	3.0	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	50	4.3	2.6	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	51	4.6	2.7	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	52	4.1	2.9	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	53	4.7	2.8	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	54	4.6	2.9	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	55	4.3	2.8	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	56	4.1	2.6	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	57	4.7	2.9	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	58	4.6	3.0	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	59	4.9	3.1	2.3	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	60	3.7	2.6	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	61	4.8	2.7	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	62	4.0	2.7	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	63	5.0	3.0	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	64	4.8	2.5	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	65	4.9	2.7	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	66	4.4	2.6	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	67	4.5	2.6	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	68	4.5	2.6	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	69	5.0	2.9	2.3	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	－	－	70	4.5	3.0	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	穎・胚乳	破片	炭化	18	－	－	－	－	－	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	219	－	1	4.0	2.6	2.0	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	2	3.9	2.7	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	3	4.3	2.5	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	4	4.3	2.5	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	5	3.9	2.6	1.6	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	6	4.4	2.9	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	7	4.1	2.3	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	8	4.3	2.4	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	9	4.3	2.7	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	10	4.2	2.4	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	11	4.1	2.5	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	12	4.2	2.5	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	13	4.1	2.1	1.5	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	14	4.5	2.5	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	15	4.1	2.2	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	16	4.8	2.8	2.2	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	17	4.2	2.6	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	18	4.0	2.5	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	19	3.9	2.6	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	20	4.6	2.6	1.8	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	21	4.3	2.7	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	22	4.4	2.5	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	23	4.1	2.4	1.6	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	24	4.4	2.5	1.6	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	25	4.2	2.7	2.1	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	26	3.5	2.2	1.6	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	27	4.8	2.6	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	28	4.2	2.4	1.9	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	－	－	29	4.1	2.4	1.7	

表1．種実同定結果（8）

試料情報			同定結果						計測値（mm）				
番号	遺構名	地点・層位	分類群	部位	状態		個数	他	枝番	長さ	幅	厚さ	備考
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	30	4.4	2.5	1.7	
19	SX43	2層以下	イネ	胚乳	破片	炭化	38	−	−	−	−	−	
20	SX57	埋土下位	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	4	−	1	4.0	2.3	1.9	
20	SX57	埋土下位	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	3.7	2.2	1.9	
20	SX57	埋土下位	イネ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	4.8	2.8	2.0	
20	SX57	埋土下位	イネ	胚乳	完形	炭化	3	−	1	4.7	2.3	2.0	
20	SX57	埋土下位	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.8	2.5	2.0	
21	SX69	2〜3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	6	−	1	5.8	3.2	2.0	
21	SX69	2〜3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.8	2.7	1.8	
21	SX69	2〜3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	3	4.6	2.6	2.1	
21	SX69	2〜3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	4	4.0	1.7	1.7	
21	SX69	2〜3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	5	4.1	1.8	1.8	
21	SX69	2〜3層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	−	−	6	4.1	1.9	1.5 +	
22	SX74	炭層	イネ	胚乳	完形	炭化	2	−	1	3.5	2.3	2.0	
22	SX74	炭層	イネ	胚乳	完形	炭化	−	−	2	4.3	2.4	2.0	
23	SX75	4層	オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	1	−	−	5.8	2.8	1.4	
24	SI07	南西隅4層（人為堆積）	オニグルミ	核	破片	炭化	1	−	−	8.1 +	−	−	
25	SI07	カマド燃焼面直上	モモ	核	完形	炭化	2	−	−	22.2	15.6	13.4	破片と接合した完形1個体の計測値
25	SI07	カマド燃焼面直上	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	完形と接合し1個体，核と合わせて1個体の可能性
25	SI07	カマド燃焼面直上	モモ	種子	完形	炭化	1	−	−	12.5	8.3 +	2.3 +	核と合わせて1個体の可能性
26	SI08	⑤上部	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	23.0	17.6	14.5	破片と接合した完形1個体の計測値
26	SI08	⑤上部	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	完形と接合し1個体
27	SI08	⑤下部	モモ	核	破片	炭化	6	−	−	−	−	−	種子と合わせて1個体の可能性
27	SI08	⑤下部	モモ	種子	完形	炭化	1	−	−	9.6	7.3 +	4.5	核と合わせて1個体の可能性
28	SI08	カマド	モモ	核	破片	炭化	2	−	−	6.9 +	−	−	
28	SI08	カマド	ナシ属	果実	完形	炭化	1	−	−	12.6	15.7	−	5室確認
29	SI09	Q1 3層	モモ	核	破片	炭化	3	−	−	22.8	17.8	13.4	
29	SI09	Q1 3層	モモ	種子	完形	炭化	1	−	−	15.5	9.9	4.3	
29	SI09	Q1 3層	オニグルミ	核	破片	炭化	11	−	−	8.7 +	17.9 +	−	
30	SI10	ベルト3･4層	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	20.7	12.8 +	−	
31	SI10	QNE埋土下位	モモ	核	破片	炭化	4	−	−	8.6 +	−	−	
32	SI10	QSE埋土最下位	モモ	核	破片	炭化	7	−	−	−	−	−	
32	SI10	QSE埋土最下位	モモ	種子	完形	炭化	1	−	−	13.8	8.7	5.5	
33	SI10	貼床内	オニグルミ	核	破片	炭化	9	−	−	15.7 +	−	−	
34	SI17	砂下2層目	オニグルミ	核	破片	炭化	40	−	−	4.6 +	−	−	1個縫合線に沿わず割れている
35	SI22	カマド煙出し底面直上	クヌギ	種皮	破片	炭化	4	−	−	14.1 +	−	0.4	
35	SI22	カマド煙出し底面直上	モモ	核・種子	完形	炭化	1	−	−	25.5 +	16.4	12.4	破片と接合した完形1個体の計測値，上部欠損
35	SI22	カマド煙出し底面直上	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	完形と接合し1個体
35	SI22	カマド煙出し底面直上	不明		破片	炭化?	−	3	−	17.1 +	−	−	
36	SI23	北東部埋土中位	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	23.1	18.2	14.4	
37	SI25	カマド西側埋土	ブドウ	種子	完形	非炭化	1	−	−	5.5	4.0	3.4	
38	SI27	砂層の下	種実ではない（炭化材）		破片	炭化	−	2	−	−	−	−	
39	SI31	QNE1層（砂）	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	20.3	14.5	11.7	
39	SI31	QNE1層（砂）	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	17.7	10.8 +	10.7 +	
40	SI31	QNW2層	スモモ	核	完形	炭化	1	−	−	14.4	10.7	7.4	
41	SX52		トチノキ	子葉	破片	炭化	13	−	−	16.0 +	−	−	
41	SX52		トチノキ	種皮	破片	炭化	5	−	−	24.9 +	−	−	
41	SX52		モモ	核	破片	炭化	1	−	−	16.5 +	14.0	4.5 +	
41	SX52		種実ではない（炭化材）		破片	炭化	−	6	−	15.0 +	−	−	黒色物質，発泡している
42	SX55	4層下	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	23.1	15.1	11.3	
42	SX55	4層下	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	11.3 +	12.0 +	6.4 +	約1/4個体
43	SX57	焼土粒層の上	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	20.3	16.1 +	15.4 +	頂部・腹面欠損
44	SX57	炭化物層	モモ	核	破片	炭化	2	−	1	19.0	16.5	7.6 +	
44	SX57	炭化物層	モモ	核	破片	炭化	−	−	2	14.4	13.4	6.2 +	
45	SX28	1層（炭化物層より上）	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	−	6.7 +	−	
46	SX48		スモモ	核	完形	炭化	1	−	−	12.9	10.5	6.5	
46	SX48		スモモ	核	破片	炭化	4	−	−	−	−	−	
47	SX58	1層	オニグルミ	核	破片	炭化	2	−	−	21.2 +	18.4	10.3 +	頂部・隔壁一部を欠損
47	SX58	1層	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	21.6	15.3	10.4	
47	SX58	1層	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	
48	SX58	3層以下	オニグルミ	核	破片	炭化	2	−	−	13.0 +	−	−	
48	SX58	3層以下	モモ	果実	破片	炭化	1	−	−	13.9 +	−	−	果皮:厚さ1.4㎜
48	SX58	3層以下	モモ	果実・種子	完形	炭化	2	−	1	26.9	17.9 +	16.0	腹面欠損，果皮:厚さ2㎜
48	SX58	3層以下	モモ	果実・種子	完形	炭化	−	−	2	18.1 +	12.2 +	12.4	背面欠損，果皮:厚さ2㎜
48	SX58	3層以下	モモ	果実・核	破片	炭化	2	−	1	16.0 +	14.7 +	11.3 +	上部欠損，果皮:厚さ1㎜
48	SX58	3層以下	モモ	果実・核	破片	炭化	−	−	2	18.3 +	16.6 +	7.9 +	果皮:厚さ0.5〜1㎜
48	SX58	3層以下	モモ	核・種子	完形	炭化	2	−	1	19.7	11.4 +	10.5	背面欠損
48	SX58	3層以下	モモ	核・種子	完形	炭化	−	−	2	19.3	13.4 +	10.8	腹面欠損
48	SX58	3層以下	モモ	核・種子	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	
48	SX58	3層以下	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	19.8	14.2	11.2	
48	SX58	3層以下	モモ	核	破片	炭化	17	−	−	−	−	−	計3〜4個体分
48	SX58	3層以下	モモ	種子	破片	炭化	2	−	1	14.0	8.3	4.6	
48	SX58	3層以下	モモ	種子	破片	炭化	−	−	2	11.1	7.7	3.8	
48	SX58	3層以下	モモ	種子	破片	炭化	4	−	−	−	−	−	
49	SU05	埋土下位	クヌギ	子葉	破片	炭化	1	−	−	15.6	9.8 +	6.3 +	
50	SK42	1層上位	オニグルミ	核	破片	炭化	2	−	−	24.0 +	−	−	
51	SK53	埋土	モモ	核	完形	炭化	1	−	−	19.6	16.1	12.3	破片と接合した完形1個体の計測値
51	SK53	埋土	モモ	核	破片	炭化	1	−	−	−	−	−	完形と接合し1個体
52	SK71	埋土	モモ	核	破片	炭化	2	−	−	21.0	14.9	11.5	接合して1個体
53	SN05	焼成面	オニグルミ	核	破片	炭化	1	−	−	8.9 +	−	−	
54	SU02	黒色土層	トチノキ	種子	破片	炭化	6	−	−	7.1 +	−	−	計約1個体分，未熟個体

注）計測値はデジタルノギスによる。欠損等で完全な計測値を得られない場合は、残存値にプラス（+）で示し、大きさの復元が難しい場合はハイフォン（−）で示す。

表２．種実出土状況

		－	炭化種実																										
		栽培種														栽培種？			その他（堅果類）						木本		草本		
		ブドウ	スモモ	モモ			イネ			オオムギ	ムギ類＊	コムギ		アサ	エゴマ	ナシ属	ヒエ近似種	マメ科	オニグルミ	クヌギ?	クヌギ		トチノキ		イワガラミ	サンショウ	イネ科	タデ属	
遺構名	地点・層位	種子	核	果実	核	種子	穎	穎・胚乳	胚乳	穎・胚乳	穎・胚乳	穎・胚乳	胚乳	果実	果実	果実	穎・胚乳	種子	核	果皮	種皮	子葉	種皮	子葉	果実	種子	穎・胚乳	果実	合計
SI07	南ベルト4層（人為堆積）	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SI08	カマド	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	カマド19a層	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SI09	カマド	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4
SI19	カマド燃焼面	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
SI24	カマド5a･5b層	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SI27	炭化物層（なげこみ）	－	1	－	2	2	－	100	62	1217	184	12	103	1	－	－	2	－	1	－	－	－	－	－	－	1	1	1	1690
SI33	煙出し下層	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SX30	5～7層	－	－	－	－	－	－	3	42	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	45
	11～13層	－	－	－	－	－	4	251	186	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	441
SX34	土器1内	－	－	－	－	－	－	－	2	4	－	－	－	9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15
	炭化物層1層目	－	－	－	－	－	－	9	－	2	－	－	－	19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	30
	底面直上	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	49	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	52
SX35	3層	－	－	－	－	－	－	－	－	70	－	－	32	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	102
SX41	1～5層	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
SX42	2層	11	－	－	－	－	－	－	22	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	39
	3層	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SX43	2～3層	－	－	－	－	－	－	75	17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	96
	2層以下	2	－	－	－	－	9	358	257	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	1	－	－	－	629
SX57	埋土下位	－	－	－	－	－	－	4	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7
SX69	2～3層	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
SX74	炭層	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SX75	4層	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SI07	南西隅4層（人為堆積）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	カマド燃焼面直上	－	－	－	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4
SI08	⑤上部	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
	⑤下部	－	－	－	6	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7
	カマド	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
SI09	Q1 3層	－	－	－	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15
SI10	ベルト3･4層	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	QNE埋土下位	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4
	QSE埋土最下位	－	－	－	7	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	8
	貼床内	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9
SI17	砂下2層目	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	40	－	－	－	－	－	－	－	－	－	40
SI22	カマド煙出し底面直上	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	6
SI23	北東部埋土中位	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SI25	カマド西側埋土	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SI31	QNE1層（砂）	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
	QNW2層	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SX52		－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	13	－	－	－	－	19
SX55	4層下	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SX57	焼土粒層の上	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	炭化物層	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SX28	1層（炭化物層より上）	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SX48		－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5
SX58	1層	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4
	3層以下	－	－	5	21	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	34
SU05	埋土下位	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1
SK42	1層上位	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SK53	埋土	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SK71	埋土	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
SN05	焼成面	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
SU02	黒色土層	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	6
合計		14	7	5	69	12	13	803	600	1307	184	12	137	78	1	1	2	6	69	6	4	1	5	19	1	1	1	1	3359

注）＊ムギ類：オオムギまたはコムギ

〈木本〉

・オニグルミ（*Juglans mandshurica* Maxim. var. sachalinensis（Miyabe et Kudo）Kitamura）　クルミ科クルミ属

核（内果皮）は炭化しており黒色、完形ならば径2.5～3.5㎝程度の広卵体で頂部は尖り、１本の明瞭な縦の縫合線がある。内果皮は硬く緻密で、表面には縦方向の浅い維管束の彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る２つの大きな窪みと隔壁がある。

出土核は全て半分未満の破片で、頂部と隔壁の一部を欠損する個体（SX58；１層）や、縫合線に沿わず割れた個体（SI17）が確認された。これらは、人が食用のために叩き割った打撃痕の可能性がある。

・クヌギ（*Quercus acutissima* Carruthers）　ブナ科コナラ属

子葉・種皮・果皮は、炭化しており黒色、径1.6㎝の偏球体で、頂部はわずかに尖り、基部は切形。出土子葉は、子葉の合わせ目に沿って割れた半分未満で（約1/4個体）である。子葉は硬く緻密で、表面には縦方向に走る維管束の圧痕がある。半割面はやや平滑で、正中線上は僅かに窪み、頂部には長径1.5㎜の小さな孔（主根）がある。子葉1個を包む種皮は、残存径1.4㎝で丸みを帯び、厚さ0.4㎜と薄く柔らかく、表面は粗面で粗い縦筋がある。縦筋は内面に顕著である。種皮の外側を包む果皮は、残存径0.7㎝で丸みを帯び、種皮よりも厚く堅く断面は柵状である。果皮表面はやや平滑で、微細な縦筋が配列する。本分析では果皮をコナラ属（クヌギ？）としているが、厚さや丸みの形状より、クヌギである可能性が高い。

・イワガラミ（*Schizophragma hydrangeoides* Sieb. et Zucc.）　ユキノシタ科イワガラミ属

果実は炭化しており黒色、長さ3.2㎜、径2.9㎜の倒円錐体で、基部に残存長0.3㎜の果柄が確認される。表面は粗面で側面に10個の縦稜があるが、出土果実は頂部～側面を欠損し、縦稜７個が残存する。稜間の裂開は確認されない。

・スモモ（*Prunus salicina* Lindley）　バラ科サクラ属

内果皮（核）は炭化しており黒色、長さ12.9～14.4㎜、幅9.7～10.7㎜、厚さ6.5～7.4㎜のレンズ状楕円体。頂部はやや尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。１本の明瞭な縦の縫合線が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。縫合線に沿って割れた半分以下の破片がみられる。内果皮は厚く硬く、表面にはごく浅い凹みが不規則にみられる（図版2-7,8）。半割面は平滑で、縫合線に沿って割れた面には、１個の種子が入る長さ9.6㎜、幅5.7㎜の広卵状の窪みがある（SI27;図版2-8）。

・モモ（*Prunus persica* Batsch）　バラ科サクラ属

果実（外果皮・中果皮）・核（内果皮）・種子は炭化しており黒色、やや偏平な広楕円体。核は、最小個体（SX57）は、長さ14.4㎜、幅13.4㎜、残存厚6.2㎜、最大個体（SX58;3層以下）は、長さ26.9 ㎜、残存幅17.9㎜、厚さ16.0㎜を測る（図版2-9）。頂部は尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。縫合線に沿って割れた半分以下の破片や、破片が接合して１個体となる個体、割れた内面に種子が残る個体（図版2-9d）がみられる。内果皮は厚く硬く、表面は縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、全体として粗いしわ状にみえる。半割面は平滑で、1個の種子が入る広卵状の窪みがある。種子は、長さ8.2～15.5㎜、幅4.2～9.9㎜、厚さ2.2～5.5㎜の偏平な広卵体で、表面は発泡して焼き崩れている（図版2-10）。

なお、SX58の３層以下より出土した核４個の表面には、果皮の付着が確認された。その他に、果皮の破片も１個確認された。果皮（外果皮＋中果皮）は厚さ0.5～2㎜で、表面は粗面である（図版2-9）。

・ナシ属（*Pyrus*）　バラ科

果実は炭化しており黒色、長さ12.6㎜、径15.7㎜の偏球体。両端はわずかに窪む（図版2-11b）。基部

の窪み（梗窪）の中央はやや隆起し、径1.5㎜、残存長0.5㎜の果柄（果梗）が残る（図版2-11a）。果実頂部の中央には径3.0㎜の円形の孔（萼窪）があり、萼片を欠損する。孔から確認される果芯には５室が確認される（図版2-11c）。果皮表面は浅く微細な円形の粒状模様（皮目）が密布する。岩手県御所野遺跡の平安時代の竪穴住居址から炭化したナシ属の果実（辻,2008）に似る。なお、果実断面の石細胞の確認は未実施である。

・サンショウ（*Zanthoxylum piperitum*（L.）DC.）　ミカン科サンショウ属

種子は炭化しており黒色。長さ3.0㎜、径2.1㎜の非対称広倒卵体。腹面正中線上に斜切形の臍がある。種皮は厚く硬く、表面には浅く微細な網目模様がある（図版2-12）。

・トチノキ（*Aesculus turbinata* Blume）　トチノキ科トチノキ属

種子は炭化しており黒色。完形ならば、径2.5～４㎝程度の偏球体。２号遺物集中部の黒色土層より出土した破片は最大径0.7㎝、推定径は１～1.5㎝程度で、未熟個体と考えられる。種子表面にはほぼ赤道面を蛇行して一周する曲線を境に、不規則な流理状模様がある光沢の強い黒色の上部と、粗面で光沢のない灰褐色の下部の着点に別れる。種皮は薄く硬く、不規則に割れ、最大片は2.5㎝（SX52;図版2-14）。種皮内部の子葉も不規則に割れ、最大片は1.6㎝。表面は粗面でボソボソとしている（SX52図版2-15）。

・ブドウ（*Vitis vinifera* L.）　ブドウ科ブドウ属

種子は灰褐色、長さ4.9～6.2㎜、幅3.1～4.1㎜、厚さ2.0～3.4㎜の狭～広倒卵体、側面観は半広倒卵形、やや偏平なこん棒状などを呈す。基部は、長さ1.5～２㎜、最小径1.5㎜程度のやや太く嘴状に尖る核嘴があり、基部は切形で腹面側の先に臍がある。腹面は正中線上に（鈍）稜をなし、細い筋が走る。正中線の左右には、各１個の長さ２㎜、幅0.3～0.4㎜程度の広線～狭楕円形で深く窪む核窪がある。背面は、正中線上に倒へら形、卵形の合点があり、細く浅い溝に囲まれてやや凹むが不明瞭である。種皮は厚さ0.5㎜程度で、外種皮と内種皮の２枚からなり、表面は粗面である。外種皮の外側は薄く柔らかい膜状、内側はリグニン化した硬化層で、断面は柵状である（図版2-13）。

出土種子は、野生種のブドウ属よりも大型で、核嘴が太く長く、合点が不明瞭でやや凹む形状を呈することから、栽培種（パリノ・サーヴェイ株式会社,2008;2009;松元・千葉2008）と判断される。

〈草本〉

・イネ（*Oryza sativa* L.）　イネ科イネ属

本分析で確認された炭化米は、表面模様がほぼ明瞭で、果皮や種皮が残る「玄米」の状態で、内穎や外穎（籾）が付着する個体が多い。炭化米の出土部位の厳密な区別は困難であるため、本分析では、非可食部の内穎・外穎を「穎（果）」、内部の可食部を「胚乳」としている。

穎・胚乳は、炭化しており黒色、やや偏平な長楕円体を呈す。状態が良好な337個の大きさは、長さは最小3.2～最大6.0（平均4.52±標準偏差0.43）㎜、幅は1.8～3.3（平均2.64±0.24）㎜、厚さは1.2～2.5（平均1.91±0.20）㎜を測る（表３）。また、計測値をもとに粒形（長さ／幅）、粒大（長さ×幅）（佐藤,1988）を求めた結果、円粒は1.0%、長粒は4.4%のみであり、短粒で小型が46.0%、極小が45.1%と、短粒が大部分（94.6%）を占めた（表４）。

胚乳の基部一端には、胚が脱落した斜切形の凹部がある。表面は、２～３本の縦隆条が明瞭で、穎が付着する個体が多く確認された（図版3-16～18）。

胚乳１個を包む穎は、基部に径１㎜程度の斜切状円柱形の果実序柄（小穂軸）と１対の護穎を有し、その上に外穎（護穎と言う場合もある）と内穎がある。外穎は５脈、内穎は３脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合して稲籾を構成する。果皮は薄く、表面には微細な顆粒状突起が縦列する。顆粒状突起は、胚乳に対して規則的に縦列する個体の他に、横列や斜めに配列するなど、不規則な個体が確認された（図版3-18）。おそらく、火を受けた際に隣接する別個体の穎が付着したと推察される。

表３．炭化米・炭化麦の大きさ

種名	遺構	地点・層位	長さ（㎜）					幅（㎜）					厚さ（㎜）					標本数（n）
			最小	最大	平均		標準偏差	最小	最大	平均		標準偏差	最小	最大	平均		標準偏差	
イネ	全体		3.2	6.0	4.52	±	0.43	1.8	3.3	2.64	±	0.24	1.2	2.5	1.91	±	0.20	337
イネ	SI27	炭化物層	3.2	6.0	4.64	±	0.48	2.0	3.2	2.67	±	0.26	1.4	2.3	1.85	±	0.20	45
イネ	SX30	5～7層	3.6	5.1	4.55	±	0.40	2.2	3.0	2.59	±	0.22	1.2	2.0	1.83	±	0.21	22
イネ	SX30	11～13層	3.4	5.6	4.44	±	0.40	1.8	3.1	2.61	±	0.24	1.2	2.5	1.92	±	0.24	80
イネ	SX42	2層	4.2	5.0	4.59	±	0.32	2.2	2.8	2.46	±	0.19	1.7	2.0	1.92	±	0.11	10
イネ	SX43	2～3層	3.7	5.7	4.59	±	0.45	2.0	3.1	2.67	±	0.21	1.7	2.3	1.95	±	0.14	58
イネ	SX43	2層以下	3.5	5.6	4.49	±	0.39	2.1	3.2	2.69	±	0.21	1.5	2.4	1.93	±	0.19	100
オオムギ	全体		3.5	7.6	5.65	±	0.79	1.7	3.6	2.68	±	0.37	1.4	2.8	2.10	±	0.31	146
オオムギ	SI27	炭化物層	4.5	7.6	5.95	±	0.70	2.0	3.5	2.79	±	0.31	1.4	2.8	2.17	±	0.29	100
オオムギ	SX35	3層	3.5	6.3	5.05	±	0.55	1.9	3.6	2.44	±	0.34	1.5	2.7	1.97	±	0.30	34
コムギ	全体		3.1	4.7	3.50	±	0.33	1.9	3.2	2.47	±	0.26	1.6	2.5	1.97	±	0.26	55
コムギ	SI27	炭化物層	3.2	4.5	3.50	±	0.30	1.9	2.9	2.44	±	0.24	1.6	2.2	1.91	±	0.21	37
コムギ	SX35	3層	3.1	4.0	3.43	±	0.27	2.1	3.2	2.52	±	0.29	1.6	2.5	2.08	±	0.30	16

注）標本数10個以上の試料を対象としている

表４．炭化米の粒形・粒大

試料		粒形	円粒（1.0－1.4）				短粒（1.4－2.0）				長粒（2.0－）				合計
		粒大	極小（8－12）	小（12－16）	中（16－20）	大（20－）	極小（8－12）	小（12－16）	中（16－20）	大（20－）	極小（8－12）	小（12－16）	中（16－20）	大（20－）	
SI27	炭化物層		0	0	0	0	15	22	4	0	3	0	1	0	45
SX30	5～7層		0	0	0	0	9	12	0	0	1	0	0	0	22
SX30	11～13層		1	1	0	0	44	28	0	0	3	3	0	0	80
SX42	2層		0	0	0	0	6	3	0	0	1	0	0	0	10
SX43	2～3層		1	0	0	0	20	31	5	0	1	0	0	0	58
SX43	2層以下		0	0	0	0	48	49	2	0	0	1	0	0	100
炭化米合計			2	1	0	0	142	145	11	0	9	4	1	0	315
頻度（%）			0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	45.1%	46.0%	3.5%	0.0%	2.9%	1.3%	0.3%	0.0%	100.0%

注）粒大（長さ×幅）、粒形（長さ／幅）は、佐藤（1988）の定義に従う

・オオムギ（*Hordeum valgare* L.）　イネ科オオムギ属

穎（果）・胚乳は、炭化しており黒色、やや偏平な紡錘状長楕円体で両端は尖る。状態が良好な146個の大きさは、長さは最小3.5～最大7.6（平均5.65±標準偏差0.79）㎜、幅は1.7～3.6（平均2.68±0.37）㎜、厚さは1.4～2.8（平均2.10±0.31）㎜を測る（表３）。胚乳は、腹面正中線上にやや太く深い縦溝があり、背面は基部正中線上に胚の痕跡があり長楕円状に窪む。表面は粗面で微細な縦筋があり、穎が付着する個体が多くみられる。穎は薄く、表面は粗面で微細な縦筋が配列する（図版3-19）。

・コムギ（*Triticum aestivum* L.）　イネ科コムギ属

胚乳は炭化しており黒色、オオムギよりも丸みを帯びた楕円体を呈す。状態が良好な55個の大きさは、長さは最小3.1～最大4.7（平均3.50±標準偏差0.33）㎜、幅は1.9～3.2（平均2.47±0.26）㎜、幅は1.6～2.5（平均1.97±0.26）㎜を測る（表３）。腹面正中線上にやや太く深い縦溝があり、背面は基部正中線上に胚の痕跡があり丸く窪む。表面はやや平滑で、微細な粒状模様がある（図版3-20）。一部の胚乳の表面には、穎の破片の付着もみられた。穎は薄く、表面は粗面で微細な縦筋が配列する。なお、状態が不良でオオムギとの区別が難しい個体は、両種をハイフォンで結んでいる。

・ヒエ近似種（*Echinochloa cf. utilis* Ohwi et Yabuno）　イネ科ヒエ属

穎・胚乳は炭化しており黒色。径1.8㎜、厚さ1.1～1.4㎜のやや偏平な半広卵体。背面は丸みがあり腹面はやや平ら。胚乳基部正中線上は、背面に長さ1.5㎜、幅1.0㎜の馬蹄形、腹面に径0.5㎜程度の半円形の胚の凹みがある。胚乳表面は粗面。胚乳表面に付着する穎（果）は薄く、表面は平滑で光沢があり、微細な縦長の網目模様が縦列する（図版3-21）。

・イネ科（Gramineae）

穎・胚乳は炭化しており黒色、長さ3.7㎜、径1.1㎜の半長楕円体。背面は丸みがあり腹面は偏平。胚乳の腹面正中線上にやや太く浅い縦溝があり、背面基部正中線上には長径0.6㎜の胚の凹みがある。胚乳表面に残る果皮は薄く、表面に微細な縦長の網目模様が配列する（図版3-22）。オオムギの未熟個体の可能性もあるが、本分析ではイネ科としている。

・アサ（*Cannabis sativa* L.）　クワ科アサ属

果実は炭化しており黒色、一部は灰白色。長さ3.1～3.7㎜、幅2.4～3.4㎜、厚さ2.2～2.6㎜の歪な広卵体。一側面は鈍稜のある狭卵形で他方は稜をなす。両端は切形で、頂部に径0.6㎜程度の楕円形の突起がある。果皮はやや厚く、断面は柵状。表面は粗面で葉脈状網目模様がある（図版3-23）。

・タデ属（*Polygonum*）　タデ科

果実は炭化しており黒色、長さ1.6㎜、幅1.2㎜、厚さ0.9㎜の広卵体。基部は切形で頂部は尖り、花柱基部が残る。背面正中線上には鈍稜がある。果皮表面には微細な網目模様がある（図版3-24）。ヤナギタデ（*P. hydropiper* L.）に似る。

・マメ科（Leguminosae）

種子は炭化しており黒色、長さ3.8～残存4.5㎜、幅2.2～3.0㎜、半分厚1.3～1.4㎜を測り、完形ならば楕円体。出土種子は、子葉の合わせ目に沿って割れた半分以下の破片である。半割面はやや平滑で、胚軸跡の溝が確認される。初生葉を欠損するが、北大基準（吉崎,1992）の「アズキグループ（幼根が臍の終わり程から急に立ち上がり、胚珠中央に向けて伸びる）」に該当する初生葉の痕跡が確認される。種皮表面はやや平滑～粗面（図版3-25）。

・エゴマ（*Perilla frutescens*（L.）Britt. var. japonica Hara）　シソ科シソ属

果実は暗灰褐色、長さ1.9㎜、幅1.8㎜、厚さ1.6㎜の倒広卵体。果実基部は舌状に突出するが、大きな着点部は不明瞭である。果皮表面は泥の付着により不明瞭で、浅く大きく不規則な網目模様は確認できなかった（図版3-26）。

シソ属には、栽培種で軟実のエゴマと、硬実のシソのほかに、硬実の雑草型エゴマがあり、雑草型エゴマの果実の大きさは、エゴマとシソの中間型を示す（新田,2001）。遺跡出土果実の硬実と軟実の区別は難しいが、本分析では、笠原（1982）の基準（長さ1.4～1.5㎜、幅1.1～1.2㎜をシソ、長さ2.0～2.8㎜、幅1.8～2.5㎜をエゴマ）や中山ほか（2000）の計測値を参考に、エゴマとしている。

（4）考　　察

平安時代とされる各遺構の種実遺体群は、木本10分類群（オニグルミ、クヌギ、コナラ属、イワガラミ、スモモ、モモ、ナシ属、サンショウ、トチノキ、ブドウ）、草本９分類群（イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ近似種、イネ科、アサ、タデ属、マメ科（アズキ類）、エゴマ）から成り、栽培のための渡来種であるスモモ、モモ、イネ、オオムギ、コムギ、アサ、エゴマと、栽培種の可能性があるナシ属、ヒエ（近似種）、マメ科（アズキ類）が、全体の大半を占める組成を示した。また、種実遺体には、炭化と非炭化の状態の違いと、遺構により種類組成が異なる特徴が得られた。

種実遺体の状態は、栽培種のブドウのみが炭化していないのに対し、その他の分類群は全て炭化している。ブドウの出土は、山梨県大坪遺跡の９世紀代が最古で（新山,2002）、東京都や山梨県などの江戸～近代の遺構から確認されている（パリノ・サーヴェイ株式会社,2008,2009など）。日本でのブドウ栽培は、1186年甲斐国の雨宮勘解由により、中国から渡来した種から生じたと推察される甲州ブドウが見出され、栽培に移されたのが最初とされる説や、行基伝説などがある。しかし、詳細は不明で、

確実な証拠は戦国期の宣教師の史料に登場するものが最古とされる。江戸時代になると、甲州を主体に３～４品種が存在し、明治時代以後の栽培管理では複数の品種があったとされるが、いずれも詳細は不明である。今回確認されたブドウは、本遺跡周辺域で利用された植物質食料と示唆されるが、他の出土種実が全て炭化している点を考慮すると、後代に由来する可能性が指摘される。出土状況を含めた試料の履歴を慎重に検討することが望まれる。

その他の炭化種実群は、穀類のイネとオオムギ、コムギが多量確認され、全体の９割を占める。イネは、SX43 の２層以下、SX30の11～13層、SI27の炭化物層（なげこみ）の順に多産する。オオムギは、SI27の炭化物層（なげこみ）から1000個超と、SX35の３層などから確認され、コムギと少量のヒエ（近似種）を伴う。

イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ（近似種）は、周辺で栽培されていたか、近辺より持ち込まれたかは不明であるが、当時利用された植物質食糧と示唆され、遺構内への投棄あるいは埋納などの人為的行為に由来する可能性がある。また、出土炭化米、麦は保存状態が良好で、多くのイネ、オオムギと一部のコムギの表面には穎（籾）が残ることから、穎がついた生麦、生麦の段階で火を受け炭化したものとみなされる。また、イネには別個体の穎の付着もみられることから、火を受けた際に多量隣接する状態であったとみなされる。

穀類以外では、主にSX34より出土したアサは、果実が食用や油料に、繊維が衣料や縄用に利用される。SI08のカマドより出土したエゴマは、果実が食用や油料に利用される。SI19のカマド燃焼面より出土したマメ科には、アズキ類の特徴をもつ種子が確認された。アズキ類は、近年の土器圧痕調査や種実遺体の研究で、縄文時代における栽培の可能性が検討されている（小畑,2008;西本ほか,2012など）。これらは、周辺で栽培されていたか、近辺より持ち込まれたかは不明であるが、当時利用された植物質食料と示唆される。

果樹では、スモモ、モモ、ナシ属が確認された。ナシ属は、御所野遺跡の平安時代の竪穴住居址から炭化した果実が出土し、本地域に分布するミチノクナシの可能性と、採取・利用が指摘されている（辻ほか,2004;辻,2008）。渡来種のスモモ、モモは、果実が食用、薬用、祭祀等に、花が観賞用に利用される。周辺で栽培されていたか、近辺より持ち込まれたかは不明であるが、ナシ属とともに当時利用された植物質食料と示唆される。遺構内への投棄または埋納等の人為的行為に由来する可能性も指摘される。

なお、SX58の３層以下から出土したモモと、SI08のカマドから出土したナシ属には、果実が確認された。これらの果実は腐りやすいため、加工しない限り長期保存は困難である。結実期である初夏～初秋に炭化した可能性が指摘され、出土状況に関する詳細な検討が望まれる。

栽培種とその可能性を除いた炭化種実群は、木本のオニグルミ、クヌギ、イワガラミ、サンショウ、トチノキと、草本のイネ科、タデ属が確認された。木本は全て落葉広葉樹で、オニグルミやトチノキは、川沿いなどの湿った場所を好んで生育し、クヌギは丘陵や山地に生育する二次林要素の高木である。低木のサンショウや籐本のイワガラミ、森林の林縁や伐採地、崩壊地などの明るく開けた場所に生育する陽樹である。これらの樹種は、現在の本地域にも分布しており、当時の遺跡周辺域の森林に生育していたと考えられる。草本のイネ科、タデ属は、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物である。調査区周辺域の草地に由来すると考えられる。

また、堅果類のオニグルミは、核内部の子葉が生食可能である。クヌギとトチノキは、あく抜きすることで子葉が食用可能で、何度も茹でこぼしたり、灰汁を加えるなどの高度なあく抜き技術を要する。クヌギ類は特にあくが強いため、現在、食用に利用する地域はなく、加工のための伝承が途絶え

たとされる（渡辺,1975など）。今回確認されたオニグルミ、トチノキ、クヌギは、当時の遺跡周辺域の落葉広葉樹林から持ち込まれた植物質食料と示唆され、火を受け炭化したものとみなされる。その他に、イワガラミは、果実は食用にはならないが、成熟・裂開前に落果、または火を受けた可能性がある。

以上の炭化種実は、どのような由来・経緯を得た結果なのか、被熱し炭化した場所と出土した遺構との関係はどのように考えられるのかは、分析段階で判断することはできないため、出土遺構の性格との検討が望まれる。今回の同定試料はまとまった数量があることから、時代・時期、遺跡、遺構、出土遺物、遺構の埋没過程などの別と、同定結果を比較検討することにより、より鮮明な特徴や傾向がみえるものと思われる。

引用文献

石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.

笠原安夫, 1982, 鳥浜貝塚の植物種実の検出とエゴマ・シソ種実タール状塊について.鳥浜貝塚1980年度発掘調査概報・研究の成果－縄文前期を主とする低湿地遺跡の調査2－,福井県教育委員会,65-87.

松元美由紀・千葉博俊, 2008, 現生ブドウ属種子の形状と遺跡出土種実との比較.日本植生史学会第23回大会講演要旨集,59-60.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志, 2000, 日本植物種子図鑑.東北大学出版会,642p.

新山雅広, 2002, 大坪遺跡から出土した大型植物化石.大坪遺跡－平成12年度調査地点の報告－,大坪遺跡発掘調査会,30-34,図版46-48.

西本豊弘・住田雅和・竜子正彦・高橋潔・近藤奈央・吉崎伸, 2012, 縄文時代のアズキについて―京都市上里遺跡出土のアズキ類の検討ー.動物考古学,第29号,45-53.

新田みゆき, 2001, シソとエゴマの分化と多様性.栽培植物の自然史－野生植物と人類の共進化－,山口裕文・島本義也編,北海道大学図書刊行会,165-175.

小畑弘巳, 2008, マメ科種子同定法.「極東先史古代の雑穀3」,日本学術振興会平成16～19年度科学研究費補助金（基盤B-2）（課題番号16320110）「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書,小畑弘巳編,熊本大学埋蔵文化財調査室,225-252.

パリノ・サーヴェイ株式会社, 2008, 自然化学分析.山梨県埋蔵文化財センター調査報告書　第258集　甲府城下町遺跡（北口県有地）－北口県有地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－,山梨県教育委員会,245-263.

パリノ・サーヴェイ株式会社, 2009, 自然科学分析結果.東京都文京区　護国寺門前町遺跡－小西氏共同住宅新築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書－,テイケイトレード株式会社　埋蔵文化財事業部編,小西氏・テイケイトレード株式会社・埋蔵文化財事業部,99-116.

佐藤敏也, 1988, 弥生のイネ.弥生文化の研究2生業,金関　恕・佐原　真編,雄山閣,97-111.

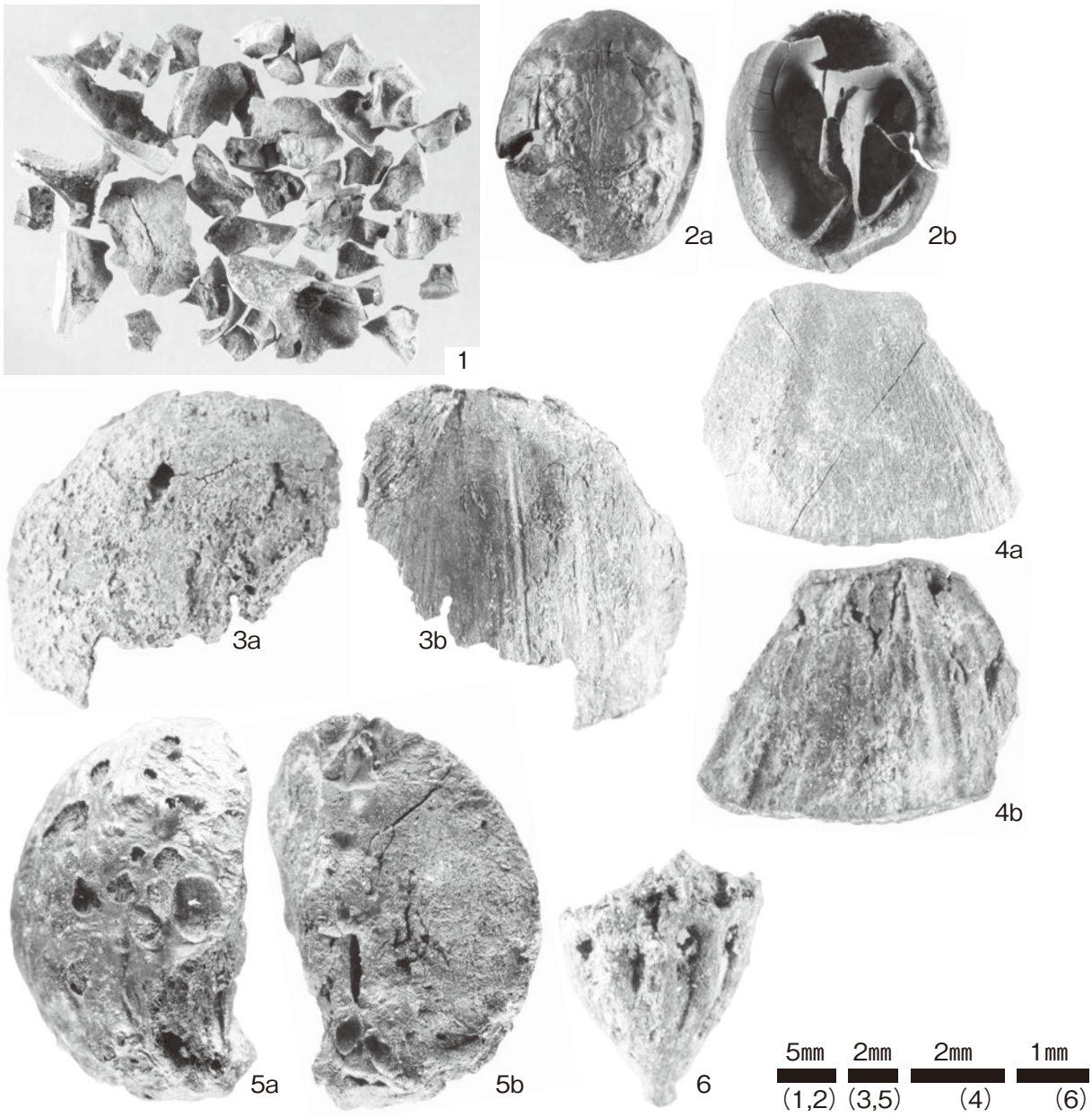
辻圭子, 2008, 岩手県御所野遺跡から産出した平安時代のナシ属炭化果実.植生史研究第16巻第1号,25-27.

辻誠一郎・辻圭子・大松しのぶ, 200, 御所野遺跡出土の古代植物遺体群とその意義.御所野遺跡Ⅱ　一戸町文化財調査報告書第48集,一戸町教育委員会,288-292.

吉崎昌一, 1992, 古代雑穀の検出.月刊考古学ジャーナル,No.355,2-14.

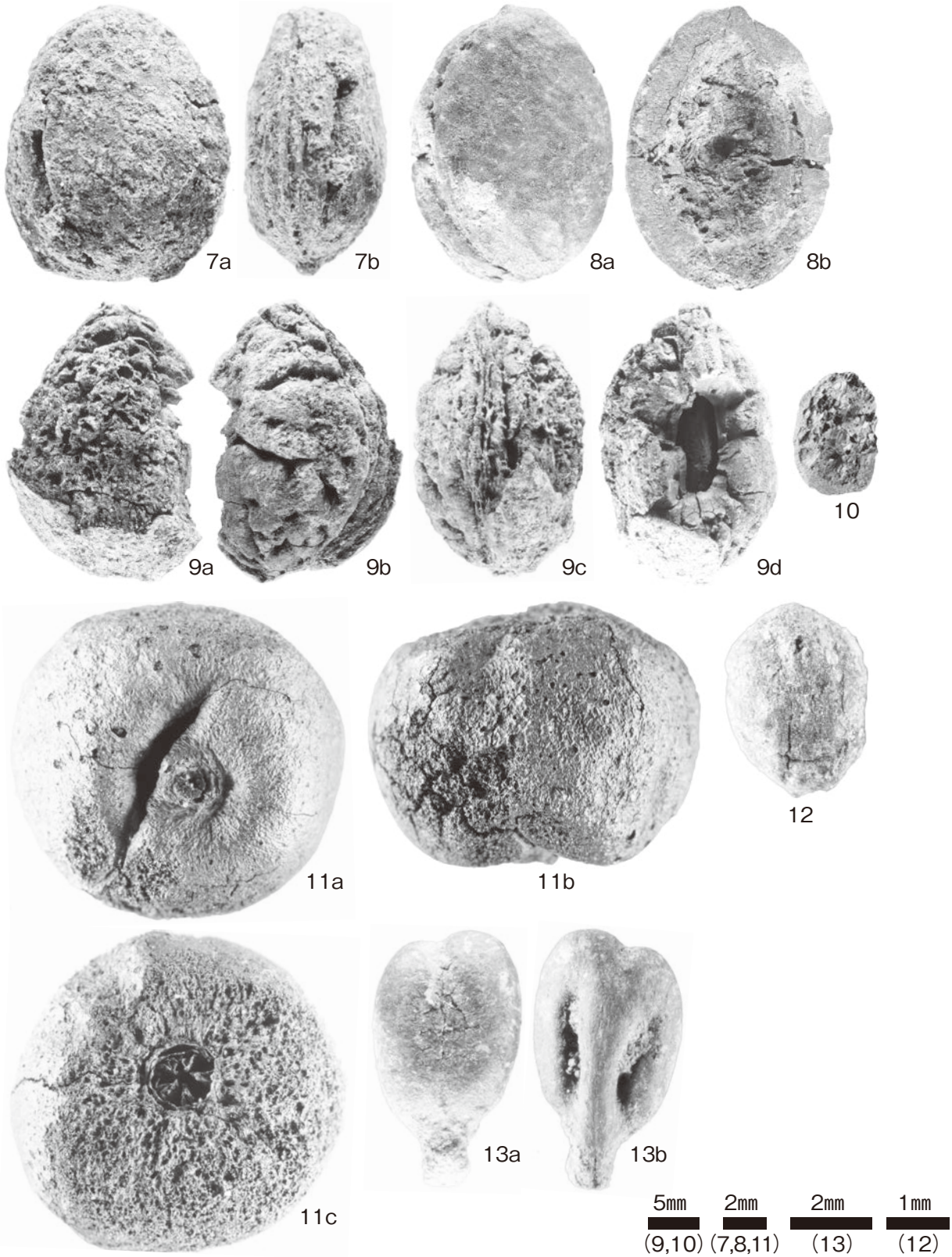
渡辺誠, 1975, 縄文時代の植物食.雄山閣出版,187p.

図版１　種実遺体（１）



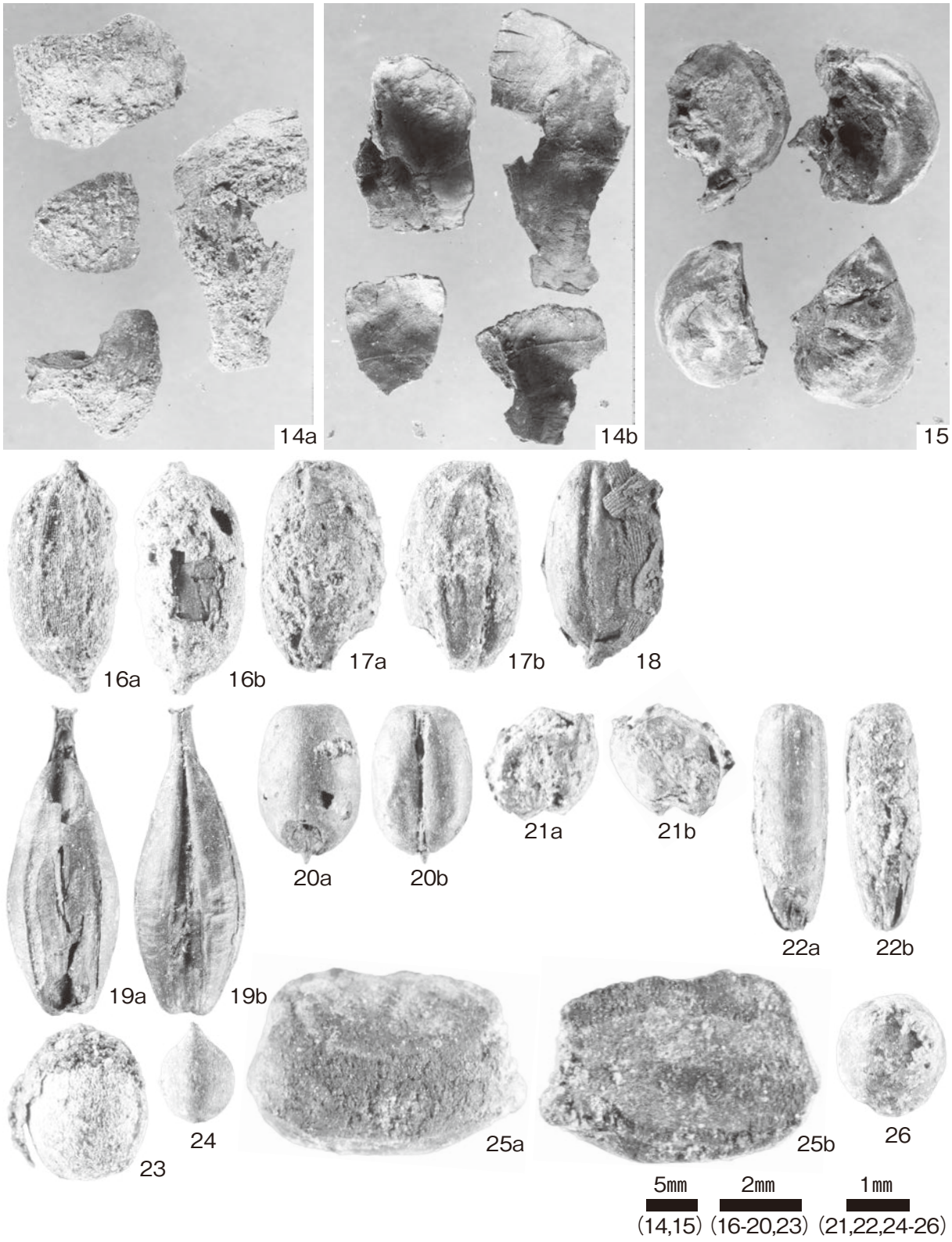
１．　オニグルミ 核（SI17;砂下2層目）
２．　オニグルミ 核（SX58;1層）
３．　クヌギ 種皮（SI22;カマド煙出し底面直上）
４．　コナラ属（クヌギ？） 果皮（SX43;2～3層）
５．　クヌギ 子葉（SK40;埋土下位）
６．　イワガラミ 果実（SX43;2層以下）

図版２　種実遺体（２）



７. スモモ 核（SX48）
８. スモモ 核（SI27;炭化物層（なげこみ））
９. モモ 果実・種子（SX58;3層以下）
10. モモ 種子（SX58;3層以下）
11. ナシ属 果実（SI08;カマド）
12. サンショウ 種子（SI27;炭化物層（なげこみ））
13. ブドウ 種子（SX42;埋土2層）

図版３　種実遺体（３）



14. トチノキ 種皮（SX52）
15. トチノキ 子葉（SX52）
16. イネ 穎･胚乳（SX43;2層以下）
17. イネ 穎･胚乳（SX43;2層以下）
18. イネ 穎･胚乳（穎:別個体）（SX30;11～13層）
19. オオムギ 穎･胚乳（SI27;炭化物層（なげこみ））
20. コムギ 胚乳（SI27;炭化物層（なげこみ））
21. ヒエ近似種 穎･胚乳（SI27;炭化物層（なげこみ））
22. イネ科 穎･胚乳（SI27;炭化物層（なげこみ））
23. アサ 果実（SX34;底面直上）
24. タデ属 果実（SI27;炭化物層（なげこみ））
25. マメ科（アズキ類） 種子（SI19;カマド燃焼面）
26. エゴマ 果実（SI08;カマド）

３－３　炭化種実同定（２）

千苅遺跡出土炭化種実遺体に係る前回の分析調査（３－３（１））では、平安時代の各遺構より、イネ、オオムギ、コムギなどの栽培種の炭化種実が多量検出された。今回の分析調査では、平安時代の竪穴住居跡、土坑、焼成遺構、遺物集中部等の遺構覆土および遺物包含層の洗い出しにより検出された炭化種実の同定を実施し、当時の植物利用や植生に関する資料を作成する。

（１）　試　　料

試料に添付されていた、千苅遺跡フローテーション用土壌サンプル一覧（岩手県文化振興事業団作成）をもとに作成した分析試料一覧を、表１に示す。試料は、各遺構覆土の水洗乾燥済162点（仮番号W1～83,85～162）である。試料は、「５以上」、「５通過」、「３通過」、「１通過」の篩粒径別と、「炭化種子」とに分類され、合計475袋（計5854.4g）である。今回の分析を行うにあたり、同一試料で複数点みられる場合は便宜上全袋に枝番を付して整理する（表１）。

炭化種実同定は、全試料を対象に実施し、試料全体の種類組成の把握と、イネなどの一部を対象とした炭化種実の計測を実施する。

（２）　分　析　方　法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体を抽出する。

同定は、現生標本および椿坂（1993）、石川（1994）、中山ほか（2000）、小畑（2008;2011）、鈴木ほか（2012）等を参考に実施し、部位・状態別の個数を数えて結果を一覧表で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間は、ハイフォンで結んで表示する。多量の炭化種実が確認される試料は、保存状態が良好な一定個数を上限とし、残りの状態不良な微細片等は「～主体（例えばオオムギ主体）」とし、容積（cc）での表示にとどめている。

計測は、栽培種のイネ（炭化米）と、栽培種の可能性を含むマメ科（アズキ類、ダイズ類）、ウルシ属などを対象として、保存状態が良好な一部の種実の長さ、幅、厚さ等をデジタルノギスで計測し、結果を一覧表で示す。欠損等で完全な計測値を得られない場合は、残存値にプラス（+）で示す。
分析後は、炭化種実を分類群別に容器に入れ、残渣は袋に戻して返却する。

（３）　結　　果

同定結果を表２に、出土状況を表３に示す。また、炭化種実各分類群の写真を図版１～３に、主な炭化種実類の計測値を表４に示して同定根拠とする。

全試料を通じて、被子植物47分類群（オニグルミ、クリ、マタタビ近似種、キイチゴ属、サクラ節、スモモ、モモ、サンショウ、キハダ、ウルシ属、トチノキ、タラノキ、ニワトコ、オモダカ科、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワ、ハトムギ？、イネ科（タイヌビエ？、他）、ホタルイ属（サンカクルイ類）、ホタルイ属、アサ、ギシギシ属、イシミカワ近似種、イヌタデ近似種、ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属（２面平滑、３面平滑、粗面）、ソバ、アカザ属、ヒユ属、キジムシロ類、マメ科（アズキ類、ダイズ類、野生種）、カタバミ属、エノキグサ、シソ属（エゴマ）、ナス属、オミナエシ属、オナモミ属）14863個の炭化種実が同定された。21個は同定ができなかった。分析残渣は、炭化鱗茎、炭化種実微細片、炭化材、樹皮、土粒、砂礫、土器片、昆虫類、骨片や、炭化していない

ミミズ類の卵胞？、植物片、スギナ類の地下茎、栽培種のブドウの種子などが確認された。

この内、W50（SI64埋土）より確認された炭化鱗茎は、破片が２個で、接合する可能性が高い。炭化鱗茎は、黒色、長さ2.3cm、径1.6cmの広卵体を呈し、鱗茎葉の微細片も確認される。保存状態が不良のため、鱗茎葉の配列は不明瞭であるが、表面に横長多角形状の細胞が縦列する状況が確認された（図版4-4）。炭化鱗茎は、形状観察による同定は困難であるが、近年、鱗茎葉の細胞形態観察により、ネギ属ノビル - ツルボ属型、ヒガンバナ属型、ネギ属アサツキ型等にタイプ分けが可能なことが見出されている（佐々木・米田,2014）。本分析では、炭化鱗茎の今後の同定の可能性に備えて、非破壊での計測（表４）および写真記録（図版４）と保存にとどめている。

炭化種実の出土個数（不明含む）は、SI58が2268個（アワ主体）と最も多く、次いでSX58（2184個；オオムギ、イネ、キビ、アワ等）、SX129（2019個；クリ果皮片主体）、SX89b（1756個；オオムギ主体）、SX43（1337個；イネ主体）、SX85（1312個；イネ主体）の順に多い。

炭化種実群は、栽培種（可能性含む）が11354個と全体の約８割を占め、クリの果皮片主体の堅果類が約２割（3343個）（ただし、容積や重量は堅果類が最多）、その他の分類群が少量（約１％）混じる組成を示す。栽培種は、スモモ、モモ、オオムギ、コムギ、ハトムギ？、イネ、ヒエ、キビ、アワ、アサ、ソバ、マメ科（アズキ類、ダイズ類）、シソ属（エゴマ）が確認され、今回新たに確認された栽培種は、ハトムギ？の胚乳？１個（SX129）と、ソバの果実２個（SI58）、マメ科（ダイズ類）の種子５個（SI49、SI58、SI75；疑問符含む）である。穀類のイネ、オオムギ、コムギ、雑穀類のキビ、アワ、ヒエを主体とし、穎（籾）付着個体が多い。また、イネの胚乳（炭化米）には、細身の形状が多く含まれる。

栽培種を除いた分類群は、木本は全て落葉広葉樹で、高木になるオニグルミ、クリ、キハダ、トチノキ、高木～小高木のサクラ節、高木～藤本のウルシ属、低木のキイチゴ属、サンショウ、タラノキ、ニワトコ、藤本のマタタビ近似種が確認された。圧倒的な堅果類主体で、クリの果皮片が最も多く、特にSX129で多産する。クリは、可食部である子葉も少量確認された。オニグルミの核の破片がクリに次いで多く、トチノキも少量確認された。草本類は、イネ科、ギシギシ属、イシミカワ近似種、イヌタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属、アカザ属、ヒユ属、キジムシロ類、マメ科、カタバミ属、エノキグサ、ナス属、オミナエシ属、オナモミ属などの、明るく開けた、やや乾いた場所にも生育可能な中生植物と、オモダカ科、サンカクイ類、ホタルイ属などの抽水植物、ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種などの湿生植物が確認された。

（４）　考　　察

今回得られた炭化種実群は、落葉広葉樹13分類群（オニグルミ、クリ、マタタビ近似種、サクラ節、スモモ、モモ、キイチゴ属、サンショウ、キハダ、ウルシ属、トチノキ、タラノキ、ニワトコ）、草本34分類群（オモダカ科、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワ、ハトムギ？、イネ科（タイヌビエ？、他）、サンカクルイ類、ホタルイ属、アサ、ギシギシ属、イシミカワ近似種、イヌタデ近似種、ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属（２面平滑、３面平滑、粗面）、ソバ、アカザ属、ヒユ属、キジムシロ類、マメ科（アズキ類、ダイズ類、野生種）、カタバミ属、エノキグサ、シソ属（エゴマ）、ナス属、オミナエシ属、オナモミ属）からなる。

栽培のための渡来種であるスモモ、モモ、イネ、オオムギ、コムギ、アワ、キビ、ハトムギ？、アサ、ソバ、栽培種の可能性を含むヒエ、マメ科（アズキ類、ダイズ類）、シソ属（エゴマ）が、全体の約８割を占める。また炭化種実の組成が遺構間で大きく異なる特徴もみられる。

前回実施した分析調査でも、落葉広葉樹12分類群（オニグルミ、クヌギ、クリ、コナラ属、マタタ

ビ近似種、イワガラミ、スモモ、モモ、ナシ属、サンショウ、トチノキ、ミズキ)、草本21分類群(ミクリ属、イネ、オオムギ、コムギ、アワ、ヒエ近似種、キビ、イネ科、ホタルイ属、アサ、ギシギシ属、ヤナギタデ近似種、サナエタデ近似種、イヌタデ近似種、タデ属、マメ科(アズキ類)、マメ科、シソ属(エゴマ？)、ナス、ナス科、オナモミ属)が検出されており、栽培種のスモモ、モモ、イネ、オオムギ、コムギ、アワ、キビ、アサ、ナスと、その可能性を含むナシ属、ヒエ(近似種)、マメ科(アズキ類)、シソ属(エゴマ？)が全体の9割以上を占めており、同様な傾向を示すといえる。今回は、新たにハトムギ(？)とソバ、ダイズ類が確認された。

栽培種は、前回と同様に穀類のイネ、オオムギが多いが、コムギと、特に繊維植物のアサが極めて少ない点が異なる。また、キビ、アワ、ヒエなどの雑穀類が多量確認された点は、新知見である。これらの穀類は、周辺で栽培されていたか、近辺より持ち込まれたかは不明であるが、当時利用された植物質食糧と示唆され、遺構内への投棄あるいは埋納などの人為的行為に由来する可能性がある。多くの穀類、雑穀類は、前回と同様に穎(籾)が残る個体が多いことから、穎(籾)が付いた生の状態で火を受け炭化したとみなされ、ムギの穂軸も確認されることから、脱穀前の穂(果序)の状態で火を受けた可能性もある。

栽培種とその可能性を除いた分類群は、木本は全て落葉広葉樹で、高木になる二次林要素のクリと河畔林要素のオニグルミ、キハダ、トチノキや、高木～小高木のサクラ節、高木～藤本のウルシ属、低木のキイチゴ属、サンショウ、タラノキ、ニワトコ、藤本のマタタビ近似種などの、河畔や林縁等の明るく開けた場所を好んで生育する分類群が確認された。これらの分類群は、現在の本地域にも分布しており、当時の本遺跡周辺域の森林に生育していたと考えられる。前回も、二次林要素のクリ、クヌギや河畔林要素のオニグルミやトチノキ、ミズキ、サンショウ、マタタビ近似種、イワガラミが確認されており、今回の組成とも極めて類似する。

また、木本類は圧倒的な堅果類主体の組成を示し、クリの果皮片が最も多く、特にSX129で多産する。次いでオニグルミの核の破片が多く、クリの子葉やトチノキも少量含まれる。出土堅果片は、周辺の落葉樹林から持ち込まれ、食用のために中の子葉を取り出した後の食糧残滓と示唆され、火を受け炭化したとみなされる。

その他に、SI62、SI63、SX42、SX54、SX55、SX129より計８個確認されたウルシ属に関して、現在の本地域に分布するウルシ属は、籐本のツタウルシ、小高木のヌルデ、ヤマウルシのほかに、古くから利用されていた可能性が指摘されている高木のウルシがある。近年の研究では、縄文時代の遺跡から漆製品やウルシの木材、内果皮、花粉化石の出土が確認されている。本分析では、出土核の計測等記録保存を優先したが、今後は走査型電子顕微鏡による表面および壁構造の観察と種の特定が望まれる。

草本類は、抽水植物のオモダカ科、サンカクイ類、ホタルイ属、湿生植物のヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、中生植物のイネ科、ギシギシ属、イシミカワ近似種、イヌタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属、アカザ属、ヒユ属、キジムシロ類、マメ科、カタバミ属、エノキグサ、ナス属、オミナエシ属、オナモミ属が確認された。これらは、当時の調査区周辺域の明るく開けた草地環境に生育していたと考えられ、抽水植物が生育可能な水深が浅い(約１ｍ以浅)の水湿地の存在も推定される。前回も、抽水植物のミクリ属、ホタルイ属、湿生植物のヤナギタデ近似種、中生植物のイネ科、ギシギシ属、サナエタデ近似種、イヌタデ近似種、タデ属、マメ科、ナス科、オナモミ属が確認されており、今回の組成と極めて類似する。

表1．分析試料一覧（1）

仮番号	分析枝番	遺構名	地点・層位	重量（g）				炭化種子	備考
				5以上	5通過	3通過	1通過		
W1	1	SI 39	カマド②焼土	0.13	−	−	−	−	
W1	2	SI 39	カマド②焼土	−	0.21	−	−	−	
W1	3	SI 39	カマド②焼土	−	−	0.21	−	−	
W2		SI 40	埋土	−	−	−	−	0.33	
W3	1	SI 40	カマド①	0.17	−	−	−	−	
W3	2	SI 40	カマド①	−	0.28	−	−	−	
W3	3	SI 40	カマド①	−	−	0.12	−	−	
W4	1	SI 40	Pit1焼土ブロック層	0.86	−	−	−	−	
W4	2	SI 40	Pit1焼土ブロック層	−	0.32	−	−	−	
W4	3	SI 40	Pit1焼土ブロック層	−	−	0.44	−	−	
W5	1	SI 43	Pit2　1層	0.04	−	−	−	−	
W5	2	SI 43	Pit2　1層	−	0.12	−	−	−	
W5	3	SI 43	Pit2　1層	−	−	0.08	−	−	
W6	1	SI 43	カマド①	−	0.05	−	−	−	骨片あり
W6	2	SI 43	カマド①	−	−	0.01	−	−	骨片あり
W7		SI 43	カマド①燃焼部上部	−	0.02	−	−	−	
W8		SI 44	カマド燃焼部上部	−	−	0.14	−	−	
W9	1	SI 45	カマド燃焼部上部	0.23	−	−	−	−	
W9	2	SI 45	カマド燃焼部上部	−	0.2	−	−	−	
W9	3	SI 45	カマド燃焼部上部	−	−	0.37	−	−	
W9	4	SI 45	カマド燃焼部上部	−	−	−	0.04	−	
W10		SK148	最下層	−	−	0.03	−	−	
W11		SK148	最下層	−	−	0.07	−	−	
W12	1	SK148	最下層	0.06	−	−	−	−	
W12	2	SK148	最下層	−	−	0.06	−	−	
W13	1	SI 47	カマド③	−	0.26	−	−	−	
W13	2	SI 47	カマド③	−	−	0.22	−	−	
W14	1	SI 47	カマド③支脚下	0.13	−	−	−	−	
W14	2	SI 47	カマド③支脚下	−	0.23	−	−	−	
W14	3	SI 47	カマド③支脚下	−	−	0.22	−	−	
W15	1	SI 47	カマド③支脚周り	−	0.03	−	−	−	
W15	2	SI 47	カマド③支脚周り	−	−	0.05	−	−	
W15	3	SI 47	カマド③支脚周り	−	−	−	−	0.01	
W16	1	SI 49	カマド	1.09	−	−	−	−	
W16	2	SI 49	カマド	−	0.62	−	−	−	
W16	3	SI 49	カマド	−	−	0.75	−	−	
W17	1	SI 49	カマド	10.07	−	−	−	−	
W17	2	SI 49	カマド	−	2.86	−	−	−	
W17	3	SI 49	カマド	−	−	2.93	−	−	
W17	4	SI 49	カマド	−	−	−	0.55	−	
W18	1	SI 49	カマド	1.02	−	−	−	−	
W18	2	SI 49	カマド	−	0.76	−	−	−	
W18	3	SI 49	カマド	−	−	0.94	−	−	
W18	4	SI 49	カマド	−	−	−	0.12	−	
W18	5	SI 49	カマド	−	−	−	−	0.08	
W19	1	SI 49	カマド	4.59	−	−	−	−	
W19	2	SI 49	カマド	−	3.17	−	−	−	
W19	3	SI 49	カマド	−	−	4.58	−	−	
W19	4	SI 49	カマド	−	−	−	0.75	−	
W20	1	SI 49	カマド左脇	7.5	−	−	−	−	
W20	2	SI 49	カマド左脇	−	0.56	−	−	−	
W20	3	SI 49	カマド左脇	−	−	0.83	−	−	
W20	4	SI 49	カマド左脇	−	−	−	0.32	−	
W21	1	SI 49	カマド脇坏内	0.24	−	−	−	−	
W21	2	SI 49	カマド脇坏内	−	0.26	−	−	−	
W21	3	SI 49	カマド脇坏内	−	−	0.41	−	−	
W21	4	SI 49	カマド脇坏内	−	−	−	0.34	−	
W22	1	SI 50	カマド燃焼部3層	−	0.01	−	−	−	
W22	2	SI 50	カマド燃焼部3層	−	−	2.73	−	−	
W22	3	SI 50	カマド燃焼部3層	−	−	−	22.76	−	
W23	1	SI 51	カマド土器内上部	−	−	0.44	−	−	
W23	2	SI 51	カマド土器内上部	−	−	−	0.93	−	
W24	1	SI 51	カマド土器内中位	0.27	−	−	−	−	
W24	2	SI 51	カマド土器内中位	−	0.26	−	−	−	
W24	3	SI 51	カマド土器内中位	−	−	0.47	−	−	
W24	4	SI 51	カマド土器内中位	−	−	−	1.83	−	
W25	1	SI 51	カマド土器内下位	2.35	−	−	−	−	
W25	2	SI 51	カマド土器内下位	−	0.21	−	−	−	
W25	3	SI 51	カマド土器内下位	−	−	0.47	−	−	
W25	4	SI 51	カマド土器内下位	−	−	−	1.18	−	
W26	1	SI 51	カマド土器内最下部	1.45	−	−	−	−	
W26	2	SI 51	カマド土器内最下部	−	0.44	−	−	−	
W26	3	SI 51	カマド土器内最下部	−	−	1.24	−	−	
W26	4	SI 51	カマド土器内最下部	−	−	−	2.92	−	
W27	1	SI 51	カマド燃焼部2層	0.3	−	−	−	−	
W27	2	SI 51	カマド燃焼部2層	−	0.53	−	−	−	
W27	3	SI 51	カマド燃焼部2層	−	−	15	−	−	
W27	4	SI 51	カマド燃焼部2層	−	−	−	9.81	−	

表１．分析試料一覧（２）

仮番号	分析枝番	遺構名	地点・層位	重量（g）				炭化種子	備考
				５以上	５通過	３通過	１通過		
W28	1	SI 52	カマド脇土器b613内	0.13	－	－	－	－	
W28	2	SI 52	カマド脇土器b613内	－	0.05	－	－	－	
W28	3	SI 52	カマド脇土器b613内	－	－	0.11	－	－	
W28	4	SI 52	カマド脇土器b613内	－	－	－	0.93	－	
W29	1	SI 52	カマド	0.33	－	－	－	－	
W29	2	SI 52	カマド	－	0.29	－	－	－	
W29	3	SI 52	カマド	－	－	7.22	－	－	
W29	4	SI 52	カマド	－	－	－	13.36	－	
W30	1	SI 53	カマド燃焼部上部	0.1	－	－	－	－	
W30	2	SI 53	カマド燃焼部上部	－	0.14	－	－	－	
W30	3	SI 53	カマド燃焼部上部	－	－	5.98	－	－	
W30	4	SI 53	カマド燃焼部上部	－	－	－	9.52	－	
W31		SI 53	北半	－	－	－	－	2.62	
W32	1	SI 54	カマド燃焼部	0.41	－	－	－	－	焼骨・炭化物入
W32	2	SI 54	カマド燃焼部	－	0.64	－	－	－	焼骨・炭化物入
W32	3	SI 54	カマド燃焼部	－	－	46.56	－	－	焼骨・炭化物入
W32	4	SI 54	カマド燃焼部	－	－	－	57.55	－	焼骨・炭化物入
W33	1	SI 54	カマド煙道	－	0.19	－	－	－	焼骨含
W33	2	SI 54	カマド煙道	－	－	7.7	－	－	焼骨含
W33	3	SI 54	カマド煙道	－	－	－	23.74	－	焼骨含
W34	1	SI 54	カマド燃焼部	－	－	32.23	－	－	焼骨土含
W34	2	SI 54	カマド燃焼部	－	－	－	39.64	－	焼骨土含
W35	1	SI 55	カマド支脚	－	－	4.59	－	－	
W35	2	SI 55	カマド支脚	－	－	－	4.34	－	
W36	1	SI 56	焼土1	－	－	10.1	－	－	
W36	2	SI 56	焼土1	－	－	－	13.88	－	
W37	1	SI 56	カマド②pit18	－	0.15	－	－	－	
W37	2	SI 56	カマド②pit18	－	－	1.06	－	－	
W37	3	SI 56	カマド②pit18	－	－	－	4.85	－	
W38	1	SI 58	南東炭層	2.22	－	－	－	－	
W38	2	SI 58	南東炭層	－	1.12	－	－	－	
W38	3	SI 58	南東炭層	－	－	36.47	－	－	
W38	4	SI 58	南東炭層	－	－	－	18.02	－	
W39	1	SI 59	カマド①燃焼部	－	0.64	－	－	－	骨
W39	2	SI 59	カマド①燃焼部	－	－	27.83	－	－	骨
W39	3	SI 59	カマド①燃焼部	－	－	－	17.01	－	骨
W39	4	SI 59	カマド①燃焼部	－	－	－	－	0.19	骨
W40	1	SI 59	カマド①燃焼部	－	0.1	－	－	－	骨入
W40	2	SI 59	カマド①燃焼部	－	－	0.12	－	－	骨入
W40	3	SI 59	カマド①燃焼部	－	－	－	9.16	－	骨入
W41	1	SI 59	カマド②煙道	0.21	－	－	－	－	骨
W41	2	SI 59	カマド②煙道	－	－	1.3	－	－	骨
W41	3	SI 59	カマド②煙道	－	－	－	0.65	－	骨
W42	1	SI 62	カマド①燃焼部	0.52	－	－	－	－	
W42	2	SI 62	カマド①燃焼部	－	0.17	－	－	－	
W42	3	SI 62	カマド①燃焼部	－	－	0.07	－	－	
W42	4	SI 62	カマド①燃焼部	－	－	－	0.97	－	
W43	1	SI 62	カマド①燃焼部上部	－	0.06	－	－	－	
W43	2	SI 62	カマド①燃焼部上部	－	－	25.69	－	－	
W43	3	SI 62	カマド①燃焼部上部	－	－	－	12.63	－	
W44	1	SI 62	カマド①燃焼部焼土上面	－	0.18	－	－	－	
W44	2	SI 62	カマド①燃焼部焼土上面	－	－	81.79	－	－	
W44	3	SI 62	カマド①燃焼部焼土上面	－	－	－	49.22	－	
W45	1	SI 62	カマド①燃焼部焼土上面	－	0.45	－	－	－	
W45	2	SI 62	カマド①燃焼部焼土上面	－	－	61.27	－	－	
W45	3	SI 62	カマド①燃焼部焼土上面	－	－	－	53.1	－	
W46		SI 62	掘り方内	－	－	－	－	1.26	
W47	1	SI 63	カマド燃焼部焼土・灰層	－	－	2.02	－	－	
W47	2	SI 63	カマド燃焼部焼土・灰層	－	－	－	3.43	－	
W48	1	SI 63	カマド燃焼部	0.02	－	－	－	－	
W48	2	SI 63	カマド燃焼部	－	0.31	－	－	－	
W48	3	SI 63	カマド燃焼部	－	－	11.29	－	－	
W48	4	SI 63	カマド燃焼部	－	－	－	16.67	－	
W49		SI 64	カマド燃焼部	－	－	－	7.23	－	
W50		SI 64	埋土	－	－	－	－	0.98	
W51	1	SI 67	カマド燃焼部	0.7	－	－	－	－	
W51	2	SI 67	カマド燃焼部	－	0.15	－	－	－	
W51	3	SI 67	カマド燃焼部	－	－	7.36	－	－	
W51	4	SI 67	カマド燃焼部	－	－	－	17.96	－	
W52	1	SI 68	カマド燃焼部灰層	－	－	11.47	－	－	
W52	2	SI 68	カマド燃焼部灰層	－	－	－	3.51	－	
W53	1	SI 68	カマド支脚	0.09	－	－	－	－	
W53	2	SI 68	カマド支脚	－	－	41.7	－	－	
W53	3	SI 68	カマド支脚	－	－	－	15.22	－	
W54	1	SI 69	カマド燃焼部	－	0.1	－	－	－	
W54	2	SI 69	カマド燃焼部	－	－	42.8	－	－	
W54	3	SI 69	カマド燃焼部	－	－	－	18.46	－	
W55	1	SI 71	カマド燃焼部焼土上面	－	0.24	－	－	－	
W55	2	SI 71	カマド燃焼部焼土上面	－	－	28.73	－	－	
W55	3	SI 71	カマド燃焼部焼土上面	－	－	－	14.3	－	

表1．分析試料一覧（3）

仮番号	分析枝番	遺構名	地点・層位	重量（g）				炭化種子	備考
				5以上	5通過	3通過	1通過		
W56	1	SI 71	埋土	−	−	0.61	−	−	
W56	2	SI 71	埋土	−	−	−	0.75	−	
W57	1	SI 73	カマド①焼土	−	−	7.39	−	−	
W57	2	SI 73	カマド①焼土	−	−	−	2.45	−	
W58	1	SI 74	カマド燃焼部	0.1	−	−	−	−	
W58	2	SI 74	カマド燃焼部	−	−	33.01	−	−	
W58	3	SI 74	カマド燃焼部	−	−	−	9.18	−	
W59	1	SI 75	カマド燃焼部	0.12	−	−	−	−	
W59	2	SI 75	カマド燃焼部	−	0.11	−	−	−	
W59	3	SI 75	カマド燃焼部	−	−	8.89	−	−	
W59	4	SI 75	カマド燃焼部	−	−	−	3.24	−	
W60	1	SI 76	カマド燃焼部	−	−	24.69	−	−	
W60	2	SI 76	カマド燃焼部	−	−	−	7.07	−	
W61	1	SI 77	カマド煙道・燃焼部上部	−	−	0.75	−	−	
W61	2	SI 77	カマド煙道・燃焼部上部	−	−	−	4.55	−	
W62	1	SI 78	カマド燃焼部	−	0.17	−	−	−	
W62	2	SI 78	カマド燃焼部	−	−	2.11	−	−	
W62	3	SI 78	カマド燃焼部	−	−	−	1.31	−	
W63	1	SI 78	pit5埋土	−	−	0.86	−	−	
W63	2	SI 78	pit5埋土	−	−	−	0.46	−	
W64		SI 78	床面土器b876内	−	−	−	0.47	−	
W65	1	SI 79	カマド①燃焼部	13.58	−	−	−	−	
W65	2	SI 79	カマド①燃焼部	−	3.87	−	−	−	
W65	3	SI 79	カマド①燃焼部	−	−	53.89	−	−	
W65	4	SI 79	カマド①燃焼部	−	−	−	14.85	−	
W66	1	SI 79	カマド①燃焼部	−	−	5.77	−	−	
W66	2	SI 79	カマド①燃焼部	−	−	−	1.61	−	
W67	1	SI 80	カマド燃焼部	−	0.12	−	−	−	
W67	2	SI 80	カマド燃焼部	−	−	5.52	−	−	
W67	3	SI 80	カマド燃焼部	−	−	−	2.14	−	
W68	1	SI 81	カマド①燃焼部	0.49	−	−	−	−	
W68	2	SI 81	カマド①燃焼部	−	0.47	−	−	−	
W68	3	SI 81	カマド①燃焼部	−	−	35.29	−	−	
W68	4	SI 81	カマド①燃焼部	−	−	−	35.69	−	
W69	1	SI 82	カマド燃焼部	0.38	−	−	−	−	
W69	2	SI 82	カマド燃焼部	−	0.72	−	−	−	
W69	3	SI 82	カマド燃焼部	−	−	15.53	−	−	
W69	4	SI 82	カマド燃焼部	−	−	−	3.41	−	
W70	1	SI 83	カマド燃焼部	0.22	−	−	−	−	
W70	2	SI 83	カマド燃焼部	−	−	14.7	−	−	
W70	3	SI 83	カマド燃焼部	−	−	−	5.65	−	
W71	1	SI 83	カマド煙道内	−	0.57	−	−	−	
W71	2	SI 83	カマド煙道内	−	−	174.34	−	−	
W71	3	SI 83	カマド煙道内	−	−	−	59.42	−	
W71	4	SI 83	カマド煙道内	−	−	−	−	0.13	
W72	1	SI 83	カマド燃焼部	−	0.13	−	−	−	焼骨混
W72	2	SI 83	カマド燃焼部	−	−	45.04	−	−	焼骨混
W72	3	SI 83	カマド燃焼部	−	−	−	14.2	−	焼骨混
W73	1	SI 83	焼土1下部	3.75	−	−	−	−	
W73	2	SI 83	焼土1下部	−	0.6	−	−	−	
W73	3	SI 83	焼土1下部	−	−	29.53	−	−	
W73	4	SI 83	焼土1下部	−	−	−	27.88	−	
W74	1	SI 84	カマド燃焼部2層	−	−	3.23	−	−	
W74	2	SI 84	カマド燃焼部2層	−	−	−	4.91	−	
W75		SI 84	南西側埋土	−	−	−	−	0.79	
W76		SI 84	カマド燃焼部	−	−	0.6	−	−	
W77	1	SI 86	炭化材①	34.49	−	−	−	−	
W77	2	SI 86	炭化材①	−	6.35	−	−	−	
W77	3	SI 86	炭化材①	−	−	6.19	−	−	
W77	4	SI 86	炭化材①	−	−	−	5.31	−	
W78	1	SI 86	炭化材②	33.46	−	−	−	−	
W78	2	SI 86	炭化材②	−	4.46	−	−	−	
W78	3	SI 86	炭化材②	−	−	4.88	−	−	
W78	4	SI 86	炭化材②	−	−	−	5.7	−	
W79	1	SI 86	炭化材③	191.59	−	−	−	−	
W79	2	SI 86	炭化材③	−	30.4	−	−	−	
W79	3	SI 86	炭化材③	−	−	29.84	−	−	
W79	4	SI 86	炭化材③	−	−	−	15.69	−	
W80	1	SI 86	炭化材④	5.99	−	−	−	−	
W80	2	SI 86	炭化材④	−	1.83	−	−	−	
W80	3	SI 86	炭化材④	−	−	2.51	−	−	
W80	4	SI 86	炭化材④	−	−	−	3.52	−	
W81	1	SI 87	炭化材⑫	0.95	−	−	−	−	
W81	2	SI 87	炭化材⑫	−	0.94	−	−	−	
W81	3	SI 87	炭化材⑫	−	−	2.79	−	−	
W81	4	SI 87	炭化材⑫	−	−	−	1.65	−	
W82	1	SI 87	床上炭層	3.82	−	−	−	−	
W82	2	SI 87	床上炭層	−	0.95	−	−	−	
W82	3	SI 87	床上炭層	−	−	32.12	−	−	
W82	4	SI 87	床上炭層	−	−	−	20.88	−	

表１．分析試料一覧（４）

仮番号	分析枝番	遺構名	地点・層位	重量（g）				炭化種子	備考
				５以上	５通過	３通過	１通過		
W83	1	SI 88	カマド燃焼部	－	0.01	－	－	－	
W83	2	SI 88	カマド燃焼部	－	－	34.47	－	－	
W83	3	SI 88	カマド燃焼部	－	－	－	8.05	－	
W84		SI 91	カマド燃焼部	－	－	126.86	42.94	－	行方不明
W85	1	SI 96	カマド燃焼部	0.12	－	－	－	－	
W85	2	SI 96	カマド燃焼部	－	0.12	－	－	－	
W85	3	SI 96	カマド燃焼部	－	－	26.1	－	－	
W85	4	SI 96	カマド燃焼部	－	－	－	8.01	－	
W86	1	SI 97	カマド燃焼部	－	－	2.95	－	－	
W86	2	SI 97	カマド燃焼部	－	－	－	0.81	－	
W87	1	SB 01	pit7	－	0.66	－	－	－	
W87	2	SB 01	pit7	－	－	4.33	－	－	
W87	3	SB 01	pit7	－	－	－	1.72	－	
W88	1	SK 11		17.22	－	－	－	－	
W88	2	SK 11		－	17.09	－	－	－	
W88	3	SK 11		－	－	59.78	－	－	
W88	4	SK 11		－	－	－	32.99	－	
W89	1	SX 72	炭層	6.07	－	－	－	－	
W89	2	SX 72	炭層	－	3.09	－	－	－	
W89	3	SX 72	炭層	－	－	16.76	－	－	
W89	4	SX 72	炭層	－	－	－	2.29	－	
W90	1	SX 74	炭層	53.67	－	－	－	－	
W90	2	SX 74	炭層	－	20.65	－	－	－	
W90	3	SX 74	炭層	－	－	129.56	－	－	
W90	4	SX 74	炭層	－	－	－	43.82	－	
W91		SX 74		－	－	－	0.22	－	
W92	1	SX 74	炭化材	28.7	－	－	－	－	
W92	2	SX 74	炭化材	－	4.87	－	－	－	
W92	3	SX 74	炭化材	－	－	4.4	－	－	
W92	4	SX 74	炭化材	－	－	－	0.8	－	
W93	1	SX 77	炭層	64.09	－	－	－	－	
W93	2	SX 77	炭層	－	14.26	－	－	－	
W93	3	SX 77	炭層	－	－	89.45	－	－	
W93	4	SX 77	炭層	－	－	－	15.58	－	
W94		SX 77	炭層直上	－	－	0.4	－	－	
W95	1	SX 79	炭層	22.49	－	－	－	－	
W95	2	SX 79	炭層	－	17.35	－	－	－	
W95	3	SX 79	炭層	－	－	113.12	－	－	
W95	4	SX 79	炭層	－	－	－	33.47	－	
W96	1	SK 94		－	0.06	－	－	－	
W96	2	SK 94		－	－	0.67	－	－	
W96	3	SK 94		－	－	－	1.8	－	
W97	1	SK 96	底面	－	0.57	－	－	－	炭化物
W97	2	SK 96	底面	－	－	0.27	－	－	炭化物
W97	3	SK 96	底面	－	－	－	0.05	－	炭化物
W98	1	SK 97		1.54	－	－	－	－	
W98	2	SK 97		－	1.18	－	－	－	
W98	3	SK 97		－	－	1.49	－	－	
W98	4	SK 97		－	－	－	0.99	－	
W99	1	SK 103	埋土	－	－	0.32	－	－	
W99	2	SK 103	埋土	－	－	－	0.33	－	
W100		SK 115	埋土	－	－	－	－	1.36	
W101	1	SK 127		11.38	－	－	－	－	
W101	2	SK 127		－	0.08	－	－	－	
W101	3	SK 127		－	－	0.53	－	－	
W101	4	SK 127		－	－	－	0.43	－	
W102	1	SK 128	埋土	5.71	－	－	－	－	
W102	2	SK 128	埋土	－	2.51	－	－	－	
W102	3	SK 128	埋土	－	－	30.5	－	－	
W102	4	SK 128	埋土	－	－	－	13.25	－	
W103	1	SX 137	焼土・炭層	29.73	－	－	－	－	
W103	2	SX 137	焼土・炭層	－	－	105.96	－	－	
W103	3	SX 137	焼土・炭層	－	－	－	30.73	－	
W104	1	SX 138	炭層	6.31	－	－	－	－	
W104	2	SX 138	炭層	－	2.85	－	－	－	
W104	3	SX 138	炭層	－	－	45.89	－	－	
W104	4	SX 138	炭層	－	－	－	18.09	－	
W104	5	SX 138	炭層	－	－	－	－	0.08	
W105	1	SN 19	炉内	－	13.18	－	－	－	
W105	2	SN 19	炉内	－	－	2.92	－	－	
W105	3	SN 19	炉内	－	－	－	1.07	－	
W106	1	SX 140	焼土	－	0.13	－	－	－	
W106	2	SX 140	焼土	－	－	15.57	－	－	
W106	3	SX 140	焼土	－	－	－	22.5	－	
W107	1	SX 46	土器内	－	0.09	－	－	－	
W107	2	SX 46	土器内	－	－	0.94	－	－	
W107	3	SX 46	土器内	－	－	－	6	－	

表1．分析試料一覧（5）

仮番号	分析枝番	遺構名	地点・層位	重量（g）				炭化種子	備考
				5以上	5通過	3通過	1通過		
W108	1	SX 54	炭層	43.73	−	−	−	−	
W108	2	SX 54	炭層	−	41.52	−	−	−	
W108	3	SX 54	炭層	−	−	111.76	−	−	
W108	4	SX 54	炭層	−	−	−	19.64	−	
W108	5	SX 54	炭層	−	−	−	−	0.08	
W109	1	SX 55	炭層	13.29	−	−	−	−	
W109	2	SX 55	炭層	−	2.21	−	−	−	
W109	3	SX 55	炭層	−	−	2.62	−	−	
W109	4	SX 55	炭層	−	−	−	7.16	−	
W109	5	SX 55	炭層	−	−	−	−	0.49	沈殿物
W110	1	SX 57	埋土下部	−	−	6.36	−	−	
W110	2	SX 57	埋土下部	−	−	−	0.96	−	
W110	3	SX 57	埋土下部	−	−	−	−	0.3	上澄
W111	1	SX 58	3層以下	9.62	−	−	−	−	
W111	2	SX 58	3層以下	−	0.54	−	−	−	
W111	3	SX 58	3層以下	−	−	147.72	−	−	
W111	4	SX 58	3層以下	−	−	−	38.98	−	
W111	5	SX 58	3層以下	−	−	−	−	6.07	
W112	1	SX 59	炭層	17.15	−	−	−	−	
W112	2	SX 59	炭層	−	9.34	−	−	−	
W112	3	SX 59	炭層	−	−	57.5	−	−	
W112	4	SX 59	炭層	−	−	−	11.51	−	
W112	5	SX 59	炭層	−	−	−	−	0.43	
W113	1	SX 61	炭層	12.1	−	−	−	−	
W113	2	SX 61	炭層	−	4.2	−	−	−	
W113	3	SX 61	炭層	−	−	59	−	−	
W113	4	SX 61	炭層	−	−	−	4.35	−	
W114	1	SX 61	3層	15.81	−	−	−	−	
W114	2	SX 61	3層	−	5.71	−	−	−	
W114	3	SX 61	3層	−	−	134.5	−	−	
W114	4	SX 61	3層	−	−	−	18.33	−	
W115	1	SX 62	炭層	61.4	−	−	−	−	
W115	2	SX 62	炭層	−	12.2	−	−	−	
W115	3	SX 62	炭層	−	−	73.7	−	−	
W115	4	SX 62	炭層	−	−	−	13.87	−	
W116	1	SX 62	2層	14.93	−	−	−	−	
W116	2	SX 62	2層	−	4.01	−	−	−	
W116	3	SX 62	2層	−	−	28.99	−	−	
W116	4	SX 62	2層	−	−	−	3.98	−	
W117	1	SX 67	焼土・炭層	0.55	−	−	−	−	
W117	2	SX 67	焼土・炭層	−	0.31	−	−	−	
W117	3	SX 67	焼土・炭層	−	−	13.46	−	−	
W117	4	SX 67	焼土・炭層	−	−	−	1.18	−	
W118	1	SX 69	2〜3層	0.52	−	−	−	−	
W118	2	SX 69	2〜3層	−	−	1.98	−	−	
W118	3	SX 69	2〜3層	−	−	−	0.9	−	
W119	1	SX 81	焼土・炭層	8.93	−	−	−	−	
W119	2	SX 81	焼土・炭層	−	5.53	−	−	−	
W119	3	SX 81	焼土・炭層	−	−	38.52	−	−	
W119	4	SX 81	焼土・炭層	−	−	−	29.57	−	
W119	5	SX 81	焼土・炭層	−	−	−	−	0.05	
W120	1	SX 85	焼土・炭層上面	2.42	−	−	−	−	
W120	2	SX 85	焼土・炭層上面	−	1.36	−	−	−	
W120	3	SX 85	焼土・炭層上面	−	−	27.68	−	−	
W120	4	SX 85	焼土・炭層上面	−	−	−	19.05	−	
W121	1	SX 85	下部炭層	6.2	−	−	−	−	
W121	2	SX 85	下部炭層	−	1.67	−	−	−	
W121	3	SX 85	下部炭層	−	−	31.5	−	−	
W121	4	SX 85	下部炭層	−	−	−	16.8	−	
W122	1	SX 89	炭層	9.23	−	−	−	−	
W122	2	SX 89	炭層	−	2.78	−	−	−	
W122	3	SX 89	炭層	−	−	15.65	−	−	
W122	4	SX 89	炭層	−	−	−	8.25	−	
W122	5	SX 89	炭層	−	−	−	−	0.97	
W123	1	SX 89b	炭層	6.78	−	−	−	−	
W123	2	SX 89b	炭層	−	2.4	−	−	−	
W123	3	SX 89b	炭層	−	−	77.49	−	−	
W123	4	SX 89b	炭層	−	−	−	27.04	−	
W123	5	SX 89b	炭層	−	−	−	−	1.27	
W124	1	SX 93	焼土	0.34	−	−	−	−	
W124	2	SX 93	焼土	−	−	8.22	−	−	
W124	3	SX 93	焼土	−	−	−	2.57	−	
W125	1	SX 94	焼土	−	0.09	−	−	−	
W125	2	SX 94	焼土	−	−	2.97	−	−	
W125	3	SX 94	焼土	−	−	−	0.74	−	
W126	1	SX 98	焼土	0.56	−	−	−	−	
W126	2	SX 98	焼土	−	1.03	−	−	−	
W126	3	SX 98	焼土	−	−	30.69	−	−	
W126	4	SX 98	焼土	−	−	−	9.28	−	

表１．分析試料一覧（６）

仮番号	分析枝番	遺構名	地点・層位	重量（g）				炭化種子	備考
				５以上	５通過	３通過	１通過		
W127	1	SX 101	焼土	0.47	－	－	－	－	
W127	2	SX 101	焼土	－	0.18	－	－	－	
W127	3	SX 101	焼土	－	－	－	0.79	－	
W127	4	SX 101	焼土	－	－	－	0.79	－	
W128	1	SX 114	底面土器b1204内	－	0.09	－	－	－	
W128	2	SX 114	底面土器b1204内	－	－	6.35	－	－	
W128	3	SX 114	底面土器b1204内	－	－	－	4.82	－	
W129	1	SX 114	焼土上面	0.77	－	－	－	－	
W129	2	SX 114	焼土上面	－	0.2	－	－	－	
W129	3	SX 114	焼土上面	－	－	19.49	－	－	
W129	4	SX 114	焼土上面	－	－	－	12.66	－	
W130	1	SX 114	焼土ブロック層	－	0.12	－	－	－	
W130	2	SX 114	焼土ブロック層	－	－	69.94	－	－	
W130	3	SX 114	焼土ブロック層	－	－	－	29.81	－	
W131	1	SX 118	下段焼土	4.75	－	－	－	－	
W131	2	SX 118	下段焼土	－	－	26.99	－	－	
W131	3	SX 118	下段焼土	－	－	－	11.58	－	
W131	4	SX 118	下段焼土	－	－	－	－	0.01	
W132	1	SX 121	焼土	－	1.25	－	－	－	
W132	2	SX 121	焼土	－	－	57.2	－	－	
W132	3	SX 121	焼土	－	－	－	24.57	－	
W133	1	SX 129		6.78	－	－	－	－	
W133	2	SX 129		－	1.97	－	－	－	
W133	3	SX 129		－	－	75.54	－	－	
W133	4	SX 129		－	－	－	50.86	－	
W133	5	SX 129		－	－	－	－	79.28	
W134	1	SX 131	焼土上面	1.47	－	－	－	－	
W134	2	SX 131	焼土上面	－	－	0.86	－	－	
W134	3	SX 131	焼土上面	－	－	－	0.41	－	
W135	1	SX 134		－	0.35	－	－	－	
W135	2	SX 134		－	－	26.47	－	－	
W135	3	SX 134		－	－	－	10.8	－	
W136	1	SU 02	5層	0.35	－	－	－	－	
W136	2	SU 02	5層	－	2.69	－	－	－	
W136	3	SU 02	5層	－	－	82.88	－	－	
W136	4	SU 02	5層	－	－	－	117.1	－	
W136	5	SU 02	5層	－	－	－	－	1.44	
W137	1	SU 02		－	0.14	－	－	－	
W137	2	SU 02		－	－	0.56	－	－	
W137	3	SU 02		－	－	－	0.62	－	
W138	1	SU 02	土器a137内	0.57	－	－	－	－	
W138	2	SU 02	土器a137内	－	1.5	－	－	－	
W138	3	SU 02	土器a137内	－	－	6.88	－	－	
W138	4	SU 02	土器a137内	－	－	－	3.84	－	
W138	5	SU 02	土器a137内	－	－	－	－	0.54	
W139	1	SU 02	土器a127内	0.6	－	－	－	－	
W139	2	SU 02	土器a127内	－	1.42	－	－	－	
W139	3	SU 02	土器a127内	－	－	5.23	－	－	
W139	4	SU 02	土器a127内	－	－	－	6.35	－	
W140	1	SU 02	土器a110内	0.11	－	－	－	－	
W140	2	SU 02	土器a110内	－	0.14	－	－	－	
W140	3	SU 02	土器a110内	－	－	0.94	－	－	
W140	4	SU 02	土器a110内	－	－	－	1.47	－	
W141		SD 27	東側埋土	－	－	－	－	1.31	骨
W142	1	Ⅰ C18o	Ⅱ層	－	－	0.23	－	－	
W142	2	Ⅰ C18o	Ⅱ層	－	－	－	0.17	－	
W143		Ⅰ E17s	Ⅳb層	－	－	－	－	8.1	
W144		Ⅰ E18s	Ⅳa層	－	－	－	－	0.77	
W145		Ⅰ E19p	Ⅲ～Ⅳ層	－	－	－	－	0.02	
W146		Ⅰ E20p ～Ⅳ E1p	Ⅳ層古代面	－	－	－	－	0.6	
W147		Ⅰ E20 t	Ⅳb層	－	－	－	－	0.9	
W148		Ⅱ E1t	Ⅳa層	－	－	－	－	1.3	
W149		Ⅱ E2s	Ⅳb層	－	－	－	－	0.67	
W150		Ⅱ F2b	Ⅳa層	－	－	－	－	0.24	
W151		SI 24	カマド燃焼部上部	－	－	－	－	0.02	
W152		SI 27	東側床面	－	－	－	－	0.07	
W153		SI 30	カマド南西部	－	－	－	－	0.25	
W154		SX 23	焼土層	－	－	－	－	0.05	沈殿物
W155	1	SX 42	2層	－	－	－	－	1.66	
W155	2	SX 42	2層	－	－	－	－	0.01	
W155	3	SX 42	2層	－	－	－	－	0.01	
W156		SX 42	3層	－	－	－	－	0.25	
W157	1	SX 43	2～3層	－	－	－	－	6.04	
W157	2	SX 43	2～3層	－	－	－	－	0.64	
W157	3	SX 43	2～3層	－	－	－	－	0.01	
W158		SX 45		－	－	－	－	0.7	
W159		SX 50	炭層	－	－	－	－	0.7	
W160		SX 51	2層	－	－	－	－	0.62	
W161		SX 53	炭層	－	－	－	－	0.73	沈殿物
W162		SX 55	燃焼部上面	－	－	－	－	0.44	
合計				810.63	271.77	3131.46	1515.63	124.87	

表２．炭化種実同定結果（１）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W1	1	検出されず					炭化材
W1	2	オニグルミ	核	破片	1		炭化材
W1	3	オニグルミ	核	破片	7		炭化材主体,土粒,砂礫,骨片
W1	3	トチノキ	種皮	破片	2		炭化材主体,土粒,砂礫,骨片
W2		オニグルミ	核	破片	7	合計半分未満	
W3	1	検出されず					炭化材
W3	2	イネ	胚乳	完形	1	状態不良	炭化材
W3	3	トチノキ?	種皮?	破片	1		炭化材
W4	1	検出されず					炭化材
W4	2	オニグルミ	核	破片	1		炭化材
W4	3	オニグルミ	核	破片	2		炭化材主体,昆虫
W4	3	トチノキ	種皮	破片	4	曲線確認	炭化材主体,昆虫
W5	1	検出されず					炭化材
W5	2	検出されず					炭化材
W5	3	オニグルミ	核	破片	1		炭化材
W5	3	イネ	胚乳	完形	1		炭化材
W5	3	コムギ	胚乳	破片	1		炭化材
W6	1	検出されず					土粒（土器片）,岩片
W6	2	トチノキ	種皮	破片	1		炭化材,土粒
W7		検出されず					炭化材
W8		検出されず					炭化材主体,土粒
W9	1	検出されず					炭化材
W9	2	オニグルミ	核	破片	2		炭化材主体,不明炭化物
W9	3	オニグルミ	核	破片	10		炭化材主体,土粒,砂礫
W9	3	トチノキ?	種皮?	破片	4		炭化材主体,土粒,砂礫
W9	4	オニグルミ?	核?	破片	1		炭化材主体,土粒,砂礫
W9	4	トチノキ?	種皮?	破片	2		炭化材主体,土粒,砂礫
W10		検出されず					炭化材
W11		トチノキ	種皮	破片	1		炭化材
W12	1	検出されず					炭化材
W12	2	オニグルミ	核	破片	2		炭化材
W12	2	トチノキ?	種皮?	破片	3		炭化材
W13	1	オニグルミ	核	破片	2		炭化材
W13	1	トチノキ?	種皮?	破片	1		炭化材
W13	1	オオムギ - コムギ	胚乳	完形	1	状態不良	炭化材
W13	2	検出されず					炭化材主体,土粒,砂礫
W14	1	検出されず					炭化材
W14	2	検出されず					炭化材
W14	3	オニグルミ	核	破片	5		炭化材主体,土粒
W14	3	コムギ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W14	3	コムギ	胚乳	破片	2		炭化材主体,土粒
W15	1	検出されず					炭化材
W15	2	イネ	胚乳	破片	1		炭化材主体,不明炭化物
W15	3	オオムギ	胚乳	完形	1		
W16	1	検出されず					炭化材
W16	2	オニグルミ	核	破片	2		炭化材
W16	3	オニグルミ	核	破片	3		炭化材主体,土粒
W16	3	トチノキ?	種皮?	破片	2		炭化材主体,土粒
W16	3	イネ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W16	3	イネ	胚乳	破片	2		炭化材主体,土粒
W17	1	検出されず					炭化材
W17	2	検出されず					炭化材
W17	3	モモ?	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W17	3	イネ	胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒
W17	3	イヌタデ近似種	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W17	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W18	1	検出されず					炭化材
W18	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W18	3	イネ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W18	3	イネ	胚乳	破片	9		炭化材主体,土粒
W18	3	マメ科（ダイズ類?）	種子	破片	1		炭化材主体,土粒
W18	3	不明		完形	1	偏球体（径2.6mm）,一部欠損,皮断面構状	
W18	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W18	5	マメ科（アズキ類?）	種子	完形	1	表面摩耗	炭化材
W19	1	検出されず					炭化材
W19	2	検出されず					炭化材
W19	3	トチノキ?	種皮?	破片	3		炭化材主体,土粒
W19	3	堅果類		破片	2		炭化材主体,土粒
W19	3	イネ	胚乳	破片	2	状態不良	炭化材主体,土粒
W19	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	1	状態良好（穎:頂部に残存）	,炭化材主体,土粒
W19	4	トチノキ?	種皮?	破片	3		炭化材主体,土粒
W20	1	検出されず					炭化材
W20	2	クリ	果皮	破片	1		炭化材
W20	3	クリ	果皮	破片	12		炭化材主体,土粒
W20	3	堅果類（クリ?）	子葉?	破片	2		炭化材主体,土粒
W20	4	クリ	果皮	破片	1		炭化材主体,土粒
W20	4	堅果類		破片	1		炭化材主体,土粒
W21	1	検出されず					炭化材
W21	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W21	3	検出されず					炭化材主体,土粒
W21	4	検出されず					炭化材主体,砂礫
W22	1	検出されず					炭化材主体,岩片
W22	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W22	2	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W22	2	トチノキ?	種皮?	破片	5		土粒主体,砂礫,炭化材
W22	3	アワ?	胚乳	完形	1	状態不良	土粒・砂礫主体,炭化材
W23	1	検出されず					炭化材主体,土粒,砂礫

表２．炭化種実同定結果（２）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W23	2	検出されず					土粒・砂礫主体,炭化材
W24	1	検出されず					炭化材
W24	2	検出されず					炭化材主体,岩片
W24	3	オニグルミ	核	破片	2		土粒主体,砂礫,炭化材,菌核
W24	3	オニグルミ?	核?	破片	1		土粒主体,砂礫,炭化材,菌核
W24	4	トチノキ?	種皮?	破片	1		土粒・砂礫主体,炭化材
W25	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W25	2	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W25	3	トチノキ	種皮	破片	3		炭化材主体,土粒,砂礫
W25	3	トチノキ?	種皮?	破片	1		炭化材主体,土粒,砂礫
W25	4	検出されず					土粒主体,炭化材,砂礫
W26	1	検出されず					炭化材
W26	2	検出されず					炭化材
W26	3	トチノキ?	種皮?	破片	2		炭化材主体,土粒,骨片
W26	4	イネ	穎(基部)	破片	1		土粒主体,炭化材
W27	1	検出されず					炭化材
W27	2	サクラ節	核	完形	1		炭化材
W27	3	イネ	胚乳	完形	4		土粒主体,炭化材,骨片
W27	3	イネ	胚乳	破片	14		土粒主体,炭化材,骨片
W27	3	オオムギ	胚乳	完形	5		土粒主体,炭化材,骨片
W27	3	オオムギ - コムギ	胚乳	完形	2	状態不良	土粒主体,炭化材,骨片
W27	4	イネ	穎(基部)	破片	22		土粒主体,炭化材,骨片
W27	4	イネ	穎	破片	15		土粒主体,炭化材,骨片
W27	4	ホタルイ属	果実	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W27	4	ホタルイ属	果皮	破片	2		土粒主体,炭化材,骨片
W28	1	検出されず					炭化材
W28	2	検出されず					炭化材
W28	3	オニグルミ	核	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W28	4	アワ	胚乳	破片	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W29	1	検出されず					不明炭化物主体,炭化材,土器片
W29	2	検出されず					炭化材主体,不明炭化物,土器片
W29	3	オニグルミ	核	破片	6		土粒主体,炭化材,不明炭化物
W29	3	トチノキ?	種皮?	破片	1		土粒主体,炭化材,不明炭化物
W29	3	イネ	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,不明炭化物
W29	3	イネ	胚乳	破片	2		土粒主体,炭化材,不明炭化物
W29	3	コムギ	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,不明炭化物
W29	4	イネ	穎(基部)	破片	4		土粒・砂礫主体,炭化材
W30	1	検出されず					炭化材,樹皮(非炭化)
W30	2	トチノキ?	種皮?	破片	1		炭化材主体
W30	3	オニグルミ	核	破片	3		土粒主体,炭化材,骨片
W30	3	トチノキ?	種皮?	破片	12		土粒主体,炭化材,骨片
W30	3	オオムギ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W30	4	イネ	穎(基部)	破片	4		土粒主体,炭化材,骨片
W30	4	アカザ属	種子	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W31		モモ	核	完形	2	1個頂部欠損	
W32	1	検出されず					炭化材
W32	2	オニグルミ?	核?	破片	1		炭化材主体,岩片
W32	2	トチノキ	種皮	破片	1		炭化材主体,岩片
W32	3	オニグルミ	核	破片	5		土粒主体,炭化材,骨片
W32	3	サンショウ	種子	完形	4		土粒主体,炭化材,骨片
W32	3	サンショウ	種子	破片	5		土粒主体,炭化材,骨片
W32	3	トチノキ?	種皮?	破片	2		土粒主体,炭化材,骨片
W32	3	イネ	胚乳	破片	2	状態不良	土粒主体,炭化材,骨片
W32	3	ヒエ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W32	3	コムギ	胚乳	完形	1	状態不良	土粒主体,炭化材,骨片
W32	4	サンショウ	種子	破片	9		土粒主体,炭化材,骨片
W32	4	アワ	穎・胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W32	4	アワ	胚乳	完形	2		土粒主体,炭化材,骨片
W33	1	検出されず					不明炭化物主体,炭化材,土器片
W33	2	オニグルミ	核	破片	11		土粒主体,不明炭化物,炭化材,骨片
W33	2	トチノキ?	種皮?	破片	2		土粒主体,不明炭化物,炭化材,骨片
W33	2	アワ	胚乳	完形	13		土粒主体,不明炭化物,炭化材,骨片
W33	3	アワ	胚乳	完形	6		土粒・砂礫主体,不明炭化物,炭化材,骨片
W34	1	オニグルミ	核	破片	13		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	1	サンショウ	種子	完形	2		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	1	サンショウ	種子	破片	5		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	1	トチノキ?	種皮?	破片	2		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	1	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	1	コムギ	胚乳	完形	2		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	1	コムギ	胚乳	破片	1		土粒主体,骨片(椎骨含む),砂礫,炭化材
W34	2	オニグルミ	核	破片	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W35	1	トチノキ?	種皮?	破片	4		土粒(土器片?)主体
W35	2	検出されず					土粒(土器片?)主体
W36	1	オニグルミ	核	破片	12		土粒主体,砂礫,炭化材
W36	1	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W36	1	イネ	胚乳	破片	1	基部	土粒主体,砂礫,炭化材
W36	1	イネ?	胚乳	破片	1	頂部	土粒主体,砂礫,炭化材
W36	2	オニグルミ	核	破片	3		土粒主体,砂礫,炭化材,骨片
W37	1	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,土器片
W37	2	オニグルミ	核	破片	33		土粒主体,砂礫,炭化材
W37	2	堅果類(オニグルミ?)		破片	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W37	2	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W37	2	ヒエ	胚乳	完形	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W37	3	堅果類(オニグルミ?)		破片	1		土粒,砂礫主体,炭化材,非炭化草本種実
W37	3	イネ	穎(基部)	破片	1		土粒,砂礫主体,炭化材,非炭化草本種実
W37	3	イネ	穎	破片	1		土粒,砂礫主体,炭化材,非炭化草本種実
W38	1	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	1	臍一部残存(露出型)	炭化材主体,樹皮?

表２．炭化種実同定結果（３）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W38	2	イネ	胚乳	完形	1	状態良好	炭化材主体,樹皮?,土粒（土器片?）
W38	2	オオムギ	胚乳	完形	2	状態良好	炭化材主体,樹皮?,土粒（土器片?）
W38	3	クリ	果皮	破片	20		土粒主体
W38	3	イネ	胚乳	完形	23		土粒主体
W38	3	イネ	胚乳	破片	9		土粒主体
W38	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	2		土粒主体
W38	3	ヒエ	胚乳	完形	31		土粒主体
W38	3	アワ	穎・胚乳	完形	7		土粒主体
W38	3	アワ	胚乳	完形	100	多量のため、状態が良好な100個上限	土粒主体
W38	3	アワ主体	胚乳	完形	787	ほぼアワ。ヒエ・キビ・イネ科を含む可能性もある	土粒主体
W38	3	オオムギ	穎・胚乳	完形	2		土粒主体
W38	3	オオムギ	胚乳	完形	13		土粒主体
W38	3	オオムギ	胚乳	破片	15		土粒主体
W38	3	コムギ	胚乳	完形	5	1個状態良好	土粒主体
W38	3	コムギ	胚乳	完形	1		土粒主体
W38	3	ホタルイ属	果皮	破片	1		土粒主体
W38	3	アサ	果皮	破片	2		土粒主体
W38	3	ソバ	果実	完形	2		土粒主体
W38	3	マメ科（ダイズ類?）	種子	完形	2	状態不良,臍欠損	土粒主体
W38	3	マメ科（アズキ類）	種子	破片	4	初生葉欠損	土粒主体
W38	4	オモダカ科	種子	完形	1		土粒主体
W38	4	イネ	胚乳	破片	2		土粒主体
W38	4	イネ	穎（基部）	破片	3		土粒主体
W38	4	イネ	灰化穎（基部）	破片	2		土粒主体
W38	4	イネ	灰化穎	破片	15		土粒主体
W38	4	オオムギ	胚乳	完形	1		土粒主体
W38	4	ヒエ	穎・胚乳	完形	3		土粒主体
W38	4	ヒエ	胚乳	完形	3		土粒主体
W38	4	アワ	穎・胚乳	完形	5		土粒主体
W38	4	アワ	胚乳	完形	100	多量のため、状態が良好な100個上限	土粒主体
W38	4	アワ主体	胚乳	完形	930	ほぼアワ。ヒエ・キビ・イネ科を含む可能性もある	土粒主体
W38	4	イネ科	胚乳	完形	170	アワ・ヒエ等雑穀類を含む可能性がある	土粒主体
W38	4	アサ	果皮	破片	3		土粒主体
W39	1	検出されず					土粒（土器片?）主体,炭化材
W39	2	オニグルミ	核	破片	3		土粒主体,骨片,炭化材
W39	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W39	2	イネ	胚乳	破片	2		土粒主体,骨片,炭化材
W39	3	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W39	4	イネ	胚乳	完形	1	状態良好	土粒（土器片?）主体,炭化材
W39	4	イネ	胚乳	破片	1	状態良好	土粒（土器片?）主体,炭化材
W40	1	検出されず					炭化材
W40	2	トチノキ	種皮	破片	1		炭化材主体,土粒
W40	3	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W41	1	検出されず					炭化材,土粒（土器片?）
W41	2	検出されず					土粒主体,砂礫,骨片
W41	3	検出されず					土粒・骨片主体,砂礫,植物片
W42	1	検出されず					炭化材
W42	2	トチノキ	種皮	破片	1		炭化材,土粒（土器片?）
W42	3	検出されず					炭化材主体,土粒（土器片?）,骨片
W42	4	検出されず					土粒・砂礫主体,骨片,炭化材
W43	1	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,岩片（剥片類?）
W43	2	オニグルミ	核	破片	11		土粒主体,骨片,炭化材
W43	2	ウルシ属	核	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W43	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W43	2	アワ	胚乳	完形	2		土粒主体,骨片,炭化材
W43	3	アワ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W43	3	イネ科	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W44	1	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,岩片（剥片類?）
W44	1	トチノキ	種皮	破片	1		炭化材主体,岩片（剥片類?）
W44	2	オニグルミ	核	破片	27		土粒主体,骨片,炭化材
W44	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W44	2	イネ	胚乳	破片	2		土粒主体,骨片,炭化材
W44	2	コムギ	胚乳	完形	2		土粒主体,骨片,炭化材
W44	2	タデ属（3面平滑）	果実	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W44	3	イネ	穎	破片	1	基部	土粒主体,骨片,炭化材
W44	3	イシミカワ近似種	果皮	破片	1	基部	土粒主体,骨片,炭化材
W45	1	検出されず					土粒主体,炭化材
W45	2	オニグルミ	核	破片	14		土粒主体,骨片（椎骨含む）,炭化材
W45	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片（椎骨含む）,炭化材
W45	3	イネ	穎（基部）	破片	1		土粒主体,骨片,炭化材
W46		オニグルミ	核	破片	2		
W47	1	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W47	2	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W48	1	検出されず					炭化材
W48	2	オニグルミ	核	破片	2		炭化材主体,土器片
W48	3	オニグルミ?	核?	破片	1		土粒主体,骨片,炭化材
W48	3	クリ	果皮	破片	10		土粒主体,骨片,炭化材
W48	3	ウルシ属	核	破片	1		土粒主体,骨片,炭化材
W48	3	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W48	3	イネ	胚乳	破片	4		土粒主体,骨片,炭化材
W48	3	コムギ	胚乳	破片	5		土粒主体,骨片,炭化材
W48	3	堅果類		破片	2		土粒主体,骨片,炭化材
W48	4	イネ科	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,炭化材
W49		検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W50		検出されず					炭化鱗茎片2個（接合?）
W51	1	検出されず					炭化材,土器片
W51	2	オニグルミ	核	破片	2		炭化材

表２．炭化種実同定結果（４）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W51	2	モモ?	種子?	破片	1		炭化材
W51	3	トチノキ	種皮	破片	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W51	3	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W51	3	コムギ	胚乳	完形	1		土粒主体,砂礫,炭化材
W51	4	検出されず					土粒主体,砂礫,炭化材
W52	1	検出されず					土粒主体,骨片
W52	2	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W53	1	検出されず					炭化材
W53	2	検出されず					土粒主体,骨片
W53	3	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W54	1	検出されず					炭化材
W54	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W54	2	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W54	3	クリ	果皮	破片	6		土粒主体,炭化材,骨片
W54	3	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W55	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W55	2	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W55	2	オオムギ	胚乳	破片	1		基部,土粒主体,炭化材
W55	2	コムギ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W55	2	コムギ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W55	3	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W56	1	検出されず					土粒主体,炭化材,塗膜片?
W56	2	検出されず					砂礫・土粒主体,炭化材,骨片,塗膜片?
W57	1	イネ	胚乳	破片	1		基部,状態不良,土粒主体,炭化材,骨片
W57	1	キビ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W57	2	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W58	1	トチノキ	子葉	破片	2		
W58	2	イネ	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,骨片
W58	2	イネ	胚乳	破片	9		土粒主体,炭化材,骨片
W58	3	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W59	1	検出されず					炭化材,樹皮?
W59	2	マメ科(ダイズ類?)	種子	破片	1		炭化材
W59	2	マメ科(アズキ類?)	種子	破片	1		炭化材
W59	3	イネ	胚乳	破片	2		
W59	4	検出されず					土粒主体,砂礫,炭化材,骨片
W60	1	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W60	2	イネ	穎(基部)	破片	4		土粒主体,骨片,炭化材
W61	1	検出されず					土粒主体,炭化材
W61	2	ヤナギタデ近似種	果皮	破片	1	頂部	土粒主体,砂礫,骨片,炭化材
W62	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W62	2	イネ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W62	2	イネ	胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒
W62	3	検出されず					炭化材主体,土粒,砂礫
W63	1	検出されず					土粒主体,骨片,炭化材
W63	2	検出されず					土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W64		クリ?	果皮?	破片	3		砂礫主体,土器片,土粒,炭化材
W65	1	検出されず					炭化材主体,土器片?
W65	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W65	3	イネ	胚乳	完形	1	状態良好	土粒主体,炭化材,骨片
W65	3	イネ	胚乳	破片	1	状態良好	土粒主体,炭化材,骨片
W65	4	イネ	穎(基部)	破片	2		土粒,炭化材,砂礫,骨片
W65	4	イネ?	胚乳	完形	1		土粒,炭化材,砂礫,骨片
W66	1	検出されず					土粒主体,骨片
W66	2	検出されず					土粒主体,砂礫,骨片
W67	1	検出されず					炭化材,土器片
W67	2	検出されず					土粒主体,炭化材
W67	3	検出されず					土粒主体,砂礫,炭化材
W68	1	検出されず					炭化材
W68	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W68	3	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W68	3	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W68	4	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W69	1	検出されず					炭化材
W69	2	検出されず					炭化材主体,土粒(土器片?)
W69	3	イネ	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,骨片
W69	3	イネ	胚乳	破片	3		土粒主体,炭化材,骨片
W69	3	アワ	穎・胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W69	3	ヒエ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W69	4	イネ	穎(基部)	破片	2		土粒主体,炭化材,骨片
W69	4	イネ	胚乳	破片	5		土粒主体,炭化材,骨片
W69	4	アワ	穎・胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W69	4	アワ?	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,骨片
W70	1	検出されず					炭化材
W70	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W70	2	イネ	胚乳	破片	16		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W70	2	オオムギ	胚乳	破片	2		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W70	2	コムギ	胚乳	破片	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W70	3	検出されず					土粒主体,砂礫,骨片,炭化材
W71	1	検出されず					炭化材主体,土器片
W71	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	2	イネ	胚乳	破片	12		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	2	コムギ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	2	堅果類		破片	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	2	コムギ	胚乳	破片	8		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	3	イネ	穎(基部)	破片	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	3	イネ	胚乳	完形	1		小型,土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W71	4	検出されず					ミミズ類卵胞?

表2．炭化種実同定結果（5）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W72	1	イネ	胚乳	完形	2		炭化材
W72	2	クリ	果皮	破片	4		土粒主体,骨片（椎骨含む）,砂礫,炭化材
W72	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片（椎骨含む）,砂礫,炭化材
W72	2	イネ	胚乳	破片	5		土粒主体,骨片（椎骨含む）,砂礫,炭化材
W72	3	イネ?	胚乳	破片	6		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W72	3	アワ?	胚乳	完形	1		土粒主体,骨片,砂礫,炭化材
W73	1	モモ	核	破片	2		炭化材
W73	2	モモ	核	破片	2		炭化材
W73	3	モモ	核	破片	2		土粒主体,炭化材,砂礫,骨片
W73	3	イネ	胚乳	完形	2		土粒主体,炭化材,砂礫,骨片
W73	3	イネ	胚乳	破片	6		土粒主体,炭化材,砂礫,骨片
W73	3	コムギ	胚乳	完形	7		土粒主体,炭化材,砂礫,骨片
W73	3	コムギ	胚乳	破片	12		土粒主体,炭化材,砂礫,骨片
W73	4	検出されず					砂礫・土粒主体,炭化材
W74	1	検出されず					骨片主体,土粒,炭化材
W74	2	検出されず					骨片主体,土粒,砂礫,炭化材
W75		オニグルミ	核	破片	5	計1個体分	
W76		検出されず					炭化材主体,土粒
W77	1	検出されず					炭化材
W77	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W77	3	検出されず					炭化材主体,土粒
W77	4	オオムギ	胚乳	完形	1	状態不良	炭化材主体,土粒
W78	1	検出されず					炭化材
W78	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W78	3	検出されず					炭化材主体,土粒
W78	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W79	1	検出されず					炭化材
W79	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W79	3	検出されず					炭化材主体,土粒
W79	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W80	1	検出されず					炭化材
W80	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W80	3	検出されず					炭化材主体,土粒,砂礫
W80	4	オオムギ - コムギ	胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒
W81	1	検出されず					炭化材
W81	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W81	3	検出されず					炭化材主体,土粒
W81	4	タデ属（粗面）	果皮	破片	1		土粒主体,炭化材,砂礫
W81	4	ヒユ属	種子	完形	1		土粒主体,炭化材,砂礫
W82	1	検出されず					炭化材
W82	2	検出されず					炭化材主体,土粒,岩片
W82	3	検出されず					土粒主体,炭化材,砂礫,土器片
W82	4	イネ	胚乳	破片	2		土粒主体,炭化材,砂礫
W83	1	検出されず					炭化材
W83	2	イネ	胚乳	完形	1	状態良好	土粒主体,炭化材
W83	2	イネ	胚乳	破片	2	状態良好	土粒主体,炭化材
W83	2	コムギ	胚乳	完形	1	状態良好	土粒主体,炭化材
W83	3	イネ	胚乳	破片	3		土粒主体,炭化材,骨片,土器片
W85	1	検出されず					炭化材
W85	2	検出されず					炭化材主体,土器片
W85	3	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W85	4	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W86	1	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W86	2	検出されず					土粒主体,炭化材,砂礫
W87	1	検出されず					土粒
W87	2	検出されず					土粒主体,炭化材
W87	3	検出されず					土粒主体
W88	1	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W88	2	オニグルミ	核	破片	5		炭化材主体,土粒
W88	2	クリ?	子葉?	破片	1		炭化材主体,土粒
W88	2	モモ	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W88	3	オニグルミ	核	破片	12		炭化材主体,土粒,土器片,骨片
W88	3	イネ	胚乳	完形	4		炭化材主体,土粒,土器片,骨片
W88	3	イネ	胚乳	破片	5		炭化材主体,土粒,土器片,骨片
W88	4	エノコログサ属（アワ?）	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W89	1	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒
W89	2	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒,スギナ類地下茎
W89	3	イネ	胚乳	破片	4		炭化材主体,土器片,土粒
W89	3	キビ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土器片,土粒
W89	3	アワ	穎・胚乳	完形	4		炭化材主体,土器片,土粒
W89	3	ギシギシ属	果実	完形	1		炭化材主体,土器片,土粒
W89	4	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒
W90	1	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒
W90	2	検出されず					炭化材主体,土粒,土器片
W90	3	イネ	穎・胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	3	イネ	胚乳	完形	4		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	3	イネ	胚乳	破片	10		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	3	アワ	穎・胚乳	完形	5		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	3	アワ	胚乳	完形	5		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	3	イネ科	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	3	ヤナギタデ近似種	果実	完形	1		土粒主体,炭化材,土器片,昆虫
W90	4	イネ	胚乳	破片	2	頂部	イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	イネ	穎（基部）	破片	5		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	イネ	灰化穎（基部）	破片	55		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	イネ	灰化穎	破片	44		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	キビ	胚乳	完形	1		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	アワ	穎・胚乳	完形	4		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片

表２．炭化種実同定結果（６）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W90	4	アワ	穎・胚乳	破片	3		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	アワ	胚乳	完形	11		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	アワ	胚乳	破片	3		イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W90	4	ホタルイ属	果実	完形	1	片面果皮片欠損	イネ灰化穎片主体,土粒,炭化材,骨片
W91		検出されず					炭化材（草本質?）主体,土粒,砂礫,骨片
W92	1	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒
W92	2	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒
W92	3	イネ	胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒,土器片
W92	3	ヒエ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒,土器片
W92	4	イネ	胚乳	破片	1	頂部（状態良好）	炭化材（草本質?）主体,土粒,砂礫
W93	1	検出されず					炭化材主体,土器片,土粒
W93	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W93	3	イネ	胚乳	完形	3		炭化材主体,土粒
W93	3	イネ	胚乳	破片	38		炭化材主体,土粒
W93	3	コムギ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W93	3	コムギ	胚乳	破片	4		炭化材主体,土粒
W93	3	イネ科	胚乳	完形	3		炭化材主体,土粒
W93	3	ヤナギタデ近似種	果皮	破片	1		炭化材主体,土粒
W93	4	イネ	穎（基部）	破片	91		炭化材主体,土粒
W93	4	イネ	穎	破片	27		炭化材主体,土粒
W94		イネ	穎・胚乳	完形	1		土器片主体,砂礫,炭化材
W94		イネ	胚乳	破片	1		土器片主体,砂礫,炭化材
W94		キビ	胚乳	完形	1		土器片主体,砂礫,炭化材
W95	1	スモモ	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W95	2	オオムギ	胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W95	2	コムギ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W95	3	堅果類		破片	2		炭化材主体,土粒
W95	3	イネ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W95	3	イネ	穎・胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒
W95	3	イネ	胚乳	完形	3		炭化材主体,土粒
W95	3	イネ	胚乳	破片	10		炭化材主体,土粒
W95	3	オオムギ	胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒
W95	3	コムギ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W95	3	アワ	穎・胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W95	3	ヒエ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W95	4	アワ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒,砂礫,雲母片
W95	4	イネ	穎	破片	1		炭化材主体,土粒,砂礫,雲母片
W96	1	検出されず					土粒主体,炭化材,骨片
W96	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W96	3	検出されず					土粒主体,炭化材,砂礫
W97	1	検出されず					炭化材
W97	2	検出されず					炭化材主体,土粒,骨片
W97	3	検出されず					炭化材主体,土粒,砂礫,雲母片
W98	1	検出されず					炭化材
W98	2	検出されず					炭化材
W98	3	検出されず					炭化材主体,土粒
W98	4	検出されず					炭化材主体,土粒,砂礫,雲母片
W99	1	検出されず					土粒主体,炭化材,岩片
W99	2	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W100		オニグルミ	核	破片	26	計1個体分	
W100		オニグルミ?	核?	破片	32	微細片	
W101	1	検出されず					炭化材主体,土粒,岩片
W101	2	クリ	果皮	破片	2		炭化材
W101	3	イネ	胚乳	完形	1	小型	土粒主体,炭化材,岩片,骨片
W101	3	イネ	穎（基部）	破片	1		土粒主体,炭化材,岩片,骨片
W101	3	堅果類	子葉?	破片	1		土粒主体,炭化材,岩片,骨片
W101	4	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,岩片,骨片
W101	4	イネ	穎（基部）	破片	9		土粒主体,炭化材,岩片,骨片
W101	4	アワ	胚乳	完形	2		土粒主体,炭化材,岩片,骨片
W102	1	検出されず					炭化材
W102	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W102	3	検出されず					土粒主体,炭化材
W102	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W103	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W103	2	イネ	穎・胚乳	破片	2		土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	イネ	胚乳	完形	8		土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	イネ	胚乳	破片	19		土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	コムギ	胚乳	完形	1	状態不良	土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	コムギ	胚乳	破片	2	状態不良	土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	キビ	穎・胚乳	完形	2		土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	キビ	穎・胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	キビ	胚乳	完形	9		土粒主体,炭化材,骨片
W103	2	キビ	胚乳	破片	5		土粒主体,炭化材,骨片
W103	3	イネ	穎（基部）	破片	21		土粒主体,炭化材,骨片
W103	3	イネ	穎	破片	10		土粒主体,炭化材,骨片
W103	3	キビ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,骨片
W103	3	キビ	胚乳	破片	5		土粒主体,炭化材,骨片
W103	3	イネ科（キビ?）	胚乳	完形	5		土粒主体,炭化材,骨片
W104	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W104	2	コムギ	胚乳	完形	6		炭化材主体,土粒
W104	3	コムギ	穎・胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材
W104	3	コムギ	穎・胚乳	破片	2		土粒主体,炭化材
W104	3	コムギ	胚乳	完形	98		土粒主体,炭化材
W104	3	コムギ	胚乳	破片	35		土粒主体,炭化材
W104	4	コムギ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W104	5	コムギ	穎・胚乳	完形	1		
W104	5	コムギ	胚乳	完形	2		

表２．炭化種実同定結果（７）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W105	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W105	2	検出されず					砂礫・土粒主体,剥片類含む
W105	3	検出されず					土粒主体
W106	1	検出されず					炭化材
W106	2	検出されず					土粒主体
W106	3	検出されず					土粒主体
W107	1	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体
W107	2	クリ	子葉	破片	3		砂礫主体
W107	3	検出されず					砂礫主体,雲母片多い
W108	1	クリ	果皮	破片	3		炭化材主体
W108	2	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	2	クリ	果皮	破片	100		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	2	イネ	胚乳	完形	1	焼き膨れている	
W108	2	オオムギ	穎・胚乳	完形	1	状態良好	
W108	3	クリ	果皮	破片	302		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	クリ?	子葉?	破片	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	イネ	胚乳	完形	4	焼き膨れている	
W108	3	イネ	胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	キビ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	キビ	穎・胚乳	破片	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	アワ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	ヤナギタデ近似種	果実	完形	1	頂部欠損	炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	ヤナギタデ近似種	果皮	破片	2		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	3	イシミカワ近似種?	種子?	完形	1		炭化材主体,土粒,土器片,岩片
W108	4	イネ	穎(基部)	破片	1		炭化材主体,土粒,土器片
W108	4	アワ?	胚乳	完形	1	状態不良	炭化材主体,土粒,土器片
W108	5	クリ	果皮	破片	33		炭化材
W108	5	ウルシ属	核	破片	2		炭化材
W108	5	イネ	胚乳	完形	3		炭化材
W108	5	イネ	胚乳	破片	5		炭化材
W108	5	オオムギ	胚乳	完形	1	基部欠損	炭化材
W108	5	ホタルイ属	果実	完形	1	灰化?	炭化材
W108	5	イヌタデ近似種	果実	完形	1		炭化材
W108	5	イシミカワ近似種	果実	完形	1		炭化材
W108	5	イシミカワ近似種	果皮	破片	8		炭化材
W108	5	イシミカワ近似種?	種子?	完形	3		炭化材
W109	1	検出されず					炭化材
W109	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W109	3	ウルシ属	核	完形	2		炭化材主体,土粒
W109	3	タラノキ	核	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	3	オオムギ	胚乳	完形	2	状態不良	炭化材主体,土粒
W109	3	イヌタデ近似種	果実	完形	3		炭化材主体,土粒
W109	3	ヤナギタデ近似種	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	3	サナエタデ近似種	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	3	タデ属(2面平滑)	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	4	キイチゴ属	核	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	4	タラノキ	核	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	4	ニワトコ	核	完形	2		炭化材主体,土粒
W109	4	イネ	穎	破片	4		炭化材主体,土粒
W109	4	ヤナギタデ近似種	果実	完形	4		炭化材主体,土粒
W109	4	キジムシロ類	核	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	4	ナス属	種子	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	4	オミナエシ属	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W109	5	検出されず					炭化材
W110	1	イネ	穎(基部)	破片	1		土粒主体
W110	1	イネ	穎・胚乳	完形	1	両端欠損,細身小型	土粒主体
W110	1	イネ	胚乳	完形	29	細身小型多い	土粒主体
W110	1	イネ	胚乳	破片	86	細身小型多い	土粒主体
W110	1	ヒエ	穎・胚乳	完形	1		土粒主体
W110	1	アサ	果皮	破片	1		土粒主体
W110	2	イネ	穎	破片	1		土粒主体,炭化材
W110	2	イネ	胚乳	完形	6	細身小型多い	土粒主体,炭化材
W110	2	イネ	胚乳	破片	22	細身小型多い	土粒主体,炭化材
W110	2	アワ	胚乳	完形	2		土粒主体,炭化材
W110	2	ヒエ	穎・胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W110	3	イネ	穎・胚乳	完形	1	細身小型	土粒主体,炭化材
W110	3	イネ	穎・胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W110	3	イネ	胚乳	完形	71	細身小型多い	土粒主体,炭化材
W110	3	イネ	胚乳	破片	134	細身小型多い	土粒主体,炭化材
W110	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	1	穎:頂部残存	土粒主体,炭化材
W111	1	オニグルミ	核	破片	12		炭化材主体,土粒
W111	1	クリ	果皮	破片	4		炭化材主体,土粒
W111	1	スモモ	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W111	1	モモ	核	破片	1		炭化材主体,土粒
W111	1	イネ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W111	1	イネ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W111	2	イネ	胚乳	完形	1		炭化材主体
W111	2	イネ	胚乳	破片	1		炭化材主体
W111	2	オオムギ	胚乳	完形	1	頂部欠損	炭化材主体
W111	2	キビ	胚乳	完形	1		炭化材主体
W111	3	オニグルミ	核	破片	40		土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材
W111	3	クリ	果皮	破片	115		土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材
W111	3	イネ	穎(芒)	破片	1		土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材
W111	3	イネ	穎(基部)	破片	174	多量のため、100個上限	土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材
W111	3	イネ	穎	破片	45		土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材
W111	3	イネ	穎・胚乳	完形	8		土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材
W111	3	イネ	胚乳	完形	402	4個細身,状態良好な100個を計測	土粒主体,炭化種実片(2.5cc),炭化材

表２．炭化種実同定結果（８）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W111	3	ヒエ	胚乳	破片	0.5cc		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	オオムギ	穎・胚乳	完形	20	多量のため、状態良好な個体を選択している	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	オオムギ	胚乳	完形	323	穎付着含む,多量のため、状態良好な300個上限	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	オオムギ	胚乳	破片	1cc	穎付着含む	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	オオムギ?	穂軸	破片	3	2個縦列	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	コムギ	胚乳	完形	5		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	26		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	キビ	穎・胚乳	完形	109	約0.4cc,多量のため、状態良好な100個上限	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	キビ	胚乳	完形	100	約0.4cc,多量のため、状態良好な100個上限	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	キビ主体（アワ含む）	胚乳	完形	1cc	多量のため、状態良好な個体を選択している	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	アワ	穎・胚乳	完形	110	約0.2cc,多量のため、状態良好な100個上限	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	イネ科（タイヌビエ?）	穎・胚乳	完形	1		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	ホタルイ属	果実	完形	6	花被片一部残存	土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	ホタルイ属	果皮	破片	1		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	イヌタデ近似種	果実	完形	4		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	イヌタデ近似種	果皮	破片	1		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	ヤナギタデ近似種	果実	完形	1		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	ヒユ属	種子	完形	2		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	3	オナモミ属	総苞	破片	3		土粒主体,炭化種実片（2.5cc）,炭化材
W111	4	イネ	穎（基部）	破片	100	多量のため、100個上限	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	イネ	穎	破片	8		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	イネ	胚乳	完形	1	小型	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	オオムギ	穎・胚乳	完形	4		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	ヒエ	穎・胚乳	完形	3		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	キビ	穎・胚乳	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	アワ	穎・胚乳	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	アワ	胚乳	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	イネ科	胚乳	完形	3	ヒエ・キビ・アワのいずれかの可能性	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	4	イネ科	果実	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	オニグルミ	核	破片	23		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	クリ	果皮	破片	3		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	マタタビ近似種	種子	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	モモ	核	破片	19		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	モモ	種子	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	イネ	穎（基部）	破片	100	多量のため、100個上限	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	イネ	穎・胚乳	完形	15		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	イネ	穎・胚乳	破片	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	イネ	胚乳	完形	68	1個小型	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	イネ	胚乳	破片	11		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	オオムギ	穎・胚乳	完形	47		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	オオムギ	胚乳	完形	159	穎付着含む	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	オオムギ	胚乳	破片	50	穎付着含む	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	キビ	穎・胚乳	完形	21		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	キビ	胚乳	完形	3		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	アワ	穎・胚乳	完形	6		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	イネ科	胚乳	完形	1	ヒエ・キビ・アワのいずれかの可能性	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	ボントクタデ近似種	果実	完形	1	2面果皮欠損	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	タデ属（2面平滑）	果実	完形	1		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	マメ科（野生種）	種子	完形	2		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	シソ属（エゴマ）	果皮	破片	2		土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	不明	果実	破片	1	残存径1.0cm,2室確認	土粒,炭化種実片,炭化材
W111	5	不明	種子	破片	1	残存長3.9mm,幅1.8mmの非対称倒狭卵体	土粒,炭化種実片,炭化材
W112	1	クリ	果皮	破片	1		炭化材主体,土粒
W112	2	クリ	果皮	破片	11		炭化材主体,土粒
W112	3	クリ	果皮	破片	50		炭化材主体,土粒
W112	3	イネ	胚乳	完形	2	状態良好	炭化材主体,土粒
W112	3	イネ	胚乳	破片	5		炭化材主体,土粒
W112	4	アワ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W112	5	クリ	子葉	破片	3		
W112	5	イネ	胚乳	完形	1	状態良好	
W113	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W113	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W113	3	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W113	3	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W113	4	検出されず					土粒主体,炭化材
W114	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W114	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W114	3	オニグルミ	核	破片	3		土粒主体,炭化材
W114	3	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W114	4	タラノキ	核	完形	1		炭化材主体,土粒
W114	4	カタバミ属	種子	完形	1	基部欠損	炭化材主体,土粒
W115	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W115	2	クリ	果皮	破片	2		炭化材主体,土粒
W115	3	イネ	穎・胚乳	完形	1	状態良好（穎頂部残存）	,炭化材主体,土粒
W115	3	イネ	胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W115	3	イネ	胚乳	破片	7		炭化材主体,土粒
W115	4	イネ	穎	破片	1		炭化材主体,土粒
W115	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W116	1	検出されず					炭化材
W116	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W116	3	イネ	胚乳	完形	5		炭化材主体,土粒
W116	3	イネ	胚乳	破片	16		炭化材主体,土粒
W116	4	検出されず					炭化材主体,土粒
W117	1	検出されず					炭化材
W117	2	検出されず					炭化材
W117	3	イネ	胚乳	完形	18		土粒主体,炭化材
W117	3	イネ	胚乳	破片	138		土粒主体,炭化材

表2．炭化種実同定結果（9）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W117	3	キビ	胚乳	完形	2		土粒主体,炭化材
W117	4	イネ	胚乳	破片	15		土粒主体,炭化材
W118	1	検出されず					炭化材
W118	2	イネ	胚乳	完形	19		土粒主体,炭化材
W118	2	イネ	胚乳	破片	34		土粒主体,炭化材
W118	2	オオムギ	胚乳	完形	11		土粒主体,炭化材
W118	2	オオムギ	胚乳	破片	5		土粒主体,炭化材
W118	2	キビ	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材
W118	3	イネ	胚乳	破片	14		土粒主体,炭化材
W118	3	イネ科（タイヌビエ?）	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W119	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W119	2	検出されず					炭化材主体,土粒
W119	3	オニグルミ	核	破片	3		炭化材主体,土粒
W119	3	タデ属（3面平滑）	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W119	3	イシミカワ近似種	果実	完形	1		炭化材主体,土粒
W119	3	双子葉類（イシミカワ近似種?）	種子?	完形	1		炭化材主体,土粒
W119	4	イネ科	胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W119	5	イシミカワ近似種	果実	破片	6	計1個未満,下記種子とあわせて1個体?	
W119	5	イシミカワ近似種?	種子?	完形	1	上記果皮と合わせて1個体?	
W120	1	検出されず					炭化材
W120	2	クリ	果皮	破片	6		炭化材主体,土粒
W120	2	イネ	穎・胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W120	2	イネ	胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W120	3	クリ	果皮	破片	109	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W120	3	イネ	穎（基部）	破片	3		炭化材,土粒
W120	3	イネ	穎・胚乳	完形	32	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W120	3	イネ	穎・胚乳	破片	9	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W120	3	イネ	胚乳	完形	174	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W120	3	イネ	胚乳	破片	300	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W120	4	イネ	穎（基部）	破片	100	多量のため、100個上限	炭化材主体,土粒
W120	4	イネ	穎	破片	19		炭化材主体,土粒
W120	4	イネ	胚乳	完形	3	1個状態良好,2個細身	炭化材主体,土粒
W121	1	検出されず					炭化材
W121	2	クリ	果皮	破片	3		炭化材主体,土粒
W121	2	イネ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W121	2	イネ	胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W121	2	イネ	胚乳	破片	3		炭化材主体,土粒
W121	2	不明		破片	1	残存長5.5㎜,径4.2㎜,一端に長径3.2㎜の窪み	
W121	3	クリ	果皮	破片	75	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W121	3	イネ	穎（基部）	破片	1		
W121	3	イネ	穎	破片	1		
W121	3	イネ	穎・胚乳	完形	26		
W121	3	イネ	胚乳	完形	193	状態が良好な個体を選択	
W121	3	イネ主体	胚乳		3cc	状態不良	
W121	3	ヒエ - アワ?	胚乳	完形	1		
W121	3	ホタルイ属（サンカクイ類）	果実	完形	1	表面光沢あり	
W121	3	ホタルイ属	果実	完形	1		
W121	4	オモダカ科	種子	完形	1		炭化材,土粒
W121	3	イネ	穎・胚乳	完形	100	イネ多量（状態良好）	炭化材,土粒
W121	4	イネ	穎（基部）	破片	100	多量のため、100個上限	炭化材,土粒
W121	4	イネ	穎	破片	37		炭化材,土粒
W121	4	イネ	胚乳	完形	2	1個小型	炭化材,土粒
W121	4	ヒエ	胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W121	4	アワ	胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W121	4	ホタルイ属	果皮	破片	1		炭化材,土粒
W121	4	エノキグサ	種子	完形	1		炭化材,土粒
W122	1	スモモ	核	完形	1		炭化材主体
W122	2	オオムギ	胚乳	完形	13		炭化材主体
W122	2	オオムギ	胚乳	破片	8		炭化材主体
W122	2	オオムギ - コムギ	胚乳	完形	1		炭化材主体
W122	3	イネ	穎・胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W122	3	イネ	胚乳	完形	8		炭化材,土粒
W122	3	イネ	胚乳	破片	4		炭化材,土粒
W122	3	オオムギ	穎・胚乳	完形	15	細身含む	炭化材,土粒
W122	3	オオムギ	胚乳	完形	207	状態が良好な200個（4cc）上限,穎付着含む	炭化材,土粒
W122	3	オオムギ主体	胚乳		7cc	状態不良,穎付着含む	炭化材,土粒
W122	3	コムギ	胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W122	3	コムギ?	胚乳	完形	4		炭化材,土粒
W122	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W122	3	キビ	穎・胚乳	完形	3		炭化材,土粒
W122	3	キビ	胚乳	完形	12		炭化材,土粒
W122	4	イネ	穎（基部）	破片	60		炭化材主体,土粒
W122	4	イネ	穎	破片	35		炭化材主体,土粒
W122	4	オオムギ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W122	4	オオムギ	胚乳	破片	1	基部	炭化材主体,土粒
W122	4	ヒエ	胚乳	完形	2		炭化材主体,土粒
W122	4	アワ	穎・胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W122	4	イネ科	果実	完形	2		炭化材主体,土粒
W122	4	ヤナギタデ近似種	果皮	破片	1	半分	炭化材主体,土粒
W122	5	オオムギ	穎・胚乳	完形	7	状態良好	炭化材主体,土粒
W122	5	オオムギ	胚乳	完形	22	穎付着含む	炭化材主体,土粒
W122	5	オオムギ	胚乳	破片	3		炭化材主体,土粒
W123	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W123	2	オオムギ	胚乳	完形	11		炭化材主体
W123	2	コムギ	胚乳	破片	1	基部	炭化材主体
W123	3	オニグルミ?	核?	破片	2		炭化材,土粒
W123	3	トチノキ?	種皮?	破片	24		炭化材,土粒

表２．炭化種実同定結果（10）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W123	3	イネ	穎(基部)	破片	4		炭化材,土粒
W123	3	イネ	穎・胚乳	完形	3		炭化材,土粒
W123	3	イネ	胚乳	完形	333	小型細身多い	炭化材,土粒
W123	3	イネ	胚乳	破片	376	小型細身多い	炭化材,土粒
W123	3	オオムギ	胚乳	完形	647	状態が良好な個体を選択,穎付着含む	炭化材,土粒
W123	3	オオムギ主体	胚乳		5cc	状態不良,穎付着含む	炭化材,土粒
W123	3	オオムギ - コムギ	胚乳	完形	2		炭化材,土粒
W123	3	オオムギ - コムギ	穂軸	破片	1		炭化材,土粒
W123	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	8		炭化材,土粒
W123	3	ヒエ	胚乳	完形	5		炭化材,土粒
W123	3	キビ	穎・胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W123	3	キビ	胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W123	3	アワ	穎・胚乳	完形	4		炭化材,土粒
W123	3	アワ	胚乳	完形	14		炭化材,土粒
W123	3	イネ科	胚乳	完形	4		炭化材,土粒
W123	3	ホタルイ属	果実	完形	2		炭化材,土粒
W123	3	ホタルイ属	果皮	破片	1		炭化材,土粒
W123	4	イネ	穎(基部)	破片	100	多量のため、100個上限	イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	イネ	穎	破片	30	灰化片含む	イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	イネ	胚乳	完形	2	細身	イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	ヒエ	胚乳	完形	1	状態不良	イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	アワ	穎・胚乳	完形	2		イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	アワ	胚乳	完形	4		イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	イネ科	果実	完形	2		イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	4	ホタルイ属	果実	完形	3		イネ炭化・灰化穎片,炭化材,土粒,砂礫
W123	5	オオムギ	穎・胚乳	完形	5	状態良好	炭化材,土粒
W123	5	オオムギ	胚乳	完形	140	状態良好,穎付着含む	炭化材,土粒
W123	5	オオムギ	胚乳	破片	17		炭化材,土粒
W123	5	イネ	胚乳	完形	4		炭化材,土粒
W123	5	イネ	胚乳	破片	2		炭化材,土粒
W124	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W124	2	検出されず					土粒主体,炭化材
W124	3	アワ	胚乳	破片	7		
W125	1	検出されず					炭化材主体,土粒
W125	2	堅果類(クリ?)	果皮?	破片	1		土粒主体,炭化材
W125	3	クリ?	果皮?	破片	2		土粒主体,炭化材
W125	3	ヒエ - キビ - アワ	胚乳	破片	1	胚部(背面)	土粒主体,炭化材
W125	3	イネ科	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W126	1	検出されず					炭化材
W126	2	クリ	果皮	破片	3		炭化材,土粒
W126	2	モモ	核	破片	1		炭化材,土粒
W126	2	イネ	胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W126	2	オオムギ	胚乳	完形	1		炭化材,土粒
W126	3	オニグルミ	核	破片	1		土粒主体,炭化材
W126	3	クリ	果皮	破片	11		土粒主体,炭化材
W126	3	堅果類(クリ?)	果皮?	破片	9		土粒主体,炭化材
W126	3	イネ	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材
W126	3	イネ	胚乳	破片	3		土粒主体,炭化材
W126	3	オオムギ	胚乳	破片	1	頂部	土粒主体,炭化材
W126	3	アワ	穎・胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材
W126	3	アワ	穎・胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W126	3	アワ	胚乳	完形	12		土粒主体,炭化材
W126	3	アワ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W126	4	イネ	穎(基部)	破片	1		土粒主体,炭化材
W126	4	オオムギ	胚乳	破片	1	基部	土粒主体,炭化材
W126	4	アワ	穎・胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材
W126	4	アワ - ヒエ	胚乳	完形	11	状態不良	土粒主体,炭化材
W126	4	イネ科	胚乳	破片	0.05cc	状態不良,ヒエ・キビ・アワのいずれかの可能性	土粒主体,炭化材
W127	1	検出されず					炭化材
W127	2	検出されず					炭化材
W127	3	オオムギ	胚乳	破片	1		土粒,岩片,炭化材
W127	4	検出されず					土粒,岩片,炭化材
W128	1	検出されず					炭化材,岩片
W128	2	イネ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W128	2	イネ	胚乳	破片	9		土粒主体,炭化材
W128	2	アワ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材
W128	2	コムギ	胚乳	破片	1		基部,土粒主体,炭化材
W128	3	検出されず					土粒主体,炭化材
W129	1	検出されず					炭化材
W129	2	検出されず					炭化材
W129	3	検出されず					土粒主体,炭化材
W129	4	アワ?	胚乳	完形	1	状態不良	土粒主体,炭化材
W130	1	イネ	穎・胚乳	完形	1	下記と接合し完形1個体となる	炭化材
W130	1	イネ	胚乳	破片	1	上記と接合し完形1個体となる	炭化材
W130	2	クリ	果皮	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	イネ	胚乳	完形	7		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	イネ	胚乳	破片	1		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	イネ?	胚乳	破片	7		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	キビ	胚乳	完形	7		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	キビ	胚乳	破片	3		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	アワ	胚乳	完形	11		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	イネ科	胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	不明(双子葉類)		完形	7		土粒主体,炭化材,骨片
W130	2	不明(双子葉類)		破片	6		土粒主体,炭化材,骨片
W130	3	イネ	穎(基部)	破片	1		土粒主体
W130	3	イネ	穎	破片	4		土粒主体
W130	3	アワ	胚乳	完形	5		土粒主体

表２．炭化種実同定結果（11）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W130	3	ヒエ?	胚乳	破片	1		土粒主体
W130	3	イネ科	胚乳	完形	3		土粒主体
W131	1	イネ	胚乳	完形	1		炭化材主体,土粒
W131	2	クリ	果皮	破片	3		炭化材,土粒
W131	2	イネ	胚乳	完形	6		炭化材,土粒
W131	3	イネ	穎(基部)	破片	120	多量のため、100個上限	イネ穎,土粒,炭化材
W131	3	イネ	穎	破片	40		イネ穎,土粒,炭化材
W131	4	検出されず					土粒,炭化材
W132	1	検出されず					炭化材
W132	2	イネ?	胚乳	破片	1	頂部?(状態不良)	土粒主体,炭化材
W132	3	イネ	穎	破片	4		土粒,炭化材,昆虫類
W133	1	クリ	果皮	破片	1		炭化材
W133	1	モモ	核	破片	1		炭化材
W133	1	トチノキ?	子葉?	破片	1		炭化材
W133	2	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体,クリ果皮微細片
W133	2	クリ	果皮	破片	164		炭化材主体,クリ果皮微細片
W133	2	スモモ	核	破片	13		炭化材主体,クリ果皮微細片
W133	2	スモモ?	種子	完形	1		炭化材主体,クリ果皮微細片
W133	2	モモ	核	破片	7		炭化材主体,クリ果皮微細片
W133	3	クリ	果皮	破片	447	多量のため、400個(1cc)上限	クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	マタタビ近似種	種子	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	スモモ	核	破片	7		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	モモ	核	破片	10		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	モモ?	種子?	破片	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	サンショウ	種子	完形	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	サンショウ	種皮	破片	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	ウルシ属	核	完形	1	一部欠損	クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	イネ	穎・胚乳	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	イネ	胚乳	完形	5		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	イネ	胚乳	破片	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	ヒエ	穎・胚乳	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	ヒエ	胚乳	完形	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	アワ	穎・胚乳	完形	36		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	アワ	胚乳	完形	40		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	3	ヤナギタデ近似種	果実	完形	4		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	クリ	果皮	破片	41		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	イネ	穎(基部)	破片	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	アワ	穎・胚乳	完形	5		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	アワ	胚乳	完形	25		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	ヒエ	穎・胚乳	完形	6		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	ヒエ	胚乳	完形	7		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	イネ科	胚乳	完形	4		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	ホタルイ属	果皮	破片	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	ヤナギタデ近似種	果実	完形	2	1個状態良好,花柱残存	クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	アカザ属	種子	完形	3	2個焼き膨れている	クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	4	ヒユ属	種子	完形	1	焼き膨れている,種皮片面残存	クリ果皮微細片主体,炭化材,土粒,骨片
W133	5	オニグルミ	核	破片	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	クリ	果皮	破片	1065	多量のため、状態良好な1000個(80cc)上限	クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	クリ主体	果皮	破片	70cc	径4～2㎜	クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	クリ	子葉	破片	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	スモモ	核	完形	5	1個欠損	クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	スモモ	核	破片	14	3個半分	クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	スモモ	種子	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	モモ	核	完形	13	2個食痕	クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	モモ	核	破片	50		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	モモ	種子	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	サンショウ	種子	完形	4		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	サンショウ	種皮	破片	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	トチノキ?	種子?	破片	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	イネ	穎・胚乳	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	イネ	胚乳	完形	4		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	オオムギ	胚乳	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	アワ	穎・胚乳	完形	3		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	アワ	胚乳	完形	2		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	ハトムギ?	胚乳?	完形	1		クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W133	5	マメ科(アズキ類)	種子	完形	1	状態良好,臍残存	クリ果皮微細片主体,炭化材,樹皮,土器片,土粒,岩片
W134	1	検出されず					炭化材
W134	2	検出されず					土粒,炭化材
W134	3	堅果類		破片	2		土粒,炭化材
W135	1	クリ	果皮	破片	1		炭化材主体
W135	2	堅果類(クリ?)	果皮?	破片	14		土粒主体,炭化材
W135	3	クリ	果皮	破片	1		土粒主体,炭化材
W135	3	堅果類(クリ?)	果皮?	破片	24		土粒主体,炭化材
W136	1	検出されず					炭化材
W136	2	オニグルミ	核	破片	1		炭化材主体
W136	3	オニグルミ	核	破片	16		炭化材主体
W136	3	堅果類(クリ?)	果皮?	破片	0.5cc		炭化材主体
W136	4	検出されず					炭化材主体,巻貝類
W136	5	クリ	子葉	破片	1		非炭化スギナ類地下茎主体,昆虫
W137	1	検出されず					炭化材
W137	2	検出されず					炭化材主体
W137	3	検出されず					炭化材主体
W138	1	オニグルミ	核	破片	5	計半分未満	炭化材主体
W138	2	検出されず					炭化材主体
W138	3	オニグルミ	核	破片	7		炭化材主体
W138	3	オニグルミ?	核?	破片	29		炭化材主体
W138	3	クリ	果皮	破片	10		炭化材主体

表２．炭化種実同定結果（12）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	備考	他に確認された遺物類
W138	3	マメ科（アズキ類）	種子	破片	1	状態不良,初生葉残存	
W138	4	クリ?	果皮?	破片	1		炭化材主体
W138	5	オニグルミ	核	破片	11	計1個体未満	
W138	5	クリ	果皮	破片	5		
W139	1	検出されず					炭化材
W139	2	検出されず					炭化材
W139	3	検出されず					炭化材主体
W139	4	検出されず					炭化材主体
W140	1	検出されず					炭化材
W140	2	検出されず					炭化材主体
W140	3	検出されず					炭化材主体,巻貝類
W140	4	検出されず					炭化材主体,巻貝類
W141		オニグルミ	核	破片	2	全周欠損	
W142	1	検出されず					炭化材・砂礫主体
W142	2	検出されず					炭化材・砂主体
W143		オニグルミ	核	破片	1		
W144		クリ	子葉	破片	1		
W145		検出されず					植物片
W146		モモ	核	破片	1		
W147		オニグルミ	核	破片	11	計約半分	
W148		クリ	子葉	完形	1		
W149		クリ	子葉	完形	1		
W150		オニグルミ	核	破片	1		
W151		イネ	胚乳	破片	1	頂部	
W151		不明		完形	1		
W152		イネ	胚乳	完形	1	状態不良	
W153		イネ	胚乳	破片	5		
W154		クリ?	果皮?	破片	5		
W155	1	ウルシ属	核	破片	1		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	イネ	穎（基部）	破片	1		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	イネ	穎・胚乳	完形	22		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	イネ	穎・胚乳	破片	7		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	イネ	胚乳	完形	54		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	イネ	胚乳	破片	90		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	オオムギ	胚乳	完形	16		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	オオムギ	胚乳	破片	4		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	アワ	穎・胚乳	完形	3		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	ヒエ	胚乳	完形	1		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	イネ科	胚乳	完形	1	ヒエ・キビ・アワのいずれかの可能性	土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	ヤナギタデ近似種	果実	完形	1		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	1	シソ属（エゴマ）	果実	完形	2		土粒主体,炭化材,ミミズ類卵胞?,ブドウ種子
W155	2	オオムギ	穎・胚乳	完形	4		
W155	3	イネ	穎・胚乳	破片	2	接合し1個体	
W155	3	イネ	胚乳	完形	3		
W155	3	オオムギ	穎・胚乳	完形	1		
W156		クリ	果皮	破片	1		
W156		イネ	穎・胚乳	完形	1		
W156		イネ	穎・胚乳	破片	1		
W156		イネ	胚乳	破片	11		
W157	1	クリ	果皮	破片	46		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	クリ	子葉	破片	3		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	イネ	穎（基部）	破片	1		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	イネ	穎・胚乳	完形	83		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	イネ	穎・胚乳	破片	182		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	イネ	胚乳	完形	260		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	イネ	胚乳	破片	653		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	ヒエ	胚乳	完形	1		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	イネ科（タイヌビエ?）	胚乳	完形	1		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	エノキグサ	種子	完形	1		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	堅果類		破片	1		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	不明（双子葉類）		破片	2		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	1	不明		完形	1		土粒主体,ミミズ類卵胞?,炭化材,ブドウ種子
W157	2	イネ	穎・胚乳	完形	38		
W157	2	イネ	胚乳	完形	58		
W157	2	イネ	胚乳	破片	5		
W157	3	クリ	果皮	破片	1		
W158		検出されず					炭化材,地下茎
W159		モモ	核	破片	3		
W159		イネ	穎・胚乳	完形	23		
W159		イネ	穎・胚乳	破片	31		
W159		イネ	穎（別個体）・胚乳	破片	1		
W159		イネ	胚乳	完形	15		
W159		イネ	胚乳	破片	73		
W160		クリ	果皮	破片	4		
W160		クリ	子葉	破片	6		
W160		堅果類	子葉	破片	12		
W160		イネ	胚乳	完形	5		
W160		イネ	胚乳	破片	7		
W161		クリ	果皮	破片	1	着点	
W161		タデ属（3面平滑）	果実	完形	1	焼き膨れて頂部から種子が突出している	
W162		クリ?	果皮?	破片	1		
W162		キハダ	種子	完形	1	一端欠損	
W162		コムギ?	胚乳	破片	1	状態不良,発泡している	
W162		イシミカワ近似種	果実	破片	1		

表3．炭化種実出土状況（1）

			SI24	SI27	SI30	SI39	SI40	SI43	SI45	SK148	SI47	SI49	SI50	SI51	SI52	SI53	SI54	SI55	SI56	SI58	SI59
栽培種																					
木本																					
スモモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
スモモ？	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
草本																					
オオムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	5	−	1	−	−	−	16	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	15	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ？	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ・コムギ	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	3	−	3	−	−	6	−
		破片	−	−	−	−	−	1	−	−	2	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
コムギ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ハトムギ？	胚乳？	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ	灰化穎	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	15	−
	灰化穎（基部）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
	穎	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	15	−	−	−	−	1	−	−
	穎（基部）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	23	4	4	−	−	1	3	−
	穎（芒）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（別個体）・胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	1	−	−	1	1	−	−	−	2	1	4	3	−	1	−	1	24	2
		破片	1	−	5	−	−	−	−	−	1	14	1	14	2	−	2	−	2	11	3
イネ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−
ヒエ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	5	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	1	34	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ？	胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科（タイヌビエ？）	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ主体（アワ含む）	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	12	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	21	−	−	200	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
アワ主体	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1717	−
アワ？	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ・キビ・アワ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	170	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アサ	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5	−
ソバ	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
マメ科（アズキ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	−
マメ科（アズキ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−
マメ科（ダイズ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
シソ属（エゴマ）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

表３．炭化種実出土状況（２）

			SI24	SI27	SI30	SI39	SI40	SI43	SI45	SK148	SI47	SI49	SI50	SI51	SI52	SI53	SI54	SI55	SI56	SI58	SI59
栽培種																					
その他																					
木本（堅果類）																					
オニグルミ	核	破片	−	−	−	8	10	1	12	2	7	5	−	3	7	3	30	−	49	−	3
オニグルミ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	1	−	−	1	−	2	−	−
クリ	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	14	−	−	−	−	−	−	−	20	−
クリ主体	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クリ？	果皮？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クリ	子葉	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クリ？	子葉？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−
トチノキ	種皮	破片	−	−	−	2	4	1	−	1	−	−	−	3	−	−	1	−	−	−	1
トチノキ？	種皮？	破片	−	−	−	−	1	−	6	3	1	8	5	4	1	13	6	4	−	−	−
	種子？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	子葉？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
トチノキ	子葉	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
堅果類	子葉	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	子葉？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
堅果類		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−
木本類																					
マタタビ近似種	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サクラ節	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−
キイチゴ属	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サンショウ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	19	−	−	−	−
キハダ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ウルシ属	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
タラノキ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ニワトコ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
水湿地生草本																					
オモダカ科	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−
ホタルイ属（サンカクイ類）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ホタルイ属	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	1	−
ヤナギタデ近似種	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ボントクタデ近似種	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
中生草本																					
イネ科	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ギシギシ属	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イシミカワ近似種	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イシミカワ近似種？	種子？	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イヌタデ近似種	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サナエタデ近似種	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
タデ属	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アカザ属	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
ヒユ属	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キジムシロ類	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
カタバミ属	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
エノキグサ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ナス属	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オミナエシ属	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オナモミ属	総苞	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明																					
不明	果実	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明（双子葉類）		完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明		完形	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
合計			2	1	5	10	16	4	19	6	14	54	8	78	20	27	93	4	58	2268	9

表3．炭化種実出土状況（3）

			SI62	SI63	SI67	SI69	SI71	SI73	SI74	SI75	SI76	SI77	SI78	SI79	SI81	SI82	SI83	SI84	SI86	SI87	SI88
栽培種																					
木本																					
スモモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
スモモ？	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6	−	−	−	−
モモ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子？	破片	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
草本																					
オオムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−
		破片	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ？	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ - コムギ	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−
コムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	胚乳	完形	2	−	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	8	−	−	−	1
		破片	−	5	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	21	−	−	−	−
コムギ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ハトムギ？	胚乳？	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ	灰化穎	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	灰化穎（基部）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎	破片	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（基部）	破片	1	−	−	−	−	−	−	−	4	−	−	2	−	2	1	−	−	−	−
	穎（芒）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（別個体）・胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	3	1	1	1	−	−	3	−	−	−	1	1	1	3	8	−	−	−	1
		破片	2	4	−	2	1	1	9	2	−	−	1	1	1	8	39	−	−	2	5
イネ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6	−	−	−	−
ヒエ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ？	胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科（タイヌビエ？）	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ主体（アワ含む）	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ主体	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ？	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3	1	−	−	−	−
ヒエ - キビ - アワ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科	胚乳	完形	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アサ	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ソバ	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
シソ属（エゴマ）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

表３．炭化種実出土状況（４）

			SI62	SI63	SI67	SI69	SI71	SI73	SI74	SI75	SI76	SI77	SI78	SI79	SI81	SI82	SI83	SI84	SI86	SI87	SI88
その他																					
木本（堅果類）																					
オニグルミ	核	破片	56	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－
オニグルミ？	核	破片	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ	果皮	破片	－	10	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－
クリ主体	果皮	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ？	果皮？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ	子葉	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ？	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ	種皮	破片	2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ？	種皮？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	種子？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ	子葉	破片	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
堅果類	子葉	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
堅果類		破片	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
木本類																					
マタタビ近似種	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サクラ節	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キイチゴ属	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サンショウ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キハダ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	核	完形	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タラノキ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ニワトコ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水湿地生草本																					
オモダカ科	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ホタルイ属（サンカクイ類）	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ホタルイ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤナギタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ボントクタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中生草本																					
イネ科	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ギシギシ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イシミカワ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イシミカワ近似種？	種子？	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イヌタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サナエタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タデ属	果実	完形	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
アカザ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヒユ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
キジムシロ類	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マメ科	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カタバミ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エノキグサ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ナス属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オミナエシ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オナモミ属	総苞	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明																					
不明	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	種子	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明（双子葉類）		完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明		完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計			74	27	6	9	4	2	14	4	4	1	5	5	2	19	97	5	2	4	7

表3．炭化種実出土状況（5）

			SK11	SX72	SX74	SX77	SX79	SK103	SK115	SK127	SX137	SX138	SX23	SX42	SX43	SX46	SX50	SX51	SX53
栽培種																			
木本																			
スモモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
スモモ？	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3	−	−
モモ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
草本																			
オオムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	16	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	4	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ？	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ・コムギ	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	胚乳	完形	−	−	−	1	2	−	−	−	1	107	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	4	−	−	−	−	2	35	−	−	−	−	−	−	−
コムギ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ハトムギ？	胚乳？	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ	灰化穎	破片	−	−	44	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	灰化穎（基部）	破片	−	−	55	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎	破片	−	−	−	27	1	−	−	−	10	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（基部）	破片	−	−	5	91	−	−	−	10	21	−	−	1	1	−	−	−	−
	穎（芒）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（別個体）・胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎・胚乳	完形	−	−	−	1	1	−	−	−	−	−	−	23	121	−	23	−	−
		破片	−	−	1	−	1	−	−	−	2	−	−	10	182	−	31	−	−
	胚乳	完形	4	−	4	3	3	−	−	2	8	−	−	57	318	−	15	5	−
		破片	5	4	14	39	10	1	−	−	19	−	−	101	658	−	73	7	−
イネ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	1	−	1	−	−	−	−	−	−	1	1	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ？	胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科（タイヌビエ？）	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
キビ	穎・胚乳	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	1	1	−	−	−	−	10	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	10	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	5	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ主体（アワ含む）	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ	穎・胚乳	完形	−	4	9	−	2	−	−	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−
		破片	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	16	−	1	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ主体	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ？	穎・胚乳	完形	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ・キビ・アワ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科	胚乳	完形	−	−	1	3	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アサ	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ソバ	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
シソ属（エゴマ）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

表３．炭化種実出土状況（６）

			SK11	SX72	SX74	SX77	SX79	SK103	SK115	SK127	SX137	SX138	SX23	SX42	SX43	SX46	SX50	SX51	SX53
その他																			
木本（堅果類）																			
オニグルミ	核	破片	18	－	－	－	－	－	26	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
オニグルミ？	核	破片	－	－	－	－	－	－	32	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ	果皮	破片	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	1	47	－	－	4	1
クリ主体	果皮	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ？	果皮？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	－
クリ	子葉	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	3	－	6	－
クリ？	子葉？	破片	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ	種皮	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ？	種皮？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	種子？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ	子葉	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
堅果類	子葉	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	12	－
	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
堅果類		破片	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
木本類																			
マタタビ近似種	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サクラ節	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キイチゴ属	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サンショウ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キハダ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
タラノキ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ニワトコ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水湿地生草本																			
オモダカ科	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ホタルイ属（サンカクイ類）	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ホタルイ属	果実	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤナギタデ近似種	果実	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ボントクタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中生草本																			
イネ科	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ギシギシ属	果実	完形	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イシミカワ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イシミカワ近似種？	種子？	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イヌタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サナエタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タデ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカザ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヒユ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キジムシロ類	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マメ科	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カタバミ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エノキグサ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
ナス属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オミナエシ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オナモミ属	総苞	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明																			
不明	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	種子	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明（双子葉類）		完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－
不明		完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計			30	10	159	171	28	1	58	17	92	148	5	227	1337	4	145	34	2

表3．炭化種実出土状況（7）

			SX54	SX55	SX57	SX58	SX59	SX61	SX62	SX67	SX69	SX81	SX85	SX89	SX89b	SX93	SX94	SX98	SX101
栽培種																			
木本																			
スモモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
スモモ？	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	20	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−
モモ	種子	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
草本																			
オオムギ	穎・胚乳	完形	1	−	−	71	−	−	−	−	−	−	−	22	5	−	−	−	−
	胚乳	完形	1	2	−	483	−	−	−	−	11	−	−	243	798	−	−	1	−
		破片	−	−	−	50	−	−	−	−	5	−	−	12	17	−	−	2	1
		破片	−	−	−	1cc	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	7cc	5cc	−	−	−	−
オオムギ？	穂軸	破片	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ・コムギ	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	2	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	胚乳	完形	−	−	−	5	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
コムギ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	−	−	−	−	−
		破片	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ハトムギ？	胚乳？	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ	灰化穎	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	灰化穎（基部）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎	破片	−	4	1	53	−	−	1	−	−	−	57	35	30	−	−	−	−
	穎（基部）	破片	1	−	1	374	−	−	−	−	−	−	204	60	104	−	−	1	−
	穎（芒）	破片	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（別個体）・胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎・胚乳	完形	−	−	2	24	−	−	1	−	−	−	161	1	3	−	−	−	−
		破片	−	−	1	1	−	−	−	−	−	−	9	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	8	−	106	473	3	1	7	18	19	−	376	8	339	−	−	4	−
		破片	6	−	242	12	5	2	23	153	48	−	303	4	378	−	−	3	−
イネ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3cc	−	−	−	−	−	−
イネ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ	穎・胚乳	完形	−	−	3	29	−	−	−	−	−	−	−	1	8	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	2	6	−	−	−	−
		破片	−	−	−	0.5cc	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ？	胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科（タイヌビエ？）	穎・胚乳	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ	穎・胚乳	完形	1	−	−	131	−	−	−	−	−	−	−	3	1	−	−	−	−
		破片	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	104	−	−	−	2	3	−	−	12	1	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ主体（アワ含む）	胚乳	完形	−	−	−	1cc	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ	穎・胚乳	完形	1	−	−	117	−	−	−	−	−	−	−	1	6	−	−	3	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
	胚乳	完形	−	−	2	1	1	−	−	−	−	−	1	−	18	−	−	12	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	7	−	1	−
アワ主体	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ？	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		完形	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ・キビ・アワ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	11	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−
イネ科	胚乳	完形	−	−	−	4	−	−	−	−	−	2	−	−	4	−	1	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0.05cc	−
アサ	果皮	破片	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ソバ	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
シソ属（エゴマ）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

表３．炭化種実出土状況（８）

			SX54	SX55	SX57	SX58	SX59	SX61	SX62	SX67	SX69	SX81	SX85	SX89	SX89b	SX93	SX94	SX98	SX101
その他																			
木本（堅果類）																			
オニグルミ	核	破片	1	−	−	75	−	3	−	−	−	3	−	−	−	−	−	1	−
オニグルミ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−
クリ	果皮	破片	438	−	−	122	62	−	2	−	−	−	193	−	−	−	−	14	−
クリ主体	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クリ？	果皮？	破片	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3	9	−
クリ	子葉	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クリ？	子葉？	破片	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
トチノキ	種皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
トチノキ？	種皮？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	24	−	−	−	−
	種子？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	子葉？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
トチノキ	子葉	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
堅果類	子葉	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	子葉？	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
堅果類		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
木本類																			
マタタビ近似種	種子	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サクラ節	核	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キイチゴ属	核	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サンショウ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キハダ	種子	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ウルシ属	核	完形	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
タラノキ	核	完形	−	2	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ニワトコ	核	完形	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
水湿地生草本																			
オモダカ科	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−
ホタルイ属（サンカクイ類）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−
ホタルイ属	果実	完形	1	−	−	6	−	−	−	−	−	−	1	−	5	−	−	−	−
		破片	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	1	−	1	−	−	−	−
ヤナギタデ近似種	果実	完形	1	5	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
ボントクタデ近似種	果実	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
中生草本																			
イネ科	果実	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	2	2	−	−	−	−
ギシギシ属	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イシミカワ近似種	果実	完形	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−
		破片	8	1	−	−	−	−	−	−	−	6	−	−	−	−	−	−	−
イシミカワ近似種？	種子？	完形	4	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−
イヌタデ近似種	果実	完形	1	3	−	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サナエタデ近似種	果実	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
タデ属	果実	完形	−	1	−	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アカザ属	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒユ属	種子	完形	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キジムシロ類	核	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科	種子	完形	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
カタバミ属	種子	完形	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
エノキグサ	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−
ナス属	種子	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オミナエシ属	果実	完形	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オナモミ属	総苞	破片	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明																			
不明	果実	破片	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	破片	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明（双子葉類）		完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明		完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−
合計			481	30	359	2184	74	8	34	173	87	15	1312	414	1756	7	5	65	1

表3．炭化種実出土状況（9）

			SX114	SX118	SX121	SX129	SX131	SX134	SU02	SD27	Ⅰ E17s	Ⅰ E18s	IE20p～ⅣElp	Ⅰ E20 t	Ⅱ E1t	Ⅱ E2s	Ⅱ F2b
栽培種																	
木本																	
スモモ	核	完形	−	−	−	5	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	34	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
スモモ？	種子	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ	核	完形	−	−	−	13	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	68	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
モモ	種子	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
モモ？	核	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	種子？	破片	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
草本																	
オオムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ？	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
オオムギ - コムギ	穂軸	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コムギ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ハトムギ？	胚乳？	完形	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ	灰化穎	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	灰化穎（基部）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎	破片	4	40	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（基部）	破片	1	120	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（芒）	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎（別個体）・胚乳	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	穎・胚乳	完形	1	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	8	7	−	9	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	11	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ主体	胚乳		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	7	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ	穎・胚乳	完形	−	−	−	7	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	9	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ？	胚乳	破片	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科（タイヌビエ？）	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	7	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ？	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キビ主体（アワ含む）	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ	穎・胚乳	完形	−	−	−	44	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	胚乳	完形	17	−	−	67	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ主体	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アワ？	穎・胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		完形	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヒエ - キビ - アワ	胚乳	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
イネ科	胚乳	完形	6	−	−	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アサ	果皮	破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ソバ	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（アズキ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マメ科（ダイズ類？）	種子	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
シソ属（エゴマ）	果実	完形	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		破片	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

表３．炭化種実出土状況（10）

			SX114	SX118	SX121	SX129	SX131	SX134	SU02	SD27	ⅠE17s	ⅠE18s	IE20p～ⅣElp	ⅠE20t	ⅡE1t	ⅡE2s	ⅡF2b
その他																	
木本（堅果類）																	
オニグルミ	核	破片	－	－	－	2	－	－	40	2	1	－	－	11	－	－	1
オニグルミ？	核	破片	－	－	－	－	－	－	29	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ	果皮	破片	1	3	－	1718	－	2	15	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ主体	果皮	破片	－	－	－	70cc	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ？	果皮？	破片	－	－	－	－	－	38	1	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ	子葉	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
		破片	－	－	－	2	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－
クリ？	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ	種皮	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ？	種皮？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	種子？	破片	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トチノキ	子葉	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
堅果類	子葉	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子葉？	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
堅果類		破片	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
木本類																	
マタタビ近似種	種子	完形	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サクラ節	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キイチゴ属	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サンショウ	種子	完形	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キハダ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	核	完形	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タラノキ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ニワトコ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水湿地生草本																	
オモダカ科	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ホタルイ属（サンカクイ類）	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ホタルイ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤナギタデ近似種	果実	完形	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ボントクタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中生草本																	
イネ科	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ギシギシ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イシミカワ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イシミカワ近似種？	種子？	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イヌタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サナエタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タデ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカザ属	種子	完形	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヒユ属	種子	完形	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キジムシロ類	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マメ科	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カタバミ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エノキグサ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ナス属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オミナエシ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オナモミ属	総苞	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明																	
不明	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	種子	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明（双子葉類）		完形	7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明		完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計			82	170	5	2019	2	40	87	2	1	1	1	11	1	1	1

表４．主な炭化種実類の計測値（１）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W120	3	イネ	胚乳	完形	100	1	4.4	2.5	1.6	図版2－22,23
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	2	4.1	1.8	1.4	図版2－22,24
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	3	4.6	2.6	1.6	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	4	4.3	2.8	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	5	4.9	2.8	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	6	4.4	2.7	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	7	4.5	2.6	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	8	4.3	2.8	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	9	4.8	2.8	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	10	4.3	3.0	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	11	4.9	2.4	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	12	5.0	2.7	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	13	4.4	2.9	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	14	4.6	3.0	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	15	4.6	2.8	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	16	4.5	2.5	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	17	4.6	2.9	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	18	4.3	2.8	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	19	4.5	2.8	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	20	4.1	2.8	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	21	4.2	2.8	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	22	4.7	2.7	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	23	4.6	2.5	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	24	4.8	2.8	2.3	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	25	4.6	2.7	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	26	4.4	2.7	1.7	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	27	5.3	2.6	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	28	4.4	2.9	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	29	4.7	2.6	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	30	4.1	2.8	1.8	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	31	4.5	3.0	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	32	4.6	2.5	1.8	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	33	4.3	2.2	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	34	4.6	2.7	1.7	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	35	4.6	2.7	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	36	4.4	2.6	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	37	4.4	2.9	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	38	4.8	2.8	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	39	3.9	2.3	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	40	4.6	2.4	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	41	4.7	2.6	2.5	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	42	4.6	2.5	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	43	4.3	2.5	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	44	4.6	2.6	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	45	4.3	2.8	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	46	4.5	2.5	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	47	5.0	2.9	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	48	4.5	2.7	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	49	4.4	2.7	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	50	4.1	3.0	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	51	4.5	2.8	1.8	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	52	4.2	2.3	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	53	4.1	2.5	2.1	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	54	3.7	2.7	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	55	4.3	2.7	1.8	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	56	4.5	2.4	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	57	4.7	2.7	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	58	4.7	2.7	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	59	4.4	2.5	1.6	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	60	5.0	2.4	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	61	4.6	2.8	1.7	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	62	3.9	2.2	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	63	4.6	2.7	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	64	4.4	2.5	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	65	4.7	2.7	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	66	4.3	2.4	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	67	4.1	2.1	1.6	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	68	4.0	2.7	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	69	4.3	2.3	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	70	4.4	2.7	1.9	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	71	3.7	2.2	1.5	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	72	3.9	2.5	1.7	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	73	3.8	2.2	1.6	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	74	4.1	2.2	1.4	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	75	4.5	2.7	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	76	4.1	2.2	1.8	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	77	4.2	2.7	1.5	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	78	4.8	2.4	2.5	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	79	3.9	2.3	1.7	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	80	4.0	2.5	2.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	81	4.9	2.6	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	82	4.6	2.4	1.2	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	83	4.0	2.1	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	84	4.0	2.8	1.8	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	85	3.8	2.0	1.7	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	86	5.1	2.8	2.0	図版2－22
W120	3	イネ	胚乳	完形	－	87	3.9	2.5	1.8	図版2－22

表４．主な炭化種実類の計測値（２）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	88	4.0	1.7	1.0	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	89	3.6	2.3	1.7	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	90	3.2	1.6	0.9	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	91	3.8	1.7	1.2	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	92	3.5	1.8	1.2	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	93	3.4	1.9	1.5	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	94	3.6	1.8	1.0	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	95	3.9	2.0	1.1	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	96	3.4	1.8	1.4	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	97	3.5	1.8	1.0	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	98	3.9	1.9	1.3	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	99	3.8	2.0	1.1	図版2−22
W120	3	イネ	胚乳	完形	−	100	4.2	1.4	0.9	図版2−22
W157	1	イネ	胚乳	完形	100	1	4.7	2.7	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	2	4.2	1.7	1.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	3	3.9	2.4	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	4	4.4	3.0	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	5	4.3	2.9	2.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	6	4.3	2.9	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	7	4.3	2.5	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	8	4.2	2.6	1.6	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	9	4.3	2.8	2.2	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	10	3.7	2.6	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	11	4.1	2.4	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	12	4.8	2.6	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	13	4.3	2.8	2.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	14	4.0	2.4	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	15	4.2	2.6	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	16	4.0	2.4	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	17	3.9	2.6	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	18	4.3	2.4	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	19	4.1	2.5	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	20	4.4	3.0	2.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	21	3.8	2.4	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	22	4.6	2.6	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	23	4.0	2.8	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	24	4.0	2.2	1.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	25	4.5	2.4	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	26	3.7	1.9	1.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	27	4.0	2.9	2.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	28	4.6	2.8	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	29	4.9	2.6	2.2	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	30	4.3	2.6	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	31	4.3	2.5	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	32	4.5	2.7	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	33	4.4	2.7	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	34	4.2	2.5	2.3	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	35	3.9	2.5	2.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	36	4.4	2.6	2.2	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	37	4.9	2.8	2.4	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	38	4.1	2.4	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	39	3.8	2.4	1.6	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	40	4.4	2.5	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	41	3.2	2.3	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	42	4.5	2.8	2.2	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	43	4.0	2.6	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	44	4.5	2.8	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	45	4.3	2.5	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	46	4.4	2.6	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	47	3.7	2.2	1.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	48	4.2	2.5	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	49	3.7	2.0	1.4	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	50	3.2	1.9	1.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	51	3.6	2.4	1.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	52	4.3	2.3	1.6	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	53	4.3	2.4	1.2	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	54	4.0	3.1	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	55	3.5	2.2	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	56	4.2	2.3	2.1	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	57	4.0	2.4	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	58	3.6	2.2	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	59	3.3	2.2	1.7	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	60	4.9	2.7	2.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	61	3.8	2.3	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	62	3.5	2.3	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	63	4.2	2.5	2.0	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	64	3.7	2.5	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	65	4.3	2.5	1.5	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	66	4.0	2.5	1.9	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	67	3.7	2.0	1.8	
W157	1	イネ	胚乳	完形	−	68	3.2	2.2	1.6	
W157	2	イネ	胚乳	完形	32	1	4.5	2.7	1.9	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	2	4.5	2.9	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	3	4.7	3.0	2.6	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	4	4.0	2.5	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	5	4.3	2.3	1.8	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	6	4.0	2.2	1.8	

表４．主な炭化種実類の計測値（３）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	7	3.9	2.4	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	8	3.5	2.3	1.7	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	9	3.5	2.4	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	10	4.3	2.6	1.7	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	11	4.0	2.6	2.2	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	12	3.9	2.2	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	13	4.3	2.8	2.2	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	14	4.8	2.5	2.1	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	15	4.3	2.5	1.7	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	16	4.7	3.2	2.2	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	17	5.1	3.1	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	18	4.1	2.5	1.7	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	19	3.6	2.7	2.1	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	20	3.5	2.7	1.9	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	21	4.1	2.6	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	22	4.3	2.3	1.9	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	23	3.9	2.5	1.7	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	24	4.1	2.1	1.8	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	25	4.3	2.9	2.1	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	26	4.1	2.5	1.8	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	27	4.5	2.4	1.9	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	28	3.9	2.2	1.6	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	29	4.2	2.5	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	30	4.5	2.5	1.9	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	31	4.6	2.6	2.0	
W157	2	イネ	胚乳	完形	−	32	3.9	2.3	1.6	
W110	1	イネ	胚乳	完形	12	1	3.5	2.1	1.6	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	2	3.6	1.4	0.9	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	3	3.3	2.1	1.9	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	4	4.2	1.6	0.9	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	5	4.1	1.7	0.4	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	6	3.5	1.5	1.0	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	7	3.5	1.6	0.9	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	8	3.5	1.8	0.9	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	9	3.6	1.7	1.1	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	10	2.4	1.4	0.8	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	11	3.4	1.7	1.1	
W110	1	イネ	胚乳	完形	−	12	2.9	1.4	0.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	100	1	4.4	2.9	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	2	3.4	1.6	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	3	4.5	2.6	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	4	4.4	2.8	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	5	4.3	2.7	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	6	4.1	2.5	1.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	7	4.0	2.5	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	8	4.6	2.8	2.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	9	4.3	2.9	1.8	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	10	5.2	2.5	1.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	11	4.2	3.1	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	12	4.6	2.8	2.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	13	3.5	2.4	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	14	4.4	2.9	2.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	15	3.9	2.4	1.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	16	4.4	2.8	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	17	4.7	2.7	2.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	18	4.4	2.7	2.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	19	4.6	2.7	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	20	4.1	2.7	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	21	4.8	3.0	2.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	22	4.3	2.6	2.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	23	4.3	2.7	2.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	24	4.6	2.8	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	25	4.8	2.7	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	26	4.1	2.9	2.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	27	4.2	2.7	2.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	28	4.4	3.5	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	29	4.0	2.6	1.8	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	30	3.8	3.0	2.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	31	4.5	2.8	2.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	32	3.9	2.7	2.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	33	4.0	2.9	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	34	4.6	3.5	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	35	4.2	3.0	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	36	4.0	3.5	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	37	4.2	2.8	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	38	4.0	2.8	2.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	39	4.0	2.6	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	40	3.8	2.4	2.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	41	3.6	2.3	1.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	42	3.9	2.1	1.5	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	43	3.8	2.3	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	44	3.9	2.5	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	45	4.1	1.9	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	46	3.8	2.5	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	47	4.1	2.4	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	48	3.9	3.2	2.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	−	49	5.1	2.9	1.9	

表４．主な炭化種実類の計測値（４）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	50	4.4	2.5	1.8	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	51	4.1	2.4	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	52	4.2	2.3	1.4	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	53	4.4	2.5	1.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	54	3.8	2.3	1.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	55	3.7	2.5	2.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	56	3.6	2.1	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	57	3.6	2.3	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	58	3.9	2.1	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	59	3.7	2.3	1.5	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	60	3.8	2.4	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	61	3.6	2.1	1.5	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	62	3.4	2.2	1.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	63	3.7	1.7	1.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	64	3.6	2.1	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	65	3.5	2.1	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	66	3.5	2.2	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	67	4.0	2.0	1.5	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	68	3.7	2.1	1.4	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	69	3.3	2.1	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	70	3.4	2.1	1.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	71	3.5	2.2	1.4	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	72	3.4	2.2	1.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	73	4.1	2.3	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	74	4.6	2.2	1.5	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	75	3.9	1.9	1.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	76	3.1	1.9	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	77	3.7	2.0	1.4	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	78	3.6	1.9	1.4	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	79	4.1	2.0	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	80	3.0	2.2	1.6	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	81	3.2	2.0	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	82	4.0	1.8	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	83	3.6	1.9	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	84	3.5	1.9	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	85	3.3	1.1	1.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	86	3.6	1.8	1.4	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	87	3.4	1.4	0.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	88	3.3	1.9	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	89	3.4	1.5	1.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	90	3.6	1.5	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	91	3.1	1.4	0.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	92	3.2	1.8	1.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	93	3.4	1.8	0.9	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	94	3.5	1.8	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	95	3.3	1.8	1.3	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	96	3.7	1.4	1.0	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	97	3.2	1.5	0.7	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	98	4.0	1.8	1.2	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	99	3.6	1.5	1.1	
W111	3	イネ	胚乳	完形	－	100	4.0	1.8	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	100	1	4.3	2.8	2.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	2	3.4	1.8	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	3	4.0	2.3	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	4	4.6	2.8	2.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	5	4.1	2.3	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	6	3.5	2.2	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	7	3.9	2.1	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	8	4.1	2.2	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	9	4.2	2.6	2.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	10	4.2	2.5	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	11	3.8	2.0	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	12	4.8	3.2	2.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	13	4.0	2.3	1.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	14	4.8	2.3	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	15	4.0	2.8	2.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	16	4.6	2.9	2.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	17	3.5	2.3	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	18	4.0	2.2	2.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	19	4.0	1.9	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	20	3.9	2.4	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	21	3.7	2.3	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	22	3.9	2.5	1.8	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	23	3.5	2.1	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	24	3.9	2.0	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	25	4.0	2.2	1.5	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	26	3.3	1.9	1.5	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	27	3.7	2.0	1.5	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	28	4.5	2.4	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	29	3.7	2.3	1.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	30	3.5	2.4	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	31	4.0	2.5	2.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	32	4.9	2.5	2.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	33	4.3	1.9	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	34	4.4	2.1	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	35	4.6	2.6	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	－	36	3.7	2.0	1.2	

表４．主な炭化種実類の計測値（５）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	37	4.3	2.2	2.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	38	3.6	2.3	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	39	3.8	2.2	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	40	4.0	2.4	1.5	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	41	3.7	2.1	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	42	3.7	2.4	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	43	3.9	2.8	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	44	3.7	2.0	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	45	3.8	2.3	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	46	3.6	1.8	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	47	3.9	2.0	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	48	4.0	2.1	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	49	3.7	1.9	1.5	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	50	3.6	2.2	1.7	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	51	3.3	2.2	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	52	3.8	1.9	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	53	3.3	2.0	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	54	3.7	1.9	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	55	3.7	2.2	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	56	3.5	2.2	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	57	3.7	1.9	1.6	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	58	3.3	2.0	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	59	3.5	2.0	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	60	3.8	2.0	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	61	3.2	1.8	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	62	3.4	1.7	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	63	3.1	1.7	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	64	3.1	2.0	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	65	3.7	1.6	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	66	3.0	1.5	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	67	2.8	1.8	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	68	3.2	1.8	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	69	3.2	1.3	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	70	3.6	1.5	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	71	3.5	1.6	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	72	3.8	2.1	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	73	3.4	1.8	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	74	3.4	1.7	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	75	3.7	1.9	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	76	3.2	2.1	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	77	3.5	1.7	1.5	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	78	3.4	1.5	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	79	3.0	1.8	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	80	3.4	2.1	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	81	3.3	1.8	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	82	3.5	2.0	1.1	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	83	3.4	1.8	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	84	3.8	1.4	1.3	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	85	3.8	1.6	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	86	3.4	1.7	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	87	3.3	1.8	1.2	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	88	3.2	2.0	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	89	3.7	1.7	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	90	3.5	1.8	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	91	3.2	1.7	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	92	3.5	1.9	1.4	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	93	3.5	1.9	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	94	2.9	1.5	0.9	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	95	3.8	1.9	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	96	3.2	1.7	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	97	3.1	1.7	0.8	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	98	3.4	1.5	0.8	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	99	3.0	1.6	1.0	
W123	3	イネ	胚乳	完形	−	100	3.4	1.6	0.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	90	1	4.5	3.0	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	2	3.8	1.7	1.1	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	3	4.5	2.8	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	4	4.3	2.3	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	5	4.0	2.3	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	6	4.7	2.5	2.3	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	7	4.7	2.9	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	8	4.5	2.4	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	9	4.7	2.7	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	10	4.3	2.7	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	11	4.4	2.9	2.3	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	12	4.3	2.5	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	13	4.6	2.4	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	14	4.8	2.9	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	15	4.7	2.4	1.6	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	16	4.1	2.6	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	17	4.9	2.8	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	18	4.4	2.5	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	19	4.8	3.1	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	20	5.1	2.3	1.5	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	21	4.6	2.4	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	22	4.5	2.4	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	23	4.0	2.7	2.1	

表４．主な炭化種実類の計測値（６）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	24	4.3	2.8	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	25	4.8	2.8	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	26	4.6	2.9	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	27	4.0	2.6	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	28	4.4	2.7	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	29	5.0	2.7	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	30	4.2	2.8	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	31	4.7	2.7	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	32	4.5	2.5	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	33	4.3	2.7	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	34	4.2	2.4	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	35	4.4	2.8	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	36	4.3	2.7	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	37	4.3	2.6	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	38	3.9	2.6	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	39	4.3	2.6	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	40	4.7	2.7	2.1	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	41	4.5	2.2	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	42	4.9	2.8	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	43	4.2	2.8	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	44	4.4	2.8	2.1	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	45	5.2	2.7	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	46	4.5	2.7	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	47	4.4	2.7	2.3	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	48	4.6	2.6	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	49	4.7	2.5	1.6	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	50	4.4	2.6	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	51	4.8	2.9	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	52	4.7	2.8	1.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	53	4.2	2.8	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	54	4.3	2.6	1.4	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	55	4.5	2.5	1.4	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	56	4.7	2.7	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	57	4.7	2.9	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	58	4.6	2.5	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	59	4.5	2.0	1.5	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	60	4.2	2.5	2.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	61	3.7	2.4	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	62	4.4	2.8	2.5	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	63	4.0	2.6	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	64	4.3	2.2	1.6	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	65	4.3	2.3	1.6	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	66	3.7	2.6	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	67	3.7	2.6	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	68	3.4	2.5	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	69	4.0	2.2	1.3	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	70	3.9	2.5	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	71	3.7	2.6	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	72	4.3	2.2	1.6	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	73	3.7	2.5	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	74	3.8	2.5	2.0	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	75	3.6	2.3	1.6	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	76	3.6	2.1	1.8	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	77	3.8	2.1	1.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	78	4.2	1.8	1.4	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	79	3.9	2.3	1.7	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	80	3.9	1.2	1.1	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	81	3.1	1.9	1.4	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	82	4.3	1.8	1.4	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	83	3.1	2.0	1.2	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	84	3.7	1.9	1.3	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	85	3.2	1.4	1.1	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	86	3.8	1.6	1.1	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	87	3.5	1.6	1.3	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	88	3.2	1.6	0.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	89	3.4	1.6	0.9	
W121	3	イネ	胚乳	完形	−	90	3.2	1.6	1.1	
W133	5	ハトムギ?	胚乳?	完形	1	−	4.8	5.0	3.8	図版2－29
W133	5	モモ	核	完形	11	1	23.9	18.7	13.1	図版1－9
W133	5	モモ	核	完形	−	2	22.6	15.7	10.8	
W133	5	モモ	核	完形	−	3	25.5	17.6	12.6	
W133	5	モモ	核	完形	−	4	22.1	15.6	11.9	
W133	5	モモ	核	完形	−	5	23.4	14.9	11.4	
W133	5	モモ	核	完形	−	6	20.5	14.3	10.0	
W133	5	モモ	核	完形	−	7	22.4	14.8	10.9	
W133	5	モモ	核	完形	−	8	20.6	14.6	11.5	
W133	5	モモ	核	完形	−	9	20.9	11.3	11.4	
W133	5	モモ	核	完形	−	10	21.2	11.8 +	11.0	腹面欠損
W133	5	モモ	核	完形	−	11	18.6 +	15.3	12.5	頂部欠損
W133	5	モモ	核	半分	2	1	23.2	18.2	7.6 +	
W133	5	モモ	核	半分	−	2	22.5	16.6 +	6.9 +	
W133	5	スモモ	核	完形	4	1	10.9	8.8	7.1	図版1－10
W133	5	スモモ	核	完形	−	2	10.8	10.0	8.2	
W133	5	スモモ	核	完形	−	3	10.9	10.8	7.8	
W133	5	スモモ	核	完形	−	4	12.4	9.9	6.9	
W133	5	マメ科（アズキ類）	種子	完形	1	−	5.8	3.6	3.4	図版3－48, 臍：長さ2.3㎜ 幅0.7㎜
W38	3	マメ科（アズキ類）	種子	破片	3	1	3.7	2.5	1.1 +	半分厚, 初生葉欠損

表４．主な炭化種実類の計測値（７）

仮番号	枝番	分類群	部位	状態	個数	枝番	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	備考
W38	3	マメ科（アズキ類）	種子	破片	−	2	3.2	2.3	1.0 +	半分厚，初生葉欠損
W38	3	マメ科（アズキ類）	種子	破片	−	3	3.3	2.1	1.1 +	半分厚，初生葉欠損
W38	1	マメ科（ダイズ類）	種子	完形	1	−	6.4 +	5.7	4.3	図版3－49，臍：残存長1.3㎜，幅0.6㎜
W155	1	シソ属（エゴマ）	果実	完形	2	1	1.9	1.7	1.5	図版3－53
W155	1	シソ属（エゴマ）	果実	完形	−	2	2.0	1.8 +	1.4 +	図版3－54
W148		クリ	子葉	完形	1		17.8	16.8	7.8	図版1－5
W149		クリ	子葉	完形	1		13.2	14.4	7.6	
W109	3	ウルシ属	核	完形	2	1	2.1	2.9	1.7	
W109	3	ウルシ属	核	完形	−	2	2.1	2.8	1.7	図版1－9
W43	2	ウルシ属	核	完形	1	−	2.2 +	2.9	2.0	
W133	3	ウルシ属	核	完形	1	−	2.7	3.9 +	1.6 +	
W50		単子葉類	鱗茎	破片	2	−	23.0	15.7	−	図版4

注）計測はデジタルノギスを使用し、欠損部は残存値に「+」で示す。

表５．炭化米の粒形・粒大

試料		粒形	円粒（1.0－1.4）				短粒（1.4－2.0）				長粒（2.0－）				合計
		粒大	極小（8－12）	小（12－16）	中（16－20）	大（20－）	極小（8－12）	小（12－16）	中（16－20）	大（20－）	極小（8－12）	小（12－16）	中（16－20）	大（20－）	
SI27	炭化物層		0	0	0	0	15	22	4	0	3	0	1	0	45
SX30	5～7層		0	0	0	0	9	12	0	0	1	0	0	0	22
SX30	11～13層		1	1	0	0	44	28	0	0	3	3	0	0	80
SX42	2層		0	0	0	0	6	3	0	0	1	0	0	0	10
SX43	2～3層		1	0	0	0	20	31	5	0	1	0	0	0	58
SX43	2層以下		0	0	0	0	48	49	2	0	0	1	0	0	100
炭化米合計			2	1	0	0	142	145	11	0	9	4	1	0	315
頻度（%）			0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	45.1%	46.0%	3.5%	0.0%	2.9%	1.3%	0.3%	0.0%	100.0%

注）粒大（長さ×幅）、粒形（長さ／幅）は、佐藤（1988）の定義に従う

引用文献

石川茂雄，1994，原色日本植物種子写真図鑑．石川茂雄図鑑刊行委員会，328p.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志，2000，日本植物種子図鑑（2010年改訂版）．東北大学出版会，678p.

小畑弘巳，2008，マメ科種子同定法．「極東先史古代の雑穀3」，日本学術振興会平成16～19年度科学研究費補助金（基盤B-2）（課題番号16320110）「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書，小畑弘巳編，熊本大学埋蔵文化財調査室，225-252.

小畑弘己，2011，東北アジア古民族植物学と縄文農耕．同成社，309p.

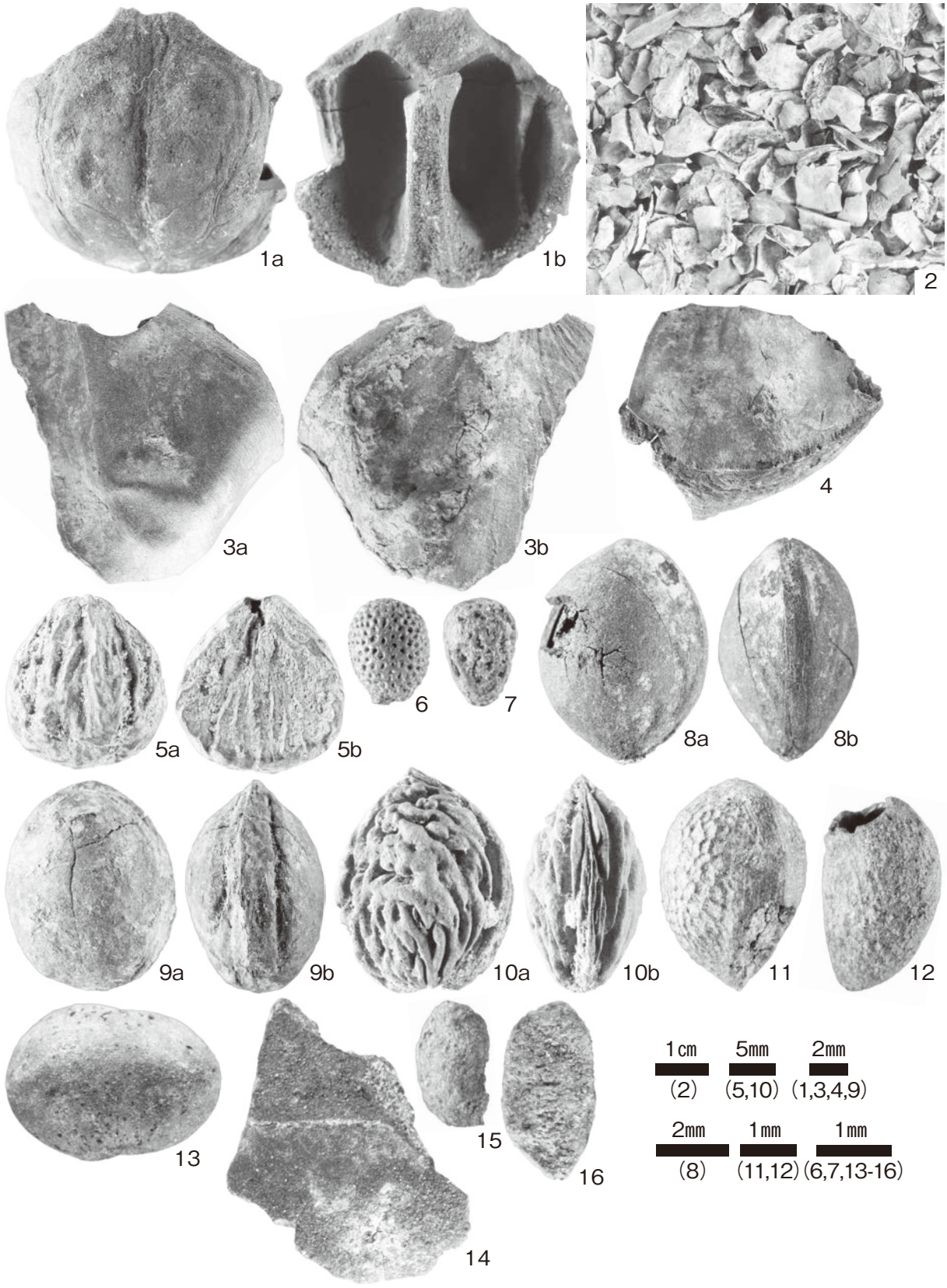
吉崎昌一，1992，古代雑穀の検出．月刊考古学ジャーナル，No.355，2-14.

佐々木由香・米田恭子・小林和貴，2014，遺跡出土炭化鱗茎同定のための識別方法．第29回日本植生史学会退会講演要旨集，43.

鈴木庸夫・高橋冬・安延尚文，2012，ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種－．誠文堂新光社，272p.

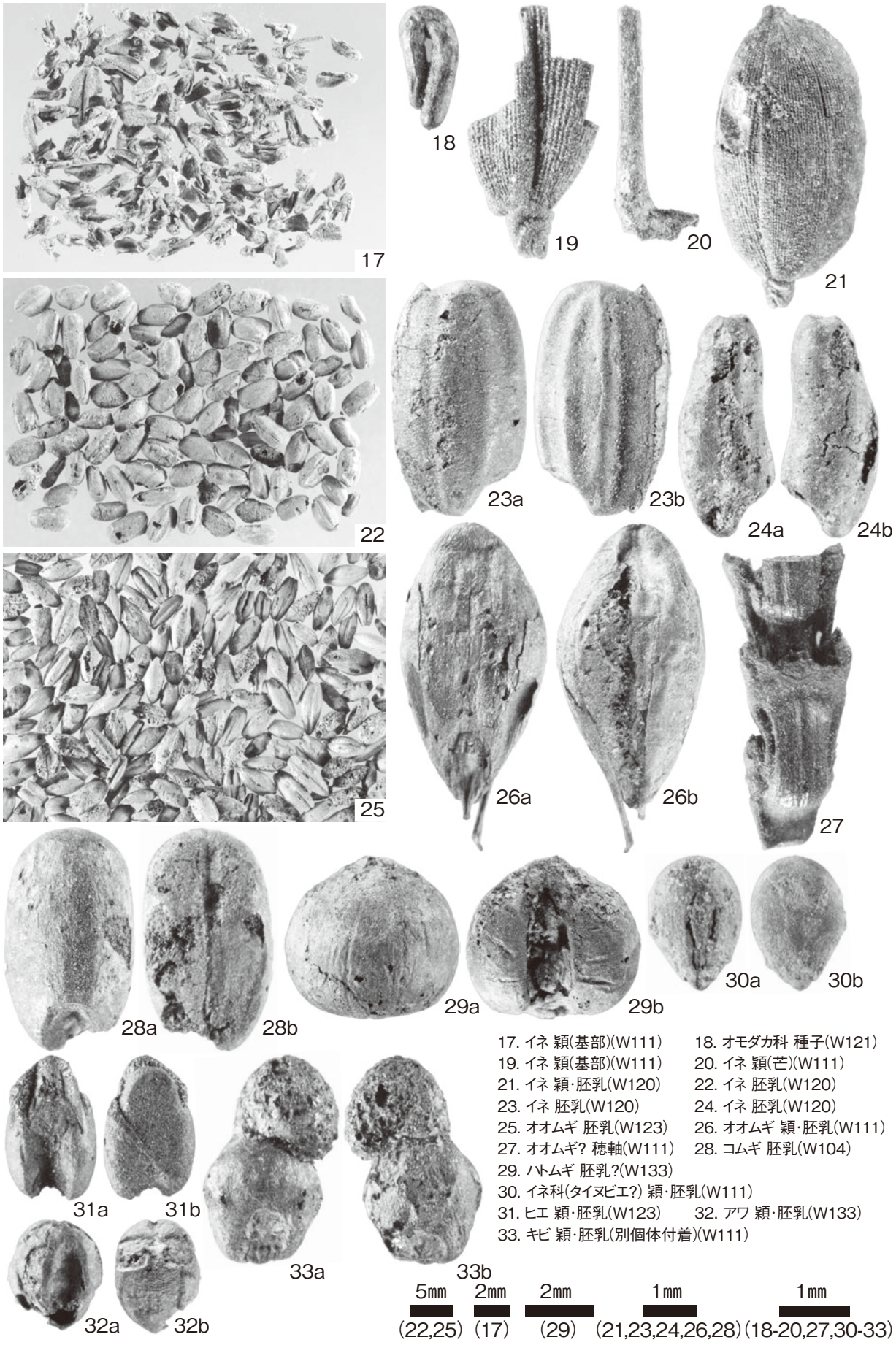
椿坂恭代，1993，アワ・ヒエ・キビの同定．吉崎昌一先生還暦記念論集「先史学と関連科学」，261-281.

図版１　炭化種実（１）



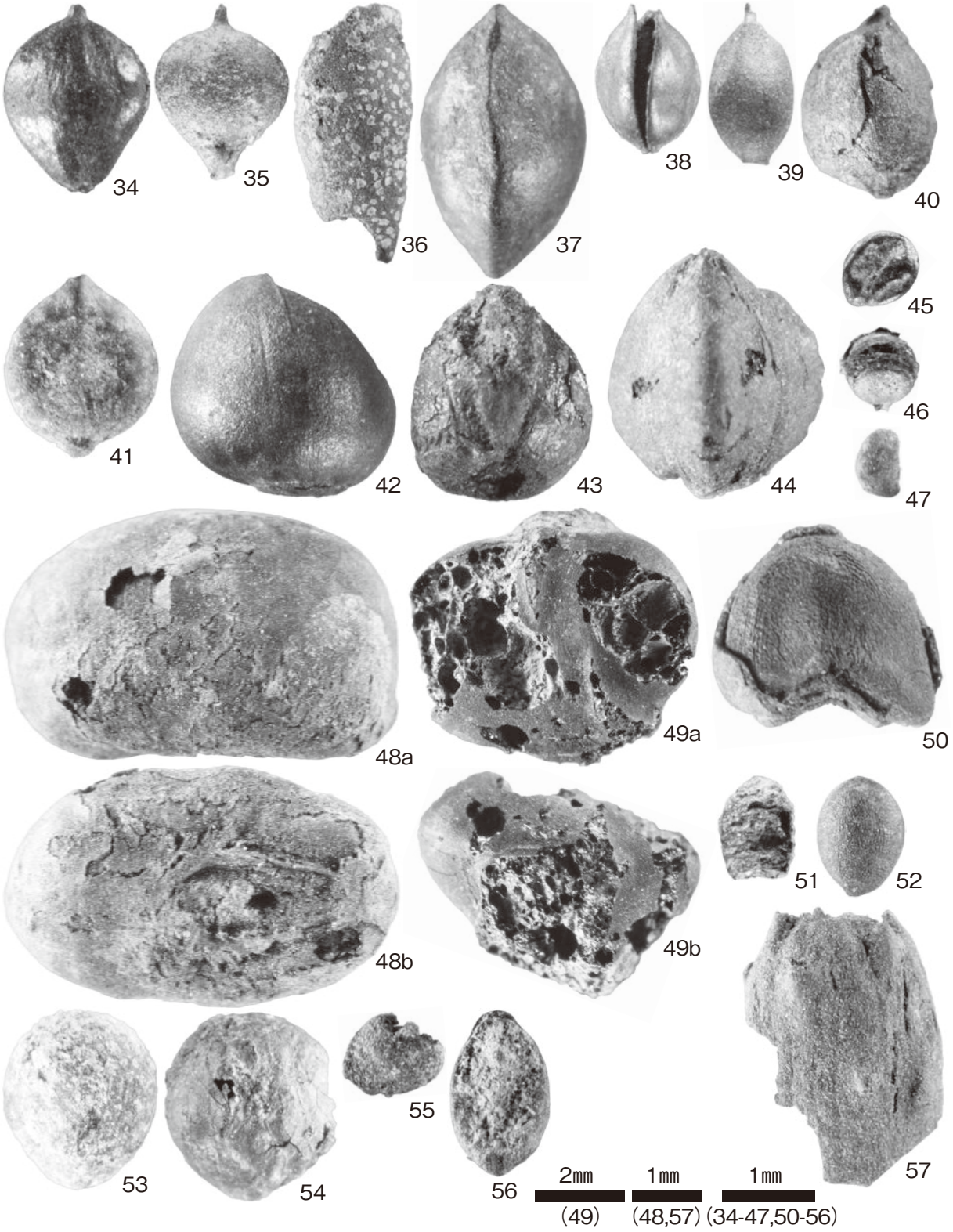
１．オニグルミ 核（W75）　２．クリ 果皮（W133）　３．クリ 果皮（W133）
４．クリ 果皮（基部）(W133)　５．クリ 子葉（W148）　６．マタタビ近似種 種子（W111）
７．キイチゴ属 核（W109）　８．サクラ節 核（W27）　９．スモモ 核（W133）
10．モモ 核（W133）　11．サンショウ 種子（W133）　12．キハダ 種子（W162）
13．ウルシ属 核（W109）　14．トチノキ 種皮（W4）　15．タラノキ 核（W109）
16．ニワトコ 核（W109）

図版２　炭化種実（２）



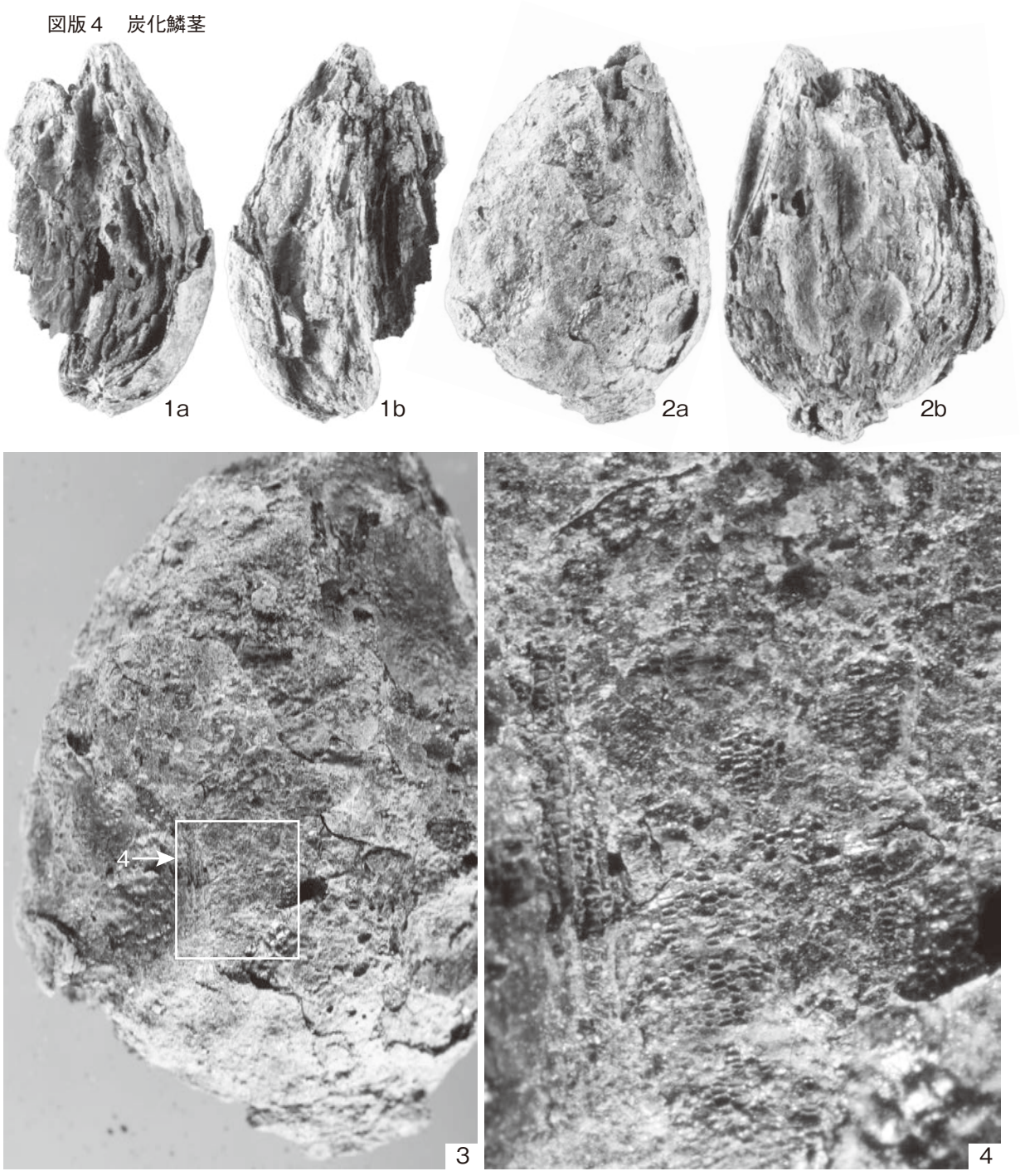
17. イネ 穎(基部)(W111)　18. オモダカ科 種子(W121)
19. イネ 穎(基部)(W111)　20. イネ 穎(芒)(W111)
21. イネ 穎・胚乳(W120)　22. イネ 胚乳(W120)
23. イネ 胚乳(W120)　24. イネ 胚乳(W120)
25. オオムギ 胚乳(W123)　26. オオムギ 穎・胚乳(W111)
27. オオムギ? 穂軸(W111)　28. コムギ 胚乳(W104)
29. ハトムギ 胚乳?(W133)
30. イネ科(タイヌビエ?) 穎・胚乳(W111)
31. ヒエ 穎・胚乳(W123)　32. アワ 穎・胚乳(W133)
33. キビ 穎・胚乳(別個体付着)(W111)

図版３　炭化種実（３）



34. ホタルイ属（サンカクイ類）果実（W121）
35. ホタルイ属 果実（W111）
36. アサ 果皮（W110）
37. ギシギシ属 果実（W89）
38. イヌタデ近似種 果実（W111）
39. ヤナギタデ近似種 果実（W133）
40. ボントクタデ近似種 果実（W111）
41. サナエタデ近似種 果実（W109）
42. イシミカワ近似種 果実（W108）
43. イシミカワ近似種 種子（W108）
44. ソバ 果実（W38）
45. アカザ属 種子（W133）
46. ヒユ属 種子（W133）
47. キジムシロ類 核（W109）
48. マメ科（アズキ類）種子（W133）
49. マメ科（ダイズ類）種子（W38）
50. マメ科 種子（W111）
51. カタバミ属 種子（W114）
52. エノキグサ 種子（W121）
53. シソ属（エゴマ）果実（W155）
54. シソ属（エゴマ）果実（W155）
55. ナス属 種子（W109）
56. オミナエシ属 果実（W109）
57. オナモミ属 総苞（W111）

図版４　炭化鱗茎



1-4. 単子葉類 鱗茎（W50）

３－４　土壌および土器器面の顔料分析

本報告では、弥生時代とされる遺物包含層および遺構から出土した赤色顔料とされる土塊と、弥生および古代とされる土器の器面に認められた赤色顔料を対象とした分析を行い、その性状を明らかにする。

（１）試　　料

試料は、赤色顔料を含有する土壌試料５点（試料番号O20、O21、O22、O23、O24）と赤色顔料が付着する土器試料10点（試料番号2467、2667、2799、2801、2873、860、867、872、2028、2036）である。土壌試料は弥生時代の土坑および遺物包含層から採取されている。試料が採取された遺構は、試料番号O20が土坑SK100、O21が土坑SK106、O22が土坑SK107、O23が土坑SK119の覆土中より、O24は遺物包含層Ⅳ層上面である。

土器試料は弥生土器が５点、古代の土器が５点である。弥生土器は全て遺物包含層から出土しており、試料番号2467はⅣｂ層から出土した鉢、2667はⅣａ層から出土した台付の皿、2799はⅣ層から出土した壺、2801はⅣａ層から出土した鉢、2873はⅣａ層から出土した台付の鉢である。古代の土器は竪穴住居跡および焼成遺構から出土しており、試料番号860は竪穴住居跡SI10の床面から出土した甕、867は竪穴住居跡SI139の覆土下部から出土した皿、872は焼成遺構SX72から出土した甕、2028は竪穴住居跡SI59の床面から出土した甕、2036は竪穴住居跡SI91の煙出部から出土した甕である。

試料の一覧を表１に示す。なお、土壌試料からは比較的赤色顔料が濃集した土塊を抽出して、土器試料からは表面の赤色顔料を削取して供試試料とした。

表１．試料一覧

試料番号	遺構の種類	遺構名	層位	種類	時期	器種	部位	備考
O20	土坑	SK100	一括	土壌	弥生	－	－	
O21	土坑	SK106	2層	土壌	弥生	－	－	
O22	土坑	SK107	一括	土壌	弥生	－	－	
O23	土坑	SK119	底面	土壌	弥生	－	－	
O24	遺物包含層	ⅡF1a	Ⅳｂ層上面	土壌	弥生	－	－	
2467	遺物包含層	ⅡF1c	Ⅳｂ層	土器	弥生	鉢	胴～底部	
2667	遺物包含層	ⅡF2c	Ⅳａ層	土器	弥生	皿（台付）	底部	
2799	遺物包含層	ⅠE18t	Ⅳ層	土器	弥生	壺	口～底部	内面に顔料付着
2801	遺物包含層	ⅠE18t	Ⅳａ層	土器	弥生	鉢	胴部	
2873	遺物包含層	ⅠE20t	Ⅳａ層	土器	弥生	鉢（台付）	台部	
860	竪穴住居跡	SI10	床面	土器	古代	甕	胴～底部	
867	竪穴住居跡	SI39	下部	土器	古代	皿	口～底部	
872	焼成遺構	SX72	一括	土器	古代	甕	胴部	
2028	竪穴住居跡	SI59	床面	土器	古代	甕	口～底部	
2036	竪穴住居跡	SI91	煙出6層	土器	古代	甕	胴～底部	

（2） 分　析　方　法

供試試料をメノウ乳鉢･乳棒で磨砕した後、無反射試料板を用いて理学電気製Ｘ線回折装置（Ultima Ⅳ Protectus）によって測定を実施した。X線管球：Cu、管電圧-管電流：40kV-40mA、発散スリット（DS）：1/2°とし、検出器には高速一次元検出器（D/teX Ultra2、蛍光Ｘ線低減モード）を用いた。測定条件の詳細は図中に併記しているので、そちらを参照されたい。

なお、物質の同定解析は、Materials Data、Inc.のＸ線回折パターン処理プログラムJADE9.5を用い、リファレンスデータベースはICDDのPDF2（Release 2013）を利用して該当する化合物または鉱物を検索した。

（3） 結果および考察

Ｘ線回折図を図１～15に示す。図中上段には試料のＸ線回折図、下段には検出された鉱物の回折パターンを掲げている。なお、文中で（　）内に示したものは、Ｘ線回折図で同定された鉱物名である。固溶体やポリタイプを有する鉱物については、Ｘ線回折試験では正確な同定は困難であるため、最終的な検出鉱物名としては、それらを包括する大分類の鉱物名を使用している。

１）試料番号O20

土壌全体が強い赤味を帯びる。供試試料には、赤味の強い土塊を選択し抽出した。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱（hematite）を確認したほか、石英（quartz）、斜長石（斜長石：albite）、カリ長石（微斜長石：microcline）、クリストバライト（cristobalite）、トリディマイト（tridymite）、角閃石（苦土角閃石：magnesiohornblende）、雲母鉱物（白雲母：muscovite）が認められ、d=14Å、7Å付近には粘土鉱物に基づく底面反射が見られる。

２）試料番号O21

土塊内部に極めて希に赤色を帯びた物質が微量に認められ、これを供試試料とした。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱（hematite）を確認したほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイト、角閃石、雲母鉱物が認められ、d=14Å、7Å付近には粘土鉱物に基づく底面反射が見られる。

３）試料番号O22

土壌全体がやや赤味を帯びる。供試試料には、赤味の強い土塊を抽出した。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱を確認したほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイト、角閃石、雲母鉱物が認められ、d=14Å、7Å付近には粘土鉱物に基づく底面反射が見られる。

４）試料番号O23

土塊表面に赤色顔料が散見される。供試試料には、赤味の強い土塊を抽出した。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱を確認したほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイト、角閃石が認められ、d=14Å、7Å付近には粘土鉱物に基づく底面反射が見られる。

５）試料番号O24

赤色顔料を含む土塊が散在する。供試試料には、赤味の強い土塊を抽出した。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱を確認したほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイト、角閃石、雲母鉱物が認められ、d=14Å、7Å付近には粘土鉱物に基づく底面反射が見られる。

６）試料番号2467

胴部の赤色部分から削取したものを供試試料とした。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱の

ほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイトが確認される。

７）試料番号2667

底部の比較的厚く付着した赤色部分から削取したものを供試試料とした。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱のほか、石英、斜長石が確認される。

８）試料番号2799

口縁部の厚く付着した赤色顔料を採取して供試試料とした。検出鉱物として、顔料鉱物である赤鉄鉱が確認される。

９）試料番号2801

胴部の赤色部分から削取したものを供試試料とした。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱のほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイトが確認される。

10）試料番号2873

胴部の赤色部分から削取したものを供試試料とした。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱のほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイト、角閃石が確認される。

11）試料番号860

胴部の暗褐色部分から削取したものを供試試料とした。赤鉄鉱や朱など一般的な顔料鉱物は確認出来ないが、磁赤鉄鉱（maghemite）と見られる反射が比較的強く認められるほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライトおよびスメクタイト（モンモリロナイト：montmorillonite）を示唆する反射が見られる。

12）試料番号867

台部の赤色部分から削取したものを供試試料とした。検出鉱物としては、顔料鉱物である赤鉄鉱のほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイトが確認される。

13）試料番号872

胴部の赤褐色部分を対象としたが、非常に堅く赤褐色部分の削取が困難であったため、供試試料は胎土を伴う状態で採取したものを用いた。顔料鉱物である赤鉄鉱のほか、石英、ムライト（mullite）、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイトが確認される。

14）試料番号2028

胴部の褐色部分から削取したものを供試試料とした。赤鉄鉱や朱など一般的な顔料鉱物は確認出来ないが、磁赤鉄鉱と見られる反射が認められるほか、石英、斜長石、カリ長石、クリストバライト、トリディマイトおよびスメクタイトを示唆する反射が見られる。

15）試料番号2036

胴部の暗赤褐色部分から削取したものを供試試料とした。顔料鉱物である赤鉄鉱を確認したほか、磁赤鉄鉱と見られる反射も認められる。他に石英、斜長石、カリ長石、クリストバライトが見られる。

（４）　ま　と　め

弥生時代および古代に用いられていた赤色顔料としては、これまでの研究によって水銀朱（Hgs）、ベンガラ（Fe_2O_3）、鉛丹（Pb_3O_3）の３種が確認されている（市毛,1984など）。

今回の分析では弥生時代の土壌試料および土器付着顔料からはいずれも赤鉄鉱が確認されており、石鉄鉱を原料としたベンガラが顔料として用いられたものと考えられる。一般にベンガラというのは、赤色の由来となる主成分が赤鉄鉱（酸化第二鉄）である赤色顔料を指す（本田,1995）。

一方で、古代の土器には、赤鉄鉱のみが確認されるもの（試料番号867、872）、赤鉄鉱が認められ

ずに磁赤鉄鉱が認められるもの（試料番号860、2028）、赤鉄鉱と磁赤鉄鉱の両者が確認されるもの（試料番号2026）の３種がみられた。この内赤鉄鉱が確認された（試料番号867、872、2026）についてはベンガラが顔料として用いられたものと考えられる。磁赤鉄鉱のみが検出された試料番号860、2028については、赤鉄鉱が確認されないため、ベンガラが顔料として用いられたとは断言できない。磁赤鉄鉱は赤鉄鉱と同様の酸化第二鉄であり、褐黒色を呈すため、磁赤鉄鉱を原料とした顔料が用いられた可能性も考えられる。

このような弥生時代と古代における様相の違いは、赤色顔料の原料採取箇所が異なる等、何らかの要因に由来するものと思われるが、現時点でその要因は不明である。また、磁赤鉄鉱のみが検出された試料については、今後、遺跡周辺地域において同様の分析を実施し、資料を蓄積し検証することが望まれる。

引用・参考文献

市毛勲, 1984, 朱の考古学, 雄山閣出版
本田光子, 1995, 古墳時代の赤色顔料. 考古学と自然科学,31・32号,63-79
本田光子, 1998, 赤色顔料の資料化. 月刊考古学ジャーナル,№438,2-9

図１．Ｘ線回折図（試料番号：020）

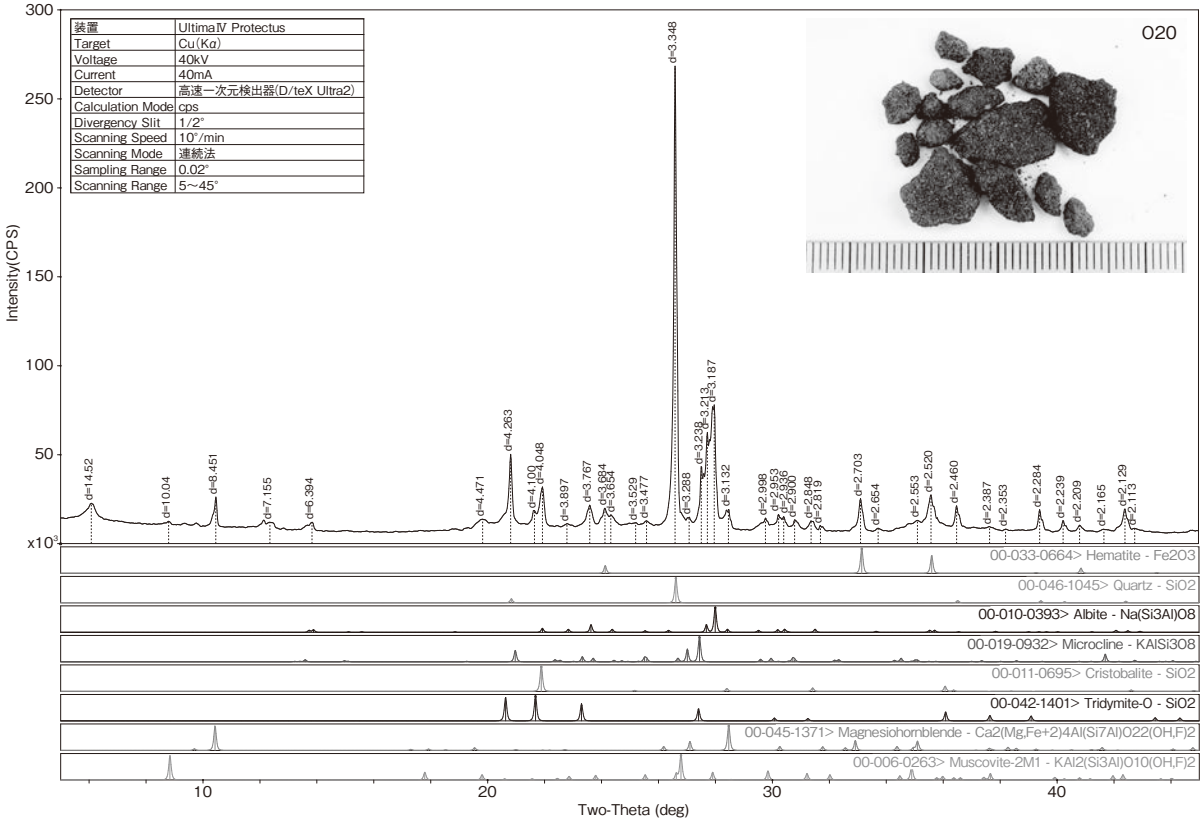


図２．X線回折図（試料番号：021）

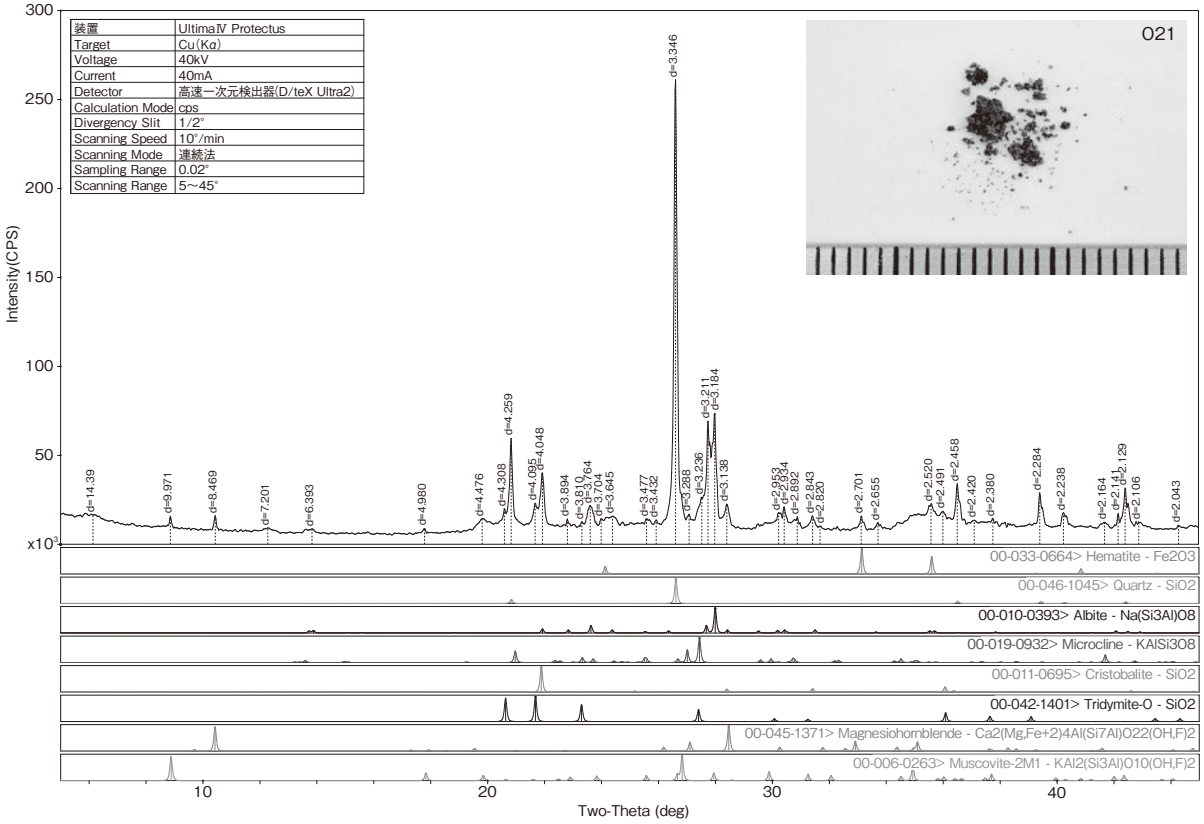


図３．X線回折図（試料番号：022）

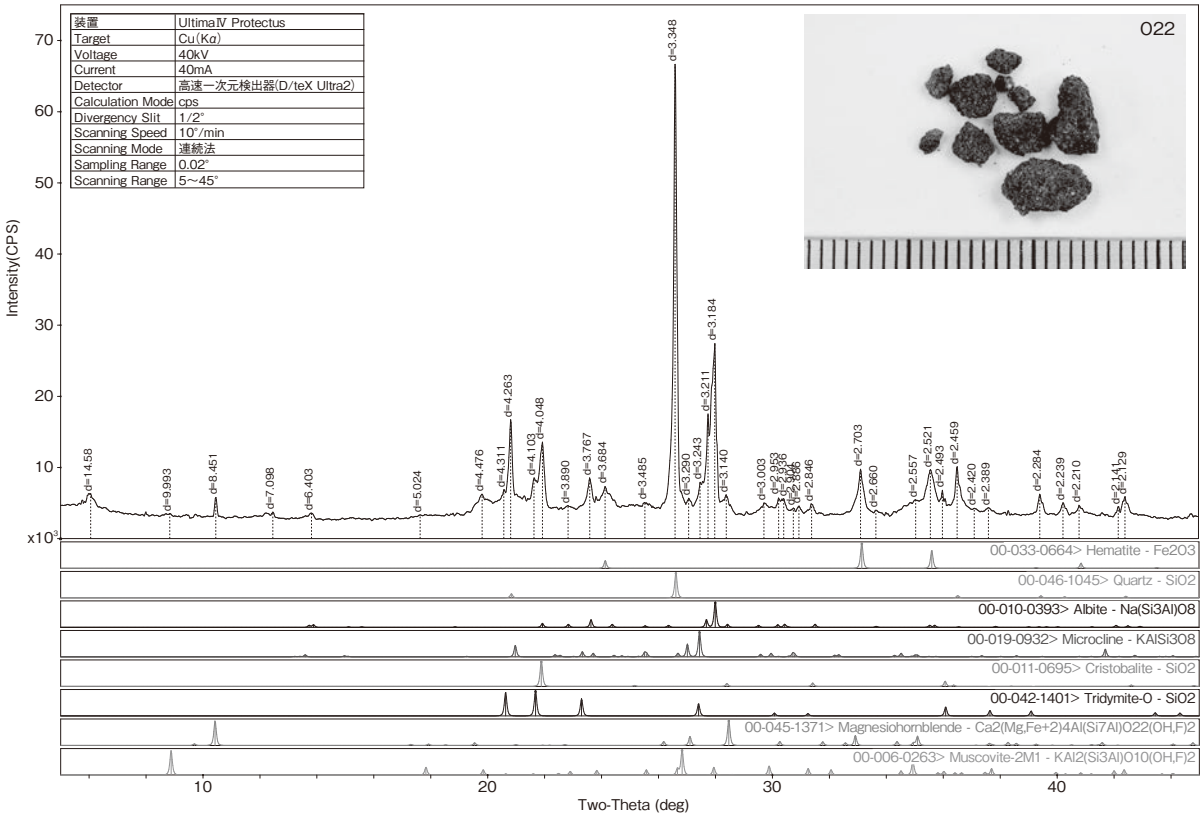


図４．X線回折図（試料番号：023）

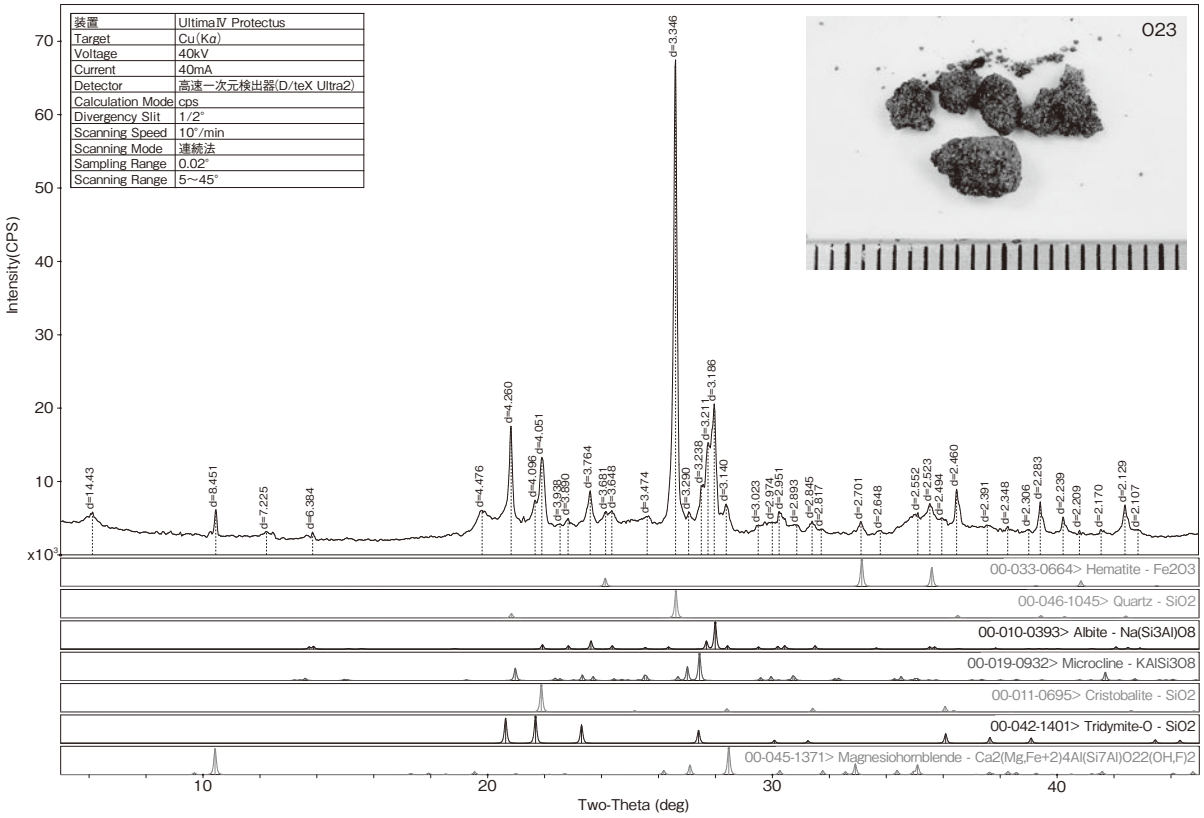


図５．X線回折図（試料番号：024）

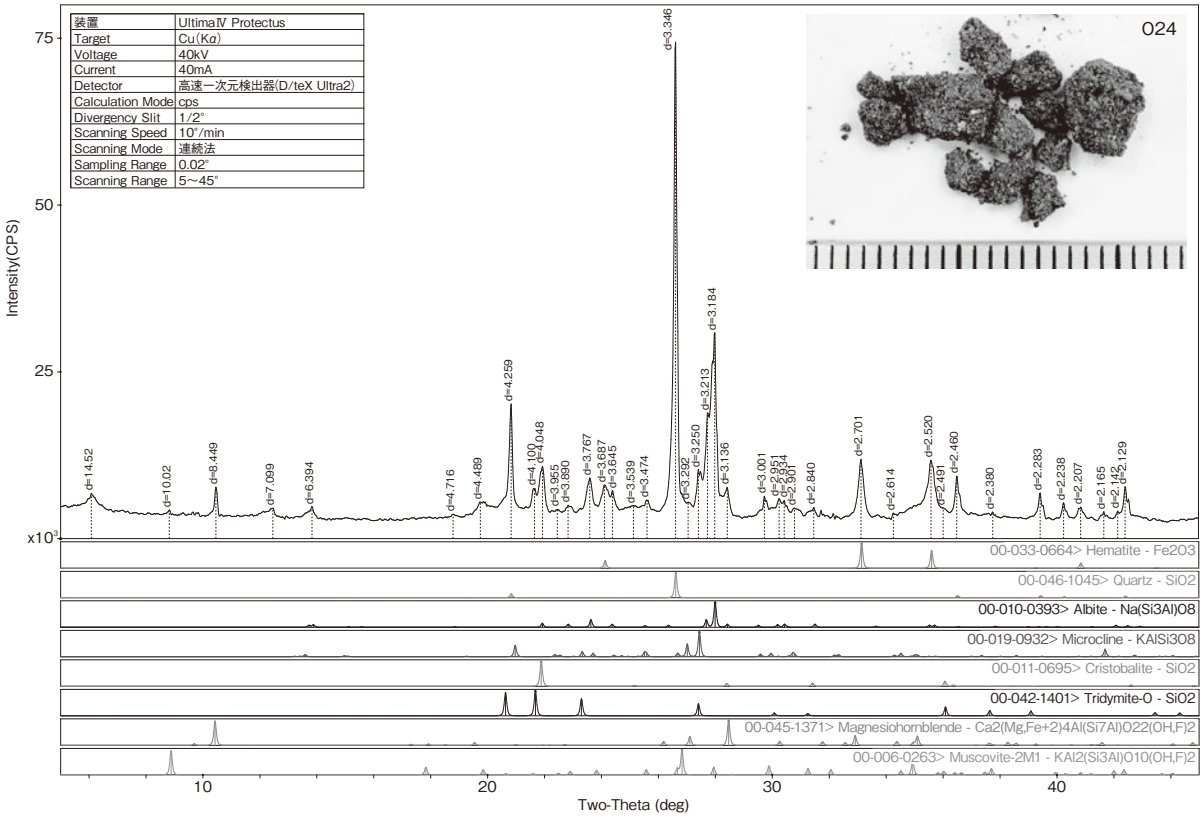


図６．X線回折図（試料番号：2467）

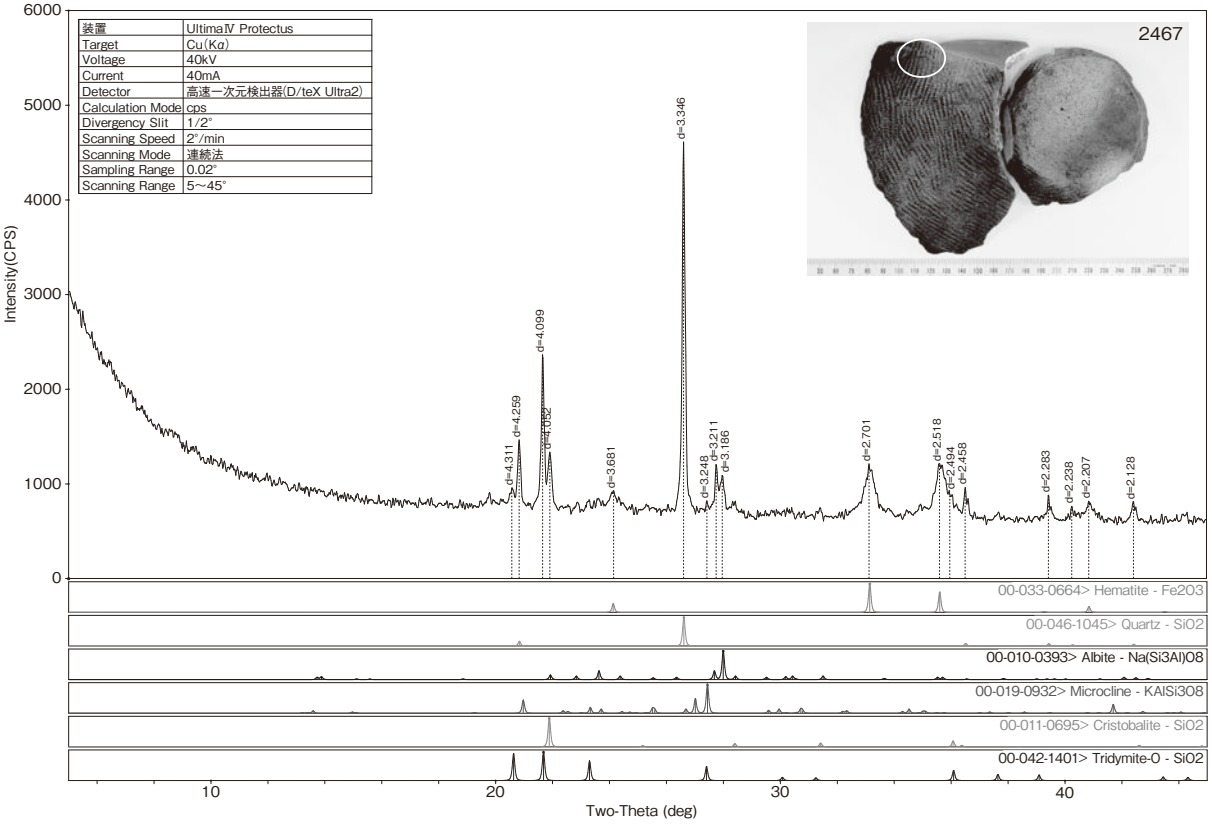


図７．X線回折図（試料番号：2667）

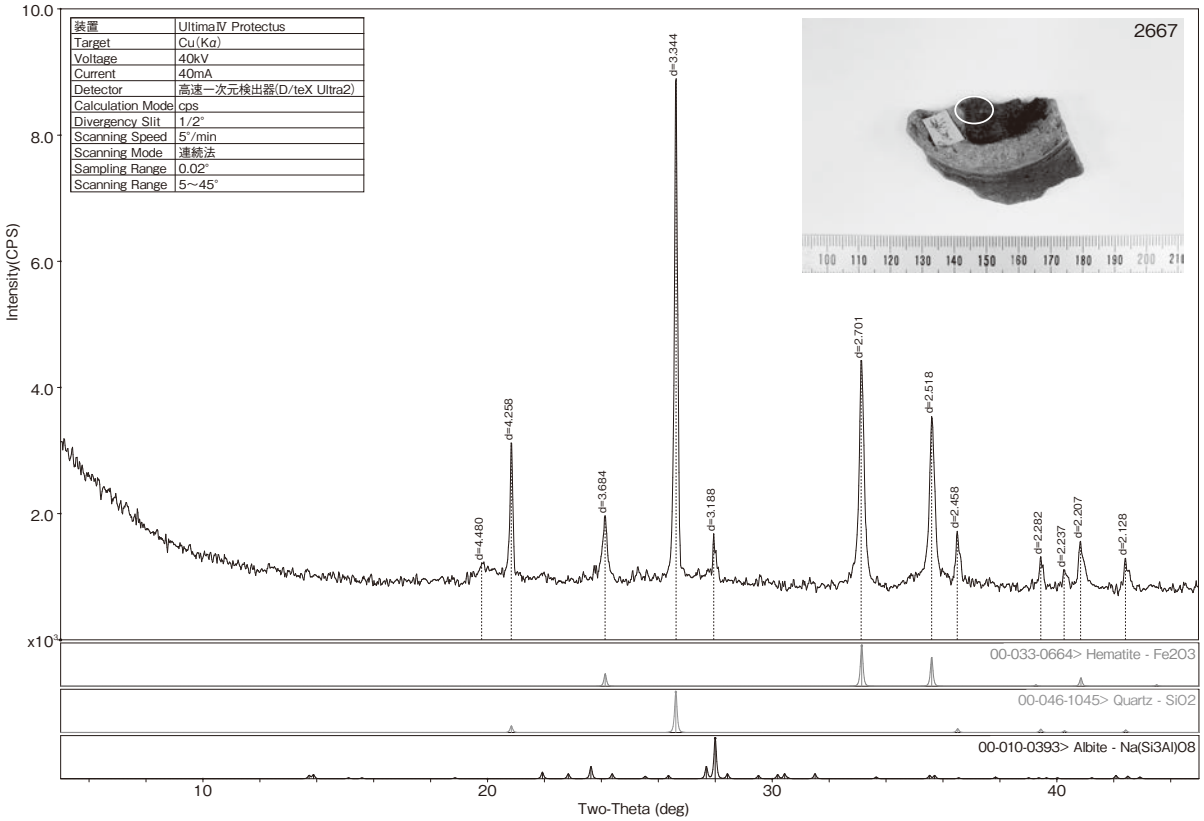


図８．X線回折図（試料番号：2799）

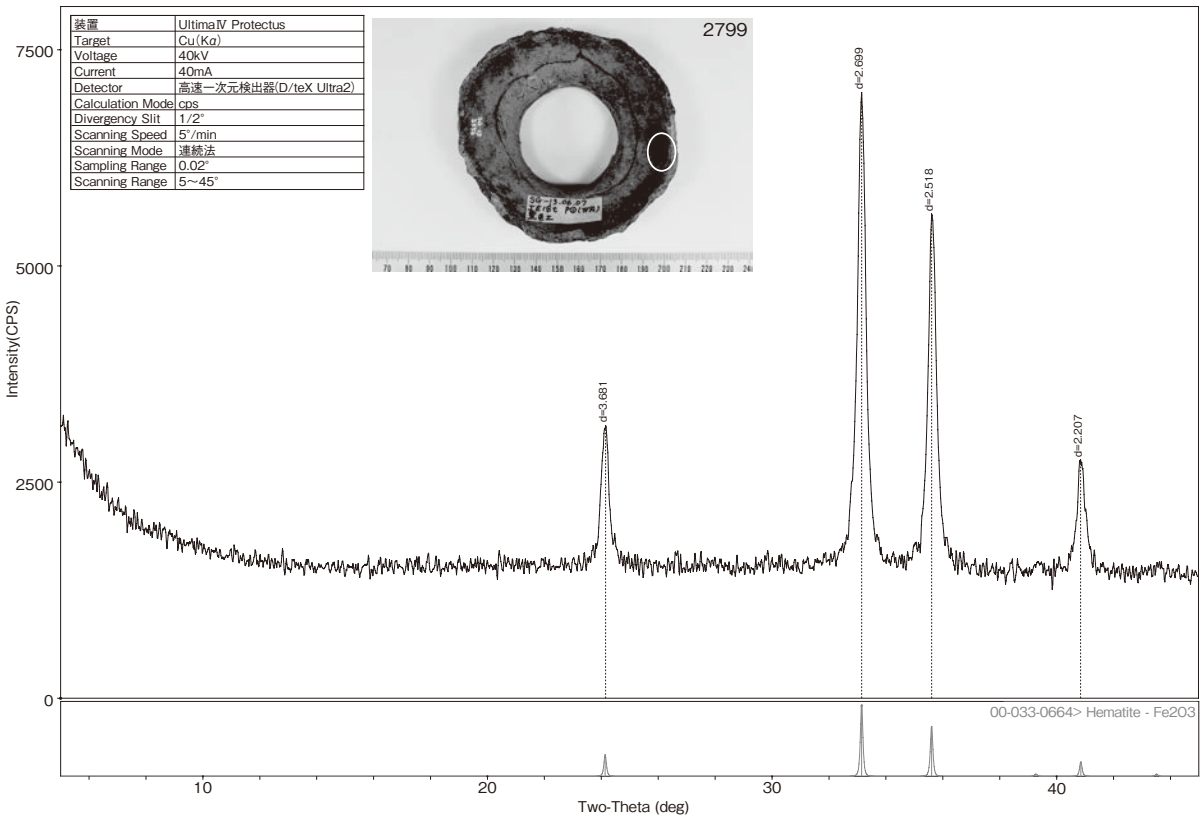


図９．X線回折図（試料番号：2801）

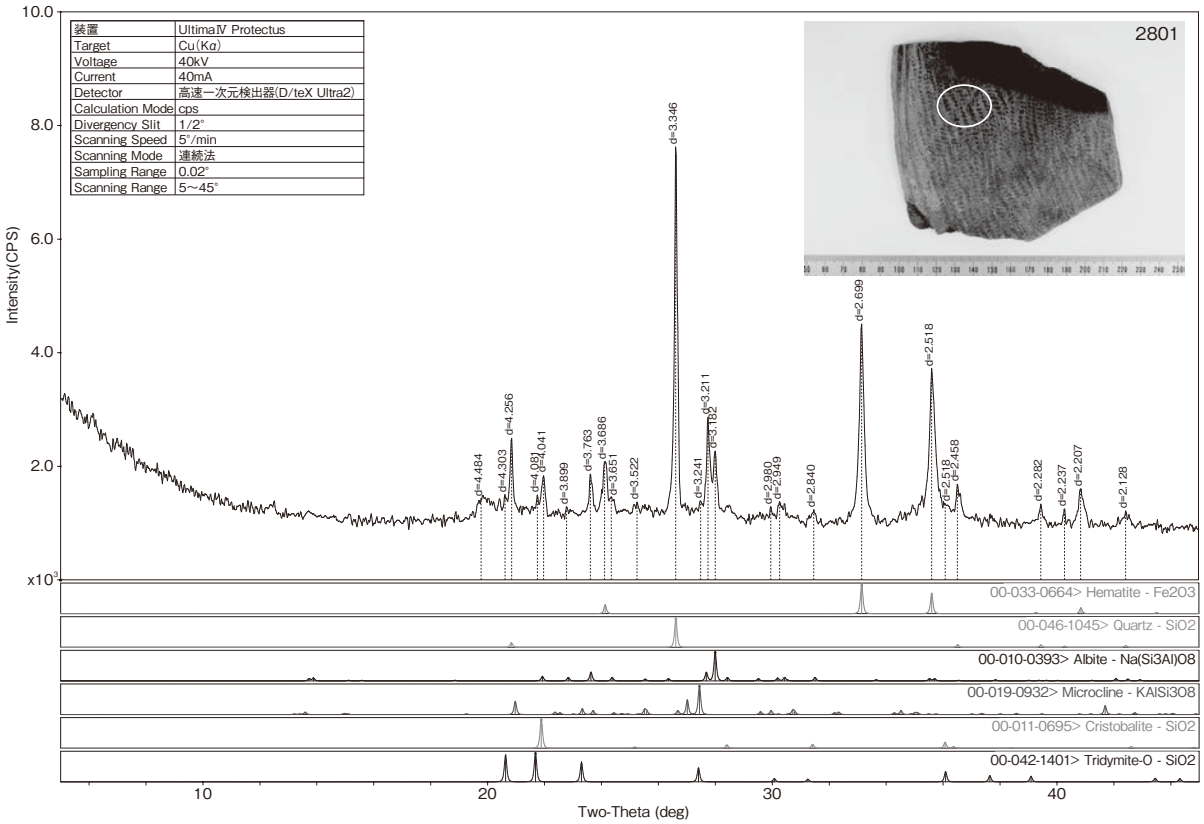


図10. X線回折図（試料番号：2873）

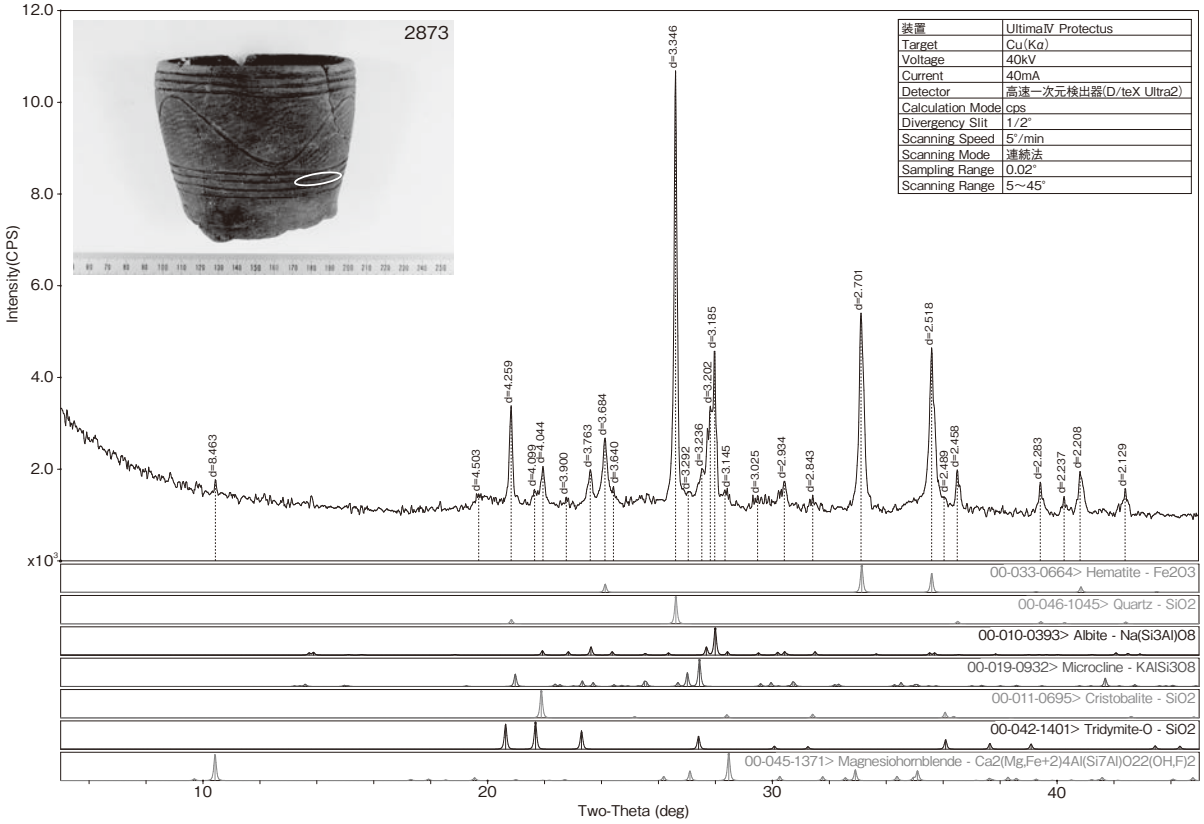


図11. X線回折図（試料番号：860）

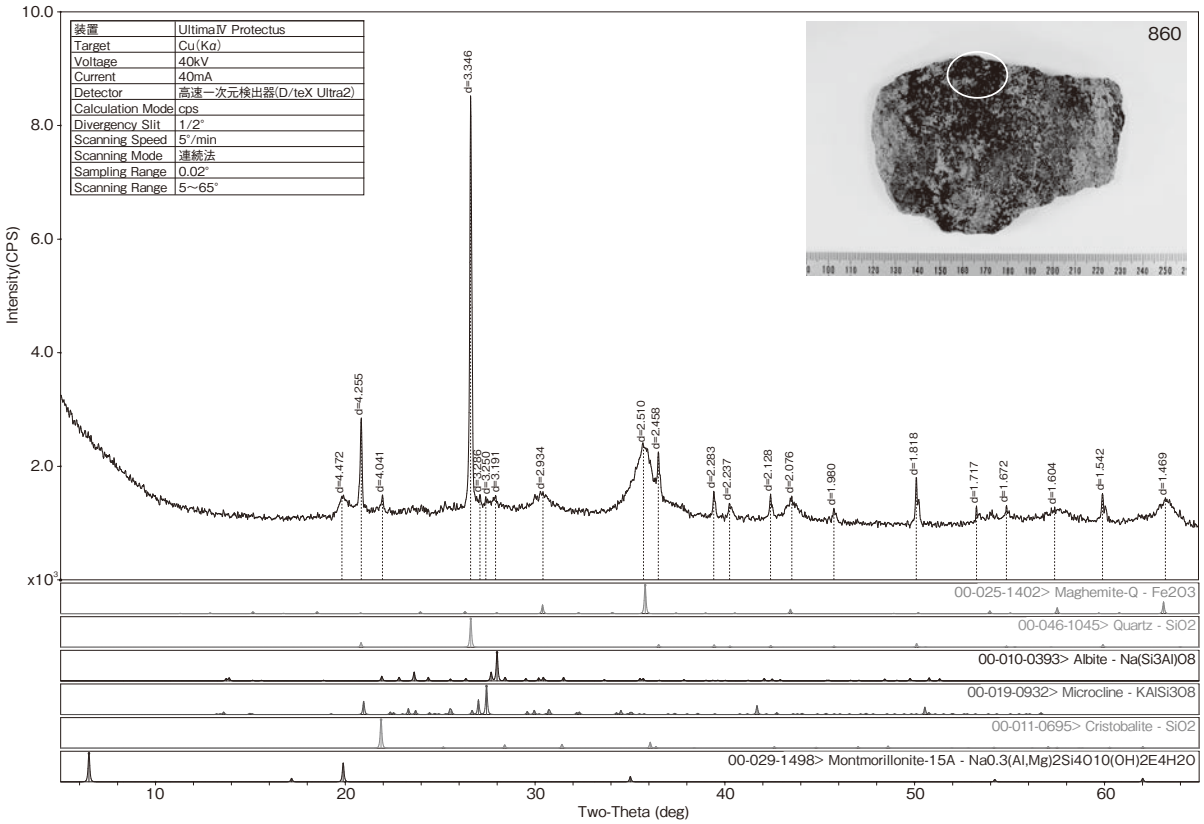


図12. X線回折図（試料番号：867）

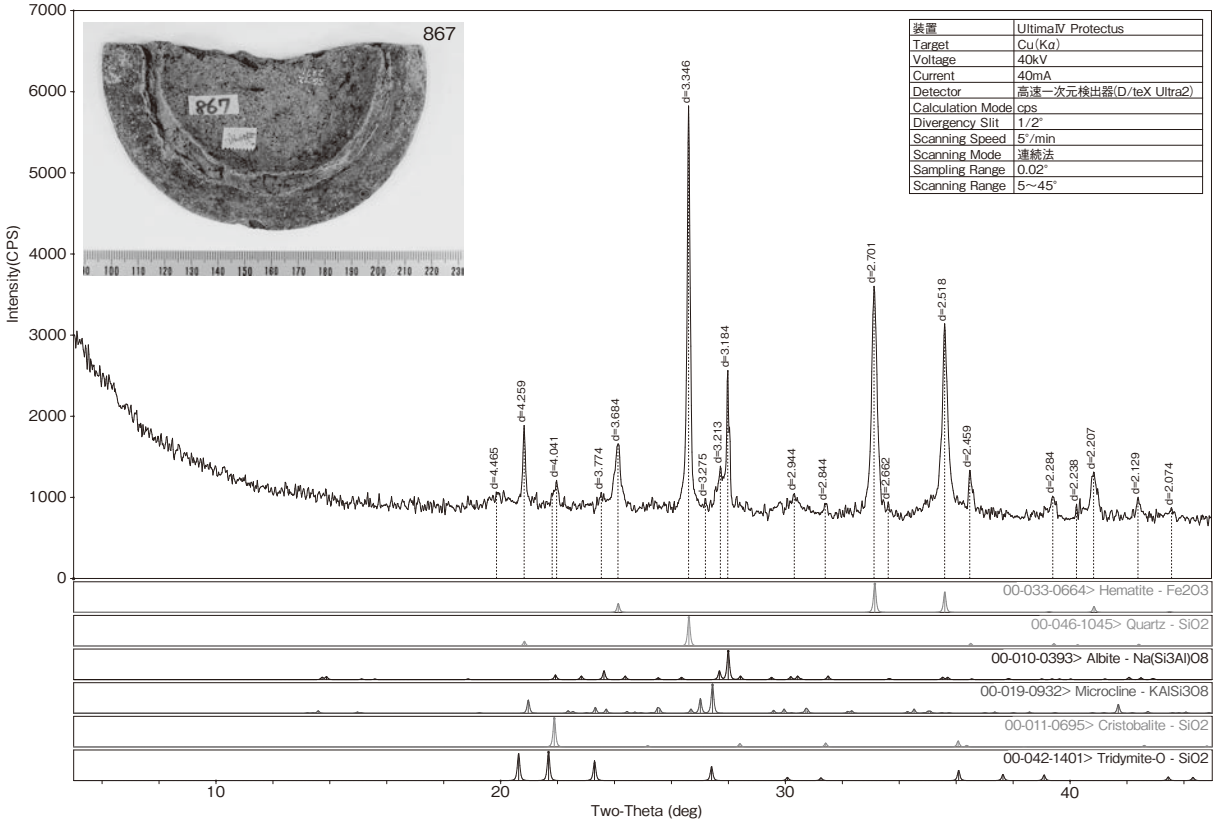


図13. X線回折図（試料番号：872）

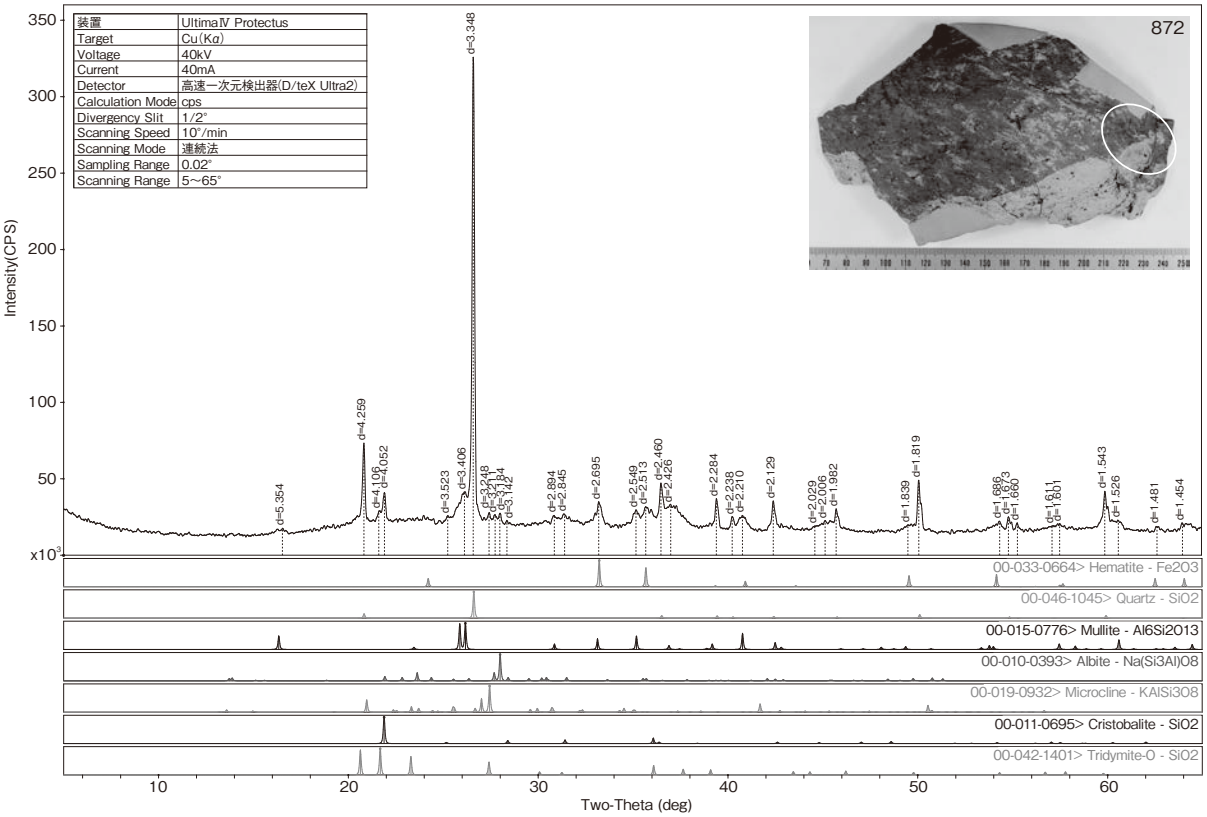


図14. X線回折図（試料番号：2028）

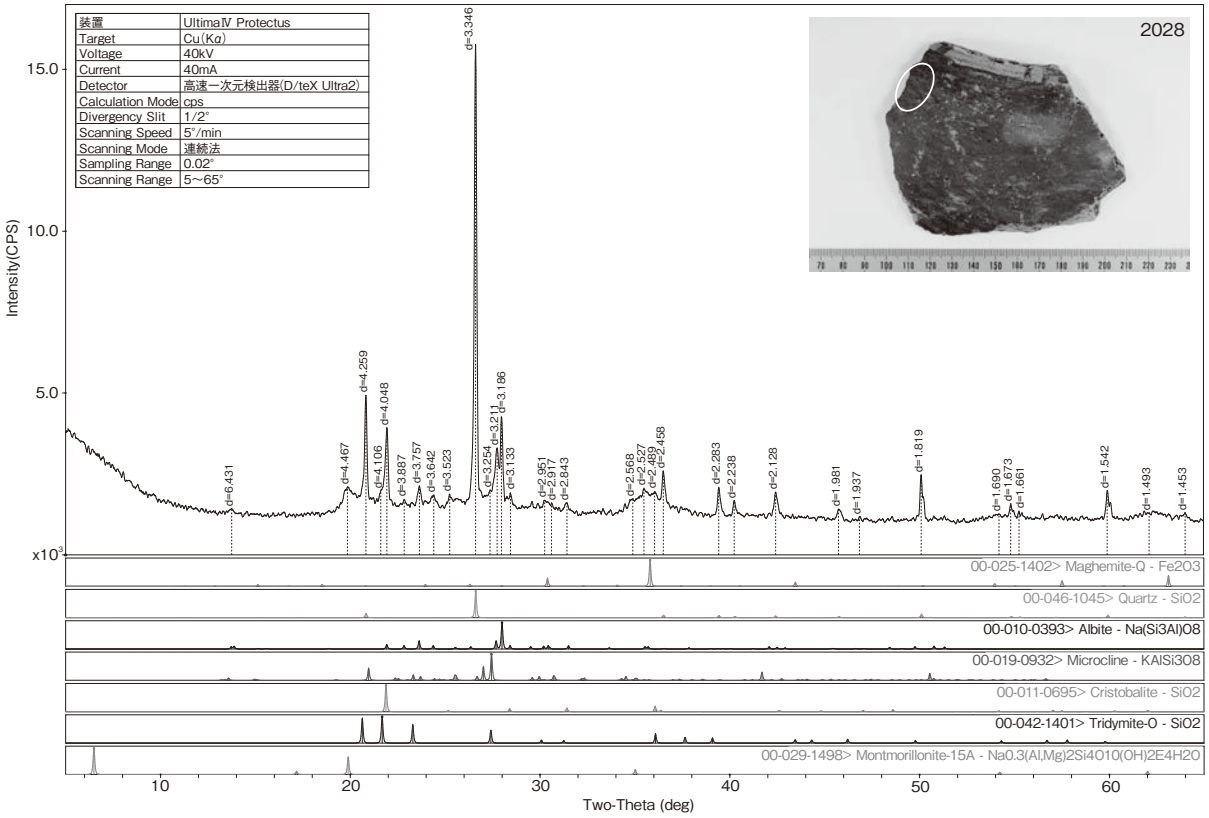
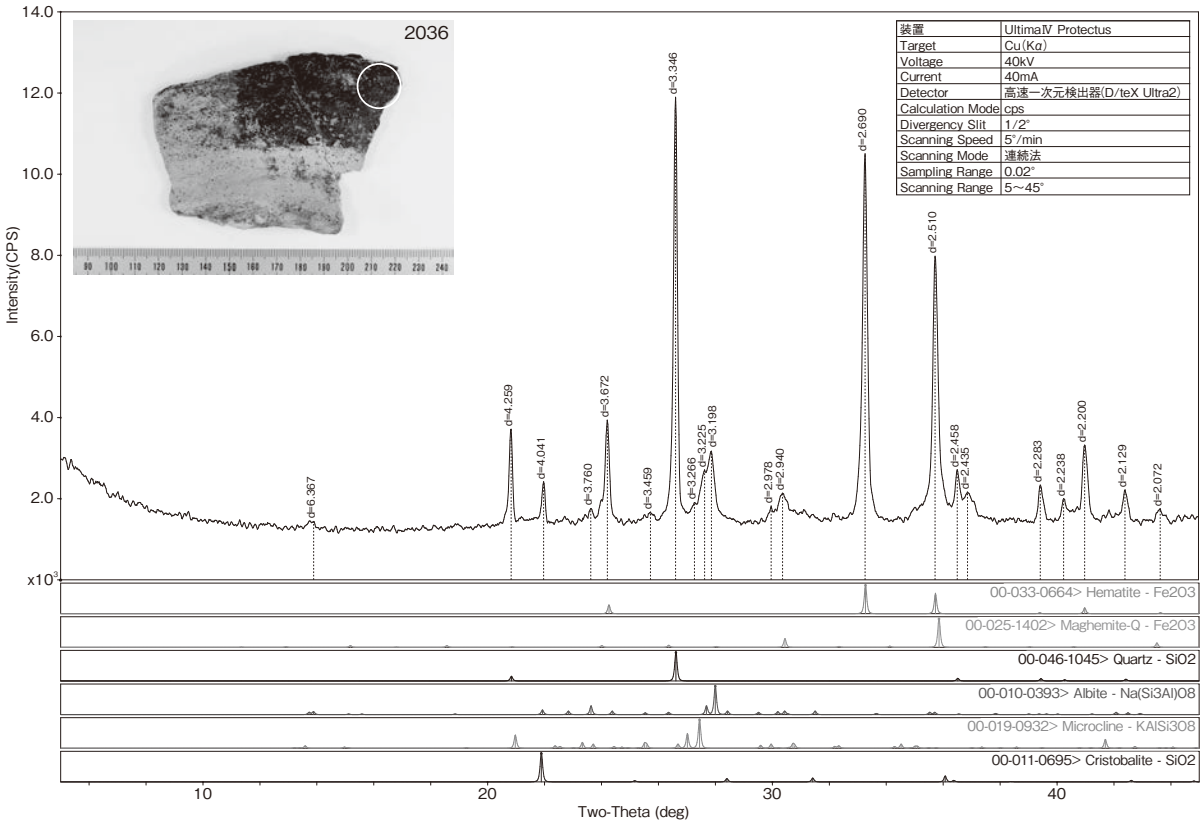


図15. X線回折図（試料番号：2036）



3－5　動物遺存体同定　（1）

今回の分析調査では、動物利用に関する資料を得ることを目的として縄文時代～弥生時代の遺構から出土した動物遺存体について種類を明らかにした。

（1）　試　　料

試料は、SI06～09、SI13～15、SI21、SI22、SI24、SI28、SI30、SI31、SI36、SI40、SK82、SKI03、SX25から出土した骨貝類40試料（B1～41）である。大半の試料は、1試料中に複数点の骨片が見られる。なお、B5がB5-1～2の2試料に、B38がB38-1～3の3試料に小分けされている。いずれの試料も既にクリーニングがなされており、骨貝類の状態となっている。なお、試料の詳細については結果とともに表示する。

（2）　分　析　方　法

一部の試料については、一般工作用接着剤を用いて接合する。試料を肉眼および実体顕微鏡にて観察し、その形態的特徴から種類および部位の特定を行う。計測は、デジタルノギスを用いて測定する。

なお、骨格各部位の名称については、ニホンジカを例として図1に示す。

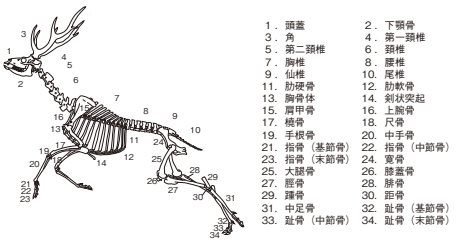


図1．ニホンジカの骨格
（八谷・大秦司,1994を改変）

（3）　結　　果

確認された種類の一覧を表1に、同定結果を表2に示す。試料の内、B7はキセルガイ科である。それ以外の試料は骨であり、硬骨魚綱3種類（コイ科・フナ属・カジカ科？）、哺乳綱2種類（イノシシ・ニホンジカ）であり、鳥綱と哺乳綱の区別のつかない骨は鳥類／哺乳綱とした。これらの骨は、白色を呈し、ひび割れが生じるなど焼骨の特徴を示す。以下、試料ごとに結果を記す。

＜試料番号B1：SI06 砂下・粘土層＞

獣類の部位不明破片である。

＜試料番号B2：SI07 QS-Sw 埋土下位（黒色土層・人為堆積）＞

ニホンジカの遠位端が欠損する第3/4基節骨、獣類の頭蓋骨の可能性がある破片・四肢骨等破片・肋骨／四肢骨等破片・部位不明破片がみられる。

＜試料番号B3：SI07 pit7 埋土最下位（底面）＞

獣類の部位不明破片である。

＜試料番号B4：SI07 QNE 床面＞

魚類の腹椎である。椎体径12.80㎜を測る。

＜試料番号B5-1：SI07 4層（人為堆積）＞

ニホンジカの左果骨・第3/4中節骨・中節骨／末節骨・第2/3種子骨、ニホンジカの手根骨／足根骨

表1．検出動物分類群の一覧

軟体動物門　Phylum　Mollusca
腹足綱　Class　Gastropoda
後鰓亜綱　Subclass　Cpisthobranchia
柄眼目　Order　Sylommatophora
キセルガイ科　Family　Clausiliidae
属種不明　Gen. et. sp. indet.
脊椎動物門　Phylum　Vertebrata
硬骨魚綱　Class　Osteichthyse
条鰭亜綱　Subclass　Actinopterygii
コイ目　Order　Cypriniformes
コイ科　Family　Cyprinidae
フナ属　Genus　Carassius
カサゴ目？　Order　Scorpaeniformes?
カジカ亜目？　Suborder　Cottoidei?
カジカ科？　Family　Cottidae?
属種不明　Gen. et. sp. indet.
哺乳綱　Class　Mammalia
ウシ目（偶蹄目）　Order　Artiodactyla
イノシシ科　Family　Suidae
イノシシ　Sus scrofa
シカ科　Family　Cervidae
ニホンジカ　Cervus nippon

表2．骨貝同定結果（1）

試料番号	遺構	採取位置	種類		部位	左	右	部分・状態	数量	重量(g)	被熱	備考
B1	SI06	砂下・粘土層	哺乳綱	獣類	不明			破片	2	1.23	○	
B2	SI07	QS-Sw 埋土下位（黒色土層・人為堆積）	哺乳綱	ニホンジカ	第3/4基節骨			遠位端欠	1	2.31	○	
				獣類	頭蓋骨？			破片	1	2.30	○	
					四肢骨等			破片	14	13.34	○	
					肋骨／四肢骨等			破片	6	2.63	○	
					不明			破片	9 ＋	4.41	○	
B3	SI07	pit7 埋土最下位（底面）	哺乳綱	獣類	不明			破片	3	1.13	○	
B4	SI07	QNE 床面	硬骨魚綱	魚類	腹椎			破片	1	0.55	○	椎体径12.80
B5-1	SI07	4層（人為堆積）	哺乳綱	ニホンジカ	果骨	左		破片	1	1.81	○	
					第3/4中節骨			ほぼ完存	1	3.57	○	全長28.57
					中節骨／末節骨			近位端片	2	0.94	○	
					第2/3種子骨			ほぼ完存	1	0.45	○	全長12.49
				ニホンジカ？	手根骨／足根骨？			破片	4	5.95	○	
				イノシシ／ニホンジカ	距骨			破片	1	1.73	○	
				大型獣類	脛骨？			近位端片？	1	6.15	○	
				獣類	肋骨			破片	5	3.21	○	
					四肢骨等			破片	25	22.50	○	
					肋骨／四肢骨等			破片	2	2.95	○	
					不明			破片	48 ＋	13.54	○	
B5-2	SI07	4層（人為堆積）	硬骨魚綱	フナ属	腹椎			椎体	1	0.01	○	椎体長2.79,椎体径4.26
				カジカ科？	尾椎			椎体	1	0.08	○	椎体長6.34,椎体径5.13
			哺乳綱	イノシシ	第5中手骨		右	近位端	1	1.77	○	
					第2/5中手骨／中足骨			遠位端	1	0.35	○	未化骨骨端
				ニホンジカ	中手骨／中足骨			遠位端片	1	2.19	○	
					第3/4基節骨			近位端片	1	0.86	○	
					第2/5中節骨			破片	1	0.64	○	
					第2/5末節骨			破片	1	0.64	○	
					第1/4種子骨			ほぼ完存	1	0.34	○	全長10.25
				イノシシ／ニホンジカ	距骨			破片	1	3.04	○	
					距骨？			破片	1	1.66	○	
				獣類	頭蓋骨？			破片	1	1.21	○	
					上顎骨／下顎骨			破片	1	1.37	○	
					四肢骨等			破片	15	17.91	○	
					不明			破片	35 ＋	9.72	○	
B5-1・2	SI07	4層（人為堆積）	哺乳綱	ニホンジカ	第3/4末節骨			破損	1	1.76	○	接合資料
B6	SI07	床面遺物集中	哺乳綱	獣類	不明			破片	4	1.12	○	
B7	SI07	QSE 床面直上	腹足綱	キセルガイ科	殻			破片	1	0.11	×	殻口部破損
B8	SI08	カマド	哺乳綱	獣類	不明			破片	10 ＋	0.66	○	
B9	SI08	⑤下部	哺乳綱	獣類	手根骨／足根骨？			破片	1	0.65	○	
			脊椎動物門	不明	不明			破片	4	0.13	○	
B10	SI09	カマド近く　2層（砂の下）	哺乳綱	獣類	不明			破片	2	0.46	○	
B11	SI13	カマド　焼土直上	脊椎動物門	鳥類／獣類	不明			破片	1	0.21	○	
B12	SI13	カマド　燃焼面	脊椎動物門	不明	不明			破片	2	0.22	○	
B13	SI13	カマド　右袖　3b層	哺乳綱	獣類	四肢骨等			破片	1	2.75	○	
					不明			破片	8	2.37	○	
			脊椎動物門	鳥類／獣類	不明			破片	3 ＋	0.53	○	
			不明	不明	不明			破片	1	0.03	○	軽石？
B14	SI13	カマド　5層	哺乳綱	獣類	不明			破片	3	0.82	○	
			脊椎動物門	鳥類／獣類	四肢骨等			破片	1	0.31	○	
B15	SI13	2号煙道　8層	脊椎動物門	大型鳥類／獣類	不明			破片	1 ＋	0.40	○	
B16	SI14	ベルト　焼土層より上	哺乳綱	ニホンジカ？	中手骨／中足骨？			破片	1	0.93	○	
B17	SI15	カマド付近　埋土	哺乳綱	獣類	頭蓋骨？			破片	1	1.12	○	
					四肢骨等			破片	5	4.45	○	
					不明			破片	6 ＋	2.05	○	
B18	SI15	カマド手前　骨・炭範囲	硬骨魚綱	コイ科	腹椎			椎体	1	0.00	○	椎体長1.57,椎体径1.94
			哺乳綱	獣類	不明			破片	3	0.49	○	
B19	SI21	ベルト一括	哺乳綱	獣類	不明			破片	2	0.73	○	1点内部がカルサイトに置換
B20	SI22	カマド　燃焼面直上	哺乳綱	獣類	不明			破片	3	0.59	○	
B21	SI22	カマド4a・4b・5a層	哺乳綱	獣類	不明			破片	4	0.47	○	
B22	SI24	カマド　燃焼部直上層	硬骨魚綱	魚類	鰭棘等			破片	1	0.05	○	現長16.66
			哺乳綱	獣類	不明			破片	1	0.14	○	
			脊椎動物門	不明	不明			破片	1	0.02	○	
B23	SI28	カマド　埋土	哺乳綱	獣類	不明			破片	2	0.92	○	
B24	SI28	カマド　1層	哺乳綱	獣類	不明			破片	3	0.88	○	
B25	SI28	カマド　カクラン	哺乳綱	獣類	不明			破片	2	3.10	○	
B26	SI30	カマド　南東部1層	哺乳綱	獣類	不明			破片	1	0.35	○	
B27	SI31	2層	哺乳綱	ニホンジカ	歯牙			破片	3	0.45	○	
				獣類	歯牙			破片	10	0.89	○	最大長26.77
					不明			破片	7	3.91	○	
B28	SI31	カマド　焚き口付近	哺乳綱	ニホンジカ	第1/4種子骨		右	破損	1	0.23	○	
				イノシシ／ニホンジカ	基節骨／中節骨			遠位端片	1	0.23	○	
				獣類	不明			破片	3	0.28	○	
B29	SI36	煙道埋土上位	不明	不明	不明			破片	2	0.31	○	粘土塊？
B30	SI40	2層　ベルト東	哺乳綱	獣類	不明			破片	1	0.36	○	
B31	SX75	埋土	哺乳綱	獣類	肋骨？			破片	1	3.50	○	
					四肢骨等			破片	8	12.53	○	
					不明			破片	18 ＋	8.22	○	
B32	SX75	1層	哺乳綱	獣類	上腕骨／大腿骨？			骨頭部？	1	1.49	○	
					不明			破片	9 ＋	2.05	○	
B33	SX75	2層	哺乳綱	獣類	不明			破片	1	0.37	○	
B34	SX75	3層	哺乳綱	ニホンジカ	第3/4基節骨			ほぼ完存	1	5.02	○	全長42.15
				獣類	不明			破片	3	1.85	○	
B35	SX75	4層	哺乳綱	ニホンジカ	果骨	左		破片	1	0.76	○	
				獣類	四肢骨等			破片	1	0.91	○	
					不明			破片	6	1.80	○	
			脊椎動物門	不明	不明			破片	4	1.40	○	

表２．骨貝同定結果（２）

試料番号	遺構	採取位置	種類		部位	左	右	部分・状態	数量	重量(g)	被熱	備考
B36	SX75	5層	哺乳綱	獣類	肋骨			破片	2	0.68	○	
					四肢骨等			破片	3	2.16	○	
					肋骨／四肢骨			破片	2	0.74	○	
					不明			破片	15 ＋	2.47	○	
B37	SX75	6層	哺乳綱	ニホンジカ	第1/4種子骨	左		ほぼ完存	1	0.52	○	
				獣類	四肢骨等			破片	3	3.05	○	
					不明			破片	7 ＋	2.15	○	
B38-1	SX75	3-1	哺乳綱	イノシシ	第3/4中節骨			ほぼ完存	1	2.16	○	全長21.38
				ニホンジカ	橈側手根骨		右	破片	1	2.02	○	
					第3/4末節骨			近位端	1	1.86	○	
				イノシシ／ニホンジカ	中節骨／末節骨			近位端片	1	0.74	○	
				大型獣類	四肢骨等			破片	8	10.96	○	
				獣類	四肢骨等			骨端	2	2.51	○	
					肋骨／四肢骨等			破片	2	1.68	○	
					不明			破片	7 ＋	7.21	○	
B38-2	SX75	3-2	哺乳綱	獣類	四肢骨等			破片	4	2.40	○	
					不明			破片	20	0.29	○	
			その他	土器				破片	1	7.88	○	
B38-3	SX75	3-3	哺乳綱	獣類	四肢骨等			破片	2	1.02	○	
					不明			破片	11 ＋	2.77	○	
B39	SX75	掘り方	哺乳綱	獣類	不明			破片	5	2.19	○	
B40	SI41	一括	脊椎動物門	不明	不明			破片	1	0.10	○	
B41	SX25	埋土	哺乳綱	獣類	不明			破片	2	0.37	○	

の可能性がある破片、イノシシ／ニホンジカの距骨片、大型獣類の脛骨近位端の可能性がある破片、獣類の肋骨片･四肢骨等破片･肋骨／四肢骨等破片･部位不明破片である。第3/4中節骨は、ほぼ完存し、全長28.57㎜を測る。また、第2/3種子骨もほぼ完存する。

＜試料番号B5-2：SI07 ４層（人為堆積）＞

フナ属の腹椎、カジカ科の可能性がある尾椎、イノシシの右第５中手骨・第2/5中手骨／中足骨、ニホンジカの中手骨／中足骨・第3/4基節骨・第2/5中節骨・第2/5末節骨・第1/4種子骨、イノシシ／ニホンジカの距骨片・距骨の可能性がある破片、獣類の頭蓋骨の可能性がある破片・上顎骨／下顎骨の破片・四肢骨等破片・部位不明破片である。

フナ属腹椎は体長2.79㎜、椎体径4.26㎜、カジカ科の可能性がある尾椎は椎体長6.34㎜、椎体径5.13㎜を測る。イノシシの第2/5中手骨／中足骨遠位端片は未化骨の骨端である。また、ニホンジカの第1/4種子骨は、ほぼ完存し、全長10.25㎜を測る。

＜試料番号B5-1・2：SI07 ４層（人為堆積）＞

B5-1とB5-2から接合した試料である。ニホンジカの第3/4末節骨である。

＜試料番号B6：SI07 床面遺物集中＞

獣類の部位不明破片である。

＜試料番号B7：SI07 QSE 床面直上＞

キセルガイ科の殻である。殻口付近が破損する。

＜試料番号B8：SI08 カマド＞

獣類の部位不明破片である。

＜試料番号B9：SI08 ⑤下部＞

獣類の手根骨／足根骨の可能性がある破片、種類・部位不明の破片である。

＜試料番号B10：SI09 カマド近く　２層（砂の下）＞

獣類の部位不明破片である。

＜試料番号B11：SI13 カマド　焼土直上＞

鳥類／獣類の部位不明破片である。

＜試料番号B12：SI13 カマド　燃焼面＞

種類・部位不明破片である。

＜試料番号B13：SI13 カマド　右袖　3b層＞
　獣類の四肢骨等の破片･部位不明破片、鳥類／獣類の部位不明破片、種類･部位不明破片である。種類･部位不明破片は軽石の可能性もある。
＜試料番号B14：SI13 カマド　５層＞
　獣類の部位不明破片、鳥類／獣類の四肢骨等の破片である。
＜試料番号B15：SI13 2号煙道　８層＞
　大型鳥類／獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B16：SI14 ベルト　焼土層より上＞
　ニホンジカの中手骨／中足骨の可能性がある破片である。
＜試料番号B17：SI15 カマド付近　埋土＞
　獣類の頭蓋骨の可能性がある破片・四肢骨等の破片・部位不明破片である。
＜試料番号B18：SI15 カマド手前　骨･炭範囲＞
　コイ科の腹椎、獣類の部位不明破片である。コイ科の腹椎は、椎体長1.57㎜、椎体径1.94㎜を測る。
＜試料番号B19：SI21 ベルト一括＞
　獣類の部位不明破片である。２点の内、１点は内部がカルサイトに置換される。
＜試料番号B20：SI22 カマド　燃焼面直上＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B21：SI22 カマド4a･4b･5a層＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B22：SI24 カマド　燃焼部直上層＞
　魚類の鰭棘等の破片、獣類の部位不明破片、種類・部位不明破片である。魚類の鰭棘等の破片は、現長16.66㎜を測る。
＜試料番号B23：SI28 カマド　埋土＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B24：SI28 カマド　１層＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B25：SI28 カマド　カクラン＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B26：SI30 カマド 南東部１層＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B27：SI31 ２層＞
　ニホンジカの歯牙片、獣類の歯牙片･部位不明破片である。獣類の歯牙片は、最大長26.77㎜を測る。
＜試料番号B28：SI31 カマド　焚き口付近＞
　ニホンジカの右第1/4種子骨、イノシシ／ニホンジカの基節骨／中節骨、獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B29：SI36 煙道埋土上位＞
　種類・部位不明破片である。粘土塊の可能性もある。
＜試料番号B30：SI40 ２層　ベルト東＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B31：SX75 埋土＞
　獣類の肋骨の可能性がある破片・四肢骨等の破片・部位不明破片である。

＜試料番号B32：SX75 1層＞
　獣類の上腕骨／大腿骨の骨頭部可能性がある破片・部位不明破片である。
＜試料番号B33：SX75 2層＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B34：SX75 3層＞
　ニホンジカの第3/4基節骨、獣類の部位不明破片である。ニホンジカの第3/4基節骨は、ほぼ完存し、全長42.15㎜を測る。
＜試料番号B35：SX75 4層＞
　ニホンジカの左果骨破片、獣類の四肢骨等破片・部位不明破片、種類・部位不明破片である。
＜試料番号B36：SX75 5層＞
　獣類の肋骨破片・四肢骨等の破片・肋骨／四肢骨破片・部位不明破片である。
＜試料番号B37：SX75 6層＞
　ニホンジカのほぼ完存する左第1/4種子骨、獣類の四肢骨等破片・部位不明破片である。
＜試料番号B38-1：SX75 3-1＞
　イノシシの第3/4中節骨、ニホンジカの右橈側手根骨・第3/4末節骨、イノシシ／ニホンジカの中節骨／末節骨、大型獣類の四肢骨等破片、獣類の四肢骨等骨端・肋骨／四肢骨等破片・部位不明破片である。イノシシの第3/4中節骨は、ほぼ完存し、全長21.38㎜を測る。
＜試料番号B38-2：SX75 3-2＞
　獣類の四肢骨等破片・部位不明破片である。この他、土器破片も含まれる。
＜試料番号B38-3：SX75 3-3＞
　獣類の四肢骨等破片・部位不明破片である。
＜試料番号B39：SX75 掘り方＞
　獣類の部位不明破片である。
＜試料番号B40：SI41 一括＞
　種類・部位不明破片である。
＜試料番号B41：SX25 埋土＞
　獣類の部位不明破片である。

（4） 考　　察

　検出された種類の中で、キセルガイ科は、陸産の貝類であり、奥谷編著（2004）によると朽ち木や落ち葉の中、岩や礫の間、樹幹や樹皮下などに生息するとされる。検出されたキセルガイ科は、焼けておらず、殻表面が緑色を帯び、藻類が付着する。遺構が埋積する過程に混入したものと思われるが、後代の流れ込みの可能性もある。
　一方、検出された骨は、白色を呈し、ひび割れが生じるなど、いずれも焼けている。食糧資源等として利用された後に廃棄され、焼かれたものと思われる。魚類では、コイ科の腹椎、フナ属の腹椎、カジカ科？の尾椎、種類不明の腹椎・鰭棘等がみられた。コイ科、フナ属、カジカ科？は、淡水性の魚類である。種類不明の魚類も淡水性の可能性が高い。北上川など付近の河川で漁猟されたものと思われる。この内、SI07で出土した腹椎が椎体径12.80㎜、SI24で出土した鰭棘等が現長16.66㎜を測る。種類を明らかにすることができなかったが、大型サイズの魚類であったと判断される。これに対し、コイ科の腹椎は、椎体長1.57㎜、椎体径1.94㎜であり、被熱による変形・収縮を考慮しても、小型の

サイズであったと考えられる。10㎝以下になる可能性もあり、目の小さい網や梁などの使用、囲い込みなど、釣り以外の漁労が行われていたことも考えられる。

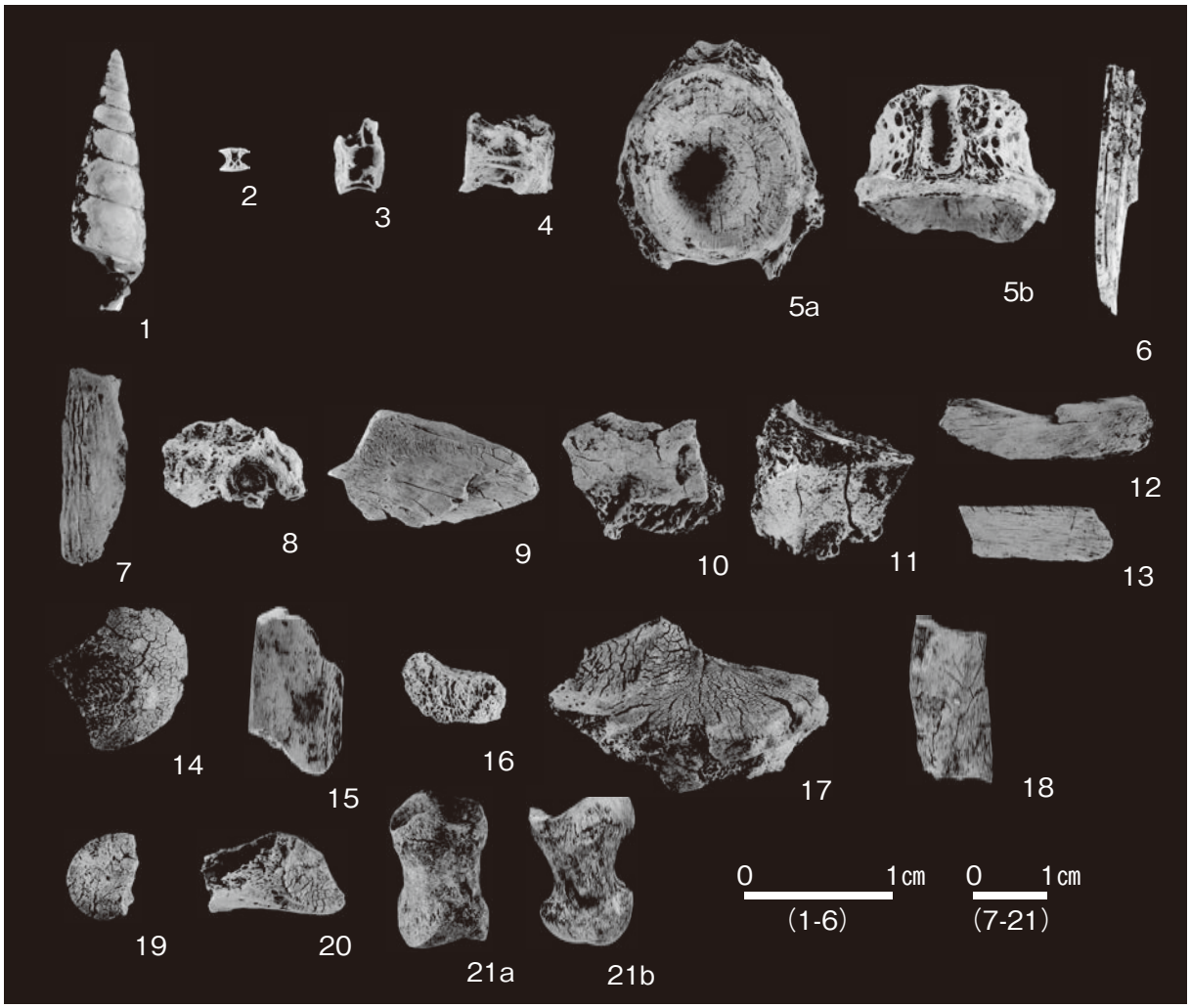
哺乳類では、約428点の破片を数えることができた。大半は種類不明の四肢骨や部位不明破片であったが、イノシシとニホンジカを確認することができた。なお、SI31で検出された獣類の歯牙は最大長26.77㎜を測ることから、イノシシやニホンジカと異なる種類に由来するとみられる。平面的な形をしており、大きさなどからみてウマの可能性もあるが、形状を確認できないため詳細不明である。イノシシ、ニホンジカは、日本各地の縄文時代以降で多く出土することが知られている。イノシシは、右第５中手骨、第2/5中手骨／中足骨、第3/4中節骨が確認された。この内、第2/5中手骨／中足骨は、未化骨で外れた遠位端であることから、若い個体と判断される。また、第3/4中節骨はほぼ完存し、骨端の化骨化も終了していることから成獣とみられる。

一方、ニホンジカは、歯牙、右橈側手根骨、左果骨、中手骨／中足骨、第3/4基節骨、第3/4中節骨、第2/5中節骨、第3/4末節骨、第2/5末節骨、第1/4種子骨、第2/3種子骨などの部位が検出される。大きさなどから、いずれも成獣であると思われる。左果骨が２点あることから、最小個体数はイノシシと同様２個体とみられる。ただし、確認された破片数をみるとイノシシが３点に対してニホンジカが21点である。イノシシの分布域は太平洋側では宮城県南部が北限とされており、また足が短いために雪が苦手で豪雪地帯には分布しないとされている。このような点を考慮すると、遺跡近辺ではイノシシはそれほど多く生息していなかったため、ニホンジカの利用が多かったことが考えられる。

引用文献

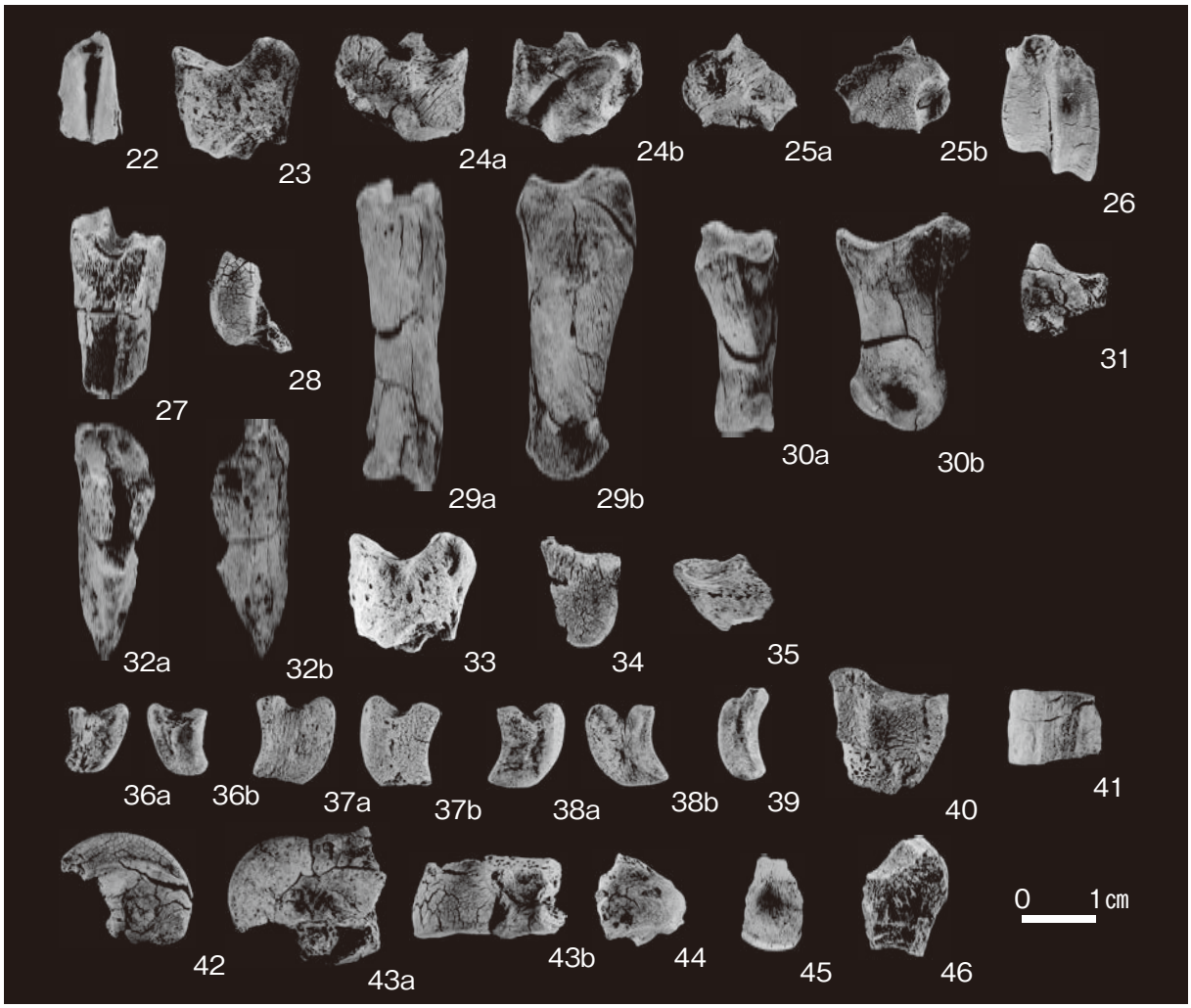
八谷昇・大秦司紀之, 1994, 骨格標本作製法.北海道大学図書刊行会,129p.
奥谷喬司編著, 2004, 改訂新版　世界文化生物大図鑑　貝類.株式会社世界文化社.399p.

図版１　出土骨貝（１）



１．キセルガイ科 殻（試料番号B7;SI07 QSE 床面直上）
２．コイ科 腹椎（試料番号B18;SI15 カマド手前骨･炭範囲）
３．フナ属 腹椎（試料番号B5-2;SI07 4層）
４．カジカ科？ 尾椎（試料番号B5-2;SI07 4層）
５．魚類 腹椎（試料番号B4;SI07 QNE 床面）
６．魚類 鰭棘等（試料番号B22;SI24 カマド燃焼部直上層）
７．獣類 歯牙（試料番号B27;SI31 2層）
８．獣類 上顎骨/下顎骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
９．獣類 頭蓋骨？（試料番号B2;SI07 QS-Sw埋土下位）
10．獣類 頭蓋骨？（試料番号B5-2;SI07 4層）
11．獣類 頭蓋骨？（試料番号B17;SI15 カマド付近　埋土）
12．獣類 肋骨（試料番号B5-1;SI07 4層）
13．獣類 肋骨（試料番号B36;SK82 5層）
14．獣類 上腕骨／大腿骨？（試料番号B32;SK82 1層）
15．獣類 四肢骨等（試料番号B2;SI07 QS-Sw埋土下位）
16．獣類 手根骨／足根骨？（試料番号B9;SI08 ⑤下部）
17．大型獣類 脛骨？（試料番号B5-1;SI07 4層）
18．大型獣類 四肢骨等（試料番号B38-1;SK82 3-1）
19．イノシシ 右第5中手骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
20．イノシシ 第2/5中手骨／中足骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
21．イノシシ 第3/4中節骨（試料番号B38-1;SK82 3-1）

図版２　出土骨貝（２）



22. ニホンジカ 歯牙（試料番号B27;SI31 2層）
23. ニホンジカ 右橈側手根骨（試料番号B38-1;SK82 3-1）
24. ニホンジカ 左果骨（試料番号B5-1;SI07 4層）
25. ニホンジカ 左果骨（試料番号B35;SK82 4層）
26. ニホンジカ 中手骨／中足骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
27. ニホンジカ 第3/4基節骨（試料番号B2;SI07 QS-Sw埋土下位）
28. ニホンジカ 第3/4基節骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
29. ニホンジカ 第3/4基節骨（試料番号B34;SK82 3層）
30. ニホンジカ 第3/4中節骨（試料番号B5-1;SI07 4層）
31. ニホンジカ 第2/5中節骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
32. ニホンジカ 第3/4末節骨（試料番号B5-1・2;SI07 4層）
33. ニホンジカ 第3/4末節骨（試料番号B38-1;SK82 3-1）
34. ニホンジカ 第2/5末節骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
35. ニホンジカ 中節骨/末節骨（試料番号B5-1;SI07 4層）
36. ニホンジカ 第1/4種子骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
37. ニホンジカ 右第1/4種子骨（試料番号B28;SI31 カマドたき口付近）
38. ニホンジカ 左第1/4種子骨（試料番号B37;SK82 6層）
39. ニホンジカ 第2/3種子骨（試料番号B5-1;SI07 4層）
40. ニホンジカ？ 手根骨／足根骨？（試料番号B5-1;SI07 4層）
41. ニホンジカ？ 中手骨／中足骨？（試料番号B16;SI14 ベルト焼土層より上）
42. イノシシ/ニホンジカ 距骨（試料番号B5-1;SI07 4層）
43. イノシシ/ニホンジカ 距骨（試料番号B5-2;SI07 4層）
44. イノシシ/ニホンジカ 距骨？（試料番号B5-2;SI07 4層）
45. イノシシ/ニホンジカ 基節骨／中節骨（試料番号B28;SI31 カマドたき口付近）
46. イノシシ/ニホンジカ 中節骨／末節骨（試料番号B38-1;SK82 3-1）

3－5　動物遺存体同定　（2）

千苅遺跡では、これまでにも縄文時代～古代の遺構から出土した動物遺存体の調査を実施している（3－5（1））。本分析調査では、前回に引き続き古代の住居跡、縄文～弥生時代の遺物包含層等から検出された焼骨を対象として骨同定を実施する。

（1）試　　料

試料は、SI39、SI40、SI43、SI44、SI49、SI50、SI51、SI54、SI56、SI59、SI61、SI62、SI63、SI65、SI67、SI68、SI69、SI76、SI77、SI78、SI79、SI81、SI83、SI84、SK101、SK109、SD27、SN19、SN34、SX62、SX72、SX77、SX99、SX138、D区包含層（ⅠE19t、ⅠE20t、ⅠF20a、ⅠF20b、ⅠF20c、ⅡE17d、ⅡE1t、ⅡF19l、ⅡF1a、ⅡF1b、ⅡF1c、ⅡF2a、ⅡF2b、ⅡF2c、ⅡF3k、ⅠE17sの各グリッド）、および不明地点から水洗選別等によって得られた骨類である。各地点で複数箇所から採取されている場合もあり、総計156試料（B42～197）である。試料の詳細は、結果とともに表示する。

（2）分　析　方　法

試料を肉眼および実体顕微鏡で観察し、形態学的な特徴から種および部位を特定する。なお、骨格各部位の名称は、ニホンジカを例として示す（3－5（1）分析：図1参照）。

（3）結　　果

試料の観察を行った結果、B47・B56・B131・B132・B144・B145の6試料は、骨が含まれておらず、砂・礫などであった。微細な破片のために種類・部位とも明らかにできないものが多く、種類・部位不明破片のみからなるものが39試料ある。また、大半の骨が白色～灰黒色を呈して表面に細かなひび割れが生じるなど焼骨の特徴を示すが、中には被熱の痕跡が明らかでない歯牙も含まれる。

確認された種類は、硬骨魚綱3種類（サケ科・フサカサゴ科？・スズキ属？）、両生綱1種類（カエル類）、哺乳綱5種類（ネコ？・イヌ・ウマ・イノシシ属・ニホンジカ）である（表1）。同定結果を表2に示す。以下、検出される種類・部位ごとに結果を示す。

＜サケ科＞

椎骨片が10試料（B46・B52・B85・B86・B87・B110・B111・B117・B120・B124）で検出される。いずれも微小な破片である。

＜フサカサゴ科？＞

第2椎骨がB117で検出される。

＜スズキ属？＞

尾椎がB53で検出される。比較的大型である。

表1．検出動物分類群の一覧

- 脊椎動物門　Phylum　Vertebrata
  - 硬骨魚綱　Class　Osteichthyse
    - 条鰭亜綱　Subclass　Actinopterygii
      - サケ目　Order　Salmoniformes
        - サケ科　Family　Salmonidae
      - カサゴ目　Order　Scorpaeniformes
        - カサゴ亜目　Suborder　Scorpaenoidei
          - フサカサゴ科？　Family　Scorpaenidae?
      - スズキ目　Order　Perciformes
        - スズキ亜目　Suborder　Percoidei
          - スズキ科　Family　Moronidae
            - スズキ属？　Genus　Lateolabrax?
  - 両生綱　Class　Amphibia
    - 無尾目　Order　Anura
      - カエル類
  - 哺乳綱　Class　Mammalia
    - ネコ目（食肉目）　Order　Carnivora
      - ネコ亜目　Suborder　Fissipedia
        - ネコ科　Family　Felidae
          - ネコ？　Felis catus?
        - イヌ科　Family　Canidae
          - イヌ　Canis familiaris
    - ウマ目（奇蹄目）　Order　Perissodactyla
      - ウマ科　Family　Equidae
        - ウマ　Equus caballus
    - ウシ目（偶蹄目）　Order　Artiodactyla
      - イノシシ科　Family　Suidae
        - イノシシ属　Genus　Sus
      - シカ科　Family　Cervidae
        - ニホンジカ　Cervus nippon

＜魚類＞

種類不明腹椎が１試料（B62）、椎骨片が７試料（B46・B52・B53・B64・B110・B111・B124）、鰭棘等が15試料（B46・B63・B64・B85・B86・B87・B90・B101・B110・B111・B116・B117・B120・B124・B128）、部位不明破片が11試料（B46・B50・B51・B52・B63・B86・B101・B110・B111・B116・B117）検出される。

＜カエル類＞

右上腕骨・右橈尺骨がB172で検出される。比較的大型の個体とみられる。

＜ネコ？＞

ネコの右大腿骨の可能性がある近位端部がB148で検出される。

＜イヌ＞

B159で第３中足骨・第４中足骨の近位端、B166で左上腕骨の遠位端部片、B172で左橈骨の近位端、B177で頚椎片が検出される。また、イヌの可能性がある左上顎骨（B98）、第1頚椎片（B177）、右尺骨遠位端（B177）がみられる。

＜ウマ＞

歯牙片がB138で検出される。非焼骨である。内側に湾曲した面をもつこと、および長さからウマと判断した。

＜イノシシ属＞

イノシシ、ブタの判断ができないためイノシシ属とした。歯牙の破片がB95・B106で検出される。B95は焼骨、B106は非焼骨である。

＜ニホンジカ＞

B189で歯牙片が検出される。また、B52でニホンジカの可能性がある歯牙が検出される。２試料とも非焼骨である。

＜イノシシ属/ニホンジカ＞

B52で末節骨の破片、B104で中節骨／末節骨の近位端片が検出される。

＜小型獣類＞

B172で左寛骨が検出される。

＜中型獣類＞

上顎骨の可能性がある破片（B177）、下顎骨の可能性がある破片（B172）、頚椎（B97）、胸椎（B172）、椎骨が4試料（B133･B164･B172･B177）、尾椎（B164）、上腕骨遠位端部片（B177）、脛骨近位端部（B172）、中手骨/中足骨遠位端（B177）、中節骨が3試料（B100・B101・B159）検出される。この内、中節骨のB100・B101はほぼ完存する。

＜大型獣類＞

肋骨片が２試料（B143・B172）検出される。

＜獣類＞

頭蓋骨が２試料（B104・B172）、歯牙片が５試料（B52・B87・B102・B106・B189）、肋骨片が７試料（B86・B100・B122・B159・B164・B172・B177）、四肢骨が13試料（B46・B51・B87・B88・B96・B105・B108・B129・B130・B164・B184・B188・B193）、肋骨／四肢骨が５試料（B51・B103・B137・B172・B177）、基節骨／中節骨遠位端部が３試料（B85・B103・B159）検出される。なお、緻密質の厚さから獣類と判断できるものの、微小な破片であるため部位を明らかにできなかったものが多く、89試料で検出される。

（4） 考　　察

本分析調査で対象とした試料の大半は焼骨であり、イノシシ、ニホンジカの歯牙の一部に焼けていないものが僅かに認められた。炭化した状態のものでなく、白色～灰黒色を呈するなどから、骨となった状態で焼かれ、廃棄された可能性が高い。

検出された種類の内、カエル類は周辺に生息していたものが焼かれたとみられる。被熱による収縮・変形を考慮したとしても比較的大型のカエル類であったと考えられる。

魚類のサケ科、フサカサゴ科？、スズキ属？などは、食料資源として利用されたものであろう。サケ科は周辺の河川で漁獲されたものと考えられる。一方で、フサカサゴ科？やスズキ属？など海産性の種類がみられるため、遠隔地からの食料資源の搬入が行われていたことが想定される。

ネコ？、およびイヌは、遺跡近傍に生息していたものとみられる。ネコ？は、ⅠE19tグリッドⅣa層で右大腿骨の近位端片が検出されている程度であり、詳細不明である。イヌおよびイヌ科では、SI62カマド①燃焼部内、およびⅡE1tおよびⅡF1aグリッドⅣb層・Ⅳc層で検出される。後者のⅡE1tおよびⅡF1aグリッドで検出されるものは同一個体の可能性がある。ウマは、物資やヒトを運ぶ役割、軍用、農耕用など、多様な用途が考えられる。歯牙の破片のみであり、焼けてないことから、周辺に埋まっていたものが二次的に流れ込んだ可能性もある。イノシシ属・ニホンジカは、数量的に少ないが、歯牙、末節骨、中節骨／末節骨などがみられる。周辺の後背地などに生息しており、食料資源等として狩猟されていたと考えられる。

地点別・種類別数量を表３に示す。これによると、骨の検出量は地点により異なり、Ｄ区包含層が最も多く（その中ではⅡF1aのⅣb層）、次いでSI59・SI62が多く検出される。獣類が多くの地点で検出され、魚類が検出される地点が少ない。また、種類・部位不明破片を除いた構成をみると、魚類のみで構成されるのが３地点（SI50・SI51・SI81）、獣類のみで構成されるのが16地点（SI49・SI54・SI56・SI61・SI65・SI67・SI78・SI84・SK101・SD27・SN34・SX99・SX138）、獣類と両生類が混入する１地点（Ｄ区包含層）、魚類と哺乳類が混在するのが９地点（SI39・SI40・SI43・SI59・SI62・SI63・SI68・SI76・SI83）などの違いが見える。このような地点による種類構成や検出量の違いは、遺構の規模、使用時期、使用期間などの違いを反映している可能性もある。特に、縄文時代～弥生時代の遺物包含層とされるＤ区包含層では魚類が検出されなかったのに対し、古代の竪穴住居跡（SI39他）では一定量の魚類が含まれており、生活様式や動物の利用の仕方、さらに流通の違いなどを反映している可能性があるとみられる。

表２．骨同定結果（１）

仮番号	遺構名	地点・層位		種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱
B42	SI39	カマド		獣類	不明			破片	1	0.82	○
B43	SI39	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	3 ＋	0.55	○
B44	SI39	pit11		不明	不明			破片	4 ＋	0.06	○
				礫・土壌塊等					4	0.03	
B45	SI39	カマド②	燃焼部焼土上面	不明	不明			破片	3 ＋	0.06	○
				礫・土壌塊等					4	0.07	
B46	SI39	カマド②	燃焼部焼土上面	サケ科	椎骨			破片	2	0.01	○
				魚類	椎骨			破片	1	0.02	○
					鰭棘等			破片	多数	1.03	○
					不明			破片	6	0.08	○
				獣類	四肢骨			破片	3	0.59	○
					不明			破片	10	0.61	○
				不明	不明			破片	多数	1.59	○
				礫・土壌塊等					5	0.06	
B47	SI39	カマド②	燃焼部焼土上面	礫・土壌塊等					5 ＋	0.05	
B48	SI40	カマド①	燃焼部	獣類	不明			破片	1	0.11	○
				不明	不明			破片	13 ＋	0.39	○
				礫・土壌塊等					4	0.08	
B49	SI40	カマド①	燃焼部	不明	不明			破片	多数	0.18	○
B50	SI40	pit1	焼土ブロック層	魚類	不明			破片	1	0.01	○
				礫・土壌塊等					8	0.41	
B51	SI43	カマド①		魚類	不明			破片	1	0.12	○
				獣類	四肢骨			破片	2	1.75	○
					肋骨/四肢骨			破片	1	0.63	○
				不明	不明			破片	1 ＋	0.08	○
B52	SI43	カマド①		サケ科	椎骨			破片	2	0.01	○
				魚類	椎骨			破片	1	0.01	○
					不明			破片	3	0.03	○
				ニホンジカ？	歯牙			破片	1	0.03	
				イノシシ属/ニホンジカ	末節骨			破片	1	0.15	○
				獣類	歯牙			破片	20	0.29	
					不明			破片	6	1.09	○
				不明	不明			破片	多数	1.04	○
				礫・土壌塊等					8	0.15	
B53	SI43	カマド①	燃焼部上部	スズキ属？	尾椎			破片	1 ＋	0.35	○
				魚類	椎骨			破片	3	0.04	○
				獣類	不明			破片	8	0.23	○
				不明	不明			破片	多数	1.49	○
B54	SI43	カマド②	燃焼部	不明	不明			破片	7 ＋	0.17	○
				礫・土壌塊等					2 ＋	0.05	
B55	SI43	床下掘り方		獣類	不明			破片	1	0.26	○
B56	SI44	カマド	燃焼部焼土上面	礫・土壌塊等					6	0.23	
B57	SI49	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	1	0.09	○
B58	SI49	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	6	0.17	○
B59	SI49	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	12 ＋	0.25	○
B60	SI49	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	1	0.01	○
B61	SI50	カマド	東袖内	不明	不明			破片	5 ＋	0.02	○
B62	SI50	pit2		魚類	腹椎			破片	1	0.07	○
				不明	不明			破片	2 ＋	0.04	○
B63	SI50	pit2		魚類	鰭棘等			破片	2	0.01	○
					不明			破片	9	0.11	○
				不明	不明			破片	6 ＋	0.03	○
B64	SI51	カマド	燃焼部2層	魚類	椎骨			破片	1	0.01	○
					鰭棘等			破片	5	0.01	○
				不明	不明			破片	5 ＋	0.01	○
B65	SI54	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	20 ＋	0.14	○
B66	SI54	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	8	0.59	○
				不明	不明			破片	多数	4.43	○
				礫・土壌塊等					5 ＋	0.28	
B67	SI54	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	2	0.21	○
				不明	不明			破片	多数	1.99	○
				礫・土壌塊等					9 ＋	0.39	
B68	SI54	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	32 ＋	0.28	○
				礫・土壌塊等					11	0.29	

表2．骨同定結果（2）

仮番号	遺構名	地点・層位		種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱
B69	SI54	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	1	0.06	○
				不明	不明			破片	29 +	0.41	○
				礫・土壌塊等					4	0.06	
B70	SI54	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	5	0.34	○
				不明	不明			破片	36 +	0.41	○
				礫・土壌塊等					2	0.07	
B71	SI54	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	1	0.05	○
				不明	不明			破片	多数	0.79	○
				礫・土壌塊等					2	0.03	
B72	SI54	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	8	0.45	○
				不明	不明			破片	多数	1.18	○
				礫・土壌塊等					1	0.03	
B73	SI54	カマド	煙道内	不明	不明			破片	43 +	0.32	○
B74	SI56	埋土		獣類	不明			破片	2	0.26	○
				不明	不明			破片	3	0.02	○
B75	SI59	南西部埋土		獣類	不明			破片	1	0.07	○
				不明	不明			破片	10 +	0.12	○
				礫・土壌塊等					19 +	0.14	
B76	SI59	埋土		獣類	不明			破片	5	0.15	○
				不明	不明			破片	11 +	0.07	○
				礫・土壌塊等					6 +	0.13	
B77	SI59	埋土		獣類	不明			破片	11	0.58	○
				不明	不明			破片	37 +	0.31	○
B78	SI59	pit5		不明	不明			破片	14 +	0.18	○
B79	SI56	pit9	焼土	獣類	不明			破片	4 +	0.72	○
B80	SI59	pit10		獣類	不明			破片	1	0.17	○
				不明	不明			破片	4	0.01	○
				礫・土壌塊等					9 +	0.19	
B81	SI56	pit11		不明	不明			破片	6 +	0.28	○
B82	SI56	pit15		獣類	不明			破片	3 +	1.71	○
B83	SI59	床面		獣類	不明			破片	3	0.28	○
				不明	不明			破片	13 +	0.09	○
B84	SI56	床下掘り方		不明	不明			破片	19 +	0.36	○
B85	SI59	カマド①	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	3	0.01	○
				魚類	鰭棘等			破片	6	0.02	○
				獣類	基節骨/中節骨			遠位端	1	0.02	○
					不明			破片	3	0.08	○
				不明	不明			破片	多数	1.11	○
				礫・土壌塊等					9 +	0.18	
B86	SI59	カマド①	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	1	0.00	○
				魚類	鰭棘等			破片	5	0.03	○
					不明			破片	6	0.11	○
				獣類	肋骨			破片	1	0.09	○
					不明			破片	6	0.61	○
				不明	不明			破片	多数	2.28	○
				礫・土壌塊等					45 +	2.95	
B87	SI59	カマド①	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	1	0.01	○
				魚類	鰭棘等			破片	6	0.04	○
				獣類	歯牙			歯根	1	0.01	○
					四肢骨			破片	9	5.17	○
					不明			破片	多数	7.98	○
				不明	不明			破片	多数	13.24	○
				礫・土壌塊等					24 +	1.27	
B88	SI59	カマド①	燃焼部	獣類	四肢骨			破片	2	1.23	○
					不明			破片	33	3.07	○
				不明	不明			破片	多数	1.75	○
				礫・土壌塊等					6	0.31	
B89	SI59	カマド①	燃焼部	不明	不明			破片	多数	0.26	○
				礫・土壌塊等					13 +	0.18	
B90	SI59	カマド①	燃焼部	魚類	鰭棘等			破片	1	0.01	○
				不明	不明			破片	23 +	0.34	○
				礫・土壌塊等					3	0.01	
B91	SI59	カマド②	煙道内	獣類	不明			破片	7	0.44	○
				不明	不明			破片	49 +	0.28	○
				礫・土壌塊等					2	0.03	

表２．骨同定結果（３）

仮番号	遺構名	地点・層位		種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱
B92	SI59	カマド②	煙道内	不明	不明			破片	多数	0.66	○
B93	SI61	床面		不明	不明			破片	16 ＋	0.19	○
B94	SI61	床下		獣類	不明			破片	3 ＋	0.12	○
B95	SI61	床下		イノシシ属	歯牙			破片	15 ＋	2.95	○
B96	SI61	床下		獣類	四肢骨			破片	1 ＋	0.88	○
B97	SI62	カマド①	燃焼部	中型獣類	頸椎			破片	1	0.35	○
B98	SI62	カマド①	燃焼部	イヌ科	上顎骨	左		破片	1	1.71	○
				獣類	不明			破片	19	1.08	○
				不明	不明			破片	多数	0.54	○
				礫・土壌塊等					多数	0.85	
B99	SI62	カマド①		獣類	不明			破片	42	2.38	○
				不明	不明			破片	13 ＋	0.15	○
				礫・土壌塊等					4	0.14	
B100	SI62	カマド①	燃焼部焼土上面	中型獣類	中節骨			ほぼ完存	1	0.12	○
				獣類	肋骨			破片	1	0.07	○
					不明			破片	多数	4.56	○
				不明	不明			破片	多数	2.49	○
				礫・土壌塊等					12 ＋	0.21	
B101	SI62	カマド①	燃焼部焼土上面	魚類	鰭棘等			破片	1	0.09	○
					不明			破片	5	0.04	○
				中型獣類	中節骨			ほぼ完存	1	0.21	○
				獣類	不明			破片	多数	3.93	○
				不明	不明			破片	多数	2.71	○
				礫・土壌塊等					13 ＋	0.06	
B102	SI62	カマド①	燃焼部焼土上面	獣類	歯牙			破片	1	0.01	○
					不明			破片	35	1.05	○
				不明	不明			破片	多数	0.61	○
				礫・土壌塊等						0.27	
B103	SI62	カマド①	燃焼部焼土上面	獣類	基節骨/中節骨			遠位端破片	2	0.05	○
					肋骨/四肢骨			破片	2	0.88	○
					不明			破片	多数	10.86	○
				不明	不明			破片	多数	1.79	○
				礫・土壌塊等						0.19	
B104	SI62	カマド①	燃焼部	イノシシ属/ニホンジカ	中節骨/末節骨			近位端	1	0.16	○
				獣類	頭蓋骨			破片	1	0.38	○
					不明			破片	47	3.18	○
				不明	不明			破片	多数	0.82	○
B105	SI62	カマド②	周辺	獣類	四肢骨			破片	2	0.84	○
					不明			破片	34	2.11	○
				不明	不明			破片	47 ＋	0.54	○
				礫・土壌塊等					25	0.22	
B106	SI62	床下掘り方		イノシシ属	歯牙			破片	2	1.18	
				獣類	歯牙			破片	22	0.31	
					不明			破片	12	1.52	○
				不明	不明			破片	多数	0.36	○
				礫・土壌塊等					5 ＋	0.34	
B107	SI62	埋土		獣類	不明			破片	37	4.54	○
				不明	不明			破片	多数	0.95	○
				礫・土壌塊等					多数	0.22	
B108	SI62	埋土（攪乱）		獣類	四肢骨			破片	1	0.47	○
B109	SI62	埋土		獣類	不明			破片	1	0.15	○
B110	SI63	カマド	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	29	0.09	○
				魚類	椎骨			破片	3	0.01	○
					鰭棘等			破片	多数	0.13	○
					不明			破片	13	0.09	○
				不明	不明			破片	多数	0.45	○
				礫・土壌塊等					13 ＋	0.12	
B111	SI63	カマド	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	16	0.03	○
				魚類	椎骨			破片	4	0.01	○
					鰭棘等			破片	10	0.01	○
					不明			破片	4	0.01	○
				獣類	不明			破片	2	0.05	○
				不明	不明			破片	45 ＋	0.06	○
				礫・土壌塊等						0.01	
B112	SI63	床下掘り方		不明	不明			破片	16 ＋	0.12	○

表2．骨同定結果（4）

仮番号	遺構名	地点・層位		種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱
B113	SI65	pit1		獣類	不明			破片	2	0.17	○
				不明	不明			破片	35 +	0.19	○
B114	SI67	埋土		獣類	不明			破片	2	0.19	○
				不明	不明			破片	27 +	0.24	○
B115	SI68	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	11	1.08	○
				不明	不明			破片	多数	1.42	○
				礫・土壌塊等					1	0.18	
B116	SI68	カマド	支脚	魚類	鰭棘等			破片	19	0.09	○
					不明			破片	3	0.03	○
				不明	不明			破片	27 +	0.25	○
				礫・土壌塊等					5	0.02	
B117	SI68	カマド	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	12	0.05	○
				フサカサゴ科?	第2椎骨			破損	1	0.01	○
				魚類	鰭棘等			破片	17	0.07	○
					不明			破片	6	0.01	○
				獣類	不明			破片	8	0.88	○
				不明	不明			破片	46 +	0.21	○
				礫・土壌塊等					13	0.34	
B118	SI69	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	15 +	0.04	○
B119	SI69	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	6 +	0.12	○
B120	SI76	カマド	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	1	0.01	○
				魚類	鰭棘等			破片	3	0.01	○
				獣類	不明			破片	多数	1.38	○
				不明	不明			破片	多数	1.35	○
				礫・土壌塊等					11 +	0.09	
B121	SI77	カマド	煙道～燃焼部上部	不明	不明			破片	3 +	0.05	○
B122	SI78	pit5		獣類	肋骨			破片	1	0.25	○
				不明	不明			破片	46 +	0.41	○
B123	SI79	pit2		不明	不明			破片	15 +	0.49	○
B124	SI81	カマド①	燃焼部	サケ科	椎骨			破片	3	0.03	○
				魚類	椎骨			破片	2	0.01	○
					鰭棘等			破片	12	0.08	○
					不明			破片	17	0.07	○
				不明	不明			破片	27 +	0.16	○
				礫・土壌塊等					11 +	0.09	
B125	SI83	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	9 +	0.09	○
B126	SI83	カマド	燃焼部	不明	不明			破片	18 +	0.13	○
B127	SI83	カマド	燃焼部	獣類	不明			破片	17	0.69	○
				不明	不明			破片	多数	0.41	○
				礫・土壌塊等					2 +	0.08	
B128	SI83	カマド	煙道内	魚類	鰭棘等			破片	2	0.01	○
				獣類	不明			破片	26	3.13	○
				不明	不明			破片	多数	1.44	○
				礫・土壌塊等					5	0.06	
B129	SI83	カマド	煙道内	獣類	四肢骨			破片	3	2.34	○
					不明			破片	9	0.73	○
				不明	不明			破片	多数	0.47	○
				礫・土壌塊等					5 +	0.13	
B130	SI84	カマド	燃焼部2層	獣類	四肢骨			破片	4	1.25	○
					不明			破片	36	2.29	○
				不明	不明			破片	多数	1.29	○
				礫・土壌塊等					2	0.13	
B131	SX72	炭層		礫・土壌塊等					多数	1.73	
B132	SX77	炭層直上		礫・土壌塊等					41 +	0.49	
B133	SK101	底面		中型獣類	椎骨			椎体	1	0.81	○
				獣類	不明			破片	12	1.68	○
				不明	不明			破片	12 +	0.16	○
B134	SK109	埋土		不明	不明			破片	多数	0.54	○
				礫・土壌塊等					7 +	0.04	
B135	地点不明			不明	不明			破片	7	0.03	○
B136	地点不明			不明	不明			破片	5 +	0.23	○
B137	SX138			獣類	肋骨/四肢骨			破片	2	1.55	○
					不明			破片	32	2.72	○
				不明	不明			破片	多数	1.17	○
				礫・土壌塊等					多数	0.78	

表２．骨同定結果（５）

仮番号	遺構名	地点・層位		種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱
B138	SD27	下層		ウマ	歯牙			破片	多数	4.56	
B139	SD27	東側埋土		獣類	不明			破片	9	0.77	○
				不明	不明			破片	29 ＋	0.14	○
B140	SD27	東側埋土		獣類	不明			破片	7	0.21	○
				不明	不明			破片	多数	0.88	○
				礫・土壌塊等					1 ＋	0.98	
B141	SD27			獣類	不明			破片	2	0.19	○
B142	SN19	炉		不明	不明			破片	2	0.02	○
				礫・土壌塊等					4	0.16	
B143	SN34	下位Ⅳc層		大型獣類	肋骨			破片	1	2.38	○
B143	SN34	下位Ⅳc層		獣類	不明			破片	3 ＋	0.47	○
B144	SX62	炭化物層		礫・土壌塊等						2.22	
B145	SX62	炭化物層		礫・土壌塊等					13 ＋	1.59	
B146	SX99			獣類	不明			破片	3	0.11	○
				不明	不明			破片	21 ＋	0.12	○
				礫・土壌塊等					5	0.02	
B147	Ⅰ E17s	Ⅳb層		不明	不明			破片	多数	0.23	○
B148	Ⅰ E19t	Ⅳa層		ネコ?	大腿骨		右	近位端	1	0.16	○
B149	Ⅰ E20t	Ⅲ～Ⅳ層		獣類	不明			破片	2	1.05	○
B150	Ⅰ E20t	Ⅳa層		獣類	不明			破片	5 ＋	0.09	○
B151	Ⅰ F20a	Ⅳa層		不明	不明			破片	多数	0.22	○
B152	Ⅰ F20a	Ⅳb層		不明	不明			破片	45 ＋	0.55	○
B153	Ⅰ F20a	Ⅲ～Ⅳ層		獣類	不明			破片	1	0.26	○
B154	Ⅰ F20b	Ⅲ～Ⅳ層		獣類	不明			破片	2	0.09	○
				不明	不明			破片	31 ＋	0.19	○
				礫・土壌塊等					多数	0.11	
B155	Ⅰ F20b	Ⅳb層		獣類	不明			破片	13	0.34	○
				不明	不明			破片	多数	0.22	○
B156	Ⅰ F20c	Ⅳb層		獣類	不明			破片	1	0.15	○
				不明	不明			破片	25 ＋	0.12	○
B157	Ⅰ F20c	Ⅳc層		不明	不明			破片	40	0.14	○
B158	Ⅱ E1t	Ⅳb層		獣類	不明			破片	2	0.22	○
				不明	不明			破片	10 ＋	0.15	○
B159	Ⅱ E1t	Ⅳb層		イヌ	第3中足骨	左		近位端	1	0.54	○
					第4中足骨	左		近位端	1	0.29	○
				中型獣類	中節骨			近位端	1	0.22	○
				獣類	肋骨			破片	1	0.05	○
					基節骨/中節骨			遠位端	1	0.11	○
					不明			破片	49	5.19	○
				不明	不明			破片	多数	1.34	○
B160	Ⅱ E1t	Ⅳb～Ⅳc層		不明	不明			破片	25 ＋	0.42	○
				礫・土壌塊等					1	0.04	
B161	Ⅱ E1t	Ⅳc層		不明	不明			破片	4 ＋	0.22	○
B162	Ⅱ E1t	Ⅳc層		獣類	不明			破片	12 ＋	1.63	○
B163	Ⅱ E1t	Ⅳc層		獣類	不明			破片	15 ＋	0.62	○
B164	Ⅱ E1t	Ⅳc層		中型獣類	椎骨			破片	1	0.36	○
					尾椎			破片	1	0.18	○
				獣類	肋骨			破片	2	0.44	○
					四肢骨			破片	6	1.05	○
					不明			破片	44 ＋	4.16	○
				不明	不明			破片	多数	0.78	○
B165	Ⅱ E1t	Ⅳc層		獣類	不明			破片	1	0.15	○
B166	Ⅱ E1t	Ⅳc層		イヌ	上腕骨		右	遠位端	1 ＋	2.57	○
				獣類	不明			破片	15	1.48	○
				不明	不明			破片	多数	0.49	○
B167	Ⅱ E17d	Ⅳa層		不明	不明			破片	8 ＋	0.02	○
				礫・土壌塊等					5 ＋	0.67	
B168	Ⅱ F1a	Ⅳa層		獣類	不明			破片	6	1.51	○
				不明	不明			破片	14 ＋	0.11	○
B169	Ⅱ F1a	Ⅳa層		獣類	不明			破片	12	1.24	○
				不明	不明			破片	37 ＋	0.35	○
				礫・土壌塊等					多数	0.81	
B170	Ⅱ F1a	Ⅳa層		不明	不明			破片	13 ＋	0.46	○
B171	Ⅱ F1a	Ⅳb層		不明	不明			破片	37 ＋	0.17	○
				礫・土壌塊等					7	0.01	

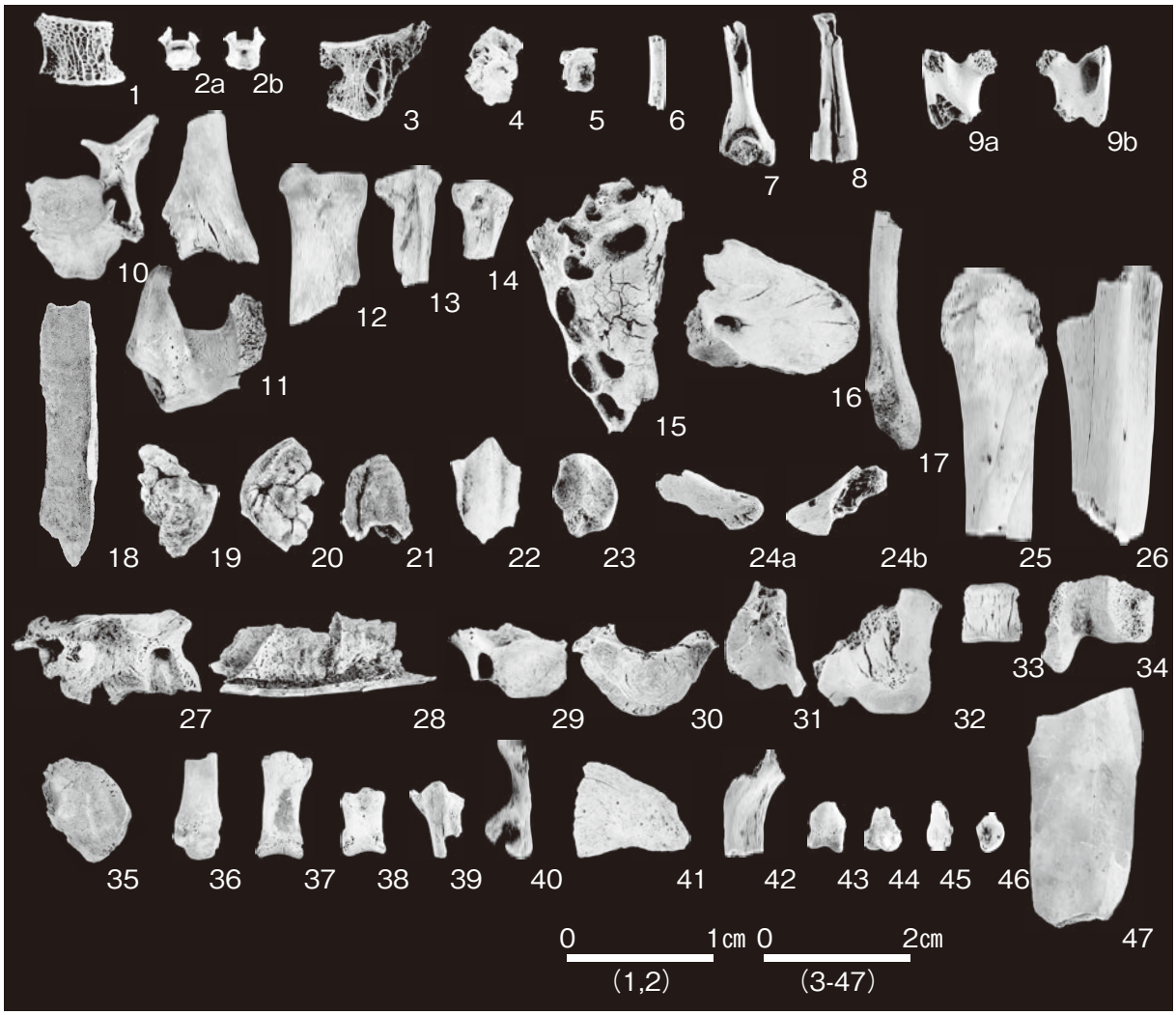
表2．骨同定結果（6）

仮番号	遺構名	地点・層位		種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱
B172	ⅡF1a	Ⅳb層		カエル類	上腕骨		右	近位端欠	1	0.25	○
					橈骨/尺骨		右	両端欠	1	0.13	○
				イヌ	橈骨	左		近位端	1	1.18	○
				小型獣類	寛骨	左		破片	1	0.12	○
				中型獣類	下顎骨?			破片	1	0.59	○
					胸椎			椎体	1	0.71	○
					椎骨			破片	2	1.47	○
					脛骨			近位端	1	0.48	○
				大型獣類	肋骨			破片	1	3.17	○
				獣類	頭蓋骨			破片	3	0.62	○
					肋骨			破片	12	2.27	○
					肋骨/四肢骨			破片	多数	22.19	○
					不明			破片	多数	31.16	○
				不明	不明			破片	多数	1.97	○
				礫・土壌塊等					31 +	0.63	
B173	ⅡF1a	Ⅳc層		獣類	不明			破片	11 +	0.61	○
B174	ⅡF1a	Ⅳc層		獣類	不明			破片	6 +	0.41	○
B175	ⅡF1a	Ⅳc層		不明	不明			破片	20 +	0.14	○
B176	ⅡF1a	Ⅳc層		獣類	不明			破片	22	1.19	○
				不明	不明			破片	多数	0.43	○
B177	ⅡF1a	Ⅳc層		イヌ	頸椎			破損	1	2.42	○
				イヌ科	第1頸椎			破片	1	1.17	○
					尺骨		右	遠位端	1	0.67	○
				中型獣類	上顎骨?			破片	1	0.51	○
					椎骨			破片	1	0.68	○
					上腕骨			遠位端破片	1	0.94	○
					中手骨/中足骨			遠位端	1	0.32	○
				獣類	肋骨			破片	1	0.19	○
					肋骨/四肢骨			破片	1	0.16	○
					不明			破片	37	4.11	○
				不明	不明			破片	多数	0.55	○
B178	ⅡF1b	Ⅳa層		獣類	不明			破片	2 +	0.61	○
B179	ⅡF1b	Ⅳb層		獣類	不明			破片	4 +	0.71	○
				土器				破片	1	0.02	
B180	ⅡF1c	Ⅳa層		獣類	不明			破片	1 +	0.45	○
B181	ⅡF1c	Ⅳb層		獣類	不明			破片	4 +	0.22	○
B182	ⅡF2a	Ⅳ層		獣類	不明			破片	8 +	0.61	○
B183	ⅡF2b	Ⅳa層		不明	不明			破片	15 +	0.12	○
B184	ⅡF2b	Ⅳa層		獣類	四肢骨			破片	9 +	4.26	○
B185	ⅡF2b	Ⅳa層		獣類	歯牙			破片	32 +	0.48	
				礫・土壌塊等					多数	1.22	
B186	ⅡF2b	Ⅳb層		不明	不明			破片	10 +	0.21	○
B187	ⅡF2b	Ⅳc層		獣類	不明			破片	1 +	0.08	○
B188	ⅡF2b	Ⅳc層		獣類	四肢骨			破片	1 +	0.34	○
B189	ⅡF2c	Ⅳa層		ニホンジカ	歯牙			破片	5	0.55	
				獣類	歯牙			破片	多数	0.94	
B190	ⅡF2c	Ⅳa層		獣類	不明			破片	2 +	0.93	○
B191	ⅡF2c	Ⅳa層		獣類	不明			破片	17	1.05	○
				不明	不明			破片	36 +	0.09	○
				礫・土壌塊等					12	0.15	
B192	ⅡF2c	Ⅳb層		獣類	不明			破片	2	0.05	○
B193	ⅡF2c	Ⅳb層		獣類	四肢骨			破片	1 +	0.65	○
B194	ⅡF2c	Ⅳb層		獣類	不明			破片	4 +	0.95	○
B195	ⅡF3k	Ⅳ層		獣類	不明			破片	1	0.59	○
				不明	不明			破片	33 +	0.34	○
				礫・土壌塊等					2 +	0.16	
B196	ⅡF19 l			獣類	不明			破片	30	1.48	○
				不明	不明			破片	多数	1.29	○
				礫・土壌塊等					多数	0.42	
B197	地点不明			不明	不明			破片	3 +	0.43	○

表３．地点別・種類別数量表

種類 / 試料	両生類		魚類		哺乳類		不明		その他		合計
	数量(個)	重量(g)	数量(個)	重量(g)	数量(個)	重量(g)	数量(個)	重量(g)	数量(個)	重量(g)	重量(g)
SI39			多数	1.14	17 +	2.57	多数	1.71	18 +	0.21	5.63
SI40			1	0.01	1	0.11	多数	0.57	12	0.49	1.18
SI43			11 +	0.56	40	4.43	多数	2.78	10 +	0.20	7.97
SI44									6	0.23	0.23
SI49					1	0.09	19 +	0.43			0.52
SI50			12	0.19			13 +	0.09			0.28
SI51			6	0.02			5 +	0.01			0.03
SI54					25	1.70	多数	9.95	34 +	1.15	12.80
SI56					9 +	2.69	28 +	0.66			3.35
SI59			29	0.23	多数	19.95	多数	20.70	136 +	5.39	46.27
SI61					19 +	3.95	16 +	0.19			4.14
SI62			6	0.13	多数	42.10	多数	10.96	多数	2.50	55.69
SI63			多数	0.38	2	0.05	多数	0.63	13 +	0.13	1.19
SI65					2	0.17	35 +	0.19			0.36
SI67					2	0.19	27 +	0.24			0.43
SI68			58	0.26	19	1.96	多数	1.88	19	0.54	4.64
SI69							21 +	0.16			0.16
SI76			4	0.02	多数	1.38	多数	1.35	11 +	0.09	2.84
SI77							3 +	0.05			0.05
SI78					1	0.25	46 +	0.41			0.66
SI79							15 +	0.49			0.49
SI81			34	0.19			27 +	0.16	11 +	0.09	0.44
SI83			2	0.01	55	6.89	多数	2.54	12 +	0.27	9.71
SI84					40	3.54	多数	1.29	2	0.13	4.96
SK101					13	2.49	12 +	0.16			2.65
SK109							多数	0.54	7 +	0.04	0.58
SD27					多数	5.73	多数	1.02	1 +	0.98	7.73
SN19							2	0.02	4	0.16	0.18
SN34					4 +	2.85					2.85
SX62							多数		13 +	3.81	3.81
SX72									多数	1.73	1.73
SX77									41 +	0.49	0.49
SX99					3	0.11	21 +	0.12	5	0.02	0.25
SX138					34	4.27	多数	1.17	多数	0.78	6.22
D区包含層	2	0.38			多数	116.44	多数	11.32	多数	4.24	132.38
地点不明							15 +	0.69			0.69
合計　重量(g)		0.38		3.14		223.91		72.48		23.67	323.58

図版１　出土骨



１．サケ科椎骨（B87：SI59 カマド1 燃焼部）
２．フサカサゴ科? 第2 椎骨（B117：SI68 カマド灰埋土）
３．スズキ属? 尾椎（B53：SI43 カマド燃焼部上の土）
４．魚類腹椎（B62：SI50 P2）
５．魚類椎骨（B46：SI39 カマド2 焼土の上）
６．魚類鰭棘等（B124：SI81 カマド内焼土サンプル）
７．カエル類右上腕骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
８．カエル類右橈骨／尺骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
９．ネコ? 右大腿骨（B148：ⅠE19t Ⅳa 層）
10．イヌ頸椎（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
11．イヌ右上腕骨（B166：ⅡE1t Ⅳc 層SN34 上）
12．イヌ左橈骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
13．イヌ第3 中足骨（B159：ⅡE1t Ⅳb 層）
14．イヌ第4 中足骨（B159：ⅡE1t Ⅳb 層）
15．イヌ科左上顎骨（B98：SI62 カマド1 燃焼部内）
16．イヌ科第1 頸椎（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
17．イヌ科右尺骨（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
18．ウマ歯牙（B138：SD27 下層）
19．イノシシ属歯牙（B106：SI62 床より下）
20．イノシシ属歯牙（B106：SI62 床より下）
21．イノシシ属歯牙（B95：SI61 貼床下）
22．ニホンジカ? 歯牙（B52：SI43 カマド1 埋土サンプル）
23．イノシシ属／ニホンジカ中節骨/ 末節骨（B104：SI62 カマド1 燃焼部内）
24．イノシシ属／ニホンジカ末節骨（B52：SI43 カマド1 埋土サンプル）
25．大型獣類肋骨（B143：SN34 下 Ⅳc 層）
26．大型獣類肋骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
27．中型獣類上顎骨？（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
28．中型獣類下顎骨？（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
29．中型獣類頸椎（B97：SI62 カマド1）
30．中型獣類胸椎（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
31．中型獣類椎骨（B164：ⅡE1t Ⅳc 層）
32．中型獣類椎骨（B133：SK101 底面）
33．中型獣類尾椎（B164：ⅡE1t Ⅳc 層）
34．中型獣類上腕骨（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
35．中型獣類脛骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
36．中型獣類中手骨／中足骨（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
37．中型獣類中節骨（B101：SI62 カマド1 焼土上）
38．中型獣類中節骨（B100：SI62 カマド1 焼土上）
39．中型獣類中節骨（B159：ⅡE1t Ⅳb 層）
40．小型獣類左寛骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
41．獣類頭蓋骨（B172：ⅡF1a Ⅳb 層）
42．獣類肋骨（B177：ⅡF1a Ⅳc 層SN34 上）
43．獣類基節骨／中節骨（B159：ⅡE1t Ⅳb 層）
44．獣類基節骨／中節骨（B85：SI59 カマド1 燃焼部2）
45．獣類基節骨／中節骨（B103：SI62 カマド1 燃焼部上）
46．獣類基節骨／中節骨（B103：SI62 カマド1 燃焼部上）
47．獣類四肢骨（B184：ⅡF2b Ⅳa 層）

３－６　人　骨　鑑　定

千苅遺跡における調査では、弥生時代の土坑から人骨とみられる骨片が検出された。そこで、出土骨について、種類および部位を明らかにし、出土骨に関する情報を得ることにした。

（１）　試　　料

試料は、SK99で採取された歯冠、歯冠・骨片、骨片（四肢骨）の3試料（B1001～B1003）、SK101で採取された歯冠･骨片の１試料（B1004）、合計４試料である。いずれも複数点の骨片が含まれ、一部、土塊状となった試料も存在する。両遺構は、いずれも弥生時代に属するとされている。なお、試料の詳細については、結果とともに表示する。

（２）　分　析　方　法

試料を肉眼およびルーペで観察し、その形態的特徴から、種と部位の同定を行う。なお、歯牙の計測方法は、藤田（1949）に従う。なお、年齢に関しては、幼児が１～５歳程度、小児が６～15歳程度、成人が16歳程度以上、成年が16～20歳程度、壮年が20～39歳程度、熟年が40～59歳程度、老年が60歳以上を表す。

（３）　結果および考察

今回検出された骨は、脆い状態にあり、多くが破片となっている。その中でも僅かに形質が残るものが存在した。

SK99で採取された試料（B1001～1003）は、いずれも破片となっており、B1001でヒトの大臼歯の可能性がある破片５点、ヒトの可能性がある歯牙片がみられる。この他、種類（表中では哺乳綱と表記）および部位不明破片が検出されるが、同一遺構でヒトの歯牙が検出されることから、これら部位不明破片もヒトに由来する可能性がある。なお、B1002で確認される種類・部位不明破片では、中心部が黒～黒灰色を呈している骨片が含まれる。

SK101で採取された試料（B1004）は、ヒトの歯牙片である。確認された部位は、右下顎第1小臼歯、右側の可能性がある下顎第２小臼歯片、右下顎第１大臼歯、下顎大臼歯片、大臼歯片、上顎の可能性がある大臼歯片、上顎の可能性がある切歯片であり、この他に歯根部とエナメル質部の破片がみられる。これらの中で歯冠計測が可能であったのは、右下顎第１小臼歯と右下顎第１大臼歯であり、前者が歯冠幅6.49㎜、歯冠厚7.26㎜、後者が歯冠幅10.74㎜、歯冠厚10.42㎜を測る。これらの計測値を權田（1959）と比較すると、女性的である。また、右第１大臼歯はエナメル質の咬耗が弱い。これより、本人骨は、成年～壮年前半程度の可能性がある。なお、歯根部は中心部が黒～黒灰色を呈している。以上、SK99はヒトの可能性がある歯牙片が認められ、SK101では明らかにヒトの歯牙が検出されることから、いずれもヒトが埋葬されていたと考えられる。SK99は年齢・性別を明らかにできないが、SK101は成年～壮年前半程度で女性の可能性がある。

また、両遺構とも、骨の中心部が黒～黒灰色を呈する骨片が少量であるが検出され、これらが焼かれたことを示す可能性もある。馬場ほか（1986）によると、人骨を焼いた際、600℃以下ではほとんど変化がなく、800℃付近では灰白色になり、収縮・硬化が見られ、歯のエナメル質が崩壊し歯冠が失われる等、最も激しく変化するとされている。また、遺体をそのまま火葬にした場合と白骨化させたものを火葬する

表1．骨同定結果

遺構	試料	番号	種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	被熱	備考
SK99	歯冠	B1001	ヒト	大臼歯？			破片	5	0.05		
			ヒト？	歯牙			エナメル質	138 ＋	0.86		
			哺乳綱	不明			破片	6	0.04		
SK99	歯冠・骨片	B1002	ヒト？	歯牙			エナメル質	82	0.28		
			哺乳綱	不明			破片	13 ＋	0.73		
							破片	5	0.07	○？	
SK99	骨片（四肢骨）	B1003	ヒト？	歯牙			エナメル質	5	0.03		
			哺乳綱	不明			破片	89 ＋	50.39		土塊状
SK101	歯冠・骨片	B1004	ヒト	下顎第1小臼歯		右	破片	1	0.09		歯冠幅6.49㎜，歯冠厚7.26㎜
				下顎第2小臼歯？		右？	破片	1 ＋	0.04		
				下顎第1大臼歯		右	破片	1	0.18		歯冠幅10.74㎜，歯冠厚10.42㎜
				下顎大臼歯			破片	1	0.09		
				大臼歯			破片	1	0.04		
				上顎？大臼歯			破片	1	0.06		
				上顎？切歯			破片	1	0.01		
				歯牙			エナメル質	62 ＋	0.74		
							歯根	1	0.16	○？	

場合でひび割れ・歪み・捻じれなどに違いがみられるとされている（楢崎,2007）。今回は四肢骨などがほとんど検出されず、ひび割れや捻じれなどの状態を観察することができなかった。またエナメル質が残存すること、部位不明破片に顕著な焼けた痕跡がみられないことから、今回の分析結果からは火葬された人骨とは断定できない。仮に火葬されたとしても800℃以上の高温でなかった可能性がある。

引用文献

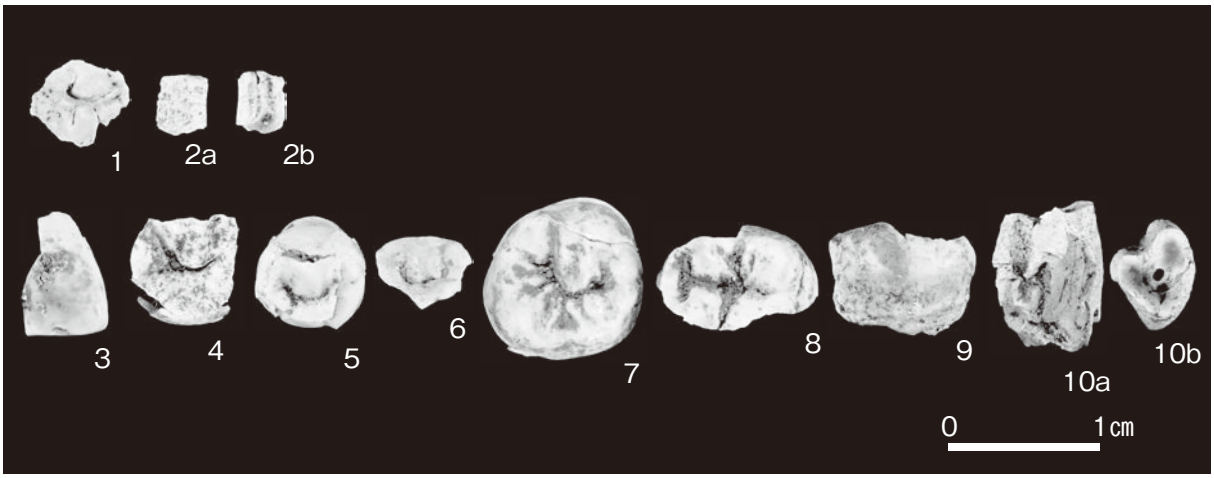
馬場悠男・茂原信生・阿部修二・江藤盛治，1986，根古屋遺跡出土の人骨・動物骨．霊山根古屋遺跡の研究－福島県霊山町根古屋における再葬墓群－，福島県霊山町教育委員会，93-113.

藤田恒太郎，1949，歯の計測基準について．人類学雑誌，61，27-32.

權田和良，1959，歯の大きさの性差について．人類学雑誌，67，151-163.

楢崎修一郎，2007，火葬人骨と考古学．狭川真一編著「墓と葬送の中世」，高志書院，107-126.

図1．出土骨



1．ヒト大臼歯?（SK99：B1001）
2．哺乳綱部位不明破片（SK99：B1002）
3．ヒト上顎?切歯（SK101：B1004）
4．ヒト上顎?大臼歯（SK101：B1004）
5．ヒト右下顎第1小臼歯（SK101：B1004）
6．ヒト右?下顎第2小臼歯?（SK101：B1004）
7．ヒト右下顎第1大臼歯（SK101：B1004）
8．ヒト下顎大臼歯（SK101：B1004）
9．ヒト大臼歯（SK101：B1004）
10．ヒト歯牙歯根部（SK101：B1004）

Ⅵ　遺構・遺物の検討

1　縄文時代晩期末～弥生時代の状況

（1）　住　居　跡

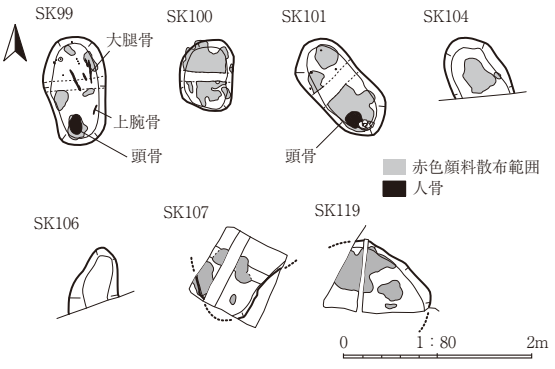
縄文時代～弥生時代初頭の竪穴住居跡を６棟検出した（SI01～05・38）。縄文中期と判断したSI03・SI05を除き、ここで俎上に載せる晩期末以降（大洞Ａ式～青木畑式段階）に絞れば、Ａ区南側に位置するSI01・02・04の一群と、ＢＣ区境に位置するSI38の２箇所に偏在する。ただしSI38の周囲には単独の石囲炉として検出されたSN09・15・19炉跡が分布する。これらに加え、炉石抜き取り痕を確認したSN18炉跡を加えた４基については、本来、SI38と同時代の竪穴住居跡であった可能性が高いと考えている。すなわち、縄文晩期末～弥生前期の居住域が今回の調査区内で２箇所検出されたと見る。

各遺構はいずれも明確な時期決定可能な遺物に乏しく、確実な同時代性や詳細な変遷を追うことは断念せざるを得ない。しかし、浅い掘り込みの竪穴中央付近に石囲炉を設けるという特徴は共通しており、概ね同時代の所産と判断して差し支えないものと考える。

（2）　土　壙　墓

人骨の出土と土坑底面の赤色顔料の散布から、弥生時代の土壙墓と認定した遺構は７基ある（第29表）。これらはＤ区包含層内、及びその周辺に分布し、居住域とは立地が異なる。このうちSK99～101が密接しており、この周辺にやや離れてSK104・106、北に離れてSK107・119が隣接するという状況で、大きく見れば南北２群に分かれるものと捉えられる。

【時期】　土壙墓の時期を検討する。土壙墓出土遺物では時期決定の根拠になり得るものがないため、専ら検出状況からの判断である。SK99～101･104･106土坑ではＤ区包含層Ⅳｂ層堆積後にこれを掘り込んで構築され、土坑埋土上面をⅣａ層が完全に覆う状況で確認されたことから、Ⅳｂ層～Ⅳａ層堆積の間に求められることは確実である。第Ⅳ章３遺物で記載したように、Ⅳｂ層出土土器のうち主要部分の下限は第Ⅲ群２類青木畑式、Ⅳａ層出土土器のうち主要部分の上限は第Ⅳ群１類谷起島式と判断されるため、これらの土壙墓構築時期は青木畑式から谷起島式段階の範囲に収まる可能性が高い。



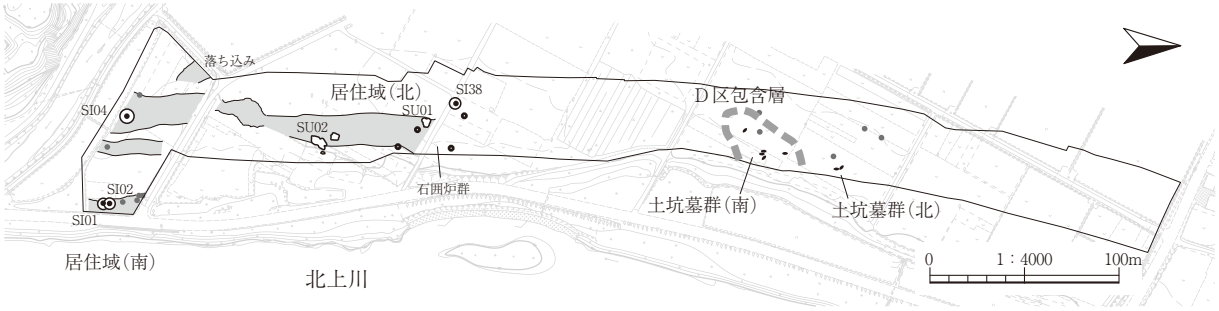
第278図　弥生時代土壙墓

第29表　弥生時代土壙墓一覧

遺構名	遺構図	位置	形状	規模（m）	深（cm）	主軸方位	特徴	出土遺物
SK99	173	Ｄ区 ⅡF1a 他 Ⅳｂ層上面	楕円形	1.14×0.67	16	NS	底面に赤色顔料散布 人骨１体出土 頭位南	弥生土器片（a49）
SK100	173	Ｄ区 ⅡE1t Ⅳｂ層上面	楕円形	0.75×0.56	17	NS	底面に赤色顔料散布	弥生土器片・石器（e133･163）
SK101	173	Ｄ区 ⅡF1a 他 Ⅳｂ層上面	楕円形	1.19×0.56	26	NW-SE	底面に赤色顔料散布 人骨１体出土 頭位南東	弥生土器片（a50･51）・石器（e65）
SK104	173	Ｄ区 ⅠE18s 他 Ⅳｂ層上面	楕円形	（0.66）×（0.48）	8	NW-SE	底面に赤色顔料散布	出土なし
SK106	174	Ｄ区 ⅡF1c Ⅳｂ層上面	楕円形	（0.62）×（0.50）	21	NS	底面に赤色顔料散布	弥生土器片
SK107	174	Ｄ区 ⅡF2h 他 Ⅳｂ層上面	楕円形	（0.82）×（0.70）	10	NS?	底面に赤色顔料散布　撹乱で全体形状不明	弥生土器片
SK119	175	Ｄ区 ⅡF2i Ⅳｃ層上面	不明	（1.11）×（0.72）	16	不明	底面に赤色顔料散布　撹乱で全体形状不明	弥生土器片

北群のSK107は同様にⅣb層上面からの掘り込み、SK119はⅣc層上面からの掘り込みと認識したが、この区域ではⅣa･b層の残存状況が不良であり本来的な掘り込み面の決定は難しい。SK119が一段階古いという時期差を持つ可能性もあるが、遺構の特徴は同一であることから、ここではSK107・119も南群と同時代のものと捉えたい。

【埋葬方式】　人骨が検出されたのはSK99･101で、SK99では南頭位、大腿骨の位置から屈葬と判断できる。歯列の位置から頭蓋前面は東向き（右向き）と推定されるが、体躯全体は仰臥体位と考えられる。SK101は南東頭位で四肢骨が不明瞭であったため確実ではないが、SK99とほぼ同規模であることからこれも屈葬であろう。なお、SK101では出土した歯冠計測結果より、被葬者は成年～壮年前半程度の女性の可能性があるとされる（第Ⅴ章3-6）。楕円形～長楕円形の土坑内単葬、赤色顔料の散布、屈葬の埋葬姿勢という状態は、東北地方の縄文晩期における一般的な葬法（山田2001、中村2007等）と大きく異なる点はない。なお、下流の金附遺跡で検出された土器棺墓（岩埋文2006）に類するものは検出されていない。



第279図　縄文晩期末～弥生遺構分布

（3）　遺物包含層の形成

大規模なものとして、D区包含層がある。調査区内で北東－南西に横切る緩く幅が広い窪地内に形成されている。暫定的に、５ｍグリッド１箇所あたりの縄文～弥生土器出土量が１kgを超す区域を包含層主要部分と見れば、この範囲は40グリッド以上、面積1,000㎡に達する。北東側が調査区外に伸びることは確実であるため規模は更に大きい。土器出土量はこのエリアで１ｔを超える量があり（正確な計量不能）、土製品では土偶17点他の合計50点、石器類ではTool類1,200点余り、剥片9,000点余りが出土した（第25・26表）。遺物量から見て「大規模な捨て場」との表現は無理がない。

包含層は大きく捉えれば縄文晩期後葉大洞Ａ式段階～弥生中期川岸場式段階まで連綿として形成され続けている。第Ⅳ章３遺物（１）で記載したように、時期別に見ればある程度地点を変えながら使われ続けた状況と捉えられる。また、下層Ⅳc層と上層Ⅳa層が黒色土として観察される状態は、両層の堆積過程で食料残渣他の有機物が多く含有されていたことを示すと考えられる。捨て場を形成する廃棄活動のピークが２回にわたっている状況である。

一方、調査区南側においてもSU01・02をはじめ複数の遺物集中地点が確認されている。これらは大洞Ａ式から青木畑式段階にかけての形成と見られ、D区包含層Ⅳc～b層にほぼ平行する。すなわち、弥生前期までは南北２地点の捨て場が併存するも、弥生中期以降は北の捨て場（D区包含層）のみとなった形である。

このうち、南の捨て場（SU01・02他）は立地から見て隣接する北側居住域との関連が高いものと考えられる。これに対してD区包含層については、近隣に居住域が確認されていない一方で、前述の土

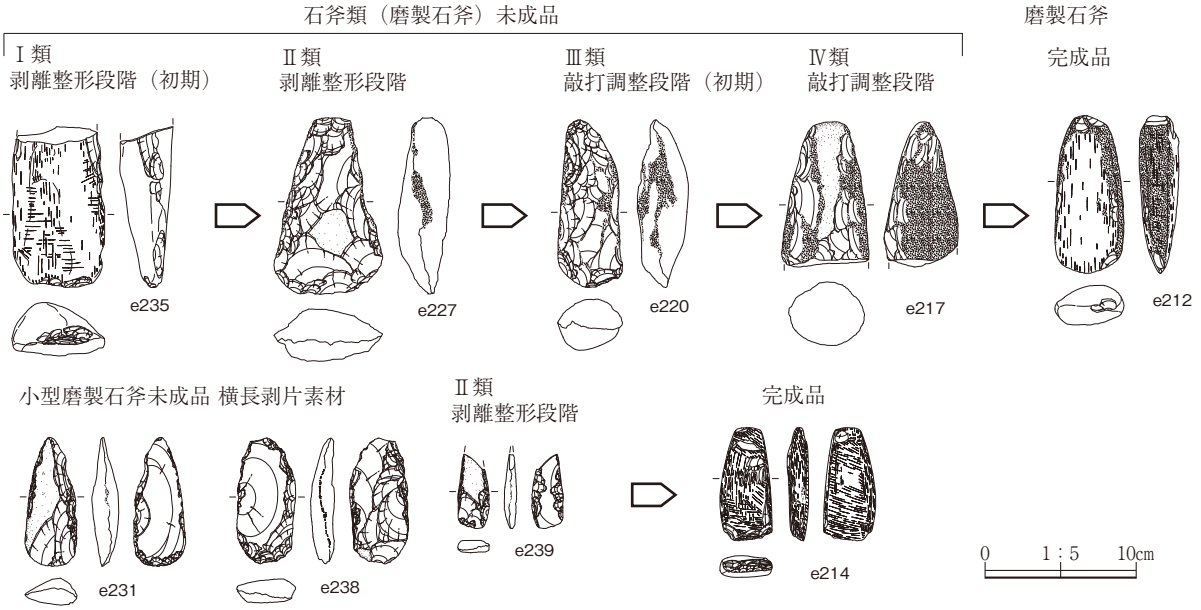
坑墓群と重複している点が特徴的である。捨て場内に墓域が設定される重複現象は、縄文時代晩期に認められる事例（秋田県平鹿遺跡等）との継続性がうかがえる（金子2003）。

（4）石　斧　生　産

縄文晩期後葉～弥生中期にかけての出土遺物の中で注目すべきものの一つが、石斧類未成品である。調査区全体では166点を確認した。完成形態としての磨製石斧31点に対して5.4倍の点数となっている。また石斧製作の際の敲打調整に特化した工具と判断される（阿部1984）多面体敲石が15点出土した。未成品認定の根拠や製作段階別の遺存状況については第Ⅳ章３（５）に記載した通りで、素材礫から剥離整形、敲打調整、研磨調整と段階を踏んで完成品に至る工程が採られている（第280図）。未成品の内訳は剥離整形段階にあるⅠ類とⅡ類の合計が109点であり過半数を占める。剥離整形作業中の失敗により廃棄されたものが最も多いことを示す。

合わせて、全長5～10cm程度の小型品では、主に素材礫の稜線付近等を利用した、横長剥片を素材としたものが26点含まれることが注目される（第280図下段）。敲打面が広く残るⅢ・Ⅳ類には存在しない点から見て、これらは棒状の亜円礫から横長剥片を採取し、主に縁辺の敲打剥離整形により石斧完成形態に近づけていくもので、全面的な敲打調整段階は経ていないと考えられる。剥離整形によって最終形（研磨整形のみを残す状態）が得られる場合は敲打を省略するという工程は、縄文後期を主とする盛岡市川目Ａ遺跡において観察された状況（須原2013）と共通する。

下流の金附遺跡では、千苅遺跡とほぼ同時期に集中的な石斧製作が行われる（岩埋文2006）。製作工程はほぼ同一と考えられ、隣接する北上河岸から得られる河川礫を素材に利用できるという立地も同じである。異なるのは出土点数であり、金附遺跡で出土した石斧未成品は5,008点に及び、多面体敲石も2,086点を数える。千苅遺跡での出土数の30倍を超す未成品の数を単純に見れば、自家消費分（プラスα）の生産を行った千苅遺跡と、広域に流通させる石斧の製作拠点であった金附遺跡という解釈が成り立つ。これを検証するためには、石材の特徴や成品の特徴から金附遺跡産の石斧、千苅遺跡産の石斧を特定することが求められようが、同一河川を素材獲得地としている点で困難である事は想像に難くない。このことを踏まえても、一地域内での石器流通のあり方を考察する上で、この２遺跡の対比検討は有意義な情報を提供する可能性を持つ。



第280図　磨製石斧製作工程

2　古代の遺構と遺物

（1）古代の土器

今回の調査で出土した奈良・平安時代の土師器・須恵器は、概ね８～10世紀代に位置づけられる。氏家（1957・1967）の設定による国分寺下層式～表杉の入式に該当し、特にロクロ導入期前後の様相を示す好資料と捉えられる。

該期の土器編年研究（白鳥1980、相原1981、加藤1989、伊藤1990、吾妻2004、高橋（千）2007、村田2014等）を参照すると、地域差や官衙、集落遺跡の違いはあるものの、大掴みで捉えれば８世紀後半に非ロクロ土師器坏における外面の段、沈線の消失、８世紀末から９世紀初頭にかけてロクロ土師器坏、須恵器坏の急速な普及、９世紀前葉で土師器甕においても非ロクロからロクロ使用甕への交替、９世紀末以降、須恵器坏から赤焼土器坏への交替が把握されている。上記編年研究においては、個別器種の変化傾向をトレースすると同時に、土器群総体としての細別器種のまとまりを「段階」「様式」と捉え、細別器種の消長によって編年を組み立てる方法が採られている。千苅遺跡資料の検討においても基本的にはセット関係が把握できる資料群の比較によって段階設定を行う。

【土器組成の検討】

主に、坏類における細別器種の消長、技法の変化を主眼にして、遺構のうち竪穴住居跡でのセット関係を元に変遷を追う。先に、出土遺構別の土師器、須恵器各分類の組成を第Ⅳ章第21表に示したが、この中で床面、付属施設内、カマド内等、遺構の時期決定に使用できると判断される出土状況の土器数に絞り込み、合わせて編年作業の指標となる坏、甕類を抜き出した第30表を元に検討を加える。第30表は組成が類似するものをグルーピングして組成１～14のパターンに集約したものである。

組成１　土師器坏ＡⅠ類（非ロクロ内黒有段）、土師器甕ＡⅠａ類（非ロクロ長胴）・ＡⅡ類（非ロクロ小型）・ＡⅢｂ類（非ロクロ球胴）で構成される。坏では出土土器の中で最も古相と捉えられる、体部に段を持つ非ロクロの土師器坏のみという組成。SI43・70・76・89・94の５棟がある。この中でSI43は底部切り離し回転ヘラ切りの須恵器Ⅰｂ類、回転糸切りのⅡａ類が伴う点から、後出の組成５に該当する可能性がある。

組成２　組成１に土師器坏ＡⅡ類（非ロクロ内黒段無し）が加わる組成。SI36・37・83・87・91の５棟がある。基本的には組成１と大きく変わる所はない

組成３　土師器坏ＡⅠ類・ＢⅠ類（ロクロ内黒再調整あり）、土師器甕ＡⅠａ類、須恵器坏Ⅱｂ類（回転糸切り無調整）、須恵器壺甕類で構成。SI39の１棟のみ確認される。

組成４　土師器坏ＡⅡ類（非ロクロ内黒段無し）に土師器甕ＡⅠａ類・ＡⅡ類で構成される。SI74・77・88・95・96がある。須恵器坏Ⅰｂ類（回転ヘラ切り）・Ⅱｂ類（回転糸切り）を伴うSI77・88が含まれる。

組成５　坏類の種類が多く、土師器坏ＡⅡ類・ＢⅠ類・ＢⅡ類、須恵器坏Ⅰａ類・Ⅰｂ類・Ⅱｂ類で構成され、特に須恵器坏Ⅱｂ類（回転糸切り無調整）が多いことが特徴となる。また甕類でも土師器非ロクロのＡⅠａ類・ＡⅡ類に加えて、ロクロ使用の土師器甕ＢⅠ類・ＢⅡ類が出現する。SI07・10・13・19・21の５棟があり、そのいずれも土器出土点数が多い遺構であることが共通する。

組成６　土師器坏ＡⅡ類・ＢⅡ類、土師器甕ＡⅠａ類・ＡⅡ類、須恵器坏Ⅱｂ類で構成される。SI24・30の２棟がある。基本的な部分は組成５と共通する。

組成７　土師器坏ＢⅠ類、土師器甕ＢⅠ類・ＢⅡ類、須恵器坏Ⅱｂ類で構成される。SI25・29の２棟

がある。非ロクロの土師器坏が含まれずこれ以降はロクロ使用の土師器坏が主体となる。土師器甕も同様だが、SI29では非ロクロの長胴甕と小型甕を伴う。須恵器坏は回転糸切り無調整である。

組成８　組成７に土師器坏ＢⅡ類（ロクロ内黒無調整）が加わった構成。SI09･49･51･62の４棟がある。SI09では須恵器坏Ⅰｂ類（回転ヘラ切り）・Ⅱａ類（回転糸切り再調整あり）が含まれ、やや古い様相を示す。

組成９　組成８から土師器坏ＢⅠ類を除き、ＢⅡ類のみとなった構成。SI14・16・27・44・45・52・53・55・56・60・65・69・72・78・79の15棟があり最も多い遺構数である。出土点数が少ない遺構が主体で、各分類に該当するものも１～２点と僅少な場合が多い。非ロクロの土師器甕ＡⅠ・Ⅱ類もある程度伴う住居跡が含まれる。またこれ以上に須恵器甕Ⅰ類を伴う遺構が多く見られる。

組成10　土師器坏ＡⅡ類（非ロクロ内黒段無し）･ＢⅡ類･ＢⅢ類（赤焼土器）、土師器甕ＡⅡ類･ＢⅠ類･ＢⅡ類、須恵器坏Ⅱｂ類（回転糸切り無調整）で構成される。SI40の１棟のみ確認。坏類の主体は須恵器坏Ⅱｂ類と赤焼土器の土師器坏ＢⅢ類となる。組成10以降は、土師器坏ＢⅢ類が一定量を占めるパターンである。

組成11　組成10から土師器坏ＡⅡ類を除きＢⅠ類（ロクロ使用再調整あり）を加えた状態。SI06・59の２棟がある。ただし、SI59は須恵器坏Ⅰｂ類（回転ヘラ切り無調整）、土師器甕ＡⅠａ類（非ロクロ長胴甕）が多い点で組成５に近似する。両者の差異は土師器坏ＢⅢ類の有無である。

組成12　全体としては概ね組成11に近いが、土師器坏ＢⅠ類、須恵器坏Ⅱｂ類を除いた構成。SI42・58の２棟がある。

組成13　これも組成10～12に近似し、土師器坏がＢⅢ類にほぼ限定された構成。SI31・33・47・54・75・82・84の７棟がある。坏類の多くは須恵器坏Ⅱｂ類が占めており、SI31・33で特に顕著である。土師器坏ＡⅡ類・ＢⅠ類・ＢⅡ類を伴う遺構が含まれるが、これらは堆積土中の出土として組成に加えていない。

組成14　坏類では良好な出土状態の土師器坏を伴わず、ほぼ須恵器坏Ⅱｂ類に限定される構成である。土師器甕ＡⅠａ類・ＡⅡ類・ＢⅠ類・ＢⅡ類を伴う。SI08・17・22・23・34・50・57・64・71・80・81・93の12棟がある。組成５～９等に包括される可能性が高いが限定はできない。

なお、上記の他に指標となるべき土師器・須恵器坏の出土に制約があり、特定できない住居跡が18棟を数える。この中ではSI32・37・68・73について須恵器坏Ⅰａ類・Ⅰｂ類・Ⅱａ類を伴う点を考慮すれば、組成５に類似した状況と捉えられるが、他遺構については決め手を欠く。いずれにせよ、上記組成パターン１～14は前述の坏類の変化に照らし合わせると、概ね１→13の順に変化すると見て差し支えないと考えられる。

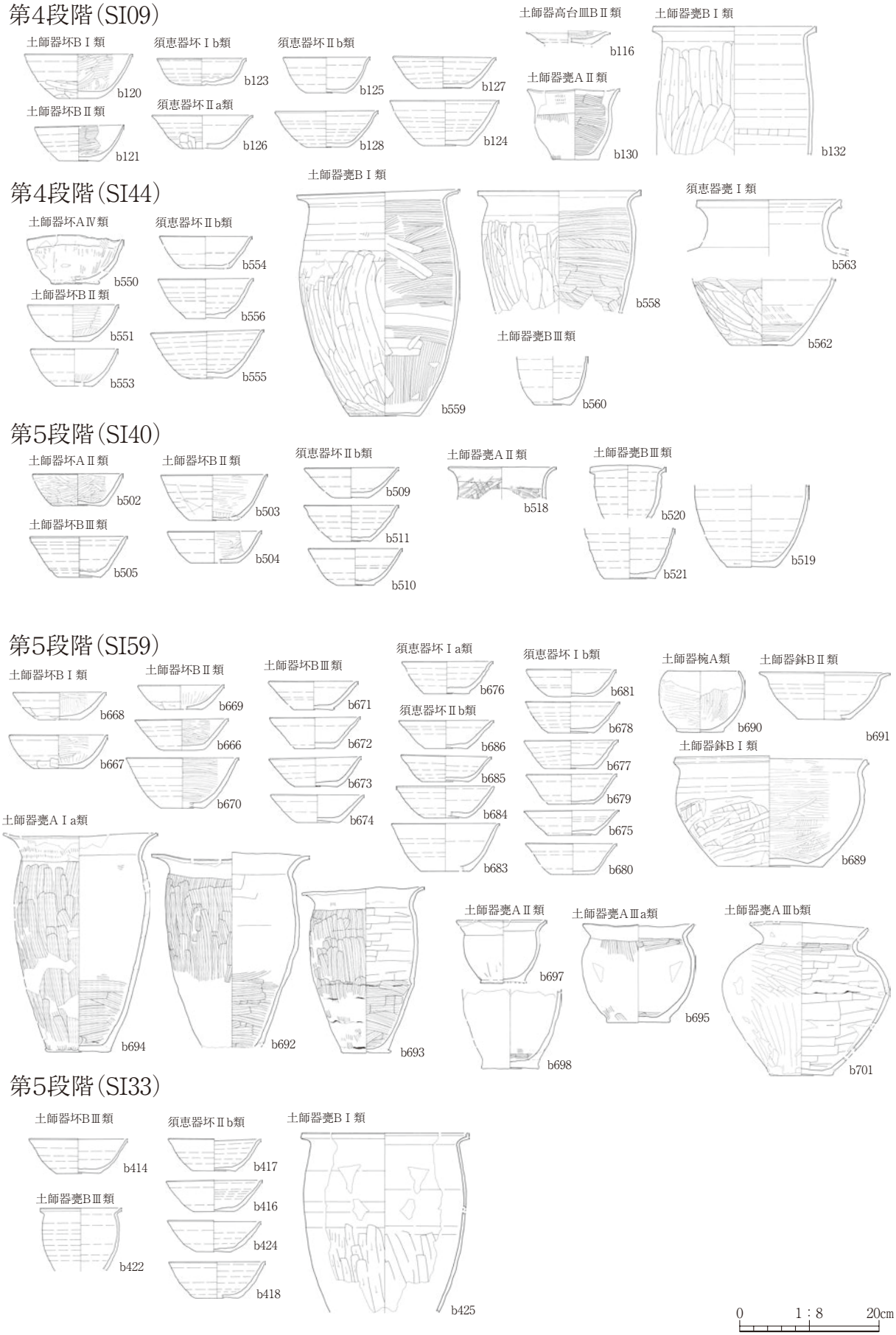
【変遷過程】

ここで、再度組成１～14について捉え直す。年代観は上述した既往の編年研究を参照した。

第１段階（組成１・２）　体部外面有段の非ロクロ土師器坏のみで構成される組成１は、まとまりとしては最も古い可能性があるが、無段の非ロクロ土師器坏が加わる組成２と明確な時期差を持つとは捉えられない。高橋（2007）によれば、８世紀中葉～後葉にかけての坏類の主要器種として段を持つ坏と持たない坏の両者が併存するのが実態と考えられる。組成１での無段坏欠落は出土数の少なさに起因するものかも知れない。ここでは組成１・２を合わせて、一つの段階とし、年代は８世紀中葉～後葉頃と判断する。

第２段階（組成３・４）組成２と組成５の過渡期的な状態を示すと判断した。有段非ロクロ土師器坏の消失とこれを補完するように須恵器坏が加わる。組成３・４の差は出土点数の違いに起因する可

第281図　古代土器の各段階資料（1）



第282図　古代土器の各段階資料（2）

第30表　古代土器組成

※グレーのセルは床面、カマド等からの出土

遺構名	堆積土中に洪水砂層を確認した遺構	組成	段階	土師器											須恵器							合計
				坏					甕						坏				壺	甕		
				AⅠ	AⅡ	BⅠ	BⅡ	BⅢ	AⅠa	AⅡ	AⅢa	AⅢb	BⅠ	BⅢ	Ⅰa	Ⅰb	Ⅱa	Ⅱb	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	
SI43		1	第1段階 8世紀中葉 ～後葉	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	8
SI70				2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SI76				3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7
SI89				3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SI94				2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
SI36		2		3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
SI83				4	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
SI87				3	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9
SI91				4	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
SI39		3	第2段階 8世紀末～ 9世紀初頭	4	0	1	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	10	1	1	1	24
SI74		4		1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
SI77				0	3	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11
SI88				0	1	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7
SI95				0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
SI96				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI07		5	第3段階 9世紀前葉	0	1	3	5	0	12	7	0	1	1	3	1	10	2	16	1	1	2	66
SI10	○			0	2	1	3	0	1	3	0	1	0	0	1	3	0	5	1	0	0	21
SI13	○			0	1	1	2	0	1	1	0	1	3	4	0	1	0	7	1	2	1	26
SI19	○			0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	8	0	0	0	16
SI21				0	2	1	2	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	12	0	0	1	23
SI24		6		0	4	0	2	0	2	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	15
SI30				0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	7
SI25		7	第4段階 9世紀中葉～後葉	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	5
SI29	○			0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	6
SI09	○	8		0	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	4	1	0	0	14
SI49				0	0	2	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	9
SI51				0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	11	0	1	1	20
SI62				0	0	1	4	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	3	0	1	2	16
SI14	○	9		0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	5
SI16	○			0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	7	0	2	0	14
SI27				0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	8
SI44				0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4	0	2	0	12
SI45				0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	6
SI52				0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	8
SI53	○			0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	0	1	0	10
SI55	○			0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
SI56				0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6
SI60				0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	5
SI65				0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
SI69				0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI72				0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	8
SI78				0	0	0	4	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	2	0	13
SI79				0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
SI40		10	第5段階 9世紀末～ 10世紀前葉	0	1	0	2	3	0	1	0	1	1	3	0	1	0	9	2	0	1	25
SI06	○	11		0	0	1	0	2	2	1	1	0	2	1	0	0	0	3	1	0	1	15
SI59				0	0	2	3	4	4	4	1	2	0	0	1	7	0	6	0	1	1	36
SI42		12		0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
SI58				0	0	0	3	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
SI31	○	13		0	2	3	0	1	0	2	0	2	2	3	0	0	5	21	3	2	0	46
SI33	○			0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	7	1	1	0	14
SI47				0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	7
SI54				0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
SI75				0	0	1	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	12
SI82				0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
SI84				0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	9
SI08		14		0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7	1	2	0	14
SI17	○			0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
SI22	○			0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	6	0	0	0	11
SI23				0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
SI34	○			0	0	3	1	0	4	1	1	0	0	1	0	0	2	11	0	1	0	25
SI50				0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	5
SI57				0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
SI64				0	0	2	0	0	2	0	0	0	3	2	0	2	0	12	3	4	1	31
SI71				0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	0	1	10
SI80				0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	5
SI81				0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4	0	2	1	13
SI93				0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
SI11				0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
SI12				0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI15				0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
SI26	○			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
SI28				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
SI32	○			0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	9
SI37				1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	8
SI41				0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	3	0	0	8
SI63				0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI66				0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
SI67				0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	7
SI68				0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	1	1	3	0	0	1	0	0	11
SI73				0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	7
SI85				0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
SI86				0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
SI90				0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
SI97				1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計				47	58	40	105	28	94	75	18	26	51	56	7	35	21	269	35	50	28	1043

能性がある。８世紀末～９世紀初頭と判断する。

第３段階（組成５・６）坏類の主体が須恵器回転糸切り無調整坏となるが、須恵器回転ヘラ切り坏、土師器ロクロ坏、非ロクロ坏が一定数を保つ段階。甕類では土師器非ロクロ長胴甕に加えて新たにロクロ長胴甕が出現する。９世紀前葉と判断する。

第４段階（組成７・８・９）非ロクロ土師器坏が消失しロクロ土師器坏に限定される。底部再調整の有無で組成７→９への変化が想定されるが、出土数の多い組成８では両者が含まれるため技法変化が進行している段階と判断した。一方、坏類全体では須恵器回転糸切り無調整坏が主要器種となる。また土師器甕においても非ロクロ甕からロクロ長胴甕への交替が進む。９世紀中葉～後葉と判断する。

第５段階（組成10・11・12・13）基本的には第５段階と共通するが、新たに赤焼土器坏が加わる。組成10～12では非ロクロ土師器坏、ロクロ土師器坏を伴うが、赤焼土器坏の有無を指標にすれば第５段階よりも後出と考えられる。９世紀末～10世紀前葉と判断する。

（２）　遺構の時期判断

上記のように出土した土器を５段階に区分し所属時期の特定を行った。これと合わせて、遺構の重複による新旧関係を加え、竪穴住居跡の年代観を以下のように捉える。

第１期（８世紀中葉～後葉）　SI36・43・70・76・83・87・89・91・94

第２期（８世紀末～９世紀初頭）　SI39・74・77・88・95・96

第３期（９世紀前葉）　SI07・10・13・19・21・24・30

第４期（９世紀中葉～後葉）　SI09・14・16・25・27・29・44・45・49・51・52・53・55・56・60・62・65・69・72・78・79

第５期（９世紀末～10世紀前葉）　SI06・31・33・40・42・47・54・58・59・75・82・84

これらの他に、坏の欠落等により段階特定が困難な住居跡が28棟ある。土師器坏以外の土器組成から判断し、以下のように捉える。合わせて、時期を絞り込むことが難しい竪穴住居跡以外の遺構についても、出土土器からの判断で時期区分可能な遺構を示す。

８世紀後半（第１期）の可能性が高い遺構

竪穴住居跡〔SI11・12・35・37・63・97〕土坑〔SK72・73・127・128〕焼成遺構〔SX10・12・14・16・19・20・21・22・30・34・42・50・51・54・58・60・72・73・79・81・98・99・101・103・114・122・124・127・132・134・137・138〕円形周溝〔SX17〕溝跡〔SD32〕

９世紀前半（第２～３期）の可能性が高い遺構

竪穴住居跡〔SI32・68・73〕土坑〔SK148〕焼成遺構〔SX61・75・89・109〕溝跡〔SD22〕

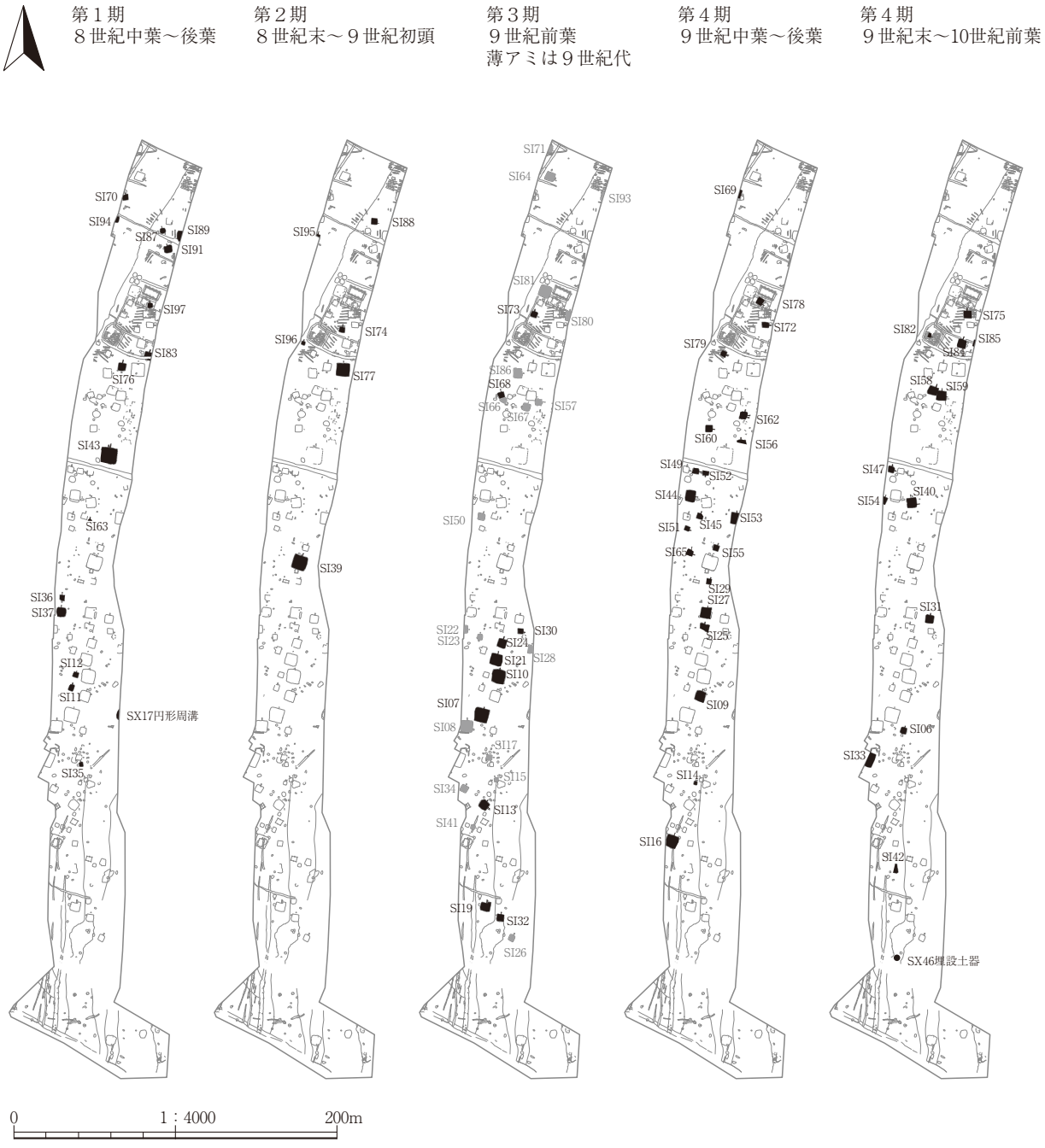
９世紀代（第３～５期）とみられる遺構

竪穴住居跡〔SI08・15・17・22・23・26・28・34・41・50・57・64・66・67・71・80・81・86・90・93〕住居状遺構〔SKI01・02・05・09・10〕掘立柱建物跡〔SB01〕土坑〔SK53・54・62・65・90・96・109・146・149〕焼成遺構〔SX07・09・11・13・15・24・27・28・37・38・43・45・47・48・55・70・71・82・88・95・97・102・105・107・111・123・129〕性格不明遺構〔SX56〕溝跡〔SD02・03・16・27・28・30〕

９世紀末～10世紀前葉（第５期）とみられる遺構

竪穴住居跡〔SI85〕焼成遺構〔SX118〕土器埋設遺構〔SX46〕

時期別の竪穴住居跡分布を第283図に示した。遺構密度には疎密があるが、各期の時間幅が等分でないことに加え、出土土器の多寡も影響しているものと考えられる。これを差し引いて大掴みに見れば、概ね８世紀代までは調査区北半に分布の重心があり、９世紀代以降集落域が南下拡大する状況と捉えられよう。住居跡以外の遺構では、焼成遺構は第１期からほぼ全域に分布し、９世紀代まで継続する。第５期のSX46土器埋設遺構より南側では８～９世紀代を通じて古代遺構は検出されず、集落南限を画する意味を持っていた可能性が高い。なお全体の状況に関しての考察は、北側で隣接して調査を実施している中村遺跡の遺構分布とも合わせて検討すべき事項であり、稿を改めたい。



第283図　古代遺構分布状況

（3） 竪 穴 住 居 跡

今回の調査で最も主要な遺構は竪穴住居跡である。100棟近くの精査を行ってきた調査であり、本来ならばここで詳細な分析を加えるべきだが、検討不足につき概要と特徴の列記に留める。全体を通じた特徴として、大型住居跡の多さ、カマドの強い被熱痕跡、更に大型住居跡床面で検出された井桁状溝群、堆積土中の洪水堆積層の存在が挙げられる。

【規模】

住居跡の規模には大小の差が大きい。１辺２ｍ余りのSI14・96から10m近いSI43までの幅があり、この中では１辺３～６ｍの中型規模が最も多い。特筆されるのは７ｍ超の大型住居跡が11棟（全体の12%）検出されている点である。時期別では第１～５期に継続して存在する。同様の現象は中村遺跡でも確認されており、当地方の９～10世紀代では大型住居跡が僅少な存在に留まる一般的な傾向（村田2014）と異なる、千苅、中村遺跡の特殊性を示している。

【カマド】

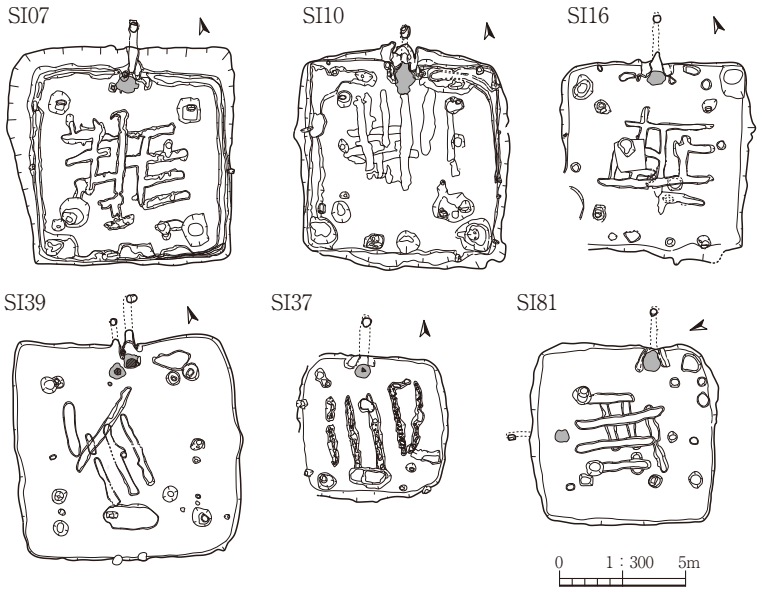
基本的にカマドは刳り抜き式の長煙道を備える。袖は芯材に礫や長胴甕を用いて構築され、側壁に小礫を積み上げたものが含まれる。煙出し孔に礫が充填された状態で廃絶する住居跡が多数ある。また、カマド燃焼部の被熱痕跡は一部を除き非常に明瞭に観察され、燃焼面上部に硬化還元面が生じているものが大多数である。印象に過ぎないが、他遺跡で検出されるカマド燃焼部よりも被熱が強いと言える。ただし、これが長期間の使用を示すものなのか、あるいは土壌学的な条件によるものなのかは不明である。カマドの設置される方位は検出した102基のカマド中、北：70基、東：30基、となっており、SI52のみ南壁、西壁にカマドが設置される。また、カマドの作り替えは15棟で行われる。このうち３棟（SI13・47・62）では２度の作り替えが見られる。北壁→東壁のパターンが多いが、唯一SI59では東→北の作り替えがなされる。

【井桁状溝群】

大型住居跡に特徴的な溝群は第Ⅳ章でも記載した通り、その性格については判断し難いものである。主柱穴に囲まれた空間内に掘られている点から見て、土間部分に設けられた除湿、排水等を目的とした可能性が考えられる。ただし、居住時に開口していたと推定できる溝、埋没していたと推定できる溝の両者があり、機能が一様ではない可能性もあることから、類例の調査、建築学的な視点を持って再度検討したい。

【洪水堆積層】

18棟の住居跡にて堆積土中に洪水層が観察された。主に調査区南半のＢ・Ｃ区に分布する。層相、粒径、色調が一様ではなく、明瞭なラミナ構造が見られるものとブロック状に含まれる遺構があることは第Ⅳ章で記載した。また検出状況は、廃絶直後に流入した状況、埋没途中の窪地に流入した遺構等、確認層位も個々で異なる。洪水層が検出された住居跡は第30表



第284図　井桁状溝群を持つ住居跡

に示したが、第３～５段階（９世紀前葉～10世紀前葉）と年代幅があり、これらが同一の洪水に起因するものではなく複数回の洪水被害を示している可能性が高いと考えられる。

当地方での古代洪水に関しては断片的な文書記録がある。『日本後紀』弘仁二年（811）「其志波城。近干河浜。屡被水害。云々」は、水害によって志波城を放棄し徳丹城への移転を奏上した記事として著名だが、雫石川の大氾濫は下流に位置する当地区にあっても被害を及ぼした可能性はある。また、実際に今回の洪水層に近い年代が想定される記事としては、『日本三代実録』貞観元年（859）に「陸奥国洪水」とある。具体的な河川名、地名は不明であるもののこれが北上川の洪水を指しているとすれば、今回発見された洪水堆積層もまさにこの記事にある洪水被害痕跡であるか、少なくともこうした記録に残る必要を迫られた大災害の痕跡の一つと捉えられよう。いずれ、千苅遺跡古代集落の廃絶原因が直接的な洪水被害によるものかどうかについて、更に検討を重ねる必要がある。

（４）　土器焼成遺構

焼成遺構総数122基中で、古代に帰属する焼成遺構として報告したものが111基ある。これらの大多数については剥落した土器片の出土等からみて、土器焼成遺構と判断している。年代は前述のように第１～５期にまたがって継続しており、地点によって疎密はあるが全般的には集落内部に散在する状態である。遺構の特徴については第Ⅳ章で記載した。そのうち、遺構内部から炭化種実が多数検出されたものとしてSX30・42・43でイネ、SX35・89でオオムギ、SX34でアサ、SX58でイネ・オオムギ・キビ・アワが集中している（第Ⅴ章３－３）。これらについては半地下式の土坑を利用した覆い型野焼きにおける草燃料の残渣と見られ、焼成方式の特定を裏付けるデータと判断される。またSX75・99・138ではニホンジカ等の哺乳類四肢骨が被熱を受けた状態で多数出土した（第Ⅴ章３－５）。この由来については、焼成施設を利用した食料加工の痕跡とも受け取れる。

いずれにせよ今回の調査結果は、集落内で土師器生産が継続的に行われていたことを如実に物語る。この点に関連し、５棟の竪穴内部（SI13・42・75・76・80）で白色生粘土塊が出土していることが重要である。土器等の素材粘土として持ち込まれ、保管された状態と考えられる。調査区内の深掘りトレンチでは該当する粘土層は発見しておらず、粘土採掘孔も検出していないが、近隣に採掘場所が存在した可能性が高い。ロクロピットの検出は適わなかったが、これについては検出段階での認識不足が影響したかも知れない。

現時点では北上市周辺において土師器焼成遺構の極端な集中が指摘されており（君島2015）、今回の調査結果はこれを更に増強するものとなる。千苅遺跡と同様に多数の焼成遺構が検出されている中村遺跡の成果を合わせ、かつ土器黒斑の調査も踏まえて、一定の見通しが立つ可能性がある原材料採取、保管から焼成に至る土器生産活動の実態について、総合的な検討の必要がある。

（５）　区　画　溝

調査区中央部のＤ区を東西に横断するSD27溝跡は、堆積土中の遺物等より平安時代９世紀代の遺構と判断される。Ｆ区北部でもやや規模の小さいSD29溝跡がある。堆積土上部に灰白色火山灰ブロックが含まれる点から年代的にはSD27と近い見られ、走向はほぼ平行する。いずれも流水の痕跡が観察されず、廃絶時には空堀の状態だったようである。

この２条のみでは性格等についての想定は困難だが、これらと同様の状態で検出された溝跡が、北側の中村遺跡調査区内で８条検出されている。規模、走向方位等がSD27・29と類似し、不均等な間隔で平行する。全体を合わせて、平安時代集落内部に設けられた区画溝の可能性が高いと考えられるため、中村遺跡での時期区分等の検討を経て考察を加えたい。

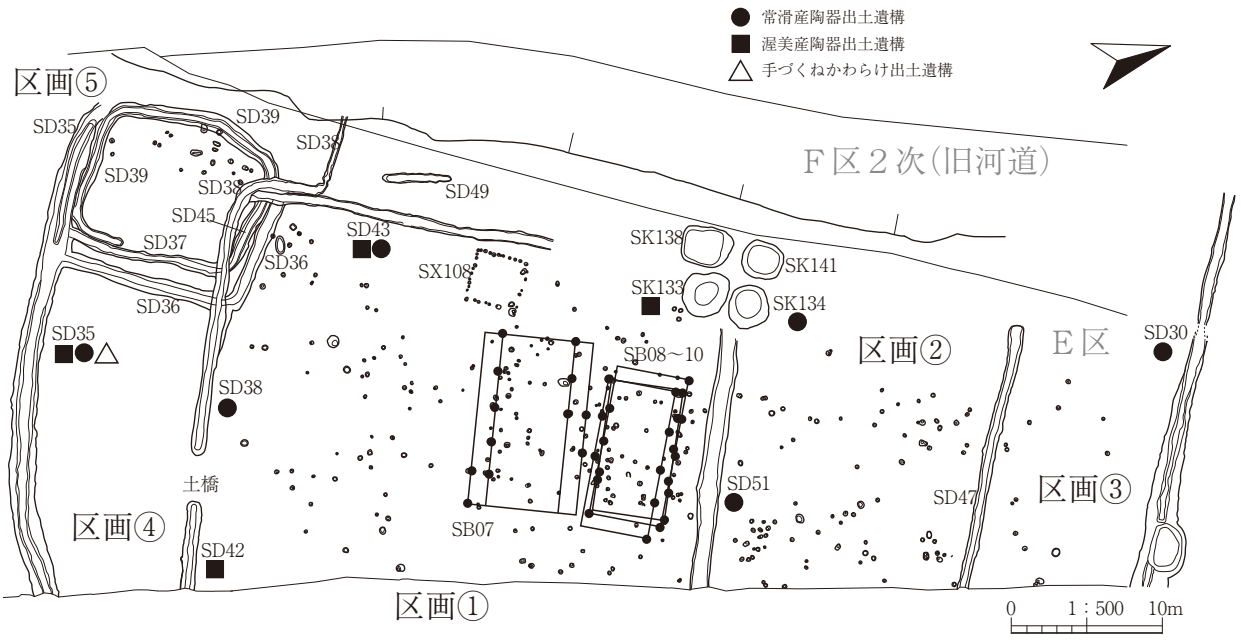
3　12世紀の遺構群

Ｅ区南半ではSD30・35～45・47・49・51溝跡群、SB07～10掘立柱建物跡群、SK133・134・138・141土坑群が一定の規則性のもとに配置されている分布を確認した（第285図）。これらの遺構内埋土から常滑産陶器、渥美産陶器、青磁、白磁、手づくねかわらけが出土している。いずれも12世紀後半代に位置づけられるもので、不確実だが該期の遺構群という前提に立つ。

北からSD30・47・51・42・38・35溝跡は概ねＮ115°Ｅの走向方位で平行し、これに直交するSD43が伸びる。単純に見れば、中央のSD42・38・43・51で構成される南北33ｍの区画①、北のSD47・51による区画②、及びSD47・30による区画③、南のSD35・36・38・42による区画④、南西隅でSD35～39・45によって作られる12×10ｍ規模の長方形区画⑤と把握される。ただし、第Ⅳ章２（９）で記載したようにSD43と38は新旧関係にあり（SD38が新：第219図参照）、今一つ検討を要する。また南西隅の区画⑤は複数の時期にわたり拡張しながら存続するとみられる（第219図）。

区画①内部にはSB07～10掘立柱建物跡が位置する。SB07は１×５間二面庇の東西棟、SB08～10は１×４間、同位置での３時期建て替えである。SB07とSB08～10の軸線が５°前後ずれる点、２棟の間隔が１ｍ未満と近接することから、両者は時期差があると見るべきだが新旧は判断できない。これらの他に建物に組めていない柱穴が複数あり、区画①南半、区画②内には他に建物が存在した可能性が高い。ただし少なくとも区画①では中心的な建物が北半に存在したと見て差し支えないだろう。北西隅のSD43・51の延長上に配置される土坑群からは該期遺物の出土があり、付属施設と考えられるが性格不明である。SX108の柵列で囲まれた施設もSB07・SD43と軸線が近いことから区画①の構成要素の可能性がある。確定はできないが家畜飼養等に関わるものか。

南側の区画①・④の境界となるSD38・42は方向、規模が同一で、途切れる部分に土橋があったと見られる。区画④内では建物跡、柱穴が確認されず空閑地であったものと考えられる。南西隅の区画⑤は宗教的、もしくは軍事的な施設が配置されていた可能性があるが、それを示す出土遺物は皆無であり、現時点では想像の域を出ない。



第285図　12世紀代の遺構群

全体として、区画①から⑤までを含めて性格等不明の遺構が多いものの、12世紀後半代における溝に囲まれた居館の可能性が有力候補として挙げられよう。在地有力者層により営まれたものと考えられるが、各施設の検討や類例の探索、平泉藤原氏との関連については今後の課題としたい。

4　総　　括

千苅遺跡の調査結果を年代順に記す。

縄文時代中期　調査区南側で竪穴住居跡２棟（大木8b式段階のSI03、大木10式段階のSI05）がある。この他、Ａ区～Ｃ区にかけて散発的な遺物の出土がある。

縄文時代後期～晩期中葉　調査区南側Ａ区～Ｃ区で散発的な遺物の出土がある。晩期になるとＡ区の出土がやや多くなる傾向があり、大洞Ｃ2式～Ａ式段階の竪穴住居跡（SI01・02）が作られる。

縄文時代晩期後葉～弥生時代中期　ＢＣ区境界付近に複数の住居跡が設けられる。調査では単独の石囲炉として検出された遺構を含むが、居住域の存在が明らかとなった。また、調査区中央部のＤ区では大規模な包含層が形成される。大洞Ａ´段階から弥生時代中期までほぼ同一地点の浅い窪地が利用されており、大別３層に分層して遺物を取り上げた。包含層中には青木畑式～谷起島式段階と推定される時期の楕円形土壙墓が７基検出され、うち２棟で被葬者人骨が残存する。この他Ａ区～Ｃ区にかけて局所的な遺物の集中箇所が複数あり、幅の広い時期にわたって地点を変えながら利用されている状況が明らかとなった。土器以外の遺物では、刺突文土偶、結髪型土偶を含む土製品各種、石器各種があり、特に剥片剥離作業を復元できる接合資料、磨製石斧製作の各工程を示す未成品が特筆される。

奈良時代～平安時代前半　８世紀中葉から10世紀前半にかけて、調査区南端を除くほぼ全域に大規模な集落が形成される。床面積50㎡を超える大型の竪穴住居跡を含む89棟が検出され、大略５段階にわたっての集落変遷が判明した。集落内部では土師器製作に使用された焼成遺構が100基余り伴っており、土器生産の実態を示す好資料と目される。出土遺物では特に須恵器の量が通常の集落遺跡より多い点、赤彩球胴甕が多数出土した点、鉄製品の種類の多さが特記事項として挙げられる。なお、該期の集落跡は北に隣接する中村遺跡、更に尻引遺跡にかけて広がっており、北上川西岸の自然堤防上に延長約1.5㎞にわたって展開しているものと考えられる。

12世紀後半　調査区北部Ｅ区において、掘立柱建物跡、複数の区画溝からなる遺構群を検出した。性格等の検討は不足しているが、該期の居館跡を構成する遺構群と捉えられる。

中世　調査区南側Ｃ区に北宋銭一括資料があり、火葬墓が存在した可能性が考えられる。

以上の概要報告だが、３年間を費やした調査で得られた成果を本報告書では充分に提示し切れていないことから、隣接する中村遺跡の調査結果も踏まえ、特に古代集落の様相についての検討を継続させたい。

引用・参考文献（著者名・発行者名五十音順）

【論文等】

相原康二　1981　「岩手県南部における古代の土器群編年試案」『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書』Ⅹ岩手県文化財調査報告59

吾妻俊典　2004　「多賀城とその周辺におけるロクロ土師器の普及開始年代」『宮城考古学』6

阿部朝衛　1984　「多面体を呈する敲石について」『豊栄市史研究』2

阿部朝衛　2001　「日本における磨製石斧の生産と交換」『帝京史学』16

石川日出志（編）　2005　『関東・東北弥生土器と北海道続縄文土器の広域編年』平成14年度～平成16年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成　果報告書
石川日出志　2005a　「北上川流域の谷起島式とその後続形式」『関東・東北弥生土器と北海道続縄文土器の広域編年』
石川日出志　2005b　「弥生中期谷起島式に後続する磨消縄文土器群」『岩手考古学』17
伊藤博幸　1990　「陸奥国における黒色土師器－その展開と終焉－」『東国土器研究』3
伊藤博幸　1997　「律令期村落の基礎構造－胆沢城周辺の平安期集落－」『岩手史学研究』80
伊藤博幸　2006　「陸奥型甕・出羽型甕・北奥型甕－東北地方の平安期甕の製作技法論を中心に－」『陶磁器の社会史』吉岡康暢先生古稀記念論集
氏家和典　1957　「東北土師器の形式分類とその編年」『歴史』14
氏家和典　1967　「陸奥国分寺跡出土の丸底坏をめぐって」『柏倉亮吉教授還暦記念論文集』
小田野哲憲　1987　「岩手の弥生式土器編年試論」『岩手県立博物館研究報告』5
加藤道男　1989　「宮城県における土師器研究の現状」『考古学論叢Ⅱ』芹沢長介先生還暦記念論文集
金子昭彦　2003　「東北地方北部における縄文時代晩期の墓と集落跡」『紀要』22 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
金子昭彦　2004　「結髪土偶と刺突文土偶の編年－東北地方北部における縄文時代晩期後葉の大形土偶－」『古代』114
金子昭彦　2007　「大洞A'式から青木畑式へ－岩手県金附遺跡から見た東北地方中部・縄文時代直後の土器型式－」『縄文時代』18
窯跡研究会　1997　『古代の土師器生産と焼成遺構』真陽社
君島武史　2007　「古代集落から検出される焼成遺構－立花南遺跡の再検討を元に－」『紀要』4 北上市立埋蔵文化財センター
君島武史　2012　「嘴状石器」『季刊考古学』119
君島武史　2015　「岩手県南の土師器生産」『岩手考古学会第47回研究大会 北東北の古代土師器生産　資料集』
工藤雅樹・桑原茂郎　1973　「東北地方における古代土器生産の展開」『考古学雑誌』57-3
斎藤邦雄・酒井宗孝　1994　「岩手県の縄文期葬送遺構について」『北奥古代文化』23
坂本和也　1995　「アメリカ式石鏃考」『みちのく発掘』菅原文也先生還暦記念論集
佐藤祐輔　2008a　「東北地方南部における砂沢式並行期の土器について」『弥生時代における砂沢式土器の諸問題資料集』海峡土器編年研究会
佐藤祐輔　2008b　「変形工字文覚書－変形する「工字文」と変形する「変形工字文」－」『地域と文化の考古学Ⅱ』
佐藤嘉広　1989　「東北地方北部における弥生文化受容期の様相－北上川中流域の土器群の分析を中心に－」『岩手県立博物館研究報告』7
佐藤嘉広・伊藤博幸　1992　「岩手県水沢市橋本遺跡出土土器について」『岩手県立博物館研究報告』10
品川欣也　2003　「器種と文様、そして機能の相関関係にみる大洞A式土器の変遷過程」『駿台史学』119
品川欣也　2005　「岩手県金ヶ崎町長坂下遺跡出土土器の再検討」『法政考古学』31
白鳥良一　1980　「多賀城跡出土土器の変遷」『宮城県多賀城跡調査研究所研究紀要』7
杉本　良　1998　「岩手県北上盆地における蝦夷（エミシ）集団の動態－北上市藤沢遺跡の再検討から－」『考古学研究』45- 1
杉本　良　2001　「赤彩球胴甕再考（1）」『北上市立博物館研究報告』13
杉本　良　2002　「赤彩球胴甕再考（2）」『北上市立埋蔵文化財センター紀要』2
杉山秀宏　1988　「古墳時代の鉄鏃について」『橿原考古学研究所論集』8
須藤　隆　1970　「秋田県大曲市宇津ノ台遺跡の弥生式土器について」『文化』33-3
須藤　隆　1983　「東北地方の初期弥生土器－山王Ⅲ層式－」『考古学雑誌』68-3
須原　拓　2013　「川目A遺跡出土の磨製石斧にみる石斧生産について」『紀要』32 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
高瀬克範　2000　「東北地方における弥生土器の形成過程」『国立歴史民俗博物館研究報告』83
高橋静歩　2007　「東北地方北部の赤彩土師器から蝦夷集団の動向を探る」『岩手考古学』19
高橋千晶　2007　「第Ⅱ章 東北・北海道における6～8世紀の土器変遷と地域の相互関係 vii.岩手県南部」『古代東北・北海道におけるモノ・ヒト・　文化交流の研究』平成15年度～平成18年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書
高橋信雄・小田野哲憲・熊谷常正　1982　『岩手の土器 県内出土資料の集成』岩手県立博物館
津野　仁　2001　「中世鉄鏃の形成過程と北方系の鉄鏃」『土曜考古』25
中村　大　2007　「亀ヶ岡文化の葬制」『縄文時代の考古学 9 死と弔い』同成社
西澤正晴　2004　「第５章　第２節（４）鉄製品」『島田Ⅱ遺跡第２～４次発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター450集

沼山源喜治　1968　「北上市出土土師器考－北上川中流域を中心として－」『北上市史』第1巻 原始・古代
羽柴直人　2013　「陸前高田市矢作町出土の内耳鉄鍋」『岩手県立博物館研究報告』30
福島正和　2004　「平安時代における土師器生産－細谷地遺跡の発掘調査成果から－」『細谷地遺跡第８次発掘調査報告書』岩手県埋文454集
福島正和・高橋静歩　2010　「平安時代の土師器鉢に関する研究－岩手県内出土資料を中心に－」『紀要』29 岩手県埋蔵文化財センター
村田　淳　2014　「9～11世紀の土器編年構築と竪穴建物跡等集成からみた各地区の特質 8.稗貫・和賀地区」『9～11世紀の土器編年構築と集落遺跡の　特質からみた、北東北世界の実態的研究』2011～2013年度明治大学大久保忠和考古学振興基金奨励研究研究成果報告書
八木光則　1998　「陸奥における土師器の地域性」『岩手考古学』10
八木光則　2010　『ものが語る歴史21 古代蝦夷社会の成立』同成社
山田康弘　2001　「縄文人の埋葬姿勢（上）（下）」『古代文化』53-11･12

【発掘調査報告書等】

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2000　『川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書』第317集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2002　『島田Ⅱ遺跡第２～４次発掘調査報告書』第450集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2005　『西川目・堰向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』第464集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2006　『金附遺跡発掘調査報告書』第482集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2014　『立花南遺跡発掘調査報告書』第621集
北上市教育委員会　1977　『尻引遺跡調査報告書』北上市文化財調査報告第17集
北上市教育委員会　2009　『八幡遺跡（2006・2007年度）』北上市埋蔵文化財調査報告第98集
北上市教育委員会　2011　『高前壇Ⅱ遺跡（2009年度）』北上市埋蔵文化財調査報告第102集
北上市教育委員会　2013　『高前壇Ⅱ遺跡（2011年度）』北上市埋蔵文化財調査報告第107集
広島県草戸千軒町遺跡調査研究所　1988　『草戸千軒町遺跡第40・41次発掘調査概要』
広島県草戸千軒町遺跡調査研究所　1994　『草戸千軒町遺跡発掘調査報告Ⅱ －北部地域南半部の調査』
宮城県加美町教育委員会　2010　『壇の越遺跡19－考察編－』加美町文化財調査報告書第18集
宮城県多賀城跡調査研究所　1979　『伊治城跡Ⅱ』多賀城関連遺跡発掘調査報告書第4冊

報 告 書 抄 録

ふ り が な	せんがりいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	千苅遺跡発掘調査報告書
副 書 名	北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）関連遺跡発掘調査
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第652集
編 著 者 名	村上絵美・高木　晃・丸山直美・伊東　格
編 集 機 関	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所　在　地	〒020－0853　岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地　　TEL（019）638－9001
発 行 年 月 日	2016年３月18日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
千苅遺跡（せんがりいせき）	岩手県（いわてけん）北上市（きたかみし）二子町（ふたごちょう）千苅（せんがり）224ほか	03206	ME56-2343	39度 18分 14秒	141度 08分 46秒	2011.08.01 ～ 2011.12.19 2012.04.11 ～ 2012.12.13 2013.05.02 ～ 2013.12.20	27,368㎡	北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）

所収遺跡名	種　別	主な時代	主　な　遺　構	主　な　遺　物	特記事項
千苅遺跡	集落跡	縄文時代中期～晩期中葉	竪穴住居跡　２棟 土坑　６基 焼土遺構	縄文土器（中～晩期） 土偶・土製品 石器・石製品	
		縄文時代晩期末～弥生時代	竪穴住居跡　４棟 土坑　12基 焼成遺構　８基 埋設土器　１基 溝跡 遺物集中 遺物包含層	弥生土器（前～中期） 土偶・土製品 石器・石製品	弥生前期から中期にかけての大規模な捨て場を検出。捨て場内に前～中期初頭の土壙墓あり、人骨検出。
		奈良・平安時代	竪穴住居跡　89棟 土坑　45基 焼成遺構　111基 埋設土器　１基 溝跡　４条 畝間状遺構　14ヶ所	土師器・須恵器 灰釉陶器 石器 鉄製品	調査区全域に竪穴住居跡分布。８～９世紀代を主とする。土師器焼成遺構を伴う。赤彩球胴甕多数出土。
		12世紀・中世	掘立柱建物跡　４棟 溝跡　10条 土坑	陶磁器（常滑・渥美他） 古銭	区画溝と掘立柱建物からなる12世紀後半代の居館跡を検出。

要　　約	北上川西岸の自然堤防上平坦面に形成された集落遺跡。南北600ｍにわたり遺構群が展開する。特に、縄文晩期末～弥生時代中期、奈良～平安時代前半の２時期において遺構・遺物が多量に検出された。

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第652集

千苅遺跡発掘調査報告書

北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区）関連遺跡発掘調査
＜第１分冊　本文＞

印　刷　平成28年３月11日
発　行　平成28年３月18日

編　集　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020－0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
電 話（019）638－9001
発　行　国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
〒020－0066 岩手県盛岡市上田四丁目2-2
電 話（019）624－3131
（公財）岩手県文化振興事業団
〒020－0023 岩手県盛岡市内丸13番1号
電 話（019）654－2235
印　刷　（株）興版社
〒020－0816 岩手県盛岡市中野1-4-14
電 話（019）624－3456

Ⓒ（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2016